

大道東遺跡 (3)

-弥生時代以降編 2-

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域
埋蔵文化財発掘調査報告書

2010

東日本高速道路株式会社
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

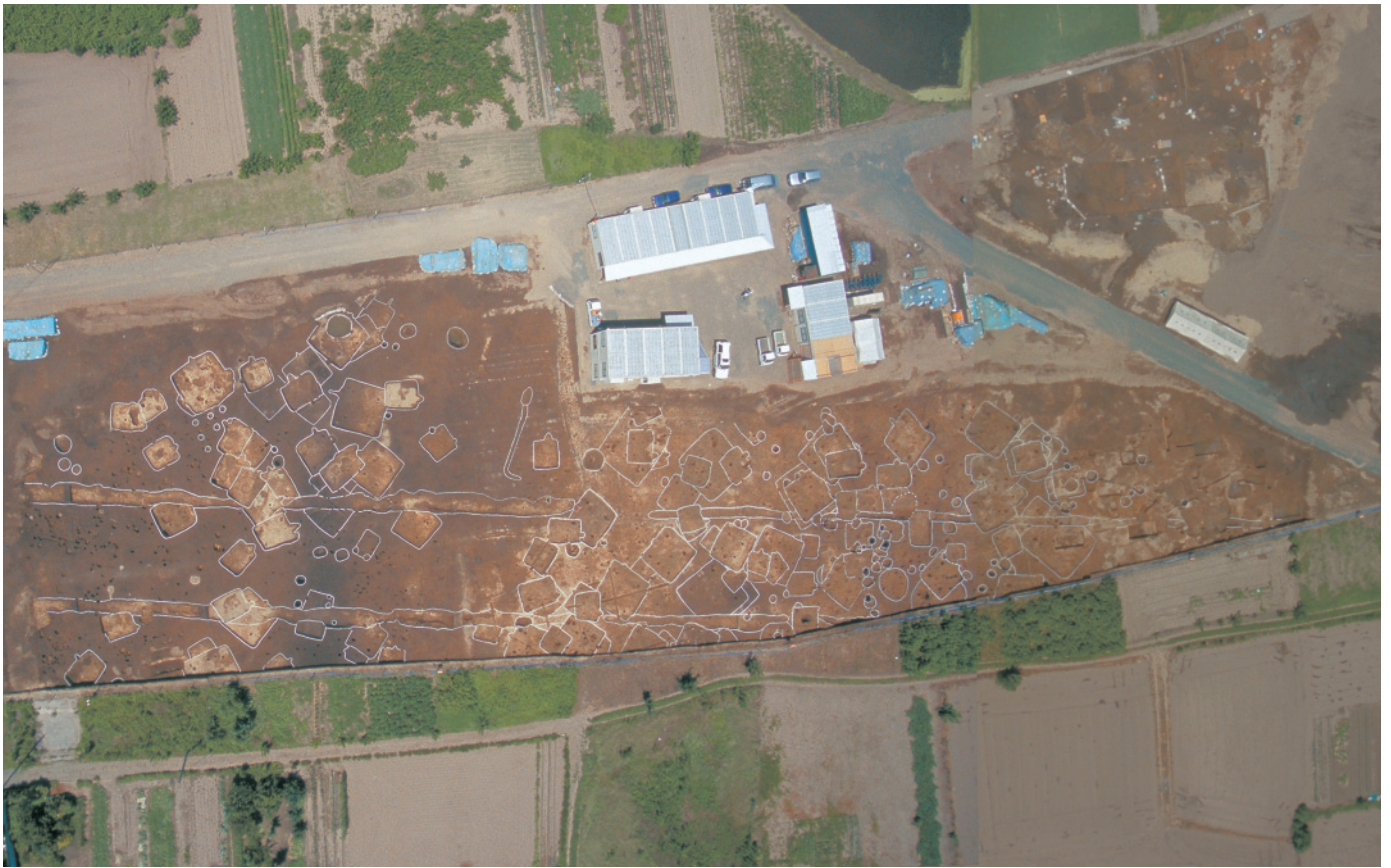
大道東遺跡 (3)

-弥生時代以降編 2-

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域
埋蔵文化財発掘調査報告書

2010

東日本高速道路株式会社
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



推定東山道駅路全景（上空から）



推定東山道駅路全景（東上空から 左上に金山丘陵の裾野が、右上に巖穴山古墳が見える）



遺跡全景（北上空から 右上に金山丘陵東部が見える）



推定東山道駅路南側溝出土土甕形土製品



推定東山道駅路北側溝出土土円面硯

序

大道東遺跡は太田市東今泉町に所在し、平成 15 年から平成 17 年にかけて、北関東自動車道の建設に伴い発掘調査された遺跡です。発掘調査では、縄文時代から江戸時代に至る各種遺構や遺物が発見され、特に、古代東山道駅路の発見は歴史的にも極めて重要であることが判明しました。

本遺跡は、古く大正期からその存在が知られる著名な遺跡で、縄文時代の岩版や土版等が出土しておりました。そのことは郷土史家として知られる岩沢正作氏により紹介されています。

本書は、大道東遺跡(3)―弥生時代以降編 2―として報告するものですが、古墳時代後期から平安時代にかけての竪穴住居をはじめとして掘立柱建物や土坑など多くの遺構とともに、東山道駅路と推定される道路も見つかっています。幅12～13mの道路には両側溝があり、現在の国道と比べても遜色のないもので、当時の威容が窺えます。また、幹線道路と竪穴住居が重なって見つかった、他にあまり例を見ない遺跡であり、この点でも重要な知見を得ることができました。

発掘調査から報告書の作成にいたるまで、東日本高速道路株式会社関東支社、群馬県教育委員会文化財保護課、太田市教育委員会、地元関係者の方々には種々ご指導ご協力を賜りました。報告書の上梓に際し、関係者の皆様に心から感謝申し上げるとともに、併せて本書が群馬県の歴史を解明する上で広く活用されることを願い、序といたします。






平成 22 年 10 月

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 須 田 栄 一

例 言

- 1 本書は、北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設に伴い発掘調査された大道東遺跡（3）—弥生時代以降編2—の埋蔵文化財調査報告書である。
- 2 所在地 太田市東今泉町595, 597～604番地他
- 3 事業主体 東日本高速道路株式会社関東支社（旧日本道路公団）
- 4 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 5 調査期間 平成15年7月1日～平成15年10月31日、平成16年1月1日～平成16年3月31日
平成16年4月1日～平成17年3月31日、平成17年4月1日～平成17年9月30日
- 6 発掘調査体制は次の通りである。
平成15年度 発掘調査担当 新井 仁（専門員）・大澤 務（専門員）・川端俊介（主任調査研究員）・増田眞次（主任調査研究員）・飯田公規（主任調査研究員）
遺跡掘削請負工事 須賀建設株式会社
委託 地上測量：アコン測量設計株式会社 空中写真撮影：株式会社シン技術コンサル
平成16年度 発掘調査担当 廣津英一（専門員）・杉山秀宏（専門員）・新井 仁（専門員）・増田眞次（主任調査研究員）・小林洋一（主任調査研究員）・田村 博（調査研究員）・山川剛史（調査研究員）
遺跡掘削請負工事 須賀建設株式会社
委託 地上測量：アコン測量設計株式会社 空中写真撮影：株式会社シン技術コンサル
平成17年度 発掘調査担当 廣津英一（専門員）・新井 仁（専門員）・小林洋一（主任調査研究員）・長澤典子（調査研究員）
遺跡掘削請負工事 須賀建設株式会社
委託 地上測量：アコン測量設計株式会社 空中写真撮影：株式会社シン技術コンサル
- 7 整理事業の期間と体制は次の通りである。
整理期間 平成19年8月～平成22年9月
整理担当 綿貫邦男（上席専門員） 新井 仁（主任調査研究員） 遺物写真撮影 佐藤元彦
保存処理 関 邦一
- 8 本書作成の担当者は次のとおりである。
編集 綿貫邦男 新井 仁
執筆 佐藤明人（I-1-（1）） 岩崎泰一（I-3、II-1） 神谷佳明（V-3）
女屋和志雄（V-4） 新井 仁（前記以外）
- 9 出土土器の胎土分析については、株式会社第四紀地質研究所に委託した。
- 10 出土獣骨の鑑定は、宮崎重雄氏（足利工業大学非常勤講師、古生物学会会員）にお願いした。
- 11 発掘調査および報告書作成に際しては、群馬県教育委員会・太田市教育委員会・木下 良（古代交通研究会会長）、武部健一（道路文化研究所長）、坂爪久純（伊勢崎市教育委員会）の方々をはじめ、関係機関ならびに多くの方々のご協力、ご指導をいただきました。記して感謝いたします。
- 12 発掘調査諸資料および出土品は、群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。

凡 例

- 本文中に使用した方位は、総て国家座標（2002.4 改正前の日本測地系）の北を使用している。尚、真北との偏差は、遺跡南東隅部で $0^{\circ}15'57.426''$ である。
- 遺構断面実測図、等高線に記した数値は標高を表し、単位はmを用いた。
- 遺構名称は遺構種類ごとに通し番号をつけ、番号・遺構種類名で呼称した。また本文中（Ⅲ）では、各節ごとに時代順に記載し、遺構・遺物に分けて報告している。
- 遺物番号はすべて通し番号とし、遺構に関係なく器種・分類順に記載した。番号は遺構図、遺物実測図、遺物観察表、遺物写真図版とも一致している。（なお、こも編み石は写真と計測値のみ掲載した）
- 遺構・遺物実測図の縮尺率は原則として以下のとおりとした。
遺構 竪穴住居・掘立柱建物・土坑—平面図・断面図 1：80
竪穴住居カマド・一部ピット・遺物出土状況詳細—平面図・断面図 1：40
溝—平面図 1：120 断面図 1：80
道路遺構 平面図 1：150 断面図 1：80 遺物出土状況図 1：100
遺構図中の遺物図—遺物図の 1：2
遺物土器、石製品、一部土製品、一部金属製品（鎌）— 1：3
一部土製品（土錘・勾玉）、一部石製品（紡錘車）、金属製品— 1：2 玉類— 4：5
なお、1：3以外の縮尺の遺物は、分類記号の後に縮尺を入れた。
- 本書の図版に使用したスクリーンパターンは、次のことを示す。下記以外は図版ごとに凡例を示す。
遺構 焼土  粘土 
遺物 粘土  黒色処理  煤 
- 遺構の主軸方位・走向は、竈を持つ住居の場合、竈のある辺に直角の方向を主軸とし、それ以外の遺構は、長軸方向で北から東西 90° 以内を主軸とした。表記は北を基準とし、東に傾いた場合 N - \circ° - E とした。遺構の面積は、竪穴住居は「面積」に上端を計測した値を記載し、「床面積」にカマドを除いた下端を計測した値を記載した。他の遺構は上端を計測した。計測はプランメーターで3回行いその平均値を採用した。
遺構・遺物の計測値で、全体を計測できないものについては、現存の値を記載し [] で表した。推定で全体がわかるものについては () で表した。遺構一覧表中の位置の欄は、グリッド (Gr と略す I - 2 - (2) 参照) で示した。
- 遺物観察表の記載方法は以下のとおりである。
 - 計測値の () は推定値を、[] は現存値を示す。
 - 土器の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖 1988 年版』に基づいている。
 - 胎土表記中の細砂・粗砂・礫は、径 2 mm 以上を礫、径 2 ~ 0.2 mm を粗砂、径 0.2 mm 以下を細砂とした。
 - 出土位置欄の住居の右側の数字は床面からの高さを表す。
- 本書で掲載した地図は、下記のものを使用した。
国土地理院 地形図 1:25,000 「桐生」「上野境」「足利北部」「足利南部」
国土地理院 地勢図 1:200,000 「宇都宮」
太田市 1:2,500 地形図

目次

序
例言
凡例
目次

I 発掘調査の実施と経過

1 調査に至る経緯と調査の経過 1

- (1) 調査に至る経緯
- (2) 発掘調査の経過
- (3) 整理作業の経過

2 調査の方法 4

- (1) 調査区の設定
- (2) グリッド設定
- (3) 遺構の調査
- (4) 遺物の整理

3 基本土層 5

II 周辺環境

1 地理的環境 8

2 歴史的環境 10

III 検出された遺構と出土遺物

1 弥生時代～古墳時代前期 17

2 古墳時代後期～平安時代 17

- (1) 概要
- (2) 遺構
- (3) 遺構外出土遺物
- (4) 遺物

3 中世以降 524

- (1) 概要
- (2) 遺物

IV 自然科学分析

1 大道東遺跡における土器胎土分析 525

2 推定東山道駅路南側溝出土馬歯 544

V 総括

1 古墳時代後期～平安時代の出土土器の

変遷について 545

2 集落および道路遺構の変遷 557

3 大道東遺跡出土の竈形土製品 560

4 大道東遺跡の石製模造品 564

5 まとめ 572

写真図版

抄録

挿 図 目 次

第 1 図	遺跡位置図	2	第 48 図	153 号住居	57
第 2 図	調査区位置図	3	第 49 図	154・155 号住居	58
第 3 図	調査区設定図	5	第 50 図	156 号住居出土遺物・使用面	59
第 4 図	グリッド設定図	5	第 51 図	156 号住居掘り方・カマド	60
第 5 図	遺跡の基本土層 (1)	6	第 52 図	157 号住居使用面・掘り方	61
第 6 図	遺跡の基本土層 (2)	7	第 53 図	157 号住居カマド	62
第 7 図	渡良瀬川扇状地の地質区分	8	第 54 図	158 号住居出土遺物・使用面・掘り方	63
第 8 図	周辺遺跡位置図	12	第 55 図	158 号住居カマド	64
第 9 図	1・2 区竪穴住居配置図	28	第 56 図	159 号住居出土遺物・使用面・掘り方	65
第 10 図	123 号住居	29	第 57 図	159 号住居カマド	66
第 11 図	124 号住居出土遺物 (1)	30	第 58 図	160 号住居出土遺物・使用面・掘り方	67
第 12 図	124 号住居出土遺物 (2)	31	第 59 図	160 号住居カマド	68
第 13 図	124 号住居使用面・掘り方	32	第 60 図	161 号住居出土遺物 (1)	68
第 14 図	124 号住居カマド	33	第 61 図	161 号住居出土遺物 (2)・使用面	69
第 15 図	127 号住居	34	第 62 図	161 号住居掘り方・カマド	70
第 16 図	128 号住居	34	第 63 図	162 号住居出土遺物・使用面	71
第 17 図	129 号住居出土遺物	35	第 64 図	162 号住居掘り方・カマド	72
第 18 図	129 号住居使用面	36	第 65 図	163 号住居出土遺物	73
第 19 図	130 号住居出土遺物・使用面・掘り方	37	第 66 図	163 号住居使用面・掘り方・カマド	74
第 20 図	130 号住居カマド	38	第 67 図	164 号住居、152 号住居掘り方	75
第 21 図	131 号住居	38	第 68 図	165 号住居	76
第 22 図	132 号住居	39	第 69 図	166 号住居出土遺物	77
第 23 図	133 号住居	39	第 70 図	166 号住居使用面・掘り方	78
第 24 図	134 号住居出土遺物・使用面	40	第 71 図	166 号住居カマド	79
第 25 図	134 号住居カマド	41	第 72 図	167 号住居	79
第 26 図	135 号住居出土遺物・使用面	41	第 73 図	168 号住居	80
第 27 図	135 号住居掘り方・カマド	42	第 74 図	169 号住居出土遺物 (1)	80
第 28 図	138 号住居出土遺物	42	第 75 図	169 号住居出土遺物 (2)・使用面・掘り方	81
第 29 図	138 号住居使用面・掘り方・カマド	43	第 76 図	169 号住居カマド	82
第 30 図	140 号住居	44	第 77 図	171 号住居	83
第 31 図	141 号住居	44	第 78 図	172 号住居	84
第 32 図	142 号住居	45	第 79 図	173 号住居出土遺物	84
第 33 図	143 号住居出土遺物・使用面・掘り方	46	第 80 図	173 号住居使用面・掘り方・カマド	85
第 34 図	143 号住居カマド	47	第 81 図	174 号住居出土遺物・使用面	86
第 35 図	145 号住居出土遺物	47	第 82 図	174 号住居掘り方・カマド	87
第 36 図	145 号住居使用面・掘り方	48	第 83 図	175 号住居出土遺物・使用面・掘り方	88
第 37 図	146 号住居	48	第 84 図	175 号住居カマド	89
第 38 図	149 号住居出土遺物 (1)	49	第 85 図	176 号住居出土遺物	89
第 39 図	149 号住居出土遺物 (2)	50	第 86 図	176 号住居使用面・掘り方・カマド	90
第 40 図	149 号住居出土遺物 (3)	51	第 87 図	177 号住居	91
第 41 図	149 号住居使用面	52	第 88 図	178 号住居出土遺物・使用面・掘り方	92
第 42 図	149 号住居掘り方	53	第 89 図	178 号住居カマド	93
第 43 図	149 号住居東カマド・北カマド	54	第 90 図	179 号住居	93
第 44 図	151 号住居出土遺物・使用面	55	第 91 図	180 号住居出土遺物	94
第 45 図	151 号住居掘り方・カマド	56	第 92 図	180 号住居使用面・掘り方・カマド	95
第 46 図	152 号住居出土遺物	56	第 93 図	181 号住居	96
第 47 図	152 号住居使用面	57	第 94 図	182 号住居	97

第 95 図	183 号住居出土遺物・使用面	98	第 144 図	417 号住居	138
第 96 図	183・194 号住居掘り方・183 号住居カマド	99	第 145 図	418 号住居	139
第 97 図	184 号住居出土遺物	100	第 146 図	419 号住居	140
第 98 図	184 号住居使用面・掘り方	101	第 147 図	420 号住居出土遺物・使用面・掘り方	141
第 99 図	184 号住居カマド	102	第 148 図	420 号住居カマド	142
第 100 図	185 号住居出土遺物	103	第 149 図	421 号住居出土遺物	142
第 101 図	185 号住居使用面	104	第 150 図	421 号住居使用面・掘り方・カマド	143
第 102 図	185 号住居掘り方・カマド	105	第 151 図	422 号住居出土遺物	144
第 103 図	186 号住居出土遺物・使用面・掘り方	106	第 152 図	422 号住居使用面・掘り方・カマド	145
第 104 図	186 住居 カマド	107	第 153 図	423 号住居出土遺物・使用面・掘り方	146
第 105 図	187 号住居	108	第 154 図	423 号住居カマド	147
第 106 図	188 号住居	109	第 155 図	424 号住居	148
第 107 図	189 号住居	109	第 156 図	425 号住居出土遺物・使用面・掘り方	149
第 108 図	190 号住居	110	第 157 図	425 号住居カマド	150
第 109 図	191 号住居出土遺物	110	第 158 図	426 号住居	151
第 110 図	191 号住居使用面・掘り方	111	第 159 図	427 号住居出土遺物・使用面・掘り方	152
第 111 図	193 号住居	112	第 160 図	427 号住居カマド	153
第 112 図	194 号住居出土遺物	112	第 161 図	428 号住居出土遺物	153
第 113 図	194 号住居使用面	113	第 162 図	428 号住居使用面・カマド	154
第 114 図	195 住居出土遺物	113	第 163 図	429 号住居出土遺物・使用面・掘り方	155
第 115 図	195 号住居使用面・掘り方・カマド	114	第 164 図	429 号住居カマド	156
第 116 図	196 号住居	115	第 165 図	430 号住居	157
第 117 図	198 号住居出土遺物	115	第 166 図	431 号住居出土遺物・使用面	158
第 118 図	198 号住居使用面・掘り方・カマド	116	第 167 図	431 号住居掘り方・カマド	159
第 119 図	199 号住居	117	第 168 図	432 号住居	160
第 120 図	200 号住居出土遺物・使用面・掘り方	118	第 169 図	433 号住居	161
第 121 図	200 号住居カマド	119	第 170 図	434 号住居出土遺物 (1)	161
第 122 図	401 号住居	119	第 171 図	434 号住居出土遺物 (2)・使用面・掘り方	162
第 123 図	402 号住居	120	第 172 図	434 号住居カマド	163
第 124 図	403 号住居出土遺物	120	第 173 図	436 号住居	163
第 125 図	403 号住居使用面・掘り方・カマド	121	第 174 図	437 号住居出土遺物	164
第 126 図	404 号住居	122	第 175 図	438 号住居出土遺物、437・438 号住居使用面・掘り方	165
第 127 図	405 号住居	122	第 176 図	437・438 号住居カマド	166
第 128 図	406 号住居	123	第 177 図	439 号住居出土遺物	167
第 129 図	408 号住居	124	第 178 図	439 号住居使用面	168
第 130 図	409 号住居出土遺物	125	第 179 図	439 号住居掘り方・カマド	169
第 131 図	409 号住居使用面・掘り方・カマド	126	第 180 図	440 号住居	169
第 132 図	410 号住居	127	第 181 図	441 号住居出土遺物・使用面・掘り方	170
第 133 図	411 号住居	128	第 182 図	441 号住居カマド	171
第 134 図	412 号住居	129	第 183 図	442 号住居出土遺物・使用面	172
第 135 図	413 号住居出土遺物・使用面・掘り方	130	第 184 図	442 号住居掘り方・カマド	173
第 136 図	413 号住居カマド	131	第 185 図	443 号住居出土遺物・使用面	174
第 137 図	414 号住居出土遺物・使用面・掘り方・旧カマド	132	第 186 図	443 号住居掘り方・カマド	175
第 138 図	414 号住居新カマド	133	第 187 図	444 号住居	175
第 139 図	415 号住居出土遺物・使用面・掘り方	133	第 188 図	445 号住居出	176
第 140 図	415 号住居カマド	134	第 189 図	446 号住居	177
第 141 図	416 号住居出土遺物・掘り方	135	第 190 図	449・451 号住居出土遺物	178
第 142 図	416 号住居使用面	136	第 191 図	449 号住居使用面・掘り方・カマド、451 号住居掘り方	179
第 143 図	416 号住居カマド	137	第 192 図	450 号住居出土遺物・使用面	180

第 193 図	450 号住居掘り方・カマド	181	第 242 図	519 号住居掘り方・カマド	223
第 194 図	452・458 号住居	182	第 243 図	520 号住居出土遺物・使用面	224
第 195 図	453 号住居出土遺物・使用面	183	第 244 図	520 号住居掘り方	225
第 196 図	453 号住居掘り方・カマド	184	第 245 図	522 号住居出土遺物 (1)	225
第 197 図	454 号住居出土遺物・使用面・掘り方	185	第 246 図	522 号住居出土遺物 (2)・使用面	226
第 198 図	454 号住居カマド	186	第 247 図	522 号住居掘り方・カマド	227
第 199 図	455 号住居出土遺物・使用面	187	第 248 図	524 号住居出土遺物 (1)	228
第 200 図	455 号住居掘り方・カマド	188	第 249 図	524 号住居出土遺物 (2)・使用面・掘り方	229
第 201 図	457 号住居	189	第 250 図	524 号住居北カマド	230
第 202 図	459 号住居	190	第 251 図	524 号住居北カマド掘り方・西カマド	231
第 203 図	463・464 号住居	190	第 252 図	525 号住居	232
第 204 図	467 号住居	191	第 253 図	528 号住居	233
第 205 図	468 号住居	192	第 254 図	532 号住居	234
第 206 図	469 号住居	193	第 255 図	535 号住居出土遺物	234
第 207 図	470 号住居使用面・掘り方	193	第 256 図	535 号住居使用面・掘り方	235
第 208 図	470 号住居カマド	194	第 257 図	535 号住居カマド	236
第 209 図	473 号住居	194	第 258 図	536 号住居掘り方	236
第 210 図	474 号住居	195	第 259 図	536 号住居出土遺物・使用面	237
第 211 図	476 号住居	196	第 260 図	539 号住居出土遺物・使用面・掘り方	238
第 212 図	489 号住居出土遺物・使用面・掘り方	197	第 261 図	539 号住居カマド	239
第 213 図	489 号住居カマド	198	第 262 図	540 号住居掘り方	239
第 214 図	490 号住居使用面・掘り方	198	第 263 図	540 号住居出土遺物・使用面	240
第 215 図	490 号住居カマド	199	第 264 図	541 号住居使用面	240
第 216 図	491 号住居出土遺物	199	第 265 図	541 号住居掘り方	241
第 217 図	491 号住居使用面・掘り方・カマド	200	第 266 図	543 号住居	241
第 218 図	492 号住居出土遺物・使用面・掘り方	201	第 267 図	544 号住居出土遺物・使用面	242
第 219 図	492 号住居カマド	202	第 268 図	544 号住居掘り方・カマド	243
第 220 図	493 号住居	203	第 269 図	8・9・12 号掘立柱建物	246
第 221 図	494 号住居出土遺物・使用面・掘り方	204	第 270 図	13 号掘立柱建物	247
第 222 図	494 号住居カマド	205	第 271 図	14・15 号掘立柱建物	248
第 223 図	495 号住居出土遺物	205	第 272 図	17 号掘立柱建物	249
第 224 図	495 号住居使用面・掘り方	206	第 273 図	18 号掘立柱建物	250
第 225 図	496 号住居出土遺物 (1)	206	第 274 図	19 号掘立柱建物	251
第 226 図	496 号住居出土遺物 (2)・使用面・掘り方・カマド	207	第 275 図	20・22 号掘立柱建物	252
第 227 図	497 号住居出土遺物・使用面・掘り方	208	第 276 図	24 号掘立柱建物	253
第 228 図	497 号住居カマド	209	第 277 図	17・18 号溝	254
第 229 図	498 号住居出土遺物・使用面	210	第 278 図	19 号溝	255
第 230 図	498 号住居掘り方	211	第 279 図	331 号土坑出土遺物	261
第 231 図	498 号住居カマド	212	第 280 図	330・331・349・350・352～355AB・358 号土坑	262
第 232 図	513 号住居出土遺物・使用面・掘り方	213	第 281 図	359～372・374 号土坑	263
第 233 図	513 号住居カマド	214	第 282 図	375・378～385・387・388・396～399 号土坑	264
第 234 図	514 号住居出土遺物・使用面・掘り方	215	第 283 図	401～404 号土坑 405 号土坑出土遺物	265
第 235 図	514 号住居カマド	216	第 284 図	405～409・413・414・419・421 号土坑 421 号土坑出土遺物	266
第 236 図	515 号住居出土遺物・使用面・掘り方	217	第 285 図	423 土坑～428 土坑 425・427 号土坑出土遺物	267
第 237 図	515 号住居カマド	218	第 286 図	429・432・433 号土坑 433・434 号土坑出土遺物	268
第 238 図	516 号住居出土遺物・使用面・掘り方	219	第 287 図	434・435・437～444 号土坑 434・435 号土坑出土遺物	269
第 239 図	516 号住居カマド	220	第 288 図	445～454 号土坑 452～454 号土坑出土遺物	270
第 240 図	517 号住居	221	第 289 図	455～457・459～461 号土坑 455・456・460・461 号	
第 241 図	519 号住居出土遺物・使用面	222			

土坑出土遺物	271	第332図	遺構外出土遺物分布図	土師器	杯	325
第290図	462・463・465～469・471・472・475～477号土坑	第333図	遺構外出土遺物分布図	土師器	甕	326
466号土坑出土遺物	272	第334図	遺構外出土遺物分布図	土師器	計	327
第291図	480・572・581～589号土坑	第335図	遺構外出土遺物分布図	須恵器	杯	328
480号土坑出土遺物	273	第336図	遺構外出土遺物分布図	須恵器	甕	329
第292図	590～592・594・596・599・603・604・616・617号土坑	第337図	遺構外出土遺物分布図	須恵器	計	330
599号土坑出土遺物	274	第338図	遺構外出土遺物分布図	土師器・須恵器	計	331
第293図	618・630・632・645・650・661・671号土坑	第339図	古墳時代後期～平安時代出土遺物1			335
618号土坑出土遺物	275	第340図	古墳時代後期～平安時代出土遺物2			336
第294図	674～677・681・682・697～701・704・705・708～710・712号土坑	第341図	古墳時代後期～平安時代出土遺物3			337
	276	第342図	古墳時代後期～平安時代出土遺物4			338
第295図	584・585・595・2051・2062・2090・2111・2126・2173号ピット	第343図	古墳時代後期～平安時代出土遺物5			339
	284	第344図	古墳時代後期～平安時代出土遺物6			340
第296図	2176・2302・2389・2390・2471・2778・2786・2812・2836・2942号ピット	第345図	古墳時代後期～平安時代出土遺物7			341
	285	第346図	古墳時代後期～平安時代出土遺物8			342
第297図	道路遺構遺物出土状況1	第347図	古墳時代後期～平安時代出土遺物9			343
	287	第348図	古墳時代後期～平安時代出土遺物10			344
第298図	道路遺構遺物出土状況2	第349図	古墳時代後期～平安時代出土遺物11			345
	288	第350図	古墳時代後期～平安時代出土遺物12			346
第299図	道路遺構遺物出土状況3	第351図	古墳時代後期～平安時代出土遺物13			347
	289	第352図	古墳時代後期～平安時代出土遺物14			348
第300図	道路遺構遺物出土状況4	第353図	古墳時代後期～平安時代出土遺物15			349
	290	第354図	古墳時代後期～平安時代出土遺物16			350
第301図	道路遺構遺物出土状況5	第355図	古墳時代後期～平安時代出土遺物17			351
	291	第356図	古墳時代後期～平安時代出土遺物18			352
第302図	道路遺構遺物出土状況6	第357図	古墳時代後期～平安時代出土遺物19			353
	292	第358図	古墳時代後期～平安時代出土遺物20			354
第303図	道路遺構遺物出土状況7	第359図	古墳時代後期～平安時代出土遺物21			355
	293	第360図	古墳時代後期～平安時代出土遺物22			356
第304図	道路遺構遺物出土状況8	第361図	古墳時代後期～平安時代出土遺物23			357
	294	第362図	古墳時代後期～平安時代出土遺物24			358
第305図	道路遺構遺物出土状況9	第363図	古墳時代後期～平安時代出土遺物25			359
	295	第364図	古墳時代後期～平安時代出土遺物26			360
第306図	道路遺構遺物出土状況10	第365図	古墳時代後期～平安時代出土遺物27			361
	296	第366図	古墳時代後期～平安時代出土遺物28			362
第307図	道路遺構遺物出土状況11	第367図	古墳時代後期～平安時代出土遺物29			363
	297	第368図	古墳時代後期～平安時代出土遺物30			364
第308図	道路遺構遺物出土状況12	第369図	古墳時代後期～平安時代出土遺物31			365
	298	第370図	古墳時代後期～平安時代出土遺物32			366
第309図	道路遺構遺物出土状況13	第371図	古墳時代後期～平安時代出土遺物33			367
	299	第372図	古墳時代後期～平安時代出土遺物34			368
第310図	道路遺構遺物出土状況14	第373図	古墳時代後期～平安時代出土遺物35			369
	300	第374図	古墳時代後期～平安時代出土遺物36			370
第311図	道路遺構遺物出土状況15	第375図	古墳時代後期～平安時代出土遺物37			371
	301	第376図	古墳時代後期～平安時代出土遺物38			372
第312図	道路遺構遺物出土状況16	第377図	古墳時代後期～平安時代出土遺物39			373
	302	第378図	古墳時代後期～平安時代出土遺物40			374
第313図	道路遺構遺物出土状況17	第379図	古墳時代後期～平安時代出土遺物41			375
	303	第380図	古墳時代後期～平安時代出土遺物42			376
第314図	道路遺構遺物出土状況18					
	304					
第315図	道路遺構遺物出土状況19					
	305					
第316図	道路遺構遺物出土状況20					
	306					
第317図	道路遺構遺物出土状況21					
	307					
第318図	道路遺構遺物出土状況22					
	308					
第319図	道路遺構遺物出土状況23					
	309					
第320図	道路遺構遺物出土状況24					
	310					
第321図	道路遺構遺物出土状況25					
	311					
第322図	道路遺構遺物出土状況26					
	312					
第323図	道路遺構遺物出土状況27					
	313					
第324図	道路遺構遺物出土状況28					
	314					
第325図	道路遺構平面図1					
	315					
第326図	道路遺構平面図2					
	316					
第327図	道路遺構平面図3					
	317					
第328図	道路遺構平面図4					
	318					
第329図	道路遺構平面図5					
	319					
第330図	道路遺構平面図6					
	320					
第331図	道路遺構断面図					
	321					

第 479 図	竪穴住居出土土器変遷図 3	555	第 485 図	住居跡ほか石製模造品遺物図 3	A 類	567
第 480 図	竪穴住居出土土器変遷図 4	556	第 486 図	住居跡ほか石製模造品遺物図 4	A・B 類	568
第 481 図	古墳～平安時代集落変遷図 1	558	第 487 図	住居跡ほか石製模造品遺物図 5	B～F 類	569
第 482 図	古墳～平安時代集落変遷図 2	559	第 488 図	石製模造品製作工程図		570
第 483 図	住居跡ほか石製模造品遺物図 1	A 類	565	第 489 図	推定東山道駅路掘削単位想定図	574
第 484 図	住居跡ほか石製模造品遺物図 2	A 類	566			

表 目 次

第 1 表	周辺遺跡	13	第 15 表	ピット出土遺物数量表	283
第 2 表	竪穴住居一覧表	20	第 16 表	道路遺構出土遺物数量表	286
第 3 表	竪穴住居カマド一覧表	23	第 17 表	遺構外出土遺物数量表	322
第 4 表	竪穴住居貯蔵穴・柱穴計測表	24	第 18 表	古墳時代後期～平安時代出土遺物数量表	334
第 5 表	竪穴住居出土遺物数量表	25	第 19 表	古墳時代後期～平安時代出土土器破片重量表	334
第 6 表	掘立柱建物一覧表	244	第 20 表	古墳時代～平安時代出土土器観察表	473
第 7 表	掘立柱建物柱間計測表	245	第 21 表	古墳時代～平安時代出土石製品観察表	521
第 8 表	掘立柱建物出土遺物数量表	245	第 22 表	古墳時代～平安時代出土こも編石観察表	521
第 9 表	溝一覧表	253	第 23 表	古墳時代～平安時代出土鉄製品観察表	523
第 10 表	溝出土遺物数量表	253	第 24 表	中世以降出土遺物一覧表	524
第 11 表	土坑形態別数量表	256	第 25 表	中世以降遺物観察表	524
第 12 表	土坑一覧表	257	第 26 表	大道東遺跡竪穴住居出土遺物分類別出土状況表	547
第 13 表	土坑出土遺物数量表	260	第 27 表	大道東遺跡竪穴住居相伴頻度表	551
第 14 表	ピット一覧表	277	第 28 表	住居跡ほか石製模造品一覧表	571

写 真 図 版

PL. 1	1・2区北部全景（上空から）	129号住南東部遺物出土状況（東から）
	1・2区北部全景西部（上空から）	129号住北西部遺物出土状況（南から）
PL. 2	1・2区北部全景中部（上空から）	129号住全景（西から）
	1・2区北部全景東部（上空から）	130号住全景（南から）
PL. 3	1・2区北部全景（南から）	130号住カマド全景（南から）
	1区中南部全景（上空から）	PL.11 130号住掘り方全景（南から）
PL. 4	1区中南部全景（東から）	130号住カマド掘り方全景（南から）
	1区中南部全景（西から）	131・133号住全景（南から）
PL. 5	2区中南部、3・4区南部全景（上空から）	131・133号住掘り方全景（南から）
	2区中南部、3・4区南部全景（東から）	134号住全景（東から）
PL. 6	2区中南部、3・4区南部全景（西から）	134号住カマド全景（南から）
	2区中南部、3・4区南部全景（東から）	134号住掘り方全景（南から）
PL. 7	2区中南部、3・4区南部全景（南から）	134号住カマド掘り方全景（南から）
	2区中南部全景（上空から）	PL.12 135号住カマド遺物出土状況（西から）
PL. 8	2区中南部、3・4区南部全景（西から）	135号住P1遺物出土状況（北から）
	2区中南部、3・4区南部全景（北から）	135号住掘り方全景（南から）
PL. 9	123号住カマド全景（南から）	135号住カマド掘り方全景（西から）
	123号住掘り方全景（南から）	138号住全景（南から）
	123号住掘り方全景（東から）	138号住カマド全景（西から）
	124号住全景（南から）	138号住掘り方全景（西から）
	124号住カマド全景（南から）	140・142・200号住全景（南から）
	124号住掘り方全景（東から）	PL.13 140号住西部遺物出土状況（北から）
	127号住西壁際遺物出土状況（東から）	141号住全景（東から）
	127号住掘り方全景（南から）	143号住全景（南から）
PL.10	128号住全景（南から）	143号住カマド全景（西から）
	129号住遺物出土状況全景（西から）	143号住掘り方全景（西から）
	129号住北西部遺物出土状況（南から）	143号住カマド掘り方全景（西から）

	146 号住全景 (西から)		161 号住掘り方全景 (南から)
	146 号住掘り方全景 (南から)		161 号住カマド掘り方全景 (西から)
PL.14	149 号住遺物出土状況全景 (南から)		162 号住全景 (南から)
	149 号住北東部遺物出土状況 (北から)	PL.21	162 号住カマド全景 (南から)
	149 号住北東部遺物出土状況 (南から)		162 号住掘り方全景 (南から)
	149 号住北東部遺物出土状況 (東から)		162 号住カマド掘り方全景 (南から)
	149 号住北東部遺物出土状況 (西から)		163 号住南東部遺物出土状況 (西から)
	149 号住炭化材出土状況 (西から)		163 号住南西部遺物出土状況 (北から)
	149 号住炭化材出土状況 (西から)		164 号住全景 (南から)
	149 号住全景 (南から)		164 号住全景 (西から)
PL.15	149 号住全景 (西から)		165 号住全景 (西から)
	149 号住北カマド全景 (南から)	PL.22	165 号住東部遺物出土状況 (西から)
	149 号住東カマド全景 (西から)		165 号住掘り方全景 (西から)
	149 号住掘り方全景 (西から)		166 号住全景 (南から)
	149 号住掘り方全景 (南から)		166 号住カマド全景 (西から)
	149 号住北カマド掘り方全景 (南から)		166 号住掘り方全景 (西から)
	151 号住全景 (西から)		166 号住カマド掘り方全景 (西から)
	151 号住カマド全景 (西から)		167 号住全景 (南から)
PL.16	151 号住掘り方全景 (南から)		168 号住全景 (東から)
	152 号住全景 (南から)	PL.23	169 号住遺物出土状況全景 (西から)
	152・164 号住掘り方全景 (西から)		169 号住全景 (西から)
	155 号住粘土残存状況全景 (西から)		169 号住カマド全景 (西から)
	155 号住全景 (西から)		169 号住掘り方全景 (西から)
	155 号住掘り方全景 (西から)		169 号住カマド掘り方全景 (西から)
	156 号住遺物出土状況全景 (南から)		171 号住遺物出土状況全景 (東から)
	156 号住全景 (南から)		171 号住全景 (東から)
PL.17	156 号住カマド全景 (南から)		171 号住カマド全景 (南から)
	156 号住掘り方全景 (南から)	PL.24	172 号住全景 (南から)
	156 号住カマド掘り方遺物出土状況 (南から)		173・163 号住遺物出土状況全景 (西から)
	156 号住カマド掘り方全景 (南から)		173 号住カマド遺物出土状況 (東から)
	157 号住全景 (南から)		173 号住全景 (西から)
	157 号住カマド全景 (西から)		173 号住カマド全景 (西から)
	157 号住掘り方全景 (南から)		173 号住掘り方全景 (西から)
	157 号住カマド掘り方全景 (西から)		173 号住カマド掘り方全景 (西から)
PL.18	158 号住遺物出土状況全景 (西から)		174 号住全景 (南から)
	158 号住全景 (西から)	PL.25	174 号住東部遺物出土状況 (西から)
	158 号住南東部遺物出土状況 (北から)		174 号住北東部遺物出土状況 (東から)
	158 号住カマド全景 (西から)		174 号住掘り方全景 (南から)
	158 号住掘り方全景 (西から)		174 号住カマド掘り方全景 (南から)
	158 号住カマド掘り方全景 (西から)		175 号住全景 (西から)
	159 号住遺物出土状況全景 (西から)		175 号住カマド全景 (西から)
	159 号住中南部遺物出土状況 (東から)		175 号住掘り方全景 (南から)
PL.19	159 号住全景 (西から)		175 号住カマド掘り方全景 (西から)
	159 号住カマド全景 (西から)	PL.26	176 号住全景 (南から)
	159 号住掘り方全景 (西から)		176 号住カマド全景 (南から)
	159 号住カマド掘り方全景 (西から)		176 号住掘り方全景 (南から)
	160 号住全景 (東から)		176 号住カマド掘り方全景 (南から)
	160 号住カマド全景 (東から)		177 号住全景 (南から)
	160 号住掘り方全景 (東から)		178 号住全景 (西から)
	160 号住カマド掘り方全景 (東から)		178 号住カマド全景 (西から)
PL.20	161 号住遺物出土状況全景 (西から)		178 号住掘り方全景 (西から)
	161 号住土師器甕出土状況 (北から)	PL.27	178 号住カマド掘り方全景 (西から)
	161 号住全景 (西から)		179 号住全景 (南から)
	161 号住カマド全景 (西から)		180 号住遺物出土状況全景 (南から)
	161 号住カマド全景 (西から)		180 号住全景 (南から)

	180 号住カマド全景（南から）		404 号住全景（南から）
	180 号住掘り方全景（南から）		404 号住掘り方全景（西から）
	180 号住カマド掘り方全景（南から）		405 号住全景（東から）
	182 号住カマド全景（西から）		406 号住全景（西から）
PL.28	183 号住全景（西から）		406 号住掘り方全景（西から）
	183 号住カマド全景（西から）	PL.35	408 号住全景（北から）
	183 号住掘り方全景（西から）		408 号住カマド全景（西から）
	183 号住カマド掘り方全景（西から）		408 号住掘り方全景（北から）
	184 号住遺物出土状況全景（南から）		409 号住全景（西から）
	184 号住南部遺物出土状況（西から）		409 号住南部遺物出土状況（東から）
	184 号住全景（南から）		409 号住カマド全景（西から）
	184 号住北カマド全景（南から）		409 号住掘り方全景（西から）
PL.29	184 号住掘り方全景（南から）		409 号住カマド掘り方全景（西から）
	184 号住北カマド掘り方全景（南から）	PL.36	410 号住全景（南から）
	184 号住東カマド掘り方全景（西から）		410 号住カマド全景（南から）
	185 号住全景（西から）		410 号住掘り方全景（西から）
	185 号住カマド全景（西から）		410 号住カマド掘り方全景（南から）
	185 号住 P1 全景（北から）		411 号住全景（西から）
	185 号住掘り方全景（西から）		411 号住掘り方全景（西から）
	185 号住カマド掘り方全景（西から）		412 号住全景（東から）
PL.30	186・187 号住全景（南から）		412 号住カマド礫出土状況（西から）
	186 号住カマド全景（西から）	PL.37	412 号住カマド全景（西から）
	186・187 号住掘り方全景（南から）		412 号住カマド掘り方全景（西から）
	186 号住カマド掘り方全景（西から）		413 号住全景（南から）
	187 号住東部遺物出土状況（西から）		413 号住カマド全景（南から）
	187 号住カマド全景（南から）		413 号住掘り方全景（西から）
	187 号住カマド掘り方全景（南から）		414 号住全景（西から）
	188・189 号住全景（南から）		414 号住カマド全景（左旧・右新）（西から）
PL.31	188・189 号住掘り方全景（南から）		414 号住掘り方全景（西から）
	190 号住全景（東から）	PL.38	415 号住全景（西から）
	191 号住全景（東から）		415 号住カマド全景（西から）
	191 号住南壁際遺物出土状況（北から）		415 号住掘り方全景（西から）
	191 号住掘り方全景（南から）		416 号住遺物出土状況全景（西から）
	193・194 号住全景（西から）		416 号住全景（西から）
	193・194 号住掘り方全景（西から）		416 号住北カマド全景（南から）
	195 号住全景（西から）		416 号住東カマド全景（西から）
PL.32	195 号住カマド全景（西から）		416 号住掘り方全景（南から）
	195 号住掘り方全景（南から）	PL.39	416 号住東カマド掘り方全景（西から）
	195 号住カマド掘り方全景（西から）		417 号住粘土残存状況全景（北から）
	198 号住全景（西から）		417 号住全景（北から）
	198 号住カマド遺物出土状況（南から）		417 号住掘り方全景（北から）
	198 号住掘り方全景（南から）		418 号住粘土残存状況全景（南から）
	198 号住カマド掘り方全景（南から）		418 号住粘土残存状況（南から）
	199 号住全景（西から）		418 号住粘土残存状況（東から）
PL.33	199 号住カマド全景（南から）		418 号住全景（東から）
	200 号住カマド全景（西から）	PL.40	418 号住掘り方全景（東から）
	140・142・200 号住掘り方全景（南から）		419 号住全景（西から）
	200 号住カマド掘り方全景（西から）		419 号住掘り方全景（西から）
	401 号住全景（南から）		420 号住遺物出土状況全景（西から）
	401 号住掘り方全景（南から）		420 号住北西部遺物出土状況（西から）
	402 号住全景（北から）		420 号住全景（西から）
	403 号住遺物出土状況全景（南から）		420 号住カマド全景（西から）
PL.34	403 号住全景（南から）		420 号住掘り方全景（西から）
	403 号住カマド全景（西から）	PL.41	420 号住カマド掘り方全景（西から）
	403 号住掘り方全景（南から）		421 号住全景（西から）

	422 号住遺物出土状況全景（北から）		431 号住西部粘土残存状況（北から）
	422 号住中央部遺物出土状況（北から）		431 号住全景（南から）
	422 号住カマド遺物出土状況（西から）		431 号住カマド全景（西から）
	422 号住カマド遺物出土状況（北から）		431 号住掘り方全景（南から）
	422 号住全景（北から）		432 号住全景（南から）
	422 号住カマド全景（西から）		432 号住カマド全景（南から）
PL.42	422 号住 P1 柱痕検出状況（北から）		432 号住掘り方全景（東から）
	422 号住 P2 柱痕検出状況（北から）	PL.49	433 号住全景（北から）
	422 号住掘り方全景（北から）		434 号住遺物出土状況全景（西から）
	423 号住全景（西から）		434 号住東部遺物出土状況（東から）
	423 号住カマド全景（西から）		434 号住全景（西から）
	423 号住掘り方全景（西から）		434 号住カマド全景（西から）
	423 号住カマド掘り方全景（西から）		434 号住掘り方全景（西から）
	424 号住遺物出土状況全景（西から）		434 号住カマド掘り方全景（西から）
PL.43	424 号住全景（西から）		436 号住全景（東から）
	424 号住カマド天井部粘土残存状況（西から）	PL.50	437 号住全景（南から）
	424 号住カマド全景（西から）		437 号住カマド遺物出土状況（西から）
	424 号住掘り方全景（西から）		437 号住カマド全景（西から）
	424 号住カマド掘り方全景（西から）		437 号住掘り方全景（西から）
	425 号住全景（東から）		437 号住カマド掘り方全景（西から）
	425 号住カマド全景（煙道部掘り下げ前）（東から）		438 号住全景（西から）
	425 号住カマド全景（煙道部掘り下げ後）（東から）		438 号住カマド全景（西から）
PL.44	425 号住貯蔵穴全景（東から）		438 号住掘り方全景（西から）
	425 号住掘り方全景（東から）	PL.51	438 号住カマド掘り方全景（西から）
	425 号住カマド掘り方全景（東から）		439 号住全景（南から）
	426 号住遺物出土状況全景（北から）		439 号住 D4 遺物出土状況（東から）
	426 号住北西部遺物出土状況（北から）		439 号住掘り方全景（南から）
	426 号住北東部遺物出土状況（北から）		440 号住全景（北から）
	426 号住カマド遺物出土状況（西から）		440 号住掘り方全景（北から）
	426 号住全景（北から）		441 号住全景（東から）
PL.45	426 号住カマド全景（西から）		441 号住カマド全景（東から）
	426 号住掘り方全景（北から）	PL.52	441 号住掘り方全景（東から）
	427 号住全景（北から）		441 号住カマド掘り方全景（東から）
	427 号住カマド全景（西から）		442 号住遺物出土状況全景（南から）
	427 号住掘り方全景（北から）		442 号住全景（南から）
	427 号住カマド掘り方全景（西から）		442 号住カマド全景（南から）
	428 号住遺物出土状況全景（北から）		442 号住カマド遺物出土状況（南から）
	428 号住全景（北から）		442 号住掘り方全景（南から）
PL.46	428 号住カマド全景（天井部掘り下げ前）（南から）		442 号住カマド掘り方全景（南から）
	428 号住カマド全景（天井部掘り下げ後）（南から）	PL.53	443 号住遺物出土状況全景（東から）
	428 号住掘り方全景（北から）		443 号住北東部遺物出土状況（西から）
	429 号住全景（南から）		443 号住全景（東から）
	429 号住カマド全景（南から）		443 号住掘り方全景（東から）
	429 号住カマド全景（南から）		444 号住全景（東から）
	429 号住北西部遺物出土状況（東から）		445 号住全景（南から）
	429 号住南西部遺物出土状況（東から）		446 号住全景（西から）
PL.47	429 号住 P9 全景（南から）		446 号住カマド全景（西から）
	429 号住掘り方全景（南から）	PL.54	446 号住カマド掘り方全景（西から）
	429 号住カマド掘り方全景（南から）		449 号住遺物出土状況全景（南から）
	430 号住遺物出土状況全景（西から）		449 号住南部遺物出土状況（南から）
	430 号住全景（西から）		449 号住東部遺物出土状況（北から）
	430 号住カマド全景（西から）		449 号住全景（南から）
	430 号住掘り方全景（西から）		449 号カマド住全景（南から）
	430 号住カマド掘り方全景（西から）		449 号住壁溝工具痕残存状況（東から）
PL.48	431 号住粘土残存状況全景（南から）		449 号住カマド全景（袖掘り下げ後）（南から）

PL.55	449 号住カマド前遺物出土状況（南から） 449・451 号住掘り方全景（南から） 449 号住カマド掘り方全景（南から） 450 号住遺物出土状況全景（東から） 450 号住全景（東から） 450 号住カマド遺物出土状況（東から） 450 号住カマド全景（東から） 450 号住掘り方全景（東から）		
PL.56	450 号住カマド掘り方全景（東から） 452 号住全景（南から） 452・458 号住掘り方全景（南から） 453 号住遺物出土状況全景（南から） 453 号住全景（南から） 453 号住カマド全景（南から） 453 号住カマド袖粘土残存状況（南から） 453 号住掘り方全景（南から）		
PL.57	454 号住遺物出土状況全景（西から） 454 号住・推定東山道駅路南側溝重複状況（北から） 454 号住全景（西から） 454 号住カマド全景（西から） 454 号住掘り方全景（西から） 454 号住カマド掘り方全景（西から） 455 号住遺物出土状況全景（西から）		
PL.58	455 号住全景（西から） 455 号住カマド全景（西から） 455 号住掘り方全景（西から） 457 号住全景（南から） 457 号住カマド全景（西から） 457 号住掘り方全景（南から） 463 号住全景（南から） 463 号住掘り方全景（西から）		
PL.59	465・466 号住全景（北から） 467 号住全景（北から） 468 号住全景（北から） 468 号住掘り方全景（北から） 469 号住全景（北から） 470 号住全景（北から） 470 号住掘り方全景（北から） 471 号住全景（北から）		
PL.60	471 号住掘り方全景（南から） 473 号住全景（南から） 474 号住全景（南から） 474 号住掘り方全景（南から） 476 号住全景（西から） 476 号住カマド全景（西から） 476 号住掘り方全景（西から） 476 号住カマド掘り方全景（西から）		
PL.61	489 号住遺物出土状況全景（南から） 489 号住全景（南から） 489 号住カマド遺物出土状況（南から） 489 号住カマド全景（南から） 489 号住掘り方全景（南から） 490 号住全景（東から） 490 号住カマド全景（東から）		
		490 号住掘り方全景（東から）	
		PL.62	491 号住全景（東から） 491 号住北西部遺物出土状況（南から） 491 号住カマド全景（南から） 491 号住掘り方全景（東から） 491 号住カマド掘り方全景（南から） 492 号住遺物出土状況全景（南から） 492 号住全景（西から） 492 号住カマド全景（西から）
		PL.63	492 号住掘り方全景（西から） 492 号住カマド掘り方全景（西から） 493 号住全景（西から） 493 号住カマド全景（西から） 493 号住掘り方全景（西から） 493 号住カマド掘り方全景（西から） 494 号住全景（南から） 494 号住カマド全景（南から）
		PL.64	494 号住掘り方全景（南から） 494 号住カマド掘り方全景（南から） 495 号住全景（北から） 495 号住掘り方全景（北から） 496 号住全景（南から） 496 号住カマド全景（南から） 496 号住掘り方全景（南から） 496 号住カマド掘り方全景（南から）
		PL.65	497 号住遺物出土状況全景（南から） 497 号住全景（南から） 497 号住カマド全景（南から） 497 号住掘り方全景（南から） 497 号住カマド掘り方全景（南から） 497 号住カマド掘り方全景（南から） 498 号住遺物出土状況全景（東から） 498 号住北東部遺物出土状況（西から） 498 号住カマド天井部甕出土状況（東から）
		PL.66	498 号住全景（東から） 498 号住カマド袖部甕出土状況（東から） 498 号住掘り方全景（東から） 498 号住カマド掘り方全景（東から） 513 号住遺物出土状況全景（西から） 513 号住全景（西から） 513 号住カマド全景（西から） 513 号住掘り方全景（西から）
		PL.67	513 号住カマド掘り方全景（西から） 514 号住遺物出土状況全景（西から） 514 号住全景（西から） 514 号住カマド遺物出土状況全景（西から） 514 号住カマド焼部遺物出土状況（西から） 514 号住カマド遺物出土状況（北から） 514 号住カマド全景（西から） 514 号住掘り方全景（西から）
		PL.68	514 号住カマド掘り方全景（西から） 515 号住全景（西から）
		PL.68	515 号住カマド全景（西から） 515 号住掘り方全景（西から） 515 号住カマド掘り方全景（西から） 516 号住遺物出土状況全景（南から）

	516 号住全景（南から）		13 号掘立柱建物全景（西から）
	516 号住カマド全景（南から）		14・15 号掘立柱建物全景（南から）
PL.69	516 号住掘り方全景（南から）		17 号掘立柱建物全景（南から）
	516 号住カマド掘り方全景（南から）	PL.76	18 号掘立柱建物全景（北西から）
	517 号住全景（北から）		19 号掘立柱建物全景（南から）
	517 号住掘り方全景（北から）		20 号掘立柱建物全景（西から）
	519 号住遺物出土状況全景（東から）		24 号掘立柱建物全景（南から）
	519 号住全景（東から）		17 号溝全景（南から）
	519 号住カマド全景（東から）		17 号溝遺物出土状況（北から）
	519 号住掘り方全景（東から）		18 号溝全景（北から）
PL.70	520 号住全景（南から）		19 号溝全景（北から）
	520 号住掘り方全景（南から）	PL.77	331 号土坑遺物出土状況（南から）
	522 号住遺物出土状況全景（東から）		331 号土坑全景（南から）
	522 号住北壁際ハソウ出土状況（南から）		332 号土坑全景（北から）
	522 号住カマド全景（東から）		337 号土坑全景（北から）
	522 号住掘り方全景（東から）		352 号土坑全景（北から）
	522 号住カマド掘り方全景（東から）		354 A 号土坑全景（北から）
	524 号住遺物出土状況全景（南から）		355 A 号土坑全景（北から）
PL.71	524 号住全景（南から）		356 号土坑全景（東から）
	524 号住北カマド遺物出土状況（南から）	PL.78	364 号土坑全景（西から）
	524 号住西カマド遺物出土状況（東から）		365 号土坑全景（南から）
	524 号住北カマド全景（南から）		366 号土坑全景（東から）
	524 号住西カマド全景（東から）		378 号土坑全景（北から）
	524 号住掘り方全景（南から）		381 号土坑全景（北から）
	524 号住北カマド掘り方全景（南から）		382 号土坑全景（南から）
	524 号住西カマド掘り方全景（東から）		383 号土坑全景（南から）
PL.72	525 号住全景（南から）		384 号土坑全景（南から）
	525 号住掘り方全景（南から）	PL.79	385 号土坑全景（西から）
	528 号住全景（北から）		386 号土坑全景（南から）
	528 号住掘り方全景（北から）		387 号土坑全景（東から）
	532 号住全景（西から）		388 号土坑全景（北から）
	535 号住遺物出土状況全景（南から）		396 号土坑全景（北東から）
	535 号住全景（南から）		397 号土坑全景（北東から）
	535 号住カマド全景（南から）		399 号土坑全景（南から）
PL.73	535 号住掘り方全景（南から）		405・425・427 号土坑全景（南から）
	535 号住カマド掘り方全景（南から）	PL.80	415 号土坑全景（東から）
	536 号住全景（東から）		421 号土坑全景（東から）
	536 号住掘り方全景（西から）		422 号土坑全景（南から）
	539 号住遺物出土状況全景（西から）		423 号土坑全景（南から）
	539 号住全景（西から）		424 号土坑全景（東から）
	539 号住カマド全景（南から）		428 号土坑全景（西から）
	539 号住掘り方全景（南から）		429 号土坑全景（南から）
PL.74	539 号住カマド掘り方全景（南から）		430 号土坑全景（東から）
	540 号住全景（東から）	PL.81	433 号土坑ローム残存状況（西から）
	540 号住掘り方全景（東から）		433 号土坑遺物出土状況（東から）
	541 号住全景（東から）		433 号土坑全景（北から）
	541 号住掘り方全景（東から）		434 号土坑ローム残存状況（北東から）
	543 号住全景（西から）		434 号土坑遺物出土状況（南から）
	544 号住遺物出土状況全景（南から）		434 号土坑全景（北から）
	544 号住全景（南から）		435 号土坑全景（東から）
PL.75	544 号住カマド全景（南から）		436 号土坑全景（東から）
	544 号住掘り方全景（南から）	PL.82	439 号土坑全景（南から）
	544 号住カマド掘り方全景（南から）		440 号土坑全景（北から）
	8・12 号掘立柱建物全景（東から）		442 号土坑全景（東から）
	9 号掘立柱建物全景（東から）		443 号土坑全景（南から）

	444 号土坑全景 (南から)		712 号土坑全景 (西から)
	445 号土坑全景 (南から)		584 号ピット全景 (南から)
	446 号土坑全景 (南から)		585 号ピット全景 (南から)
	452 号土坑全景 (南から)		595 号ピット全景 (南から)
PL.83	453 号土坑全景 (南から)		2051 号ピット全景 (東から)
	454 号土坑全景 (西から)	PL.90	2058 号ピット全景 (南から)
	455 号土坑全景 (南から)		2063 号ピット全景 (北から)
	456 号土坑全景 (南から)		2090 号ピット遺物出土状況 (東から)
	459 号土坑全景 (南から)		2090 号ピット全景 (北から)
	460 号土坑遺物出土状況 (東から)		2111 号ピット遺物出土状況 (東から)
	460 号土坑全景 (北から)		2111 号ピット下層遺物出土状況 (北から)
	461 号土坑ローム残存状況 (北から)		2111 号ピット全景 (西から)
PL.84	461 号土坑全景 (東から)		2126 号ピット全景 (北西から)
	462 号土坑全景 (西から)	PL.91	2173 号ピット礫出土状況 (東から)
	463 号土坑全景 (西から)		2176 号ピット全景 (東から)
	464 号土坑全景 (南から)		2302 号ピット全景 (東から)
	466 号土坑上層遺物出土状況 (南から)		2389 号ピット全景 (南から)
	466 号土坑全景 (北東から)		2390 号ピット全景 (南から)
	466 号土坑下層遺物出土状況 (東から)		2471 号ピット礫出土状況 (南から)
	467 号土坑全景 (南から)		2760 号ピット全景 (西から)
PL.85	475 号土坑全景 (北から)		2786 号ピット柱痕検出状況 (西から)
	477 号土坑全景 (東から)	PL.92	2812 号ピット全景 (南から)
	479 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路北側溝 310-840G 付近遺物出土状況 (東から)
	572 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路北側溝 310-840G 付近遺物出土状況 (東から)
	581 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路北側溝東端部全景 (西から)
	589 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路北側溝 335-990G 付近遺物出土状況 (東から)
	590 号土坑遺物出土状況 (東から)		推定東山道駅路北側溝 335-000G 付近遺物出土状況 (西から)
	590 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路北側溝 330-990～000G 遺物出土状況 (東から)
PL.86	592 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路北側溝 330-970G 硬化面検出状況 (西から)
	596 号土坑全景 (西から)	PL.93	推定東山道駅路北側溝 335-990G 付近遺物出土状況 (南西から)
	599 号土坑遺物出土状況 (北から)		推定東山道駅路北側溝 330-980G 付近全景 (西から)
	599 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路北側溝 335-990 付近遺物出土状況 (南から)
	616 号土坑全景 (西から)		推定東山道駅路北側溝 310-850G 付近全景 (東から)
	618 号土坑全景 (西から)		推定東山道駅路北側溝 320-920G 付近硬化面検出状況 (北から)
	618 号土坑遺物出土状況 (南から)		推定東山道駅路北側溝 325-940G 付近遺物出土状況 (南から)
	630 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路北側溝 325-930G 付近遺物出土状況 (南から)
PL.87	645 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路北側溝 325-920G 付近遺物出土状況 (北から)
	650 号土坑全景 (南から)	PL.94	推定東山道駅路北側溝 330-950G 付近遺物出土状況 (西から)
	653 号土坑遺物出土状況 (南から)		推定東山道駅路北側溝 325-920～930G 遺物出土状況 (東から)
	653 号土坑全景 (西から)		推定東山道駅路北側溝 330-960G 付近全景 (西から)
	654 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路北側溝 325-930G 付近遺物出土状況 (東から)
	669 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路北側溝全景 (西から)
	670 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路北側溝 330-960G 付近遺物出土状況 (北から)
	671 号土坑全景 (西から)		推定東山道駅路北側溝 330-960G 付近円面硯出土状況 (北から)
PL.88	674 号土坑全景 (南から)	PL.95	推定東山道駅路南側溝 320-995G 遺物出土状況 (北から)
	675 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路南側溝 315-970～000G 遺物出土状況 (東から)
	676 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路南側溝 320-990～000G 遺物出土状況 (西から)
	677 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路南側溝 315-975G 付近遺物出土状況 (東から)
	682・683 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路南側溝 315-970・980G 遺物出土状況 (東から)
	699 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路南側溝 315-970G 付近遺物出土状況 (東から)
	700 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路南側溝 320-000G 全景 (東から)
	701 号土坑全景 (北から)		推定東山道駅路南側溝 315-950G 須恵器甕出土状況 (西から)
PL.89	704 号土坑全景 (南から)		推定東山道駅路南側溝 315-950G 須恵器甕出土状況 (北から)
	705 号土坑全景 (北から)	PL.96	推定東山道駅路南側溝 310-930G 遺物出土状況 (南から)
	709 号土坑全景 (東から)		推定東山道駅路南側溝 310-930G 遺物出土状況 (東から)

- 推定東山道駅路南側溝 310-945G 馬歯出土状況（東から）
推定東山道駅路南側溝中西部遺物出土状況全景（西から）
推定東山道駅路南側溝 310-930～940G 遺物出土状況（西から）
推定東山道駅路南側溝中西部遺物出土状況全景（東から）
推定東山道駅路南側溝 310-930G 遺物出土状況（北から）
推定東山道駅路南側溝 305-890G 遺物出土状況（北から）
PL.97 推定東山道駅路南側溝 305-890G 遺物出土状況（北から）
推定東山道駅路南側溝 305-890G 付近遺物出土状況（西から）
推定東山道駅路南側溝 305-880～890G 遺物出土状況（東から）
推定東山道駅路南側溝 320-000G 遺物出土状況（西から）
推定東山道駅路南側溝全景（西から）
推定東山道駅路北側溝全景（東から）
推定東山道駅路中東部全景（西から）
推定東山道駅路中東部全景（西から）
PL.98 推定東山道駅路中東部全景（上空から）
推定東山道駅路西部全景（上空から）
PL.99 推定東山道駅路中部全景（上空から）
推定東山道駅路東部全景（上空から）
PL.100 推定東山道駅路中東部全景（東から）
推定東山道駅路中東部全景（東から）
PL.101 推定東山道駅路中東部全景（西から）
推定東山道駅路全景（西から）
PL.102
～ 160 大道東遺跡出土遺物写真

I 発掘調査の実施と経過

1 調査に至る経緯と調査の経過

(1) 調査に至る経緯

北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設に伴う伊勢崎インターチェンジから栃木県境までの17.7kmの発掘調査が開始されたのは平成12年度である。平成12年6月、日本道路公団、群馬県土木部、群馬県教育委員会、財団法人群馬埋蔵文化財調査事業団の4者による協議において、道路公団から橋梁下部工事等の工事優先区間の一部について、平成12年8月から発掘調査実施の要請があった。これを受けて当事業団は用地解決状況、残土置場の確保、側道と本線の調査地区分の検討等、調査実施への準備を進めた。平成12年8月1日、日本道路公団、群馬県教育委員会、当事業団の3者による「北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定書」を締結し、また、協定書に基づく公団と事業団による平成12年度発掘調査の契約が結ばれ、発掘調査は伊勢崎市書上遺跡から着手となった。

大道東遺跡の過去の発掘調査に関しては、昭和41年駒沢大学が、金山丘陵における鉄生産に関連する遺跡の調査、研究の一環として、北関東自動車道事業地の南近接地において発掘調査を実施している。この発掘で奈良平安時代の竪穴住居跡3軒等を調査した。以後昭和46年の群馬県文化財地図に搭載されるなど、縄文、弥生、古墳時代の集落遺跡として周知され、また北関東自動車道事業地にかかる本発掘区は平成8年度の協議により大道東遺跡に含められることが確認された。

本遺跡の調査実施については平成15年度事業の開始後の発掘事業工程の変更調整において、当年度に発掘調査を実施することとなった。金山以東の本事業区間では、用地取得が比較的進んでいた大道西遺跡において、平成14年度に通年の調査が実施されていた。平成15年度当初計画では、県道太田桐生線との立体交差のための架橋工事エリアである大道西遺跡の調査実施を予定していた。県道西側沿道の未収去住宅地の解決を見込んでの計画であった。しかし平成15年度事業を開始した段階で、大道西遺跡の用地解決の見込みがたたない中で、県

道を挟んで東に隣接する、大道東遺跡の用地取得が進み、この取得済み事業地の調査実施が道路公団から要請された。発掘調査は平成15年7月1日から着手することとなった。なお、太田桐生線の架橋工事エリアは平成15年度内に用地解決が進まなかったため、この発掘は次年度に実施することとなった。

(2) 発掘調査の経過

調査は、平成15年に開始された。まず、7月に、調査区全面にトレンチを入れ、範囲確認調査を行った。その結果、全面から遺構が多数検出されたため、次年度調査事務所建設予定地である、3・4区北部(3区-①・4区-①-1)から表土掘削を開始した。表土掘削後遺構調査を開始し、竪穴住居・土坑等を調査した。遺構調査が終了した時点で空撮を行い、その後縄文包含層と考えられる黒色土が3区東部から4区にかけて存在していたため、それを人力で掘削し記録した。また、ロームの残りの良い部分で旧石器の試掘を行ったが、遺構・遺物は検出されなかったため調査を終了し、次年度調査事務所建設地部分は埋め戻した。

平成16年度は、2班体制で調査を行った。まず前年度調査した3区北部(3区-①)の続きから4区北部・東部(4区-①-1・4区-①-2・4区-②-1)にかけて調査し、その後4区南部(4区-②-2)・3区南部(3区-②-1)に向かって調査を進めていった。しかしながら、道路公団から西端部の太田桐生線の架橋工事エリア部分を優先して調査してほしい旨の話があったため、3・4区の調査と並行して、進入路となる2区北部(2区-①)、架橋工事エリアである1区西部(1区-①-1・1区-②-2・1区-②-3・1区-③)の順に調査を進めることとした。3・4区は調査途中の遺構のみ終了させて、1・2区の調査を優先した。2区-①は8月下旬から表土掘削を行い、9月上旬に遺構調査に入った。重複が激しく調査面積に比して時間がかかったが、12月中旬に空撮を行い、調査を終了して埋め戻して進入路とした。1区は11月下旬から2区と並行して調査に入った。架橋工事エリアを優先して調査し2月上旬に

I 発掘調査の実施と経過



第1図 遺跡位置図 (国土地理院 地勢図 1:200,000「宇都宮」使用)



第2図 調査区位置図（太田市 1/2,500 地形図を縮小して使用）

I 発掘調査の実施と経過

空撮を行った。その後旧石器の試掘を行ったが、遺構・遺物は検出されなかったため調査を終了した。空撮後は引き続き東に向かい、2区南部(2区-②・③)の調査を進めた。

平成17年度も2班体制で調査を行った。前年度調査途中の、2区南部(2区-②・③)から、3・4区南部(3区-②-2・3区-②-1・4区-②-1)にかけての区域を調査した。空撮は7月下旬に行い、遺構調査終了後は旧石器の試掘を行ったが、遺構・遺物は検出されなかったため、9月16日で遺跡全域の調査を終了した。その後9月下旬に埋め戻しを行った。

(3) 整理作業の経過

整理作業は平成19年8月から開始され、平成22年9月まで行った。縄文時代～近世の複合遺跡であり、特に縄文と古墳～平安の遺物、遺構が多く検出されているため、縄文時代と弥生時代以降を分けて整理し、調査報告書もそれぞれの分冊とした。整理期間は延べ74ヶ月で、その内縄文時代が12ヶ月で弥生時代遺構が62ヶ月である。

平成19年度は1班体制で、弥生時代以降の整理を行った。平成20年度は、2班体制となり、1班は弥生時代以降、1班は縄文時代の整理を行い、縄文時代は報告書を刊行した(第1分冊)。平成21・22年度はすべて弥生時代以降の整理作業で、平成21年度に1冊(第2分冊、3・4区の弥生時代以降)、平成22年度に1冊第3分冊、1・2区の弥生時代以降)報告書を刊行する。

弥生時代以降の整理作業は、平成19年度に、3・4区竪穴住居の一部の接合・復元作業および遺構図面修正作業を行った。平成20年度は、3・4区の残りの接合・復元作業および遺物実測作業を途中まで行い、遺構図の修正・トレース・編集作業も行った。平成21年度は、引き続き、3・4区の遺物実測・トレース作業、遺構図編集作業を行い、図版を作成して報告書(第2分冊)を刊行した。図版はすべてデジタルで作成し、報告書の入稿もデジタルで行った。並行して1・2区の接合・復元作業、遺物実測・トレース作業および遺構図面修正・トレース作業も行った。平成22年度は、1・2区の遺構図編集作業を行い、図版を作成して報告書(第3分冊)を刊行した。

2 調査の方法

(1) 調査区の設定

現道や畑の地境等を境界として西から東に向かって1～4区の大区画を設定し、調査順序等から各区を細分し、1区-①～③、2区-①～③、3区-①・②、4区-①・②を設定した。調査が進むにしたがい、調査の優先順によりさらに細かい区画が必要になり、1区-①-1・2、1区-②-1～3、3区-②-1・2、4区-①-1・2、4区-②-1・2を追加設定した。ただし、調査区は調査の便宜上のもので、遺構番号はすべて遺跡の通し番号でつけている。

(2) グリッド設定

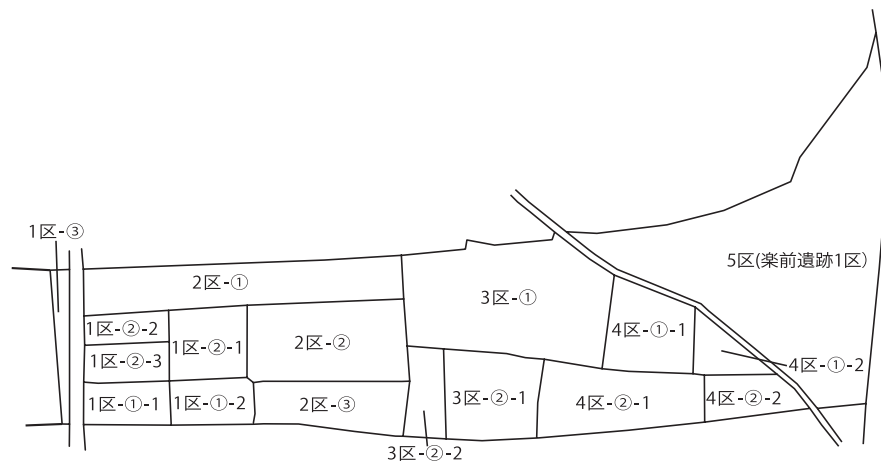
日本平面直角座標(国家座標)を基準とし、X軸Y軸ともに国家座標の下3桁の値を用い、X軸-Y軸の順に併記し、その南東隅のポイント名をグリッド名とした(例350-850)。最小単位は1mであるが、方眼杭や遺物取り上げなどは5mグリッド(下一桁0、5)を用いた。

(3) 遺構の調査

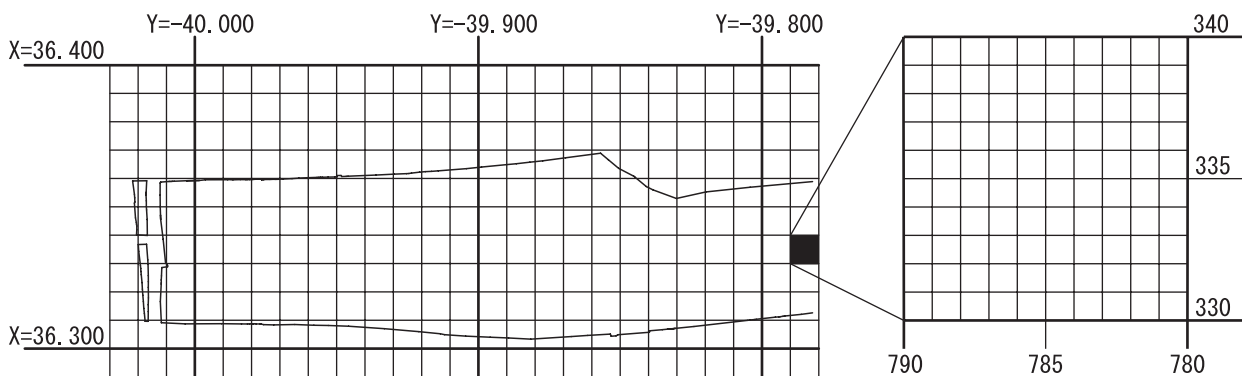
表土は重機で除去した。その後遺構確認作業を行い、確認後遺構を掘り下げた。遺構番号は調査区に関係なく通し番号とし、遺構にならなかった物は欠番とした。また番号が重複した遺構はアルファベットの大文字を番号の後に付けて区別した。写真撮影は、6×7・6×6白黒、35mm白黒、35mmカラーリバーサルの種類を基本とした。全景写真についてはラジコンヘリによる空中撮影を行った。測量は、断面図を手実測で行い、平面図は業者委託で電子平板によるデジタル測量とした。遺構調査終了後ロームの残っていた部分で旧石器の試掘を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

(4) 遺物の整理

遺物は洗浄後、遺跡略号(KT-690)、調査区、調査面、遺構名・グリッド名等、遺物No.を記入した。



第3図 調査区設定図



第4図 グリッド設定図

3 基本土層

本遺跡には浅い埋没谷が2ヶ所ある。1ヶ所が940ライン(2区)を南北方向に、残る1ヶ所が4区と5区の境を北西-南東方向に抜けるものであった。その存在については発掘初期段階から明らかであったが、発掘時において、これについて特に注意は払われなかったようである。これらについて仔細に見ると、西側の埋没谷(940ライン)は遺跡の南に広がる台地斜面部に連なるように見え、東側埋没谷は調査区内に谷頭があるように見えるが、後者については、南から俯瞰して見ると、その方向は北西方向に走る農道に一致するようでもあり、少なくとも何某か地形の変換点を示唆しているようにも見える。これについて、これ以上の言及はデータが不足しており言及できないが、旧石器試掘時に作成した土層

図から見る限り、西側埋没谷は旧河道の凹凸、東側埋没谷は異なる時期の段丘面を示唆しているようである。以下に、遺跡の基本土層を説明する。

まず、最初に遺跡の基本土層(第5図)を図示した。作図位置は調査区西端に近い台地頂部(310-990G)で、遺構確認面より下を作図した。1層~2層が黒ボク土、3層~9層がローム層、10層より下位が河川性堆積物となるようである。1~4区の土層堆積は基本的には同様であるが、第6図に明らかなように微妙に異なり、単なる風成堆積のロームとすることは難しいようである。

続いて、西側窪地を挟んで310ライン付近で3地点、これに連続するよう330ラインで2地点の土層図(第6図)を配置した。各地点とも河川性の堆積物がベースとなり、地点毎の対比が難しく、浅間板鼻軽石層(As-YP)と河川性堆積層のみ対比が可能な状況である。

I 発掘調査の実施と経過

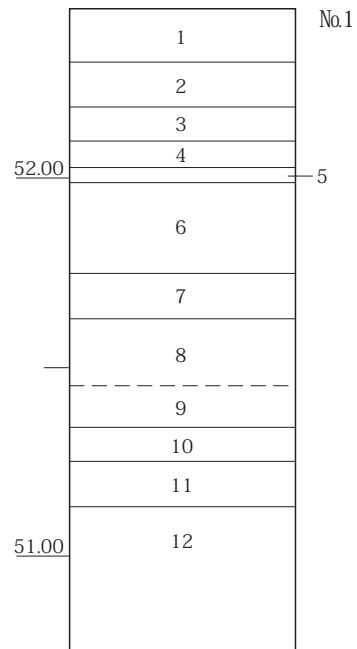
所見には砂礫層と記載されている地点もあるようだが、途中シルト層に砂礫層が介在する地点もあり、扇状地礫層については未確認であるというべきだろう。その他の傾向としては No. 3 地点以西ではシルトと砂質土の互層堆積、同地点より東では砂礫の混じる砂質土が堆積したようである。No. 6 地点については、As - YP が堆積せず、4 層より下位は典型的な河川堆積物であり、砂礫層については確認されていないようである。

以上、本遺跡の基本土層を説明した。発掘調査では旧石器を対象として75ヶ所でトレンチ（2m×4m）を設定、試掘を試みた。調査メニューとして全地点で土層を観察しており、所見ではAs-BPは堆積しないとされている。同様な状況は隣接する大道西・楽前両遺跡でも確認されている。本遺跡の所在する東今泉の台地は、従来の地質区分では渡良瀬川扇状地 I 面とされているが、その指標となるAs-BPは堆積しないことが確定的であ

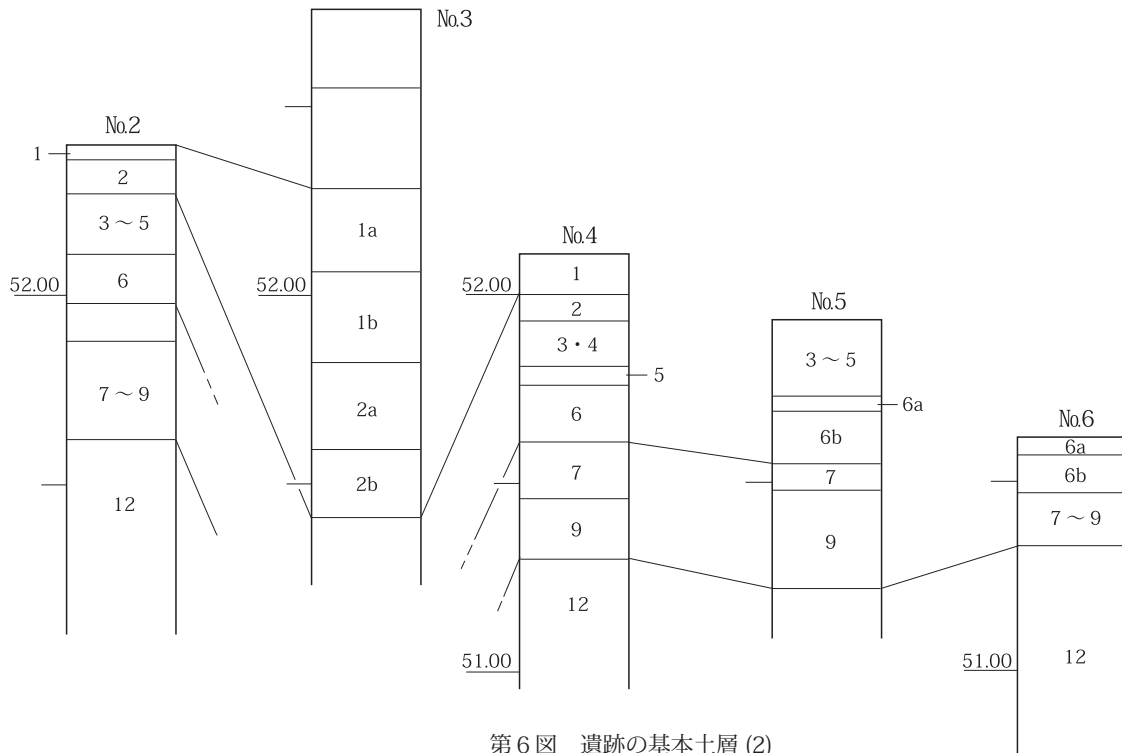
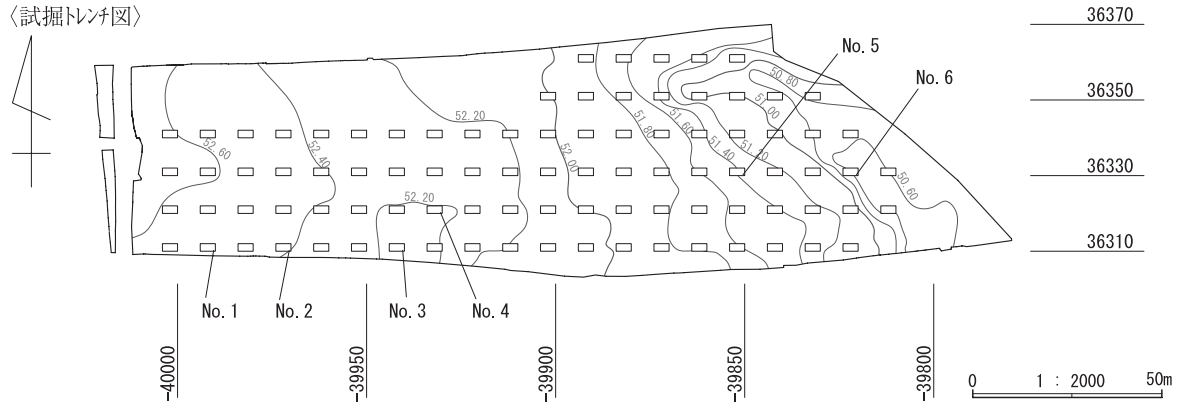
る。このほか、東今泉台地に堆積する可能性のあるテフラとしてはAs-YP(15,000BP)とAs-ok 1(18,000BP)がある。As-ok 1については北関東の発掘では未確認だが、同じ金山丘陵端部の台地に立地する東長岡戸井口遺跡(約3.5km南)では「暗色帯」を切る河川性堆積物の上に同テフラを確認しており、本遺跡周辺域でもほぼ同時期に渡良瀬氾濫原から離水、その後に台地化したものと見られる。As-BP降下期前(22,000BP)、八王子・金山丘陵の西から東へ流路を変えた渡良瀬川が同丘陵東側の台地を部分的に浸食、北関東ルートではその痕跡が八ヶ入遺跡(五ヶ村用水の西側調査区)にあるということなのであろう。おそらく、渡良瀬川は遺跡北方1.5kmの独立丘陵(丸山-子丸山)の間を抜け、金山丘陵端部の台地を浸食していたはずで、これよりやや遅れて東今泉の台地が台地化したことになるのであろう。

< 310 - 990 G >

- 1層 暗褐色土（白色粒子混入） 古代遺構確認面
- 2層 暗褐色土（白色粒子混入、ローム塊を含む）
- 3層 褐色軟質ローム層
- 4層 褐色軟質ローム層
- 5層 褐色硬質ローム層（砂質）
- 6層 As - YP（上層はアッシュ、下層はパミス）
- 7層 褐色砂質ローム層
- 8層 暗褐色軟質ローム層
- 9層 暗褐色軟質ローム層（やや砂質）
- 10層 黄褐色砂質土（砂礫を含む、河川性堆積物）
- 11層 暗褐色粘質土と黄褐色砂質土の互層（河川性堆積物）
- 12層 砂礫層



第5図 遺跡の基本土層(1)



第6図 遺跡の基本土層 (2)

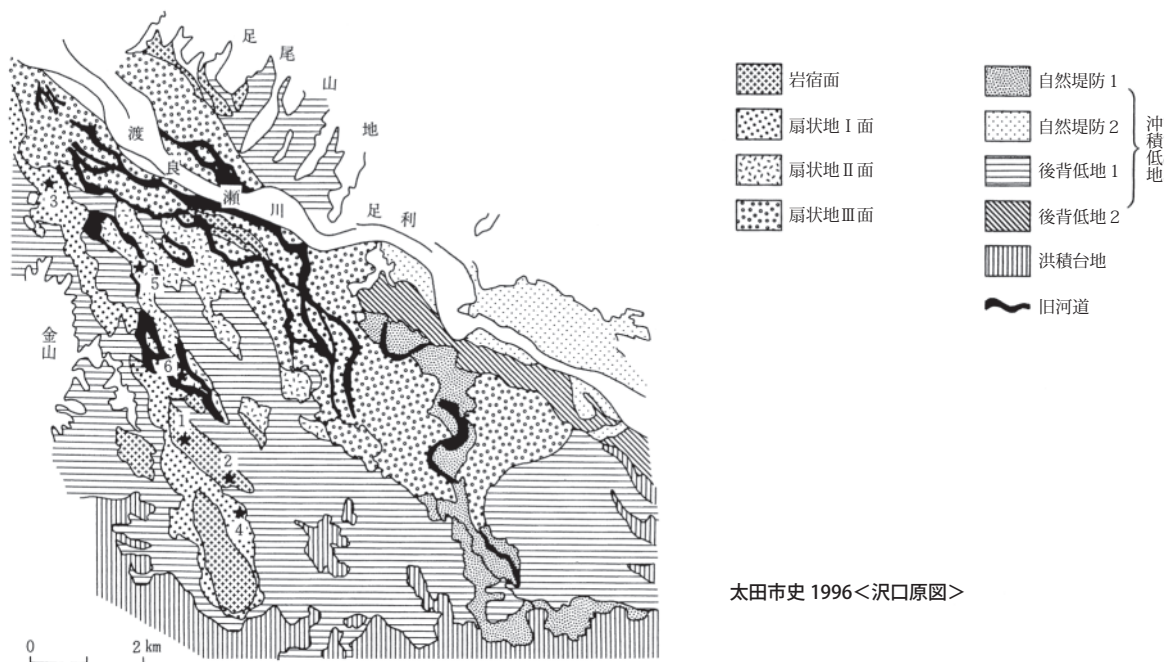
II 周辺環境

1 地理的環境

本遺跡は、栃木県境に近い渡良瀬川扇状地上に立地する。渡良瀬川扇状地は八王子・金山丘陵―足尾山塊に広がる扇状地で、桐生市赤岩橋付近（標高120m）を扇頂部に、太田市下小林から足利市御厨地区（標高30m）を扇端部とする、南北18km・東西7.5kmを測る大規模扇状地である。扇状地はⅠ～Ⅲ面に区分され、最古期のⅠ面が丘陵側に、その東側にⅡ面が、現河道側に扇状地Ⅲ面が広がる。その形成年代はⅠ面がAs-BP降下以前に遡り、Ⅱ面は洪積世末の再堆積ローム、Ⅲ面については完新世の所産（沢口、1996）とされている。この見解に従えば、本遺跡は渡良瀬川扇状地Ⅰ面の台地上に立地することになるが、前述した遺跡の基本土層でも明らかかなように降下テフラの堆積に齟齬が生じており、再検討の余地が生じているようである。これについて若干の私見を述べるなら、太田市八ヶ入遺跡（北関東自動車道関連、未整理）や東長岡戸井口遺跡（住宅団地造成に伴う発掘、事業団報告書第111集）では暗色帯を切る洪積

世の再堆積ローム、及び、その上面のAs-YPを確認しており、より複雑な地形発達が予想されることになり、図の修正の必要は明らかだろう。北関東自動車道は渡良瀬川扇状地を横断、栃木県境に抜けるものであり、その調査成果を総合することにより扇状地の地形発達の詳細が判明、これに遺跡分布を連動させることにより地域発達の様相解明が期待できることになる。北関東自動車道関連の発掘調査では、峯山・萩原・古氷条里制水田・二の宮・八ヶ入・大道西・大道東・楽前・鹿島浦・向矢部・矢部・只上深町・新島・道原の14遺跡が、関連事業に伴い1遺跡（東今泉鹿島遺跡）が発掘調査されている。現在、大部分が未整理であり、調査成果の詳細については今後の整理作業を経て明らかにされるだろうが、以下には事業団年報の記載に従い渡良瀬川扇状地の地理的環境についてその概要を記しておきたい。

渡良瀬川扇状地の地形発達を理解するには、八ヶ入遺跡の基本土層が重要になる。八ヶ入遺跡では、暗色帯以上のローム層が通常堆積した細石刃石器群の出土地点と、それより東の河川性再堆積ロームの堆積地点が存在した。これについては渡良瀬川変流（東遷）に伴う侵食に



第7図 渡良瀬川扇状地の地質区分

よることが確実であり、同様なロームの堆積地点は東長岡戸井口遺跡でも確認されている。これにより同段階の台地が金山丘陵東縁に広がるのが確実となり、太田市竜舞地区の岩宿面（第7図）に続く地形面とすることができる。このほか、特殊事例として萩原遺跡の低湿地を上げることができる。萩原遺跡では、As-BP以下のテフラが埋没泥炭層に挟在、低湿地としての性格が明らかになった。その形成年代については、少なくともHr-HA降下より新しくならないが、渡良瀬東遷前の河川性堆積物（古桐生川？）により出口が塞がれ、低湿地化した可能性が指摘されよう。

扇状地Ⅰ面については、沢口原図に従えば、大道西・大道東2遺跡の所在する東今泉の台地が該当、As-BPが堆積するということになるのであろうが、詳細は明らかでない。As-BPについて言えば県央旧石器遺跡の発掘では同テフラは必ず存在、見慣れていることからみて、あれば気づくはずである。可能性として肉眼観察できるほど堆積していなかったということかもしれないが、テフラ分析が行われていないということが致命的で、結論づけられないのが現状である。太田市史通史編図1-24の3地点ではAs-BPが良好に堆積しており、1.5kmと近距離にある本遺跡周辺で確認されないのは不自然で、これにより複雑な地形発達を想定せざるを得ない。

扇状地Ⅱ面については、矢部遺跡以西が該当する。現河道を流れるようになる前の旧河道については、現在の葦川・矢場川の流路が想定されているが、発掘調査では複数の旧河道が明らかにされており、絶えず流路を変えていたようである。現在の流路についてその変流年代は不明だが、板倉町西岡付近では縄文から古代の遺跡（渡良瀬川河床遺跡）の上を流れており、これと矢部遺跡周辺の遺構検出状況を考え合わせれば、利根川変流と同時期中世後半の変流という可能性も否定できないだろう。

扇状地Ⅲ面については、それとされた地点で縄文から古代の集落が発見されている。扇状地Ⅲ面は足利市市場町付近から百頭町付近まで広がるようであるが、北関東自動車道関連の発掘成果、及び、遺跡分布を見る限り、足利市浅間山付近を境に新旧2分されることになるかもしれない。

遺跡の立地する渡良瀬川扇状地を概観した結果、渡良

瀬川は徐々に東遷したのではなく、途中矢場川付近を流れる段階があり、扇状地Ⅲ面が細分されるだろうことが想定されることとなった。具体的には、足利市浅間山付近から東武線「あがた駅」周辺域を抜け、新时期扇状地を形成する段階がそれで、扇状地地形を良く残している。加えて、本遺跡の所在する東今泉の台地を含む北関東自動車道の路線内には、金山丘陵末端の台地縁辺（古氷条理水田・八ヶ入）を除いてAs-BPの堆積する台地はなく、従来の地形区分を見直す必要が生じている。

本遺跡の所在する東今泉の台地は扇状地Ⅰ面とされているが、As-BPが堆積せず、扇状地Ⅱ面とすべきである。東今泉の台地は遺跡北方2kmの丸山付近から南北に延びる低平な台地で、基本的に緩く南に傾斜する。台地と水田の比高差はわずかであるが、遺跡西端と東端では約2mの高低差があり、東西方向にも緩く傾斜していた。また、遺跡内には浅い埋没谷が2ヶ所に入り込み、縄文期包含層を形成、多量の土器・石器類が出土した。埋没谷の形成要因については不明だが、少なくとも縄文以降の浸食ではないこと、俯瞰して見ると、現地形の変換点に一致していることから、旧河道あるいは形成時期の異なる段丘を示唆するものと理解している。

2 歴史的環境

大道東遺跡は太田市の毛里田地区に存在する。この地区は、渡良瀬川中流右岸に位置し、渡良瀬川と八王子丘陵・金山丘陵に挟まれた地域である。縄文時代以前についての遺跡周辺の歴史的環境は、第1分冊（縄文時代編）において述べているため、ここでは弥生時代以降の、毛里田地区を中心とした遺跡の状況を述べることにする。

（1）弥生時代

太田市域における弥生時代の遺跡は極めて少なく、大道東遺跡周辺では、金山丘陵北東部の小丸山遺跡で遺物の散布が認められるほか、東部の磯之宮遺跡で中期の住居が検出されている程度である。しかしながら、金山丘陵や八王子丘陵周辺や沖積地内の低台地上においては、中期の資料が散見されてきている。

（2）古墳時代

古墳時代前期になると、八王子・金山丘陵西部においては遺跡の分布が急激に増加するが、大道東遺跡周辺では検出例は少ない。集落は、丸山北遺跡で確認されているほか、金山丘陵東部にやや離れて位置する磯之宮・矢場向遺跡や、南東部にやや離れて位置する下小林上遺跡で検出されている。他に東今泉鹿島遺跡で前期末から中期初頭にかけての集落がみられ、竪穴住居11軒がまわって検出されている。他の遺構は、上強戸遺跡群で水田およびそれにとまなう溝等が、古氷条里制水田跡で溝が検出されている。墳墓には古墳と周溝墓があるが、遺跡に近いところでは、古墳は金山丘陵北西部の前方後方墳である寺山古墳があるほか、金山丘陵南部に前方後円墳である八幡山古墳があり、周溝墓は、渡良瀬川沿いの道原遺跡や金山丘陵南東部の細田遺跡で方形周溝墓が見られるが、全体的に遺跡数は少なく、丘陵の西部とは大きく異なっている。

中期以降、遺跡は次第に増加する傾向にあり、後期になると集落が増加するだけでなく、須恵器窯等の生産遺跡が見られるようになり、古墳も多く残るようになる。

中期の集落は前述の東今泉鹿島遺跡や八ヶ入遺跡など、大道東遺跡近辺の遺跡で検出されている。

後期の集落は、八王子丘陵南東裾部、金山丘陵南東部等で見られるが、金山丘陵北東部の大道東および楽前付近に100軒以上住居が集中しており、金山丘陵で開始された須恵器等の生産との関連が窺える。

生産遺跡は、金山丘陵北東部を中心に検出されている。菅ノ沢遺跡、八幡窯跡群、辻小屋窯跡群、亀山須恵器窯跡等、須恵器窯が40基以上確認されており、この時期の一大生産地であったといえよう。操業開始時期は、表採資料等から6世紀前半までさかのぼると考えられるが、大規模に生産されるようになるのは6世紀中ごろ以降で、7世紀前半までの間に丘陵東裾から北裾にかけて集中して30基ほど存在している。7世紀末から8世紀初頭になると、高太郎I遺跡や山去窯跡群等のある丘陵西側に移動して操業しており、この時期に大きく窯場が移動している。八王子丘陵においては、7世紀後半から8世紀前半にかけて萩原窯跡で瓦を生産しており、また、須恵器も出土しているため、瓦陶兼業窯の可能性が考えられている。

古墳は、群集墳が多く築造されるようになる。分布が多いのは、金山丘陵北東部から八王子丘陵南東部にかけての地域や、金山丘陵南東部、金山丘陵南西部、やや離れるが、八王子丘陵南西部等である。金山丘陵北東部では、亀山京塚古墳、家型石棺を有する今泉口八幡山古墳、菅ノ沢御廟古墳、東毛地域唯一の終末期方墳である巖穴山古墳等が集中しており、この時期この地域の中心的な場所であったことが窺え、金山丘陵の窯跡群との関連も考えられる。

（3）奈良平安時代

この時期になると、集落は広範囲で見られるようになる。金山丘陵北東部では、古墳時代後期に楽前、大道東遺跡に限られていた集落が大きく広がり、二の宮、八ヶ入、大道西、東今泉鹿島、鹿島浦、猿楽、向矢部、矢部の各遺跡から、多数の住居が検出されている。他の地域も、基本的には古墳時代後期の集落を踏襲してさらに広がっている状況で、金山・八王子丘陵と渡良瀬川間の大部分で集落が見られるようになっている。

生産遺跡については、金山丘陵において、前代に開始された須恵器生産が引き続き行われている。前述のように7世紀末から8世紀初頭に丘陵西側に窯場が移動して

いると考えられており、高太郎Ⅰ・Ⅲ遺跡や、カニガ沢、大長谷遺跡等で8世紀代も引き続き丘陵西側で操業されていると考えられるが、はっきりした時期のわかる窯跡が少ないため、この時期の様相は判然としない。金山丘陵の北にある八王子丘陵南東部でも須恵器の生産が行われるようになり、前述の萩原窯跡の他、丸山北窯跡、吉沢窯跡群などで須恵器が焼成されている。また、丸山腰巻遺跡では、丘陵ではなく台地を利用して構築された須恵器窯が検出されている。

また、この時期には、鉄生産も開始される。場所は少し離れるが、太田市旧藪塚本町域にある西野原遺跡では、7世紀後半から操業されたと考えられている製鉄遺構（箱型炉4基）が検出されており、八王子丘陵南東部の峯山遺跡からも8世紀前半代の製鉄炉（箱型炉3基）、鍛冶遺構、炭窯が検出されている。金山丘陵北東部でも、菅ノ沢Ⅰ、高太郎Ⅰ・Ⅱ遺跡等で製鉄炉（竪型炉3基）や炭窯が、寺中遺跡で鍛冶遺構が検出されている。

北関東自動車道関連の、八ヶ入、大道西、大道東、鹿島浦の各遺跡からは、古代官道である、東山道駅路と推定される道路跡が検出されている。幅約13mで両側に側溝を持つもので、4遺跡間の約1kmをほぼ直線で結んでいる。東山道駅路は、上野国内では、現在の碓氷峠のあたりから安中を抜け、国府推定地である前橋市元総社町付近まで直線的に進むルート（国府ルート）と、発掘調査により確認された、国府ルートの南約5kmのルート（牛堀・矢ノ原ルート）が推定されており、さらにその北約500メートルのところにも同様なルート（下新田ルート）が発掘調査により推定されている。大道東遺跡周辺の道路は、位置的に牛堀・矢ノ原ルートか下新田ルートになる可能性が高い。これまでに確認されている金山丘陵以西のルートは、東西方向やや北向きの走向であるが、金山丘陵以東のルートは、やや南向きの走向になっており、丘陵を境に走向が変わっている。

寺院・官衙については、金山丘陵北西の寺井・天良地区から小金井・市野井にかけての地域に、古代寺院や地方官衙跡に比定される遺跡が多く存在する。寺院跡では、8世紀中葉の小規模寺院と推定される釣堂遺跡や7世紀後半の創建と推定される寺井廃寺がある。官衙的な遺跡も、新田郡の郡家倉庫と推定される礎石建物が検出された天良七堂遺跡などがある。金山丘陵北東部でも、北関

東自動車道関連の遺跡である八ヶ入・楽前・鹿島浦・向矢部・矢部等の遺跡から三彩陶器片・軒丸瓦片・円面硯・獣脚円面硯・漆紙文書など、近隣に官衙的施設の存在を思わせる遺物が出土している。

水田跡では、上強戸遺跡群から、7世紀末から8世紀前半と推定される洪水堆積物で埋没した水田跡が検出されている。水田の残存状況は良好で、水田と時期を同じくする用水路等も検出されている。この用水路からは木樋の出土や複数の分岐溝があり、周辺一帯の幹線用水路であったと考えられる。同遺跡からは、As-B下水田も検出されている。古氷条里制水田跡では、北関東自動車道関連の調査で、As-B下水田が確認されているが、畦畔が方形に走向しており、条里地割に乗っていると考えられる。水田の開削時期は奈良時代後半から平安時代前半と考えられており、この時期に条里地割が導入されたことが判明してきた。

（4）中世以降

中世の城郭としては、金山城がある。これは金山丘陵上にある山城であり、その城域は広大で、山頂部に実城を置き、山頂部から延びる西尾根に西城を、北に延びる観音山に北城を、南の中八王子山には八王子山の砦を構える、複合的城郭である。山頂部の実城域に日の池・月の池の大池を持ち、石垣・石敷き通路・石組み排水路・石組み井戸など山城としては珍しい石組みの施設を有する。中世の城館跡については、金山城をはじめとして、萩原館跡、丸山の砦跡、矢田堀館跡、只上の砦跡、矢部城跡、国済寺城跡、狸ヶ入館跡、今泉城跡、東金井城跡、富田館跡、宗金寺環濠遺構、植木野城跡等が、金山丘陵北部から東部にかけて多く存在している。その他の中世以降の遺構の検出される遺跡についても、八ヶ入遺跡から道原遺跡にかけての北関東関連遺跡を中心とした、金山丘陵北東部に多く分布している。



第 8 図 周辺遺跡位置図 (国土地理院 1:25,000 地形図「上野境」「足利南部」「桐生」「足利北部」使用)

第1表 周辺遺跡

番号	遺跡名	旧石器	集落・溝等○墳墓●生産跡□ 水田・畠■ 遺物のみ△						備考	文献
			縄文	弥生	古墳前	古墳中後	奈良平安	中近世		
1	大道東遺跡		○			○	○	○	当該遺跡	1
2	大道西遺跡					○	○	○	東山道駅路	40
3	東今泉鹿島遺跡		○			○	○■		古墳中～平安集落 漆紙文書	34
4	鹿島浦遺跡						○	○	奈良平安集落 東山道駅路	78・79
5	楽前遺跡		○			○	○		古墳後～平安集落	1・42・43・44・48
6	矢田堀古墳群					●			終末期群集墳	82
7	矢田堀館跡							○	16C 堀 土居 戸口	20
8	矢田堀前田遺跡								時期不明土坑等	42
9	寺中遺跡							□	平安時代鍛冶遺構	1
10	寺前遺跡					○			古墳時代集落	82
11	上宿遺跡					○	○		古墳・平安集落	61
12	東田遺跡						○		平安集落	44
13	猿楽遺跡					●	○		後期古墳群 奈良平安集落	1・61・69
14	向矢部遺跡					○	○	○	古墳後～平安集落	33・50・51・52・53
15	矢部城跡							○	16C 堀 土居 碑	20
16	矢部遺跡		○				○	○	奈良平安集落 漆紙文書	32・45・46・57・70
17	新島遺跡					○	○		奈良平安集落 古墳後～平安畠	32
18	只上深町遺跡						○■	■	平安集落・畠	46・79・80
19	道原遺跡		○		●■	●	○	○	古墳前期方形周溝墓 古墳 平安時代道路	79・80
20	国済寺城跡(道原城跡)							○	16C 堀 土居	20
21	市場古墳群					●			後期群集墳	1
22	只上の砦跡							○	16C 堀	20
23	七日市古墳群					●			古墳後期	82
24	丸山古墳群					●			6C末～7C前半前方後円墳1 円墳8	1
25	流作場遺跡					○●			古墳中後期集落 埴輪棺	1・39
26	吉祥寺遺跡								時期不明ピット群	39
27	諏訪古墳					●			後期円墳	82
28	反丸遺跡					○●	○		集落 古墳 祭祀遺構	1・39
29	落内遺跡					○	○		古墳中～平安集落 粘土採掘坑	1・42
30	宮の上遺跡					△				42
31	丸山北遺跡					○			古墳前期集落	1
32	丸山北窯跡							□	須惠窯2 灰原 粘土採掘坑 瓦堂出土	1・41
33	吉沢窯跡群							□	須惠窯	1
34	落内窯跡							□		82
35	村上遺跡	△							旧石器包蔵地	1
36	吉沢古墳群					●			終末期群集墳	1
37	萩原遺跡					○	■		As-B下水田	79
38	萩原館跡							○	15・16C 堀 土居 烽火台	20
39	萩原窯跡							□	瓦窯1 須惠窯	1
40	大鷲向山古墳群					●			円墳4	1・69・70
41	上強戸古墳群					●			円墳8	1
42	上強戸遺跡群		△			■○	■	■	古墳前～中世水田 古墳～平安木製品多数	35・36
43	峯山遺跡	△	○					○□	旧石器文化層2面 製鉄炉 鍛冶遺構 炭窯	79・80
44	寺山古墳					●			前期前方後方墳	1
45	強戸口峯山遺跡	△						○	旧石器包蔵地 7C後～8C後集落	81
46	雷電山遺跡	△						○	旧石器包蔵地 7C末～8C初集落	1
47	丸山腰巻遺跡							□○	須惠窯1	54
48	丸山の砦跡							○	16C 腰郭 烽火台	20
49	小丸山遺跡							△	縄文～平安遺物散布地 瓦塔出土	1
50	小丸山西遺跡	△							旧石器包蔵地 縄文～平安遺物散布地	1
51	二の宮遺跡		○					○	奈良平安集落	38
52	古氷条里制水田跡					○	■		As-B下水田	1・38
53	古氷遺跡								郡衙推定地	1
54	堂ノ北西遺跡							△	時期不明土坑	81
55	越々山遺跡		△					△	時期不明土坑	81
56	笹ヶ入北遺跡		△						縄文遺物散布地	81
57	三枚橋南古墳群					●			円墳9	1
58	長手口古墳群					●			前方後円墳3	1
59	金山城跡							○	井戸	23・26・27

II 周辺環境

番号	遺跡名	旧石器	集落・溝等○墳墓●生産跡□ 水田・畠■遺物のみ△						備考	文献
			縄文	弥生	古墳前	古墳中後	奈良平安	中近世		
60	式反田古墳群					●			円墳数基	1
61	山去・十八曲遺跡		○		○			○	縄文集落 中世道路状遺構	28
62	長手口砦跡							○		28
63	山去窯跡群							□	須恵窯 7 C 中	28
64	高太郎Ⅱ遺跡							□	製鉄炉3 炭窯3	28
65	鍛冶ヶ谷戸遺跡							□ ○	製鉄遺跡	28
66	高太郎Ⅰ遺跡					□	□		須恵窯10 工房1 製鉄炉2	28
67	高太郎Ⅲ遺跡						□		須恵窯	28
68	かが沢遺跡					□	□		須恵窯	82
69	堤入遺跡						□		須恵窯	28
70	大長谷遺跡							□	須恵窯	28
71	諏訪ヶ入遺跡					△			灰原 須恵器出土	82
72	八ヶ入窯跡					△			灰原 須恵器・鉄滓出土	82
73	菅ノ沢Ⅰ遺跡					□●	□		須恵窯、炭窯、製鉄炉、古墳	1・3・7・30
74	菅ノ沢古墳群					●			円墳5 7 C	1・30
75	菅ノ沢御廟古墳					●			直径30m円墳 横穴式石室	1
76	今泉口八幡山古墳					●			前方後円墳 横穴式石室 家形石棺 6 C 末 ～7 C 初	1・24
77	菅ノ沢Ⅱ遺跡					○			灰原 須恵器出土	30
78	八ヶ入遺跡	△			○	○	○	○	東山道駅路	78・79
79	巖穴山古墳					●			1 辺30m方墳 複式構造横穴式石室 7 C 中	1・30
80	川西遺跡					○			須恵窯	82
81	八幡Ⅰ遺跡					□			須恵窯4 灰原	29
82	八幡Ⅳ遺跡					□			窯 灰原	29
83	八幡Ⅱ遺跡					□			窯2 灰原	29
84	八幡Ⅴ遺跡					□●			窯 灰原 円墳1	29
85	八幡Ⅲ遺跡						□		窯1 灰原	29
86	狸ヶ入Ⅱ遺跡					△			灰原 須恵器出土	82
87	辻小屋遺跡					□			須恵窯4	1
88	辻小屋窯跡群					□			須恵窯4	29
89	狸ヶ入Ⅰ遺跡					□			窯1	82
90	狸ヶ入館跡							○	堀 土居 戸口	20
91	今泉城跡							○	16 C 堀 土居	20
92	入宿Ⅱ遺跡					△			灰原	29
93	入宿Ⅰ遺跡					△			灰原	29
94	入宿Ⅲ遺跡					△			灰原 須恵器出土	29
95	母衣埴輪窯跡					□			埴輪窯	1
96	金井口埴輪窯跡					□			埴輪窯3以上	1
97	金井口遺跡	△	△			□	□		埴輪窯2 製鉄窯1	10
98	宿裏遺跡									17
99	下宿遺跡		○		○			○	縄文草創期土坑 古墳前・平安集落 中世溝	16・18・19
100	亀山窯跡					□			須恵窯2 灰原	1
101	亀山京塚古墳					●			後期円墳 陶棺 6 C 中	1
102	亀山古墳群					●			後期群集墳	1
103	東金井城跡							○	15・16 C 堀 土居 戸口 腰郭	20
104	聖天沢遺跡					●		●	円墳 横穴式石室 中世墓	6
105	丸屋敷の砦							○		
106	内並木古墳群					●			円墳3	1
107	内並木遺跡	△				△	△		旧石器包蔵地 灰原 須恵器出土	1
108	馬塚古墳群					●			後期群集墳	1
109	寺ヶ入遺跡 寺ヶ入古墳群					●			円墳約30	1・22
110	富士山古墳群					●				82
111	東山古墳群					●			終末期群集墳	1
112	西山古墳群					●			終末期群集墳	1
113	由良氏五輪塔							●		82
114	貧乏塚古墳群					●			円墳約30 6 C 後半	1
115	大島口遺跡		△			△				82
116	大島館跡							○	14 C 土居 戸口	20
117	八幡山古墳					●			前期前方後円墳 全長84m	1
118	八幡山遺跡	△							旧石器包蔵地	82

番号	遺跡名	旧石器	集落・溝等○墳墓●生産跡□ 水田・畠■ 遺物のみ△					備考	文献	
			縄文	弥生	古墳前	古墳中後	奈良平安			中近世
119	城ノ内遺跡					○	○	○	古墳集落 中世城郭堀	69
120	三島木遺跡		○					○	奈良平安土坑 中世掘立	82
121	舞台A・D遺跡					○			古墳後期集落	12・14・15
122	稲荷山古墳					●			円墳 径20m	1
123	塚畑遺跡		○			○	○		縄文中期土坑 古墳後～平安集落	76
124	浜町遺跡		△		○	○	○		古墳前～平安集落	31
125	浜町古墳群					●			後期群集墳	1
126	宮内遺跡		△		○	○	○		古墳前～後・平安集落	66
127	本陣跡							○	礎石建物 土坑	64
128	高山古墳					●			後期前方後円墳	1
129	塩ノ山遺跡				●				円墳1	1
130	富田館跡							○	16C 堀 土居 戸口	20
131	堂目木遺跡						□	●	10C小鍛冶 中世火葬墓	43
132	宗金寺環濠遺構							○	16C 2重の堀	20
133	相方遺跡							△	平安時代遺物散布地	1
134	植木野城跡							○		82
135	磯之宮遺跡			○	○			○	弥生中期・古墳前期・平安集落	1・42
136	矢場向遺跡				○			○	古墳前～後集落	41
137	稲荷宮遺跡							○	平安集落	41
138	上小林稲荷山古墳					●			中期円墳 径60m	1・42
139	西浦遺跡						○●	●	奈良平安集落 中世墓坑	42
140	安良岡古墳群							●	後期群集墳	1
141	塚本遺跡					○			古墳集落	68
142	焼山北遺跡 焼山北古墳	△	△	△	●△				旧石器～古墳遺物包蔵地 後期円墳または帆立貝式古墳	1・2
143	焼山南遺跡 焼山古墳	△	△	△	△●△	△			旧石器～平安遺物包蔵地 後期前方後円墳	1・2
144	焼山古墳群				●				前方後円墳1(焼山古墳) 円墳6以上	1・2
145	細田遺跡	△	○		●			○	旧石器包蔵地 古墳前期方形周溝墓 縄文前期・平安集落	8・9
146	伊豆ノ山遺跡	△							旧石器包蔵地	1
147	東長岡戸井口遺跡	△	○			○	○	○	縄文・古墳中～平安集落 中世館跡	25
148	東長岡金井町遺跡		○		○		○		縄文土坑 古墳前期溝 奈良集落	1
149	雷遺跡		△						縄文遺物包蔵地	11
150	大日山古墳					●			35×41mの円墳 礫層 6C初	1
151	大日山古墳群				●					82
152	下小林館跡(大倉城)							○	15・16C 堀 土居 戸口	20
153	下小林上遺跡		○		○				縄文前期・古墳前期集落	11
154	下小林車塚古墳					●			円墳または帆立貝式古墳 5C後半	1
155	旧太田工業高校北裏遺跡					○			古墳中期集落	5
156	北田環濠遺構群							○	堀、二つの環濠	20
157	女体山古墳東方遺跡		△						縄文後晩期遺物包蔵地	1
158	天神山古墳A陪塚					●			中期円墳 径22m	21
159	天神山古墳					●			中期前方後円墳 全長210m	1・4・13
160	女体山古墳					●			中期帆立貝式古墳または円墳 全長96m	1

II 周辺環境

参考文献

- 1 太田市 1996 『太田市史 通史編 原始古代』
- 2 はにわの会 1968 『焼山遺跡総合調査報告』
- 3 日本考古学会 1970 『考古学雑誌』56巻3号
- 4 群馬県教育委員会 1971 『史跡天神山古墳外堀部発掘調査報告書』
- 5 太田市教育委員会 1972 『太田工業高等学校北裏遺跡発掘調査報告書』
- 6 太田市教育委員会 1972 『聖天沢遺跡調査報告書』
- 7 駒沢大学考古学研究会 1978 『菅ノ沢遺跡、巖穴山古墳調査概報』
- 8 太田市教育委員会 1978 『細田遺跡発掘調査概報』
- 9 太田市教育委員会 1979 『細田遺跡発掘調査略報Ⅱ』
- 10 太田市教育委員会 1979 『金井口遺跡発掘調査略報-第2次調査-』
- 11 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1980 『庚塚・上・雷遺跡』
- 12 太田市教育委員会 1981 『舞台A遺跡の概要』
- 13 太田市教育委員会 1982 『天神山古墳外堀部発掘調査概報』
- 14 太田市教育委員会 1983 『舞台D遺跡確認調査の概要』
- 15 太田市教育委員会 1985 『舞台D遺跡、成塚稲荷神社古墳、間之原遺跡』
- 16 太田市教育委員会 1985 『下宿遺跡発掘調査概報』
- 17 太田市教育委員会 1986 『下宿遺跡-宿裏地区-』
- 18 太田市教育委員会 1987 『下宿遺跡E地点』
- 19 太田市教育委員会 1988 『下宿遺跡F地点』
- 20 群馬県教育委員会 1989 『群馬県の中世城館跡』
- 21 太田市教育委員会 1990 『天神山古墳外堀・A陪塚範囲確認調査』
- 22 太田市教育委員会 1992 『寺ヶ入遺跡発掘調査報告書Ⅰ・Ⅱ』
- 23 太田市教育委員会 1994 『金山城跡大手道発掘調査』H6年3月
- 24 太田市教育委員会 1997 『今泉口八幡山古墳発掘調査報告書』
- 25 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『東長岡戸井口遺跡』
- 26 太田市教育委員会 1997 『金山城跡・月ノ池』
- 27 太田市教育委員会 2001 『史跡金山城跡環境整備報告書発掘調査編』
- 28 太田市教育委員会 2002 『長手谷遺跡群発掘調査報告書』
- 29 駒澤大学考古学研究室 2007 『群馬・金山丘陵遺跡群Ⅰ』
- 30 駒澤大学考古学研究室 2009 『群馬・金山丘陵遺跡群Ⅱ』
- 31 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『浜町遺跡』
- 32 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『矢部遺跡・新島遺跡』
- 33 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007 『向矢部遺跡』
- 34 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007 『東今泉鹿島遺跡』
- 35 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『上強戸遺跡群』
- 36 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『上強戸遺跡群(1)』
- 37 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『案前遺跡(1)』
- 38 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『古氷条里水田跡二の宮遺跡』
- 39 群馬県教育委員会 1983 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 40 群馬県教育委員会 1984 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 41 太田市教育委員会 1985 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 42 太田市教育委員会 1986 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 43 太田市教育委員会 1987 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 44 太田市教育委員会 1988 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 45 太田市教育委員会 1989 3月3日 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 46 太田市教育委員会 1989 3月31日 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 47 太田市教育委員会 1990 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』
- 48 太田市教育委員会 1988 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報』(Ⅱ次)
- 49 太田市教育委員会 1994 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報-案前遺跡-』
- 50 太田市教育委員会 1996 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報-向矢部遺跡(第Ⅱ次農政分)-』
- 51 太田市教育委員会 1996 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報-向矢部遺跡(第Ⅱ次文化庁分)-』
- 52 太田市教育委員会 1997 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報-向矢部遺跡(第Ⅲ次農政分)-』
- 53 太田市教育委員会 1997 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報-向矢部遺跡(第Ⅲ次文化庁分)-』
- 54 太田市教育委員会 2000 『渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報-丸山腰巻遺跡-』
- 55 太田市教育委員会 1984 『市内遺跡発掘調査-舞台D遺跡-』
- 56 太田市教育委員会 1985 『市内遺跡Ⅱ』
- 57 太田市教育委員会 1993 『市内遺跡Ⅹ』
- 58 太田市教育委員会 1994 『市内遺跡Ⅹ長手谷遺跡群』
- 59 太田市教育委員会 1995 『市内遺跡ⅩⅠ』
- 60 太田市教育委員会 1996 『市内遺跡ⅩⅡ』
- 61 太田市教育委員会 1997 『市内遺跡ⅩⅢ』
- 62 太田市教育委員会 2000 『市内遺跡ⅩⅥ』
- 63 太田市教育委員会 2001 『市内遺跡ⅩⅦ(第Ⅲ次)』
- 64 太田市教育委員会 2003 『市内遺跡ⅩⅨ』
- 65 太田市教育委員会 2004 『市内遺跡20(Ⅱ次)』
- 66 太田市教育委員会 2005 『市内遺跡21(第Ⅱ次)』
- 67 太田市教育委員会 1991 『埋蔵文化財発掘調査年報1』
- 68 太田市教育委員会 1992 『埋蔵文化財発掘調査年報2』
- 69 太田市教育委員会 1993 『埋蔵文化財発掘調査年報3』
- 70 太田市教育委員会 1994 『埋蔵文化財発掘調査年報4』
- 71 太田市教育委員会 1995 『埋蔵文化財発掘調査年報5』
- 72 太田市教育委員会 1996 『埋蔵文化財発掘調査年報6』
- 73 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1996 『年報15』
- 74 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997 『年報16』
- 75 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『年報20』
- 76 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『年報21』
- 77 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004 『年報22』
- 78 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『年報23』
- 79 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『年報24』
- 80 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007 『年報25』
- 81 太田市教育委員会 2009 『強戸口遺跡群』
- 82 群馬県文化財情報システムWEB版

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

大道東遺跡では、縄文時代から近現代にかけての遺構、遺物が検出されている。特に、縄文時代中期から後期にかけてと、古墳時代後期から平安時代にかけてのものが大部分を占めている。このうち縄文時代については、第1分冊 大道東遺跡(1)－縄文時代編－で報告済みである。弥生時代以降の遺構については、竪穴住居 304 軒、掘立柱建物 23 棟、溝 17 条、集石遺構 8 基、土坑 488 基、ピット 1651 基、道路遺構等が検出されている。このうち調査区の東半分については第2分冊で報告しており、今回報告の第3分冊では、調査区の西半分(1・2区、竪穴住居 158 軒、掘立柱建物 12 棟、溝 3 条、土坑 155 基、ピット 772 基、道路遺構)が対象となっている。

1 弥生時代～古墳時代前期

弥生時代～古墳時代前期の遺構は検出されていない。遺物が3点出土しているだけである。いずれも小破片のため詳細な時期は不明である。

2 古墳時代後期～平安時代

(1) 概要

この時代は大道東遺跡の中でもっとも居住活動が盛んな時期であり、この遺跡の遺構の大部分がこの時期に含まれる。今回の報告は調査区の西半部であるが、竪穴住居 158 軒、掘立柱建物 12 棟、溝 3 条、土坑 155 基、ピット 772 基、道路遺構等が検出されている。調査区のほぼ全面から検出されており、調査面積に比して遺構数が多く、竪穴住居、土坑、ピットは重複が非常に激しくなっている。遺物出土量も多く、今回報告の調査区だけで、土師器約 44,000 点、須恵器約 19,000 点が出土している。

(2) 遺構

竪穴住居

竪穴住居は 158 軒検出されている。3・4区で 146 軒検出されているため、遺跡全体で 304 軒の竪穴住

居が検出されている。

①分布 調査区全面から検出されており、また面積に比して竪穴住居数が多く、大部分の住居が重複しているが、今回報告する調査区西半部は、特に北半部に集中しており、南部・東部はやや薄くなっている。

②平面形態 竪穴住居の形態は、長辺/短辺が1.2未満を方形、1.2以上を長方形とする。平面形態は、A～Eの5形態に分類できる。

- A 隅丸方形
- B 隅丸長方形
- C 隅丸方形または隅丸長方形
- D 方形または長方形
- E 不明

形態不明のものを除くと、方形または長方形のものが2軒あるが、他は隅の丸い方形または長方形となっており、隅丸方形(A)が62軒、隅丸長方形(B)が45軒、全景が不明で隅丸方形か隅丸長方形か不明なもの(C)が41軒、形態不明(E)が8軒となっている。隅丸方形が39%と最も多く、隅丸長方形は28%と隅丸方形より10%少ないが、3・4区は隅丸方形が55%で隅丸長方形は29%であったため、3・4区に比べ隅丸長方形の割合が高くなっている。また、重複が激しいため、隅丸方形か隅丸長方形か不明なものが26%と3・4区に比べ多くなっている。

③規模 長辺 8.24～2.12 m 平均 4.42 m、短辺 7.80～2.08 m 平均 3.83 m、壁高 92～10cm 平均 41cm、面積(カマドを含む上端面積)66.43～6.54 m² 平均 8.64 m²、床面積(カマドをのぞいた下端面積)は 61.28～3.8 m²、平均 14.69 m² である。長辺・短辺で約4倍、面積では10倍以上の差が見られ、3・4区同様規模に非常に大きな差が見られる。壁高も9倍以上の差が見られ、残存状態に大きな差があることを示している。

④主軸方位 竪穴住居はカマドのある辺に垂直な方向を主軸とした。図を見るとわかるように、北から北西にかけてと、東から北東にかけてのところに集中しており、特に北西方向近辺に多くなっている。逆に、南東から南西にかけての主軸を持つ住居はほとんど存在し

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

ていない。この傾向は3・4区と同様である。

⑤埋没土 3・4区同様、ロームを含む暗褐色土・黒褐色土で埋没しているものが多い。レンズ状の堆積や、壁際の三角堆積など、自然堆積と考えられるものがほとんどである。

⑥床面 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土で貼床として
いるものが多い。不明なものを除いた154軒の中で、
全面あるいは大部分貼床としているものが74軒（48%）
と最も多く、部分的に貼床としているものも37軒（24%）
ある。不確実なものも含めて、掘り方を直接床面として
いるものは43軒（28%）と3・4区に比べかなり多い。
また、住居としては当然であるが、ほぼ平坦な床面を持
つ住居が多くなっている。床面の硬度（調査担当者の主
観的な判断で客観的に硬度測定等をしていない）は、硬
いもの、やや硬いもので76%以上を占め、軟弱なもの、
やや軟弱なものは24%となっており、3・4区同様床が
硬化している住居が多くなっている。

⑦掘り方 残存状況が悪く掘り方が不明な2軒を除き、
床下土坑がある竪穴住居が40軒（26%）、土坑ほどは
はっきりしないが、土坑状の掘り込みがあるものが27軒
（17%）と多くなっている。ピットのみのは12軒（8%）
である。また、溝状の掘り込みを持つものが、10軒（6%）
、段を持つものが4軒ある。特徴ある掘り方のパターン
として、四隅にピットあるいは土坑状の掘り込みを持つ
ものが2軒、中央部が高く周囲が溝状に低くなっている
ものが5軒ある。ほぼ平坦な掘り方のものが24軒（15%）
、掘り方を直接床面としているものも30軒（19%）と
かなり多い。

⑧遺物出土状況 遺物出土量は、遺構の残存状況により
大きく変わることもあり、住居により大きな違いがある。
158軒の出土総数が約44,000点あり、1軒平均で約280
点であるが、3・4区同様、多い住居では3,000点以上、
少ない住居で数点のものもあり、差がかなり大きくなっ
ている。竪穴住居の出土遺物については、3・4区同様
出土状況により以下の3種類に分けて考えることにす
る。

A 遺棄 竪穴住居で使用されたものが遺されているもの。
床面上・カマド等住居の使用面の出土で、完形・半完形
のもの。ただし、棚から転落あるいは貯蔵穴に

転落した物は、床面から浮いた状態や貯蔵穴埋没土中の
物もある。遺物の時期は、住居の時期を示している。
B 廃棄 廃絶された住居に他から捨てられたもの。床面
および埋没土中の出土で、完形・半完形に復元できる
物、あるいは破片。遺物の時期は、住居の使用された
時期よりも新しくなるが、竪穴住居が埋没するまでの
時期に限られる。

C 流入 住居外の遺物が自然営力や人為的な埋め戻し
により、竪穴内に入り込んだもの。すべて層から出土
し、破片の状態である。遺物の時期は、住居が埋没
するまでの時期より古くなる。一般的には、竪穴住居
を廃絶するときは土器等の生活用具は持ち去ると考
えられるため、竪穴内に残されるものは多くないで
あろう。当遺跡でも、遺棄された遺物が多く見つか
る住居は少ないが、149号住居は多量の遺物が遺棄
されていると考えられる。この住居からは炭化材も出
土しているため、火災により遺棄された物であろう。
これに対し、廃棄遺物が出土する住居は多い。集落
が長期間継続しているため、廃絶住居内に不要物を
廃棄することは多かったと考えられる。遺物の平面分
布を見ると、全面から出土しているもの38軒で、住
居のどこかに偏るものが46軒、遺物量が少なく散在
しているものが66軒と、3・4区に比べ少ないもの
がかなり多くなっている。垂直分布を見ると、上層
から床面上まで満遍なく出土しているものが多いが、
外周部は上層が多く、中央部は下層が多くなってい
る、埋没土堆積と同様なレンズ状の出土状況を示す
ものもある。

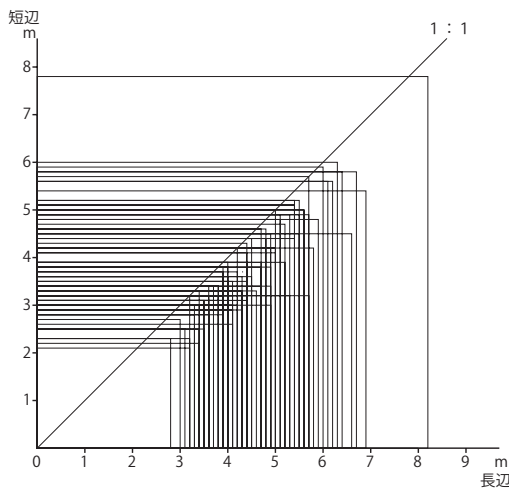
⑨貯蔵穴 確実に貯蔵穴を持つ住居は20軒で、持た
ない確認されているものは46軒であり、持たないも
のが持つものの倍以上ある。持つものの中では、カ
マド右脇にあるものが17軒と圧倒的に多く、カマ
ド左脇にあるものは3軒である。掘り方で検出され
たものなど、不確実なものを含めると、持つものが
37軒、持たないものが58軒である。平面形態は、
楕円形が11軒で最も多く、円形は5軒ある。他に
隅丸方形と隅丸長方形が各2軒ある。規模は、長
径110cm～45cm、短径90cm～37cm、深さ56cm
～9cmとなっており、長径で最大と最小のものに
2倍以上差があるが、全体的に見ると比較的差は少
ないといえる。

⑩柱穴 不確実なものも含めて、柱穴を持つ竪穴住居が46軒、持たないものが77軒で、持たないものかなり多くなっている。ほとんどの住居はすべて4基の柱穴を持つものと考えられるが、建替え・拡張等で、さらに4基検出された住居が2軒ある。519号住は、床面上では4基の柱穴が確認されているが、掘り方において、各柱穴の間に1基ずつ検出され、1時期に8本の柱が存在した可能性が考えられる。

柱痕あるいは柱の抜き取り痕のある柱穴を持つ住居は、21軒あり、計36基の柱穴から検出されている。

⑪壁溝 壁溝を持つ竪穴住居は88軒、持たないものは53軒、不明が17軒となっており、壁溝を持つものが持たないものより多くなっている。持つものの内、全周あるいは一部を除いて全周するものは42軒であり、壁溝のない辺があるもの46軒より少ないが、3・4区と比べると差はあまりない。

⑫カマド 竪穴住居158軒中カマドの検出されたものは97軒で、この内5軒はカマドが2基検出され、他の92軒は1基のみである。カマドが検出されていないのは61軒であるが、その内カマドがない住居は4軒で、他の57軒は重複や調査区外等で不明であった。位置 東壁にあるものが57基ともっとも多いが、北壁のものも39基と多く、この2つで96基とカマドの確認された住居の94%を占める。他は、西壁が6軒、と非常に少なく、南壁のものはない。壁における位置で見ると、壁の中央にあるものが19軒、壁に向かって右側にあるものが75軒、左側にあるものが8軒となっており、右側にあるものが74%と



竪穴住居規模

半数以上を占めている。左側にあるものは8%と少ない。

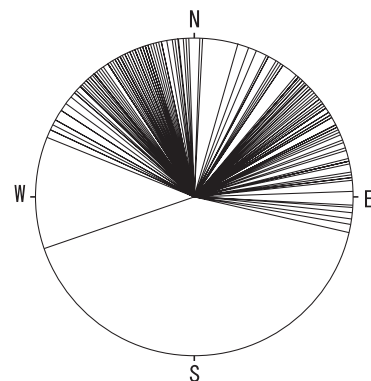
規模 全長2.06～0.30m平均1.08m、幅1.77～

0.36平均1.00mである。規模の差が大きく見えるが、残存状況の違いもあるため、一概に差が大きいとすることはできない。

袖 袖の構築材が判明するものは78軒あり、不確実なものも含めて、粘土で構築しているものが47軒(60%)で、暗褐色土のものが13軒(16%)、黄褐色土のものが17軒(22%)、黄褐色土と暗褐色土の混土のものが1軒(1%)となっている。袖の補強材が判明するのは16軒で、土師器の甕を使用しているものが4軒、自然礫を使用しているものが10軒、土師器甕と自然礫を両方使用しているものが1軒、地山掘り残しのものが1軒である。また、袖の天井部に土師器甕を使用しているものが1軒ある。

⑬出土遺物 土師器杯・椀・蓋・高杯・甕・小型甕・台付甕・甌・壺・鉢・小型土器、須恵器杯・椀・盤・蓋・高杯・高盤・甕・壺・瓶・台付壺・ハソウ・甌・鉢・すり鉢・小型土器・円面硯、灰釉陶器碗・壺・瓶等の土器の他、土錘・玉・竈型土製品等の土製品、砥石・玉類等の石製品、鎌・刀子等の鉄製品が出土している。

⑭時期 竪穴住居の時期は、遺物によるものが中心となるが、遺物出土状況の項で述べたように、住居と同時期と考えられるのは遺棄遺物であるが、数量が少ないため、住居とあまり時期が変わらないと考えられる廃棄遺物や、遺構の重複関係も考慮して時期を決定した。およそ6世紀後半から10世紀代の時期になると考えられるが、9・10世紀のものは非常に少なく、6～7世紀のものも比較的少なく、8世紀代のものが最も多くなっており、3・4区とは様相を異にしている。



竪穴住居主軸方位

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

第2表 竪穴住居一覧表

No.	位置Gr	重複	平面形態	長辺 m	短辺 m	長辺/ 短辺	壁高 cm	面積 ㎡	床面積 ㎡	主軸方位	時期
123	343~347-983~988	124・404住より旧 408住より新	隅丸長方形	4.67	(3.77)	(1.24)	21	(17.40)	(14.55)	N-25°-W	7C後~8C前
124	343~350-987~994	123・128・408住より新	隅丸方形	6.23	5.62	1.11	41	33.06	27.77	N-28°-W	8C第2
127	349~352-960~963	191住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	3.17	[2.30]		33	[6.86]	[5.86]	N-18°-W	6C後
128	343~347-991~995	124・185住より旧	隅丸方形	3.96	3.32	1.19	53	12.93	9.71	N-23°-W	6C後~7C前
129	351~356-971~976	134住より旧 166住より新	隅丸方形	(4.00)	3.78	(1.06)	43	(14.62)	(13.22)	N-12°-W	6C後~7C前
130	341~347-001~008	133住より旧	隅丸長方形	6.63	4.52	1.47	46	28.18	21.24	N-7°-W	8C第2
131	343~345-009~011	133住より新 905ピット	不明	[2.43]	[1.70]		15	[2.92]	[1.98]	N-68°-W	古墳時代後期?
132	345・346-971・972	149住より新 143住より旧	隅丸方形または隅丸長方形?	[3.27]	[3.13]		52	[9.90]	[8.64]	N-33°-W	不明
133	339~345-008~011	131住より旧 130住より新	隅丸方形または隅丸長方形?	[5.71]	[3.40]		21	[18.21]	[17.36]	N-39°-W	不明
134	349~353-972~976	129・143住より新 403土坑	隅丸長方形?	3.73	(3.10)	(1.20)	48	[10.95]	[9.69]	N-32°-E	8C第2
135	350~353-989~993	140住より旧	隅丸長方形	3.36	2.46	1.37	39	(8.63)	(5.15)	N-4°-W	8C第3~9C第1
138	338~342-989~993	141住より新 18掘立より旧 418~420土坑 913・914ピット	隅丸方形	3.60	3.42	1.05	42	11.92	10.03	N-56°-E	8C第2
140	351~356-988~993	195・200住より旧 135・142・145住より新 13掘立より新?	隅丸方形	4.75	4.35	1.09	57	(20.71)	(16.21)	N-8°-W	8C第1
141	338~342-992~996	138住より旧 912ピット	隅丸長方形	3.52	2.48	1.42	38	(8.33)	(7.10)	N-45°-E	不明
142	352~357-986~988	140・200住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[3.76]	[1.95]		22	[7.23]	[6.62]	N-22°-W	6C後
143	347~351-972~977	134住より旧 132ピット住より新 909ピット	隅丸長方形	3.88	3.06	1.27	34	(11.59)	(9.61)	N-24°-W	8C第2~第3
145	356~359-989~993	140・195・199・200住より旧	不明	[3.70]	[3.64]		26	[10.98]	[10.57]	N-57°-W	8C第1~第2
146	353~356-966・967	149・169住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[2.37]	[2.14]		35	[6.01]	[5.62]	N-49°-W	不明
149	344~353-963~972	132住、405・427土坑より旧 146・169住より新	隅丸方形	8.24	7.80	1.06	66	(66.43)	(61.28)	N-10°-W	8C第2
151	358~362-913~918	152・164住より新	隅丸方形	3.98	3.83	1.04	48	(15.21)	(12.18)	N-51°-E	不明
152	358~362-914~922	151住より旧 164住より新	隅丸方形または隅丸長方形	[6.10]	[5.83]		50	[19.04]	[17.15]	N-40°-E	不明
153	354~357-909~912		隅丸長方形	(3.16)	(2.33)	(1.36)	27	(8.02)	(7.34)	N-61°-W	不明
154	350~352-908~911		不明	[3.01]	[2.85]		23	[6.82]	[6.35]	N-65°-W	不明
155	358~360-950~956		隅丸方形または隅丸長方形	[4.71]	[2.26]		52	[8.06]	[3.56]	N-33°-W	不明
156	355~361-945~951	157住より旧 172住より新	隅丸長方形	5.52	4.53	1.22	40	(25.86)	(18.98)	N-28°-W	8C第2~第3
157	356~359-942~945	156住より新	隅丸方形	3.30	3.03	1.09	65	10.18	7.08	N-83°-E	不明
158	351~355-923~928	159・160住より新	隅丸長方形	3.98	2.95	1.35	42	12.25	8.86	N-63°-E	8C第2
159	352~357-919~924	158住より旧 160住より新	隅丸方形	4.09	3.47	1.18	46	14.87	10.29	N-46°-E	8C第3
160	355~359-920~926	158・159・184住より旧	隅丸方形	(5.36)	5.22	(1.03)	22	[23.13]	[20.60]	N-39°-W	6C後
161	349~355-935~942	163・171・173・437・439住より新	隅丸長方形	5.37	4.37	1.23	80	24.04	16.97	N-60°-E	8C第3
162	347~353-944~950	173住より旧	隅丸方形	5.15	4.74	1.09	62	24.37	20.89	N-31°-W	8C第1~第2
163	349~354-941~945	161住より旧 173住より新	隅丸長方形	4.12	3.04	1.36	62	(13.18)	(10.31)	N-41°-E	8C第2~第3
164	359~362-916~923	151・152住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[5.64]	[3.68]		55	[12.38]	[8.10]	N-27°-E	6C後~7C代
165	359~361-925~929	184住より新か?	隅丸方形または隅丸長方形	[3.56]	[2.15]		45	[4.28]	[2.84]	N-36°-W	6C代
166	353~359-968~975	179住より新 129住より旧	隅丸長方形	6.88	5.35	1.29	62	(35.45)	(27.64)	N-73°-E	8C第2~第3
167	350~354-953~956	186・191住より新	隅丸方形	3.91	3.72	1.05	42	14.08	12.42	N-3°-E	不明
168	360・361-932~934		隅丸方形または隅丸長方形	[1.78]	[1.36]		46	[1.52]	[1.19]	N-28°-E	不明
169	352~357-960~966	146・186~189・191住より新 401土坑より旧 149住	隅丸長方形	5.15	3.90	1.32	58	23.34	18.62	N-83°-E	8C第3
171	351~356-931~936	161住より旧 178住より新か?	隅丸長方形	4.15	3.02	1.37	64	(14.73)	(12.51)	N-52°-E	7C第3~第4
172	355~358-949~951	156住より旧 162住より新	方形または長方形	[3.24]	[0.49]		27	[12.24]	[1.02]	N-59°-E	不明
173	350~355-940~946	161・163住より旧	隅丸長方形	4.95	(4.11)	(1.20)	53	(20.08)	(15.10)	N-52°-E	8C第2
174	352~358-008~012	181住より新	隅丸方形または隅丸長方形	[4.87]	4.46		37	[19.44]	[16.37]	N-43°-W	6~7C
175	352~356-995~000	176住より旧? 195・198・199住より新 13掘立より新?	隅丸方形	4.27	3.82	1.12	26	14.89	11.95	N-84°-E	9~10C
176	350~355-000~005	175住より新?	隅丸長方形	4.91	3.80	1.29	43	18.32	13.28	N-12°-W	8C第3
177	358・359-999~002		隅丸方形または隅丸長方形	3.21	[0.79]		48	[2.32]	[1.49]	N-2°-W	8C第3
178	356~359-930~935	171住より旧? 184住より新	隅丸長方形	4.87	3.36	1.45	51	15.45	12.55	N-82°-E	9C前
179	356~359-967~969	166住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[3.10]	[1.02]		50	[3.32]	[2.86]	N-26°-W	不明
180	351~355-978~983	182住より新 753・754ピットより旧	隅丸方形	(4.30)	3.64	(1.18)	41	(15.35)	(10.03)	N-22°-W	8C第3
181	351~357-007~012	174住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[6.38]	[3.90]		16	[25.36]	[22.75]	N-39°-W	不明
182	352~355-977~979	180住より旧 193住より新	隅丸方形または隅丸長方形	2.97	[2.20]		33	[6.43]	[5.50]	N-81°-E	不明
183	356~359-977~981	194住より新 372土坑	隅丸方形	3.55	3.13	1.13	53	(11.10)	(9.08)	N-75°-W	8C第3
184	353~360-925~932	160住より新 178住より旧 165住より旧?	隅丸方形	5.70	4.85	1.18	53	(27.37)	(21.25)	N-46°-W	8C第3
185	343~350-993~001	128・198住より新	隅丸方形	6.68	5.82	1.15	55	(36.80)	(27.06)	N-66°-E	8C第2~第3
186	351~355-956~961	169住より旧 187・191住より新 367~370土坑	隅丸方形	3.92	3.84	1.02	59	14.09	10.35	N-76°-E	8C第3
187	353~358-957~962	169・186住より旧 188・190住より新	隅丸方形	4.23	(4.20)	(1.01)	40	(17.18)	(13.43)	N-21°-W	8C第2

2 古墳時代後期～平安時代

No.	位置 Gr	重複	平面形態	長辺 m	短辺 m	長辺/ 短辺	壁高 cm	面積 ㎡	床面積 ㎡	主軸方位	時期
188	357～360 -960～963	189住より新 169・187住より旧	隅丸方形	(3.16)	[2.70]		19	[8.10]	[8.02]	N-3° -W	不明
189	356～360 -962～968	169・188・196住より旧	不明	[4.72]	[3.90]		34	[15.37]	[14.93]	N-33° -W	6 C後～7 C
190	354～357 -956・957	187住より旧 599ピット	隅丸方形または隅丸長方形	(2.81)	[1.46]		29	[3.79]	[3.19]	N-17° -W	不明
191	348～354 -955～962	127住より新 167・169・186住より旧 367・378土坑	隅丸長方形	5.81	4.18	1.39	65	(23.44)	(18.88)	N-24° -W	8 C第2
193	352～356 -976～981	129・180・182・194住、753ピットより旧	隅丸方形	(4.35)	4.27	(1.02)	26	(19.29)	(15.78)	N-15° -W	8 C第2～第3
194	355～359 -976～981	183住より旧 193住より新	隅丸方形	3.81	(3.40)	(1.12)	55	(13.05)	(11.24)	N-56° -E	8 C第2～第3
195	352～357 -991～997	140・145・199住より新 175・198住より旧 13掘立より新?	隅丸方形	4.65	3.94	1.18	40	17.51	13.04	N-72° -E	8 C第3
196	359・360 -963～968	189住より新 365土坑より旧	隅丸方形または隅丸長方形?	[4.45]	[0.96]		15	[2.43]	[2.00]	N-78° -E	不明
198	349～353 -993～997	175・185住より旧 195住より新	隅丸長方形	3.86	3.17	1.22	47	(14.82)	(12.15)	N-18° -W	6 C後～7 C前
199	355～359 -992～998	175・195住より旧 145住・13掘立より新?	隅丸方形	5.06	(4.88)	(1.04)	38	(23.91)	(19.75)	N-46° -W	7 C代
200	354～358 -987～991	140・142・145住より新	隅丸長方形	(4.07)	(3.17)	(1.28)	52	(12.74)	(9.89)	N-69° -E	8 C第3～第4
401	350～354 -017～019	364土坑、835・859ピットより旧	隅丸方形または隅丸長方形	[3.25]	[2.60]		51	[4.70]	[3.90]	N-34° -E	不明
402	312～318 -016～018	405住、841ピット・842・846・847・934より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[4.98]	[0.68]		16	[6.92]	[6.62]	N-49° -W	不明
403	339～343 -981～985	404・406・410・411住より新	隅丸長方形	3.87	3.09	1.25	45	11.99	9.72	N-54° -E	8 C第2～第3
404	342～345 -983～986	123・411住より新 403・406住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	3.62	[1.01]		29	[5.82]	[4.58]	N-20° -W	8 C第2～第3
405	312～315 -017	402住より新	方形または長方形	[1.85]	[0.98]		33	[0.96]	[0.74]	N-32° -E	不明
406	338～342 -984～988	403住より旧 404住より新	隅丸長方形	3.58	2.82	1.27	47	(10.07)	(6.94)	N-56° -E	8 C第2～第3
408	347～352 -985～992	123・124住より旧	隅丸方形	4.77	4.57	1.04	33	(22.54)	(20.12)	N-58° -E	6 C後
409	334～339 -976～981	410・433住より新	隅丸方形	4.39	4.11	1.07	62	17.76	12.34	N-77° -E	8 C第2～第3
410	338～343 -977～983	403・409・411住、453土坑より旧 417住より新	隅丸方形	4.92	(4.16)	(1.18)	50	(20.06)	(15.18)	N-37° -W	8 C前
411	341～344 -980～983	403・404住、439・440土坑より旧 410住より新	隅丸長方形	3.12	2.52	1.24	44	[3.94]	[2.70]	N-43° -E	7 C後
412	323～326 -010・011	457住より新 2038ピットより旧	隅丸方形または隅丸長方形	3.24	[0.53]		18	[2.63]	[2.19]	N-87° -E	8 C後
413	338～342 -967～971	436住より新	隅丸長方形	4.09	2.92	1.40	72	11.98	8.73	N-26° -W	不明
414	339～342 -962～967	445住より新 455土坑より旧	隅丸長方形	4.27	2.94	1.45	42	13.07	9.63	N-96° -E	8 C第2～第3
415	334～338 -959～963		隅丸長方形	3.69	3.08	1.20	41	11.51	7.49	N-59° -E	8 C第1～第2
416	340～348 -951～959	444・446住より新	隅丸方形	6.35	5.84	1.09	72	38.06	30.21	N-63° -E	7 C第4～8 C第1
417	342～348 -975～980	410住、442土坑、782ピットより旧	隅丸方形	5.31	4.87	1.09	22	(26.35)	(24.75)	N-6° -W	不明
418	325～329 -016～019	15溝より旧 849・2049・2050ピット	不明	[3.47]	[2.58]		36	[7.04]	[6.79]	N-29° -W	8 C第3～第4
419	332～336 -016～018		隅丸方形または隅丸長方形	[3.57]	[1.98]		32	[3.95]	[3.22]	N-39° -W	不明
420	329～332 -980～983	450・458住より新	隅丸方形	2.75	2.31	1.19	60	6.54	3.88	N-77° -E	8 C第2～第3
421	310～317 -999～007		隅丸方形	5.54	5.22	1.06	14	28.80	27.46	N-48° -E	古墳時代後期
422	309～311 -004～008		隅丸方形または隅丸長方形	[3.65]	[0.88]		42	[7.49]	[5.31]	N-54° -E	7 C前
423	311～315 -987～992		隅丸長方形	4.33	3.28	1.32	53	14.74	10.58	N-88° -E	7 C代
424	309～314 -979～985	440住より新	隅丸長方形	4.52	3.58	1.26	47	16.99	11.72	N-50° -E	8 C第2～第3
425	308～312 -971～976		隅丸長方形	4.91	3.03	1.62	65	(16.11)	(11.76)	N-38° -W	7 C後～8 C前
426	309～312 -956～960	443住より新	隅丸方形	3.28	2.79	1.18	15	9.59	8.43	N-67° -E	8 C第1～第2
427	308・309 -947～951		隅丸方形または隅丸長方形	[2.97]	[0.67]		35	[4.35]	[3.44]	N-55° -E	7 C第3～第4
428	308・309 -976～980		隅丸方形または隅丸長方形	[2.96]	[0.95]		41	[1.55]	[0.92]	N-16° -W	8 C第1～第2
429	313～319 -982～989		隅丸方形	5.38	5.07	1.06	57	26.99	20.21	N-19° -W	7 C第2～第3
430	313～317 -966～970	15溝と重複	隅丸方形	3.44	2.95	1.17	34	(11.84)	(9.75)	N-77° -E	7 C前
431	327～332 -004～010		隅丸方形	4.43	3.94	1.12	33	(17.49)	(15.56)	N-49° -E	7 C代
432	342～346 -946～950	541住より新	隅丸長方形	3.58	2.89	1.24	92	11.31	8.75	N-17° -W	8 C第1
433	334・335 -977～980	409住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	3.13	[0.24]		25	[1.33]	[1.04]	N-18° -W	不明
434	318～325 -997～003	15溝、428土坑より旧	隅丸方形	5.40	5.14	1.05	28	(27.71)	(22.43)	N-58° -E	6 C後
436	337・338 -968～970	413住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	2.12	[0.54]		22	[1.26]	[0.97]	N-13° -W	不明
437	347～350 -935～940	161住より旧 438・439住より新	隅丸方形	(3.62)	(3.21)	(1.13)	10	[11.94]	[10.71]	N-42° -E	8 C第2～第3
438	345～350 -932～937	437住より旧 439・494住より新	隅丸方形	(4.98)	4.22	(1.18)	45	[20.93]	[17.61]	N-63° -E	8 C第1～第2
439	344～351 -934～942	161・437・438住より旧	隅丸方形	6.13	5.61	1.09	74	(33.60)	(25.73)	N-44° -W	8 C第1～第2
440	308～310 -980～983	424住より旧	不明	[3.51]	[0.49]		37	[3.84]	[3.27]	N-61° -W	不明
441	334～339 -949～954	442住より旧 517住より新	隅丸長方形	4.42	3.07	1.44	66	(13.79)	(10.39)	N-54° -W	不明
442	330～335 -950～955	441・513・517住より新	隅丸長方形	4.38	3.51	1.25	70	16.45	12.66	N-28° -E	8 C第3
443	308～311 -954～961	426住、475土坑、2113～2116ピットより旧	隅丸方形または隅丸長方形	6.47	[1.93]		34	[24.11]	[22.60]	N-19° -W	6 C後
444	340～343 -956～958	416住、2085ピットより旧	隅丸方形または隅丸長方形	2.98	[0.39]		30	[2.95]	[2.43]	N-47° -E	不明

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No.	位置Gr	重複	平面形態	長辺 m	短辺 m	長辺/ 短辺	壁高 cm	面積 ㎡	床面積 ㎡	主軸方位	時期
445	340~344-960~964	414住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	(3.48)	(3.10)	(1.12)	34	—	—	測定不能	8C第2~第3?
446	341~345-951~954	416住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	(3.84)	[1.75]		54	[1.78]	[1.10]	N-41°-E	8C後台
449	332~336-981~985	451・452・458住より新	隅丸長方形	4.11	2.61	1.57	52	10.19	6.92	N-41°-W	8C第2~第3
450	325~332-980~987	420・458住より旧 452住より新	隅丸方形	5.95	5.93	1.00	42	(34.16)	(27.12)	N-60°-E	7C第4~8C第1
451	334~336-984・985	449住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[1.05]	[1.00]		41	[0.96]	[0.64]	N-6°-W	不明
452	330~333-982~987	420・449・450・458住より旧	隅丸方形または隅丸長方形?	[3.65]	[3.47]		37	[12.38]	[11.29]	N-28°-W	8C以前
453	314~321-977~983	15溝より旧	隅丸方形	5.48	4.92	1.11	37	24.73	19.64	N-32°-W	6C後~7C前
454	314~318-951~957	455住、15溝より新	隅丸方形	4.04	3.46	1.17	48	13.59	10.57	N-65°-E	8C第3
455	311~318-949~956	454住、15溝より旧	隅丸方形	5.66	5.65	1.00	34	(31.52)	(25.18)	N-47°-E	6C後代
457	322~326-008~011	412住、15溝より旧 2142・2157ピット	隅丸方形	3.24	3.20	1.01	49	(10.35)	(7.53)	N-60°-E	8C第3
458	330~334-981~986	420・449・450住より旧 452住より新	隅丸方形	3.90	3.55	1.10	14	(13.16)	(11.14)	N-30°-W	不明
459	308・309-969~971		不明	[0.87]	[0.60]		40	[0.55]	[0.11]	N-35°-W	不明
463	308~312-907~911	464・468住より新	隅丸方形	3.83	3.36	1.14	26	11.85	8.47	N-88°-E	不明
464	310~314-908~912	463住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	3.45	[2.20]		27	[5.55]	[4.03]	N-46°-W	不明
467	304~306-906~909	468住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	[2.34]	[1.55]		13	[2.72]	[2.35]	N-44°-E	不明
468	304~310-907~913	463・469住より旧 467住より新	隅丸方形または隅丸長方形	5.63	[5.01]		21	[29.92]	[25.65]	N-48°-W	不明
469	305~309-911~916	468・470住より新	隅丸方形	3.42	3.30	1.04	47	(10.74)	(9.25)	N-41°-E	不明
470	305~310-914~920	469住より旧	隅丸方形	(5.38)	(5.14)	(1.05)	28	(27.31)	(22.53)	N-57°-W	不明
473	308~310-920~924	15溝と重複	隅丸方形または隅丸長方形	3.15	[2.34]		34	[6.35]	[5.56]	N-20°-E	不明
474	315~320-912~917	476住と重複	隅丸方形	4.00	3.60	1.11	40	12.87	9.05	N-31°-E	不明
476	319~322-908~913	498住より新 474住と重複	隅丸長方形	4.27	3.10	1.38	37	12.85	9.09	N-93°-E	不明
489	307~309-933~937		隅丸方形または隅丸長方形	3.31	[1.48]		28	[5.55]	[4.47]	N-16°-E	6C後代
490	307~310-932~941	491住より新	隅丸方形	2.99	2.65	1.13	20	(7.79)	(6.62)	N-65°-W	不明
491	307~312-935~940	490住、15溝より旧	隅丸方形	4.21	3.74	1.13	20	(16.00)	(13.30)	N-34°-E	6C後代
492	338~342-928~933	519住より新	隅丸長方形	4.25	3.33	1.28	49	14.43	10.26	N-89°-W	8C第2~第3
493	331~335-924~929	590土坑、2321ピットより旧	隅丸方形	3.72	3.35	1.11	22	11.44	9.87	N-70°-E	6C後代
494	348~352-930~934	438住より旧	隅丸長方形	(3.36)	(2.21)	(1.52)	19	(8.89)	(7.18)	N-33°-E	6C後代
495	320~324-935~938	589・594土坑より旧	隅丸長方形	3.23	2.08	1.55	22	6.74	5.79	N-41°-E	6C後代
496	320~324-951~955		隅丸長方形	3.91	2.84	1.38	51	11.23	8.56	N-53°-E	8C第2~第3
497	329~333-911~914		隅丸方形	3.54	3.07	1.15	41	11.32	7.33	N-2°-E	8C第2~第3
498	318~325-904~912	476住、17・18溝より旧	隅丸方形	5.63	5.02	1.12	34	(28.83)	(21.22)	N-51°-W	7C前代
513	328~334-948~954	442住より旧 515・516住より新	隅丸長方形	4.42	3.13	1.41	66	14.45	11.10	N-43°-E	8C第2~第3?
514	323~327-945~951	515・532住より新	隅丸長方形	4.57	3.28	1.39	61	16.21	11.43	N-64°-E	8C第3~第4
515	326~330-946~952	513・514住より旧 516・532住より新	隅丸長方形	4.37	(3.17)	(1.38)	60	(14.84)	(11.74)	N-45°-E	8C第1~第2
516	328~333-944~949	513・515住より旧 532住、14溝と重複	隅丸方形または隅丸長方形	4.95	[3.63]		50	[18.06]	[13.40]	N-17°-W	7C代
517	333~337-947~951	441・442住より旧	隅丸方形	(3.79)	(3.21)	(1.18)	39	(12.39)	(10.36)	N-45°-E	7C代
519	335~342-933~940	492住より旧	隅丸方形	6.26	5.96	1.05	40	(37.39)	(30.34)	N-63°-W	6C後代
520	325~330-958~963	14溝より旧	隅丸長方形	5.02	4.19	1.20	57	(19.84)	(15.55)	N-20°-W	7C代
522	327~335-931~938	524住より旧 543住より新	隅丸方形	5.61	4.98	1.13	37	(28.85)	(23.07)	N-42°-W	6C後代
524	329~334-936~942	522・535・536・543住より新	隅丸長方形	5.31	3.19	1.66	68	18.19	12.84	N-56°-E	8C第3~第4
525	321~325-927~933	14溝より旧	隅丸方形	4.89	4.51	1.08	23	(22.27)	(20.40)	N-41°-E	古墳時代後期
528	311~317-942~947	15溝より旧	隅丸長方形	5.68	3.21	1.77	53	(19.72)	(17.26)	N-23°-E	不明
532	326~328-946~949	514・515住より旧 516住と重複	隅丸方形または隅丸長方形	[2.50]	[0.78]		34	[1.06]	[0.92]	N-64°-E	6C後代
535	331~337-939~944	524住より旧 543住より新	隅丸方形	4.50	4.49	1.00	56	(19.60)	(14.55)	N-22°-W	8C第1~第2
536	323~330-938~944	524住・14溝より旧 543住より新	隅丸方形	(5.00)	(4.98)	(1.00)	25	(24.12)	(22.48)	N-43°-W	不明
539	339~344-940~945	540・541・544住より新	隅丸長方形	4.70	3.41	1.38	68	15.60	10.43	N-27°-W	8C第2~第3
540	337~341-939~944	539住より旧	隅丸方形または隅丸長方形	3.94	[2.71]		67	[9.22]	[7.18]	N-40°-W	不明
541	338~344-945~950	432・539住より旧	隅丸方形	4.73	4.62	1.02	19	(21.49)	(18.96)	N-41°-W	不明
543	328~331-937~943	522・524・535・536住・14溝より旧	隅丸方形または隅丸長方形	(5.05)	[3.40]		31	[19.33]	[17.83]	N-45°-W	不明
544	342~347-939~945	539住より旧	隅丸方形	5.05	4.77	1.06	32	(23.47)	(19.81)	N-33°-W	6C後代

第3表 竪穴住居カマド一覧表

No.	位置Gr	壁位置	全長m	幅m	主軸方位
123	346・347-986・987	北壁やや東	0.65	0.70	N-24°-W
124	348~350-990・991	北壁東	1.15	1.41	N-28°-W
130	345~347-003・004	北壁東	1.55	1.43	N-6°-W
134	353-973・974	北壁西	1.04	1.10	N-36°-E
135	351・352-989・990	東壁中央	1.12	[0.89]	N-89°-E
138	340-989~990	東壁南	1.02	0.91	N-60°-W
143	349・350-972~974	東壁やや南	1.51	0.87	N-72°-E
149北	352・353-967・968	北壁東	1.88	1.50	N-5°-W
149東	349・350-963・964	東壁南	0.61	0.93	N-73°-E
151	360・361-913・914	東壁中央	0.96	1.14	N-57°-E
156	359~361-948・949	北壁やや東	1.33	1.44	N-22°-W
157	357・358-942・943	東壁やや南	1.31	0.98	N-88°-E
158	353・354-923・924	東壁南	1.10	1.05	N-57°-E
159	355・356-920・921	東壁やや南	1.00	1.26	N-41°-E
160	357・358-924・925	北壁中央	0.79	0.99	N-47°-W
161	352~354-935~937	東壁やや南	1.75	1.35	N-59°-E
162	352・353-947~949	北壁やや東	1.52	1.22	N-31°-E
163	351・352-941・942	東壁南	[0.13]	[1.03]	N-63°-E
166	357・358-968・969	東壁やや南	1.20	1.32	N-72°-E
167	なし				
169	353~355-960~962	東壁南	1.58	1.33	N-82°-E
171	354・355-932	東壁南	0.72	0.64	N-45°-E
172	不明				
173	353・354-941・942	東壁南	1.28	[0.63]	N-55°-E
174	357-011・012	北壁やや東?	(0.65)	0.83	N-40°-W
175	353・354-995・996	東壁やや南	0.73	0.80	N-80°-E
176	354・355-002・003	北壁東	1.05	0.79	N-3°-W
178	356・357-930・931	東壁南	1.31	1.06	N-81°-E
180	354・355-980・981	北壁やや東	1.28	0.97	N-20°-W
182	353-977・978	東壁やや南	0.67	0.69	N-75°-E
183	356~358-977・978	東壁やや南	1.17	1.17	N-73°-W
184北	358・359-929~931	北壁やや東	1.16	1.25	N-45°-W
184東	357・358-926	東壁南	0.65	1.12	N-52°-E
185	347~349-994~996	東壁中央	2.06	1.77	N-61°-E
186	353・354-956・957	東壁南	1.03	1.16	N-82°-E
187	357・358-959・960	北壁東	1.10	1.01	N-21°-W
195	354・355-991~993	東壁やや南	1.27	1.40	N-70°-W
198	352・353-995・996	北壁やや東	[0.92]	1.77	N-32°-W
199	358・359-997	北壁中央	[0.18]	[0.50]	N-47°-W
200	355・356-987・988	東壁南	0.86	1.17	N-80°-E
403	341・342-981・982	東壁南	0.96	0.74	N-67°-E
406	なし				
408	349・350-986・987	東壁中央	0.90	0.78	N-53°-E
409	336・337-976・977	東壁南	1.19	0.90	N-75°-E
410	342・343-980・981	北壁東	[0.60]	0.77	N-31°-W
411	343・344-983	北壁中央	0.30	0.43	N-38°-W
412	322・323-010・011	東壁南	1.00	1.13	N-90°-W
413	341・342-969・970	北壁中央	(0.75)	1.13	N-32°-W
414新	340・341-962・963	東壁やや南	0.61	0.70	N-102°-E
414旧	341-962・963	東壁北	0.92	0.76	N-88°-E
415	336・337-959・960	東壁やや南	0.88	0.95	N-62°-E
416北	346・347-956	東壁やや南	0.57	0.72	N-36°-W
416東	344・345-951~953	北壁やや東	1.26	1.16	N-71°-E
417	なし				

No.	位置Gr	壁位置	全長m	幅m	主軸方位
420	330・331-980・981	東壁南	0.76	0.77	N-75°-E
421	315-001	東壁中央	0.54	0.36	N-54°-E
422	309・310-004・005	東壁南?	0.77	0.78	N-68°-E
423	312・313-987・988	東壁南	0.98	0.99	N-105°-E
424	311・312-980・981	東壁南	1.02	1.04	N-60°-E
425	311・312-973・974	北壁東	1.06	1.15	N-43°-W
426	310・311-956・957	東壁南	0.72	0.90	N-57°-E
427	308・309-948	東壁中央?	0.86	0.74	N-60°-E
428	308・309-978・979	東壁中央?	0.58	0.80	N-7°-W
429	318・319-987	北壁やや西	1.09	0.80	N-22°-W
430	314・315-966・967	東壁南	1.00	0.60	N-83°-E
431	330-005	東壁南	0.50	0.75	N-54°-E
432	345・346-948・949	北壁やや東	1.15	1.13	N-17°-W
434	322・323-997・998	東壁中央	0.77	0.95	N-62°-E
437	349・350-936・937	東壁やや南	1.20	1.10	N-45°-E
438	347・348-932・933	東壁南	0.98	1.10	N-66°-E
439	349-939・940	北壁やや西	0.99	0.63	N-33°-W
441	338・339-952・953	西壁北	1.85	0.95	N-35°-W
442	333~335-951・952	北壁東	1.66	1.42	N-29°-E
443	310・311-958	北壁中央	0.66	0.54	N-10°-W
446	344・345-951・952	東壁南?	0.66	0.91	N-44°-E
449	335・336-983・984	北壁東	0.98	1.29	N-39°-W
450	326・327-985・986	西壁南	0.92	1.04	N-61°-E
453	320-981・982	北壁中央	0.48	0.62	N-32°-W
454	315・316-951~953	東壁南	1.34	1.04	N-65°-E
455	315・316-950・951	東壁中央	1.13	0.71	N-47°-E
457	324・325-008・009	東壁中央	1.19	0.99	N-67°-E
463	309・310-907・908	東壁南	1.04	0.89	N-82°-W
464	312・313-910・911	西壁北	0.85	0.82	N-46°-W
470	308・309-919・920	西壁中央	0.67	0.69	N-55°-W
474	319・320-913・914	北壁中央	(0.41)	0.72	N-28°-E
476	319・320-908~910	東壁南	1.15	0.98	N-94°-E
489	308・309-934・935	北壁やや東	0.99	0.75	N-15°-E
490	308・309-940	西壁南	0.55	1.11	N-60°-W
491	311・312-936・937	北壁やや東	0.88	0.92	N-34°-E
492	339-928・929	東壁やや南	0.90	0.85	N-80°-W
493	333・334-924・925	東壁南	0.79	0.90	N-66°-E
494	350~352-930~932	北壁東	1.91	1.10	N-38°-E
495	なし				
496	322・323-951・952	東壁やや南	1.60	1.08	N-54°-E
497	332・333-912・913	北壁やや東	1.22	1.00	N-3°-E
498	322・323-909・910	北壁中央	1.09	1.13	N-38°-E
513	331・332-949・950	東壁やや南	1.15	1.06	N-48°-E
514	324・325-945・946	東壁南	1.10	1.25	N-70°-E
515	328・329-946~948	東壁南	1.35	1.36	N-57°-E
516	331~333-947・948	北壁やや東?	1.78	1.16	N-14°-W
519	340・341-938・939	西壁北	1.97	1.20	N-72°-W
522	332・333-935~937	北壁やや東	1.56	1.08	N-48°-W
524北	333・334-937・938	東壁北端	1.50	1.10	N-48°-E
524西	333・334-939・940	北壁やや東	1.14	0.87	N-32°-W
535	335~337-941・942	北壁東	1.20	1.14	N-14°-W
539	342~344-943・944	北壁やや西	1.29	1.09	N-30°-W
544	345・346-942・943	北壁やや東	1.05	0.81	N-25°-W

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

第4表 竪穴住居貯蔵穴・柱穴計測表

No.	貯蔵穴				柱1			柱2			柱3			柱4			柱間距離 (m)					
	平面形態	断面形態	長径	短径	長/短	深さ	長径	短径	深さ	長径	短径	深さ	長径	短径	深さ	長径	短径	深さ	1-2	2-3	3-4	4-5
124							55	36	36	82	62	58	56	42	60	55	33	52	2.1	2.5	2.1	2.4
									柱5			柱6										
149							44	30	35	51	42	68										
151	楕円形	丸みを帯びた台形	46	40	1.15	9	61	51	37	59	40	43	56	47	40				3.6	4.4	—	—
156							73	51	37	41	37	62	70	49	31	51	36	32	1.8	1.8	2.0	2.0
157	楕円形	台形	80	61	1.31	19	40	32	51	47	35	49	37	28	17	35	32	48	2.3	2.4	2.4	2.3
160	楕円形	丸みを帯びた台形	110	90	1.22	12																
162	楕円形		89	78	1.14	17	56	40	52	42	39	33	52	44	40	44	33	60	3.2	3.1	3.1	3.1
166							34	30	23	29	22	24	40	28	28	31	28	28	1.9	2.3	2.1	2.1
171							58	55	34	120	85	38	35	31	48	116	63	38	3.3	2.0	3.1	2.2
174	楕円形		73	60	1.22	30	45	41	35	45	40	40	46	37	40	44	43	50	2.1	2.1	2.0	2.0
184																						
185							41	35	43	50	39	46	50	44	44	31	30	40	2.1	2.5	1.9	2.5
							50	36	73	59	45	52	68	52	45	55	40	47	3.2	2.3	3.0	2.6
							柱5															
199							43	37	58													
408										40	38	45	40	36	45	40	31	46	—	2.6	2.6	—
							42	38	46	43	33	35	55	35	41	43	37	62	2.6	2.4	2.4	2.3
																			2.6	2.6	2.4	2.3
410										40	33	40	46	41	36	41	41	41	—	2.2	1.9	—
416							59	49	63	65	53	68	60	46	61	69	65	69	2.9	2.7	2.9	2.8
417							35	32	33	47	36	43	40	35	52	38	32	22	3.8	3.3	3.9	3.4
421							37	27	25	27	26	37	42	38	47	32	27	45	3.3	2.4	3.3	2.5
							柱5			柱6			柱7		柱8							
							40	28	36													
422													35	32	34	38	27	25	—	—	1.7	—
425	隅丸方形	台形	69	59	1.17	26																
429	隅丸長方形	台形	72	51	1.41	56	43	39	66	53	40	65	42	38	51	37	37	68	2.5	2.8	2.6	2.8
431							24	20	37				32	31	52	36	31	49	—	—	2.1	2.0
434							37	32	56	42	30	68	34	31	33	39	36	69	2.7	2.7	2.6	2.8
439							39	33	50	54	40	48	52	44	67	56	43	47	2.7	2.8	2.7	2.9
441	円形	丸みを帯びた台形	91	86	1.06	29																
443							43	41	43							45	35	37	—	—	—	3.9
449	円形	崩れた台形	62	55	1.13	46																
450	楕円形	台形	84	58	1.45	30	61	54	73	51	45	56	57	48	76	53	44	60	3.4	3.4	3.5	3.5
453	隅丸方形	台形	63	62	1.02	26	56	35	50	51	44	54	42	30	42	43	36	51	3.1	3.1	3.1	2.7
							柱5			柱6			柱7		柱8				2.1	2.1	2.3	2.2
							35	34	57	34	33	45	43	37	52	63	47	57				
455							43	39	30	42	37	26	38	27	27	44	34	33	2.8	3.0	2.9	2.8
458							37	28	36	37	30	34	31	27	30	30	25	21	1.9	1.7	2.0	1.7
							32	22	32	32	29	41	31	27	30	28	25	32	1.7	1.7	1.8	1.6
464	円形		45	45	1.00	20																
468							63	62	61	57	48	55							3.3	—	—	—
470							52	45	49						55	43	46	—	—	—	2.8	
474	楕円形		47	37	1.27	40	35	28	22	19	17	32	30	19	34	16	13	31	1.7	1.7	1.7	1.7
491	隅丸長方形	丸みを帯びた台形	72	52	1.38	20	38	(31)	29	(31)	(29)	57	49	48	60	38	(24)	40	2.3	2.4	2.3	2.3
							柱5			柱6			柱7		柱8				2.0	2.2	2.1	2.2
							38	(25)	27	51	(36)	60	27	(23)	47	(40)	(26)	41				
494	楕円形	台形	68	52	1.31	23																
498	楕円形	丸みを帯びた台形	69	52	1.33	24	63	56	68	75	60	70	60	56	69	78	59	68	3.2	2.9	3.0	3.1
516	円形	丸みを帯びた台形	63	54	1.17	14	39	34	28	35	31	27							2.6	2.5	—	—
517							30	28	61	30	30	28	31	25	39	30	27	44	1.2	1.6	1.3	1.6
519	円形	ゆがんだ台形	81	73	1.11	44	58	45	51	65	54	54	59	55	41	60	47	47	3.3	3.4	3.2	3.3
520							26	25	30	29	26	37	37	30	44	39	34	36	1.6	1.9	1.8	1.9
522							51	38	36	40	40	28	36	35	43	45	45	49	2.2	2.3	2.0	2.1
525							40	34	53	30	30	56	31	30	48	31	30	39	2.2	2.3	2.2	2.2
535	楕円形	台形	63	44	1.43	29	32	32	33	30	26	46	38	31	40	61	55	16	2.1	2.4	2.2	2.2
536							38	35	36	41	37	30	33	29	45	38	33	27	2.7	2.1	2.6	2.3
540							35	24	35	39	36	39	53	47	22	35	29	37	1.3	1.5	1.3	1.3
544	楕円形	半円形	80	64	1.25	42	40	30	52	36	30	46				46	41	55	2.3	—	—	2.3

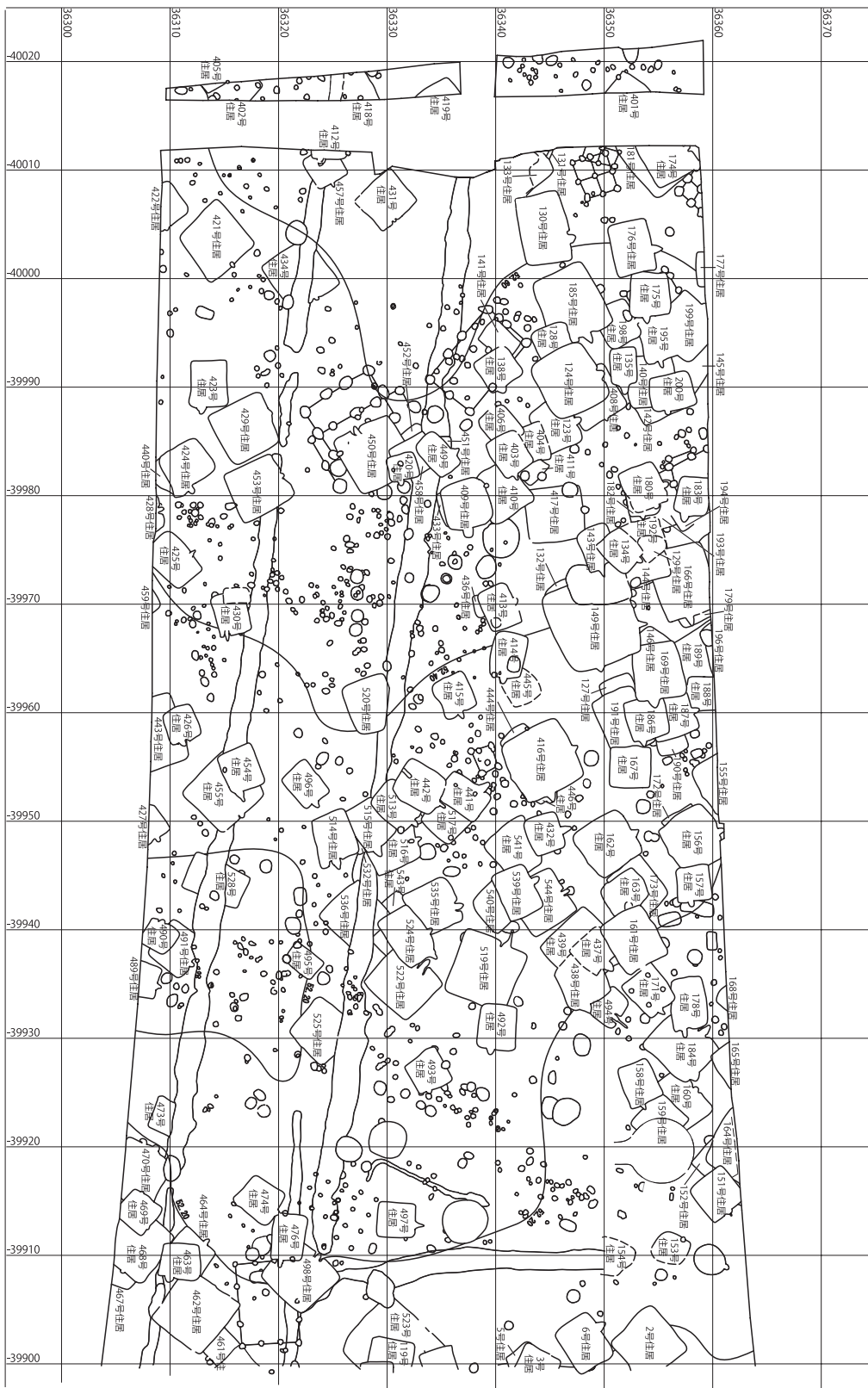
第5表 竪穴住居出土遺物数量表

種別	古式土器	土師器							須恵器										灰釉陶器		土製品			石製品				鉄製品			総計																		
		甕	杯	高杯	甗	台付甗	甗	鉢	小型土器	他	計	杯	盤	碗	鉢	蓋	高杯	高盤	甗	壺・瓶	ハソウ	甗	鉢	すり鉢	小型土器	他	計	碗	壺・瓶	土		他	計	白 玉	砥 石	紡 錘 車	他	計	窯 体	鎌	刀 子	鉄 鋸	角 釘	他	計				
123		68		179					247	46			3		14	4										67		0	0					0						0				0	314				
124			203		372	3	2		580	41	9	7	25		22	14				1	5				124		0	0					0				2		1	3			707						
125			98		125	1			224	31			17		22										70		0	0					0					1	1				295						
126			2		4				6	1															1		0	0					0									0	7						
127	2		2		1	1			4	1			4												5		0	0					0										0	9					
128			15	1	10				26	5			3		5	1									14	1	1	1	0				0										0	41					
129			4	1	30		1	1	37	2			1		16	4									23		0	0					0										0	60					
130			136		114	1	1	21	273	24	1	3	6	1	21	22							1		79		0	0					0				2		1	3			355						
131			2		3				5	4							3								7		0	0					0											0	12				
132			1						1																0		0	0					0						1				1	2					
133					2				2								4				1				5		0	0					0											0	7				
134			81		242			6	330	41			4	2	53	13									113		0	0					0							1	1			444					
135			6		61	6			73	1					5	7								1	14		0	0					0											0	87				
136			1		5				6	2			1		2										5		0	0					0											0	11				
137			42		77			1	120	9			2		11										22		0	0					0	1										0	142				
138			11		31	1			43	2			1	1	5	2									11		0	0					0							1	1			55					
139			24		12				36	5			2		11										18		0	0					0											0	54				
140			7		7				14	3					3										6		0	0					0												0	20			
141			17		40			2	59	3			11												14		0	0					0						1				1		74				
142			39		15			1	55	8			1				4								13		0	0					0												0	68			
143			100	1	388			1	490	41	2		6	1	16	7							1		74		0	0					0												0	564			
144			18		48			4	70	4			3	1	12	13									33		0	0					0												0	103			
145			11		62				74	10			2		17	1									30		0		3	3			0												0	107			
146			6		18				24	4			2		12	6									25		0	0					0												0	49			
149			892	2	1558	3	1	30	2489	265	2	6	31	79	11	247	89					2	4	1	2	739		0	0			4		4				1	1		2			2	3234				
150			6		139	1			146	5			1	1	5	3									15		0	0					0												0	161			
151			63		237				300	22					47	4							1	1	75		0	0					0												0	375			
152			104		124			2	230	9					22	3							1		35		0	0					0												0	265			
153									0						2										2		0	0					0												0	2			
154									0	1			1		1										3		0	0					0												0	3			
155					4				4	1					1	1									3		0	0					0												0	7			
156	1		203	1	228			4	436	41			15		54	16							1		127		0	0					0		2										0	563			
157			40		636				676	52			5		56	1									114		0	0					0													0	790		
158			68	6	282		3		359	37	1		7	1	87	2									135		0	0					0		3										0	494			
159			143	1	728			21	893	118	1	2	5		90	27							6	1	250		0	0					0												0	1143			
160			20	2	3				25	4			1	1	5										11		0	0					0												0	36			
161			164	1	983				1148	150			19	2	140	14							1	1	328		0	9	9				0					1	1					2	1487				
162			43		176		1		220	16				3	56	7							1		83		0	0					0												0	303			
163			492		400				892	74			7	40	2	109	37					1	6		276		0	0					0		8		1							1	1169				
164			6		6				12	1															1		0	0					0												0	13			
165			13		34				47	1			1		2	3									7		0	0					0												0	54			
166			94		958				1052	197	1		19	5	110	21							1	1	356		0	1	1				0													2	3	5	1414
167			8	1	76				85	11			2		35	8									56		0	0					0													0	141		
169			92	3	534		4		654	105	1		16	4	53	14						1		194		0	1	1				2		2											0	851			
171			80		143			1	225	12			1	2	51	8									75		0	0					0												0	300			
173			64		195				259	9			2	3	42	5									61		0	0					0												2	2	322		
174			23		52			5	80	27			1	1	42										75		0	0					0													0	155		
175			20		119			1	140	26				1	3	2									32		0	0					0												0	172			
176			56		150		1	4	211	32			2	2	25	10									71		0	0					0												0	282			
177			2		23				25	7	1		1		7	1									17		0	0					0												0	42			
178			73		444	1	1		519	51			7	1	96	5									160		0	3	3				1	1															

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

種別	古式土師器										須恵器										灰釉陶器		土製品			石製品				窯 体	鉄製品				総計																	
	器 種	甃	杯	高 杯	甃	台 付 甃	甃	鉢	小 型 土 器	他	計	杯	盤	碗	鉢 た 蓋	ま は	蓋	高 杯	高 盤	甃	壺・ 瓶	台 付 壺	ハ ソ ウ	鉢	す り 鉢	小 型 土 器	他	計	碗 壺 ・ 瓶		計	土 鍾	他	計		白 玉	砥 石	紡 錘 車	他	計	鎌	刀 子	鉄 鍬	角 釘	他	計						
183		49	5	270			12			336	63	1	5	7			36	31					3				146		0		0				0			1							1	483						
184		217		791	3		29			1040	82			8	21			126	28				4		1		270		0	2	2				0			1							1	1313						
185		42		202						244	40				5	1		40	4				1	1			92		0		0				0			1							1	337						
186		134		409	1					544	71	1			16			89	10								187		0		0				0				1							1	732					
187		56		98	1					155	6	1			9	1		13	6								36		0		0				0											0	191					
188		17		86						103	19				1	2		9	2								33		0		0				0												0	136				
189		25		52						77	12					3		6	2								23		0		0				0												0	100				
190		4		4						8	1							5									6		0		0				0													0	14			
191		35		140						175	17				5	1		64	12					1		1	101		0		0				0													0	276			
192		8	2	34		1				45	4							25	3								32		0		0				0													0	77			
193		90		196				1		287	21	1			4			20	2								48		0		0				0													0	335			
194				9				1		10	1				1				1								3		0		0				0														0	13		
195		37		330						367	66		1		2			29									98		0		0				0														0	465		
196		2		2						4																		0		0		0			0															0	4	
198		15		52						67	5			1	1	1		8									16		0		0				0														0	83		
199				4						4	1							2									3		0		0				0														0	7		
200		29	1	311					1	342	42				3			28	4								77		0		0				0			1											1	420		
401		3		15						18	9				1			4	3								17		0		0				0															0	35	
403		167		260						427	27	1			11	2		11	4								56		0		0				0															0	483	
404		78		93						171	17	1	10	2				1	5								36		0		0				0															0	207	
405		18		9						27	4			4	2			2									12		0		0				0															0	39	
406		17		8						25	1				3			8									12		0		0				0															0	37	
408		22		12						34	3				1			1									5		0		0				0															0	39	
409		102		235	3				3	343	42	1			20	1		63	30							1	158		0		0				0															0	501	
410		64		140						204	1							200									201		0		0				0																0	405
411		30		52						82	8				3			15									26		0		0				0																0	108
412		8		34						42	3				1			5									9		0		0				0																0	51
413		16		80						96	15	1						32	5								53		0		0				0																0	149
414		13		113	1	1				128	45				34												2	81		0		0			0															0	209	
415		31		38						69	17				3			44	2								66		0		0				0															0	135	
416		233	4	546	2		1	1		787	122			1	9			285	84			1	6		1	509		0		0				0			1												1	1297		
417				2						2	2							3									5		0		0				0															0	7	
418		3		11						14		1			1			3									5		0		0				0															0	19	
419				7						7								1									1		0		0				0																0	8
420		7		15						22	9	1			1			14									25		0		0				0			1	1											0	48	
421		4		55						59	6				1			4									11		0		0				0																0	70
422		4		130	1		1			136	2					3		1									6		0		0				0															0	142	
423		31	1	96						128	20				2			55									77		0		0				0																0	205
424		73		113						186	27					2		22	8								61		0		0				0																0	247
425		38		65	1					104	15			4				9	7					1			36		0		0				0															0	140	
426		27		37			3	1		68	2							8									10		0		0				0															0	78	
427		11		30						41	11				2			8	7								28		0		0				0															0	69	
428		2		2						4	2							1	1								4		0		0				0																0	8
429		133	2	239		1	1	4		380	34				3			144	21						9		211		0		0			0																0	591	
430				22					1	23	1				1			5									7		0		0				0																0	30
431				2						2								8									8		0		0				0																0	10
432		44		104	3					151	6			1	4	1		37									49		0		0				0															0	200	
433		2		5						7</																																										

III 検出された遺構と出土遺物



第9図 1・2区竪穴住居配置図

123号住居 (第10図、PL 9)

位置 343～347 -983～988 Gr

重複関係 124・404住より旧 408住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.67m

短辺 (3.77)m 長辺/短辺 (1.24) 壁高 21cm

面積 (17.40)m² 床面積 (14.55)m²

主軸方位 N-25°-W

壁溝 なし 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で部分的に貼床。南東部がやや低く全体的に硬化。

遺物出土状況 埋土中に散在。破片が少量出土しただけ

ですべて流入遺物か。

掘り方 土坑状掘り込み3基他ピット、溝状掘り込み数基あり。

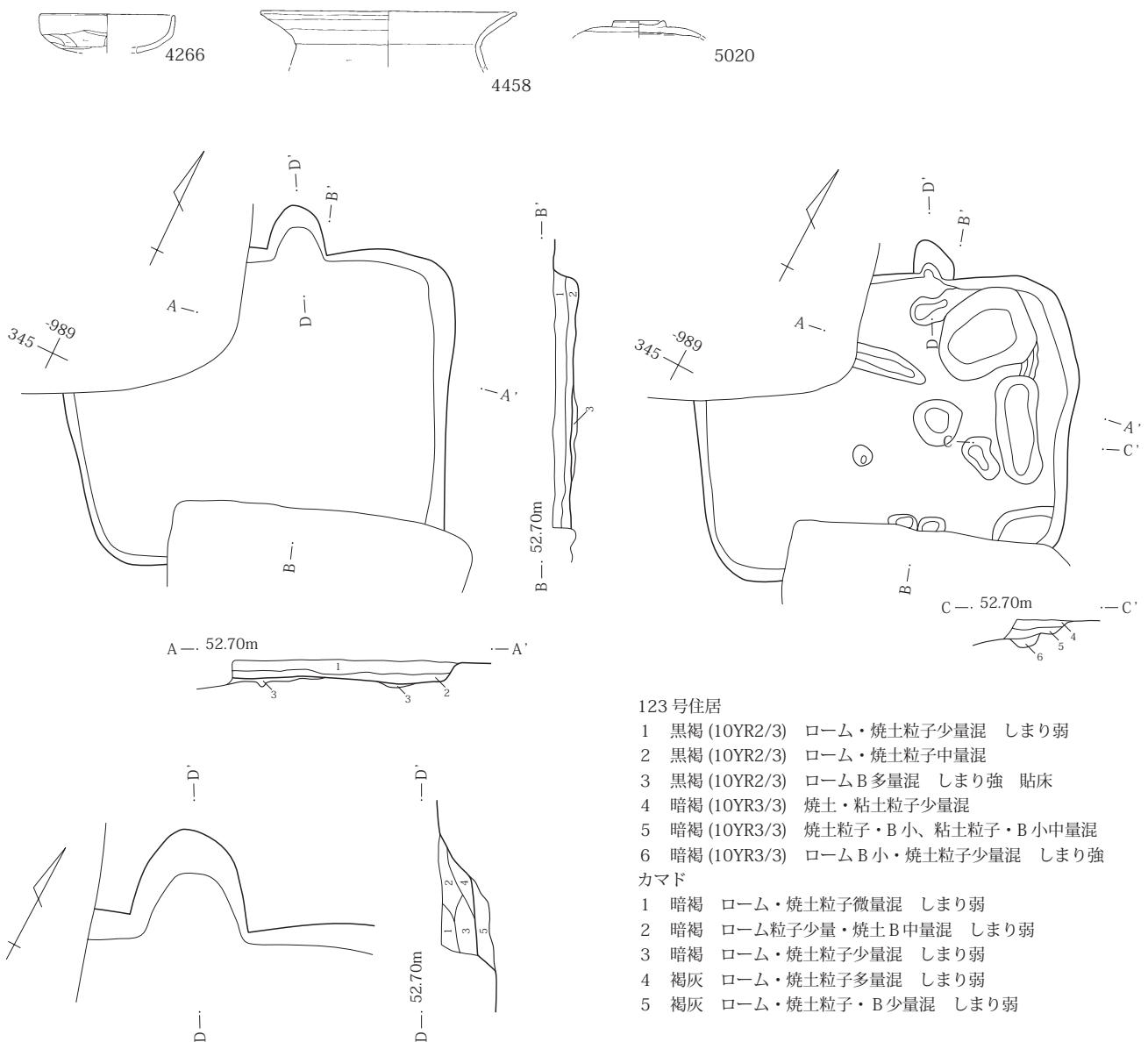
カマド

位置 346・347 -986・987 Gr 壁位置 北壁やや東

全長 0.65m 幅 0.7m 主軸方位 N-24°-W

構築 残存状況悪く袖構築材不明。焚口部・燃烧部は平坦で灰層はみられない。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

時期 遺構に遺棄された遺物が確認できないため詳細は不明。数少ない出土遺物から、7世紀後半～8世紀前半か。



123号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混 しまり弱
 - 2 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子中量混
 - 3 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 しまり強 貼床
 - 4 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混
 - 5 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B小、粘土粒子・B小中量混
 - 6 暗褐 (10YR3/3) ロームB小・焼土粒子少量混 しまり強
- カマド

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子微量混 しまり弱
- 2 暗褐 ローム粒子少量・焼土B中量混 しまり弱
- 3 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり弱
- 4 褐灰 ローム・焼土粒子多量混 しまり弱
- 5 褐灰 ローム・焼土粒子・B少量混 しまり弱

第10図 123号住居

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

124号住居（第11～14図、PL 9）

位置 343～350-987～994 Gr

重複関係 123・128・408住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 6.23m 短辺 5.62m 長辺/短辺 1.11

壁高 41cm 面積 33.06㎡ 床面積 27.77㎡

主軸方位 N-28°-W 壁溝 北・東壁一部

貯蔵穴 なし 柱穴 4基。床面で確認できず掘り方で確認。3ヶ所で2基近接して検出されており、建替えの可能性あり。

埋没土 ローム・焼土を含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で一部貼床。他は掘り方を直接床面とする。

遺物出土状況 北西から南東にかけて多く南西部少ない。上層～床面中心。完形・半完形の遺物も多いが、埋土中のものが多くほとんど廃棄遺物か。南壁際のもの

壁上から転落した可能性あり。4063・4909・4912は床面上の出土である。

掘り方 壁内側に壁溝状の掘り込みあり。他に土坑1・ピット数基あり。

カマド

位置 348～350-990・991Gr 壁位置 北壁東

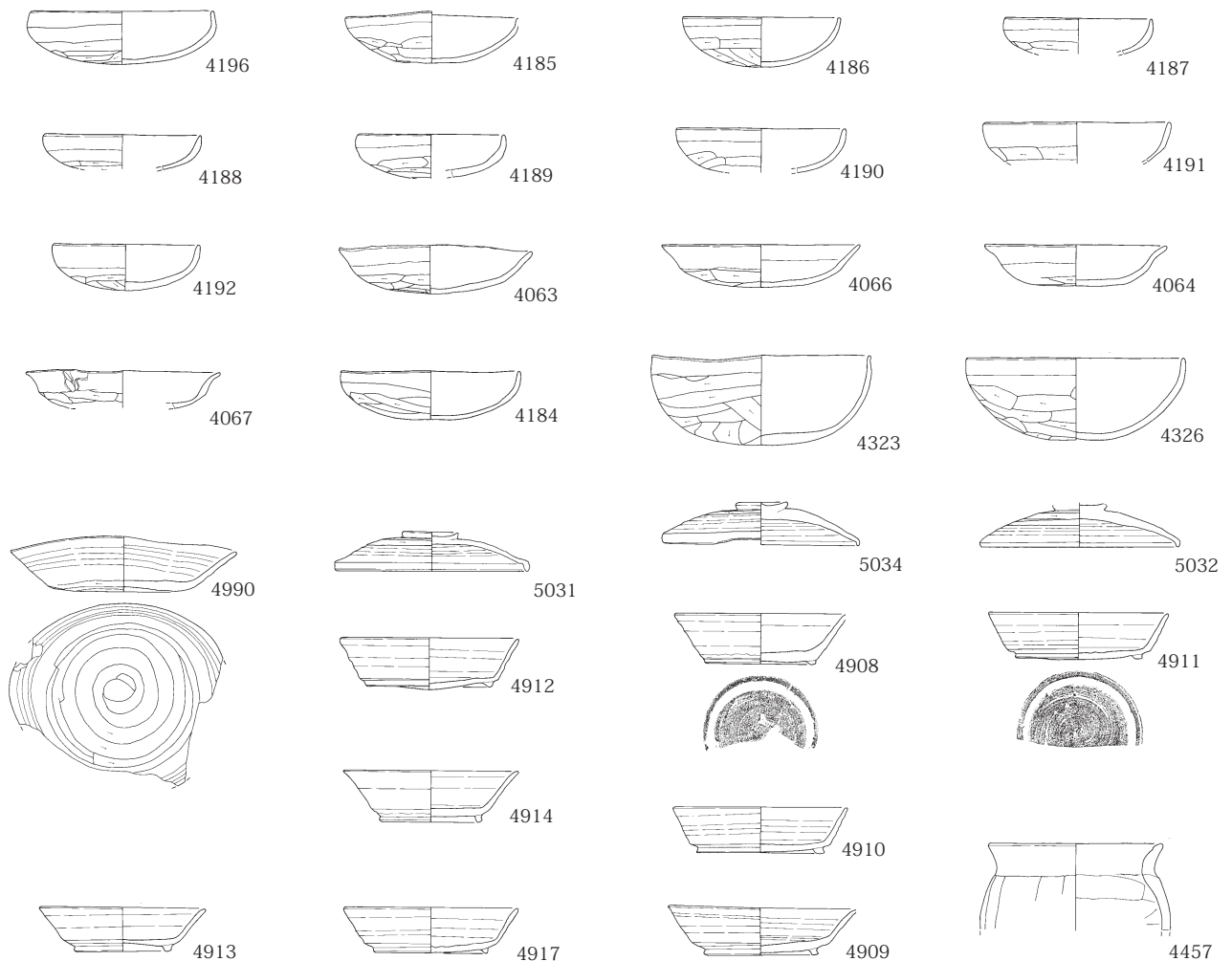
全長 1.15m 幅 1.41m 主軸方位 N-28°-W

構築 ロームを含む粘質土で袖を構築。焚口部底面はややくぼみ灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

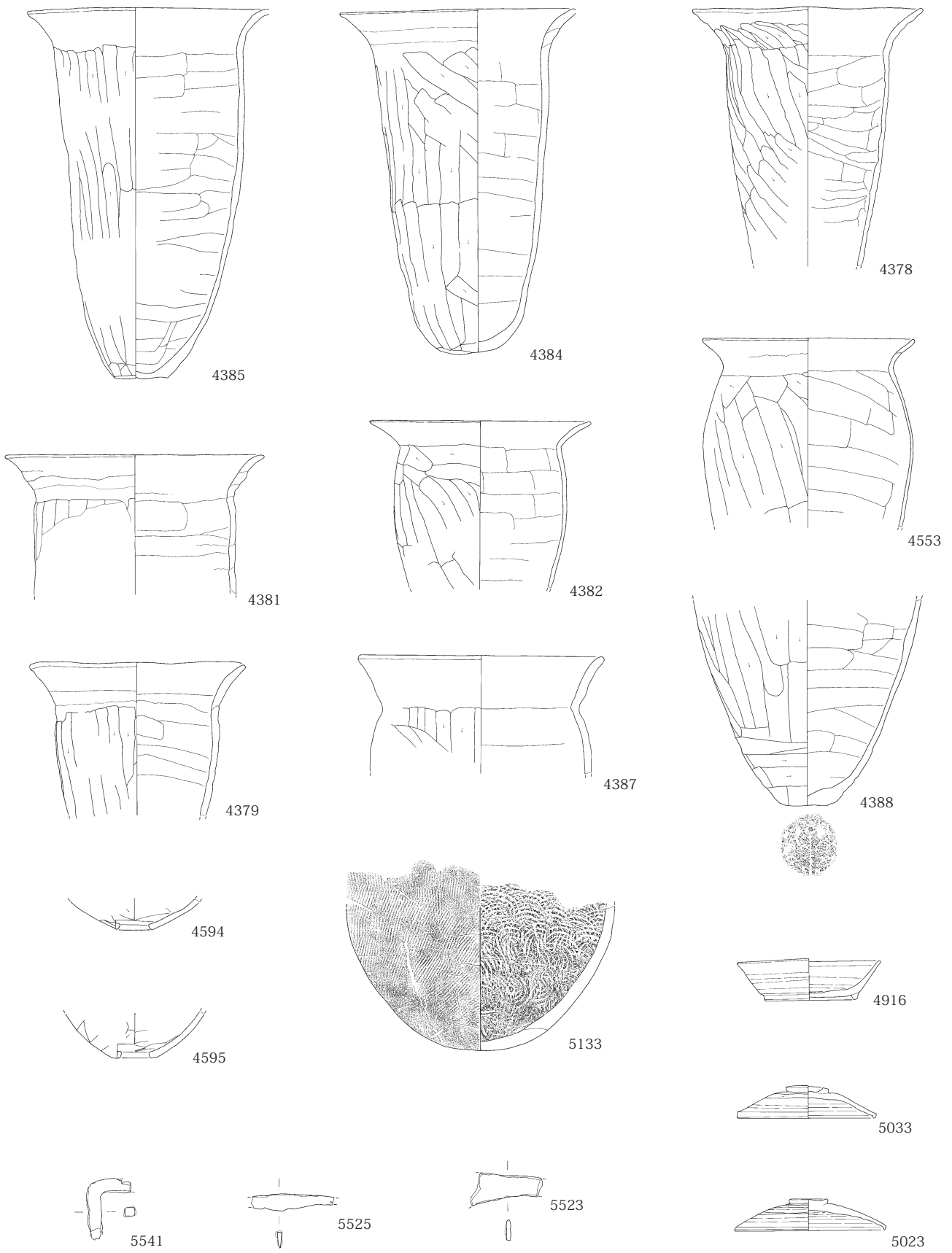
遺物出土状況 焚口部・燃烧部から半完形の土器数点・礫出土。

備考 掘り方で壁溝内周に壁溝状の掘り込みが検出されており、拡張の可能性あり。

時期 遺棄された可能性のある南壁際の遺物や、他の完形に近い遺物から、8世紀第2四半期か。

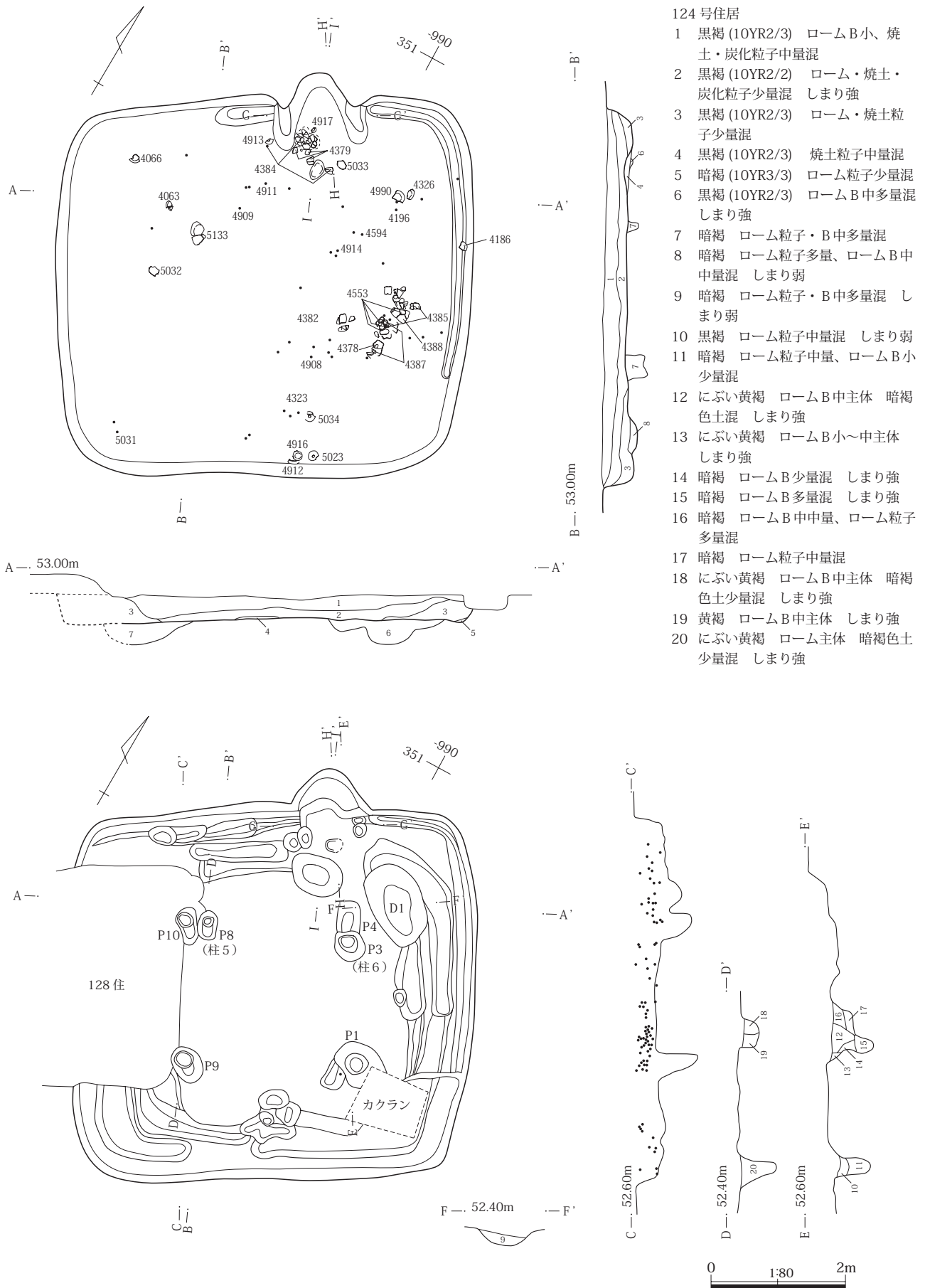


第11図 124号住居出土遺物（1）

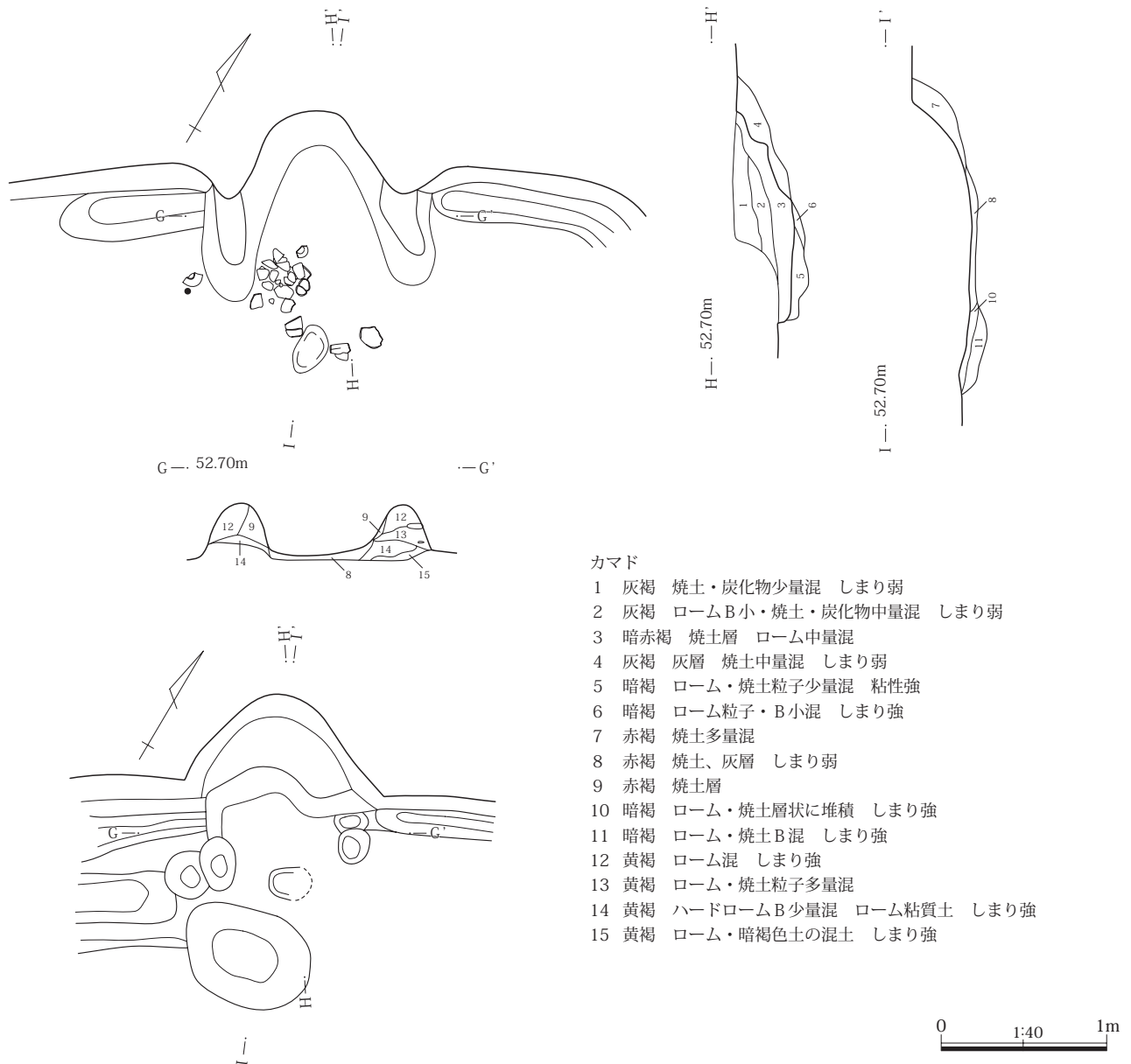


第12図 124号住居出土遺物(2)

III 検出された遺構と出土遺物



第13図 124号住居使用面・掘り方



第14図 124号住居カマド

127号住居 (第15図、PL 9)

位置 349～352 -960～963 Gr 重複関係 191住より旧
 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 3.17m
 短辺 [2.30]m 長辺/短辺 不明 壁高 33cm
 面積 [6.86]m² 床面積 [5.86]m²
 主軸方位 N-18°-W 壁溝 なし
 貯蔵穴 不明 柱穴 なし
 埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 ほぼ平坦で掘り方を床面とする。

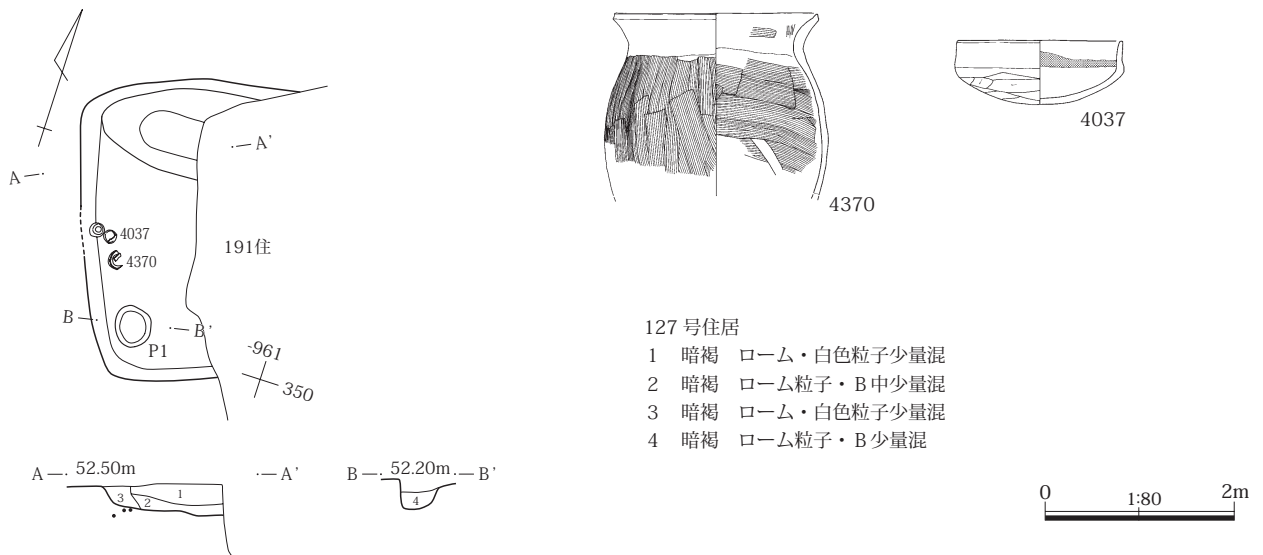
遺物出土状況 床面付近中心に散在。小破片が多いが、4037・4370は床面上の出土で、遺棄された可能性が高い。

掘り方 掘り方を床面とする。カマド 不明

備考 重複により不明な点が多いが、規模小さく一般的な住居でない可能性もある。

時期 遺物出土量は少ないが、床面上出土の遺物から、6世紀後半～7世紀前半か。

III 検出された遺構と出土遺物



- 127号住居
- 1 暗褐色 ローム・白色粒子少量混
 - 2 暗褐色 ローム粒子・B中少量混
 - 3 暗褐色 ローム・白色粒子少量混
 - 4 暗褐色 ローム粒子・B少量混

第15図 127号住居

128号住居 (第16図、PL10)

位置 343～347-991～995 Gr

重複関係 124・185住より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 3.96m 短辺 3.32m

長辺/短辺 1.19 壁高 53cm 面積 12.93m²

床面積 9.71m² 主軸方位 N-23°-W

壁溝 北壁東部除き全周。貯蔵穴 なし

柱穴 なし 埋没土 上層はローム・焼土を含む暗褐色土。下層はロームを含む黒褐色土。

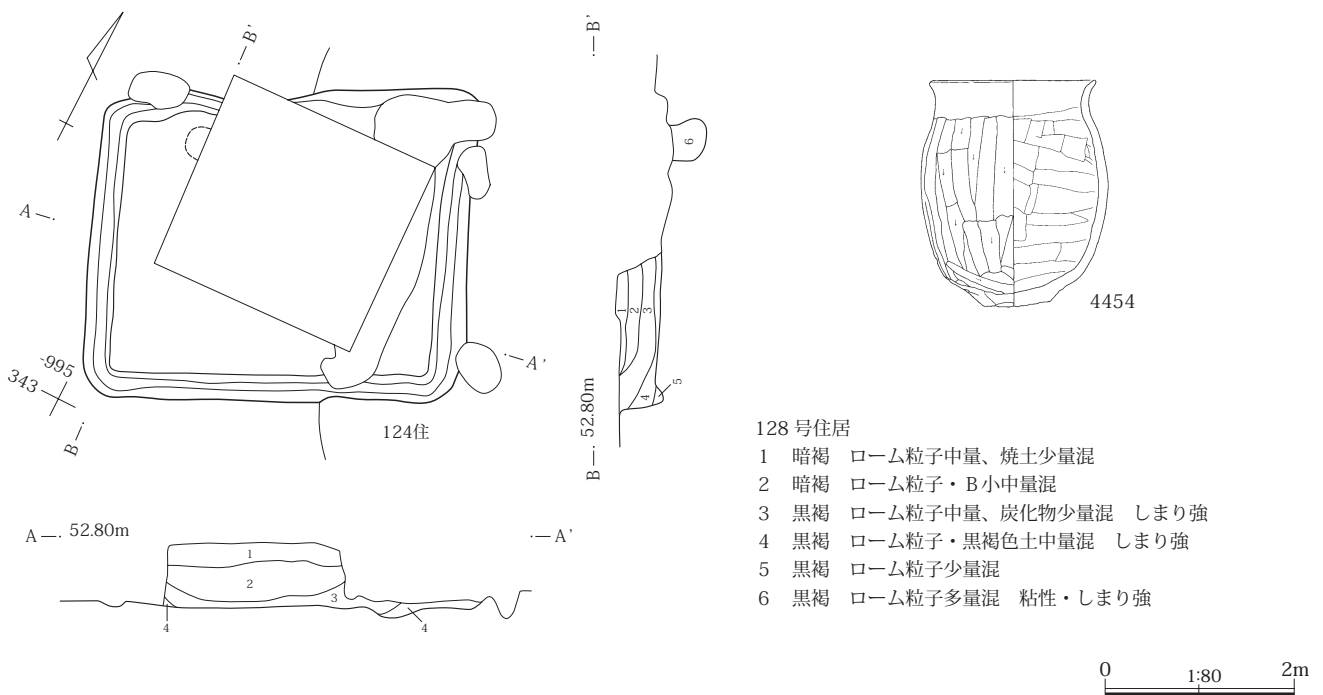
床面状態 ほぼ平坦で掘り方を床面とする。

遺物出土状況 埋土中から破片が少量出土しただけ。すべて流入遺物か。

掘り方 掘り方を床面とする。カマド 残存部にはなし。

備考 中央を攪乱されており、また、重複により残存状態は悪いが、しっかりした壁溝を持つため、一般的な住居か。

時期 出土遺物が少なく詳細な時期は不明であるが、図示された遺物から、6世紀後半～7世紀前半か。



- 128号住居
- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土少量混
 - 2 暗褐色 ローム粒子・B小中量混
 - 3 黒褐色 ローム粒子中量、炭化物少量混 しまり強
 - 4 黒褐色 ローム粒子・黒褐色土中量混 しまり強
 - 5 黒褐色 ローム粒子少量混
 - 6 黒褐色 ローム粒子多量混 粘性・しまり強

第16図 128号住居

129号住居 (第17・18図、PL10)

位置 351～356-971～976 Gr

重複関係 134住より旧 166住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 (4.00)m

短辺 3.78m 長辺/短辺 1.06 壁高 43cm

面積 (14.62)m² 床面積 (13.22)m²

主軸方位 N-12°-W

壁溝 カマド両脇を除き全周。貯蔵穴 なし

柱穴 なし 埋没土 ロームを含む褐色土および暗褐色土・黒褐色土。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ほぼ平坦でロームを含むにぶい黄褐色土で一部貼床とするが他は掘り方を床面とする。

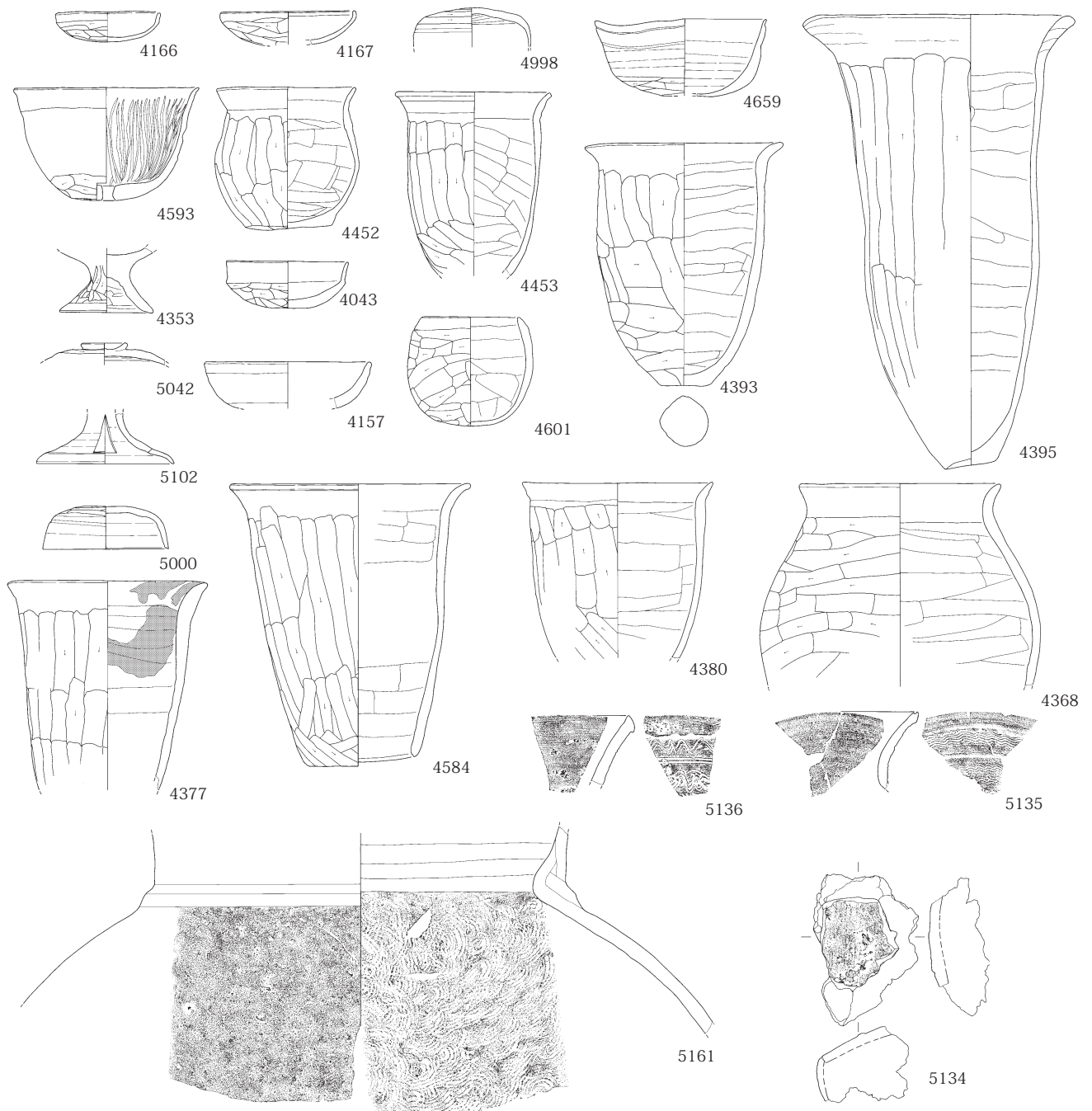
遺物出土状況 外周部で下層～床面中心。床面上の遺物多く完形に近いものは遺棄遺物か。

掘り方 大部分掘り方を床面とする。4659・4157・4601・5134 は床面上の出土である。

カマド 不明

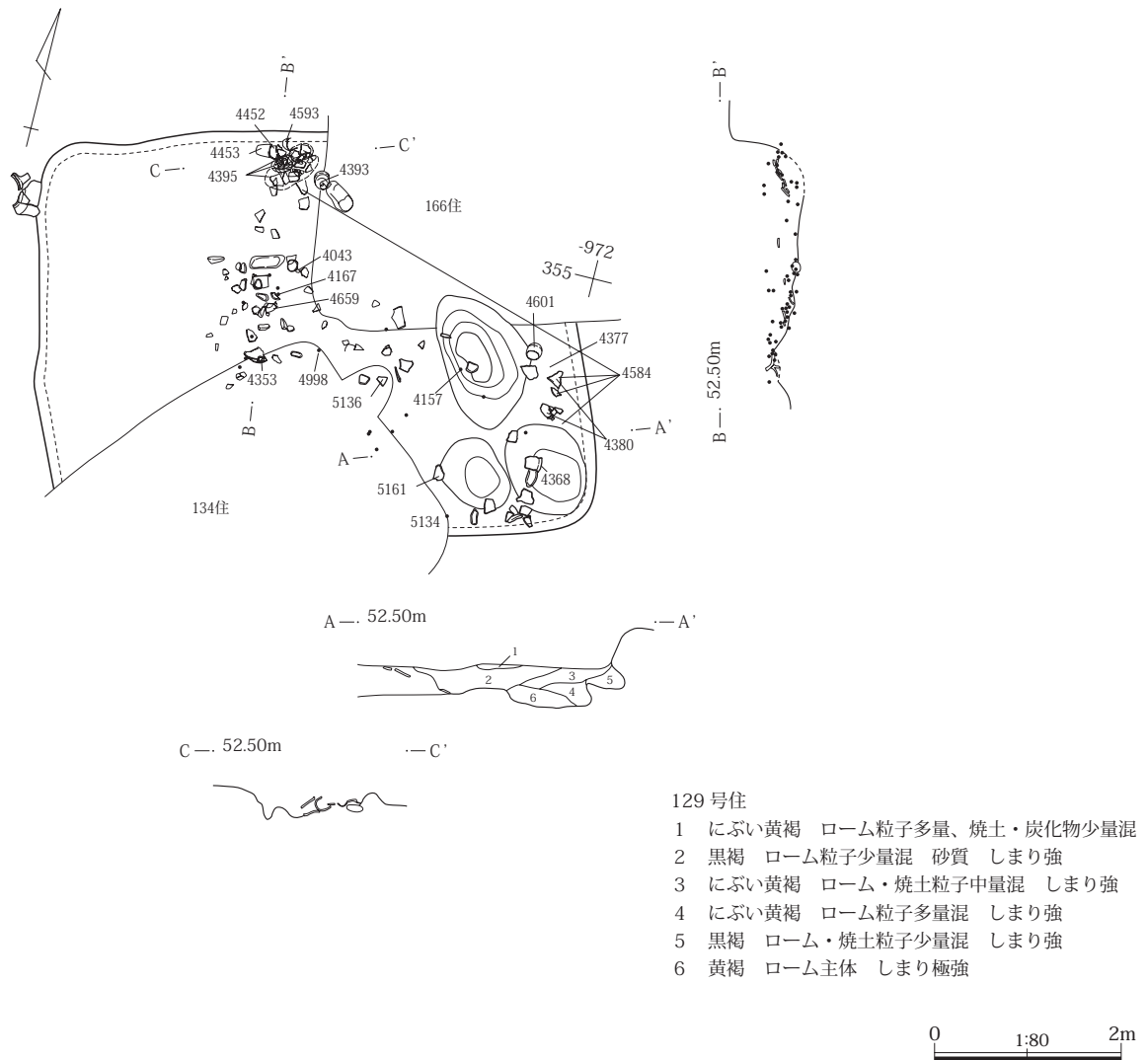
備考 調査時は129・144・192の3軒の住居としたが、主軸や位置関係から、1軒の住居とした。

時期 図示された遺物から、7世紀前半～中葉か。



第17図 129号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



第18図 129号住居使用面

130号住居 (第19・20図、PL10・11)

位置 341~347-001~008 Gr

重複関係 133住より旧

平面形態 隅丸長方形 長辺 6.63m 短辺 4.52m

長辺/短辺 1.47 壁高 46cm 面積 28.18㎡

床面積 21.24㎡ 主軸方位 N-7°-W

壁溝 カマド両脇を除き全周。貯蔵穴 なし

柱穴 なし

埋没土 ロームを含む褐色土および暗褐色土・黒褐色土。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ほぼ平坦でロームを含むにぶい黄褐色土で一部貼床とするが、他は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 外周部で下層~床面中心。床面上の遺物

多く完形に近いものは遺棄遺物か。5412は床面上の出土である。

掘り方 ピット数基あるが、他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 345~347-003・004 Gr 壁位置 北壁東

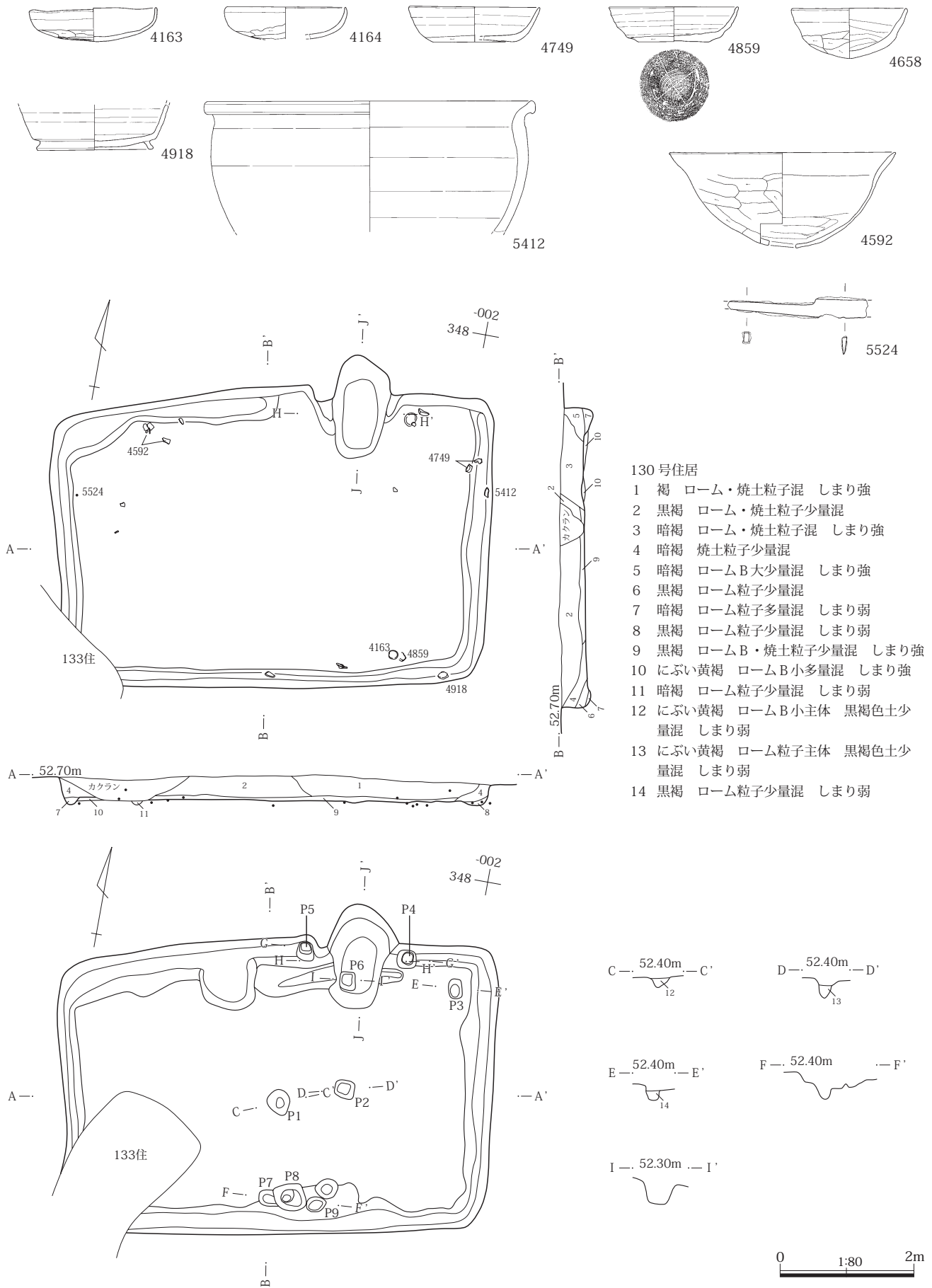
全長 1.55m 幅 1.43m

主軸方位 N-6°-W

構築 粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はややくぼみ灰層はみられない。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。掘り方には焚口部・袖両脇にピットあり。

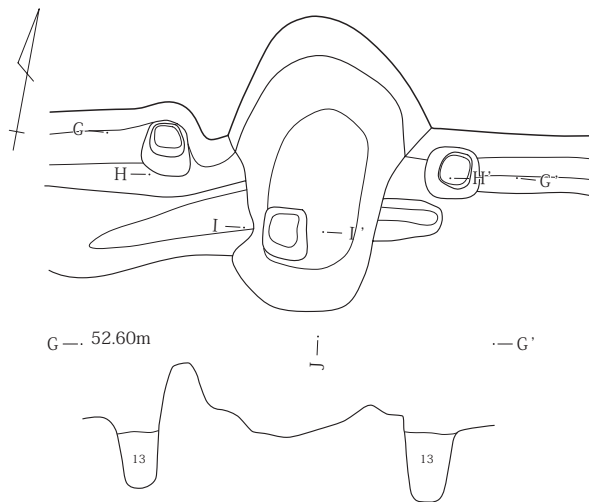
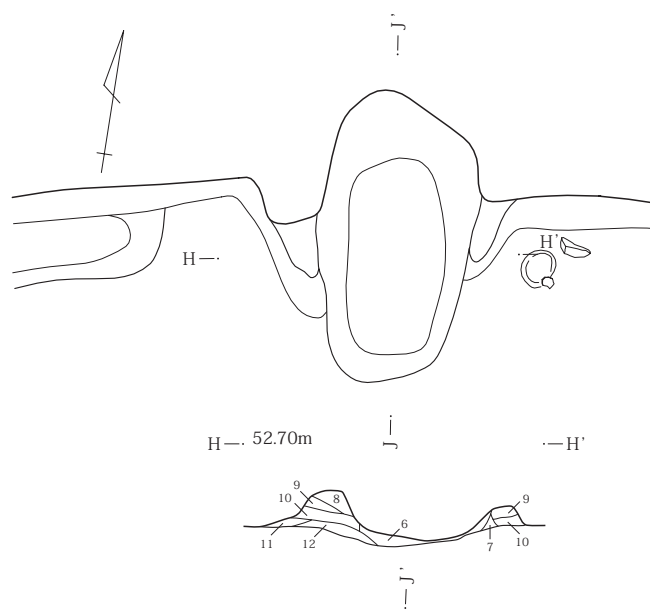
遺物出土状況 ほとんどなし。

時期 床面上に遺棄されたと考えられる遺物から、8世紀第2四半期か。



第19図 130号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子中量混
- 2 暗褐 ローム粒子微量、焼土粒子少量混
- 3 暗褐 ローム中量、焼土粒子少量混 しまり強
- 4 暗褐 ロームB、焼土粒子少量混 しまり強
- 5 にぶい赤褐 粘質土、焼土粒子微量混 しまり強
- 6 にぶい赤褐 粘質土主体 焼土粒子・B少量混 粘性強
- 7 黄褐 焼土粒子少量混 粘性強
- 8 にぶい褐 焼土粒子少量混(カマド袖) 粘性・しまり強
- 9 にぶい褐 暗褐色土混(カマド袖) 粘性・しまり強
- 10 黄褐 カマド袖 粘性・しまり強
- 11 黄褐 砂質ローム混(カマド袖) しまり強
- 12 明黄褐 砂質ローム主体 焼土粒子・黒褐色土混 しまり強
- 13 黄褐 暗褐色土少量混 しまり弱



第20図 130号住居カマド

131号住居 (第21図、PL11)

位置 343~345-009~011 Gr

重複関係 133住より新 905ピット

平面形態 不明 長辺 [2.43]m 短辺 [1.70]m

長辺/短辺 不明 壁高 15cm 面積 [2.92]m²

床面積 [1.98]m² 主軸方位 N-68° -W

壁溝 残存部分にあり。貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。

床面状態 残存部はほぼ平坦であるが、他は不明。

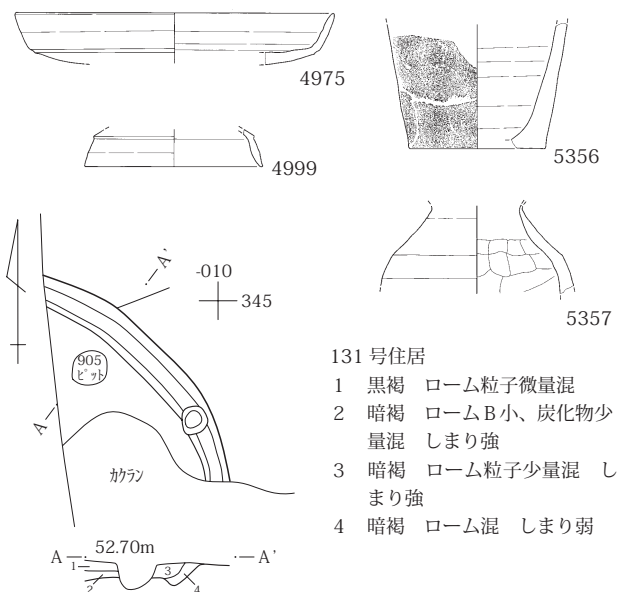
遺物出土状況 ごく少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とするが詳細不明。

カマド 不明

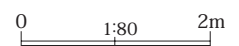
備考 調査区内は一部残存するのみで詳細不明。

時期 出土遺物が少なく詳細は不明。古墳時代後期か。



131号住居

- 1 黒褐 ローム粒子微量混
- 2 暗褐 ロームB小、炭化物少量混 しまり強
- 3 暗褐 ローム粒子少量混 しまり強
- 4 暗褐 ローム混 しまり弱



第21図 131号住居

132号住居 (第22図)

位置 345・346-971・972 Gr

重複関係 149住より新 143住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形?

長辺 [3.27]m 短辺 [3.13]m 長辺/短辺 不明

壁高 52cm

面積 [9.90]m² 床面積 [8.64]m²

主軸方位 N-33°-W

壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ローム・焼土含む黒褐色土。

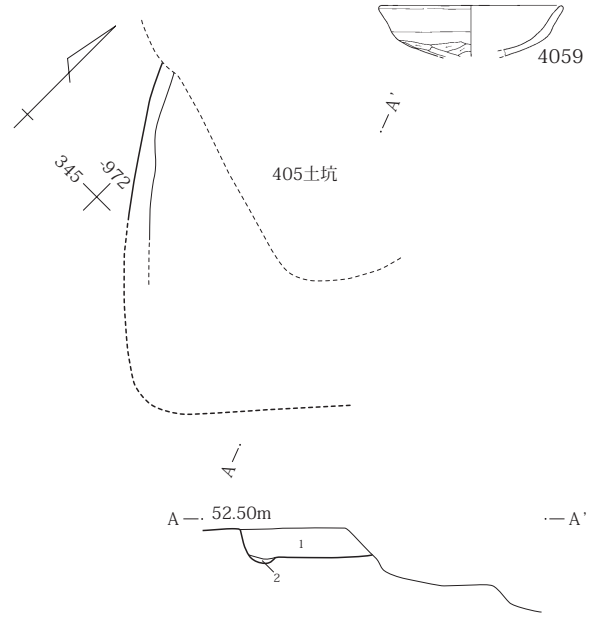
床面状態 残存部はほぼ平坦であるが、他は不明。

遺物出土状況 埋土中に散在。破片が少量出土しただけですべて流入遺物か。

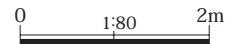
掘り方 掘り方を床面とするが詳細不明。

カマド 不明 備考 残存状況悪く詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



132号住居
1 黒褐 (10YR2/3) ロームB小、焼土粒子中量混
2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混



第22図 132号住居

133号住居 (第23図、PL11)

位置 339~345-008~011 Gr

重複関係 131住より旧 130住より新

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形?

長辺 [5.71]m

短辺 [3.40]m 長辺/短辺 不明 壁高 21cm

面積 [18.21]m² 床面積 [17.36]m²

主軸方位 N-39°-W

壁溝 残存部分になし。 貯蔵穴 なし

柱穴 不明。残存部分になし。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

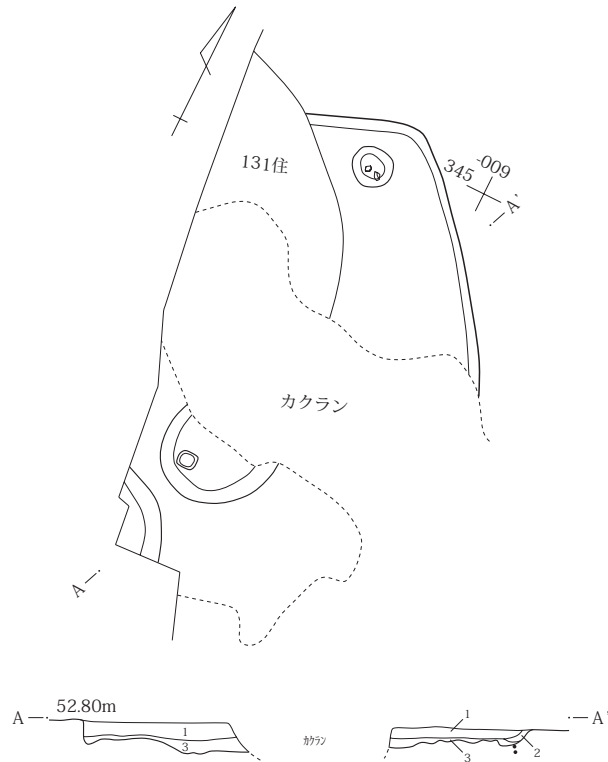
床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床とする。ほぼ平坦全体的にやや硬化。

遺物出土状況 埋土中に散在。破片が少量出土しただけですべて流入遺物か。

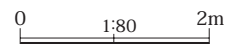
掘り方 ほぼ平坦な掘り方で凹凸少ない。

カマド 不明 備考 残存状況悪く詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



133号住居
1 黒褐 ロームB小少量混
2 黒褐 ローム粒子少量混
3 暗褐 ローム・ロームB混



第23図 133号住居

III 検出された遺構と出土遺物

134号住居 (第24・25図、PL11)

位置 349~353-972~976 Gr

重複関係 129・143住より新 403土坑

平面形態 隅丸長方形? 長辺 3.73m

短辺 (3.10)m 長辺/短辺 (1.20) 壁高 48cm

面積 [10.95]m² 床面積 [9.69]m²

主軸方位 N-32°-E 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 焼土を含む暗褐色土・黒褐色土。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で部分的に貼床、ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 北西部~東部中心南西部少ない。中層~床面中心。完形・半完形の遺物もあるが、床面から浮い

たものが多く、廃棄・流入遺物が多いか。4173・4438は床面上の出土である。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方で凹凸少ない。

カマド

位置 353-973・974 Gr 壁位置 北壁西

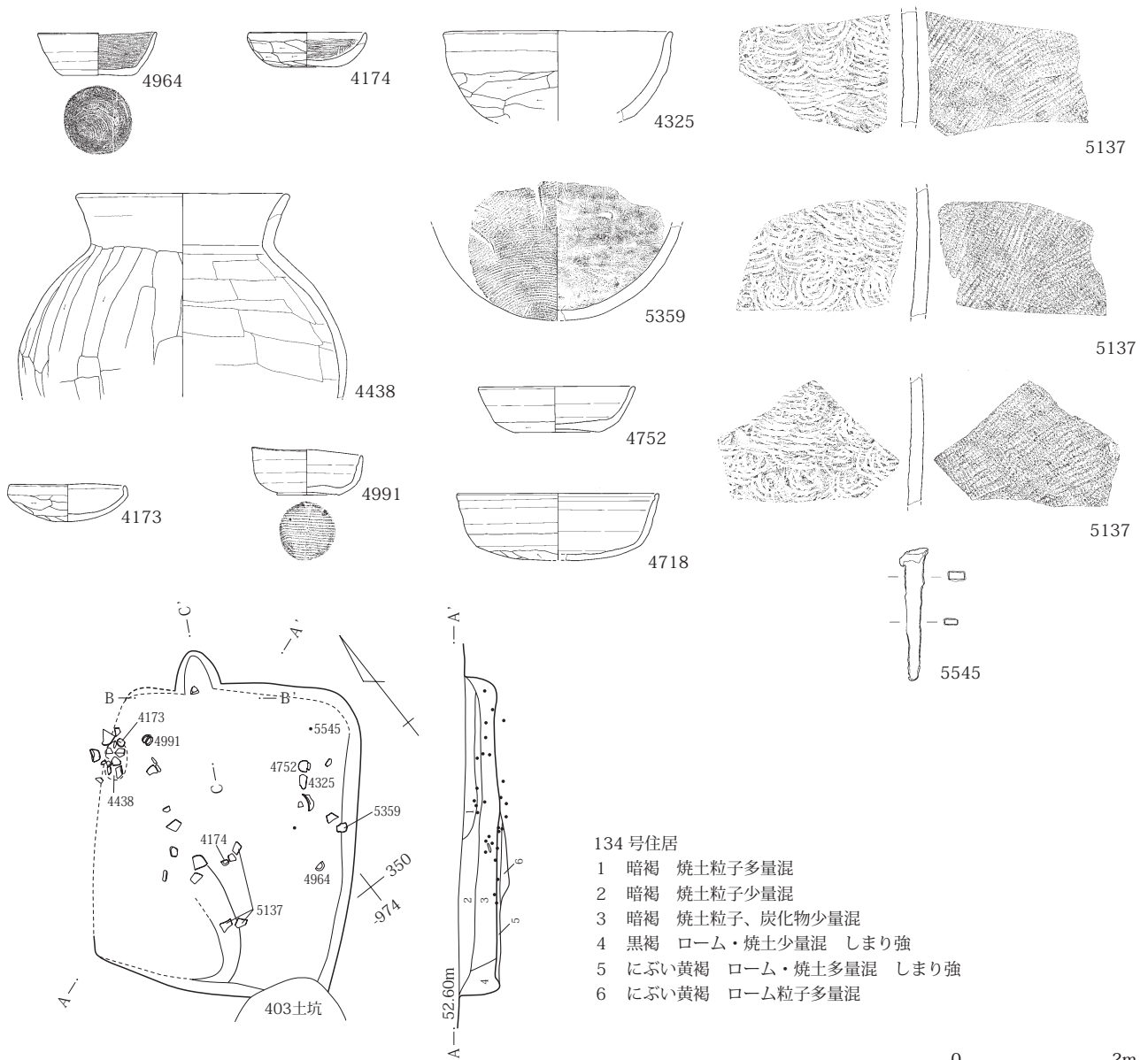
全長 1.04 m 幅 1.1 m

主軸方位 N-36°-E

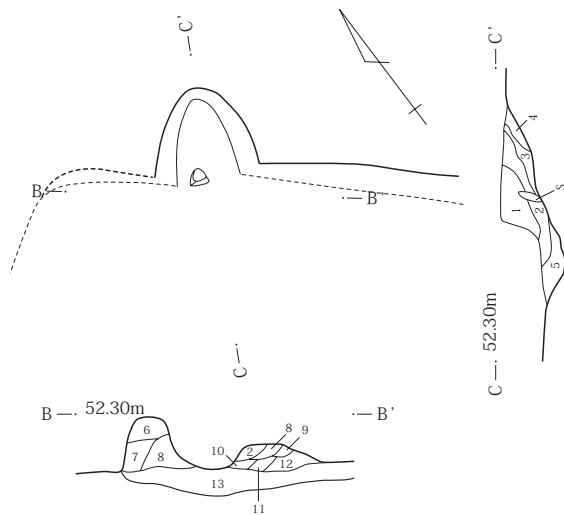
構築 ロームを含む暗褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はややくぼむが比較的平坦。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 支脚と考えられる礫出土。

時期 遺棄遺物は少ないが、完形に近い遺物が多いため、図示された遺物から、7世紀第4~8世紀第1四半期か。



第24図 134号住居出土遺物・使用面



カマド

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 赤褐 焼土層
- 3 暗赤褐 焼土、灰混合
- 4 暗褐 焼土少量混 しまり弱
- 5 黒褐 ロームB・赤褐色土混合 粘性・しまり強
- 6 暗褐 ローム・焼土粒子混 しまり強
- 7 暗褐 ローム粒子中量混 しまり強
- 8 にぶい黄褐 ローム多量混 しまり強
- 9 黄褐 砂質ローム
- 10 暗褐 ローム、暗褐色土混合 しまり強
- 11 黄褐 ローム 砂質 しまり強
- 12 暗褐 ローム混 しまり強
- 13 黄褐 ローム主体 暗褐色土少量混 しまり強



第25図 134号住居カマド

135号住居 (第26・27図、PL12)

位置 350～353-989～993 Gr

重複関係 140住より旧

平面形態 隅丸長方形 長辺 3.36m 短辺 2.46m

長辺/短辺 1.37 壁高 39cm 面積 (8.63)m²

床面積 (5.15)m² 主軸方位 N-4°-W

壁溝 東壁以外はあり。北壁～東壁一部不明。

貯蔵穴 不明 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。南壁際に三角堆積。

床面状態 ほぼ平坦で南東部・北西部にピットあり。掘り方を床面とする。

遺物出土状況 埋土中に散在。カマド以外は破片が少量

出土しただけ。流入遺物が多いか。

掘り方 中央部に床下土坑1基。ピット1基あり。

カマド

位置 351・352-989・990 Gr 壁位置 東壁中央

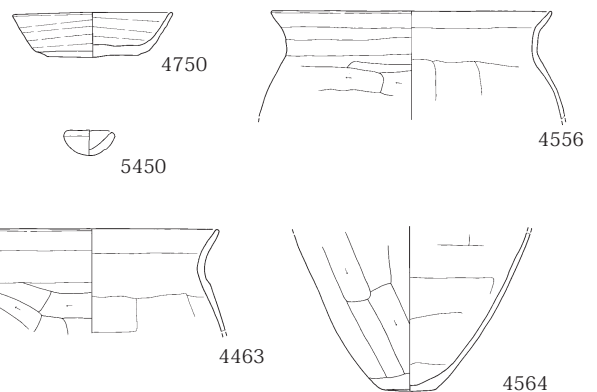
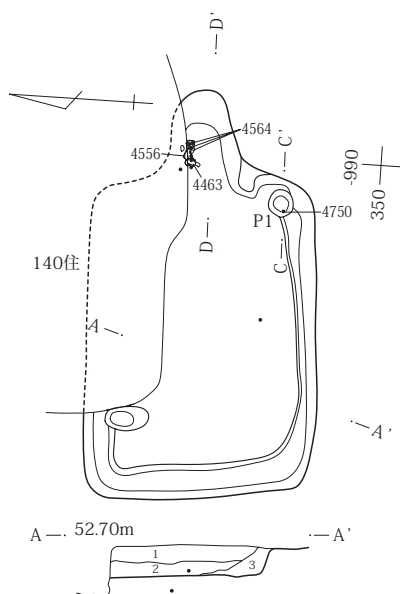
全長 1.12m 幅 [0.89]m

主軸方位 N-89°-E

構築 ロームを含む暗褐色土で袖を構築か。焚口部・燃焼部底面は平坦で燃焼部奥壁はなだらかに立ち上がる。

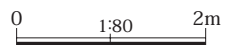
遺物出土状況 燃焼部に集中して土器出土。

時期 住居に遺棄された遺物は少ないが、図示された遺物から、8世紀第3四半期から9世紀第1四半期か。



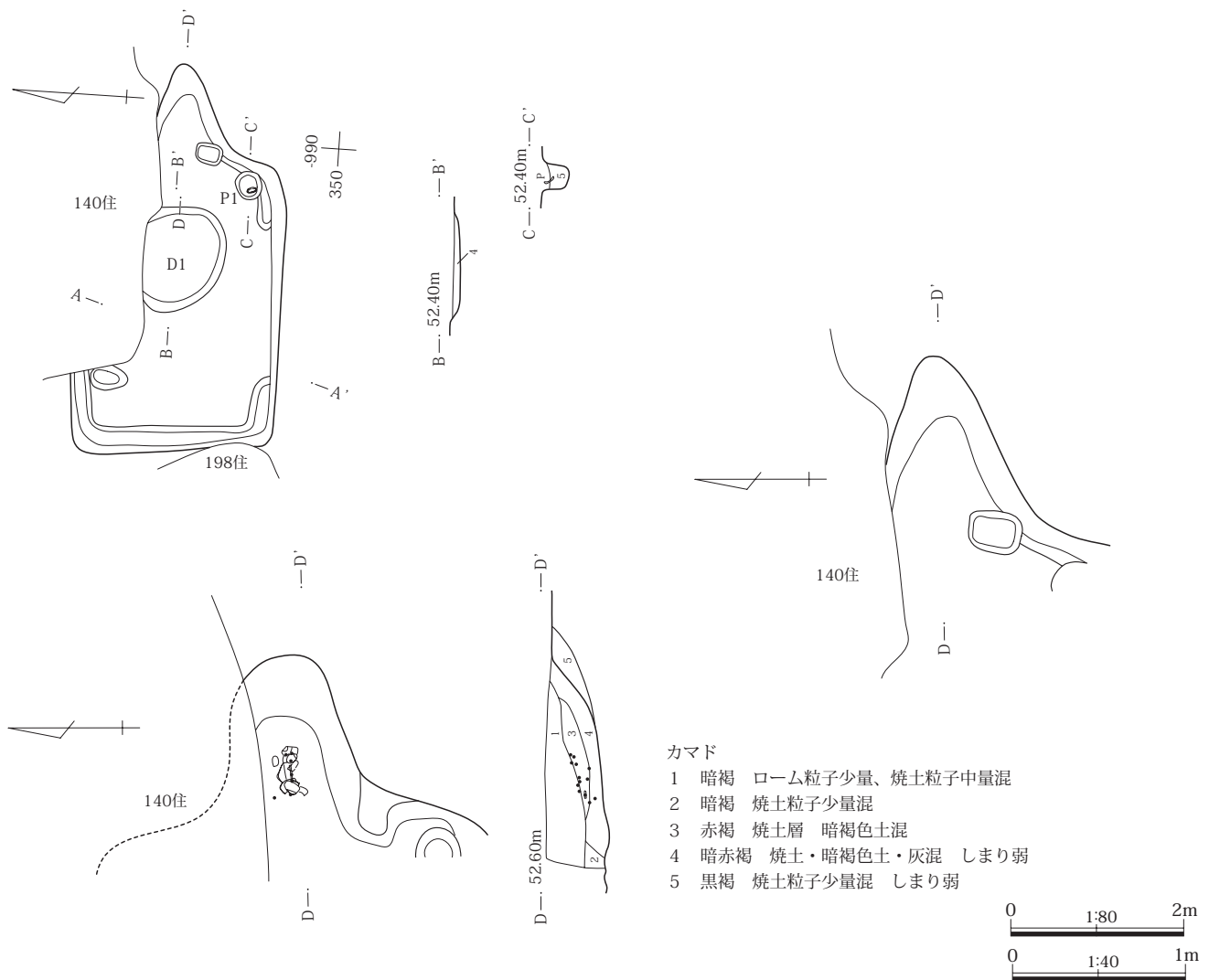
135号住居

- 1 暗褐 ローム粒子・B中多量混
- 2 暗褐 ローム粒子中量、焼土少量混
- 3 黒褐 ローム粒子少量混
- 4 にぶい黄褐 ロームB中主体 しまり強
- 5 黒褐 焼土少量混 しまり弱



第26図 135号住居出土遺物・使用面

III 検出された遺構と出土遺物



第27図 135号住居掘り方・カマド

138号住居 (第28・29図、PL12)

位置 338~342-989~993 Gr

重複関係 141住より新 18掘立より旧 418~420土坑

913・914ピット

平面形態 隅丸方形

長辺 3.6m 短辺 3.42m 長辺/短辺 1.05

壁高 42cm 面積 11.92㎡ 床面積 10.03㎡

主軸方位 N-56°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 埋土中に散在。カマド以外は破片が少量出土しただけ。流入遺物が多いか。4158・4461は床面

上の出土である。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方で凹凸少ない。ピット2基あり。

カマド

位置 340-989~990 Gr 壁位置 東壁南

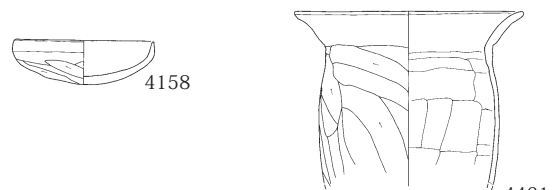
全長 1.02m 幅 0.91m

主軸方位 N-60°-W

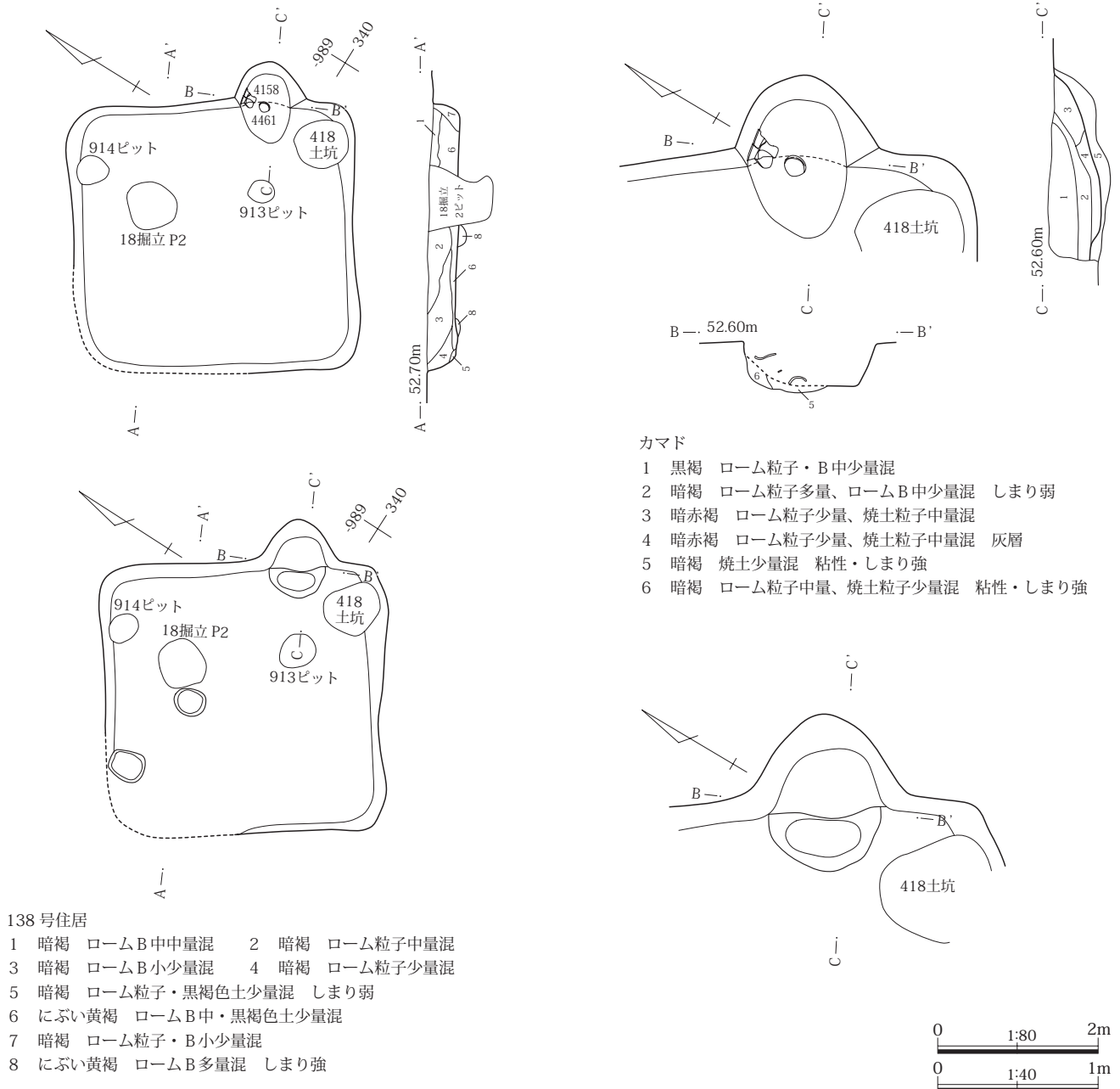
構築 袖部構築材不明。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で下面に焼土層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。掘り方は焚口部ややくぼむ。

遺物出土状況 燃烧部から土師器杯・甕片出土。

時期 カマド出土遺物から、8世紀第2四半期か。



第28図 138号住居出土遺物



第29図 138号住居使用面・掘り方・カマド

140号住居 (第30図、PL12・13・33)

位置 351～356-988～993 Gr

重複関係 195・200住より旧 135・142・145住より新

13掘立 平面形態 隅丸方形 長辺 4.75m

短辺 4.35m 長辺/短辺 1.09 壁高 57cm

面積 (20.71)m² 床面積 (16.21)m²

主軸方位 N-8°-W

壁溝 残存部分全周。貯蔵穴 不明 柱穴 なし

埋没土 上層はロームを含む暗褐色土。下層はロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で一部貼床。他

は掘り方を床面とする。ほぼ平坦で全体的にやや硬化。

遺物出土状況 南西部に集中箇所あり。他は散在。下層～床面中心。南東部に土器・礫の集中する箇所があるが、他は小破片が散在する。集中箇所の土器は床面上にあり遺棄遺物か。5098・5153は床面上の出土である。

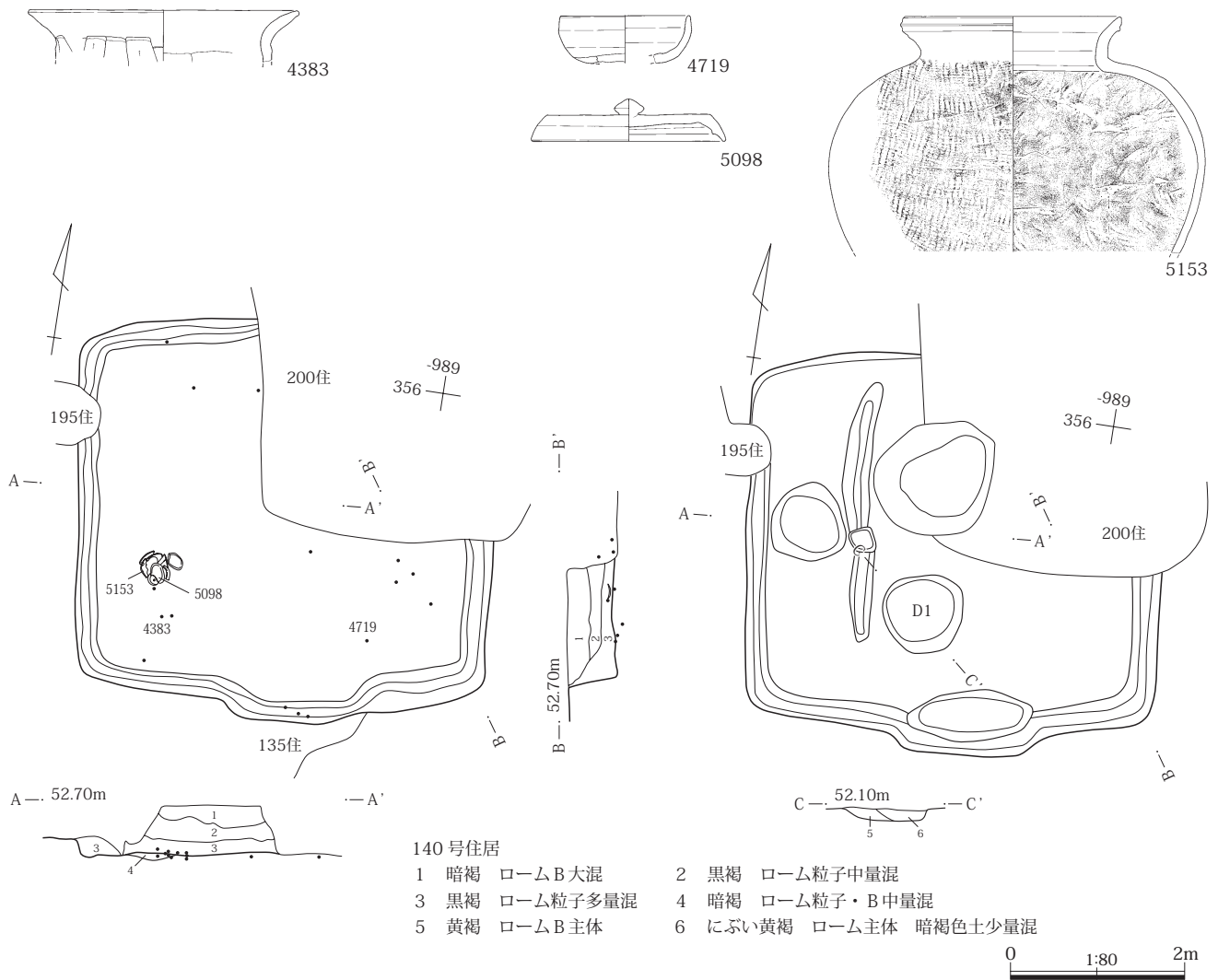
掘り方 床下土坑1基他土坑状掘り込み・溝状掘り込みあり。他は掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 南壁中央に若干の張り出し部あり。入り口施設に關係する可能性もあるか。

時期 集中箇所の遺物から、7世紀後半～8世紀初頭か。

III 検出された遺構と出土遺物



第30図 140号住居

141号住居 (第31図、PL13)

位置 338 ~ 342-992 ~ 996 Gr

重複関係 138住より旧 912ピット 平面形態 隅丸長方形

長辺 3.52m 短辺 2.48m 長辺/短辺 1.42

壁高 38cm 面積 (8.33)m² 床面積 (7.10)m²

主軸方位 N-45° - E

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 不明 柱穴 なし

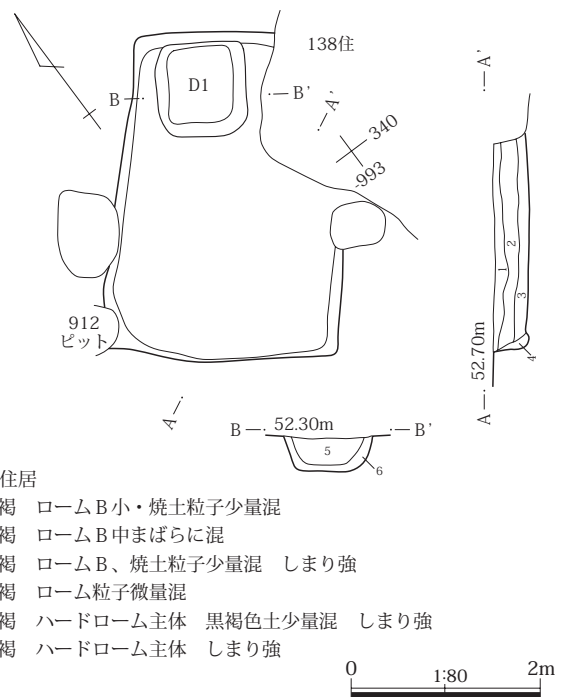
埋没土 ローム・焼土を含む黒褐色土。南壁際に三角堆積あり。床面状態 ほぼ平坦で掘り方を床面とする。北部に土坑1基あり。

遺物出土状況 埋土中に散在。破片が少量出土したただけ。すべて流入遺物か。

掘り方 掘り方を床面とする。カマド 不明

備考 規模小さくカマド等の施設もないため、一般的な住居とは考えられない。

時期 出土遺物少なく時期不明。



第31図 141号住居

142号住居 (第32図、PL12・33)

位置 352～357 -986～988 Gr

重複関係 140・200住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [3.76]m

短辺 [1.95]m 長辺/短辺 不明 壁高 22cm

面積 [7.23]m² 床面積 [6.62]m²

主軸方位 N-22°-W

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土・にぶい黄褐色土。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で全面貼床。や

や軟弱。

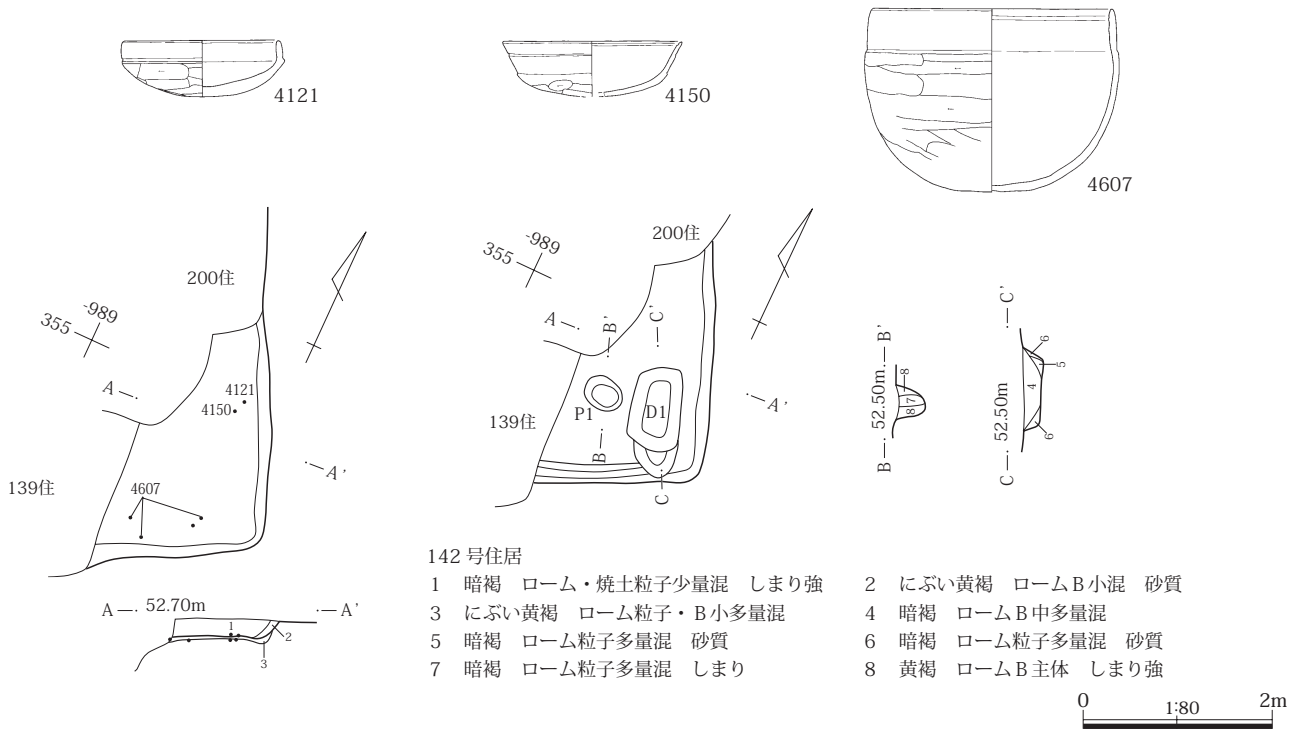
遺物出土状況 出土量は多くないが、半完形のものもある。下層～床面が中心であるが、やや浮いているものが多いため、廃棄遺物の可能性がある。

掘り方 床下土坑1基。ピット1基あり。

カマド 不明

備考 重複のため南東部が一部検出されただけで詳細不明。

時期 遺棄遺物と断定できるものはないが、図示された遺物から、6世紀後半か。



第32図 142号住居

143号住居 (第33・34図、PL13)

位置 347～351-972～977 Gr

重複関係 134住より旧 132住より新 909ピット

平面形態 隅丸長方形 長辺 3.88m 短辺 3.06m

長辺/短辺 1.27 壁高 34cm 面積 (11.59)m²

床面積 (9.61)m² 主軸方位 N-24°-W

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土を含む褐色土・黄褐色土。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で一部貼床。全体的にやや硬化。

遺物出土状況 カマド以外は散在。南東部では床面付近から少量出土。4060・4467・5400は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み1基、ピット2基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 349・350-972～974 Gr 壁位置 東壁やや南

全長 1.51m 幅 0.87m

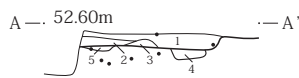
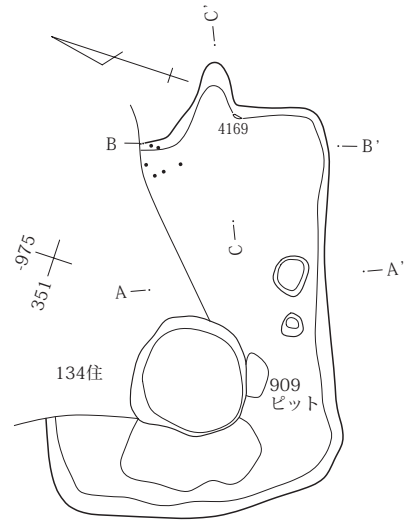
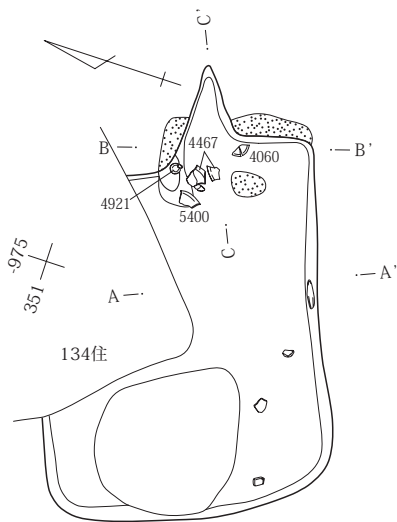
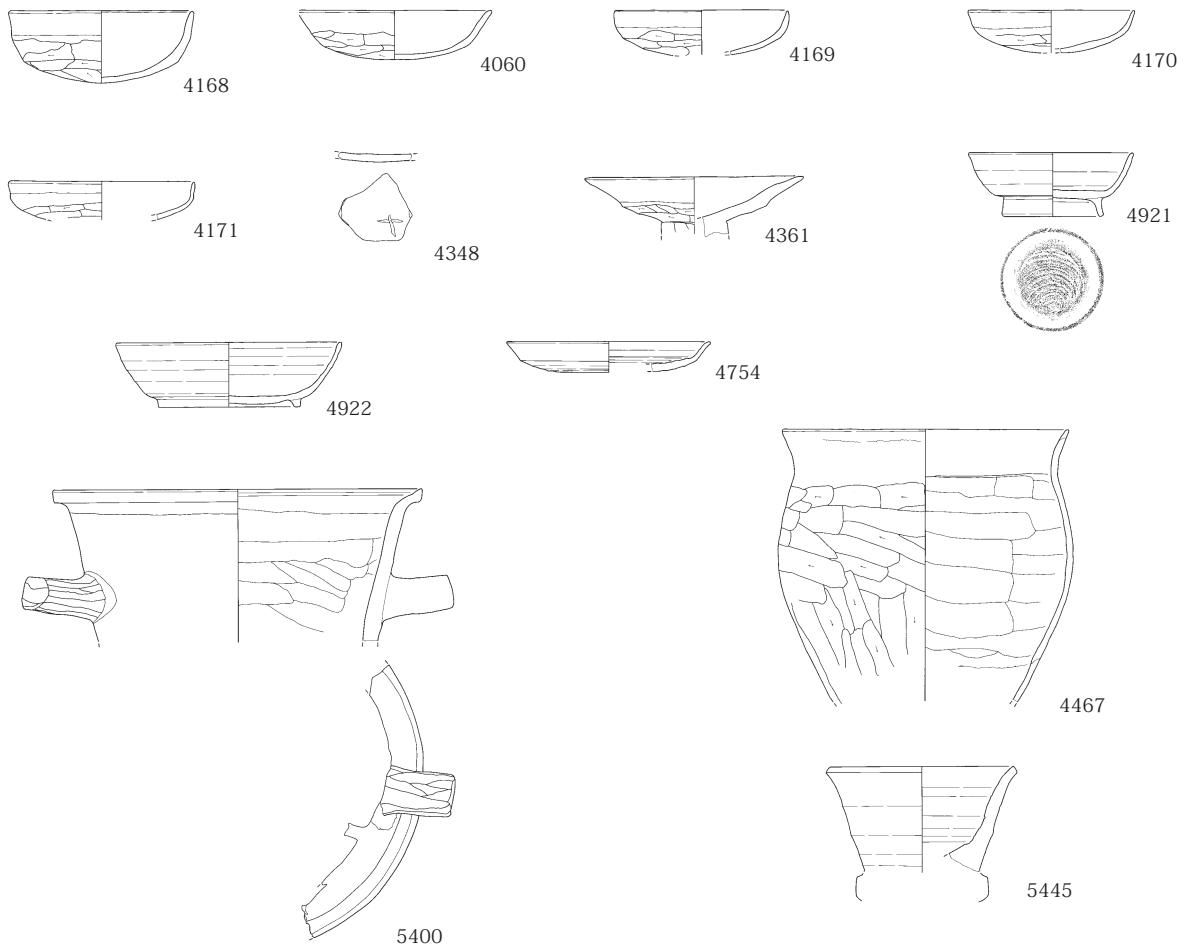
主軸方位 N-72°-E

構築 粘土で袖を構築。焚口部・燃焼部はほぼ平坦で煙道部奥壁はやや急に立ち上がる。燃焼部～煙道部両脇に薄い粘土層あり。

遺物出土状況 焚口部から土師器杯・甕片出土。

時期 カマド出土遺物等から、8世紀第2四半期～第3四半期か。

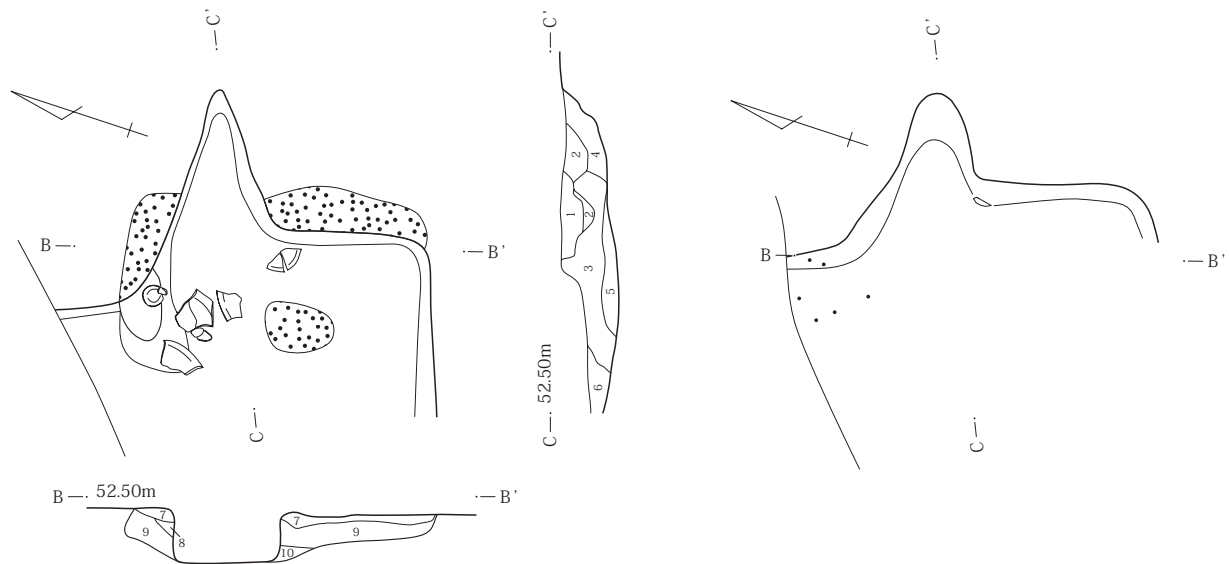
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



- 1 褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 黄褐 ローム粒子・B小多量混
- 3 黄褐 ローム主体
- 4 暗褐 (10YR2/4) ローム粒子・B小少量混
- 5 暗褐 (10YR2/4) ロームB中量混 貼床

0 1:80 2m

第33図 143号住居出土遺物・使用面・掘り方



カマド

- 1 にぶい黄褐(10YR4/3) 粘土層 暗褐色土B少量混 粘性・しまり強
- 2 褐(7.5YR4/3) 焼土B中多量混 下面に焼土層 しまり強
- 3 暗褐(10YR3/3) 焼土B中、粘土B中量混
- 4 暗褐(10YR3/3) 焼土粒子中量混
- 5 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混 しまり弱
- 6 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子微量混

- 7 褐(10YR4/4) 粘土層 暗褐色土B中量混
- 8 暗褐(10YR3/4) 焼土・炭化・粘土粒子中量混
- 9 暗褐(10YR3/3) 焼土B小、粘土B少量混
- 10 黒褐(10YR2/3) 焼土・炭化・粘土粒子少量混 しまり弱



第34図 143号住居カマド

145号住居(第35・36図)

位置 356～359-989～993 Gr

重複関係 140・195・199・200 住より旧

平面形態 不明 長辺 [3.70] m 短辺 [3.64] m

長辺/短辺 不明 壁高 26cm 面積 [10.98] m²

床面積 [10.57] m²

主軸方位 N-57°-W 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土。

床面状態 土坑・ピット以外は掘り方を床面とする。

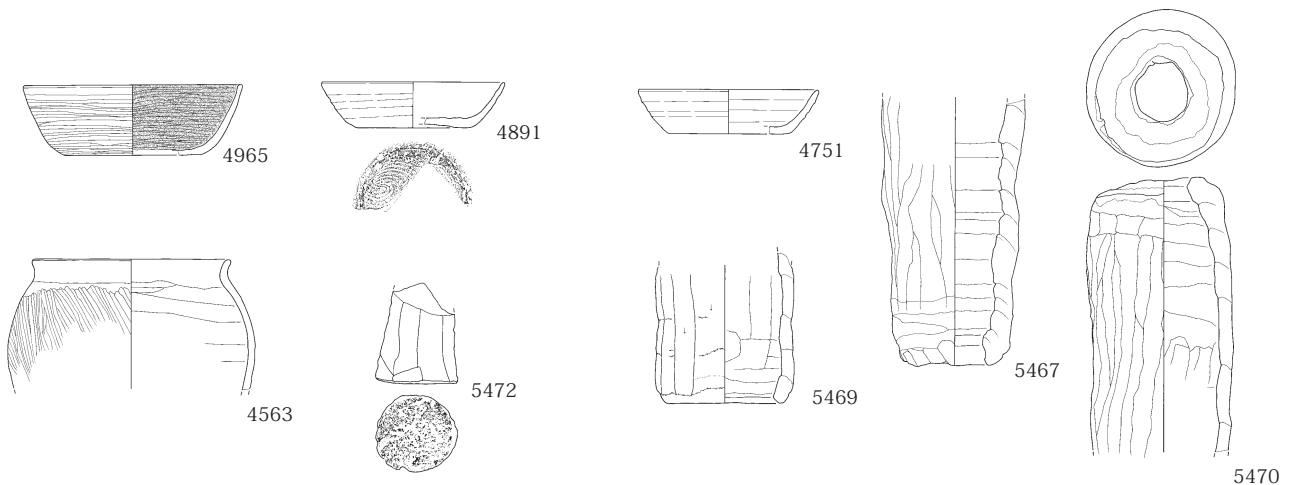
遺物出土状況 下層～床面にかけて少量出土。破片が多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。5467・5469・5470・5472の土製品は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み・溝状掘り込み各1基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド 不明

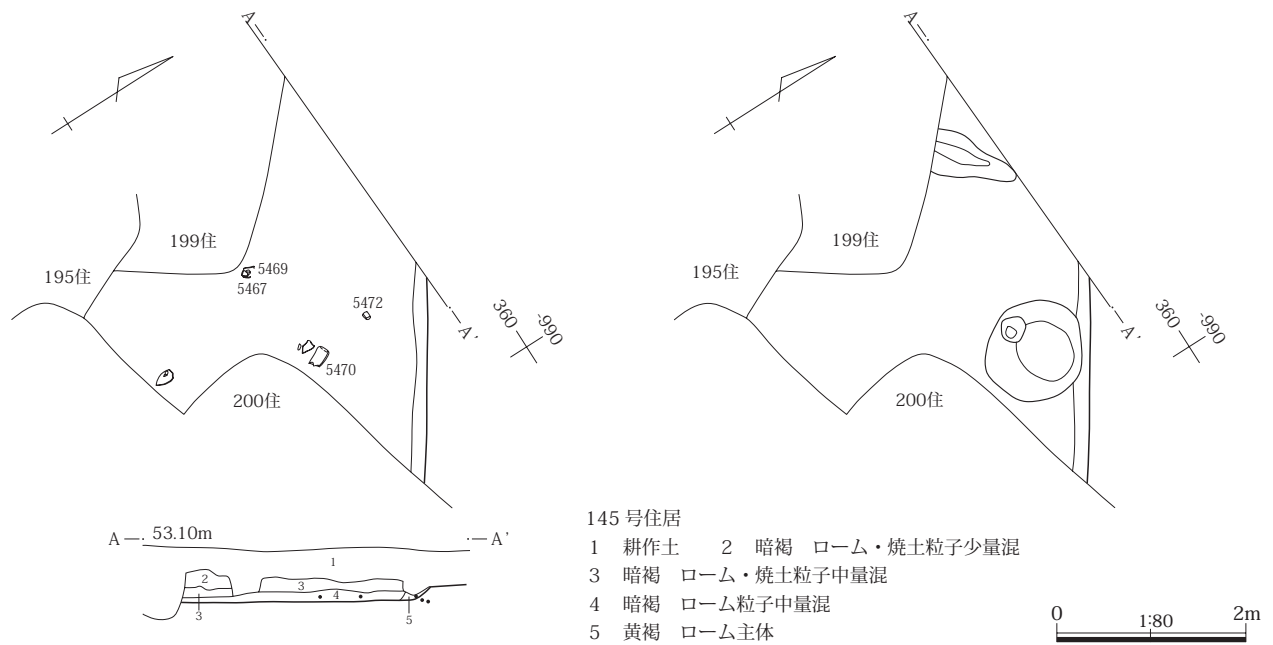
備考 重複・調査区外のため残存状況悪く、詳細不明。

時期 遺棄遺物と断定できるものがないため詳細は不明であるが、図示された遺物から、8世紀第1～第2四半期か。



第35図 145号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



第36図 145号住居使用面・掘り方

146号住居 (第37図、PL13)

位置 353~356 -966・967 Gr

重複関係 149・169 住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [2.37] m

短辺 [2.14] m 長辺/短辺 不明 壁高 35cm

面積 [6.01]m² 床面積 [5.62]m²

主軸方位 N-49° -W

壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

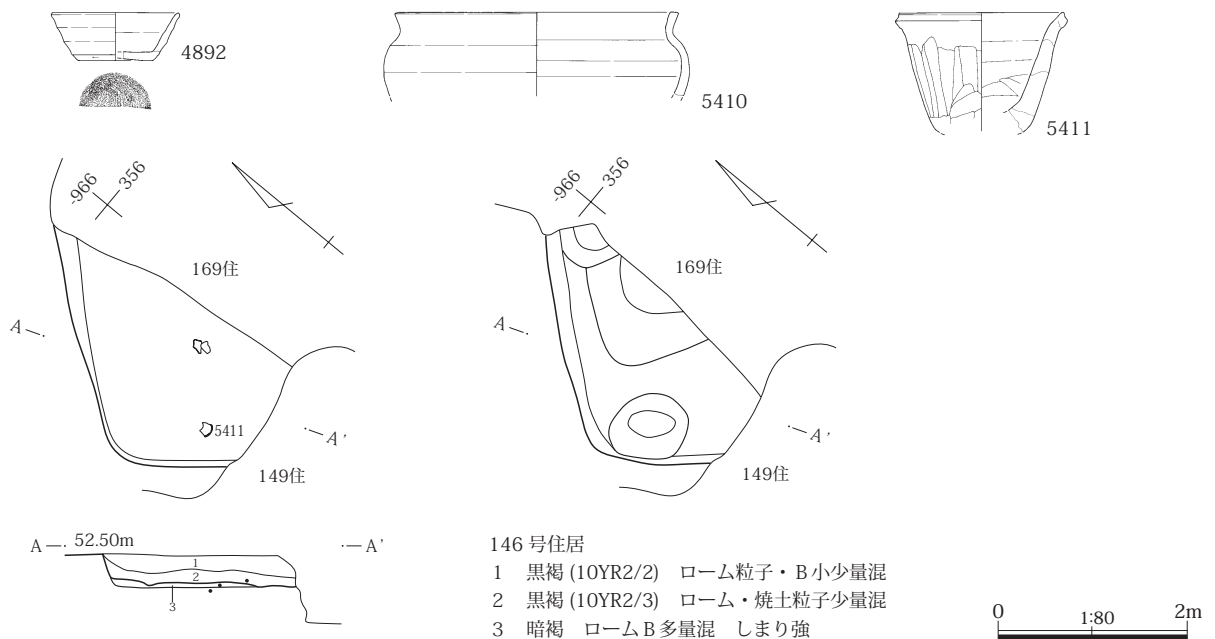
床面状態 ロームを含む暗褐色土で全面貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、床面付近中心。完形のものはなく廃棄・遺棄遺物がほとんどか。

掘り方 土坑状掘り込み数基あり。カマド 不明

備考 重複により残存状態悪く、詳細は不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



第37図 146号住居

149号住居(第38～43図、PL14・15)

位置 344～353-963～972 Gr

重複関係 132住、405・427土坑より旧 146・169住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 8.24m 短辺 7.80m

長辺/短辺 1.06 壁高 66cm 面積 (66.43)m²床面積 (61.28)m² 主軸方位 N-10°-W

壁溝 床面上にはなし。掘り方では、東壁～南壁に壁溝状の溝があるが、規模は一般的なものより大きい。

貯蔵穴 床面上では確認できなかったが、掘り方でカマド右脇に貯蔵穴状の土坑あり。

柱穴 4基か?(北西部は重複により不明)

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積で南壁下に三角堆積あり。炭化物含む。

床面状態 ロームを含む黒褐色土・黄褐色土で部分的に貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 北部から東部・南部にかけて多く中央部・西部はやや少ない。上層～床面に多量出土。特に北東部(北カマド右脇)には床面付近から完形・半完形の遺物が多量に出土しており、遺棄された可能性が高い。炭化材が北部から東部にかけての床面上から出土しており、火災住居の可能性もある。

掘り方 東壁～南壁際に溝状の掘り込み。床下土坑2基他土坑状掘り込み数基あり。他は掘り方を床面とする。

北カマド(新カマド)

位置 352・353-967・968 Gr 壁位置 北壁東
全長 1.88m 幅 1.50m

主軸方位 N-5°-W

構築 自然礫を補強材として、粘土で袖を構築している。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がり、煙道部の底面が斜めに立ち上がっている。

遺物出土状況 カマド内の出土遺物は少ない。

東カマド(旧カマド)

位置 349・350-963・964 Gr 壁位置 東壁南
全長 0.61m 幅 0.93m

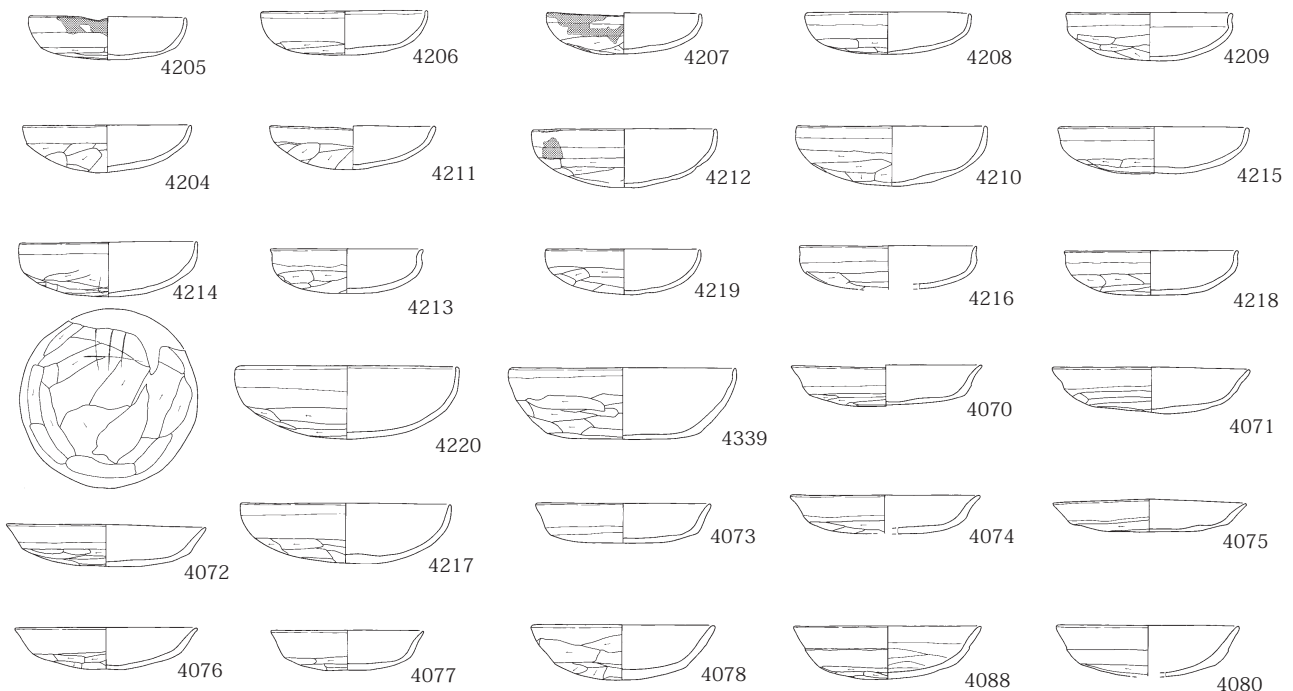
主軸方位 N-73°-E

構築 旧カマドのため袖構築材は不明。燃烧部はややくぼみ、奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 カマド内の出土遺物は少ない。

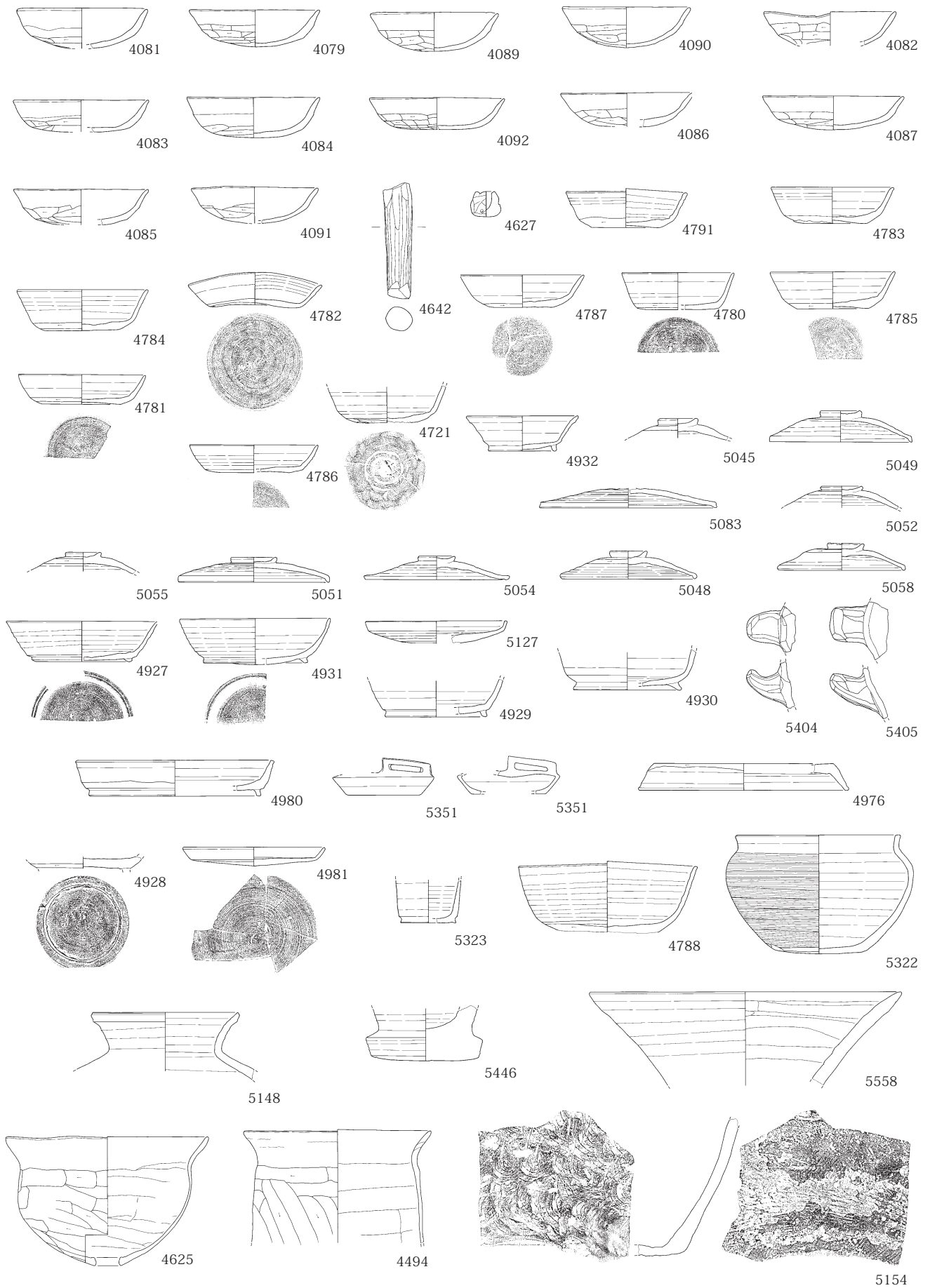
備考 面積が66.43m²と当遺跡でもっとも大規模な住居。完形・半完形の遺物出土量も非常に多く、カマド右脇に多量に遺棄されている。また、量はそれほど多くないが、炭化材も出土しており、火災住居の可能性あり。

時期 出土遺物から、8世紀第3四半期か。

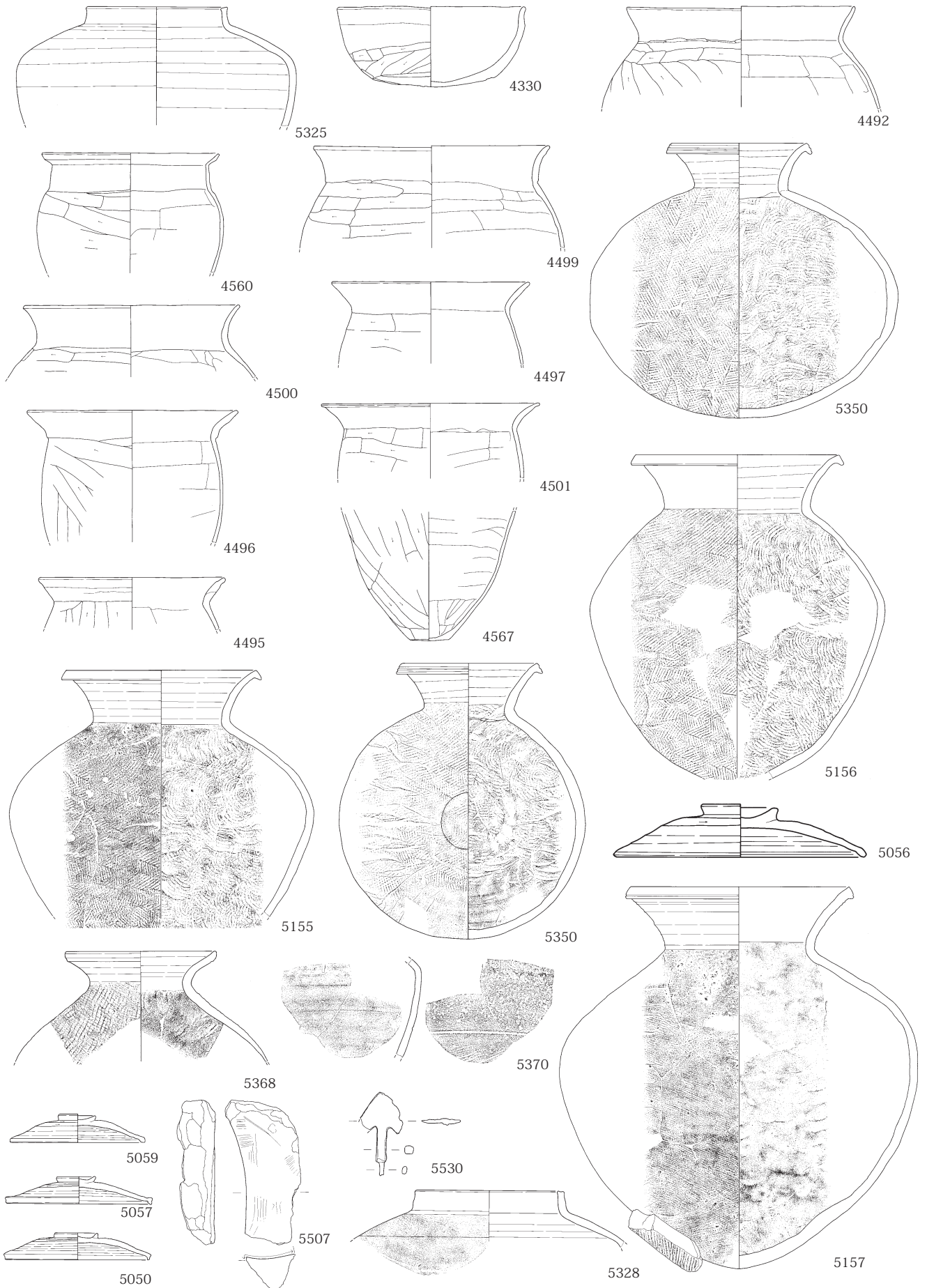


第38図 149号住居出土遺物(1)

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

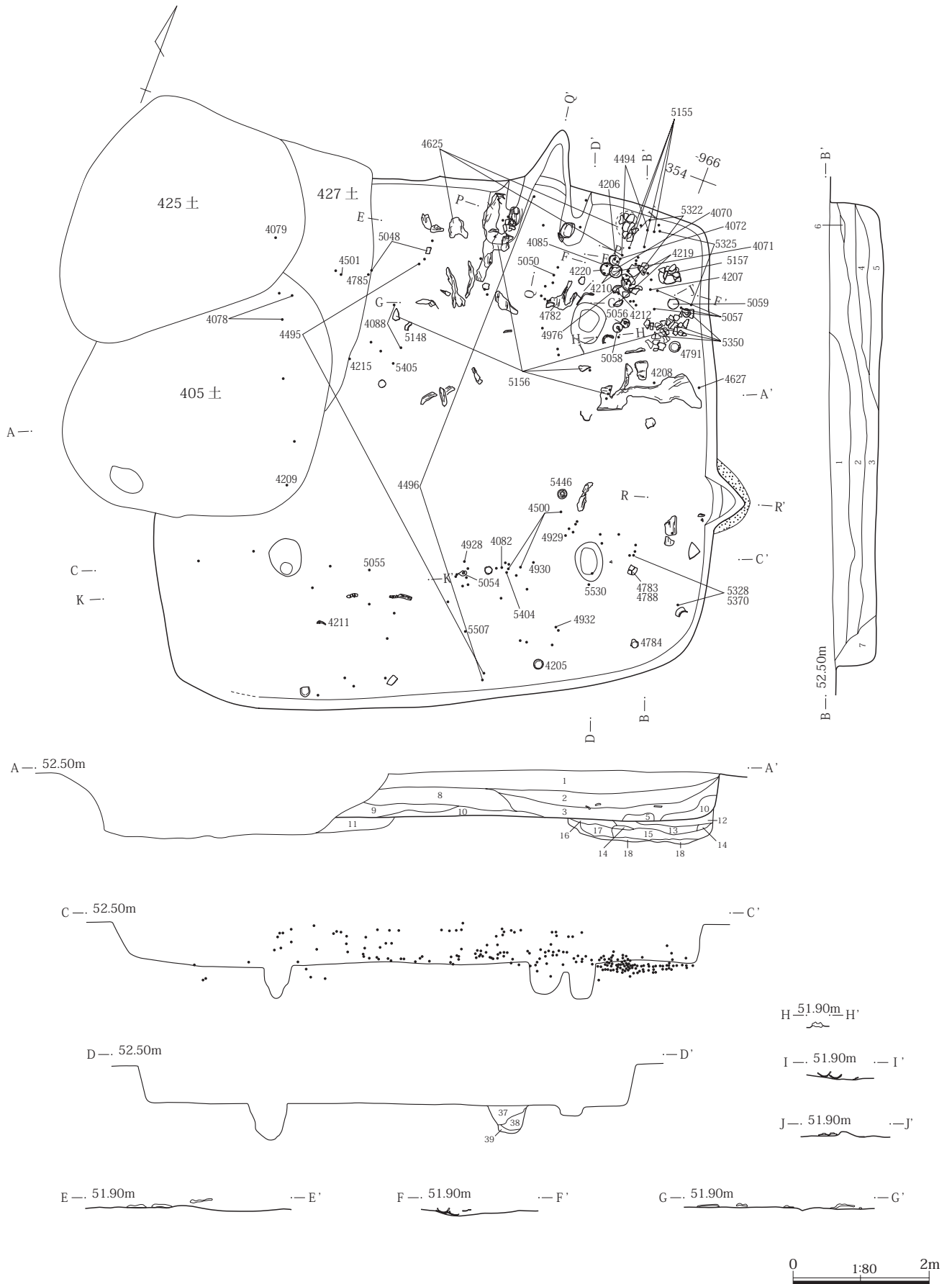


第39図 149号住居出土遺物(2)

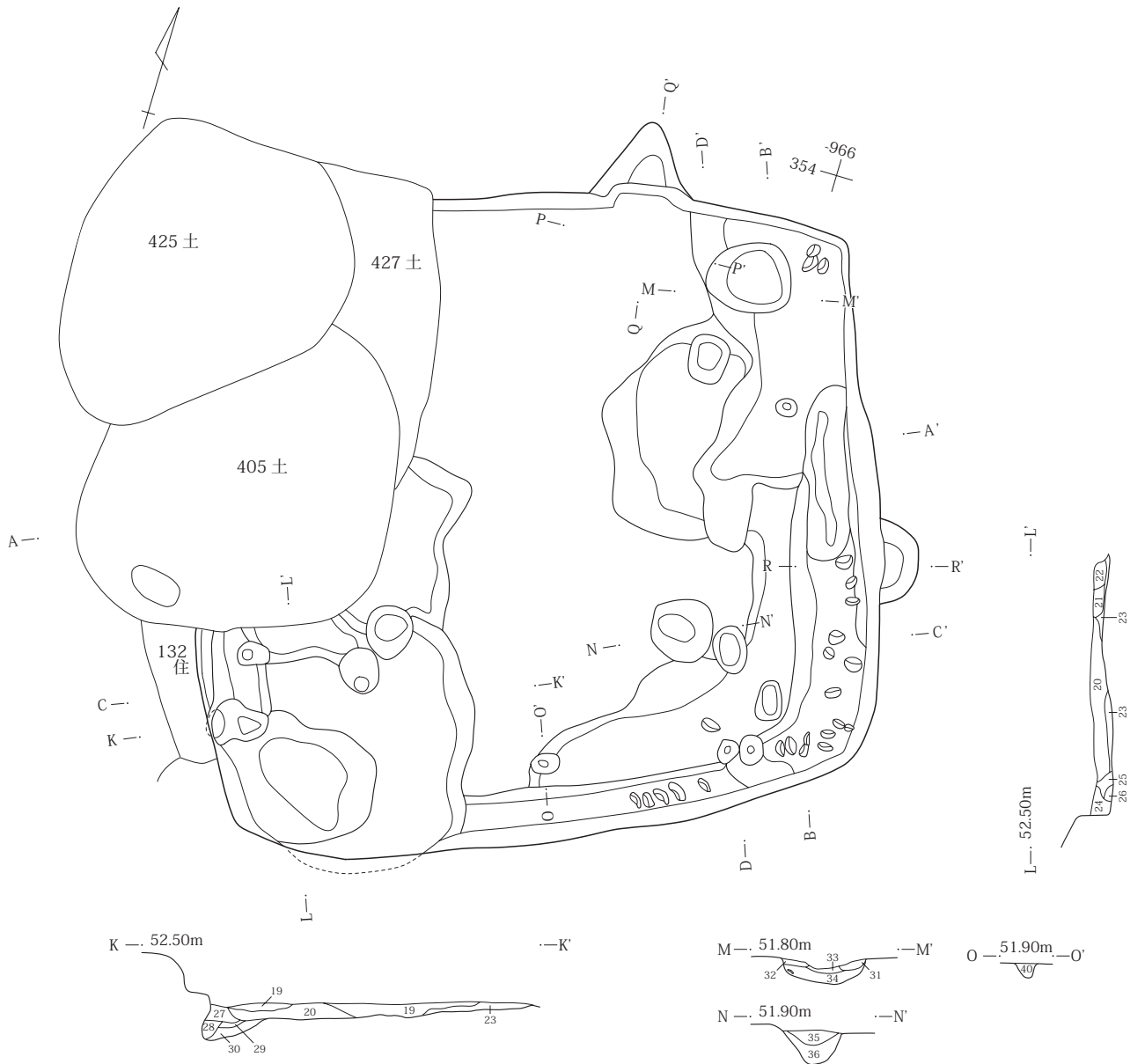


第40図 149号住居出土遺物(3)

III 検出された遺構と出土遺物



第41図 149号住居使用面



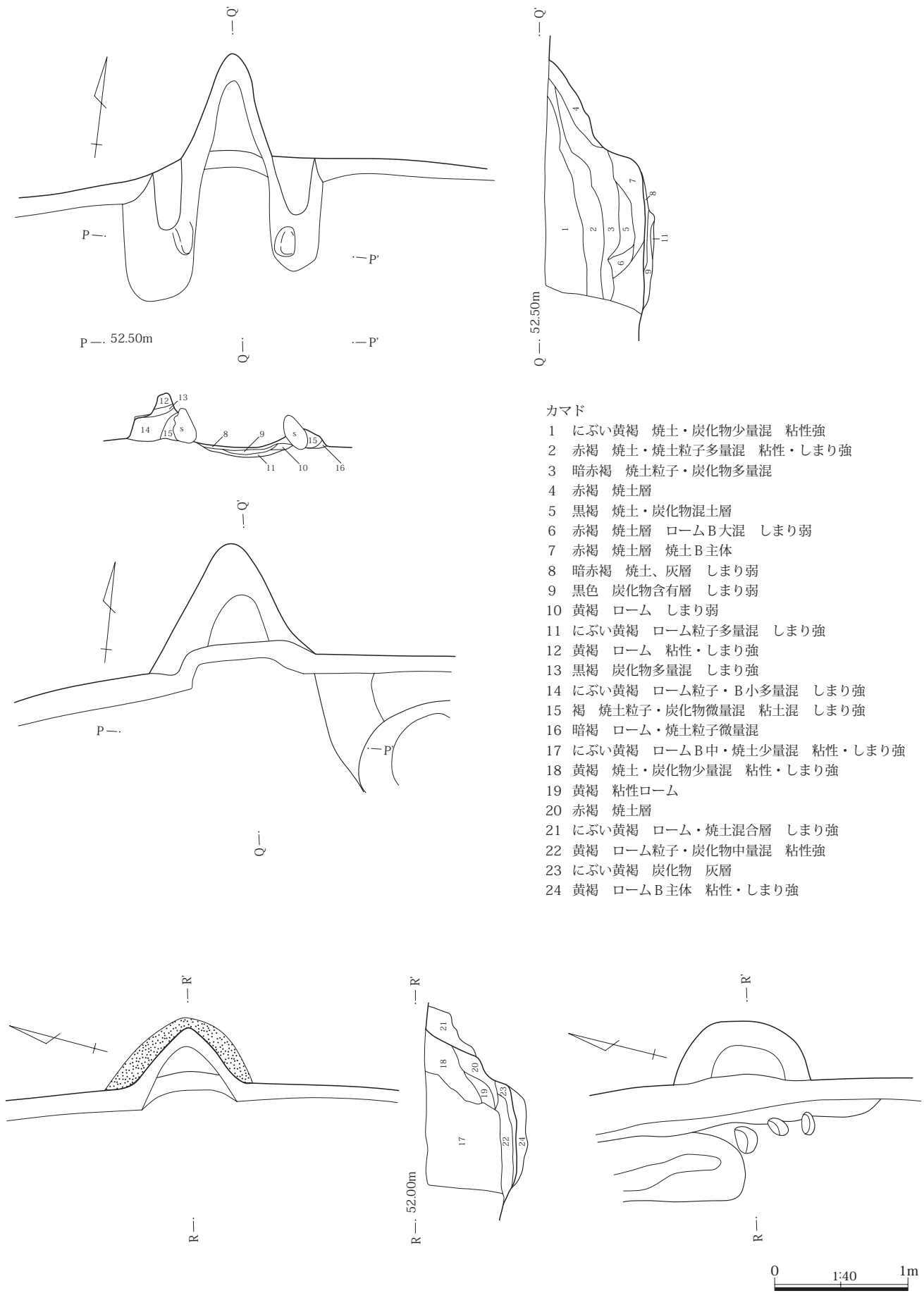
149号住居

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中、焼土粒子・B中少量混 | 22 暗褐 ロームB多量混 しまり強 |
| 2 黒褐 (10YR3/2) ロームB中多量、炭化粒子中量混 | 23 暗褐 ローム粒子少量混 しまり強 |
| 3 黒褐 (10YR2/3) ロームB中、焼土・炭化粒子少量混 | 24 黄褐 ローム主体 |
| 4 黒褐 (10YR3/2) ロームB極多量、焼土・炭化粒子少量混 | 25 にぶい黄褐 ローム多量混 粘性・しまり強 |
| 5 黒褐 (10YR2/3) ロームB中、炭化粒子、炭化材少量混 | 26 黒褐 粘性強 |
| 6 暗褐 (10YR3/3) 焼土B中極多量混 | 27 黒褐 ローム粒子・B小少量混 |
| 7 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子微量混 | 28 黒褐 ローム粒子少量混 |
| 8 暗褐 (10YR3/3) ロームB、焼土・炭化粒子中量混 | 29 黒褐 ローム微量混 |
| 9 暗褐 (10YR3/3) 焼土・炭化粒子中量、ロームB多量混 | 30 にぶい黄褐 ローム多量混 粘性強 |
| 10 暗褐 (10YR3/4) ローム・焼土B小、炭化粒子多量混 | 31 暗赤褐 ロームB中・焼土混合 |
| 11 黒褐 (10YR2/3) ロームB中多量混 しまり強 貼床 | 32 暗赤褐 ローム・焼土混合 粘性強 |
| 12 黄褐 上面炭化物質 ローム混 しまり強 貼床 | 33 暗赤褐 焼土多量混 粘性強 しまり弱 |
| 13 黄褐 ロームB主体 しまり強 | 34 暗褐 ローム粒子・B中混 しまり弱 |
| 14 黄褐 焼土粒子少量混 しまり強 | 35 黄褐 ローム主体 焼土・暗褐色土少量混 しまり強 |
| 15 にぶい黄褐 ローム多量混 しまり強 | 36 黄褐 ローム主体 小礫少量混 |
| 16 黄褐 ロームB・小礫少量混 しまり強 | 37 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子、小礫混 しまり強 |
| 17 黄褐 ローム・礫中主体 しまり強 | 38 黄褐 ローム、小礫多量混 しまり強 |
| 18 にぶい黄褐 ローム粒子主体 | 39 暗褐 ローム、礫混合 しまり強 |
| 19 暗褐 ロームB小多量混 しまり強 | 40 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 粘性強 |
| 20 暗褐 ロームB大中量混 | |
| 21 暗褐 ローム、YP?中量混 | |

第42図 149号住居掘り方



III 検出された遺構と出土遺物



- カマド
- 1 にぶい黄褐 焼土・炭化物少量混 粘性強
 - 2 赤褐 焼土・焼土粒子多量混 粘性・しまり強
 - 3 暗赤褐 焼土粒子・炭化物多量混
 - 4 赤褐 焼土層
 - 5 黒褐 焼土・炭化物混土層
 - 6 赤褐 焼土層 ロームB大混 しまり弱
 - 7 赤褐 焼土層 焼土B主体
 - 8 暗赤褐 焼土、灰層 しまり弱
 - 9 黒色 炭化物含有層 しまり弱
 - 10 黄褐 ローム しまり弱
 - 11 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 しまり強
 - 12 黄褐 ローム 粘性・しまり強
 - 13 黒褐 炭化物多量混 しまり強
 - 14 にぶい黄褐 ローム粒子・B小量混 しまり強
 - 15 褐 焼土粒子・炭化物微量混 粘土混 しまり強
 - 16 暗褐 ローム・焼土粒子微量混
 - 17 にぶい黄褐 ロームB中・焼土少量混 粘性・しまり強
 - 18 黄褐 焼土・炭化物少量混 粘性・しまり強
 - 19 黄褐 粘性ローム
 - 20 赤褐 焼土層
 - 21 にぶい黄褐 ローム・焼土混合層 しまり強
 - 22 黄褐 ローム粒子・炭化物中量混 粘性強
 - 23 にぶい黄褐 炭化物 灰層
 - 24 黄褐 ロームB主体 粘性・しまり強

第43図 149号住居東カマド・北カマド

151号住居 (第44・45図、PL15・16)

位置 358～362 - 913～918 Gr

重複関係 152・164住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 3.98 m 短辺 3.83 m

長辺/短辺 1.04 壁高 48cm 面積 (15.21)m²

床面積 (12.18)m² 主軸方位 N-51°-E

壁溝 北壁～西壁・南壁

貯蔵穴 カマド右に位置し、平面形態は楕円で断面は丸みを帯びた台形を呈す。

柱穴 4基。P4に柱痕または抜き取り痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを多量に含む暗褐色土で貼床とし、全体的に硬化。

遺物出土状況 南東部の下層～床面中心。こも編み石は南西隅に集中。出土量は少なく完形・半完形のものも少

ないため廃棄・流入遺物がほとんどか。南東隅に集中するこも編み石は遺棄されたものか。

掘り方 中央部が高く外周が溝状に下がる。土坑状掘り込み数基あり。

カマド

位置 360・361 - 913・914 Gr

壁位置 東壁中央

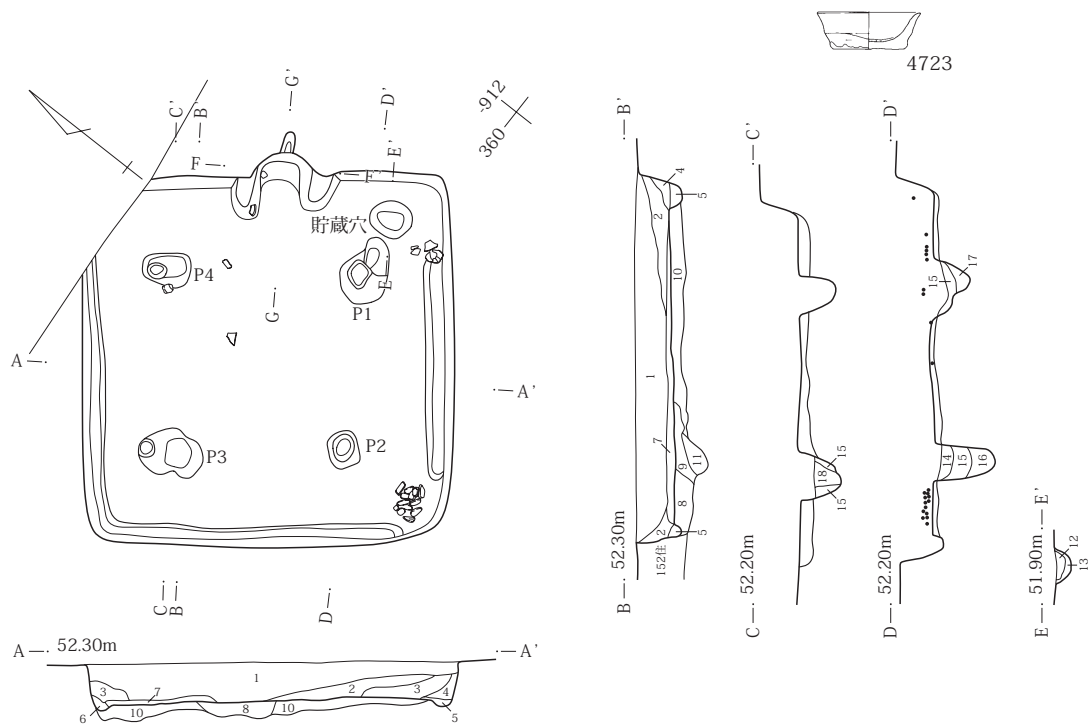
全長 0.96 m 幅 1.14 m

主軸方位 N-57°-E

構築 粘土を含む暗褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がり、短い煙道部の底部が斜めに立ち上がっている。

遺物出土状況 焚口部・燃烧部から少量の土師器片が出土。

時期 出土遺物少なく時期不明。



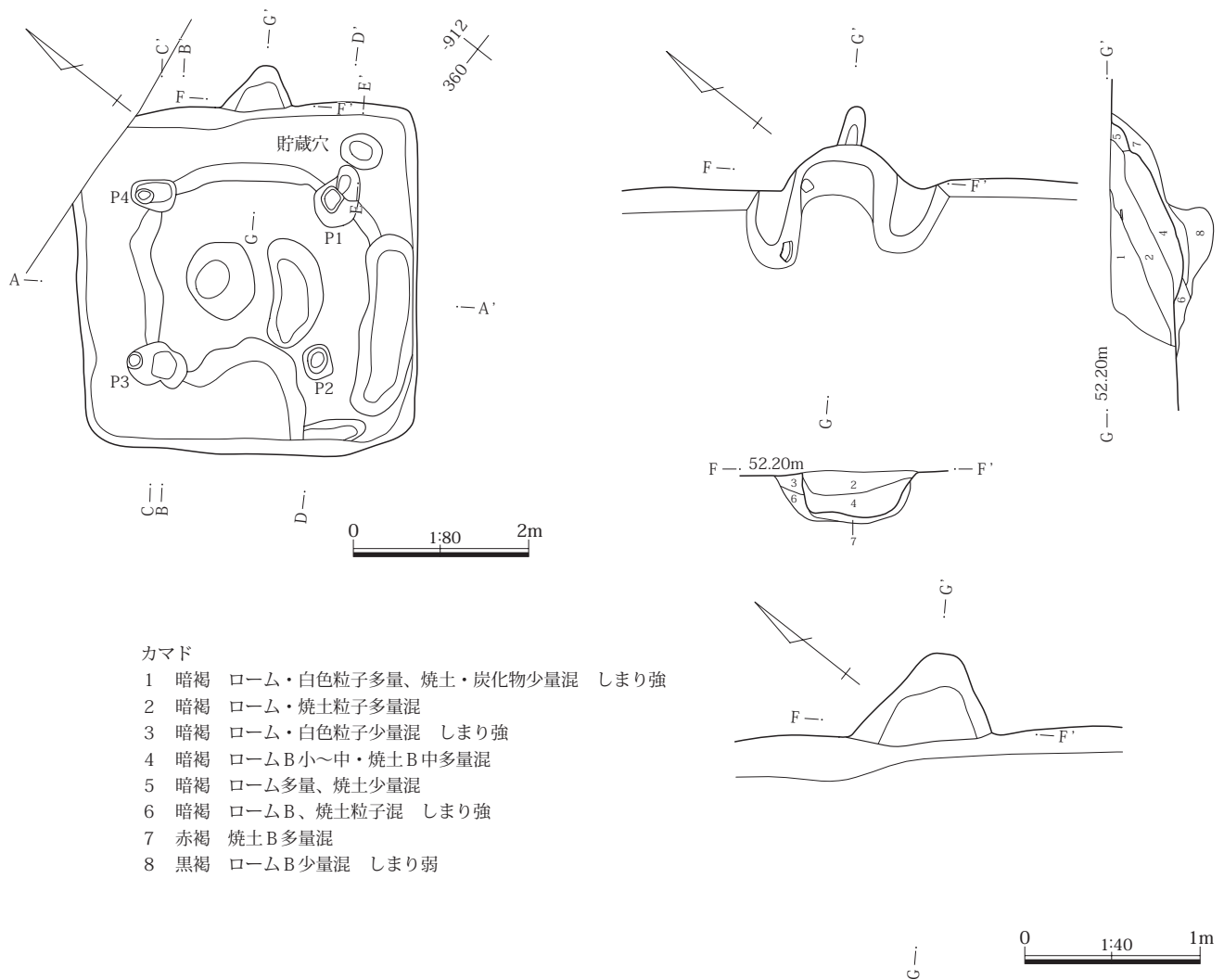
151号住居

- 1 暗褐 ローム・白色粒子多量、焼土粒子・炭化物少量混
- 2 暗褐 ローム粒子多量、ロームB中少量混
- 3 黒褐 ローム粒子多量混
- 4 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 6 暗褐 ローム粒子少量混 しまり弱
- 7 暗褐 ローム粒子多量、ロームB中少量混
- 8 暗褐 ハードロームB中、ソフトロームB中量混 しまり強
- 9 暗褐 ソフトロームB中多量混 しまり強
- 10 暗褐 ハード・ソフトロームB多量混 しまり強

- 11 黄褐 暗褐色土中量混 しまり弱
- 12 暗褐 ローム粒子・B少量混 しまり弱
- 13 にぶい黄褐 ロームB中と12層の土混合
- 14 褐 (10YR4/6) ロームベース 暗褐色土B中少量混
- 15 暗褐 (10YR3/4) ロームB中多量混
- 16 にぶい黄褐 (10YR4/2) ローム粒子少量混 粘性・しまり弱
- 17 褐 (10YR4/4) ロームB中多量混
- 18 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子中量混

第44図 151号住居出土遺物・使用面

III 検出された遺構と出土遺物



第45図 151号住居掘り方・カマド

152号住居 (第46・47・67図、PL16)

位置 358～362 - 914～922 Gr

重複関係 151住より旧 164住より新

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [6.10] m

短辺 [5.83] m 長辺/短辺 不明 壁高 50cm

面積 [19.04]m² 床面積 [17.15]m²

主軸方位 N-40° - E

壁溝 南壁東部～東壁。他は不明。貯蔵穴 不明

柱穴 4基? 床面上では確認できず掘り方で南西部に1基確認。

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・黄褐色土で貼床とするが、重複のため大部分不明。

遺物出土状況 埋土中に散在。出土量は少なくほとんどが小破片である。

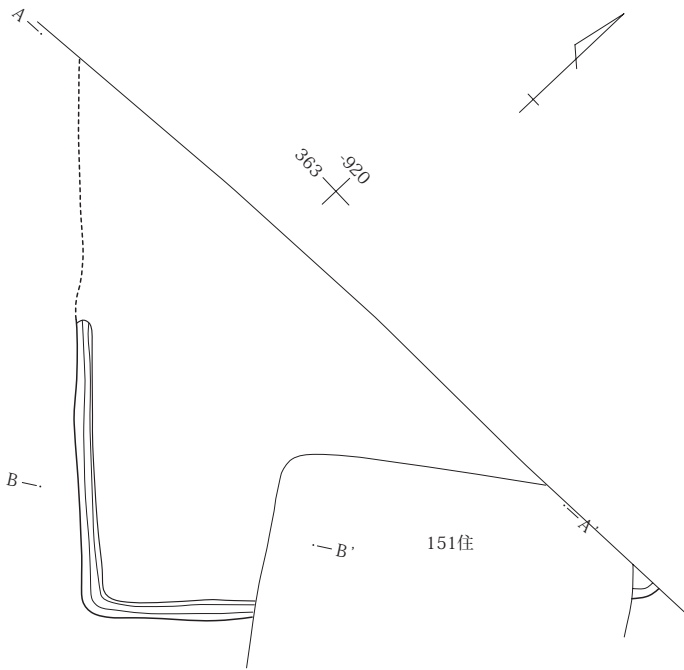
掘り方 164号住と重複するため大部分不明。溝状掘り込みあり。掘り方図は第67図164号住居、152号住居掘り方にあり。カマド 不明

備考 164号住と同時に掘り下げたため不明な点が多い。掘り方で検出されたピット中に柱穴あるか。

時期 出土遺物少なくほとんど破片であるため時期不明。

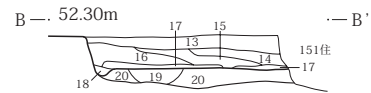
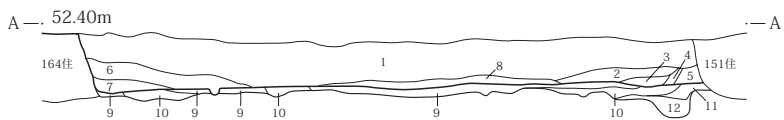


第46図 152号住居出土遺物



152号住居

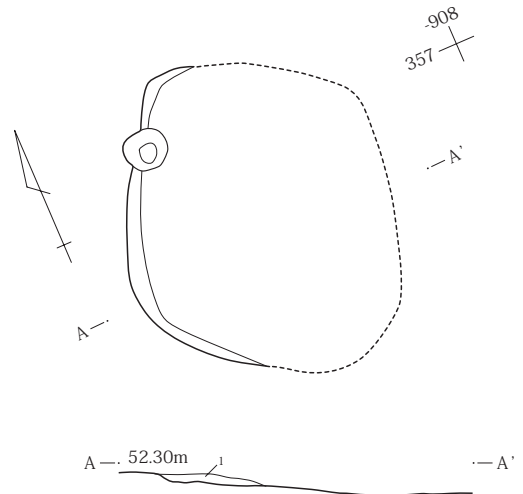
- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土・白色粒子多量混
- 2 暗褐色 ローム粒子多量、ロームB少量混 砂質
- 3 暗褐色 ローム粒子多量、ロームB小2層より多量混 しまり強
- 4 暗褐色 焼土・灰混 しまり弱
- 5 暗褐色 灰・炭化物少量混 しまり弱
- 6 暗褐色 1層よりロームB中多量混
- 7 暗褐色 ローム粒子多量、ロームB中・焼土粒子混
- 8 暗褐色 7層に似る ロームB中底面に多量混
- 9 黄褐色と暗褐色の混土層 (床面)
- 10 暗褐色 ローム粒子・B小多量、白色粒子少量混
- 11 黄褐色 ローム粒子・B主体 しまり強
- 12 にぶい黄褐色 ローム粒子主体
- 13 暗褐色 ローム・白色粒子多量、焼土粒子少量混
- 14 暗褐色 13層に黒褐色土B中中量混
- 15 暗褐色 ローム粒子多量混
- 16 黒褐色 ローム粒子少量混
- 17 にぶい黄褐色 ロームB小～中多量混
- 18 暗褐色 ロームB中少量混 しまり弱
- 19 黒褐色 ロームB中少量混 しまり強
- 20 黒色土とロームB中の混土層 しまり強



第47図 152号住居使用面

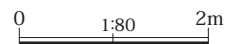
153号住居 (第48図)

位置 354～357-909～912 Gr 重複関係 なし
 平面形態 隅丸長方形 長辺 (3.16)m
 短辺 (2.33) m 長辺 / 短辺 (1.36) 壁高 27cm
 面積 (8.02)m²
 床面積 (7.34)m² 主軸方位 N-61°-W
 壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 なし?
 埋没土 ロームを含む暗褐色土。
 床面状態 大部分不明。軟弱。
 遺物出土状況 埋土中に散在。数点出土したのみ。
 掘り方 ほぼ平坦。
 カマド 残存状況きわめて悪く不明。
 備考 残存状態きわめて悪く大部分不明。一般的な住居とならない可能性もある。
 時期 出土遺物少なく時期不明。



153号住居

- 1 暗褐色 ローム粒子・B中少量混 しまり弱

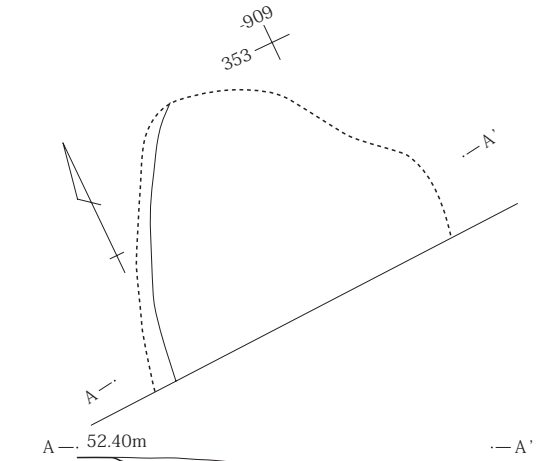


第48図 153号住居

III 検出された遺構と出土遺物

154号住居 (第49図)

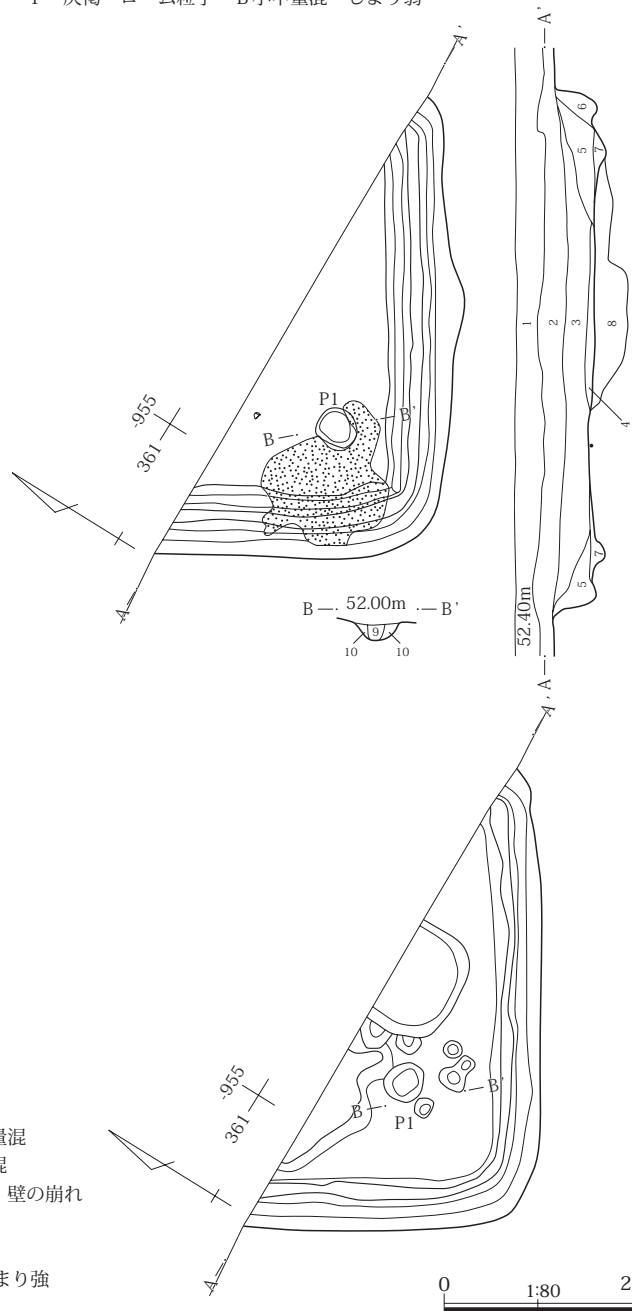
位置 350～352 - 908～911 Gr 重複関係 なし
 平面形態 不明 長辺 [3.01]m 短辺 [2.85]m
 長辺/短辺 不明 壁高 23cm 面積 [6.82]m²
 床面積 [6.35]m² 主軸方位 N-65° -W
 壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 なし?
 埋没土 ロームを含む灰褐色土。
 床面状態 大部分不明。軟弱。
 遺物出土状況 埋土中に散在。数点出土したのみ。
 掘り方 ほぼ平坦。カマド 残存状態きわめて悪く不明。
 備考 残存状態きわめて悪く大部分不明。一般的な住居
 とならない可能性もある。
 時期 出土遺物少なく時期不明。



154号住居
 1 灰褐色 ローム粒子・B小中量混 しまり弱

155号住居 (第49図、PL16)

位置 358～360 - 950～956 Gr 重複関係 なし
 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [4.71]m
 短辺 [2.26]m 長辺/短辺 不明 壁高 52cm
 面積 [8.06]m² 床面積 [3.56]m²
 主軸方位 N-33° -W
 壁溝 残存部分全周。内側にもう1条全周。
 貯蔵穴 不明
 柱穴 4基? 南西部に1基検出。他は調査区外のため不明。
 埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土・黒褐色土。外側
 に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積。南西
 隅の床面上に粘土層あり。
 床面状態 にぶい黄褐色土で部分的に貼床。全体的にや
 や硬化。
 遺物出土状況 埋土中に散在。出土量は少なく大部分小
 破片。掘り方 土坑状掘り込み2基ピット数基あり。
 カマド 不明
 備考 壁溝の内側にもう1条壁溝あるため拡張された
 可能性高い。南西隅に粘土層あるが性格は不明。
 時期 出土遺物少なく時期不明。



155号住居
 1 灰褐色土 耕作土 2 暗褐色 ローム粒子・B、焼土粒子・炭化物少量混
 3 暗褐色 ローム粒子・B多量混 4 にぶい黄褐色 ローム粒子・B多量混
 5 黒褐色 ローム・焼土粒子少量混 6 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混 壁の崩れ
 7 にぶい黄褐色 ローム粒子・B多量混 しまり弱
 8 にぶい黄褐色 黄褐色・明黄色ローム、暗褐色土混
 9 黒褐色 ローム粒子少量混 粘性強 10 暗褐色 ロームB中少量混 しまり強

第49図 154・155号住居

156号住居 (第50・51図、PL16・17)

位置 355～361－945～951 Gr

重複関係 157住より旧 172住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 5.52 m

短辺 4.53 m 長辺/短辺 1.22 壁高 40cm

面積 (25.86)m² 床面積 (18.98)m²

主軸方位 N-28°-W

壁溝 残存部分全周。掘り方で内側にもう1条検出。

貯蔵穴 不明 柱穴 4 基方形に配置しているが、住居の主軸よりやや東に振れる。

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で部分的に貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 中層～床面中心でほぼ全面に出土。出土量はそれほど多くなく完形・半完形の遺物はあるが、埋土中のものが多く廃棄・流入遺物がほとんどか。

4202・4456は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑1 基他土坑状掘り込み・ピット数基あり。内側に壁溝もう1条検出。

カマド

位置 359～361-948・949 Gr

壁位置 北壁やや東 全長 1.33m 幅 1.44m

主軸方位 N-22°-W

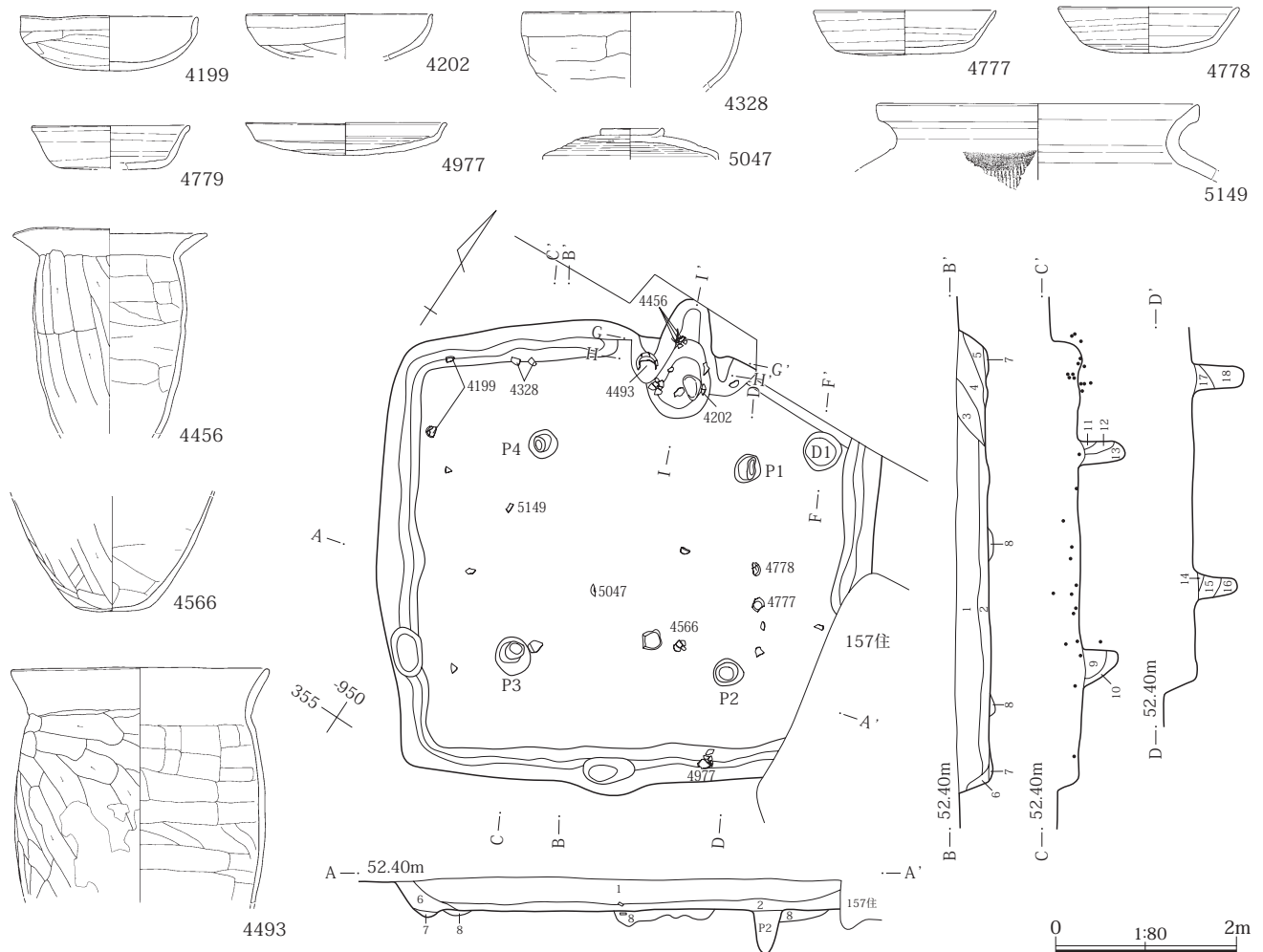
構築 土師器甕を補強材としてロームで袖を構築。

焚口部・燃烧部底面はややくぼみ灰層がみられる。奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 焚口部・燃烧部から土師器甕片が出土。袖補強材の土師器甕は左袖のみ出土。

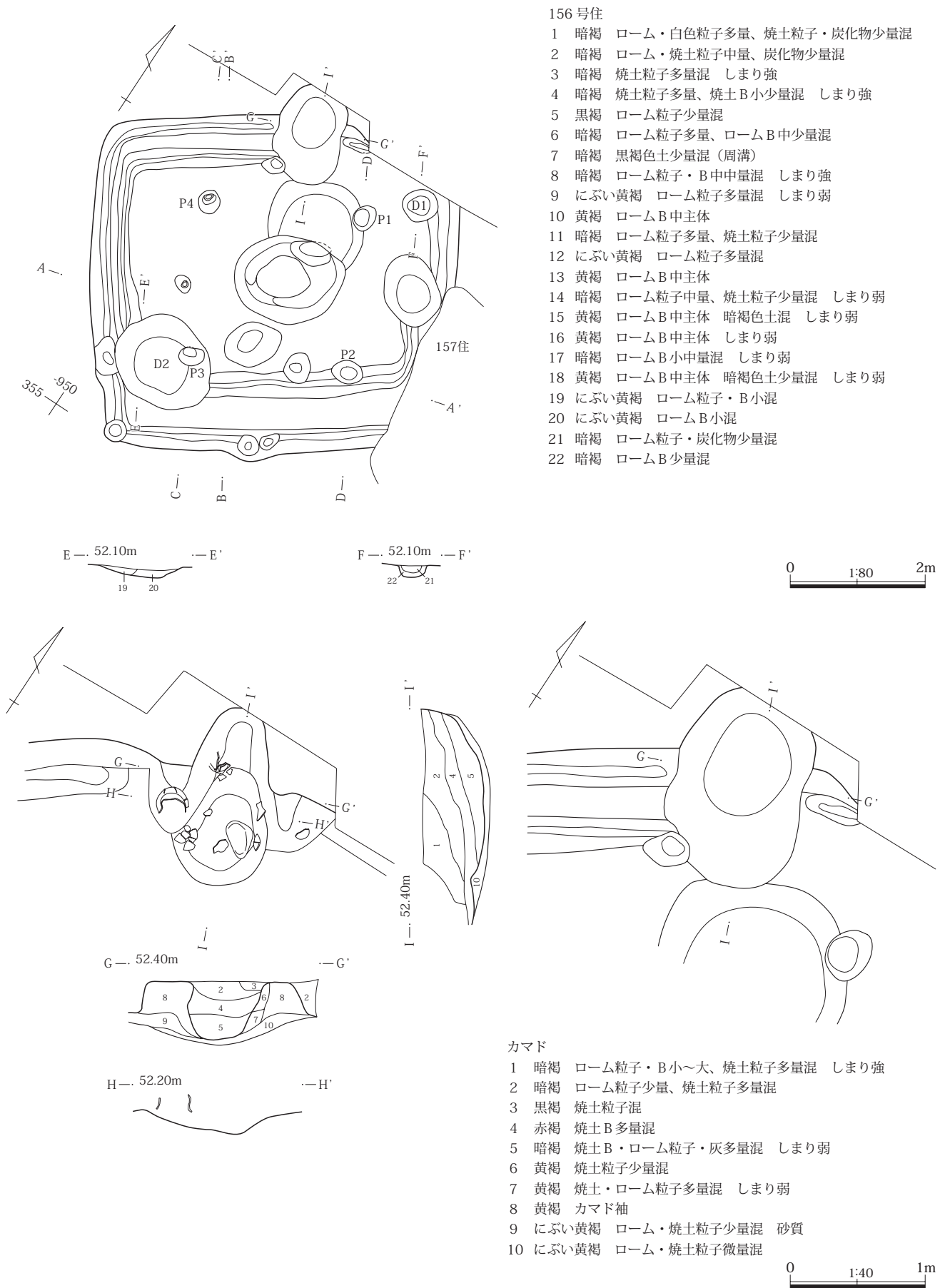
備考 内側に壁溝がもう1条検出されたため拡張された可能性が高い。

時期 遺棄遺物と断定できるものがないため詳細は不明であるが、図示された遺物から、8世紀第2～第3四半期か。



第50図 156号住居出土遺物・使用面

III 検出された遺構と出土遺物



第51図 156号住居掘り方・カマド

157号住居 (第52・53図、PL17)

位置 356～359-942～945 Gr

重複関係 156住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 3.30 m 短辺 3.03 m

長辺/短辺 1.09 壁高 65cm 面積 10.18㎡

床面積 7.08㎡ 主軸方位 N-83°-E

壁溝 東壁北部～北壁・西壁 (掘り方では南壁西部まで)

貯蔵穴 カマド右に位置し、平面形態は楕円形、断面は台形を呈するが、北壁側は底部が外に広がり袋状となる。

柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土・炭化物を含む暗褐色土・にぶい黄褐色土。

床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で貼床とし、全体的に硬化。

遺物出土状況 中層～床面中心に散在。出土量は少なく破片が多い。廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 南東部に土坑が集中する。他は平坦で、掘り方を床面とする部分もある。

カマド

位置 357・358-942・943 Gr

壁位置 東壁やや南

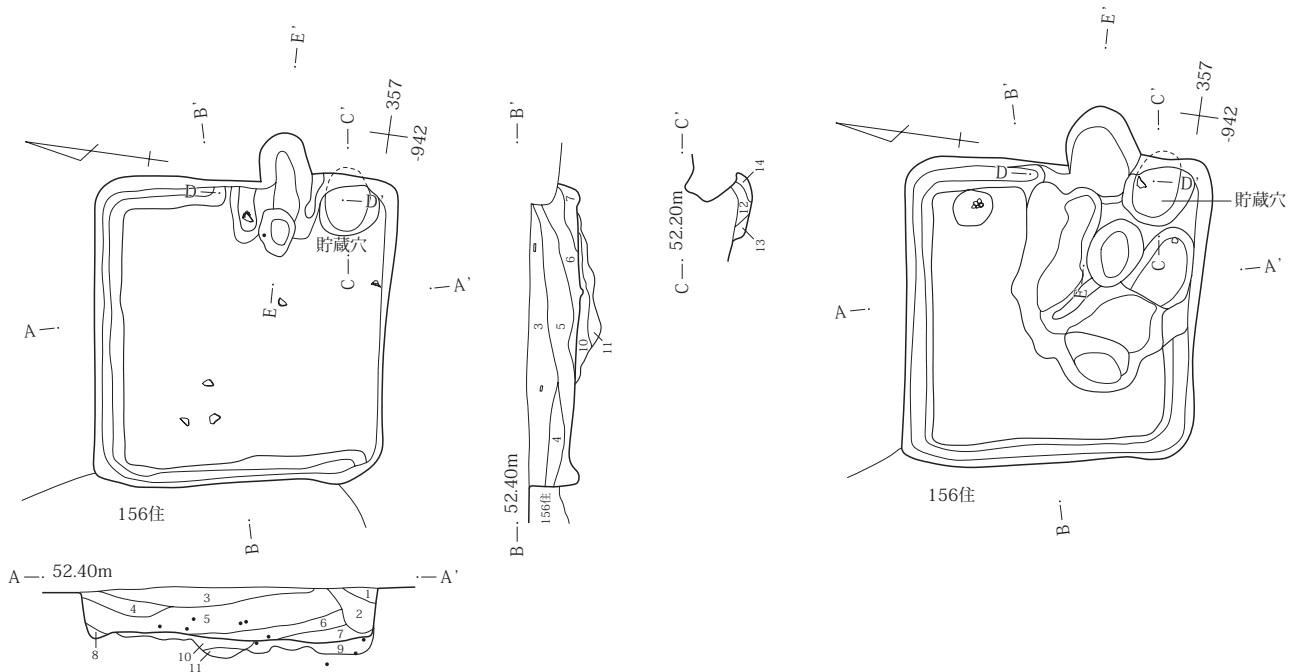
全長 1.31 m 幅 0.98 m

主軸方位 N-88°-E

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部底面はややくぼみ燃烧部底面はほぼ平坦。燃烧部奥壁はややく急に立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土。

時期 出土遺物少なく時期不明。



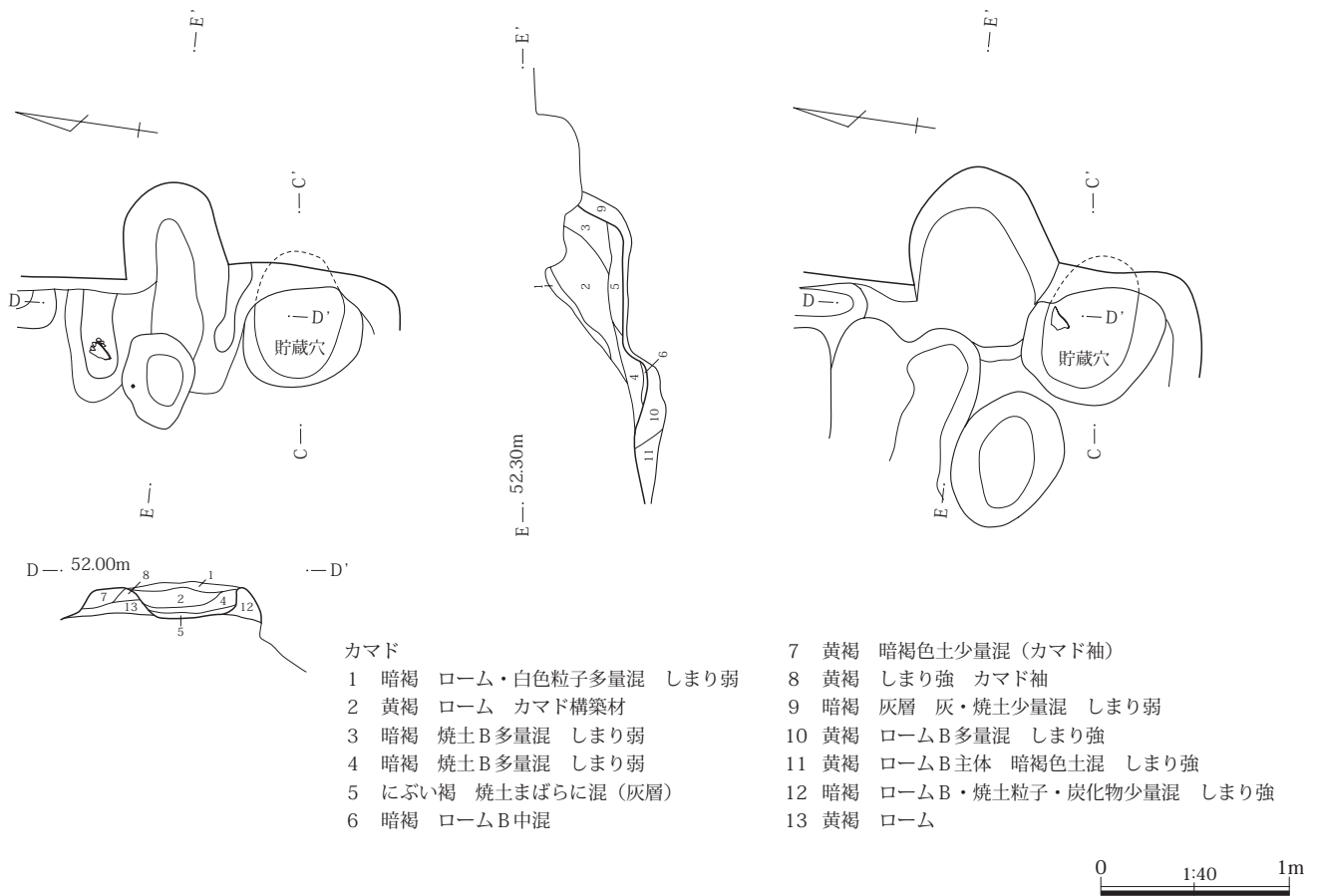
157号住居

- 1 暗褐 褐色土のローム漸位層の土とローム粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・炭化物混
- 3 暗褐 ローム・焼土粒子、炭化物少量混
- 4 暗褐 2層よりローム粒子多量混
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子・B小～大多量、焼土粒子・炭化物少量混
- 6 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化物まばらに混
- 7 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子多量混 粘性強 しまり弱

- 8 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 9 暗褐 ローム粒子・B中多量混
- 10 黄褐 ロームB中主体 しまり強
- 11 黄褐 ローム粒子主体 しまり弱
- 12 暗褐 ロームB中・ローム粒子混 しまり弱
- 13 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 14 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 しまり弱

第52図 157号住居使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第53図 157号住居カマド

158号住居 (第54・55図、PL18)

位置 351～355 -923～928 Gr

重複関係 159・160 住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 3.98 m

短辺 2.95 m 長辺/短辺 1.35 壁高 42cm

面積 12.25㎡ 床面積 8.86㎡

主軸方位 N-63° -E

壁溝 カマドを除き全周。

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土で全面に貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土するが北東部少ない。中層～床面中心。中央部低く外周部やや高い位置から出土。出土量は多く、完形・半完形のもの特に南東部を

中心に出土。カマド前からは甕が潰れた状態で出土。床面からやや浮いているものが多いが、壁際のは遺棄遺物が転落した可能性もある。4391・4392・5043は床面上の出土である。

掘り方 土坑・ピット数基あり。北西部やや下がる。

カマド

位置 353・354 -923・924 Gr

壁位置 東壁南

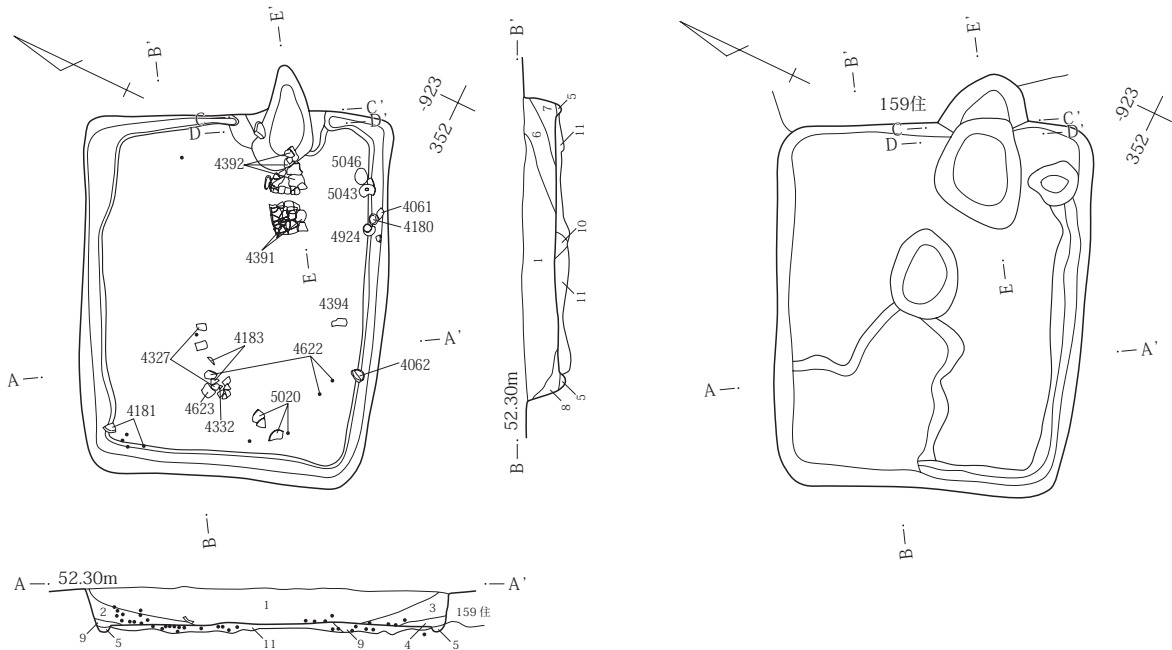
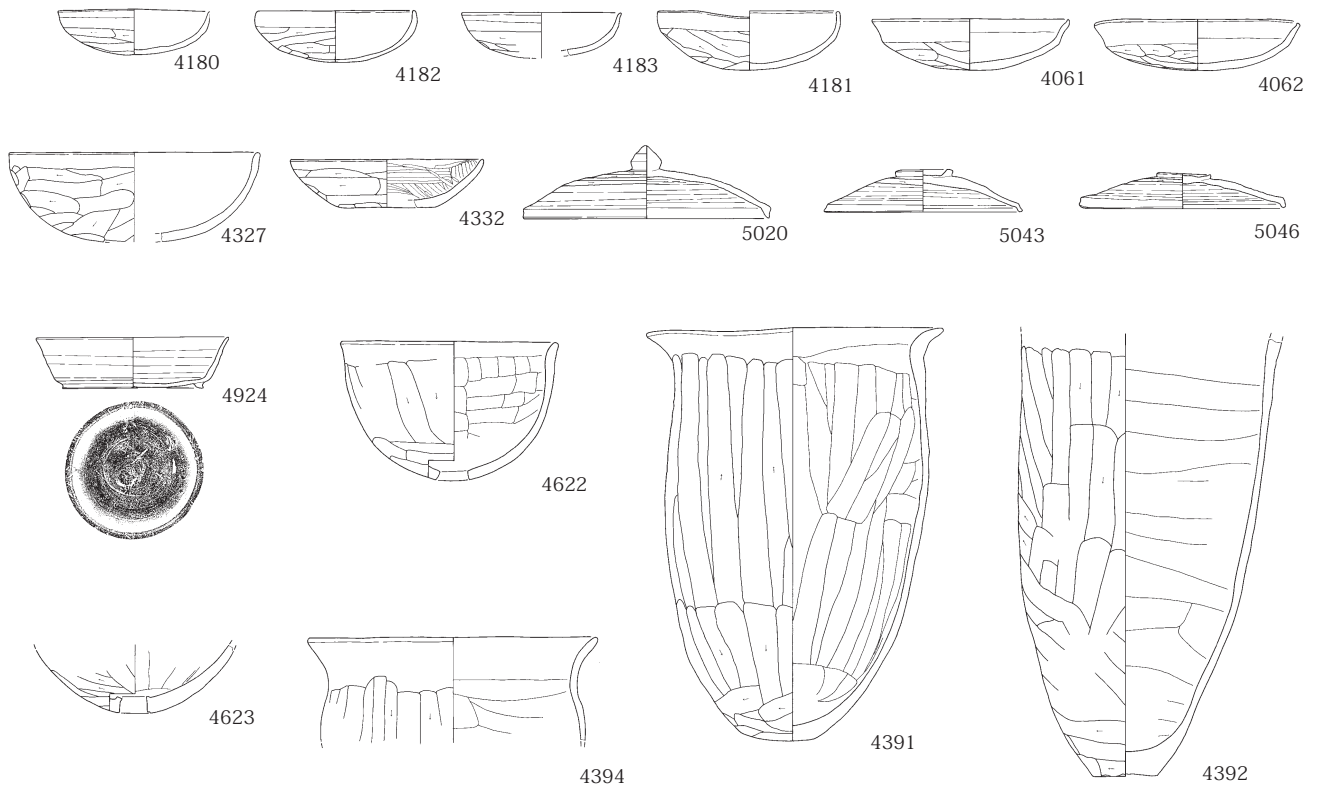
全長 1.10 m 幅 1.05 m

主軸方位 N-57° -E

構築 自然礫を補強材として粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はややくぼみ灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 カマド内の出土遺物は少ない。袖補強材の礫は左袖のみ出土。

時期 遺棄されたと考えられる出土遺物から、8世紀第2四半期か。



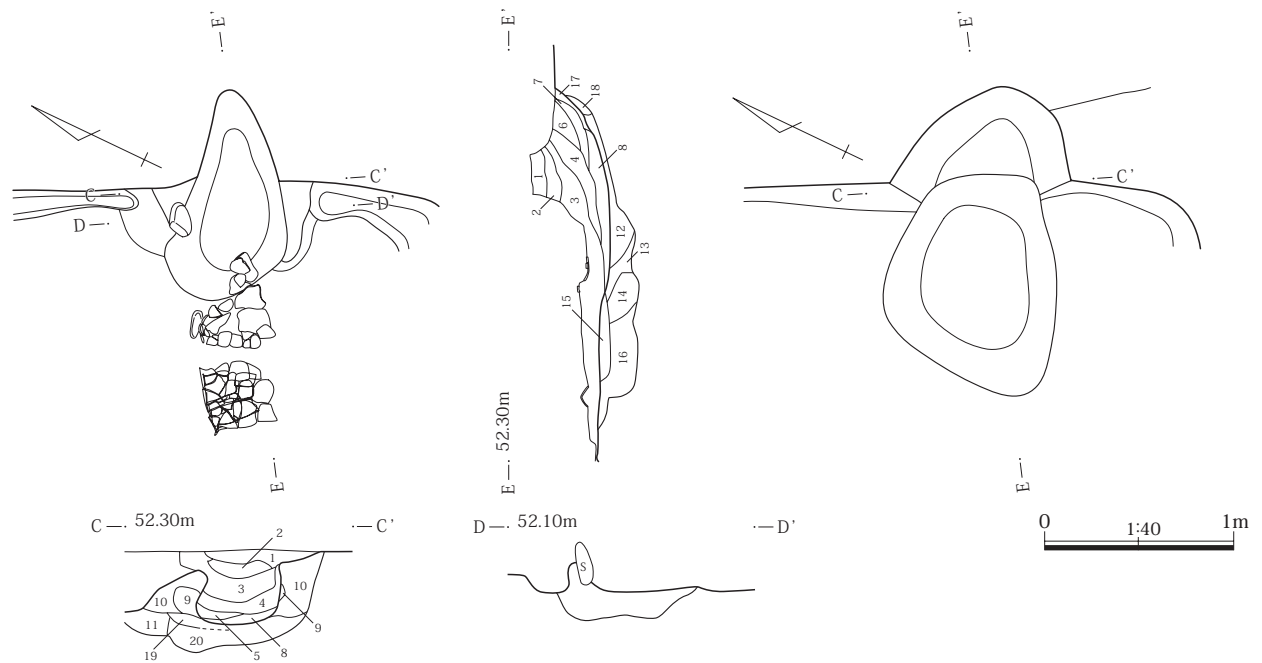
158号住居

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土・白色粒子多量混 | 7 黒褐 ローム粒子少量混 |
| 2 黒褐 ローム・焼土粒子多量混 | 8 暗褐 ローム漸位層土多量混 |
| 3 暗褐 ローム粒子・B中多量混 しまり弱 | 9 にぶい黄褐 ローム・暗褐色土混合 |
| 4 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 しまり弱 | 10 暗褐 ロームB中中量混 しまり強 |
| 5 暗褐 ローム粒子・B中混 しまり弱 | 11 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 しまり弱 |
| 6 にぶい黄褐 ローム粒子・褐色土多量混 | |

0 1.80 2m

第54図 158号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土・白色土粒子少量混 しまり強 | 12 暗褐 ロームB小〜中・焼土粒子少量混 しまり弱 |
| 2 黒褐 ローム粒子少量混 | 13 黒褐 ロームB中少量混 しまり強 |
| 3 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子多量混 | 14 黒褐 ロームB少量混 しまり弱 |
| 4 赤褐 焼土層 | 15 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 しまり強 |
| 5 暗褐 灰層 | 16 にぶい黄褐 暗褐色土少量混 ロームBで埋まる |
| 6 暗褐 ロームB・焼土粒子多量混 | 17 赤褐 焼土層 |
| 7 暗褐 ローム粒子少量混 | 18 黄褐 砂質 しまり弱 |
| 8 暗褐 焼土粒子・炭化物・灰混（灰層） | 19 暗褐 焼土粒子多量混 しまり強 |
| 9 赤色 焼土 しまり強 | 20 黄褐 ロームB中多量混 しまり強 |
| 10 にぶい黄褐 ローム（袖） しまり強 | |
| 11 黒褐 ローム粒子多量混 しまり弱 | |

第55図 158号住居カマド

159号住居（第56・57図、PL18・19）

位置 352～357-919～924 Gr

重複関係 158住より旧 160住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 4.09 m

短辺 3.47 m 長辺/短辺 1.18

壁高 46cm 面積 14.87㎡ 床面積 10.29㎡

主軸方位 N-46°-E 壁溝 西壁・南壁・東壁南部

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 粘土・焼土を含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積。

床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で大部分貼床とし、全体的にやや硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で中層〜床面中心。中央部低く外周部やや高い位置から出土。出土量は多く、完形・半完形のものの中〜北部を中心に出土。床面からやや

浮いた状態のものも多いため、廃棄遺物も多いと考えられる。4476・4865・4894・4897・4923は床面上の出土である。「郡上」の墨書土器あり。

掘り方 土坑状掘り込み・ピット数基あり。一部掘り方を床面とする。

カマド

位置 355・356-920・921 Gr

壁位置 東壁やや南

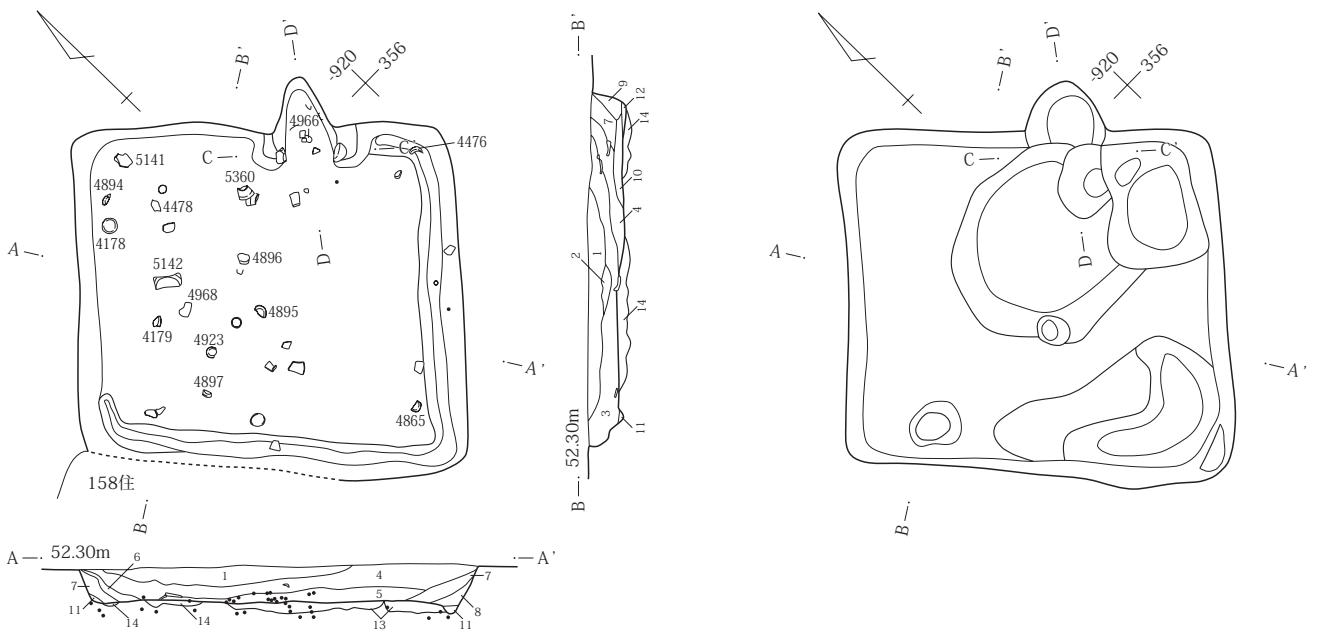
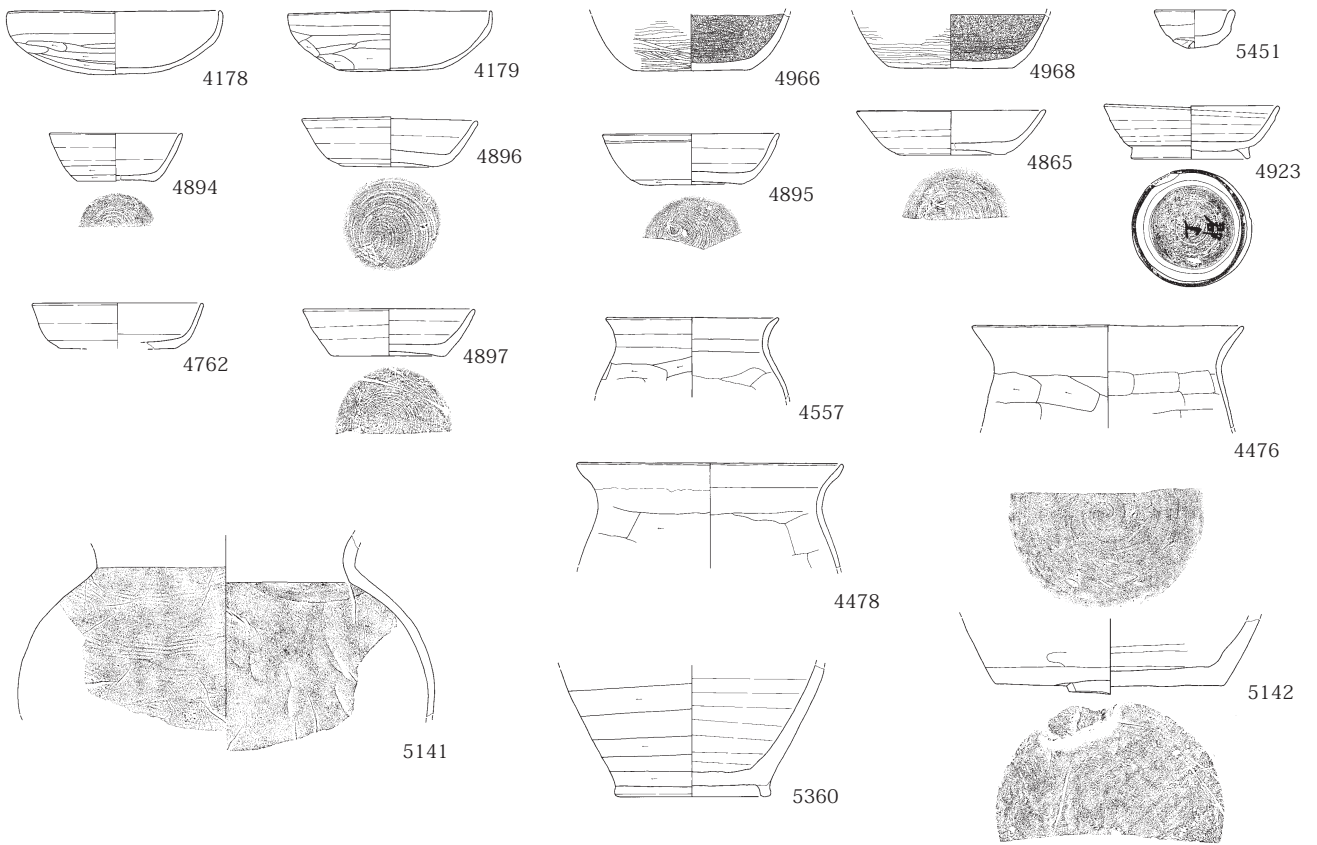
全長 1.00 m 幅 1.26 m

主軸方位 N-41°-E

構築 自然礫を補強材として粘土で袖を構築。焚口部・燃燒部はほぼ平坦で灰層あり。燃燒部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 焚口部・燃燒部から土師器杯・甕が出土。

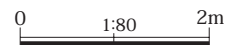
時期 図示された遺物から、8世紀第3四半期か。



159号住居

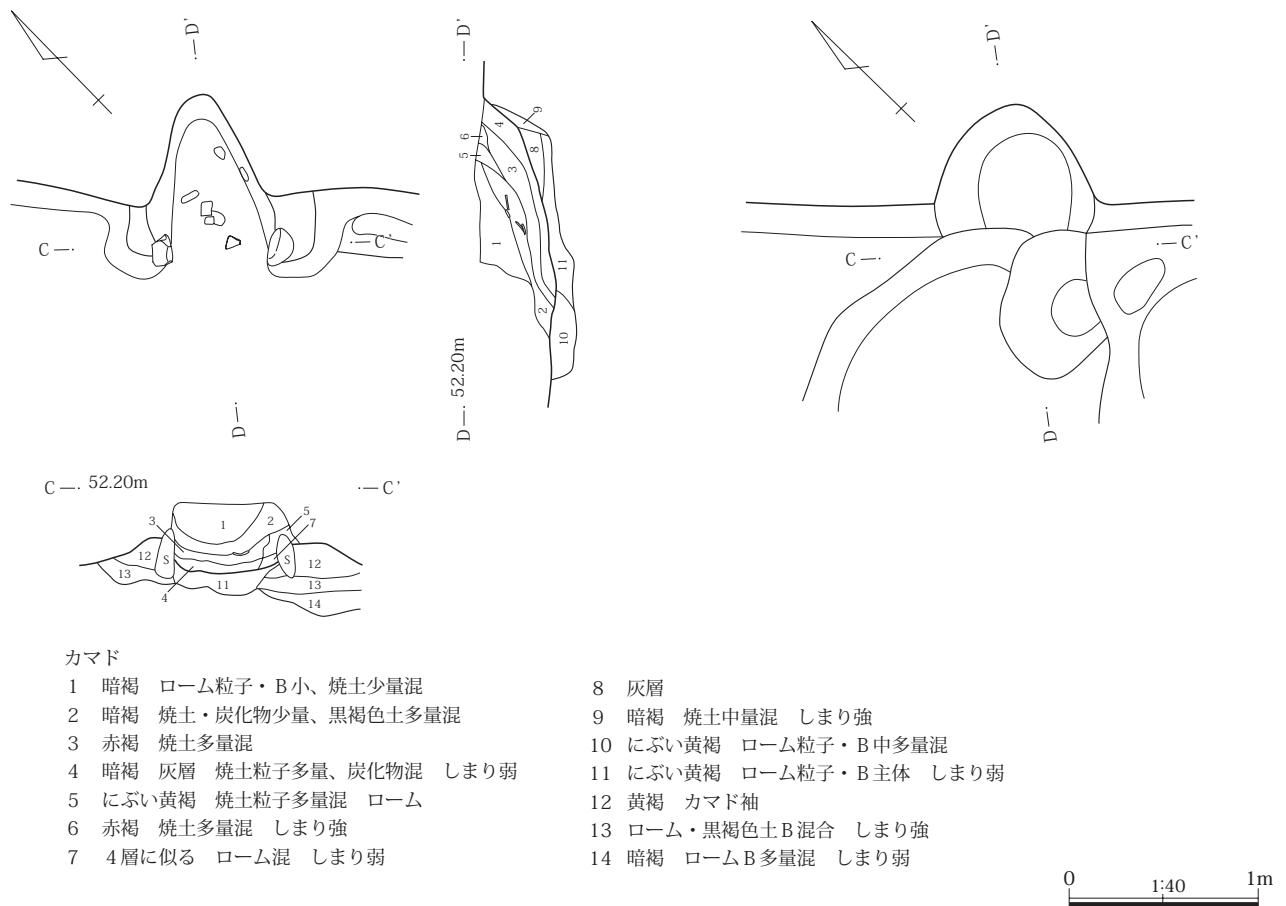
- 1 暗褐(10YR3/3) 焼土B、炭化粒子中量混 粘性弱
- 2 暗褐(10YR3/3) 粘土B極多量混 粘性・しまり強
- 3 暗褐(10YR3/4) 粘土B極多量、焼土B小多量混 粘性・しまり強
- 4 黒褐(10YR2/3) 焼土粒子・B小中量、炭化・粘土粒子少量混
- 5 黒褐(10YR2/3) 焼土・炭化・粘土粒子少量混
- 6 にぶい黄褐(10YR4/3) 焼土・粘土B多量、炭化粒子少量混 粘性弱

- 7 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 8 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子微量混 粘性・しまり弱
- 9 黒褐(10YR2/3) ローム粒子微量混
- 10 暗褐(10YR3/3) 粘土B極多量、焼土粒子・B小中量混
- 11 暗褐(10YR3/3) ローム粒子少量混
- 12 暗褐(10YR3/3) ロームB少量混 貼床?
- 13 にぶい黄褐 ローム粒子・B主体 暗褐色土少量混 しまり強
- 14 にぶい黄褐 ローム主体 暗褐色土少量混



第56図 159号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第57図 159号住居カマド

160号住居 (第58・59図、PL19)

位置 355～359-920～926 Gr

重複関係 158・159・184 住より旧

平面形態 隅丸方形

長辺 (5.36) m 短辺 5.22 m

長辺/短辺 (1.03) 壁高 22cm 面積 [23.13]m²

床面積 [20.60]m² 主軸方位 N-39°-W

壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 カマド右に位置し、平面形態は楕円形で断面は丸みを帯びた台形を呈す。

柱穴 4基。壁との間が狭く内部が広い配置となる。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で大部分貼床とし、全体的にやや硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で中層～床面中心。出土量は多

くないが、完形・半完形のものの中～北東部を中心に出土。床面から浮いた状態のものが多いため廃棄遺物が大部分と考えられるが、壁際の杯等は遺棄遺物の可能性もある。4153・4358は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み2基あり。一部掘り方を床面とする。

カマド

位置 357・358-924・925 Gr

壁位置 北壁中央

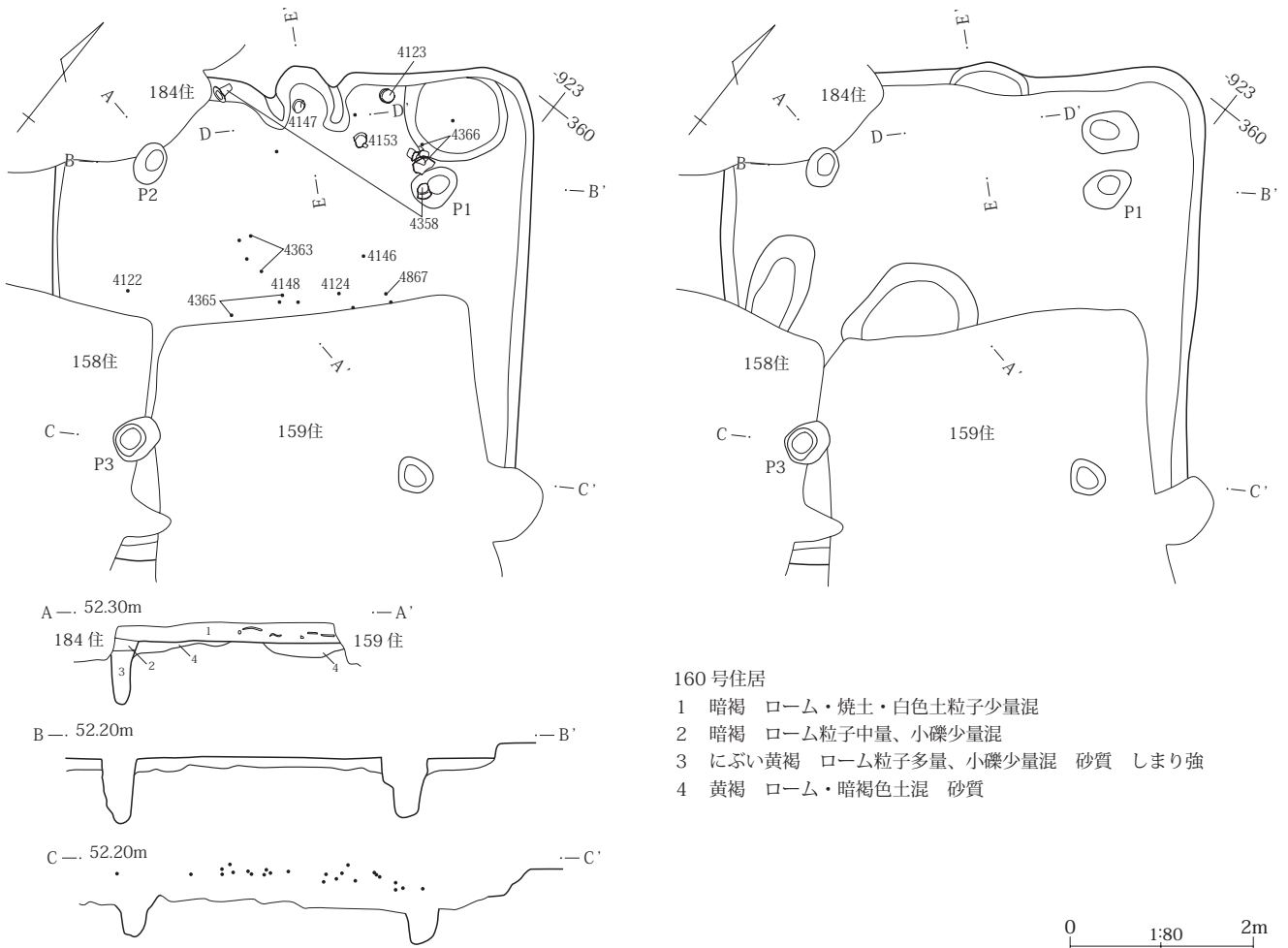
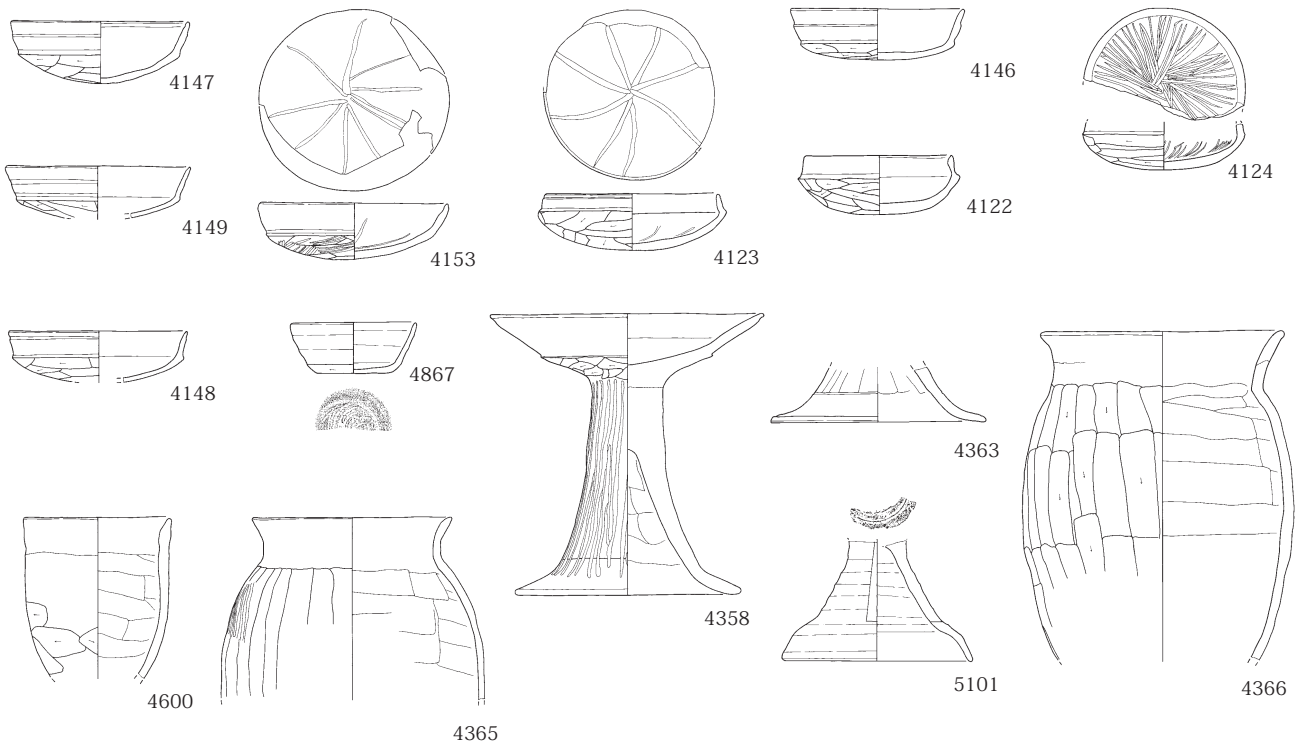
全長 0.79 m 幅 0.99 m

主軸方位 N-47°-W

構築 粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部は比較的平坦 燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

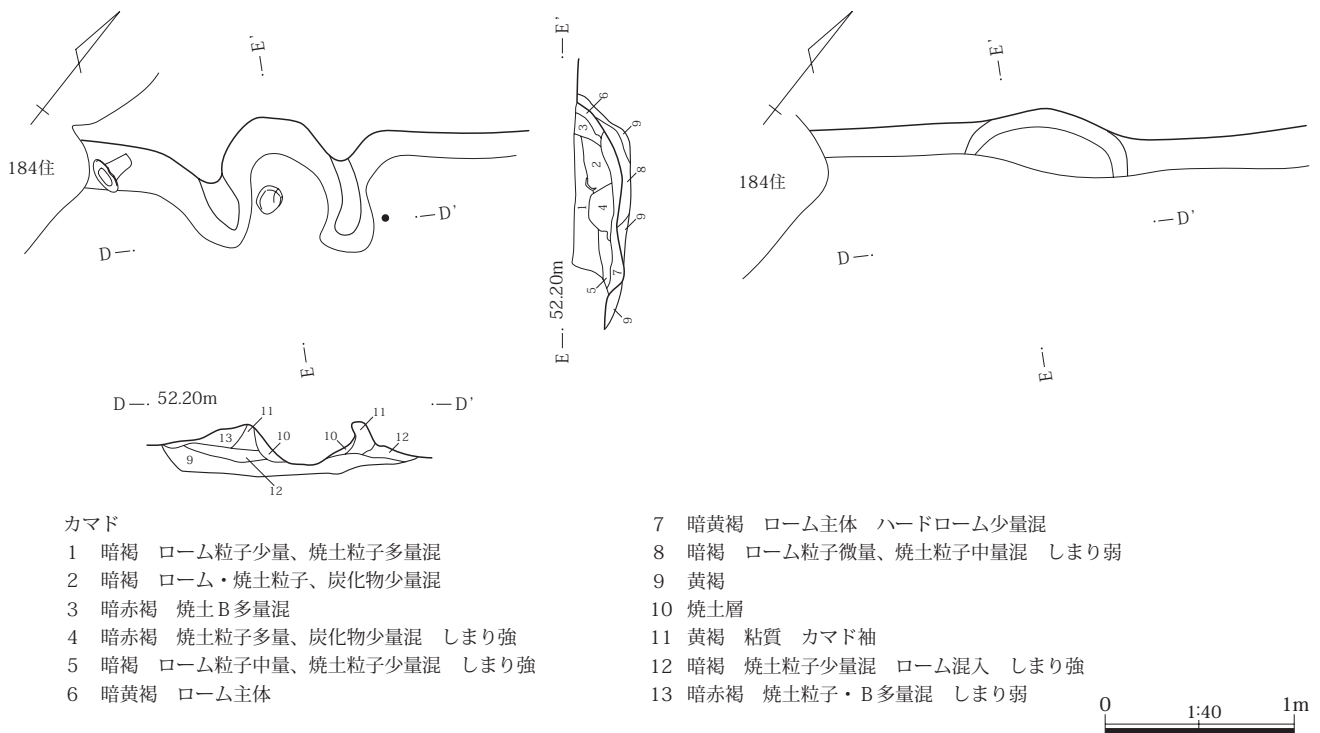
遺物出土状況 燃烧部から土師器杯の完形品が出土。

時期 カマド出土の土師器杯等から、6世紀後半か。



第58図 160号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- 1 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子多量混
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子、炭化物少量混
- 3 暗赤褐 焼土B多量混
- 4 暗赤褐 焼土粒子多量、炭化物少量混 しまり強
- 5 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混 しまり強
- 6 暗黄褐 ローム主体

- 7 暗黄褐 ローム主体 ハードローム少量混
- 8 暗褐 ローム粒子微量、焼土粒子中量混 しまり弱
- 9 黄褐
- 10 焼土層
- 11 黄褐 粘質 カマド袖
- 12 暗褐 焼土粒子少量混 ローム混入 しまり強
- 13 暗赤褐 焼土粒子・B多量混 しまり弱



第59図 160号住居カマド

161号住居 (第60～62図、PL20)

位置 349～355 - 935～942 Gr

重複関係 163・171・173・437・439 住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 5.37 m

短辺 4.37 m 長辺/短辺 1.23 壁高 80cm

面積 24.04㎡ 床面積 16.97㎡

主軸方位 N-60°-E

壁溝 北壁～西壁 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 焼土・炭化物を含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で全面貼床。全体的にやや硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～下層中心に出土。半完形のものも多いが、床から浮いた状態のものが多いため

廃棄遺物がほとんどか。南東部壁際から下半部を床に埋設した土師器甕が出土。4485は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑・土坑状掘り込み多数検出。壁際は溝状の掘り込みあり。

カマド

位置 352～354 - 935～937 Gr

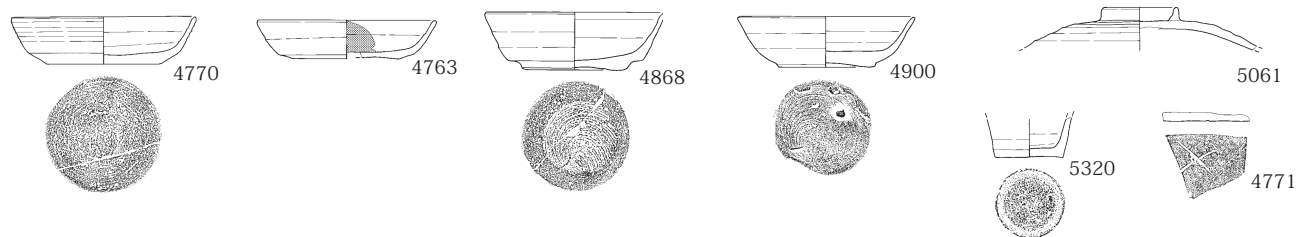
壁位置 東壁やや南 全長 1.75 m

幅 1.35m 主軸方位 N-59°-E

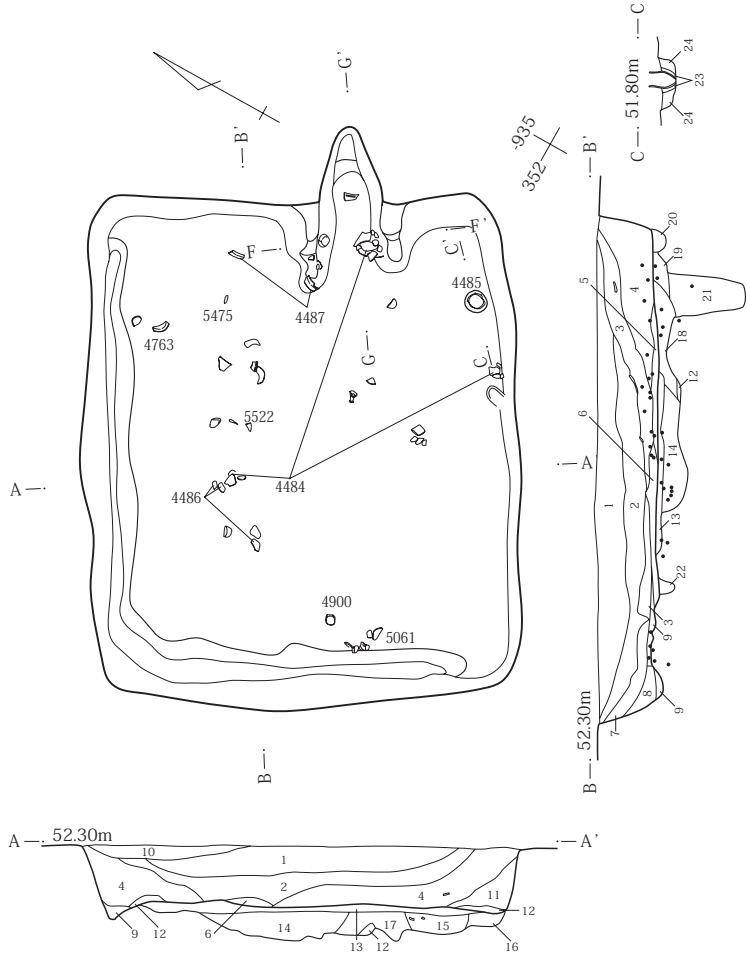
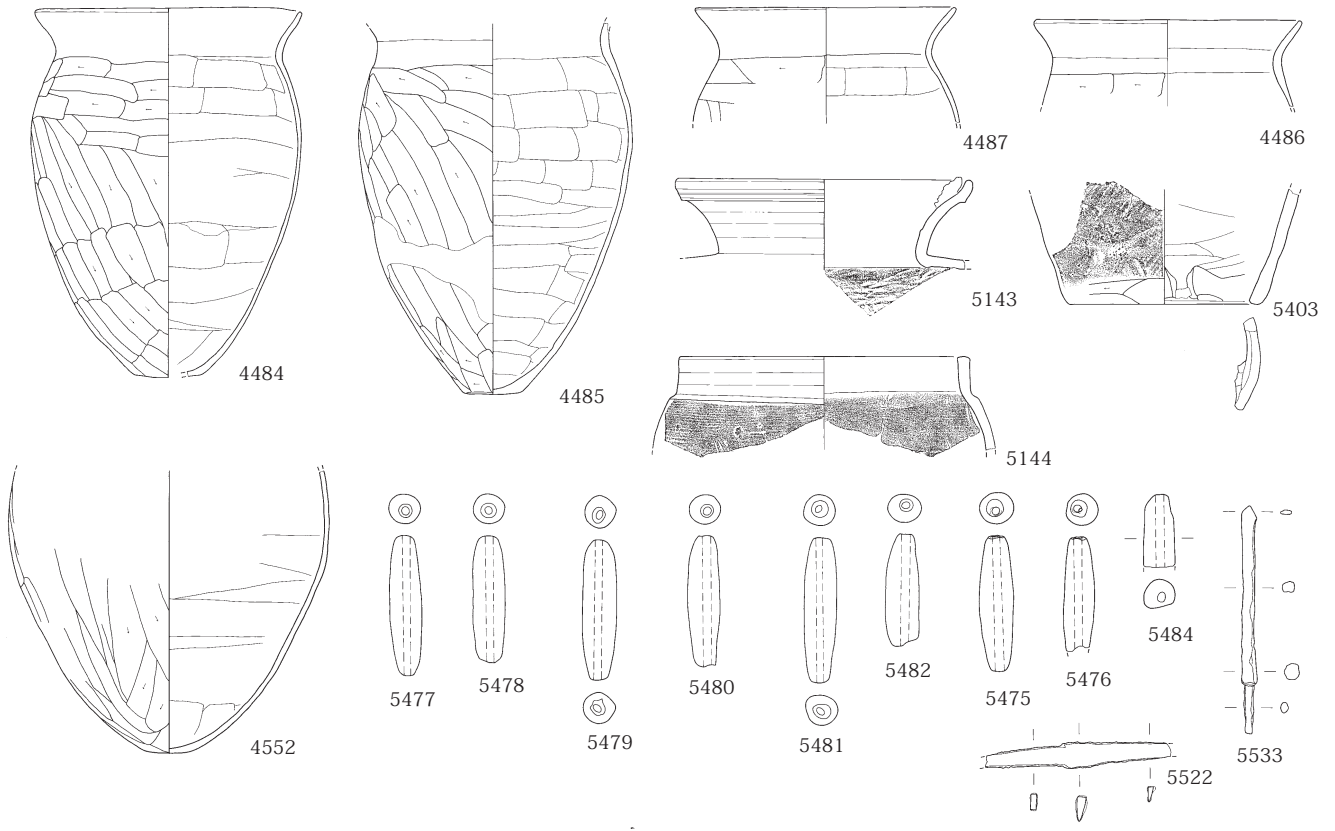
構築 自然礫を補強材として粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 焚口部・燃烧部左袖側から土師器甕が潰れて出土。

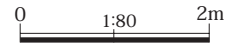
時期 図示された遺物から、8世紀第4四半期か。



第60図 161号住居出土遺物 (1)

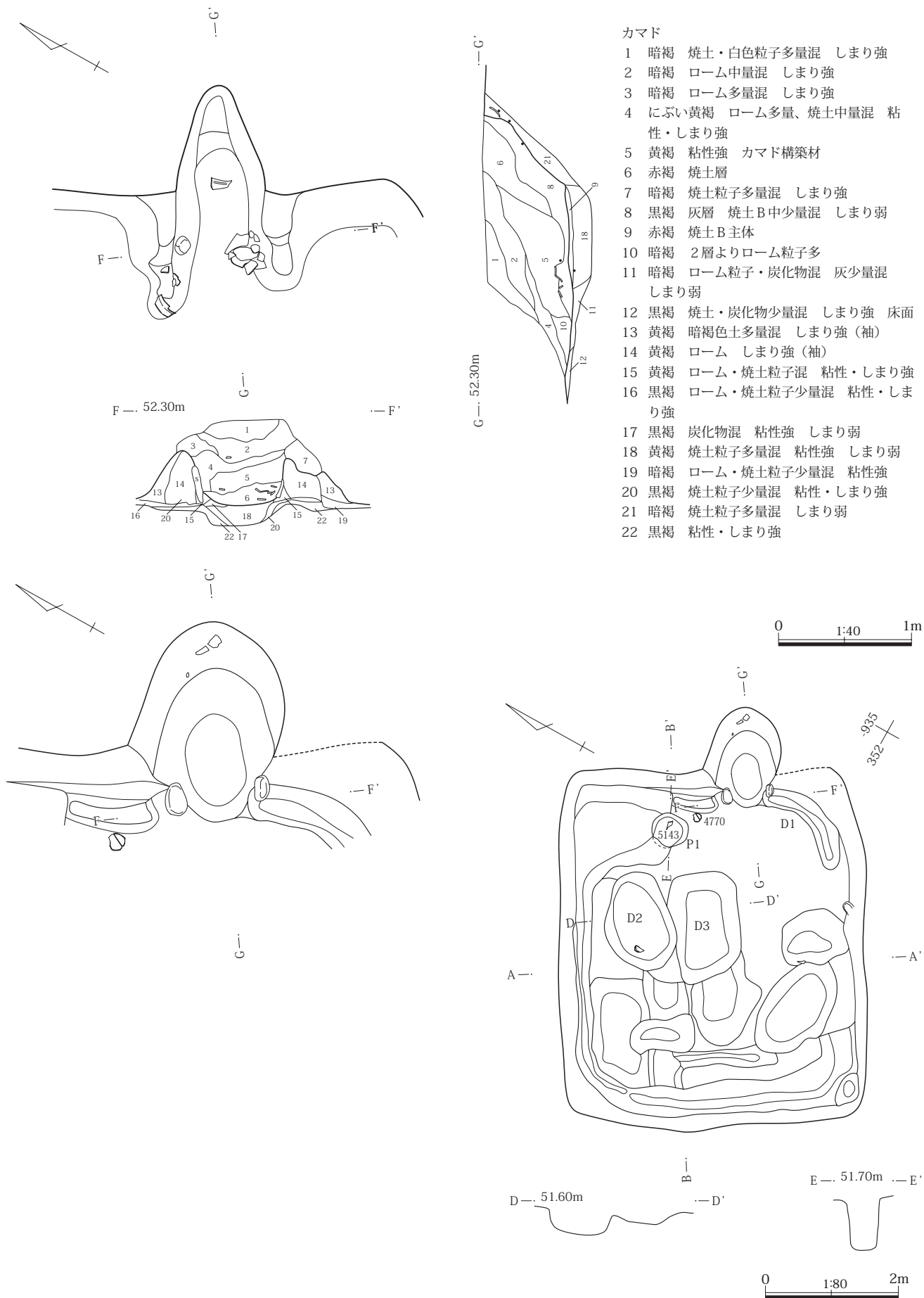


- 161号住居
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・炭化物微量、赤色粒子少量混
 - 2 黒褐 (10YR2/3) ロームB小・炭化物・赤色粒子少量混
しまり弱
 - 3 黒褐 (10YR2/3) 炭化物少量、赤色粒子多量混 しまり弱
 - 4 黒褐 (10YR3/2) 赤色粒子少量混 炭化物極大有
 - 5 黒褐 (10YR3/2) 赤色粒子微量混
 - 6 黒褐 (10YR2/2) ロームB極大多量混
 - 7 黒褐 (10YR2/2) ロームB極大・赤色粒子微量混 しまり弱
 - 8 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子少量、赤色粒子微量混
 - 9 暗褐 (10YR3/3) ローム混
 - 10 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子中量、赤色粒子微量混粘性弱
しまり強
 - 11 黒褐 (10YR2/2) ローム・赤色粒子少量混
 - 12 地山
 - 13 黒褐 (10YR2/3) ロームB中～極大・赤色粒子小～中中量混
 - 14 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB中主体層
 - 15 黒褐 (10YR3/1) ロームB小～大・赤色粒子小～中混
 - 16 黒褐 (10YR2/3) 赤色粒子小・炭化物混
 - 17 黒褐 (10YR3/1) ロームB極少量混
 - 18 黒褐 (10YR3/2) ロームB中量混
 - 19 黒褐 (10YR3/1) ローム粒子・赤色粒子微量混 しまり弱
 - 20 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子少量混
 - 21 黒 (10YR2/1) ローム粒子微量混
 - 22 暗褐 (10YR3/4) ロームB中量混 粘性・しまり弱
 - 23 黒褐 ローム・焼土粒子中量混
 - 24 黒褐 ローム粒子少量、焼土粒子多量混



第61図 161号住居出土遺物 (2)・使用面

III 検出された遺構と出土遺物



第62図 161号住居掘り方・カマド

162号住居(第63・64図、PL20・21)

位置 347～353-944～950 Gr

重複関係 173住より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 5.15m 短辺 4.74m

長辺/短辺 1.09 壁高 62cm 面積 24.37㎡

床面積 20.89㎡ 主軸方位 N-31°-W

壁溝 東壁～南壁一部

貯蔵穴 カマド右に位置し、平面形態は楕円形で、底部が広く中央でもう1段下がる。

柱穴 4基。いずれも規模比較的小さく浅い。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黒褐色土・黄褐色土で外周部のみ貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく住居内に散在。北東部の貯蔵穴周辺にやや集中し、完形に近い遺物もある。

掘り方 外周が溝状にくぼむ掘り方。他にピット1基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 352・353-947～949 Gr

壁位置 北壁やや東

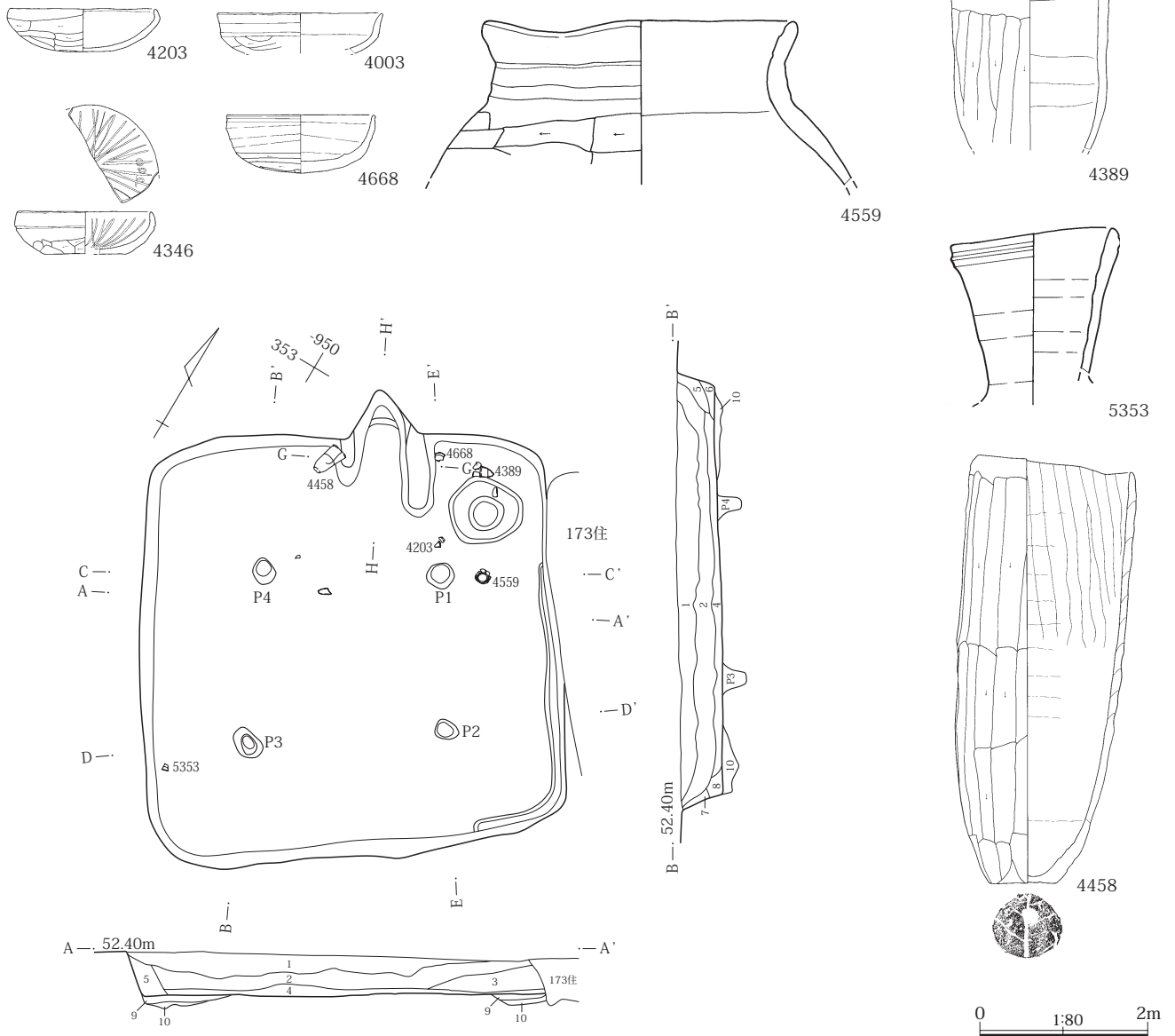
全長 1.52m 幅 1.22m

主軸方位 N-31°-E

構築 粘土を構築材とする。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

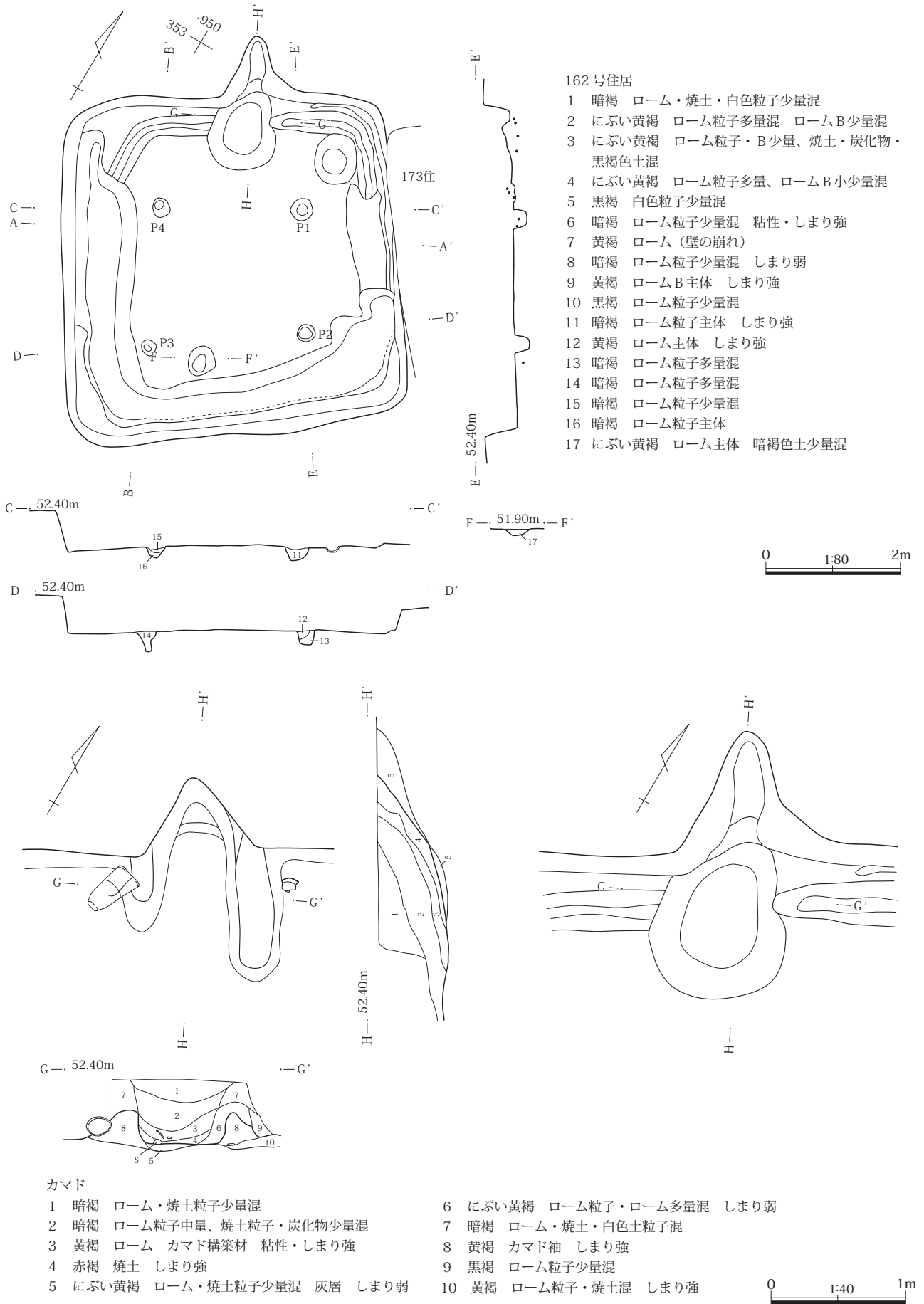
遺物出土状況 左袖脇から完形に近い土師器甕出土。

時期 図示された遺物から、7世紀第1～第2四半期か。



第63図 162号住居出土遺物・使用面

III 検出された遺構と出土遺物



第64図 162号住居掘り方・カマド

163号住居 (第65・66図、PL21・24)

位置 349～354 -941～945 Gr

重複関係 161住より旧 173住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.12 m

短辺 3.04 m 長辺/短辺 1.36

壁高 62cm 面積 (13.18)m² 床面積 (10.31)m²

主軸方位 N-41°-E 壁溝 南壁～西壁

貯蔵穴 なしか? 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で大部分貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で下層～床面中心に出土。完形・半完形のものもあり、床面上のものは遺棄遺物か。また

床面上から炭化物少量出土。墨付着土器あり。4193・4195・4773は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑・ピット数基あり。一部掘り方を床面とする。

カマド

位置 351・352 -941・942 Gr

壁位置 東壁南

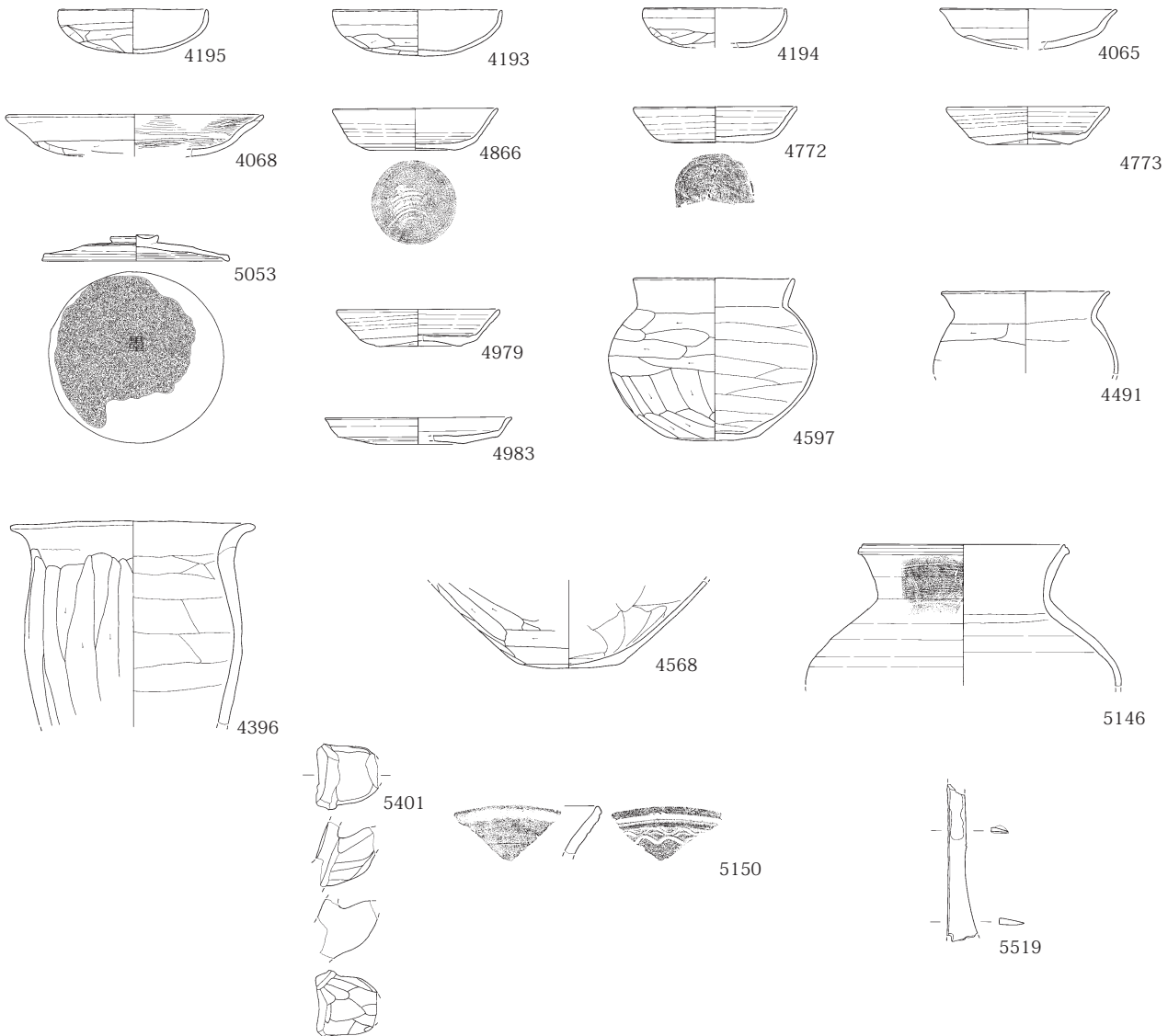
全長 [0.13] m 幅 [1.03] m

主軸方位 N-63°-E

構築 重複のため大部分不明。黄褐色土で袖を構築か。焚口部はほぼ平坦。

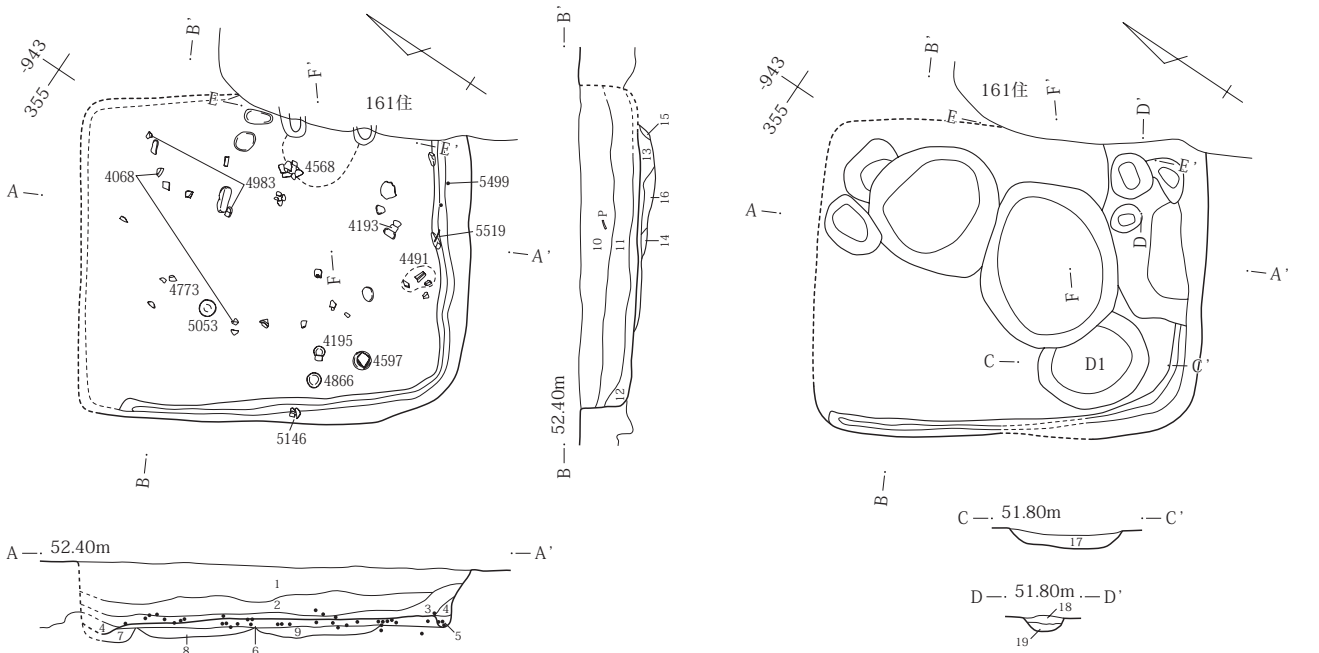
遺物出土状況 焚口部手前で土師器甕が集中して出土。

時期 図示された遺物から、8世紀第2四半期か。



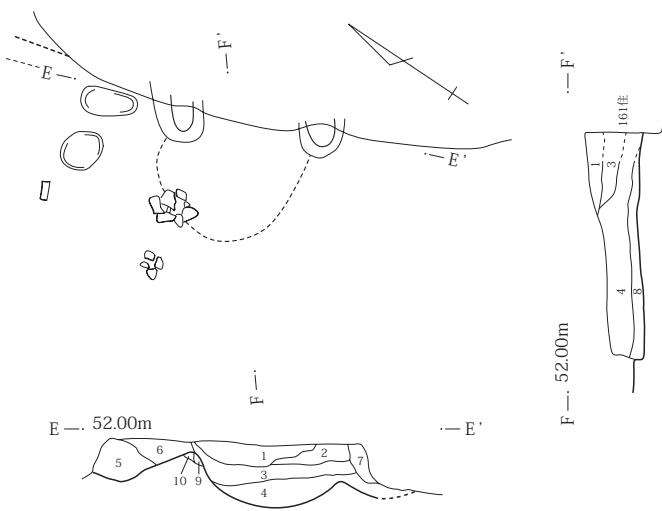
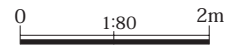
第65図 163号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



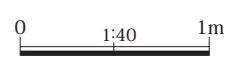
163号住

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1 暗褐色 炭化物・白色粒子少量、焼土粒子中量混 | 11 にぶい黄褐色 ローム粒子多量、ロームB小～大まばらに混 |
| 2 暗褐色 1層にロームB中・炭化物少量混 | 12 にぶい黄褐色 ローム粒子多量、ロームB少量混 しまり強 |
| 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化材混 しまり強 | 13 黄褐色 ローム（壁の崩れ） |
| 4 暗褐色 ローム粒子多量、焼土粒子中量混 | 14 暗褐色 ローム粒子・B小、黒褐色土混 |
| 5 にぶい黄褐色 ローム粒子多量混 | 15 暗褐色 ローム粒子・B小、焼土粒子少量混 |
| 6 にぶい黄褐色 ローム粒子・B小、暗褐色土混合 しまり強（貼床） | 16 黒褐色 ローム粒子少量混 |
| 7 暗褐色 ローム粒子中量、ロームB少量混 | 17 にぶい黄褐色 ローム主体 焼土粒子少量混 粘性・しまり強 |
| 8 にぶい黄褐色 ローム粒子・B多量混 | 18 赤褐色 焼土層 しまり弱 |
| 9 にぶい黄褐色 ローム粒子・B多量、炭化物少量混 | 19 黄褐色 ローム粘質土 しまり弱 |
| 10 暗褐色 ローム・焼土・白色土粒子少量混 | |



カマド

- | |
|------------------------|
| 1 黄褐色 ローム主体 しまり強 |
| 2 暗褐色 ローム・焼土粒子多量混 しまり強 |
| 3 赤褐色 焼土粒子・B多量混 しまり強 |
| 4 暗褐色 焼土・炭化物多量混 しまり弱 |
| 5 暗褐色 |
| 6 暗褐色 |
| 7 暗褐色 |
| 8 黄褐色 ローム しまり強 |
| 9 焼土 |
| 10 黄褐色 ローム カマド袖 |



第66図 163号住居使用面・掘り方・カマド

164号住居 (第67図、PL16・21)

位置 359～362-916～923 Gr

重複関係 151・152住より旧 平面形態 隅丸方形

または隅丸長方形 長辺 [5.64] m

短辺 [3.68] m 長辺/短辺 不明 壁高 55cm

面積 [12.38]m² 床面積 [8.10]m²

主軸方位 N-27°-E

壁溝 南壁・東壁一部。他は不明。

貯蔵穴 不明

柱穴 掘り方で1基検出。4基あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。壁際に三角堆積あり。

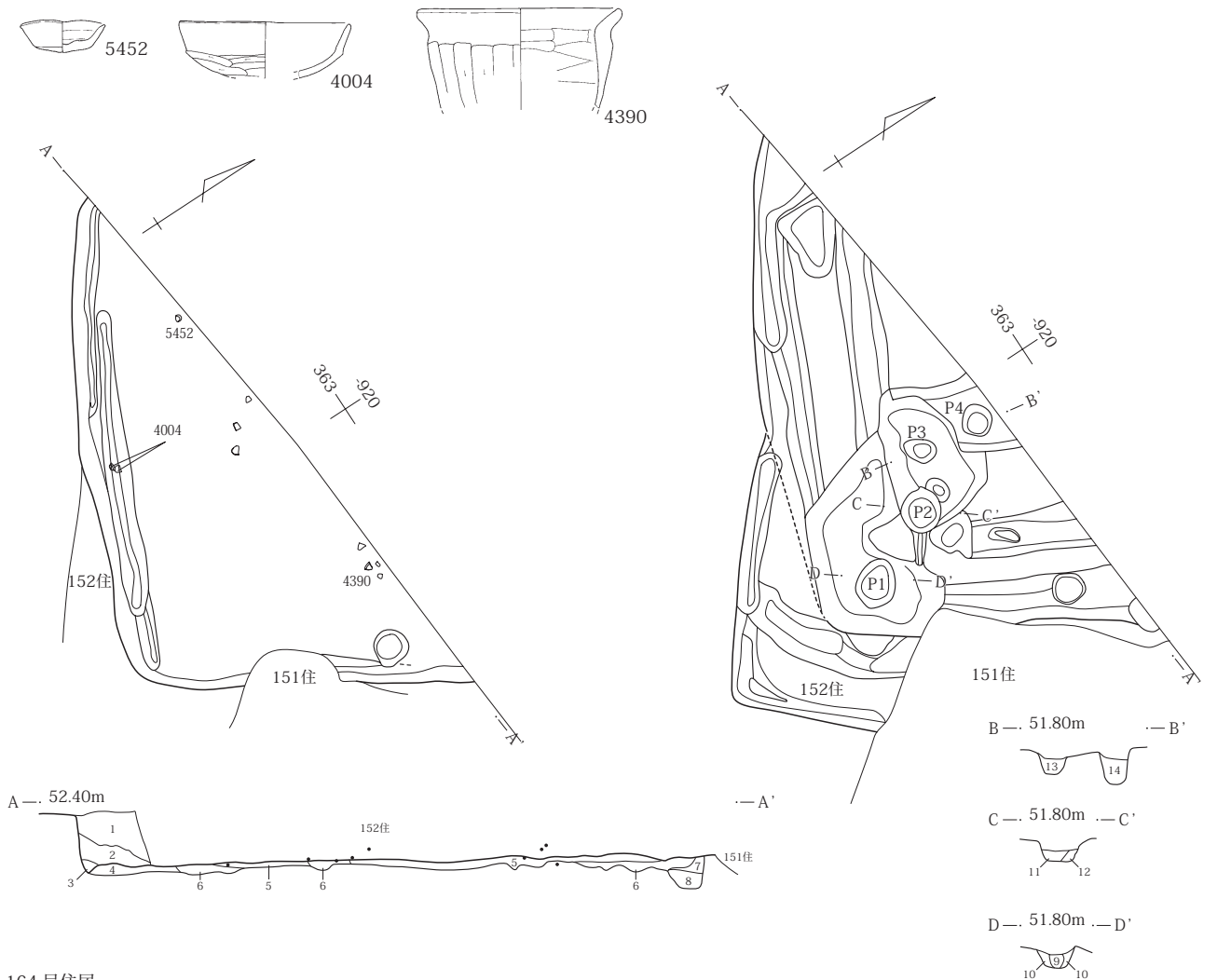
床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。

遺物出土状況 重複のため埋土の大部分がなく破片が少量出土しただけ。5452は床面上の出土である。

掘り方 レベルが、重複する152号住と近いため、帰属が不明な部分が多い。壁溝状の溝が2重に検出される。他に土坑・ピット数基あり。

カマド 不明

時期 出土遺物少なく時期不明。図示された遺物から、7世紀代か。



164号住居

- 1 暗褐 ローム粒子中量、白色粒子多量混
- 2 暗褐 ローム粒子多量、ロームB少量混
- 3 暗褐 ローム粒子主体
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子・B小混
- 5 黄褐・暗褐土混合層 (床面)
- 6 暗褐 ローム粒子・B小多量、白色粒子少量混
- 7 黄褐 ローム粒子・B主体 しまり強

- 8 にぶい黄褐 ローム粒子主体
- 9 暗褐 ローム粒子多量混
- 10 暗褐 ロームB小主体
- 11 暗褐 ロームB小主体
- 12 暗褐 ローム粒子多量混
- 13 黄褐 ロームB小主体
- 14 にぶい黄褐 ロームB小・細かなローム粒子主体

0 1:80 2m

第67図 164号住居、152号住居掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

165号住居 (第68図、PL21・22)

位置 359~361-925~929 Gr

重複関係 184住より新か? 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [3.56]m

短辺 [2.15] m 長辺/短辺 不明 壁高 45cm

面積 [4.28]m² 床面積 [2.84]m²

主軸方位 N-36°-W

壁溝 南壁~西壁。他は不明。 貯蔵穴 不明

柱穴 掘り方で1基検出。4基あるか。

埋没土 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

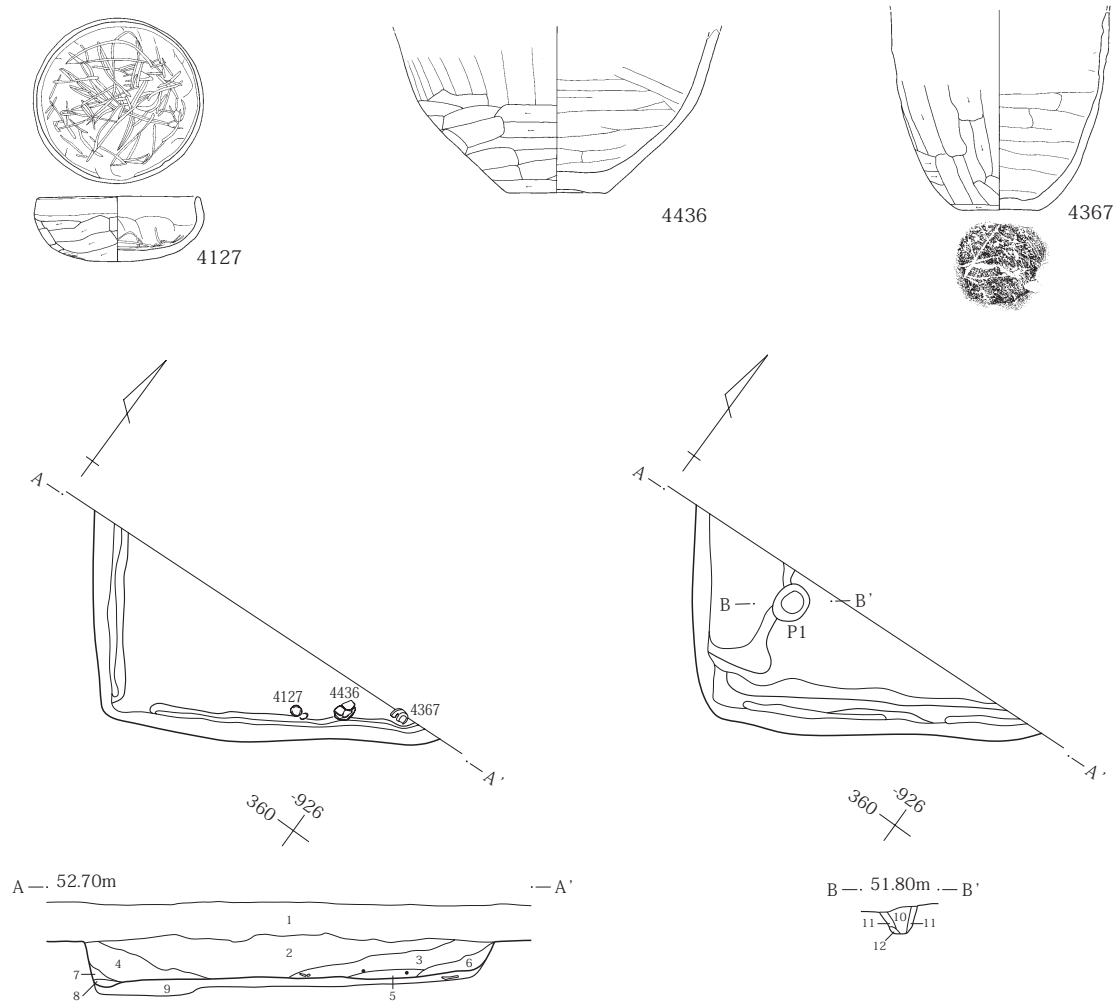
床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。全体的にやや硬化。

遺物出土状況 南壁際に完形・半完形の土師器杯・甕出土。床面から浮いた状態であるが、壁上から転落した可能性もあり。4127・4436は床面上の出土である。

掘り方 南壁際壁溝に沿って土手上の高まりあり。西壁際に土坑状掘り込み。

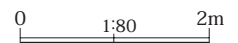
カマド 不明

時期 出土遺物が少ないため詳細は不明であるが、図示された遺物より6世紀後半代か。



165号住居

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1 暗褐 表土 | 8 黒褐 ローム粒子・B少量混 しまり弱 |
| 2 暗褐 ローム・白色粒子多量、焼土粒子中量混 | 9 暗褐 ロームB多量混 |
| 3 暗褐 ローム粒子多量、ロームB少量混 | 10 暗褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混 しまり弱 |
| 4 暗褐 褐色土・黒褐色土多量、ローム・焼土粒子・炭化物混 | 11 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB中多量混 |
| 5 暗褐 ローム粒子少量混 しまり強 | 12 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム粒子微量混 |
| 6 暗褐 ローム粒子・焼土・炭化物・黒褐色B少量混 | |
| 7 黒褐 しまり弱 | |



第68図 165号住居

166号住居 (第69～71図、PL22)

位置 353～359 - 968～975 Gr

重複関係 179住より新 129住より旧

平面形態 隅丸長方形 長辺 6.88 m

短辺 5.35 m

長辺/短辺 1.29 壁高 62cm 面積 (35.45)m²

床面積 (27.64)m² 主軸方位 N-73° - E

壁溝 カマド・西壁中央部分を除き全周か。

貯蔵穴 掘り方検出の土坑状掘り込みが貯蔵穴か。カマド右に位置し、平面形態は楕円形。

柱穴 4基。P3に柱痕または柱抜き取り痕あるか。

埋没土 焼土を含む暗褐色土。

床面状態 ロームを多量に含む暗褐色土で貼床。(土坑部分) 土坑部分以外は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 ほぼ全面であるが中央部少ない。中層～床面中心。完形・半完形のものもあるが、床面上のものはあまりないため、廃棄・流入遺物がほとんどか。墨書

土器あり。4172・4967は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑多数、ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 357・358 - 968・969 Gr

壁位置 東壁やや南

全長 1.20 m 幅 1.32 m

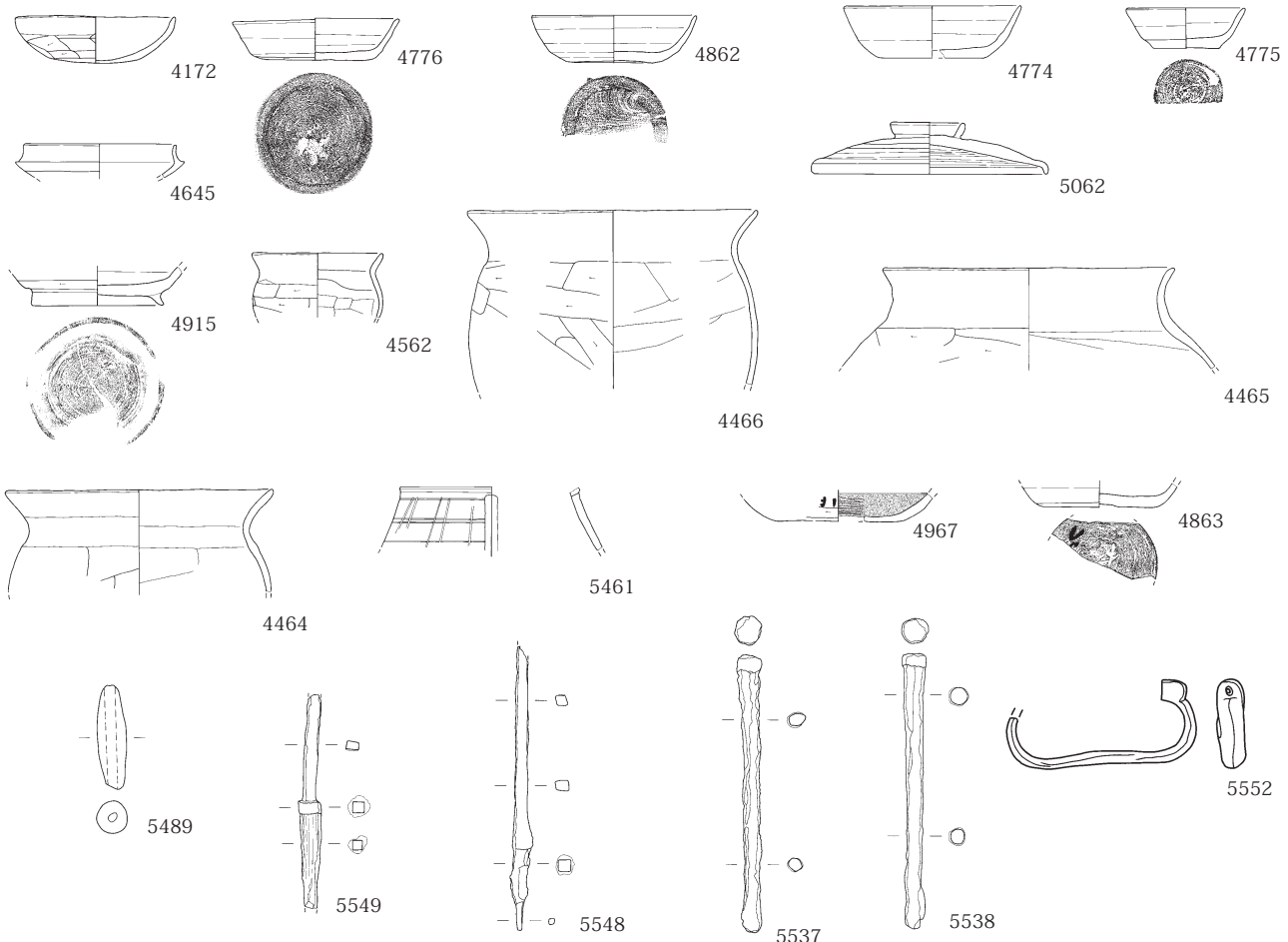
主軸方位 N-72° - E

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面は平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。掘り方は焚口部がくぼむ。

遺物出土状況 右袖上から須恵器蓋出土。カマド内からは少量の土器が出土したのみ。

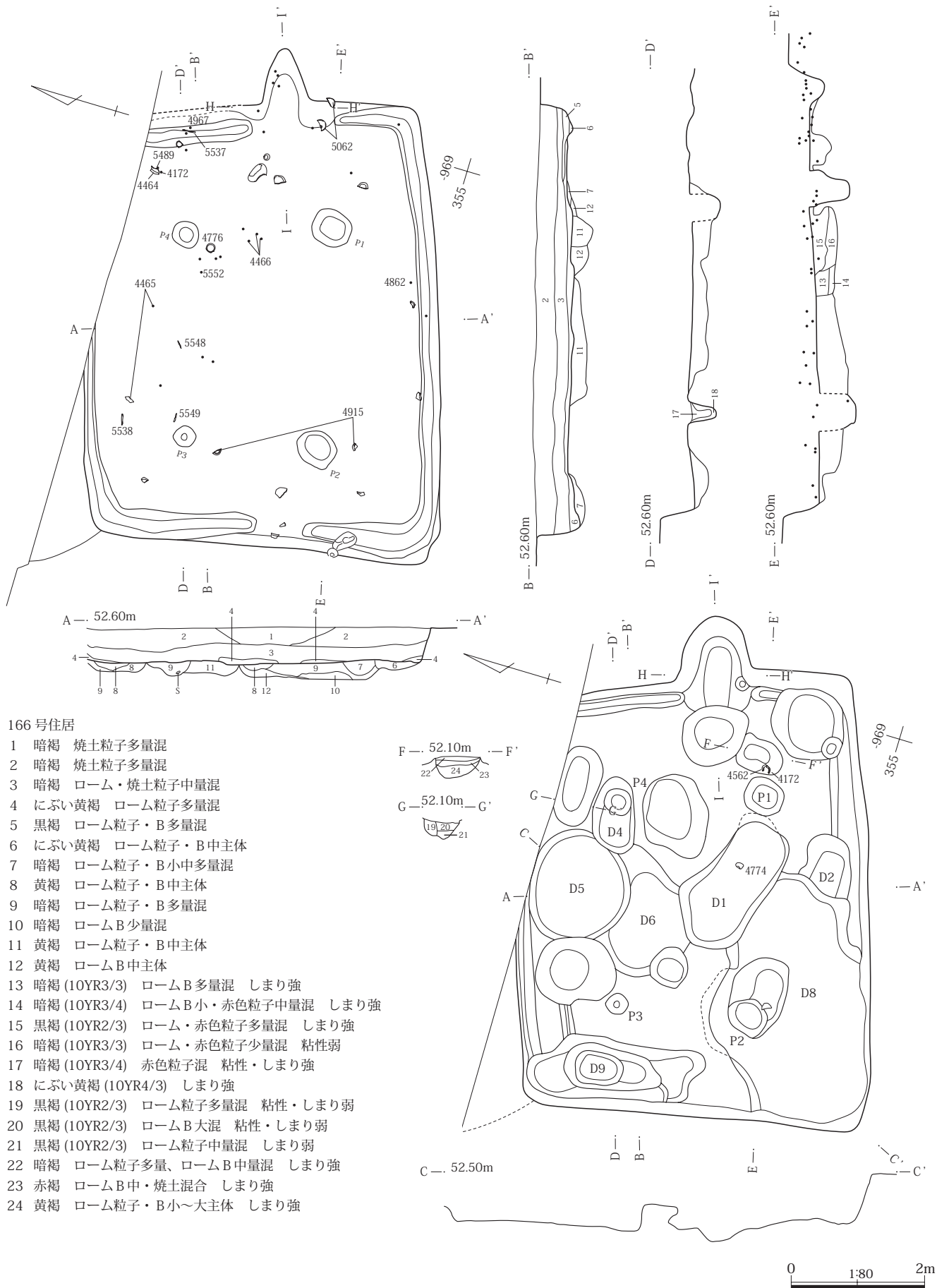
備考 カマドと反対側の西壁中央部分の壁溝が切れており、かまどの対面に入り口があった可能性がある。

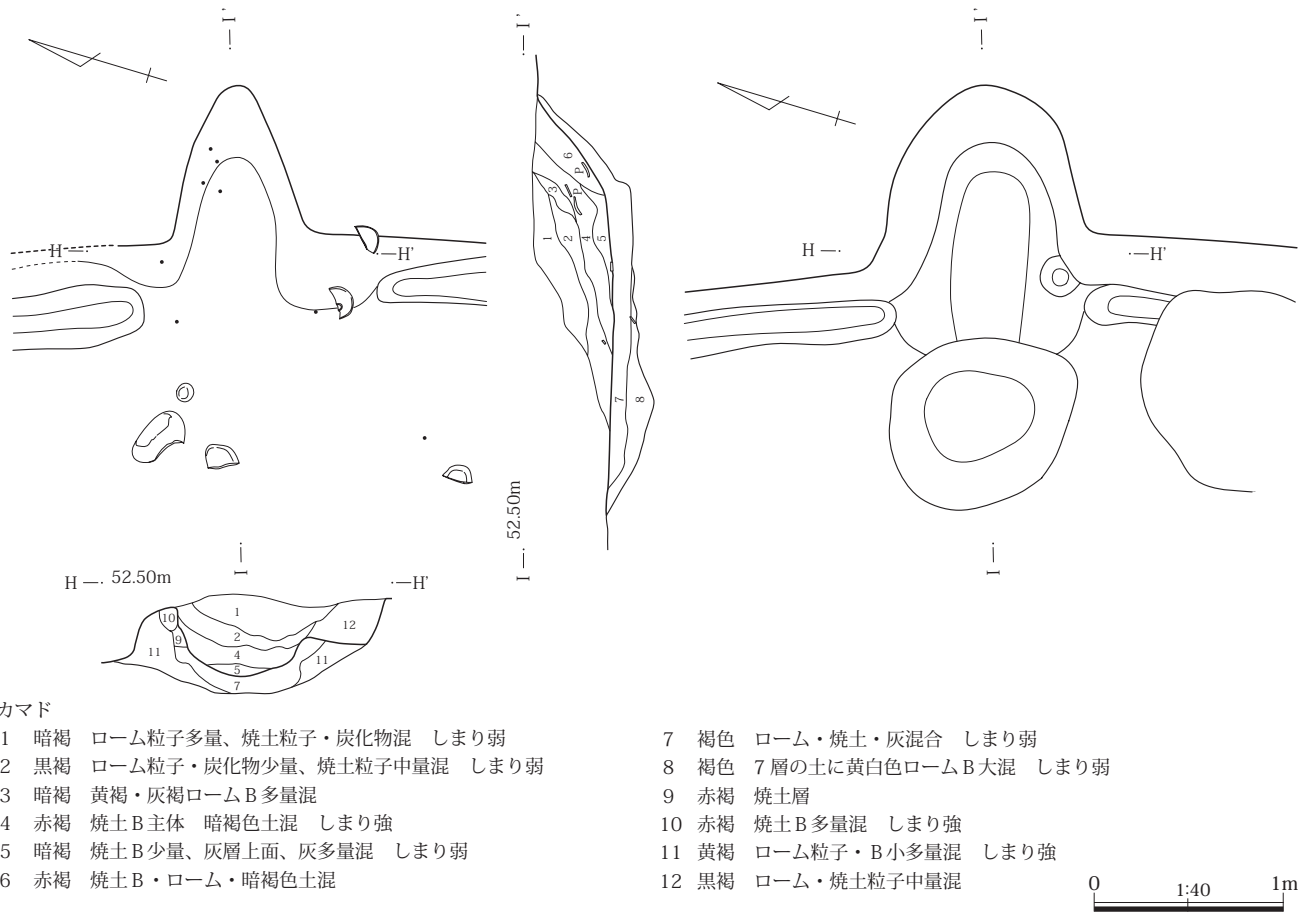
時期 図示された遺物から、8世紀第3四半期か。



第69図 166号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物





第71図 166号住居カマド

167号住居 (第72図、PL22)

位置 350～354-953～956 Gr

重複関係 186・191住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 3.91 m 短辺 3.72 m

長辺/短辺 1.05 壁高 42cm 面積 14.08㎡

床面積 12.42㎡ 主軸方位 N-3°-E

壁溝 なし 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

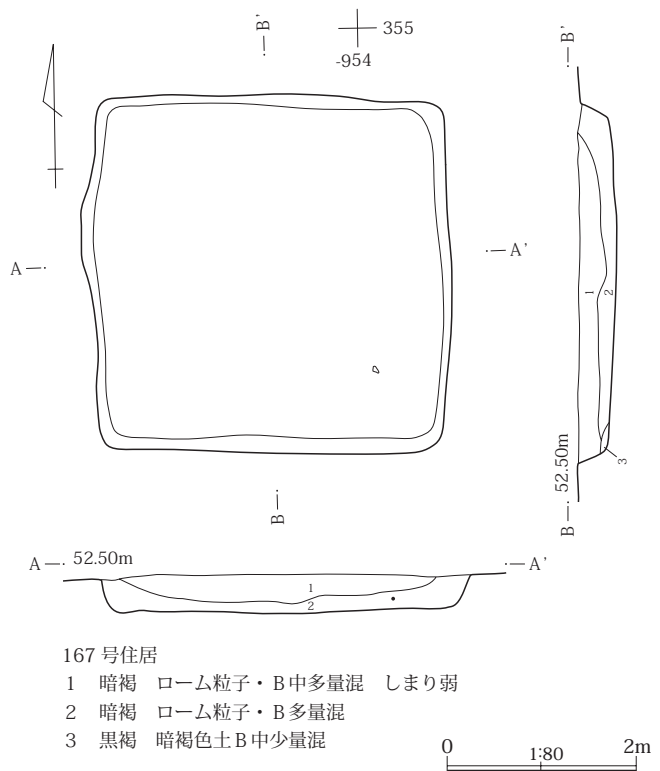
床面状態 掘り方を床面とする。

遺物出土状況 ごく少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とする。カマド なし

備考 カマド、柱穴、貼床等の施設がなく、一般的な竪穴住居とは考えられない。

時期 出土遺物少なく時期不明。

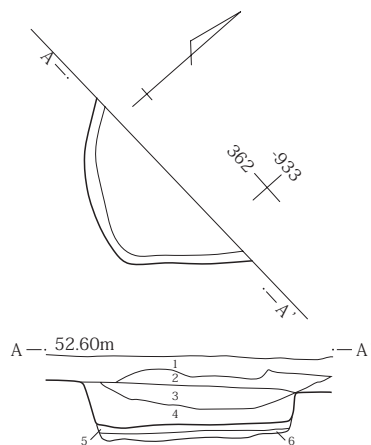


第72図 167号住居

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

168号住居 (第73図、PL22)

位置 360・361-932~934 Gr 重複関係 なし
 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [1.78]m
 短辺 [1.36]m 長辺/短辺 不明 壁高 46cm
 面積 [1.52]m² 床面積 [1.19]m²
 主軸方位 N-28°-E 壁溝 不明
 貯蔵穴 不明 柱穴 不明



埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 ごく少量出土したのみ。

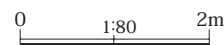
掘り方 ほぼ平坦な掘り方。カマド 不明

備考 大部分調査区外のため詳細不明。床面がしっかりしているため、住居の可能性が高い。

時期 出土遺物少なく時期不明。

168号住居

- 1 灰褐 表土
- 2 暗褐 焼土粒子・炭化物少量混 しまり強
- 3 暗褐 ローム粒子中量混 しまり強
- 4 暗褐 ローム・焼土粒子中量混
- 5 黒褐 上面に黄色のロームが乗る しまり強 貼床
- 6 黒褐 ローム粒子・砂質土少量混 粘性・しまり強



第73図 168号住居

169号住居 (第74~76図、PL23)

位置 352~357-960~966 Gr
 重複関係 146・186~189・191住より新 401土坑より旧 149住
 平面形態 隅丸長方形
 長辺 5.15m 短辺 3.9m 長辺/短辺 1.32
 壁高 58cm 面積 23.34m² 床面積 18.62m²
 主軸方位 N-83°-E 壁溝 なし
 貯蔵穴 なし 柱穴 なし
 埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。
 床面状態 ロームを多量に含む暗褐色土で貼床。全体的にやや軟弱。
 遺物出土状況 ほぼ全面から出土しているが、出土量は少なく、床面から浮いた状態のものが多いため、廃棄・

流入遺物がほとんどか。

掘り方 床下土坑・ピット多数あり。

カマド

位置 353~355-960~962 Gr

壁位置 東壁南

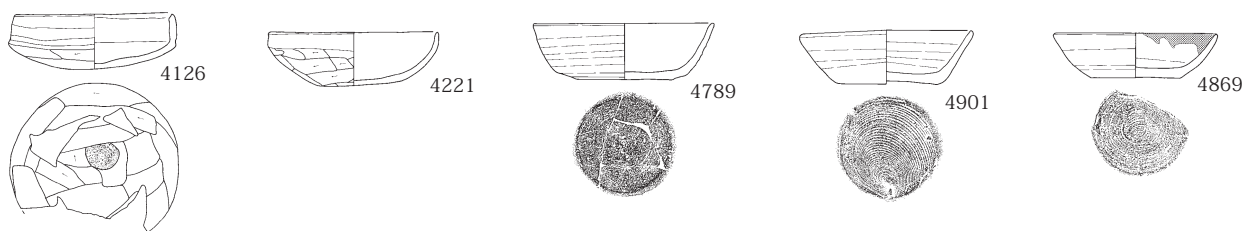
全長 1.58 m 幅 1.33 m

主軸方位 N-82°-E

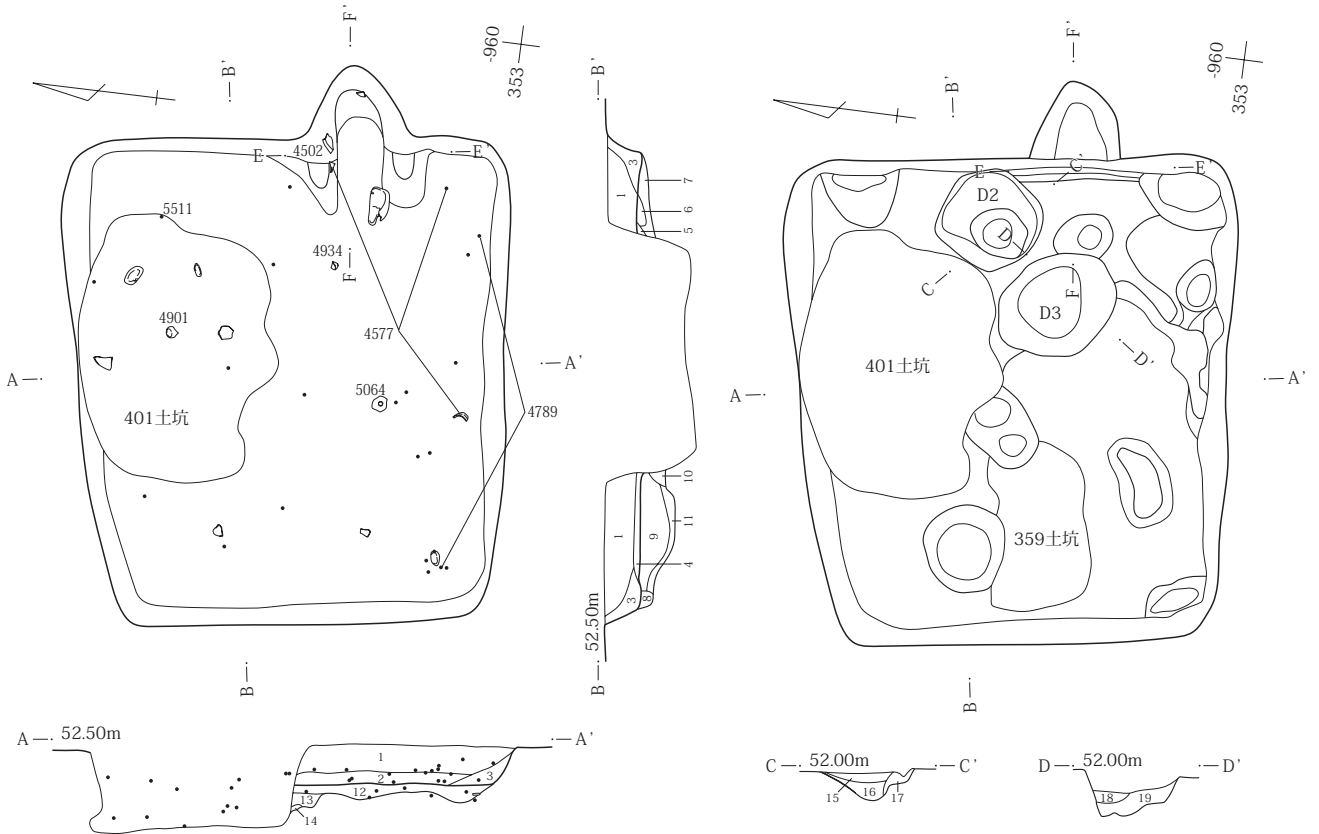
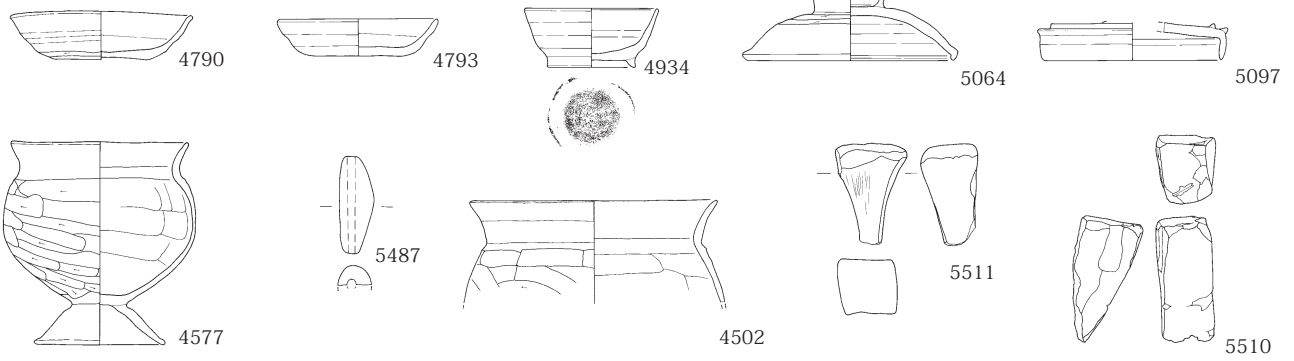
構築 袖の残りは悪いが、暗褐色土で構築か。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 焚口部から自然礫出土。袖補強材または支脚の可能性あり。他は少量の土器が出土。

時期 図示された遺物から、8世紀第4四半期か。



第74図 169号住居出土遺物 (1)



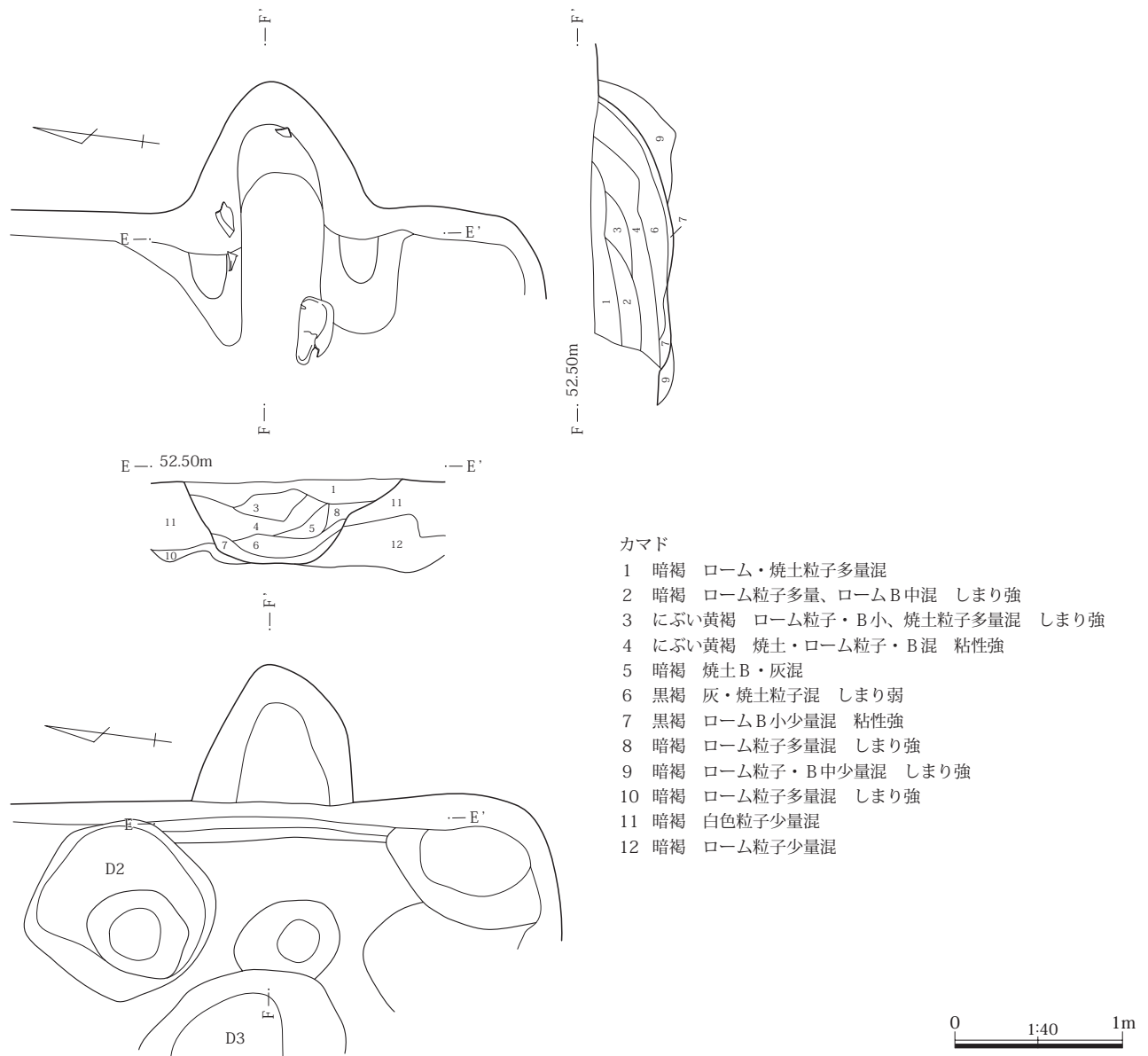
169号住居

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 暗褐色 ローム・焼土粒子多量混 | 11 黒褐色 ローム粒子・B混 しまり強 |
| 2 暗褐色 ローム粒子多量、ロームB中中量混 | 12 暗褐色 ローム粒子・B中多量混 |
| 3 暗褐色 1層の土に黒色土混 | 13 暗褐色 ローム粒子主体 |
| 4 黒褐色 ローム粒子・B中混 しまり強 貼床 | 14 ローム |
| 5 黒褐色 ローム粒子・B小多量混 | 15 暗褐色 ローム粒子・B小多量混 しまり強 |
| 6 黒褐色 ロームB中主体 | 16 黒褐色 ローム粒子・B小中量混 粘性・しまり強 |
| 7 黒褐色 ロームB多量、炭化物少量混 | 17 にぶい黄褐色 ローム主体 しまり強 |
| 8 黒褐色 ロームB少量混 | 18 暗褐色 ローム粒子・B多量混 しまり強 |
| 9 黒褐色 ローム粒子多量混 粘性・しまり強 | 19 暗褐色・ロームB大混合 しまり強 |
| 10 黒褐色 ロームB中少量混 粘性強 | |



第75図 169号住居出土遺物(2)・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第76図 169号住居カマド

171号住居 (第77図、PL23)

位置 351~356-931~936 Gr

重複関係 161住より旧 178住より新か?

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.15 m

短辺 3.02 m 長辺/短辺 1.37 壁高 64cm

面積 (14.73)m² 床面積 (12.51)m²

主軸方位 N-52°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 なし 柱穴 4基。P2に柱痕あるか。

埋没土 焼土を含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積で、壁際に三角堆積あり。東部隅下層に黄褐色粘土塊あり。

床面状態 黄褐色粘質土で薄く貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少ないが、ほぼ全面で中層~下

層中心。完形・半完形のもの少なく、大部分廃棄・流入遺物か。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方。一部掘り方を床面とする。

カマド

位置 354・355-932 Gr

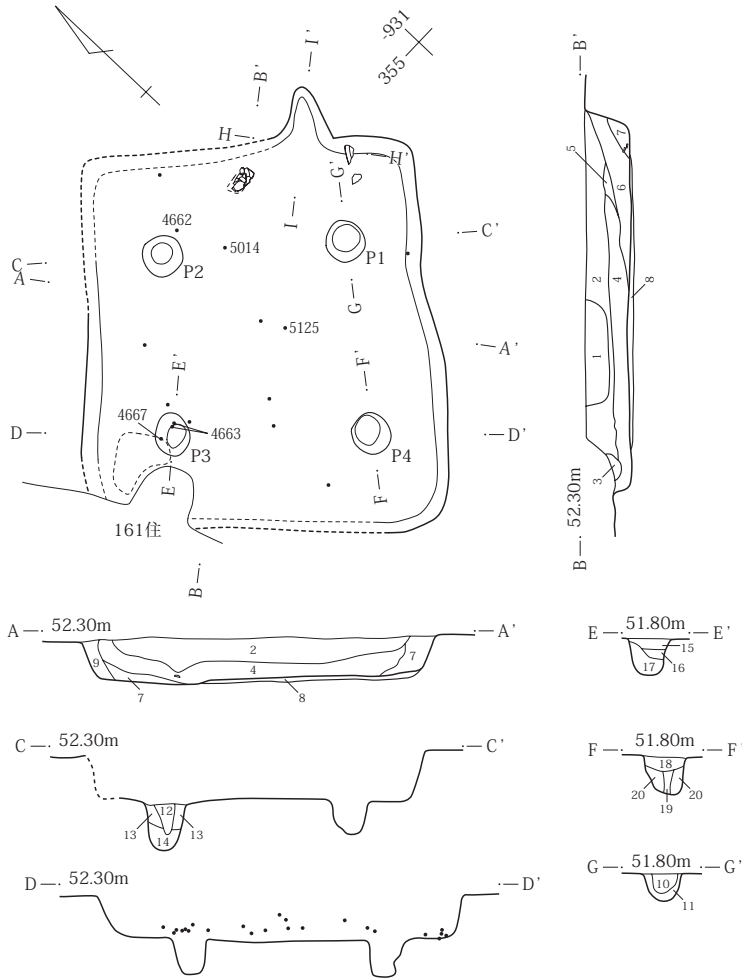
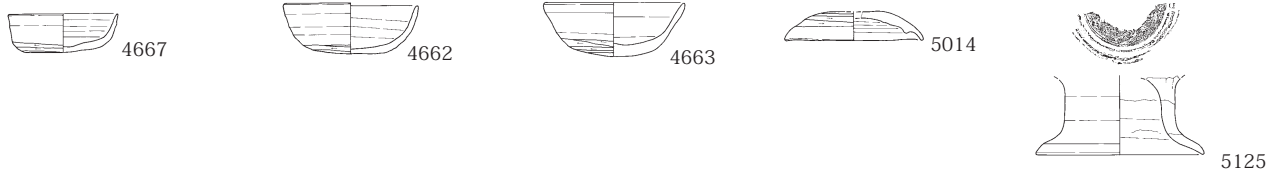
壁位置 東壁南 全長 0.72 m

幅 0.64m 主軸方位 N-45°-E

構築 粘土で袖を構築。焚口部・燃焼部底面はほぼ平坦で、灰層はみられない。燃焼部奥壁はややなだらかに立ち上がる。

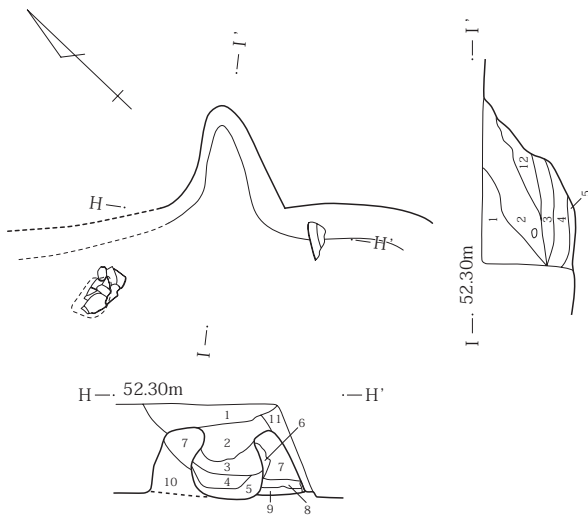
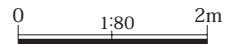
遺物出土状況 出土遺物は少ない。袖周辺から土師器甕出土。

時期 図示された遺物から、7世紀第3~第4四半期か。



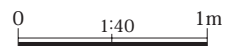
171号住居

- 1 暗褐色 焼土粒子中量混
- 2 黒褐色 焼土粒子少量混 しまり強
- 3 黒褐色 焼土多量混
- 4 黒褐色 焼土・ローム粒子少量混 しまり強
- 5 黒褐色 ローム粒子多量混 しまり強
- 6 黒褐色 焼土粒子少量混 しまり強
- 7 暗褐色 ローム粒子・B多量、焼土粒子少量混
- 8 黄褐色 粘土 しまり強 貼床
- 9 黒褐色 最も暗く粒子ほとんど含まない
- 10 黄褐色 ロームB主体
- 11 にぶい黄褐色 ローム粒子主体
- 12 暗褐色 ロームB多量混 しまり強
- 13 暗褐色 ローム粒子少量混 しまり強
- 14 暗褐色 ローム粒子・B少量混 粘性・しまり強
- 15 暗褐色 ローム粒子多量混 しまり強
- 16 黒褐色 ロームB少量混 粘性・しまり強
- 17 黒褐色 ローム微量混 粘性・しまり強
- 18 黒褐色 ローム粒子多量混
- 19 にぶい黄褐色 黒褐色B小中量混 しまり弱
- 20 にぶい黄褐色 ローム粒子・B小多量混 しまり強



カマド

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量混
- 2 暗褐色 ローム・焼土粒子多量混 しまり強
- 3 暗褐色 2層に似る 炭化物少量混 しまり強
- 4 暗褐色 焼土粒子・炭化物少量混 しまり弱
- 5 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混 粘性・しまり強
- 6 赤褐色 焼土
- 7 黄褐色 粘土 カマド袖
- 8 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混 粘性しまり強
- 9 暗褐色 ローム粒子少量混 しまり強
- 10 褐色 しまり強
- 11 暗褐色 ロームB・焼土粒子少量混
- 12 赤褐色 ローム・焼土混合 しまり強



第77図 171号住居

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

172号住居(第78図、PL24)

位置 355~358-949~951 Gr

重複関係 156住より旧

平面形態 方形または長方形 長辺 [3.24] m

短辺 [0.49] m 長辺/短辺 不明 壁高 27cm

面積 [12.24]m² 床面積 [1.02]m²

主軸方位 N-59°-E 壁溝 不明

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む。暗褐色土。壁際に三角堆積あり。

床面状態 一部掘り方を床面とする。重複により大部分不明。

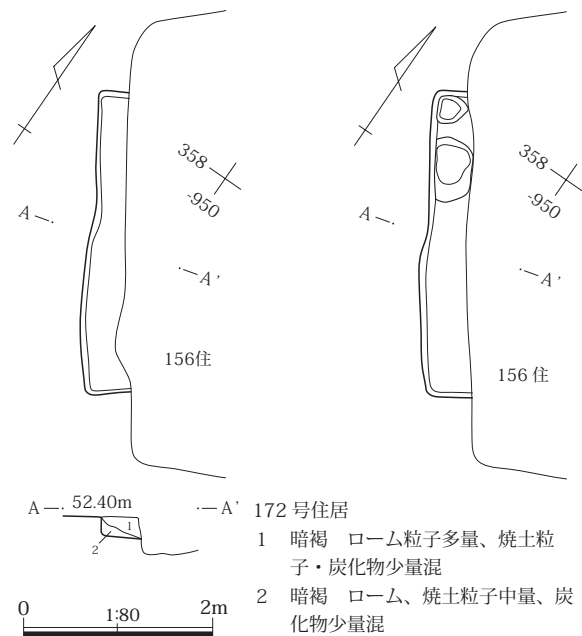
遺物出土状況 少量出土したのみ。

掘り方 ピット2基あり他は掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 大部分他の住居に切られるため詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



第78図 172号住居

173号住居(第79・80図、PL24)

位置 350~355-940~946 Gr

重複関係 161・163住より旧 162住より新

平面形態 隅丸長方形

長辺 4.95 m 短辺 (4.11) m

長辺/短辺 (1.20) 壁高 53cm 面積 (20.08)m²

床面積 (15.10)m² 主軸方位 N-52°-E

壁溝 東壁~北壁・西壁(南壁不明)

貯蔵穴 不明 柱穴 なし?(残存部分になし)

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積か。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土で貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 北東部に多く、中層~下層中心。床面から浮いた状態のものが多く、大部分廃棄・流入遺物か。

4069は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み・ピット数基検出。一部掘り方を床面とする。レベルが163住と近く、一部帰属不明の部分がある。

カマド

位置 353・354-941・942 Gr

壁位置 東壁南

全長 1.28 m 幅 [0.63] m

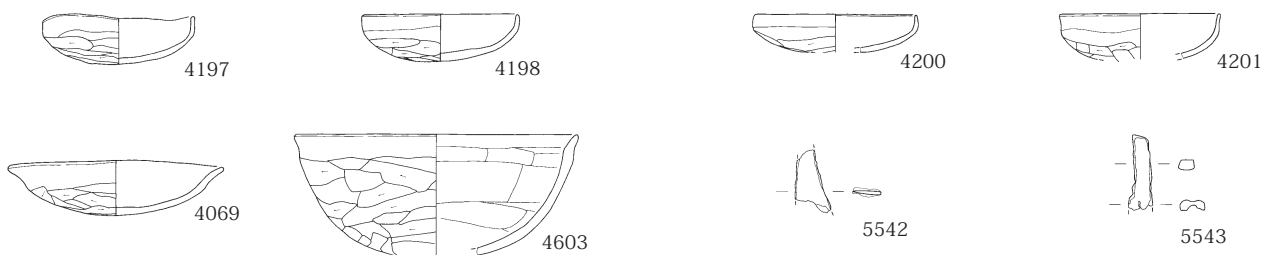
主軸方位 N-55°-E

構築 袖は片側のみ残存。粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

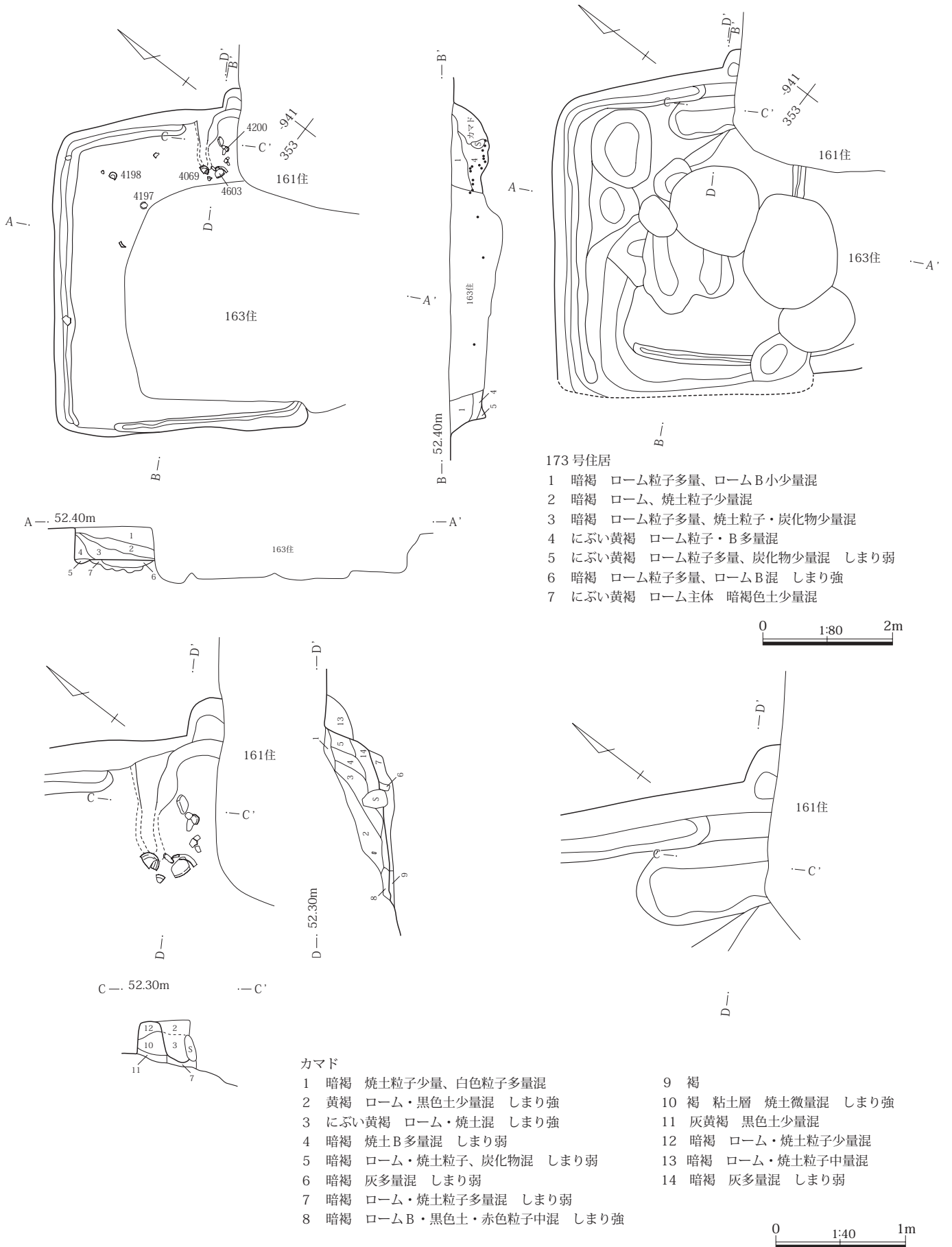
遺物出土状況 燃烧部から支脚と考えられる自然礫出土。他に土師器杯・甕が出土。

備考 重複により南半部は不明。

時期 図示された遺物から、8世紀第2四半期か。



第79図 173号住居出土遺物



第80図 173号住居使用面・掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

174号住居(第81・82図、PL24・25)

位置 352~358-008~012 Gr

重複関係 181住より新

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [4.87] m

短辺 4.46 m 長辺/短辺 不明 壁高 37cm

面積 [19.44]m² 床面積 [16.37]m²

主軸方位 N-43°-W

壁溝 東壁~南壁(西壁不明)

貯蔵穴 掘り方で検出。カマド右に位置し、平面形態は楕円形。南部に段あり。

柱穴 掘り方のピット中にある可能性はあるが明確ではない。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積か。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。東部を中心に硬化。一部掘り方を床面とする。

遺物出土状況 北部を中心に出土。北東部から須恵器大甕口縁部出土。床面から浮いた状態のものが多く、廃棄遺物が多いか。5358は床面上の出土である。

掘り方 東部に土坑状掘り込みあり。ピット多数検出、柱穴の可能性もあるが、重複する181号住のものもあるため、確定はできない。

カマド

位置 357-011・012 Gr 壁位置 北壁やや東か?

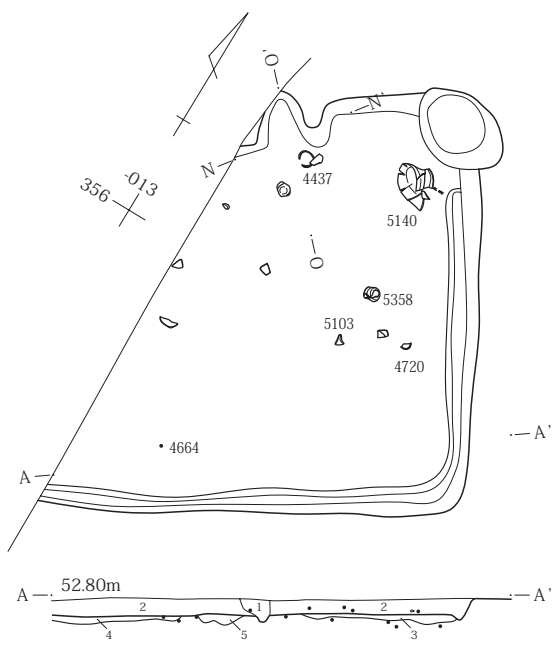
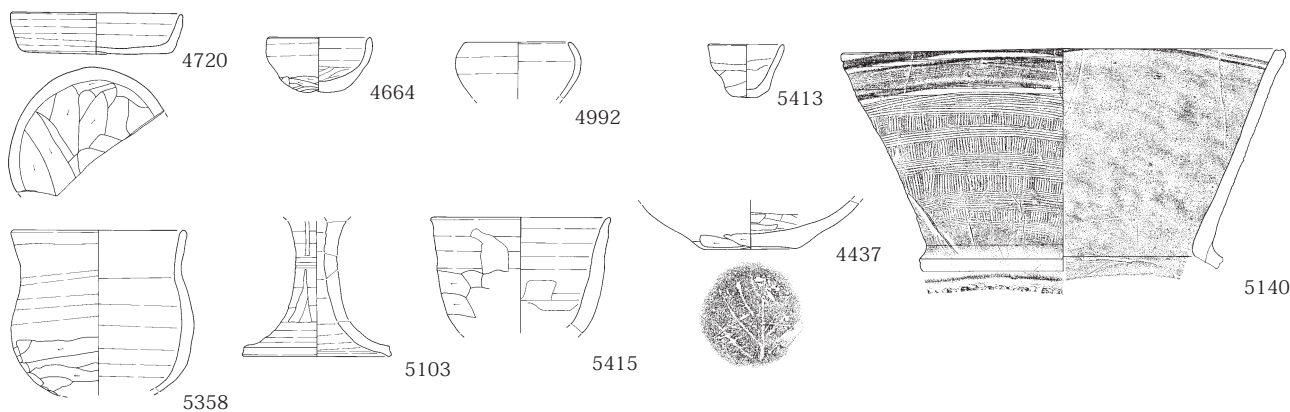
全長 (0.65)m 幅 0.83m

主軸方位 N-40°-W

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが奥壁に向かってやや下がる。灰層はみられない。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

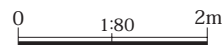
遺物出土状況 焚口部から土師器甕出土。

時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物は7世紀後半~8世紀初頭か。

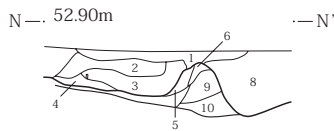
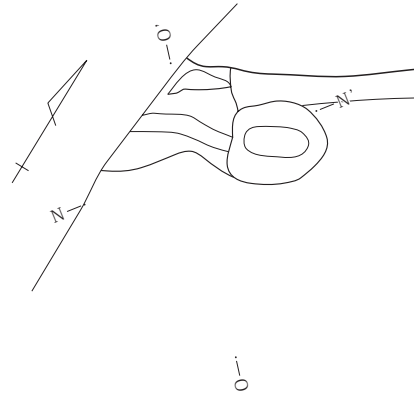
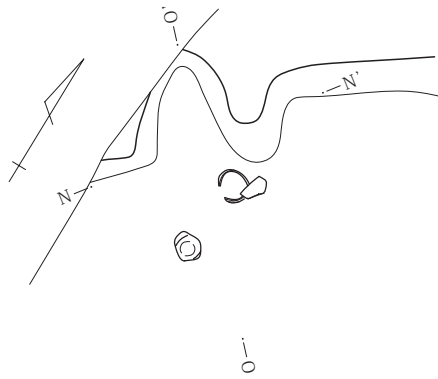
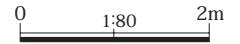
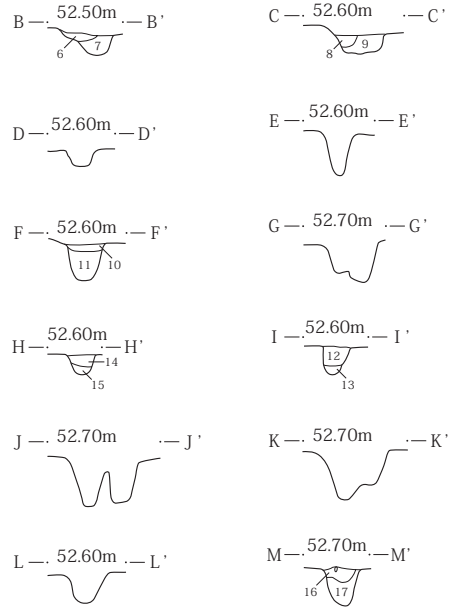
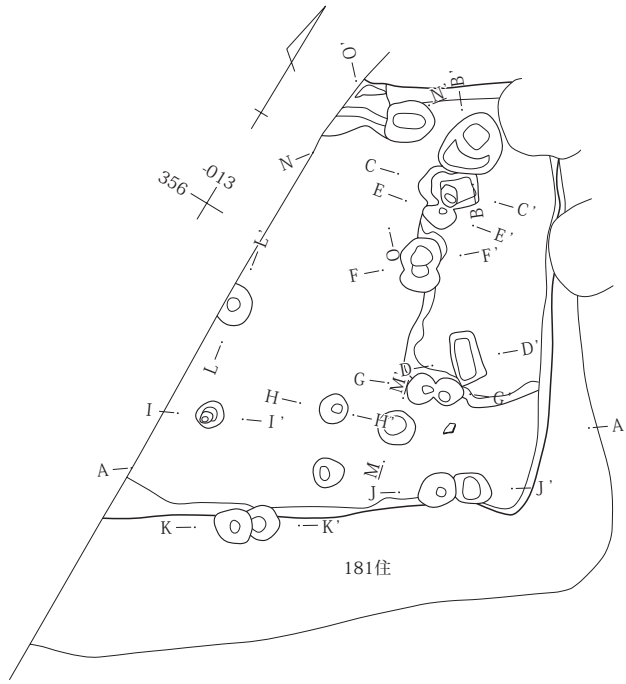


174号住居

- 1 灰褐 耕作土
- 2 黒褐 ローム粒子・粘土少量混 しまり弱
- 3 黒褐 ローム粘土混
- 4 黒褐 ローム粒子・B少量混 しまり弱
- 5 黒褐 ロームB混 しまり強
- 6 にぶい黄褐 ローム主体 焼土・炭化物少量混 しまり弱
- 7 黄褐 ローム粒子・B中主体 しまり弱
- 8 灰黄褐 (10YR4/2) ロームB多量、赤色粒子混 しまり強
- 9 暗褐 (10YR3/3) ロームB中量混
- 10 黄褐 ローム粒子主体 しまり強
- 11 黄褐 ロームB中主体 しまり強
- 12 暗褐 ローム多量混
- 13 にぶい黄褐 ローム粒子主体
- 14 暗褐 ローム粒子多量、ロームB少量混
- 15 暗褐 ローム粒子・B多量混
- 16 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子多量混 粘性・しまり弱
- 17 灰黄褐 (10YR4/2) ローム粒子・粘土多量混



第81図 174号住居出土遺物・使用面



カマド

- 1 褐灰 焼土・炭化物混 砂質 しまり弱
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり弱
- 3 赤褐 ローム粒子、焼土粒子・B多量混 しまり弱
- 4 黄褐 ローム・焼土粒子少量混 粘性・しまり強
- 5 黄褐 ローム混 しまり強
- 6 橙 焼土層
- 7 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり弱
- 8 にぶい黄褐 焼土B中量混 しまり強
- 9 黄褐 ローム カマド袖
- 10 にぶい黄褐 ローム粒子・B中主体



第82図 174号住居掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

175号住居 (第83・84図、PL25)

位置 352~356-995~000 Gr

重複関係 176住より旧? 195・198・199住より新
13掘立より新?

平面形態 隅丸方形 長辺 4.27m 短辺 3.82m

長辺/短辺 1.12 壁高 26cm 面積 14.89㎡

床面積 11.95㎡ 主軸方位 N-84°-E

壁溝 西壁~南壁西部

貯蔵穴 掘り方で検出した、カマド右側土坑状掘り込みが貯蔵穴の可能性あり。

柱穴 なし 埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 ローム主体の黄褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。全体的にやや硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく住居内に散在。下層~床面中心。破片がほとんどで流入遺物か。

掘り方 土坑状掘り込み・ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 353・354-995・996 Gr

壁位置 東壁やや南

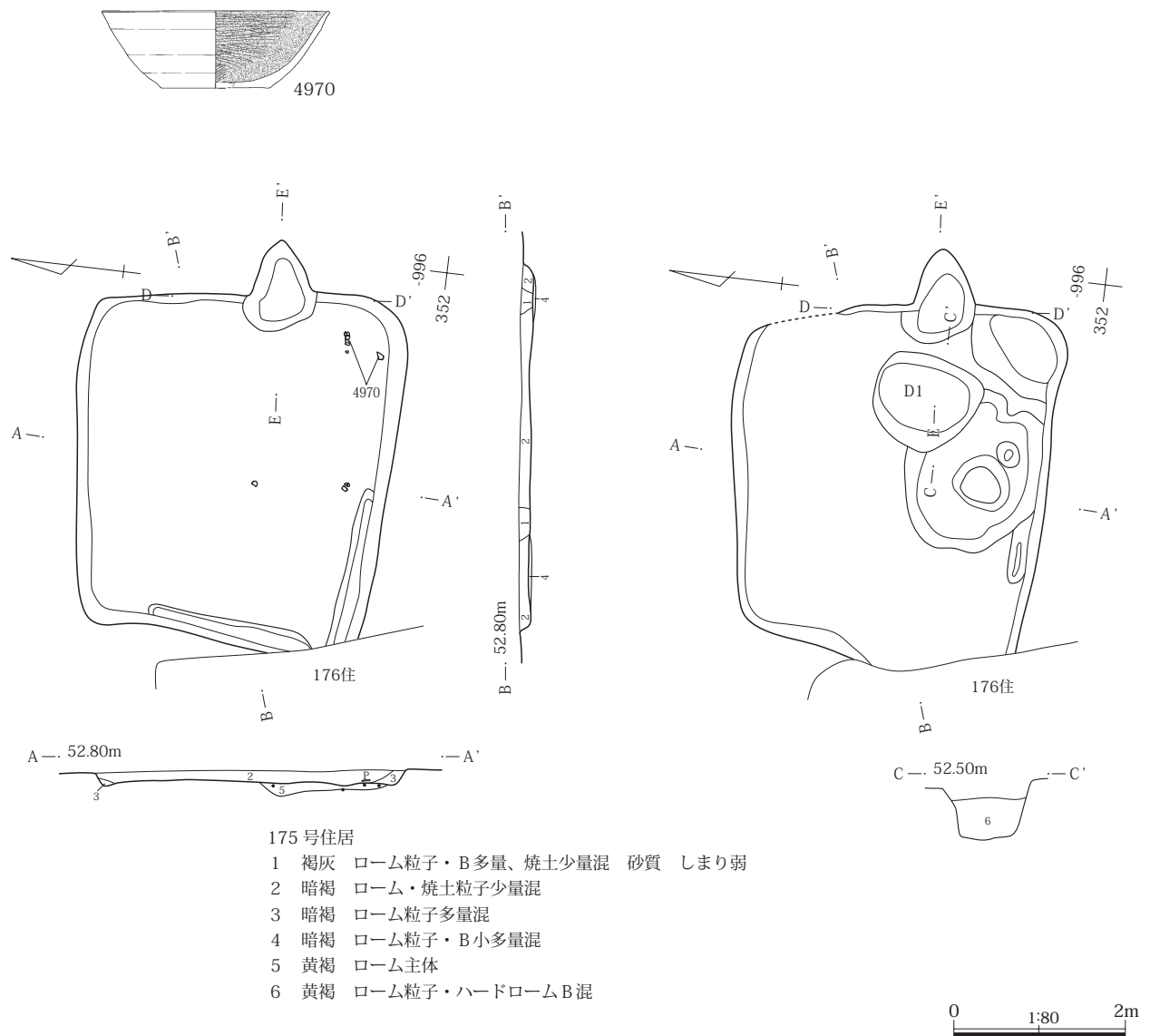
全長 0.73m 幅 0.80m

主軸方位 N-80°-E

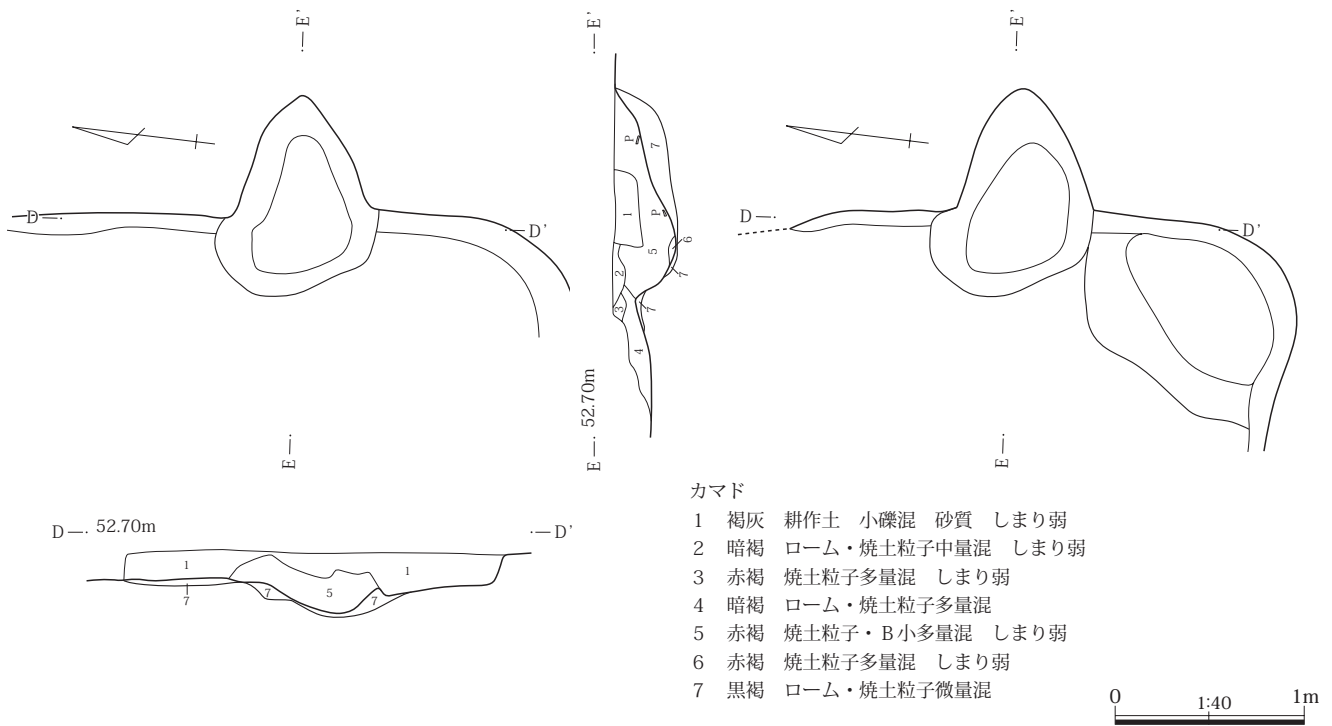
構築 残存状況悪く袖構築材不明。焚口部はほぼ平坦であるが、燃烧部底面はくぼみ灰層はみられない。奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 ほとんどなし。

時期 出土遺物少なく詳細不明であるが、9世紀代か。



第83図 175号住居出土遺物・使用面・掘り方



第84図 175号住居カマド

176号住居 (第85・86図、PL26)

位置 350～355-000～005 Gr

重複関係 175住より新? **平面形態** 隅丸長方形

長辺 4.91 m **短辺** 3.80 m

長辺/短辺 1.29 **壁高** 43cm **面積** 18.32㎡

床面積 13.28㎡ **主軸方位** N-12°-W

壁溝 かまどを除き全周。 **貯蔵穴** なし

柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ローム主体の黄褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 出土量は少なく中央部中層～下層中心。完形・半完形のものほとんどなく廃棄・流入遺物がほ

とんどか。4604・4861は床面上の出土である。

掘り方 東西の壁際が溝状にくぼむ。ピット数基あり他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 354・355-002・003 Gr

壁位置 北壁東

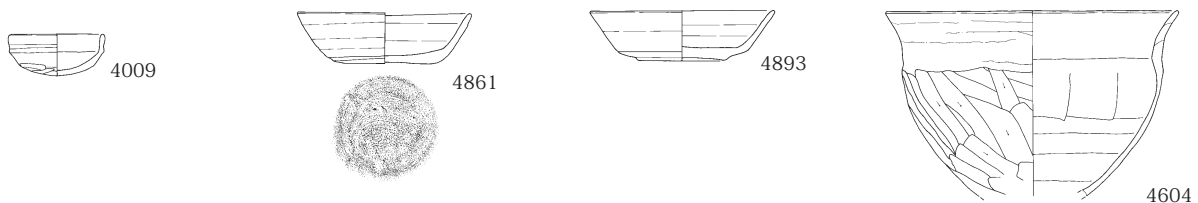
全長 1.05 m **幅** 0.79 m

主軸方位 N-3°-W

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層はみられない。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

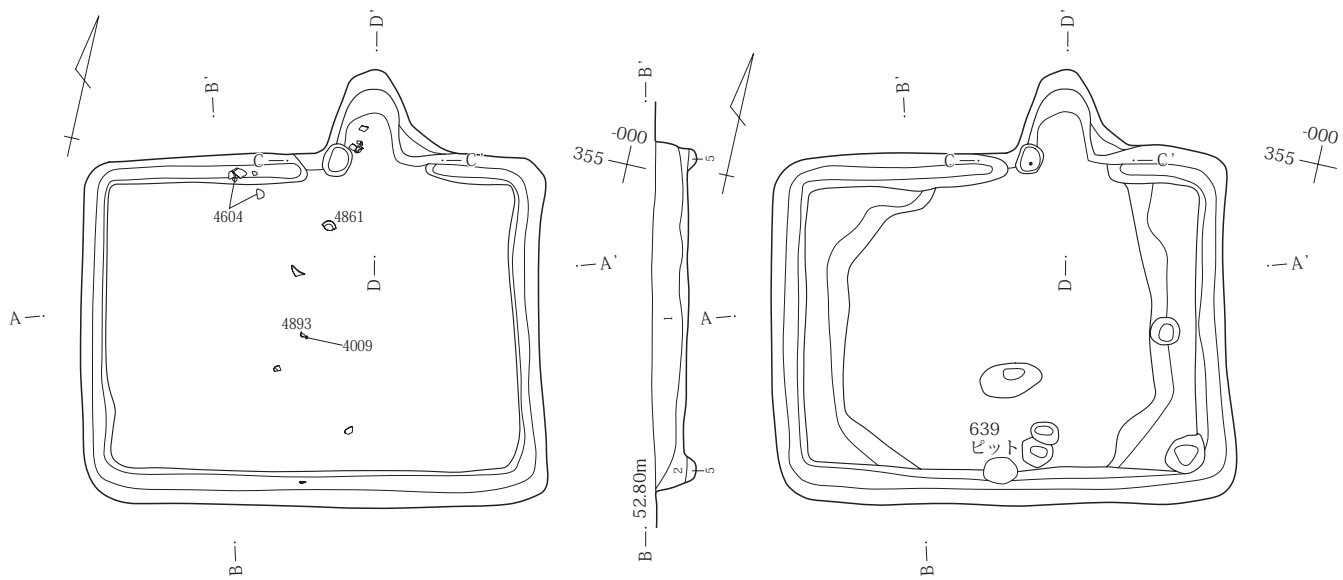
遺物出土状況 燃烧部内から土師器甕片出土。

時期 図示された遺物から、8世紀第4四半期か。



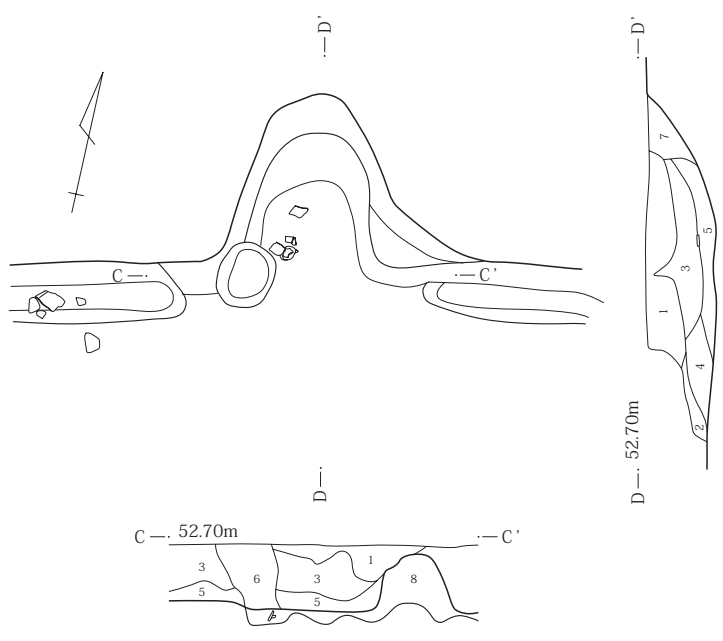
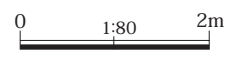
第85図 176号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



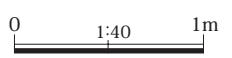
176号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土・白色粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子多量、焼土粒子中量、炭化物少量混
- 3 暗褐 ローム粒子多量、粘土少量混
- 4 黒褐 ローム・焼土粒子少量混
- 5 黒褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 6 にぶい黄褐 ローム しまり強
- 7 黄褐 ローム主体



カマド

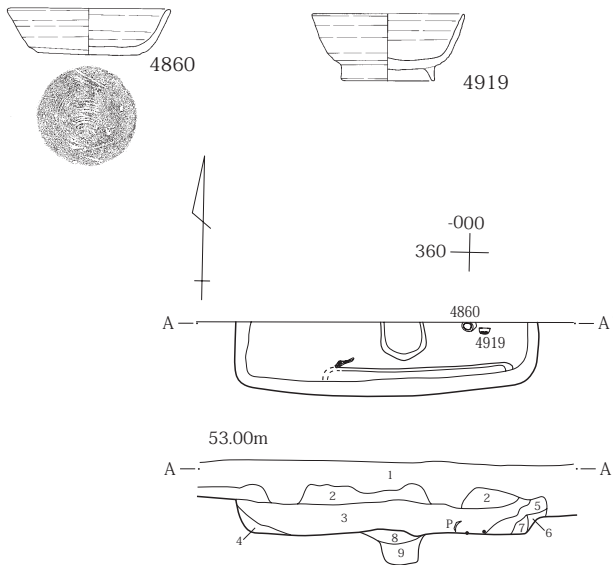
- 1 暗褐 ローム粒子多量、焼土粒子中量混
- 2 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子多量混
- 3 にぶい黄褐 粘質ローム多量、焼土粒子少量混 しまり強
- 4 黄褐 粘質土ローム しまり強
- 5 赤褐 焼土多量混 しまり弱
- 6 暗褐 ローム・焼土粒子多量混
- 7 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混
- 8 黄褐 暗褐色土B混 カマド袖



第86図 176号住居使用面・掘り方・カマド

177号住居 (第87図、PL26)

位置 358・359-999~002 Gr 重複関係 なし
 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 3.21m
 短辺 [0.79]m 長辺/短辺 不明 壁高 48cm
 面積 [2.32]m² 床面積 [1.49]m²
 主軸方位 N-2°-W 壁溝 南壁。他は不明。
 貯蔵穴 不明 柱穴 不明
 埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。



床面状態 ピット以外は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 東部調査区境界際から4860の須恵器杯出土。床面上出土であるため遺棄遺物か。他は少量出土したのみ。掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 中央のピットは上層に焼土があるため、特殊な用途が考えられるが、貼床がないため住居より古い可能性もある。

時期 遺棄遺物と考えられる須恵器杯等から、8世紀第3～第4四半期か。

177号住居

- 1 褐灰 耕作土
- 2 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混
- 3 暗褐 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化物少量
- 4 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子多量混
- 5 にぶい黄褐 ローム・焼土多量混 粘性・しまり強
- 6 黄褐 ローム
- 7 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり弱
- 8 赤褐 焼土層
- 9 にぶい黄褐 ハードロームB中主体 しまり強

第87図 177号住居

178号住居 (第88・89図、PL26・27)

位置 356~359-930~935 Gr
 重複関係 171住より旧? 184住より新
 平面形態 隅丸長方形 長辺 4.87m
 短辺 3.36m 長辺/短辺 1.45
 壁高 51cm 面積 15.45m² 床面積 12.55m²
 主軸方位 N-82°-E
 壁溝 掘り方で南壁に壁溝状に溝を検出。
 貯蔵穴 なし 柱穴 なし
 埋没土 ロームを含む暗褐色土、焼土を含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に一部三角堆積あり。
 床面状態 焼土を含む黒褐色土で貼床。一部掘り方を床面とする。全体的に硬化。
 遺物出土状況 ほぼ全面から出土しているが、北部は少ない。中層～床面中心。カマド周辺を中心に完形・半

完形のものが見られるが、床面からやや浮いた状態のものも多く、廃棄・流入遺物が多いか。4175・4468・4971・5126は床面上の出土である。

掘り方 カマド前に土坑状掘り込み、南壁際に溝状掘り込み、他にピットあり。

カマド

位置 356・357-930・931 Gr

壁位置 東壁南

全長 1.31m 幅 1.06m

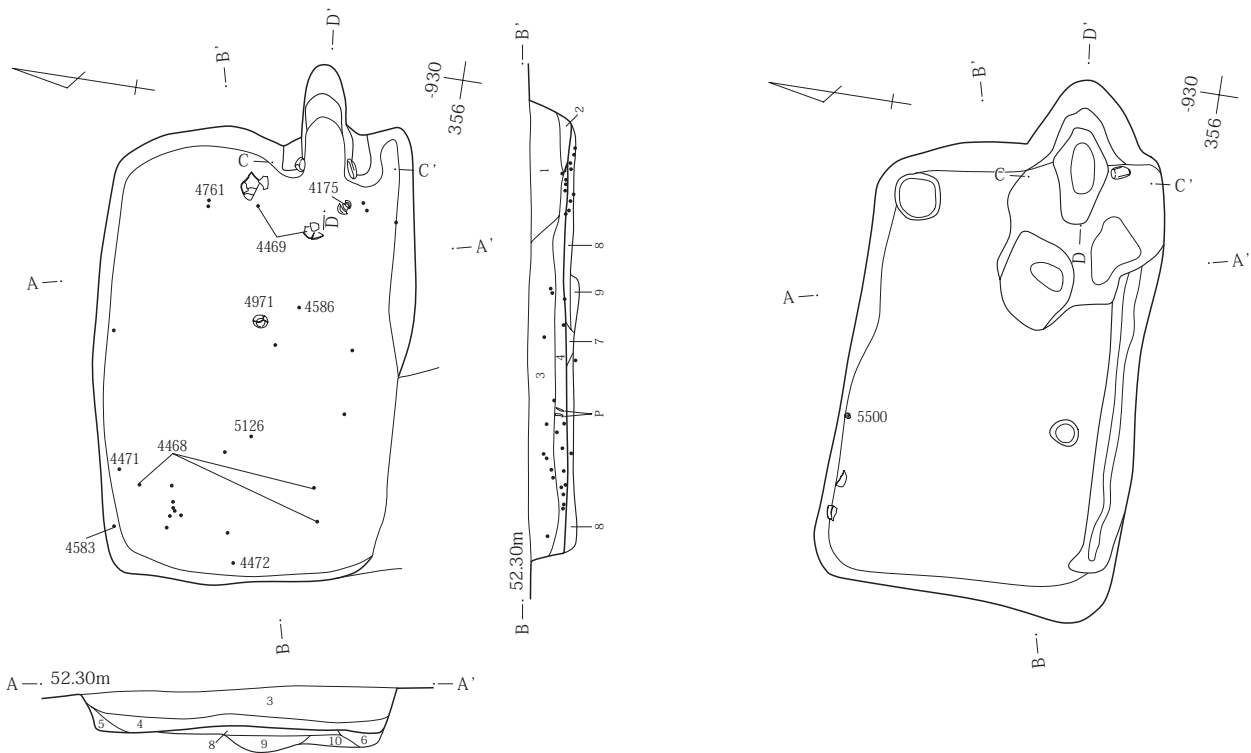
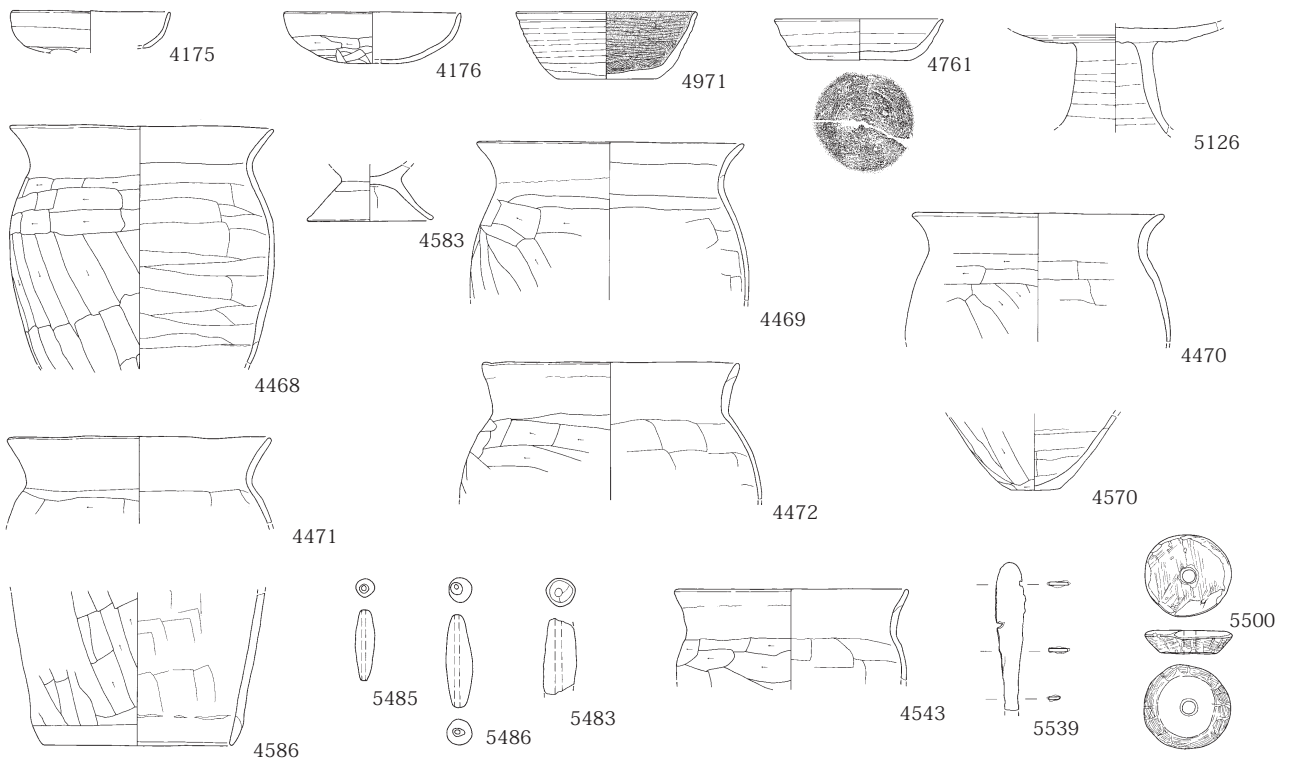
主軸方位 N-81°-E

構築 棒状の自然礫を補強材とし、黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 カマド内からはほとんど出土していない。

時期 多時期にわたる遺物が混入している可能性があるが、遺棄の可能性のある遺物等から、8世紀第3四半期か。

III 検出された遺構と出土遺物



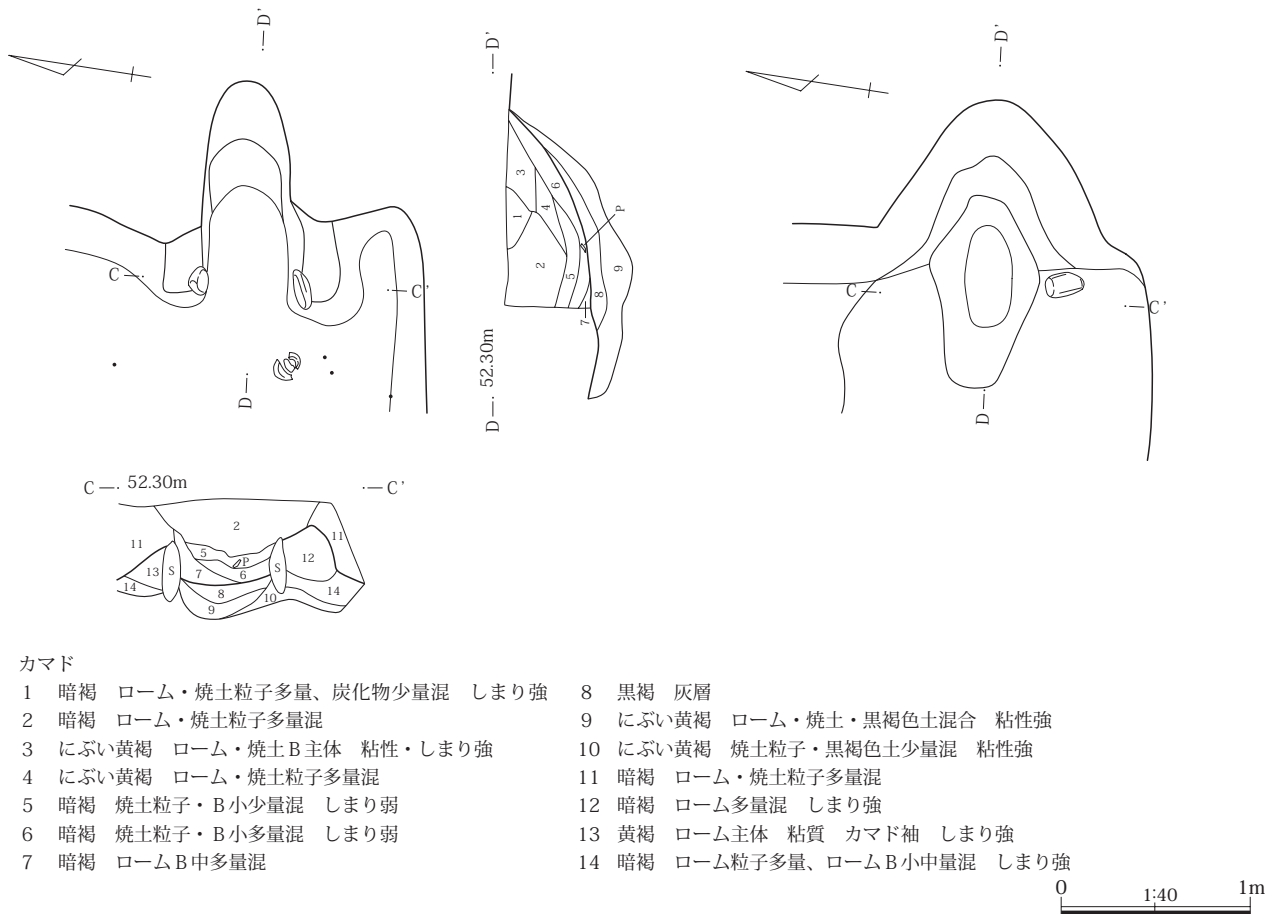
178号住居

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・B小多量混 しまり弱
- 2 暗褐色 ロームB中混 粘性強 しまり弱
- 3 黒褐色 焼土粒子・B多量、炭化物少量混 しまり強
- 4 黒褐色 焼土粒子・炭化物少量、白色粒子中量混 しまり強
- 5 黒褐色 焼土粒子微量混

- 6 黒褐色 焼土粒子中量混 しまり強
- 7 黄褐色 ローム 粘質
- 8 黒褐色 焼土粒子少量混 しまり極強
- 9 黒褐色 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 10 黒褐色 ローム・焼土粒子少量混 しまり強



第88図 178号住居出土遺物・使用面・掘り方



第89図 178号住居カマド

179号住居 (第90図、PL27)

位置 356～359-967～969 Gr

重複関係 166住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [3.10] m

短辺 [1.02] m 長辺 / 短辺 不明 壁高 50cm

面積 [3.32]m² 床面積 [2.86]m²

主軸方位 N-26°-W

壁溝 不明(東壁南部なし) 貯蔵穴 不明

柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 大部分不明であるが、残存部分は掘り方を床面とする。

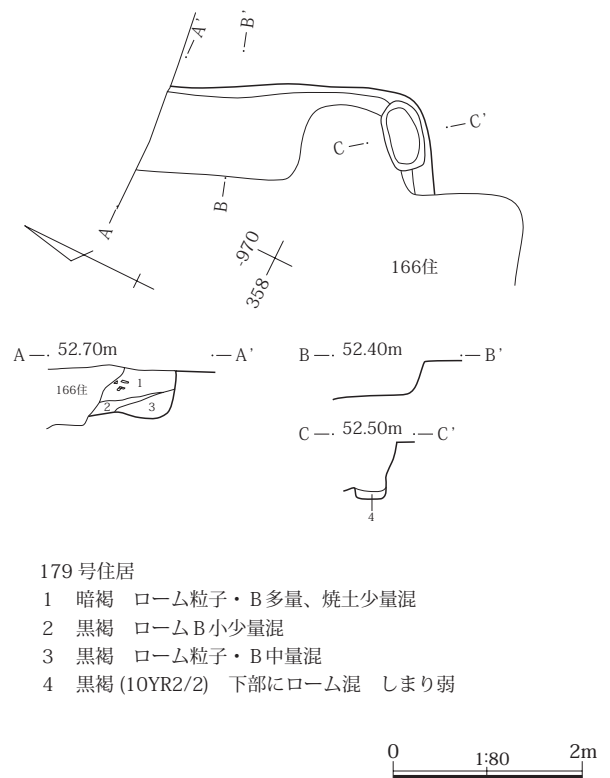
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 重複・調査区外のため大部分不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



第90図 179号住居

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

180号住居 (第91・92図、PL27)

位置 351～355 - 978～983 Gr

重複関係 182住より新 753・754ピットより旧

平面形態 隅丸方形 長辺 (4.30) m 短辺 3.64 m

長辺 / 短辺 (1.18) 壁高 41cm

面積 (15.35)m² 床面積 (10.03)m²

主軸方位 N-22° -W

壁溝 北壁西部～西壁～南壁西部(南壁東部～北壁東部不明) 貯蔵穴 なし? 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で部分的に貼床。全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土しているが、上層から中層中心で床面から浮いた状態のものがほとんどで、廃棄・流入遺物が多いか。4473は床面上の出土である。

掘り方 カマド前から南壁に向かい溝状の掘り込みあり。(ただし重複する182号住の掘り方の可能性もあり。)西部に南北の壁溝検出。拡張の可能性あり。他に土坑・ピット数基あり。

カマド

位置 354・355 - 980・981 Gr

壁位置 北壁やや東

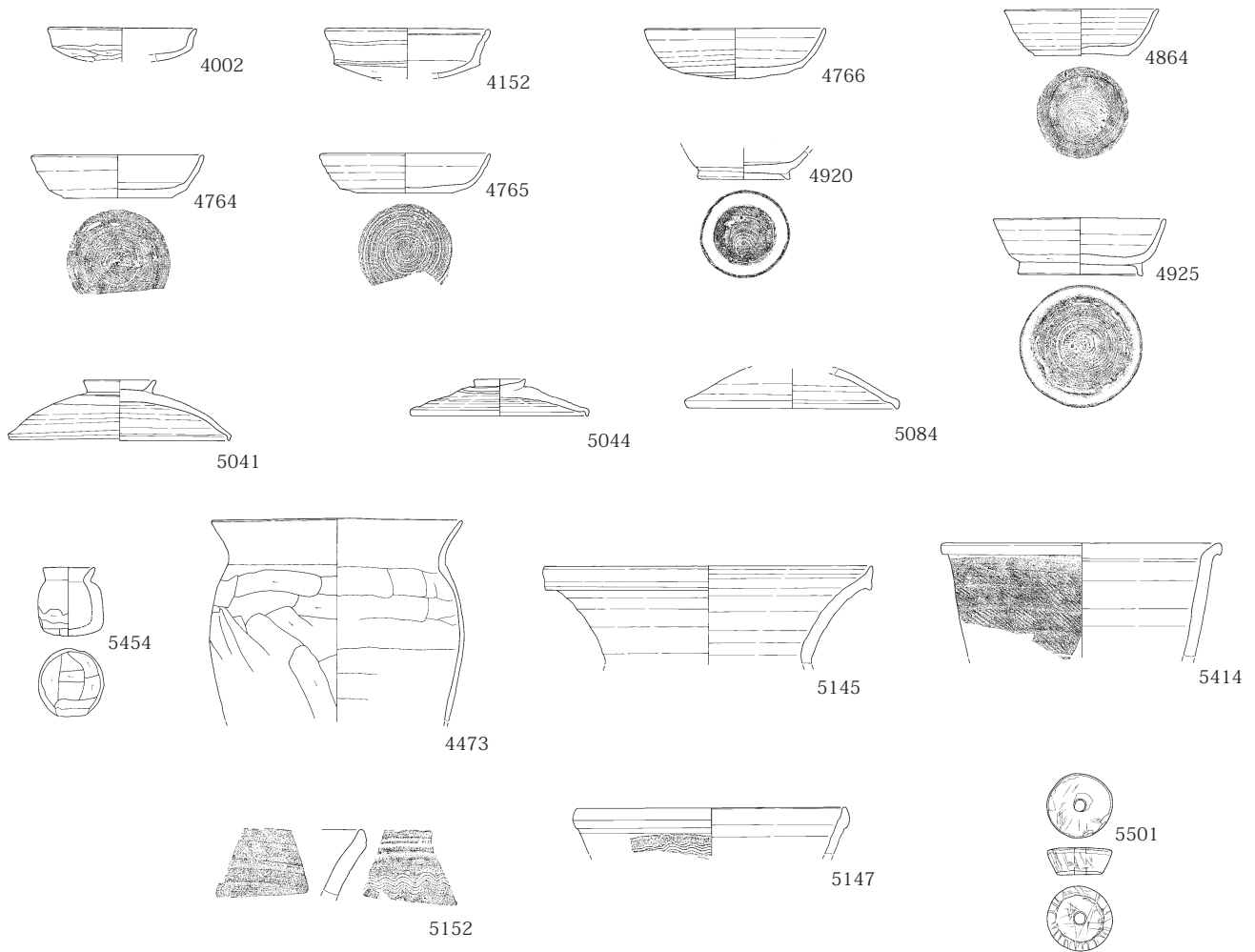
全長 1.28 m 幅 0.97 m

主軸方位 N-20° -W

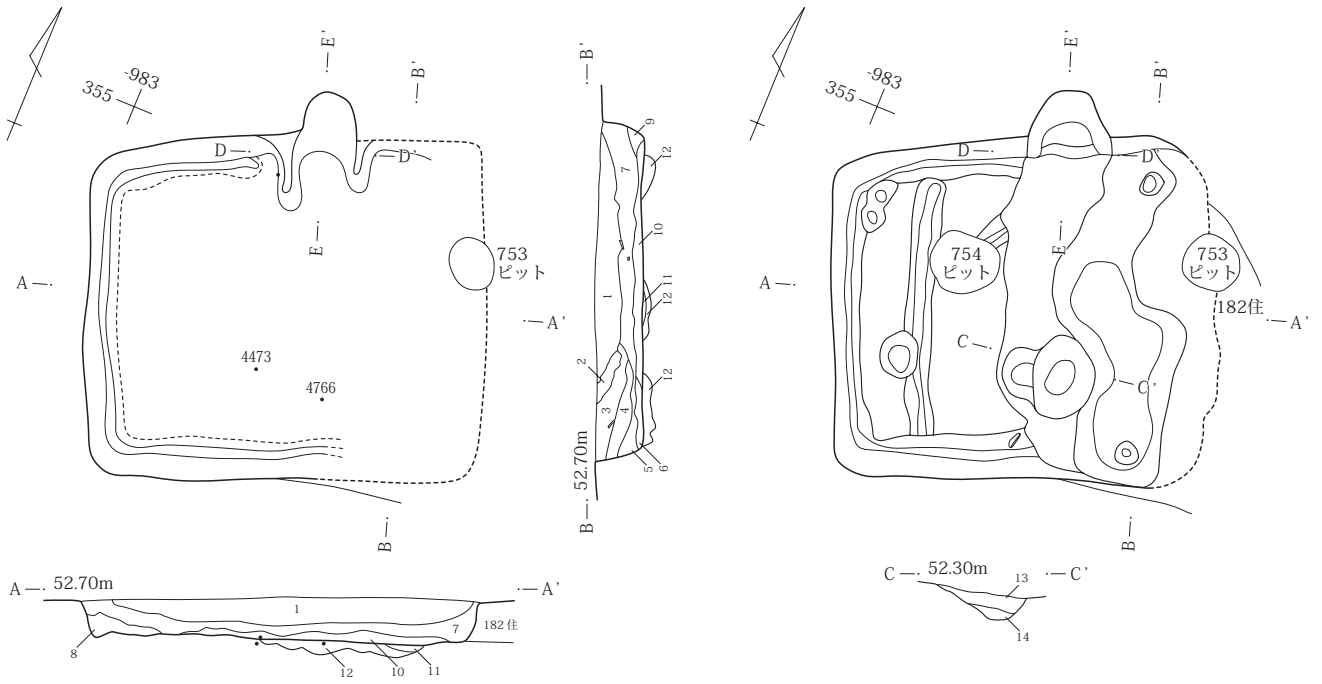
構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層はみられない。燃烧部奥壁はややなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 焚口部・燃烧部から土師器・須恵器が数点出土している。

時期 図示された遺物から、8世紀第3～第4四半期か。

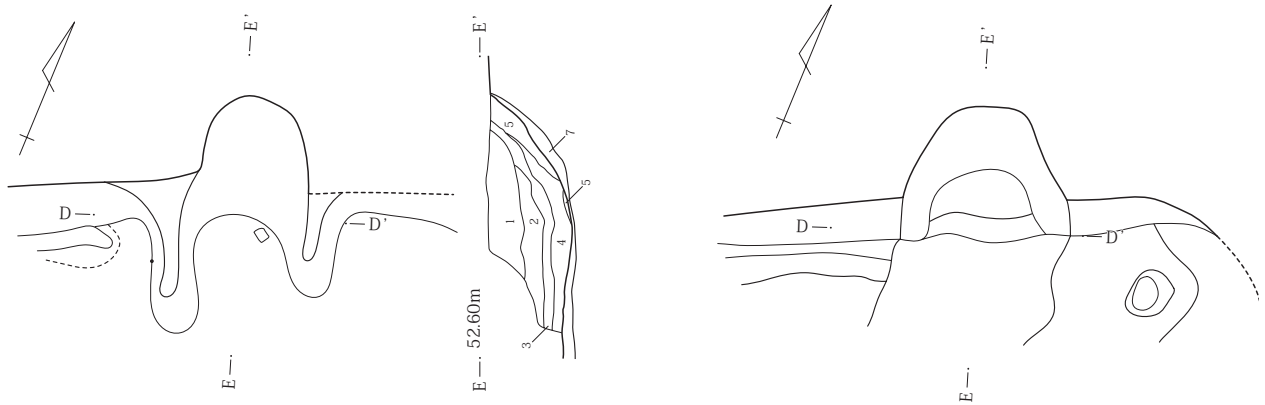
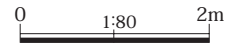


第91図 180号住居出土遺物



180号住居

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土粒子中量、炭化物少量混 | 8 暗褐 ローム粒子多量混 |
| 2 暗褐 ローム粒子多量混 | 9 暗褐 ローム粒子・B小、焼土粒子少量混しまり弱 |
| 3 暗褐 ローム・焼土粒子中量混 | 10 暗褐 ローム粒子多量、焼土粒子中量混しまり強 |
| 4 黄褐 ローム主体 暗褐色土混しまり強 | 11 黒褐 ローム粒子少量、ロームB微量混 |
| 5 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子多量混 | 12 暗褐 ローム粒子多量、ロームB中量混 |
| 6 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 | 13 暗褐 ローム粒子多量、ロームB小中量混 |
| 7 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 | 14 にぶい黄褐 ローム粒子・B中多量混 |



カマド

- | |
|------------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 |
| 2 にぶい黄褐 ローム主体 焼土粒子少量混 |
| 3 にぶい黄褐 ローム粒子・B小多量、焼土B小混 粘性強 |
| 4 灰褐 灰層 ローム・焼土粒子少量混 しまり弱 |
| 5 暗褐 焼土粒子中量混 |
| 6 焼土層 |
| 7 暗褐 焼土粒子少量混 粘性しまり強 |
| 8 にぶい黄褐 ロームB多量 粘性しまり強 |
| 9 にぶい黄褐 8層の土に焼土粒子少量混 粘性しまり強 |
| 10 黄褐 ローム 内側に焼土層 粘性強 カマド袖 |
| 11 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混 粘性・しまり強 |



第92図 180号住居使用面・掘り方・カマド

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

181号住居 (第93図)

位置 351~357-007~012 Gr

重複関係 174住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [6.38] m

短辺 [3.90] m 長辺/短辺 不明 壁高 16cm

面積 [25.36]m² 床面積 [22.75]m²

主軸方位 N-39°-W 壁溝 南壁~東壁南部。

他は不明。 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

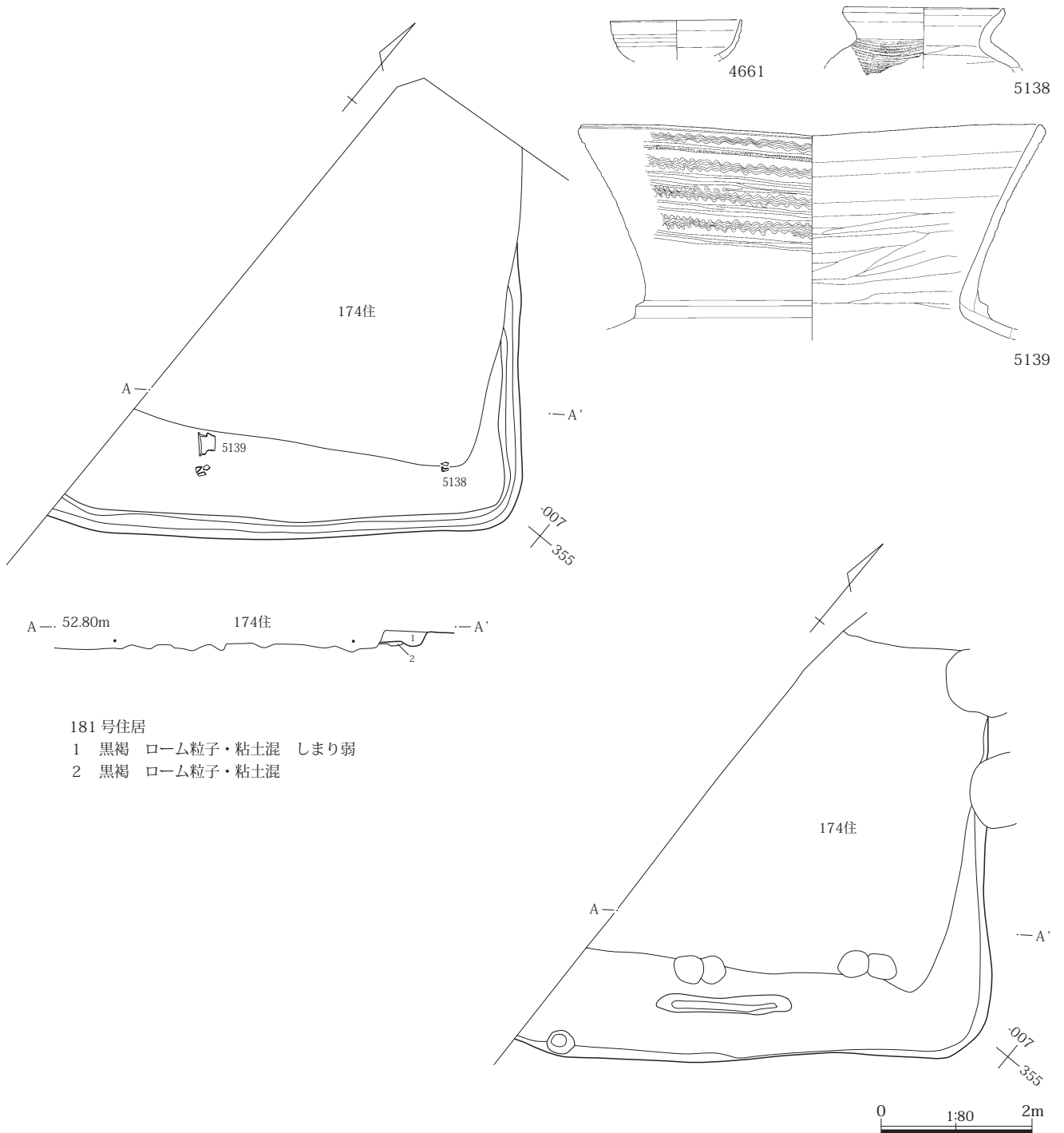
床面状態 ロームを含む黒褐色土で一部貼床。重複・調査区外により大部分不明。

遺物出土状況 出土量は少なく下層~床面中心。須恵器甕の破片出土。5138・5139は床面上の出土である。

掘り方 溝状掘り込み、ピット各1基。

カマド 不明

時期 出土遺物少なく時期不明。



181号住居

- 1 黒褐 ローム粒子・粘土混 しまり弱
- 2 黒褐 ローム粒子・粘土混

第93図 181号住居

182号住居 (第94図、PL27)

位置 352～355-977～979 Gr

重複関係 180住より旧 193住より新

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 2.97 m

短辺 [2.20] m 長辺/短辺 不明 壁高 33cm

面積 [6.43]m² 床面積 [5.50]m²

主軸方位 N-81°-E 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 残存部になし。 柱穴 不明

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 残存状況悪くほとんど出土せず。

掘り方 残存部分平坦な掘り方。ピット1基あり。

カマド

位置 353-977・978 Gr

壁位置 東壁やや南

全長 0.67 m 幅 0.69 m

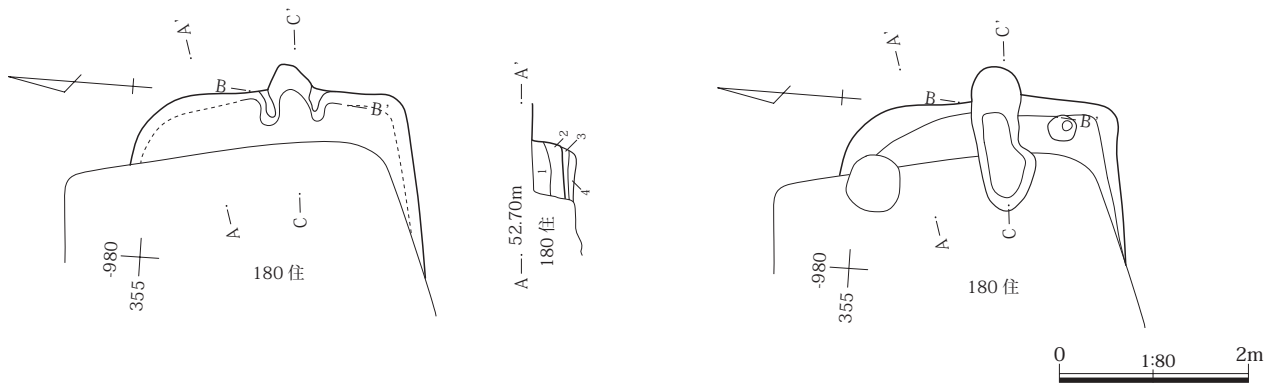
主軸方位 N-75°-E

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 ほとんど出土せず。

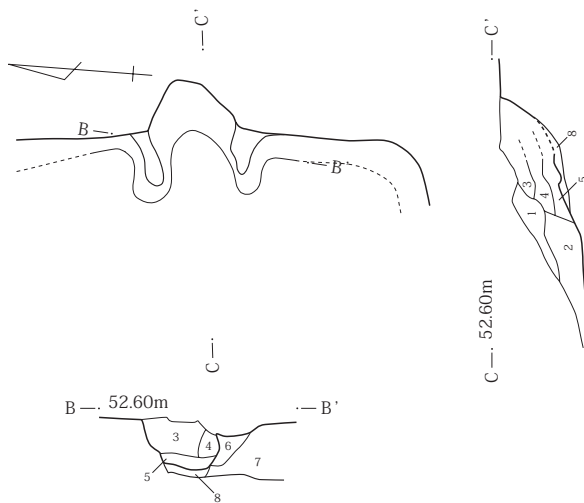
備考 重複により大部分不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



182号住居

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混 | 2 暗褐 焼土粒子・炭化物少量混 |
| 3 黒褐 ローム・黒色土B混 しまり極強 | 4 黄褐 ローム主体 黒色土混 しまり極強 |



カマド

- | |
|------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり強 |
| 2 赤褐 焼土B小多量混 しまり強 |
| 3 暗褐 焼土B小多量混 しまり弱 |
| 4 暗褐 ローム粒子・焼土B多量混 しまり弱 |
| 5 暗褐 ローム粒子・焼土B・灰混 しまり弱 |
| 6 黄褐 ローム 壁面焼土 |
| 7 黒褐 ローム粒子少量混 粘性しまり強 |
| 8 黒褐 粘質 しまり強 |

第94図 182号住居

III 検出された遺構と出土遺物

183号住居 (第95・96図、PL28)

位置 356~359-977~981 Gr

重複関係 194住より新 372土坑

平面形態 隅丸方形 長辺 3.55 m

短辺 3.13 m

長辺/短辺 1.13 壁高 53cm 面積 (11.10)m²

床面積 (9.08)m² 主軸方位 N-75°-W

壁溝 なし 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。

遺物出土状況 中央~南東部、下層~床下中心。完形・半完形のものもあり、床面に近い位置から出土しているものもあるため、遺棄・廃棄遺物が多いと考えられる。床下

からも土師器甕等の遺物が出土している。4767は床面上の出土である。

掘り方 重複する194号住との区分が難しいところもあるが、土坑状掘り込み多数あり。他にピット数基あり。

カマド

位置 356~358-977・978 Gr

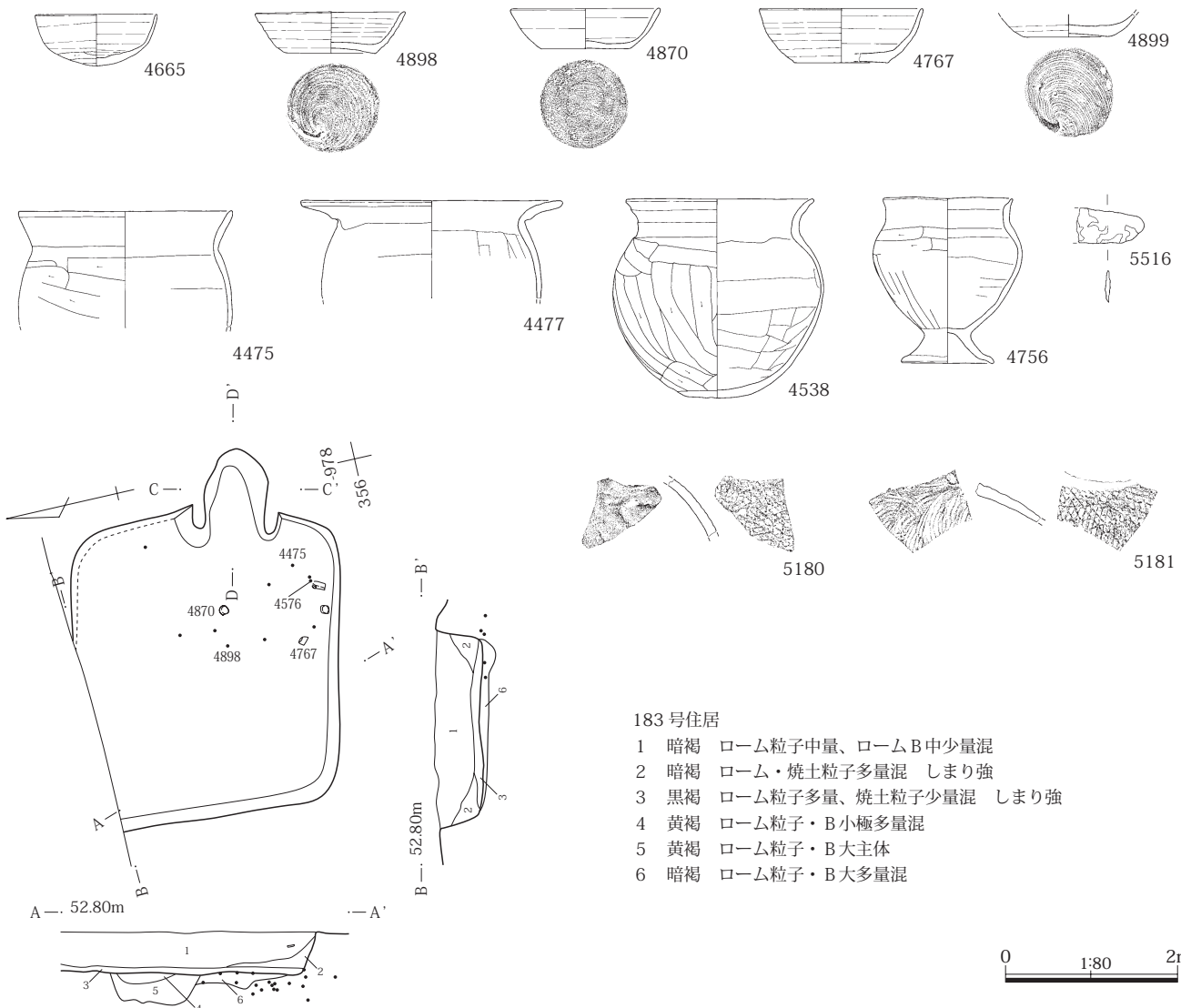
壁位置 東壁やや南 全長 1.17 m 幅 1.17 m

主軸方位 N-73°-W

構築 ロームを含む暗褐色土で袖を構築。焚口部底面はほぼ平坦で、燃烧部底面はやや下がる。灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 ほとんど出土せず。

時期 遺棄遺物と考えられる須恵器杯から、8世紀第4四半期か。



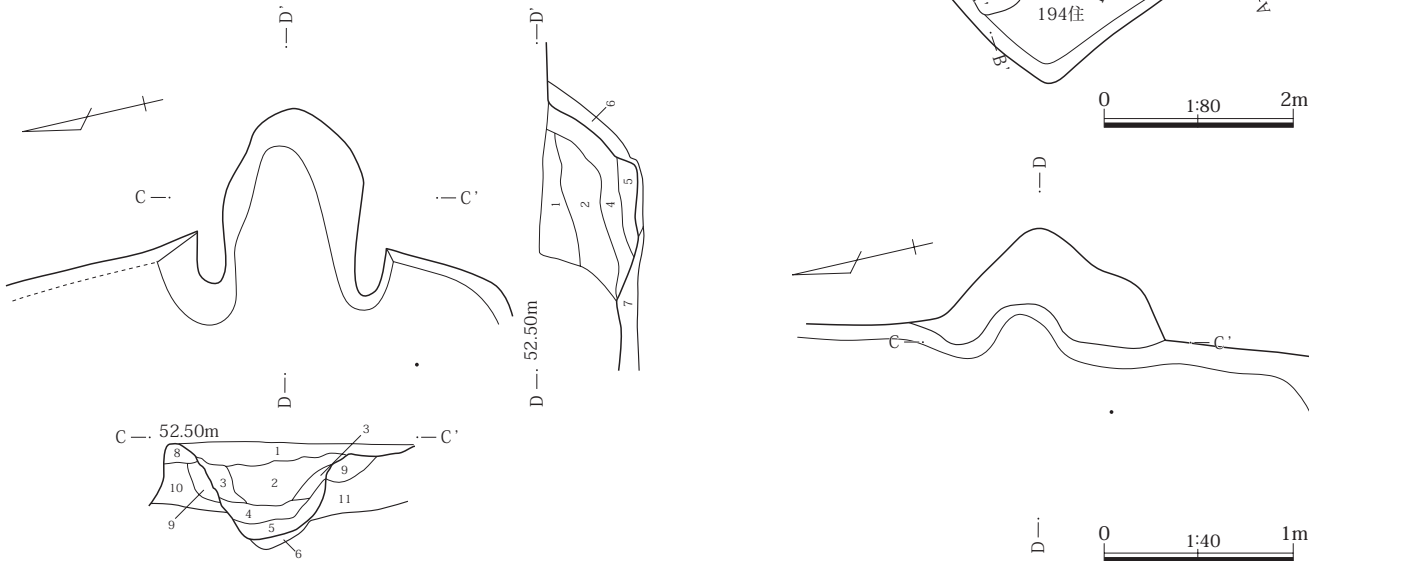
183号住居

- 1 暗褐 ローム粒子中量、ロームB中少量混
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり強
- 3 黒褐 ローム粒子多量、焼土粒子少量混 しまり強
- 4 黄褐 ローム粒子・B小極多量混
- 5 黄褐 ローム粒子・B大主体
- 6 暗褐 ローム粒子・B大多量混

第95図 183号住居出土遺物・使用面

カマド

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量混 しまり強
- 2 にぶい黄褐色 ローム粒子・B多量混 しまり強
- 3 にぶい黄褐色 焼土粒子・B少量混 しまり弱
- 4 にぶい黄褐色 ローム主体 暗褐色土混 粘性・しまり強
- 5 にぶい黄褐色 ローム多量、焼土粒子少量混
- 6 暗褐色 灰層 焼土粒子混 しまり弱
- 7 暗褐色 ローム粒子少量混 しまり強
- 8 黄褐色 カマド構築材 暗褐色土少量混 しまり強
- 9 黄褐色 カマド構築材 粘性強
- 10 暗褐色 ローム粒子・B中量混 しまり強
- 11 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混 しまり強



第96図 183・194号住居掘り方・183号住居カマド

184号住居 (97～99図、PL28・29)

位置 353～360 -925～932 Gr
重複関係 160住より新 178住より旧 165住より旧？
平面形態 隅丸方形 長辺 5.70m
短辺 4.85m **長辺/短辺** 1.18 **壁高** 53cm
面積 (27.37)m² **床面積** (21.25)m²
主軸方位 N-46° -W
壁溝 西壁～南壁 **貯蔵穴** なし
柱穴 4基。P4に柱痕あるか。
埋没土 ロームを含む褐色土。
床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で貼床。部分的に硬化。
遺物出土状況 ほぼ全面から出土しており、上層～床面まで出土。完形・半完形で床面上のものもあるため遺棄・廃棄遺物が多いか。4488は床面上の出土である。
掘り方 土坑状掘り込み・ピット数基あり。他は平坦な掘り方。

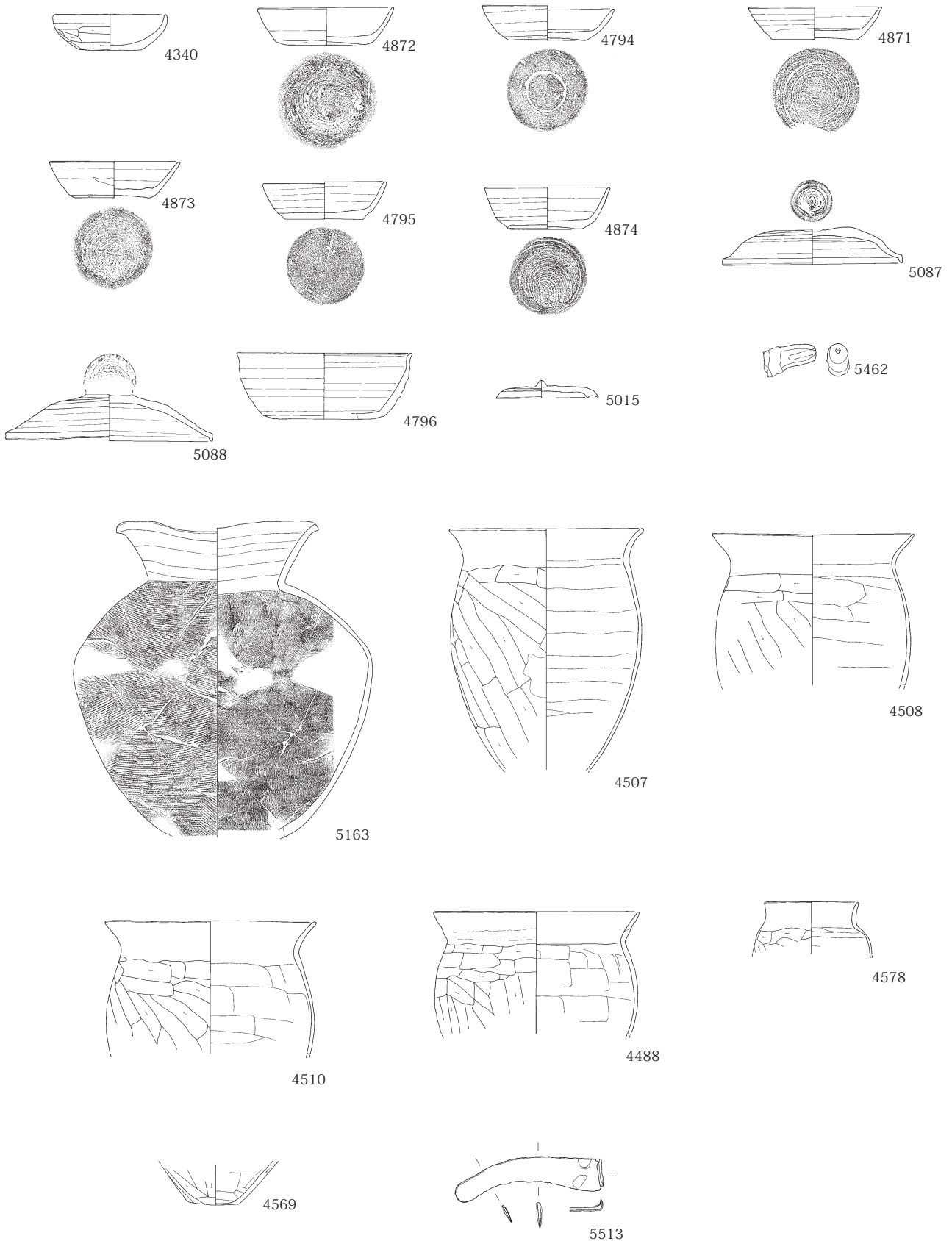
北カマド(新カマド)

位置 358・359 -929～931 Gr
壁位置 北壁やや東 **全長** 1.16m **幅** 1.25m
主軸方位 N-45° -W
構築 自然礫を補強材として黄褐色粘土で袖を構築している。焚口部はややくぼむが燃焼部は平坦で燃焼部奥壁は急に立ち上がる。
遺物出土状況 焚口部・燃焼部から土師器甕の破片が出土している。

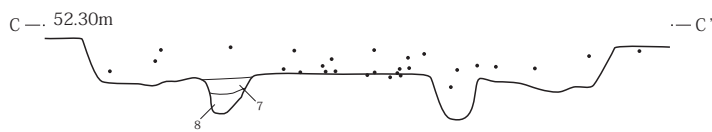
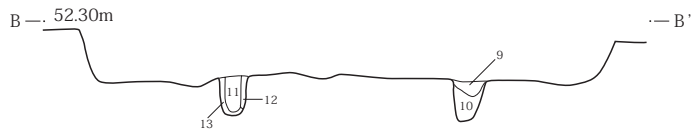
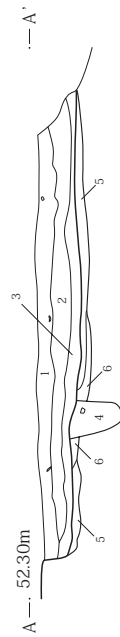
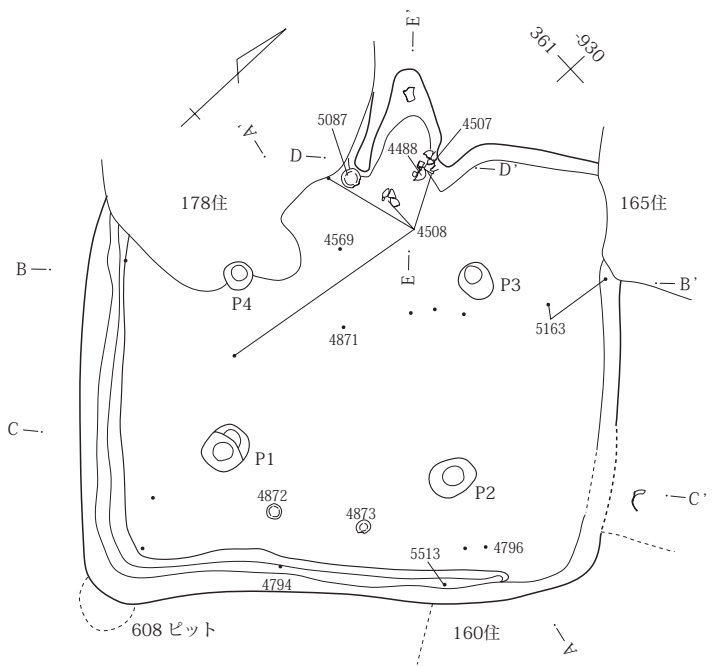
東カマド(旧カマド)

位置 357・358 -926 Gr **壁位置** 東壁南
全長 0.65 m **幅** 1.12 m
主軸方位 N-52° -E
構築 構築材不明。燃焼部底面はほぼ平坦で、奥壁は急に立ち上がる。
遺物出土状況 燃焼部奥壁部から土師器甕出土。
時期 遺棄遺物と考えられるものが多く、8世紀第3四半期か。

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

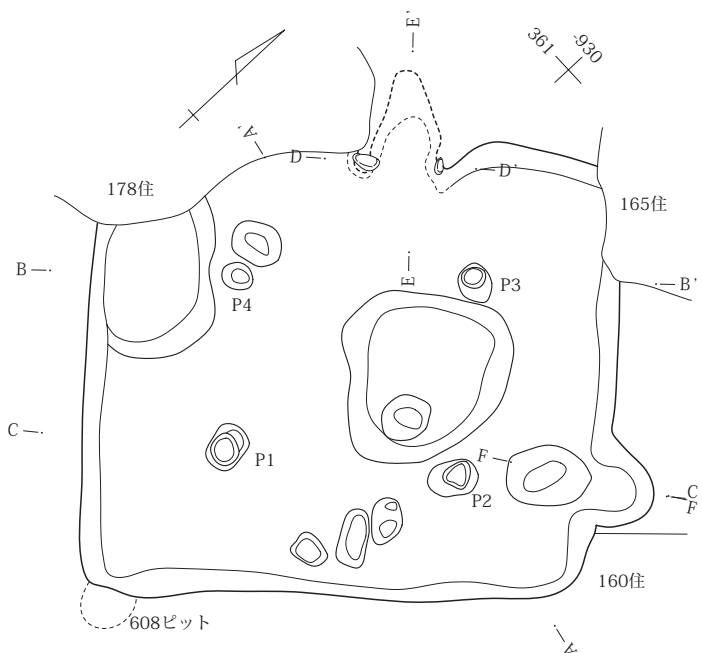


第97図 184号住居出土遺物



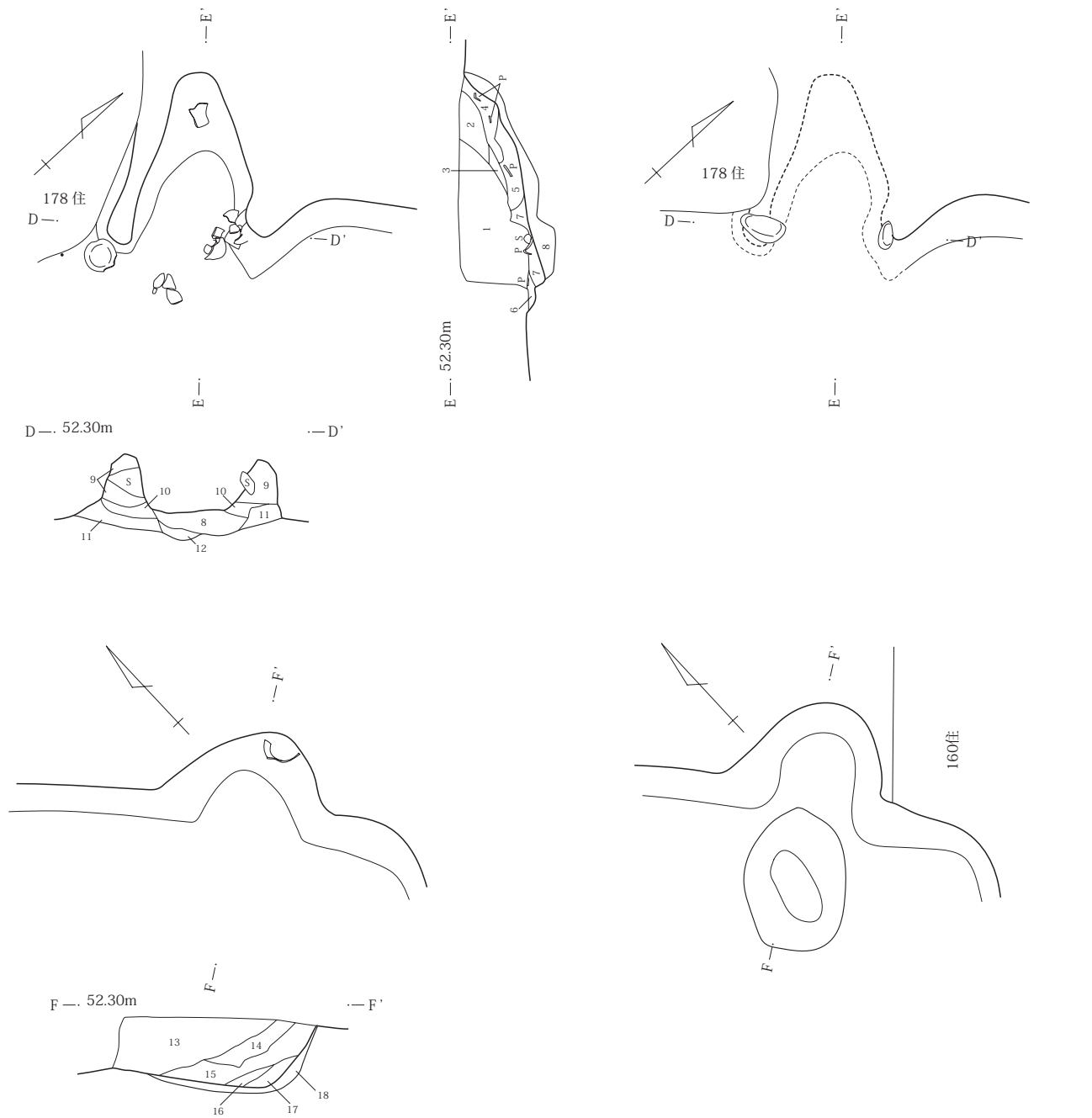
184号住居

- 1 褐 ローム粒子・炭化物少量、焼土粒子多量混
- 2 褐 ローム粒子少量、焼土粒子中量混
- 3 褐 ローム粒子・B小中量、焼土粒子・炭化物少量混
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子中量、ロームB中多量混
- 5 にぶい黄褐 ローム・暗褐色土混合 しまり弱
- 6 にぶい黄褐 ロームB中多量混 しまり強 貼床
- 7 にぶい黄褐 ローム粒子多量、焼土粒子少量混 しまり強
- 8 黄褐 ローム主体 しまり強
- 9 にぶい黄褐 ローム主体 焼土少量混 しまり強
- 10 黄褐 ローム主体 9層の土少量混 しまり強
- 11 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 12 にぶい黄褐 11層の土少量混 しまり強
- 13 黄褐 ローム主体 しまり強



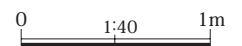
第98図 184号住居使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 黒褐 ローム粒子少量、焼土粒子中量混 | 10 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 |
| 2 ローム・焼土混合層 | 11 暗褐 ローム・焼土粒子微量混 しまり強 |
| 3 焼土層 焼土B主体 | 12 黒褐 焼土粒子少量混 しまり弱 |
| 4 焼土・灰混合層 しまり弱 | 13 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり強 |
| 5 灰層 しまり弱 | 14 黄褐 ローム主体 焼土B小多量混 |
| 6 黒褐 焼土粒子少量混 しまり強 | 15 暗赤褐 焼土粒子・B小多量混 |
| 7 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 | 16 褐灰 灰層 |
| 8 黒褐 焼土粒子微量混 | 17 赤褐 ローム・焼土粒子混合 |
| 9 明黄 粘土(カマド袖) | 18 褐灰 ローム粒子少量混 しまり弱 |



第99図 184号住居カマド

185号住居 (100～102図、PL29)

位置 343～350-993～001 Gr

重複関係 128・198住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 6.68m 短辺 5.82m

長辺/短辺 1.15 壁高 55cm 面積 (36.80)m²床面積 (27.06)m² 主軸方位 N-66°-E

壁溝 カマド以外全周。貯蔵穴 なしか。

柱穴 4基。P3に柱痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黄褐色土で部分的に貼床。掘り方を床面とする部分もあり。

遺物出土状況 住居東部カマド周辺に集中。中層～下層中心。床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4572・5453は床面上の出土である。

掘り方 大規模な床下土坑2基。他に土坑状掘り込み・ピット多数あり。掘り方を床面としている部分あり。

カマド

位置 347～349-994～996 Gr

壁位置 東壁中央

全長 2.06 m 幅 1.77 m

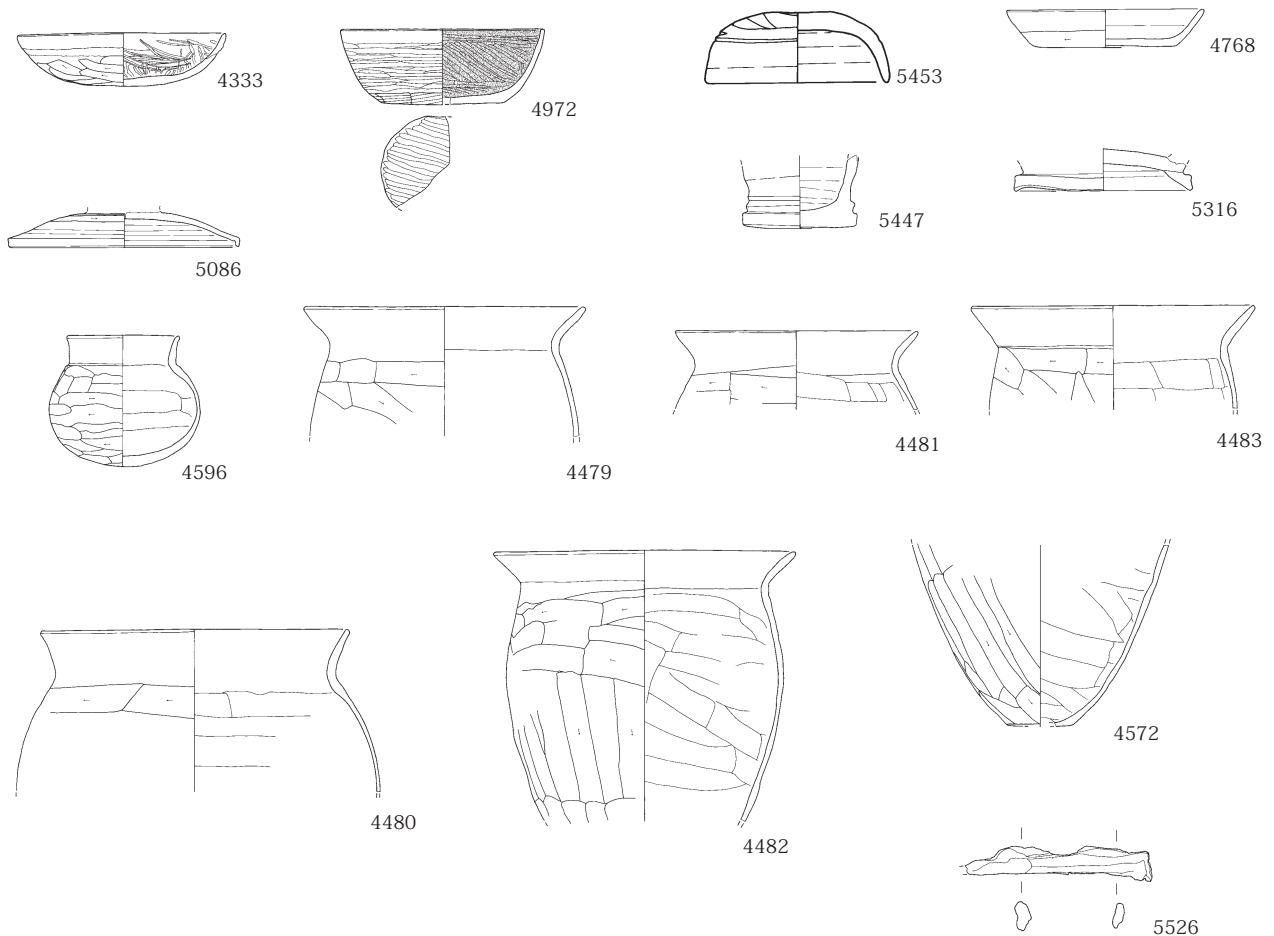
主軸方位 N-61°-E

構築 自然石を補強材として、黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部・袖部近辺から土師器甕出土。

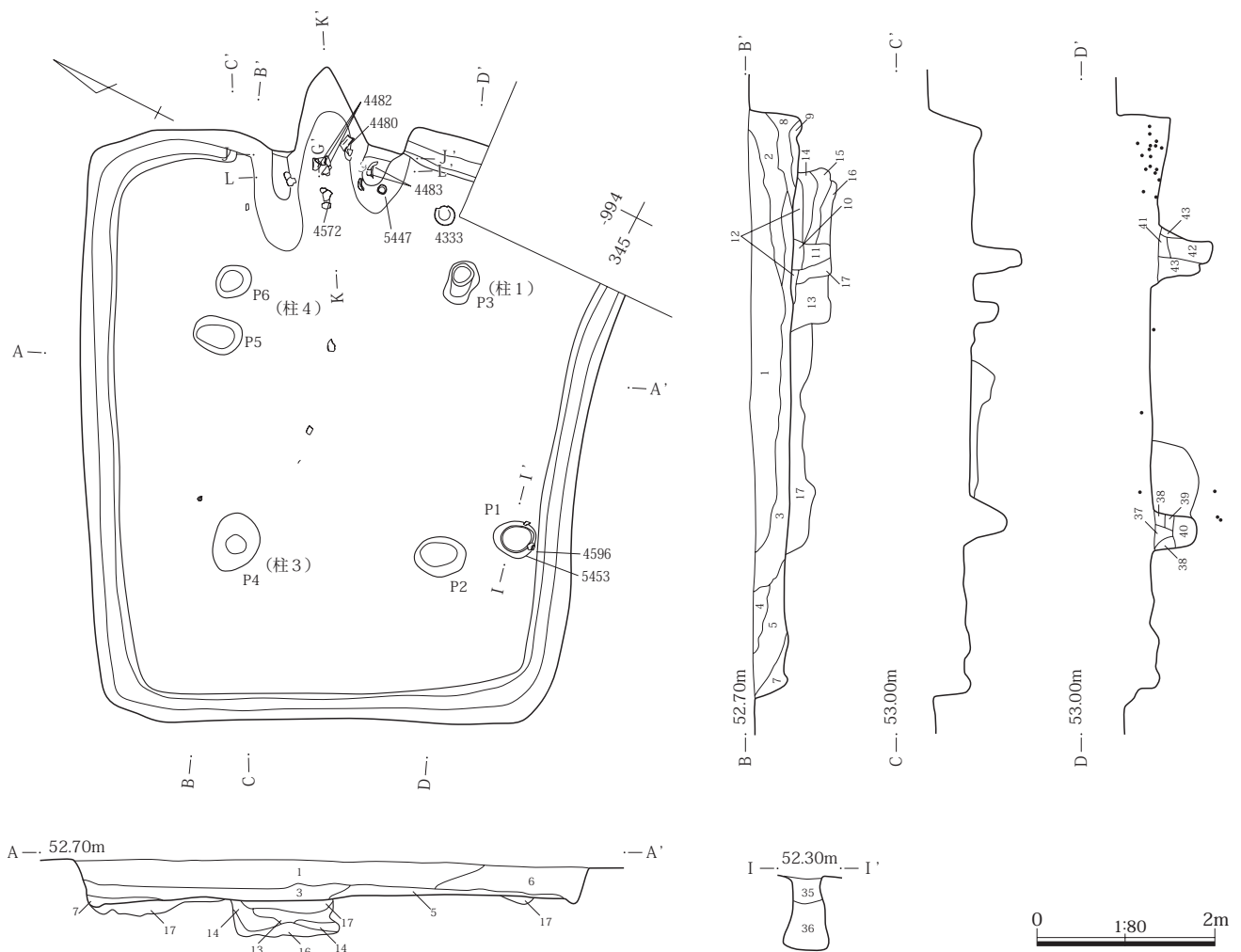
備考 攪乱により不明な部分が多いが、南東隅部が南に広がっている形態と考えられる。

時期 図示された遺物から、8世紀第3四半期か。



第100図 185号住居出土遺物

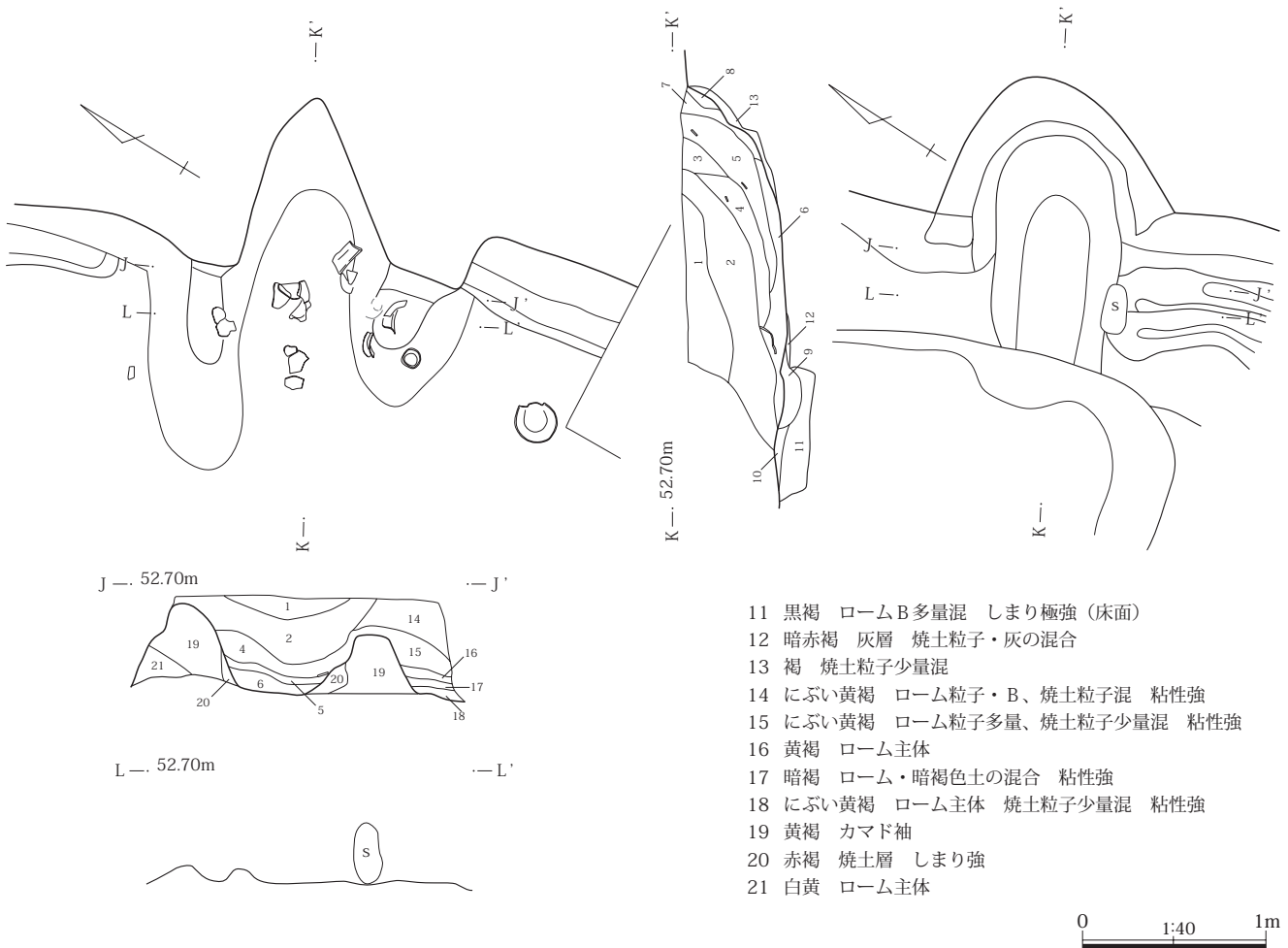
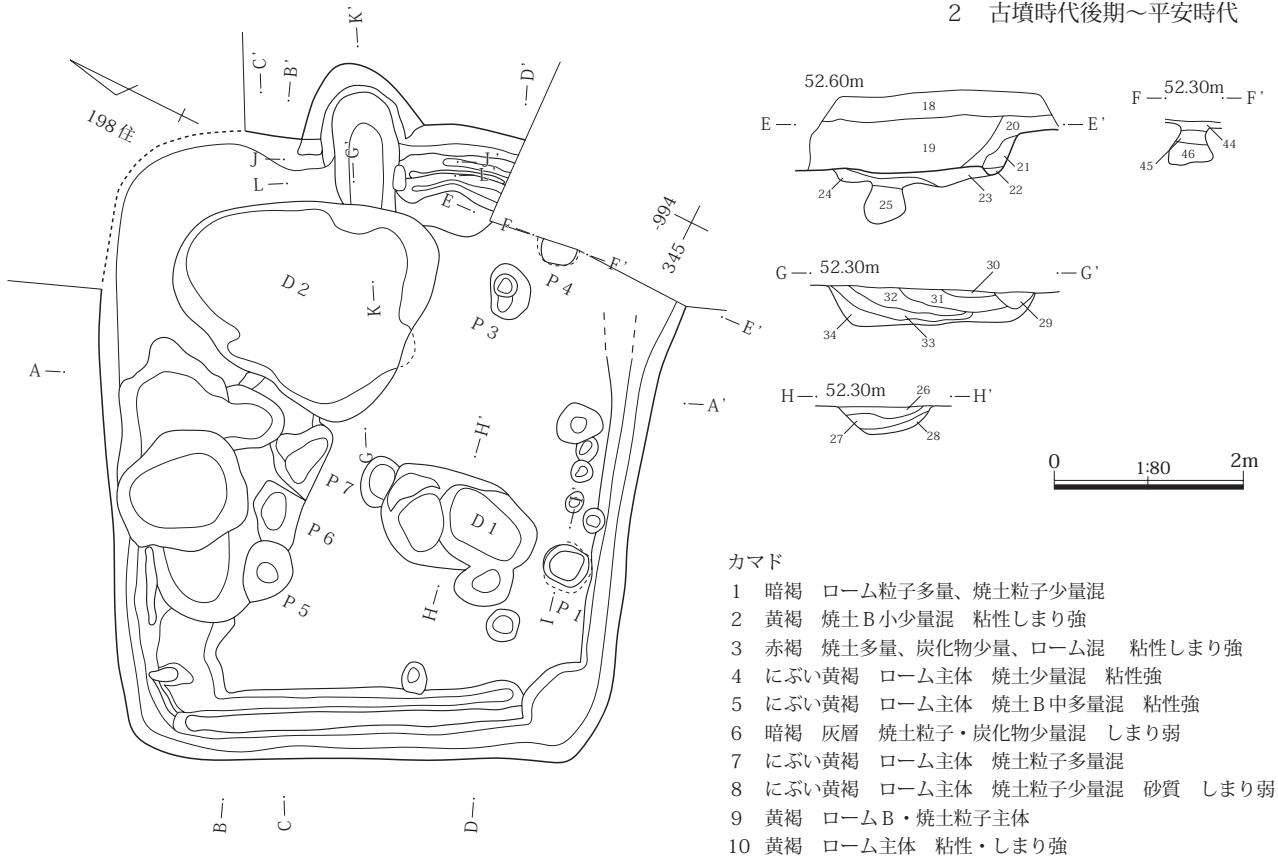
III 検出された遺構と出土遺物



185号住居

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 暗褐 ロームB・焼土少量、ローム粒子中量混 | 26 黄褐 ローム主体 暗褐色土混 しまり強 |
| 2 暗褐 ローム粒子多量混 | 27 にぶい黄褐 ローム主体 |
| 3 黒褐 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化物少量混 しまり強 | 28 黄褐 ローム主体 |
| 4 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 | 29 暗赤褐 ロームB・焼土粒子混合 粘性強 しまり弱 |
| 5 黒褐 ローム粒子・焼土B少量混 しまり強 | 30 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 |
| 6 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱 | 31 黒褐 ハードロームB中多量混 |
| 7 黒褐 ローム粒子少量混 | 32 黄褐 ローム主体 しまり強 |
| 8 暗褐 ローム粒子・土壌多量混 | 33 暗褐 ロームB中多量混 |
| 9 褐 ローム粒子・焼土B中多量混 | 34 白黄 ローム主体 |
| 10 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱 | 35 にぶい黄褐 ローム粒子多量、ロームB中混 しまり強 |
| 11 にぶい黄褐 ローム粒子・B小混 粘性強 | 36 黒褐 ローム粒子少量混 しまり弱 |
| 12 暗褐 ローム粒子・B中混 しまり強 貼床 | 37 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱 |
| 13 黒褐 ロームB中多量混 粘性強 | 38 暗褐 ローム粒子多量混 しまり強 |
| 14 暗褐 ロームB多量混 粘性・しまり強 | 39 黒褐 ローム粒子・B中多量混 しまり強 |
| 15 黒褐 ローム粒子・B小少量混 粘性強 | 40 暗褐 ロームB中多量混 しまり強 |
| 16 黄褐 ロームB大主体 | 41 にぶい黄褐 焼土粒子・炭化物少量混 粘性・しまり強 |
| 17 黄白 ローム主体 | 42 にぶい黄褐 ローム粒子・B中多量混 |
| 18 褐灰 耕作土 | 43 黄褐 ローム主体 |
| 19 褐 ローム・焼土粒子多量、炭化物少量混 | 44 暗褐 ロームB小中量混 しまり強 貼床 |
| 20 暗褐 19層の土にロームB小・黒褐色土中量混 | 45 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 |
| 21 暗褐 ローム粒子少量混 | 46 黒褐 粘性強 |
| 22 黒褐 ローム粒子少量混 しまり弱 | |
| 23 暗褐 ローム粒子中量、ロームB中少量混 しまり強 | |
| 24 暗褐 ローム粒子・B多量混 しまり極強 | |
| 25 暗褐 ローム粒子多量混 粘性・しまり強 | |

第101図 185号住居使用面



第 102図 185号住居掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

186号住居(第103・104図、PL30)

位置 351～355-956～961 Gr

重複関係 169住より旧 187・191住より新 367

～370土坑 平面形態 隅丸方形 長辺 3.92 m

短辺 3.84 m 長辺/短辺 1.02 壁高 59 cm

面積 14.09m² 床面積 10.35m²

主軸方位 N-76°-E

壁溝 北壁～西壁～南壁 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黄褐色土で全面貼床。全体的にやや硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく住居北東部、中層～床面中心。ほとんど破片で床面から浮いた状態のものが多く、流入遺物が多いか。

掘り方 床下土坑多数あり。

カマド

位置 353・354-956・957 Gr

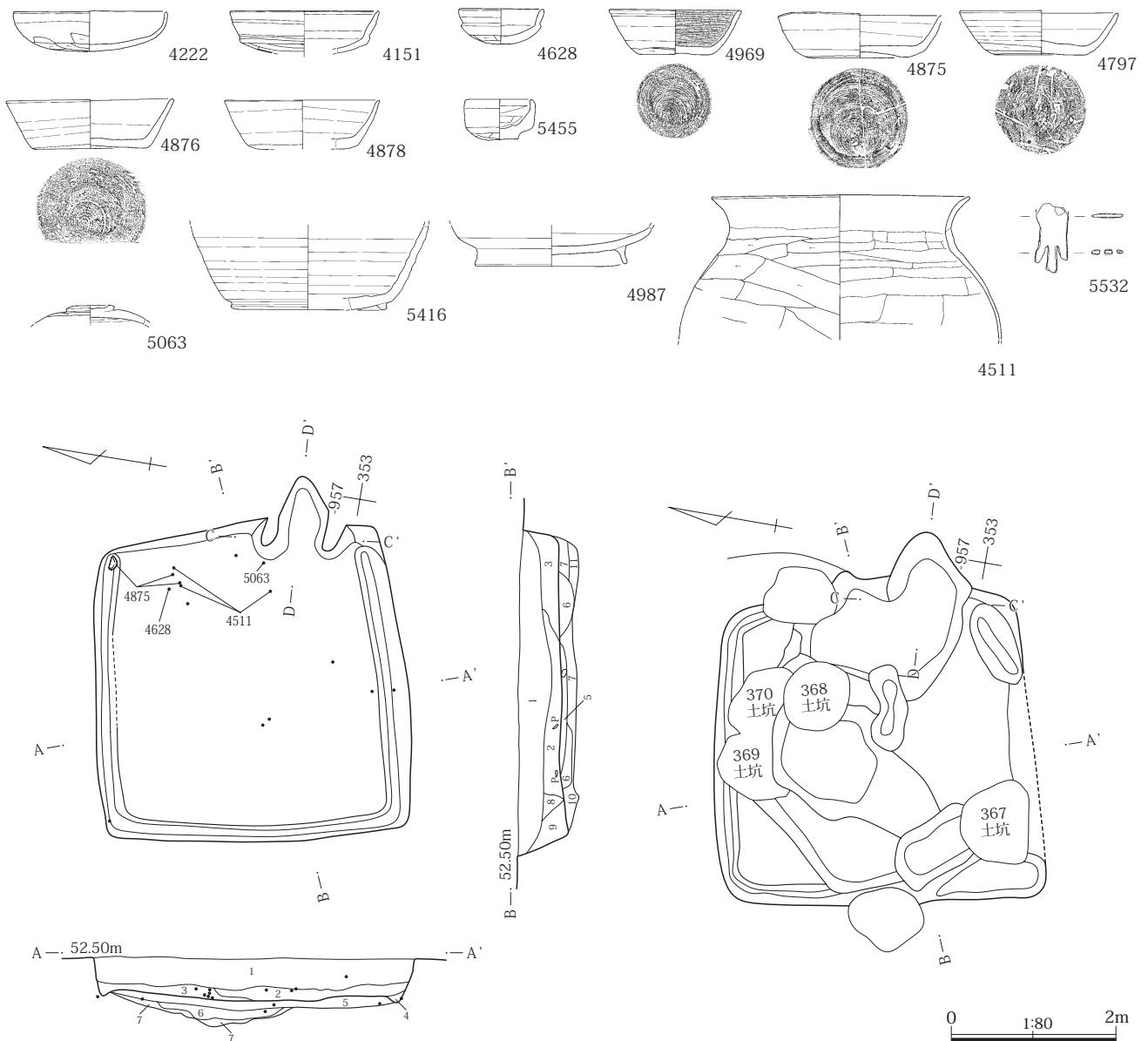
壁位置 東壁南 全長 1.03 m 幅 1.16 m

主軸方位 N-82°-E

構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 図示された遺物から、8世紀第3四半期か。

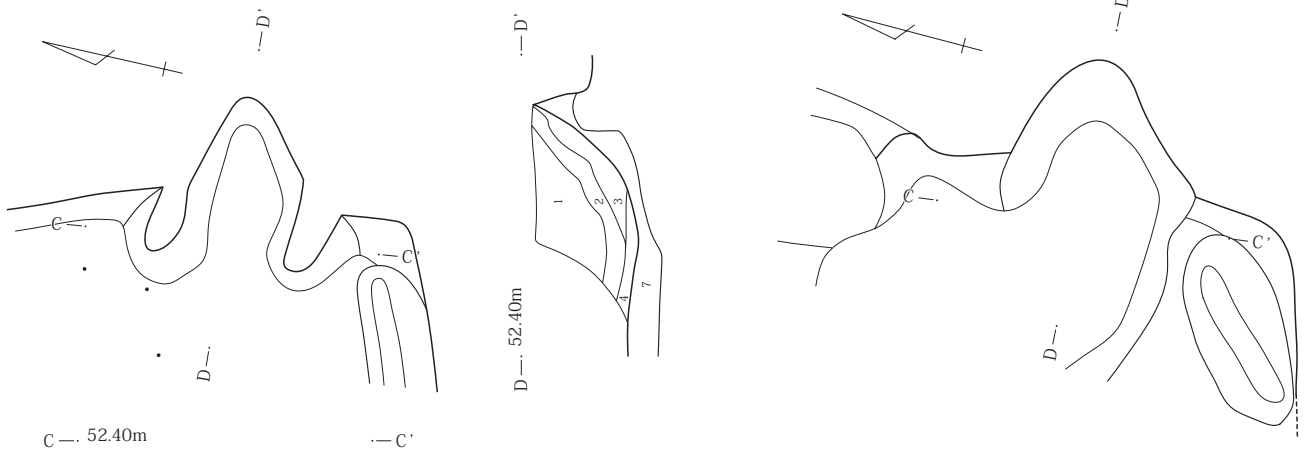


第103図 186号住居出土遺物・使用面・掘り方

186号住居

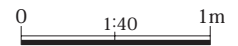
- 1 暗褐 ロームB中量、焼土粒子多量、炭化物少量混
- 2 暗褐 1層に黒褐色土少量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B小多量混
- 4 暗褐 ロームB小少量混 しまり弱
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混

- 6 にぶい黄褐 ローム粒子・B小多量混 粘性・しまり強
- 7 にぶい黄褐 ロームB多量混 粘性・しまり強
- 8 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 9 暗褐 ローム粒子多量、ロームB大少量混 粘性強
- 10 黒褐 粘性・しまり強
- 11 黄褐 ローム主体 黒褐色土少量混 しまり強



カマド

- 1 黄褐 ローム多量混 しまり強
- 2 赤褐 焼土粒子・B多量混 しまり弱
- 3 赤褐 ローム・焼土粒子多量、暗褐色土混 しまり弱
- 4 暗褐 灰層
- 5 黄褐 粘質 カマド袖 しまり強
- 6 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 7 暗褐 ローム粒子・B小少量混



第104図 186住居 カマド

187号住居 (第105図、PL 30)

位置 353～358 - 957～962 Gr

重複関係 169・186住より旧 188・190住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 4.23 m 短辺 (4.20) m

長辺/短辺 (1.01) 壁高 40cm 面積 (17.18)m²

床面積 (13.43)m² 主軸方位 N-21°-W

壁溝 北壁～東壁(南壁・西壁不明) 貯蔵穴 なし

柱穴 なし 埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 掘り方を床面とする。

遺物出土状況 北部で下層～床面中心。カマド前東部に完形・半完形の杯類が床面上から出土しており、遺棄遺物と考えられる。他は廃棄・流入遺物がほとんどか。4224・4599・5065は床面上の出土である。

掘り方 北部中心に、土坑状掘り込み・ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 357・358 - 959・960 Gr

壁位置 北壁東

全長 1.10 m 幅 1.01 m

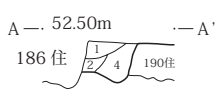
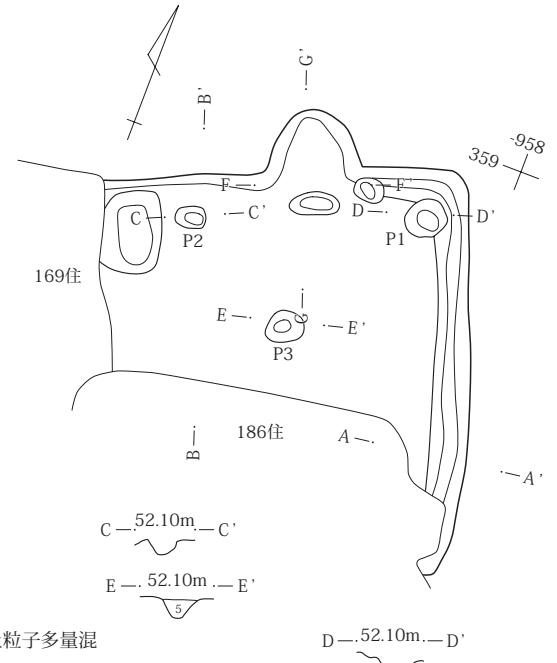
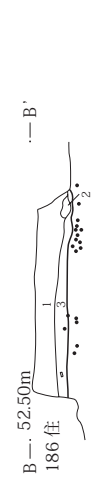
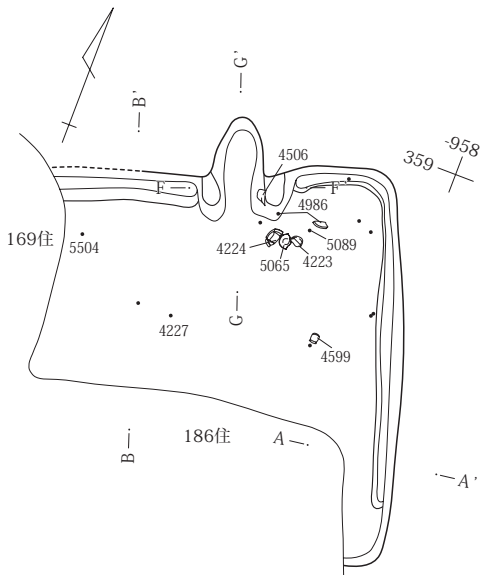
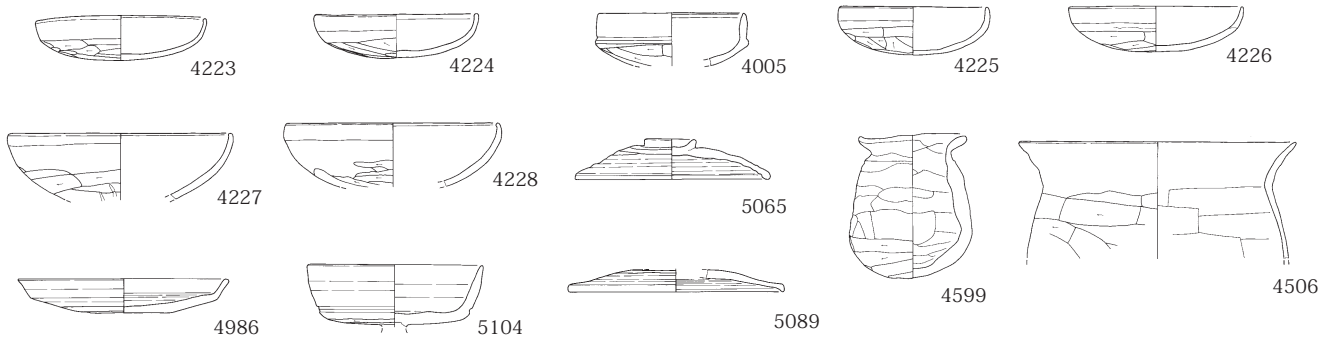
主軸方位 N-21°-W

構築 黄褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

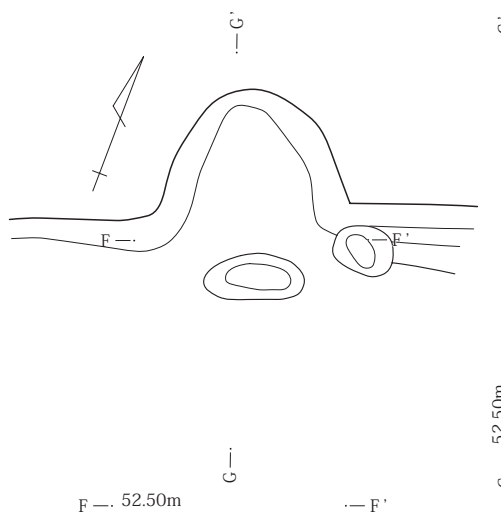
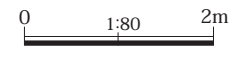
時期 遺棄遺物と考えられる土師器杯等から、8世紀第2四半期と考えられる。

III 検出された遺構と出土遺物



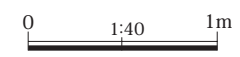
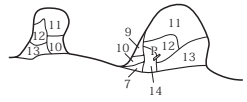
187号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子多量混
- 2 黄褐 ロームB混
- 3 暗褐 ローム粒子・B、黒褐色土少量混 しまり強
- 4 暗褐 ローム粒子多量混
- 5 黄褐 ローム主体 しまり強



カマド

- 1 暗褐 ローム・白色粒子中量、焼土粒子・B少量混
- 2 にぶい黄褐 ローム粒子・B小多量混
- 3 にぶい黄褐 2層の土に焼土粒子・B多量混
- 4 暗赤褐 ローム粒子少量、焼土B多量混 しまり弱
- 5 褐灰 灰層 焼土粒子少量混 しまり弱
- 6 褐灰 焼土粒子多量混 しまり弱
- 7 暗褐 ローム・焼土粒子、灰混 しまり弱
- 8 黒褐 ローム粒子多量混
- 9 黒褐 焼土粒子中量混
- 10 赤褐 焼土粒子・B主体 しまり強
- 11 にぶい黄褐 ローム・暗褐色土主体 粘性強
- 12 にぶい黄褐 ローム主体
- 13 黒褐 ローム粒子中量混 しまり強
- 14 黒褐 ローム粒子多量混
- 15 住居埋土



第105図 187号住居

188号住居 (第106図、PL30・31)

位置 357～360 - 960～963 Gr

重複関係 189住より新 169・187住より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 (3.16) m

短辺 [2.70] m 長辺/短辺 不明 壁高 19cm

面積 [8.10]m² 床面積 [8.02]m²

主軸方位 N-3°-W

壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 なし?

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 焼土を含む暗褐色土で部分的に貼床。一部掘り方を床面とする。全体的にやや軟弱。

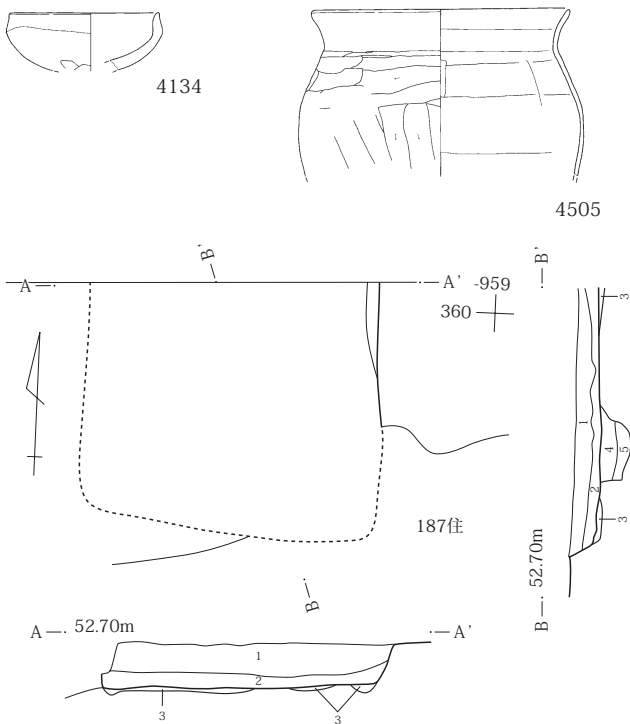
遺物出土状況 ごく少量出土したのみ。

掘り方 平坦な掘り方。

カマド 不明

備考 重複・削平のため残存状態きわめて悪く、大部分不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



188号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子・炭化物少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B小多量混
- 3 暗褐 焼土粒子中量混
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子・B中量混

第106図 188号住居

189号住居 (第107図、PL30・31)

位置 356～360 - 962～968 Gr

重複関係 169・188・196住より旧

平面形態 不明 長辺 [4.72] m 短辺 [3.90] m

長辺/短辺 不明 壁高 34cm 面積 [15.37]m²

床面積 [14.93]m² 主軸方位 N-33°-W

壁溝 不明 (西壁なし)

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土。

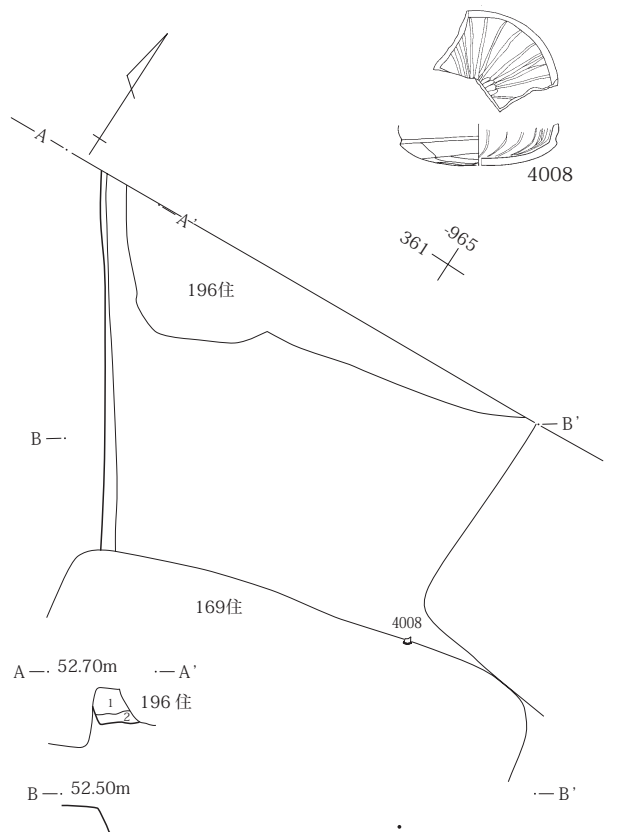
床面状態 掘り方を床面とする。

遺物出土状況 少量出土したのみ。破片がほとんどで流入遺物が多いか。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明 備考 重複・削平のため大部分不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。図示遺物からは6世紀後半～7世紀か。



189号住居

- 1 暗褐 ローム粒子多量混
- 2 暗褐 ローム粒子・黒褐色土少量、焼土微量混

第107図 189号住居

III 検出された遺構と出土遺物

190号住居(第108図、PL31)

位置 354～357 -956・957 Gr

重複関係 187住より旧 599ピット

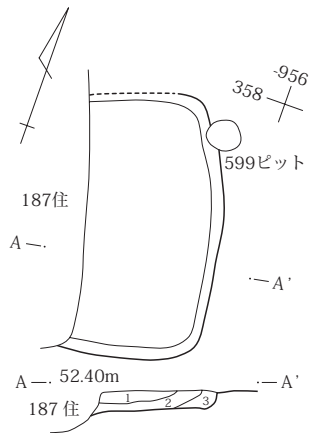
平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 (2.81) m 短辺 [1.46] m

長辺/短辺 不明 壁高 29cm 面積 [3.79]m²

床面積 [3.19]m² 主軸方位 N-17°-W

壁溝 なし 貯蔵穴 不明 柱穴 なし



190号住居

- 1 暗褐 ローム粒子中量、ロームB少量混 しまり強
- 2 暗褐 ローム粒子中量、黒褐色土B中混 しまり強
- 3 暗褐 ローム粒子多量混 しまり強



第108図 190号住居

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 掘り方を床面とする。

遺物出土状況 ごく少量出土したのみ。流入遺物か。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 重複により不明な部分が多いが、カマド・壁溝等の施設不明で規模も小さいため、一般的な住居ではない可能性が高い。

時期 出土遺物少なく時期不明。

191号住居(第109・110図、PL31)

位置 348～354 -955～962 Gr

重複関係 127住より新 167・169・186住より旧
367・378土坑

平面形態 隅丸長方形 長辺 5.81 m

短辺 4.18 m 長辺/短辺 1.39 壁高 65cm

面積 (23.44)m² 床面積 (18.88)m²

主軸方位 N-24°-W 壁溝 残存部分全周。

貯蔵穴 不明 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがる

レンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

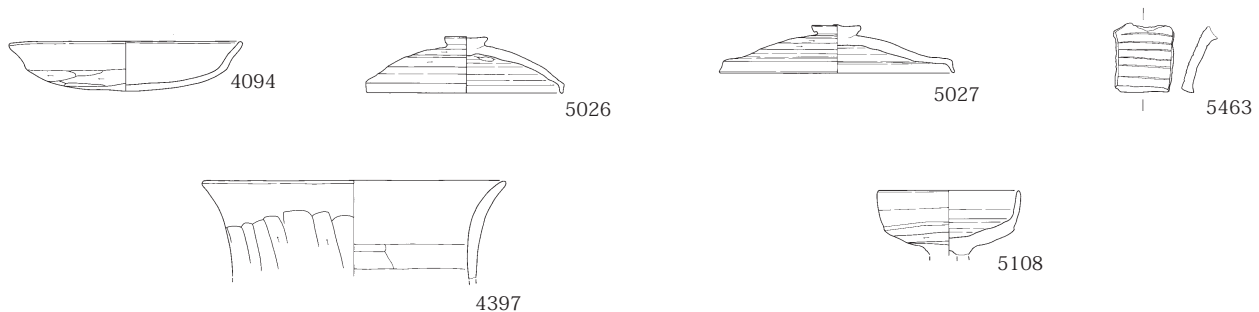
床面状態 床下土坑等の部分以外は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 南西部で下層～床面中心。南壁際に須恵器蓋2点・土師器杯の完形・半完形が出土。床面からやや浮いてはいるが、壁上から転落した可能性もあるため、遺棄遺物の可能性あり。他は廃棄・流入遺物か。

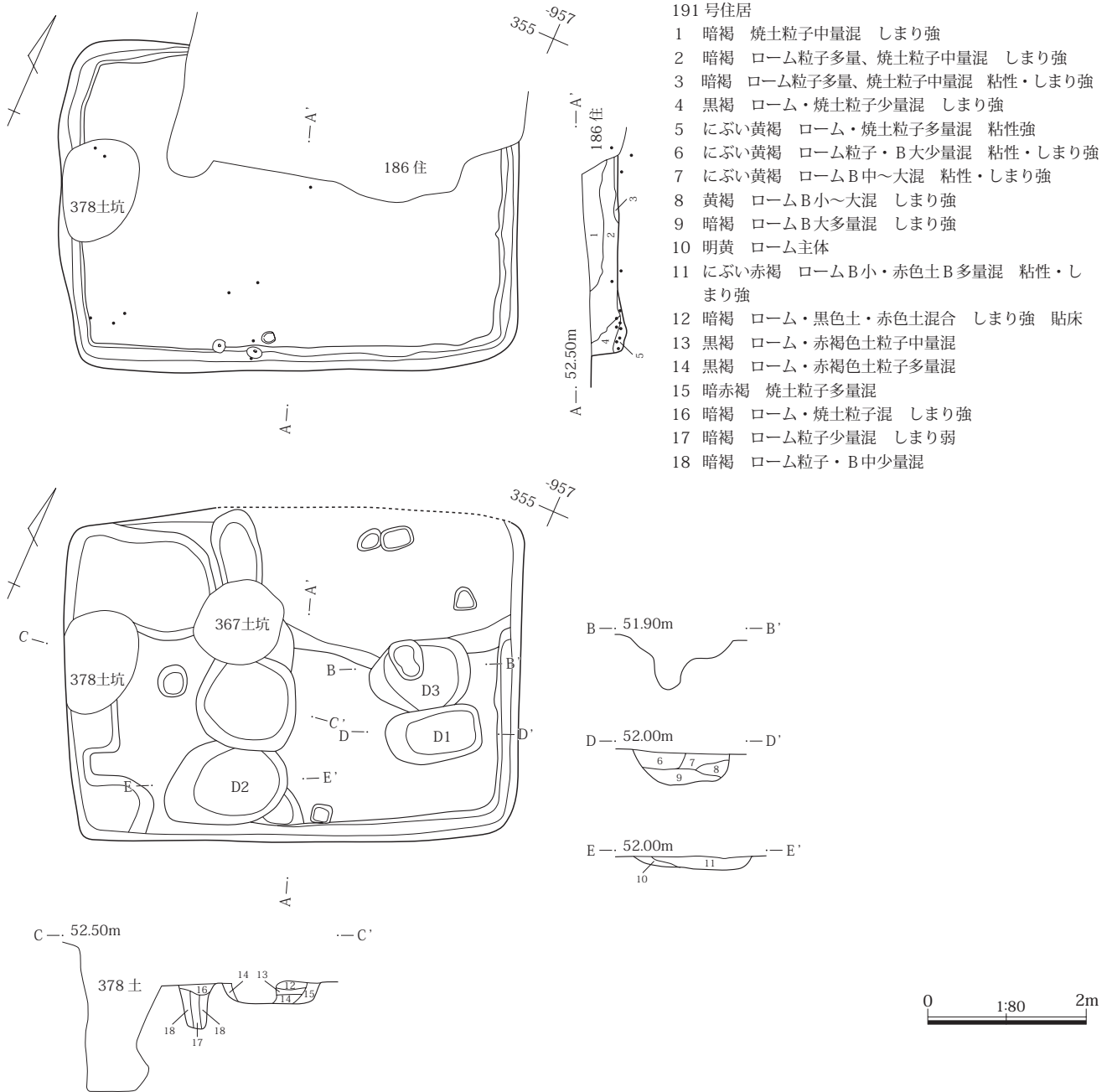
掘り方 床下土坑・ピット多数あり。他は掘り方を床面とする。

カマド 不明

時期 壁際出土の遺物から、8世紀第2四半期か。



第109図 191号住居出土遺物



第110図 191号住居使用面・掘り方

193号住居 (第111図、PL31)

位置 352～356 -976～981 Gr

重複関係 129・180・182・194住、753ピットより旧

長辺 (4.35)m 短辺 4.27m

長辺/短辺 (1.02) 壁高 26cm

面積 (19.29)m² 床面積 (15.78)m²

主軸方位 N-15°-W

壁溝 東壁(北壁不明) 貯蔵穴 不明

柱穴 なし

埋没土 ロームを含む黒褐色土・黄褐色土。

床面状態 ロームを含む黄褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。

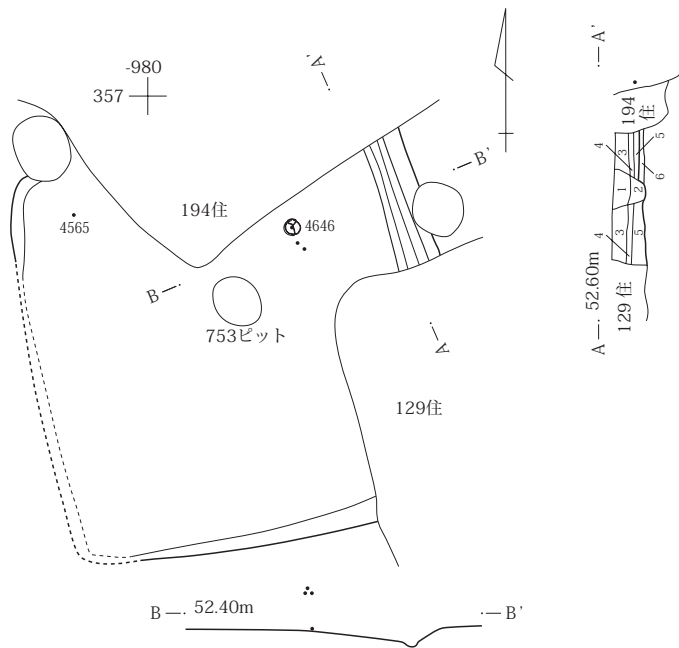
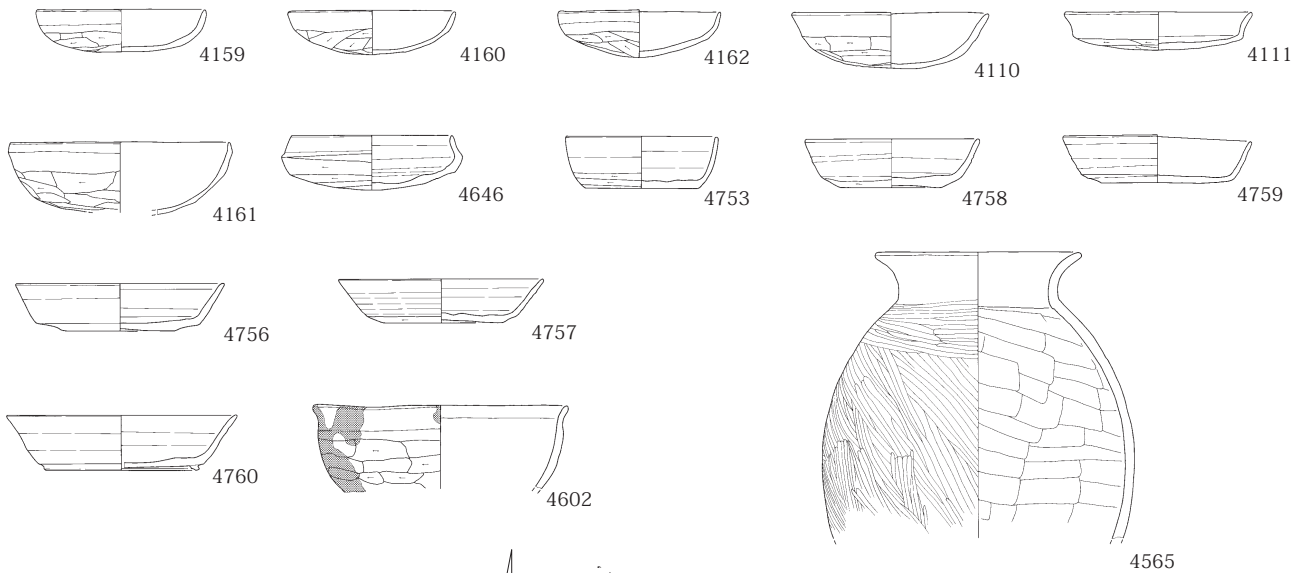
遺物出土状況 北東部に集中している。埋土中からは半完形の遺物が多く出土しているが、床面から浮いた状態であるため、廃棄・流入遺物がほとんどか。4565・4646は床面上の出土である。

掘り方 掘り方を床面とする部分が多い。全体的にやや軟弱。

カマド 不明

時期 図示された遺物から、8世紀第2～第3四半期か。

III 検出された遺構と出土遺物



193号住居

- 1 黒褐 ローム・白色粒子少量混
- 2 にぶい黄褐 ローム粒子多量混
- 3 黒褐 ローム粒子・B、焼土少量混
- 4 にぶい黄褐 ロームB中多量混 しまり強
- 5 黒褐 ロームB中多量混 しまり強
- 6 黄褐 ローム 砂質

第111図 193号住居

194号住居 (第96・112・113図、PL31)

位置 355～359 -976～981 Gr

重複関係 183住より旧 193住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 3.81 m 短辺 (3.40) m

長辺 / 短辺 (1.12) 壁高 55cm

面積 (13.05)m² 床面積 (11.24)m²

主軸方位 N-56°-E

壁溝 なし 貯蔵穴 不明

柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。壁際に三角堆積あり。

南東部床面上に白色粘土塊あり。

床面状態 残存状況悪いが、残存部分は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 出土量は少なく、破片がほとんど。流入遺物が多いか。

掘り方 掘り方を床面とする。掘方図は96図183・194号住居掘り方にあり。

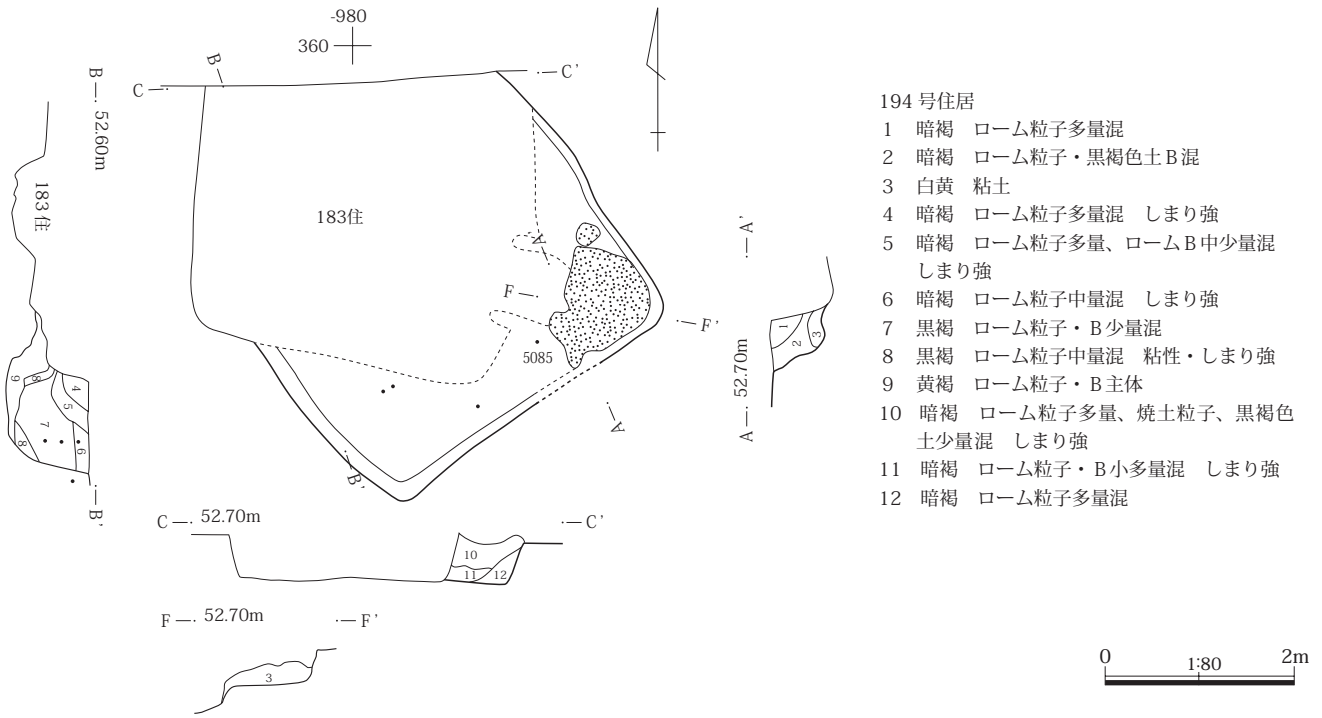
カマド 不明

備考 南東部の粘土塊は比較的純度の高いものであるが、重複により遺構の残存状況が悪いため、性格は不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。図示された遺物からは、8世紀第2～第3四半期か。



第112図 194号住居出土遺物



第113図 194号住居使用面

195号住居 (第114・115図、PL31・32)

位置 352～357-991～997 Gr

重複関係 140・145・199住より新 175・198住より旧

13号掘立より新? 平面形態 隅丸方形

長辺 4.65 m 短辺 3.94 m 長辺/短辺 1.18

壁高 40cm 面積 17.51㎡ 床面積 13.04㎡

主軸方位 N-72°-E 壁溝 残存部分全周。

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土・褐色土・にぶい黄褐色土。北部・東部に向かって上がるレンズ状堆積。

床面状態 床下土坑・ピット以外は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 東部中心。上層～床面。完形・半完形の遺物もあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄

・流入遺物が多いか。

掘り方 床下土坑・ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 354・355-991～993 Gr

壁位置 東壁やや南

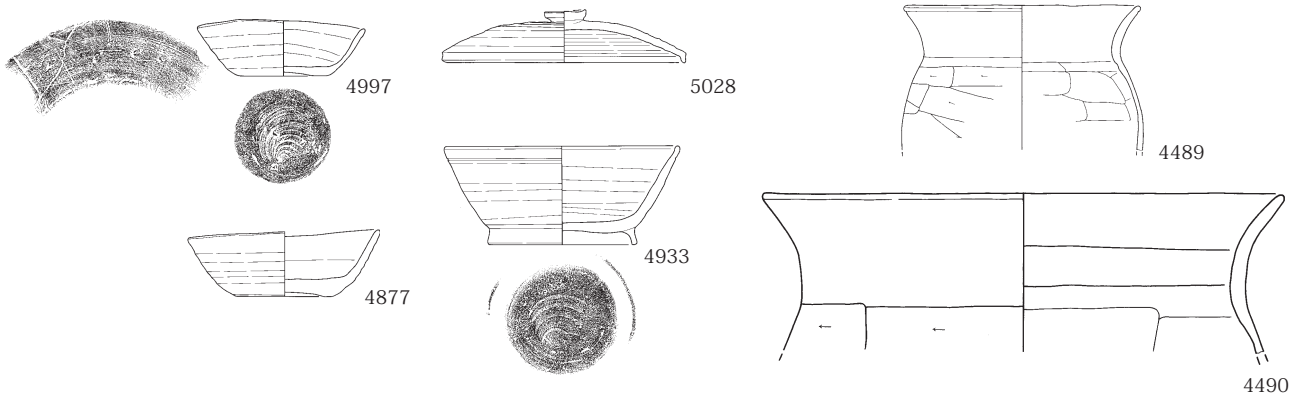
全長 1.27 m 幅 1.40 m

主軸方位 N-70°-W

構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

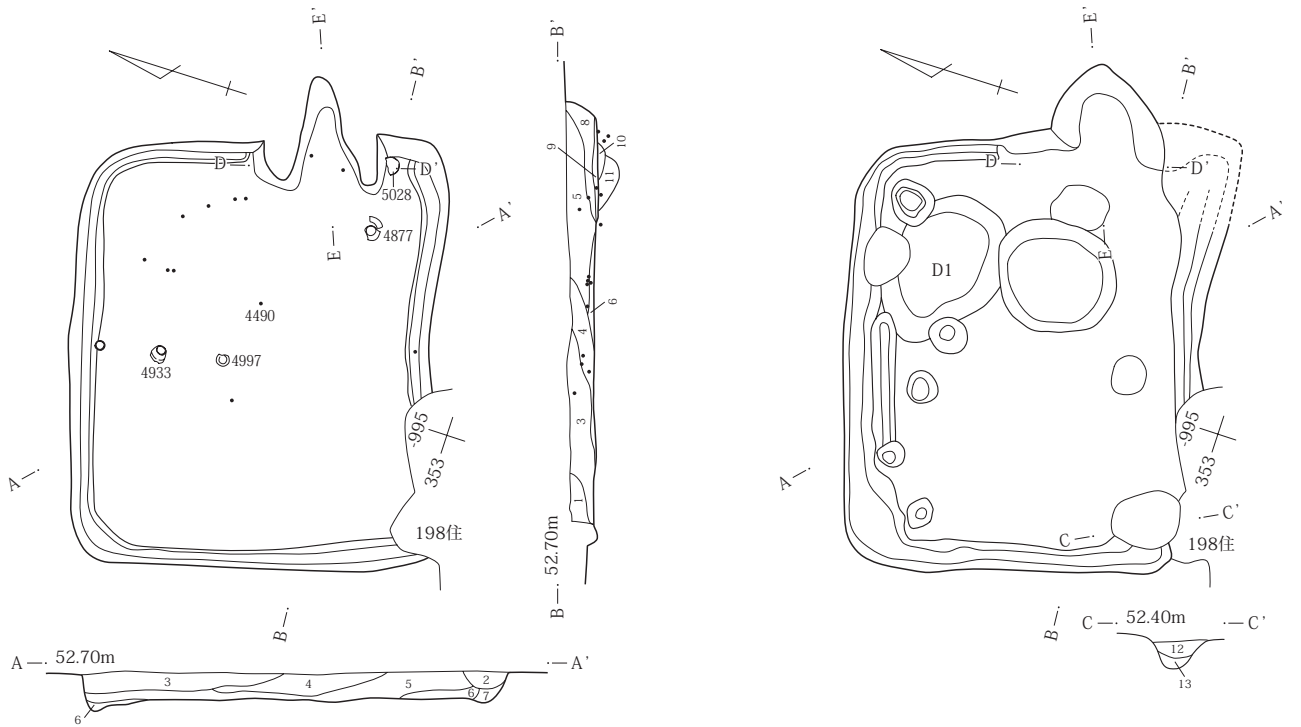
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 図示された遺物から、8世紀第4四半期か。



第114図 195住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物

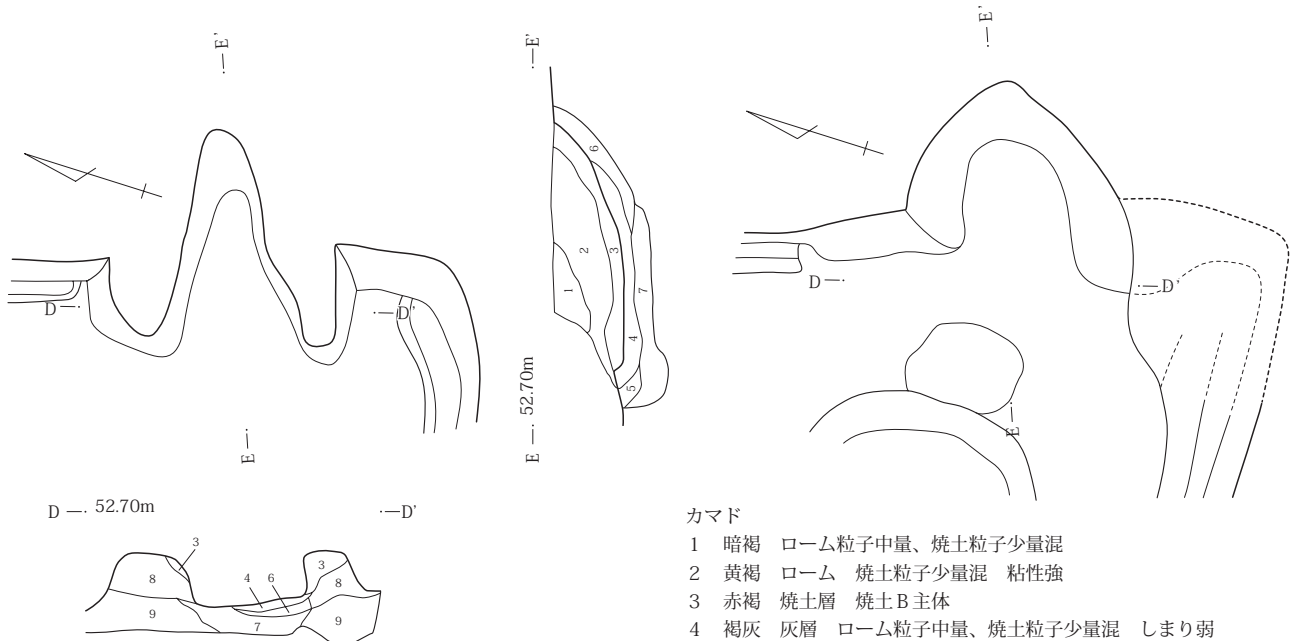


195号住居

- 1 暗赤褐 焼土粒子多量混 しまり強
- 2 褐灰 耕作土
- 3 暗褐 焼土粒子少量混
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混 しまり強
- 5 暗褐 ローム粒子・B小多量混 しまり強
- 6 褐 焼土粒子少量混 しまり強

- 7 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 しまり強
- 8 にぶい黄褐 ローム・焼土多量混 粘性しまり強
- 9 黒褐 焼土粒子・炭化物・灰混 粘性強 しまり弱
- 10 にぶい黄褐 ローム粒子・焼土多量混 粘性・しまり強
- 11 黒褐 ロームB中量混
- 12 にぶい黄褐 ローム粒子多量 ロームB小中量混 しまり強
- 13 黄褐 ローム主体 暗褐色土少量混 しまり強

0 1:80 2m



カマド

- 1 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混
- 2 黄褐 ローム 焼土粒子少量混 粘性強
- 3 赤褐 焼土層 焼土B主体
- 4 褐灰 灰層 ローム粒子中量、焼土粒子少量混 しまり弱
- 5 暗褐 ローム粒子少量混 しまり強
- 6 黄褐 ローム・焼土粒子主体 しまり弱
- 7 黄褐 6層の土に暗褐色土・ロームB少量混 粘性強
- 8 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘土層 しまり強
- 9 黒褐 (10YR2/2) ロームB中中量、赤色粒子少量混 しまり強

0 1:40 1m

第115図 195号住居使用面・掘り方・カマド

196号住居 (第116図)

位置 359・360-963～968 Gr

重複関係 189住より新 365土坑より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形?

長辺 [4.45] m 短辺 [0.96] m 長辺/短辺 不明

壁高 15cm 面積 [2.43]m² 床面積 [2.00]m²

主軸方位 N-78°-E 壁溝 南壁なし(他は不明)

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。

床面状態 掘り方を床面とする。

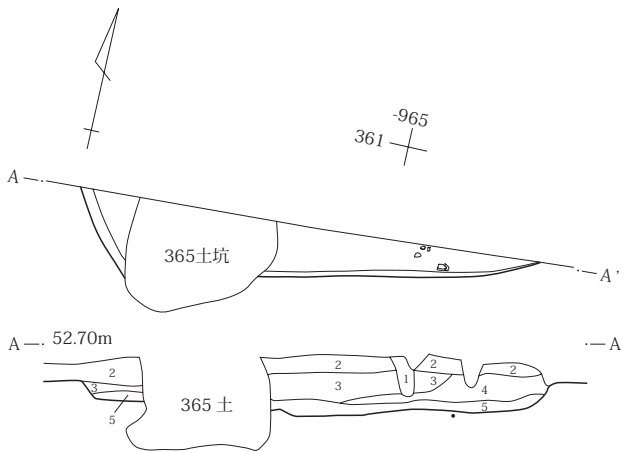
遺物出土状況 破片が少量出土。ほとんど流入遺物か。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 大部分調査区外のため、詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



196号住居

- 1 暗褐 ローム粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B小中量、焼土粒子少量混
- 4 暗褐 ロームB中量混
- 5 黒褐 ロームB中混 砂質



第116図 196号住居

198号住居 (第117・118図、PL32)

位置 349～353-993～997 Gr

重複関係 175・185住より旧 195住より新 371

土坑 平面形態 隅丸長方形 長辺 3.86 m

短辺 3.17 m 長辺/短辺 1.22 壁高 47cm

面積 (14.82)m² 床面積 (12.15)m²

主軸方位 N-18°-W

壁溝 東壁～南壁 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む褐色土で貼床。

遺物出土状況 出土量は少なく、カマド付近に集中。中

層～床面中心。カマド出土のもの以外は、流入遺物が多いか。4399・5001は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑2基。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 352・353-995・996 Gr

壁位置 北壁やや東

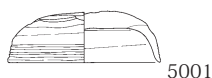
全長 [0.92] m 幅 1.77 m

主軸方位 N-32°-W

構築 重複による削平のため上部は不明。掘り方で両袖部分にピットあり。

遺物出土状況 焚口部・燃焼部から、土師器杯・甕出土。

時期 カマド出土須恵器蓋から、6世紀後半か。



5001



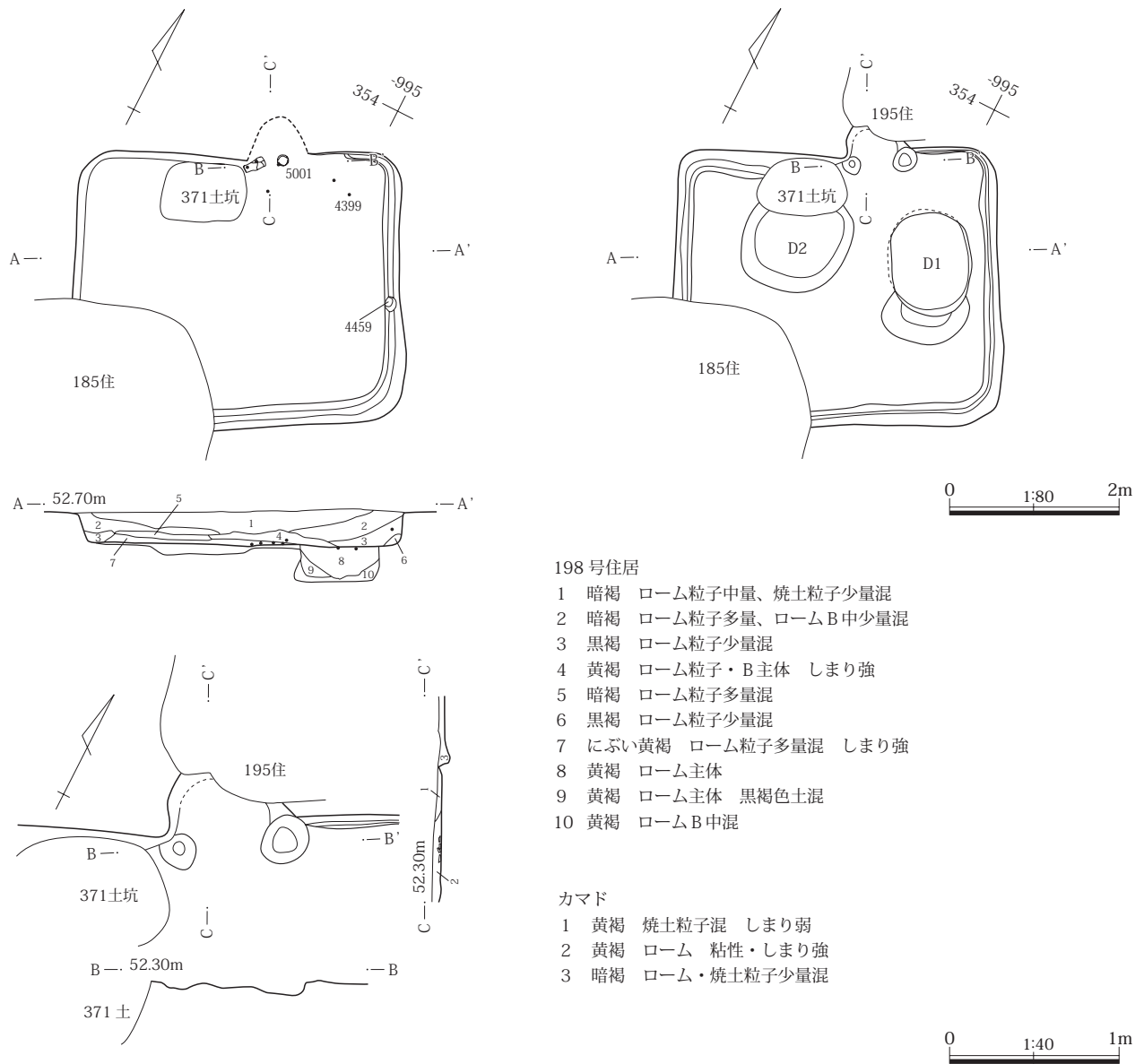
4399



4459

第117図 198号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



第118図 198号住居使用面・掘り方・カマド

199号住居 (第119図、PL32・33)

位置 355～359 -992～998 Gr

重複関係 175・195住より旧 145住・13掘立より

新? 平面形態 隅丸方形 長辺 5.06m

短辺 (4.88)m 長辺/短辺 (1.04) 壁高 38cm

面積 (23.91)m² 床面積 (19.75)m²

主軸方位 N-46°-W

壁溝 残存部分全周。貯蔵穴 不明

柱穴 4基? 3基検出。北東隅部は調査区外か。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。南東隅に粘土塊あり。

床面状態 ピットを除き掘り方を床面とする。

遺物出土状況 出土量は少なく、中層～床面中心であるが、カマド以外は散在。ほとんど流入遺物か。4398・

4455・4660は床面上の出土である。

掘り方 南壁・西壁際にピット多数あり。他は掘り方を床面とする。

備考 掘り方検出ではあるが、西壁際にピットが4基方形に並んでいるため、入り口に関係する可能性もあるか。

カマド

位置 358・359 -997 Gr 壁位置 北壁中央

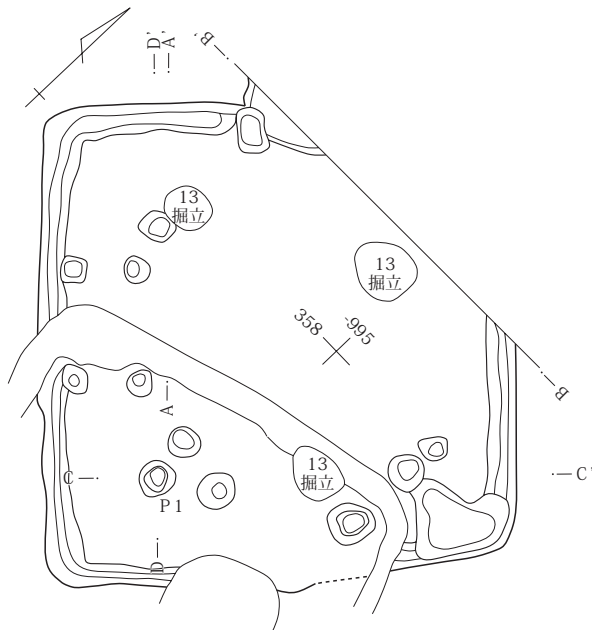
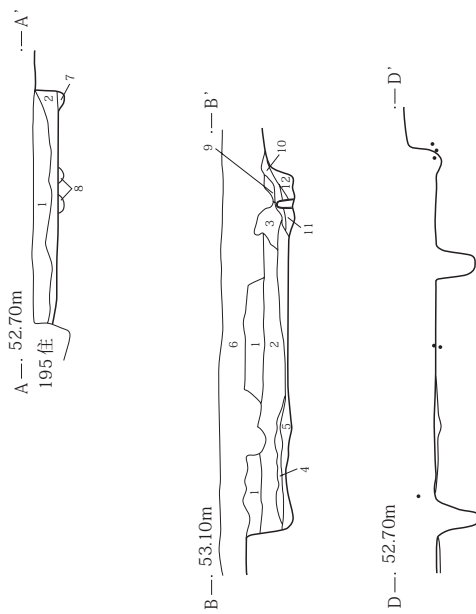
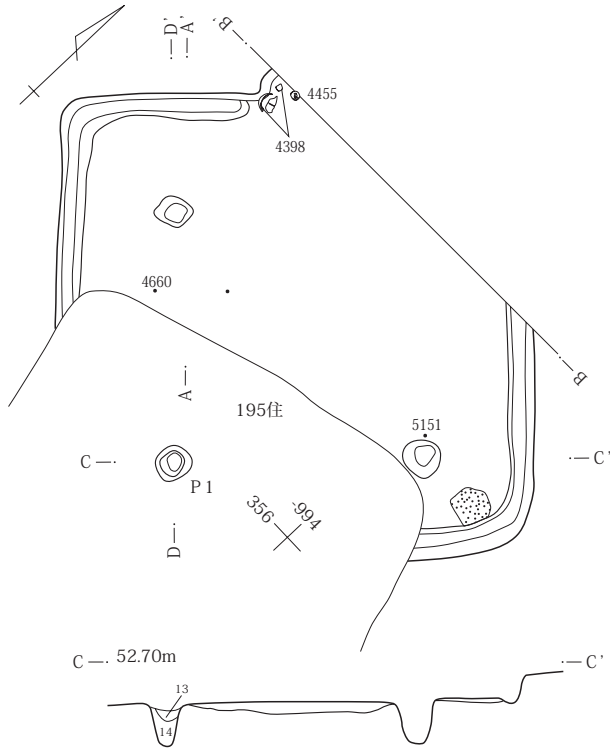
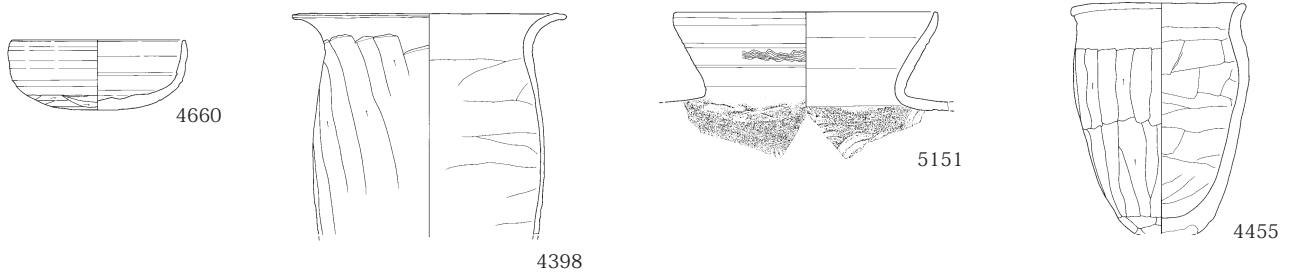
全長 [0.18] m 幅 [0.50] m

主軸方位 N-47°-W

構築 残存状況悪く、大部分調査区外のため詳細不明。

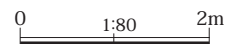
遺物出土状況 焼部から土師器甕出土。

時期 出土遺物少なく詳細は不明だが、図示された遺物によると7世紀前半か。



199号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土・白色粒子少量混
- 2 暗褐 1層の土よりローム粒子若干多
- 3 黄褐 ローム
- 4 明黄 ローム粘土
- 5 暗褐 ローム粒子多量混
- 6 耕作土
- 7 暗褐 ローム粒子多量、ロームB少量混
- 8 暗褐 ローム粒子多量混 しまり強
- 9 黄褐 焼土粒子少量混 しまり弱
- 10 黄褐 ローム・焼土混 粘性・しまり強
- 11 赤褐 焼土B多量混
- 12 黄褐 焼土粒子中量混 粘性強
- 13 黄褐 ローム主体 暗褐色土混 しまり強
- 14 黄褐 ローム主体 しまり強



第119図 199号住居

III 検出された遺構と出土遺物

200号住居(第120・121図、PL12・33)

位置 354～358 -987～991 Gr

重複関係 140・142・145住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 (4.07) m

短辺 (3.17) m 長辺/短辺 (1.28)

壁高 52cm 面積 (12.74)m² 床面積 (9.89)m²

主軸方位 N-69°-E 柱穴 なし

壁溝 北壁～西壁～南壁。東壁なし。

貯蔵穴 掘り方で検出のカマド右脇土坑が貯蔵穴の可能性あり。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で部分的に貼床。全体的に硬化。

遺物出土状況 埋土中から破片が出土したのみ。ほとん

ど流入遺物か。

掘り方 南部一段下がる。土坑・ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 355・356 -987・988 Gr

壁位置 東壁南

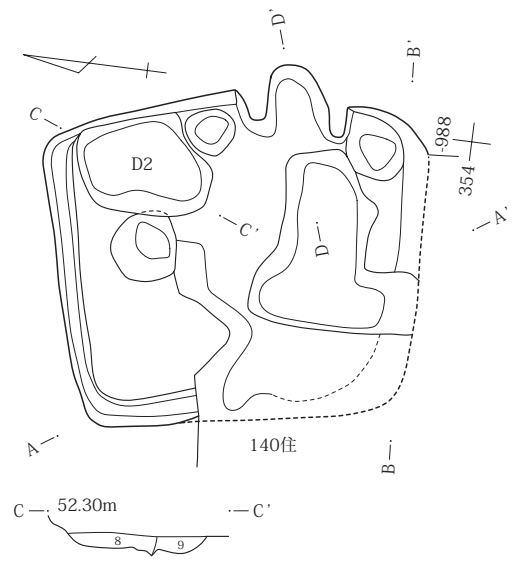
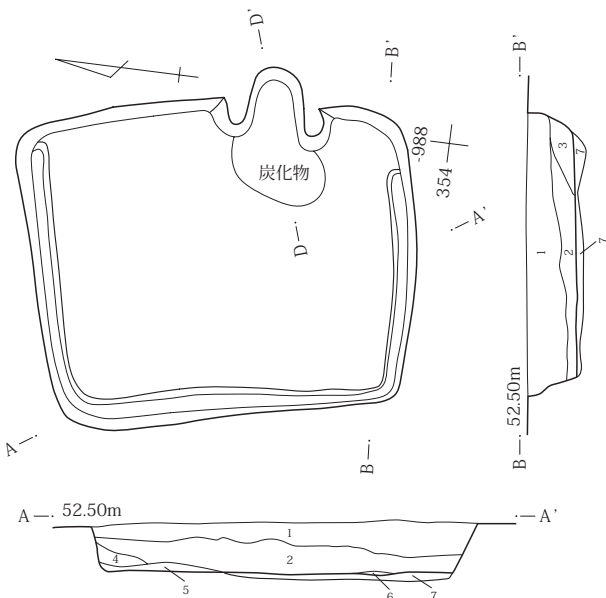
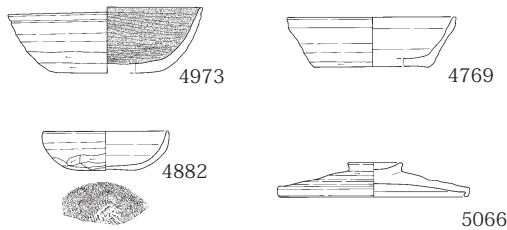
全長 0.86 m 幅 1.17 m

主軸方位 N-80°-E

構築 粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、下面に炭化物の層あり。燃烧部奥壁は急に立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土しただけ。

時期 出土量少なく埋土中の出土であるが、図示された遺物によると8世紀第3～第4四半期か。

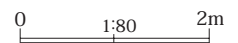


200号住居

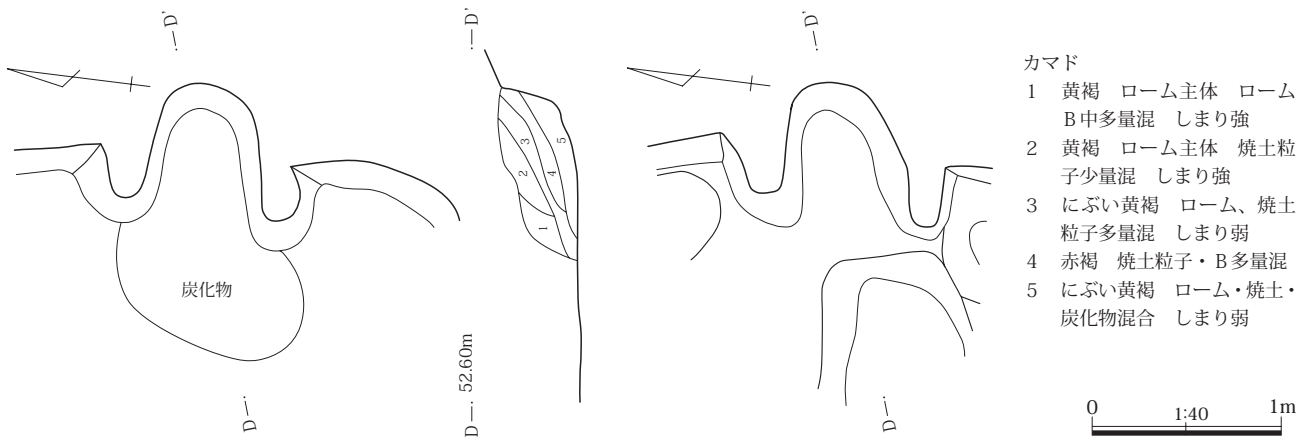
- 1 暗褐 ローム粒子中量、ロームB小・焼土粒子少量混
- 2 暗褐 ロームB中多量、焼土粒子少量混
- 3 暗褐 ロームB中量混
- 4 黒褐 ローム粒子少量混

5 黒褐 ローム土混

- 6 暗褐 粘土
- 7 暗褐 ローム粘土・B多量混 しまり強 貼床
- 8 暗褐 ロームB中少量・焼土粒子微量混
- 9 暗褐 ローム粒子・B小中量混



第120図 200号住居出土遺物・使用面・掘り方



第121図 200号住居カマド

401号住居 (第122図、PL33)

位置 350～354 -017～019 Gr

重複関係 364土坑、P835・859ピットより旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 [3.25] m

短辺 [2.60] m 長辺/短辺 不明 壁高 51cm

面積 [4.70]m² 床面積 [3.90]m²

主軸方位 N-34°-E 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で部分的に貼床。全体的にやや軟弱。

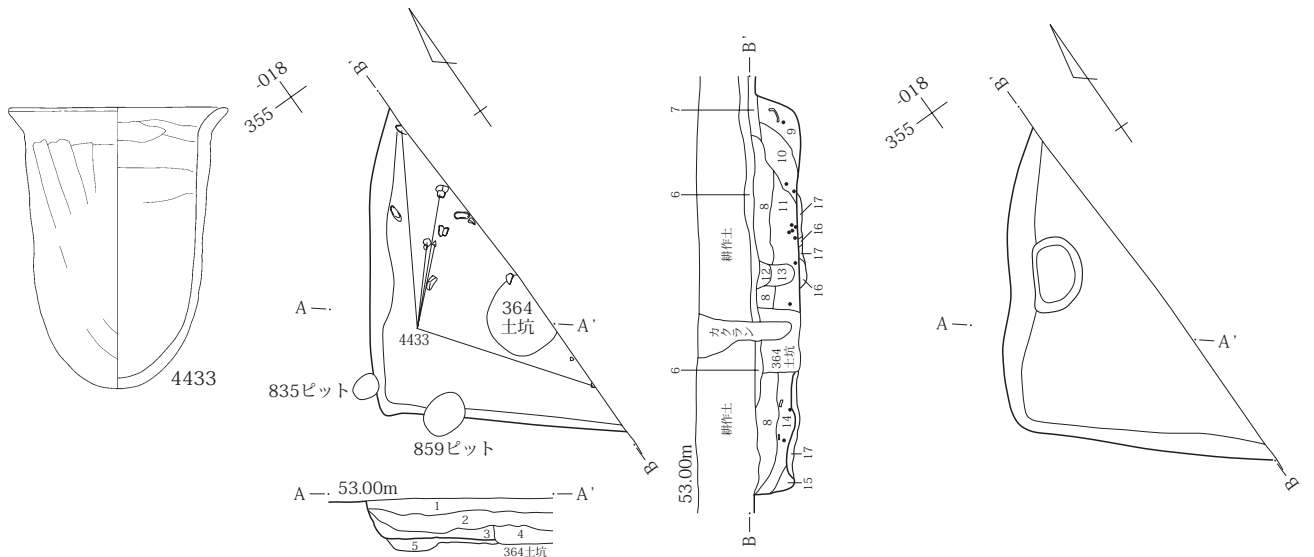
遺物出土状況 出土量は少なく、埋土中に散在。中層～床面中心であるが、完形・半完形のはほとんどなく大部分流入遺物か。

掘り方 ピット1基あり。他は平坦な掘り方。一部掘り方を床面とする。

備考 半分以上調査区外のため詳細不明。

カマド 不明

時期 出土遺物少なく時期不明。



401号住居

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子微量、白色粒子少量混 | 10 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B、焼土粒子少量混 |
| 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量、焼土粒子極微量混 | 11 黒褐 10YR3/2) ローム粒子・B 小少量混 |
| 3 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子中量混 | 12 暗褐 (10YR3/4) 炭化粒子極微量混 |
| 4 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B少量混 | 13 暗褐 (10YR3/4) ロームB小～中少量混 |
| 5 にぶい黄褐 (10YR4/3) | 14 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量混 |
| 6 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子微量、焼土粒子極微量混 | 15 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子中量混 |
| 7 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子少量、焼土粒子微量混 | 16 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子小少量混 |
| 8 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子微量、白色粒子少量混 | 17 にぶい黄褐 (10YR4/3) 地山B少量混 |
| 9 褐色 (10YR4/4) ローム・焼土粒子中量混 | |

第122図 401号住居

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

402号住居 (第123図、PL33)

位置 312～318 - 016～018 Gr

重複関係 405住、841・842・846・847・934ピット

トより旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [4.98] m 短辺 [0.68] m

長辺/短辺 不明 壁高 16cm 面積 [6.92]m²

床面積 [6.62]m² 主軸方位 N-49°-W

壁溝 不明(残存部分なし) 貯蔵穴 不明

柱穴 不明 埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。

床面状態 掘り方を床面とする。全体的にやや硬化。

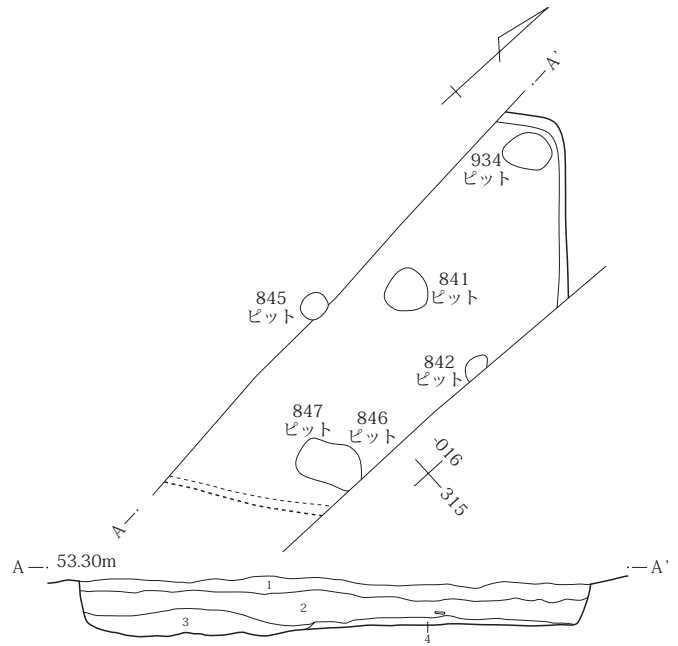
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 半分以上調査区外のため詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。



402号住居

- 1 暗褐(10YR3/3) ローム粒子・焼土粒子中微量混
- 2 黒褐(10YR2/2) ローム粒子微量、焼土粒子極微量混
- 3 黒褐(10YR2/3) ロームB中少量、焼土粒子中極微量混
- 4 暗褐(10YR3/4) ロームB小微量混

第123図 402号住居

403号住居 (第124・125図、PL33・34)

位置 339～343 - 981～985 Gr

重複関係 404・406・410・411住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 3.87 m

短辺 3.09 m 長辺/短辺 1.25 壁高 45cm

面積 11.99m² 床面積 9.72m²

主軸方位 N-54°-E 壁溝 南壁のみ(掘り方で北壁～西壁際に溝検出) 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土を含む黒褐色土。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で部分的に貼床。南部中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土。完形・半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものも多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4279は床面上の出土である。

掘り方 南壁際に土坑状掘り込み・ピット多数あり。北壁～西壁際に壁溝状の溝検出。

カマド

位置 341・342 - 981・982 Gr

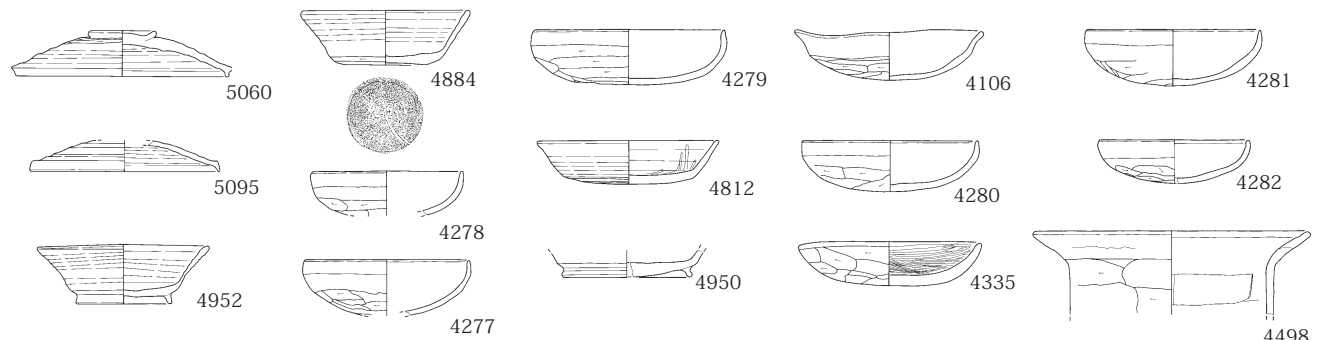
壁位置 東壁南 全長 0.96 m 幅 0.74 m

主軸方位 N-67°-E

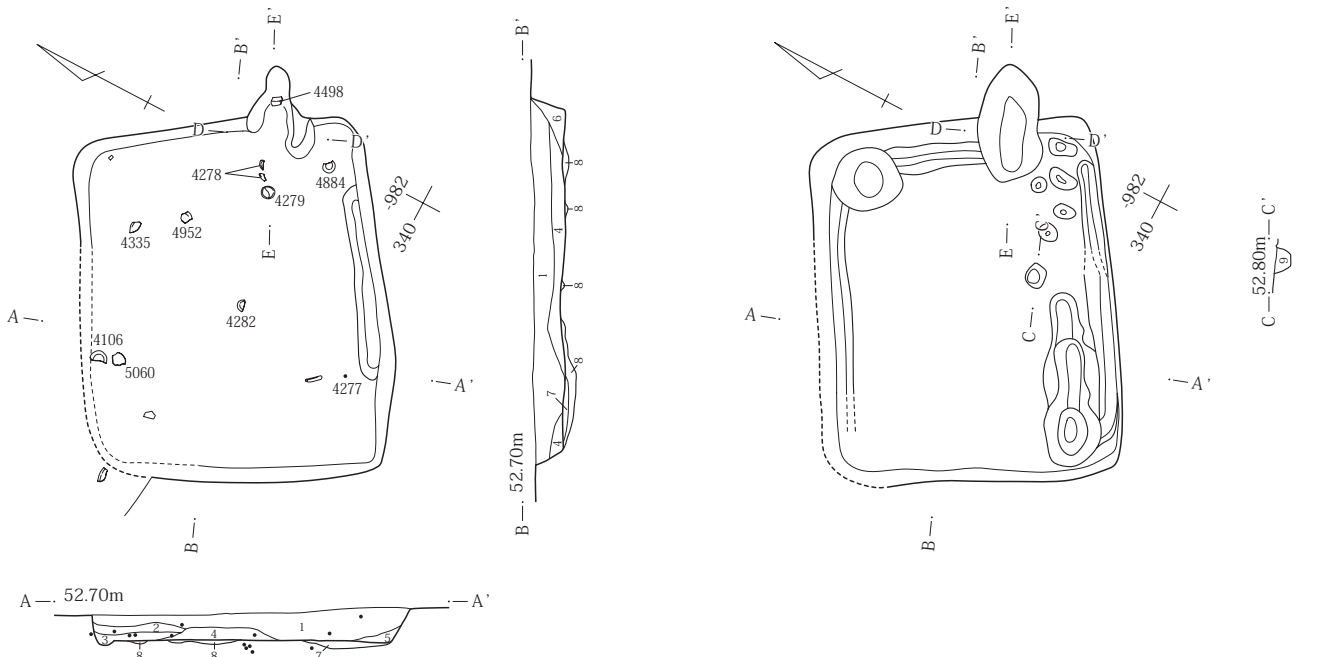
構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部から土師器甕出土。他は破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄遺物と断定できるものはないが、図示された遺物から、8世紀第2四半期か。



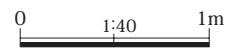
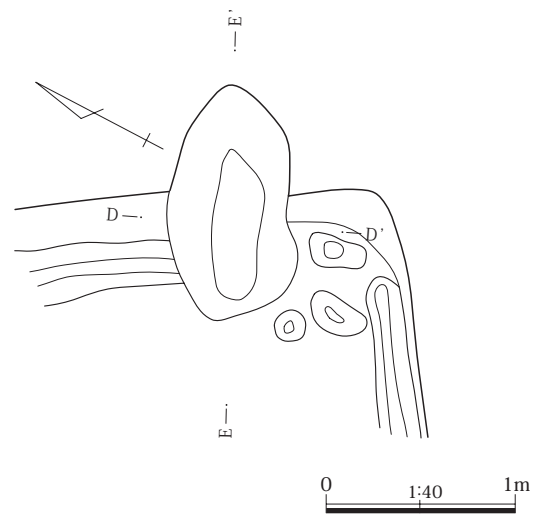
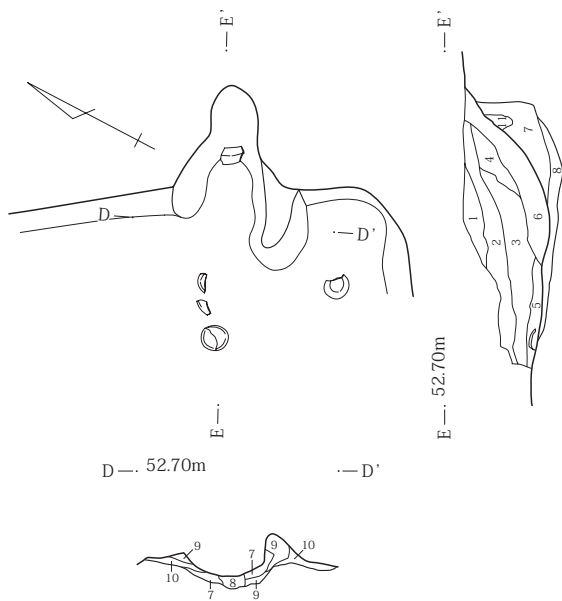
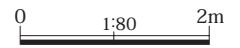
第124図 403号住居出土遺物



403号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中、焼土粒子多量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中中量、焼土粒子少量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混

- 5 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中中量混
- 6 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子微量混
- 7 黒褐 (10YR2/3) ロームB大量混 しまり強 貼床
- 8 黒褐 ロームB中・焼土粒子少量混 しまり強
- 9 黒褐 ローム粒子・焼土少量混



カマド

- 1 暗褐 ローム・白色粒子少量、焼土粒子微量混 しまり弱
- 2 黄褐 ローム粘質土・暗褐色土混合 粘性強
- 3 黒褐 ローム粒子・B、焼土B少量混 しまり弱
- 4 暗赤褐 ローム・焼土・炭化物・灰混 しまり弱
- 5 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 粘性・しまり強
- 6 暗褐 ローム粒子、焼土粒子・B混合 しまり弱

- 7 暗褐 焼土・炭化物・灰多量混 灰層 しまり弱
- 8 黒褐 ローム粒子・B中量混 しまり強
- 9 黄褐 ローム粘質土 しまり強
- 10 黒褐 ローム粒子・B少量混 しまり強
- 11 焼土塊

第125図 403号住居使用面・掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

404号住居 (第126図、PL34)

位置 342~345 -983~986 Gr

重複関係 123・411住より新 403・406住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 3.62 m 短辺 [1.01] m

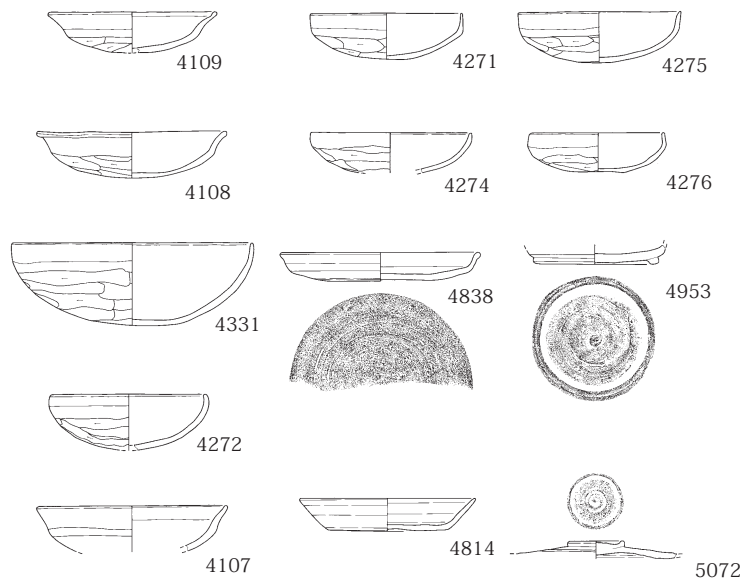
長辺/短辺 不明 壁高 29cm 面積 [5.82]m²

床面積 [4.58]m² 主軸方位 N-20°-W

壁溝 北壁~西壁 (南壁~東壁南部不明)

貯蔵穴 不明 柱穴 なし?

埋没土 ローム・焼土を含む黒褐色土。



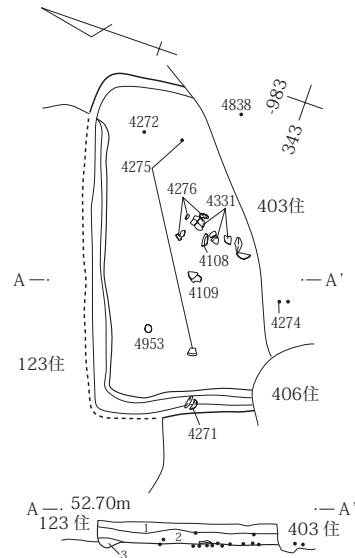
床面状態 掘り方を床面とする。ほぼ平坦。

遺物出土状況 残存部ほぼ全面から出土。中層~床面中心。半完形の遺物もあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4108・4109は床面上の出土である。

掘り方 掘り方を床面とする。カマド 不明

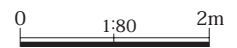
備考 重複により半分以上が切られるため詳細不明。

時期 遺棄遺物は少ないが、図示された遺物から8世紀第2四半期か。



404号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小中量混



第126図 404号住居

405号住居 (第127図、PL34)

位置 312~315 -017 Gr

重複関係 402住より旧

平面形態 方形または長方形 長辺 [1.85] m

短辺 [0.98] m 長辺/短辺 不明 壁高 33cm

面積 [0.96]m² 床面積 [0.74]m²

主軸方位 N-32°-E

壁溝 不明 (残存部分なし) 貯蔵穴 不明

柱穴 不明

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 重複による削平及び調査区外のため詳細不明。

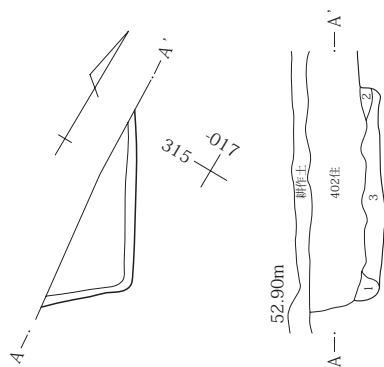
遺物出土状況 埋土中から破片が少量出土したのみ。

掘り方 詳細不明

備考 大部分調査区外で、重複により上部を削平されているため詳細不明。

カマド 不明

時期 出土遺物少なく時期不明。



405号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小~大中量混



第127図 405号住居

406号住居 (第128図、PL34)

位置 338～342 - 984～988 Gr

重複関係 403住より旧 404住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 3.58 m

短辺 2.82 m 長辺/短辺 1.27 壁高 47cm

面積 (10.07) m² 床面積 (6.94) m²

主軸方位 N-56°-E 壁溝 全周

貯蔵穴 なし? 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 掘り方を床面とする。

遺物出土状況 埋土中から破片が少量出土したのみ。

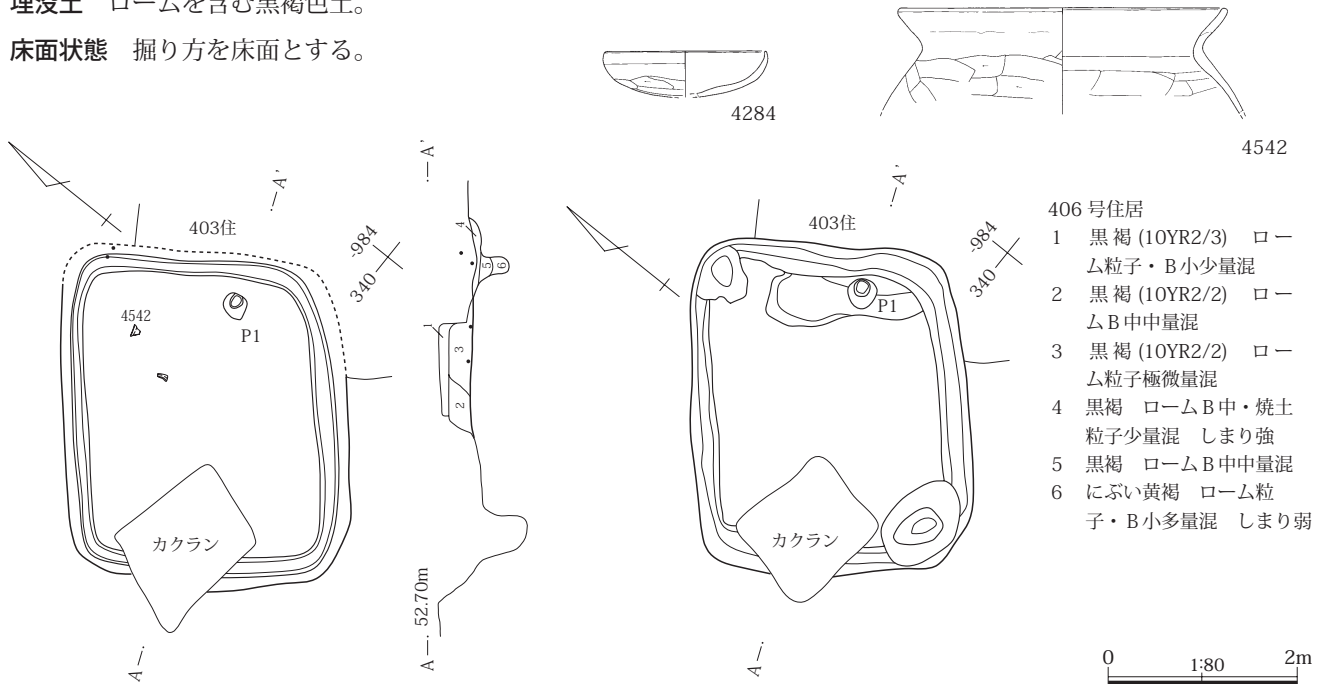
4542は床面上の出土である。

掘り方 掘り方を床面とする。

備考 壁溝はあるが、カマド・柱穴等の施設はなく、一般的な住居ではない可能性もある。

カマド なし

時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物から、8世紀代第2～第3四半期か。



第128図 406号住居

408号住居 (第129図、PL35)

位置 347～352 - 985～992Gr

重複関係 123・124住より旧 平面形態 隅丸方形

長辺 4.77 m 短辺 4.57 m 長辺/短辺 1.04

壁高 33cm 面積 (22.54) m²床面積 (20.12) m² 主軸方位 N-58°-E

壁溝 残存部なし。

貯蔵穴 掘り方でカマド右脇に検出された掘り込みが貯蔵穴の可能性あり。柱穴 4基。3ヶ所で2基ずつ重複しており、建替えの可能性あり。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 土坑・溝状掘り込み以外は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 出土量は少なく、カマド右脇に集中する。完形・半完形の遺物が比較的多く、床面から浮いた状態のものもあるが、床面付近のものは遺棄遺物か。

掘り方 溝状の掘り込み2条を北壁際で検出。他に土坑状掘り込みが数基ある以外は、掘り方を床面とする。

備考 掘り方で確認された掘り込みは、壁と柱穴をつなぐ位置にあるため、間仕切り溝か。

カマド

位置 349・350 - 986・987 Gr

壁位置 東壁中央 全長 0.90 m 幅 0.78 m

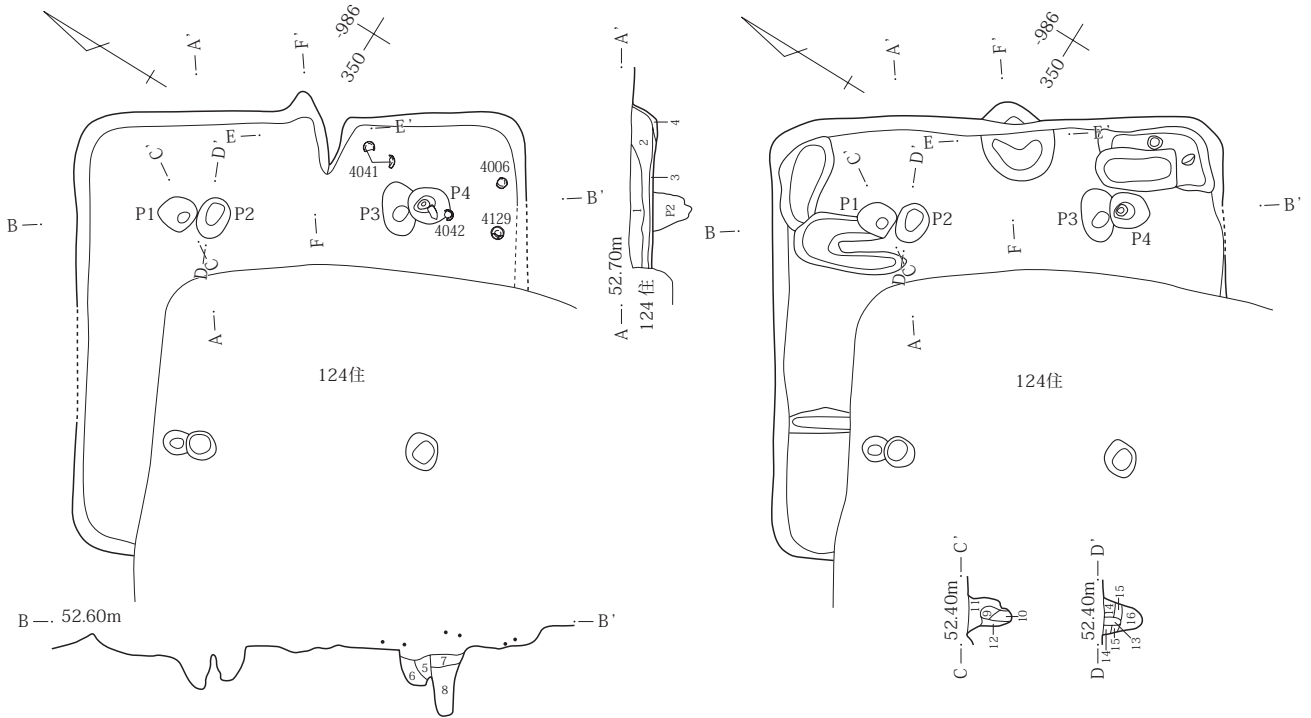
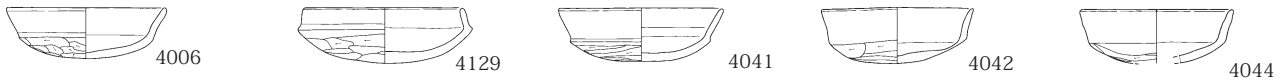
主軸方位 N-53°-E

構築 黄褐色粘質土で袖を構築しているが、右袖のみ残存し、左袖は残っていない。焚口部・燃焼部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃焼部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 右袖横から土師器杯が出土しているが、他はほとんど出土していない。

時期 遺棄・廃棄遺物から、6世紀後半か。

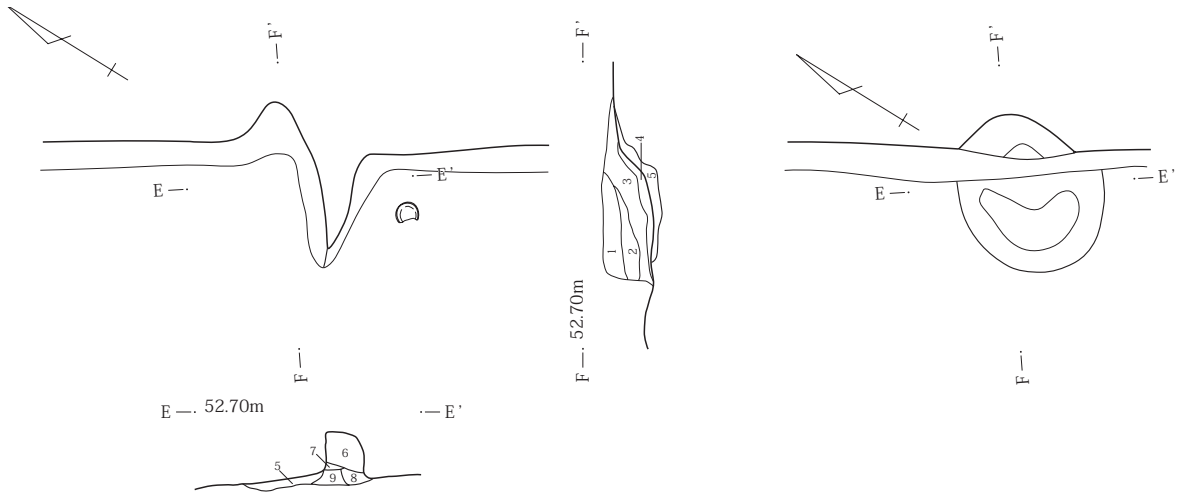
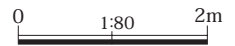
III 検出された遺構と出土遺物



408号住居

- 1 黒褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 ローム粒子中量混
- 3 にぶい黄褐 ローム粒子多量、ロームB小少量混
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子・黒褐色土混
- 5 黄褐 ローム主体 暗褐色土少量混 しまり弱
- 6 黄褐 ローム主体 しまり強
- 7 黄褐 ローム粒子・黄褐色土粘土B混 しまり強
- 8 黄褐 ローム粒子・B小・YP?混 しまり弱
- 9 にぶい黄褐 ローム粒子・B小・暗褐色土少量混 しま

- 10 黄褐 ローム粒子・B小・YP?混 しまり弱
- 11 黄褐 ローム粒子混 しまり強
- 12 黄褐 ローム粒子・YP?混 しまり強
- 13 暗褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 14 黄褐 ローム主体 しまり強
- 15 にぶい黄褐 ローム主体 暗褐色土少量混 しまり強
- 16 黄褐 ローム粒子・B小・YP?混



カマド

- 1 にぶい黄褐 ローム主体 黒褐色土少量混 しまり強
- 2 褐 焼土粒子中量混
- 3 褐 ローム粒子・焼土B中多量混 しまり強
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子・砂質土主体 しまり弱

- 5 黄褐 ローム主体 やや砂質 しまり弱
- 6 黄褐 粘質土
- 7 黒褐 粘質土
- 8 にぶい黄褐 ローム粒子多量混
- 9 黄褐 ローム粒子多量、ロームB小少量混



第129図 408号住居

409号住居(第130・131図、PL35)

位置 334～339-976～981 Gr

重複関係 410・433住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 4.39 m

短辺 4.11 m 長辺/短辺 1.07 壁高 62cm

面積 17.76㎡ 床面積 12.34㎡

主軸方位 N-77°-E

壁溝 カマドを除き全周。掘り方ではカマド部分も含め全周し、北壁部には内側にもう1条あり。

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 床下土坑以外は掘り方を床面とする。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 北部と南部に多く中央部は少ない。上層から床面まで出土。完形・半完形のものもあるが、床面

から浮いた状態のものが多く、廃棄遺物が多い。壁際や床面上のものは遺棄遺物か。4291・4429は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑3基、ピット1基あり。他は掘り方を床面とする。

備考 北壁部は壁溝が2重にあるため、拡張・建替えの可能性あり。

カマド

位置 336・337-976・977 Gr

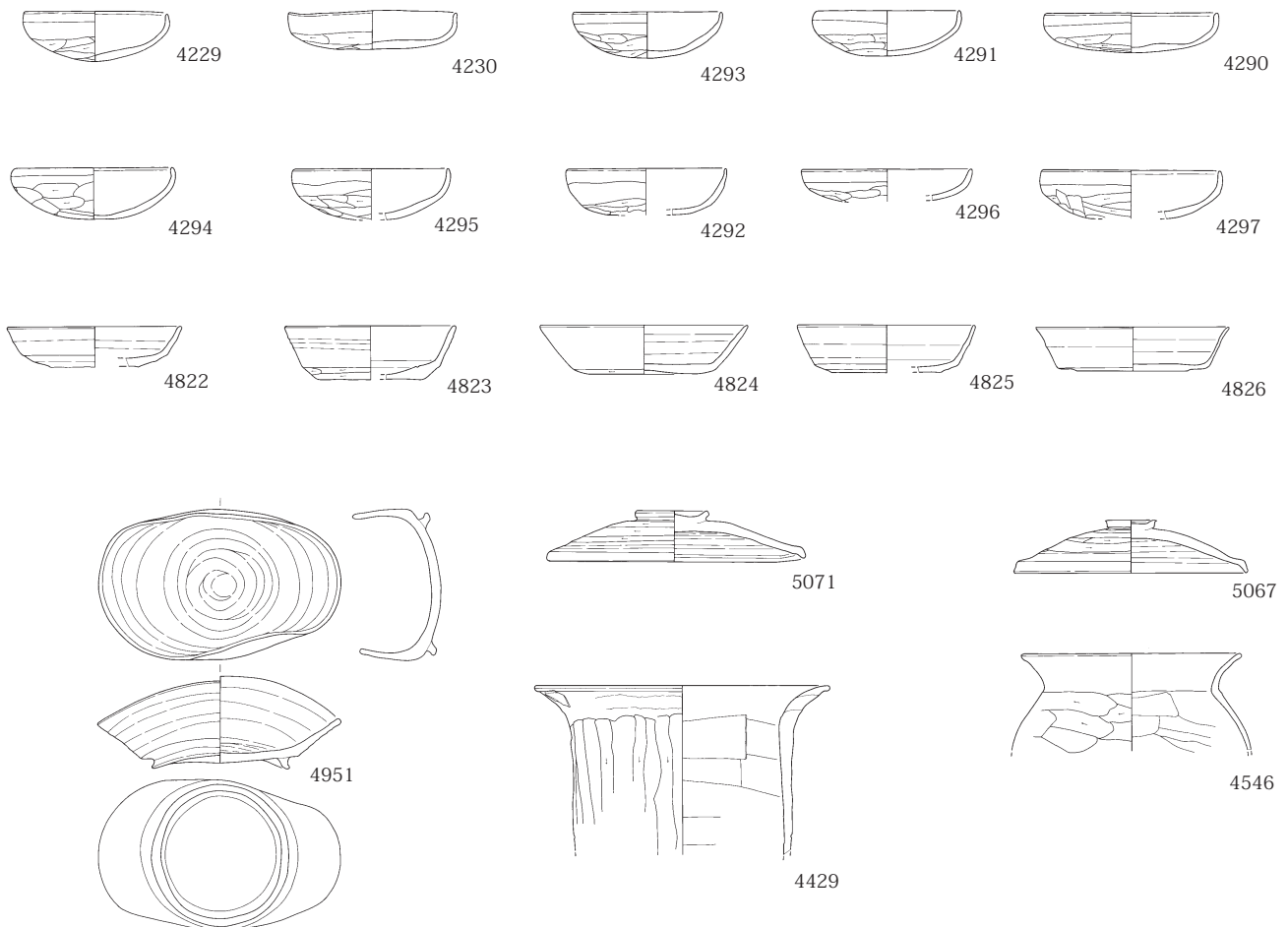
壁位置 東壁南 全長 1.19 m 幅 0.90 m

主軸方位 N-75°-E

構築 黄褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

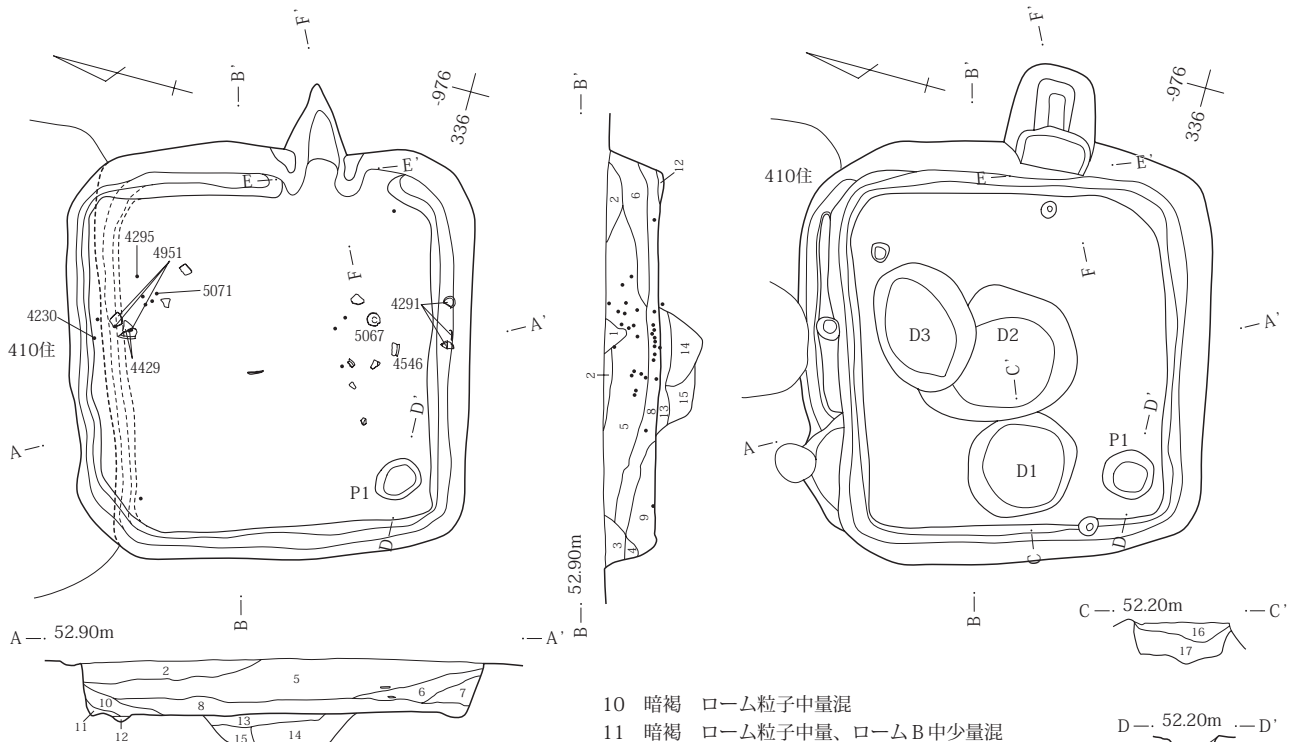
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄・廃棄遺物から、8世紀第2四半期か。



第130図 409号住居出土遺物

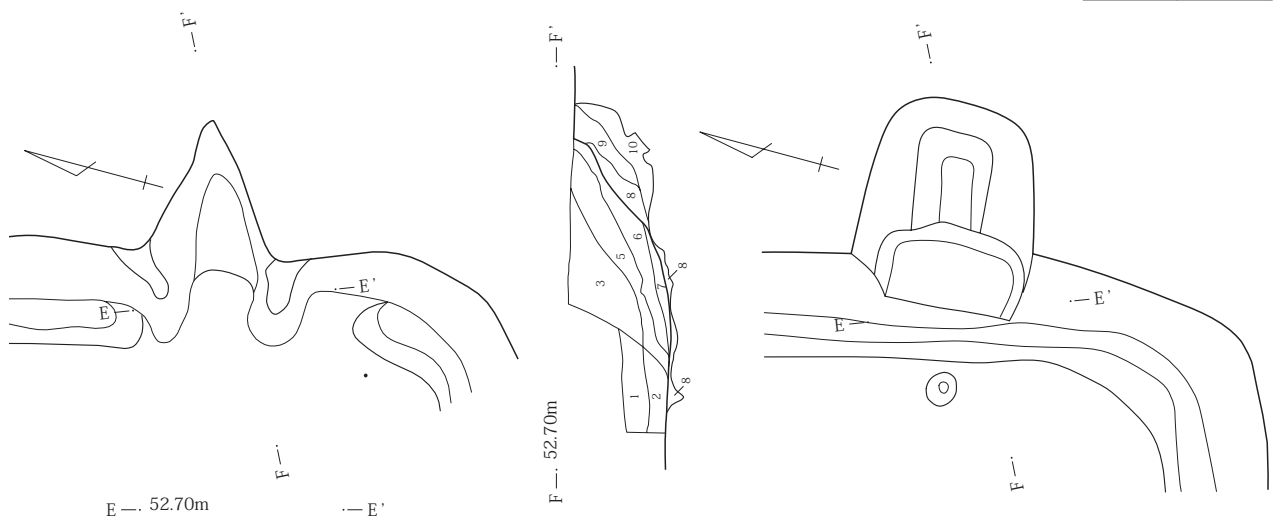
III 検出された遺構と出土遺物



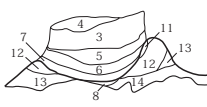
409号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土多量混
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子少量 礫多量混 しまり強
- 3 暗褐 ローム・白色粒子中量混 しまり強
- 4 暗褐 ローム粒子中量混 しまり強
- 5 暗褐 ローム粒子中量、ロームB中少量混
- 6 暗褐 ローム粒子中量、黒褐色土B中少量混
- 7 黒褐 ローム粒子少量混
- 8 黒褐 ローム粒子・B中少量混 しまり強
- 9 暗褐 ローム粒子中量、黒褐色土B中少量混

- 10 暗褐 ローム粒子中量混
- 11 暗褐 ローム粒子中量、ロームB中少量混
- 12 にぶい黄褐 ローム主体
- 13 にぶい黄褐 ローム主体 暗褐土混 しまり強
- 14 黄褐 ローム主体 暗褐土少量混 しまり強
- 15 黄褐 ローム主体 黄褐土混 しまり強
- 16 暗褐 ロームB多量混
- 17 暗褐 ロームB少量混
- 18 黄褐 ローム主体 しまり強
- 19 黄褐 ローム 粘性強

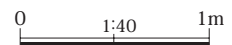


カマド



- 1 黒褐 焼土・炭化物多量混
- 2 黒褐 焼土少量混 しまり弱
- 3 暗褐 ローム粒子・焼土少量混
- 4 暗褐 ローム多量混
- 5 黄褐 ローム 粘性・しまり強
- 6 赤褐 焼土B層 しまり強
- 7 暗褐 灰層 炭化物混 しまり弱

- 8 暗赤褐 灰層 焼土粒子・B少量混
- 9 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子微量混
- 10 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 砂質状
- 11 赤褐 焼土
- 12 黄褐 ローム 粘土状 しまり強
- 13 にぶい黄褐 ローム粘土B少量、ローム・赤褐色土粒子混
- 14 にぶい黄褐 ロームB中少量混 しまり強



第131図 409号住居使用面・掘り方・カマド

410号住居 (第132図、PL36)

位置 338～343-977～983 Gr

重複関係 403・409・411住、453土坑より旧 417

住より新 平面形態 隅丸方形 長辺 4.92 m

短辺 (4.16) m 長辺/短辺 (1.18)

壁高 50cm 面積 (20.06) m²

床面積 (15.18) m² 主軸方位 N-37°-W

壁溝 カマドを除き残存部分全周。 貯蔵穴 不明

柱穴 4基? 1基は453土坑に壊されるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。

床面状態 床下土坑以外は掘り方を床面とする。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少ないが北東部がやや多くなっ

ている。完形・半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多い。壁際の2点は遺棄遺物か。4288は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑2基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 342・343-980・981 Gr

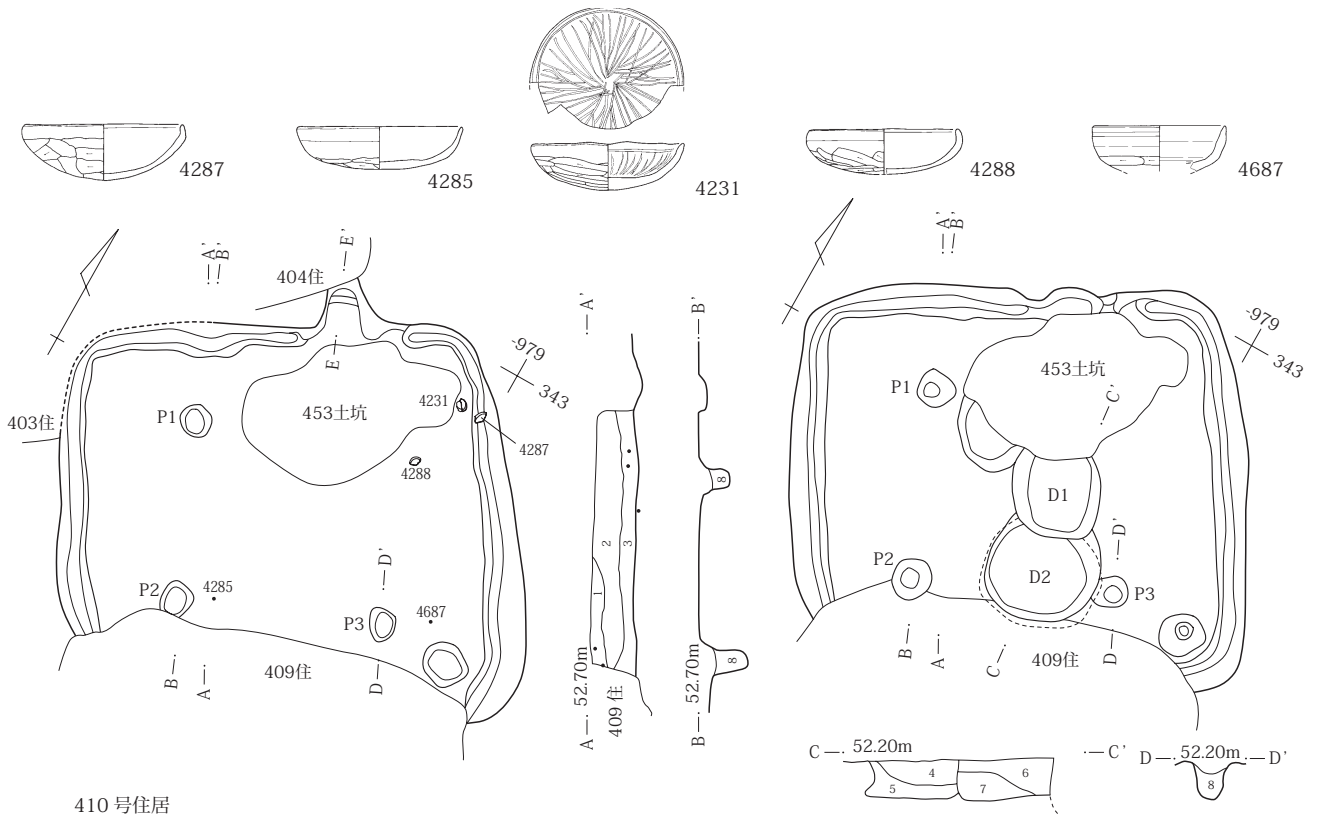
壁位置 北壁東 全長 [0.60] m

幅 0.77 m 主軸方位 N-31°-W

構築 残存状態悪く袖構築材不明。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁は段を持って立ち上がる。

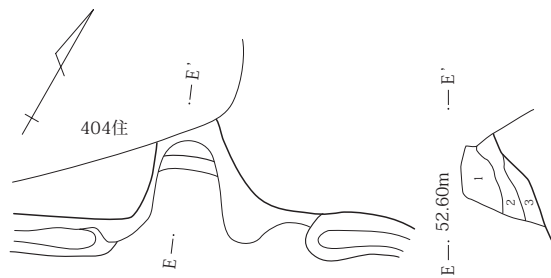
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄・廃棄遺物から、8世紀前半か。



410号住居

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量、礫多量混 しまり強 | 5 黒褐 ロームB少量混 しまり強 |
| 2 暗褐 ローム粒子中量、ロームB中少量混 | 6 黄褐 ローム主体 しまり強 |
| 3 黒褐 ローム粒子中量、ロームB小～大少量混 | 7 にぶい黄褐 ローム主体 黒褐色土混 しまり強 |
| 4 にぶい黄褐 ローム主体 しまり強 | 8 にぶい黄褐 ローム主体 ローム粒子・暗褐色土混 |



カマド

- | |
|--------------------------|
| 1 暗褐 ローム・白色・赤褐色粒子少量混 |
| 2 黄褐 ローム主体 焼土・暗褐色土混 しまり強 |
| 3 黄褐 ローム・焼土少量混 しまり強 |

第132図 410号住居

III 検出された遺構と出土遺物

411号住居 (第133図、PL36)

位置 341～344 - 980～983 Gr

重複関係 403・404住、439・440土坑より旧 410

住より新 平面形態 隅丸長方形 長辺 3.12 m

短辺 2.52 m 長辺/短辺 1.24 壁高 44cm

面積 [3.94] m² 床面積 [2.70] m²

主軸方位 N-43°-E

壁溝 北壁～東壁～南壁・西壁一部 柱穴 なし

貯蔵穴 掘り方検出のカマド右脇土坑状掘り込みが貯蔵穴か。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、大部分が破片で少量出土したのみ。図示された2点は床面からやや浮くが、壁

際であり遺棄遺物の可能性もある。

掘り方 細かい凹凸はあるが、全体的に平坦な掘り方。

カマド

位置 343・344 - 983 Gr 壁位置 北壁中央

全長 0.30 m 幅 0.43 m

主軸方位 N-38°-W

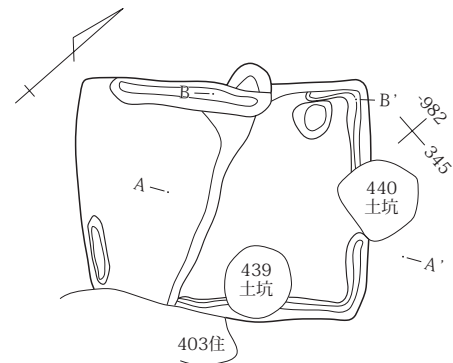
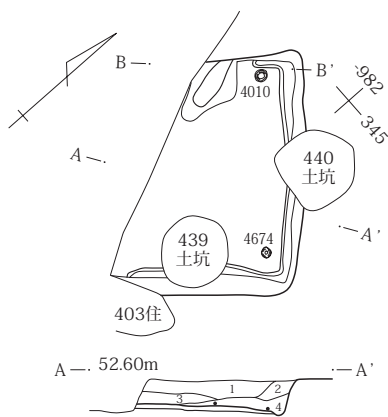
構築 残存状態悪く袖ははっきりと検出できていない。掘り方で形態確認。

遺物出土状況 ほとんどなし。

備考 北壁際に焼土があり。カマド関係のものと考えられるが、袖等は残存していない。

備考 重複のため西半部は掘り方で検出。中央の段は重複住居の壁の可能性もある。

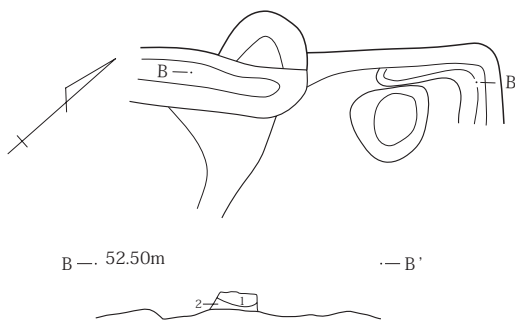
時期 図示された遺物から、7世紀第2～第3四半紀か。



411号住居

- 1 暗褐 ローム粒子・黒褐色土B小中量混
- 2 褐 ローム・焼土粒子少量混
- 3 黒褐 ローム粒子・B小少量混
- 4 暗褐 ローム粒子・B小少量混

0 1:80 2m



カマド

- 1 暗赤褐 ローム・焼土混合層 しまり強
- 2 暗褐 ローム粒子少量混

0 1:40 1m

第133図 411号住居

412号住居 (第134図、PL36・37)

位置 323～326 -010・011 Gr

重複関係 457住より新 2038ピットより旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 3.24 m

短辺 [0.53] m 長辺/短辺 不明 壁高 18cm

面積 [2.63] m² 床面積 [2.19] m²

主軸方位 N-87°-E 壁溝 東壁なし。他は不明。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む黒褐色土。壁際に三角堆積あり。

床面状態 掘り方を床面とする。ほぼ平坦で全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 カマド以外は破片が少量出土したのみ。ほとんど流入遺物か。

掘り方 掘り方を床面とする。

備考 住居の大部分は調査区外のため詳細不明。

カマド

位置 322・323 -010・011 Gr 壁位置 東壁南

全長 1.00 m 幅 1.13 m

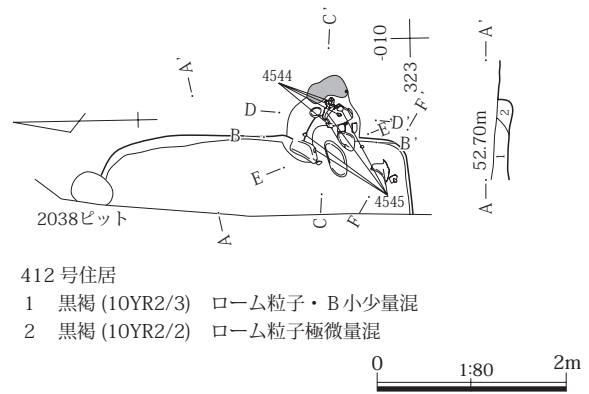
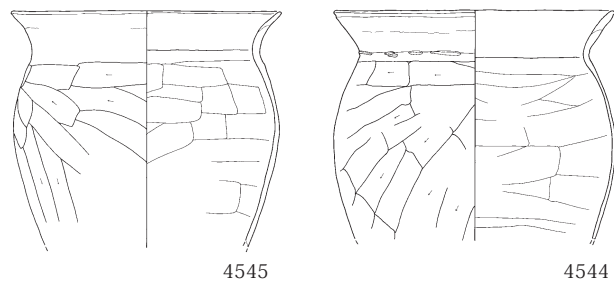
主軸方位 N-90°-W

構築 自然礫を補強材として、暗褐色土で袖及び燃烧部壁を構築か。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

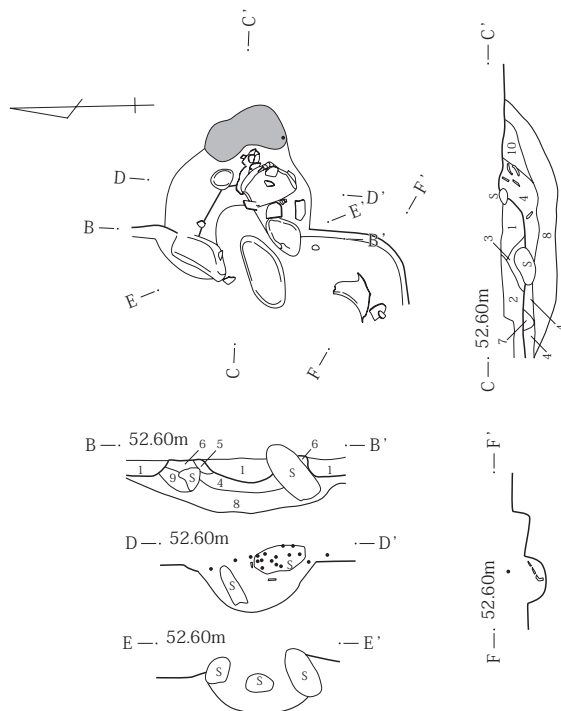
遺物出土状況 構築材の礫以外は、カマド右脇及び燃烧部から土師器甕の破片が出土している。

備考 袖以外に自然礫を構築材としている数少ないカマドである。

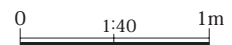
時期 出土遺物が少なくはっきりしないが、図示された遺物から、8世紀後半か。



- 412号住居
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混
 - 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子極微量混



- 1 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) 焼土・粘土粒子微量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B小中量、粘土粒子少量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 6 暗褐 (10YR3/3) 粘土B小～中多量混
- 7 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子微量混
- 8 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子微量混 粘性・しまり弱
- 9 暗褐 (10YR3/3) ローム・粘土粒子中量混
- 10 暗褐 (10YR3/2) 焼土B中多量混



第134図 412号住居

III 検出された遺構と出土遺物

413号住居(第135・136図、PL37)

位置 338～342 -967～971 Gr

重複関係 436住より新 平面形態 隅丸長方形

長辺 4.09 m 短辺 2.92 m 長辺/短辺 1.40

壁高 72cm 面積 11.98㎡ 床面積 8.73㎡

主軸方位 N-26°-W 貯蔵穴 なし

壁溝 北壁東部～東壁、南壁西部 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積であるが、東西方向は、東に向かってあがる。壁際に三角堆積あり。

床面状態 土坑以外は、掘り方を床面とする。平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量少なく埋土中に散在。

掘り方 床下土坑・土坑状掘り込み、ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 341・342 -969・970 Gr

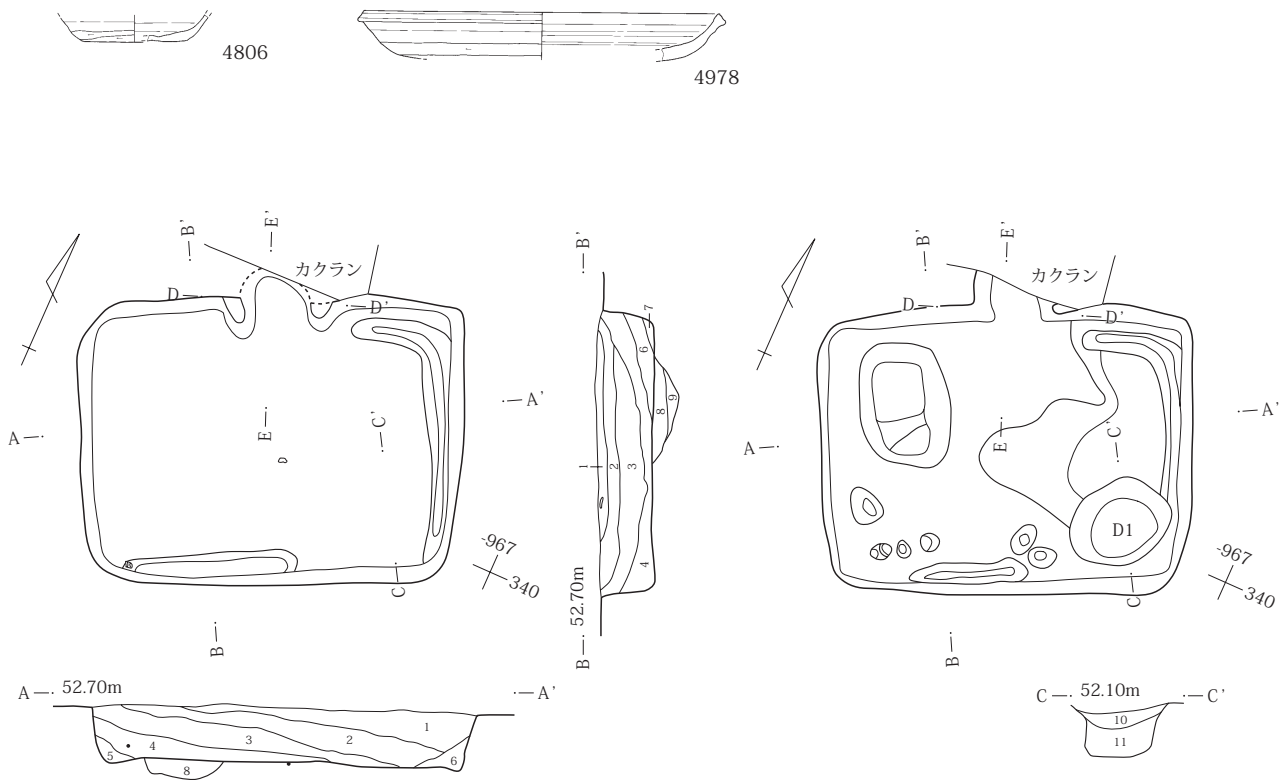
壁位置 北壁中央 全長 (0.75) m

幅 1.13 m 主軸方位 N-32°-W

構築 黄褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。重複のため奥壁不明。

遺物出土状況 ほとんど出土せず。

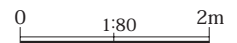
時期 出土遺物少なく時期不明。



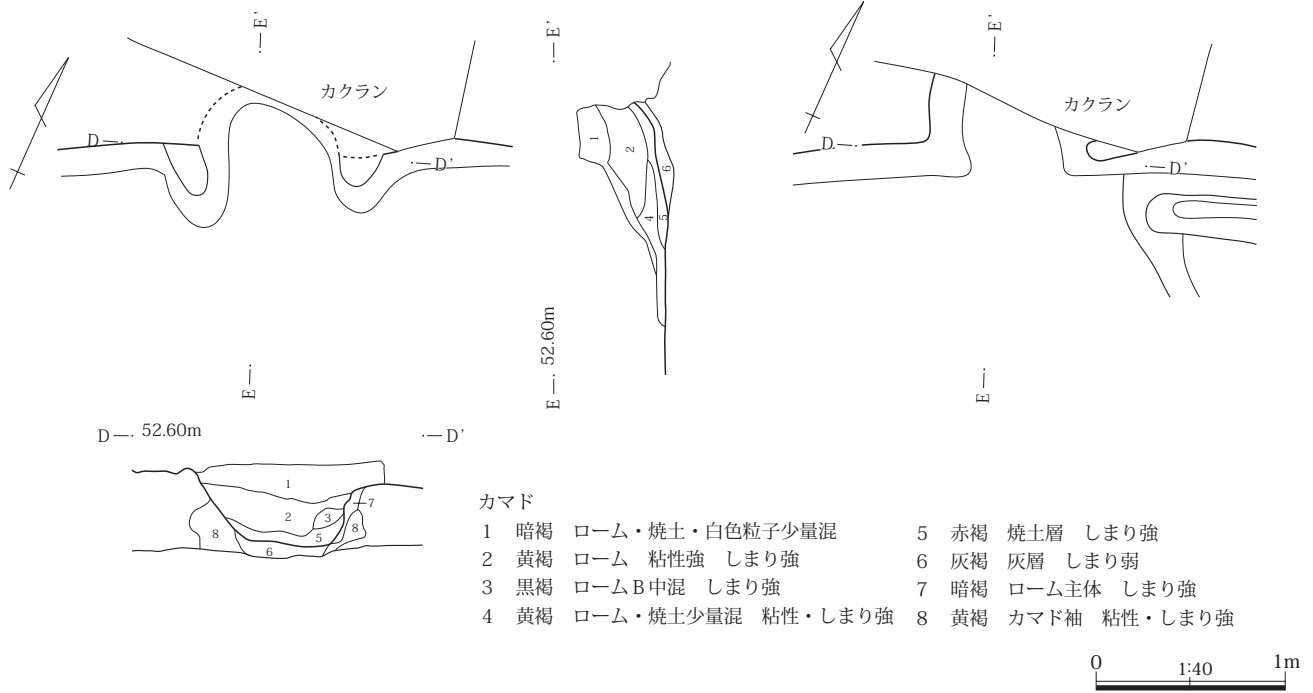
413号住居

- 1 暗褐 ローム・白色粒子中量、ロームB中少量混
- 2 暗褐 ローム粒子多量、ロームB中少量混
- 3 黒褐 ローム粒子・B中少量混
- 4 暗褐 ローム粒子中量、ロームB中少量混
- 5 黒褐 ローム粒子中量混

- 6 黒褐 ローム粒子少量混
- 7 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 しまり弱
- 8 黄褐 ローム主体 しまり強
- 9 黄褐 ハードロームB中・ローム粒子・赤褐色粒子混 しまり強
- 10 黄褐 ローム主体 黒褐色土混 しまり強
- 11 黄褐 ローム主体 粘性・しまり強



第135図 413号住居出土遺物・使用面・掘り方



第136図 413号住居カマド

414号住居 (第137・138図、PL37)

位置 339～342 -962～967 Gr

重複関係 445住より新 455土坑より旧

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.27 m

短辺 2.94 m 長辺/短辺 1.45 壁高 42cm

面積 13.07㎡ 床面積 9.63㎡

主軸方位 N-96°-E

壁溝 北壁西部～西壁～南壁西部

貯蔵穴 掘り方検出のカマド右脇の掘り込みが貯蔵穴の可能性もあるが、規模が小さすぎるか。

柱穴 なし 埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 ロームを含む黄褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく埋土中に散在。半完形の遺物もあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 床下土坑2基。土坑状・溝状掘り込みあり。他は凹凸の多い掘り方。

カマド1(南・新)

位置 340・341 -962・963Gr

壁位置 東壁やや南 全長 0.61 m

幅 0.70 m 主軸方位 N-102°-E

構築 残存状況悪く構築材不明。左袖は自然礫を補強材とするか。焚口部・燃烧部底面は平坦で灰層は見られない。奥壁の立ち上がりは急である。

遺物出土状況 燃烧部から須恵器皿が出土しているが、他は小破片のみである。

カマド2(北・旧)

位置 341 -962・963 Gr 壁位置 東壁北

全長 0.92 m 幅 0.76 m

主軸方位 N-88°-E

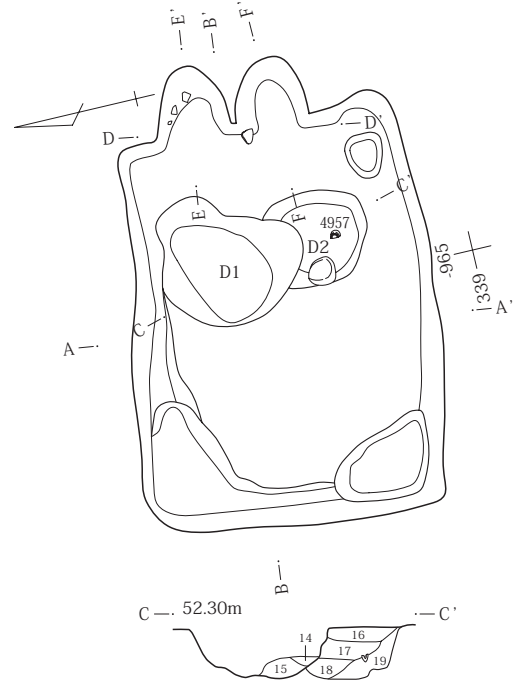
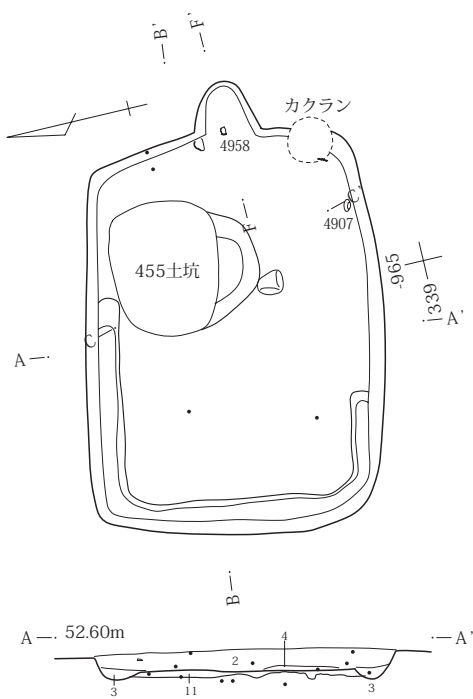
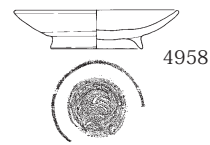
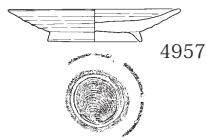
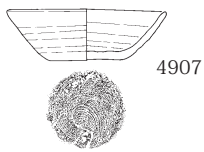
構築 残存状況悪く構築材不明。焚口部・燃烧部底面は平坦で灰層は見られない。奥壁の立ち上がりはややなだらかである。

遺物出土状況 土師器の破片が数点出土しているが、他はほとんど出土していない。

備考 同じ壁にカマドを作り変えている住居はこの1軒だけで、旧カマドは壁に向かって左に寄っているため他の住居と異なっており、当遺跡で特殊な存在である。

時期 カマド出土の須恵器皿等から、9世紀前半代か。

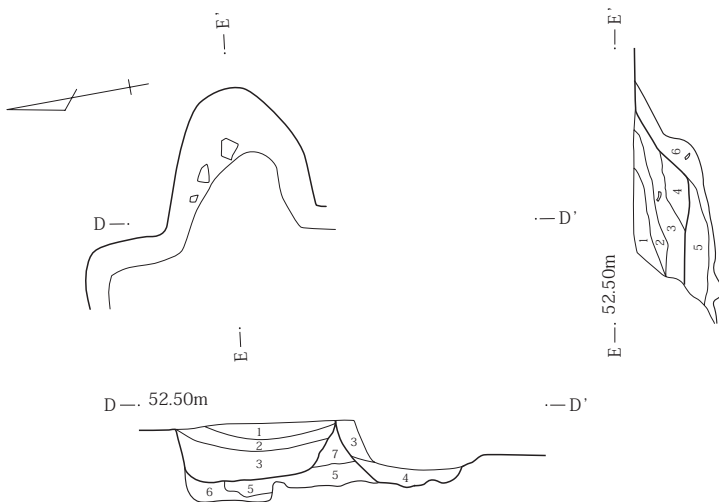
III 検出された遺構と出土遺物



414号住居

- 1 暗褐 小礫少量混
- 2 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子微量混
- 3 にぶい黄褐 ローム粒子・土壌多量混
- 4 にぶい黄褐 ローム・暗褐色土混合 しまり強
- 5 暗褐 ローム粒子・B混
- 6 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混 粘性強
- 7 にぶい黄褐 ローム・焼土混 粘性強
- 8 暗褐 ローム粒子中量混
- 9 にぶい黄褐 ローム粒子多量、焼土粒子少量混 しまり弱
- 10 黄褐 ローム主体

- 11 黄褐 ローム・暗褐色土少量混 しまり強
- 12 黄褐 ローム少量混 粘性強
- 13 黄褐 ローム・暗褐色土混 粘性強
- 14 暗褐 ローム粒子・B中少量混
- 15 にぶい黄褐 ローム主体
- 16 暗褐 ローム粒子・B少量混
- 17 暗褐 ローム粒子・B中少量混
- 18 黄褐 ローム主体 黒褐色粘質土少量混 しまり強
- 19 暗褐 ローム粒子・B中・炭化物少量混

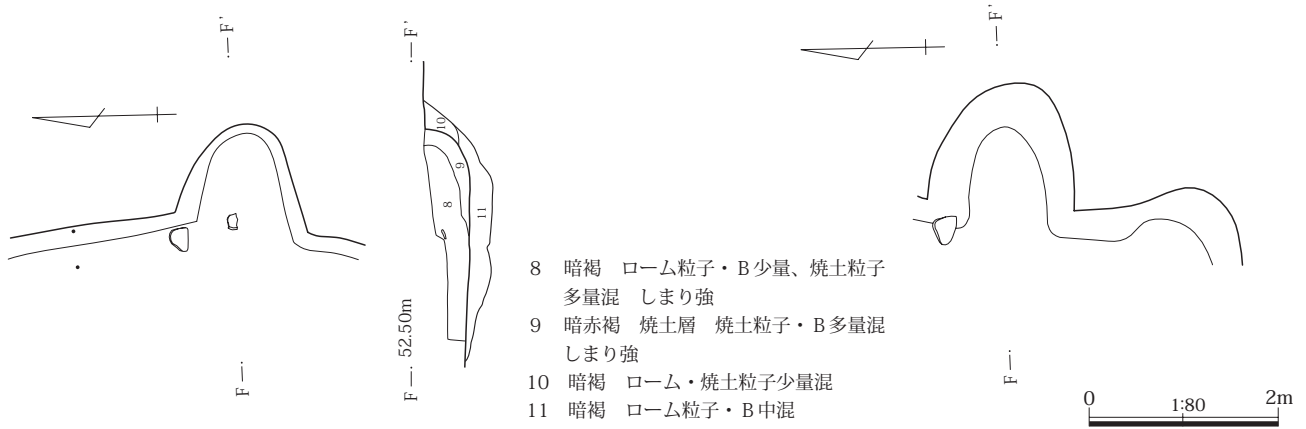


カマド

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐 ロームB小~大混 しまり強
- 3 暗赤褐 ローム粒子少量、焼土粒子中量混
- 4 暗赤褐 ローム粒子・B中中量混 しまり強
- 5 暗赤褐 ローム粒子少量混
- 6 にぶい黄褐 ロームB中混
- 7 暗褐 ローム粒子・B少量混



第137図 414号住居出土遺物・使用面・掘り方・旧カマド



- 8 暗褐色 ローム粒子・B少量、焼土粒子多量混 しまり強
- 9 暗赤褐色 焼土層 焼土粒子・B多量混 しまり強
- 10 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混
- 11 暗褐色 ローム粒子・B中混

第138図 414号住居新カマド

415号住居 (第139・140、PL38)

位置 334～338 -959～963Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸長方形

長辺 3.69m 短辺 3.08m 長辺/短辺 1.20

壁高 41cm 面積 11.51m² 床面積 7.49m²

主軸方位 N-59°-E 壁溝 カマド及びその右側を除き全周 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で貼床とするが、一部掘り方を床面とする。やや軟弱。

遺物出土状況 出土量は少なく、埋土中に散在。半完形の遺物もあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃

棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 床下土坑他ピット数基あり。他の部分も凹凸の多い掘り方。

カマド

位置 336・337 -959・960Gr

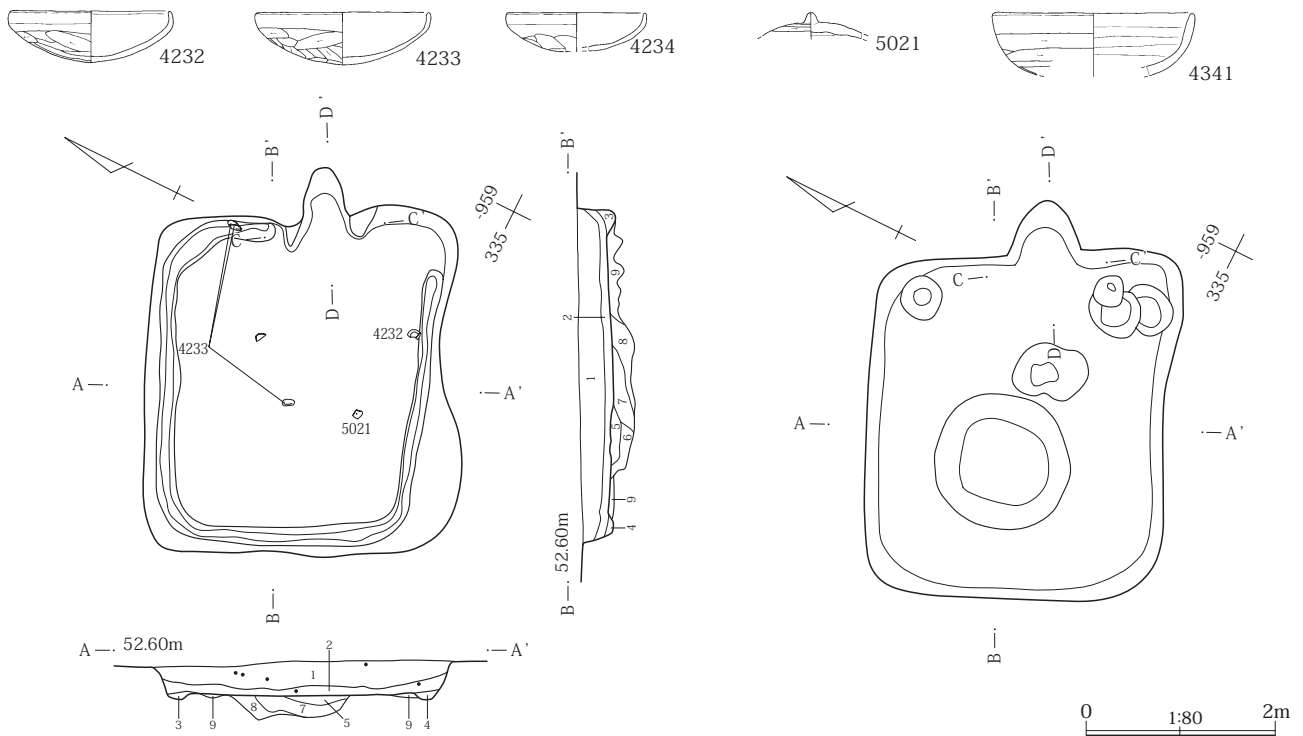
壁位置 東壁やや南 全長 0.88m

幅 0.95m 主軸方位 N-62°-E

構築 ロームを含む黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面は平坦で灰層は見られない。奥壁の立ち上がりはやや急である。

遺物出土状況 ほとんど出土していない。

時期 図示された遺物から7世紀第4～8世紀代1四半紀か。

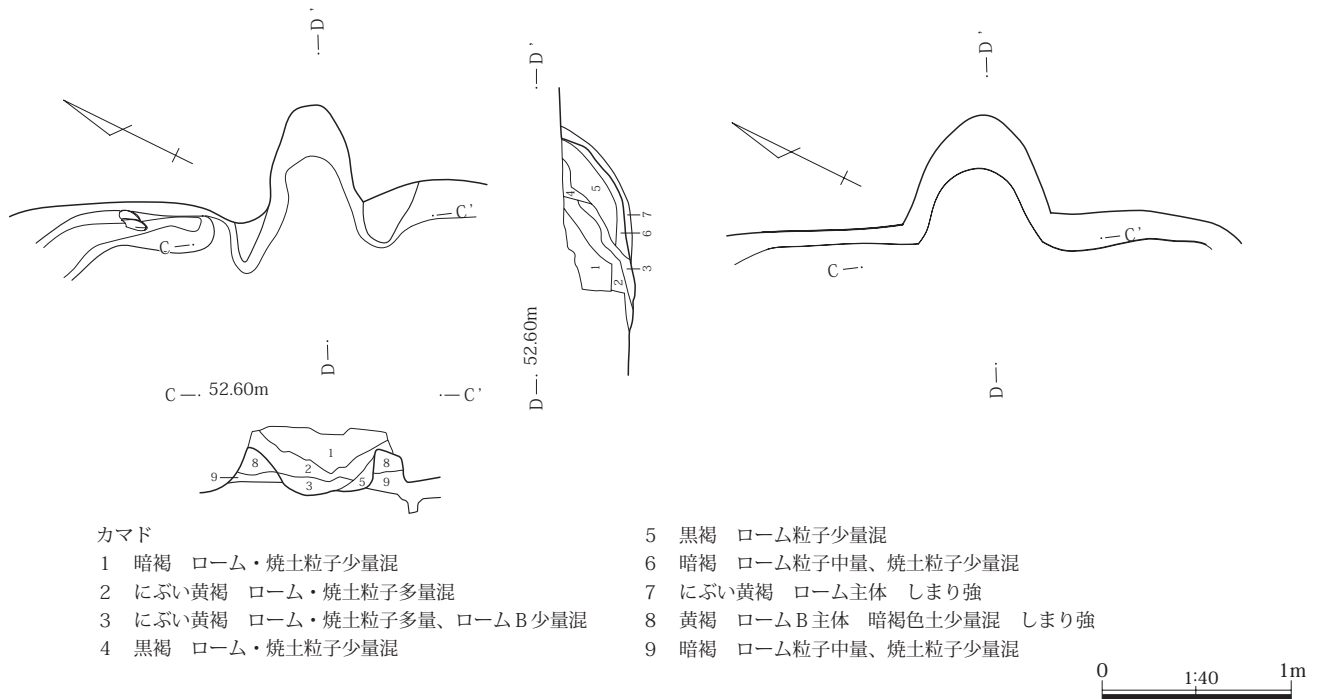


第139図 415号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

415号住居

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 暗褐色 ローム・焼土粒子少量、白色粒子中量混 | 5 暗褐色 ローム粒子・B中多量混 |
| 2 黒褐色 ローム粒子・B小・白色粒子少量混 | 6 黄褐色 ローム主体 しまり強 |
| 3 にぶい黄褐色 ローム主体 黒褐色土混 | 7 暗褐色 ローム粒子・B小多量混 |
| 4 黄褐色 ローム主体 暗褐色土混 | 8 暗褐色 ローム粒子・B中多量混 |
| | 9 黄褐色 ローム主体 |



第140図 415号住居カマド

416号住居 (第141～143図、PL38・39)

位置 340～348 - 951～959Gr

重複関係 444・446住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 6.35m 短辺 5.84m 長辺/短辺 1.09

壁高 72cm 面積 38.06㎡ 床面積 30.21㎡

主軸方位 N-63°-E

壁溝 カマド部分及び南壁一部を除き全周。南壁の切れた部分は北カマドと反対の位置になり入り口施設に関係するか。掘り方で内側にもう1条検出。

貯蔵穴 北東部の土坑が貯蔵穴か。

柱穴 4基。掘り方で旧柱穴と考えられるピット3基検出。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。中央部に粘土塊あり。

床面状態 ロームを含む灰褐色土・暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で、全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量はやや多く、ほぼ全面から出土。埋土と同様に外側が高く中心部が低いレンズ状の出土状況を示す。完形・半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄遺物が多いか。壁際のもは遺棄遺物の可能性あり。4400・4673・4675・4676・

5317は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑・ピット多数あり。

東カマド(新カマド)

位置 344・345 - 951～953Gr

壁位置 北壁やや東 全長 1.26m

幅 1.16m 主軸方位 N-71°-E

構築 黄褐色土で袖を構築。灰層は見られない。燃焼部から1段上がって煙道部に続く。

遺物出土状況 破片が出土したのみ。

北カマド(旧カマド)

位置 346・347 - 956Gr

壁位置 東壁やや南 全長 0.57m

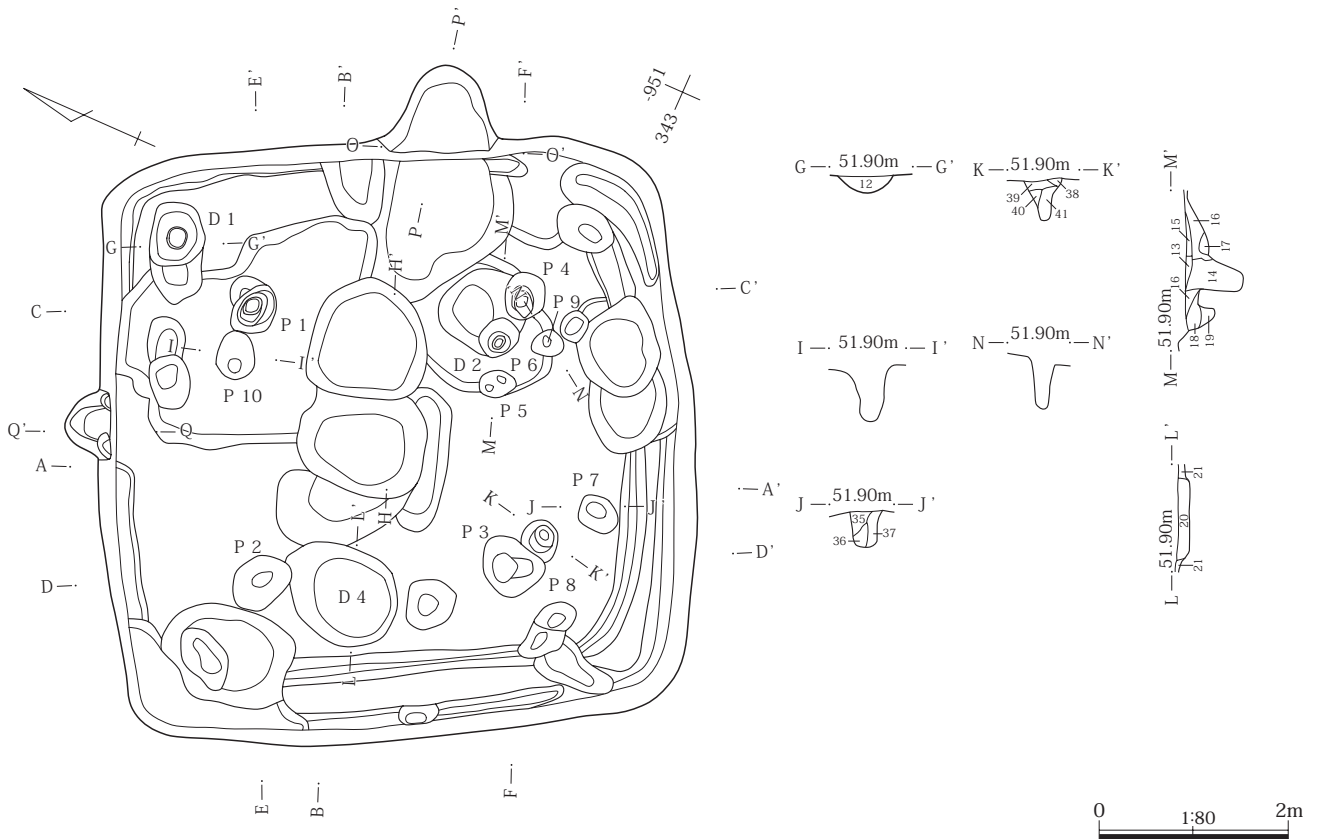
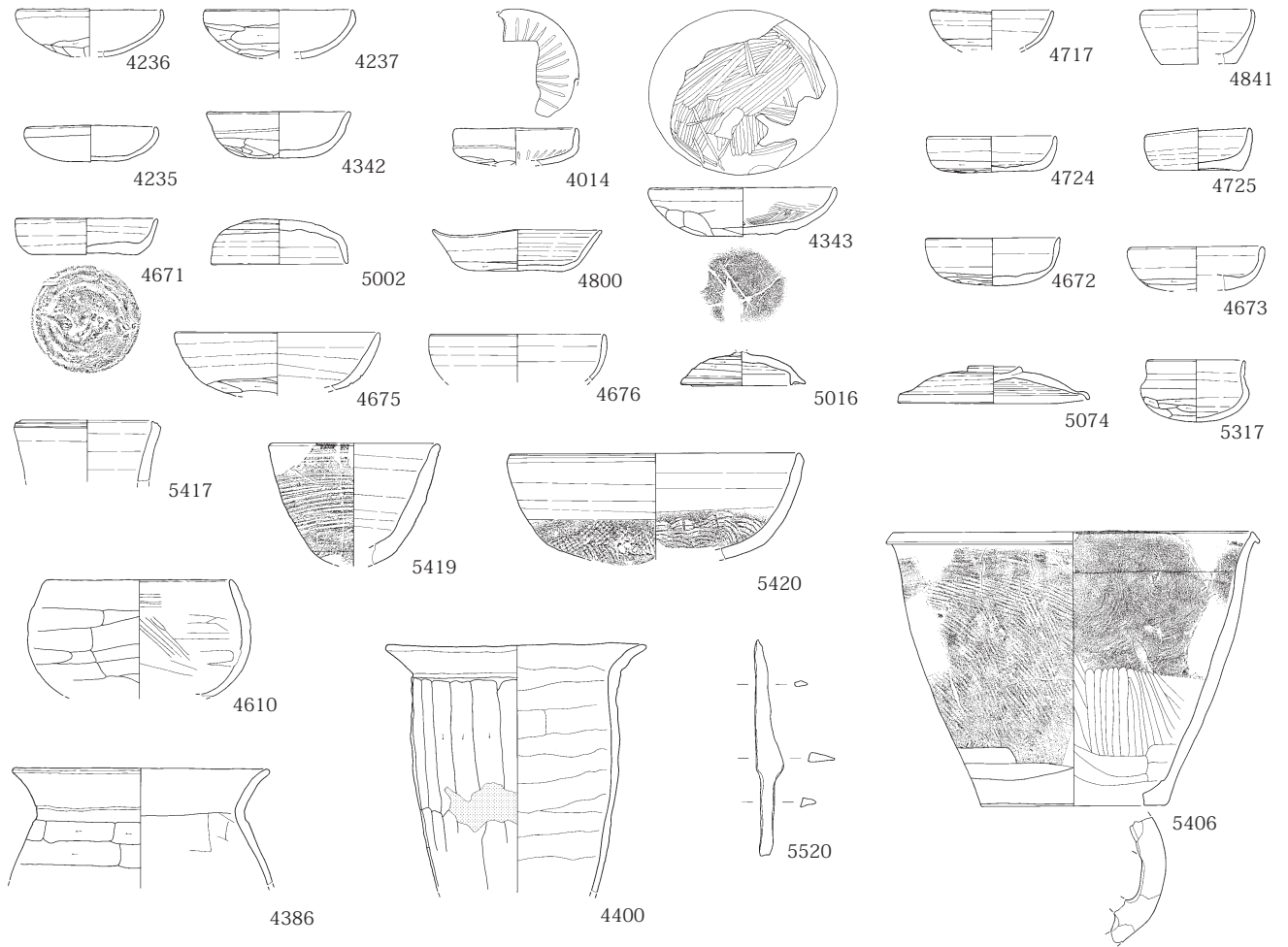
幅 0.72m 主軸方位 N-36°-W

構築 袖構築材不明。焚口部・燃焼部底面はほぼ平坦で燃焼部奥壁はやや急に立ち上がるか。

遺物出土状況 破片が出土したのみ。

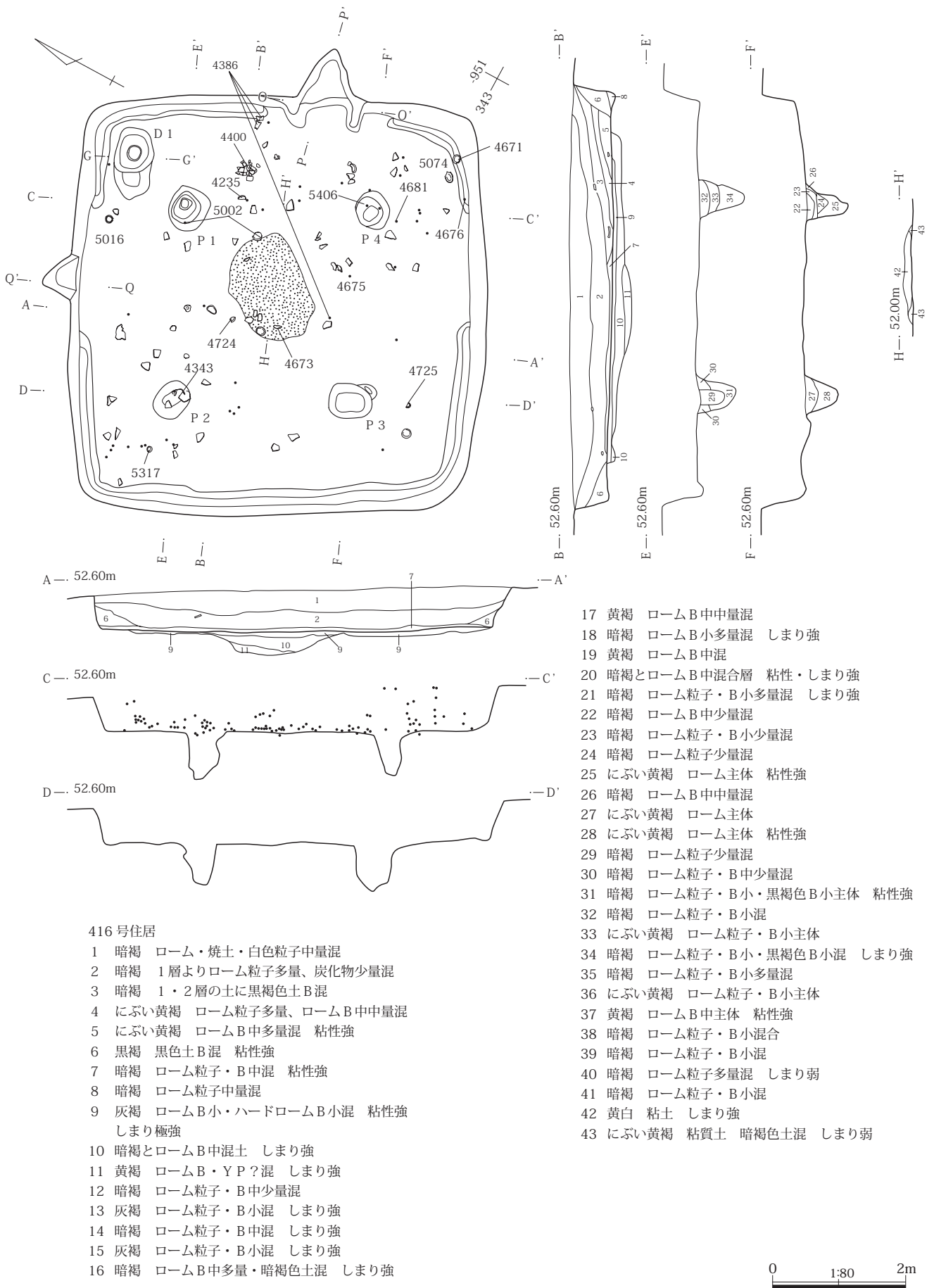
備考 カマドが2基あり、掘り方で壁溝・柱穴も検出されているため建て替えたと考えられる。

時期 図示された遺物から、7世紀第4～8世紀第1四半期か。

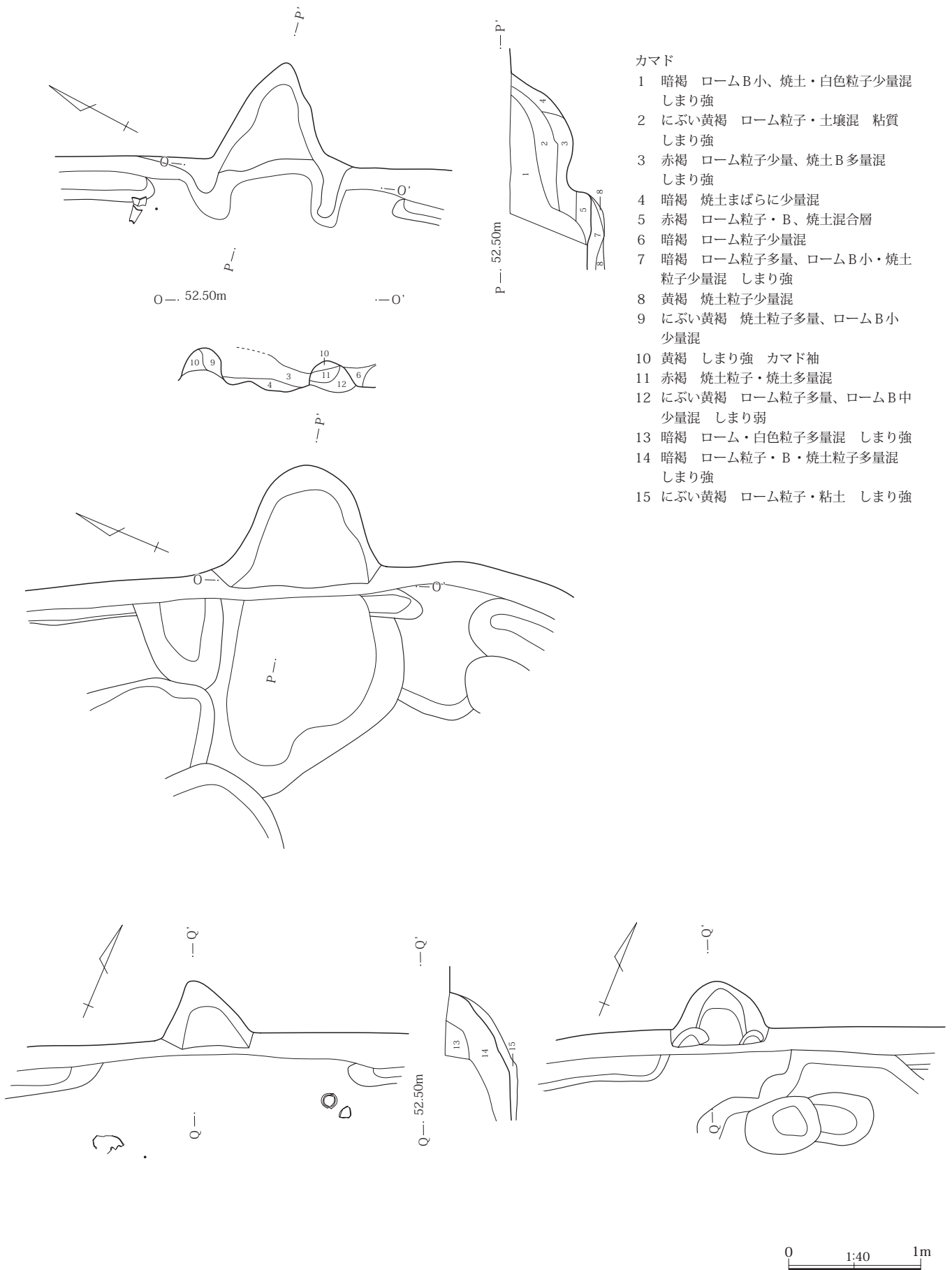


第141図 416号住居出土遺物・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第142図 416号住居使用面



第143図 416号住居カマド

III 検出された遺構と出土遺物

417号住居 (第144図、PL39)

位置 342~348 -975~980 Gr

重複関係 410住、442土坑、782ピットより旧

平面形態 隅丸方形 長辺 5.31 m

短辺 4.87 m 長辺/短辺 1.09 壁高 22cm

面積 (26.35) m² 床面積 (24.75) m²

主軸方位 N-6°-W 壁溝 なし

貯蔵穴 なし

柱穴 4基。柱2に柱痕あるいは抜き取り痕あり。住居の大きさに比して柱間距離が長くなっている。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。西部に灰白色粘土層あり。

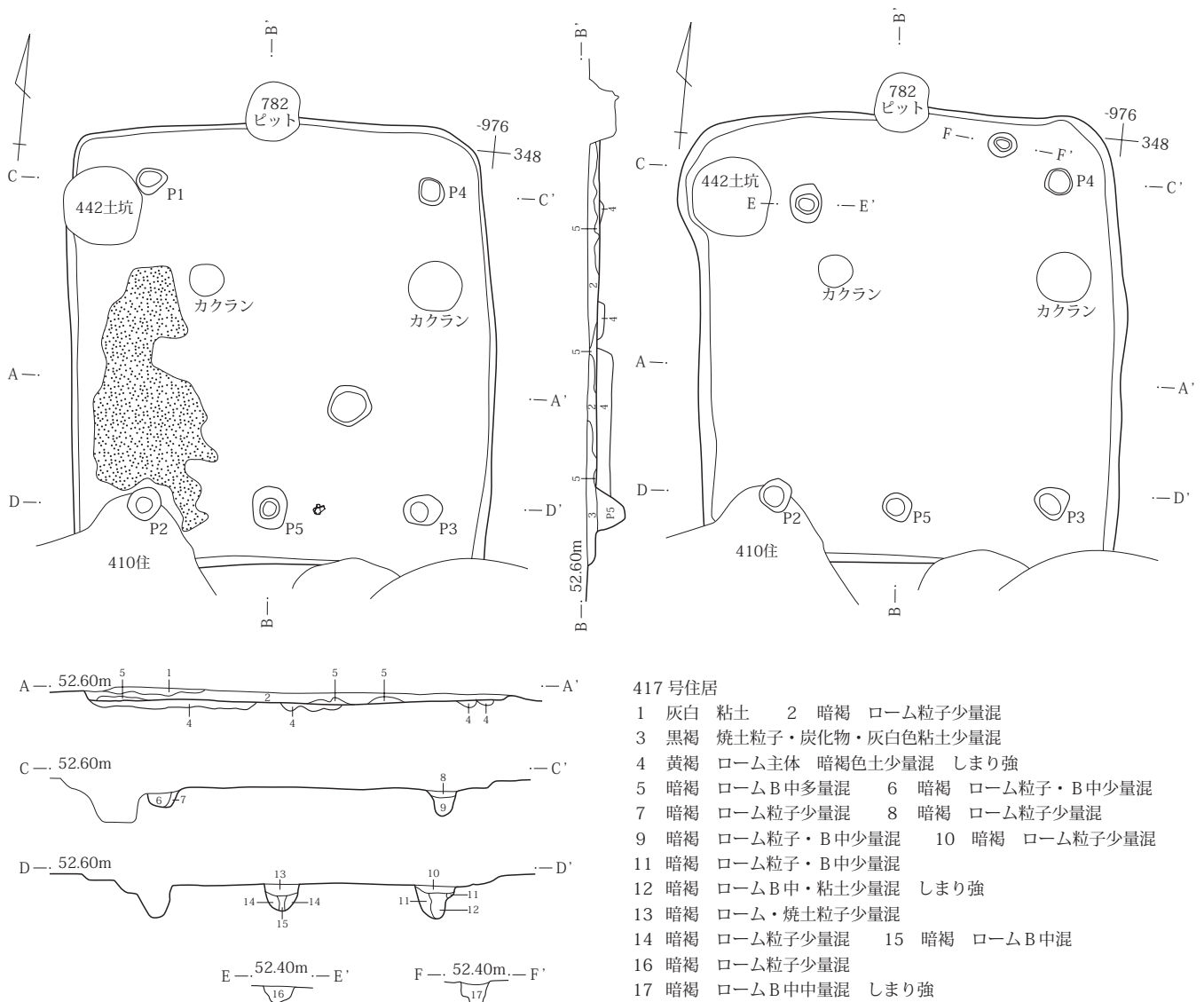
床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で貼床とするが、北西部は掘り方を床面とする。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく埋土中に散在。完形・半完形のはほとんどなく、ほとんど流入遺物か。

掘り方 ピット等は少なく平坦な掘り方だが、細かい凹凸が多い。カマド なし

備考 カマドは確認できなかったが、柱穴はあるため一般的な住居の可能性が高い。P5は位置的に入り口部ピットと考えられるが、柱穴の線上にあり、柱痕あるいは抜き取り痕があるため柱穴の可能性もあるか。

時期 出土遺物少なく時期不明。



0 1:80 2m

第144図 417号住居

418号住居 (第145図、PL39・40)

位置 325～329 - 016～019 Gr

重複関係 15溝より旧、849・2049・2050ピット

平面形態 不明

長辺 [3.47] m 短辺 [2.58] m

長辺/短辺 不明 壁高 36cm 面積 [7.04] m²

床面積 [6.79] m² 主軸方位 N-29°-W

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土。残存部分ほぼ全面に黄

褐色粘土層あり。

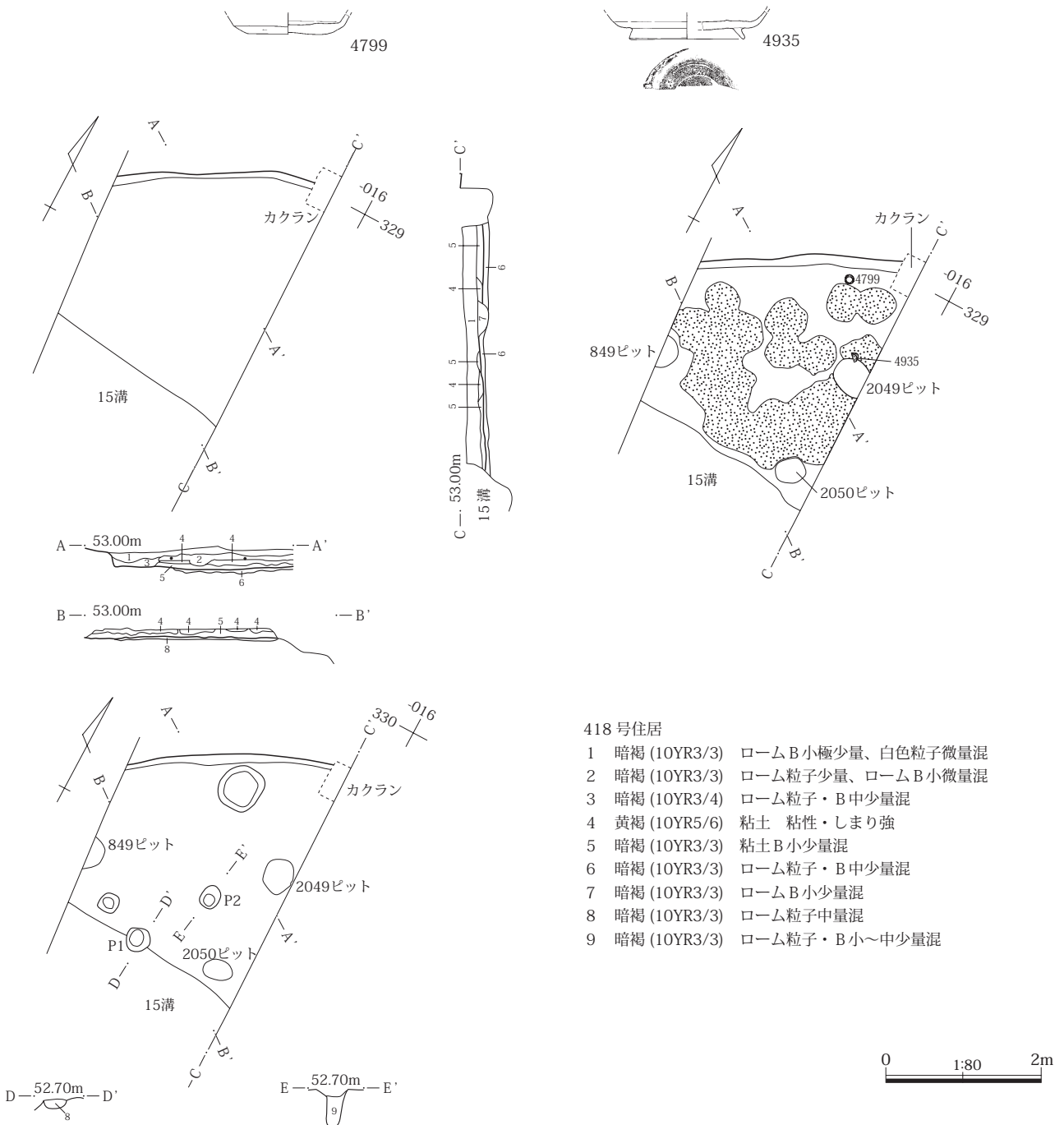
床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。北部やや下がる。

遺物出土状況 出土量は少なく埋土中に散在。壁際の須恵器杯は床面から浮いた状態であるが、遺棄遺物の可能性もある。

掘り方 ピット数基あり。他は平坦な掘り方。

備考 重複により大部分不明。カマド 不明

時期 壁際の須恵器杯等から、8世紀第3～第4四半期か。



418号住居

- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム B 小極少量、白色粒子微量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量、ローム B 微量混
- 3 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子・B 中少量混
- 4 黄褐 (10YR5/6) 粘土 粘性・しまり強
- 5 暗褐 (10YR3/3) 粘土 B 小少量混
- 6 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B 中少量混
- 7 暗褐 (10YR3/3) ローム B 小少量混
- 8 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子中量混
- 9 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B 小～中少量混

第145図 418号住居

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

419号住居 (第146図、PL40)

位置 332～336 -016～018 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

形 長辺 [3.57] m 短辺 [1.98] m

長辺/短辺 不明 壁高 32cm

面積 [3.95] m² 床面積 [3.22] m²

主軸方位 N-39°-W 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明。P1が柱穴になるか？

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向か

ってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。全体的に硬化。やや凹凸あり。

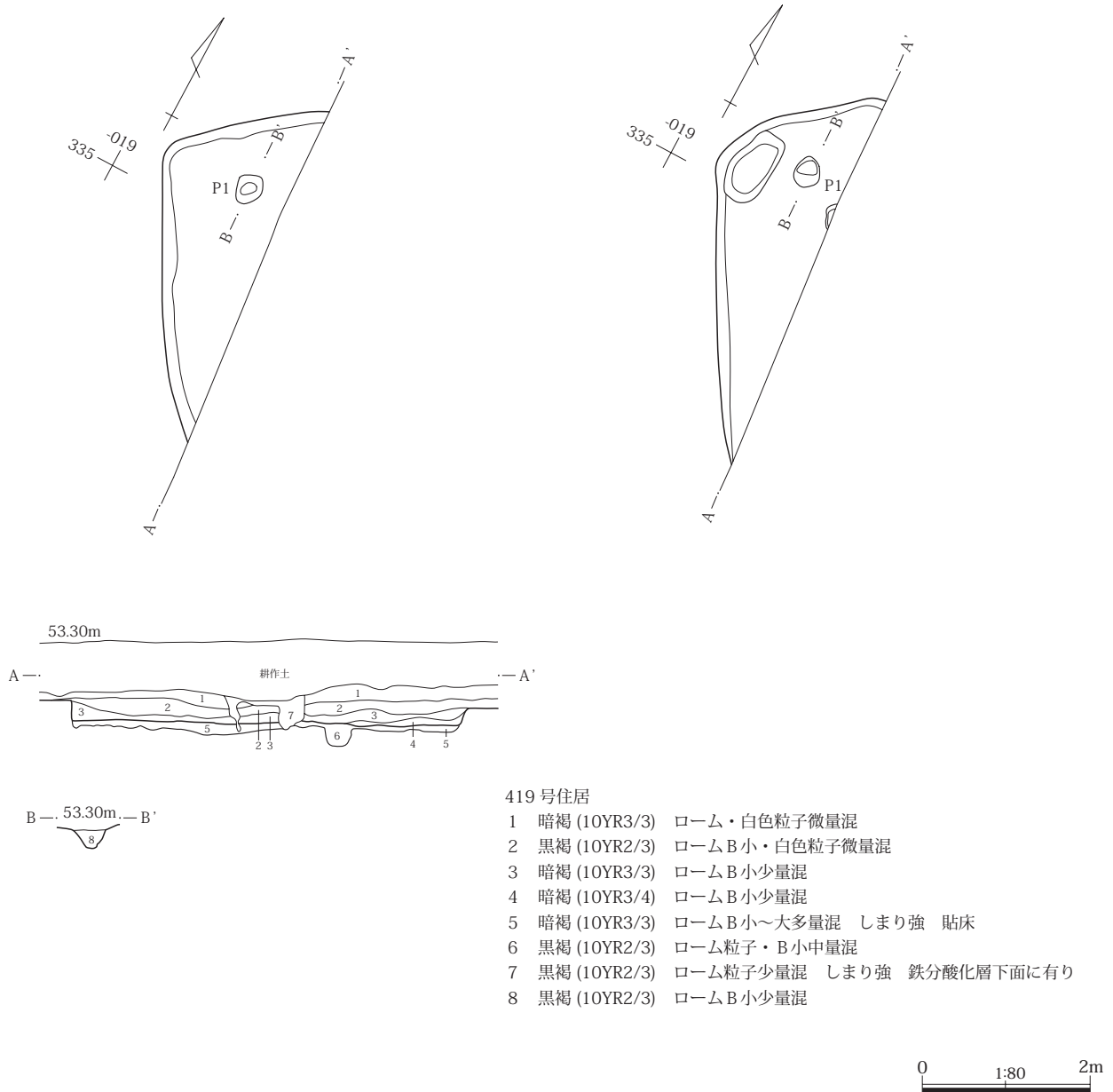
遺物出土状況 出土量は少なく、破片のみ埋土中に散在。

掘り方 ピット数基あり。他は凹凸の多い掘り方。

備考 調査区外のため大部分不明。

カマド 不明

時期 出土遺物少なく時期不明。



第146図 419号住居

420号住居 (第147・148図、PL40・41)

位置 329～332 -980～983 Gr

重複関係 450・458住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 2.75 m 短辺 2.31 m 長辺/短辺 1.19

壁高 60cm 面積 6.54㎡ 床面積 3.88㎡

主軸方位 N-77°-E 壁溝 カマドを除き全周。

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。北壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で一部貼床とするが、大部分は掘り方を床面とする。ほぼ平坦な床面。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。完形・半完形のものも多く、床面から浮いた状態のものが多いが、壁際の完形品は遺棄遺物か。

掘り方 ピット多数検出。南西部はやや下がる。他は掘

り方を床面とする。

カマド

位置 330・331 -980・981 Gr

壁位置 東壁南 全長 0.76 m 幅 0.77 m

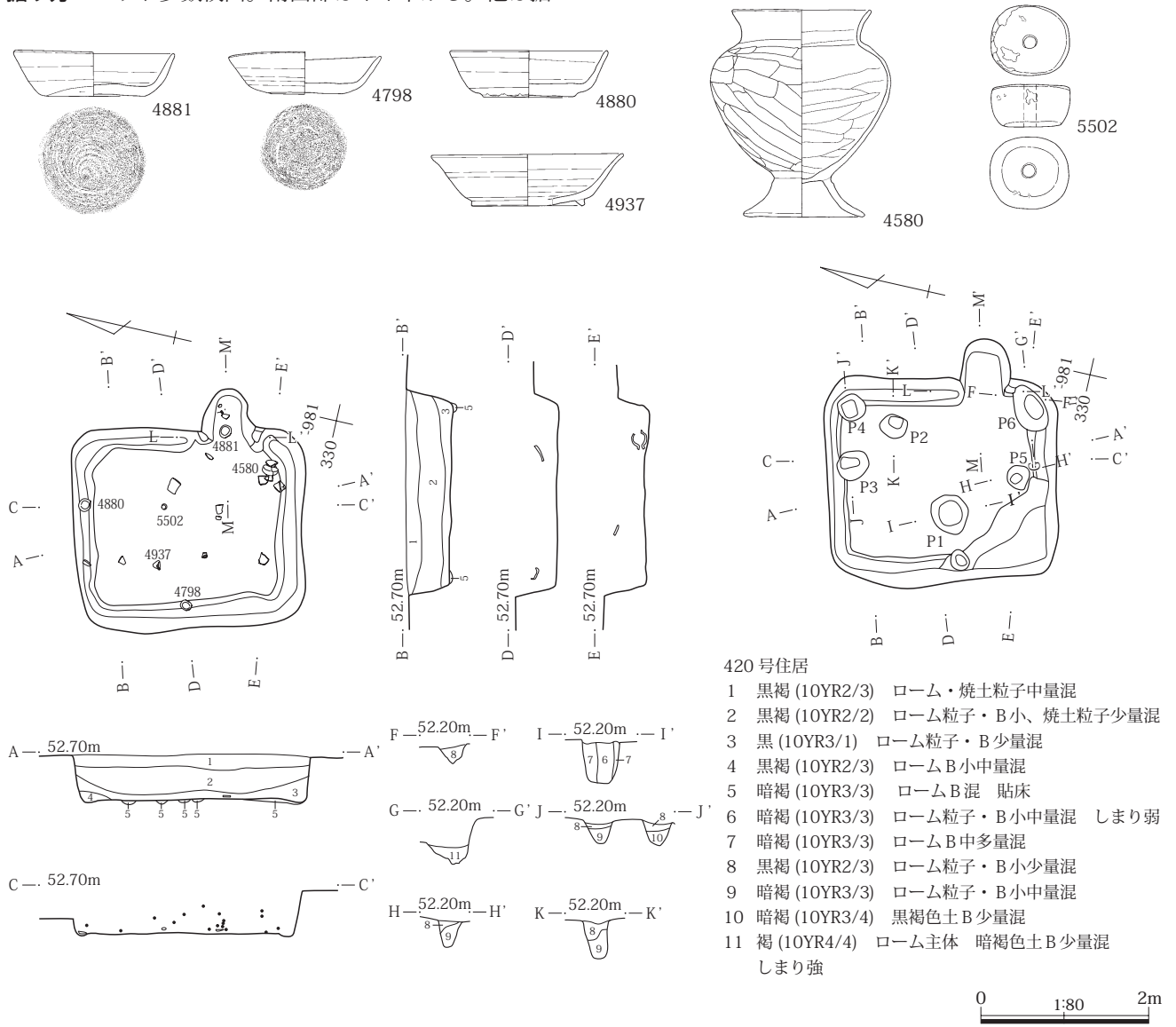
主軸方位 N-75°-E

構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁はややなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部から須恵器杯出土。他に土器片少量出土。

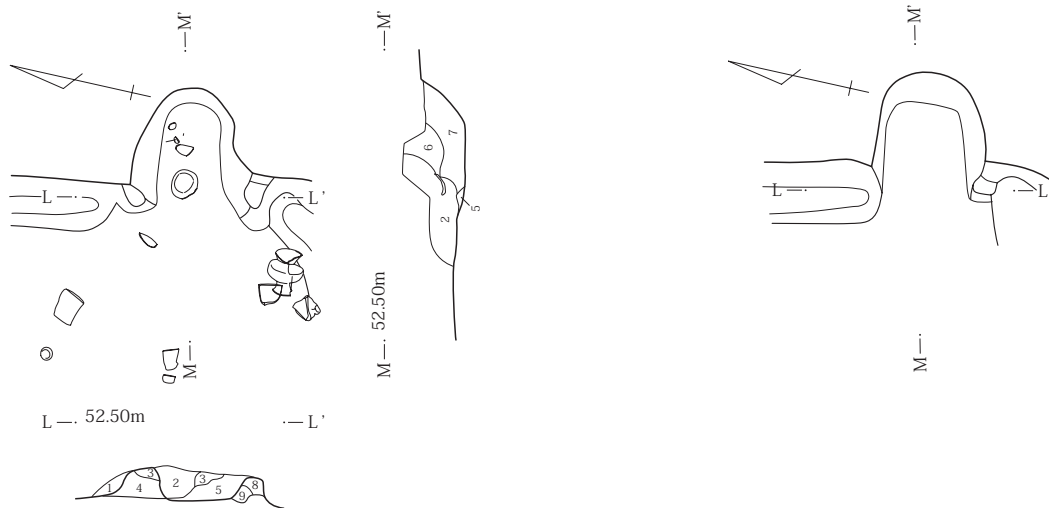
備考 面積が6.54㎡と今回報告中最も小さいが、壁溝・カマド等はしっかりしており、一般的な住居と考えられる。

時期 カマドや壁際出土遺物等から、8世紀第3～第4四半期か。



第147図 420号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 暗褐(10YR3/4) ローム粒子・B小中量混 | 6 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混 |
| 2 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混 | 7 暗褐(10YR3/4) 焼土粒子・B小、粘土粒子・B小中量混 |
| 3 褐(10YR4/4) 粘土主体 暗褐色土B少量混 粘性・しまり強 | 8 にぶい黄褐(10YR4/3) 粘土主体 暗褐色土B中量混 粘性・しまり強 |
| 4 にぶい黄褐(10YR4/3) ローム・焼土・粘土粒子多量混 | 9 暗褐(10YR3/2) 焼土・粘土粒子微量混 |
| 5 暗褐(10YR3/3) 焼土粒子中量、粘土粒子少量混 | |



第148図 420号住居カマド

421号住居(第149・150図、PL41)

位置 310～317-999～007 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸方形

長辺 5.54 m 短辺 5.22 m 長辺/短辺 1.06

壁高 14cm 面積 28.80㎡ 床面積 27.46㎡

主軸方位 N-48°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 なし 柱穴 4基。規模小さく深さも浅い。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で全面貼床。ほぼ平坦で中央～北部・東部にかけて硬化。

遺物出土状況 土器出土量は少ないが、中央やや西よりに礫多数出土。5365は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み2基、ピット数基検出。他は平

坦な掘り方。

カマド

位置 315-001 Gr 壁位置 東壁中央

全長 0.54 m 幅 0.36 m

主軸方位 N-54°-E

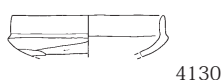
構築 残存状況悪く袖構築材不明。燃烧部底面やや下がりがり、奥壁やや急に立ち上がる。

物出土状況 ほとんど出土せず。

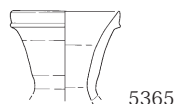
備考 残存状況悪く詳細不明。

備考 削平により残存状況悪い。南壁・西壁がやや短くなっているのは残存状況による可能性もあるか。

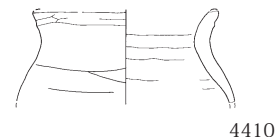
時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物は7世紀代か。



4130

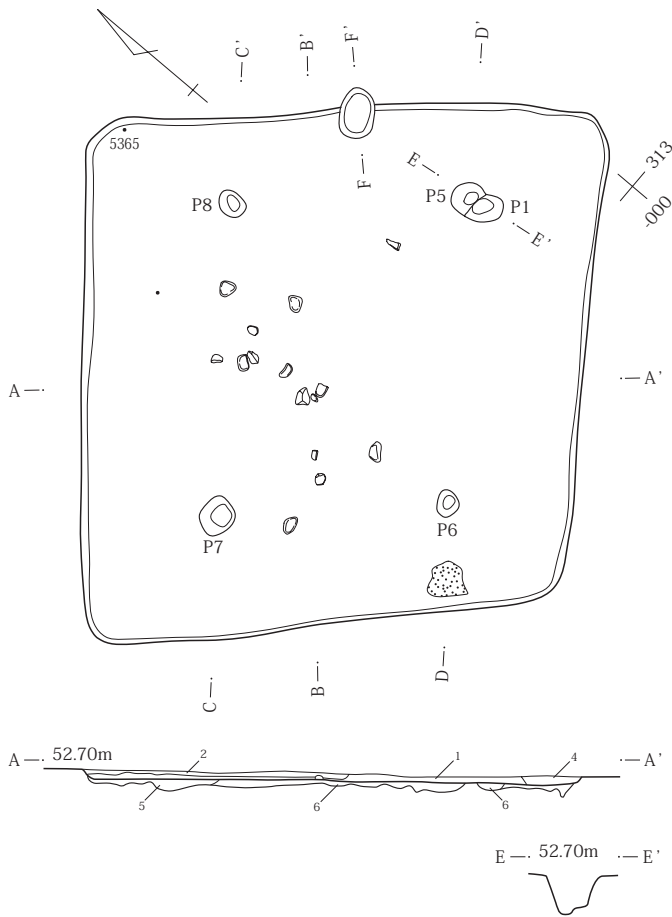


5365



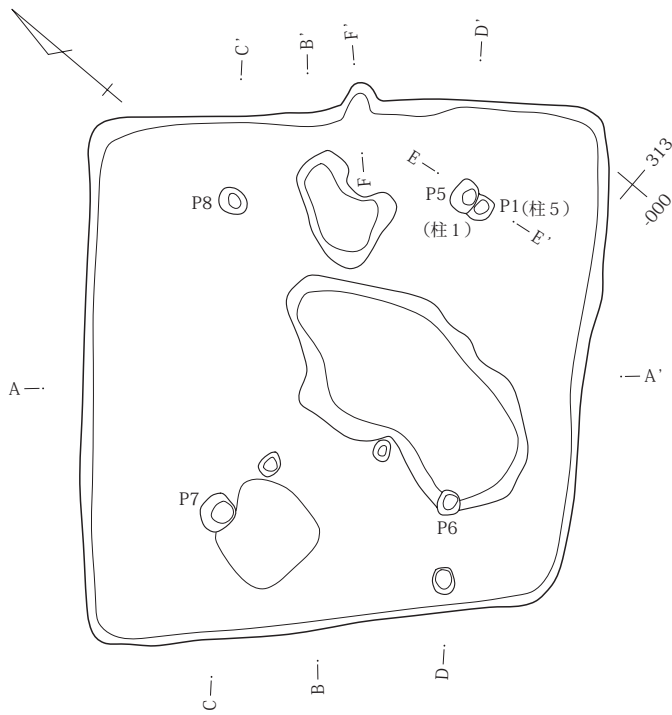
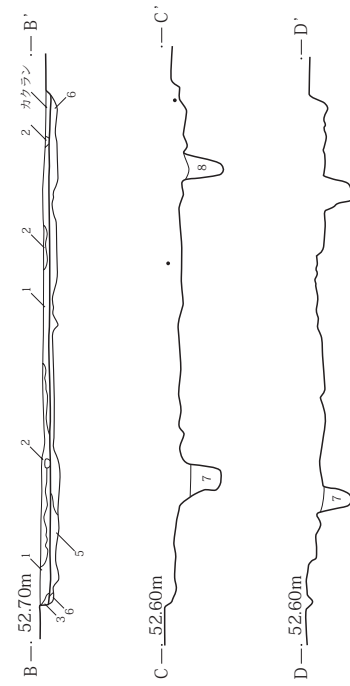
4410

第149図 421号住居出土遺物



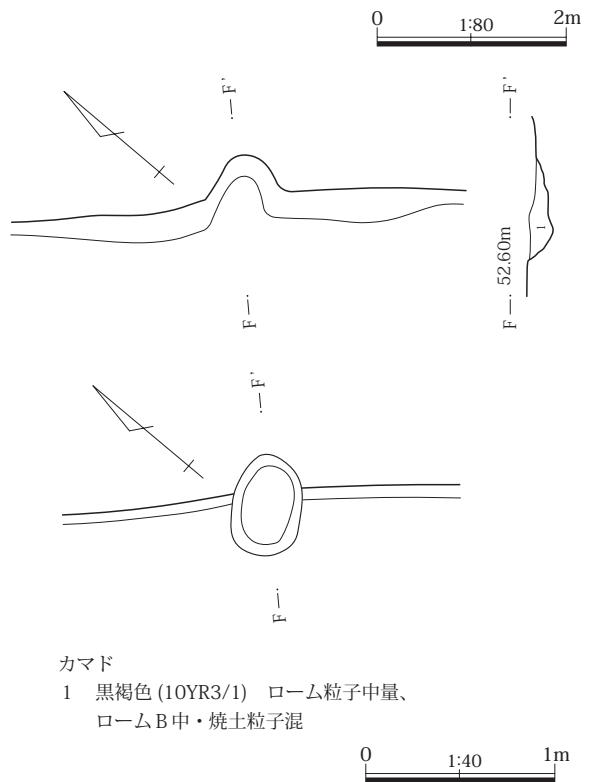
421号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中・白色粒子中量混 しまり強
- 2 灰黄褐 (10YR4/2) ロームB中少量混 カケラン土
- 3 黒褐 (10YR2/3) しまり強
- 4 黒褐 (10YR2/3) ロームB極小～小多量混 しまり強
- 5 黒褐 (10YR2/3) ロームB少量混 貼床
- 6 暗褐 (10YR3/3) ローム・黒褐色土B小中量混 しまり強 貼床
- 7 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中少量混
- 8 黒褐 (10YR2/3) ローム・暗褐色土B中少量混



カマド

- 1 黒褐色 (10YR3/1) ローム粒子中量、ロームB中・焼土粒子混



第150図 421号住居使用面・掘り方・カマド

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

422号住居(第151・152図、PL41・42)

位置 309～311-004～008 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

形 長辺 [3.65] m 短辺 [0.88] m

長辺/短辺 不明 壁高 42cm 面積 [7.49] m²

床面積 [5.31] m² 主軸方位 N-54°-E

壁溝 カマドを除き残存部分全周。貯蔵穴 不明

柱穴 4基? 2基確認しているが、いずれも柱痕あり。柱痕径8～10cm。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で貼床。ほぼ平坦な床面で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は比較的多く、中央部を中心に上層～床面出土。完形・半完形のものが多いが、床面から

浮いた状態のものも多く、廃棄遺物が多いか。壁際のは遺棄遺物の可能性あり。4372は床面上の出土である。掘り方 土坑状掘り込み2基、間仕切り溝1条検出。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 309・310-004・005 Gr

壁位置 東壁南か? 全長 0.77 m

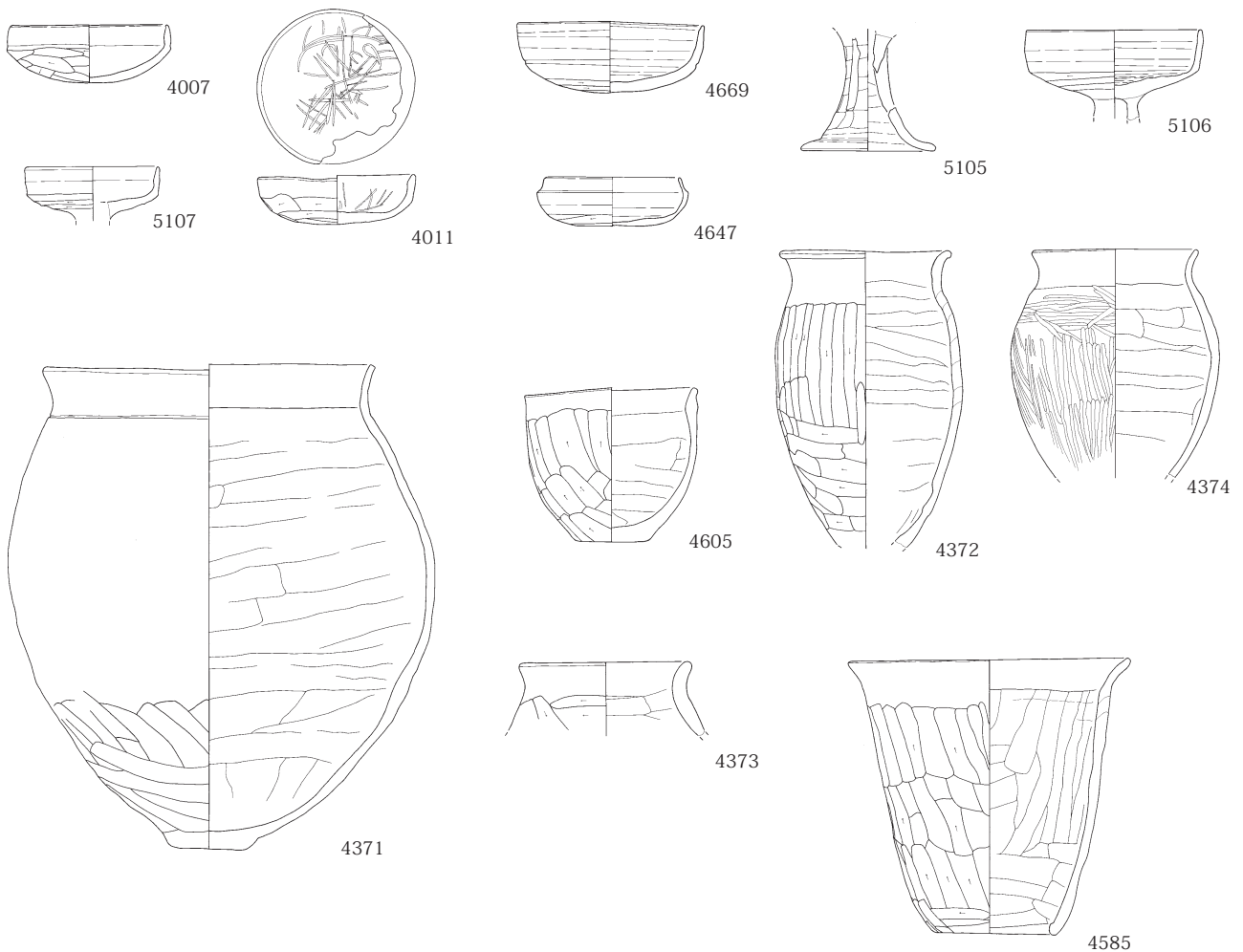
幅 0.78 m 主軸方位 N-68°-E

構築 暗褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はやや下がり、灰層は見られない。燃烧部奥壁は急に立ち上がる。燃烧部側壁・奥壁はよく焼ける。

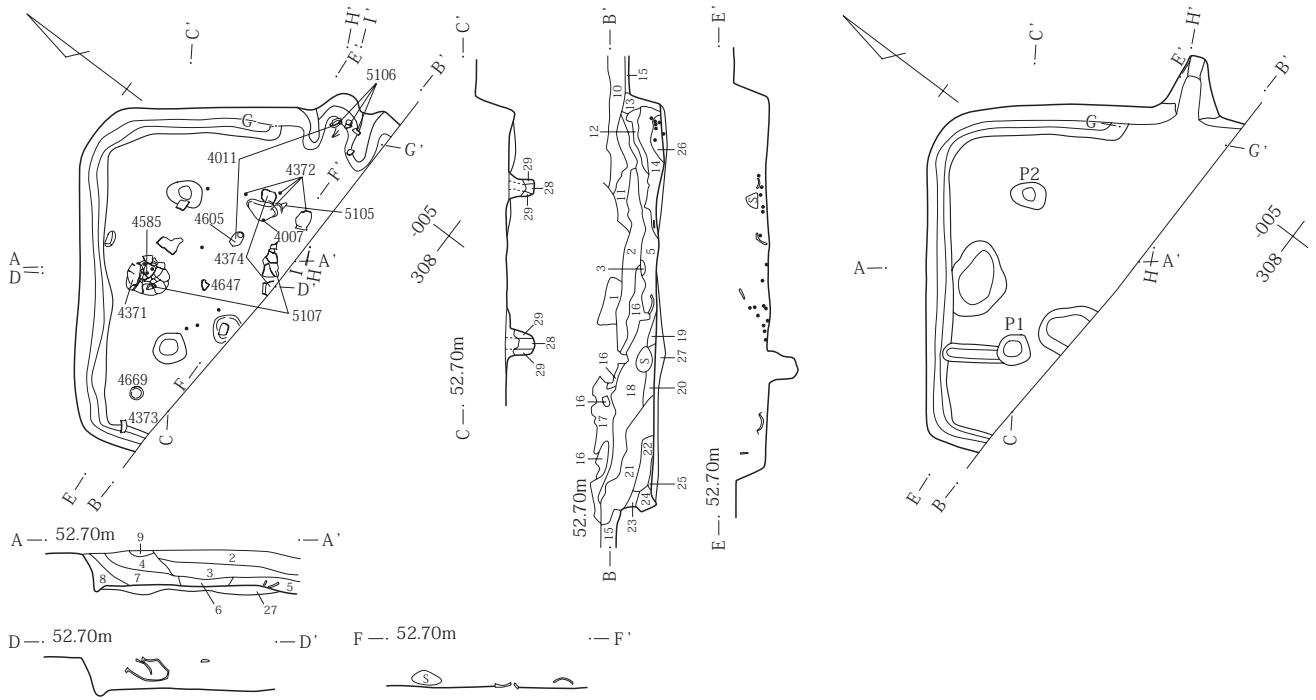
遺物出土状況 燃烧部から土師器杯・甕等が出土。

備考 2基の柱穴にはしっかりした柱痕あり。遺跡内で最も残りのよい柱痕か。

時期 カマド出土遺物等から、6世紀後半代か。



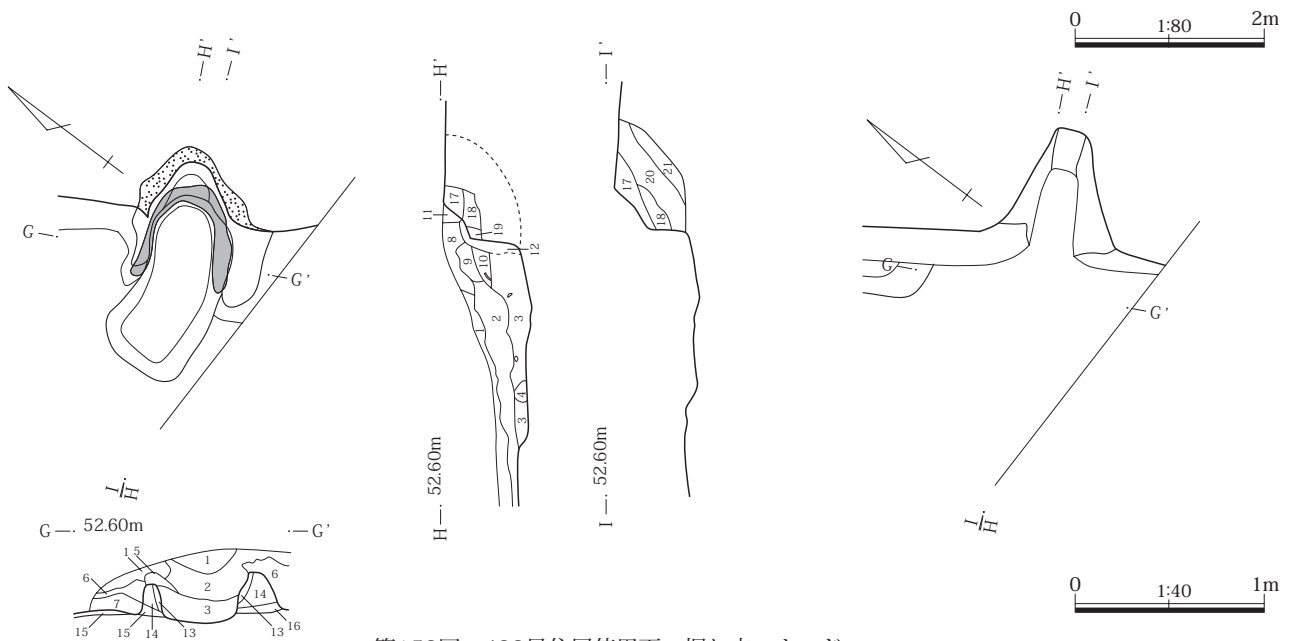
第151図 422号住居出土遺物



422号住居

- 1 黒褐 (10YR2/2) ロームB中少量混 しまり強
- 2 黒褐 (10YR2/2) ロームB中・粘土B少量混
- 3 黒褐 (10YR2/2) ロームB極小～小・粘土B少量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子極小・赤色粒子小中量混 しまり強
- 5 黒褐 (10YR3/2) ロームB小・中多量混
- 6 暗褐 (10YR3/3) しまり強
- 7 黒褐 (10YR2/3) ロームB中少量、ロームB極小～小多量混
- 8 黒褐 (10YR2/2) しまり強
- 9 カ克蘭土
- 10 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・B中量、焼土・炭化物混 砂質 しまり強
- 11 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子中量、褐灰土少量、焼土・炭化物混 砂質
- 12 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子中量、にぶい赤褐土少量、焼土粒子混
- 13 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子中量、焼土粒子混 砂質土 しまり強
- 14 にぶい赤褐 (5YR5/4) ロームB中・黒褐土少量、焼土粒子多量、焼土B小混

- 15 灰黄褐 (10YR4/2) 炭化粒子混
- 16 黒褐 (10YR2/2) 粘土B極多量混
- 17 黒褐 (10YR3/2) 焼土粒子少量、ロームB中・粘土B小混 砂質 しまり強
- 18 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・B多量、焼土粒子混
- 19 にぶい赤褐 (5YR5/4)・黒褐 (10YR3/2) 混土 ローム・焼土粒子混
- 20 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子中量、ロームB中混
- 21 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B多量、灰黄褐B大混
- 22 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子少量混
- 23 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子多量混
- 24 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子多量、粘土粒子混 砂質土
- 25 黄 (2.5Y8/8) 黒褐土混
- 26 にぶい黄 (2.5Y6/4) 黒褐土少量混 砂質 しまり強
- 27 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB中極多量混 しまり強 貼床
- 28 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量混 粘性・しまり弱 柱痕
- 29 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム粒子・B中多量混 粘性弱



第152図 422号住居使用面・掘り方・カマド

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

カマド

- 1 黒褐 (10YR2/2) 焼土粒子・炭化物少量、黒褐色土多量混 砂質
- 2 暗褐 (10YR3/3) 焼土B少量、ロームB中・炭化物混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土B中多量、黒褐土混
- 4 黒褐 (10YR3/1) ロームB中多量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) 焼土B少量混
- 6 暗褐 (10YR3/3) 黒褐土多量、ローム・焼土B中混 砂質
- 7 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B少量混
- 8 灰褐 (5YR5/2) 焼土・白色粒子、黒褐土混 しまり強
- 9 灰褐 (5YR5/2)・黒褐 (10YR3/1) 混土 焼土粒子・B中、白色粒子混 しまり強
- 10 褐灰 (10YR5/1)・灰褐 (5YR5/2) 混土 焼土粒子少量、ローム・焼土B中混 しまり強
- 11 灰褐 (5YR5/2) 焼土B小混 砂質 しまり強

- 12 にぶい赤褐 (5YR4/3) 焼土粒子多量、焼土B小混
- 13 にぶい赤褐 (5YR4/3) 焼土層 暗褐色B少量混 粘性弱 しまり強
- 14 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 15 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混
- 16 暗褐 (10YR3/3) ロームB極多量混
- 17 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B、粘土粒子少量混
- 18 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子・B小微量混
- 19 暗赤褐 (5YR3/6) 焼土層 暗褐B少量混
- 20 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土粒子・B小微量、粘土B少量混
- 21 暗褐 (10YR3/3) ロームB少量混

423号住居 (第153・154図、PL42)

位置 311～315 -987～992 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸長方形

長辺 4.33 m 短辺 3.28 m 長辺/短辺 1.32

壁高 53cm 面積 14.74m² 床面積 10.58m²

主軸方位 N-88°-E 柱穴 なし

壁溝 カマド及びカマド右脇を除き全周。

貯蔵穴 北東隅のピットが貯蔵穴の可能性あり。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で部分的に貼床。他は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 西部中心で中層～床面出土。破片が多く廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 土坑状掘り込み多数あり。一部は掘り方を床面とする。

カマド

位置 312・313 -987・988 Gr

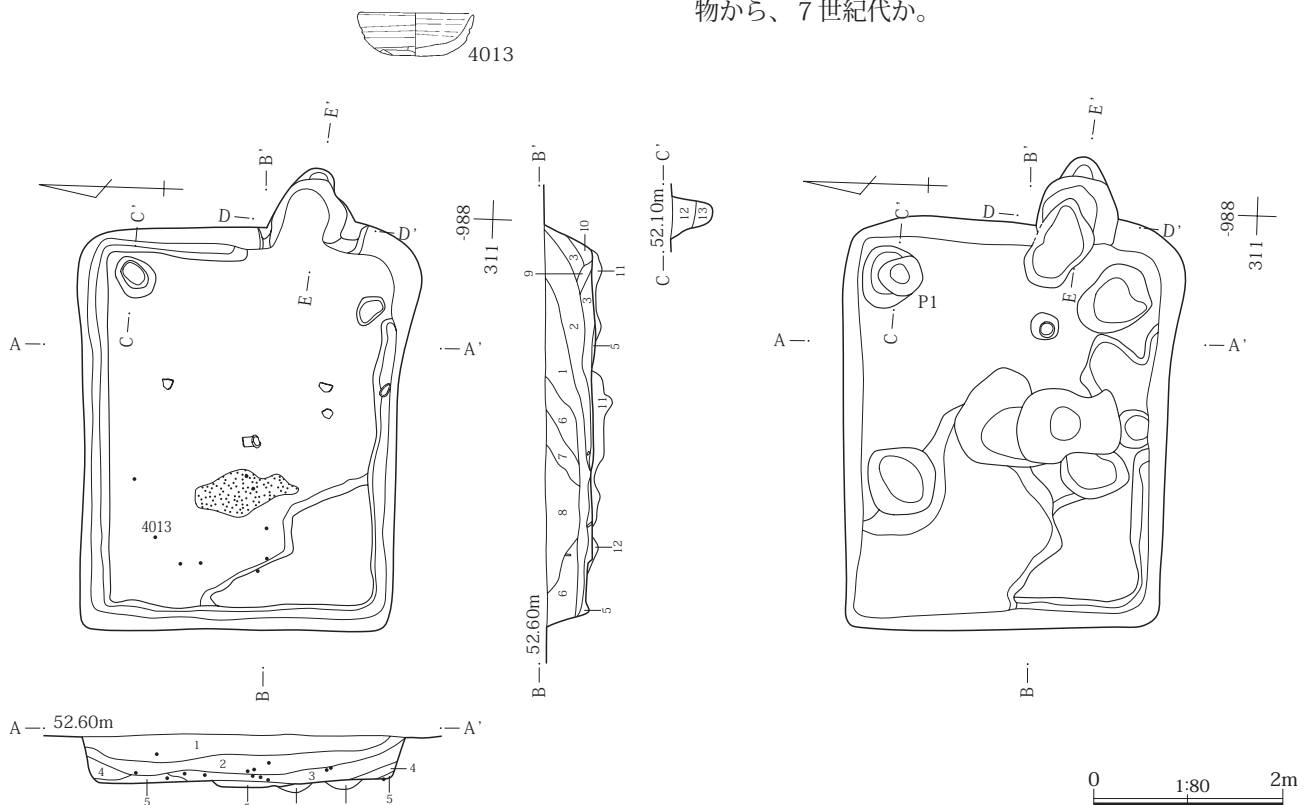
壁位置 東壁南 全長 0.98 m

幅 0.99 m 主軸方位 N-105°-E

構築 残存状況悪く袖構築材不明。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で燃烧部奥壁は急に立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

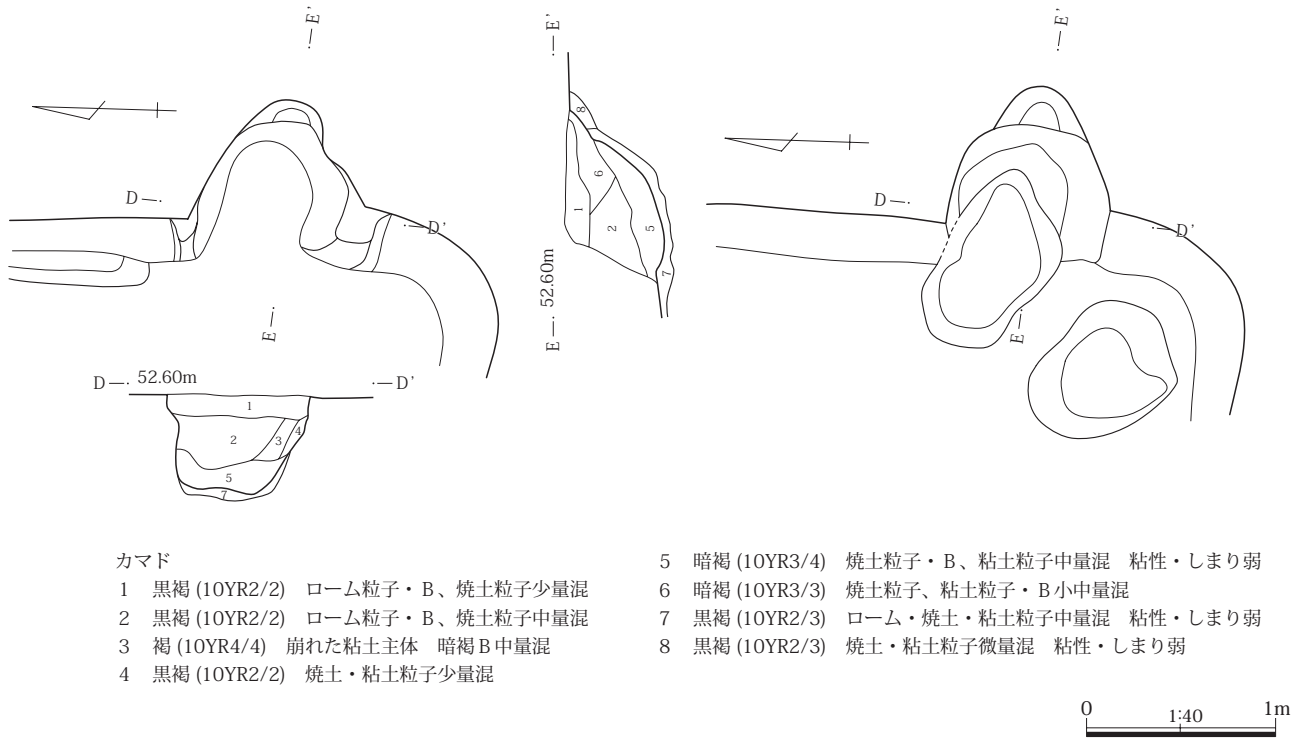
時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物から、7世紀代か。



第153図 423号住居出土遺物・使用面・掘り方

423号住居

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 粘性・しまり弱 | 7 黒褐 (10YR2/3) ロームB小・赤色粒子極小中量混 |
| 2 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 | 8 黒褐 (10YR2/3) ロームB中・赤色粒子混 |
| 3 黒褐 (10YR2/3) ロームB中・大多量混 | 9 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混 |
| 4 黒褐 (10YR2/3) ロームB小・中中量混 | 10 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量、赤色粒子小混 |
| 5 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB主体 しまり強 | 11 黒褐 (10YR3/2) ロームB大多量、ローム粒子混 しまり強 |
| 6 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・赤色粒子小多量混 | 12 黒褐 (10YR3/1) ローム粒子中量、ロームB中少量、焼土粒子混 |
| | 13 黄褐 黒褐土混 |



カマド

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B、焼土粒子少量混 | 5 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子・B、粘土粒子中量混 粘性・しまり弱 |
| 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B、焼土粒子中量混 | 6 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子、粘土粒子・B小中量混 |
| 3 褐 (10YR4/4) 崩れた粘土主体 暗褐B中量混 | 7 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土・粘土粒子中量混 粘性・しまり弱 |
| 4 黒褐 (10YR2/2) 焼土・粘土粒子少量混 | 8 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子微量混 粘性・しまり弱 |

第154図 423号住居カマド

424号住居 (第155図、PL42・43)

位置 309～314 -979～985 Gr

重複関係 440住より新 平面形態 隅丸長方形

長辺 4.52 m 短辺 3.58 m

長辺/短辺 1.26 壁高 47cm 面積 16.99㎡

床面積 11.72㎡ 主軸方位 N-50°-E

壁溝 カマドを除き全周。掘り方においてカマド右脇の内側にもう一条検出。

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。西壁際に三角堆積あり。

床面状態 床下土坑以外掘り方を床面とする。

遺物出土状況 出土量は少なく、埋土中に散在。小破片が多いが、南壁際の須恵器杯は遺棄遺物か。

掘り方 床下土坑1基。他は掘り方を床面とする。カマド右脇に壁溝もう1条あり。

カマド

位置 311・312 -980・981 Gr

壁位置 東壁南 全長 1.02 m

幅 1.04 m 主軸方位 N-60°-E

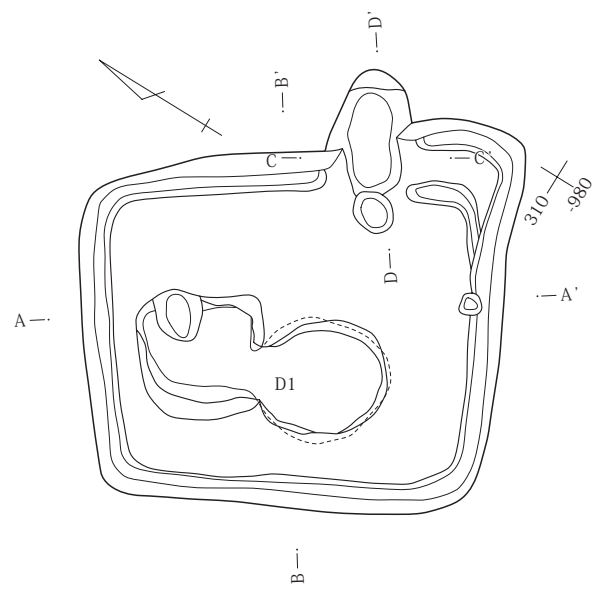
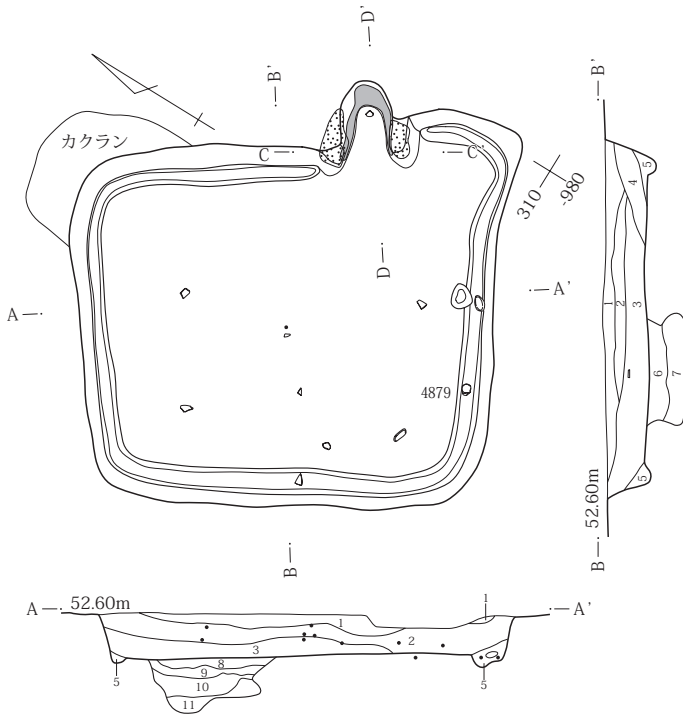
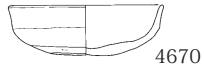
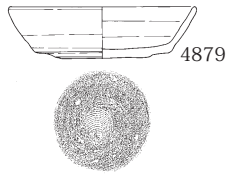
構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。燃烧部側壁・奥壁はよく焼ける。

遺物出土状況 土器片が少量出土したのみ。

備考 壁溝が2条あるため、カマド右脇のみ拡張した可能性高い。

時期 壁際の須恵器杯等から8世紀第2～第3四半期か。

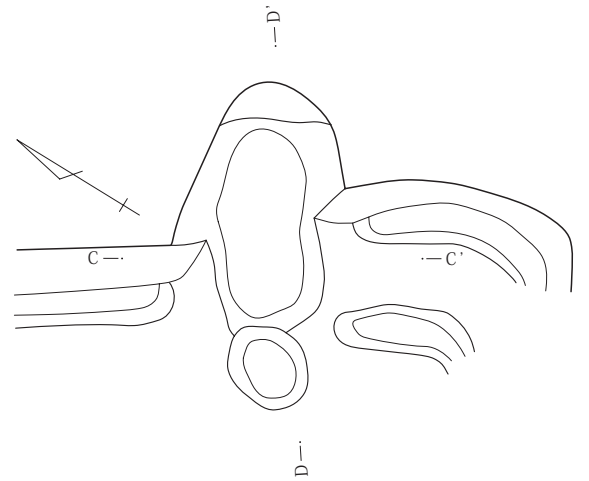
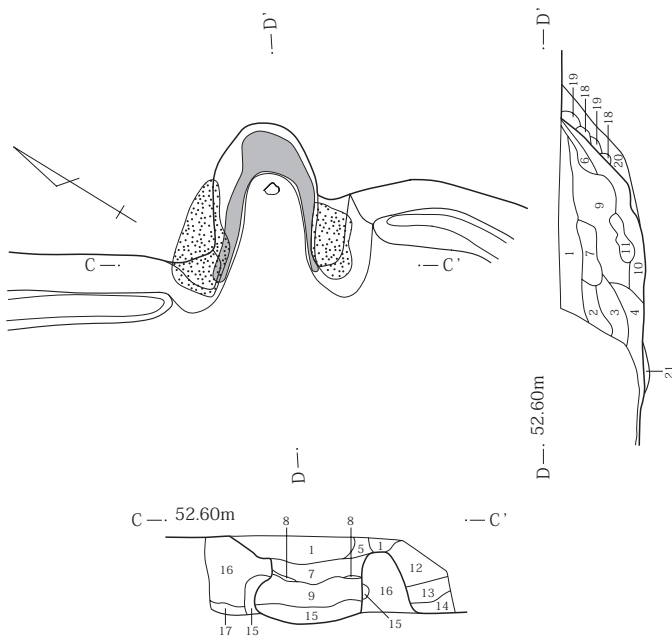
III 検出された遺構と出土遺物



424号住居

- 1 暗褐色 (10YR3/3) ロームB少量、焼土・炭化粒子微量混
- 2 暗褐色 (10YR3/4) ローム粒子・B中量、焼土粒子極微量混
- 3 暗褐色 (10YR3/3) ローム粒子・B少量、焼土極微量混
- 4 暗褐色 (10YR3/4) ローム粒子中量、ロームB少量混
- 5 黒褐色 (10YR2/3) ローム粒子少量混

- 6 黒褐色 (10YR2/3) ロームB多量混
- 7 にぶい黄褐色 (10YR4/3) ロームB極多量混
- 8 にぶい黄褐色 (10YR4/3) ロームB 7層より多
- 9 暗褐色 (10YR3/3) ロームB多量混
- 10 にぶい黄褐色 (10YR4/3) ロームB極多量混
- 11 にぶい黄褐色 (10YR5/3) ロームB極多量混



第155図 424号住居

424 住カマド

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) 焼土・粘土粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/2) 粘土B少量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) 焼土・粘土粒子・B少量混 しまり弱
- 5 暗褐 (10YR3/3) 粘土B中多量混
- 6 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・焼土B中多量、ロームB中少量混
- 7 褐 (10YR4/6) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B少量混
- 8 明褐 (7.5YR5/8) 焼土化した粘土
- 9 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子多量混
- 10 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B多量混
- 11 にぶい赤褐 (5YR4/4) 焼土主体 ローム・暗褐B少量混

425 号住居 (第 156・157 図、PL43・44)

位置 308～312 -971～976 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸長方形

長辺 4.91 m 短辺 3.03 m 長辺 / 短辺 1.62

壁高 65cm 面積 (16.11) m²

床面積 (11.76) m² 主軸方位 N-38°-W

壁溝 カマドを除き全周。貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は隅丸方形で断面は台形を呈す。自然礫2点出土。

柱穴 なし 埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で全面貼床。平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく東部の中層～下層に集中破片が多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4677は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み・ピット数基あり。他は平坦な掘り方。

- 12 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子、粘土粒子・B小中量混
- 13 暗褐 (10YR3/3) 粘土粒子・B小多量混
- 14 暗褐 (10YR3/3) 粘土粒子中量混
- 15 褐 (10YR4/6) 粘土主体 焼土B中多量混 粘性・しまり強
- 16 褐 (10YR4/6) 粘土層 暗褐B少量混 粘性・しまり強
- 17 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土・粘土粒子中量混 しまり強
- 18 赤褐 (5YR4/6) 焼土層 粘性弱 しまり強
- 19 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子微量混
- 20 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土・粘土粒子多量混
- 21 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子中量混 しまり強 床下ピットか

カマド

位置 311・312 -973・974 Gr

壁位置 北壁東 全長 1.06 m

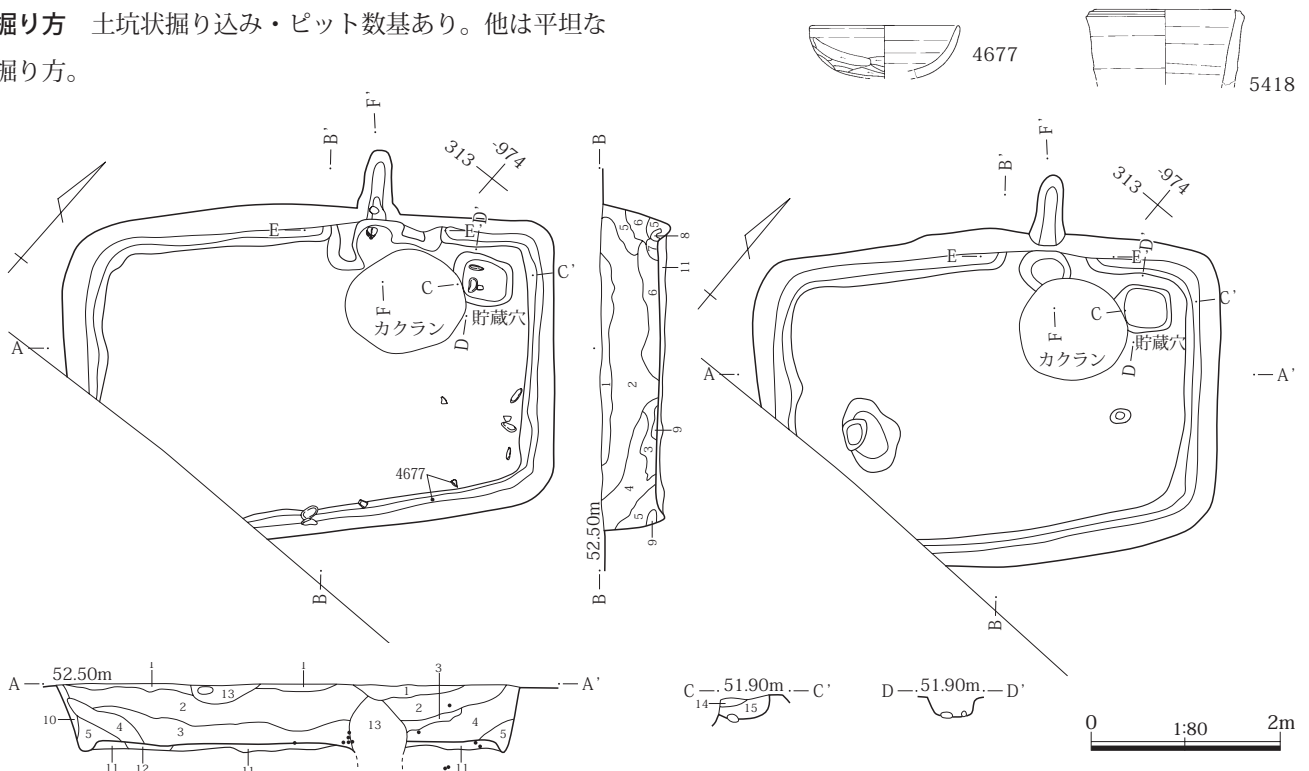
幅 1.15 m 主軸方位 N-43°-W

構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部は攪乱により不明。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がり、緩い段がつくが煙道部へと続く。煙道部底面はなだらかに立ち上がり、奥壁は急に立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部から土師器甕が出土。他は破片が少量出土したのみ。

備考 遺構の残りがよく、しっかりした煙道部の残っている数少ない住居。

時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物から、7世紀代か。



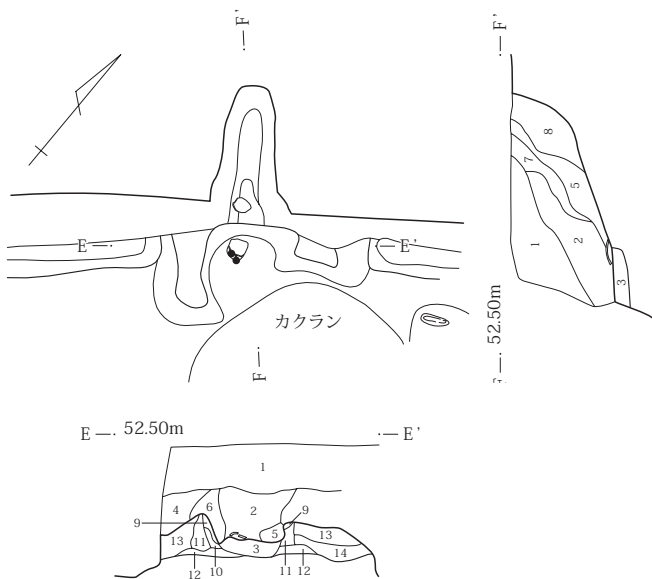
第156図 425号住居出土遺物・使用面・掘り方

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

425号住居

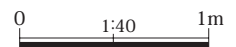
- 1 黒褐(10YR3/2) ローム粒子多量、ロームB中少量、焼土混
- 2 黒褐(10YR3/2) ローム粒子・B多量、焼土粒子・炭化物・黒褐土混
- 3 黒褐(10YR3/1) ローム粒子・B中量混 砂質
- 4 黒褐(10YR3/2) ローム粒子・B多量混
- 5 黒褐(10YR3/1) ローム粒子・B中混
- 6 黒褐(10YR3/1) ローム粒子・B中、焼土粒子混
- 7 褐(10YR4/4) ローム粒子・B中多量混
- 8 焼土層

- 9 黒褐土(10YR3/1) ロームB極多量混
- 10 黒褐(10YR3/2) ロームB中多量、焼土粒子混
- 11 にぶい黄褐(10YR4/3) ローム・黒褐色B中量混 しまり強貼床
- 12 黒褐(10YR2/2) ローム粒子・B小～中多量混 ピットか
- 13 カクラン
- 14 黒褐(10YR2/2) ロームB中極多量混
- 15 黒褐(10YR2/2) ロームB小～大多量混



カマド

- 1 暗褐(10YR3/3) ローム粒子・B、粘土粒子中量混
- 2 褐(10YR4/4) 崩れた粘土主体 焼土粒子・暗褐B中量混
- 3 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子中量混
- 4 暗褐(10YR3/3) ローム粒子多量混
- 5 暗褐(10YR3/4) 焼土粒子・B小、粘土粒子中量混
- 6 褐(10YR4/4) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B少量混
- 7 暗褐(10YR3/3) 焼土・粘土粒子微量混
- 8 暗褐(10YR3/3) 焼土粒子微量混 粘性・しまり弱
- 9 暗褐(10YR3/3) 粘土粒子多量混
- 10 褐(7.5YR4/4) 焼土主体 粘土・暗褐B少量混
- 11 褐(10YR4/6) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B微量混 粘性・しまり強
- 12 黒褐(10YR2/3) ローム・焼土・粘土粒子中量混
- 13 暗褐(10YR3/3) 焼土B小少量、粘土B中多量混
- 14 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B小～中、粘土粒子中量混



第157図 425号住居カマド

426号住居 (第158図、PL44・45)

位置 309～312-956～960 Gr

重複関係 443住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 3.28 m 短辺 2.79 m 長辺/短辺 1.18

壁高 15cm 面積 9.59㎡ 床面積 8.43㎡

主軸方位 N-67°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積か。

床面状態 ロームを含む暗褐色土でほぼ全面貼床。ほぼ平坦で全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 北部から東部中心で、下層～床面出土。完形・半完形のものもあり、床面付近の完形品は遺棄遺

物の可能性が高いが、他は廃棄・流入遺物が多いか。

掘り方 細かい凹凸はあるが、全体的に平坦な掘り方。

カマド

位置 310・311-956・957 Gr

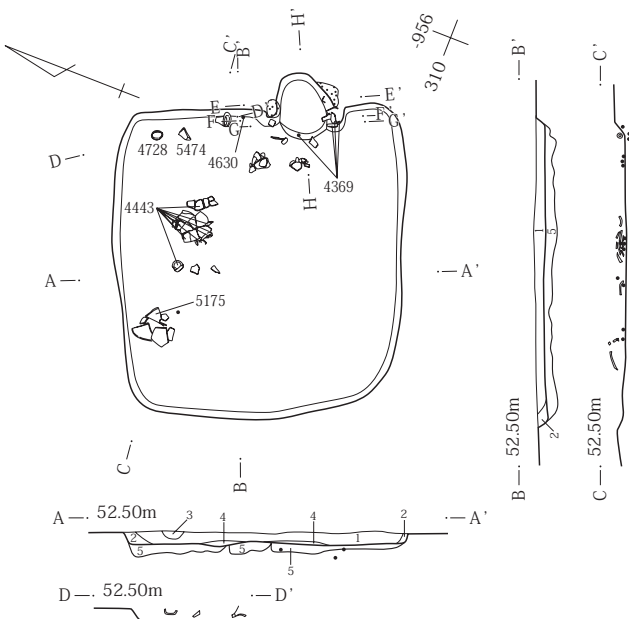
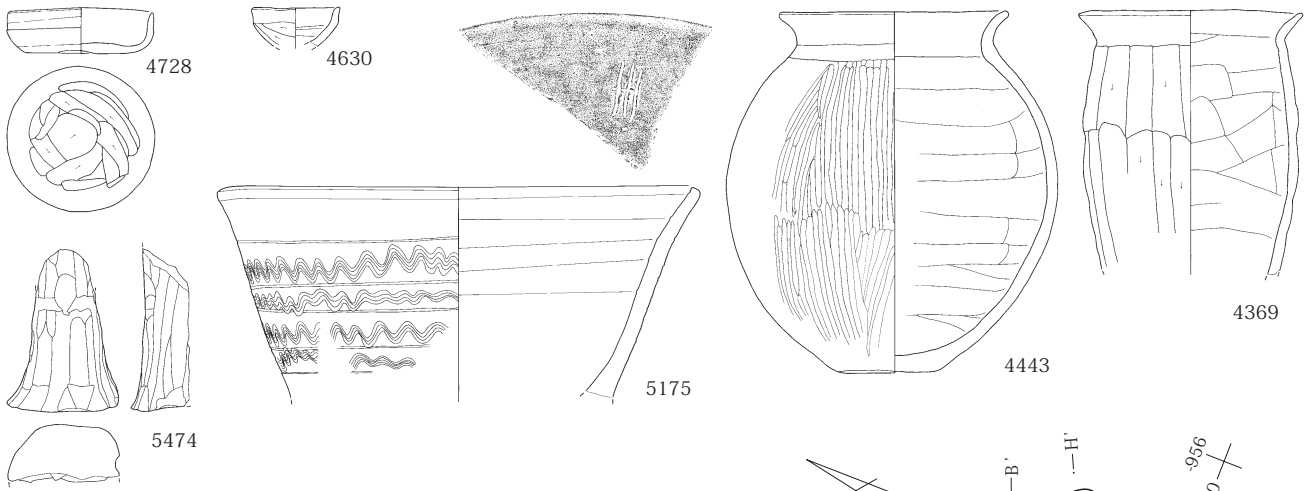
壁位置 東壁南 全長 0.72 m 幅 0.90 m

主軸方位 N-57°-E

構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部から燃焼部に向かってやや下がり、燃焼部はくぼむ。奥壁の立ち上がりは急である。

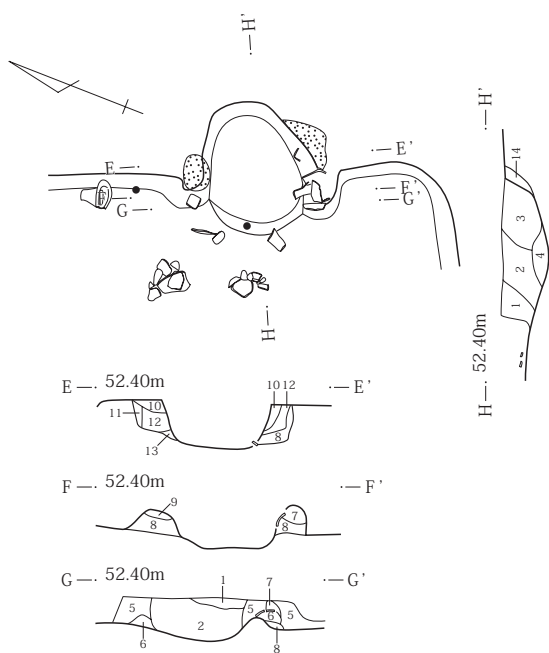
遺物出土状況 燃焼部の一部とカマド全面から土師器甕の破片が出土。

時期 遺棄と考えられる遺物等から、7世紀第4～8世紀第1四半期か。



426号住居

- 1 暗褐(10YR3/3) 砂質 ローム粒子・B小、焼土・白色粒子混 粘性弱
- 2 暗褐(10YR3/3)・にぶい黄褐(10YR5/4)混土 ローム粒子多量混
- 3 黒褐(10YR3/2) 砂質 ローム・白色粒子混
- 4 暗褐(10YR3/3) ロームB中・黒褐土混 しまり弱
- 5 暗褐(10YR3/3) ロームB多量混 貼床



カマド

- 1 暗褐(10YR3/3) ロームB小・粘土B少量混
- 2 暗褐(10YR3/4) 焼土・粘土粒子中量混
- 3 暗褐(10YR3/4) 焼土粒子多量、粘土粒子少量混
- 4 黒褐(10YR2/3) 焼土粒子微量混
- 5 暗褐(10YR3/4) 焼土・粘土粒子微量混
- 6 暗褐(10YR3/4) 粘土B小中量混
- 7 暗褐(10YR3/3) 粘土粒子少量混
- 8 黒褐(10YR2/3) 焼土・粘土粒子微量混
- 9 にぶい黄褐(10YR4/3) 焼土・粘土粒子中量混
- 10 褐(10YR4/6) 粘土層 暗褐B少量混 粘性・しまり強
- 11 褐(10YR4/6) 粘土層 粘性・しまり強
- 12 暗褐(10YR3/4) 粘土B中多量混
- 13 黒褐(10YR2/3) 焼土粒子・B小中量混
- 14 暗褐(10YR3/4) ロームB小・粒子少量混

第158図 426号住居

III 検出された遺構と出土遺物

427号住居(第159・160図、PL45)

位置 308・309-947~951 Gr 重複関係 なし

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [2.97] m 短辺 [0.67] m

長辺/短辺 不明 壁高 35cm 面積 [4.35] m²

床面積 [3.44] m² 主軸方位 N-55°-E

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 不明 柱穴 なし
 埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがる
 レンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で全面貼床。ほぼ平坦
 で全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 出土量は少ないが、カマド周辺に完形・
 半完形の遺物が集中。床面に近いため遺棄遺物の可能性
 が高いか。他は破片が出土したのみ。

掘り方 東部が一段下がる。細かい凹凸はあるが、全体的
 には平坦。

カマド

位置 308・309-948 Gr

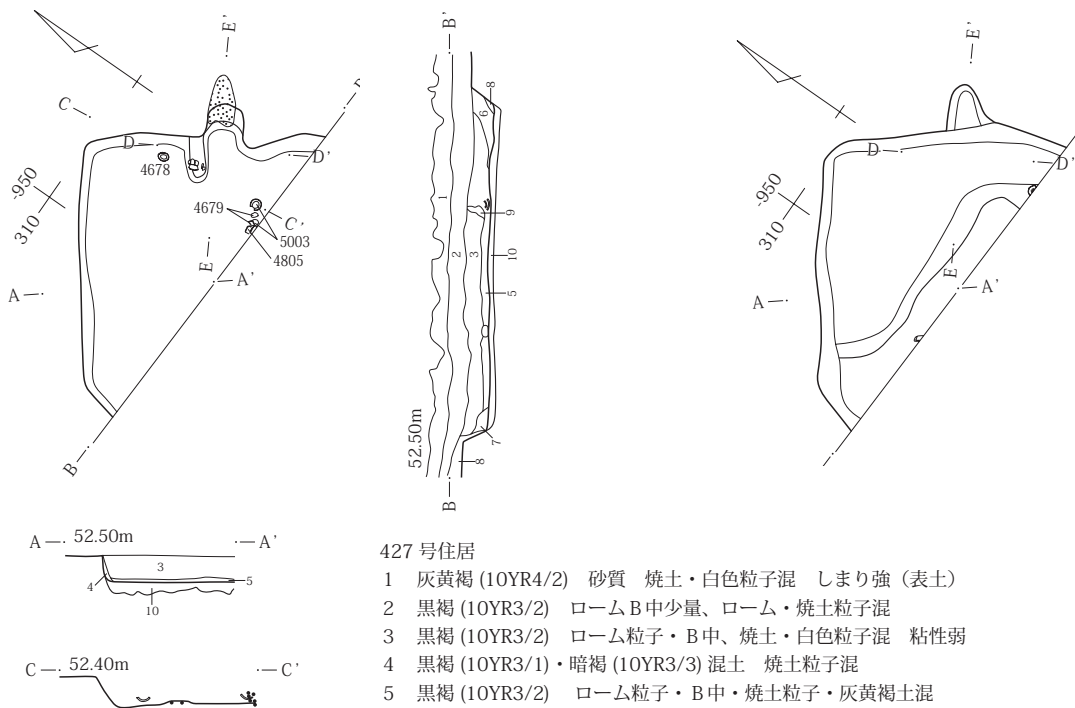
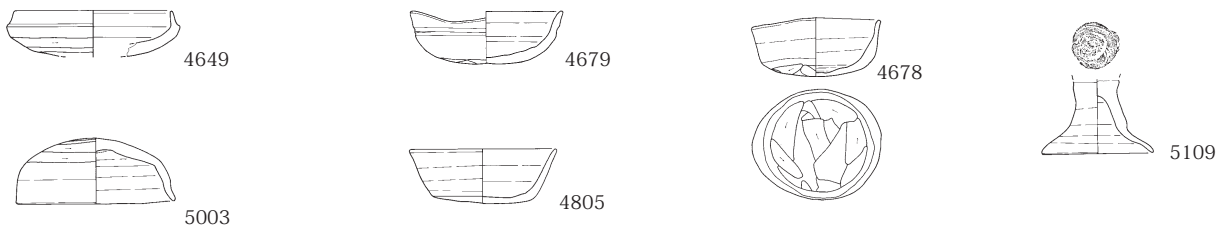
壁位置 東壁中央か 全長 0.86 m

幅 0.74 m 主軸方位 N-60°-E

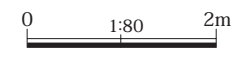
構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほ
 ぼ平坦で、奥壁の立ち上がりはやや急で煙道部に続く。
 煙道部底面はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 左袖上部から土師器片が出土している
 が、他は小破片が出土したのみ。

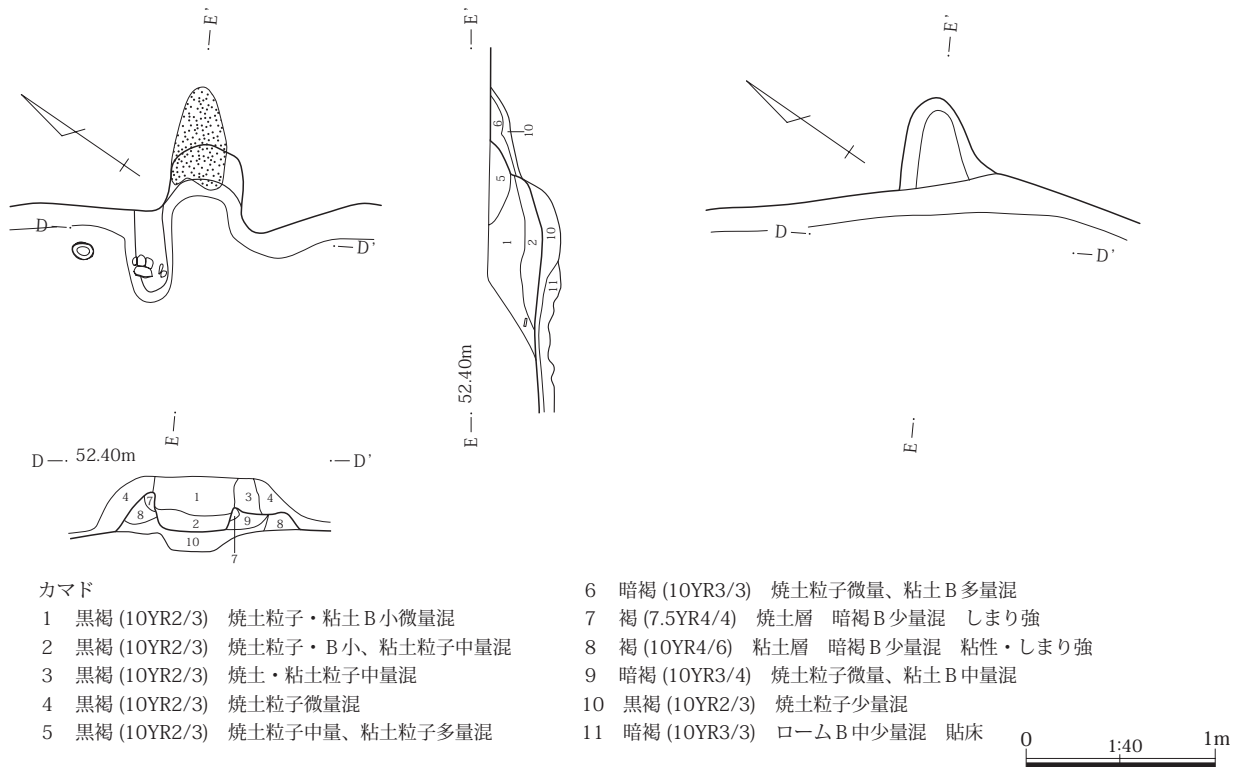
時期 遺棄されたと考えられる遺物から、7世紀第2~
 第3四半期か。



- 427号住居
- 1 灰黄褐(10YR4/2) 砂質 焼土・白色粒子混 しまり強(表土)
 - 2 黒褐(10YR3/2) ロームB中少量、ローム・焼土粒子混
 - 3 黒褐(10YR3/2) ローム粒子・B中、焼土・白色粒子混 粘性弱
 - 4 黒褐(10YR3/1)・暗褐(10YR3/3) 混土 焼土粒子混
 - 5 黒褐(10YR3/2) ローム粒子・B中・焼土粒子・灰黄褐土混
 - 6 黒褐(10YR2/2) 焼土粒子混 7 黒褐(10YR2/2) ロームB中・灰黄褐土B混
 - 8 灰黄褐(10YR4/2) ローム主体 9 黒褐(10YR2/2) 焼土粒子混
 - 10 暗褐(10YR3/3) ロームB中中量混 貼床



第159図 427号住居出土遺物・使用面・掘り方



第160図 427号住居カマド

428号住居 (第161・162図、PL45・46)

位置 308・309 -976 ~980 Gr 重複関係 なし

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [2.96] m 短辺 [0.95] m

長辺 / 短辺 不明 壁高 41cm 面積 [1.55] m²

床面積 [0.92] m² 主軸方位 N-16°-W

壁溝 東壁。北壁なし。他は不明。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 調査部分は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 カマド周辺に完形・半完形の土器が集中する壁際のため遺棄遺物の可能性が高いか。4408・4513は床面上の出土である。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド

位置 308・309 -978・979 Gr

壁位置 東壁中央? 全長 0.58 m

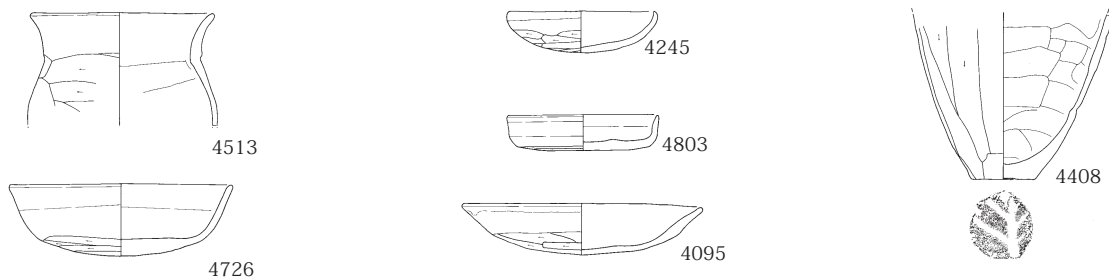
幅 0.80 m 主軸方位 N-7°-W

構築 褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが、奥壁に向かい上がっている。奥壁の立ち上がりはやや急である。

遺物出土状況 燃烧部から、土師器杯出土。他に土師器甕底部が、底部を上にした状態で出土。中心はずれるが、支脚の可能性あり。

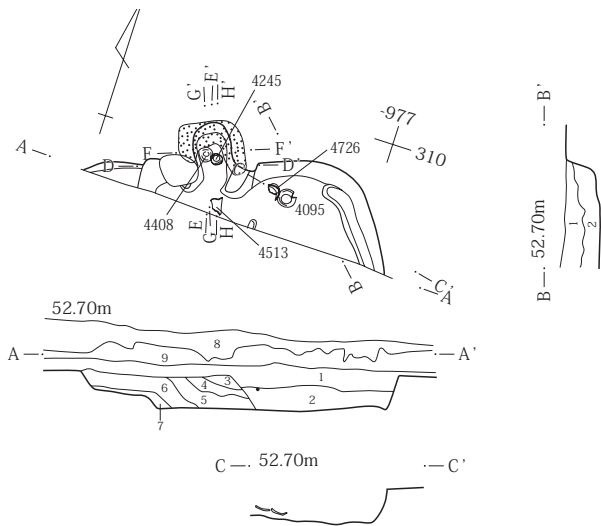
備考 大部分調査区外のため詳細不明であるが、カマドやカマド周辺の遺物の残存状態は良好。

時期 カマド出土土器等から、8世紀第1～第2四半期か。



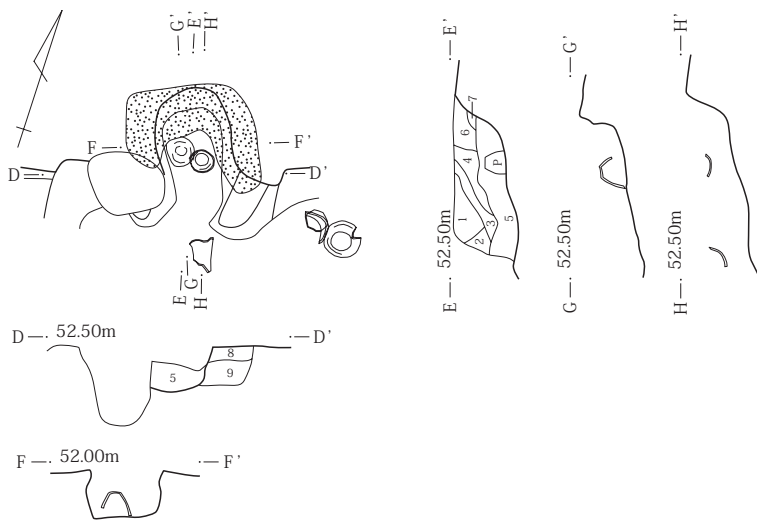
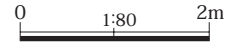
第161図 428号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



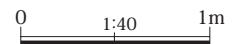
428号住居

- 1 黒褐 (10YR3/2) 砂質 焼土粒子少量、ローム・粘土B小混 粘性弱
- 2 黒褐 (10YR3/2) ロームB中少量混
- 3 黒褐 (10YR3/2) 粘土粒子多量、ローム・焼土粒子混
- 4 黒褐 (10YR3/2) 粘土粒子少量、ローム・焼土・炭化粒子混 しまり強
- 5 黒褐 (10YR3/2) 焼土粒子少量、ロームB小混
- 6 黒褐 (10YR3/2) 焼土混
- 7 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・B中、灰黄褐土混 粘性強
- 8 灰黄褐 (10YR4/2) 砂質 焼土混 しまり強
- 9 暗褐 (10YR3/3) ロームB小、焼土・炭化粒子混 しまり強



カマド

- 1 黒褐 (10YR3/2)・暗褐 (10YR3/3) 混土 砂質
ローム粒子・B小、焼土混
- 2 黒褐 (10YR3/2) ローム・焼土・白色粒子混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子混
- 4 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量混
- 5 黒褐 (10YR3/2) 砂質土 焼土粒子中量、焼土B
少量、ローム粒子混
- 6 暗褐 (10YR3/3) 粘質土主体 焼土粒子微量混
- 7 暗褐 (10YR3/3) 焼土化した粘質土
- 8 暗褐 粘土混
- 9 褐 焼土粒子・B小少量混 粘質 しまり強



第162図 428号住居使用面・カマド

429号住居 (第163・164図、PL46・47)

位置 313～319 -982～989 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸方形

長辺 5.38 m 短辺 5.07 m 長辺/短辺 1.06

壁高 57cm 面積 26.99㎡ 床面積 20.21㎡

主軸方位 N-19°-W

壁溝 カマドを除き全周。

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は隅丸長方形で断面形態は台形であるが、底部西側でさらにくぼむ。

柱穴 4基。柱2に柱痕または抜取り痕あり。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。南北壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。やや凹凸があり全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 出土量は多く、ほぼ全面で上層～床面出

土。完形・半完形の遺物もあり、壁際のは遺棄遺物か。

掘り方 床下土坑や土坑状掘り込み・ピット数基あり。

カマド

位置 318・319 -987 Gr 壁位置 北壁やや西

全長 1.09 m 幅 0.80 m

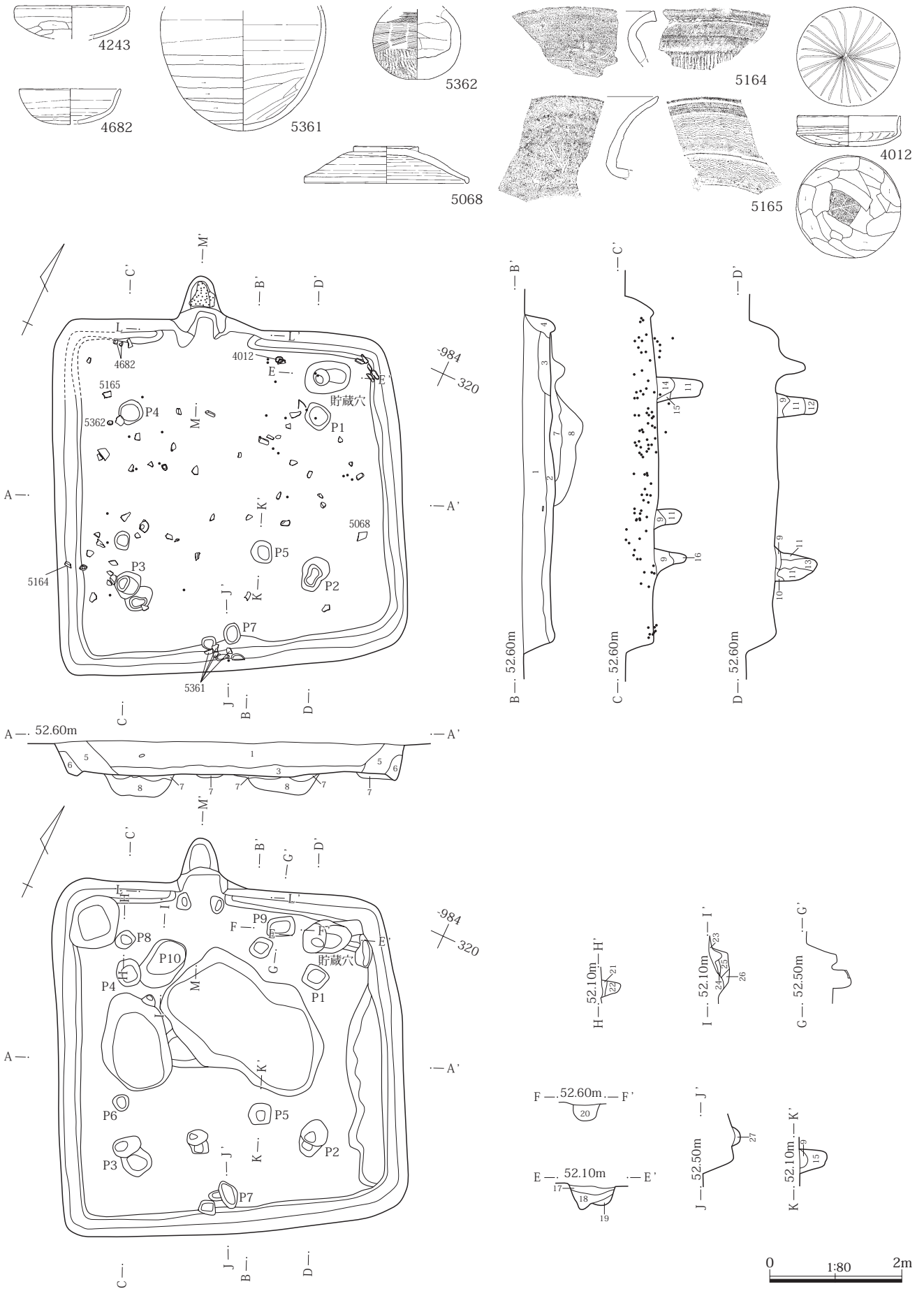
主軸方位 N-22°-W

構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。奥壁でやや立ち上がりその先は煙道部となるか。掘り方において、左右の袖の位置から小ピット検出。補強材の設置痕か。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

備考 他の住居と重複がなく、壁高もかなりあり残存状況は良好。

時期 壁際の完形遺物等から、7世紀第1～第2四半期か。



第163図 429号住居出土遺物・使用面・掘り方

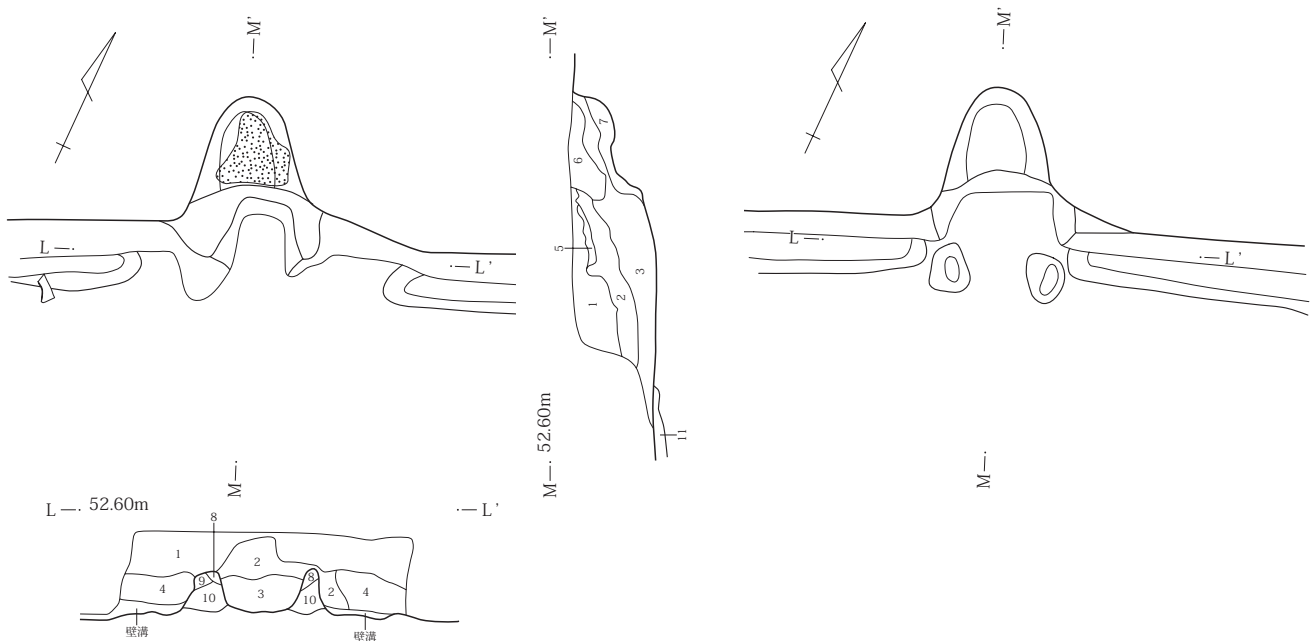
III 検出された遺構と出土遺物

429号住居

- 1 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量、ローム粒子・B、炭化物混
- 2 暗褐 (10YR3/3) 焼土混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中少量、焼土混
- 4 灰黄褐 (10YR4/2) ローム粒子多量、ロームB小、焼土混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中少量、焼土・炭化物混
- 6 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子多量、ロームB中混
- 7 暗褐 (10YR3/3) ロームB中中量混 貼床
- 8 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB多量混
- 9 黒褐 (10YR3/2) 砂質 ローム粒子多量、ロームB中・焼土粒子混
- 10 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子少量混
- 11 にぶい黄褐 (10YR5/4) ローム主体 砂質 小礫混 しまり強
- 12 にぶい黄褐 (10YR5/4) 砂質
- 13 黒褐 (10YR3/2) 砂質 ローム粒子・B中少量混
- 14 黒褐 (10YR3/2) 砂質 ローム粒子・B中中量、焼土粒子少量、焼土

B小混

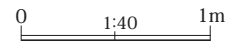
- 15 にぶい黄褐 (10YR5/4) ロームB主体 黒褐土混
- 16 黄褐色 (10YR5/6) しまり強
- 17 黒褐 (10YR3/2) 砂質 ローム粒子多量、焼土粒子少量、炭化物混
- 18 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・B中多量、焼土粒子混
- 19 にぶい黄褐 (10YR5/4) 砂質 ロームB中・黒褐土混 しまり強
- 20 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B多量混
- 21 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子中量混
- 22 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B多量混
- 23 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子中量、焼土粒子微量混
- 24 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム粒子・B小少量混
- 25 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB小多量混
- 26 ローム主体 褐色土B少量混
- 27 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小中量混



カマド

- 1 暗褐 (10YR3/3) 砂質土 焼土・白色粒子少量、ローム粒子混 しまり強
- 2 にぶい黄褐 (10YR4/3) 砂質土 焼土粒子少量、ロームB・白色粒子混
- 3 にぶい黄褐 (10YR4/3) 砂質土 焼土B小少量、白色粒子・赤褐土混
- 4 暗褐 (10YR3/3) 砂質土 ローム粒子 ロームB少量、焼土・白色粒子混 しまり強
- 5 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混

- 6 褐 (10YR4/4) 粘土主体 暗褐B少量混 粘性・しまり強
- 7 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量混
- 8 暗褐 (10YR3/4) ロームB中少量、焼土・粘土粒子微量混
- 9 褐 (10YR4/4) 粘土主体 焼土・炭化粒子少量混 粘性・しまり強
- 10 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 11 暗褐 (10YR3/3) ロームB小～中少量混 しまり強 貼床



第164図 429号住居カマド

430号住居 (第165図、PL47)

位置 313～317 -966～970 Gr

重複関係 15溝と重複 平面形態 隅丸方形

長辺 3.44 m 短辺 2.95 m 長辺/短辺 1.17

壁高 34cm 面積 (11.84) m²

床面積 (9.75) m² 主軸方位 N-77°-E

壁溝 なし 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む黒褐色土。東壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。やや凹凸があ

り全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、住居中央部で中層～床面中心。完形の須恵器杯・蓋は遺棄遺物か。4516は床面上の出土である。

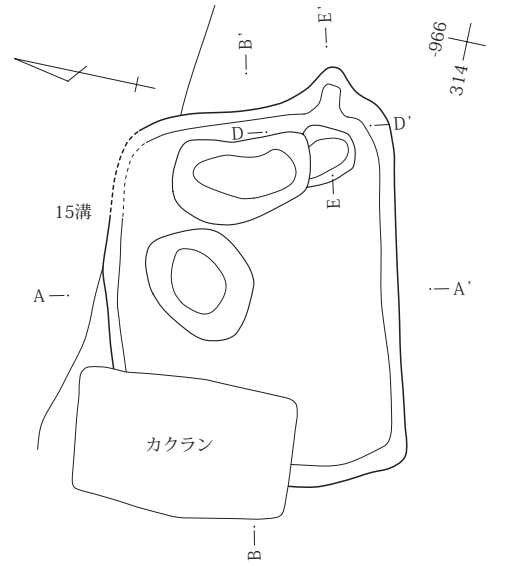
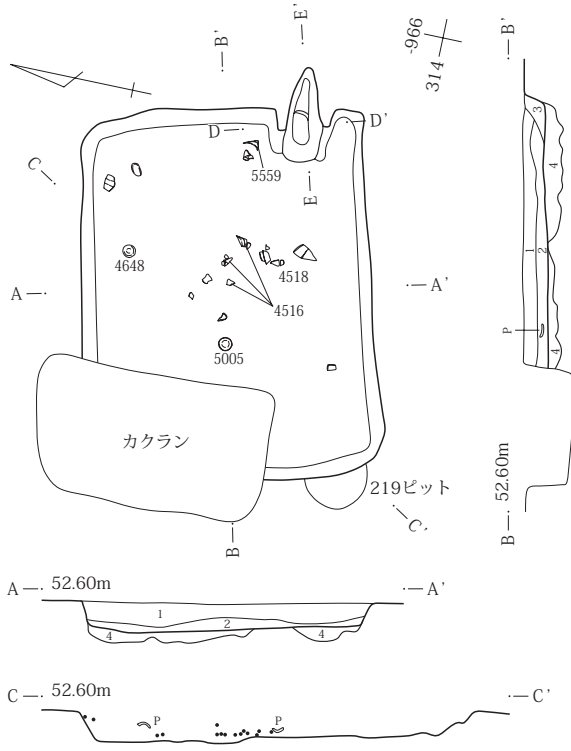
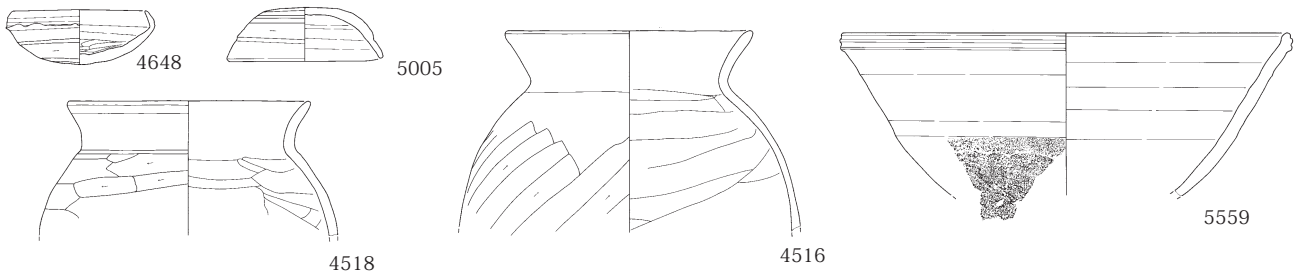
掘り方 土坑状掘り込み3基。他は凹凸のある掘り方。

カマド

位置 314・315 -966・967 Gr

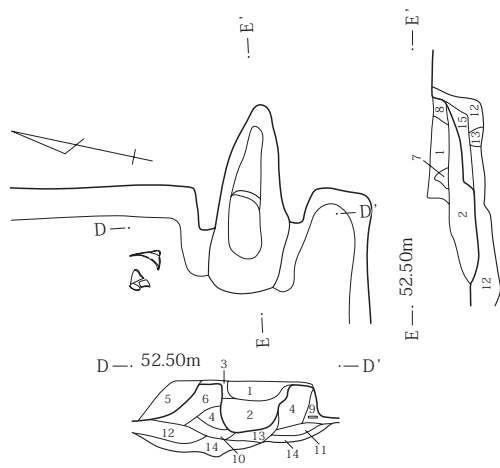
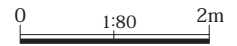
壁位置 東壁南 全長 1.00 m

幅 0.60 m 主軸方位 N-83°-E



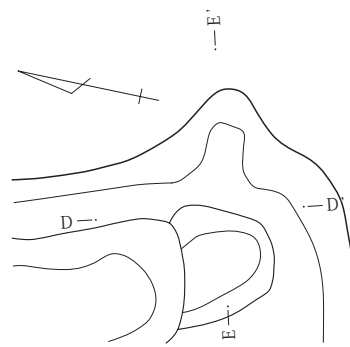
430号住居

- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小～中少量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小～中量混
- 3 黒褐 (10YR2/1) ローム粒子極微量混
- 4 黒褐 (10YR3/2) ロームB中・黒褐土混合 しまり強 貼床

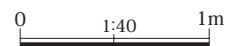


カマド

- 1 暗褐 (10YR3/3) 砂質 灰黄褐土少量、ローム・焼土混
- 2 赤褐 (5YR4/6)・暗褐 (10YR3/3) 混土 ローム粒子・焼土B中量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 砂質 焼土混
- 4 暗褐 (7.5YR3/3) 砂質 しまり強 カマド袖
- 5 黒褐 (10YR3/2) 砂質 ローム粒子多量、ロームB小混
- 6 暗褐 (10YR3/3) 砂質 ローム混
- 7 暗褐 (10YR3/3) 砂質 焼土B中多量混



- 8 暗褐 (10YR3/3)・黒褐 (10YR3/1) 混土
- 9 暗褐 ローム・焼土粒子混
- 10 黄褐 ローム主体 暗褐土混 しまり強
- 11 暗褐 ローム・焼土粒子微量混 しまり強
- 12 黒褐 ロームB中多量混 しまり強
- 13 暗褐 ロームB中中量、黒褐土少量混 砂質
- 14 黄褐 ローム主体 にぶい黄褐色土混 砂質 しまり強
- 15 黒褐 ローム・焼土粒子少量混



第165図 430号住居

III 検出された遺構と出土遺物

構築 暗褐色砂質土で袖を構築。燃烧部底面はややくぼむ。燃烧部奥壁で一段上がり煙道部に続くと考えられる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

備考 15号溝と重複するが、新旧は重複関係からは不明。出土遺物から15号溝が新か。

時期 完形の須恵器杯・蓋から、6世紀校後半代か。

431号住居 (第166・167図、PL48)

位置 327～332-004～010 Gr

重複関係 なし **平面形態** 隅丸方形

長辺 4.43 m **短辺** 3.94 m **長辺 / 短辺** 1.12

壁高 33cm **面積** (17.49) m²

床面積 (15.56) m² **主軸方位** N-49°-E

壁溝 なし **貯蔵穴** なし

柱穴 4基? 南西部は攪乱により不明。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。中央やや北よりの床面

上に、東西に長く粘土層あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で全面貼床。ほぼ平坦で中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、北東部中層～下層中心。

掘り方 南西部1段下がる。ピット多数検出。他は細かい凹凸が多い掘り方。

カマド

位置 330-005 Gr **壁位置** 東壁南

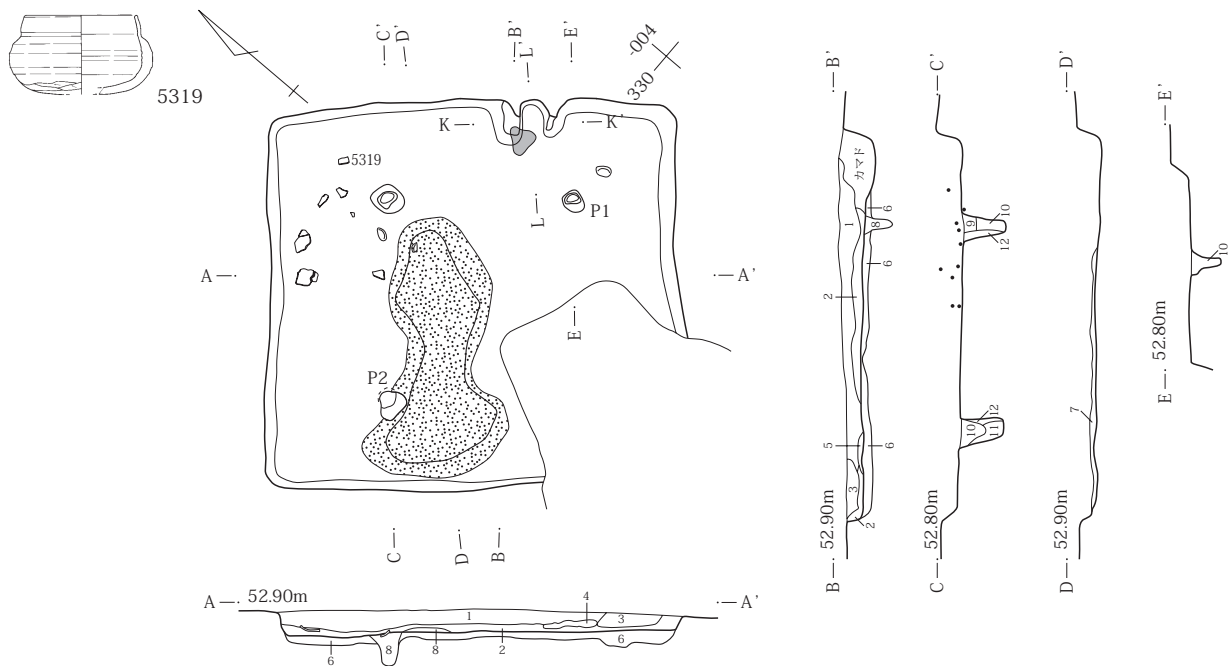
全長 0.50 m **幅** 0.75 m

主軸方位 N-54°-E

構築 暗褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁の立ち上がりは急である。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

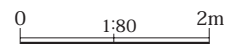
時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物から、7世紀代か。



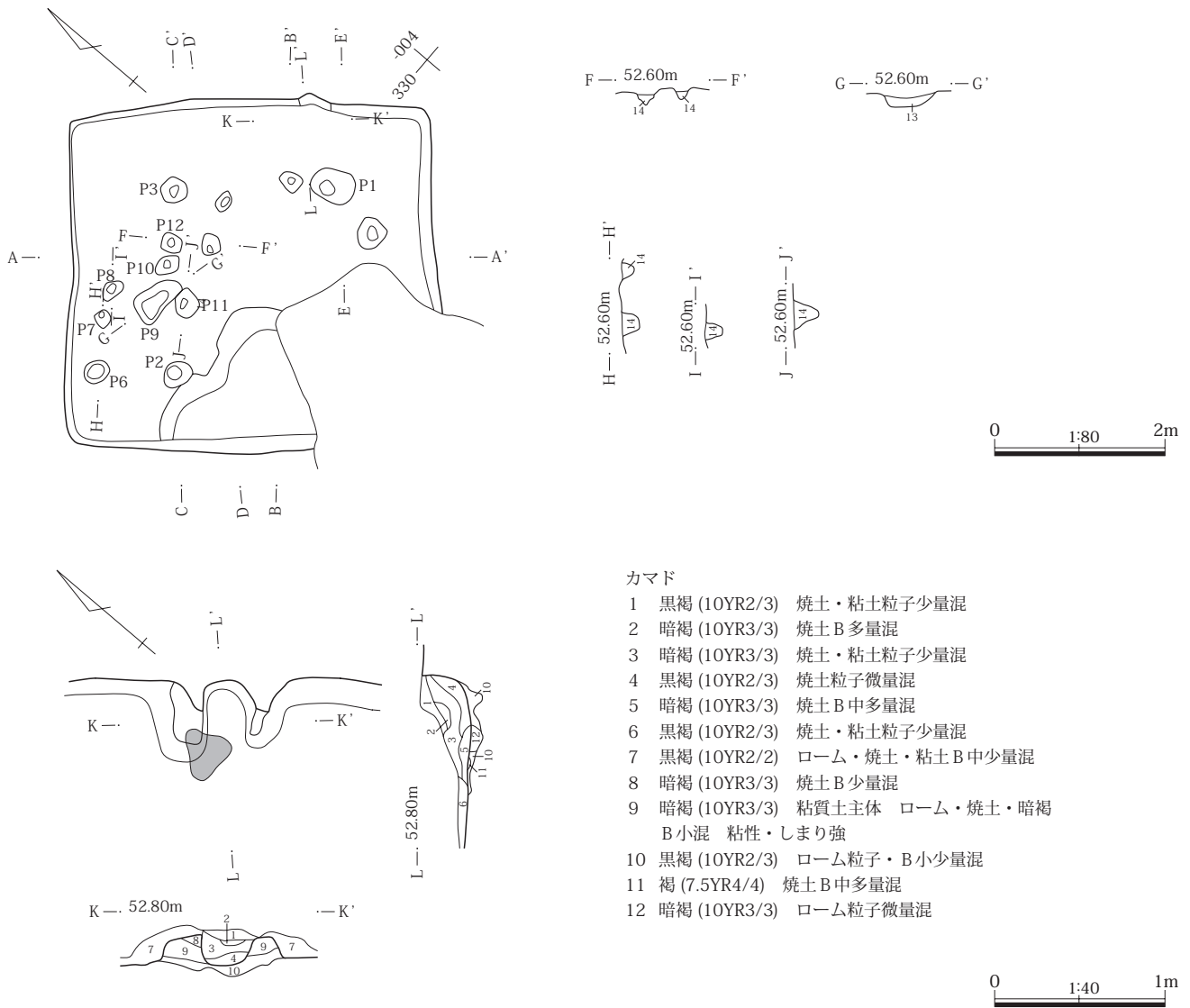
431号住居

- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム・白色粒子中量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B、白色粒子少量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) 粘土B小～中多量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) 粘土B中多量混
- 6 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム主体 暗褐B中多量混 貼床
- 7 にぶい黄褐 (10YR5/4) 粘土主体 黒褐B中少量混 粘性・しまり強

- 8 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混
- 9 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B中中量混
- 10 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子少量混
- 11 暗褐 (10YR3/3) 黒褐B少量混
- 12 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混
- 13 暗褐 (10YR3/3) ロームB中少量混 粘性・しまり強
- 14 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小微量混



第166図 431号住居出土遺物・使用面



第167図 431号住居掘り方・カマド

432号住居 (第168図、PL48)

位置 342～346 - 946～950 Gr

重複関係 541住より新 平面形態 隅丸長方形

長辺 3.58 m 短辺 2.89 m 長辺/短辺 1.24

壁高 92cm 面積 11.31m² 床面積 8.75m²

主軸方位 N-17°-W 壁溝 南壁西部～西壁南部

貯蔵穴 掘り方検出のカマド右脇土坑が貯蔵穴の可能性もあるが、はっきりしない。柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。やや凹凸があり中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、南壁際の須恵器蓋以外は破片が少量出土したのみ。須恵器蓋は遺棄遺物の可能性あり。

掘り方 土坑状掘り込み多数検出。凹凸の多い掘り方。

カマド

位置 345・346 - 948・949 Gr

壁位置 北壁やや東 全長 1.15 m

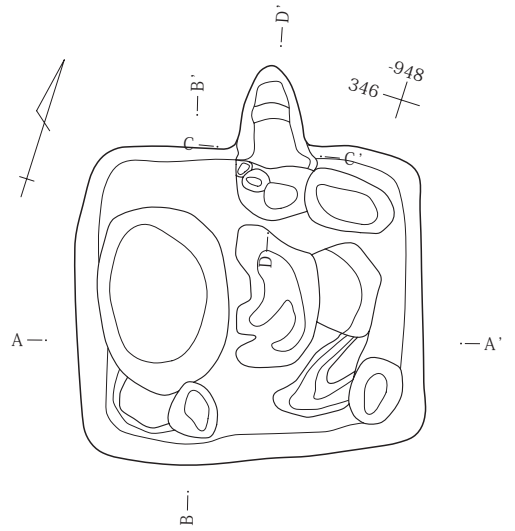
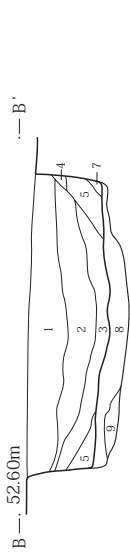
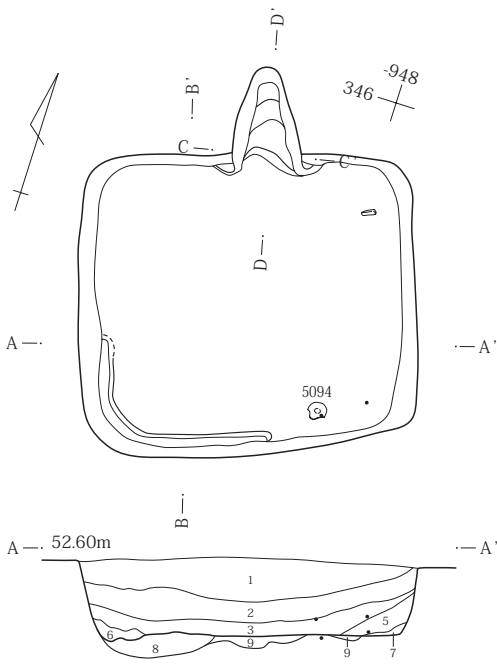
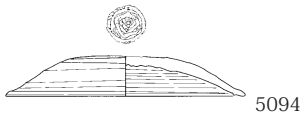
幅 1.13 m 主軸方位 N-17°-W

構築 袖構築材不明。焚口部・燃焼部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃焼部から煙道部にかけて2段あり。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

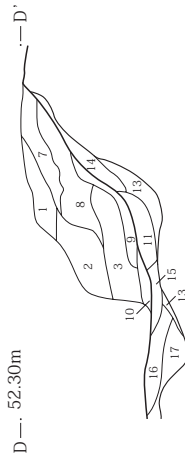
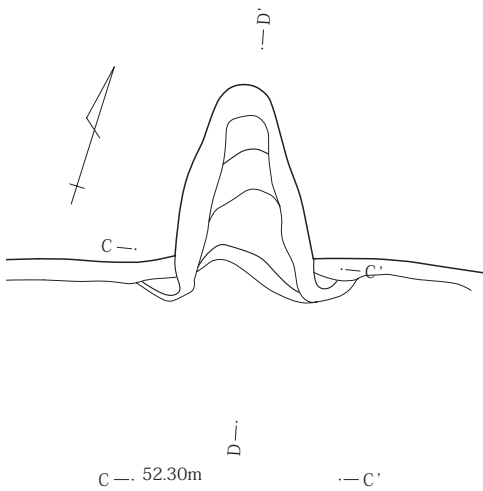
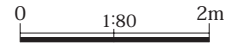
時期 壁際出土の須恵器蓋から、8世紀前半代か。

III 検出された遺構と出土遺物



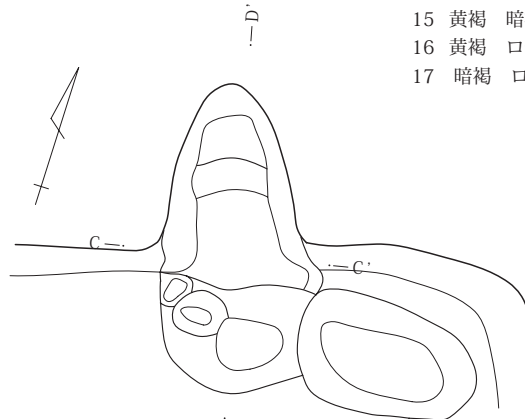
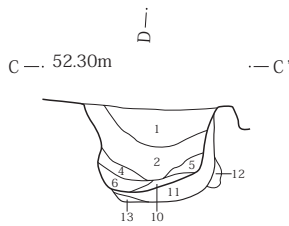
432号住居

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 暗褐 ローム粒子・B少量混 | 6 黒褐 ロームB中少量混 |
| 2 暗褐 ローム粒子中量、ロームB少量混 | 7 黄褐 ローム主体 |
| 3 にぶい黄褐 ローム主体 黒褐土少量混 | 8 黒褐 ロームB中少量混 |
| 4 暗褐 ローム粒子少量混 | 9 黄褐 ローム主体 暗褐土少量混 |
| 5 黒褐 ローム粒子少量混 | しまり強 |

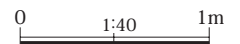


カマド

- | |
|--------------------------|
| 1 黄褐 ローム 暗褐土混 しまり強 |
| 2 暗褐 ローム粒子・B多量混 |
| 3 黄褐 ローム粒子・B中多量混 |
| 4 暗赤褐 焼土粒子・B中量混 |
| 5 暗褐 |
| 6 黄褐 ローム 粘性・しまり強 |
| 7 黄褐 ローム 焼土粒子少量混 粘性・しまり強 |
| 8 にぶい黄褐 ローム・焼土混 しまり強 |
| 9 にぶい黄褐 焼土少量混 しまり弱 |
| 10 暗褐 焼土粒子・B混 |
| 11 暗赤褐 灰層 焼土B中量混 しまり弱 |
| 12 黄褐 焼土B小混 粘性強 |
| 13 暗褐 ロームB中混 粘性強 しまり弱 |
| 14 灰褐 ローム・焼土粒子混 しまり弱 |
| 15 黄褐 暗褐土混 粘性強 |
| 16 黄褐 ローム 粘性強 |
| 17 暗褐 ロームB・暗褐土混 粘性強 しまり弱 |



第168図 432号住居



433号住居 (第169図、PL49)

位置 334・335 - 977 ~ 980 Gr

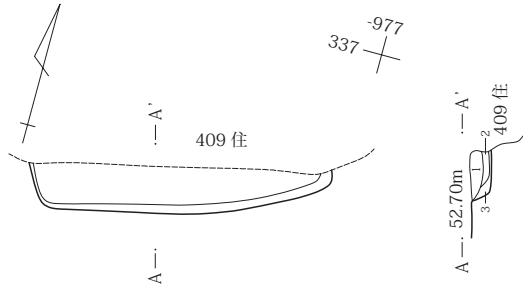
重複関係 409住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 3.13 m 短辺 [0.24] m

長辺 / 短辺 不明 壁高 25cm 面積 [1.33] m²

床面積 [1.04] m² 主軸方位 N-18°-W



壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土・褐色土。

床面状態 残存部分は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 小破片が少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とする。

カマド 不明

備考 重複のため大部分不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。

433号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子、炭化物少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B中少量混
- 3 褐 暗褐土少量混 しまり強

第169図 433号住居

434号住居 (第170～172図、PL49)

位置 318 ~ 325 - 997 ~ 003 Gr

重複関係 15溝、428土坑より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 5.40 m

短辺 5.14 m 長辺 / 短辺 1.05 壁高 28cm

面積 (27.71) m² 床面積 (22.43) m²

主軸方位 N-58°-E

壁溝 カマドを除き残存部分全周。 貯蔵穴 不明

柱穴 4基。柱1に柱痕あるか。いずれの柱穴も柱とあまり変わらない径の掘り方と考えられる。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。中央～北部中心に硬化。

遺物出土状況 中央～南東部中心に中層～床面付近出土。完形・半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものも多く、大部分廃棄・流入遺物か。南壁際の土師

器杯は遺棄遺物か。4135・4406は床面上の出土である。

掘り方 南北の柱穴から壁間が溝状に下がる掘り方。西壁際に土坑状掘り込み。

カマド

位置 322・323 - 997・998 Gr

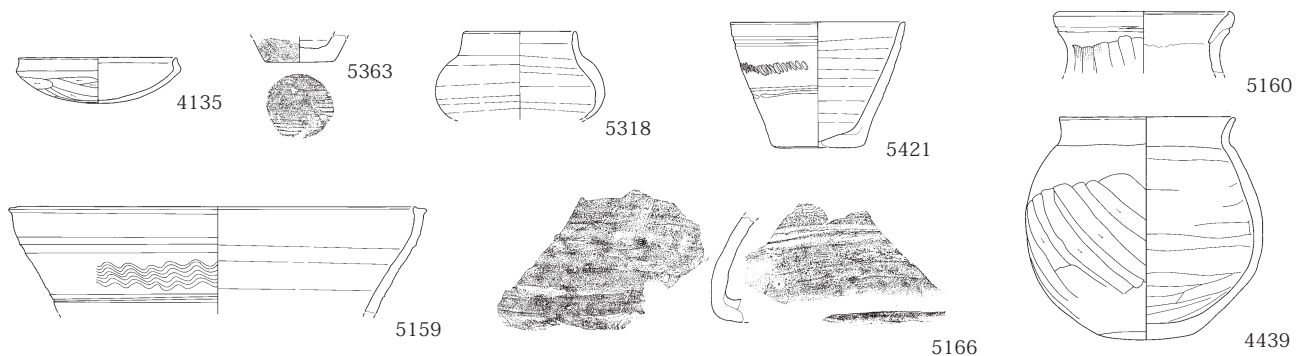
壁位置 東壁中央 全長 0.77 m

幅 0.95 m 主軸方位 N-62°-E

構築 土師器甕を補強材として暗褐色土で袖を構築。天井部には土師器甕を使用。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが燃烧部に向かいやや下がる。燃烧部奥壁は急に立ち上がる。煙道部底面はなだらかに立ち上がるか。

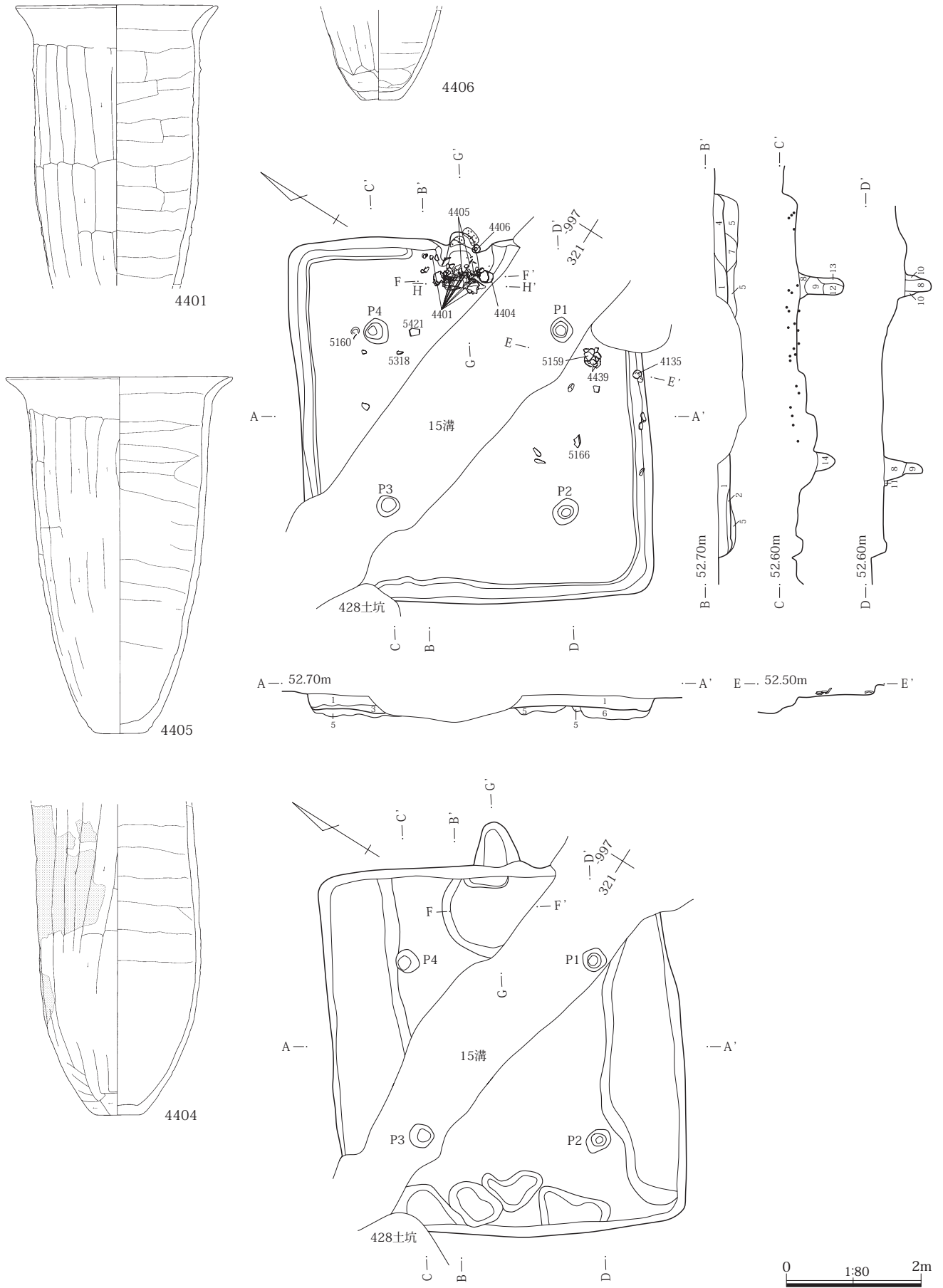
遺物出土状況 袖補強材として土師器甕が伏せた状態で出土。天井部の横に架けた甕が焚口部に潰れた状態で出土。燃烧部奥壁際に土師器甕底部出土。

時期 遺棄と考えられる遺物から、6世紀後半か。



第170図 434号住居出土遺物 (1)

III 検出された遺構と出土遺物

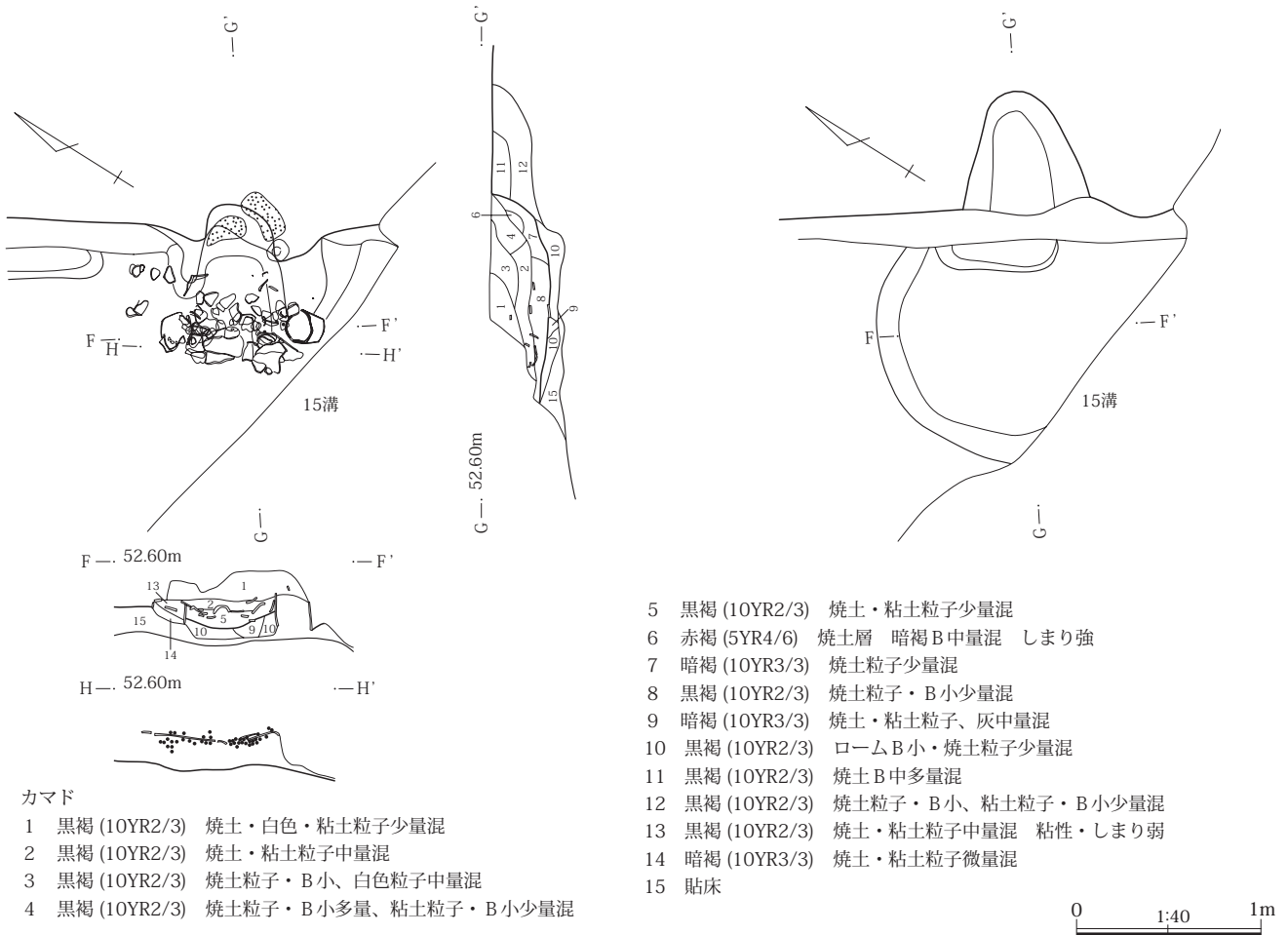


第171図 434号住居出土遺物(2)・使用面・掘り方

434号住居

- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小少量、白色粒子微量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ロームB小～中多量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中少量混 しまり強 貼床
- 4 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中、焼土粒子・B中少量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ロームB中極多量混 しまり強 貼床
- 6 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混 貼床

- 7 黒褐 (10YR2/3) ロームB中中量混 粘性・しまり強 貼床
- 8 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小少量混
- 9 暗褐 (10YR3/3) ロームB小微量混 しまり弱
- 10 暗褐 (10YR3/3) ロームB中中量混
- 11 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量混
- 12 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子微量混
- 13 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小～中少量混
- 14 暗褐 (10YR3/3) ロームB小多量混



カマド

- 1 黒褐 (10YR2/3) 焼土・白色・粘土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子中量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B小、白色粒子中量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B小多量、粘土粒子・B小少量混

- 5 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 6 赤褐 (5YR4/6) 焼土層 暗褐B中量混 しまり強
- 7 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量混
- 8 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B小少量混
- 9 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子、灰中量混
- 10 黒褐 (10YR2/3) ロームB小・焼土粒子少量混
- 11 黒褐 (10YR2/3) 焼土B中多量混
- 12 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B小、粘土粒子・B小少量混
- 13 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子中量混 粘性・しまり弱
- 14 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子微量混
- 15 貼床

第172図 434号住居カマド

436号住居 (第173図、PL49)

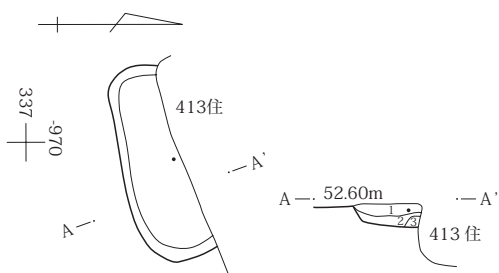
位置 337・338 - 968 ~ 970 Gr

重複関係 413住より旧 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 2.12 m 短辺 [0.54] m

長辺 / 短辺 不明 壁高 22cm 面積 [1.26] m²

床面積 [0.97] m² 主軸方位 N-13°-W



436号住居

- 1 暗褐 ローム粒子少量混
- 2 にぶい黄褐 ローム粒子・B小少量混
- 3 にぶい黄褐 ローム粒子・黒褐土少量混

壁溝 残存部なし。 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土。

床面状態 残存部分は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とする。 カマド 不明

備考 重複により大部分不明であるが、規模小さく形態も不正形に近いため、一般的な住居でない可能性あり。

時期 出土遺物少なく時期不明。

第173図 436号住居

III 検出された遺構と出土遺物

437号住居(第174～176図、PL50)

位置 347～350-935～940 Gr

重複関係 161住より旧 438・439住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 (3.62) m

短辺 (3.21) m 長辺/短辺 (1.13) 壁高 10cm

面積 [11.94] m² 床面積 [10.71] m²

主軸方位 N-42°-E 壁溝 なしか

貯蔵穴 なしか 柱穴 なし

埋没土 焼土を含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で全面貼床。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、南西部で下層中心。完形・半完形の遺物はあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄遺物が多いか。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 349・350-936・937 Gr

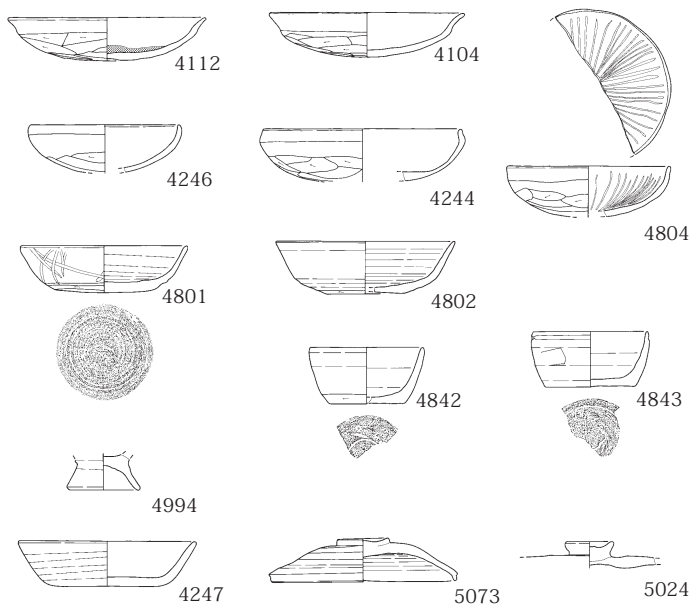
壁位置 東壁やや南 全長 1.20 m

幅 1.10 m 主軸方位 N-45°-E

構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。奥壁の立ち上がりはなだらかである。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 図示された遺物から8世紀第2四半期か。



第174図 437号住居出土遺物

438号住居(第175・176図、PL50・51)

位置 345～350-932～937 Gr

重複関係 437住より旧 439・494住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 (4.98) m

短辺 4.22 m 長辺/短辺 (1.18) 壁高 45cm

面積 [20.93] m² 床面積 [17.61] m²

主軸方位 N-63°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 掘り方検出のカマド右脇の土坑が貯蔵穴の可能性もあるか。柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 黒色土・ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦でやや軟弱。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土するが、南東部に残りのよいものが集中。下層～床面中心。完形・半完形のものもあり、床面付近・壁際のは遺棄遺物か。4240・4509・4612・4727は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑3基の他、土坑状掘り込み・ピット数基検出。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 347・348-932・933 Gr

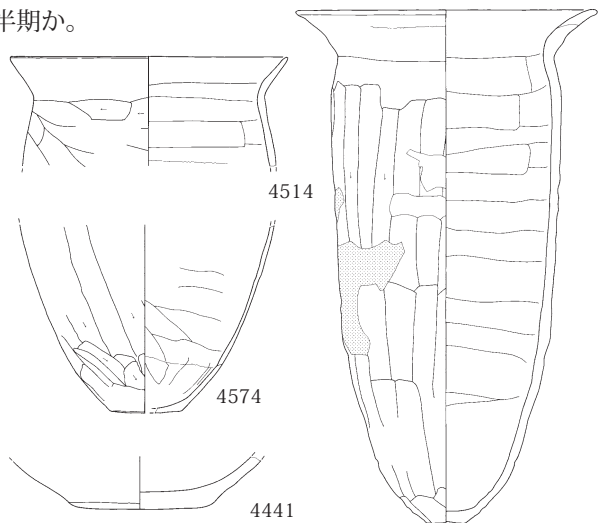
壁位置 東壁南 全長 0.98 m 幅 1.10 m

主軸方位 N-66°-E

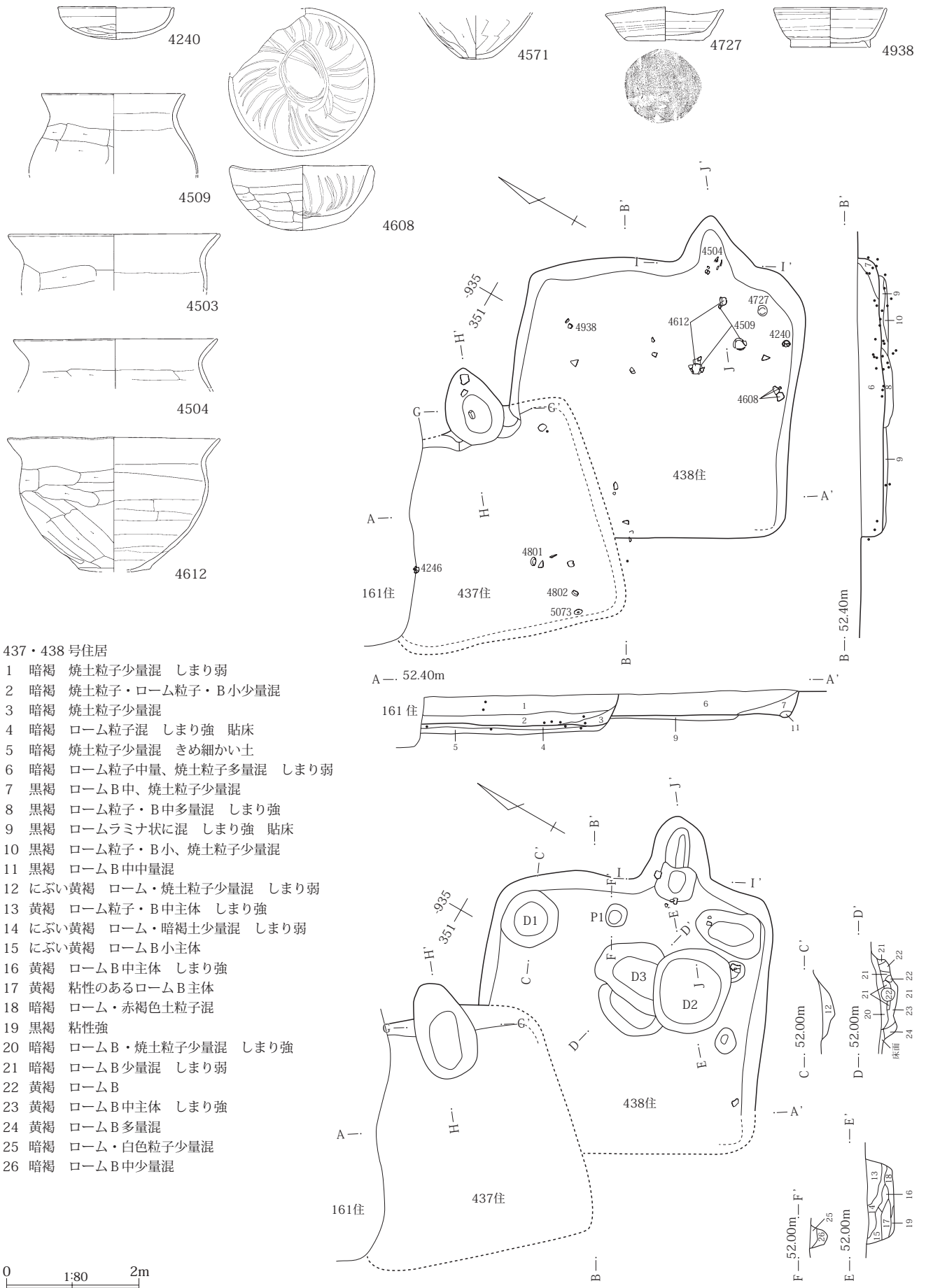
構築 残存状況悪く袖構築材不明。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。奥壁の立ち上がりはなだらかである。

遺物出土状況 燃烧部から土師器甕の破片が出土。

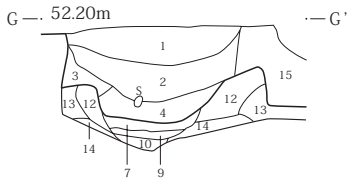
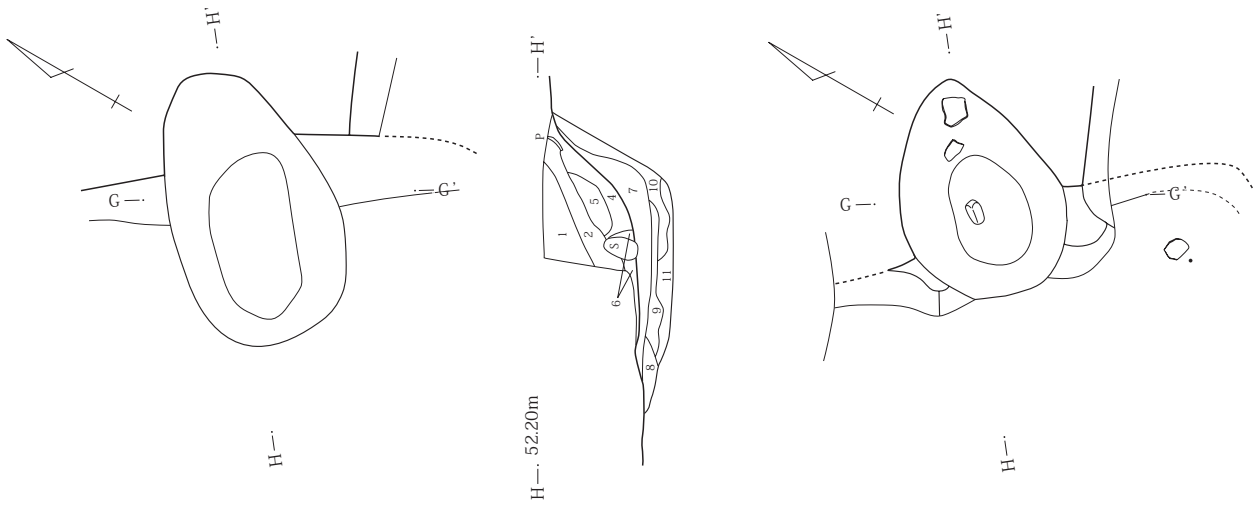
時期 遺棄と考えられる遺物から、8世紀第1～第2四半期か。



4413

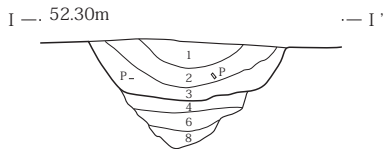
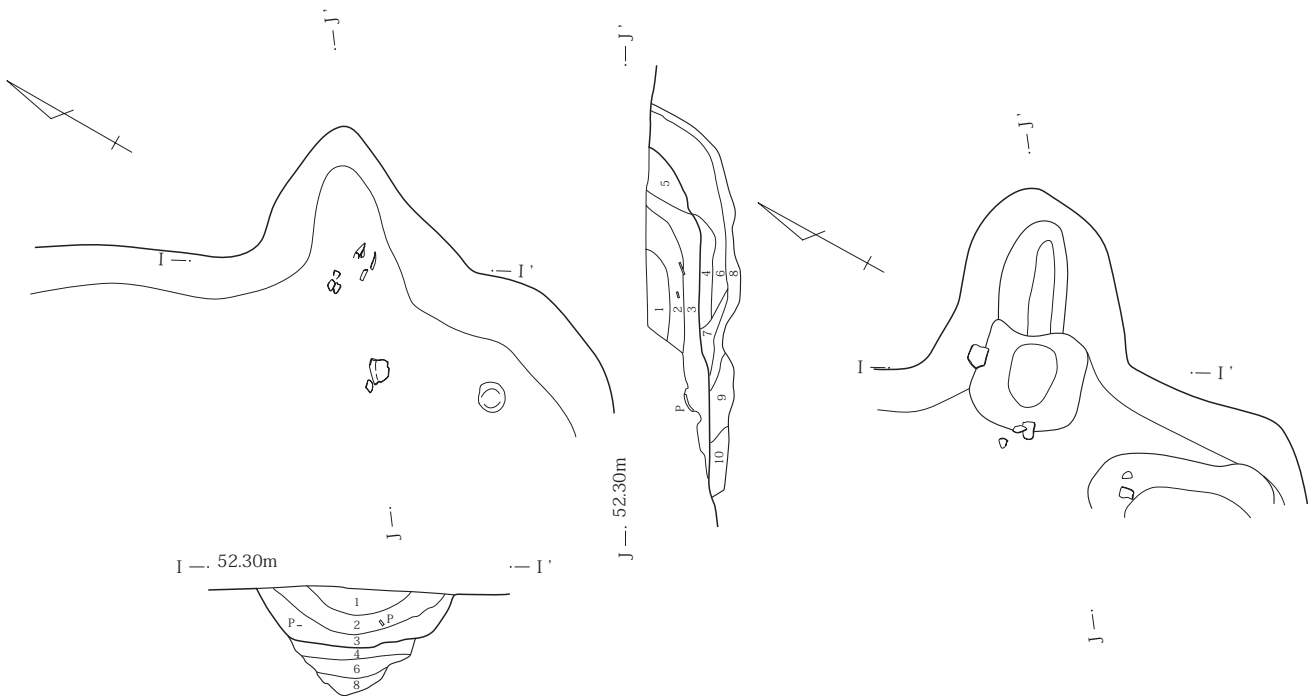


III 検出された遺構と出土遺物



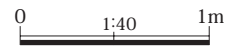
437号住居カマド

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 暗褐 ローム粒子・B小、焼土粒子混 | 8 暗赤褐 ローム・焼土粒子少量混 |
| 2 暗褐 焼土粒子少量混 | 9 暗赤褐 ローム・焼土多量混 |
| 3 黄褐 暗褐土少量混 粘性・しまり強 | 10 暗赤褐 ローム しまり強 |
| 4 暗赤褐 焼土多量混 しまり弱 | 11 黒褐 白色粒子少量混 |
| 5 暗褐 ローム少量、焼土中量混 粘性強 | 12 黄褐 粘土層 しまり強 カマド袖 |
| 6 暗赤褐 ローム、焼土粒子多量混 しまり弱 | 13 黄褐 ローム・焼土少量混 しまり強 |
| 7 暗赤褐 灰層 ローム・焼土混 しまり弱 | 14 暗褐 ローム・黒色土混 しまり強 |
| | 15 暗褐 |



438号住居カマド

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 | 6 暗褐 焼土粒子・B多量混 |
| 2 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 | 7 暗褐 焼土粒子・ロームB小少量混 |
| 3 黄褐 ローム・焼土粒子少量混 粘性・しまり強 | 8 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子混 |
| 4 暗褐 焼土粒子中量混 しまり弱 | 9 暗褐 ローム粒子・B中少量混 しまり強 |
| 5 暗褐 焼土粒子・Bまばらに混 | 10 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 しまり強 |



第176図 437・438号住居カマド

439号住居（第177～179図、PL51）

位置 344～351 - 934～942 Gr

重複関係 161・437・438 住より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 6.13 m

短辺 5.61 m 長辺/短辺 1.09 壁高 74 cm

面積 (33.60) m² 床面積 (25.73) m²

主軸方位 N-44°-W

壁溝 カマドを除き残存部分全周。貯蔵穴 なしか

柱穴 4基。柱穴3に柱痕あるか。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 黒褐色土を含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦であるが、東西壁際がやや高くなる。全体的に硬化。

遺物出土状況 北西部に集中し、上層～床面出土。完形・

半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 床下土坑・ピット多数検出。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 349 - 939・940 Gr 壁位置 北壁やや西

全長 0.99 m 幅 0.63 m

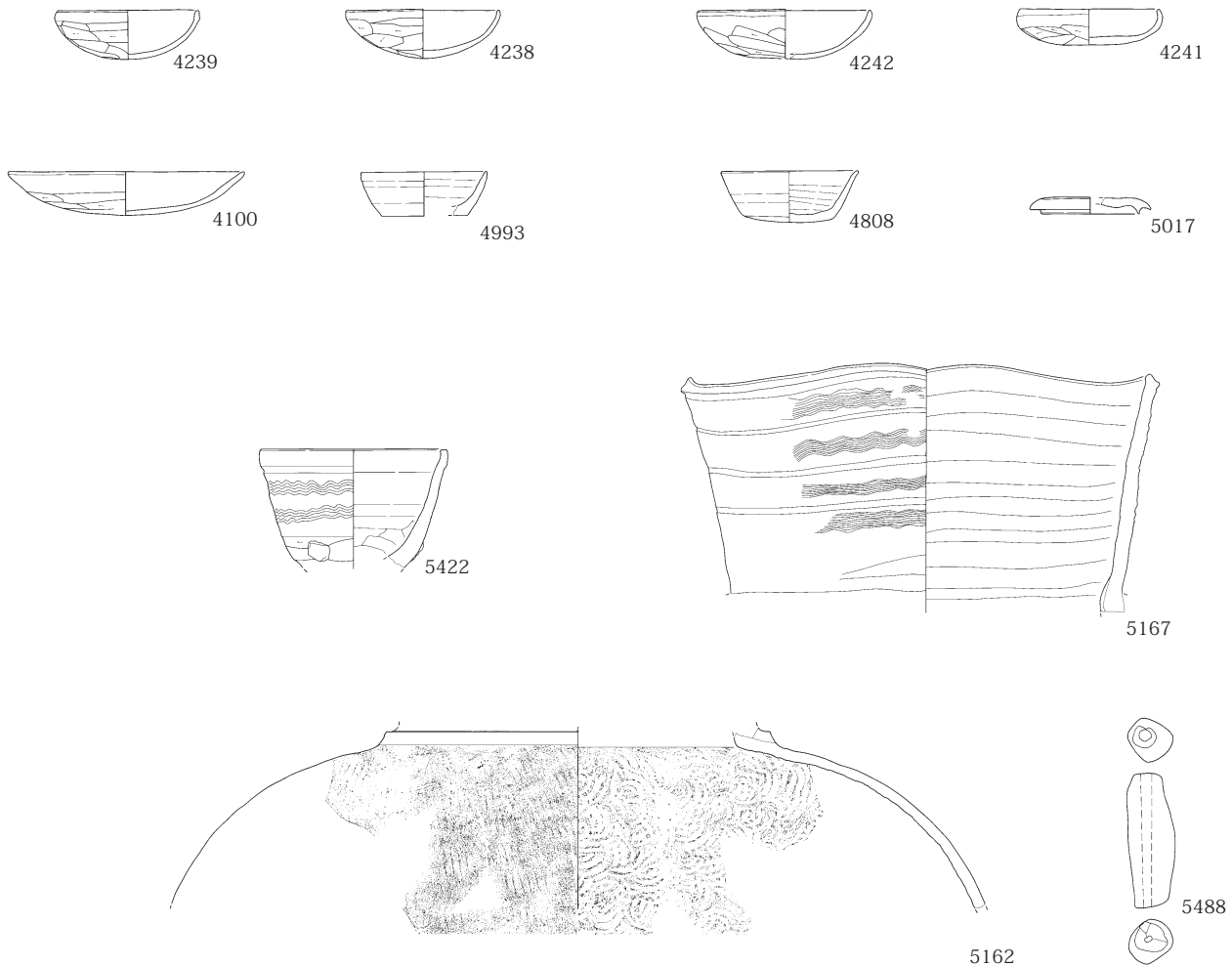
主軸方位 N-33°-W

構築 残存状況悪く袖構築材不明。焚口部平坦で燃焼部で下がる掘り方か。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

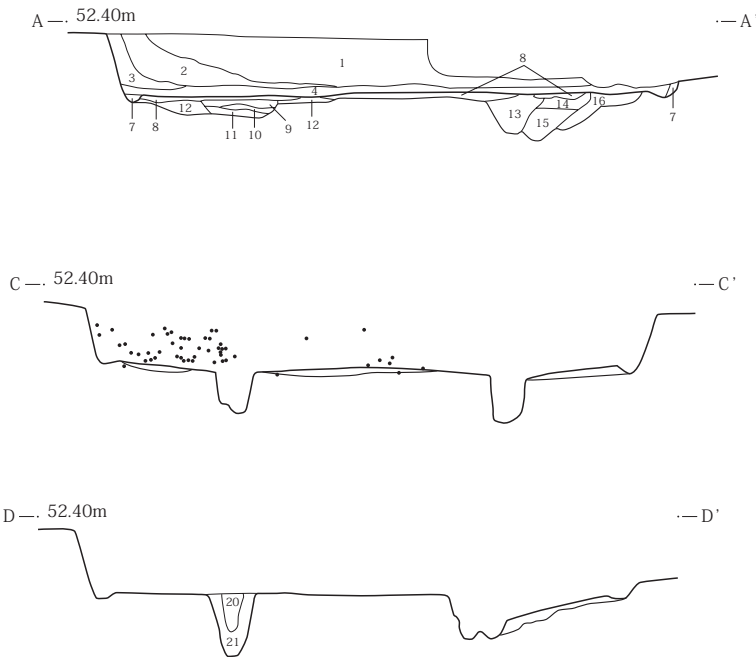
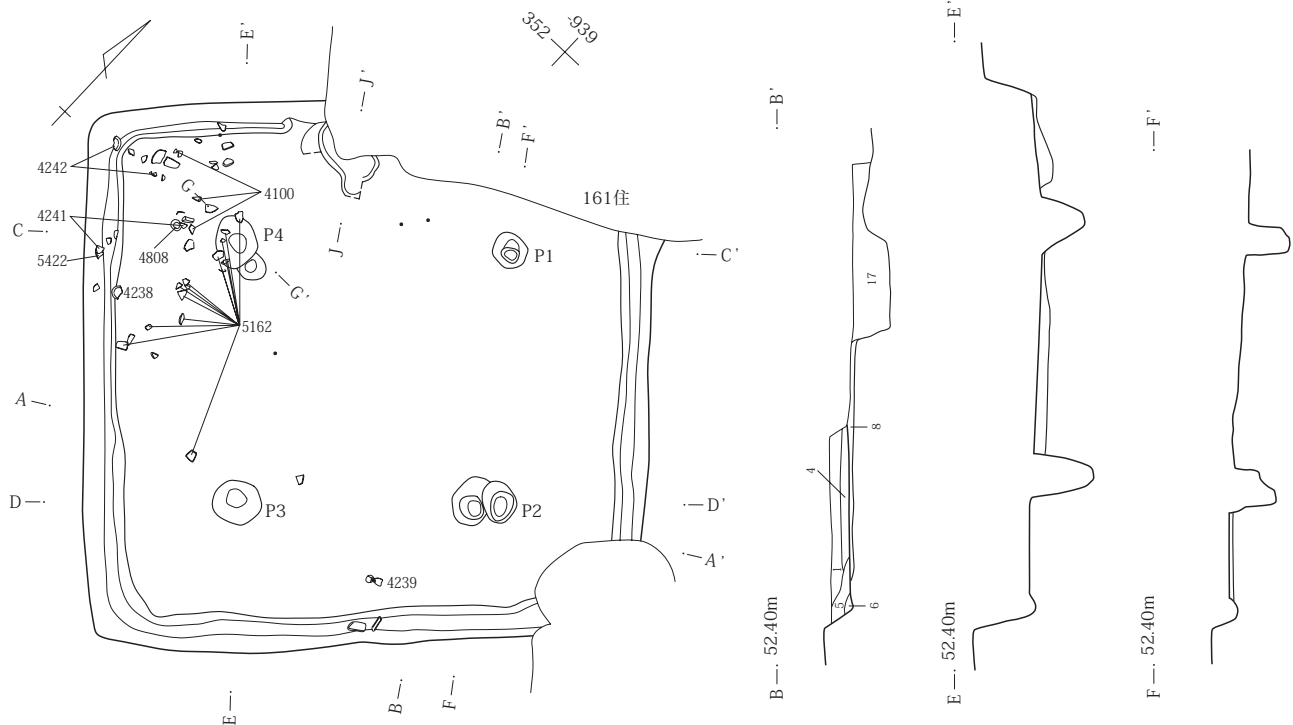
備考 残存状況悪く詳細不明。

時期 遺棄遺物少ないが、図示された遺物から、7世紀第4～8世紀第1四半期か。



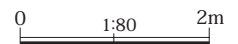
第177図 439号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物

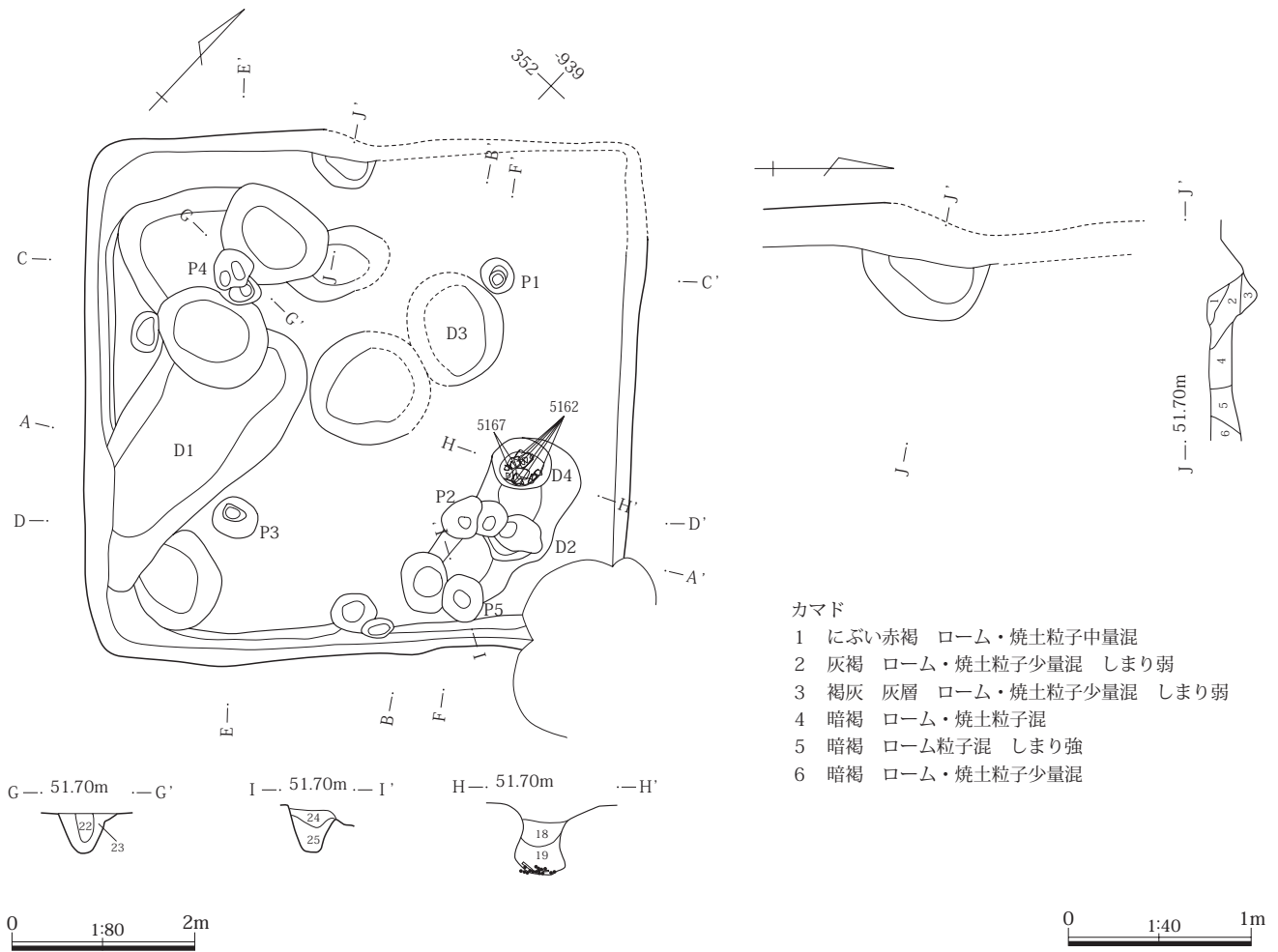


439号住居

- 1 黒褐 ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 2 黒褐 ロームB少量混
- 3 黒褐 ローム粒子少量混 しまり強
- 4 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 5 暗褐 しまり弱
- 6 黒褐 ローム粒子・B少量混
- 7 暗褐 褐色ロームB少量混 粘性強
- 8 暗褐 黒褐土混 粘性・しまり強
- 9 黒褐 ローム粒子、焼土粒子・B混 粘性強
- 10 赤褐 焼土粒子・B多量混
- 11 黒褐 粘土B・褐色ローム多量混 粘性強
- 12 黒褐 褐色ロームB・粘土少量混 しまり強
- 13 暗褐 ロームB多量混
- 14 にぶい黄褐 ロームB多量混
- 15 にぶい黄褐 ロームB混
- 16 黄褐 ロームB中主体 しまり強
- 17 暗褐 ローム・焼土・白色粒子少量混
- 18 黒褐 ローム粒子少量混
- 19 黄褐 黒褐土少量混 粘性強
- 20 暗褐 ローム粒子少量混
- 21 暗褐 ローム粒子・B中混
- 22 にぶい黄褐 ローム主体 しまり弱
- 23 黄褐 ローム主体
- 24 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混 粘性強
- 25 黒褐 ローム粒子・B少量混



第178図 439号住居使用面



第179図 439号住居掘り方・カマド

440号住居 (第180図、PL51)

位置 308～310 -980～983 Gr

重複関係 424住より旧 平面形態 不明

長辺 [3.51] m 短辺 [0.49] m

長辺/短辺 不明 壁高 37cm 面積 [3.84] m²

床面積 [3.27] m²

主軸方位 N-61°-W 壁溝 不明

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦。

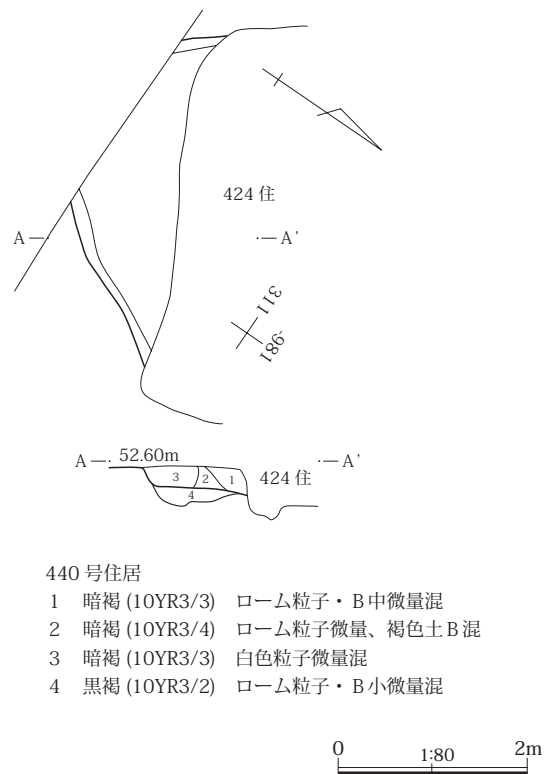
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方。

備考 重複等により大部分不明。

カマド 不明

時期 出土遺物少なく時期不明。



第180図 440号住居

III 検出された遺構と出土遺物

441号住居(第181・182図、PL51・52)

位置 334～339 -949～954 Gr

重複関係 442住より旧 517住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.42 m

短辺 3.07 m 長辺/短辺 1.44

壁高 66cm 面積 (13.79) m²

床面積 (10.39) m²

主軸方位 N-54°-W 壁溝 東壁

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は円形で断面形態は丸みを帯びた台形。柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・明黄褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で貼床。ほぼ平坦で南部を中心に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、埋土中に散在。上層～下層中心。ほとんど流入遺物か。

掘り方 床下土坑・溝状掘り込み・ピット数基あり。他は細かい凹凸はあるがほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 338・339 -952・953 Gr

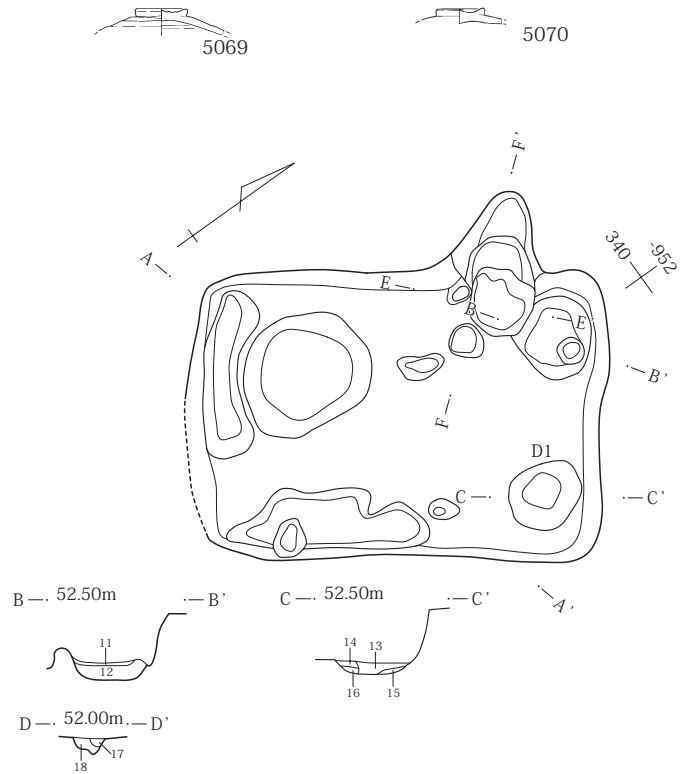
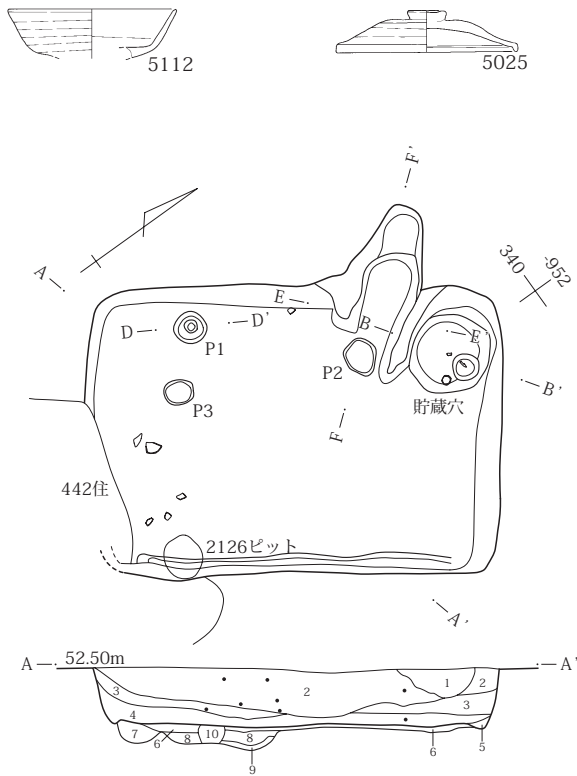
壁位置 西壁北 全長 1.85 m 幅 0.95 m

主軸方位 N-35°-W

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが、焚口部に浅いピットあり。灰層は見られない。燃烧部奥壁の立ち上がりは急で煙道部底面は斜めに立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 出土遺物少ないが、8世紀前半か。

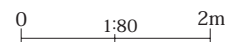


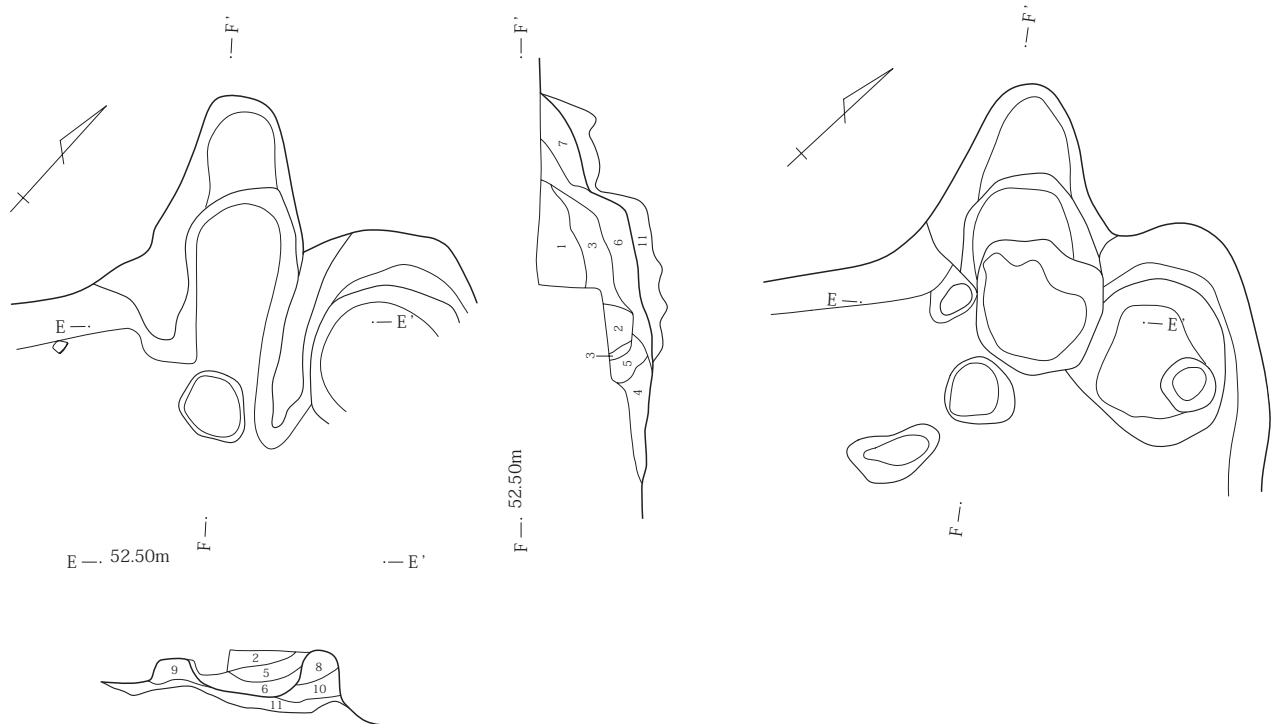
441号住居

- 1 灰黄褐(10YR4/2) ローム粒子・B中量混
- 2 灰黄褐(10YR4/2) 焼土・炭化粒子少量混
- 3 暗褐(10YR3/4) ローム粒子・B、焼土・炭化粒子少量混
- 4 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B、焼土・炭化粒子少量混
- 5 暗褐(10YR3/3) ローム粒子多量混 壁溝覆土
- 6 褐(10YR4/4) ロームB小少量、暗褐土混 しまり強
- 7 暗褐(10YR3/4) 黒褐土・褐色土・YP?少量混 粘性・しまり弱
- 8 暗褐(10YR3/4) ロームB小多量 黒褐土・褐色土中量混 粘性・しまり強
- 9 褐(10YR4/4) ロームB・暗褐土少量混 粘性・しまり強

- 10 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B小、褐色土少量混
- 11 黒褐(10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混 しまり弱
- 12 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B中多量混 粘性・しまり弱
- 13 暗褐(10YR3/4) ローム多量混 粘性強
- 14 褐(10YR4/4) ロームB小・褐色土少量混 粘性強
- 15 褐(10YR4/4) 暗褐土・粘土少量混 粘性強
- 16 褐(10YR4/4) 粘土多量、ローム粒子少量混 粘性・しまり強
- 17 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B小少量、炭化物多量混 しまり弱
- 18 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B小中量混 粘性強

第181図 441号住居出土遺物・使用面・掘り方





カマド

- 1 暗褐色 (10YR3/4) ロームB多量、焼土粒子少量混
 2 暗褐色 (10YR3/4) ロームB多量、焼土粒子・B中量混
 3 暗褐色 (10YR3/4) ロームB極多量、焼土粒子少量混
 4 明黄褐色 (10YR7/6) ローム・焼土B少量、暗褐色土中量混
 5 明黄褐色 (10YR7/6) ローム中量、焼土粒子多量混 軽石中少量混
 しまり弱

- 6 にぶい黄褐色 (10YR5/4) ローム主体 焼土粒子・B少量混
 7 暗褐色 (10YR3/3) ロームB・焼土粒子少量混
 8 黄褐色 (10YR5/1) ローム粒子・B、焼土粒子少量混 しまり強
 9 暗褐色 (10YR3/3) ローム粒子中量、焼土粒子少量、褐色土混
 粘性強
 10 暗褐色 (10YR3/3) 褐色土少量、焼土中量混 粘性強
 11 褐色 (10YR4/4) 暗褐色土混 しまり強

0 1:40 1m

第182図 441号住居カマド

442号住居 (第183・184図、PL52)

位置 330～335 - 950～955 Gr

重複関係 441・513・517住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.38 m

短辺 3.51 m 長辺/短辺 1.25 壁高 70cm

面積 16.45㎡ 床面積 12.66㎡

主軸方位 N-28°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 掘り方検出のカマド右脇の土坑が貯蔵穴の可能性もあるか。柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む褐色土・暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で南西部を中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。完形・半完

形のものもあり、床面からかなり浮いたものと、床面付近のものがある。床面付近や壁際のは遺棄遺物か。

掘り方 床下土坑・土坑状掘り込み・ピット数基あり。

他は平坦な掘り方。

カマド

位置 333～335 - 951・952 Gr

壁位置 北壁東 全長 1.66 m 幅 1.42 m

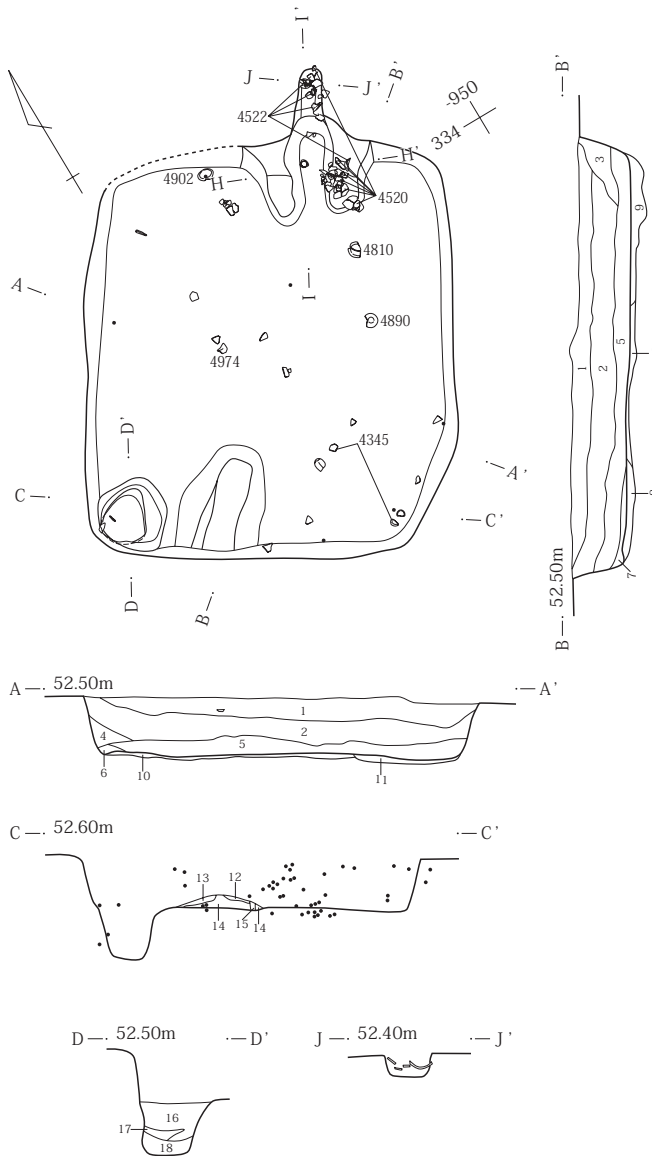
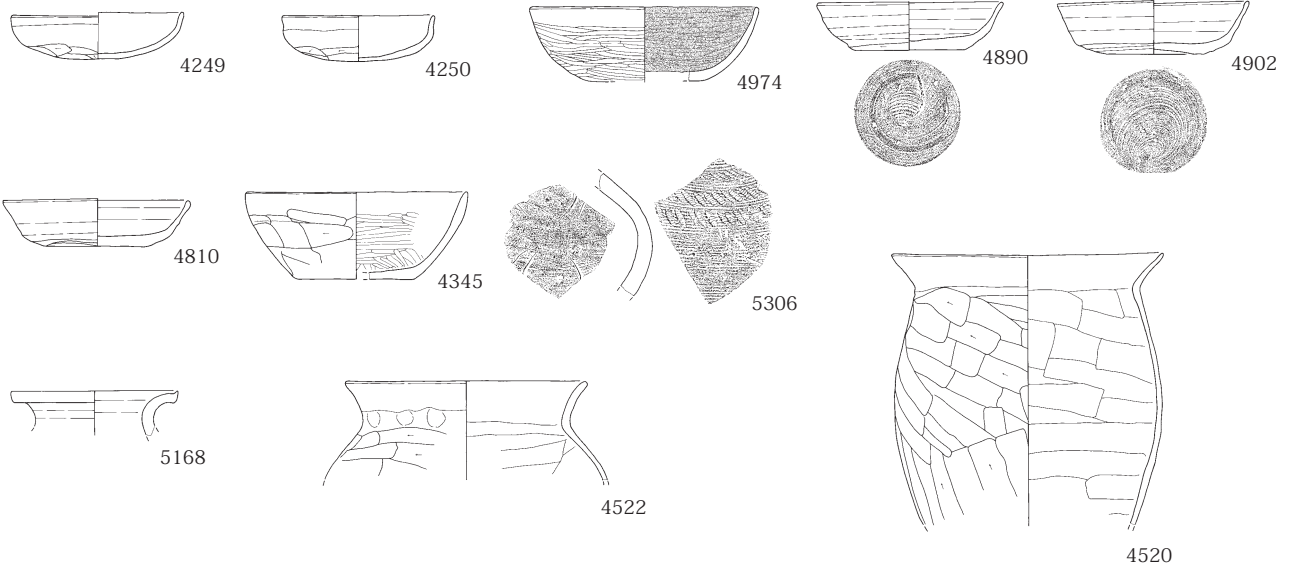
主軸方位 N-29°-E

構築 褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁の立ち上がりは急で、煙道部底面は水平に近い角度で立ち上がる。

遺物出土状況 右袖部及び煙道部から土師器甕の一部が潰れた状態で出土。

時期 遺棄と考えられる遺物等から、8世紀第3四半期か。

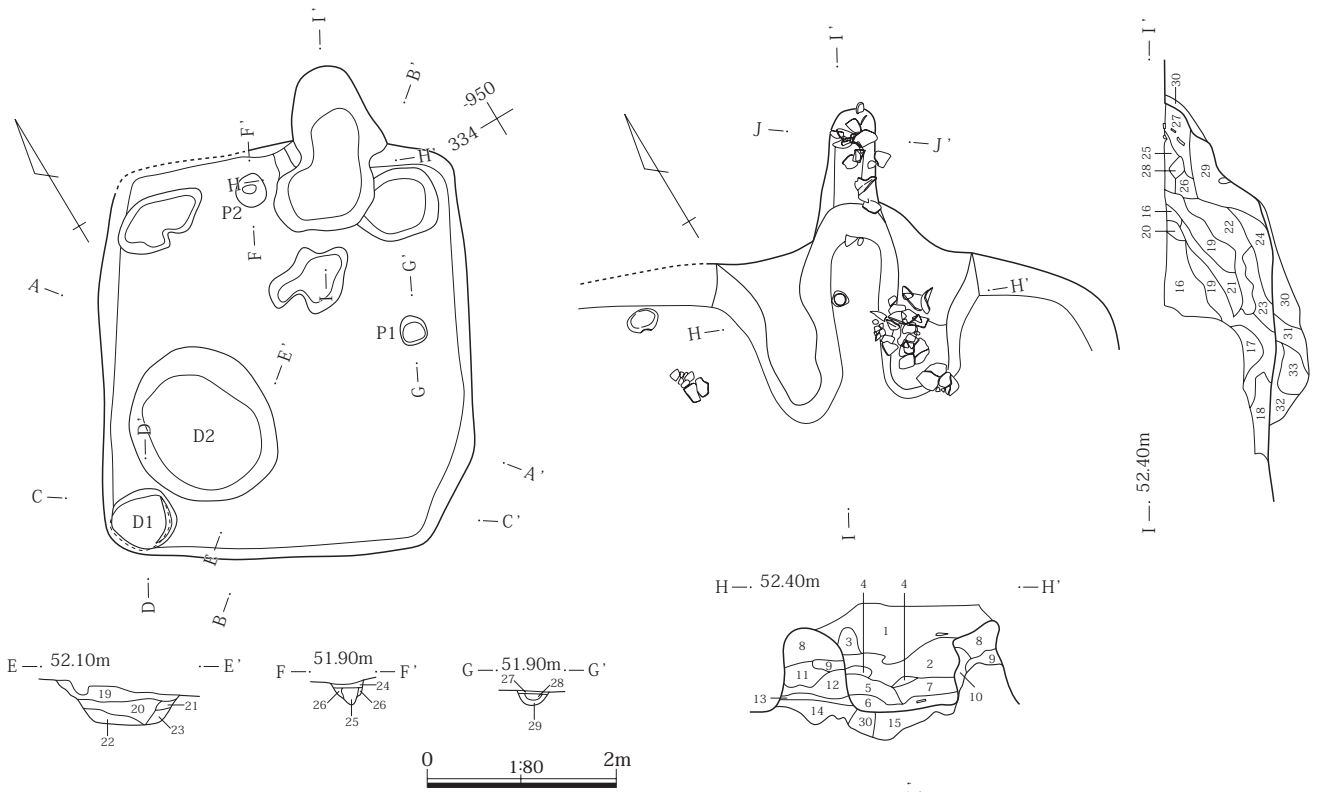
III 検出された遺構と出土遺物



442号住居

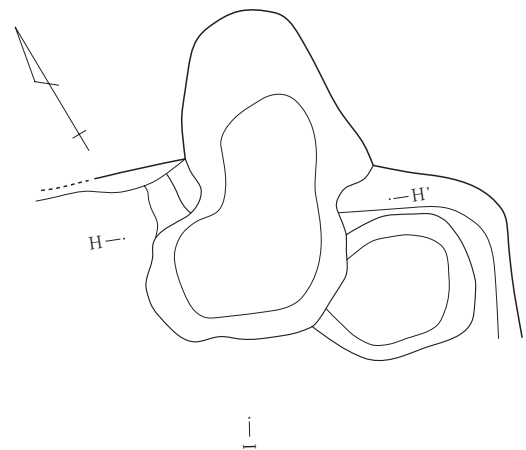
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり弱
- 2 暗褐 ローム粒子・B中混 しまり弱
- 3 にぶい黄褐 ローム粒子・B中多量混
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子中量混
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子・B中・黒褐土少量混
- 6 にぶい黄褐 ローム粒子多量混
- 7 暗褐 (10YR3/3) ロームB中中量、黒褐土・砂層混
- 8 褐 (10YR4/4) ロームB中・焼土B小・砂層・暗褐土混 しまり強
- 9 褐 ローム・焼土B、暗褐土多量混
- 10 褐 (10YR4/6) ロームB小・暗褐土・赤色粒子少量混 しまり強
- 11 暗褐 (10YR3/4) ローム・赤色粒子少量混 粘性強 しまり弱
- 12 褐 (10YR4/4) ロームB・赤色粒子少量、暗褐土混 粘性強
- 13 暗褐 (10YR3/4) ロームB中・赤色B少量、褐色土混 粘性強
- 14 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子・B中、赤色粒子少量、褐色土混 粘性強 しまり弱
- 15 暗褐 (10YR3/4) 粘性強 しまり弱
- 16 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小・赤色粒子少量混 粘性強 しまり弱
- 17 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小少量混 粘性強 しまり弱
- 18 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中少量混 粘性強 しまり弱
- 19 褐 (10YR4/6) ローム粒子・B中、黒・暗褐土多量混 しまり弱
- 20 褐 (10YR4/6) ローム粒子・B中、黒・暗褐土多量混 粘性強 しまり弱
- 21 褐 (10YR4/6) ロームB少量、粘土混 粘性強
- 22 褐 (10YR4/4) ローム粒子・B中、黒・暗褐土中量、粘土多量混 しまり弱
- 23 褐 (10YR4/4) 粘土層 ロームB少量混 粘性強 しまり弱
- 24 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B、炭化物少量混 粘性強
- 25 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混 粘性強 しまり弱
- 26 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子・B小少量混 粘性強
- 27 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混 粘性強 しまり弱
- 28 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小少量混 粘性強 しまり弱
- 29 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子少量混 粘性強

第183図 442号住居出土遺物・使用面



カマド

- 1 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子・B中、焼土粒子・炭化物混 しまり強
- 2 褐 (10YR4/6) ローム粒子、焼土粒子・B小、炭化物少量混 しまり強
- 3 褐 (10YR4/6) ローム粒子・B小、炭化物少量混
- 4 暗褐 (10YR3/4) ロームB小・焼土粒子少量混 しまり弱
- 5 赤褐 (5YR4/8) 焼土層 炭化物少量混 粘性強 しまり弱 天井部か
- 6 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土粒子多量、ローム・焼土B小、炭化物少量混、粘性強
- 7 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土・ローム粒子多量、焼土B小・炭化物少量混、粘性強
- 8 褐 (10YR4/6) 軽石中中量、粘土・焼土粒子少量、暗褐土混 粘性・しまり強
- 9 暗褐 (10YR3/4) 焼土B少量混 しまり弱
- 10 褐 (10YR4/4) 焼土粒子中量、炭化物少量混 粘性・しまり弱
- 11 褐 (10YR4/6) ローム粒子、焼土粒子・B少量、暗褐土混 粘性強
- 12 褐 (10YR4/6) ローム・焼土粒子少量混 粘性強
- 13 暗褐 (10YR3/4) ロームB小中量、焼土粒子少量混
- 14 暗褐 (10YR3/4) ロームB中、焼土粒子少量混
- 15 褐 (10YR4/4) ローム・焼土B中、炭化物少量、暗褐土多量混 しまり強
- 16 暗褐 (10YR3/4) ロームB小、焼土、炭化物少量混 粘性弱 しまり強
- 17 暗褐 (10YR3/4) ロームB小、焼土粒子少量混 粘性弱 しまり強
- 18 暗褐 (10YR3/4) ロームB中・焼土粒子少量混
- 19 褐 (10YR4/6) ローム粒子・焼土B・炭化物少量混 しまり強
- 20 褐 (10YR4/6) 焼土粒子・Bほとんど見られず
- 21 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子少量、焼土混 しまり弱
- 22 赤褐 (5YR4/8) 焼土層 炭化物少量混 しまり弱
- 23 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム・焼土B小、灰少量混 粘性強



- 24 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム・焼土B小少量、灰中量混
- 25 褐 (10YR4/6) ローム・焼土B小多量混
- 26 褐 (10YR4/6) ローム・焼土ほとんどなし
- 27 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子・B小多量混
- 28 暗褐 (10YR3/4) 焼土ブロック状に多量混
- 29 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子・B中多量、炭化物少量混 粘性強
- 30 暗褐 (10YR3/3) ロームB中、焼土粒子・B少量混 粘性強
- 31 暗褐 (10YR3/3) ロームB・焼土B小少量混 粘性強
- 32 褐 (10YR4/4) ローム・焼土B少量混 粘性・しまり強
- 33 暗褐 (10YR3/4) ロームB中・焼土粒子少量混 粘性強 しまり弱

第184図 442号住居掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

443号住居 (第185・186図、PL53)

位置 308～311 - 954～961 Gr

重複関係 426住、475土坑、2113～2116ピットより旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 6.47 m 短辺 [1.93] m

長辺/短辺 不明 壁高 34cm

面積 [24.11] m² 床面積 [22.60] m²

主軸方位 N-19°-W 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 残存部分なし。

柱穴 4基? 2基検出。他の2基は調査区外か。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で大部分貼床。

ほぼ平坦でやや軟弱。

遺物出土状況 北東部に集中。中層～床面付近中心。

完形・半完形のものもあり、床から浮いた状態のものもあるが、床面付近のものは遺棄遺物か。5466は床面上の出土である。

掘り方 ピット数基あり。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 310・311 - 958 Gr 壁位置 北壁中央

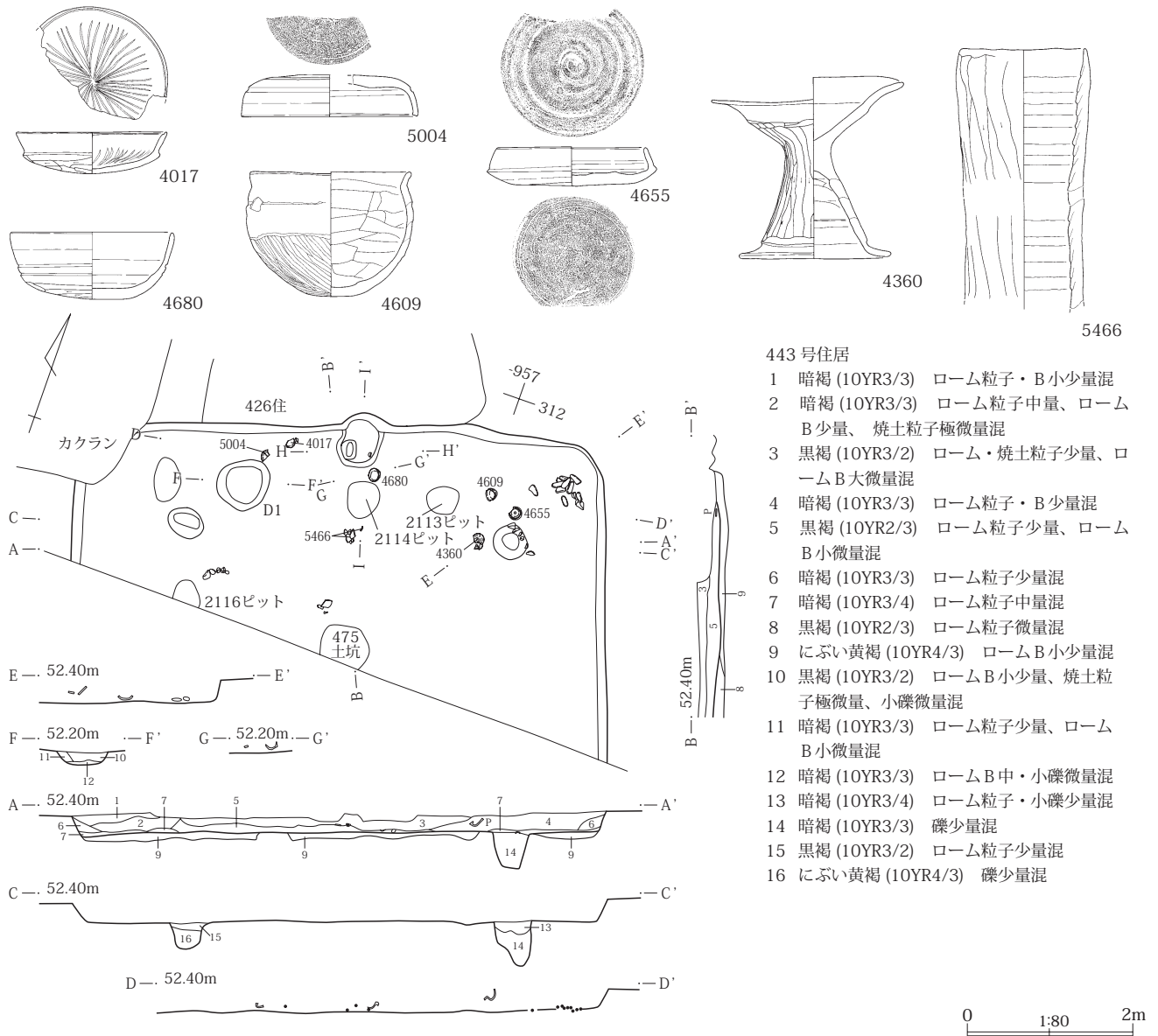
全長 0.66 m 幅 0.54 m

主軸方位 N-10°-W

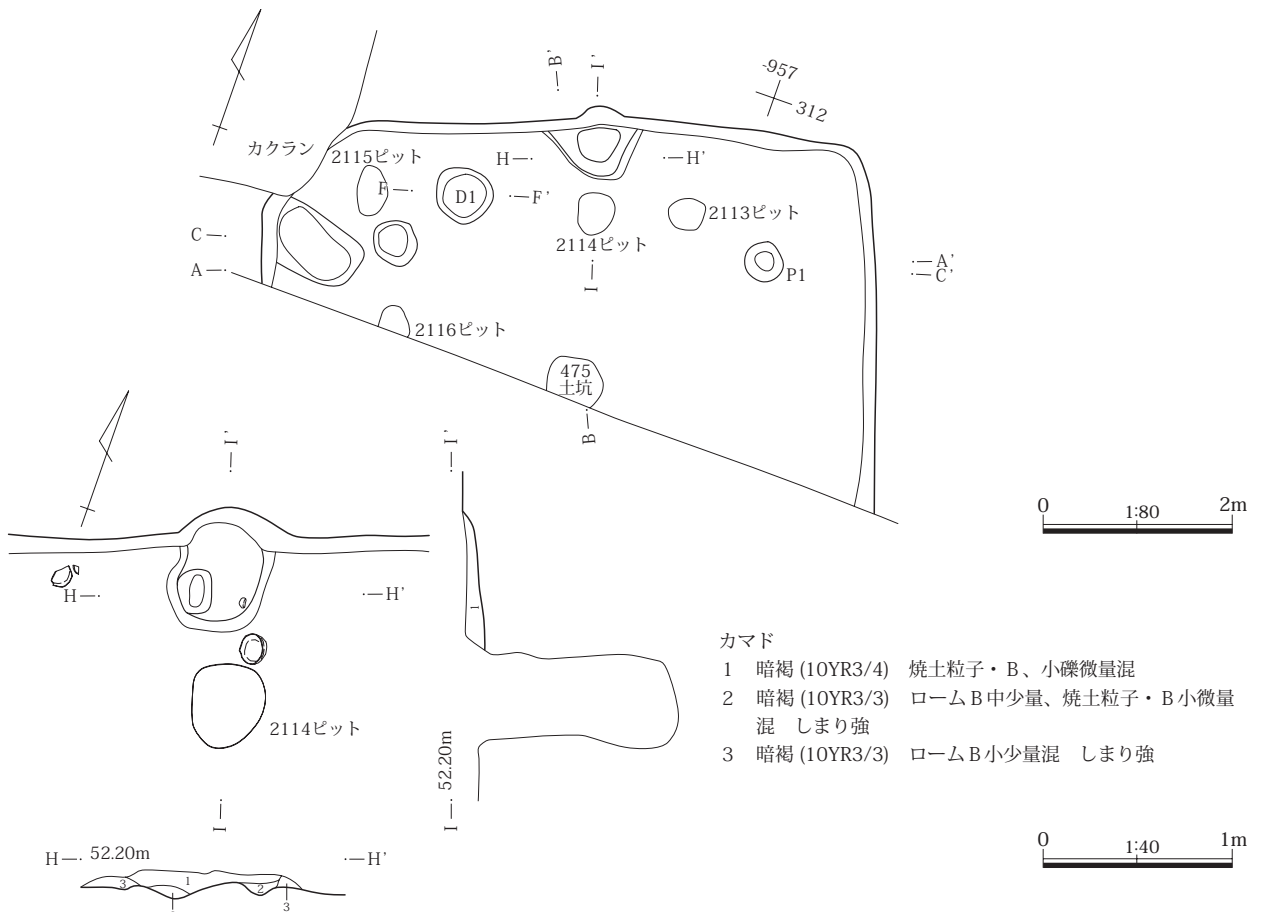
構築 はっきりしないが、暗褐色土で袖を構築か。

遺物出土状況 焚口部付近から須恵器杯出土。他は破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄と考えられる遺物等から6世紀後半か。



第185図 443号住居出土遺物・使用面



第186図 443号住居掘り方・カマド

444号住居 (第187図、PL53)

位置 340～343 -956～958 Gr

重複関係 416住、2085ピットより旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 2.98m 短辺 [0.39]m

長辺/短辺 不明 壁高 30cm 面積 [2.95]m²

床面積 [2.43]m² 主軸方位 N-47°-E

壁溝 残存部分なし。 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 大部分重複のため詳細不明。掘り方を床面とするか。

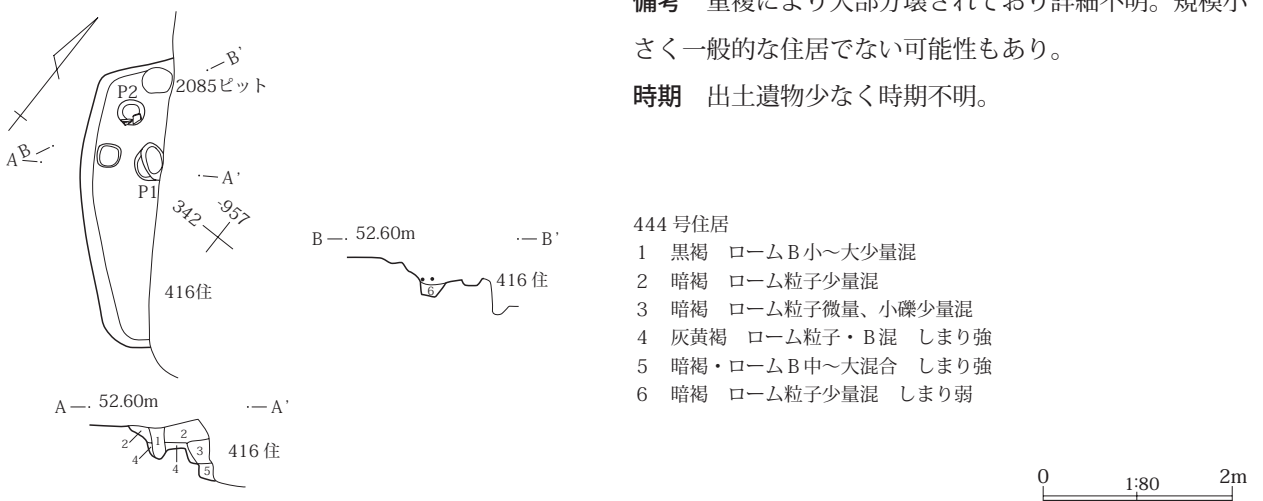
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とするか。

カマド 不明

備考 重複により大部分壊されており詳細不明。規模小さく一般的な住居でない可能性もあり。

時期 出土遺物少なく時期不明。



第187図 444号住居

III 検出された遺構と出土遺物

445号住居 (第188図、PL53)

位置 340～344 - 960～964 Gr

重複関係 414住より旧 平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 (3.48)m 短辺 (3.10)m

長辺/短辺 (1.12) 壁高 34cm

面積 測定不能 床面積 測定不能

主軸方位 測定不能 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 なしか 柱穴 なし

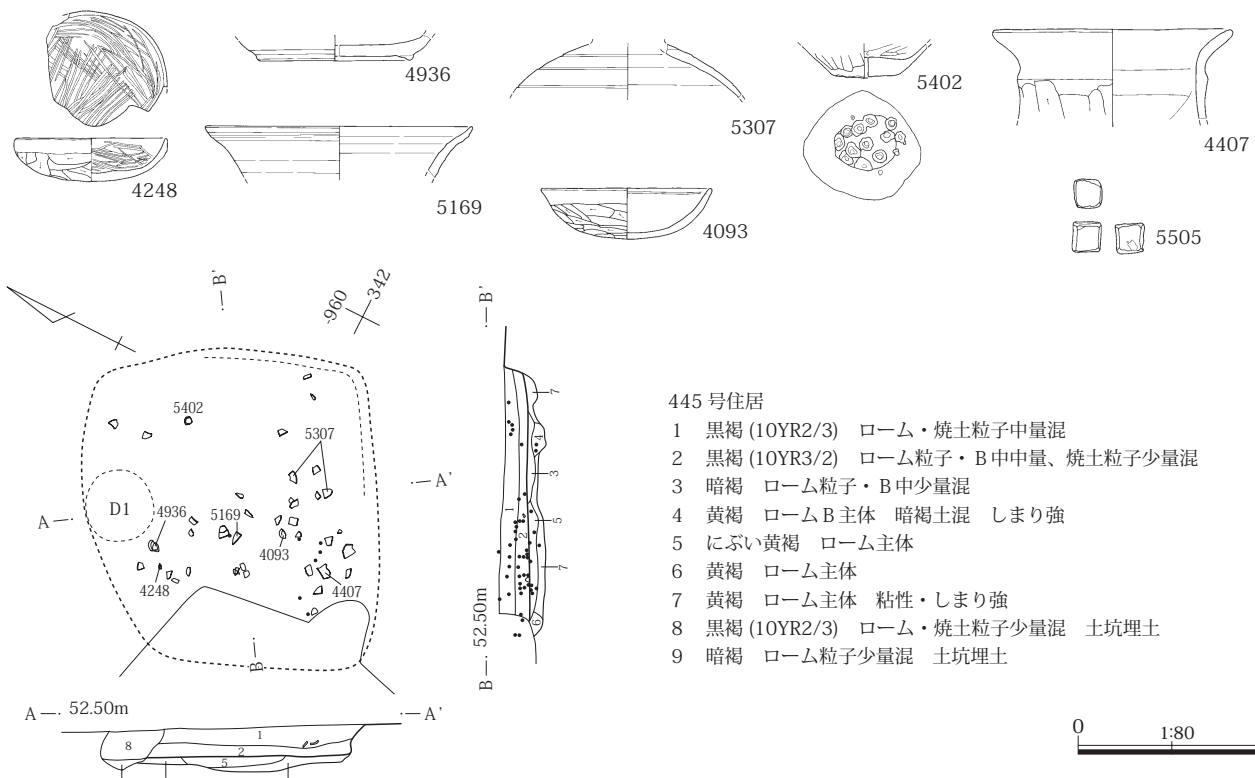
埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的にやや硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。半完形の遺物が多いが、床面から浮いた状態のものが多く、ほとんど廃棄・流入遺物か。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方。カマド 残存部分なし。備考 平面形態は不正形に近く、カマドも検出されていないため、一般的な住居でない可能性もあるか。

時期 遺棄遺物はほとんどないが、図示された遺物から、8世紀第2四半期か。



第188図 445号住居

446号住居 (第189図、PL53・54)

位置 341～345 - 951～954 Gr

重複関係 416住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 (3.84)m 短辺 [1.75]m

長辺/短辺 不明 壁高 54cm 面積 [1.78] m²

床面積 [1.10] m² 主軸方位 N-41°-E

壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積か。

床面状態 ロームを含む黒褐色土・黄褐色土で貼床。

遺物出土状況 重複のため大部分壊されており、ほとんどなし。掘り方 不明

カマド

位置 344・345 - 951・952 Gr

壁位置 東壁南か 全長 0.66m 幅 0.91m

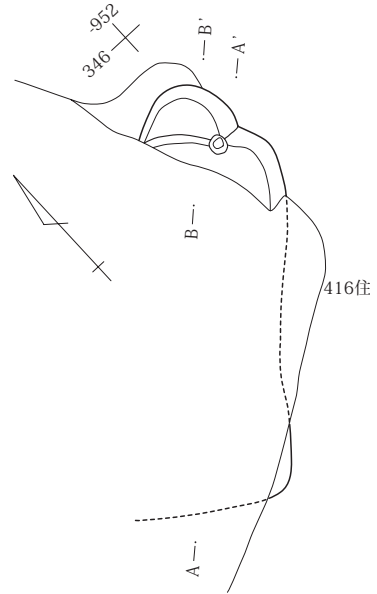
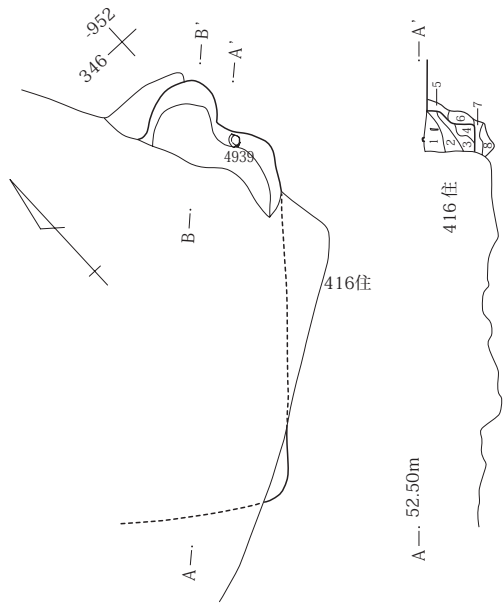
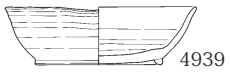
主軸方位 N-44°-E

構築 残存状況悪く袖構築材不明。燃烧部底面は斜めに立ち上がり奥壁は急に立ち上がる。

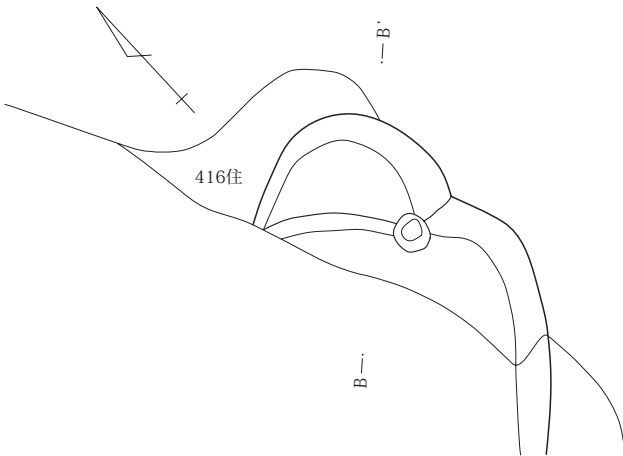
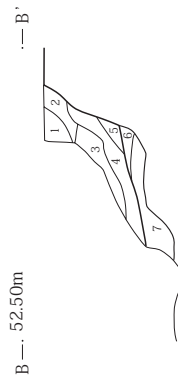
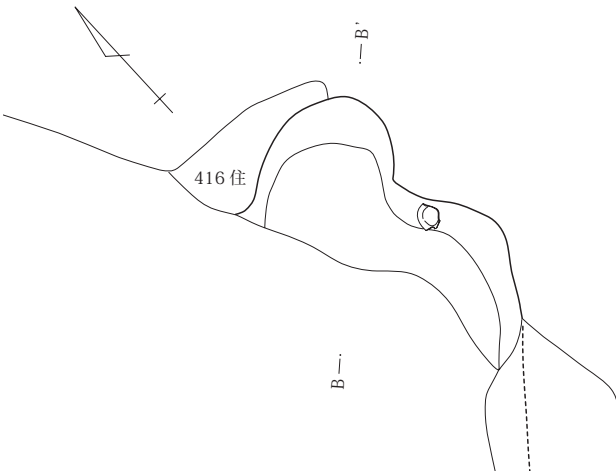
遺物出土状況 右袖付近から須恵器杯出土。

備考 重複により大部分壊されているため詳細不明。

時期 カマド出土遺物から、8世紀後半代か。



0 1:80 2m



446号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子微量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B小少量混
- 4 黄褐 ローム しまり強
- 5 暗褐 ローム粒子・焼土少量混 しまり弱
- 6 黄白 ローム主体
- 7 黒褐 ローム粒子・B小混 しまり強
- 8 黄褐 ロームB主体 黒褐土混 しまり強

0 1:40 1m

第189図 446号住居

III 検出された遺構と出土遺物

449号住居 (第190・191図、PL54・55)

位置 332～336-981～985 Gr

重複関係 451・452・458住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.11 m

短辺 2.61 m 長辺/短辺 1.57 壁高 52cm

面積 10.19㎡ 床面積 6.92㎡

主軸方位 N-41°-W 柱穴 なし

壁溝 カマドを除き全周。溝掘削時の工具痕全体にあり。

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は円形で、断面形態はやや崩れた台形。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積か。

床面状態 掘り方を床面とする。全体的にやや硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土し、上層～中層中心。半完形のものが多いが、床面から浮いた状態のものも多く、ほとんど廃棄・流入遺物か。

掘り方 床下土坑1基、ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 335・336-983・984 Gr

壁位置 北壁東 全長 0.98 m 幅 1.29 m

主軸方位 N-39°-W

構築 褐色粘土で袖を構築。左袖は土師器甕を伏せて、右袖は自然礫を補強材とする。焚口部・燃烧部底面は

ほぼ平坦で、灰層は見られない。燃烧部奥壁の立ち上がりはなだらかで煙道部に続く。

遺物出土状況 袖補強材の他に、燃烧部から自然礫による支脚や土師器甕片出土。

時期 遺棄遺物は少ないが、図示された遺物から、8世紀第2四半期か。

451号住居 (第190・191図、PL55)

位置 334～336-984・985 Gr

重複関係 449住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [1.05] m

短辺 [1.00] m 長辺/短辺 不明

壁高 41cm 面積 [0.96]㎡ 床面積 [0.64]㎡

主軸方位 N-6°-W 壁溝 不明

貯蔵穴 不明

柱穴 不明 埋没土 ロームを含む黒褐色土。

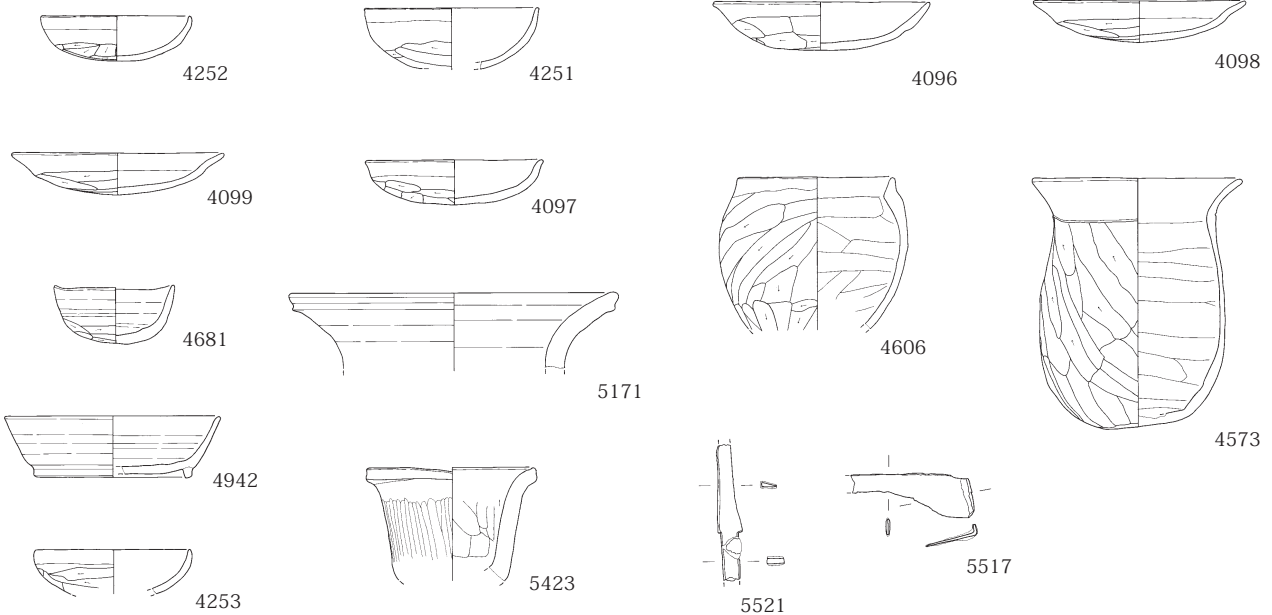
床面状態 残存部分掘り方を床面とする。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

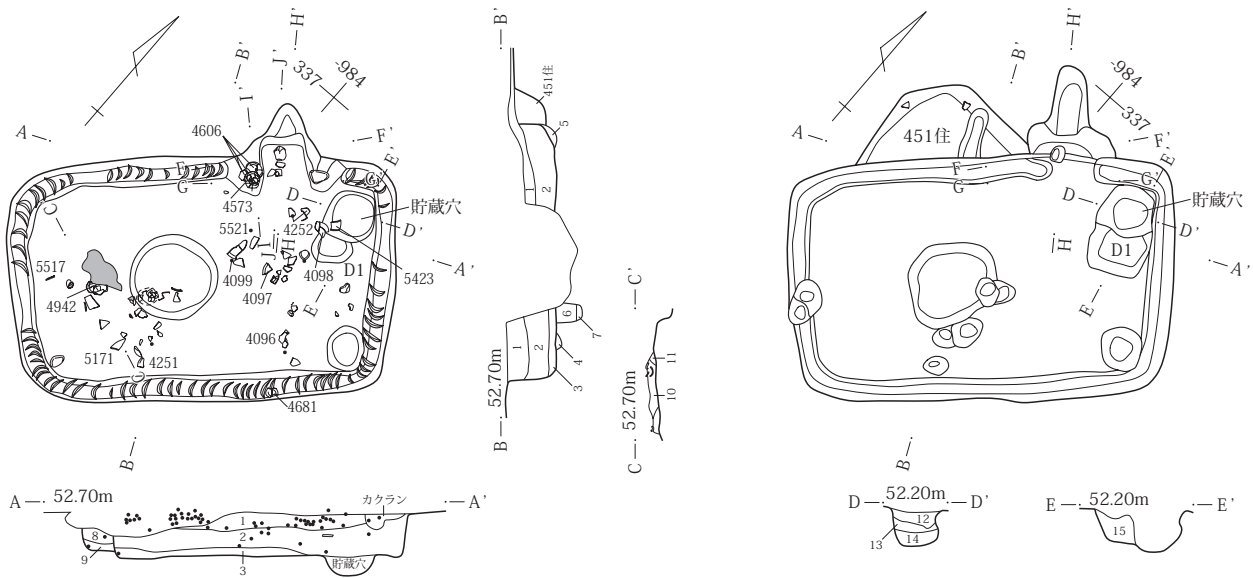
掘り方 掘り方を床面とするか。カマド 不明

備考 重複のため北西隅部分のみ残存。大部分不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から、8世紀中葉以前。



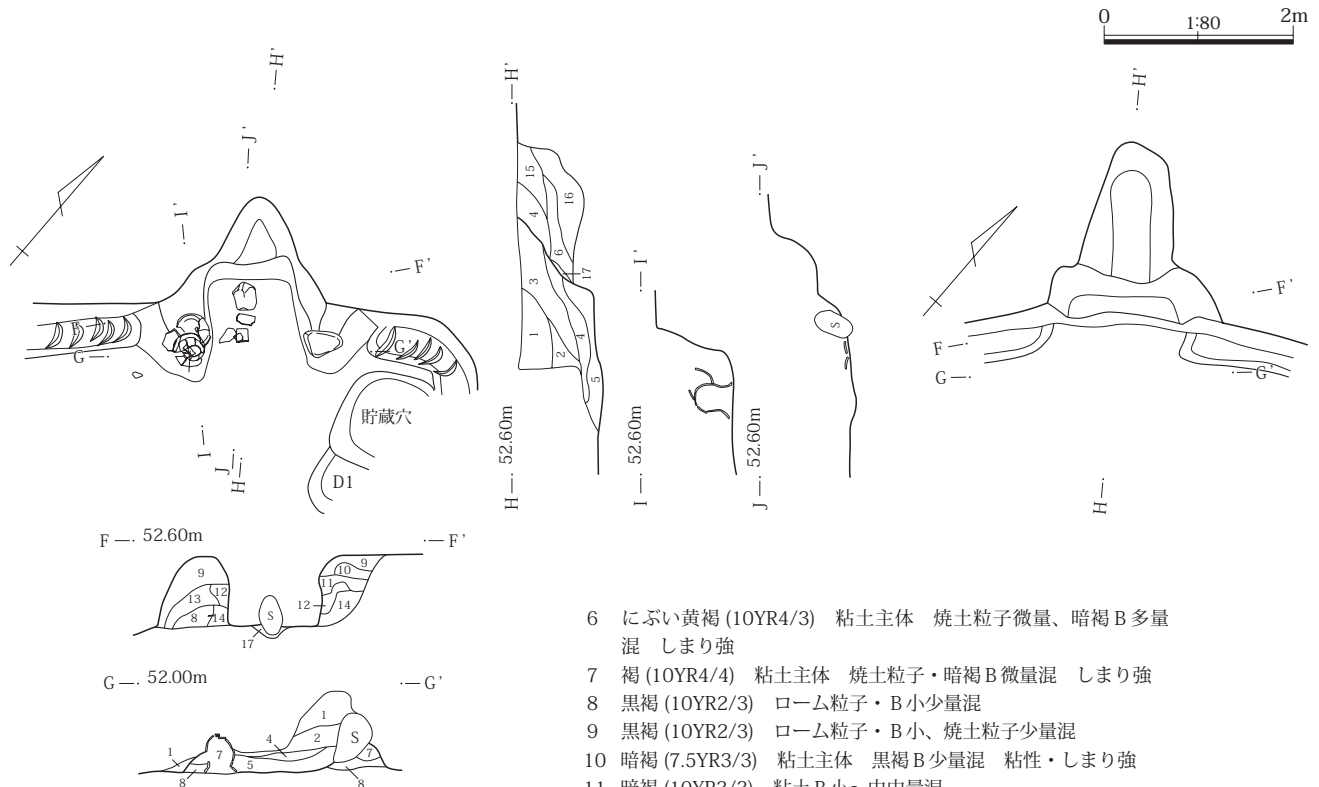
第190図 449・451号住居出土遺物



449号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土・白色粒子中量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小多量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小極多量混
- 5 黒褐 (10YR2/3) ロームB小少量混
- 6 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中量混
- 7 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB多量混

- 8 黒褐 (10YR2/3) ローム・炭化粒子少量混
- 9 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B多量混
- 10 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B小、粘土粒子少量混
- 11 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・粘土B小中量混 粘性・しまり強
- 12 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小中量、焼土・炭化粒子少量混
- 13 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子多量混
- 14 暗褐 (10YR3/3) ロームB極多量混
- 15 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB極多量混



カマド

- 1 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B小中量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) 焼土B小多量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・焼土粒子・B小少量混

- 6 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘土主体 焼土粒子微量、暗褐B多量混 しまり強
- 7 褐 (10YR4/4) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B微量混 しまり強
- 8 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小少量混
- 9 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 10 暗褐 (7.5YR3/3) 粘土主体 黒褐B少量混 粘性・しまり強
- 11 暗褐 (10YR3/3) 粘土B小～中量混
- 12 暗褐 (10YR3/4) 焼土B小～中多量混 粘性弱 しまり強
- 13 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 14 暗褐 (10YR3/4) 焼土・粘土粒子少量混
- 15 黒褐 (10YR2/2) 焼土・粘土粒子少量混
- 16 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B中中量、焼土粒子微量混
- 17 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量混

第191図 449号住居使用面・掘り方・カマド、451号住居掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

450号住居(第192・193図、PL55・56)

位置 325～332-980～987 Gr

重複関係 420・458住より旧 452住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 5.95 m

短辺 5.93 m 長辺/短辺 1.00 壁高 42cm

面積 (34.16) m² 床面積 (27.12) m²

主軸方位 N-60°-E

壁溝 カマド・北東部を除き全周。

貯蔵穴 カマド左脇。平面形態は楕円形で断面形態は台形。

柱穴 4基。柱穴1・3・4に柱痕または抜取り痕あり。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦で、やや軟弱。

遺物出土状況 出土量は少なく、中央から南部中心。上

層～床面出土。完形・半完形のは少なく、床面から浮いた状態のものが多く、ほとんど廃棄・流入遺物か。4015は床面上の出土である。

掘り方 北壁際溝状にくぼむ。他にピット多数。

カマド

位置 326・327-985・986 Gr

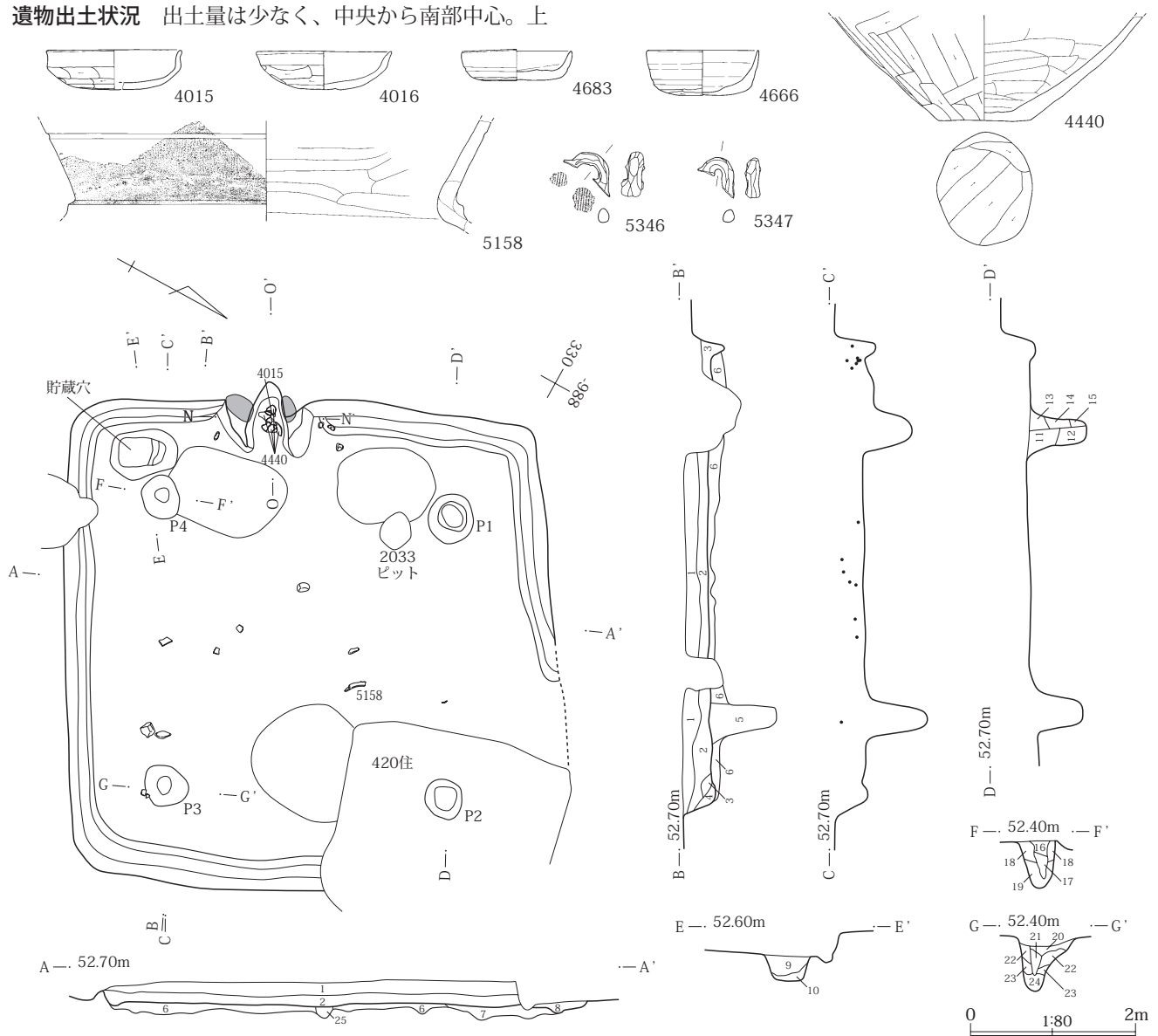
壁位置 西壁南 全長 0.92 m 幅 1.04 m

主軸方位 N-61°-E

構築 にぶい黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がり、煙道部底面はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部から土師器杯・甕が出土。

時期 遺棄遺物は少ないが、図示された遺物から、7世紀第2～第3四半期か。

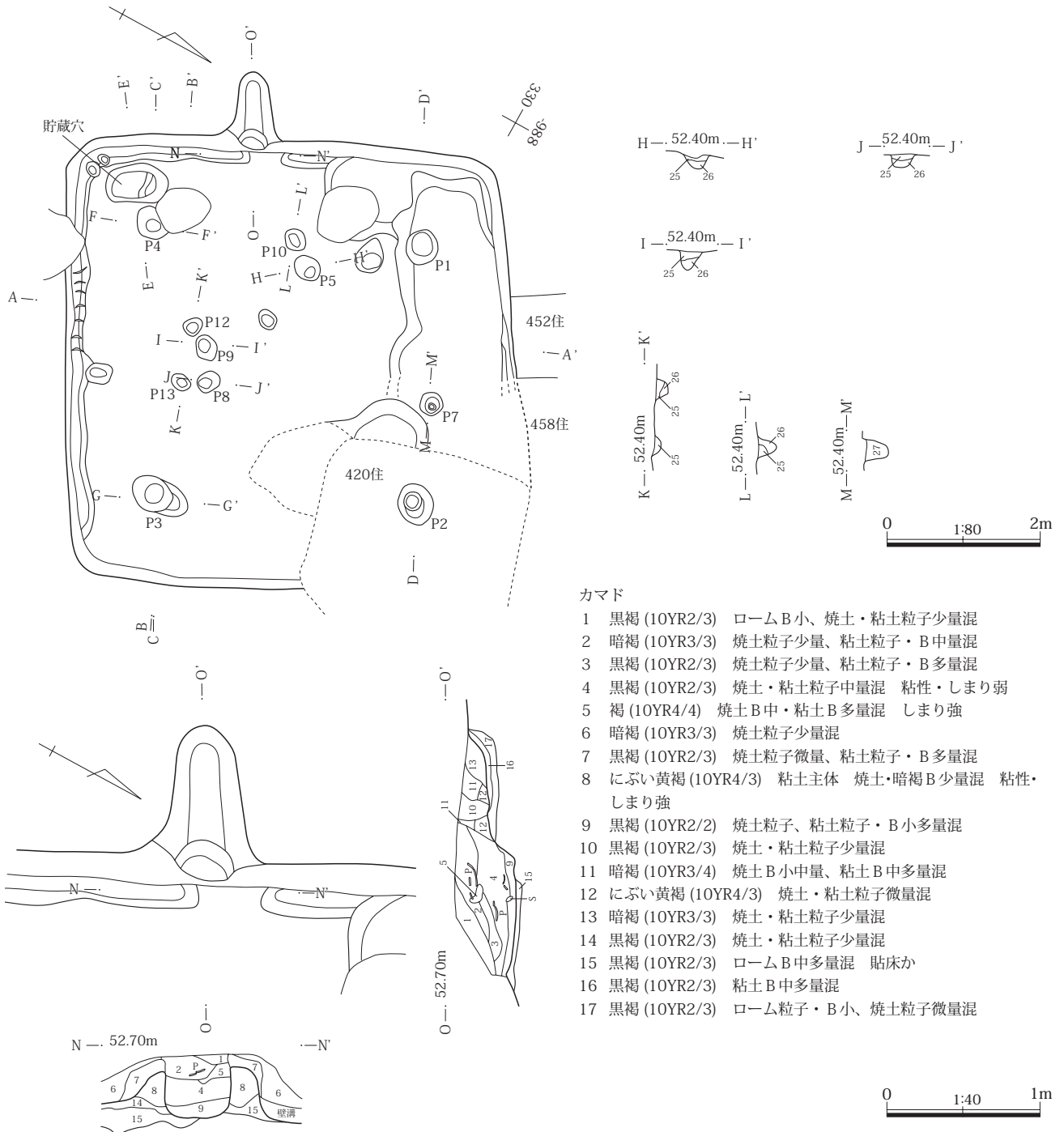


第192図 450号住居出土遺物・使用面

450号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子少量、焼土粒子微量混
- 3 黒褐 (10YR2/2) 焼土B小多量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小少量混
- 5 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子少量混 ビット覆土
- 6 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小多量混 貼床
- 7 黒褐 (10YR2/3) ロームB中多量混 貼床
- 8 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小～中多量混 貼床
- 9 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小少量混
- 10 にぶい黄褐 ローム粒子・B小主体
- 11 黒褐 (10YR2/3) ロームB小～中多量混
- 12 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子極微量混 粘性・しまり弱
- 13 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混
- 14 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小微量混

- 15 にぶい黄褐 (10YR4/3) 崩れたローム主体
- 16 黒褐 ローム少量混 しまり弱
- 17 黒褐 ロームB中少量混 しまり弱
- 18 黄褐 ロームB小～大・黒褐土少量混 しまり強
- 19 黄褐 ロームB小～大主体 しまり強
- 20 黒褐 ローム粒子少量混
- 21 黒褐 ローム粒子・B小多量混 しまり弱
- 22 黒褐 ローム粒子・B中主体
- 23 黄褐 ロームB中主体 黒褐土混 しまり強
- 24 黄褐 ロームB中主体 砂・黒褐土混 しまり強
- 25 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小少量混 粘性・しまり弱
- 26 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混
- 27 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小～中多量混



第193図 450号住居掘り方・カマド

カマド

- 1 黒褐 (10YR2/3) ロームB小、焼土・粘土粒子少量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量、粘土粒子・B中量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子少量、粘土粒子・B多量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子中量混 粘性・しまり弱
- 5 褐 (10YR4/4) 焼土B中・粘土B多量混 しまり強
- 6 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量混
- 7 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子微量、粘土粒子・B多量混
- 8 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘土主体 焼土・暗褐B少量混 粘性・しまり強
- 9 黒褐 (10YR2/2) 焼土粒子、粘土粒子・B小多量混
- 10 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 11 暗褐 (10YR3/4) 焼土B小中量、粘土B中多量混
- 12 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土・粘土粒子微量混
- 13 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 14 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 15 黒褐 (10YR2/3) ロームB中多量混 貼床か
- 16 黒褐 (10YR2/3) 粘土B中多量混
- 17 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小、焼土粒子微量混

III 検出された遺構と出土遺物

452号住居(第194図、PL56)

位置 330~333-982~987 Gr

重複関係 420・449・450・458住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形か

長辺 [3.65] m 短辺 [3.47] m

長辺/短辺 不明

壁高 37cm 面積 [12.38] m² 床面積 [11.29] m²

主軸方位 N-28°-W 壁溝 残存部分なし

貯蔵穴 不明。

柱穴 不明。P1が柱穴の可能性もあるか。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 掘り方を床面とするか。

遺物出土状況 出土量は少なく、破片が埋土中に散在。

大部分廃棄・流入遺物か。

掘り方 掘り方を床面とするか。カマド 不明

備考 重複により多くが壊されており、詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から8世紀以前。

458号住居(第194図、PL56)

位置 330~334-981~986 Gr

重複関係 420・449・450住より旧 452住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 3.90 m

短辺 3.55 m 長辺/短辺 1.10

壁高 14cm 面積 (13.16) m²

床面積 (11.14) m² 主軸方位 N-30°-W

壁溝 残存部分では西壁北部のみ。貯蔵穴 不明

柱穴 4基? P1~4が柱穴の可能性はあるが、位置はやや北にずれる。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

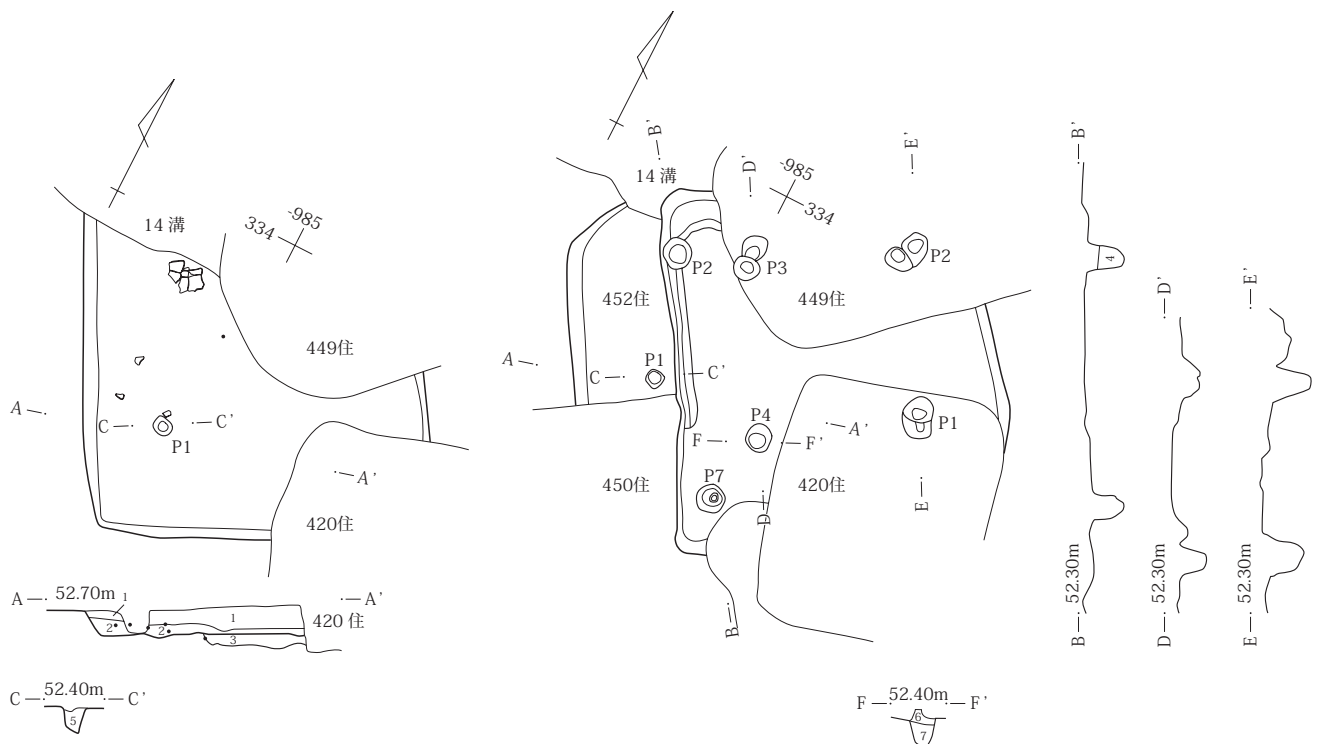
床面状態 掘り方を床面とするか。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

掘り方 掘り方を床面とするか。カマド 不明

備考 重複により多くを壊されており、詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から、8世紀中葉以前。



452・458号住居

- 1 黒褐(10YR2/3) ローム・焼土粒子微量混
- 2 黒褐(10YR2/3) ローム粒子・B少量混
- 3 黒褐(10YR2/3) ロームB多量混 しまり強 458住埋土
- 4 黒褐(10YR2/2) ローム粒子・B小中量混
- 5 暗褐(10YR3/3) ローム粒子少量混
- 6 黒褐(10YR2/3) ロームB多量混
- 7 暗褐(10YR3/3) ロームB多量混

0 1:80 2m

第194図 452・458号住居

453号住居 (第195・196図、PL56)

位置 314～321-977～983 Gr

重複関係 15溝より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 5.48 m 短辺 4.92 m

長辺/短辺 1.11 壁高 37cm 面積 24.73㎡

床面積 19.64㎡ 主軸方位 N-32°-W

壁溝 西壁～北壁～東壁

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は隅丸方形で断面形態は台形。

柱穴 4基。掘り方で内側にさらに4基検出。P5に柱痕あるいは抜取り痕あり。

埋没土 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で大部分貼床。一部掘り方を床面とする。全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土。破片が多く、半完形

のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多く、ほとんどが廃棄・流入遺物か。

掘り方 壁溝の内側にもう1条壁溝あり。その壁溝から柱穴にかけて間仕切り溝4ヶ所検出。

カマド

位置 320-981・982 Gr 壁位置 北壁中央

全長 0.48 m 幅 0.62 m

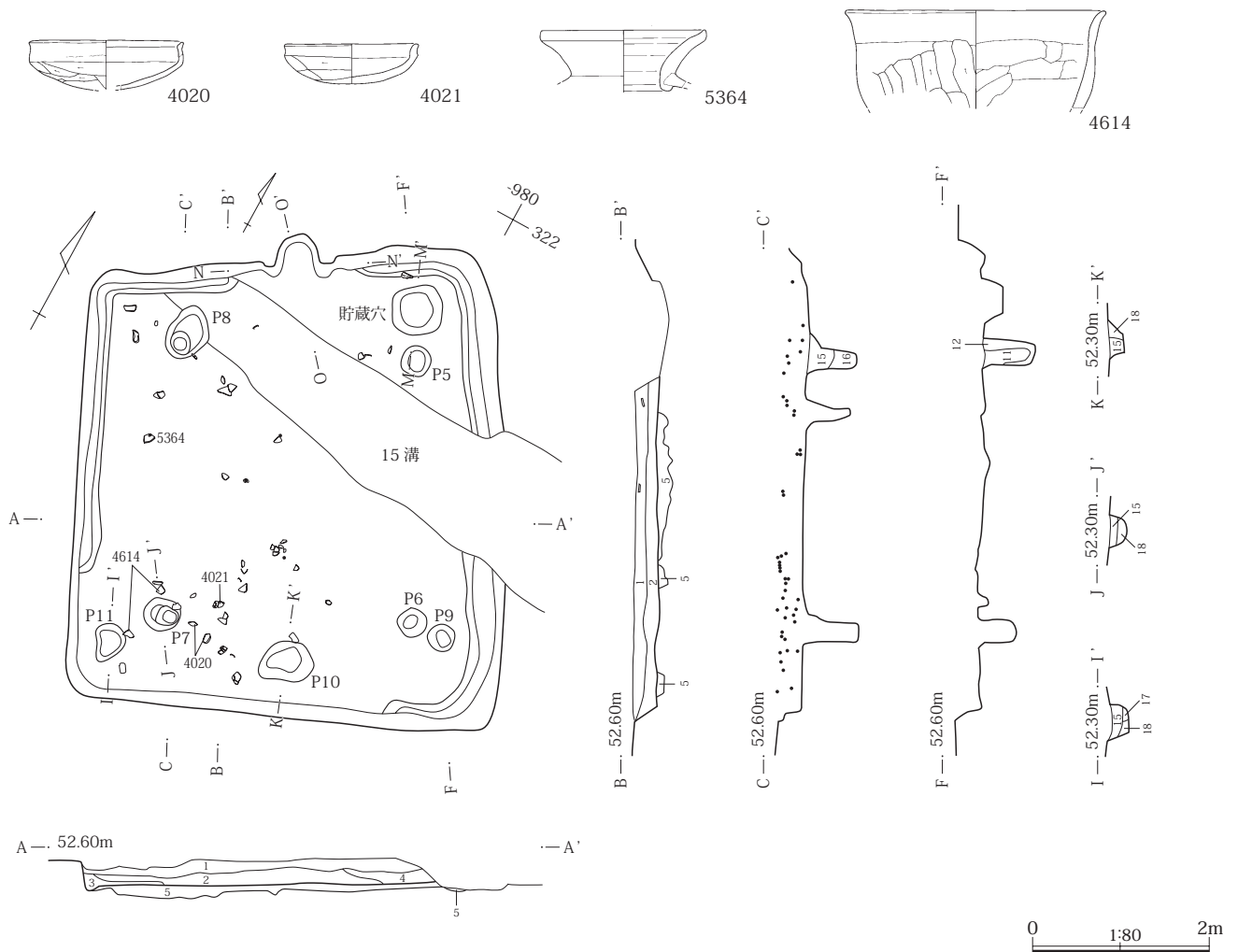
主軸方位 N-32°-W

構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面平坦で、灰層は見られない。燃烧部奥壁の立ち上がりはなだらか。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

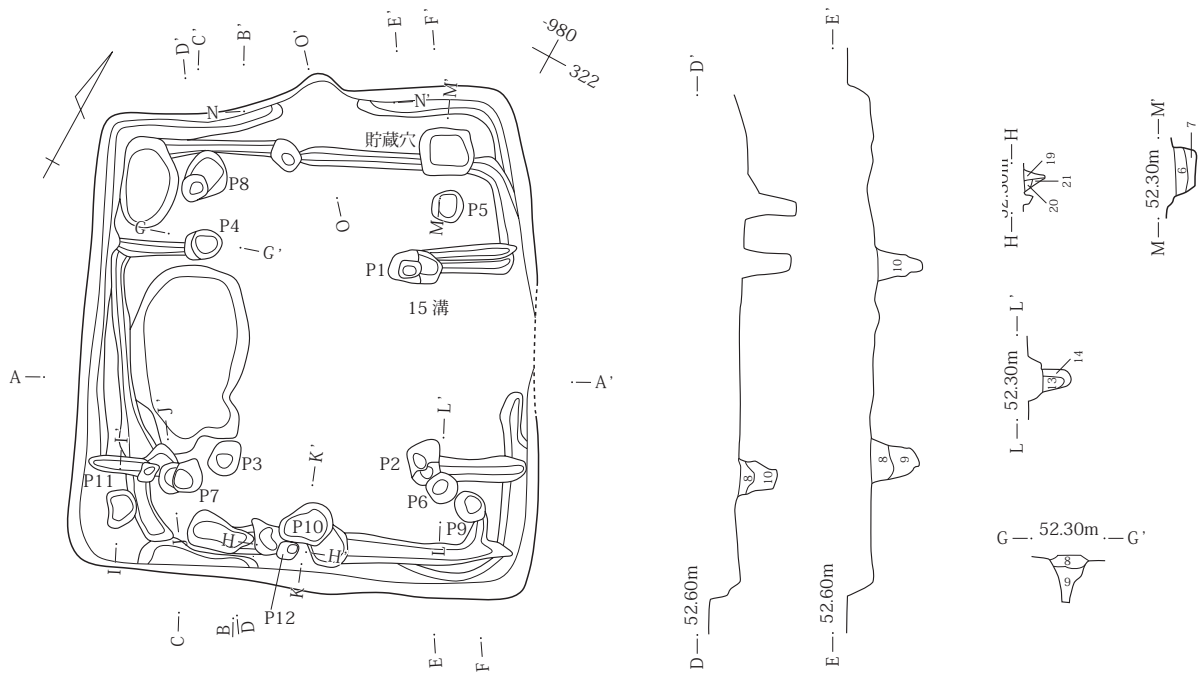
備考 掘り方で壁溝・柱穴がもう一組検出されたため、拡張された可能性が高い。

時期 遺棄遺物が少ないが、図示された遺物から、7世紀前半代か。



第195図 453号住居出土遺物・使用面

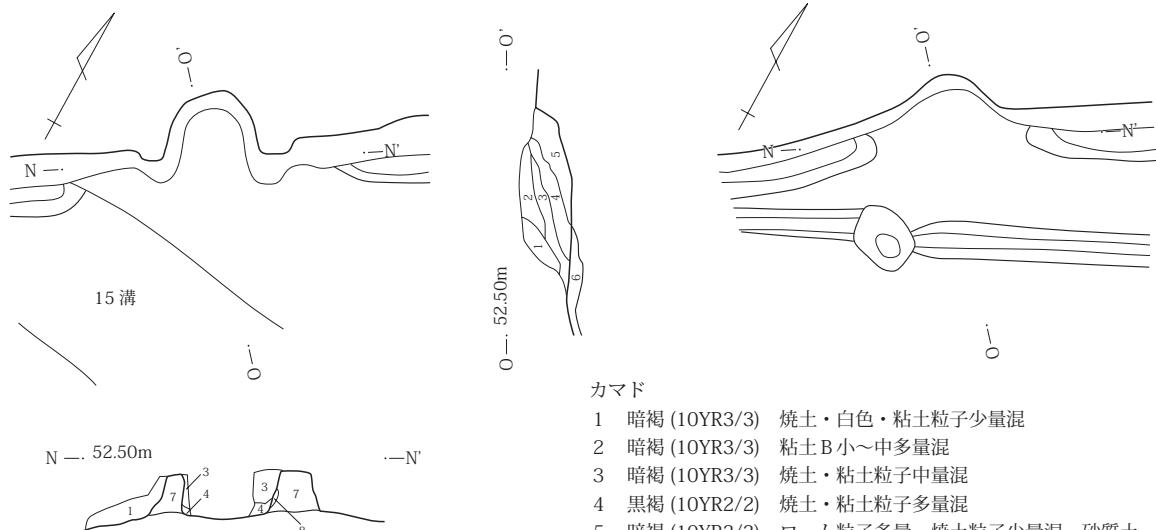
III 検出された遺構と出土遺物



453号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量、焼土粒子微量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中量、焼土粒子少量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中多量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子中量混
- 5 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中多量混 粘性強
- 6 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混
- 7 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小中量混
- 8 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B多量混
- 9 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小微量混
- 10 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB中極多量混
- 11 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B多量混
- 12 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘質土主体 ロームB・暗褐B中量混

- 13 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中多量混 粘性・しまり弱
 - 14 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム粒子・B中少量混 粘性・しまり弱
 - 15 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子少量混
 - 16 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子微量混
 - 17 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子中量混
 - 18 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小中量混
 - 19 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混 粘性・しまり弱
 - 20 暗褐 (10YR3/4) ローム・赤色粒子中量混 粘性・しまり弱
 - 21 暗褐 (10YR3/4) ローム・赤色粒子中量混 粘性・しまり弱
- 20層より褐色土の混じり多



カマド

- 1 暗褐 (10YR3/3) 焼土・白色・粘土粒子少量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) 粘土B小～中多量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子中量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) 焼土・粘土粒子多量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子多量、焼土粒子少量混 砂質土
- 6 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 7 褐 (10YR4/4) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B少量混 しまり強
- 8 褐 (7.5YR4/4) 焼土層 しまり強



第196図 453号住居掘り方・カマド

454号住居 (第197・198図、PL57)

位置 314～318-951～957 Gr

重複関係 455住、15号溝より新

平面形態 隅丸方形 長辺 4.04 m

短辺 3.46 m 長辺/短辺 1.17 壁高 48 cm

面積 13.59㎡ 床面積 10.57㎡

主軸方位 N-65°-E 壁溝 北壁～西壁

貯蔵穴 なし 柱穴 4基? 他の住居と比べ、壁に近く、住居の四隅にあるため、一般の柱穴とは機能が異なっている可能性もある。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦でやや軟弱。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。完形・半完形のものあり、床面から浮いた状態のものも多いが、床面付近・壁際のものには遺棄遺物か。4807・4940は床面上の出土である。

掘り方 土坑状掘り込み2基あり。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 315・316-951～953 Gr

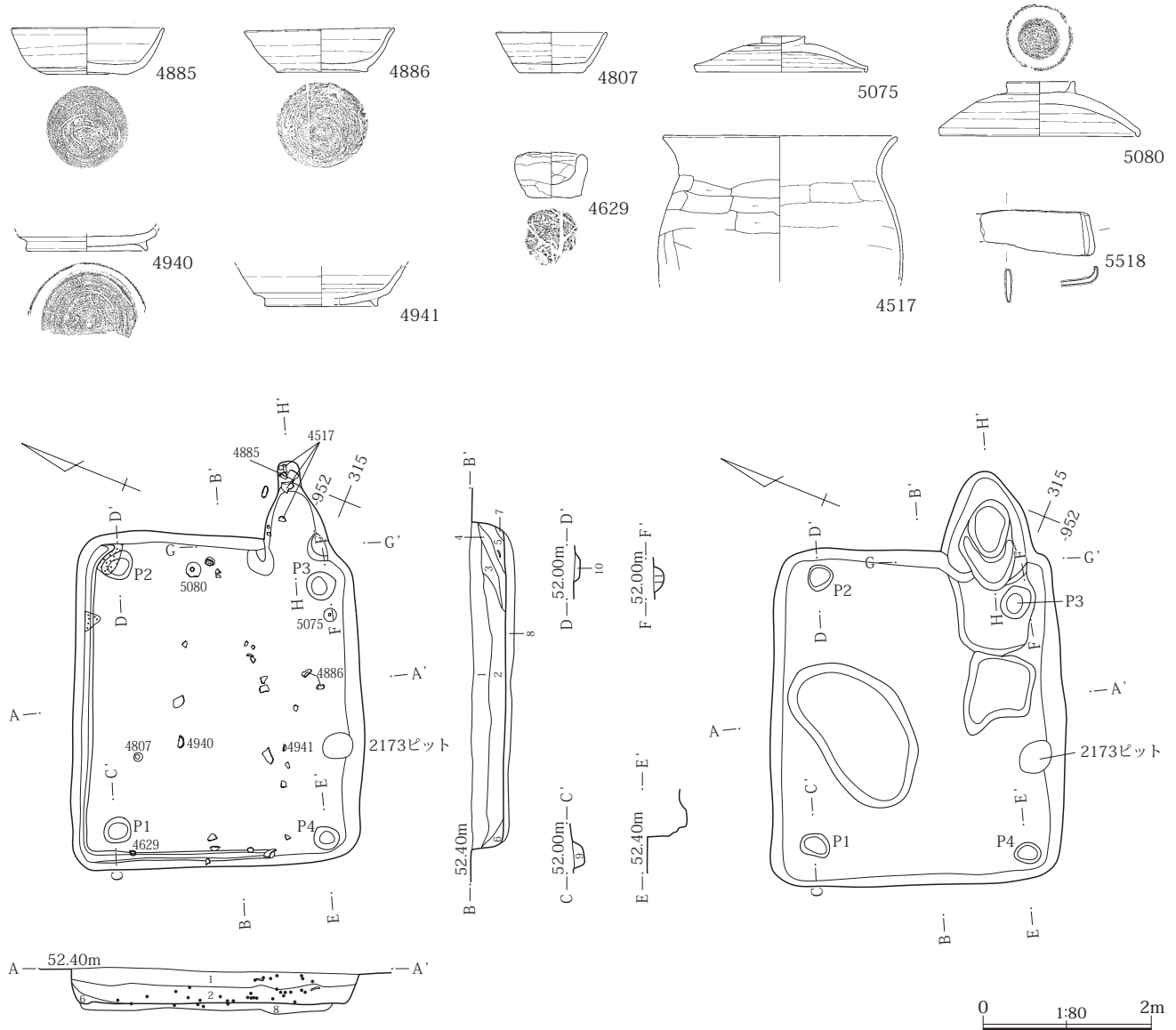
壁位置 東壁南 全長 1.34 m 幅 1.04 m

主軸方位 N-65°-E

構築 暗褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面は平坦で、燃烧部奥壁はやや急に立ち上がり、煙道部に続く。

遺物出土状況 煙道部から土師器甕が出土。他は破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄と考えられる遺物等から、8世紀第4四半期か。

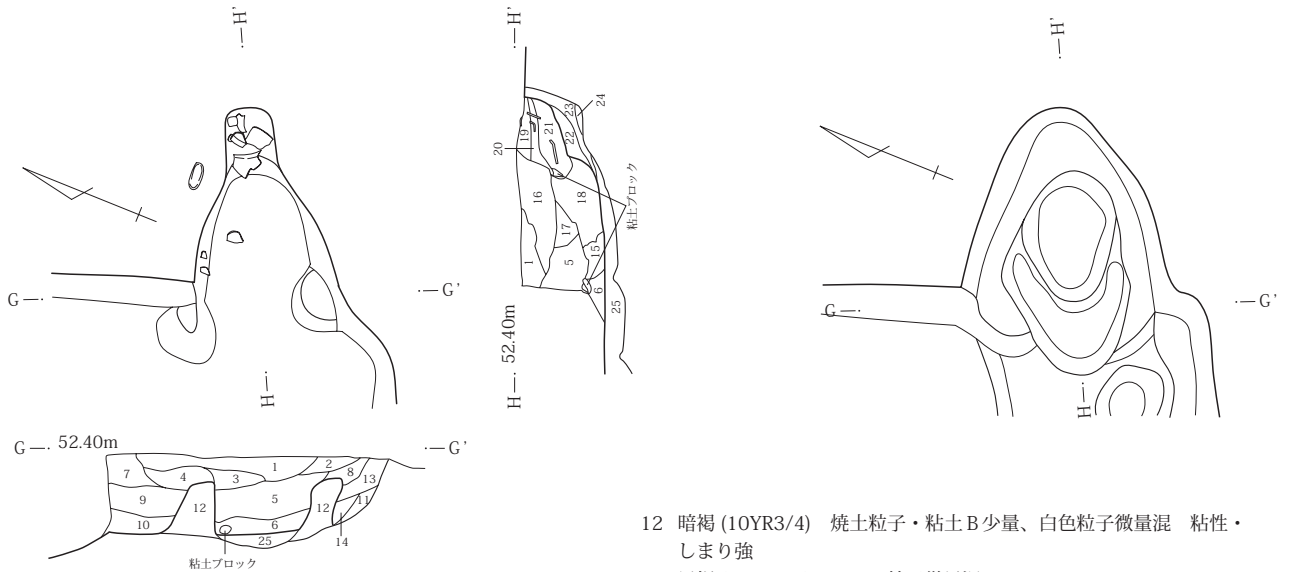


第197図 454号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

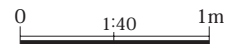
454号住居

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子少量混 | 6 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子微量混 |
| 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混 | 7 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子少量混 |
| 3 暗褐 (10YR3/4) ローム、粘土B少量、焼土粒子中量混 | 8 黒褐 (10YR3/2) ロームB小・小礫少量混 |
| 4 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子中量、焼土B小・粘土B少量混 | 9 黒褐 (10YR3/2) ロームB・小礫少量混 |
| 5 黒褐 (10YR3/2) ローム・焼土粒子微量混 | 10 黒褐 (10YR3/2) ロームB少量混 |
| | 11 黒褐 (10YR3/2) ローム・焼土粒子、小礫少量混 |



カマド

- | | |
|--|--|
| 1 暗褐 (10YR3/3) ローム・白色粒子微量、焼土粒子少量混 | 12 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子・粘土B少量、白色粒子微量混 粘性・しまり強 |
| 2 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土・炭化粒子微量混 | 13 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子微量混 |
| 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子微量、粘土B少量混 | 14 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子少量、焼土粒子微量混 |
| 4 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子少量、粘土B微量混 | 15 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B少量混 |
| 5 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・小礫微量、焼土粒子少量混 | 16 暗褐 (10YR3/4) 焼土・白色粒子、粘土B少量混 |
| 6 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子中量、焼土B少量混 | 17 暗褐 (10YR3/4) ローム・焼土粒子少量混 |
| 7 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子微量、焼土粒子少量混 | 18 褐 (10YR4/4) ローム・焼土粒子中量混 |
| 8 暗褐 (10YR3/4) ロームB中量、焼土粒子微量混 | 19 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子中量、焼土B少量混 |
| 9 黒褐 (10YR3/2) ローム・焼土粒子少量混 | 20 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子多量混 しまり強 |
| 10 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子・B中量混 | 21 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子少量混 |
| 11 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土・炭化粒子微量、白色粒子極微量混 | 22 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土・炭化粒子微量混 |
| | 23 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量、焼土・炭化粒子微量混 |
| | 24 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子少量、炭化粒子微量混 粘性・しまり強 |
| | 25 暗褐 (10YR3/3) ロームB・焼土粒子微量、小礫少量混 粘性・しまり強 |



第198図 454号住居カマド

455号住居 (第199・200図、PL57・58)

位置 311～318 -949～956 Gr

重複関係 454住、15溝より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 5.66 m 短辺 5.65 m

長辺/短辺 1.00 壁高 34cm

面積 (31.52) m² 床面積 (25.18) m²

主軸方位 N-47°-E

壁溝 カマド右側除き全周か。柱穴 4基。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で貼床。やや凹凸があり、中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 東部～南部中心に上層～中層出土。特に南壁際に土師器杯・甕類が集中しているが、床面から浮

いたものも多く、廃棄遺物がほとんどか。床面付近のものは遺棄遺物の可能性あり。

掘り方 土坑・ピット等見られず、ほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 315・316 -950・951 Gr

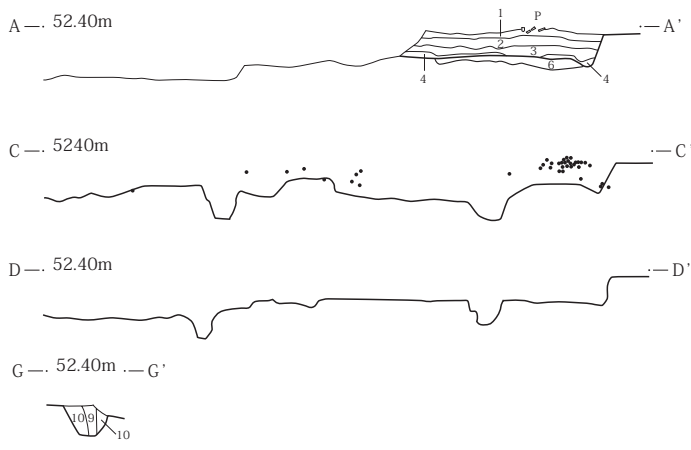
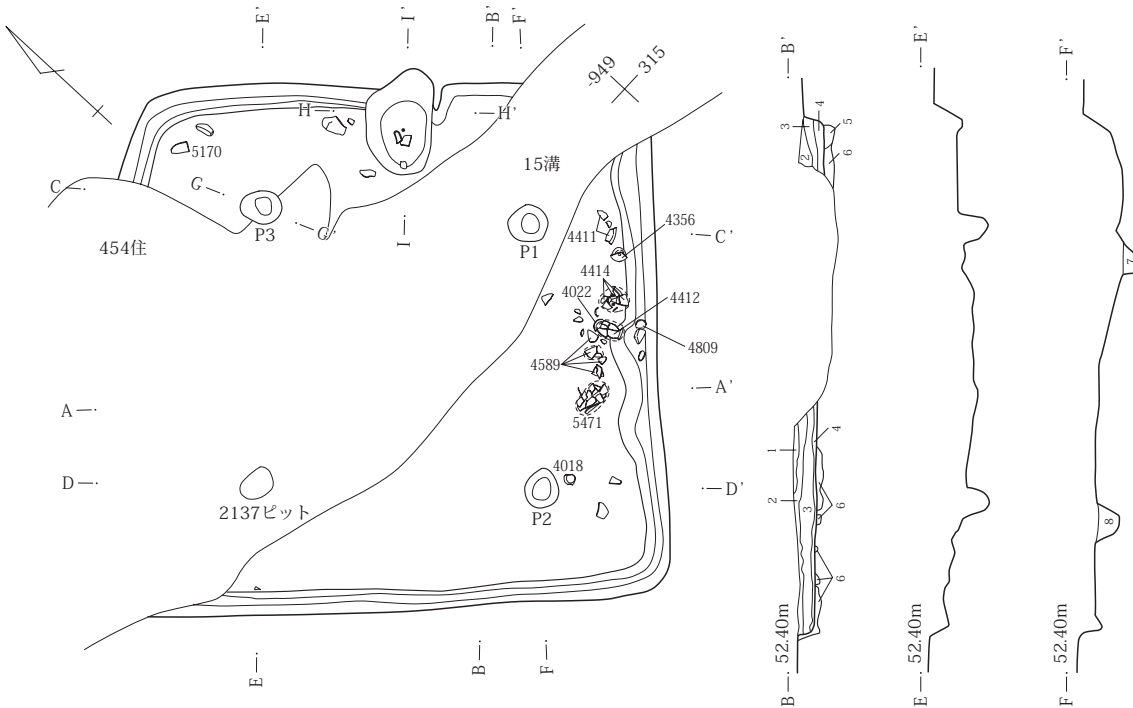
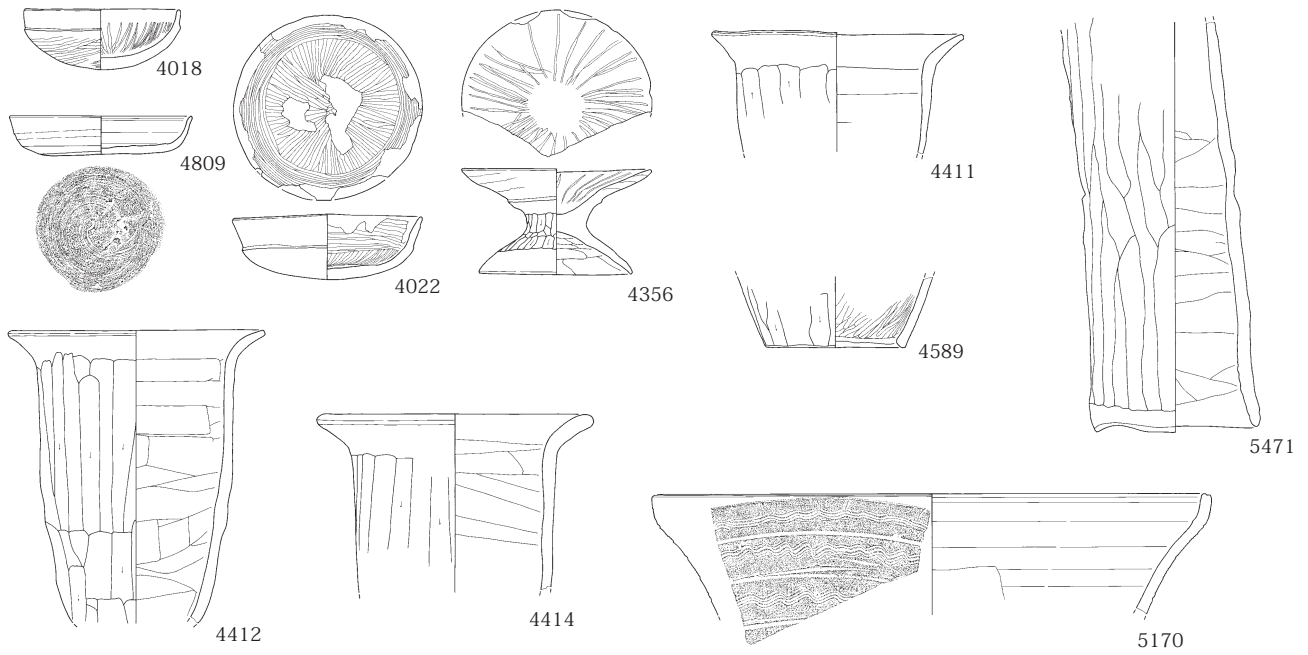
壁位置 東壁中央 全長 1.13 m

幅 0.71 m 主軸方位 N-47°-E

構築 残存状況悪く、左袖は残存しないが、黄褐色土で袖を構築。燃焼部底面はややくぼみ、灰層は見られない。燃焼部奥壁の立ち上がりはややなだらかである。

遺物出土状況 燃焼部内から土師器片が出土。

時期 遺棄と考えられる遺物等から、7世紀前半代か。

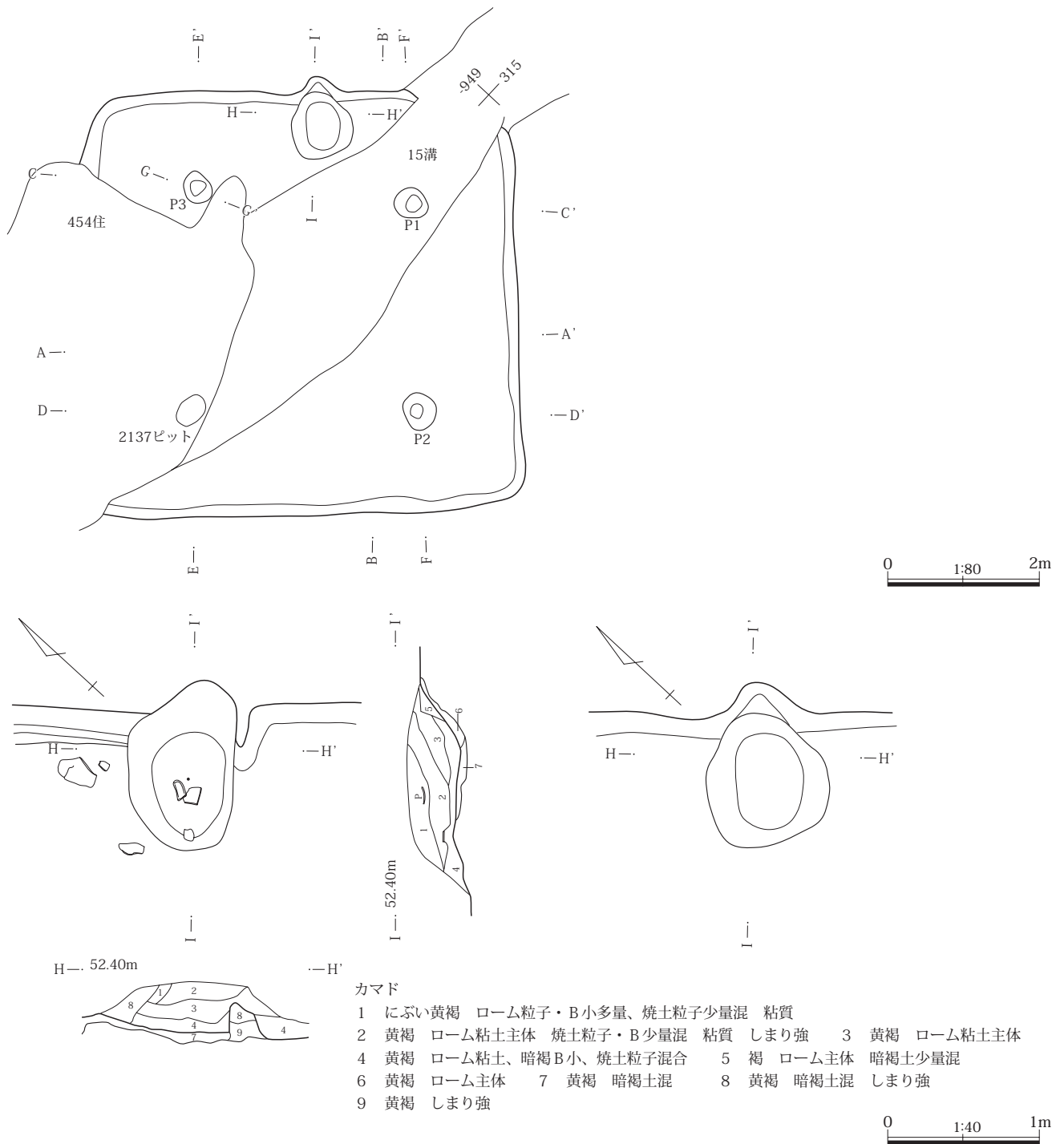


455号住居

- 1 暗褐 ローム粒子、黒褐色B混
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 4 暗褐 ローム粒子・粘土、焼土粒子混
- 5 暗褐 ローム粒子・黒褐色B混 しまり弱
- 6 にぶい黄褐 ロームB中多量混 しまり強
- 7 にぶい黄褐 ローム・小礫多量混
- 8 暗褐 ローム・小礫多量混
- 9 暗褐 砂利・小礫多量混
- 10 にぶい黄褐 小礫・黄褐色B多量混

第199図 455号住居出土遺物・使用面

III 検出された遺構と出土遺物



第200図 455号住居掘り方・カマド

457号住居 (第201図、PL58)

位置 322～326-008～011 Gr

重複関係 412住、15溝より旧 2142・2157ピット

平面形態 隅丸方形 長辺 3.24m 短辺 3.20m

長辺/短辺 1.01 壁高 49cm 面積 (10.35) m²

床面積 (7.53) m² 主軸方位 N-60°-E

壁溝 カマド、北壁西部を除き残存部分全周。

貯蔵穴 なしか 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で貼床。ほぼ平坦な床面で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、埋土中に散在。カマド右脇の土師器杯は遺棄遺物か。4026は床面上の出土である。

掘り方 東部が一段下がる掘り方。ピット数基あり。

カマド

位置 324・325 -008・009 Gr

壁位置 東壁中央

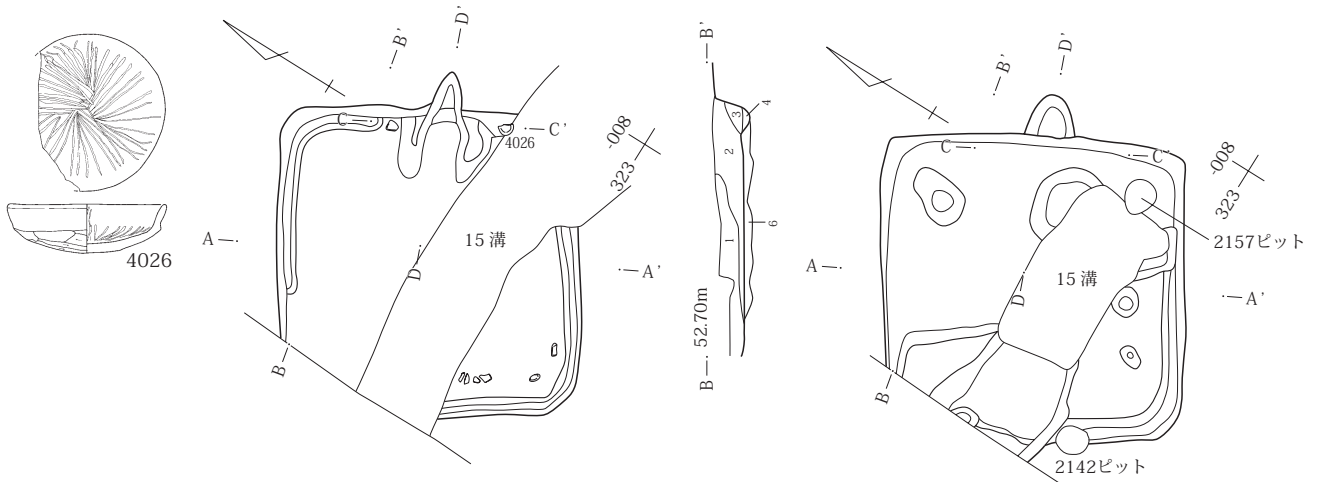
全長 1.19 m 幅 0.99 m

主軸方位 N-67°-E

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、燃烧部奥壁はやや急に立ち上がり、煙道部底面はなだらかに立ち上がる。

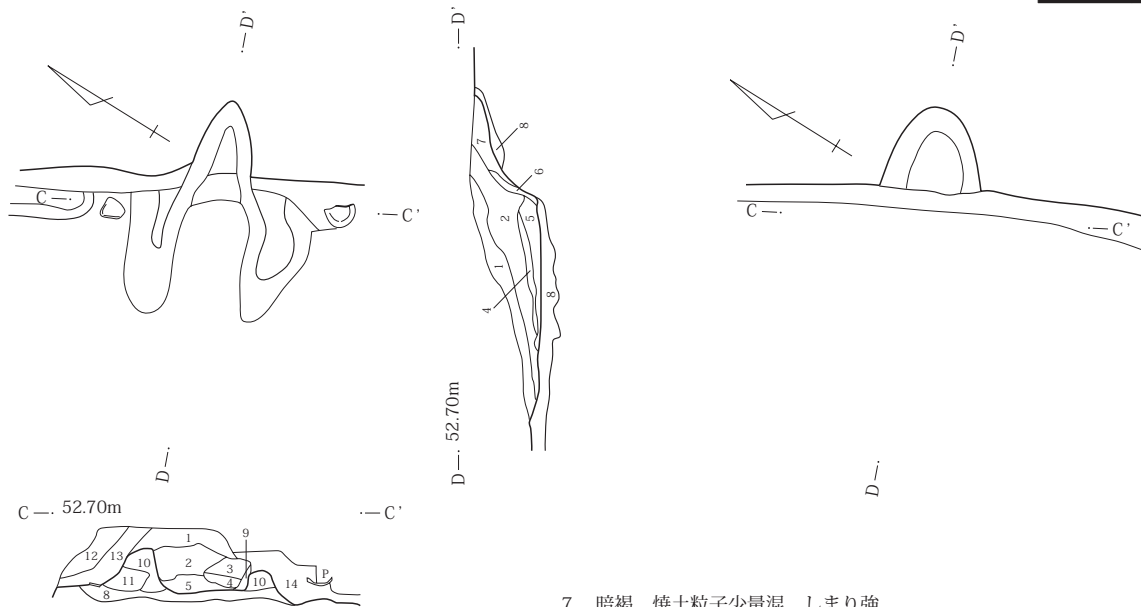
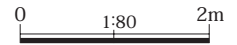
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 カマド脇の遺物から、6世紀後半～7世紀前半か。



457号住居

- 1 黒褐 ローム粒子・B中微量混
- 2 暗褐 ローム粒子少量、黒褐土多量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B中少量、黒褐土混
- 4 にぶい黄褐 ロームB中少量混 しまり弱
- 5 黒褐・ローム混土
- 6 黄褐 ロームB主体 暗褐土少量混 しまり強



カマド

- 1 にぶい黄褐 ローム主体 暗褐土混 焼土少量混
- 2 黄褐 焼土粒子少量混 しまり強
- 3 黄褐 焼土粒子少量、ロームB小混 しまり強
- 4 黄褐 焼土多量混 しまり強
- 5 暗褐 灰層 焼土粒子・B少量混 しまり弱
- 6 赤褐 焼土粒子・B多量混
- 7 暗褐 焼土粒子少量混 しまり強
- 8 暗褐 ローム粒子・B小少量混 しまり強
- 9 赤褐 焼土多量混 しまり強
- 10 黄褐 焼土粒子多量混 粘性強(袖)
- 11 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 12 暗褐 ローム粒子小量混
- 13 暗褐 ローム粒子中量混
- 14 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混

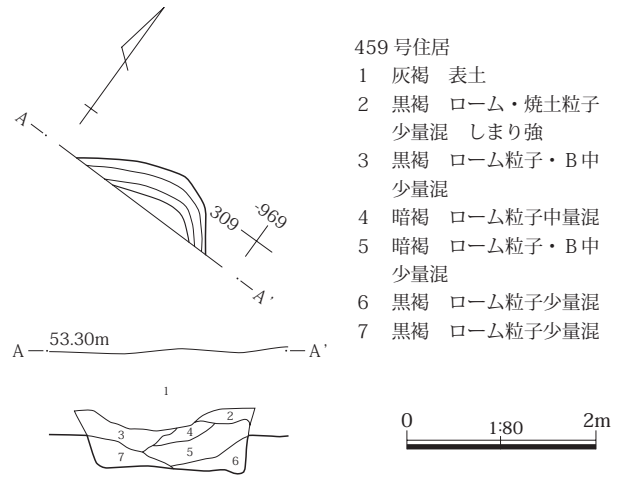


第201図 457号住居

III 検出された遺構と出土遺物

459号住居 (第202図)

位置 308・309 -969 ~971 Gr 重複関係 なし
 平面形態 不明 長辺 [0.87] m 短辺 [0.60] m
 長辺 / 短辺 不明 壁高 40cm 面積 [0.55] m²
 床面積 [0.11] m² 主軸方位 N-35°-W
 壁溝 残存部分全周。貯蔵穴 不明 柱穴 不明
 埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがる
 レンズ状堆積。床面状態 掘り方を床面とするか。
 遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。
 掘り方 掘り方を床面とするか。カマド 不明
 備考 大部分調査区外のため詳細不明。
 時期 出土遺物少なく時期不明。



第202図 459号住居

463号住居 (第203図、PL58)

位置 308 ~312 -907 ~911 Gr
 重複関係 464・468住より新
 平面形態 隅丸方形 長辺 3.83 m
 短辺 3.36 m 長辺 / 短辺 1.14 壁高 26cm
 面積 11.85m² 床面積 8.47m²
 主軸方位 N-88°-E 壁溝 西壁~北壁 東壁
 貯蔵穴 なし 柱穴 なし
 埋没土 再調査のため不明。
 床面状態 ほぼ平坦な床面。土坑以外掘り方を床面としていたか。

遺物出土状況 不明

掘り方 土坑状掘り込み1基ピット数基あり。他は掘り方を床面としていたか。

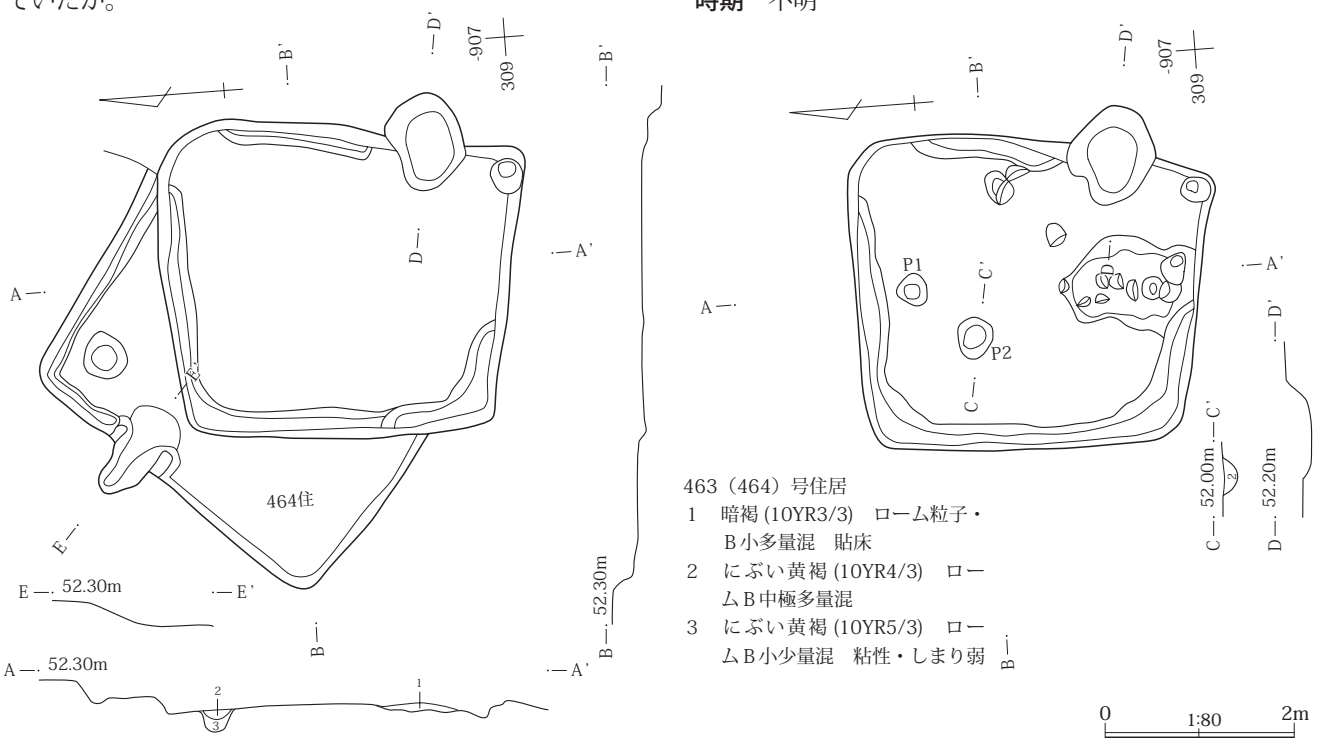
カマド

位置 309・310 -907・908 Gr
 壁位置 東壁南 全長 1.04 m 幅 0.89 m
 主軸方位 N-82°-W

備考 再調査のため掘り方以外不明。

備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。

時期 不明



第203図 463・464号住居

464号住居 (203 図)

位置 310～314-908～912 Gr

重複関係 463住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 3.45 m
短辺 [2.20] m 長辺/短辺 不明 壁高 27cm面積 [5.55] m² 床面積 [4.03] m²

主軸方位 N-46°-W 壁溝 西壁北部～北壁

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態円形。柱穴 不明

埋没土 再調査のため不明。

床面状態 ほぼ平坦な床面か。

遺物出土状況 不明 掘り方 掘り方を床面とするか。

カマド

位置 312・313-910・911 Gr

壁位置 西壁北

全長 0.85 m 幅 0.82 m

主軸方位 N-46°-W

備考 再調査のため詳細不明。

備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。

時期 不明

467号住居 (204 図、PL59)

位置 304～306-906～909 Gr

重複関係 468住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [2.34] m 短辺 [1.55] m

長辺/短辺 不明 壁高 13cm 面積 [2.72] m²床面積 [2.35] m²

主軸方位 N-44°-E 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 再調査のため不明。

床面状態 ほぼ平坦な床面。

遺物出土状況 不明 掘り方 掘り方を床面とするか。

カマド 不明

備考 駒澤大学調査済みの住居。平面・断面再実測。

時期 不明

468号住居 (第205 図、PL59)

位置 304～310-907～913 Gr

重複関係 463・469住より旧 467住より新

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形 長辺 5.63 m
短辺 [5.01] m 長辺/短辺 不明 壁高 21cm面積 [29.92] m² 床面積 [25.65] m²

主軸方位 N-48°-W

壁溝 残存部分全周。東壁の内側にもう1条確認。拡張の可能性あり。

貯蔵穴 北東部壁際の土坑状掘り込みが貯蔵穴か。平面形態隅丸長方形。

柱穴 4基? 2基確認、他の2基は調査区外か。

埋没土 再調査のため不明。

遺物出土状況 不明

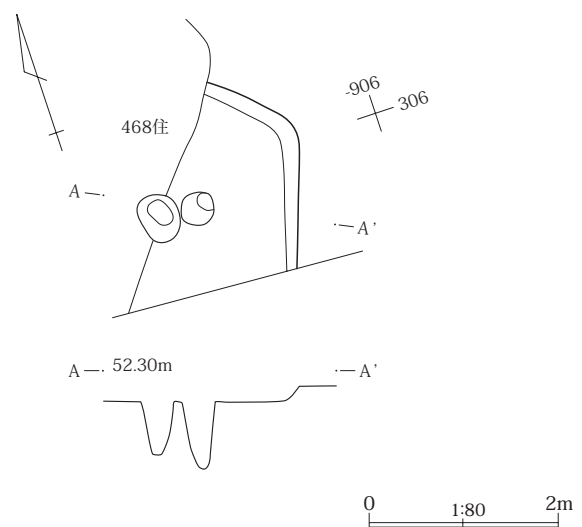
床面状態 ロームを含む暗褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とするか。

掘り方 ピット多数検出。東壁際中央南よりに間仕切り溝検出。東壁内側に壁溝もう1条検出されているため、拡張された可能性が高い。

カマド 北壁にあった可能性高いが、重複により壊されており詳細不明。

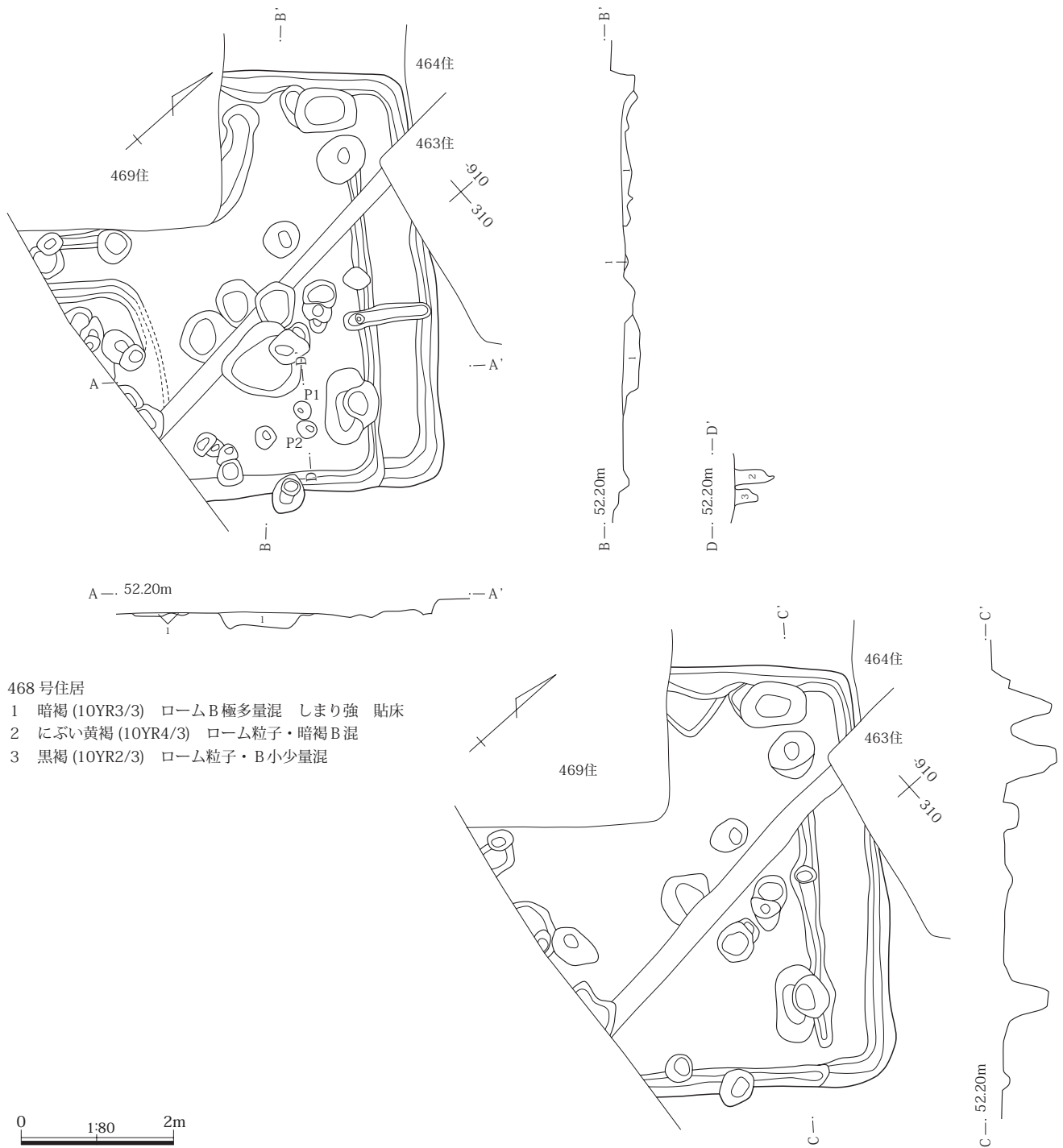
備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。

時期 不明



第204図 467号住居

III 検出された遺構と出土遺物



468号住居

- 1 暗褐色 (10YR3/3) ロームB極多量混 しまり強 貼床
- 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) ローム粒子・暗褐色混
- 3 黒褐色 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混

第205図 468号住居

469号住居 (第206図、PL59)

位置 305~309-911~916 Gr

重複関係 468・470住より新 平面形態 隅丸方形

長辺 3.42 m 短辺 3.30 m

長辺/短辺 1.04 壁高 47cm 面積 (10.74) m²

床面積 (9.25) m² 主軸方位 N-41°-E

壁溝 東壁 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

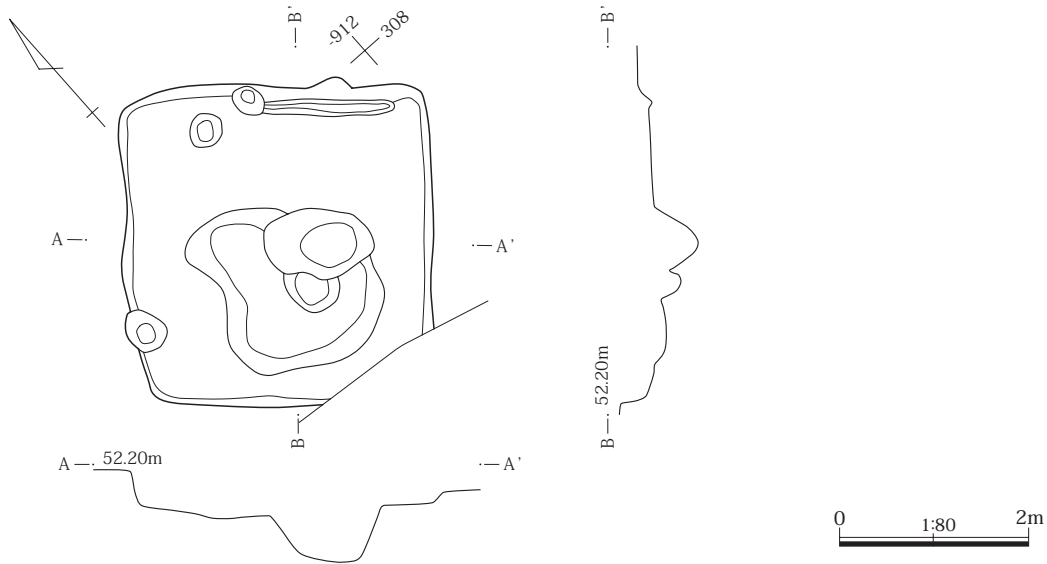
埋没土 再調査のため不明。

床面状態 不明 遺物出土状況 不明

掘り方 中央西よりに土坑、ピット数基あり。他は平坦な掘り方。

カマド 不明 時期 不明

備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。



第206図 469号住居

470号住居 (第207・208図、PL59)

位置 305～310-914～920 Gr

重複関係 469住より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 (5.38)m

短辺 (5.14)m 長辺/短辺 (1.05)

壁高 28cm 面積 (27.31) m²

床面積 (22.53) m² 主軸方位 N-57°-W

壁溝 カマドを除き残存部分全周。

貯蔵穴 カマド右脇の土坑が貯蔵穴か。平面形態隅丸方形。

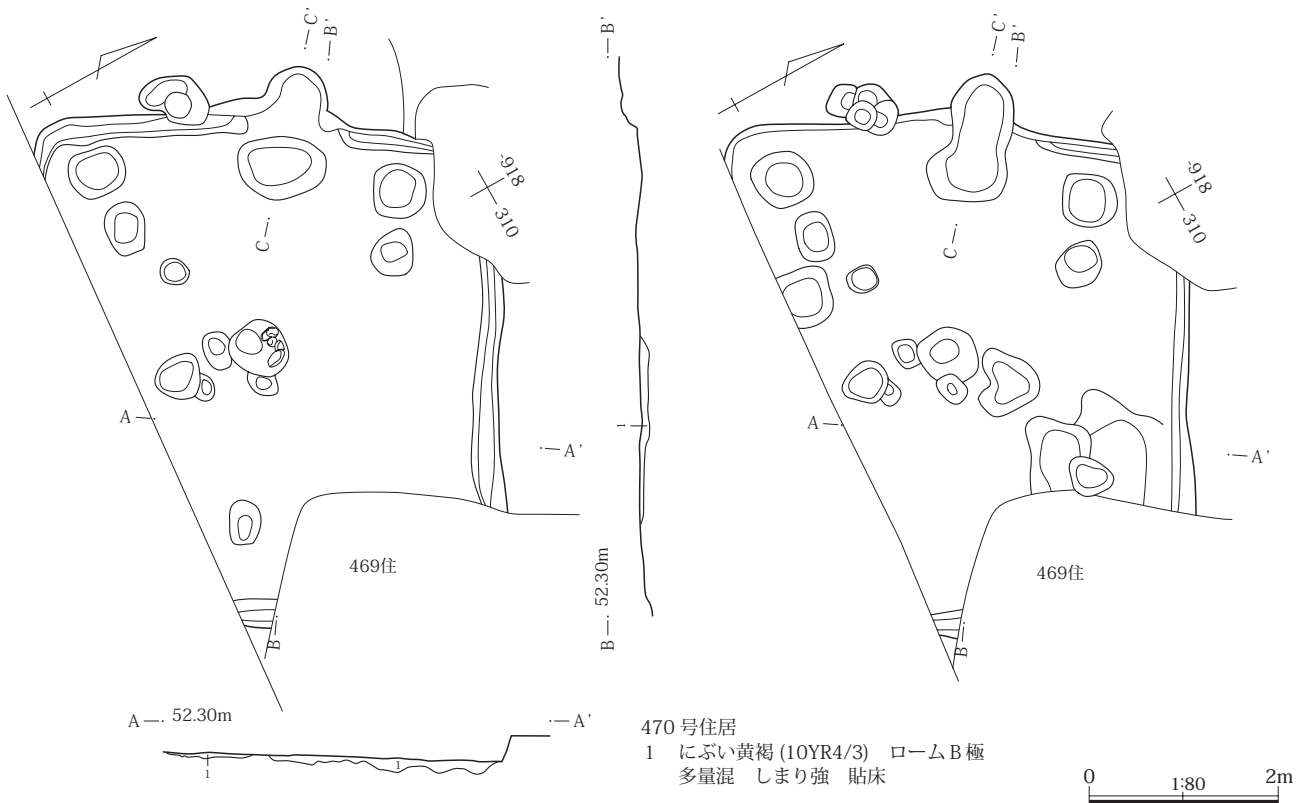
柱穴 4基? 北東部は掘り方検出のピットが相当し、南東部は調査区外か。

埋没土 再調査のため不明。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で部分的に貼床か。ほぼ平坦で全体的に硬化か。

遺物出土状況 不明

掘り方 土坑状掘り込み数基、ピット多数検出。



第207図 470号住居使用面・掘り方

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

カマド

位置 308・309-919・920 Gr

壁位置 西壁中央

全長 0.67 m 幅 0.69 m

主軸方位 N-55°-W

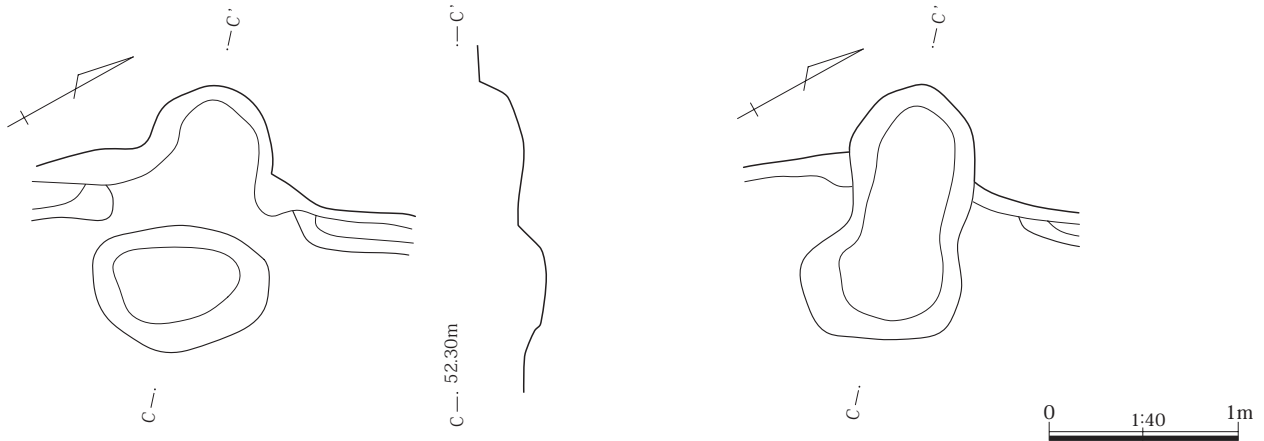
掘り方 焚口部がくぼみ燃烧部はほぼ平坦。燃烧部奥

壁の立ち上がりは急である。

備考 再調査のため掘り方以外不明。

備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。

時期 不明



第208図 470号住居カマド

473号住居 (209図、PL60)

位置 308~310-920~924 Gr

重複関係 15溝と重複

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 3.15 m 短辺 [2.34] m

長辺/短辺 不明 壁高 34cm

面積 [6.35] m² 床面積 [5.56] m²

主軸方位 N-20°-E 壁溝 残存部分なし。

貯蔵穴 不明 柱穴 なし

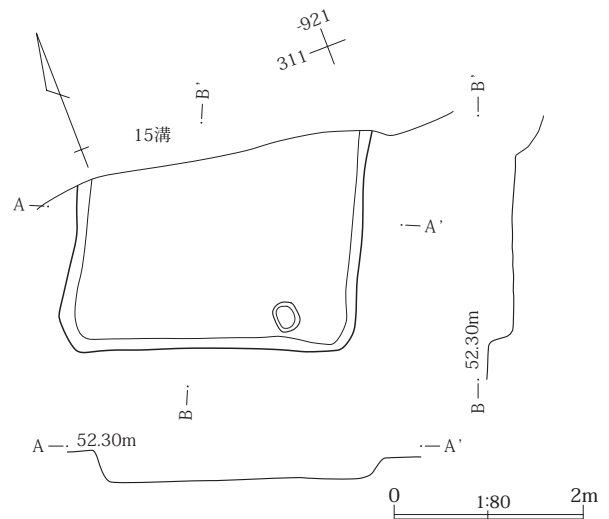
埋没土 再調査のため不明。

床面状態 不明。掘り方を床面とする平坦な床面か。

遺物出土状況 不明 掘り方 掘り方を床面とするか。

カマド 不明 時期 不明

備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。



第209図 473号住居

474号住居 (第210図、PL60)

位置 315~320-912~917 Gr

重複関係 476住と重複

平面形態 隅丸方形 長辺 4.00 m 短辺 3.60 m

長辺/短辺 1.11 壁高 40cm 面積 12.87 m²

床面積 9.05 m² 主軸方位 N-31°-E

壁溝 カマド両脇を除き全周。

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態楕円形。

柱穴 4基。いずれも柱痕あるか。埋没土 不明

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で部分的に貼床。平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 不明

掘り方 東壁際が溝状に下がる掘り方。他に土坑状掘り込み・ピット数基あり。

カマド

位置 319・320-913・914 Gr

壁位置 北壁中央

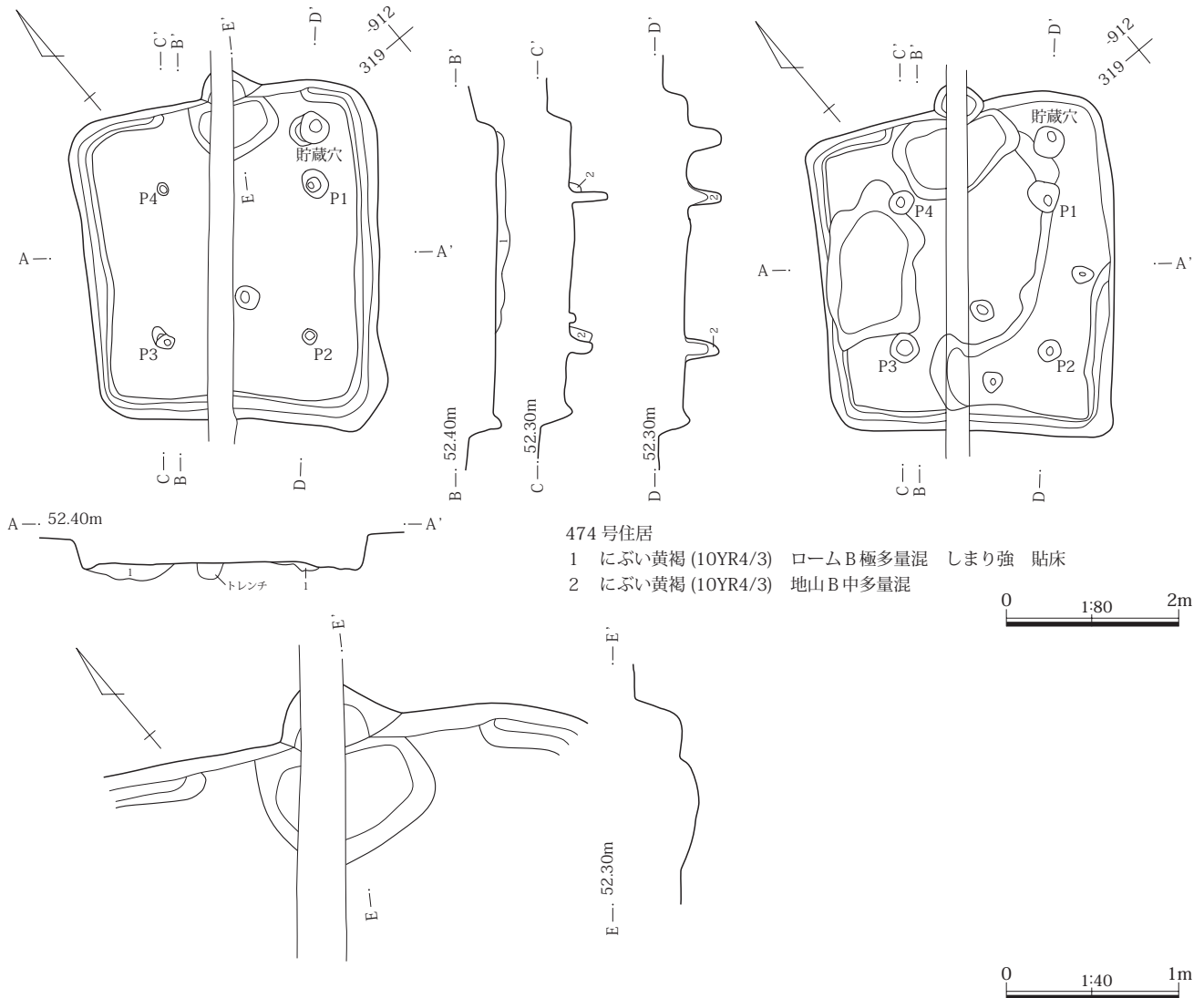
全長 (0.41) m 幅 0.72 m

主軸方位 N-28°-E

備考 再調査のため掘り方以外不明。

備考 駒澤大学調査済みの住居。掘り方のみ調査。平面・断面再実測。

時期 不明



第210図 474号住居

476号住居 (第211図、PL60)

位置 319～322-908～913 Gr

重複関係 498住より新 474住と重複

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.27 m

短辺 3.10 m 長辺/短辺 1.38

壁高 37cm 面積 12.85㎡ 床面積 9.09㎡

主軸方位 N-93°-E 貯蔵穴 なし

柱穴 なし

壁溝 カマドを除き全周。北壁の一部に掘削時の工具痕あり。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向か

ってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。ほぼ平坦でやや軟弱。

遺物出土状況 出土量は少なく、破片が下層～床面を中心に散在。

掘り方 ピット数基あり。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 319・320-908～910Gr

壁位置 東壁南

全長 1.15 m 幅 0.98 m

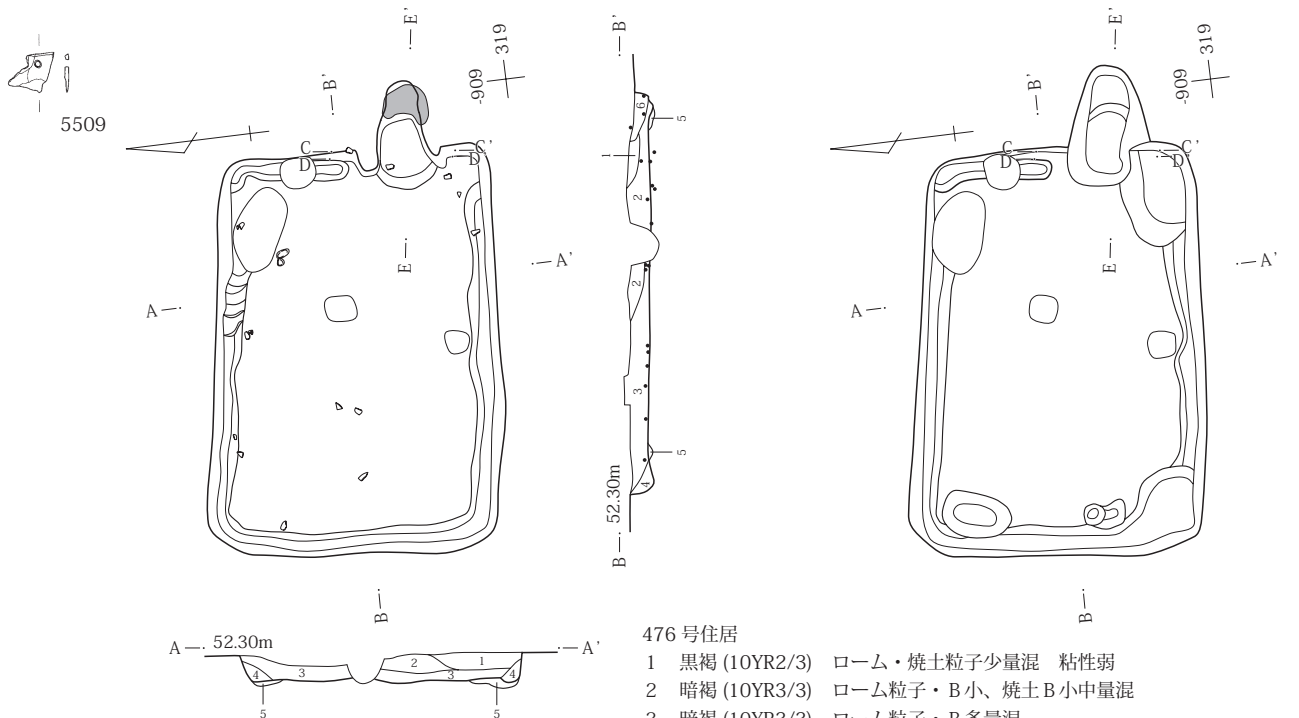
主軸方位 N-94°-E

III 検出された遺構と出土遺物

構築 褐色粘土で袖を構築。燃焼部底面はややくぼみ、奥壁はなだらかに立ち上がり、煙道部へ続く。煙道部上面に焼土あり。天井部焼土の崩落か。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

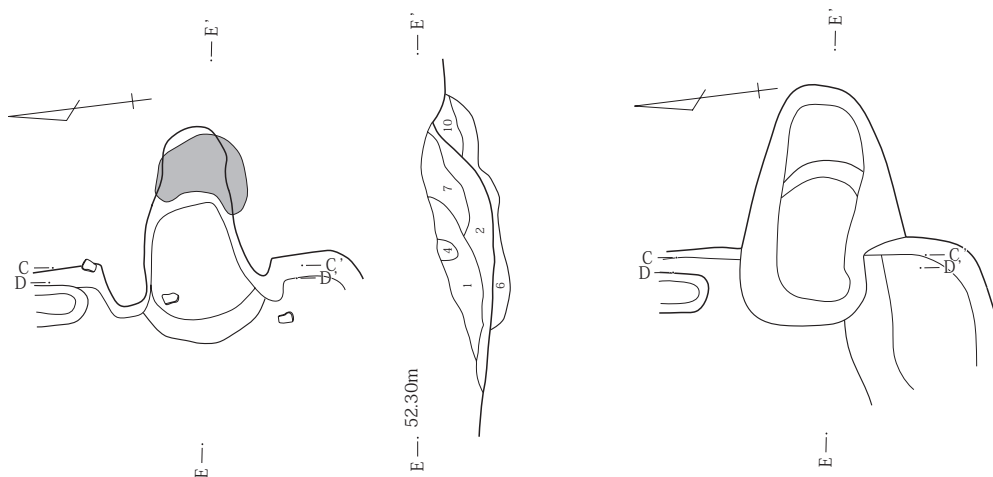
時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から7世紀前半代以降。



476号住居

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混 粘性弱
- 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小、焼土B小中量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B多量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混 貼床
- 6 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子微量混 粘性・しまり弱

0 1:80 2m



カマド

- 1 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B小、炭化・粘土粒子中量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子、灰、粘土粒子・B小少量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子微量混
- 4 褐 (10YR4/4) 粘土主体 焼土粒子少量混 粘性・しまり強
- 5 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土層 暗褐B少量混 しまり強
- 6 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量、焼土粒子微量混
- 7 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子多量混 8 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土粒子少量混
- 9 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B小中量混 10 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B少量混
- 11 細砂粒多量混 住居より新しい覆土

0 1:40 1m

第211図 476号住居

489号住居 (第212・213図、PL61)

位置 307～309 - 933～937 Gr

重複関係 なし

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 3.31 m 短辺 [1.48] m

長辺/短辺 不明 壁高 28cm 面積 [5.55] m²

床面積 [4.47] m² 主軸方位 N-16°-E

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 なしか 柱穴 なしか
埋没土 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土・にぶい黄褐色土で貼床。

床面状態 ロームを含む暗褐色土。東から西に向かい下がる。全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 特に東部カマド付近に集中し、下層～床面を中心とする。完形・半完形の遺物が床面付近に多い

ため、遺棄遺物が多いか。4030・4131・4613・4615は床面上の出土である。

掘り方 細かい凹凸はあるが、全体的にほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 308・309 - 934・935 Gr

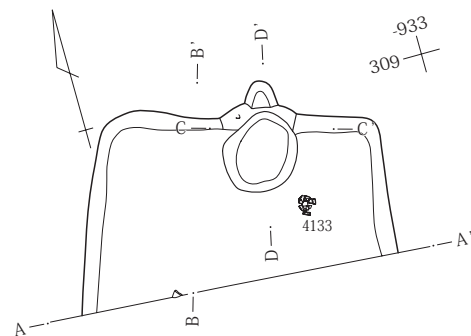
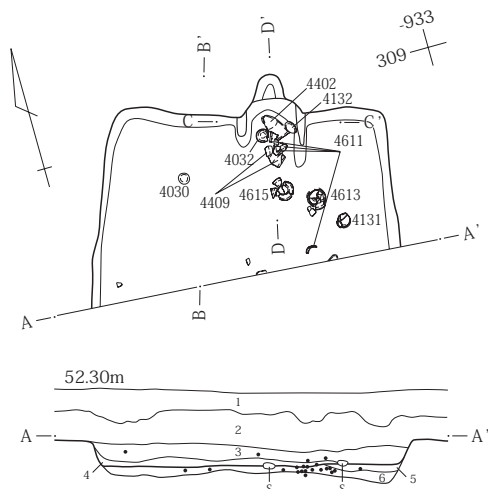
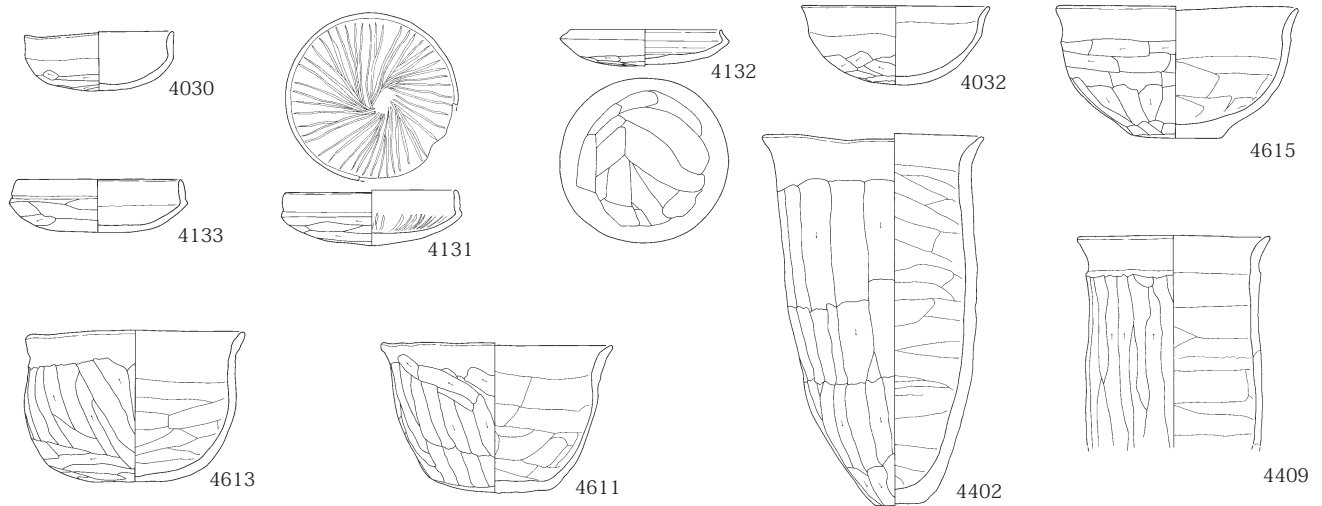
壁位置 北壁やや東 全長 0.99 m

幅 0.75 m 主軸方位 N-15°-E

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが、掘り方では大きくくぼむ。灰層あり。燃烧部奥壁は急に立ち上がり煙道部へ続く。

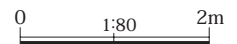
遺物出土状況 燃烧部から、完形に近い土師器杯・甕が数個体出土。

時期 遺棄されたと考えられる遺物から、6世紀後半代か。



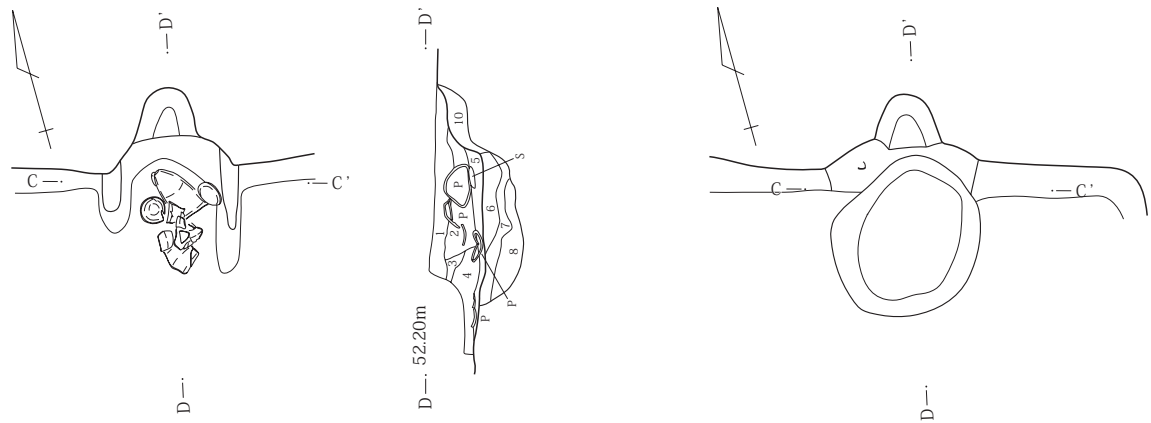
489号住居

- 1 灰褐 表土
- 2 暗褐 白色・赤褐色粒子少量混
- 3 黒褐 ローム・赤褐色粒子、炭化物少量混
- 4 暗褐 ローム中量、焼土粒子・黒褐色土少量混
- 5 暗褐 ローム粒子多量混
- 6 にぶい黄褐 ローム粒子・B中多量混



第212図 489号住居出土遺物・使用面・掘り方

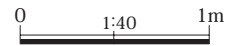
III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- 1 暗褐 ローム粒子・B小中量、焼土粒子少量混 しまり強
- 2 暗褐 焼土粒子中量、炭化物少量混 3 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 しまり強
- 4 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子多量、焼土・灰少量混 しまり弱
- 6 暗褐 ローム・焼土粒子多量、黒褐B少量混 しまり弱
- 7 暗褐 ローム・黒褐B少量、焼土粒子多量混 8 褐 ローム・焼土粒子多量混
- 9 黄褐 ローム主体 暗褐土少量混 しまり強 10 褐 焼土粒子少量混 しまり強

第213図 489号住居カマド



490号住居 (第214・215図、PL61)

位置 307～310 -932～941 Gr

重複関係 491住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 2.99 m

短辺 2.65 m 長辺/短辺 1.13 壁高 20cm

面積 (7.79) m² 床面積 (6.62) m²

主軸方位 N-65°-W

壁溝 なし 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む黒褐色土。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦で、中央から西部にかけて硬化。

遺物出土状況 破片が埋土中に散在。ほとんど流入遺物か。

掘り方 凹凸が少なく、平坦な掘り方。

カマド

位置 308・309 -940 Gr 壁位置 西壁南

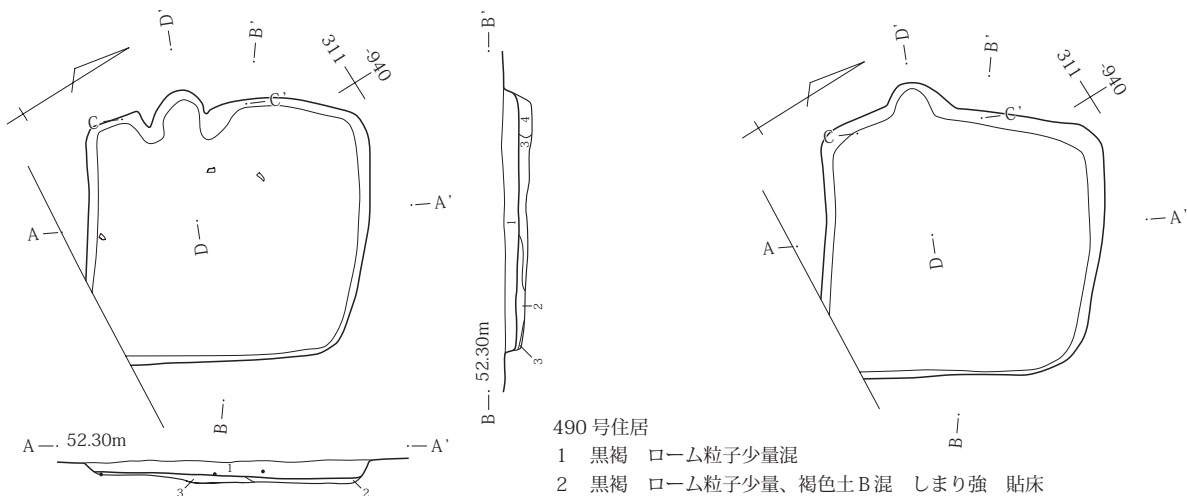
全長 0.55 m 幅 1.11 m

主軸方位 N-60°-W

構築 黄褐色土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面は平坦で、奥壁はなだらかに立ち上がる。

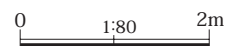
遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から6世紀後半以前。

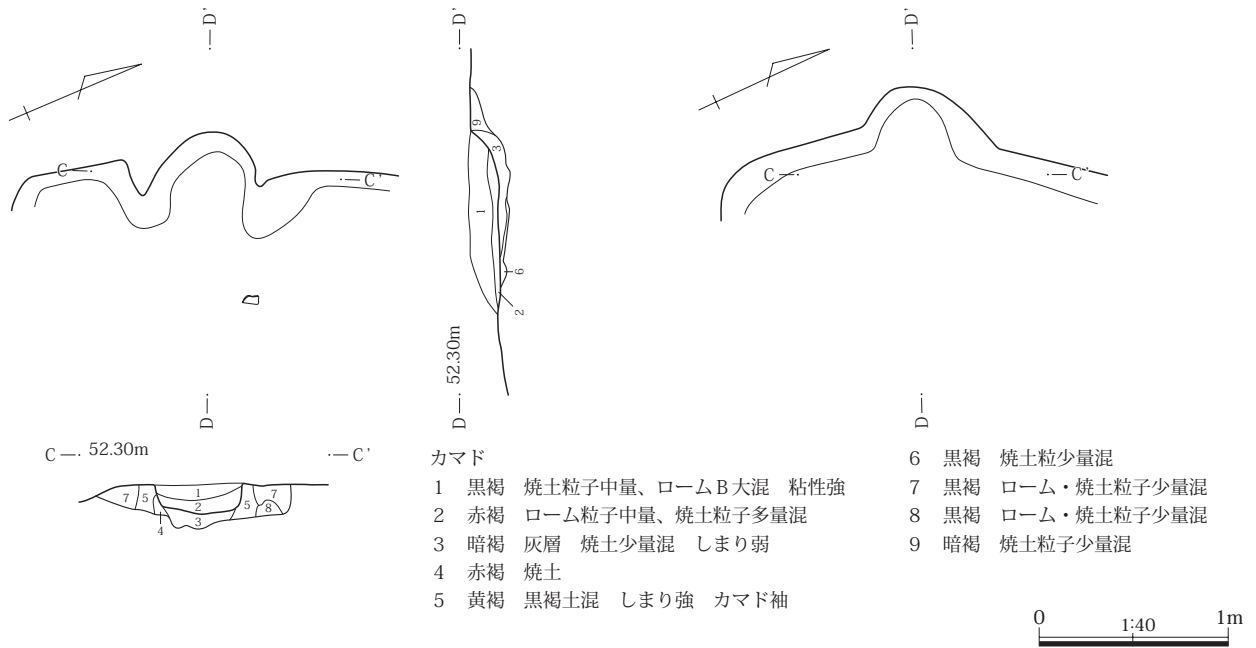


490号住居

- 1 黒褐 ローム粒子少量混
- 2 黒褐 ローム粒子少量、褐色土B混 しまり強 貼床
- 3 黒褐 褐色土少量混 しまり強 貼床
- 4 黒褐 ローム・焼土粒子少量混



第214図 490号住居使用面・掘り方



第215図 490号住居カマド

491号住居 (第216・217図、PL62)

位置 307～312 -935～940 Gr

重複関係 490住、15溝より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 4.21 m

短辺 3.74 m 長辺/短辺 1.13 壁高 20cm

面積 (16.00) m² 床面積 (13.30) m²

主軸方位 N-34°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は隅丸長方形。断面形態は丸みを帯びた台形。

柱穴 4基×2時期か。いずれの柱穴も2基重複しており、建てかえられた可能性が高い。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ローム・褐色土を含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦で、全体的に硬化。

遺物出土状況 北東部中心で上層～床面出土。破片が多く廃棄・流入遺物がほとんどか。カマド右脇の土師器杯

は遺棄遺物か。4023・4024・4155・4590は床面上の出土である。

掘り方 細かい凹凸が多少あるが、全体的に平坦な掘り方。

カマド

位置 311・312 -936・937 Gr

壁位置 北壁やや東

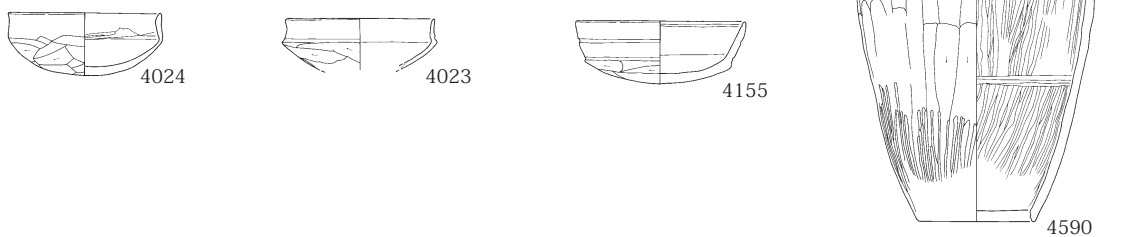
全長 0.88 m 幅 0.92 m

主軸方位 N-34°-E

構築 黄褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面は平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

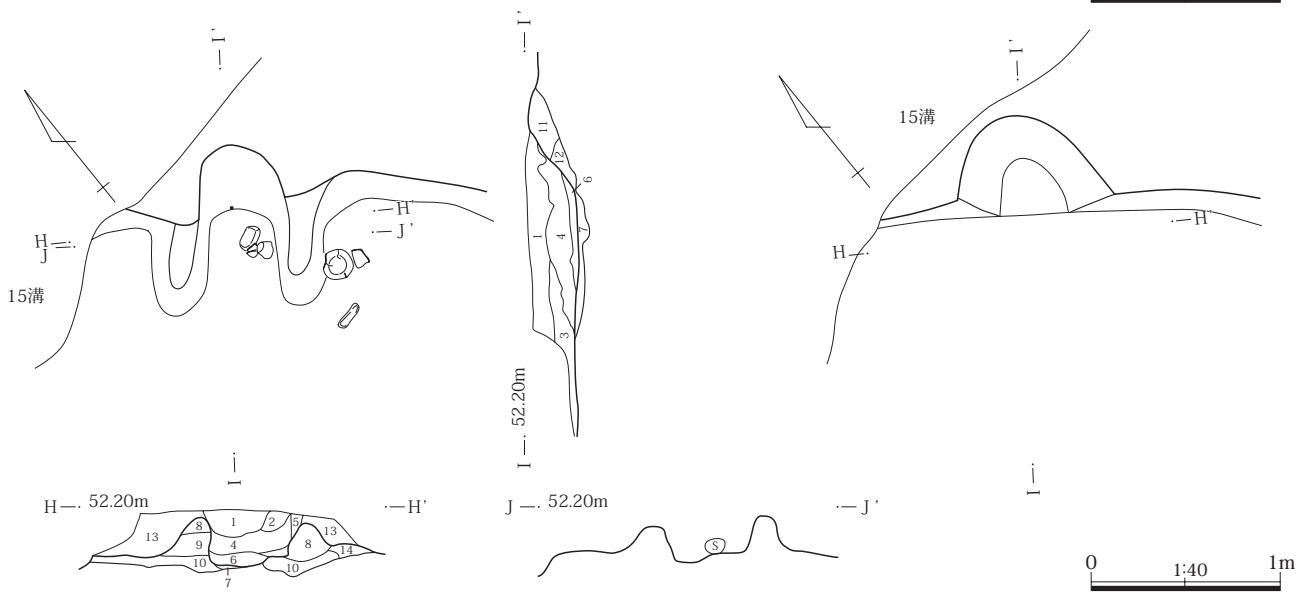
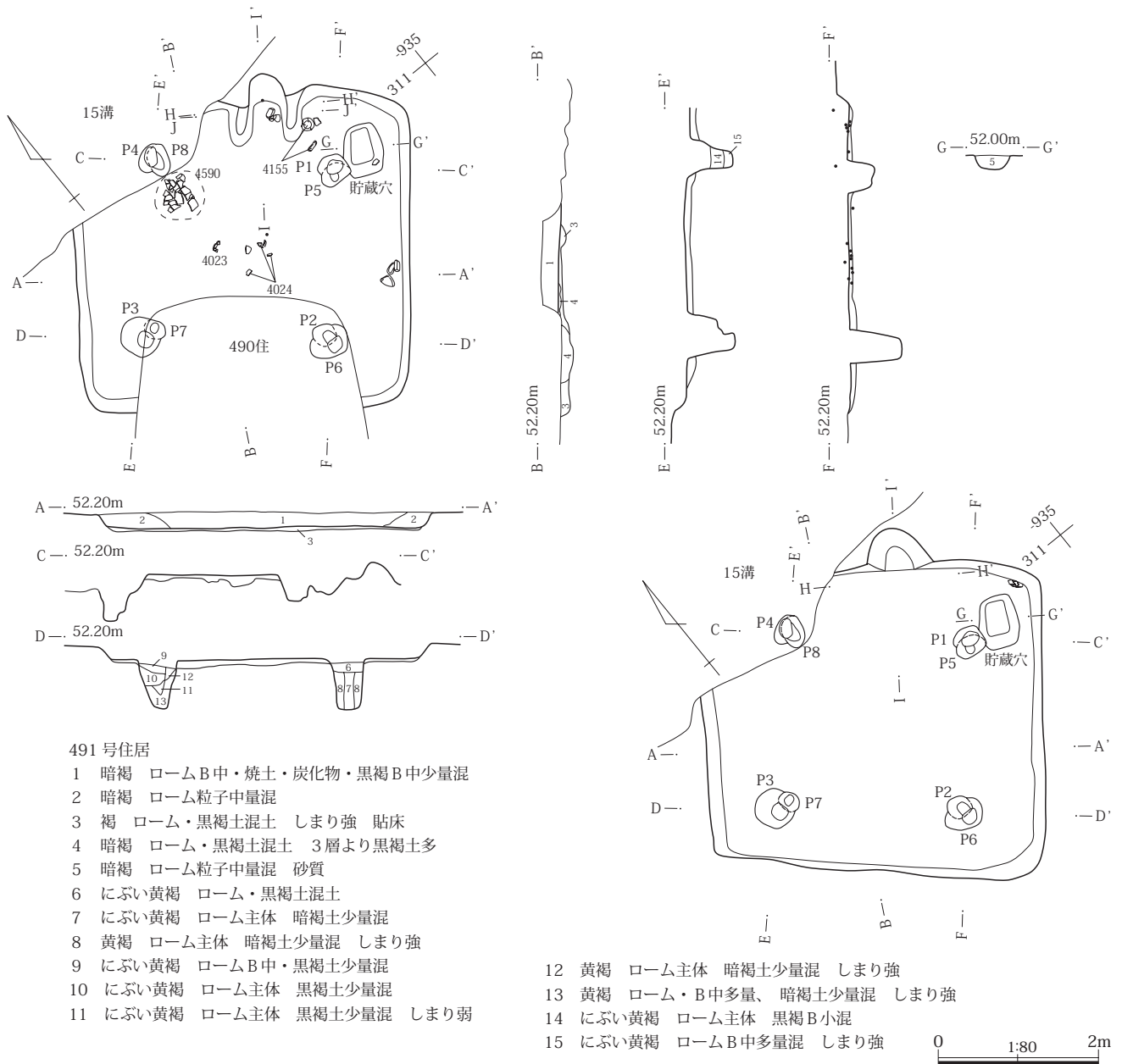
遺物出土状況 燃烧部から支脚と考えられる自然礫や土師器片が出土。

時期 遺棄と考えられる遺物から、6世紀後半代か。



第216図 491号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



491 住カマド

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 暗褐 焼土・白色粒子少量混 | 8 黄褐 焼土粒子少量混 粘質 しまり強 |
| 2 褐 焼土粒子・B多量混 しまり強 | 9 黄褐 ローム粒子・焼土・粘質土少量混 しまり強 |
| 3 褐 焼土粒子・B中混 | 10 褐 ローム主体 しまり強 |
| 4 褐 焼土粒子・B中、黒褐B少量混 | 11 暗褐 ロームB少量、焼土中量混 しまり強 |
| 5 赤褐 焼土 しまり強 | 12 にぶい黄褐 ローム・焼土・砂質土少量混 しまり強 |
| 6 褐 ローム・焼土粒子、炭化物中量混 しまり弱 | 13 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 |
| 7 褐 焼土粒子少量混 しまり強 | 14 暗褐 ローム・焼土粒子中量混 |

492 号住居 (第 218・219 図、PL62・63)

位置 338～342 -928～933 Gr

重複関係 519 住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.25 m

短辺 3.33 m 長辺 / 短辺 1.28 壁高 49cm

面積 14.43㎡ 床面積 10.26㎡

主軸方位 N-89°-W 柱穴 なし

壁溝 南東隅を除き全周。貯蔵穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的にやや硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。半完形の遺物もあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。5310 は床面上の出土である。

掘り方 西壁際が溝状に下がる。ピット3基あり。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 339 -928・929 Gr 壁位置 東壁やや南

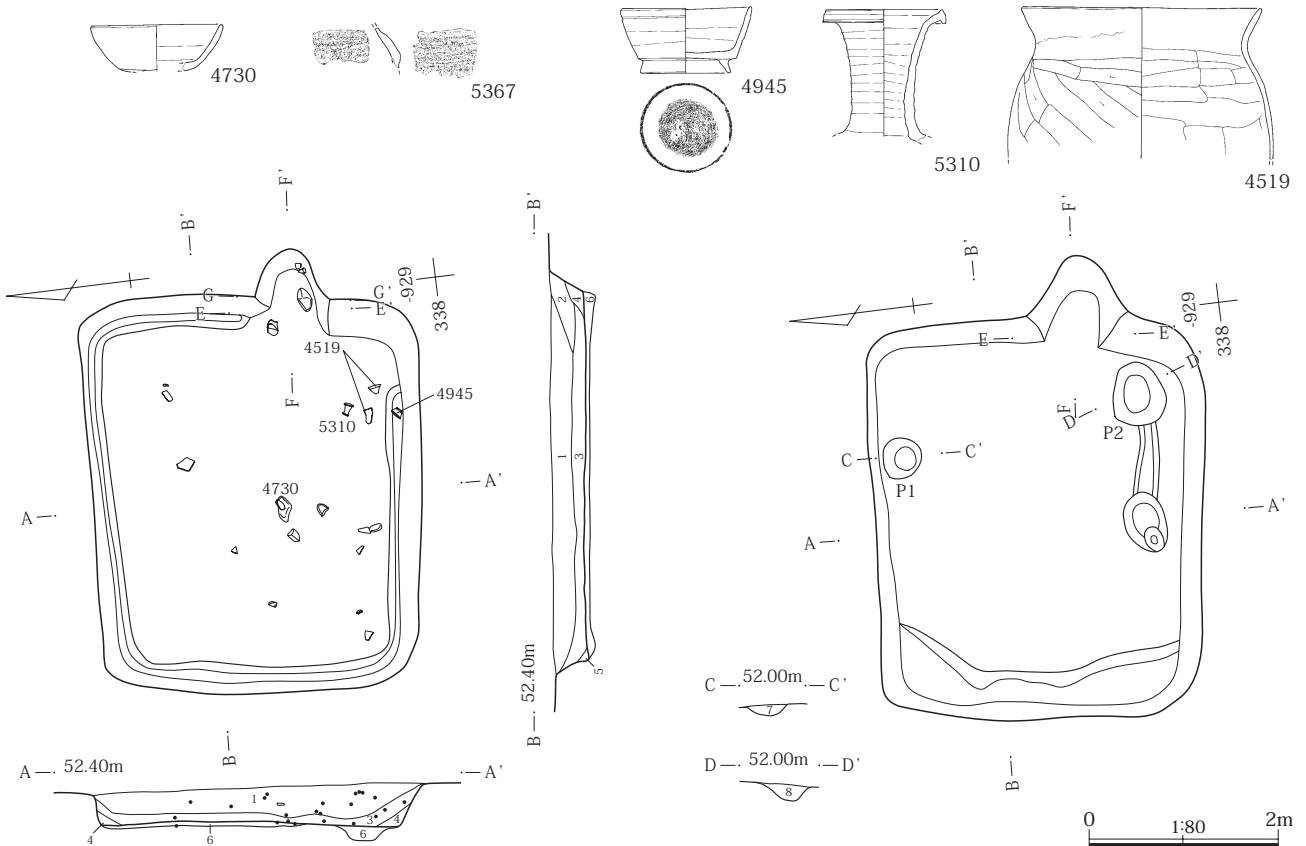
全長 0.90 m 幅 0.85 m

主軸方位 N-80°-W

構築 残存状態悪く袖構築材不明。焚口部・燃燒部底面はほぼ平坦であるが、燃燒部がやや上がる。灰層あり。燃燒部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 燃燒部から自然礫出土。支脚の可能性もあるが、右に寄っており、形態も一般の支脚とは異なっている。他に土師器片が出土。

時期 遺棄遺物が少なくはっきりしないが、図示された遺物から、8世紀第3～第4四半期か。

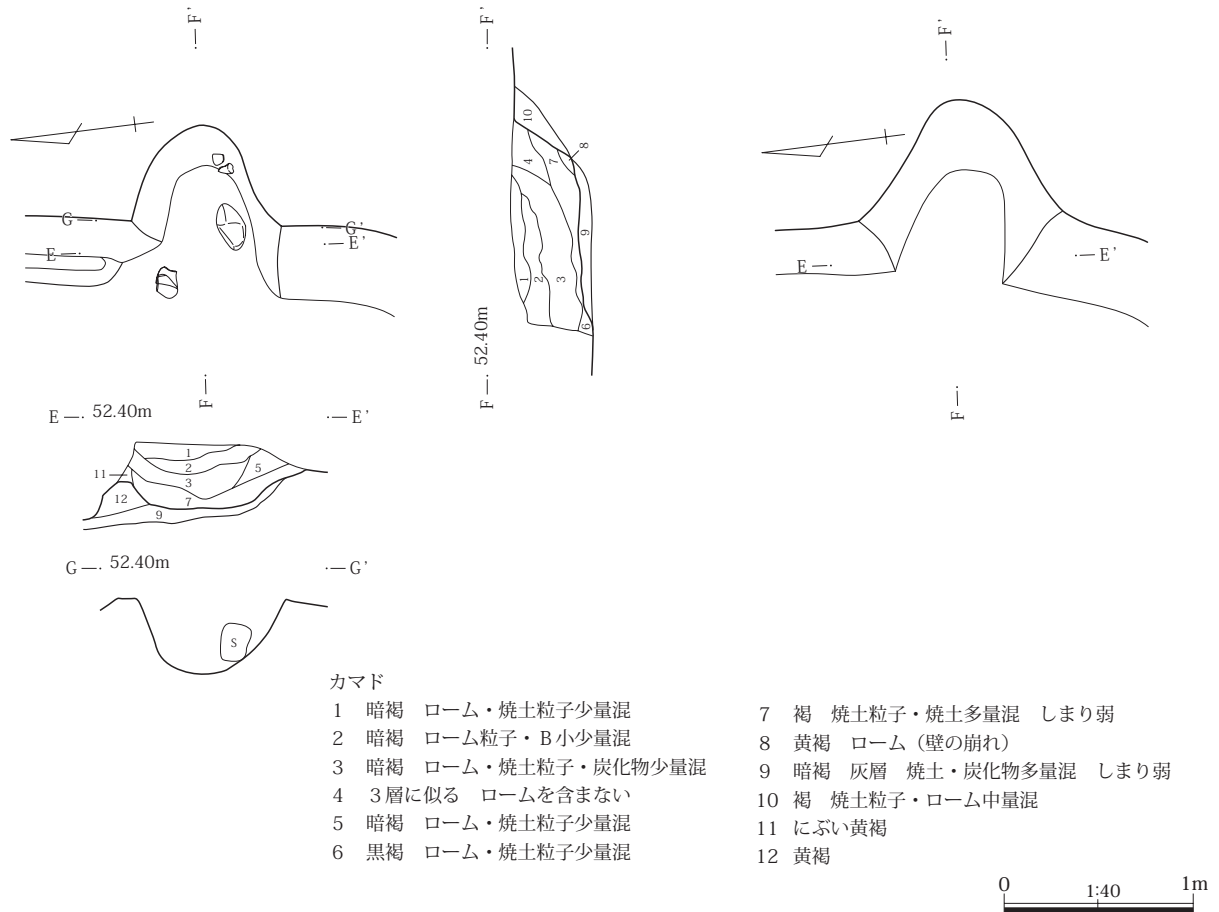


第218図 492号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

492号住居

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 暗褐 ローム粒子・B小、焼土・白色粒子、小礫少量混 | 5 暗褐 ローム粒子・B中少量混 |
| 2 暗褐 ローム・焼土粒子、小礫少量混 | 6 暗褐 ロームB大量混 しまり強 貼床 |
| 3 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 | 7 暗褐 ローム・黒褐土混合 |
| 4 暗褐 ローム粒子少量混 | 8 にぶい黄褐 ロームB主体 焼土・暗褐土少量混 |



第219図 492号住居カマド

493号住居 (第220図、PL63)

位置 331～335 -924～929 Gr

重複関係 590土坑、2321ピットより旧

平面形態 隅丸方形

長辺 3.72 m 短辺 3.35 m 長辺/短辺 1.11

壁高 22cm 面積 11.44㎡ 床面積 9.87㎡

主軸方位 N-70°-E 壁溝 なし

柱穴 なし

貯蔵穴 掘り方検出の北東部土坑が貯蔵穴の可能性もあるがはっきりしない。

埋没土 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを主体とする黄褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく、破片が埋土中に散在。かまど右脇の土師器杯以外はほとんどが流入遺物か。4695は床面上の出土である。

掘り方 ほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 333・334 -924・925 Gr

壁位置 東壁南

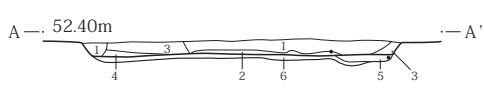
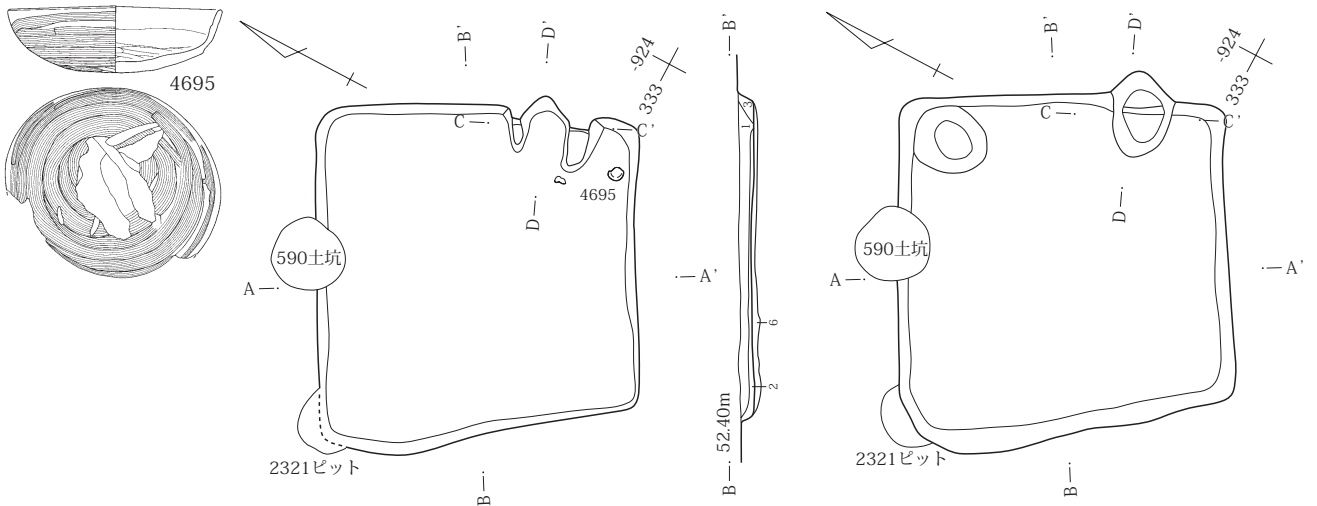
全長 0.79 m 幅 0.90 m

主軸方位 N-66°-E

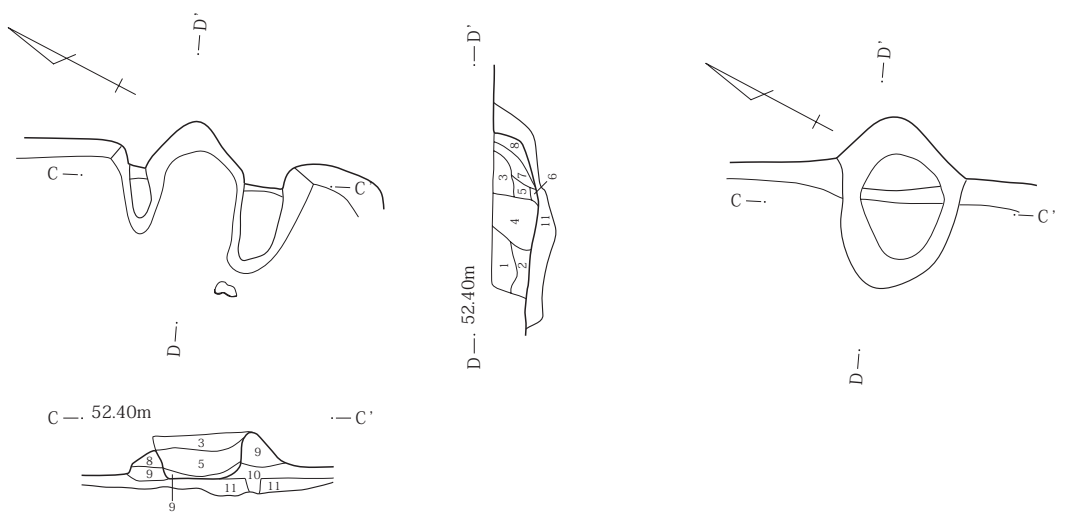
構築 暗褐色土で袖を構築。焚口部・燃焼部の底面は平坦であるが、燃焼部がややくぼむ。灰層はみられない。燃焼部奥壁は急に立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

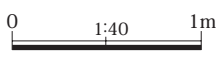
時期 カマド脇出土の土師器杯から、7世紀前半代か。



- 493号住居
- 1 黒褐 ローム粒子・B小、白色粒子少量混
 - 2 黒褐 ローム粒子・B小少量混
 - 3 暗褐 ローム粒子少量混
 - 4 暗褐 ロームB少量混
 - 5 暗褐 ローム多量混
 - 6 黄褐 ローム主体 暗褐土少量混 しまり強



- カマド
- 1 暗褐 ローム粒子・B多量混
 - 2 暗褐 ローム粒子多量混
 - 3 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
 - 4 暗褐 ローム・焼土粒子、炭化物少量混
 - 5 褐 焼土粒子中量混
 - 6 褐 ローム多量混
 - 7 暗褐 ローム粒子・炭化物少量混
 - 8 暗褐 ローム粒子少量混
 - 9 暗褐 ローム粒子・B小、焼土粒子中量混 粘性・しまり強
 - 10 暗褐 ローム粒子中量混
 - 11 暗褐 ローム粒子・B主体 暗褐土中量混 しまり強



第220図 493号住居

III 検出された遺構と出土遺物

494号住居 (第221・222図、PL63・64)

位置 348～352 -930～934 Gr

重複関係 438住より旧

平面形態 隅丸長方形 長辺 (3.36) m

短辺 (2.21) m 長辺 / 短辺 (1.52)

壁高 19cm 面積 (8.89) m²

床面積 (7.18) m² 主軸方位 N-33°-E

壁溝 残存部分なし。柱穴 なし

貯蔵穴 カマド左脇。平面形態は楕円形で断面形態は台形。

埋没土 焼土・ロームを含む黒褐色土・暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ローム・褐色土を含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的にやや硬化。

遺物出土状況 出土量はあまり多くないが、ほぼ全面で上層～床面出土。完形・半完形の遺物もあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 ピット数基あり。他は細かい凹凸があるが、全体的に平坦な掘り方。

カマド

位置 350～352 -930～932 Gr

壁位置 北壁東

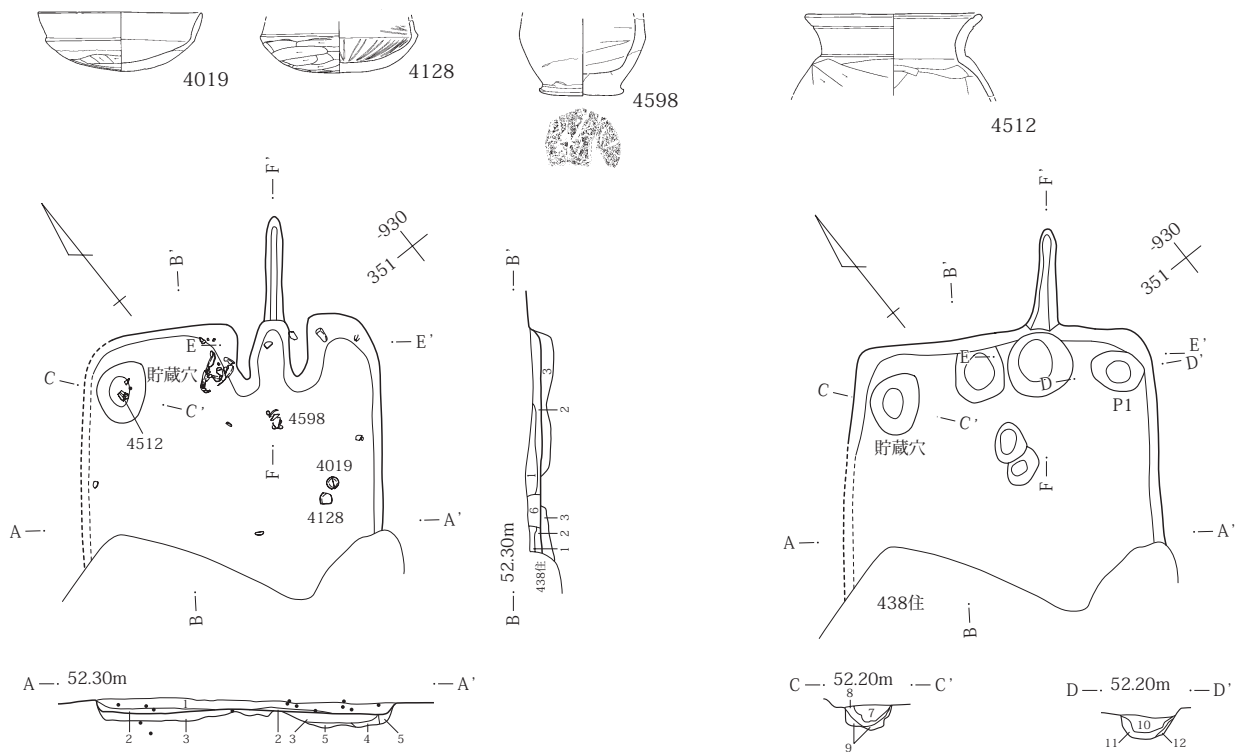
全長 1.91 m 幅 1.10 m

主軸方位 N-38°-E

構築 にぶい黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが、燃烧部に向かいやや下がる灰層あり。燃烧部側壁は強く焼ける。奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 カマド左袖脇から土師器甕が潰れた状態で、焚口部手前から土師器壺が出土している。他は小破片が出土したのみ。

時期 遺棄遺物は少ないが、図示された遺物から、6世紀後半代か。

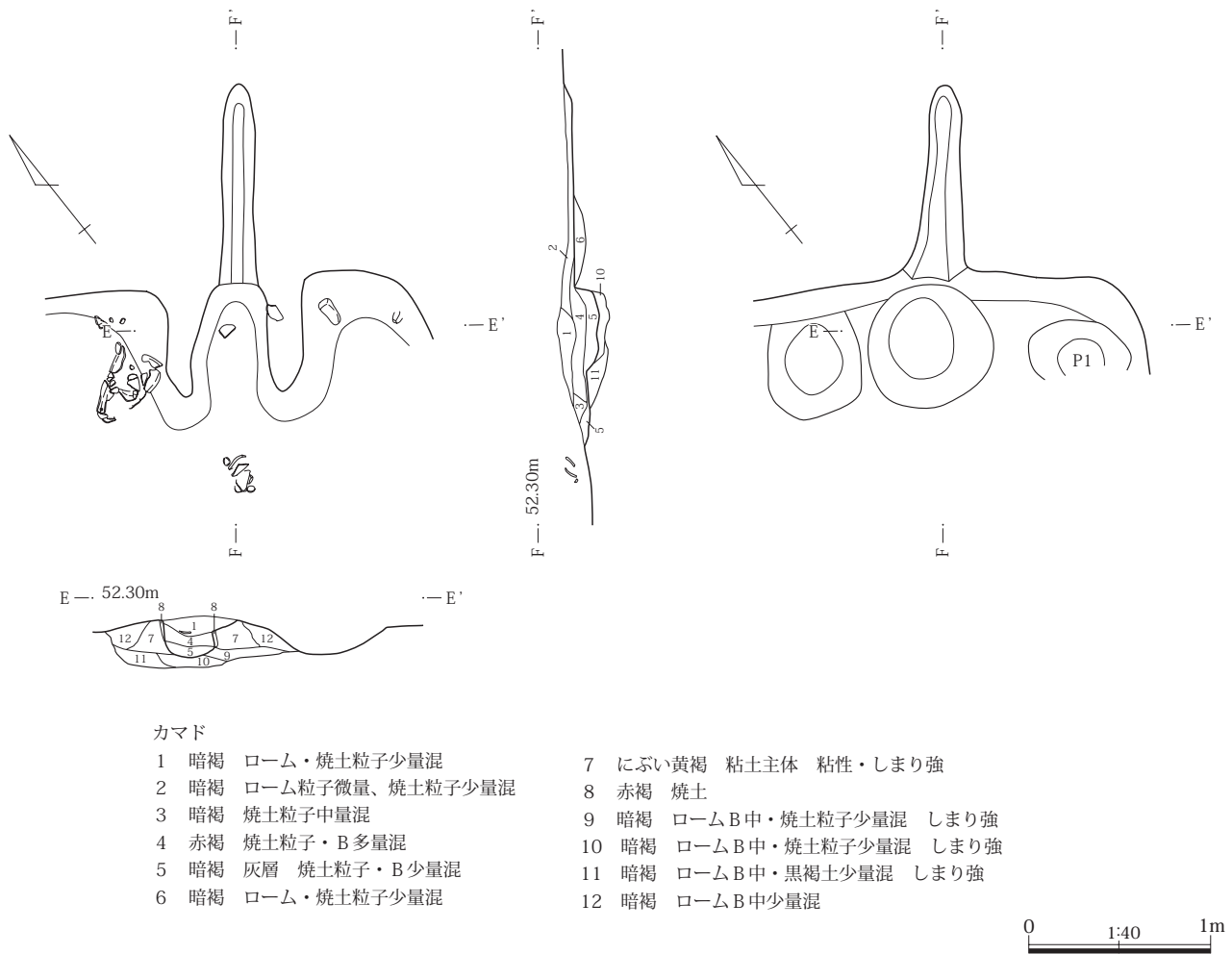


494号住居

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 黒褐 焼土粒子、小礫少量混 | 7 黒褐 ローム・焼土・白色粒子少量混 |
| 2 暗褐 ローム粒子少量混 | 8 黒褐 ローム粒子少量、ロームB中・白色粒子・黒褐B混 |
| 3 暗褐 ローム粒子、褐色土・黒褐B混合 しまり強 | 9 褐 ローム主体 黒褐土少量混 しまり強 |
| 4 褐 黄褐色土ローム中混 | 10 黒褐 ローム粒子少量混 |
| 5 暗褐 ロームB・焼土粒子・黒褐土混 しまり弱 | 11 黄褐 黒褐土中量混 |
| 6 黒褐 しまり弱 根跡か | 12 黄褐 黒褐土少量混 |



第221図 494号住居出土遺物・使用面・掘り方



第222図 494号住居カマド

495号住居 (第223・224図、PL64)

位置 320～324-935～938 Gr

重複関係 594・589土坑より旧

平面形態 隅丸長方形 長辺 3.23 m

短辺 2.08 m 長辺/短辺 1.55 壁高 22cm

面積 6.74㎡ 床面積 5.79㎡

主軸方位 N-41°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 黄褐色土で貼床。南壁東部から北に向かい溝状掘り込みと段状の高まりあり。他はほぼ平坦で全体的に強く硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。完形・半完形のものも多いが、床面から浮いた状態のものも多く、

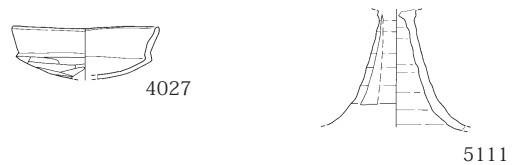
廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 ピット数基あり。他は平坦な掘り方。

備考 規模小さく、カマド等の施設がないため、一般的な住居とは考えられず、性格は不明である。床面がしっかりしているため、人が居住・行動したことは確実である。

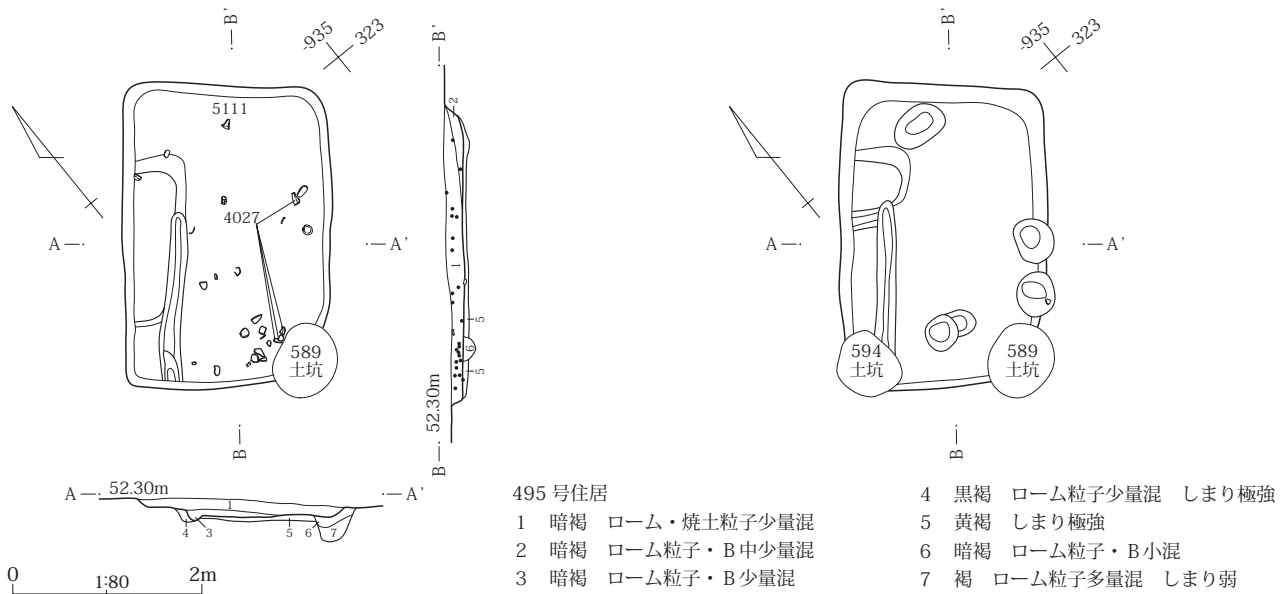
カマド なし

時期 遺棄と考えられるものがないためはっきりしないが、図示された遺物から、6世紀後半代か。



第223図 495号住居出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物



495号住居

- 1 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐色 ローム粒子・B中少量混
- 3 暗褐色 ローム粒子・B少量混

4 黒褐色 ローム粒子少量混 しまり極強

- 5 黄褐色 しまり極強
- 6 暗褐色 ローム粒子・B小混
- 7 褐色 ローム粒子多量混 しまり弱

第224図 495号住居使用面・掘り方

496号住居 (第225・226図、PL64)

位置 320～324 -951～955 Gr

重複関係 なし 平面形態 隅丸長方形

長辺 3.91 m 短辺 2.84 m 長辺/短辺 1.38

壁高 51cm 面積 11.23㎡ 床面積 8.56㎡

主軸方位 N-53°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 掘り方検出のカマド左脇の土坑が貯蔵穴の可能性もあるが、はっきりしない。柱穴 なし

埋没土 ローム・焼土を含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で、全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土しているが、特にカマド内・周辺に集中。カマド周辺以外は床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。南壁際

の須恵器杯は遺棄遺物か。4255・4883は床面上の出土である。

掘り方 ピット多数あり。他は平坦な掘り方。

カマド

位置 322・323 -951・952 Gr

壁位置 東壁やや南

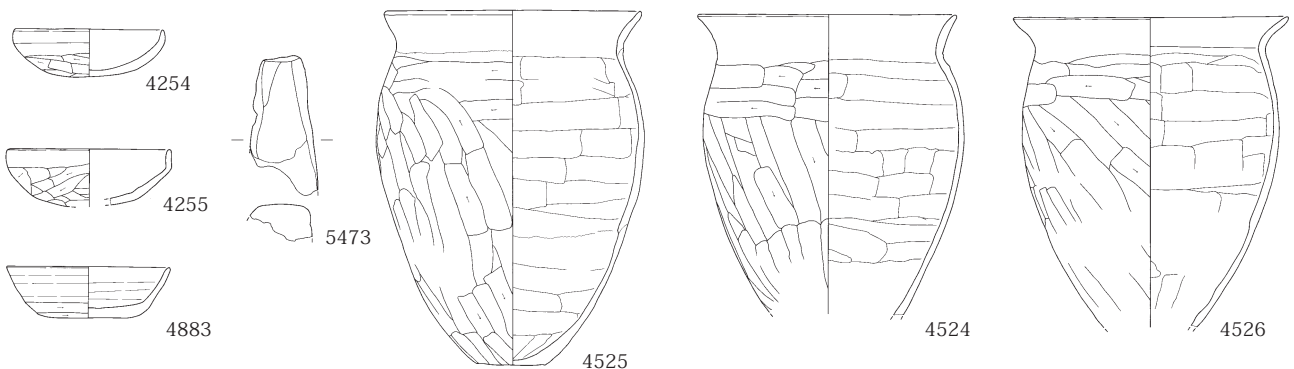
全長 1.60 m 幅 1.08 m

主軸方位 N-54°-E

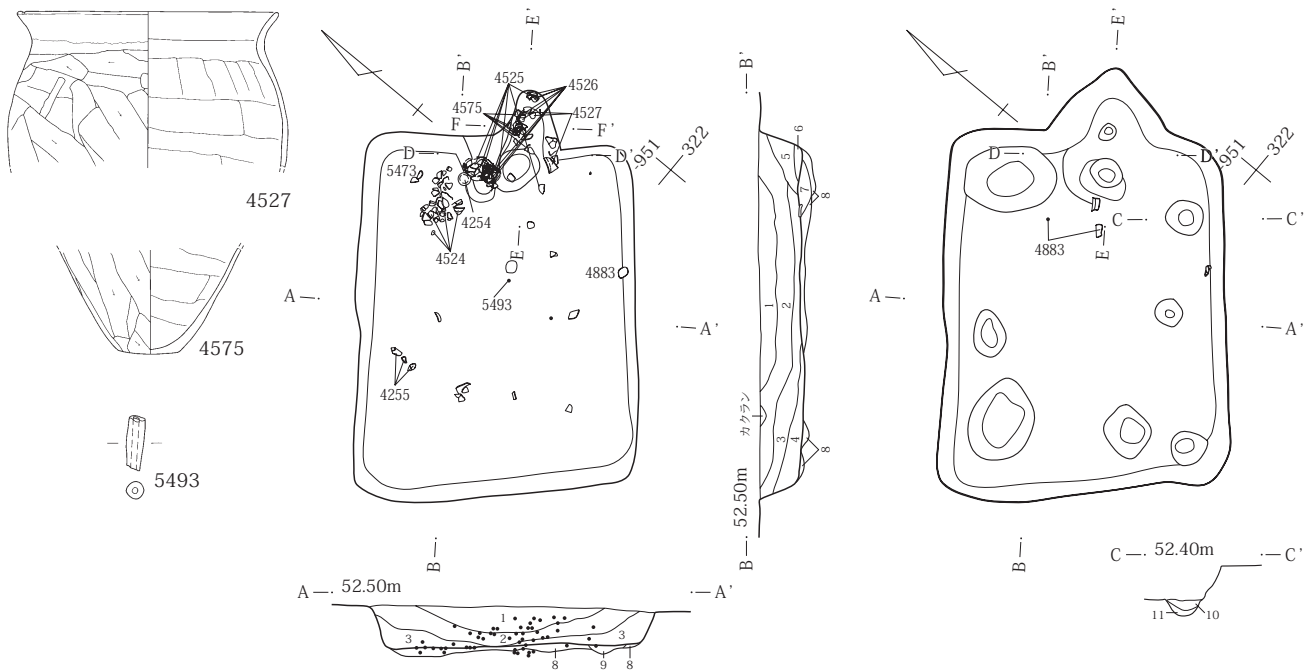
構築 褐色粘土で袖を構築。焚口部から燃烧部にかけてくぼむ。灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 左袖内部・燃烧部奥等から土師器甕、左袖脇から土師器杯出土。支脚と考えられる自然礫出土。

時期 カマド出土遺物等、遺棄と考えられるものから、8世紀第2～第3四半期か。



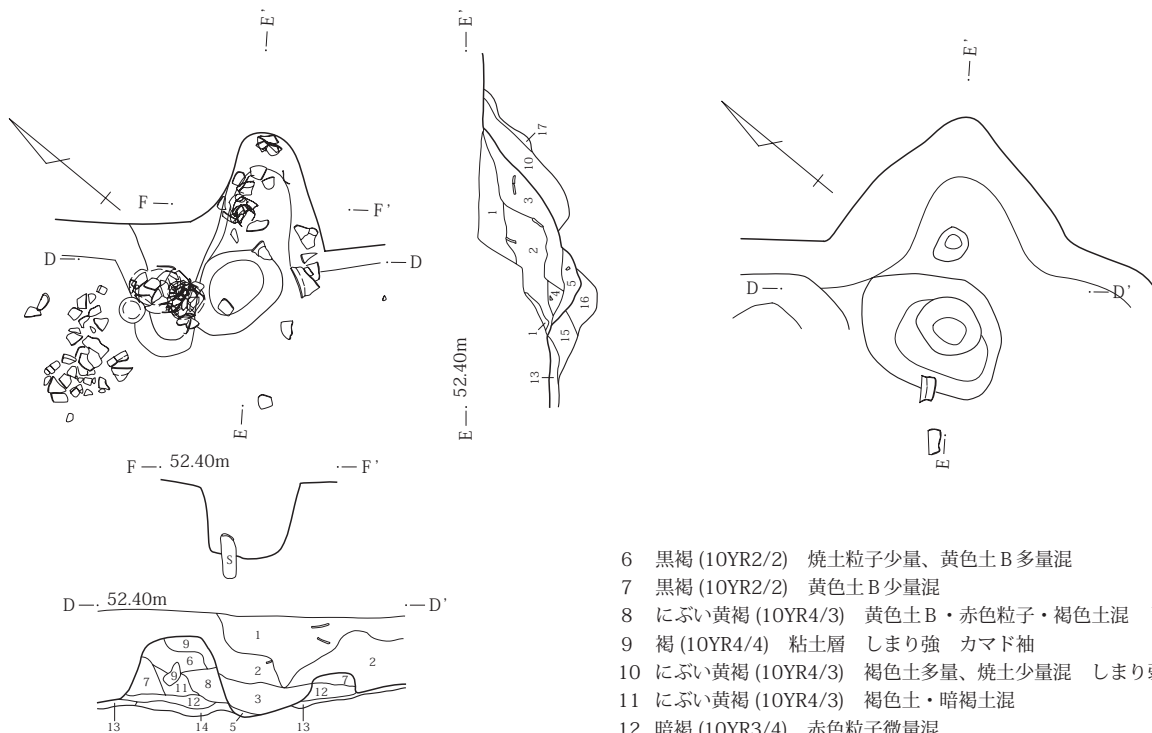
第225図 496号住居出土遺物(1)



496号住居

- 1 黒褐 (10YR2/2) 焼土粒子中量、ロームB少量混 粘性弱
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B、焼土粒子少量混 しまり弱
- 3 黒褐 (10YR2/2) ロームB少量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 粘性・しまり弱
- 5 黒褐 (10YR3/1) ローム土混 炭化物・灰少量混
- 6 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘土層B混 カマド袖の一部か
- 7 黒褐 (10YR3/2) ロームB多量混 粘性弱
- 8 黒褐 (10YR2/2) ロームB多量混
- 9 暗褐 (10YR3/4) ロームB中量、焼土粒子少量混 粘性・しまり弱
- 10 黒褐 (10YR3/2) ロームB多量混 粘性弱
- 11 黒褐 (10YR3/2) ロームB極多量混 粘性弱

0 1:80 2m



カマド

- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子多量混 粘性弱
- 2 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘土層多量、焼土B混 粘性・しまり弱
- 3 褐 (10YR4/4) 焼土B中多量、暗褐土少量混
- 4 暗褐 (10YR3/4) ロームB・焼土・灰混 しまり弱
- 5 暗褐 (10YR3/4) 灰が全体的に広がる
- 6 黒褐 (10YR2/2) 焼土粒子少量、黄色土B多量混
- 7 黒褐 (10YR2/2) 黄色土B少量混
- 8 にぶい黄褐 (10YR4/3) 黄色土B・赤色粒子・褐色土混 しまり弱
- 9 褐 (10YR4/4) 粘土層 しまり強 カマド袖
- 10 にぶい黄褐 (10YR4/3) 褐色土多量、焼土少量混 しまり弱
- 11 にぶい黄褐 (10YR4/3) 褐色土・暗褐土混
- 12 暗褐 (10YR3/4) 赤色粒子微量混
- 13 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 粘性弱
- 14 褐 (10YR4/4) ローム主体 しまり強
- 15 黒褐 (10YR2/2) ローム・焼土B小・炭化物少量混 粘性弱
- 16 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・炭化物・焼土B少量混 しまり弱
- 17 暗褐 焼土粒子少量混

0 1:40 1m

第226図 496号住居出土遺物 (2)・使用面・掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

497号住居 (第227・228図、PL65)

位置 329～333 - 911～914 Gr

重複関係 なし

平面形態 隅丸方形 長辺 3.54 m

短辺 3.07 m 長辺 / 短辺 1.15

壁高 41cm 面積 11.32m²

床面積 7.33m² 主軸方位 N-2°-E

壁溝 カマドおよび北東隅部を除き全周。柱穴 なし

貯蔵穴 カマド右脇の掘り込みが貯蔵穴の可能性はあるが、一般的なものより浅く壁溝とつながっている。

埋没土 ロームを含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ローム・褐色土混土で部分的に貼床。他は掘り方を床面とする。平坦で北東部を中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。床面から浮

いた状態の破片が多く、廃棄流入遺物がほとんどか。

掘り方 四隅が土坑状にくぼみ、その間の壁際を溝状の掘り込みが回っている。

カマド

位置 332・333 - 912・913 Gr

壁位置 北壁やや東

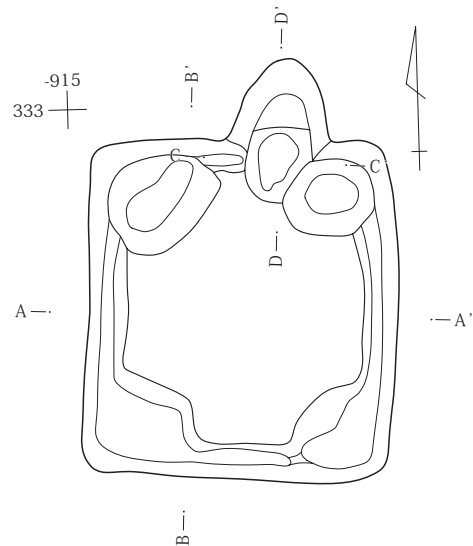
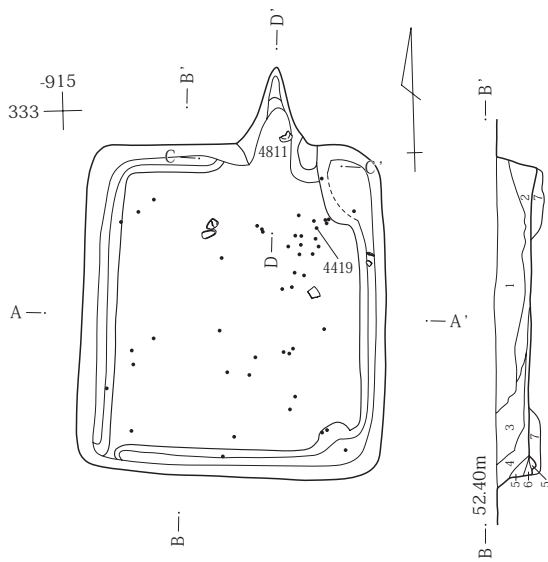
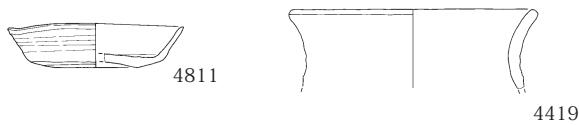
全長 1.22 m 幅 1.00 m

主軸方位 N-3°-E

構築 褐色粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが、燃烧部はやや下がる。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

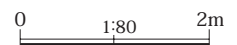
遺物出土状況 燃烧部から須恵器杯出土。他は破片が少量出土したのみ。

時期 時期の判明する遺物が少ないが、カマド出土の須恵器杯から、8世紀第2～第3四半期か。

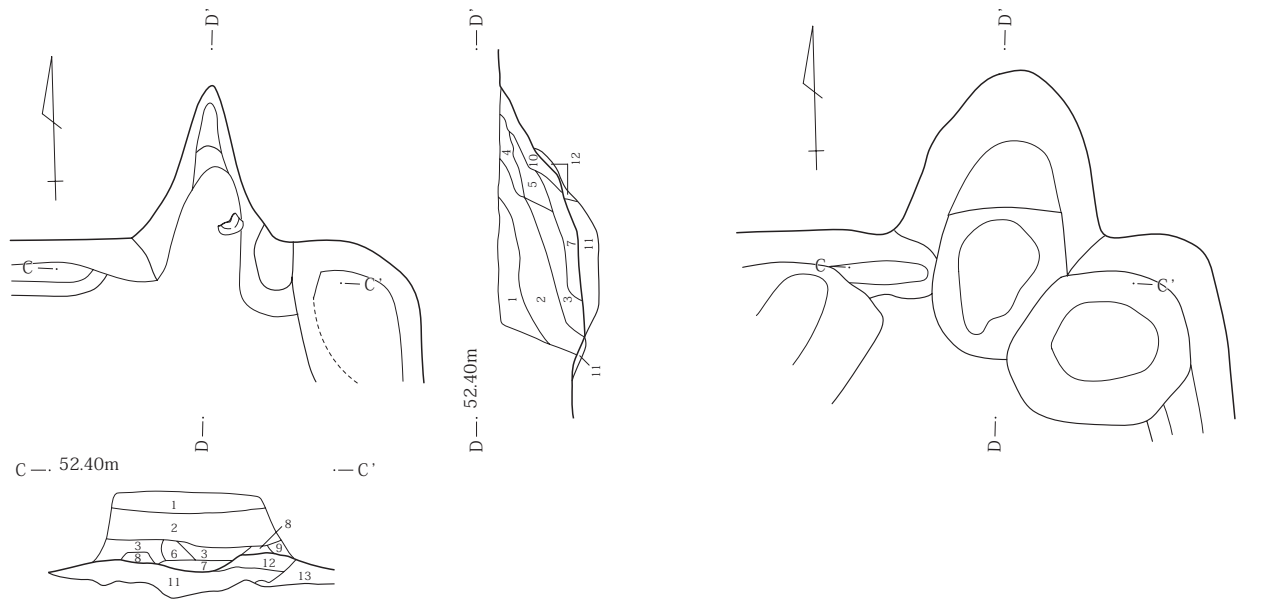


497号住居

- | | | |
|---|--------------|------------------|
| 1 | 黒褐 (10YR2/3) | ローム粒子・B小、焼土粒子少量混 |
| 2 | 黒褐 (10YR2/3) | ローム粒子・B小少量混 |
| 3 | 暗褐 (10YR3/3) | ローム粒子多量、ロームB少量混 |
| 4 | 黒褐 (10YR2/2) | ローム粒子・B小少量混 |
| 5 | 黒褐 (10YR2/3) | ローム粒子・B中量混 |
| 6 | 暗褐 (10YR3/4) | ロームB多量混 |
| 7 | 黄褐 (10YR5/8) | ローム・褐色土混土 しまり強 |



第227図 497号住居出土遺物・使用面・掘り方

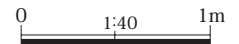


カマド

- 1 黒褐 (10YR2/3) 焼土・粘土粒子微量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) ロームB小、焼土・粘土粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子、粘土粒子・B小中量混
- 4 黄褐 (10YR5/8) 粘土主体 焼土粒子少量混 しまり強
- 5 暗褐 粘土B・焼土・黒褐土混 しまり強
- 6 褐 (10YR4/4) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B少量混 しまり強
- 7 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子・B小多量混

- 8 褐 (10YR4/4) 粘土主体 焼土粒子・暗褐B少量混 粘性・しまり強
- 9 黄褐 (10YR5/8) 粘土B混
- 10 黄褐 (10YR5/8) 砂質ローム主体 焼土粒子・暗褐土微量混 しまり強
- 11 にぶい黄褐 (10YR5/3) ローム主体 暗褐土混
- 12 にぶい黄褐 (10YR5/4) ローム主体
- 13 にぶい黄褐 (10YR5/4) ローム粒子・B極多量混

第228図 497号住居カマド



498号住居 (第229～231図、PL65・66)

位置 318～325-904～912 Gr

重複関係 476住、17・18溝より旧

平面形態 隅丸方形

長辺 5.63 m 短辺 5.02 m 長辺/短辺 1.12

面積 (28.83) m² 床面積 (21.22) m²

主軸方位 N-51°-E

壁溝 カマドを除き残存部分全周。掘り方で、北壁～東壁～南壁東部の内側にもう1条検出。

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は楕円形で、断面形態は丸みを帯びた台形。

柱穴 4基。柱1～3に柱痕あり。掘り方で、内側にさらに4基検出。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを主体とするにぶい黄褐色土で部分的に貼床。ほぼ平坦で、中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 出土量は多く、ほぼ全面で、上層～床面出土。完形・半完形のものも多く、床面付近のものは遺

棄遺物か。4028・4688・5110・5366・5424は床面上の出土である。

掘り方 柱穴・壁溝もう1組検出。他にピット・土坑状掘り込み数基検出。

カマド

位置 322・323-909・910 Gr

壁位置 北壁中央 全長 1.09 m 幅 1.13 m

主軸方位 N-38°-E

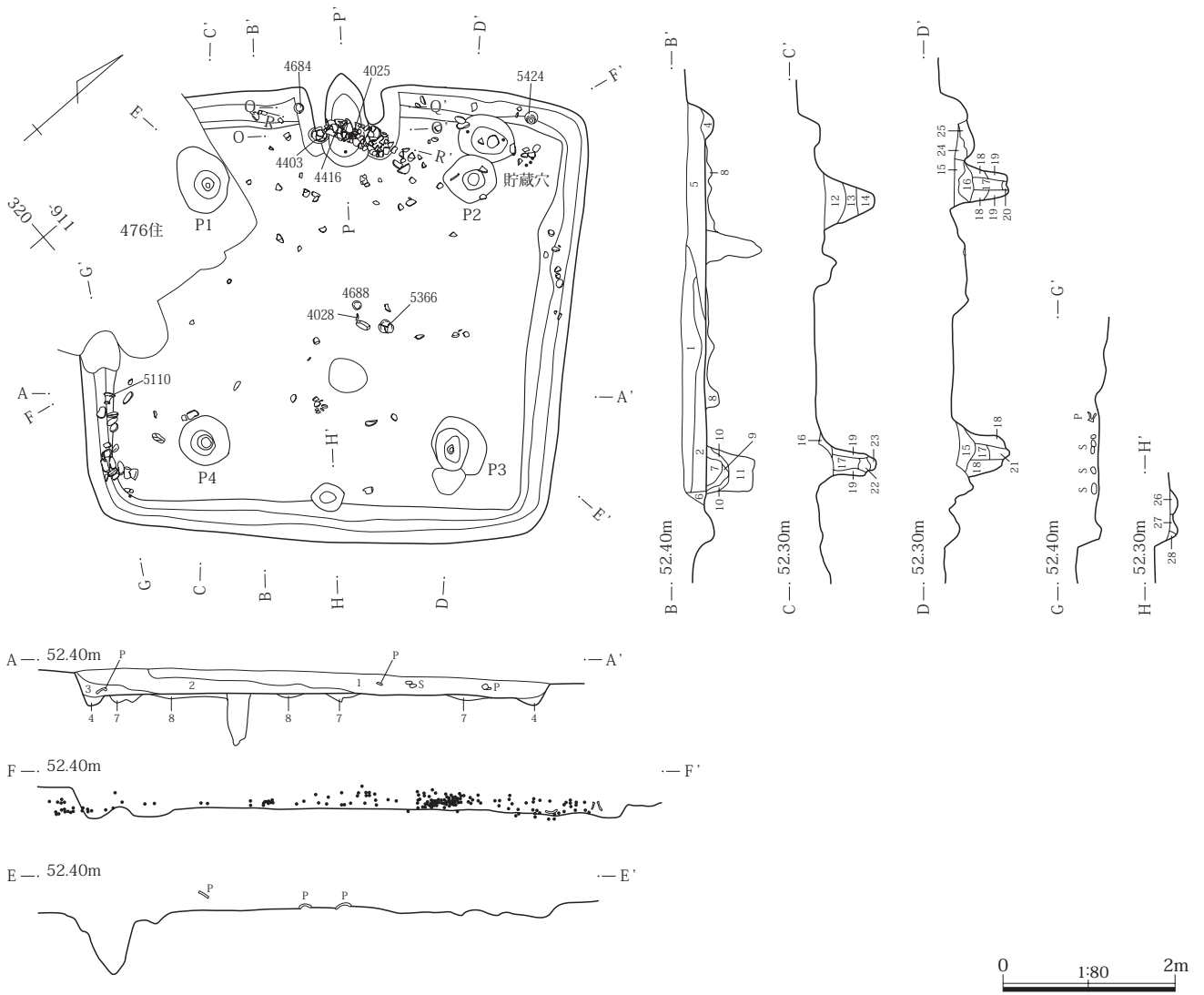
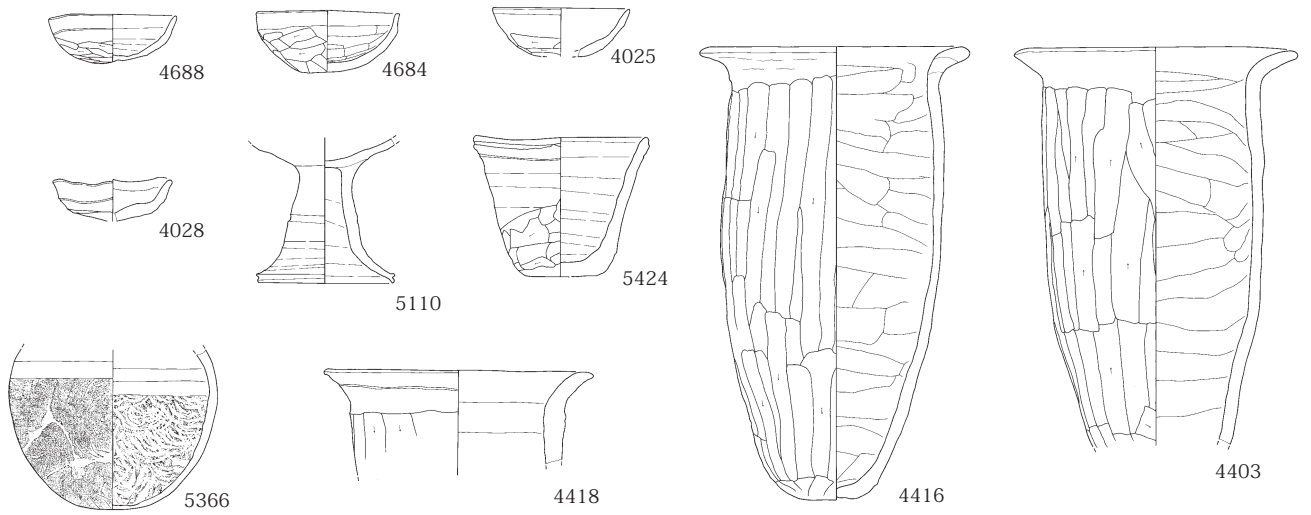
構築 土師器甕を伏せて袖の補強材とし、褐色粘土・暗褐色土で袖を構築。さらに上部に甕を横にわたして天井部を構築する。焚口部から燃焼部にかけて底面がややくぼむ。灰層は見られない。燃焼部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 袖補強の土師器甕が伏せられた状態で、天井部の土師器甕が落ちた状態で出土。他に左脇から須恵器杯が出土。

備考 内側に柱穴・壁溝をもう1組検出したため、拡張住居の可能性高い。

時期 遺棄されたと考えられる遺物から、7世紀代か。

III 検出された遺構と出土遺物

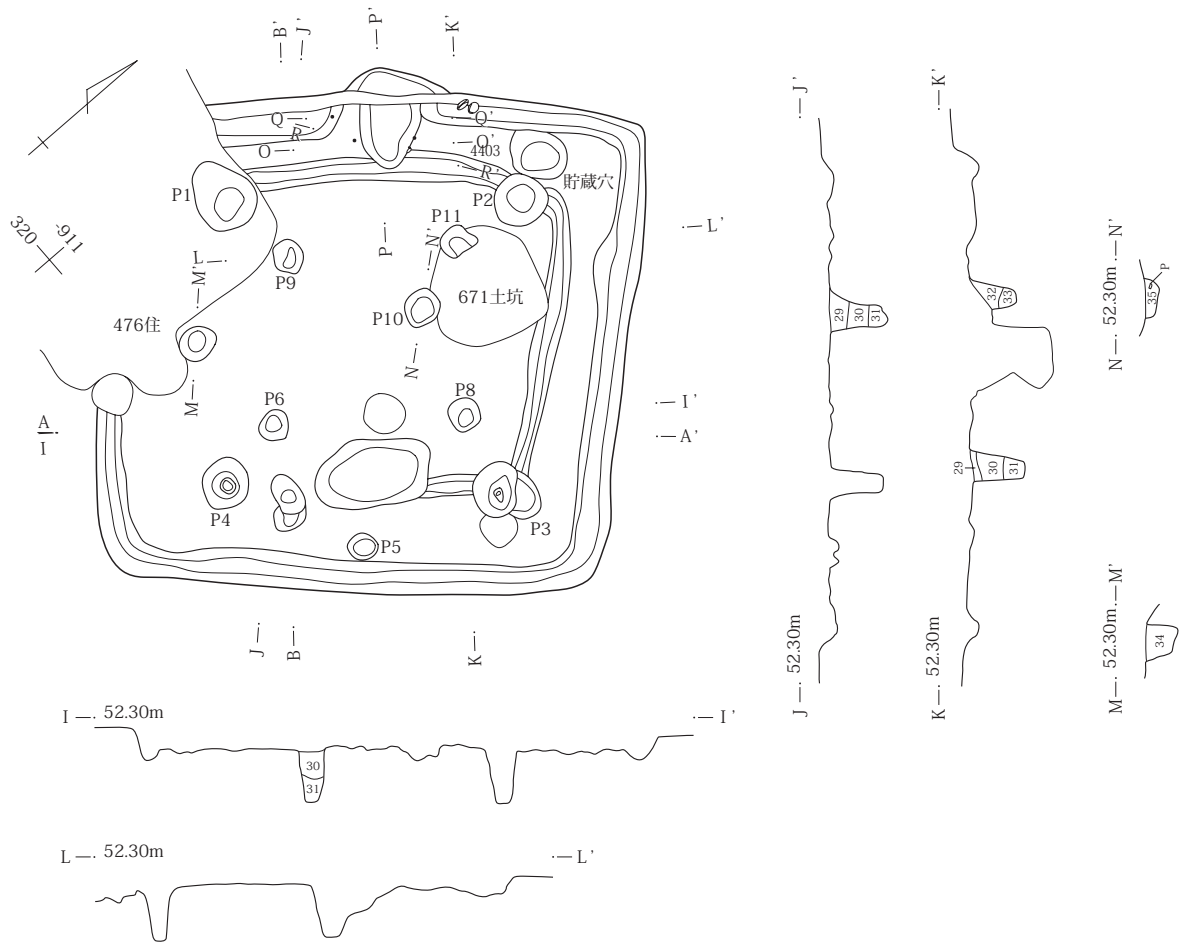


第229図 498号住居出土遺物・使用面

498号住居

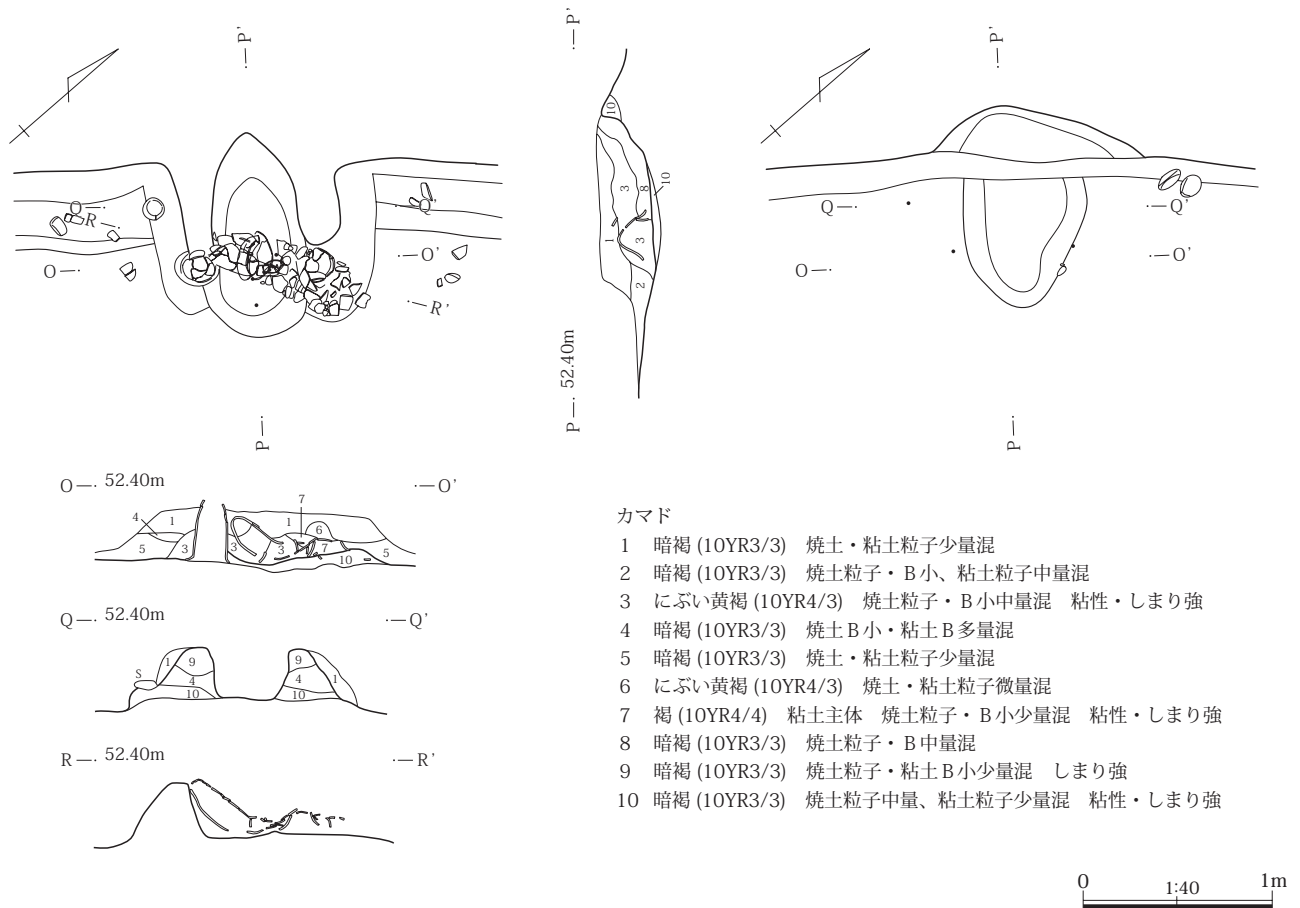
- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子微量混 粘性弱
- 2 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 4 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子少量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子・B小、粘土粒子・B中中量混
- 6 暗褐 (10YR3/3) ロームB小少量混
- 7 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム主体 黒褐土B多量混
- 8 にぶい黄褐 (10YR5/4) ローム主体 黒褐土混 しまり強 貼床
- 9 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB中量、赤色粒子微量混 しまり弱
- 10 褐 (10YR4/4) ローム主体
- 11 にぶい黄褐 (10YR4/3) 砂質土混 しまり弱
- 12 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小多量、焼土粒子微量混
- 13 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子少量混
- 14 にぶい黄褐 (10YR5/4) 暗褐B少量混
- 15 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混
- 16 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中量混
- 17 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム粒子極微量混
- 18 暗褐 (10YR3/3) ロームB小少量混
- 19 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粒子ほとんど含まない

- 20 オリーブ褐 (2.5Y4/4) 砂質土主体 しまり強
- 21 暗褐 (10YR3/3) ロームB小少量混 しまり強
- 22 褐 (10YR4/4) 砂質地山B上部に混 しまり強
- 23 黒褐 (10YR2/3) ロームB微量混
- 24 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 25 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小中量混
- 26 暗褐 (10YR3/4) ロームB中量、焼土粒子少量混 しまり強
- 27 暗褐 (10YR3/3) ロームB中量、炭化物・焼土粒子微量混 しまり強
- 28 暗褐 (10YR3/4) ロームB微量、焼土粒子混 しまり強
- 29 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中量混
- 30 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB小中量混
- 31 にぶい黄褐 (10YR4/3) ロームB微量混
- 32 にぶい黄褐 (10YR4/3) 灰褐色B中多量混
- 33 にぶい黄褐 (10YR4/3) 灰褐色B中少量混
- 34 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量混
- 35 暗褐 (10YR3/3) ロームB小中量混 しまり強



第230図 498号住居掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第231図 498号住居カマド

513号住居 (第232・233図、PL66・67)

位置 328～334 -948～954 Gr

重複関係 442住より旧 515・516住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.42 m

短辺 3.13 m 長辺/短辺 1.41 壁高 66cm

面積 14.45㎡ 床面積 11.10㎡

主軸方位 N-43°-E

壁溝 南壁～西壁～北壁西部。柱穴 なし

貯蔵穴 掘り方でカマド右脇に検出された土坑状掘り込みが貯蔵穴の可能性もあるが、浅くはっきりしない。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で部分的に貼床。ほぼ平坦で中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 中央から南部中心で、中層～床面出土。破片が床面から浮いた状態のものが多く、完形・半

完形で床面出土のものもあり、遺棄遺物もあるか。4262・4263・4537は床面上の出土である。

掘り方 中央部に円形の床下土坑あり。他に四隅に土坑状掘り込みあり。

カマド

位置 331・332 -949・950 Gr

壁位置 東壁やや南

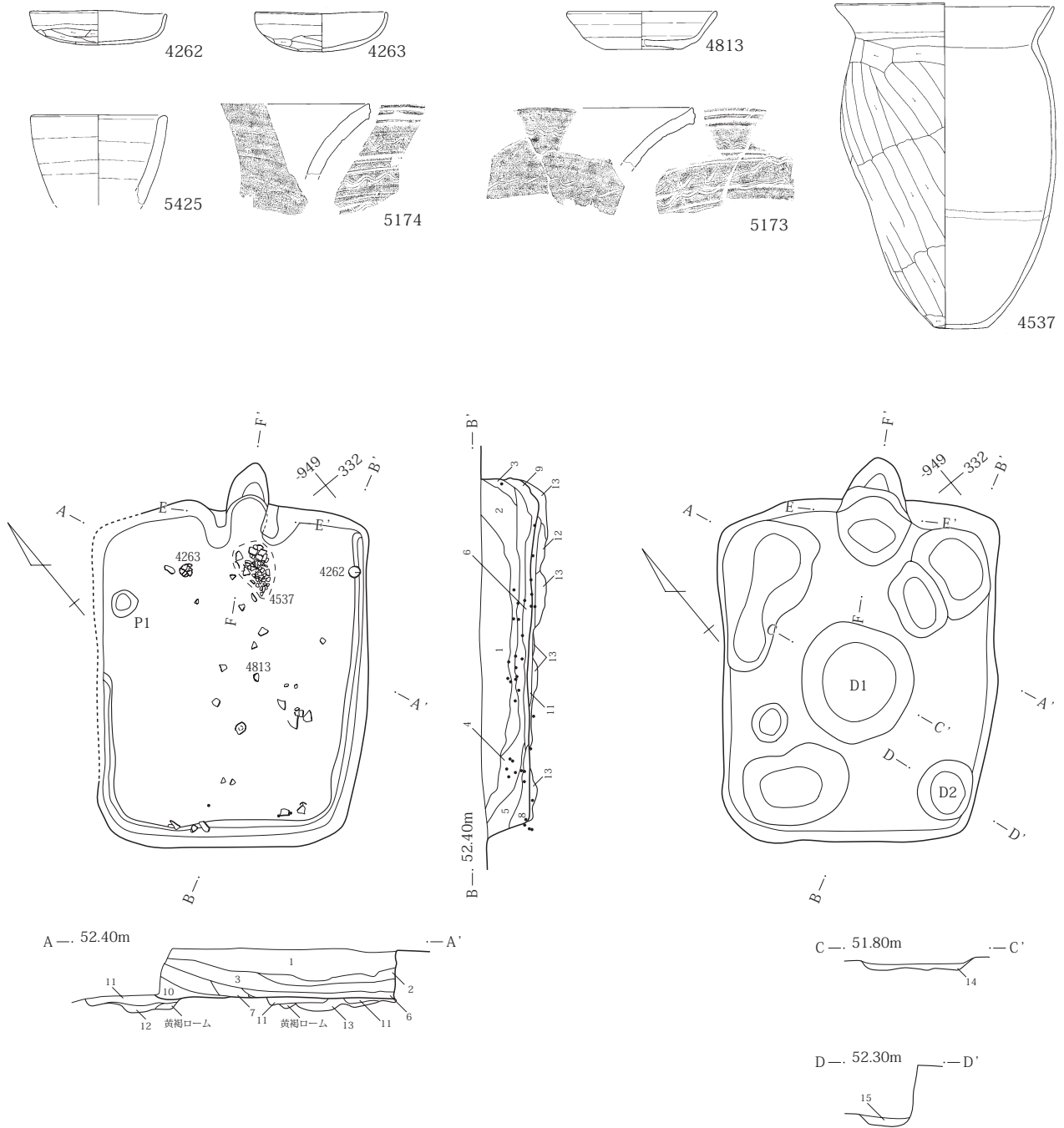
全長 1.15 m 幅 1.06 m

主軸方位 N-48°-E

構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。燃烧部側壁よく焼ける。

遺物出土状況 焚口部手前から土師器甕破片が集中して出土。他は破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄遺物と考えられる床面出土の土器等から、8世紀第3四半期か。



513号住居

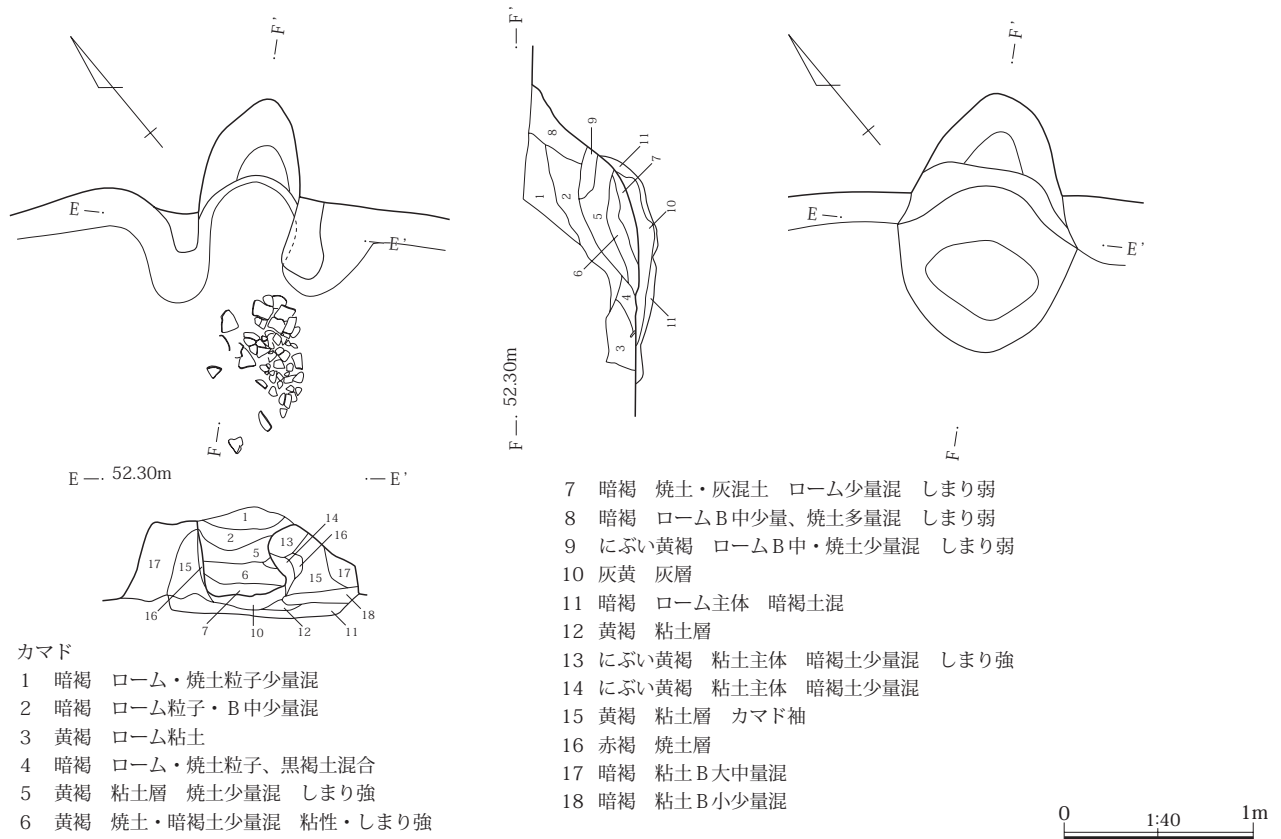
- 1 暗褐色 ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 2 暗褐色 ローム・焼土・黒褐色粘質土B少量混
- 3 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混
- 4 暗褐色 ローム粒子・黄褐色粘質B中少量混
- 5 暗褐色 ローム粒子・黄褐色粘質B・黒褐色B中少量混
- 6 暗褐色 ローム粒子多量、炭化物・黒褐色土少量混 粘性強
- 7 黄褐色 粘土層

- 8 黒褐色 粘土B混 粘性強
- 9 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混
- 10 黒褐色 ロームB少量混 粘性強
- 11 暗褐色 ロームB中・黄褐色砂層混 しまり強 貼床
- 12 にぶい黄褐色 砂状ローム主体 暗褐色土混
- 13 暗褐色 ロームB中多量、暗褐色土混
- 14 暗褐色 黄褐色土ローム多量混
- 15 暗褐色 ローム多量混

0 1:80 2m

第232図 513号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第233図 513号住居カマド

514号住居 (第234・235図、PL67・68)

位置 323～327 -945～951 Gr

重複関係 515・532住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.57 m

短辺 3.28 m 長辺/短辺 1.39 壁高 61cm

面積 16.21m² 床面積 11.43m²

主軸方位 N-64°-E 柱穴 なし

壁溝 カマド及び南東隅部を除き全周。掘り方で北壁内側に壁溝状の掘り込みをもう1条検出。はっきり壁溝と断定できるものではない。

貯蔵穴 掘り方検出のカマド右脇D4やカマド左側のD2が貯蔵穴の可能性はあるが、はっきりとはしていない。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土し中層～床面中心。破片が中心で、半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4581は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑4基他ピット数基あり。北壁内側に壁溝状の掘り込みあり。

カマド

位置 324・325 -945・946 Gr

壁位置 東壁南 全長 1.10 m 幅 1.25 m

主軸方位 N-70°-E

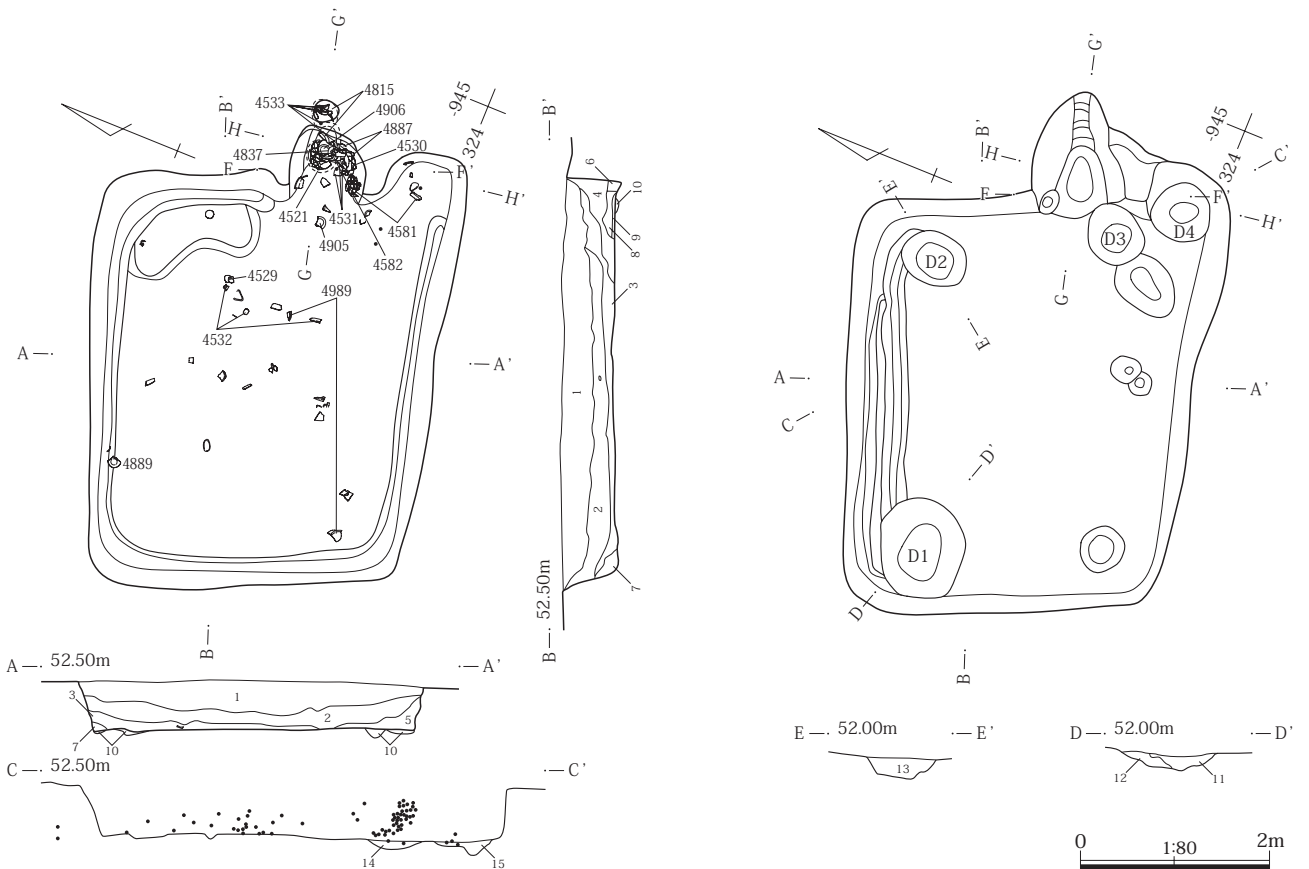
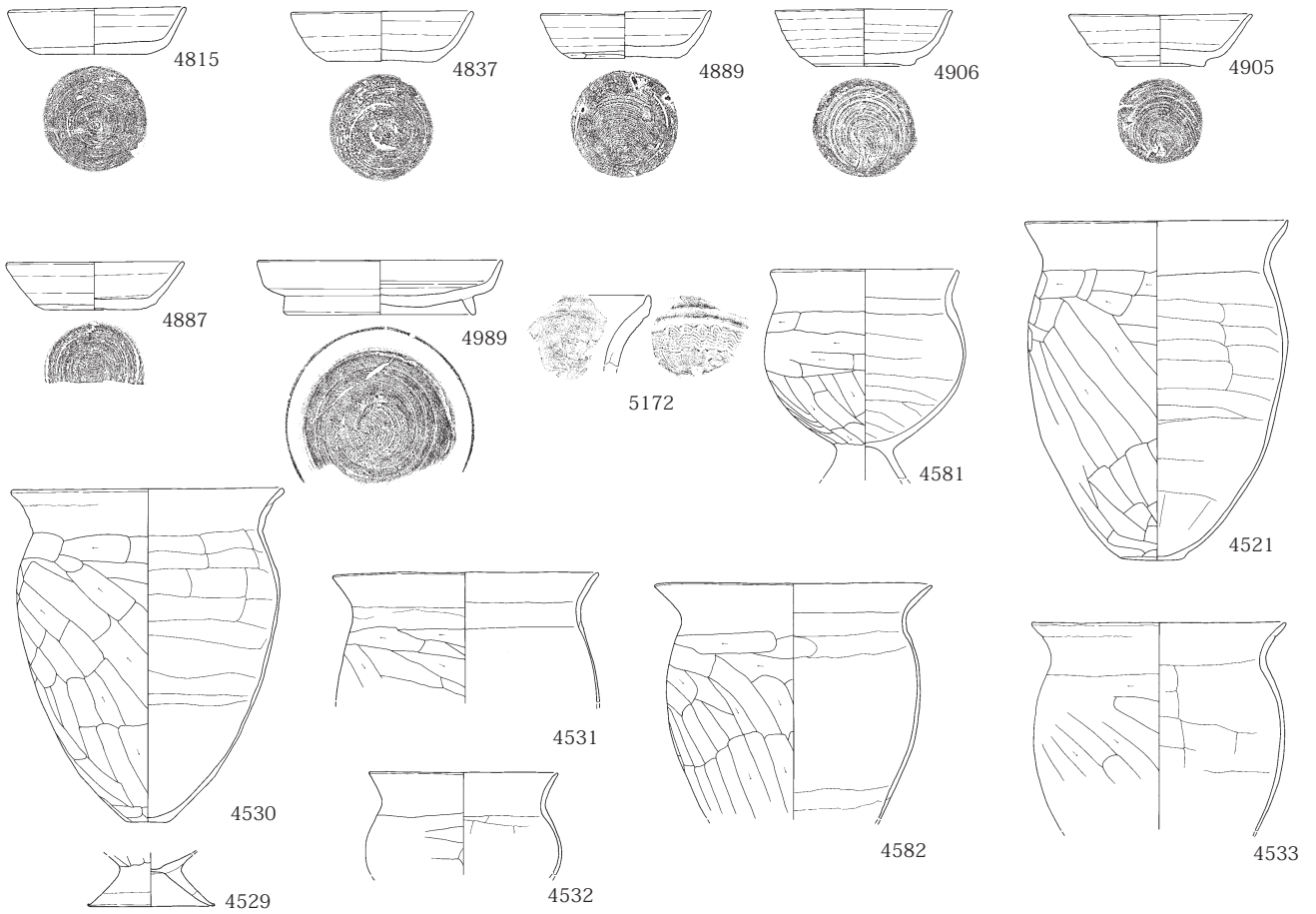
構築 にぶい黄褐色粘土で袖を構築するが、右袖は地山を掘り残した部分に粘土を貼っている。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃烧部・煙道部の天井一部残存。煙道部は短く燃烧部からすぐに立ち上がっている。

遺物出土状況 燃烧部から須恵器杯・土師器甕等が数個体まとまって出土している。

備考 カマドの残存状況良好で、煙道部の天井が残り、遺物も多量に出土している。

備考 北壁際に壁溝状掘り込みが検出されているが、はっきりとしないため拡張したとは断定できない。カマド燃烧部内から須恵器杯が出土しているが、カマド内で使用されたとは考えられないため、一括して廃棄されたものか。

時期 カマド出土土器等から、8世紀第4四半期か。



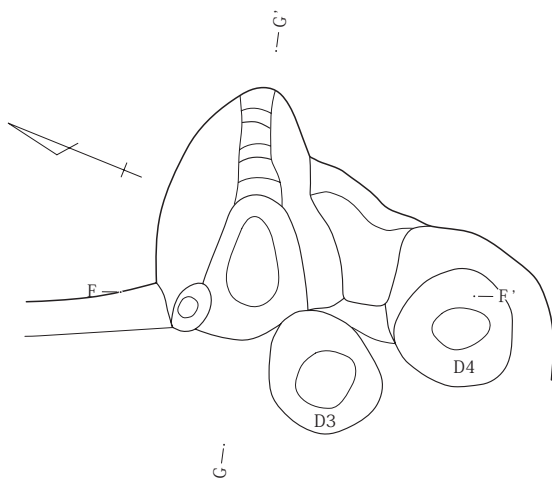
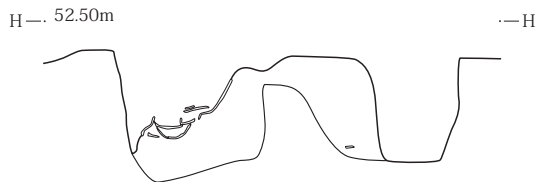
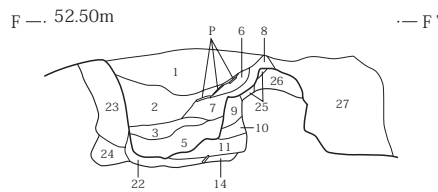
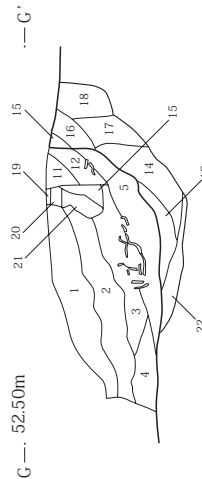
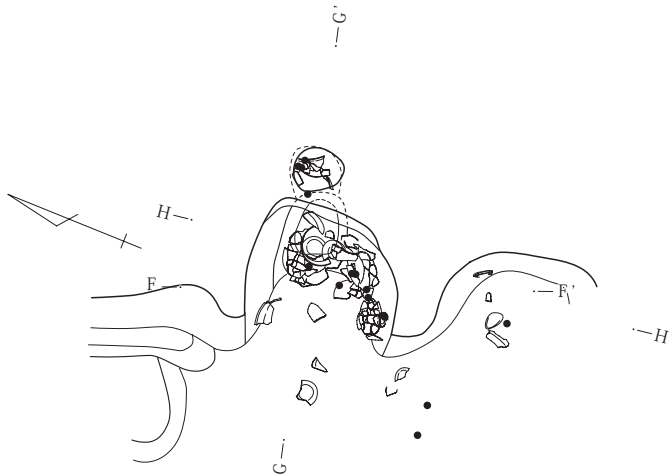
第234図 514住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

514号住居

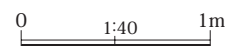
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B少量混
- 3 暗褐 ロームB中・焼土粒子中量混
- 4 暗褐 ローム・焼土粒子少量、黒褐B中多量混
- 5 褐 ローム・焼土粒子多量混
- 6 褐 ローム粒子・黒褐B多量混 しまり弱
- 7 褐 ローム粒子多量混

- 8 黄褐 粘質ローム・焼土・炭化物少量混 しまり強
- 9 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 10 暗褐 ローム少量混 しまり強
- 11 暗褐 ローム粒子・B中量混 しまり弱
- 12 にぶい黄褐 ローム主体 暗褐土少量混
- 13 にぶい黄褐 ローム主体 砂質 しまり強
- 14 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子混 しまり強
- 15 暗褐 ローム・焼土粒子多量混



カマド

- 1 暗褐 ローム粒子多量、焼土粒子少量混 粘性強
- 2 褐 粘質土主体 焼土粒子少量混 粘性強
- 3 暗褐 粘質土B・焼土粒子少量混
- 4 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 5 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子・B混 しまり弱
- 6 にぶい黄褐 ローム主体 焼土混 しまり強
- 7 暗褐 焼土多量混 しまり弱
- 8 にぶい黄褐 粘土・焼土B中多量混 しまり強
- 9 にぶい黄褐 ローム多量、焼土・ローム粒子少量混
- 10 にぶい黄褐 暗褐土多量混
- 11 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 12 黒褐 ローム粒子、焼土粒子・B少量混 しまり強
- 13 灰黒 灰層 焼土少量混 しまり弱
- 14 暗褐 焼土多量混
- 15 赤褐 焼土層
- 16 暗褐 焼土粒子多量混
- 17 暗褐 焼土粒子多量混 しまり弱
- 18 暗褐 焼土粒子少量混
- 19 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 20 にぶい黄褐 焼土粒子少量混 しまり強
- 21 黄褐 粘土層 カマド構築材 しまり強
- 22 暗赤褐 焼土粒子多量混
- 23 にぶい黄褐 粘質土 焼土粒子少量混 しまり強
- 24 にぶい黄褐 ローム・焼土混土 しまり強
- 25 黄褐 ロームB混
- 26 暗褐 ローム・焼土少量混 しまり強
- 27 暗褐 ローム粒子少量混



第235図 514号住居カマド

515号住居 (第236・237図、PL68)

位置 326～330-946～952 Gr

重複関係 513・514住より旧 516・532住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.37 m

短辺 (3.17) m 長辺/短辺 (1.38)

壁高 60cm 面積 (14.84) m²

床面積 (11.74) m² 主軸方位 N-45°-E

壁溝 南壁西部

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・黄褐色土で部分的に貼床。北部やや下がっており、南部を中心に硬化。

遺物出土状況 南東部カマド周辺中心で中層～床面出

土。破片が床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。5096は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑3基、ピット2基あり。他はほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 328・329-946～948 Gr

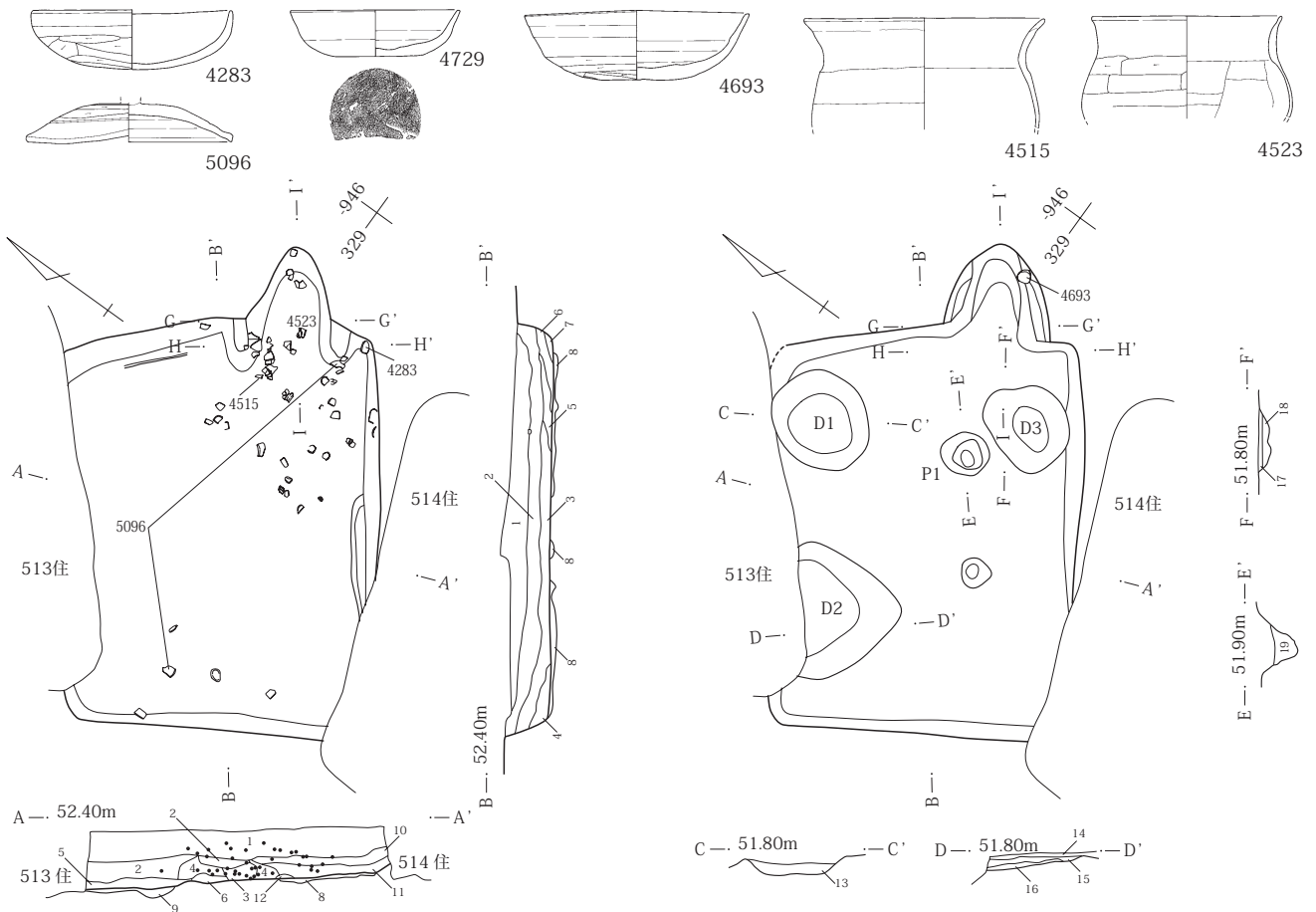
壁位置 東壁南 全長 1.35 m

幅 1.36 m 主軸方位 N-57°-E

構築 暗赤褐粘質土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部内から土師器片が出土している。

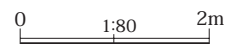
時期 遺棄と考えられる遺物はあまりないが、図示された遺物から、8世紀第1～第2四半期か。



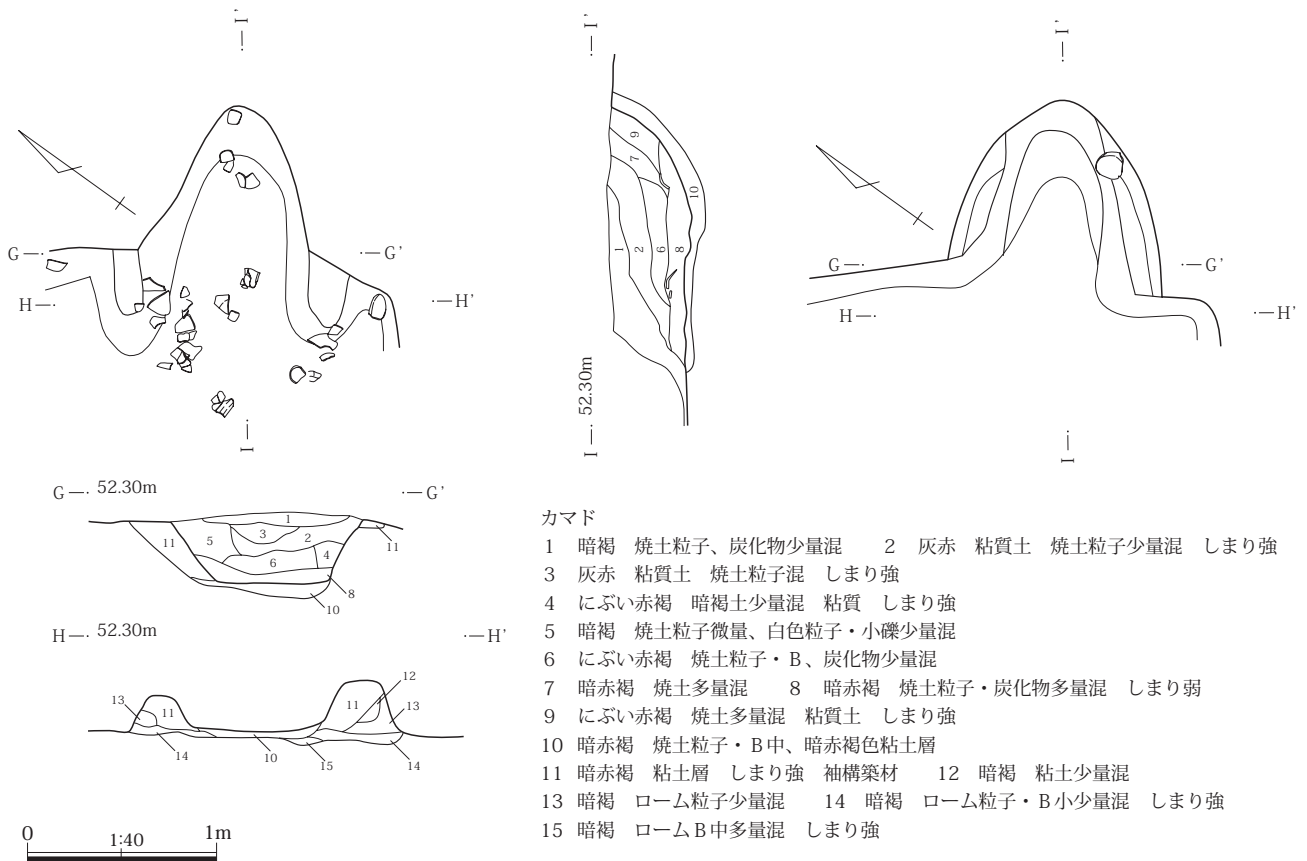
515号住居

- | | | |
|------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1 暗褐 焼土粒子・炭化物・小礫少量混 | 8 暗褐 ローム粒子・B中混 しまり強 貼床 | 14 暗褐 ローム粒子・B中混 しまり強 |
| 2 暗褐 ローム粒子・B中少量混 | 9 黄褐 ローム主体 暗褐土少量混 貼床 | 15 暗褐 ローム粒子中量混 |
| 3 暗褐 ローム粒子・B小、焼土少量混 | 10 暗褐 ロームB小少量混 | 16 黄褐 ローム主体 砂質 |
| 4 褐 ローム粒子・B多量混 | 11 暗褐 ローム粒子・B、焼土粒子・黒褐土少量混 | 17 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 |
| 5 褐 焼土粒子・B小中量、カマド粘土多量混 | 12 褐 焼土粒子微量混 | 18 暗褐 ローム粒子・B中中量混 |
| 6 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 | 13 にぶい黄褐 ローム粒子・B中量混 砂質 | 19 にぶい黄褐 砂礫多量、ローム粒子・B中混 |
| 7 暗褐 ローム少量混 | | |

第236図 515号住居出土遺物・使用面・掘り方



III 検出された遺構と出土遺物



第237図 515号住居カマド

516号住居 (第238・239図、PL68・69)

位置 328～333 -944～949 Gr

重複関係 513・515住より旧 532住、14溝と重複

平面形態 隅丸方形または隅丸形長方形

長辺 4.95 m 短辺 [3.63] m

長辺/短辺 不明 壁高 50cm 面積 [18.06] m²

床面積 [13.40] m² 主軸方位 N-17°-W

壁溝 東壁～南壁

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は円形で断面形態はやや丸みを帯びた台形。

柱穴 4基? 北西部の1基は重複により不明。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。北壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・にぶい黄褐色土で一部貼床。他は掘り方を床面とする。ほぼ平坦でやや軟弱。

遺物出土状況 ほぼ全面で中層～床面中心。半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4426は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑1基。他は掘り方を床面とする。

カマド

位置 331～333 -947・948 Gr

壁位置 北壁やや東か

全長 1.78 m 幅 1.16 m

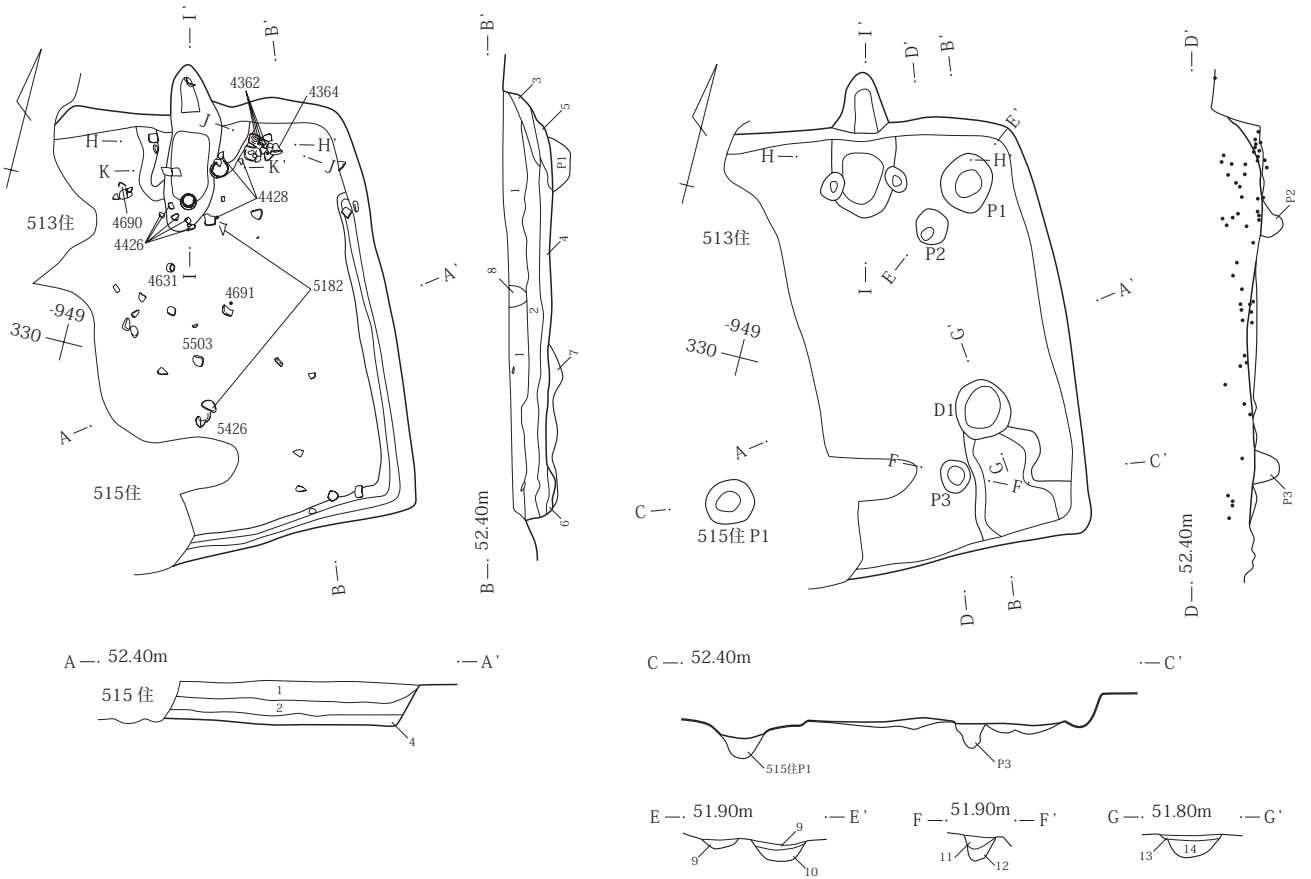
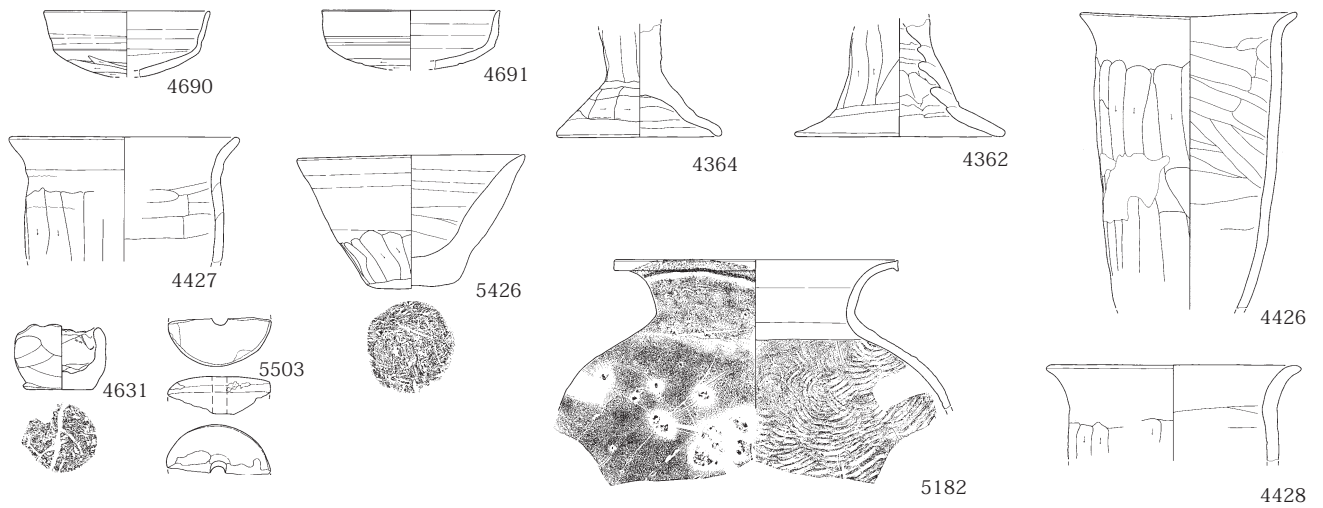
主軸方位 N-14°-W

構築 土師器甕を伏せたものを補強材とし、黄褐色粘土で袖を構築。右袖のみ土師器甕出土。焚口部・燃焼部底面はややくぼみ、灰層あり。燃焼部奥壁はなだらかに立ち上がり、煙道部底面はやや下がってから立ち上がる。

遺物出土状況 焚口部から土師器甕が伏せられた状態で出土。

備考 焚口出土の土師器甕は、出土状態から遺棄遺物と考えられるが、位置的に袖補強材ではなく、胴部上半のみで支脚とも考えられないため、性格不明である。

時期 カマド出土の土師器甕以外は遺棄遺物が少ないが、図示された遺物から、7世紀第2～第3四半紀か。



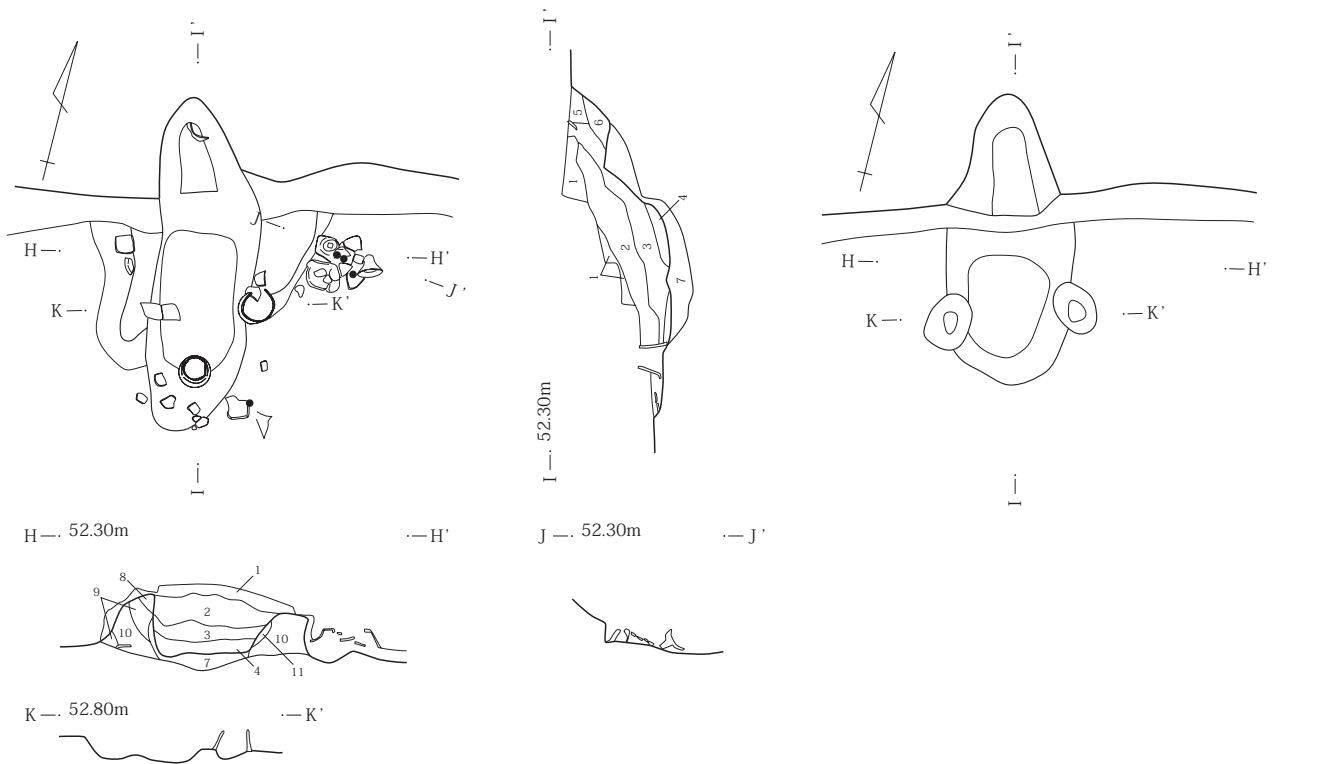
516号住居

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 | 8 褐 砂状土 ローム・小礫混 |
| 2 暗褐 灰白色粘土・黒褐B中少量混 | 9 暗褐 焼土・炭化物混 |
| 3 褐 ローム粒子・B中多量、焼土粒子少量混 | 10 にぶい黄褐 小礫・暗褐土混 |
| 4 暗褐 ローム・焼土粒子、炭化物中量混 | 11 にぶい黄褐 ロームB・暗褐土混 |
| 5 褐 ローム主体 | 12 黄褐 ローム主体 |
| 6 暗褐 ローム粒子・B、小礫混 | 13 にぶい黄褐 ロームB・小礫少量混 |
| 7 にぶい黄褐 ローム主体 | 14 にぶい黄褐 ローム主体 |

0 1:80 2m

第238図 516号住居出土遺物・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



カマド

- 1 にぶい黄褐 ローム主体 焼土粒子・暗褐色土中量混 しまり強
- 2 黄褐 粘質土層 しまり強
- 3 黄褐と赤褐混土 ローム・焼土・炭化物混
- 4 暗赤褐 ローム・焼土・灰混 しまり弱
- 5 暗赤褐 焼土多量混 しまり弱

- 6 にぶい黄褐 焼土少量混 しまり弱
- 7 赤褐 焼土多量混 しまり弱
- 8 黄褐 粘土 袖
- 9 にぶい黄褐 粘土 焼土混 袖
- 10 黄褐 粘土 炭化物少量混 袖
- 11 黄褐 粘土 焼土多量混 袖

0 1:40 1m

第239図 516号住居カマド

517号住居 (第240図、PL69)

位置 333～337-947～951 Gr

重複関係 441・442住より旧 平面形態 隅丸方形

長辺 (3.79)m 短辺 (3.21)m

長辺/短辺 (1.18) 壁高 39cm 面積 (12.39) m²

床面積 (10.36) m² 主軸方位 N-45°-E

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 不明

柱穴 4基。柱間が1.6×1.2と狭いが、深さは28～61cmと深くしっかりした柱穴である。

埋没土 ロームを含む黒褐色土・暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。南壁際に三角堆積あり。また、南東隅に粘土層あり。

床面状態 にぶい黄褐色土で貼床。ほぼ平坦で、中央～南部を中心に硬化。

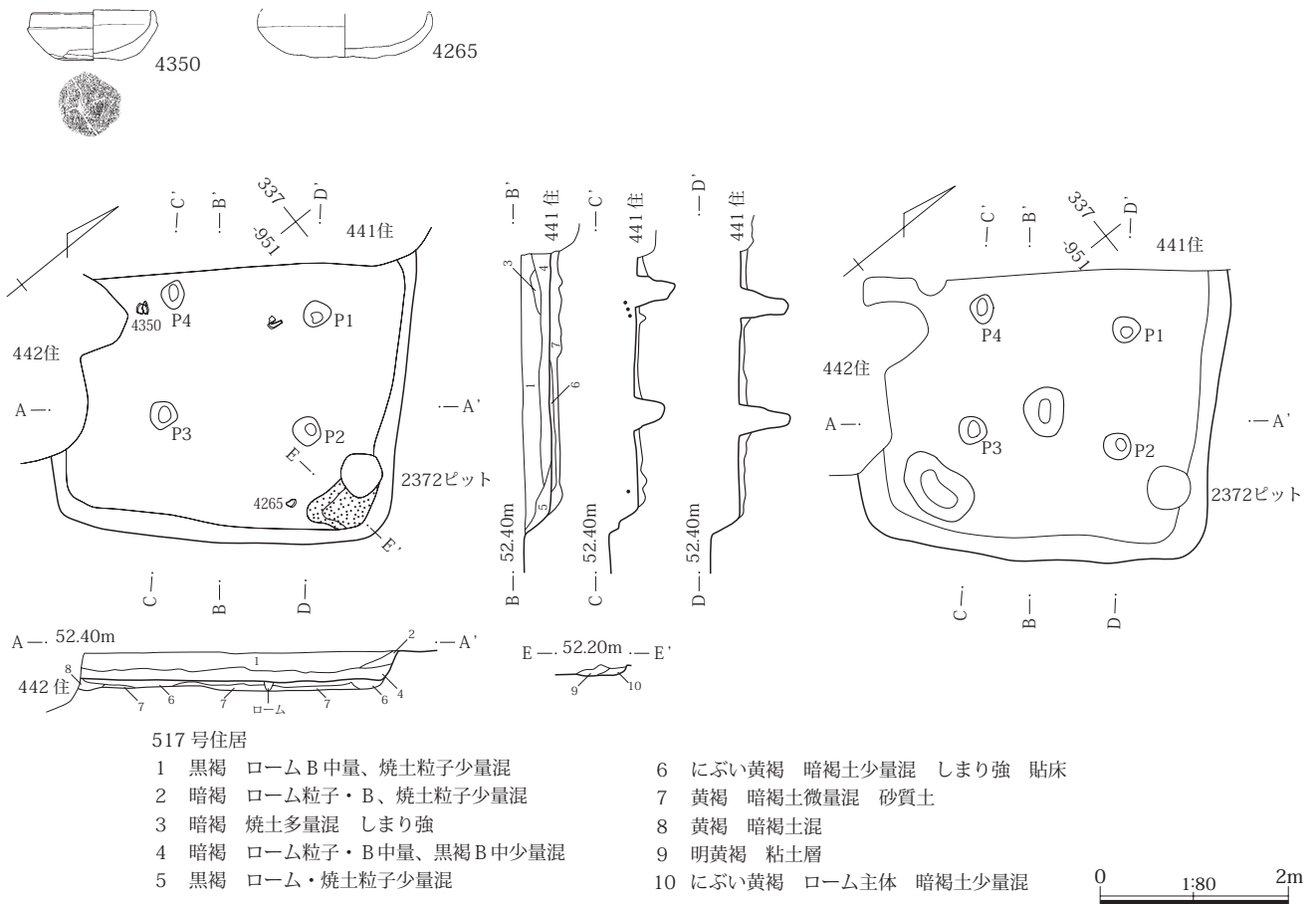
遺物出土状況 出土量は少なく、埋土中に散在。半完形の遺物はあるが、床面から浮いた状態であり、廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 土坑状掘り込み2基あり。他は平坦な掘り方。

カマド 不明

備考 重複のため北壁・西壁は不明であるが、カマドはこのどちらかの壁にあるか。

時期 出土遺物少なく時期不明であるが、図示された遺物等から、6世紀後半から7世紀代か。



第240図 517号住居

519号住居 (第241・242図、PL69)

位置 335～342-933～940 Gr

重複関係 492住より旧 平面形態 隅丸方形

長辺 6.26 m 短辺 5.96 m

長辺/短辺 1.05 壁高 40cm 面積 (37.39) m²

床面積 (30.34) m² 主軸方位 N-63°-W

壁溝 北壁～東壁～南壁

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は円形で断面形態はややゆがんだ台形。

柱穴 4基・8基。柱2～4に柱痕または抜き取り痕あるか。掘り方で各柱穴間に1基ずつ小ピットが検出されており、8本柱の住居になる可能性もあり。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。南東部に粘土層あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で南部を中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土。中央が低く外周部が

高いレンズ状の垂直分布。破片が中心で、半完形のものもあるが、床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4031・4446は床面上の出土である。掘り方 中央部が高く、外周が低くなる掘り方。各柱穴間に小ピット検出。

カマド

位置 340・341-938・939 Gr

壁位置 西壁北 全長 1.97 m 幅 1.20 m

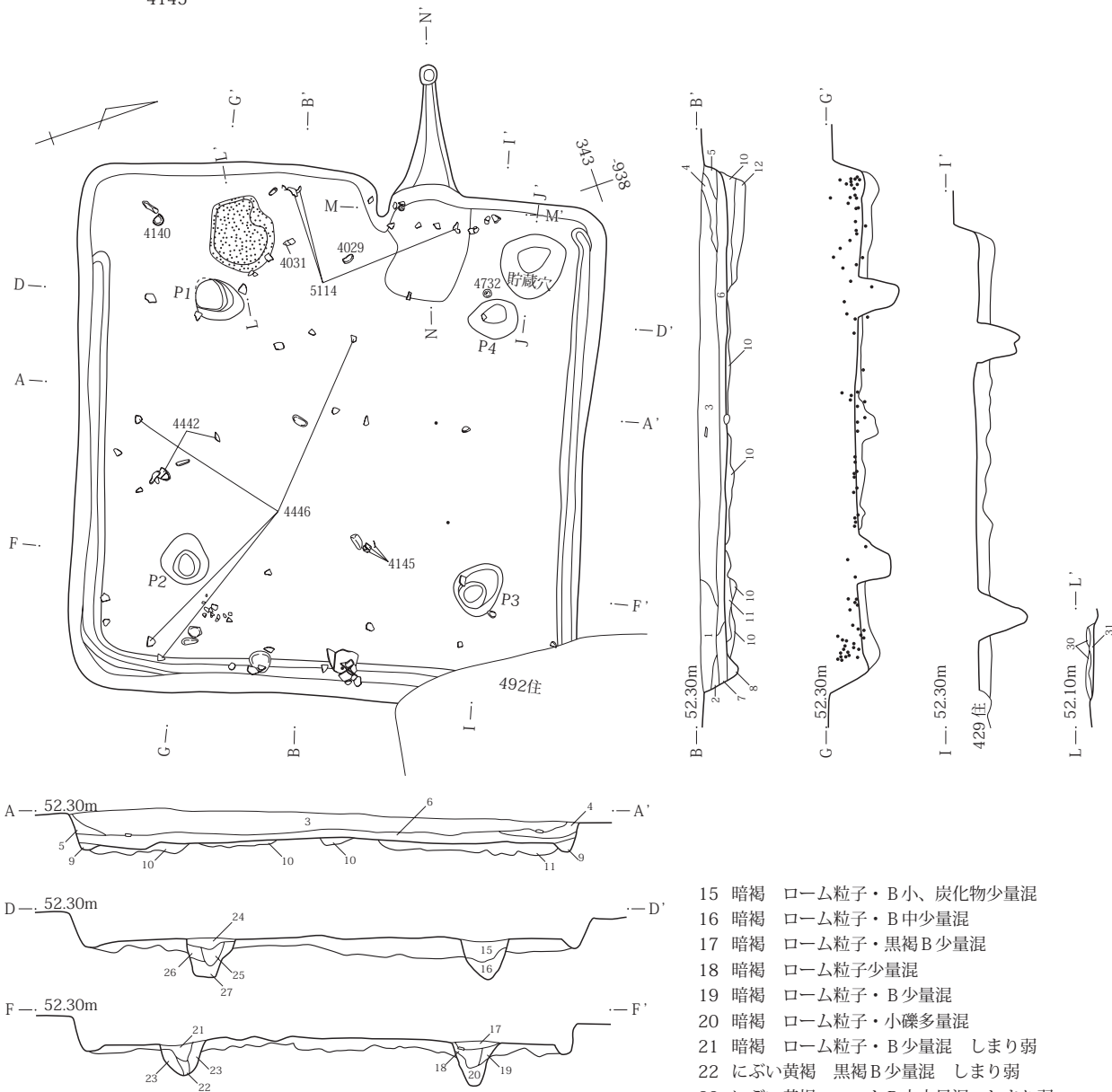
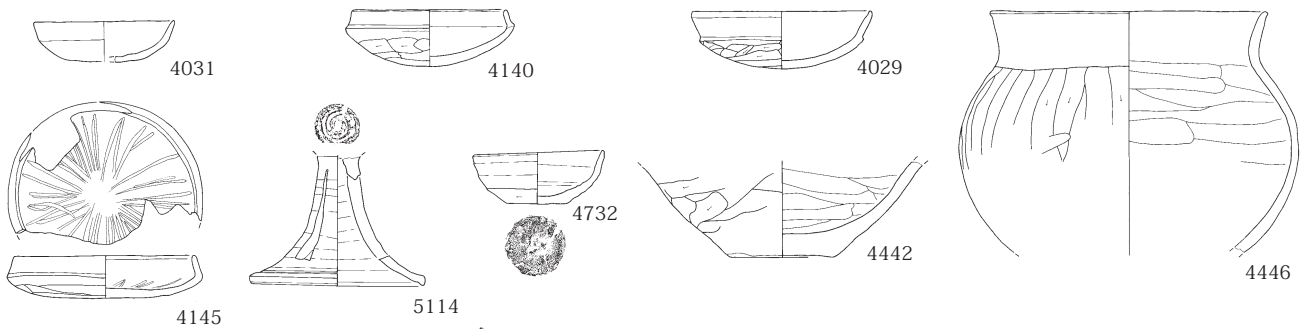
主軸方位 N-72°-W

構築 にぶい黄褐色土・暗褐色土で袖を構築。焚口部・燃焼部底面はほぼ平坦で灰層あり。燃焼部奥壁はなだらかに立ち上がり、煙道部底面は非常になだらかに立ち上がりながら続く。

遺物出土状況 焚口部・燃焼部から土師器片が少量出土。

時期 遺棄と考えられる遺物は少ないが、図示された遺物から、6世紀後半代か。

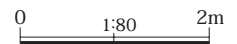
III 検出された遺構と出土遺物



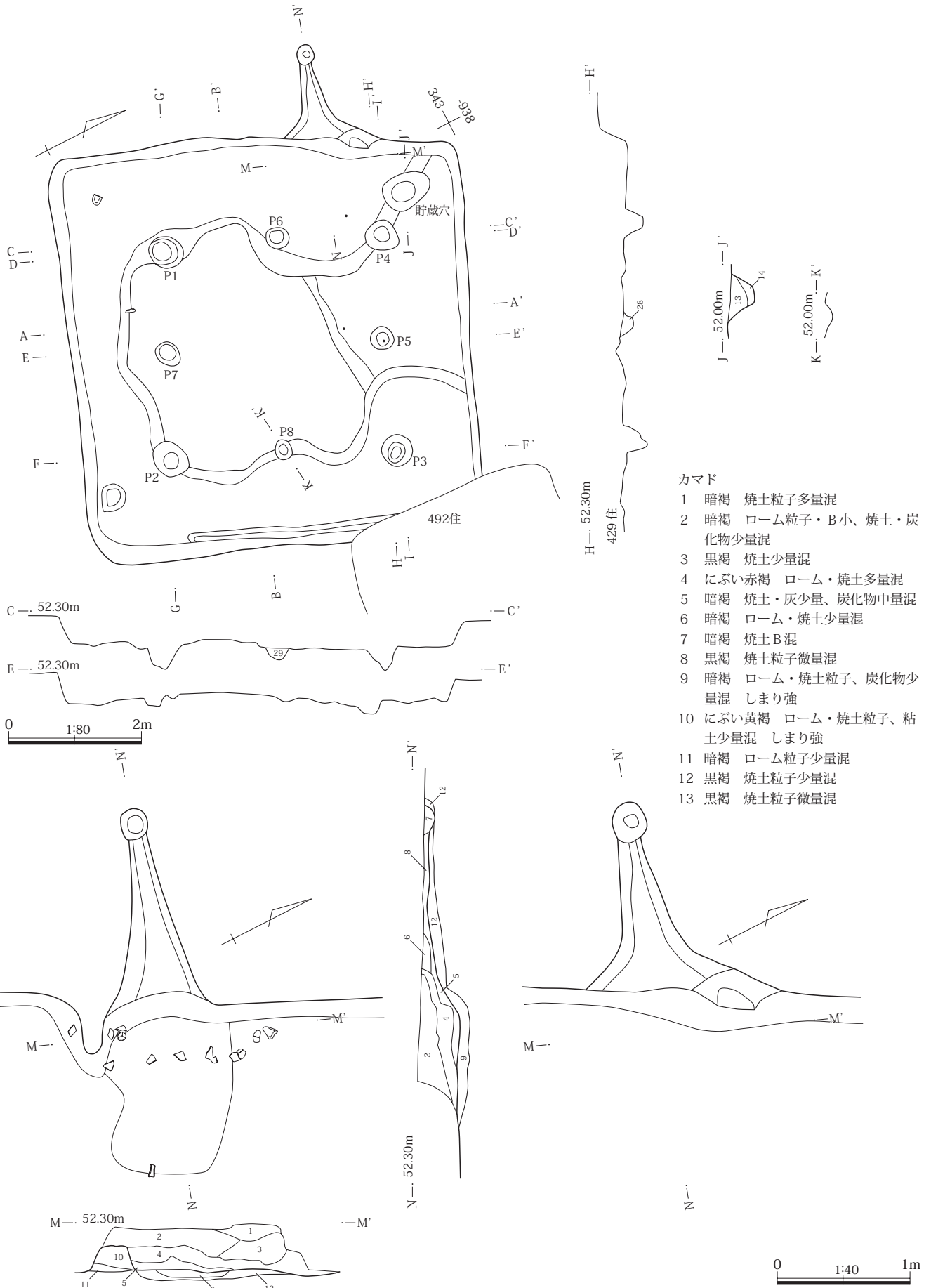
519号住居

- 1 暗褐色 ロームB・粒子少量混
- 2 黄褐色・暗褐色混土 しまり強
- 3 暗褐色 ローム・焼土粒子、炭化物少量混
- 4 黒褐色 黒褐B中主体 ローム少量混
- 5 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混
- 6 暗褐色 ロームB・焼土・炭化物少量混
- 7 黒褐色 ローム粒子少量混
- 8 にぶい黄褐色 暗褐色土少量混 しまり弱
- 9 暗褐色 ロームB中混 しまり弱
- 10 暗褐色 ロームB小・黒褐土混 しまり強
- 11 ロームB・暗褐色混土
- 12 暗褐色 黒褐土混
- 13 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混 しまり弱
- 14 暗褐色 ローム粒子・B小少量、炭化物微量混 しまり弱

- 15 暗褐色 ローム粒子・B小、炭化物少量混
- 16 暗褐色 ローム粒子・B中少量混
- 17 暗褐色 ローム粒子・黒褐B少量混
- 18 暗褐色 ローム粒子少量混
- 19 暗褐色 ローム粒子・B少量混
- 20 暗褐色 ローム粒子・小礫多量混
- 21 暗褐色 ローム粒子・B少量混 しまり弱
- 22 にぶい黄褐色 黒褐B少量混 しまり弱
- 23 にぶい黄褐色 ロームB中少量混 しまり弱
- 24 黒褐色 炭化物少量混
- 25 黒褐色 ローム粒子少量混
- 26 暗褐色 ローム粒子少量混
- 27 暗褐色 ローム粒子・B少量混 しまり弱
- 28 にぶい黄褐色 ローム粒子多量、黒褐土少量混 しまり弱
- 29 暗褐色 ローム粒子・B小少量混
- 30 黄白色 粘土層
- 31 黒褐色 粘土B小少量混



第241図 519号住居出土遺物・使用面



第242図 519号住居掘り方・カマド

III 検出された遺構と出土遺物

520号住居(第243・244図、PL70)

位置 325～330-958～963 Gr

重複関係 14溝より旧 平面形態 隅丸長方形

長辺 5.02m 短辺 4.19m

長辺/短辺 1.20 壁高 57cm 面積 (19.84) m²

床面積 (15.55) m² 主軸方位 N-20°-W

壁溝 残存部分全周。貯蔵穴 残存部分なし。

柱穴 4基。柱3に柱痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含むにぶい黄褐色土で貼床。ほぼ平

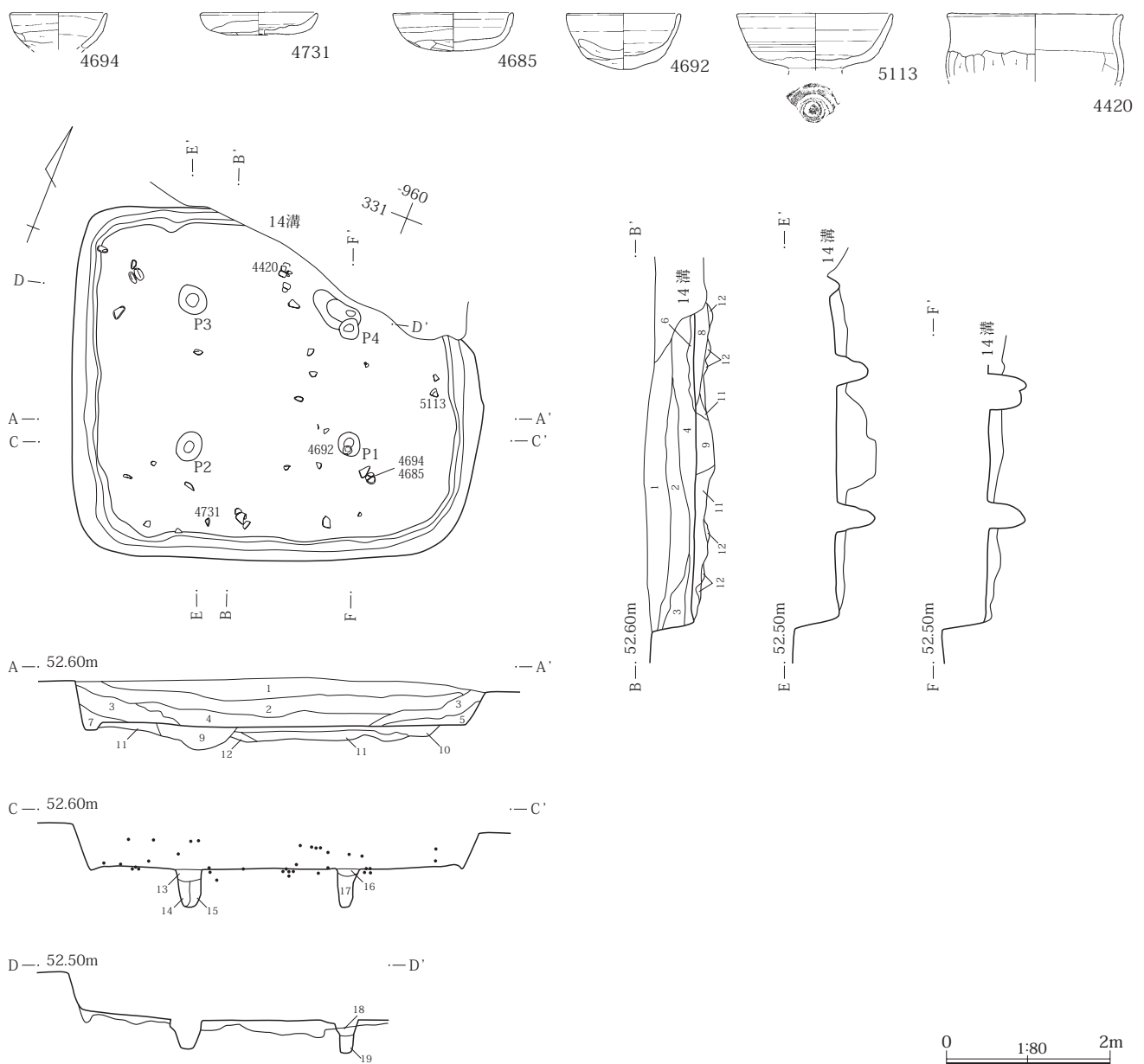
坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で、上層～床面出土。破片が床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。床面付近の完形遺物は遺棄遺物の可能性あり。4420・4685・4694・4731は床面上の出土である。

掘り方 床下土坑2基、ピット数基あり。他はほぼ平坦な掘り方。カマド 不明

備考 重複のため北東部が不明であるが、この部分にカマド・貯蔵穴があった可能性はあるか。

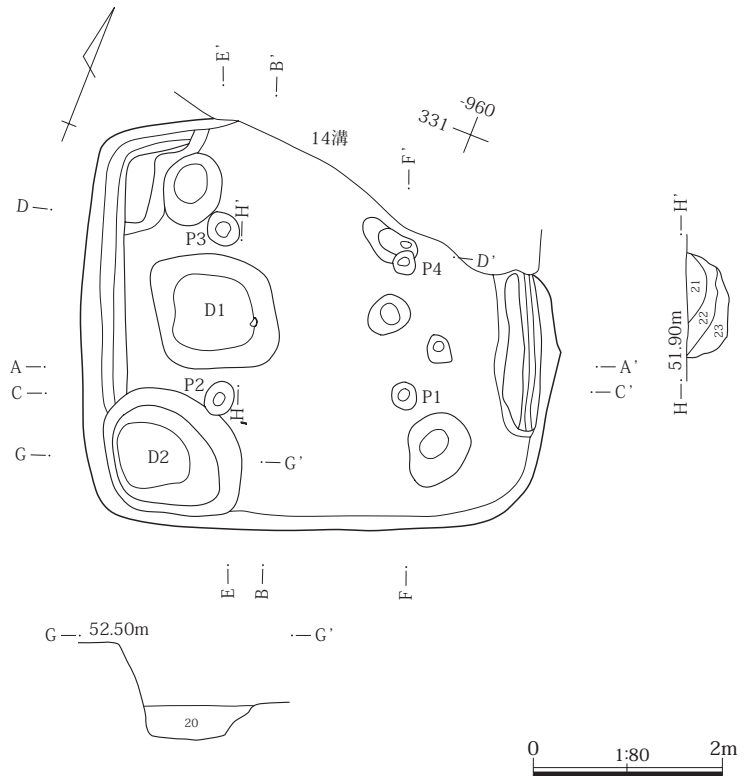
時期 遺棄と考えられる遺物は少ないが、図示された遺物から、7世紀第2～第3四半紀か。



第243図 520号住居出土遺物・使用面

520号住居

- 1 暗褐 ローム・白色粒子中量混
- 2 暗褐 ローム粒子中量、ロームB小～少量混
- 3 黒褐 黒褐・黄褐B小～大混合
- 4 暗褐 3層に似る 焼土粒子混
- 5 暗褐 ローム土壌中量混
- 6 暗褐 ロームB多量混 粘性強
- 7 にぶい黄褐 ローム多量混
- 8 にぶい黄褐 ローム粒子・B中主体 しまり強
- 9 にぶい黄褐 ロームB(灰白・黄・白)中混合
- 10 にぶい黄褐 黄褐B中混 しまり強
- 11 にぶい黄褐 灰白・黄ロームB多量混 しまり強
- 12 灰白 ハードローム
- 13 にぶい黄褐 ロームB中混
- 14 にぶい黄褐 ローム主体 砂質
- 15 灰黄 ローム主体 砂礫 しまり強
- 16 暗褐 ロームB中混
- 17 にぶい黄褐 ローム主体 砂質
- 18 にぶい黄褐 ロームB中混
- 19 にぶい黄褐 ローム粒子・B小主体
- 20 にぶい黄褐 ローム粒子・B中主体
- 21 にぶい黄褐 黄褐ローム主体
- 22 にぶい黄褐 黄褐・にぶい黄褐ローム混
- 23 にぶい黄褐 にぶい黄褐ローム主体



第244図 520号住居掘り方

522号住居 (第245～247図、PL70)

位置 327～335 -931～938 Gr

重複関係 524住より旧 543住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 5.61m 短辺 4.98m

長辺/短辺 1.13 壁高 37cm 面積 (28.85) m²

床面積 (23.07) m² 主軸方位 N-42°-W

壁溝 カマドを除き残存部分全周。貯蔵穴 なし

柱穴 4基。柱3に柱痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・黄褐色土で貼床。ほぼ平坦で中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。破片が床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。壁際の須恵器ハソウ等は遺棄遺物の可能性あり。

4415・5327は床面上の出土である。

掘り方 中央部が高く、外周が溝状にくぼむ掘り方。ピット数基あり。

カマド

位置 332・333 -935～937 Gr

壁位置 北壁やや東

全長 1.56m 幅 1.08m

主軸方位 N-48°-W

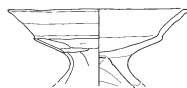
構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが、燃烧部でややくぼむ。灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 燃烧部から土師器甕が破片の状態で出土。

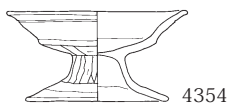
時期 遺棄遺物は少ないが、図示された遺物から、6世紀後半代か。



4038



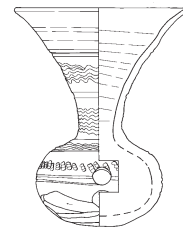
4355



4354



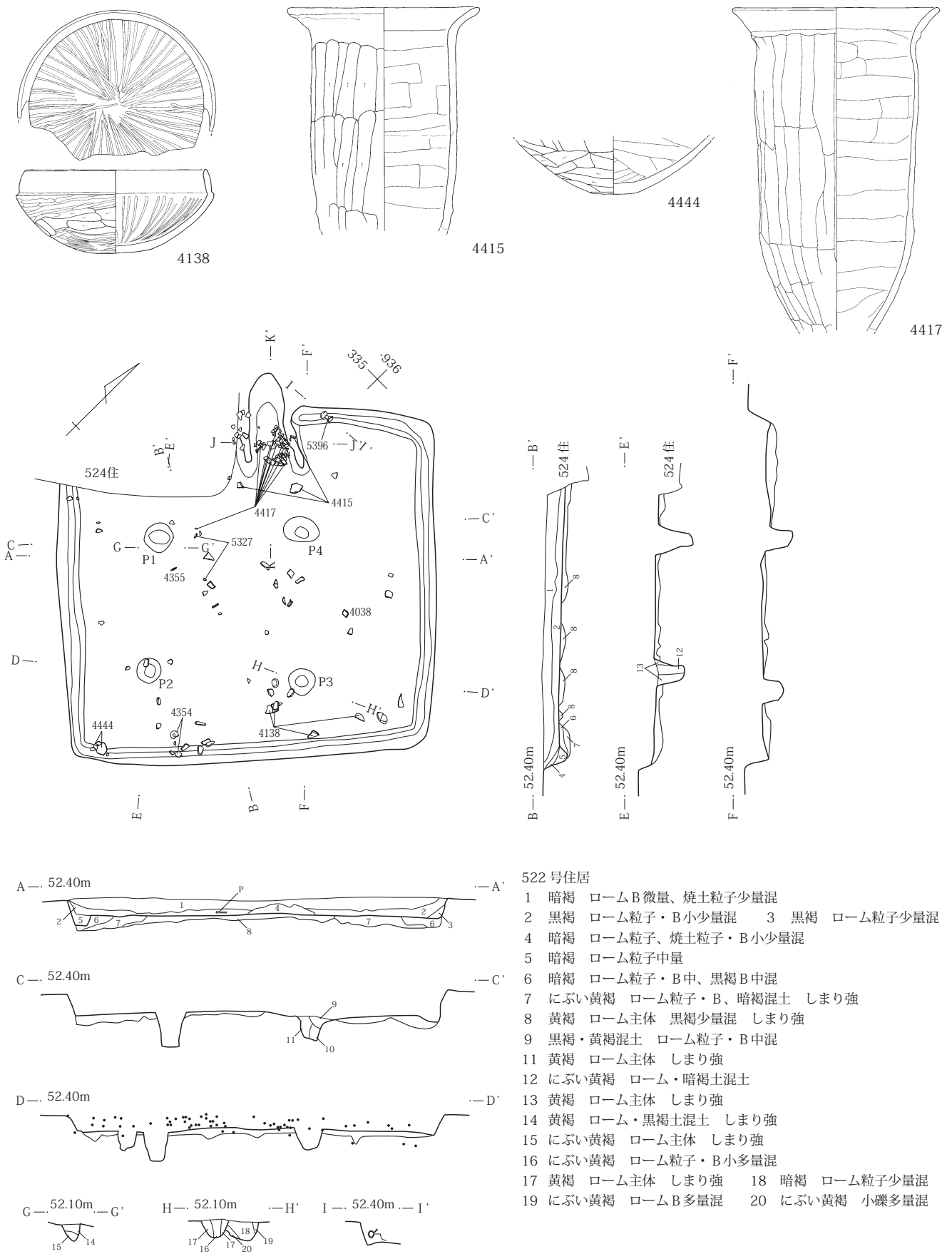
5327



5396

第245図 522号住居出土遺物(1)

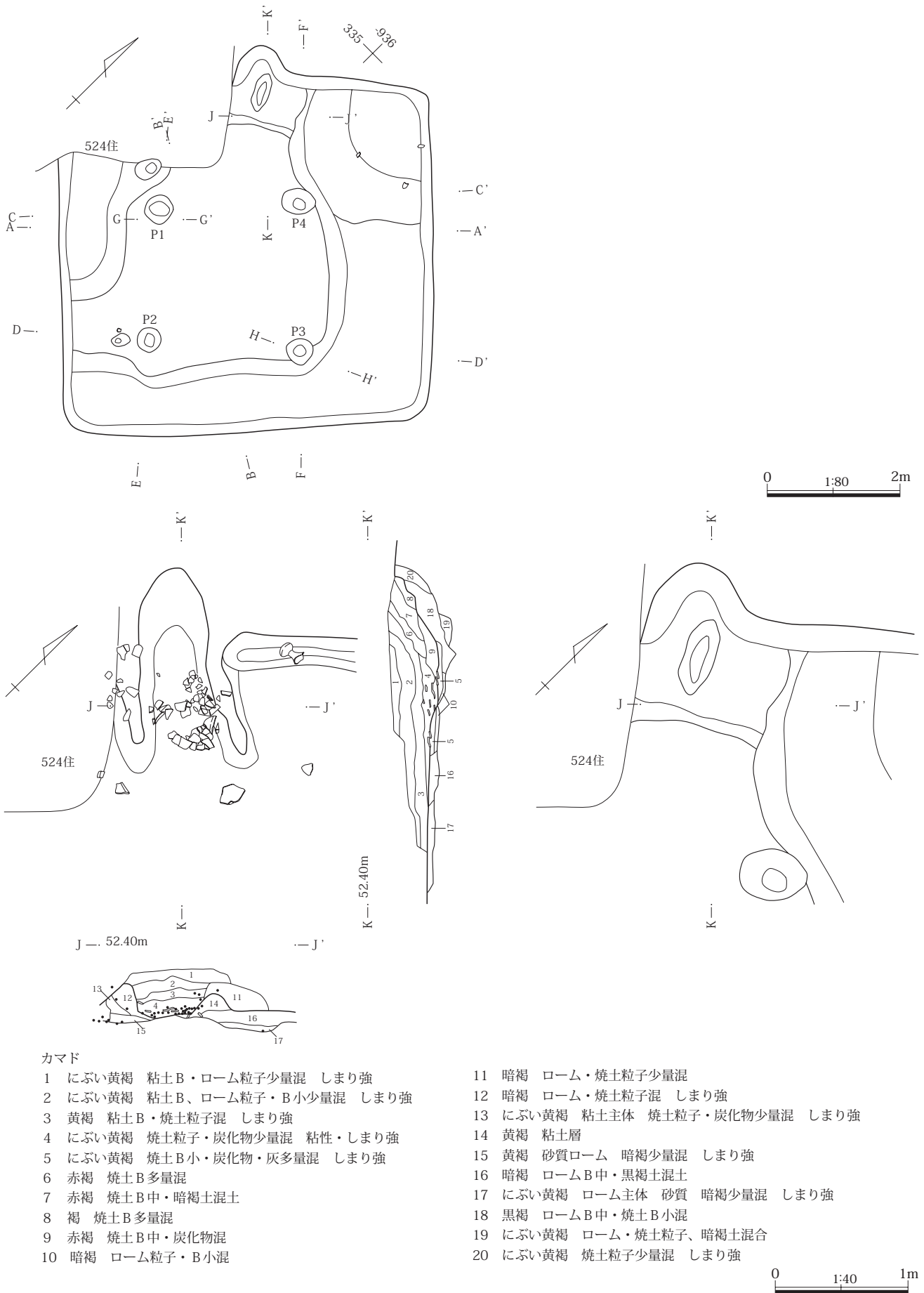
III 検出された遺構と出土遺物



- 522号住居
- 1 暗褐 ロームB微量、焼土粒子少量混
 - 2 黒褐 ローム粒子・B小少量混
 - 3 黒褐 ローム粒子少量混
 - 4 暗褐 ローム粒子、焼土粒子・B小少量混
 - 5 暗褐 ローム粒子中量
 - 6 暗褐 ローム粒子・B中、黒褐B中混
 - 7 にぶい黄褐 ローム粒子・B、暗褐混土 しまり強
 - 8 黄褐 ローム主体 黒褐少量混 しまり強
 - 9 黒褐・黄褐混土 ローム粒子・B中混
 - 11 黄褐 ローム主体 しまり強
 - 12 にぶい黄褐 ローム・暗褐土混
 - 13 黄褐 ローム主体 しまり強
 - 14 黄褐 ローム・黒褐土混土 しまり強
 - 15 にぶい黄褐 ローム主体 しまり強
 - 16 にぶい黄褐 ローム粒子・B小少量混
 - 17 黄褐 ローム主体 しまり強
 - 18 暗褐 ローム粒子少量混
 - 19 にぶい黄褐 ロームB多量混
 - 20 にぶい黄褐 小礫多量混

0 1:80 2m

第246図 522号住居出土遺物(2)・使用面



カマド

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 にぶい黄褐 粘土B・ローム粒子少量混 しまり強 | 11 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 |
| 2 にぶい黄褐 粘土B、ローム粒子・B少量混 しまり強 | 12 暗褐 ローム・焼土粒子混 しまり強 |
| 3 黄褐 粘土B・焼土粒子混 しまり強 | 13 にぶい黄褐 粘土主体 焼土粒子・炭化物少量混 しまり強 |
| 4 にぶい黄褐 焼土粒子・炭化物少量混 粘性・しまり強 | 14 黄褐 粘土層 |
| 5 にぶい黄褐 焼土B小・炭化物・灰多量混 しまり強 | 15 黄褐 砂質ローム 暗褐少量混 しまり強 |
| 6 赤褐 焼土B多量混 | 16 暗褐 ロームB中・黒褐土混 |
| 7 赤褐 焼土B中・暗褐土混 | 17 にぶい黄褐 ローム主体 砂質 暗褐少量混 しまり強 |
| 8 褐 焼土B多量混 | 18 黒褐 ロームB中・焼土B小混 |
| 9 赤褐 焼土B中・炭化物混 | 19 にぶい黄褐 ローム・焼土粒子、暗褐土混 |
| 10 暗褐 ローム粒子・B小混 | 20 にぶい黄褐 焼土粒子少量混 しまり強 |

第247図 522号住居掘り方・カマド

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

524号住居（第248～251図、PL70・71）

位置 329～334 - 936～942 Gr

重複関係 522・535・536・543住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 5.31 m

短辺 3.19 m 長辺/短辺 1.66 壁高 68 cm

面積 18.19㎡ 床面積 12.84㎡

主軸方位 N-56°-E

壁溝 東壁～南壁～西壁南部 貯蔵穴 なし

柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土で部分的に貼床。ほぼ平坦で、中央部を中心に硬化。

遺物出土状況 出土量は多く、ほぼ全面から出土し、中層～床面中心。完形・半完形の遺物は少なく、破片が床面から浮いた状態のものが多い。大部分廃棄・流入遺物か。

掘り方 浅くて広い床下土坑5基他ピット数基あり。

北カマド（新）

位置 333・334 - 937・938 Gr

壁位置 東壁北端

全長 1.50 m 幅 1.10 m

主軸方位 N-48°-E

構築 自然礫を補強材として、黄褐色粘土で袖を構築。

焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で灰層は見られない。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 袖補強材の自然礫が2個体出土しているが、その上部に土師器甕が3個体破片の状態で出土。天井部の構築材とも考えられるが、甕の形は残っていない。

備考 出土状況から袖部の自然礫は原位置を保っていると考えられるが、上部の甕は破片の状態であり、残存状況に大きな違いが見られる。

西カマド（旧）

位置 333・334 - 939・940 Gr

壁位置 北壁やや東

全長 1.14 m 幅 0.87 m

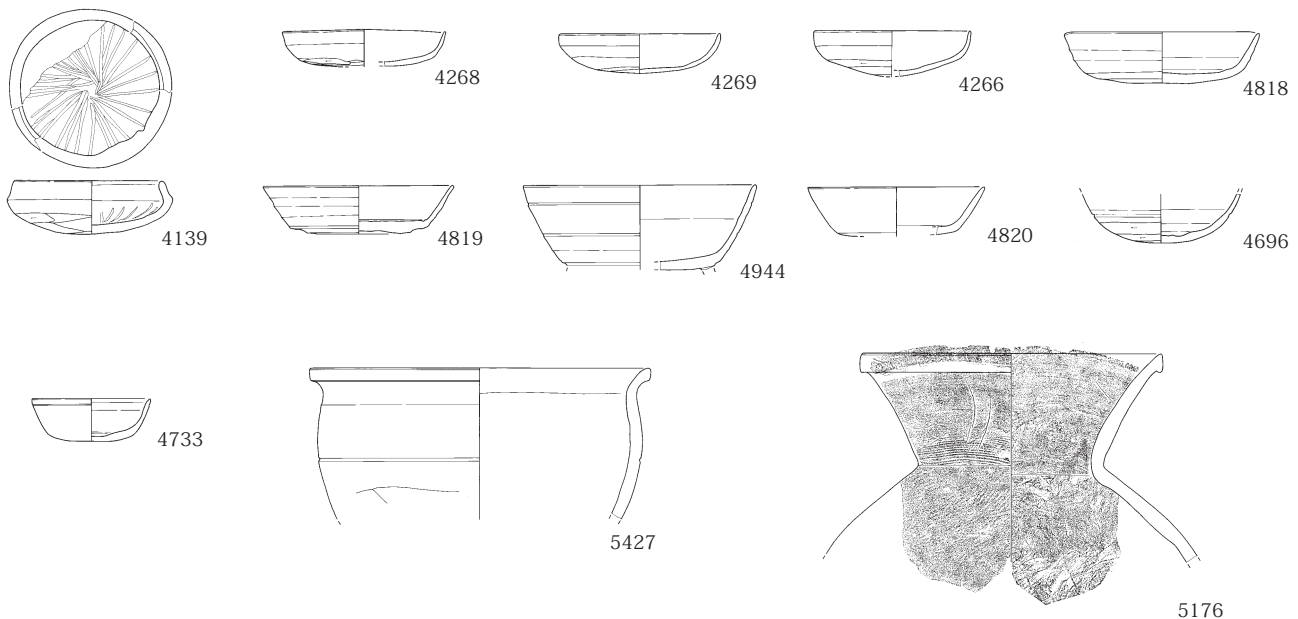
主軸方位 N-32°-W

構築 旧カマドのため袖構築材不明。焚口部から燃烧部にかけてくぼみ、奥壁はやや急に立ち上がる。

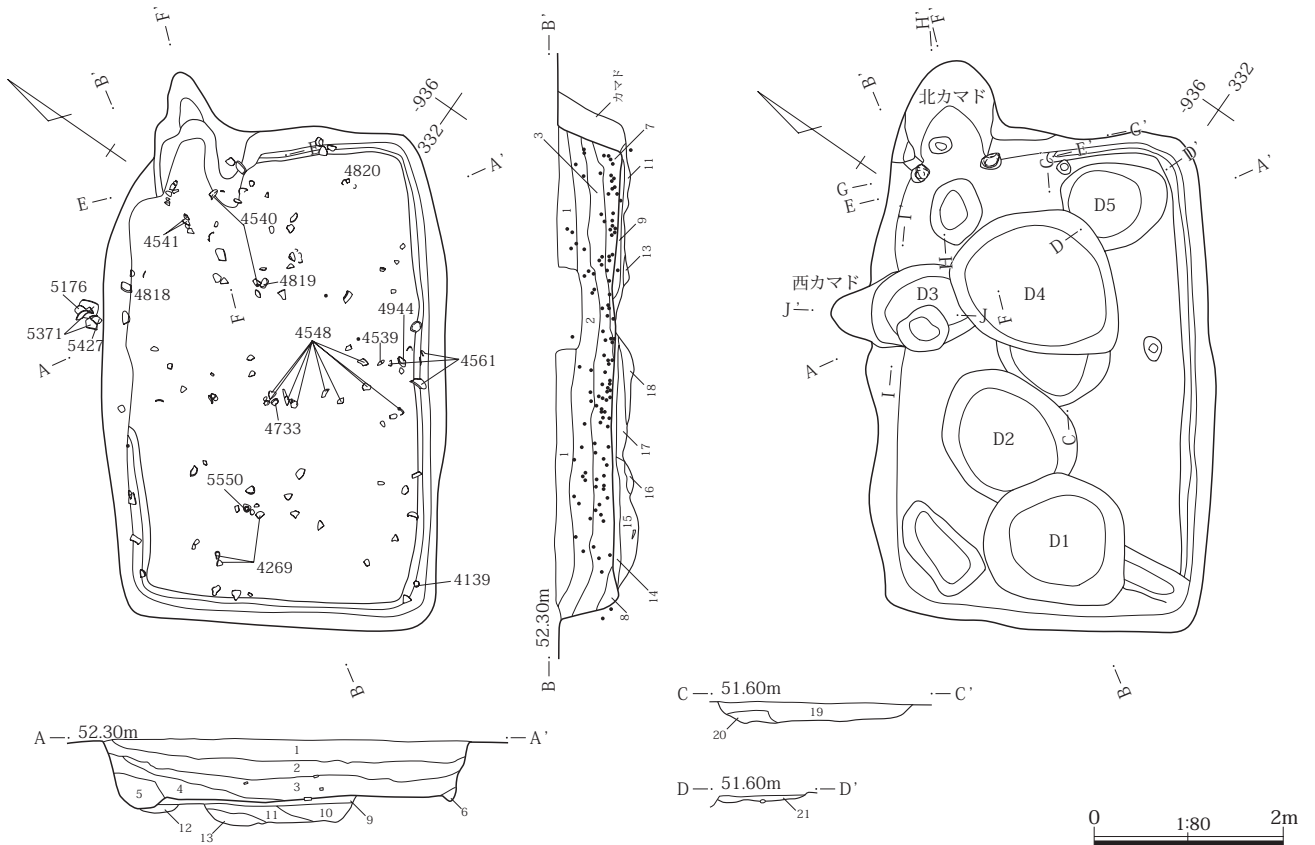
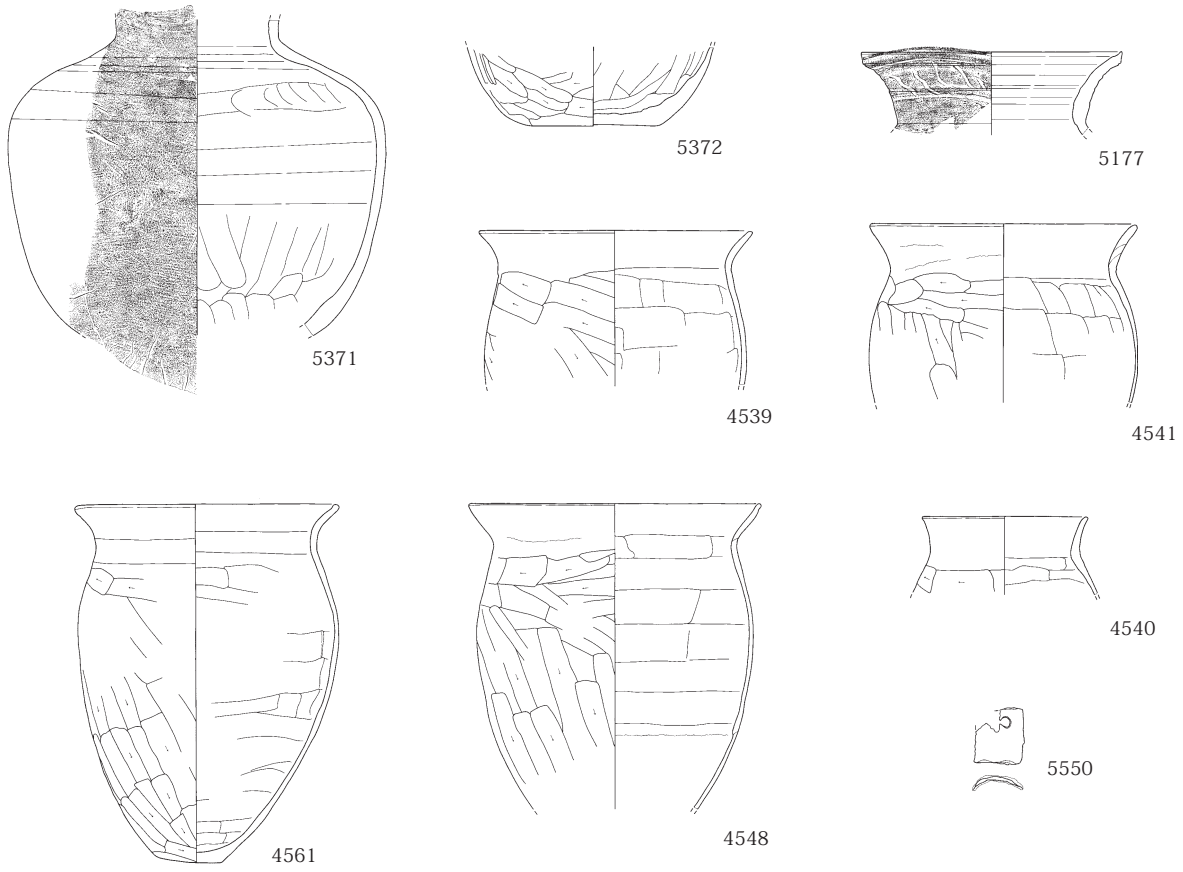
遺物出土状況 燃烧部奥壁際上部から須恵器甕・壺の破片が出土している。

備考 旧カマドのため詳細不明。

時期 遺棄遺物が少なく、出土遺物の中に時期の異なるものが混在しているためはっきりしないが、時期の新しい遺物を見ると、8世紀第3四半期か。



第248図 524号住居出土遺物（1）

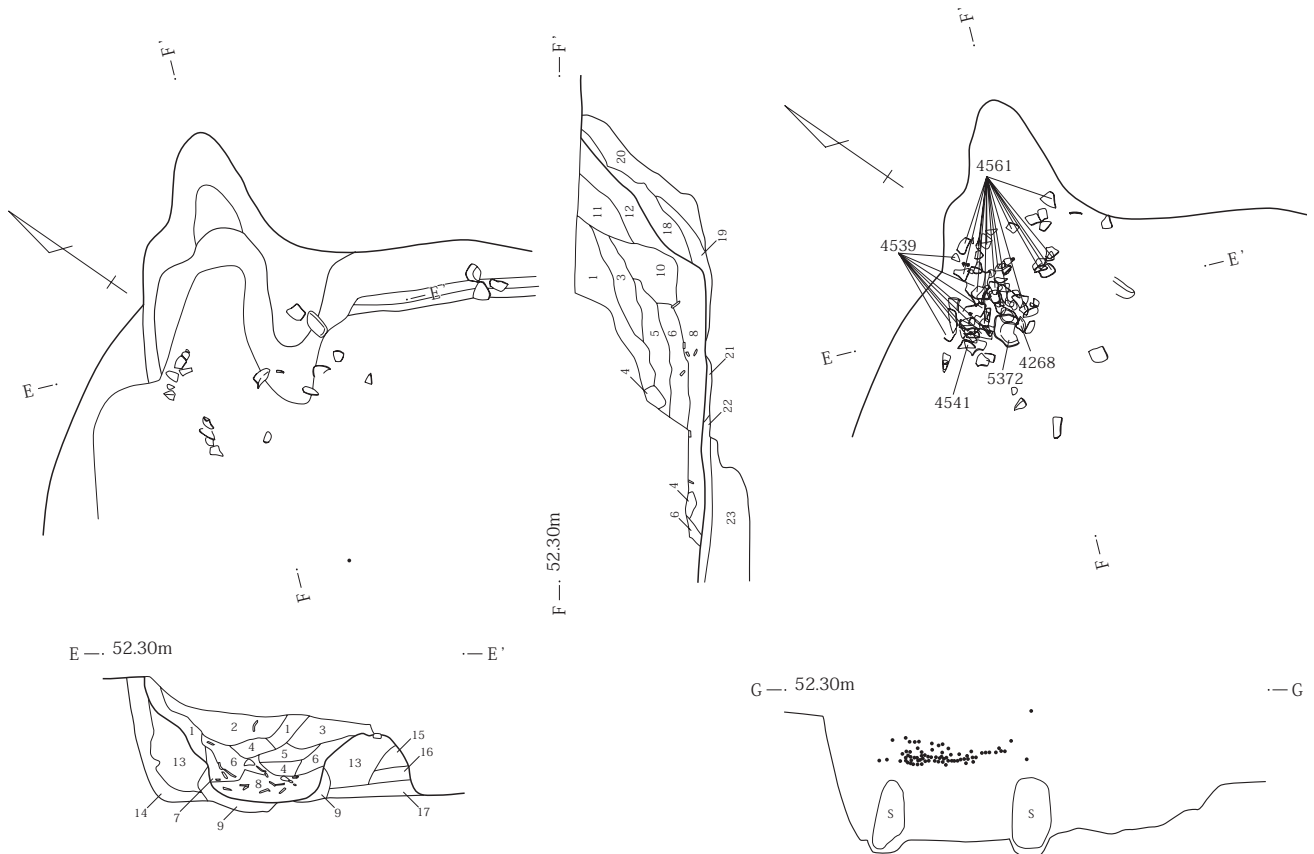


第249図 524号住居出土遺物(2)・使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物

524号住居

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1 暗褐 焼土粒子中量混 | 12 にぶい黄褐 ローム・焼土・炭化物多量混 (カマド前) |
| 2 暗褐 ローム・焼土粒子、炭化物少量混 | 13 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 |
| 3 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 | 14 黒褐 ロームB少量混 貼床 |
| 4 暗褐 ローム粒子・B中多量、焼土粒子少量混 | 15 黒褐 ローム粒子・B混 粘性強 |
| 5 黒褐 ローム粒子少量混 | 16 黒褐 ローム粒子・B混 やや砂質 |
| 6 暗褐 ローム粒子・B小混 | 17 黒褐 ロームB中混 粘性強 |
| 7 暗褐 ローム粒子多量、焼土粒子中量混 | 18 黒褐 ローム粒子・B中、小礫少量混 粘性・しまり強 |
| 8 黒褐 | 19 黄褐 ロームB・黒褐混 |
| 9 暗褐 ローム粒子・B小混 粘性・しまり強 貼床 | 20 黒褐 ローム粒子・炭化物少量混 粘性強 |
| 10 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 | 21 にぶい黄褐 ローム粒子・B小、焼土粒子混合 粘性強 |
| 11 にぶい黄褐 ローム粒子多量混 | |

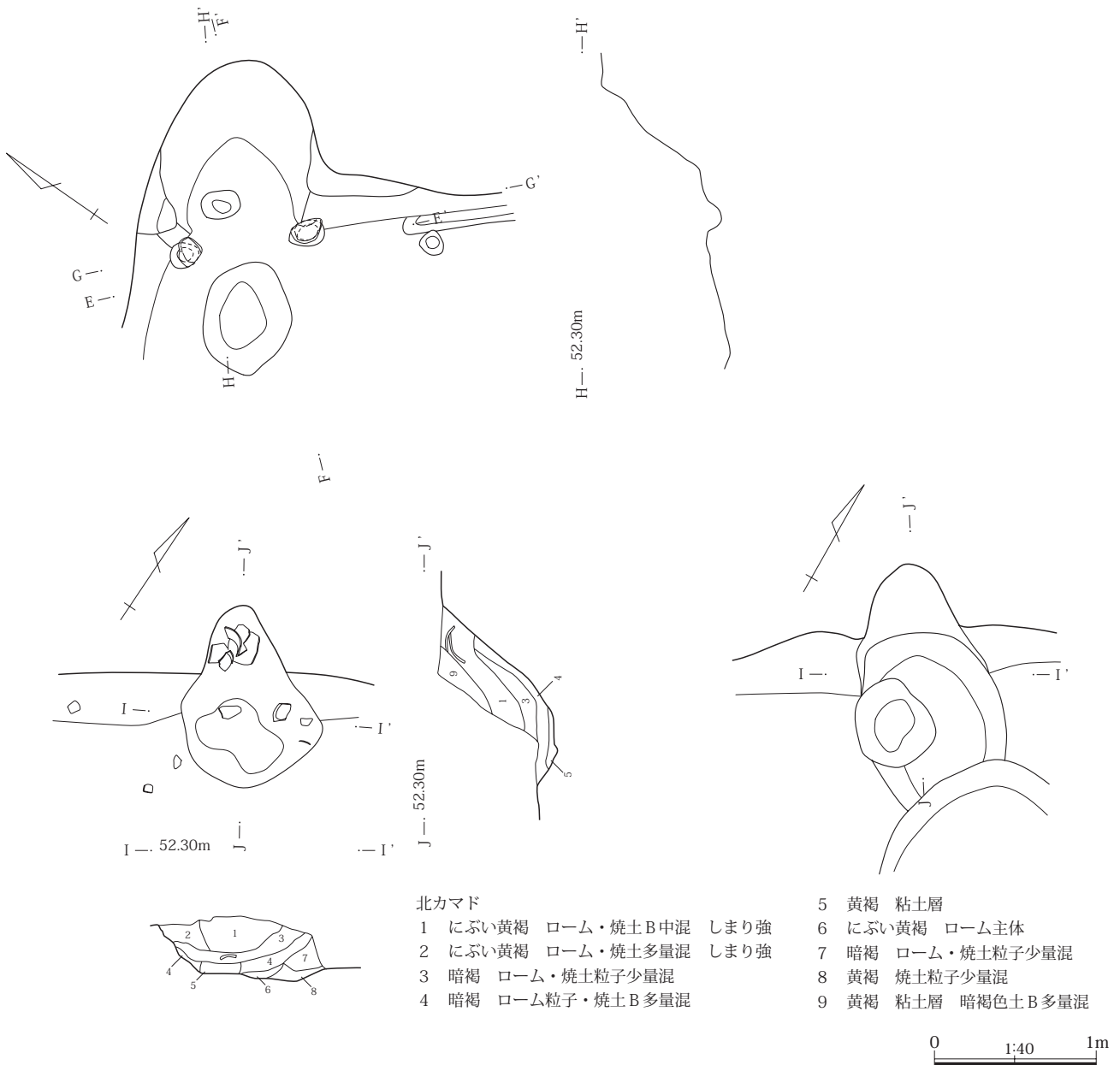


東カマド

- | | |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 1 黄褐 ロームB中多量、焼土粒子、炭化物少量混 | 13 黄褐 ロームB中多量、焼土粒子少量混 しまり強 粘土層 カマド袖 |
| 2 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 | 14 黄褐 暗褐B中少量混 |
| 3 暗褐 ローム少量、焼土・炭化物混 | 15 暗褐 ロームB中・焼土粒子少量混 しまり強 |
| 4 黄褐 ローム・粘土B混 | 16 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強 |
| 5 暗褐 ローム・粘土B中多量、炭化物少量混 | 17 にぶい黄褐 ローム粘質土・B中・焼土粒子少量混 粘性・しまり強 |
| 6 にぶい黄褐 ローム多量、焼土中量混 しまり強 | 18 暗赤褐 焼土粒子・B小多量混 粘性強 |
| 7 暗褐 ローム粒子少量、焼土粒子中量混 | 19 暗赤褐 焼土・炭化物中量混 しまり弱 |
| 8 暗褐 焼土・炭化物多量混 しまり弱 | 20 暗赤褐 焼土粒子少量混 |
| 9 赤褐 焼土層 | 21 暗褐 焼土・炭化物少量混 しまり強 |
| 10 暗褐 ローム粒子・B小、焼土粒子混 | 22 暗褐 ローム粒子・B中混 粘性・しまり強 貼床 |
| 11 黄褐 ローム主体 焼土粒子少量混 しまり強 | 23 黒褐 ローム粒子・B中混 |
| 12 暗赤褐 ローム粒子・B小中量、焼土粒子多量混 | |

0 1:40 1m

第250図 524号住居北カマド



第251図 524号住居北カマド掘り方・西カマド

525号住居 (第252図、PL72)

位置 321～325 -927～933 Gr

重複関係 14溝より旧

平面形態 隅丸方形 長辺 4.89 m 短辺 4.51 m

長辺/短辺 1.08 壁高 23cm

面積 (22.27) m² 床面積 (20.40) m²

主軸方位 N-41°-E 壁溝 なし

貯蔵穴 不明

柱穴 4基。柱1～3に柱痕または抜き取り痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。床面上に灰白色粘土塊7箇所あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で、全体的に軟弱。

遺物出土状況 中央部から東部中心で中層～床下出土。破片が床面から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。

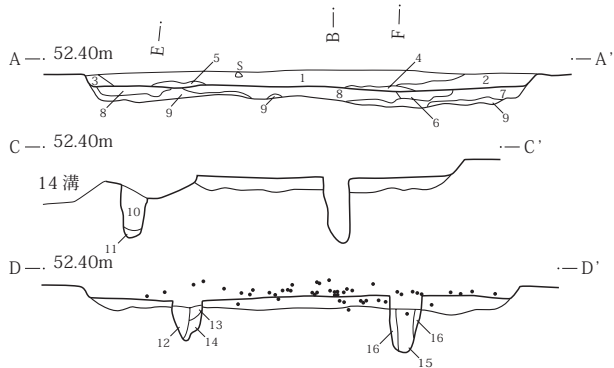
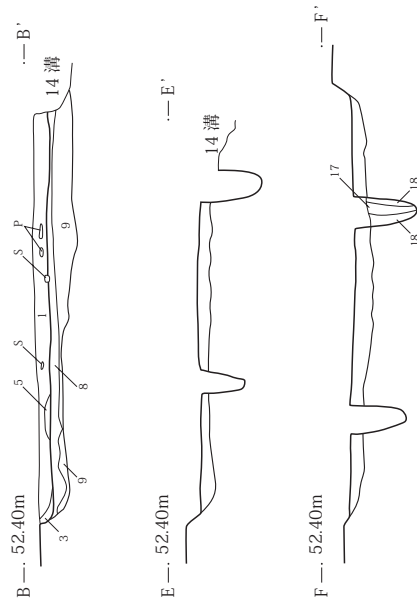
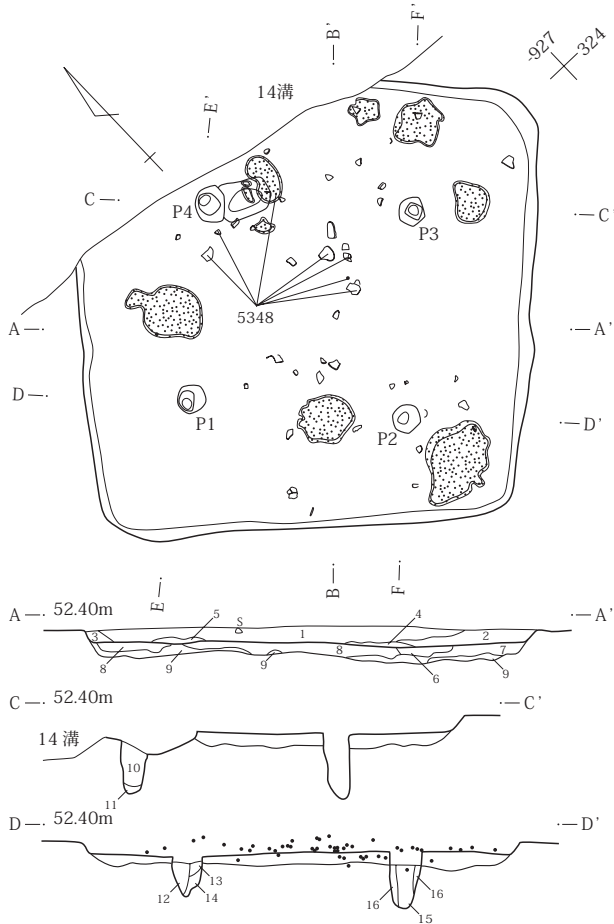
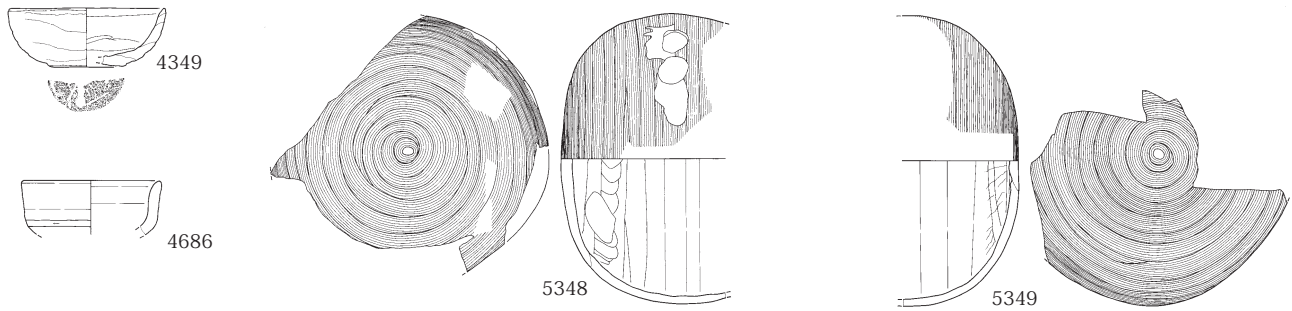
掘り方 中央部の高くなった土坑1基あり。他は細かい凹凸はあるが、全体的にほぼ平坦な掘り方。

カマド 不明

備考 重複のため北東部が不明であるが、ここにカマドがあった可能性がある。

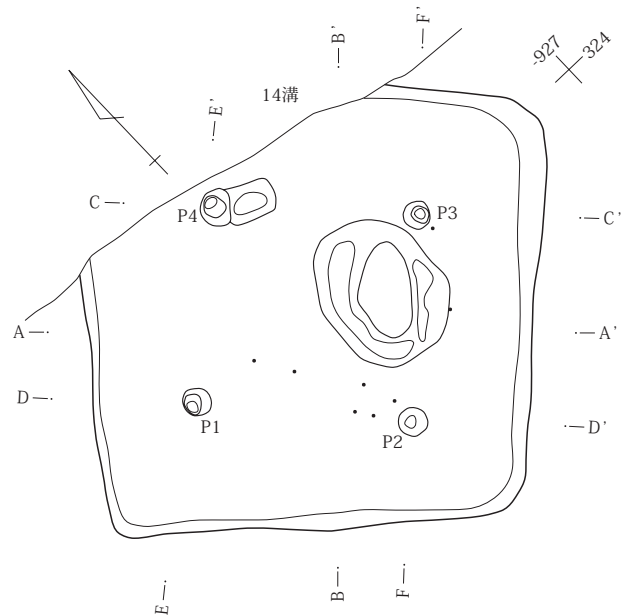
時期 完形に近い遺物が少なく時期不明。7世紀代か。

III 検出された遺構と出土遺物



525号住居

- 1 暗褐 ローム粒子少量混
- 2 黒褐 ローム粒子少量、暗褐B大混
- 3 褐 ローム粒子・B小少量混
- 4 暗褐 ローム粒子・B中少量混
- 5 灰白 粘土層
- 6 黒 ローム粒子・B少量混 しまり弱
- 7 暗褐 ローム粒子・B中量混 しまり弱
- 8 暗褐 ローム・黒褐混合
- 9 にぶい黄褐 ローム主体 黒褐土混 しまり弱
- 10 にぶい黄褐 ローム粒子・B中主体 しまり弱
- 11 黄褐 小礫混
- 12 暗褐 ローム多量混
- 13 にぶい黄褐 ローム粒子・B極多量混
- 14 にぶい黄褐 ローム粒子多量混
- 15 にぶい黄褐 ローム主体
- 16 黄褐 ローム・B中極多量混
- 17 黒褐 ローム粒子少量混
- 18 黄褐 ローム主体



0 1:80 2m

第252図 525号住居

528号住居 (第253図、PL72)

位置 311～317-942～947 Gr

重複関係 15溝より旧 平面形態 隅丸長方形

長辺 5.68 m 短辺 3.21 m

長辺/短辺 1.77 壁高 53cm

面積 (19.72) m² 床面積 (17.26) m²

主軸方位 N-23°-E

壁溝 なし 貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 焼土・褐色土を含む黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。また、南東部に黄灰色粘土層あり。

床面状態 褐色ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的に硬化。

遺物出土状況 出土量は少なく南西部上層に一部集中。破片が多く廃棄・流入遺物がほとんどか。

掘り方 北東部にピット1基あり。他は平坦な掘り方。カマド 不明

備考 床面はしっかりしているが、柱穴・壁溝等はなく、カマドもない可能性があるため、一般的な住居でない可能性もある。

時期 出土遺物少なく時期不明。

532号住居 (第254図、PL72)

位置 326～328-946～949 Gr

重複関係 514・515住より旧 516住と重複

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 [2.50] m 短辺 [0.78] m

長辺/短辺 不明 壁高 34cm 面積 [1.06] m²

床面積 [0.92] m² 主軸方位 N-64°-E

壁溝 不明 貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 ロームを含む暗褐色土。

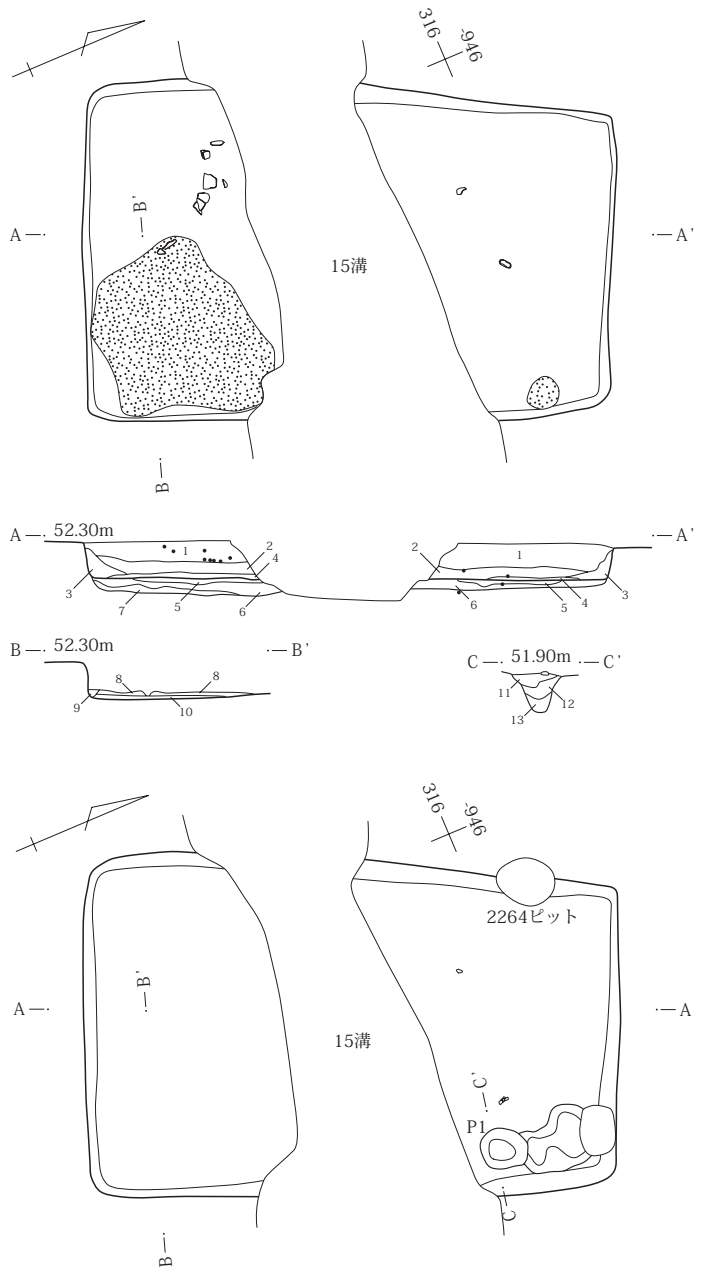
床面状態 重複により大部分不明。掘り方を床面とするか。

遺物出土状況 完形・半完形の土師器杯・鉢が床面上から出土。遺棄遺物と考えられる。4033・4034・4617は床面上の出土である。

掘り方 ピット1基あり。カマド 不明

備考 重複により大部分壊されているため詳細不明。

時期 遺棄と考えられる土師器杯等から、7世紀前半代か。



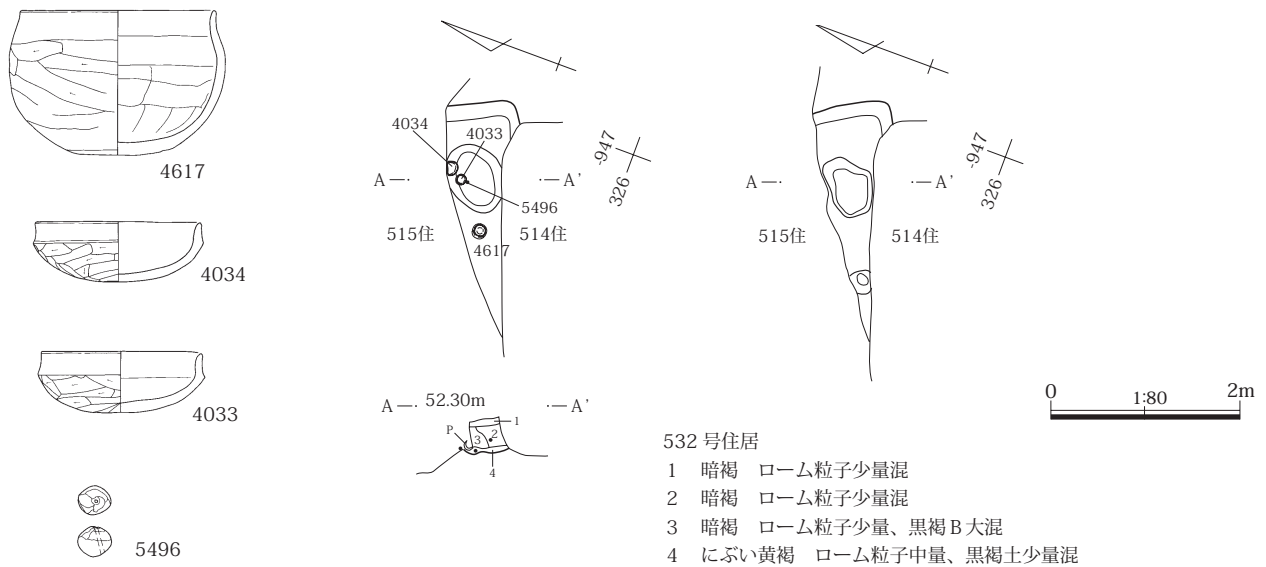
528号住居

- 1 黒褐 焼土粒子微量混
- 2 黒褐 褐色土B中混
- 3 暗褐 黒褐土・褐色土混土
- 4 黒褐 黄褐・灰白色粘土、黄色土混
- 5 黒褐 黄・灰白色粘土粒子少量混 しまり強
- 6 黒褐 褐色土ローム混 しまり強
- 7 黒褐 褐色土ローム・黒褐色土混土 しまり強
- 8 黄灰 粘土層
- 9 黒褐 灰白色粘土粒子少量混
- 10 黒褐 粘土粒子・褐色土少量混
- 11 黒褐 ローム粒子少量混 粘性強
- 12 黒褐 ローム・焼土粒子少量混 粘性強
- 13 黒褐 ローム粒子・B小混 粘性強

0 1:80 2m

第253図 528号住居

III 検出された遺構と出土遺物



第254図 532号住居

535号住居 (第255～257図、PL72・73)

位置 331～337 -939～944 Gr

重複関係 524住より旧 543住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 4.50 m

短辺 4.49 m 長辺/短辺 1.00 壁高 56 cm

面積 (19.60) m² 床面積 (14.55) m²

主軸方位 N-22°-W

壁溝 西壁～北壁～東壁。南壁不明。

貯蔵穴 カマド右脇。平面形態は楕円形で、断面形態は台形。

柱穴 4基。柱3に柱痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 焼土・ロームを含む黒褐色土で貼床。ほぼ平坦で、中央部から東部を中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面で上層～床面出土。破片が床面

から浮いた状態のものが多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。カマド前の須恵器杯 (4734) は床面上の出土で遺棄遺物か。

掘り方 中央～北部が一段下がり、さらに北西部に土坑状掘り込みが数基重なって検出されている。他にピット数基あり。他の部分は平坦な掘り方。

カマド

位置 335～337 -941・942 Gr

壁位置 北壁東

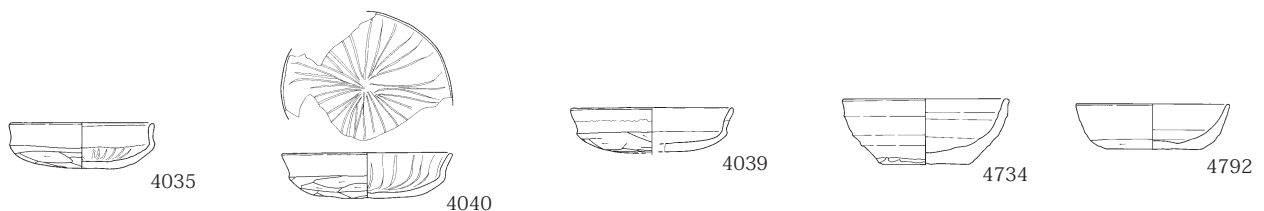
全長 1.20 m 幅 1.14 m

主軸方位 N-14°-W

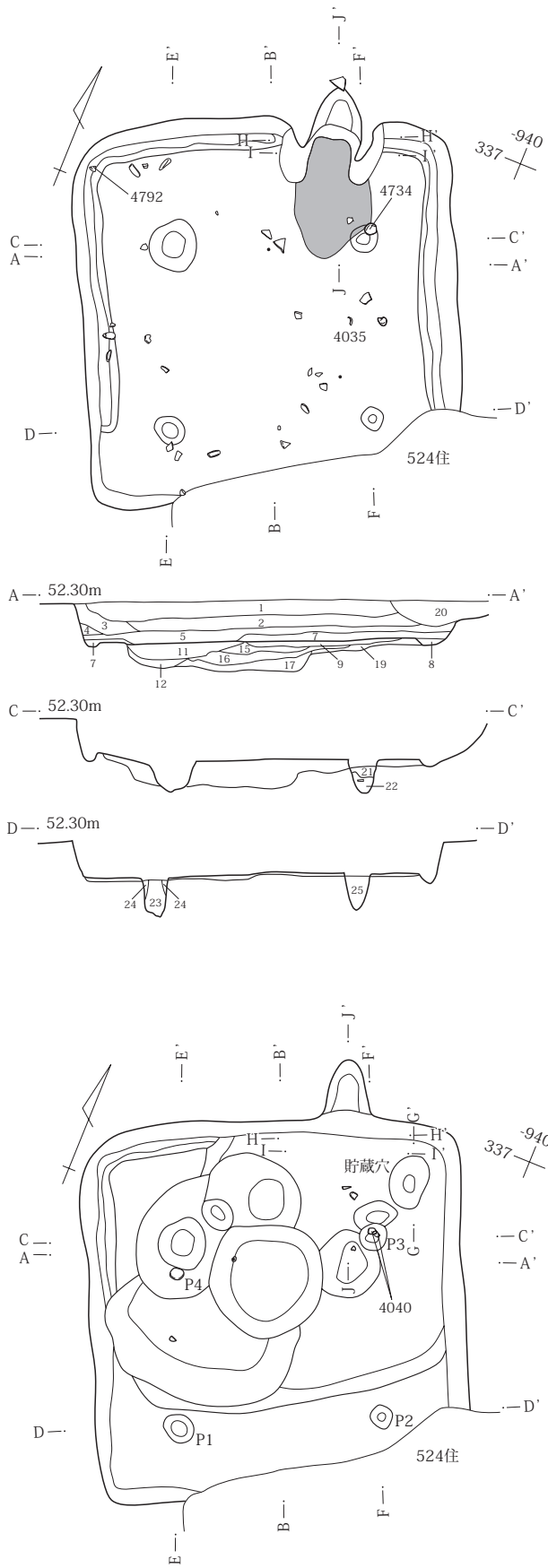
構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面は平坦で灰層は見られないが、焼土層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。

遺物出土状況 破片が少量出土したのみ。

時期 遺棄と考えられる遺物等から、8世紀第1～第2四半期か。



第255図 535号住居出土遺物



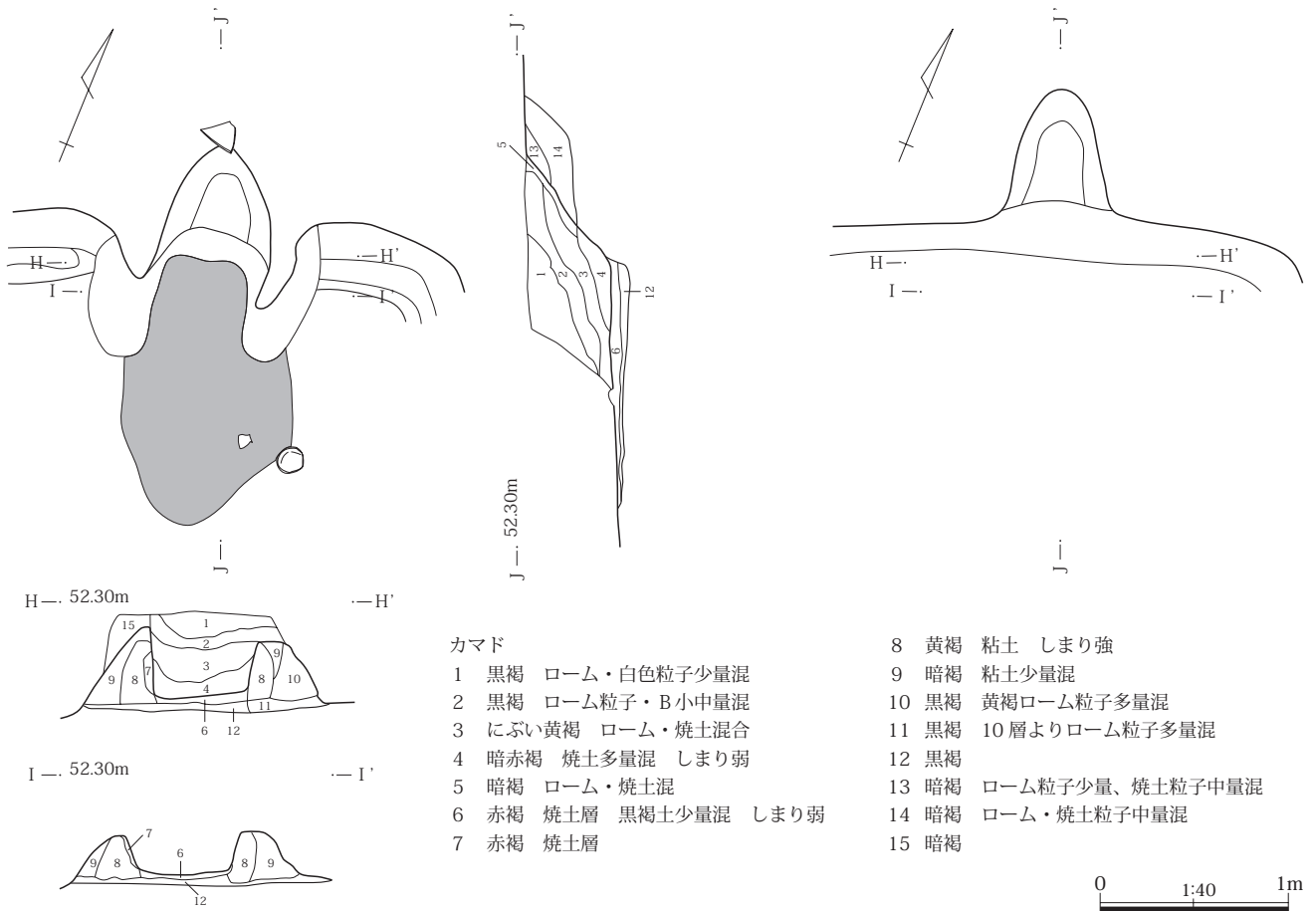
535号住居

- 1 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐色 ローム・焼土粒子、黒褐色B少量混
- 3 暗褐色 ローム粒子・B少量混
- 4 黒褐色 ローム粒子微量混
- 5 黒褐色 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 6 黒褐色 ロームB・焼土微量混
- 7 黒褐色 ロームB・焼土少量混 粘性・しまり強
- 8 黒褐色 ローム少量混
- 9 黒褐色 ローム・焼土粒子混 しまり強 貼床
- 10 黒褐色 焼土粒子少量 しまり強
- 11 黒褐色 ローム粒子少量混
- 12 黒褐色 焼土粒子少量混 粘性強
- 13 暗褐色 ロームB・焼土混 粘性強
- 14 暗褐色 ロームB多量混 粘性強
- 15 黒褐色 ローム・焼土混 しまり強
- 16 黒褐色 ロームB少量混 粘性強
- 17 黒褐色 ロームB中量混 粘性強
- 18 黒褐色 ロームB大少量混 しまり強
- 19 黒褐色 しまり強
- 20 暗褐色 ローム・焼土粒子少量混 別遺構埋土
- 21 黒褐色 ローム粒子少量混
- 22 黒褐色・ロームB混土 粘性強
- 23 黒褐色 ローム粒子・B混 しまり弱
- 24 黒褐色 ローム少量混 しまり強
- 25 黒褐色 ローム粒子・B混 しまり弱
- 26 黒褐色 ロームB中(灰白・黄・褐色)混
- 27 黒褐色 ローム粒子少量混



第256図 535号住居使用面・掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第257図 535号住居カマド

536号住居 (第258・259図、PL73)

位置 323~330 -938~944 Gr

重複関係 524住・14溝より旧 543住より新

平面形態 隅丸方形 長辺 (5.00) m

短辺 (4.98) m 長辺/短辺 (1.00)

壁高 25cm 面積 (24.12) m²

床面積 (22.48) m² 主軸方位 N-43°-W

壁溝 なし 貯蔵穴 不明 柱穴 4基

埋没土 焼土を含む黒褐色土。

床面状態 黒褐土で貼床。ほぼ平坦で全体的に強く硬化。

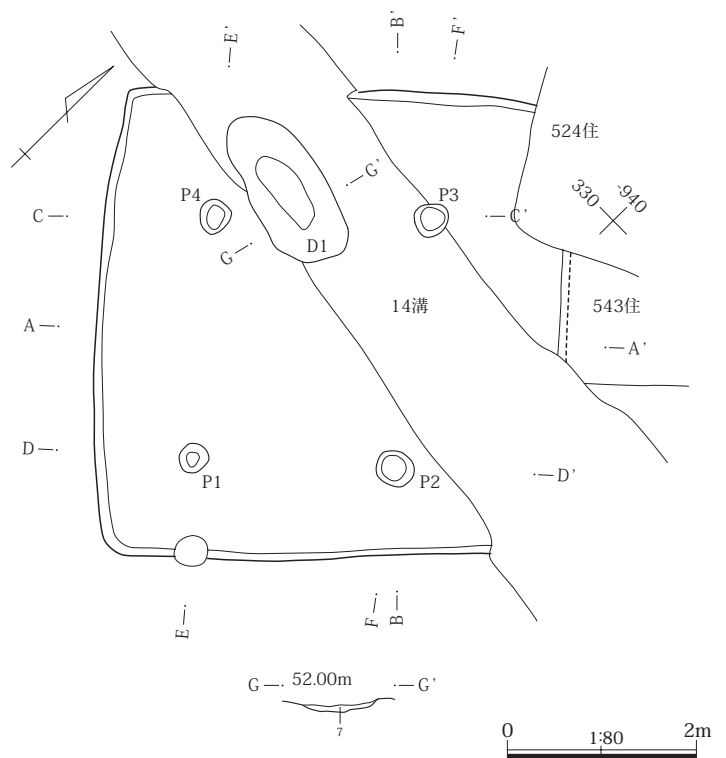
遺物出土状況 出土量は少なく、破片が埋土中に散在。

掘り方 床下土坑1基。他は平坦な掘り方。

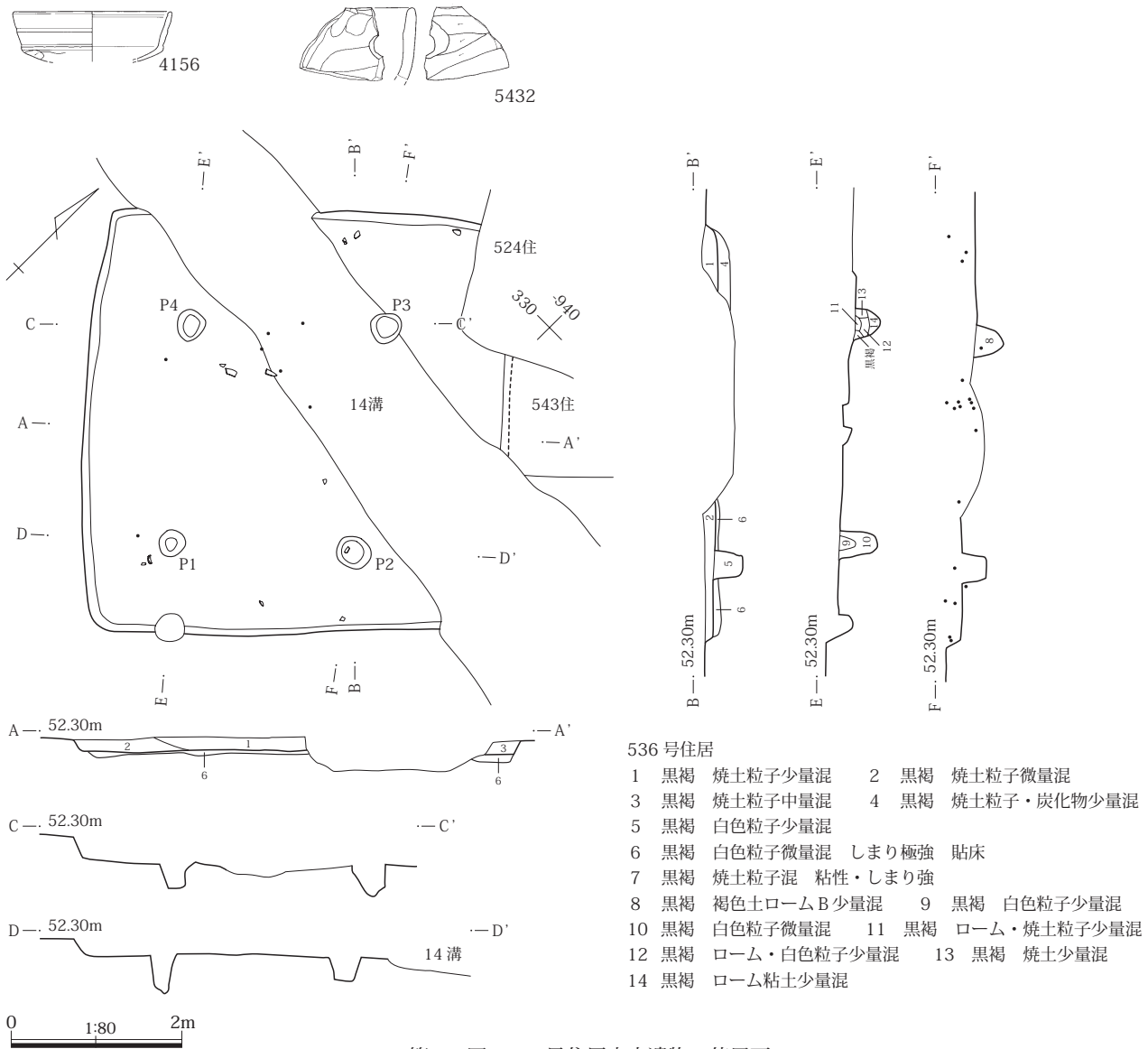
カマド 不明

備考 重複により、北壁東壁を大きく壊されており、ここにカマドがあった可能性がある。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から、8世紀後半以前。



第258図 536号住居掘り方



第259図 536号住居出土遺物・使用面

539号住居 (第260・261図、PL73・74)

位置 339～344 -940～945 Gr

重複関係 540・541・544住より新

平面形態 隅丸長方形 長辺 4.70 m

短辺 3.41 m 長辺/短辺 1.38

壁高 68cm 面積 15.60㎡ 床面積 10.43㎡

主軸方位 N-27°-W 壁溝 カマド及び東壁南部を除き全周。貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む黒褐色土で部分的に貼床。ほぼ平坦で南東部を中心に硬化。

遺物出土状況 ほぼ全面から出土し、中層～床面中心。半完形のものもあるが、破片が中心で床面から浮

いた状態のものも多く、廃棄・流入遺物がほとんどか。4256・4258は床面上の出土である。

掘り方 西部・東部が下がり、中央が高くなる掘り方。床下土坑・土坑状掘り込み・ピット数基あり。

カマド

位置 342～344 -943・944 Gr

壁位置 北壁やや西 全長 1.29 m

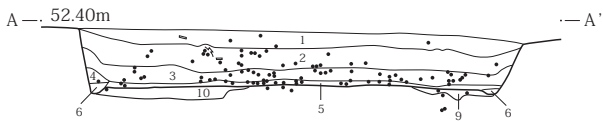
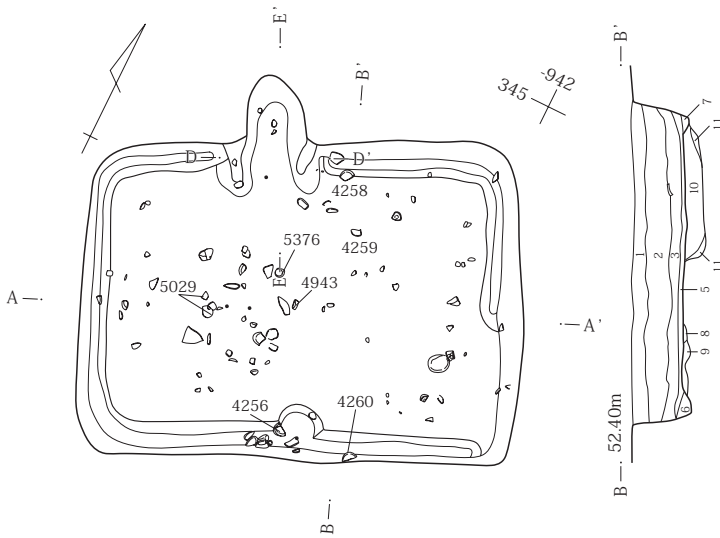
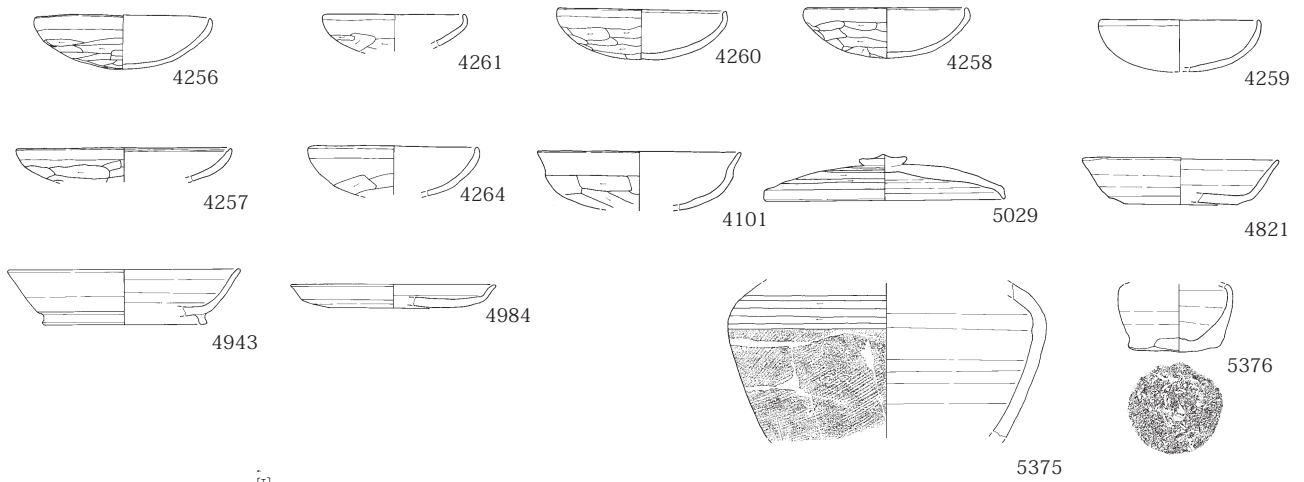
幅 1.09 m 主軸方位 N-30°-W

構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦であるが燃烧部でややくぼむ。灰層あり。燃烧部奥壁はやや急に立ち上がる。

遺物出土状況 土師器片が少量出土。

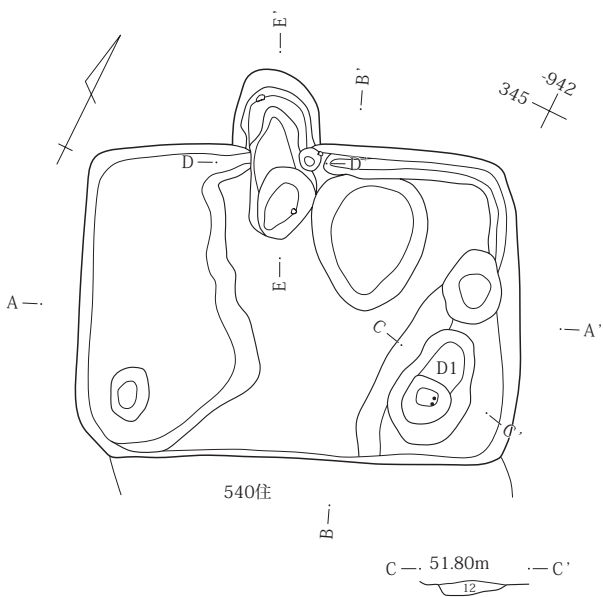
時期 遺棄と考えられる遺物は少ないが、図示された遺物から、8世紀第2四半期か。

III 検出された遺構と出土遺物

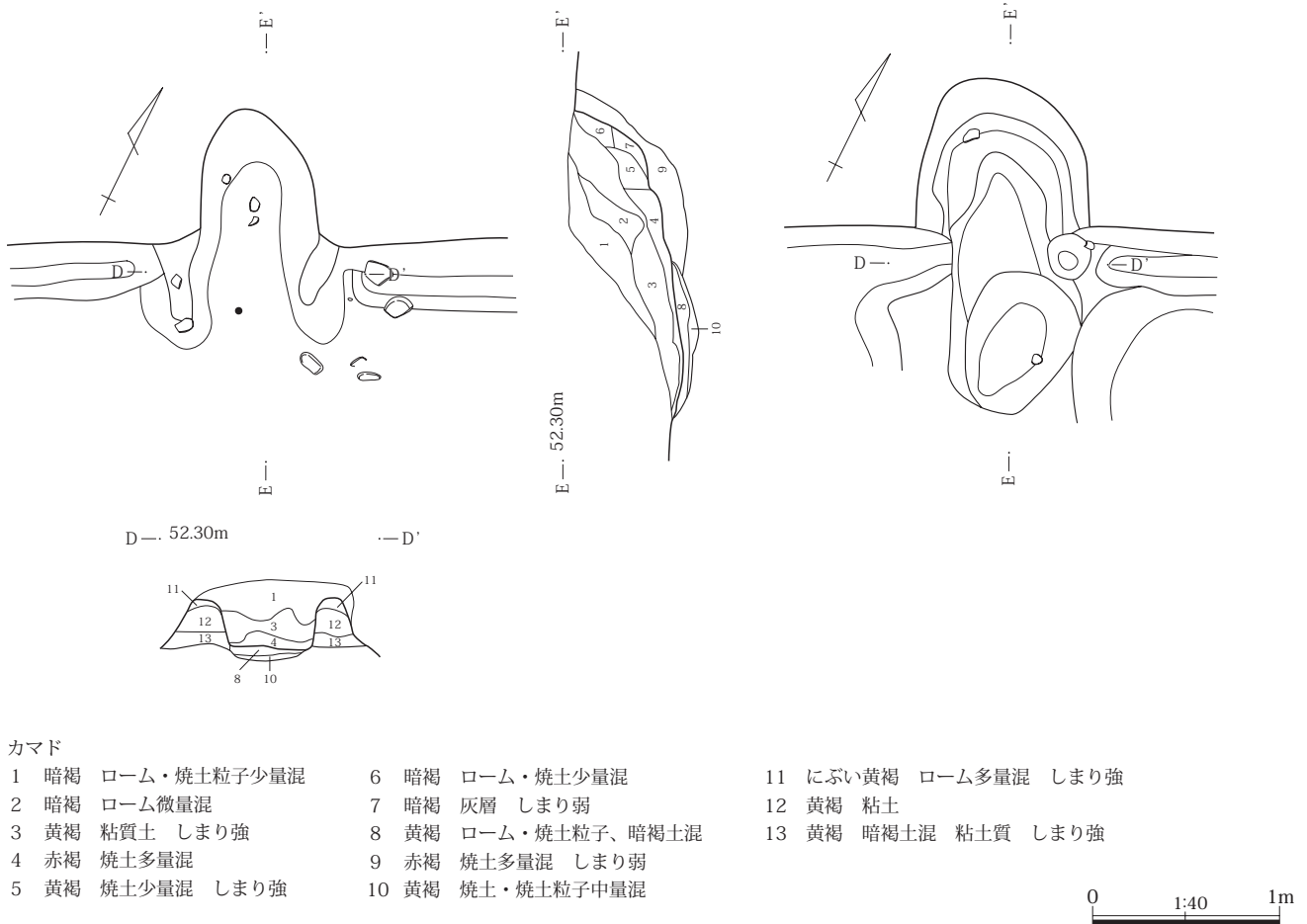


539号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子多量混
- 3 暗褐 炭化物・黒褐土混
- 4 黒褐 ローム粒子・B少量混
- 5 暗褐 ローム・焼土粒子中量混 粘性強
- 6 にぶい黄褐 ローム粒子・B多量混
- 7 黒褐 粘性強
- 8 褐 (7.5YR4/4) 焼土多量 暗褐土B少量混 しまり強
- 9 黒褐 (10YR2/3) ロームB中・焼土粒子少量混 しまり強 貼床
- 10 暗褐 (10YR3/3) ロームB極多量、焼土粒子少量混
- 11 にぶい黄褐 (10YR4/3) 地山B中多量混
- 12 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B中量混



第260図 539号住居出土遺物・使用面・掘り方



第261図 539号住居カマド

540号住居 (第262・263図、PL74)

位置 337～341 -939～944 Gr

重複関係 539住より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 3.94 m 短辺 [2.71] m

長辺/短辺 不明 壁高 67cm

面積 [9.22] m² 床面積 [7.18] m²

主軸方位 N-40°-W 壁溝 南東隅部を除いて残存部分全周。貯蔵穴 不明

柱穴 4基。柱1・2に柱痕あるか。

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。壁際に三角堆積あり。

床面状態 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土で部分的に貼床。ほぼ平坦で中央部を中心に硬化。

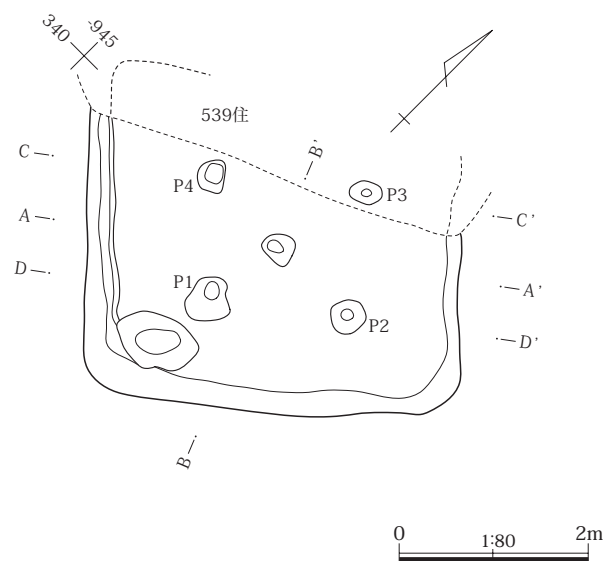
遺物出土状況 出土量は少なく、破片が埋土中に散在

掘り方 ピット2基あり。他はほぼ平坦な掘り方。

カマド 不明。北壁にあったか。

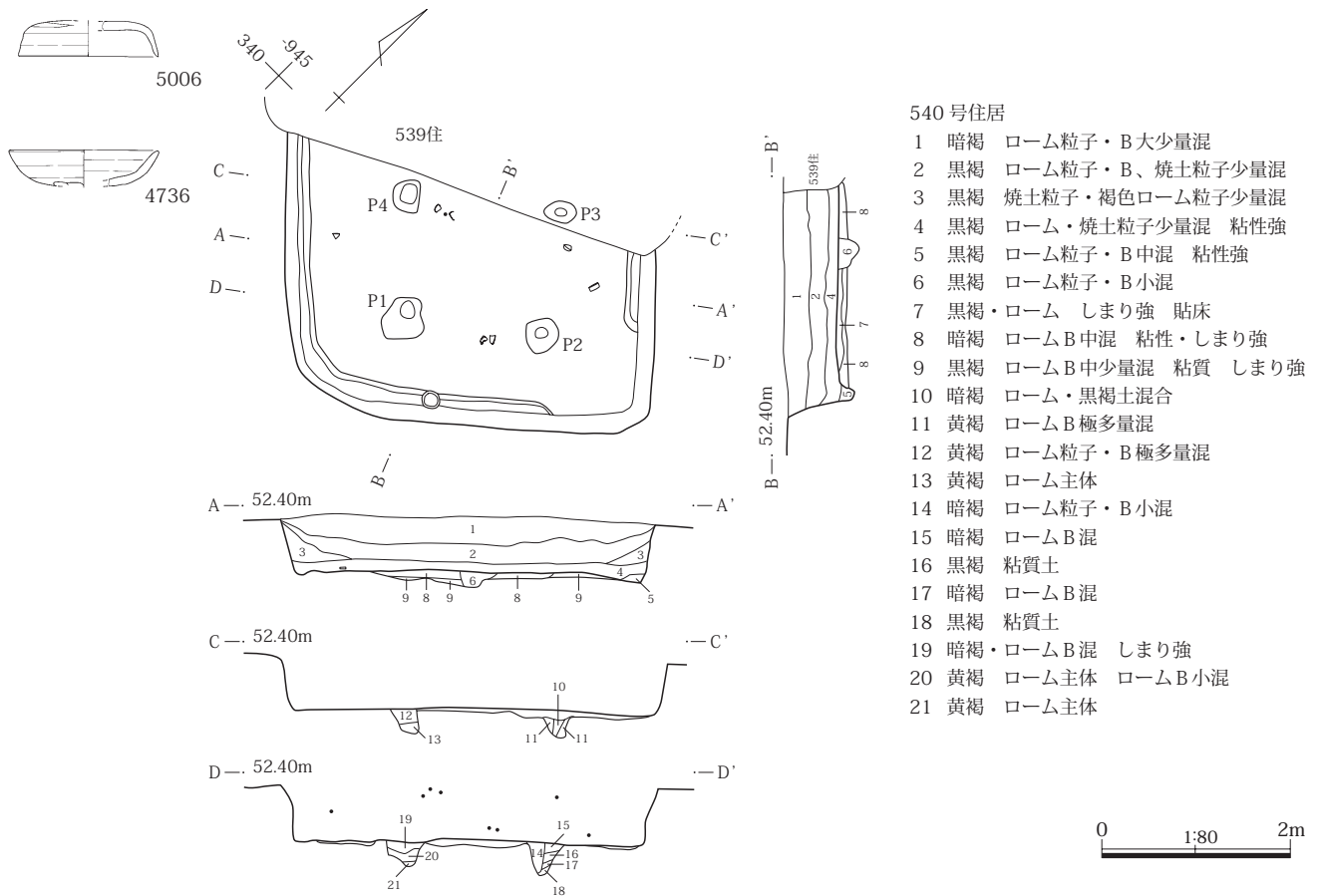
備考 重複により北部が壊されているため、ここにカマドがあった可能性が高い。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から、8世紀前半以前。



第262図 540号住居掘り方

III 検出された遺構と出土遺物



第263図 540号住居出土遺物・使用面

541号住居 (第264・265図、PL74)

位置 338～344 -945～950 Gr

重複関係 432・539住より旧 661土坑、2573・2577・2579・2597・2598ピット

平面形態 隅丸方形 長辺 4.73 m

短辺 4.62 m 長辺/短辺 1.02 壁高 19cm

面積 (21.49) m² 床面積 (18.96) m²

主軸方位 N-41°-W 壁溝 なし

貯蔵穴 なし 柱穴 なし

埋没土 ロームを含む暗褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。南西部に黄白色粘土層あり。

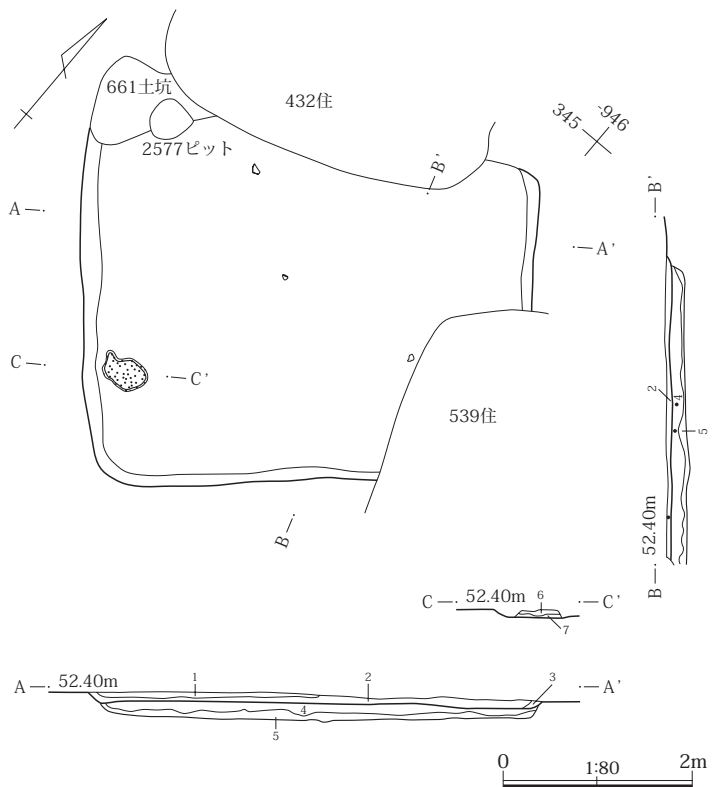
床面状態 ロームを含む暗褐色土・黒褐色土で全面貼床。ほぼ平坦で全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 出土量は少なく、破片が埋土中に散在。

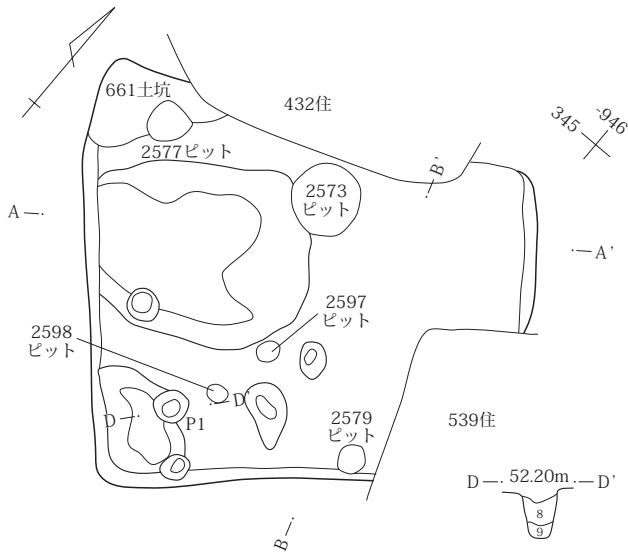
掘り方 土坑状掘り込み2基、ピット数基あり。

カマド 不明。北壁にあったか。

備考 規模は比較的大きいが、柱穴・壁溝等の施設はなく、床面も軟弱であるため、一般的な住居ではない可能性もある。 時期 出土量少なく時期不明。重複関係から、8世紀前半以前。



第264図 541号住居使用面



541号住居

- 1 暗褐 黒褐色土・黄白色粘土粒子混
- 2 暗褐 ローム粒子・褐色土少量混
- 3 黒褐 白色土粒子混 しまり強
- 4 黒褐 (10YR2/3) ロームB中中量混 貼床
- 5 暗褐 (10YR3/3) 黒褐B中少量混 貼床
- 6 暗褐 黄白色粘土B大混
- 7 暗褐 ローム少量混
- 8 黒褐 (10YR3/2) ローム土少量混 しまり弱
- 9 褐 (10YR4/4) ローム土主体 粘性・しまり強

第265図 541号住居掘り方

543号住居 (第266図、PL74)

位置 328～331 - 937～943 Gr

重複関係 522・524・535・536住、14溝より旧

平面形態 隅丸方形または隅丸長方形

長辺 (5.05) m 短辺 [3.40] m

長辺/短辺 不明 壁高 31cm 面積 [19.33] m²

床面積 [17.83] m² 主軸方位 N-45°-W

壁溝 残存部分なし。貯蔵穴 不明 柱穴 不明

埋没土 焼土を含む黒褐色土。

床面状態 黒褐色土で貼床。全体的に硬化か。

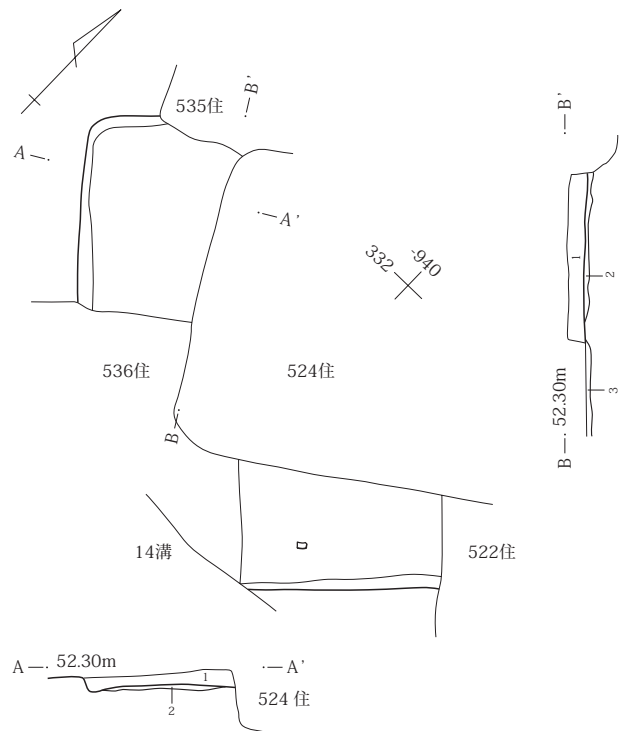
遺物出土状況 出土量は少なく、破片が埋土中に散在

掘り方 平坦な掘り方。

カマド 不明

備考 重複により大部分壊されており、詳細不明。

時期 出土遺物少なく時期不明。重複関係から、8世紀中葉以前。



543号住居

- 1 黒褐 焼土・白色粒子少量混
- 2 黒褐 白色粒子少量混 しまり極強 貼床
- 3 黒褐 焼土粒子少量混

第266図 543号住居

544号住居 (第267・268図、PL74・75)

位置 342～347 - 939～945 Gr

重複関係 539住より旧 平面形態 隅丸方形

長辺 5.05 m 短辺 4.77 m 長辺/短辺 1.06

壁高 32cm 面積 (23.47) m²

床面積 (19.81) m² 主軸方位 N-33°-W

壁溝 北西隅・北東隅・南東隅に存在

貯蔵穴 カマド左脇。平面形態は楕円形で、断面形態は半円形。

柱穴 4基? 南東部は重複により不明。3基検出。いずれの柱穴にも柱痕あるか。

埋没土 ローム・焼土を含む暗褐色土・黒褐色土・褐色土。外側に向かってあがるレンズ状堆積。

床面状態 ロームを含む暗褐色土で貼床。ほぼ平坦で全体的にやや軟弱。

遺物出土状況 出土量は多くほぼ全面から出土。中層～

III 検出された遺構と出土遺物

床面中心。完形の遺物は少ないが、半完形のものや破片が接合したものはかなりある。遺棄遺物は少なく、廃棄・流入遺物が多いか。4352・4421・4422は床面上の出土である。

掘り方 細かい凹凸はあるが、全体的にはほぼ平坦な掘り方。

カマド

位置 345・346-942・943 Gr

壁位置 北壁やや東

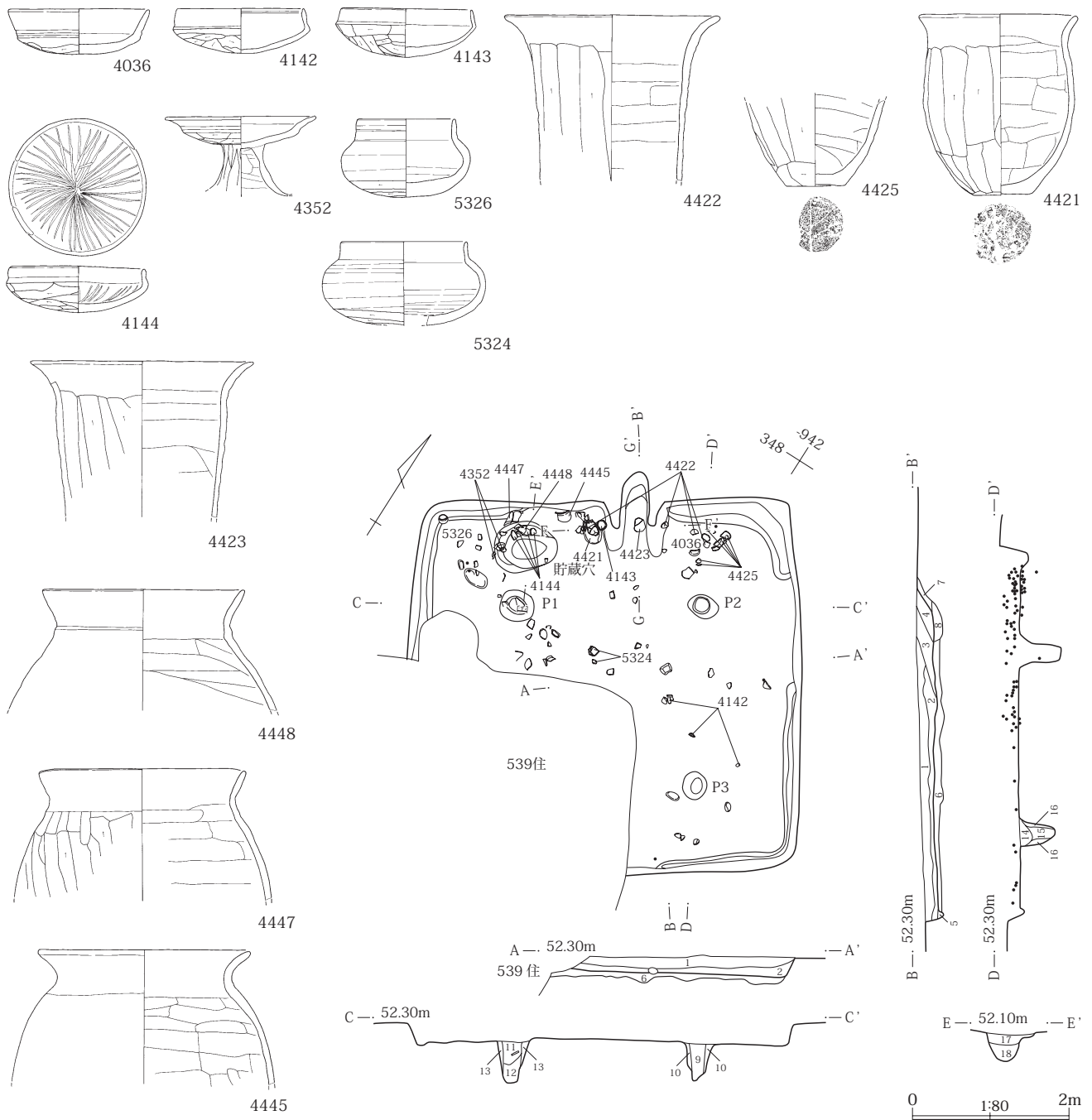
全長 1.05 m 幅 0.81 m

主軸方位 N-25°-W

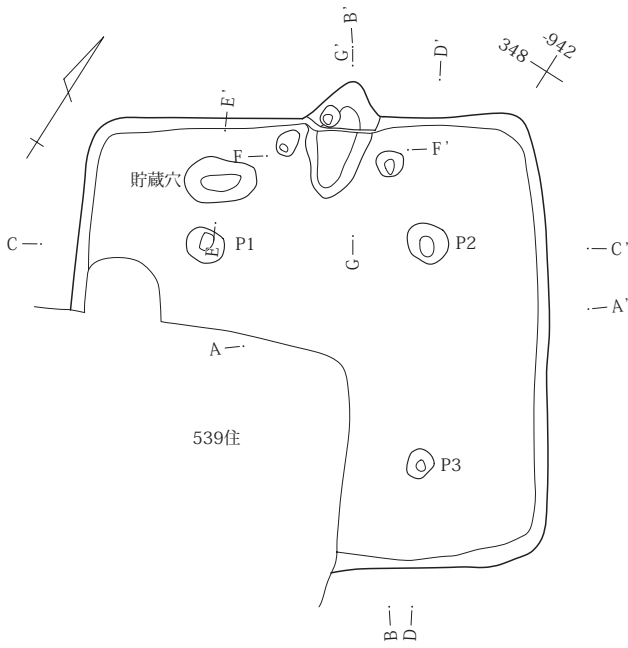
構築 黄褐色粘土で袖を構築。焚口部・燃烧部底面はほぼ平坦で、灰層あり。燃烧部奥壁はなだらかに立ち上がる。掘り方でカマド両脇にピット検出。

遺物出土状況 燃烧部から土師器甕出土。

時期 遺棄と考えられる遺物は少ないが、図示された遺物から、6世紀後半代か。

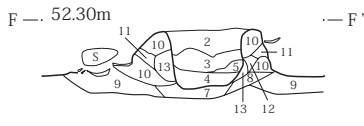
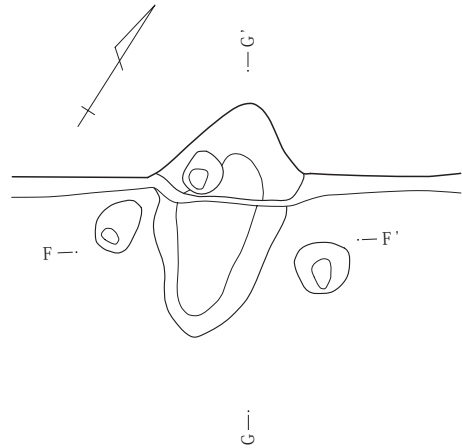
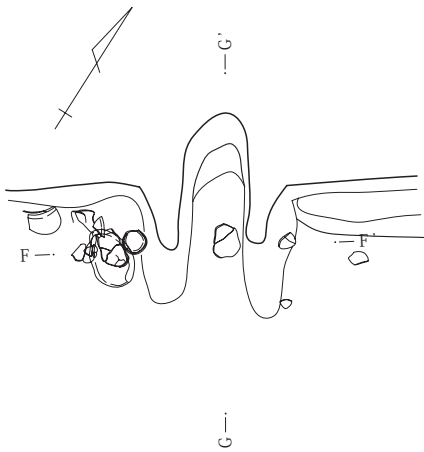
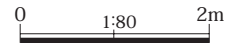


第267図 544号住居出土遺物・使用面



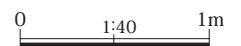
544号住居

- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 ローム粒子・B混
- 3 暗褐 ローム・焼土粒子中量混
- 4 褐 ローム粒子・B多量混
- 5 黒褐 ローム・焼土粒子少量混
- 6 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 7 にぶい黄褐 暗褐土少量混
- 8 にぶい黄褐 暗褐土中量混
- 9 黒褐 ローム粒子中量混 しまり弱
- 10 黒褐 ローム粒子・B中多量混 しまり強
- 11 黒褐 ローム粒子中量混 砂質 しまり弱
- 12 にぶい黄褐 ローム粒子・B極多量混 しまり弱
- 13 にぶい黄褐 ロームB極多量混 しまり強
- 14 黒褐 白色粒子少量混
- 15 黒褐 ローム粒子微量混
- 16 黒褐 ローム粒子少量混 しまり強
- 17 暗褐 ローム・焼土粒子混 しまり弱
- 18 黄褐 ローム主体 暗褐土少量混 しまり弱



カマド

- 1 暗褐 ローム粒子・B小、焼土混
- 2 黄褐 粘土層 焼土少量、暗褐土混 しまり強
- 3 暗褐 ローム・焼土・灰混土
- 4 暗赤褐 焼土・灰混土
- 5 暗赤褐 焼土層
- 6 暗灰 灰層 焼土混 しまり弱
- 7 暗褐 ローム粒子・焼土混
- 8 黄褐 ローム主体 焼土粒子・暗褐土混
- 9 暗褐 ハードロームB中少量混 砂質
- 10 黄褐 粘土層 しまり強
- 11 黄褐 粘土 しまり強
- 12 暗赤褐 ローム粘土・焼土混 しまり強
- 13 赤褐 焼土層



第268図 544号住居掘り方・カマド

掘立柱建物 (第 269 ~ 276 図、PL75・76)

掘立柱建物は 12 棟検出されている。

- ①分布 調査区西部に 9 棟集中しており、東部に 2 棟、そのほぼ中間に 1 棟存在している。遺跡全体で見ると、調査区東部に 8 棟、中央やや東寄りに 5 棟、西部に 10 棟と大きく 3 群に分かれている (東から 1・2・3 群とする)。
- ②形態・規模 全体の形状が判明するものは 8 棟で、2 間×2 間総柱 3 棟、2 間×3 間側柱 3 棟、2 間×3 間総柱 1 棟、2 間×4 間側柱 1 棟となっており、全体が判明しないものも含めて、側柱が 6 棟、総柱が 6 棟である。3・4 区は側柱が 7 棟、総柱が 4 棟であるため、3・4 区より総柱が多くなっている。遺跡の総計で見ると、側柱が 13 棟、総柱が 10 棟でほぼ同数となっている。遺跡全体の各群で見ると、1 群が側柱 5 棟総柱 3 棟、2 群が側柱 2 棟総柱 3 棟、3 群が側柱 6 棟総柱 4 棟となり、2 群が総柱の割合が最も高くなっている。規模は、長辺 10.16 ~ 3.38 m 平均 5.97 m、短辺 6.12 ~ 3.21 m 平均 4.77 m、面積 60.14 ~ 10.84 m² 平均 33.01 m² となっている。
- ③主軸方位長辺の方向を主軸とする。南北を向くものが 8 棟で東西を向くものが 4 棟である。北から 18° ~ 40° の間で西 (東西を向くものは短辺方向) に振れて第 6 表 掘立柱建物一覧表

No.	位置 (Gr)	重 複	長辺 m	短辺 m	長辺/ 短辺	面積 m ²	主軸方位	ピット	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10
8	346-351-007-011		4.15	3.84	1.08	13.86	N-72°-W	長径 cm	63	55	77	53	55	58	61	56	52	
								短径 cm	62	50	48	48	45	57	55	54	48	
								深さ cm	28	39	34	36	23	27	31	46	39	
9	356-359-005-010		3.82	[3.63]		[13.75]	N-34°-E	長径 cm	85	85	96	90	84	83				
								短径 cm	[49]	80	88	88	70	[38]				
								深さ cm	37	43	59	53	55	54				
12	347-351-010-012		3.64	[1.83]		[6.66]	N-18°-E	長径 cm	57	46	61	51	39					
								短径 cm	47	45	48	32	36					
								深さ cm	23	23	31	23	26					
13	351-359-992-001	195 住居	7.13	5.05	1.41	36.00	N-60°-E	長径 cm	63	43	65	70	58	73	60	51	69	64
								短径 cm	(48)	37	45	60	53	59	59	45	61	48
								深さ cm	30	25	19	44	34	54	38	15	49	19
14	355-358-980-984	629 ピット	[3.00]	[2.96]		[8.88]	N-21°-W	長径 cm	71	63	57							
								短径 cm	60	58	55							
								深さ cm	71	65	76							
15	353-359-976-984		[6.87]	5.67		[38.95]	N-28°-W	長径 cm	68	61	73	77	76	68				
								短径 cm	65	61	65	65	70	[44]				
								深さ cm	47	40	43	78	93	23				
17	322-331-983-992	2048 ピット	7.97	6.12	1.30	48.77	N-33°-W	長径 cm	103	130	102	101	118	110	115	135	108	135
								短径 cm	98	100	94	99	89	96	84	103	93	89
								深さ cm	56	61	69	48	55	51	60	47	58	40
18	333-343-987-997		9.23	5.91	1.56	54.54	N-50°-W	長径 cm	91	68	76	85	80	83	91	91	135	86
								短径 cm	87	65	70	69	80	79	80	79	72	65
								深さ cm	73	46	77	87	73	75	74	79	91	63
19	322-332-980-991	990・2035・2036・2182・2183 ピット	10.16	5.92	1.72	(60.14)	N-30°-W	長径 cm	65	78	93	85	93	(98)	97	90	88	
								短径 cm	48	64	64	79	82	(88)	93	80	83	
								深さ cm	44	26	35	42	46	42	40	39	38	
20	335-342-950-957	441 住居、2609・2721・2722・2120 ピット	6.45	4.15	1.55	(26.76)	N-69°-E	長径 cm	61	63	73	70	72	66	65	(68)	72	
								短径 cm	60	61	55	53	66	58	60	(55)	63	
								深さ cm	63	57	56	50	50	41	50	51	54	
22	324-329-912-916	2347 ピット	3.75	3.52	1.07	13.20	N-26°-E	長径 cm	40	45	65	39	44	39	38	35	40	
								短径 cm	37	36	52	33	42	33	35	31	34	
								深さ cm	42	29	30	43	29	26	46	47	33	
24	321-325-913-917		3.38	3.21	1.05	10.84	N-34°-E	長径 cm	39	37	31	38	40	(39)	34	34	(36)	
								短径 cm	34	32	28	31	33	(31)	25	31	(31)	
								深さ cm	14	25	13	25	30	27	38	47	10	

いる。遺跡全体で見ると、南北が 16 棟、東西が 7 棟で、南北を向くものが圧倒的に多くなっている。さらに細かく見ると、北から北西にかけてと北から北東にかけて、北東から西にかけて集中しており、特に北から北西にかけてのものが多くなっている。

- ④柱穴 柱穴の規模を建物ごとの平均で見ると、長径 116 ~ 36cm 平均 69cm、短径 95 ~ 31cm 平均 60cm、深さ 74 ~ 25cm 平均 47cm で、各建物で規模に大きな差がある。

柱痕または抜き取り痕のある柱穴は、8 号 P4・P8、13 号 P4・P7、14 号 P1・P2、15 号 P5、17 号 P1・P2・P7、18 号 P1・P3・P5、19 号 P5、20 号 P2・P3・P6 ~ 9、22 号 P1・P6・P8、24 号 P5・P7 であり、12 棟中 10 棟、柱穴総数 95 基中 25 基で、26% の柱穴から検出されている。

柱間距離は、3.38 m ~ 1.22 m と、最大と最小で 3 倍近い差がある。各建物の平均で見ると、2.66 m ~ 1.42 m 平均 1.99 m でそれでも 2 倍近い差があり、これも各建物で大きな差が出ている。

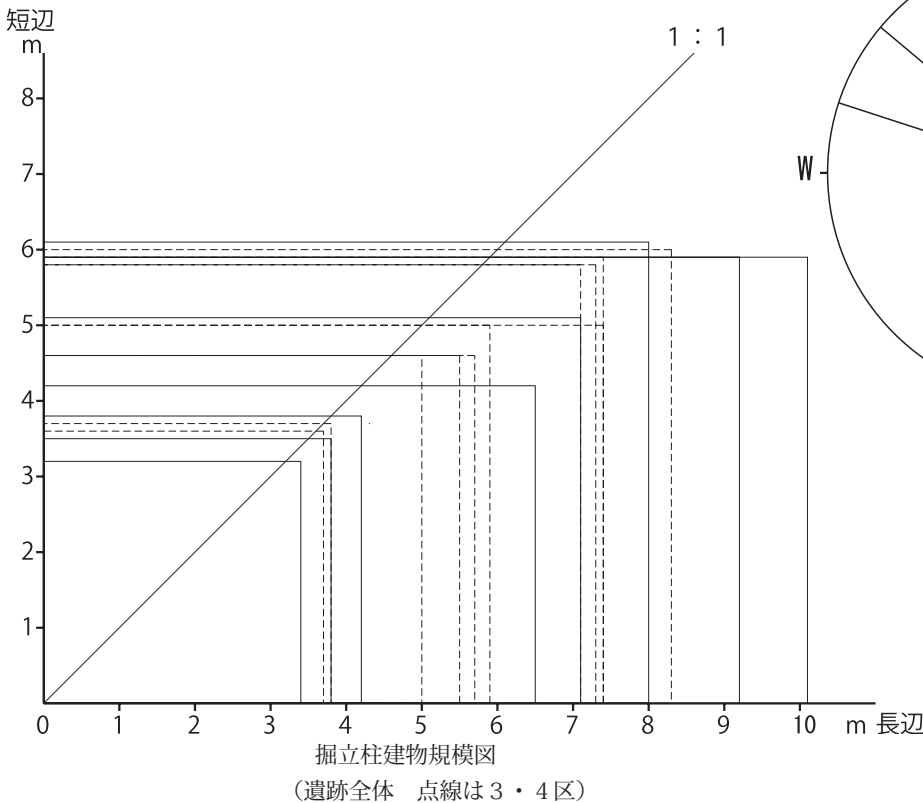
- ⑤時期 出土遺物が少ないため、詳細な時期は不明である。竪穴住居との重複関係や出土遺物から、8 世紀以降のものが多いと考えられる。

第7表 掘立柱建物柱間計測表

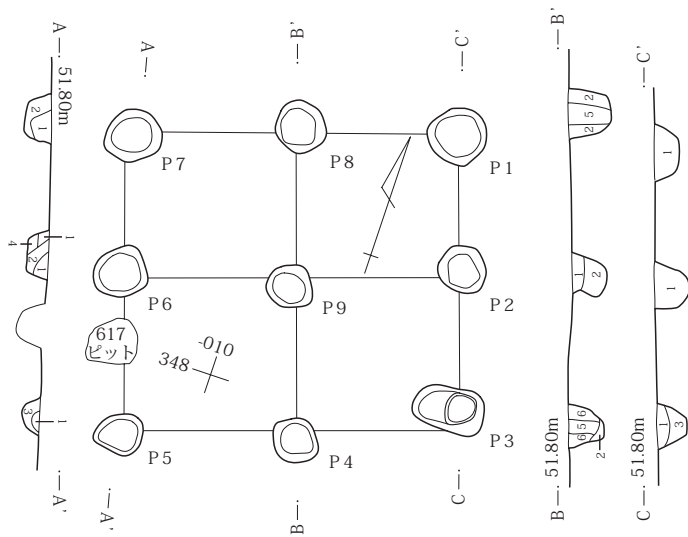
No.	柱間	柱間距離									
		P1-P2	P2-P3	P3-P4	P4-P5	P5-P6	P6-P7	P7-P8	P8-P9	P9-P10	P10-P1
8	2×2間総柱	1.50	1.60	1.75	1.80	1.60	1.50	1.80	P8-P1 1.70		
9	2～×2～間総柱	1.30	1.40	1.70	1.50						
12	2～×1～間総柱	1.65	1.50	—	1.60	P5-P1 1.45					
13	2×3間側柱	1.90	2.25	2.20	2.20	2.20	2.20	2.00	2.20	2.20	2.20
14	1～×1～間	2.30	2.40								
15	2～×3～間側柱	2.35	2.60	2.40	2.30	1.60					
17	2×3間側柱	2.65	2.10	2.16	2.50	2.48	2.52	2.07	2.38	2.38	2.62
18	2×3間側柱	3.04	2.25	3.09	2.50	2.46	2.87	2.09	3.38	2.40	2.52
19	2×4間側柱	2.58	2.46	2.60	2.46	2.46	2.00	2.55	2.42		
20	2×3間総柱	1.68	1.90	2.18	1.66	2.06	1.92				
22	2×2間総柱	1.54	1.48	1.68	1.72	1.48	1.55	1.72	P8-P1 1.70		
24	2×2間総柱	1.50	1.22	1.61	1.35	1.25	1.46	1.38	P8-P1 1.56		

第8表 掘立柱建物出土遺物数量表

種別	土師器					須恵器							鉄製品		総計		
	器種	杯	高杯	甕	鉢	計	杯	杯または蓋	蓋	高杯	甕	壺・瓶	鉢	計		角釘	計
9						0					2			2		0	2
13						0					1			1		0	1
14	1		2			3	1				1			2	1	1	6
17	6		34	2		42	5				9	5		19		0	61
18	10	1	24			35	3	1	1		27	6	2	40		0	75
19	8	1	16			25	1			1	4	2		8		0	33
20	1	1	5	2		9								0		0	9
22	15		350	55		420	10				2100	35		2145		0	2565
計	41	3	431	59		534	20	1	1	1	2144	48	2	2217	1	1	2752



III 検出された遺構と出土遺物

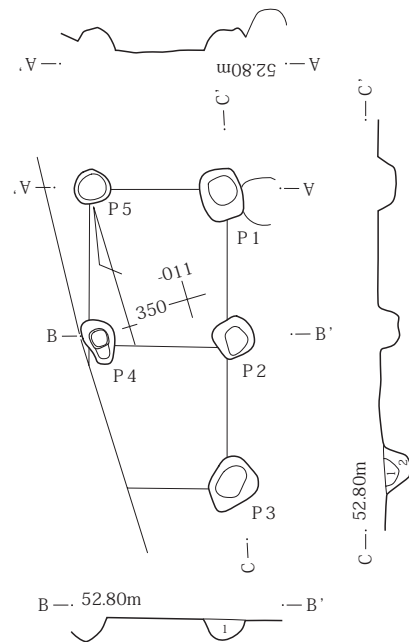
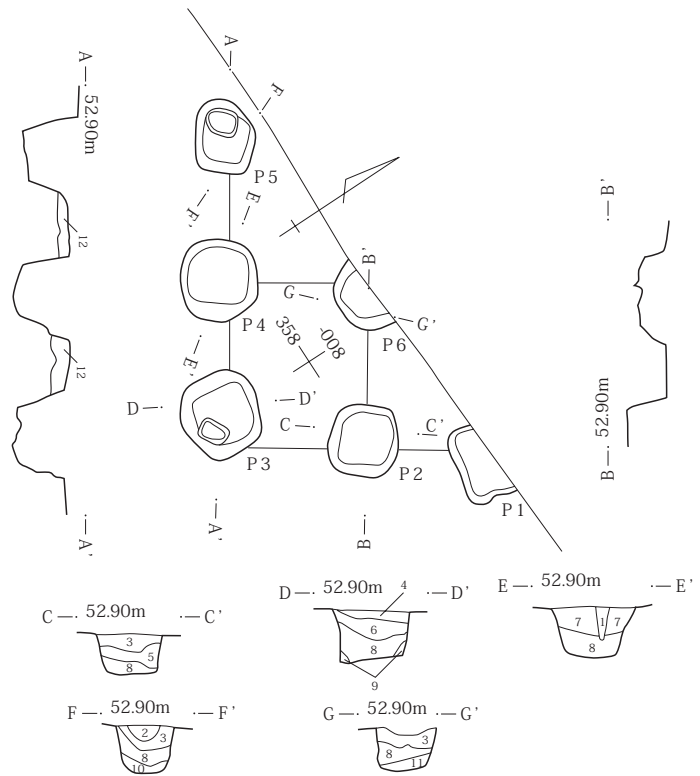


8号掘立

- 1 黒褐 ローム粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B少量混
- 3 暗褐 ローム粒子多量混
- 4 黒褐 ロームB多量混
- 5 黒褐 ローム粒子中量混 しまり弱
- 6 黒褐 ローム粒子・褐色土B少量混

9号掘立

- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子微量混 粘性・しまり弱
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 3 黒褐 ローム粒子・B少量混 しまり弱
- 4 暗褐 ローム粒子少量混
- 5 黒褐 ローム粒子中量混 しまり弱
- 6 暗褐 ローム粒子・B中多量混
- 7 黒褐 (10YR3/1) ロームB多量混 粘性弱 しまり強
- 8 黒褐 (10YR2/2) ロームB少量混
- 9 黒褐 ローム粒子多量・ロームB少量混
- 10 暗褐 ローム・焼土粒子、小礫少量混
- 11 にぶい黄褐 ローム粒子・B中中量混
- 12 暗褐 ローム粒子・黒褐色土B少量混

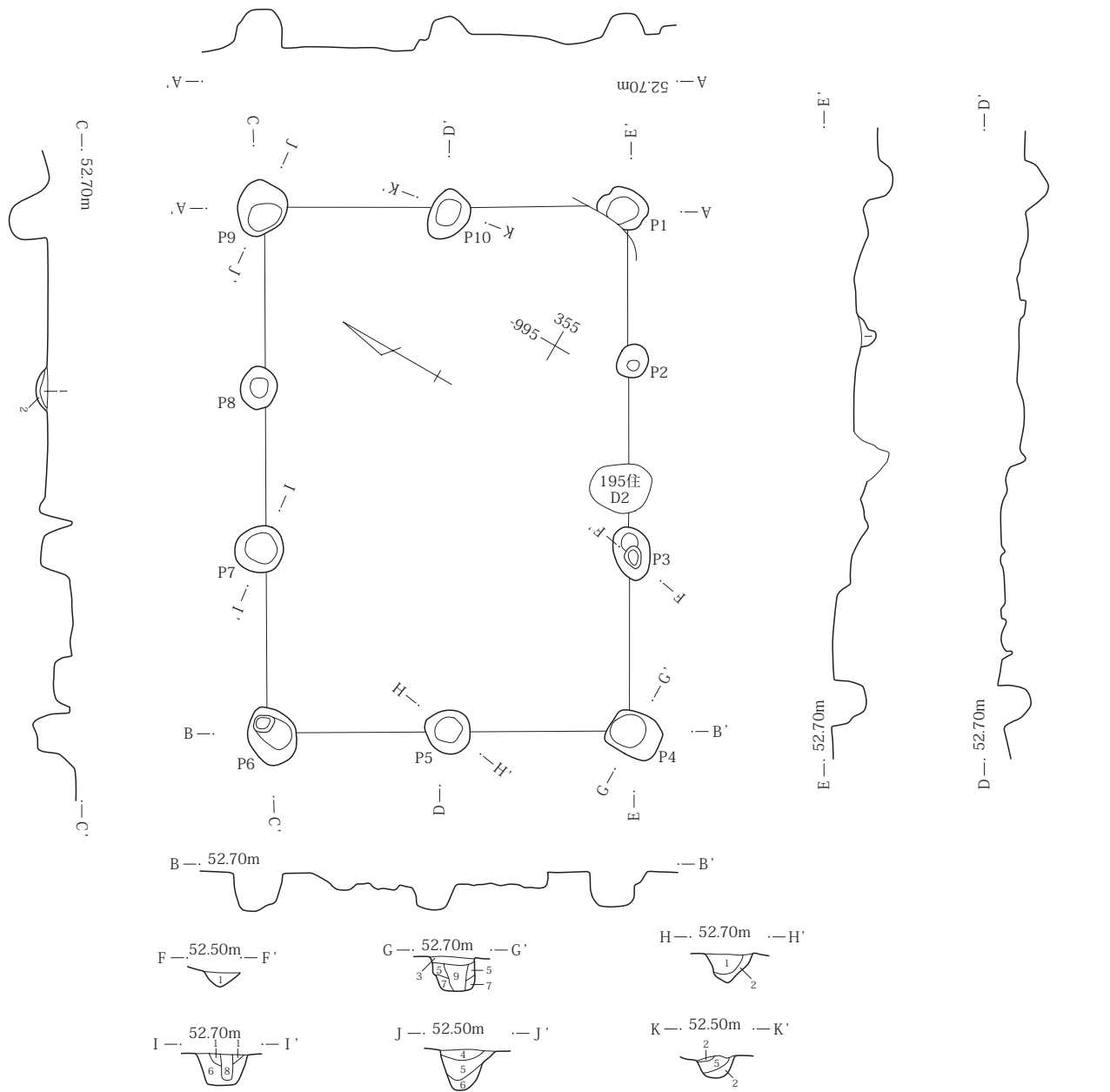


12号掘立

- 1 黒褐 ローム少量混
- 2 黒褐 ローム粒子多量混



第269図 8・9・12号掘立柱建物

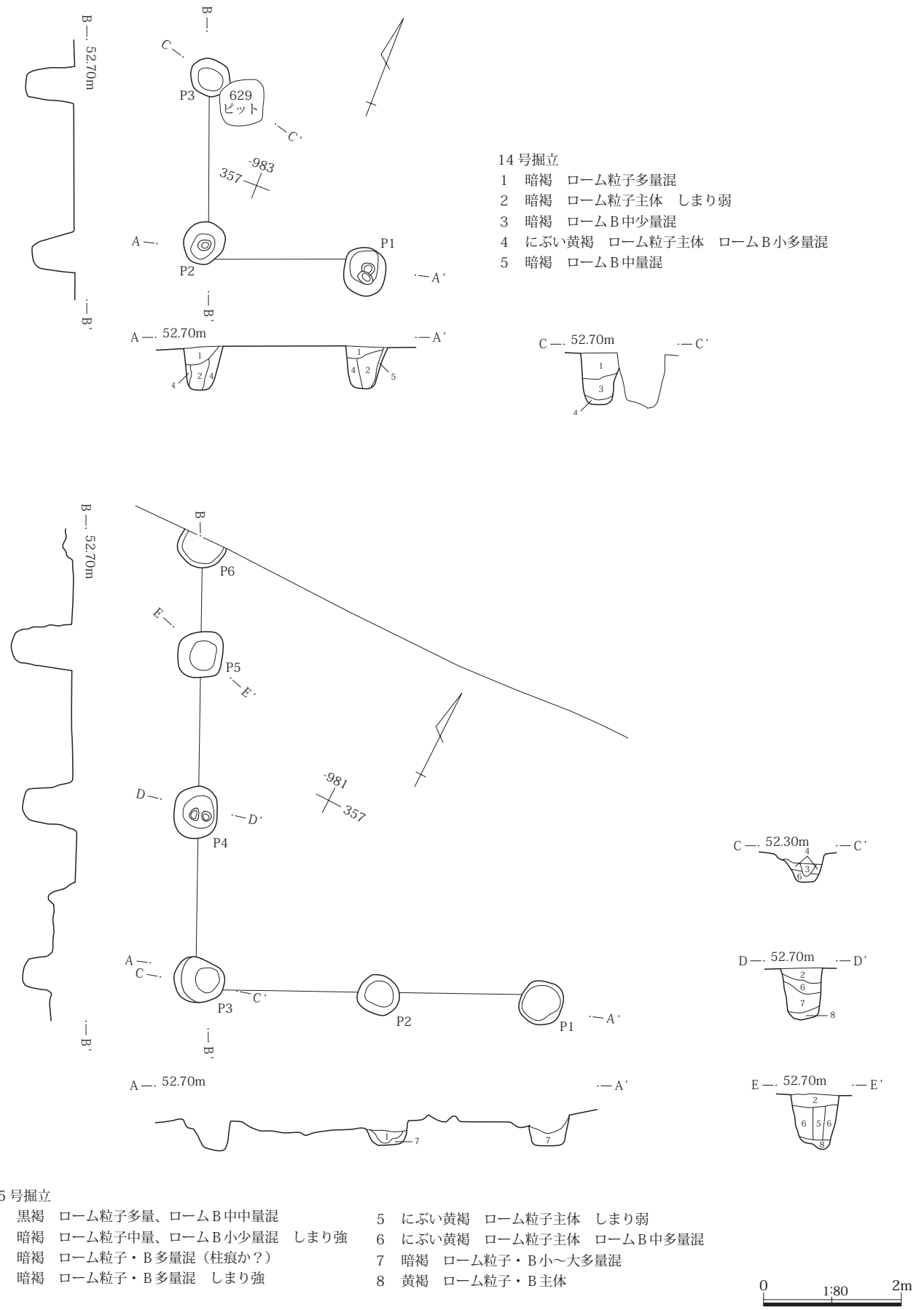


13号掘立

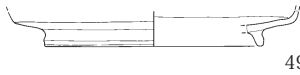
- 1 暗褐 ローム粒子・B多量混
- 2 黄褐 ローム主体 ロームB小混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子微量混
- 4 黒褐 ロームB中少量混 しまり弱
- 5 黒褐 ローム粒子少量混 しまり弱
- 6 暗褐 ローム粒子多量混
- 7 黒褐 (10YR2/2) ロームB小～中中量混
- 8 暗褐 ローム粒子中量混 しまり弱
- 9 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子極微量混 粘性・しまり弱

第 270 図 13号掘立柱建物

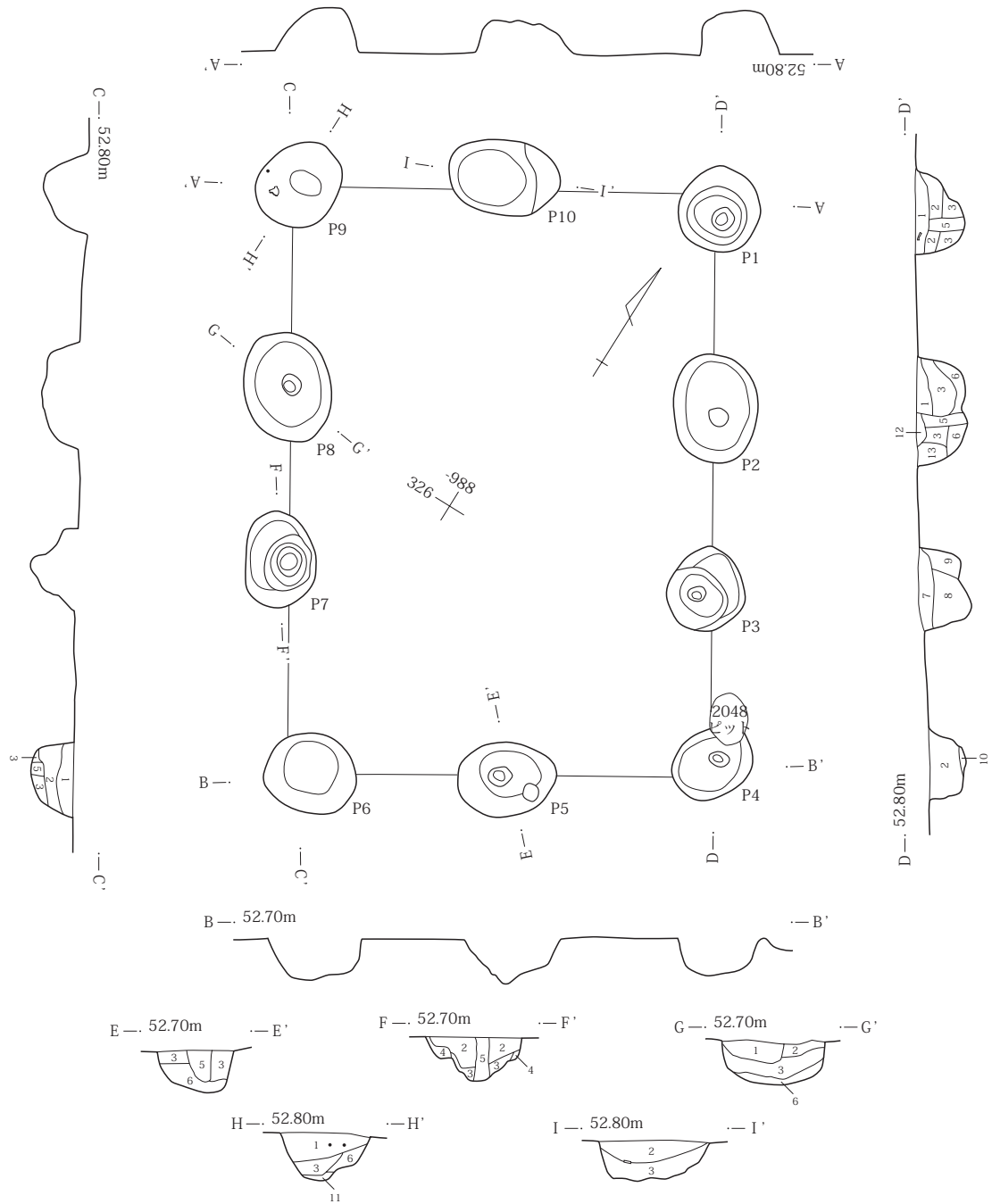
III 検出された遺構と出土遺物



第 271 図 14・15号掘立柱建物



4982

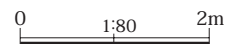


17号掘立

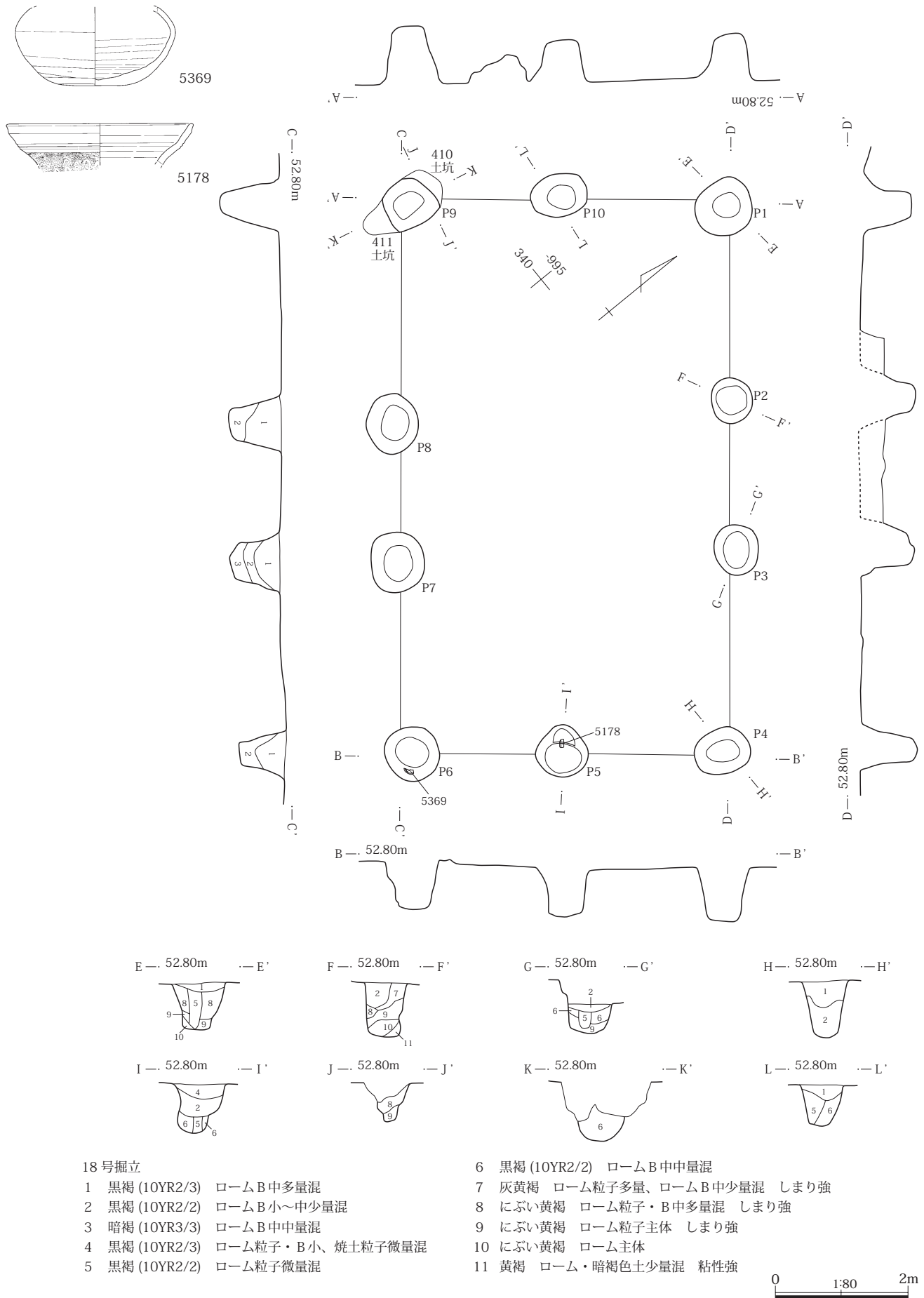
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム B 少量、ローム粒子中量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B 少量混
- 3 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B 小～中量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B 小～大多量混
- 5 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B 微量混
- 6 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B 微量混

- 7 黒褐 (10YR2/3) ローム B 小～中多量、ローム・焼土粒子少量混
- 8 黒褐 (10YR2/2) ローム B 小・焼土粒子少量混
- 9 黒褐 (10YR2/2) ローム B 小・焼土粒子少量混
- 10 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B 中量混
- 11 暗褐 (10YR3/3) ローム B 小～中量混
- 12 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B、焼土粒子中量混
- 13 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子微量混

第 272 図 17 号掘立柱建物



III 検出された遺構と出土遺物



18号掘立

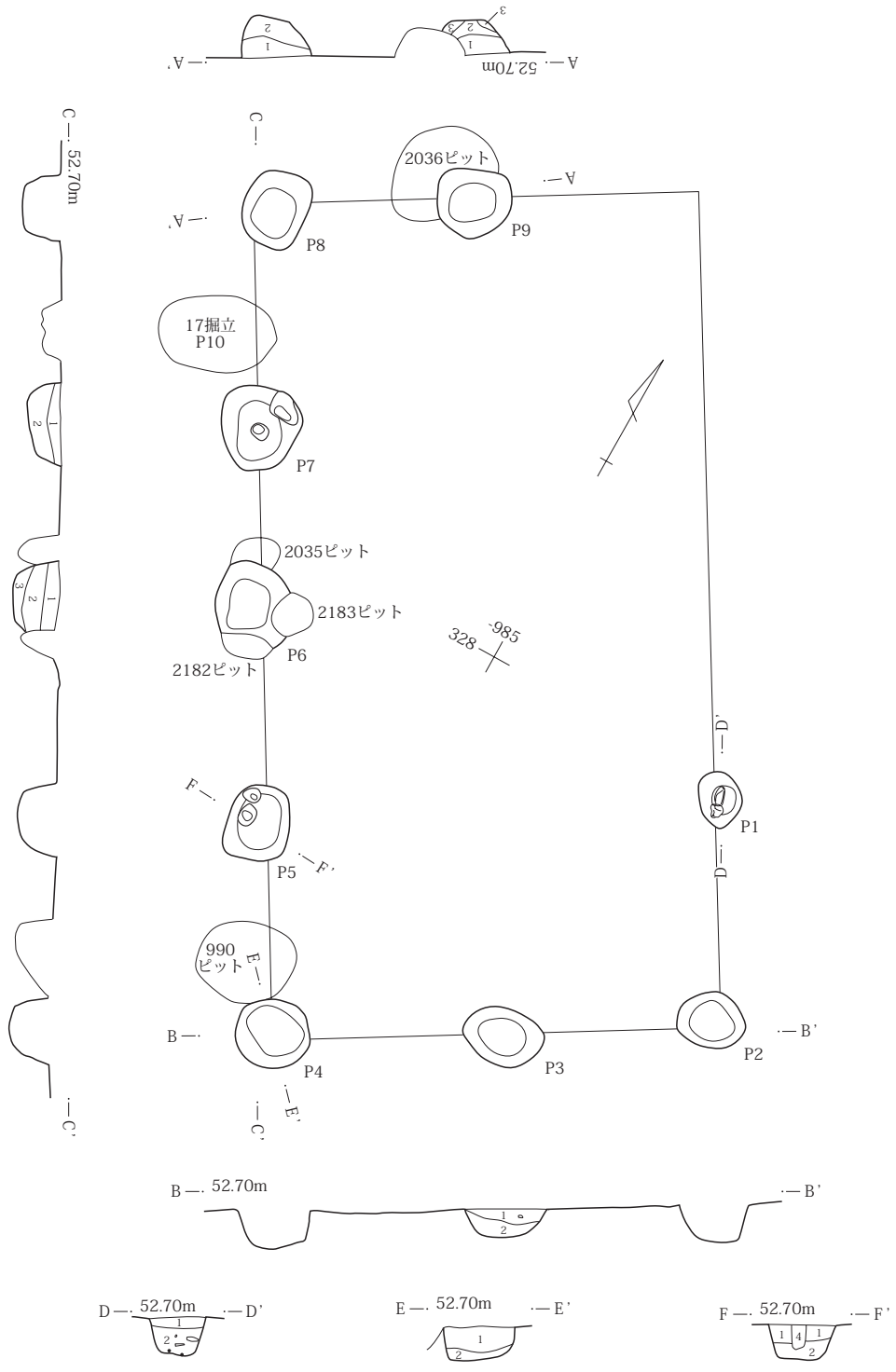
- 1 黒褐 (10YR2/3) ロームB中多量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ロームB小~中少量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ロームB中中量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小、焼土粒子微量混
- 5 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子微量混

- 6 黒褐 (10YR2/2) ロームB中中量混

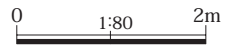
- 7 灰黄褐 ローム粒子多量、ロームB中少量混 しまり強
- 8 にぶい黄褐 ローム粒子・B中多量混 しまり強
- 9 にぶい黄褐 ローム粒子主体 しまり強
- 10 にぶい黄褐 ローム主体
- 11 黄褐 ローム・暗褐色土少量混 粘性強

0 1:80 2m

第273図 18号掘立柱建物

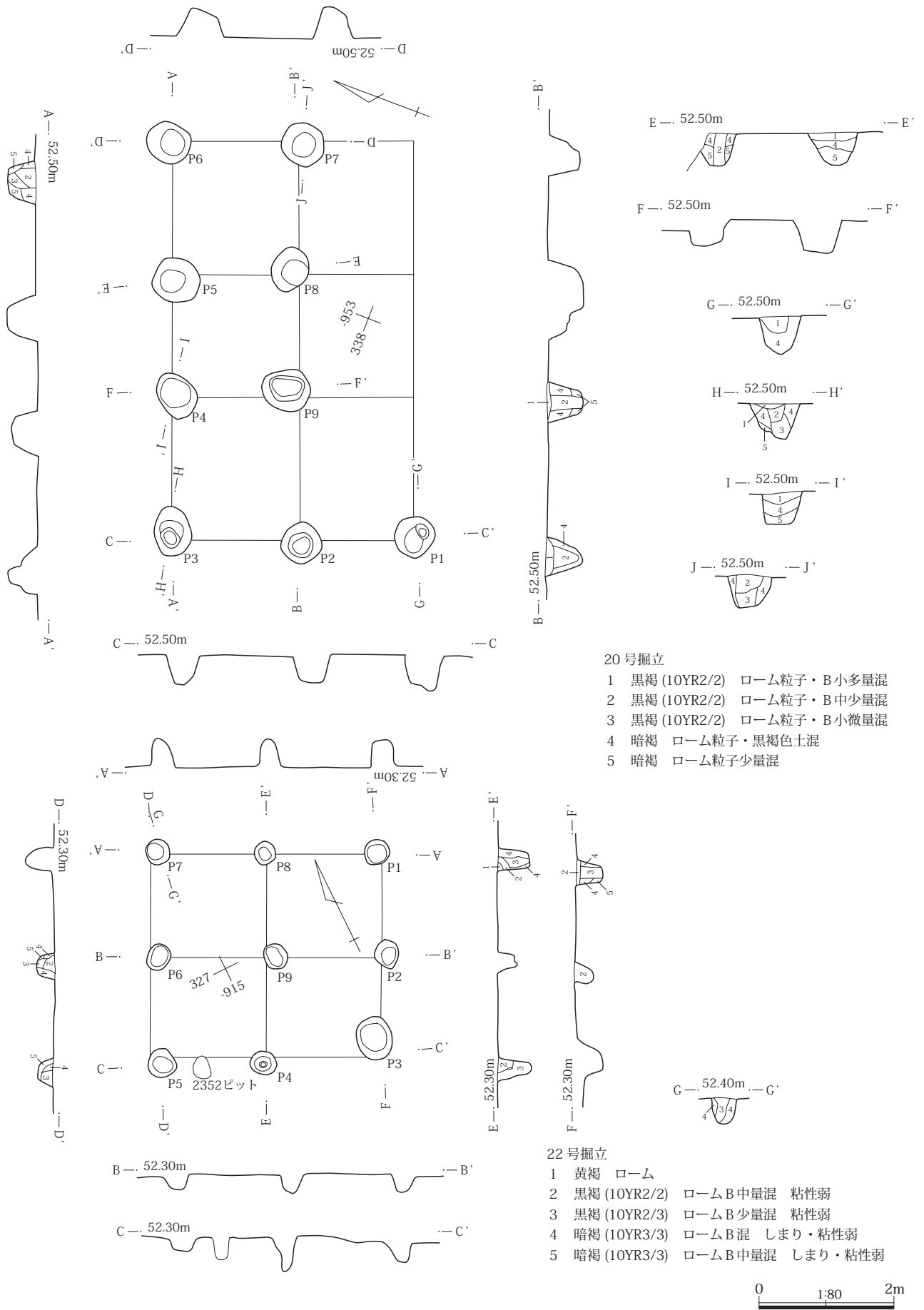


- 19号掘立
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中少量混
 - 2 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小微量混
 - 3 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混
 - 4 黒褐 (10YR3/1) 砂質土 ローム・焼土粒子、炭化物少量混

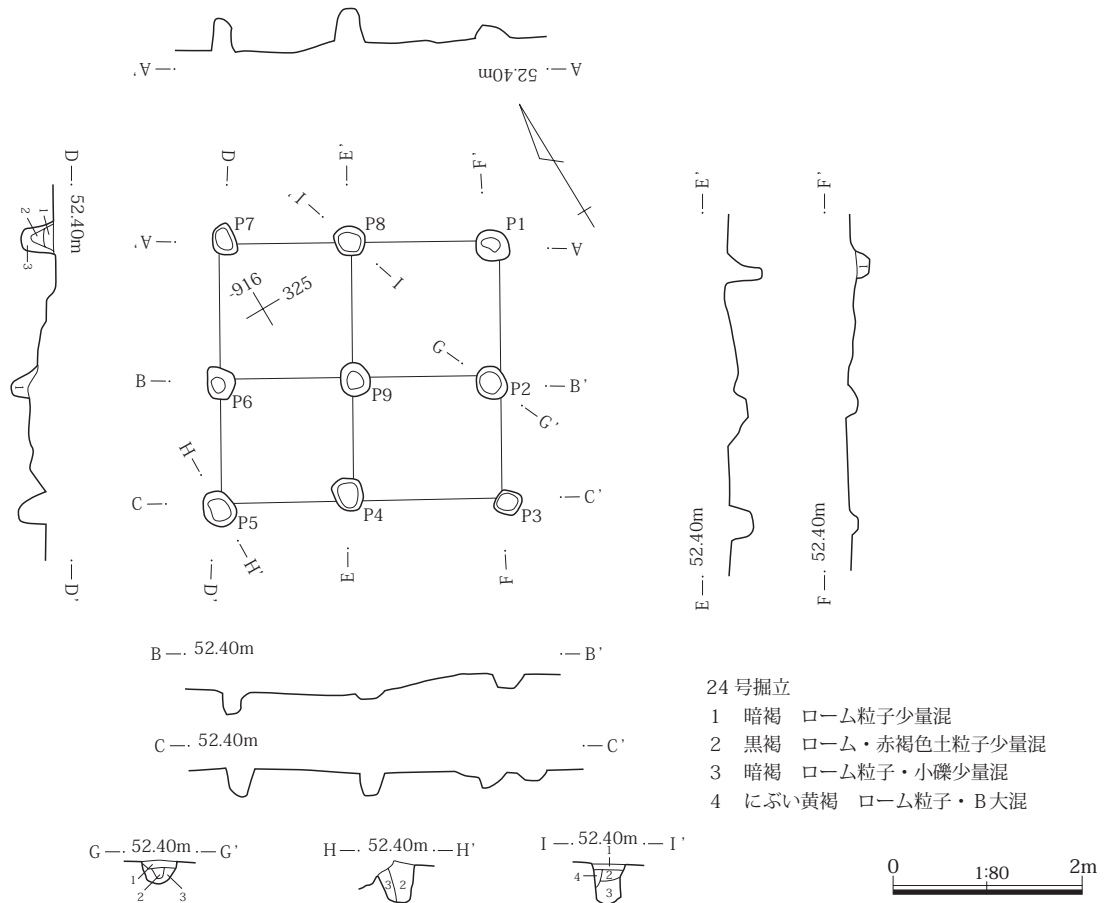


第 274 図 19号掘立柱建物

III 検出された遺構と出土遺物



第 275 図 20・22号掘立柱建物



第 276 図 24 号掘立柱建物

溝 (第 277・278 図、PL76)

溝は 3 条検出されている。

- ①分布 調査区東部に集中している。
- ②規模 長さ 32.80～11.16 m 平均 23.43 m、最大幅 2.60～0.60 m 平均 1.65 m、最小幅 0.72～0.25 m 平均 0.50 m、深さ 32～16cm 平均 26cm である。
- ③機能・時期 17・18 号溝は、ほぼ直行しているが、埋土は同一であり、同時存在したものと考えられる。

土師器・須恵器が多量に出土しているが、破片がほとんどで、不要品を廃棄したものとも考えられるため、時期は古代よりも新しくなる可能性もある。形態・埋土等から水路等の機能は考えにくく、現代の島の境界と同位置にあるため、地境等の溝であったと考えられる。

19 号溝も形態等から水路等の機能は考えられず、規模も小さく性格は不明である。

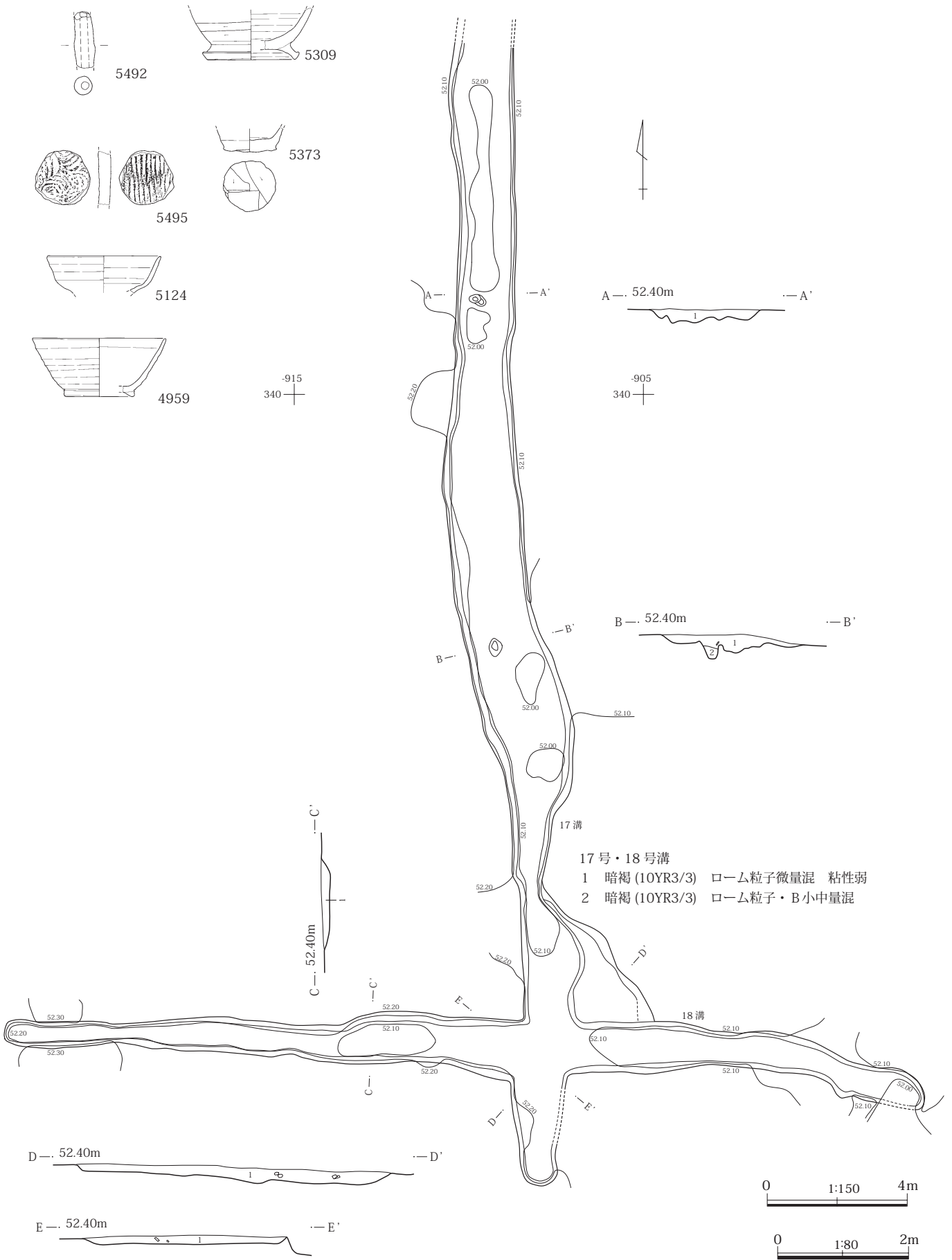
第 9 表 溝一覧表

No.	位置 Gr	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向	備考
17	319～322 - 896～923	18 溝	26.34	1.75	0.52	32	N-85°-W	18 溝と同時期か
18	317～350 - 904～910	17 溝	[32.80]	2.60	0.72	30	N-3°-W	17 溝と同時期か
19	328～337 - 915～918	619 土坑	[11.16]	0.60	0.25	16	N-24°-E、N-62°-W	

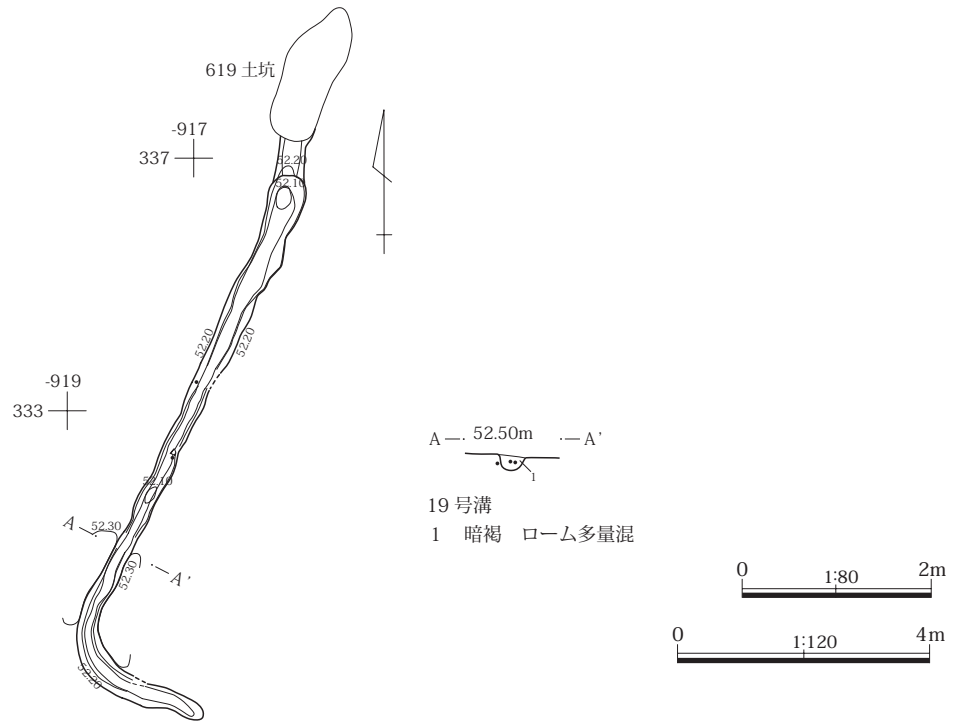
第 10 表 溝出土遺物数量表

種別	土師器				須恵器							土製品			鉄製品			総計	
	杯	高杯	甕	計	杯	碗	蓋	高杯	甕	壺・瓶	他	計	土錘	他	計	窯体	他		計
17	42	3	316	361	71	1	1	2	605	16	2	698	2	1	3	6	1	1	2149
18	6		21	27	1		1		22	3		27			0			0	126
19	10		5	15	4				7			11			0			0	71
計	58	3	342	403	76	1	2	2	634	19	2	736	2	1	3	6	1	1	2292

III 検出された遺構と出土遺物



第277図 17・18号溝



第278図 19号溝

土坑 (第279～294図、PL77～89)

土坑は148基検出されている。

①分布

②形態 平面形態がA～Eの5形態、断面形態がa～gの7形態に分類できる。

- 平面形態
- A 方形・隅丸方形のもの
(短軸：長軸が1：1.2未満)
 - B 長方形・隅丸長方形のもの
(短軸：長軸が1：1.2以上)
 - C 円形のもの
(短軸：長軸が1：1.2未満)
 - D 楕円形のもの
(短軸：長軸が1：1.2以上)
 - E 不正形のもの
 - F 不明

- 断面形態
- a 底部が平らで壁が垂直に近く立ち上がるもの
 - b 底部が平らで壁が外側に傾斜して立ち上がるもの
 - c 底部が平らで壁が内側に傾斜して立ち上がるもの
 - d 底部が丸みを帯びるもの
 - e 底部がもう一段下がるもの。
 - f 井戸状に深いもの
 - g 不正形のもの

平面形態は、Cの円形のもものが49%で最も多く、次にDの楕円形のもものが30%で続いており、この2形態で80%近くを占めている。方形・隅丸方形、長方形・隅丸長方形のものは、あわせても10%以下である。断面形態は、b類が43%で圧倒的に多く、他の形態は、f類(15%)、d類(14%)、e類(11%)、a類(7%)、c類(5%)の順となっているが差はあまりない。平面形態ごとの断面形態を見ると、Aの隅丸方形ではb・cが同数で、Bの長方形・隅丸長方形ではbが67%と圧倒的に多くなっている。Cの円形でもbが37%で最も多いが、a・d・e・f類も10%代で、差が少なくなっている。Dの楕円形でもbが45%と最も多く、d・fが16%で続いている。Eの不正形のものでは、b・d・f・gが同数である。また、3・4区において形態に特徴のある土坑群が2群あったが、1つは平面が円形で断面はaまたはbであり、径が1.0～1.6m程度の土坑である(D-1群)。1・2区

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

では 443・444・445・446・456・674 号土坑がこれにあたる。もう 1 つの群は、比較的深く、埋土にロームブロックを多く含んでいる土坑で、平面が長方形・隅丸長方形で断面は a が多いもの (D-2 群) であるが、1・2 区には見られない。

1・2 区で特徴的なものは、断面が f の土坑が多いことで、3・4 区では 5 基 2% しかないが、22 基 15% と実数で 4 倍以上、割合で 7 倍以上となっている。この中には、上端からすり鉢状に掘り下げ、その中央部のみ掘り下げて、細い中部を作り、その下は袋状に掘ってあるものも含まれる (D-3 群とする)。また、433・434 号土坑は、下部の埋土中からロームがほぼ全面で検出されており、D-3 群の土坑の中部が崩落した可能性も考えられる。

③規模 長径 4.25~0.55m 平均 1.27m、短径 3.68~0.40m 平均 1.04m、長径/短径 2.57~1.01 平均 1.26、

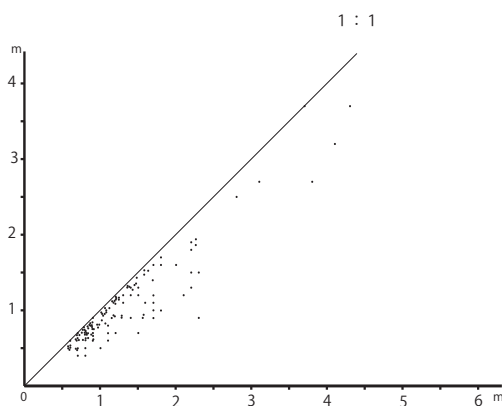
深さ 220~7cm 平均 54cm、面積 10.12~0.21 m² 平均 1.28 m² である。

④機能・時期出土遺物等から、機能・時期のわかる土坑は少ない。断面形態が f の土坑のうち D-3 類のものは、下部が袋状に広がっているため、縄文時代の袋状土坑と同様の機能、すなわち貯蔵穴の可能性が高いと考えられる。

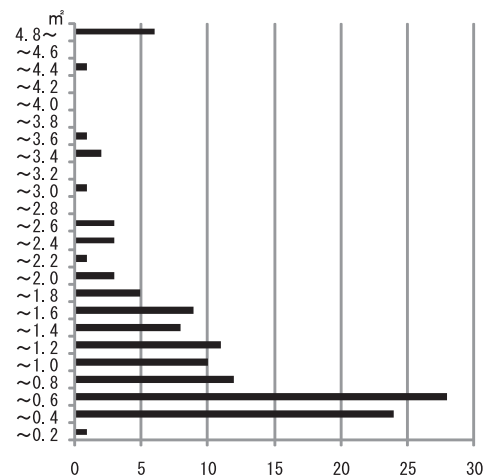
規模・形態から 618 号土坑は井戸の可能性はあるが、他の断面 f の土坑は井戸にしては平面の規模が小さすぎるため、性格は不明である。完形やそれに近い状態の遺物が出土している土坑は、331・405・421・425・433・434・437・460・599・618 号土坑等であるが、形態、規模等様々で、機能は特定できない。時期は、421 号土坑が 7 世紀と考えられるが、他はすべて 8 世紀代になると考えられる。

第 11 表 土坑形態別数量表

平面 断面	A		B		C		D		E		F		計	
	基数	%	基数	%	基数	%	基数	%	基数	%	基数	%	基数	%
a	0	0%	0	0%	7	10%	4	8%	0	0%	0	0%	11	7%
b	1	50%	8	67%	27	37%	22	45%	1	25%	5	63%	64	43%
c	1	50%	1	8%	4	5%	1	2%	0	0%	1	13%	8	5%
d	0	0%	2	17%	8	11%	8	16%	1	25%	1	13%	20	14%
e	0	0%	1	8%	13	18%	3	6%	0	0%	0	0%	17	11%
f	0	0%	0	0%	12	16%	8	16%	1	25%	1	13%	22	15%
g	0	0%	0	0%	2	3%	3	6%	1	25%	0	0%	6	4%
計	2	1%	12	8%	73	49%	49	33%	4	3%	8	5%	148	100%



土坑規模図



土坑面積分布図

第12表 土坑一覧表

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径m	短径m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
331	358～361－908～911	591ピット	C	e	3.07	2.69	1.14	103	6.39	N－33°－E	
349	353・354－952		C	b	0.68	0.67	1.01	32	0.34	N－23°－W	
350	353・354－950・951		C	b	1.40	1.33	1.05	26	1.35	N－37°－W	
352	359・360－938・939		B	b	1.68	0.93	1.81	25	1.44	N－89°－E	
353	359・360－920・921		D?	d	0.98	[0.53]		14	0.37	N－48°－W	
354A	357～360－941・942		B	b	2.17	1.33	1.63	34	2.60	N－15°－E	
354B	354・355－948		C	b	0.78	0.75	1.04	16	[0.38]	N－67°－E	
355A	357・358－941・942		B	b	[0.96]	0.85		21	[0.78]	N－3°－E	
355B	353・354－948・949		C	b	0.97	0.77	1.26	21	0.59	N－80°－W	
358	355・356－003・004		C	f	0.84	0.76	1.11	108	0.52	N－46°－E	
359	353～355－964～966		B	b	1.79	1.02	1.75	32	(1.66)	N－89°－E	
360	351・352－003	361土坑より旧・362土坑	C	d	0.67	(0.62)		19	(0.32)	N－42°－W	
361	352－002・003	360・362土坑より新	D	d	0.65	0.40	1.63	32	(0.20)	N－75°－E	
362	352－002・003	361・363土坑より旧 360土坑	B?	d	0.82	0.67	1.22	53	(0.38)	N－80°－W	
363	352・353－002	362土坑より新	B	b	0.70	0.51	1.37	14	[0.25]	N－24°－E	
364	350・351－017		C	b	0.85	[0.64]		7	[0.39]	N－32°－E	
365	348・349－966・967		D?	a	1.65	1.22	1.35	70	[1.38]	N－51°－E	
366	350・351－959・960		D	a	0.60	0.49	1.22	69	0.25	N－68°－E	
367	351・352－959・960	186住	C	d	1.04	0.93	1.12	52	0.70	N－44°－E	
368	354・355－958・959	370土坑より新	C	a	0.89	0.78	1.14	100	0.54	N－53°－W	
369	354・355－959・960	370土坑より旧	C	b	0.96	0.81	1.19	31	[0.49]	N－34°－E	
370	355－958・959	368土坑より旧 369住より新	C?	b	0.98	[0.61]		64	[0.50]	N－69°－W	
371	351・352－996・997		D	b	1.06	0.68	1.56	58	0.61	N－60°－E	
372	359－978・979		D	a	0.69	0.47	1.47	48	0.27	N－73°－E	
374	355・356－957		A	b	0.67	0.65	1.03	30	0.40	N－0°	
375	354－956・957		F	b	[0.73]	[0.47]		24	[0.22]	N－18°－W	
378	350・351－961	191住より新	D	f	[1.39]	[0.94]		—	[1.00]	N－1°－E	
379	359・360－942・943		C	e	0.61	0.57	1.07	49	2.44	N－5°－E	
380	356・357－942		C	b	1.02	0.87	1.17	22	(0.64)	N－2°－E	
381	343・344－019・020	834・853ピットより旧	D	b	1.12	0.81	1.38	22	0.73	N－35°－E	
382	347－007・008		D	b	0.97	0.81	1.20	38	0.56	N－89°－E	
383	353・354－019・020		D	b	0.90	0.66	1.36	25	0.45	N－84°－W	
384	318・319－017		D	g	0.67	0.49	1.37	30	0.28	N－87°－W	
385	312・313－016	846・847ピット	F	b	0.80	0.43	1.86	9	0.26	N－0°	
387	350～352－019～021		D	b	1.48	[1.33]		25	[1.46]	N－3°－W	
388	339・340－019・020		C	g	1.01	0.97	1.04	28	0.75	N－6°－W	
396	309・310－932～934		D	d	1.28	0.93	1.38	24	0.89	N－56°－W	
397	309・310－935		D	d	1.19	0.92	1.29	33	0.79	N－46°－W	
398	314・315－932・933		C	e	0.83	0.71	1.17	74	0.45	N－61°－E	
399	315・316－927・928	2886ピットより新	C	b	0.64	0.53	1.21	18	0.25	N－81°－E	
401	355～357－962～965		E	b	2.95	1.46	2.02	42	4.20	N－67°－E	
402	348・349－976	403土坑より新	B	d	1.47	(0.69)	(2.13)	26	(1.02)	N－33°－W	
403	348・349－975・976	402土坑より旧 909ピット	C	a	1.35	1.30	1.04	75	1.26	N－56°－W	
404	354～357－940・941		B	b	2.06	1.23	1.67	27	2.27	N－9°－W	
405	346～350－969～973	132住、425・427土坑より新 957ピット	C	e	4.25	3.68	1.15	91	(11.86)	N－16°－E	8世紀第2 ～第3
406	355・356－917・918		D	e	1.28	0.90	1.42	56	0.88	N－55°－W	
407	352・353－926		D	d	0.98	0.53	1.85	18	0.44	N－41°－E	
408	337・338－993		C	e	0.68	0.61	1.11	50	0.29	N－3°－W	
409	354・355－938・939		C	c	1.35	1.32	1.02	135	1.32	N－33°－W	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径m	短径m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
413	350～352 - 975・976	414 土坑より旧	D	b	1.37	0.92	1.49	39	(0.96)	N - 22° - E	
414	351・352 - 974・975	413・419 土坑より新	A	c	1.20	1.18	1.02	45	1.00	N - 25° - E	
419	352・353 - 973～975	414 土坑より旧	D	b	2.16	(1.47)	(1.47)	40	(2.56)	N - 83° - W	
421	312～314 - 996・997		B	b	1.65	0.99	1.67	20	1.42	N - 20° - E	7世紀代
423	355～357 - 936～937		C	a	1.31	1.21	1.08	73	1.51	N - 32° - W	
424	357～359 - 936～938	610 ピット	C	c	1.63	1.52	1.07	117	1.91	N - 2° - E	
425	348～352 - 971～974	405 土坑より旧 427 土坑より 新	D	b	4.06	3.23	1.26	73	9.56	N - 28° - E	8世紀第2 ～第3
426	339・340 - 996	912 ピットより旧	D	d	0.83	0.69	1.20	44	0.46	N - 28° - E	
427	348～352 - 969～972	405・425 土坑より旧	F	b	[1.95]	[1.28]		82	[2.89]	N - 11° - W	
428	320～322 - 003～005		C	f	2.26	1.94	1.16	38	3.41	N - 85° - E	D-3
429	318・319 - 992・993		C	b	1.06	1.03	1.03	29	0.79	N - 18° - E	
432	339～341 - 977・978	433 土坑より旧	D?	b	1.41	[1.17]		30	[1.24]	N - 3° - E	
433	338～342 - 974～977	432 土坑より新	C	e	3.74	3.68	1.02	188	10.12	N - 69° - W	8世紀第2 ～第3
434	338～340 - 972～974		C	e	2.24	1.89	1.19	178	3.23	N - 71° - W	8世紀代
435	334～336 - 971・972		D	f	1.15	0.90	1.28	205	0.82	N - 23° - E	D-3
437	315・316 - 979・980	438 土坑より新	D	b	1.08	0.62	1.74	18	0.51	N - 11° - W	8世紀代
438	315 - 978・979	437 土坑より旧	D	b	0.65	0.51	1.27	27	0.30	N - 61° - E	
439	342・343 - 981・982		C	a	0.89	0.84	1.06	74	0.58	N - 46° - W	
440	343・344 - 981・982		C	f	1.08	0.98	1.10	144	0.84	N - 9° - E	
441	346・347 - 983・984		C	f	1.07	0.98	1.09	134	0.82	N - 1° - E	D-3
442	346・347 - 979～981		C	f	1.45	1.33	1.09	183	1.58	N - 7° - E	D-3
443	326・327 - 971～973		C	b	1.30	1.20	1.08	17	1.20	N - 72° - E	D-1
444	326・327 - 970・971		C	b	1.21	1.15	1.05	12	1.06	N - 39° - E	D-1
445	326・327 - 968・969		C	b	1.15	1.12	1.03	11	0.98	N - 41° - W	D-1
446	326・327 - 967・968		C	b	1.24	1.14	1.09	12	1.09	N - 40° - W	D-1
447	324～326 - 981～983		C	b	1.58	1.53	1.03	24	1.84	N - 53° - W	
448	325・326 - 980・981		C	e	1.36	1.32	1.03	50	1.32	N - 57° - E	
449	329・330 - 979～981		C	b	1.48	1.43	1.03	45	1.57	N - 46° - E	
450	330～332 - 980・981		C	b	1.17	1.10	1.06	39	1.02	N - 8° - W	
451	328～330 - 981～983		C	c	1.41	1.27	1.11	58	1.41	N - 14° - E	
452	366・367 - 985・986		D	b	1.17	0.93	1.26	10	0.83	N - 24° - W	
453	340～342 - 979～981		E	f	2.22	1.78	1.25	133	3.30	N - 58° - E	
454	348・349 - 955・956		C	f	1.46	1.35	1.08	220	1.53	N - 63° - W	
455	341・342 - 963～965		B	c	1.51	1.15	1.31	48	1.70	N - 60° - E	
456	333～335 - 986～988		C	b	1.58	1.47	1.07	31	1.78	N - 76° - W	D-1
457	327・328 - 018・019		F	b	1.09	[0.49]		22	0.38	N - 6° - W	
459	333・334 - 982・983		C	c	1.35	1.19	1.13	42	1.27	N - 28° - W	
460	347・348 - 928～930		D	f	2.29	1.52	1.51	165	2.89	N - 86° - E	D-3 8世紀 後半
461	345～347 - 922～924		C	f	2.77	2.51	1.10	187	5.00	N - 29° - W	D-3
462	346 - 932		C	f	0.73	0.65	1.12	165	0.36	N - 62° - E	
463	345・346 - 930・931		C	f	0.77	0.74	1.04	144	0.42	N - 11° - E	
465	331・332 - 972		D	a	0.88	0.78	1.13	19	0.56	N - 86° - W	
466	333・334 - 970・971		C	f	1.70	1.55	1.10	130	2.01	N - 38° - W	D-3
467	334・335 - 984・985		D	b	2.00	1.57	1.27	27	2.33	N - 50° - E	
468	331～332 - 975・976		D	b	1.05	0.82	1.28	20	0.65	N - 69° - W	
469	329・330 - 977・978	2128 ピット	C	b	0.75	0.70	1.07	22	0.38	N - 53° - E	
471	331 - 979		C	e	0.73	0.65	1.12	46	0.36	N - 79° - E	
472	331 - 978・979		D	e	0.84	0.63	1.33	43	0.40	N - 71° - E	
475	308 - 957・958		F	f	1.10	[0.72]		151	0.78	N - 0°	D-3
476	332 - 960・961		F	c	[0.88]	[0.38]		32	[0.25]	N - 88° - E	

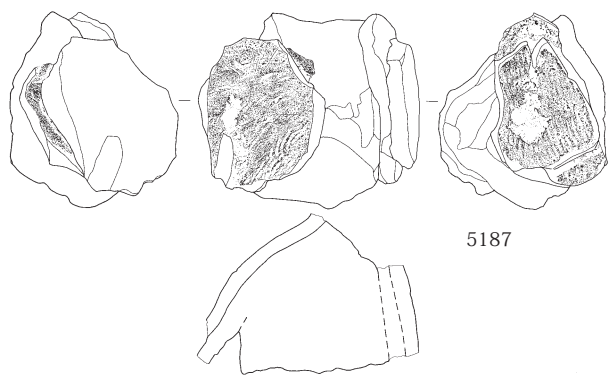
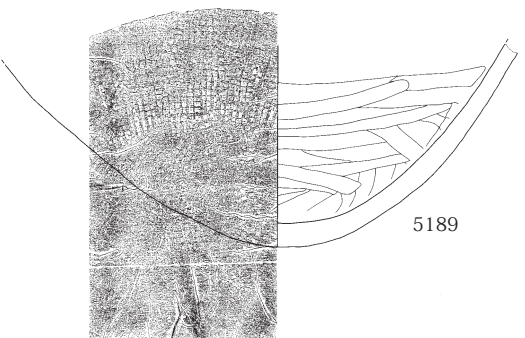
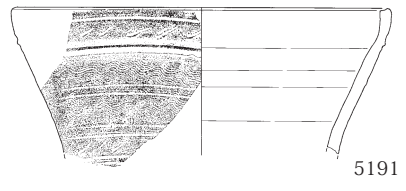
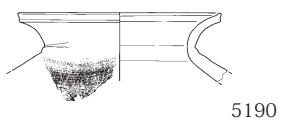
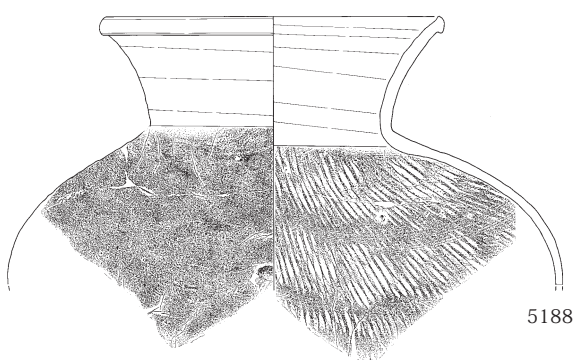
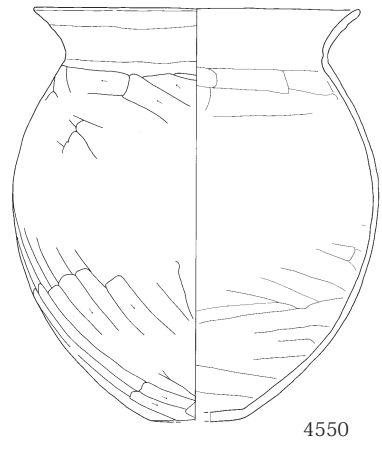
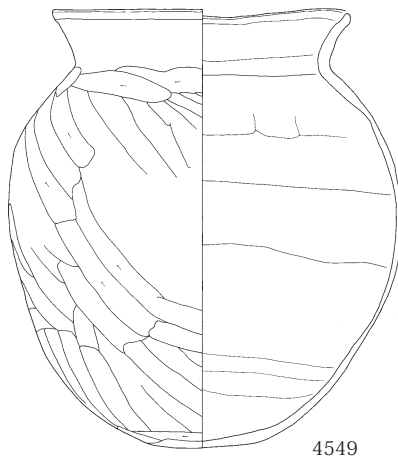
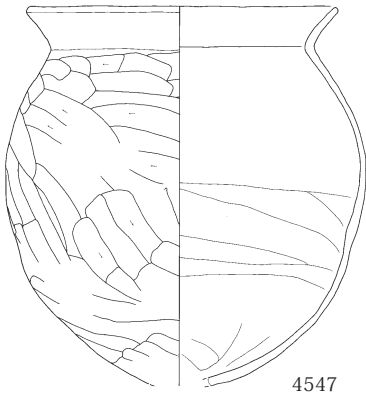
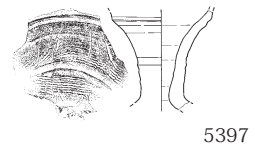
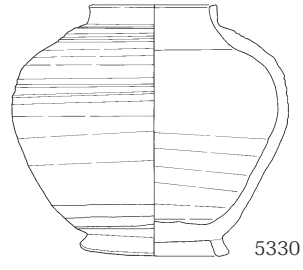
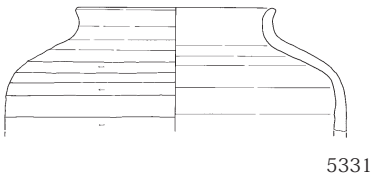
2 古墳時代後期～平安時代

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径m	短径m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
477	315-952		D	b	0.83	0.45	1.84	15	0.30	N-58°-E	
480	336~338-004~007	14 溝より新	B	b	(2.26)	(1.86)	1.22	44	3.85	N-50°-E	
572	315・316-946		C	f	0.85	0.80	1.06	208	0.57	N-23°-E	
581	317・318-909・910		C	b	1.24	1.17	1.06	18	1.12	N-13°-E	
582	313・314-961		D	b	0.77	0.60	1.28	21	0.36	N-5°-W	
583	312・313-962・963		D	b	0.90	0.70	1.29	18	0.46	N-50°-E	
584	312・313-963		D	c	0.60	0.48	1.25	17	0.22	N-83°-E	
585	312-964・965		D	b	0.91	0.61	1.49	25	0.42	N-71°-E	
586	312-968・969		C	b	0.80	0.70	1.14	21	0.42	N-55°-E	
587	311・312-967・968		C	d	0.65	0.64	1.02	31	0.32	N-35°-E	
588	309・310-968・969		C	a	0.55	0.51	1.08	26	0.21	N-26°-W	
589	320・321-936・937		C	b	0.79	0.74	1.07	23	0.45	N-36°-E	
590	335-927・928		C	f	0.88	0.85	1.04	148	0.54	N-29°-W	D-3
591	329-955		C	b	0.81	0.69	1.17	32	0.42	N-52°-W	
592	321・322-957・958		C	d	0.84	0.75	1.12	44	0.50	N-57°-E	
594	321・322-938	2932 ピット	C	e	0.70	0.63	1.11	59	0.35	N-9°-E	
596	325・326-917		C	b	0.75	[0.45]		17	[0.24]	N-39°-E	
599	328~330-905~908		D	e	3.75	2.65	1.42	118	6.58	N-65°-E	8世紀代
603	332-940・941		C	d	0.82	0.72	1.14	41	0.48	N-81°-E	
604	332・333-939		C	b	0.85	0.80	1.06	38	0.53	N-81°-E	
616	337・338-932・933		D	f	0.80	0.63	1.27	129	0.40	N-4°-W	D-3
617	335・336-944・945		D	b	1.56	0.90	1.73	13	1.11	N-4°-W	
618	332~334-946~947		C	f	1.77	1.59	1.11	211	1.95	N-77°-W	7~8世紀 井戸?
619	338・339-917	19 溝より新	D	b	2.26	0.88	2.57	23	1.55	N-20°-E	
630	318・319-945・946		C	a	1.20	1.08	1.11	129	1.04	N-86°-W	
632	313・314-942・943		C	a	0.89	0.75	1.19	21	0.54	N-32°-E	
645	320~322-939~941		D	b	1.70	1.35	1.26	50	1.76	N-64°-E	
650	321・322-942・943		B	e	1.64	1.12	1.46	64	1.62	N-85°-E	
653	317~319-909~911	654 土坑より新	C	e	(1.80)	1.69	(1.07)	68	(2.40)	N-30°-W	
654	318・319-910・811	653 土坑より旧	D	a?	1.20	[0.48]		26	[0.28]	N-83°-E	
661	341・342-949・950	2577 ピットより旧	E	d	[1.50]	0.88		34	[0.76]	N-42°-E	
671	322・323-907・908		E	g	1.50	1.29	1.16	95	1.32	N-24°-E	
674	318・319-922・923		C	b	1.17	1.11	1.05	23	1.03	N-10°-W	D-1
675	316・317-923・924		F	b	1.05	[0.63]		11	[0.51]	N-8°-W	
676	328・329-924・925		C	e	1.30	1.12	1.16	17	1.10	N-73°-E	
677	331・332-924・925		C	d	0.86	0.83	1.04	16	0.55	N-35°-W	
681	337-918・919		D	d	0.91	0.61	1.49	24	0.43	N-8°-E	
682	333・334-922・923		C	d	1.06	0.95	1.12	28	0.63	N-47°-E	
697	345~347-912・913		D	g	1.57	0.94	1.67	19	1.26	N-29°-E	
698	323・324-934・935		C	b	1.20	1.14	1.05	15	1.04	N-81°-E	
699	336~338-938・939		D	b	1.50	1.17	1.28	10	1.36	N-14°-E	
700	336・337-918		D	g	0.91	0.75	1.21	15	0.57	N-71°-W	
701	327・328-917・918		C	b	1.02	0.95	1.07	36	0.70	N-74°-W	
704	344・345-925・926		C	g	1.21	0.67	1.81	28	0.66	N-83°-E	
705	341・342-932・933		F	d	0.90	[0.52]		14	[0.38]	N-89°-E	
708	334・335-925	2850 ピット	D	d	0.80	0.60	1.33	17	0.43	N-56°-E	
709	307・308-929・930		C	d	1.12	1.03	1.09	25	0.92	N-39°-W	
710	315・316-933・934		D	b	0.85	0.65	1.31	25	0.42	N-39°-W	
712	340・342-939・940		D	d	1.73	1.11	1.56	25	1.46	N-0°	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

第13表 土坑出土遺物数量

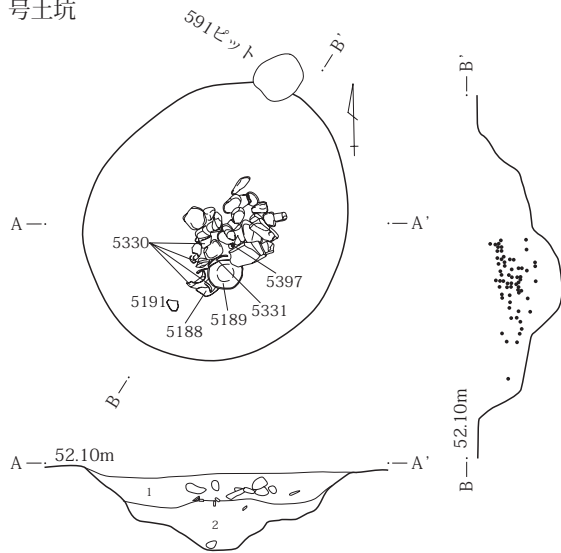
種別	土師器								須恵器											土製品		鉄製品		総計		
	器種	杯	高杯	甗	台付甗	甗	鉢	小型土器	計	杯	杯または蓋	蓋	高杯	高盤	甗	壺・瓶	ハソウ	甗	鉢	他	計	他	計		刀子	計
331	6		207					213	6		2				43	5	1	1			58	0		0	271	
350	5							5	1						1						2	0		0	7	
352								0	1												1	0		0	1	
353	8		24					32	1												1	0		0	33	
366	2		4					6	1						1						2	0		0	8	
369	2		5					7													0	0		0	7	
371			1					1			1				1						2	0		0	3	
378	5		4					9	4			1			6	3					14	0		0	23	
380			1					1							2						2	0		0	3	
396			2					2							4	1					5	0		0	7	
397			3					3							4	1					5	0		0	8	
402	1		15					16	7						2						9	0		0	25	
405	101		215	1		17		334	29		7	7	1	1	22	10				1	78	0		0	412	
421	2		8					10	2						8						10	0		0	20	
425	21		33			4		58	2		3	2			5	2					14	0	1	1	73	
426			1					1							2						2	0		0	3	
427	5		7					12			1				2	1					4	0		0	16	
428			2					2	1						5						6	0		0	8	
433	217	1	215				1	434	68		19	3			45						135	0		0	569	
434	39		30			6		75	22						25	5			1		53	0		0	128	
435	6		1					7	4						5						9	0		0	16	
438								0							1						1	0		0	1	
439	7		5					12	4		1				2						7	0		0	19	
440	4		20					24	1						6				1		8	0		0	32	
441	1		1					2	3						2						5	0		0	7	
442	13		25					38	6						8	1					15	1	1	0	54	
443	4							4							2						2	0		0	6	
447								0							1						1	0		0	1	
449			4					4	1		1				3						5	0		0	9	
450	9		12					21	2		1				10						13	0		0	34	
451	10		10					20				1			4						5	0		0	25	
452	2		1					3													0	0		0	3	
453	36		193					229	11		4				20						35	0		0	264	
454	16		24					40	10		1	3			24	14					52	0		0	92	
455	17		58					75	8		4	1			7	1					21	0		0	96	
456			2					2							6	2					8	0		0	10	
459	6		5					11	1						3						4	0		0	15	
460	22		54					76	10		2	1			50	1					64	0		0	140	
461	24		104	2	1	14		145	11		3	1			79	9					103	0		0	248	
462	2		1					3							1	1					2	0		0	5	
463	1		29					30							1						1	0		0	31	
465								0							1						1	0		0	1	
466	1		1					2	1		2				15	1					19	0		0	21	
467	1		10					11	2												2	0		0	13	
468								0	1												1	0		0	1	
475	4		13					17							4						4	0		0	21	
476								0							1						1	0		0	1	
480			2			1		3	2						4	2					8	0		0	11	
572	4		18					22	1						1	2					4	0		0	26	
581								0	1						1	1					3	0		0	3	
589			6					6													0	0		0	6	
590			14					14							5						5	0		0	19	
596	1		4					5	1						4						5	0		0	10	
599	16	1	34					51	3			1			16	3	1				24	0		0	75	
603			4					4							3						3	0		0	7	
616			3					3	1						17						18	0		0	21	
618	8		19	1				28	3						9	1			1	1	15	0		0	43	
619	4		35					39	3						3						6	0		0	45	
620	1		10					11	2						2	2					6	0		0	17	
645	4		1					5							2						2	0		0	7	
671			5					5							2	1					3	0		0	8	
674	6		19					25	1						14	2					17	0		0	42	
計	644	2	1524	4	1	42	1	2218	239		16	50	8	1	516	73		2	1	3	2	911	1	1	1	3131



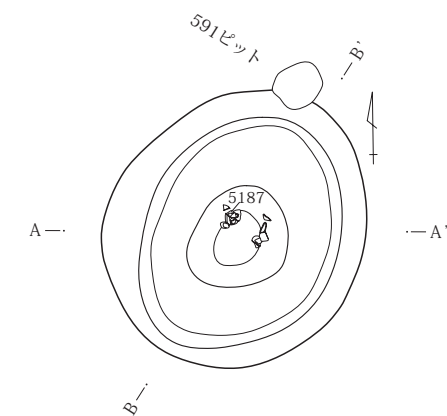
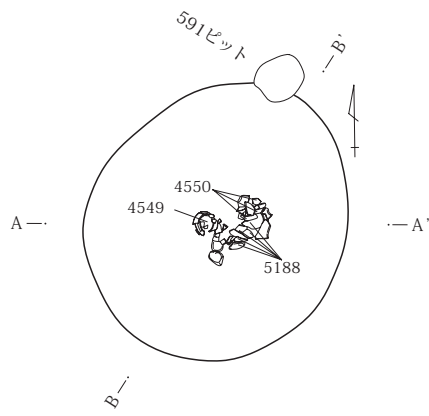
第 279 図 331 号土坑出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物

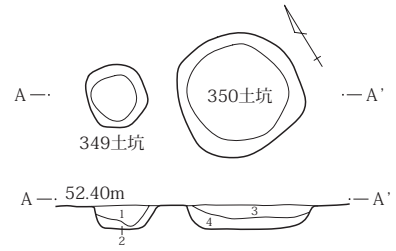
331号土坑



- 1 暗褐 ローム・白色粒子少量混 砂質
- 2 暗褐 ローム粒子・小礫少量混 砂質

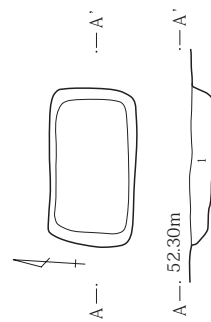


349・350号土坑



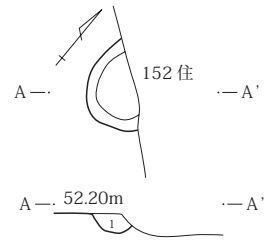
- 1 黒褐 (10YR2/2) 赤色粒子微量混 粘性弱
- 2 暗褐 (10YR3/4) ロームB大微量混 粘性弱
- 3 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・赤色粒子極少量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・赤色粒子少量混

352号土坑



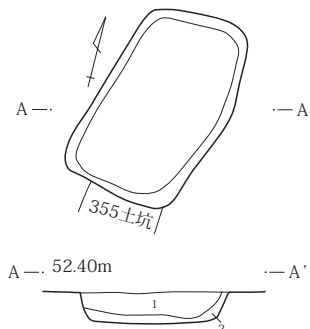
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混

353号土坑



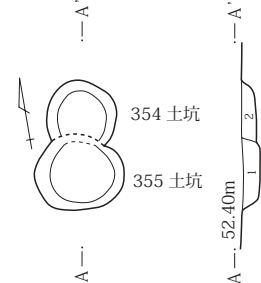
- 1 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 しまり弱

354A号土坑



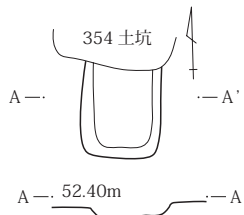
- 1 暗褐 ローム粒子・B中多量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B中中量混 しまり強

354B・355B号土坑

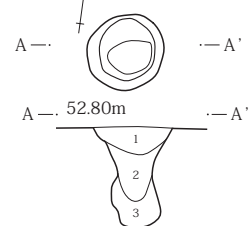


- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子中量、焼土粒子少量混

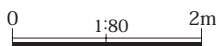
355A号土坑



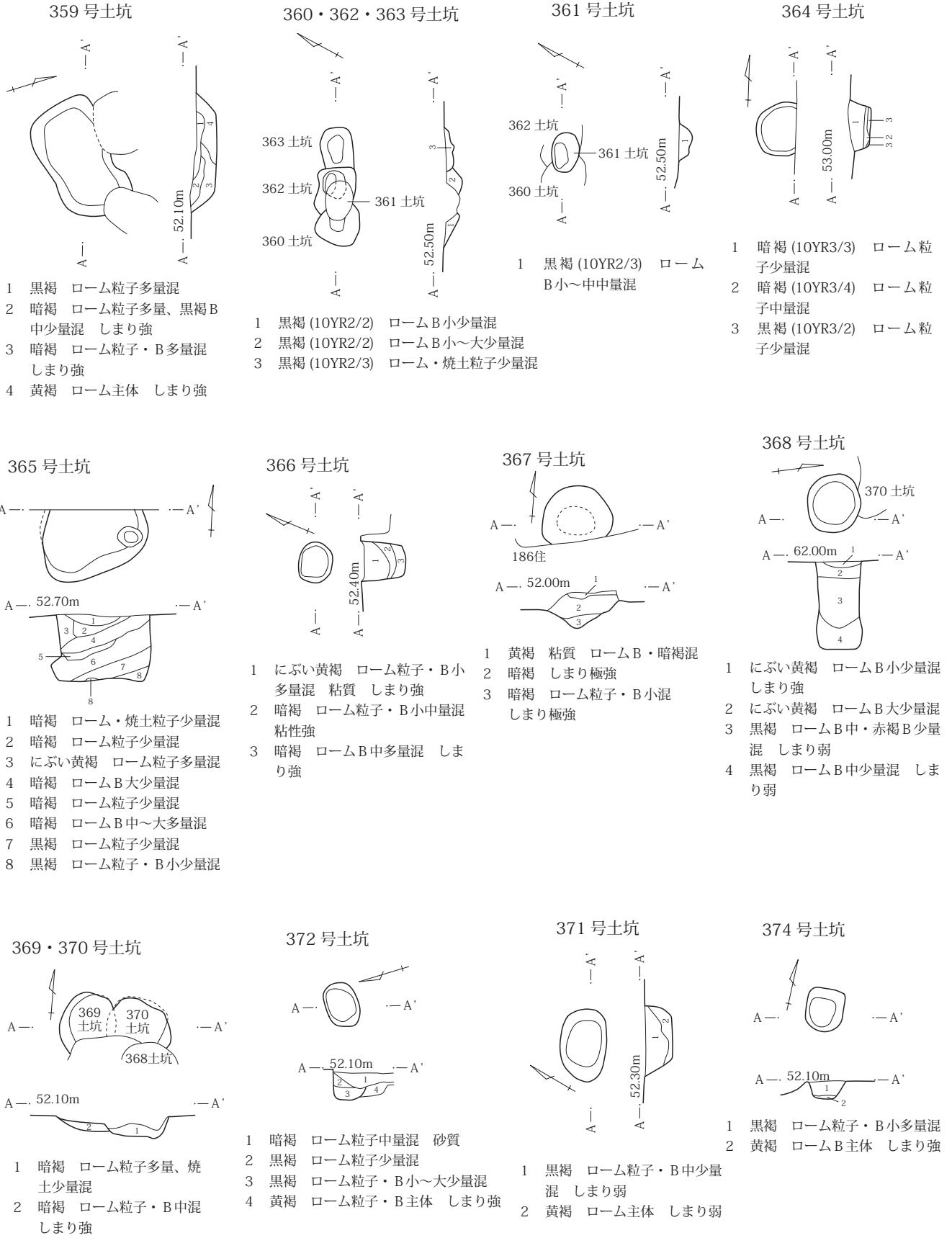
358号土坑



- 1 黒褐 ローム粒子多量混
- 2 黒褐 ローム粒子少量混
- 3 黒褐 ローム粒子・小礫少量混



第280図 330・331・349・350・352～355AB・358号土坑

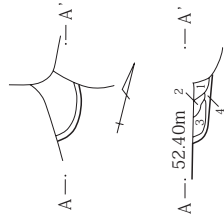


第281図 359～372・374号土坑

0 1:80 2m

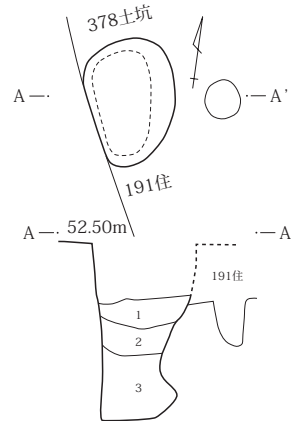
III 検出された遺構と出土遺物

375号土坑



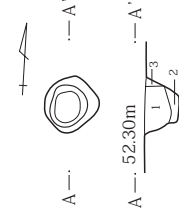
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子混 しまり強
- 2 赤褐 焼土層 しまり強
- 3 暗褐 ローム・焼土粒子多量混 しまり強
- 4 暗褐 ローム粒子多量混 しまり強

378号土坑



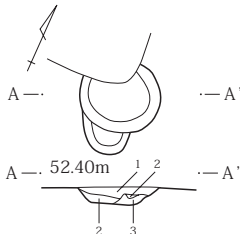
- 1 暗褐 ローム粒子・焼土少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B中少量混
- 3 にぶい黄褐 ローム粒子・B中～大混

379号土坑



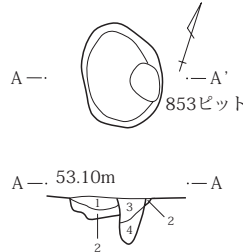
- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・赤色粒子中量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 しまり弱
- 3 にぶい黄褐 (10YR4/3) 粘性弱

380号土坑



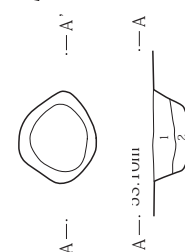
- 1 黒褐 (10YR2/2) 炭化物少量混 粘性・しまり弱
- 2 黒褐 (10YR2/3) 炭化物多量混 黄色土混 粘性・しまり弱
- 3 暗褐 (10YR3/4) 黄色土混

381号土坑



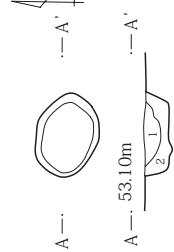
- 1 暗褐 ローム粒子・B小少量混
- 2 暗褐 ローム粒子少量混
- 3 黒褐 白色粒子微量混
- 4 黒褐 ローム粒子・B小少量混

382号土坑



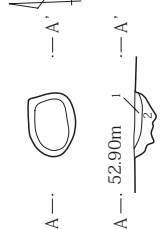
- 1 暗褐 白色粒子少量混
- 2 黒褐 ロームB中少量混 しまり強

383号土坑



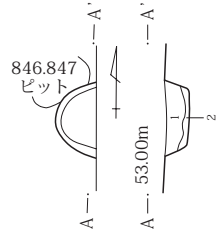
- 1 暗褐 白色粒子微量混 しまり強
- 2 暗褐 黒褐土少量混 しまり強

384号土坑



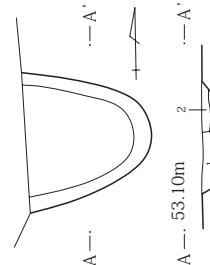
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) 黒褐B中多量混

385号土坑



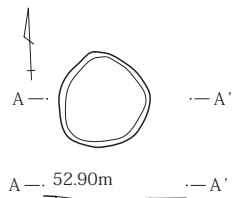
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小微量、炭化物少量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) ロームB小・黒褐B中少量混

387号土坑



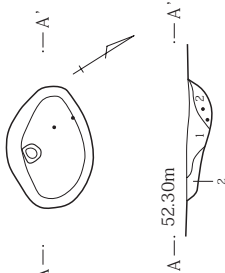
- 1 黒褐 (10YR3/1) ローム粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR3/1) 白色粒子極微量混
- 3 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子少量混

388号土坑



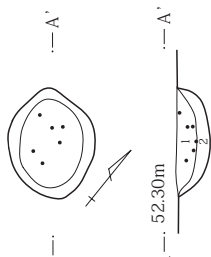
- 1 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・B小少量混

396号土坑



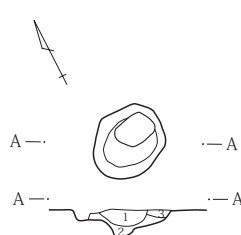
- 1 黒褐 ローム少量混
- 2 暗褐 ローム少量混

397号土坑



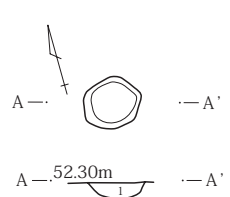
- 1 黒褐 ローム粒子・焼土・炭化物少量混
- 2 黒褐 ローム粒子少量混

398号土坑

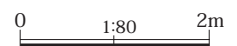


- 1 黒褐
- 2 黒褐 ローム粒子少量混 しまり弱
- 3 黒褐 砂質 しまり弱

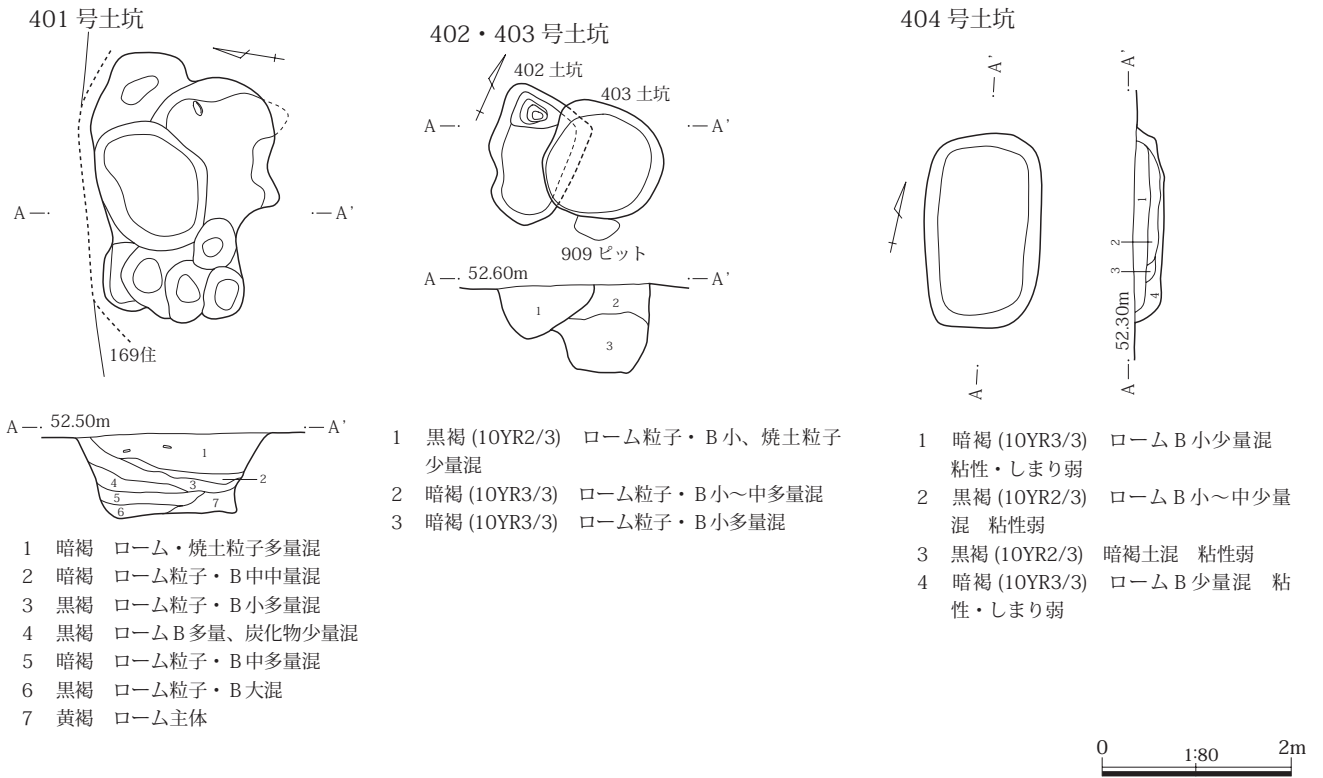
399号土坑



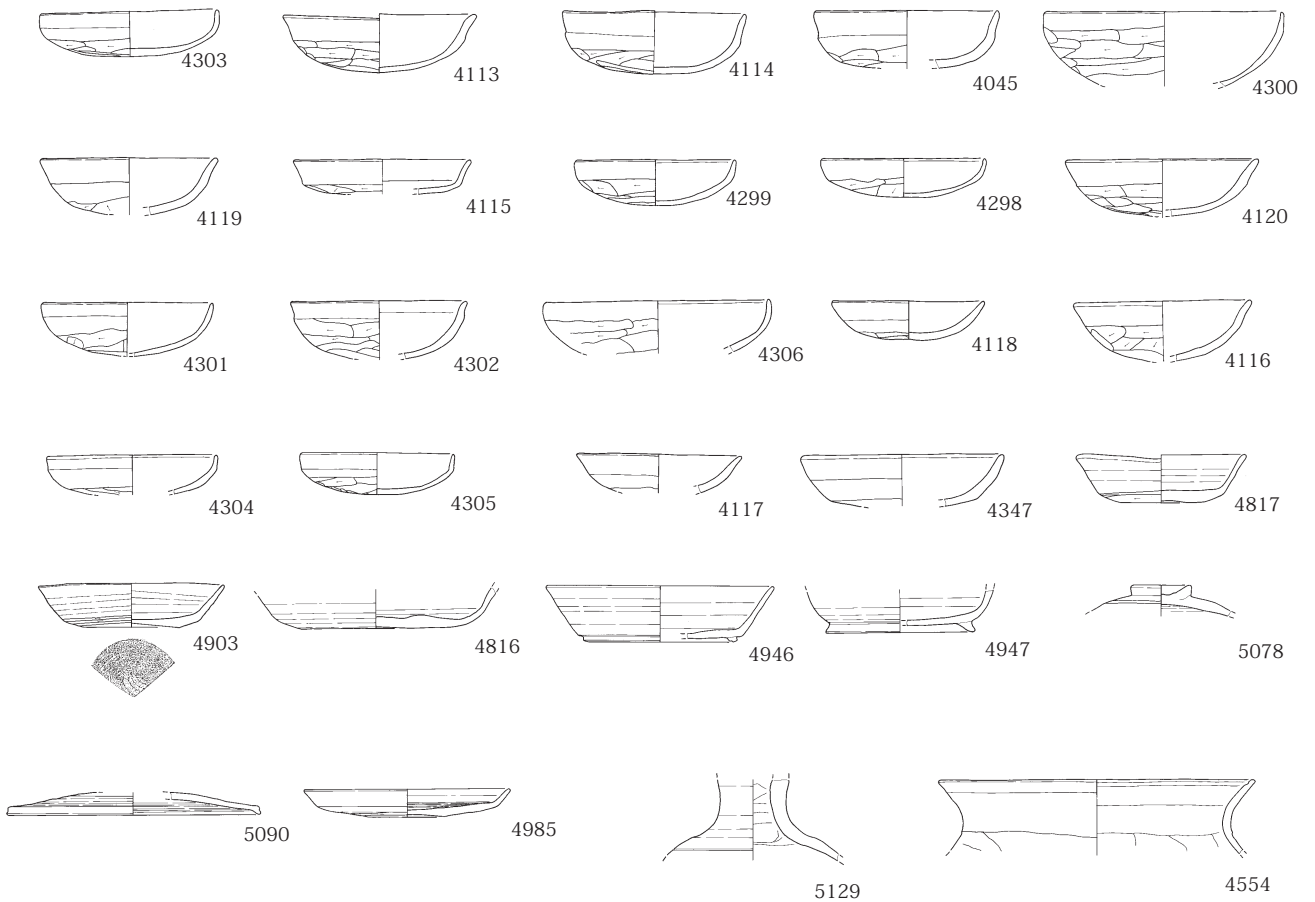
- 1 黒褐 白色粒子・炭化物少量混



第282図 375・378～385・387・388・396～399号土坑



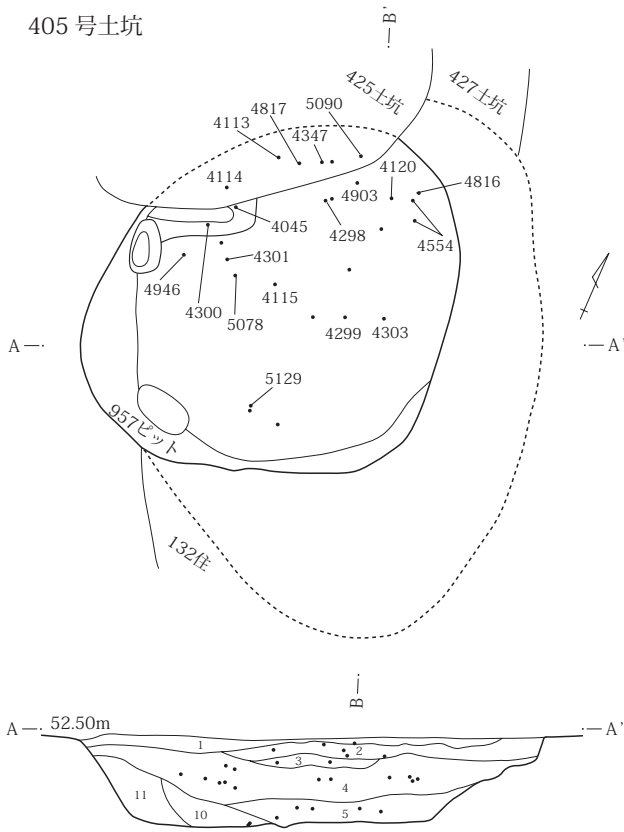
405 号土坑



第 283 図 401～404 号土坑 405 号土坑出土遺物

III 検出された遺構と出土遺物

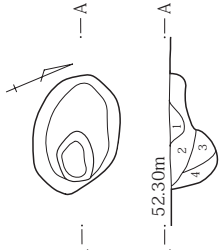
405号土坑



- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム・焼土粒子少量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 焼土・粘土B多量、炭化粒子少量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 5 黒褐 (10YR2/3) ロームB中量、焼土B少量混
- 6 黒褐 (10YR2/3) 暗褐B中量混
- 7 褐 (10YR4/4) 粘土主体 黒褐B少量混 粘性強
- 8 黒褐 (10YR2/3) 粘土粒子少量混
- 9 黒褐 (10YR3/2) ロームB小~大極多量混
- 10 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B・焼土粒子中量混
- 11 黒褐 (10YR2/2) ローム・焼土粒子少量混

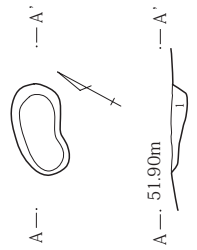


406号土坑



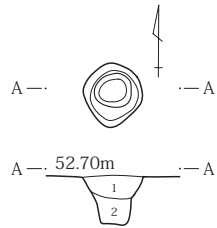
- 1 褐灰 砂質 耕作土
- 2 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 しまり強
- 3 黄褐 ローム主体 しまり強
- 4 黄褐 ローム主体 砂質 しまり強

407号土坑



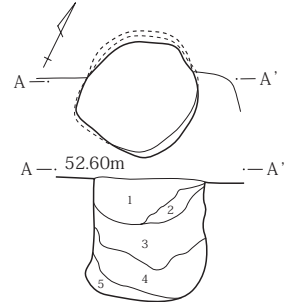
- 1 黄褐 砂質

408号土坑



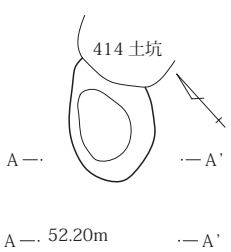
- 1 暗褐 ローム粒子・B小少量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B小微量混

409号土坑



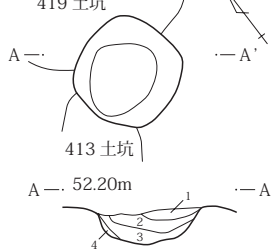
- 1 褐 小礫中少量混 しまり強
- 2 褐 黒褐土・小礫少量混 しまり強
- 3 暗褐 小礫少量混 しまり強
- 4 暗褐 ロームB少量混 しまり強
- 5 暗褐 ローム少量混 しまり強

413号土坑



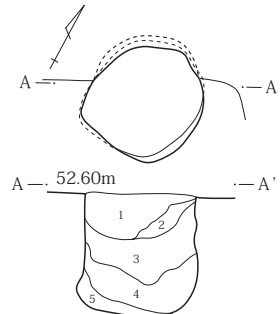
- 1 暗褐 ロームB、黒褐土B混合 しまり強

414号土坑



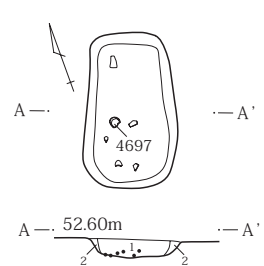
- 1 にぶい黄褐 ローム粒子・B極多量混
- 2 にぶい黄褐 ローム粒子・B極多量混 しまり強
- 3 にぶい黄褐 ローム粒子・B小極多量混 しまり弱
- 4 明黄褐 ローム主体 しまり強

419号土坑

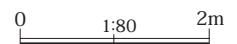


- 1 黄褐 ローム粒子・B中極多量混 しまり強
- 2 黄褐 ロームB小~大多量混 しまり強
- 3 黄褐 黄白色ローム主体 しまり強

421号土坑

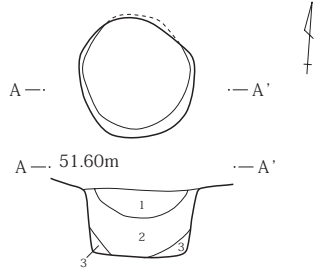


- 1 黒褐 (10YR2/2) 下方に黄色土少量混 しまり弱
- 2 黒褐 (10YR2/2)



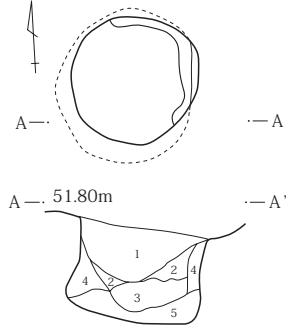
第284図 405～409・413・414・419・421号土坑 421号土坑出土遺物

423号土坑



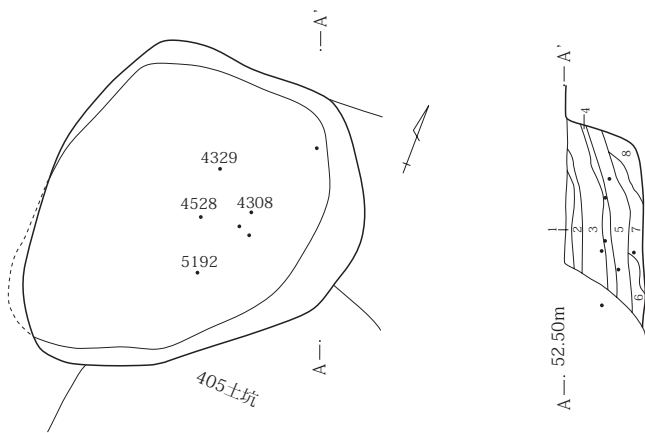
- 1 黒褐 ローム粒子微量混 しまり強
- 2 黒褐 粘性・しまり強
- 3 黒褐 ローム粒子・砂・小礫少量混しまり強

424号土坑



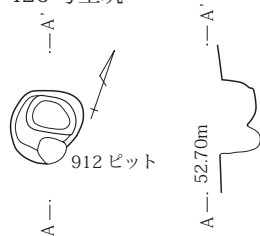
- 1 暗褐 ロームB中少量混
- 2 褐 ロームB少量混 粘性強
- 3 黄褐 ローム主体
- 4 黄褐 ローム 粘質
- 5 暗褐 粘質土

425号土坑

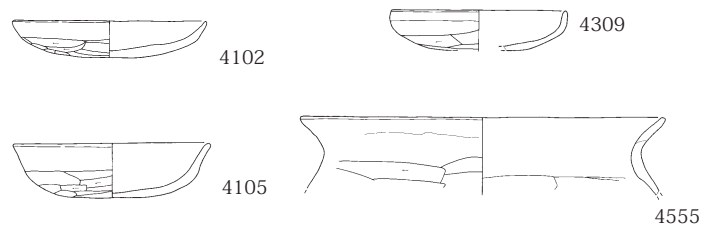


- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム・焼土・炭化粒子少量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ロームB・焼土・炭化物中量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) ローム・焼土B中・炭化物少量混
- 5 黒褐 (10YR2/3) ロームB・焼土・炭化物中量混
- 6 黒褐 (10YR2/3) ロームB中~大多量混
- 7 黒褐 (10YR2/2) ロームB少量混
- 8 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子微量混

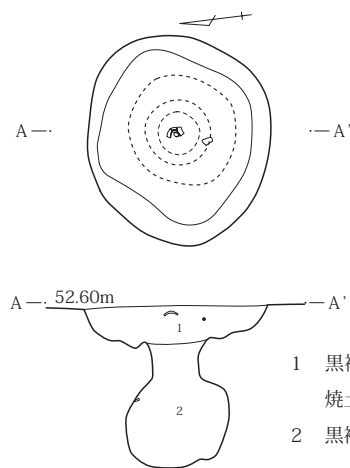
426号土坑



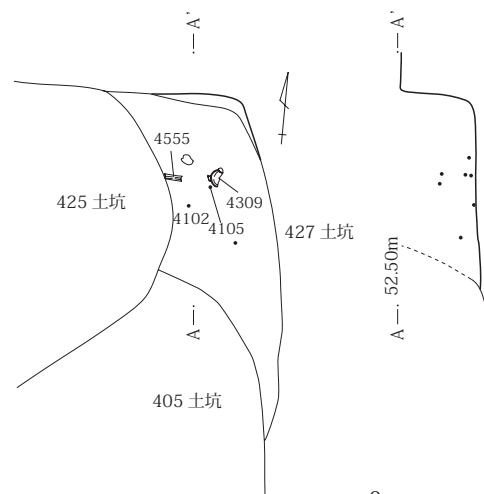
427号土坑



428号土坑



- 1 黒褐 (10YR3/1) ロームB小・小礫・焼土粒子・炭化物混 砂質
- 2 黒褐 (10YR2/2) ロームB中量混

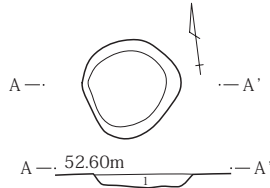


第285図 423土坑～428土坑 425・427号土坑出土遺物

0 1:80 2m

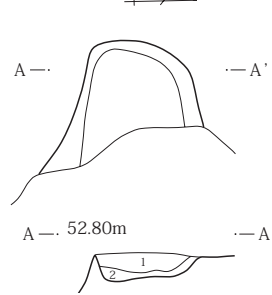
III 検出された遺構と出土遺物

429号土坑



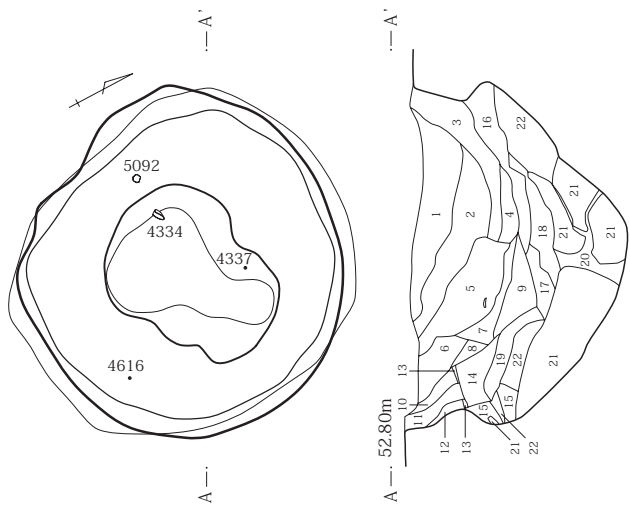
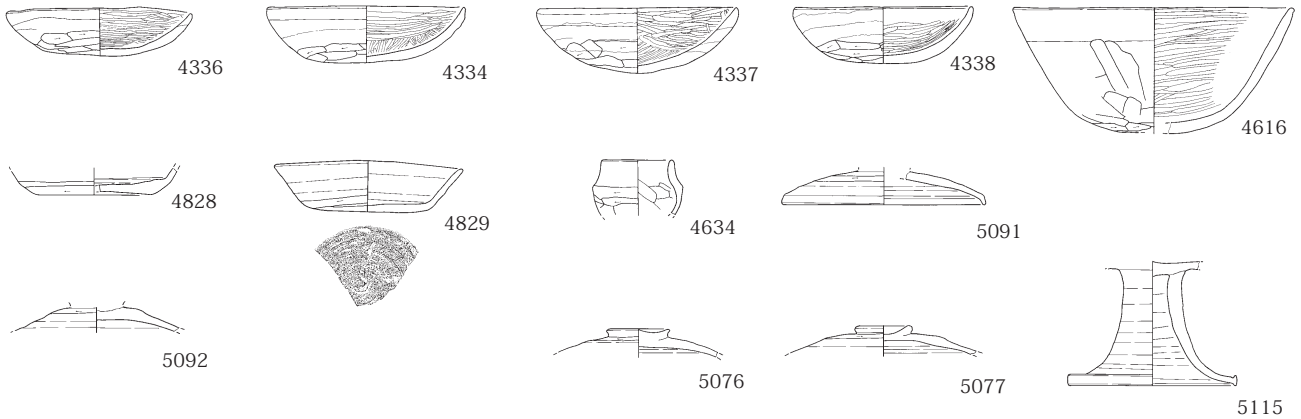
1 黒褐 (10YR3/1) 焼土粒子・炭化物混

432号土坑



- 1 褐 ロームB中〜大・小礫多量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B中多量混 しまり強

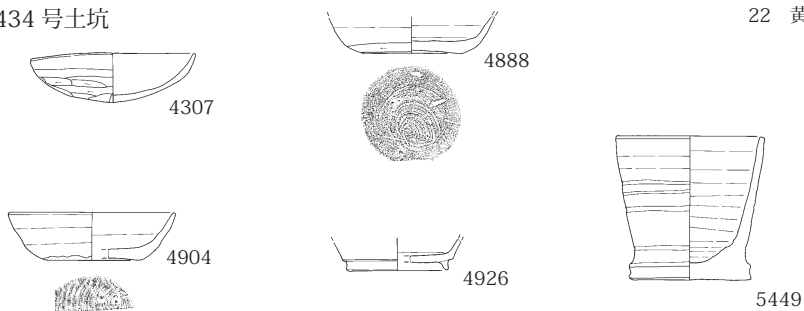
433号土坑



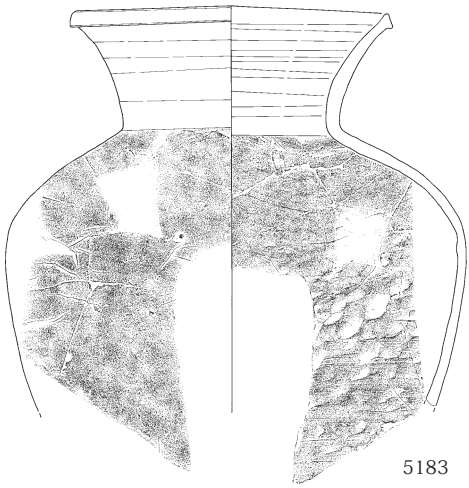
433号土坑

- 1 暗褐 ロームB大・焼土粒子・小礫中多量混 しまり強
- 2 暗褐 ロームB中少量、小礫中多量混 しまり強
- 3 暗褐 小礫多量、砂粒混
- 4 暗褐 ロームB中・小礫多量混 砂質 しまり強
- 5 黒褐 焼土粒子中量、小礫少量混 粘質 しまり強
- 6 黄褐 小礫多量混 しまり強
- 7 にぶい黄褐 ローム・小礫多量混 しまり強
- 8 黒褐 小礫中多量混 しまり強
- 9 暗褐 ローム・小礫混
- 10 黒褐 焼土粒子混 粘性・しまり強
- 11 黒褐 ローム粒子少量混 粘性・しまり強
- 12 黒褐 ロームB大混 粘性・しまり強
- 13 灰 小礫・砂利層
- 14 黒褐 粘質 しまり強
- 15 暗褐 ローム粒子混 しまり弱
- 16 暗褐 小礫少量混 砂質
- 17 褐 砂層
- 18 灰褐 小礫多量混
- 19 黄褐 ローム漸位層ロームB中少量混 しまり強
- 20 暗褐 ローム・小礫混 しまり弱
- 21 暗褐 ローム主体
- 22 黄褐 ローム主体

434号土坑

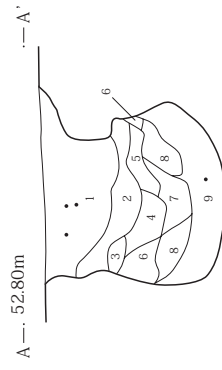
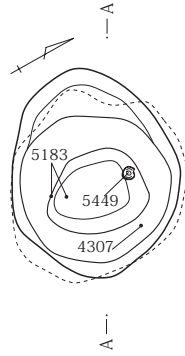


第286図 429・432・433号土坑 433・434号土坑出土遺物



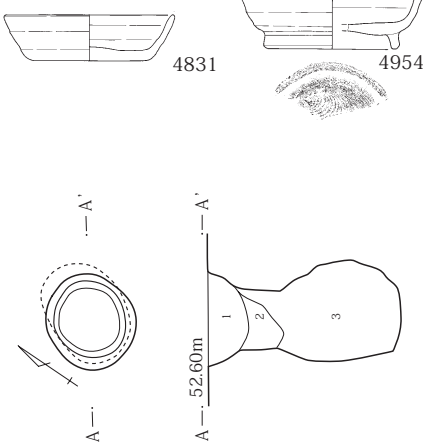
5183

434号土坑



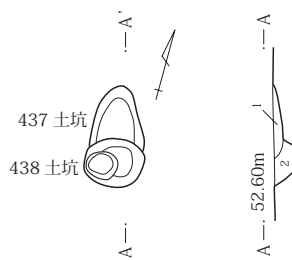
- 1 暗褐 礫少量混 しまり強
- 2 にぶい黄褐 ローム主体 礫中混 しまり強
- 3 淡黄 ローム主体 しまり強
- 4 暗褐 ローム主体 小礫混 しまり強
- 5 黒褐 ローム・小礫中量混 粘性・しまり強
- 6 黒褐 ロームB中量混 粘性強
- 7 暗褐 小礫主体
- 8 黄褐 ローム主体 しまり強
- 9 暗灰黄 ローム主体 小礫中混

435号土坑



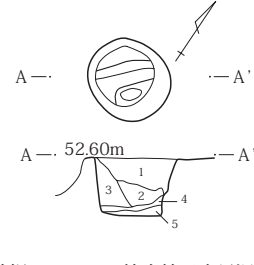
- 1 暗褐 ローム粒子・B少量、小礫中多量混 しまり強
- 2 暗褐 ローム粒子少量、小礫中多量混 しまり弱
- 3 暗褐 ローム粒子少量、小礫中・砂利多量混

437・438号土坑



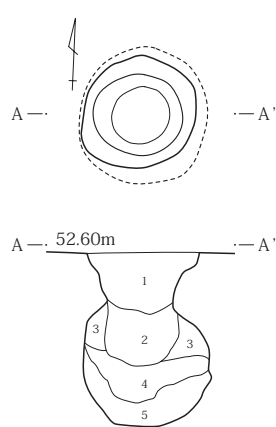
- 1 黒褐 (10YR3/2) 炭化物少量、ローム・焼土粒子混
- 2 黒褐 (10YR3/2) ローム粒子・B小、炭化物混

439号土坑



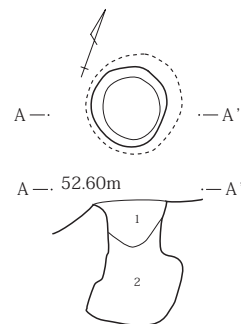
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
- 2 暗褐 ローム・焼土粒子混 しまり強
- 3 黒褐 ローム粒子微量、焼土粒子中量混
- 4 黒褐 ローム粒子少量混 粘性・しまり強
- 5 にぶい黄褐 ローム粒子・B中混 粘性強

442号土坑



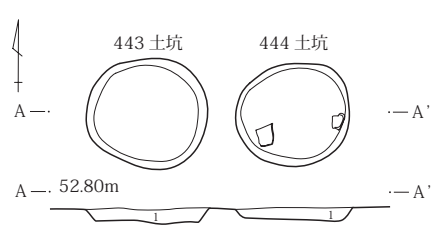
- 1 暗褐 焼土粒子少量混
- 2 暗褐 焼土粒子・小礫少量混
- 3 黒褐 ローム粒子少量、小礫中量混

441号土坑



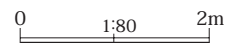
- 1 褐 小礫中多量混 しまり強
- 2 暗褐 小礫中・砂利多量混 しまり強

443・444号土坑



- 1 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子微量混 粘性弱 しまり強

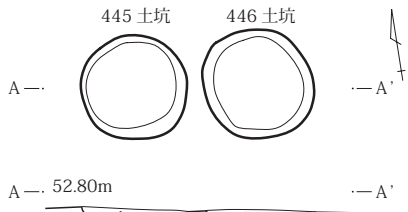
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子、小礫少量混 しまり強
- 2 暗褐 ローム粒子・小礫少量混
- 3 暗褐 ローム土壌少量混 しまり弱
- 4 暗褐 ロームB・小礫少量混 しまり弱
- 5 黄褐 ローム 上からの崩落土



第287図 434・435・437～444号土坑 434・435号土坑出土遺物

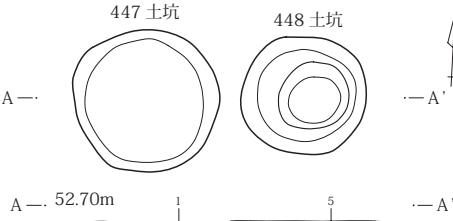
III 検出された遺構と出土遺物

445・446号土坑



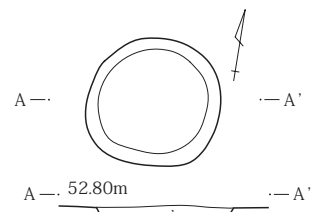
- 1 暗褐 (10YR3/4) 焼土粒子微量混
粘性弱 しまり強

447・448号土坑



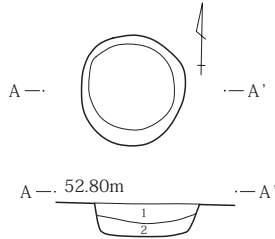
- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子微量、褐色土B小少量混
2 灰黄褐 (10YR4/2) 細砂層 粘性・しまり弱
3 暗褐 焼土粒子・細砂微量混
4 にぶい黄褐 (10YR4/3) ローム主体 暗褐土B中量混
5 暗褐 (10YR3/3) 焼土粒子微量、細砂多量混 粘性弱
6 暗褐 (10YR3/3) 暗褐土B多量混
7 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量、暗褐土B中量混
8 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B少量混

449号土坑



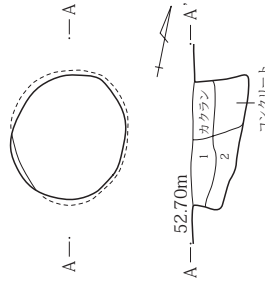
- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小、
焼土粒子中量混
2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子微量
混 粘性弱
3 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B
小少量混

450号土坑



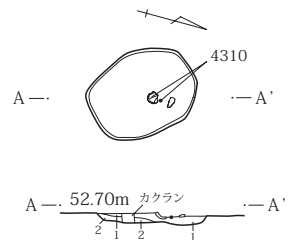
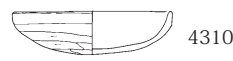
- 1 褐 ローム・焼土・炭化粒子少量混
2 暗褐 ローム粒子・B小少量混

451号土坑



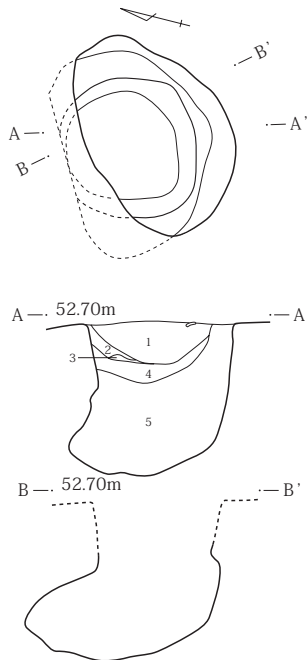
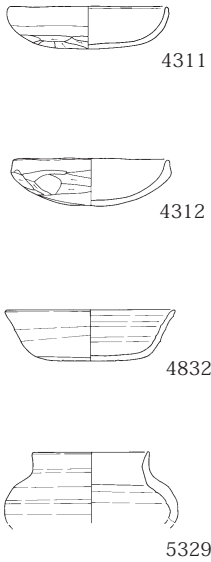
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小微量混

452号土坑



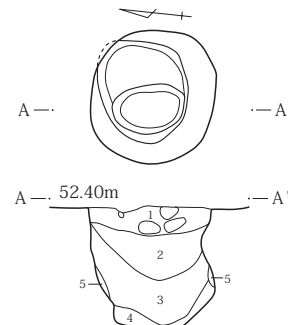
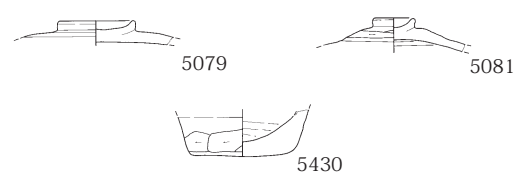
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子微量混
粘性弱
2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子微量混

453号土坑

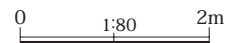


- 1 にぶい黄褐 ローム粒子・B中、焼土粒子・小礫中多量混
2 赤褐 焼土・小礫多量混
3 暗褐
4 暗褐 ローム粒子・B小、小礫少量混
5 黒褐 ローム粒子・B小、礫中少量混

454号土坑

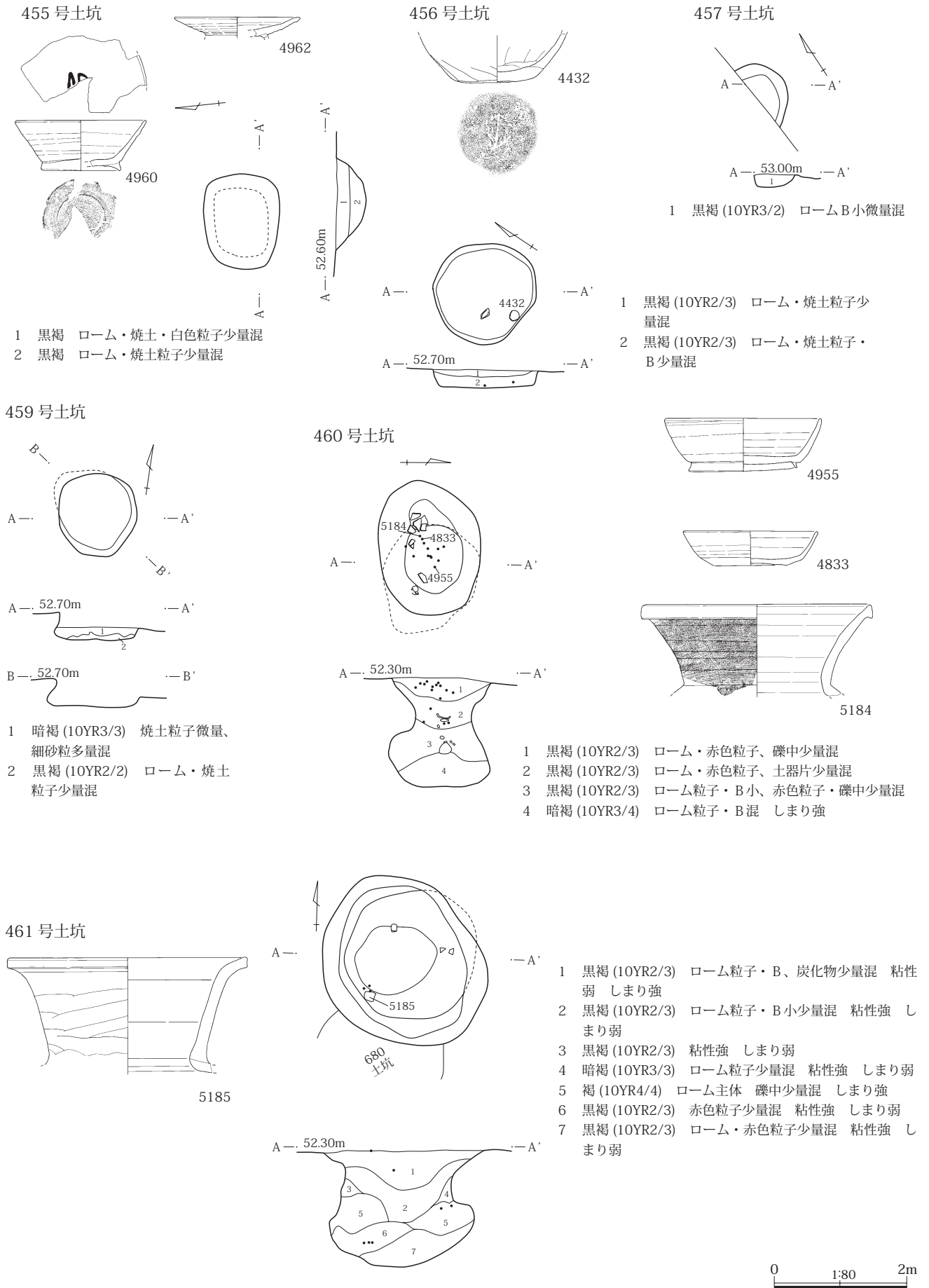


- 1 暗褐 ローム粒子・礫中～大混
2 暗褐 ローム・焼土粒子、小礫少量混
3 暗褐 ローム粒子・小礫少量混
4 にぶい黄褐 ローム粒子・粘土B主体
5 黄褐 ローム 粘性強



第292図 445～454号土坑 452～454号土坑出土遺物

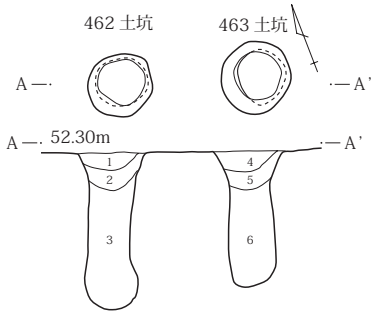
2 古墳時代後期～平安時代



第 289 図 455～457・459～461 号土坑 455・456・460・461 号土坑出土遺物

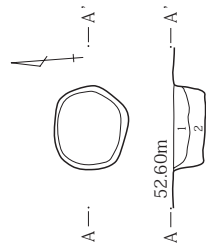
III 検出された遺構と出土遺物

462・463号土坑



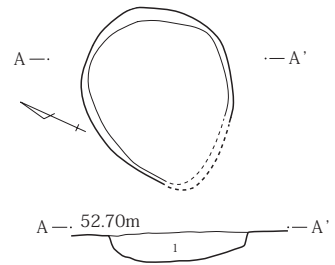
- 1 暗褐 焼土粒子、小礫少量混 しまり弱
- 2 暗褐 焼土粒子少量混
- 3 黒褐 ローム粒子少量混
- 4 暗褐 小礫多量混 しまり弱
- 5 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり弱
- 6 黒褐 しまり弱

465号土坑



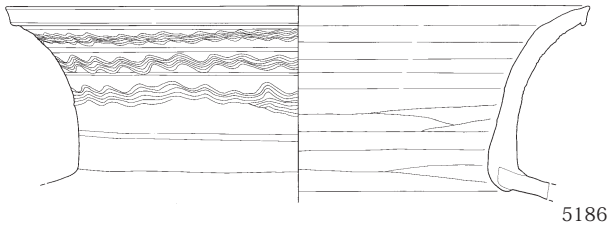
- 1 黒褐 (10YR3/2) ロームB中・赤色粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム・B中少量混

467号土坑

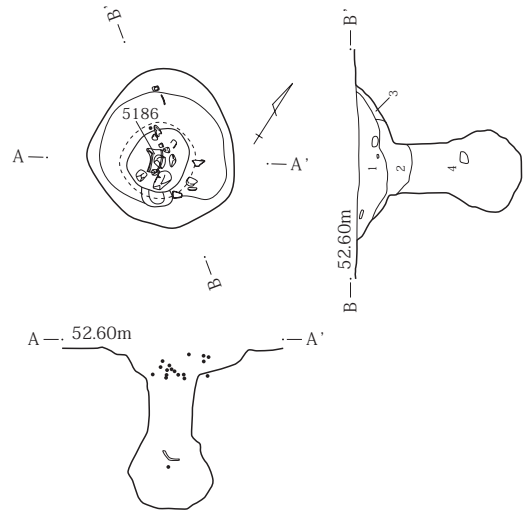


- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム・焼土粒子少量混 しまり強

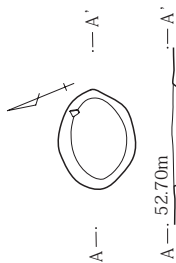
466号土坑



- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・赤色粒子・土器片・礫少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中多量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) ローム混 粘性強
- 4 黒褐 (10YR2/3) ロームB中、赤色粒子・礫中少量混

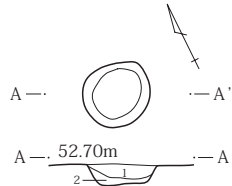


468号土坑



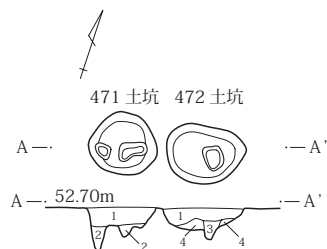
- 1 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子少量、炭化粒子微量混
- 2 黒褐 (10YR2/2) ローム・焼土粒子微量混 14号溝覆土

469号土坑



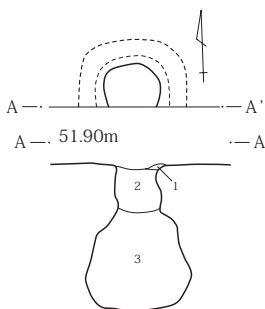
- 1 黒褐 (10YR2/2) 焼土粒子少量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) 黒褐土B多量混 粘性・しまり弱

471・472号土坑



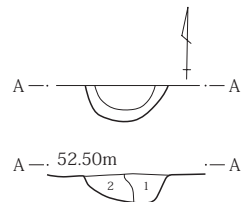
- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子微量混 粘性・しまり弱
- 2 黒褐 (10YR2/2) ロームB小少量混 粘性・しまり弱
- 3 黒褐 (10YR2/2) ロームB中中量混 粘性・しまり弱
- 4 黒褐 (10YR2/2) ロームB小少量混

475号土坑



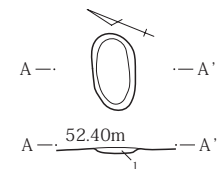
- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子中量混
- 2 黒褐 (10YR3/2) ローム・焼土粒子、小礫微量混
- 3 暗褐 (10YR3/3) 小礫微量混

476号土坑

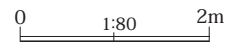


- 1 暗褐 ローム・白色粒子少量混
- 2 暗褐 ローム粒子少量混

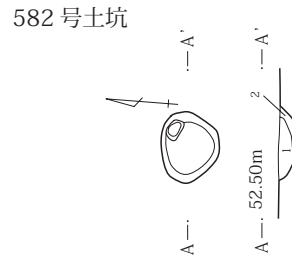
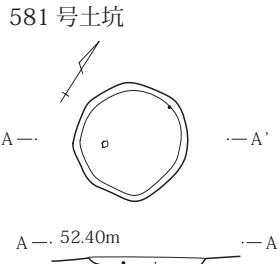
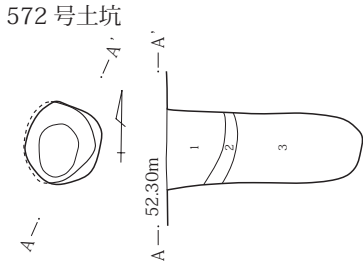
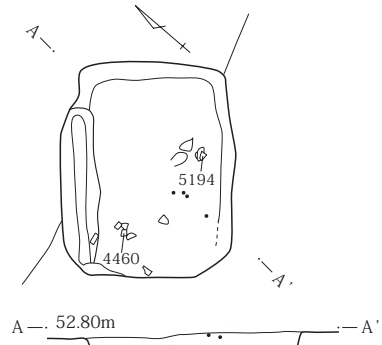
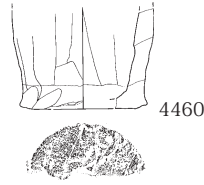
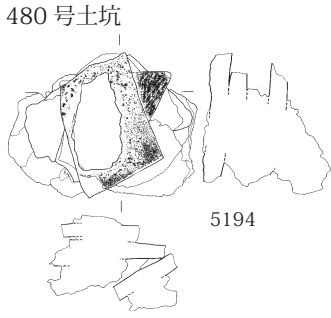
477号土坑



- 1 暗褐 (10YR3/4) 焼土・炭化粒子微量、粘土B中量混



第290図 462・463・465～469・471・472・475～477号土坑 466号土坑出土遺物

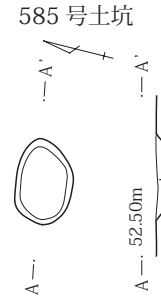
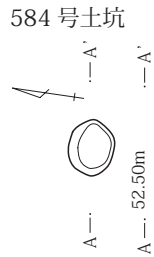
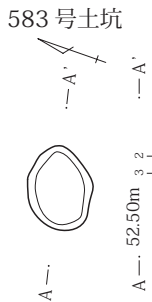


- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量、小石多量混
- 2 暗褐 ローム粒子・砂状ローム多量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B中少量混

- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B小～中中量混

- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B中、焼土粒子少量混 しまり弱
- 2 黒褐 (10YR2/3) ロームB中～大少量、焼土粒子微量混

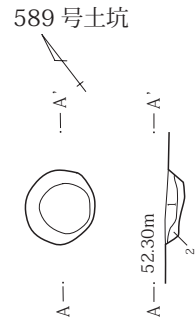
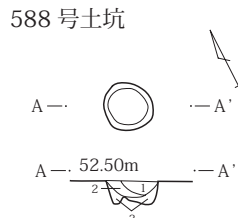
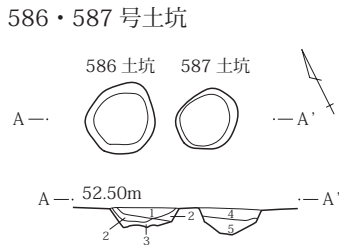
- 1 黒褐 (10YR2/3) ロームB中少量混
- 2 褐 (10YR4/6) ロームB中多量混 しまり強



- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子混
- 2 暗褐 (10YR3/3) ロームB小～中少量混
- 3 にぶい黄褐 (10YR4/3) しまり弱
- 4 暗褐 ロームB中混

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子混 しまり弱
- 2 暗褐 (10YR3/3) ロームB中少量、ローム粒子極小混

- 1 暗褐 (10YR3/3) ロームB中中量混 しまり弱



- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・黒褐土混
- 2 暗褐 (10YR3/3) ロームB中少量混
- 3 暗褐 ロームB中混
- 4 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子極小・黒褐土混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ロームB小～中少量混

- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・炭化物少量混 粘性弱
- 2 暗褐 (10YR3/4) 黒褐土、ローム粒子混
- 3 暗褐 ロームB混

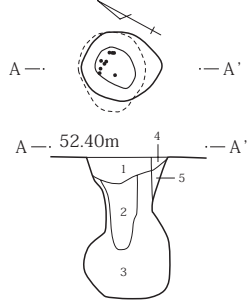
- 1 暗褐 ローム粒子少量混
- 2 褐 ローム主体 暗褐土少量混



第 291 図 480・572・581～589号土坑 480号土坑出土遺物

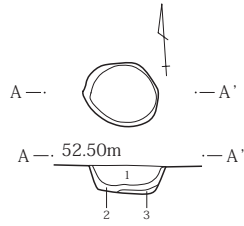
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

590 号土坑



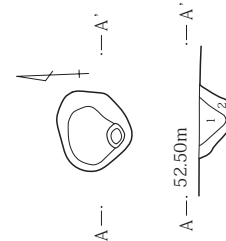
- 1 暗褐 白色粒子少量混
- 2 暗褐 小礫少量混
- 3 暗褐 ローム中量、小礫少量混
- 4 にぶい黄褐 ローム粒子・暗褐土混
- 5 黄褐 暗褐土少量混 しまり強

591 号土坑



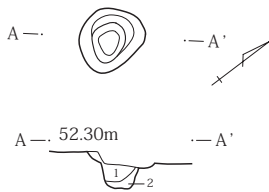
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子極小・白色粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) 暗褐土混 しまり弱
- 3 暗褐

592 号土坑



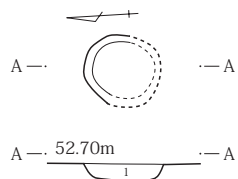
- 1 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子・B小少量混 粘性弱
- 2 黒褐 (10YR2/2) 暗褐土中量混

594 号土坑



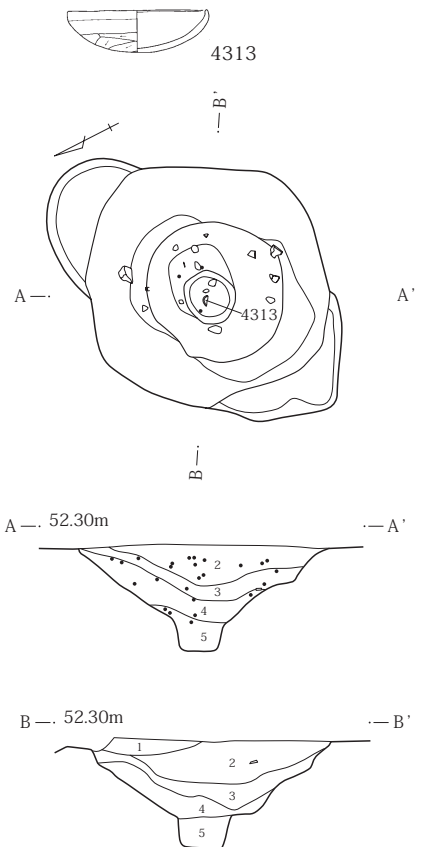
- 1 黒褐 ローム粒子少量混 しまり強
- 2 黒褐 ローム粒子・褐色土B小少量混

596 号土坑

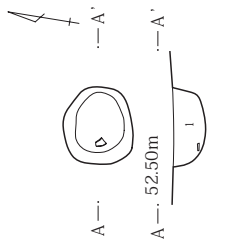


- 1 黒褐 ロームB中・白色粒子少量混

599 号土坑

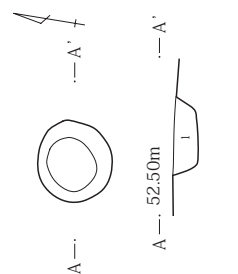


603 号土坑



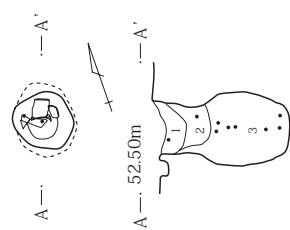
- 1 暗褐 ローム粒子少量混 しまり強

604 号土坑



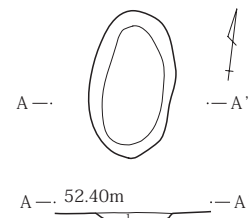
- 1 暗褐 ローム粒子少量混

616 号土坑



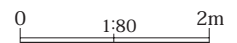
- 1 黒褐 ローム粒子微量、炭化物少量混
- 2 黒褐 ローム粒子・小礫少量混
- 3 黒褐 ローム粒子少量混

617 号土坑

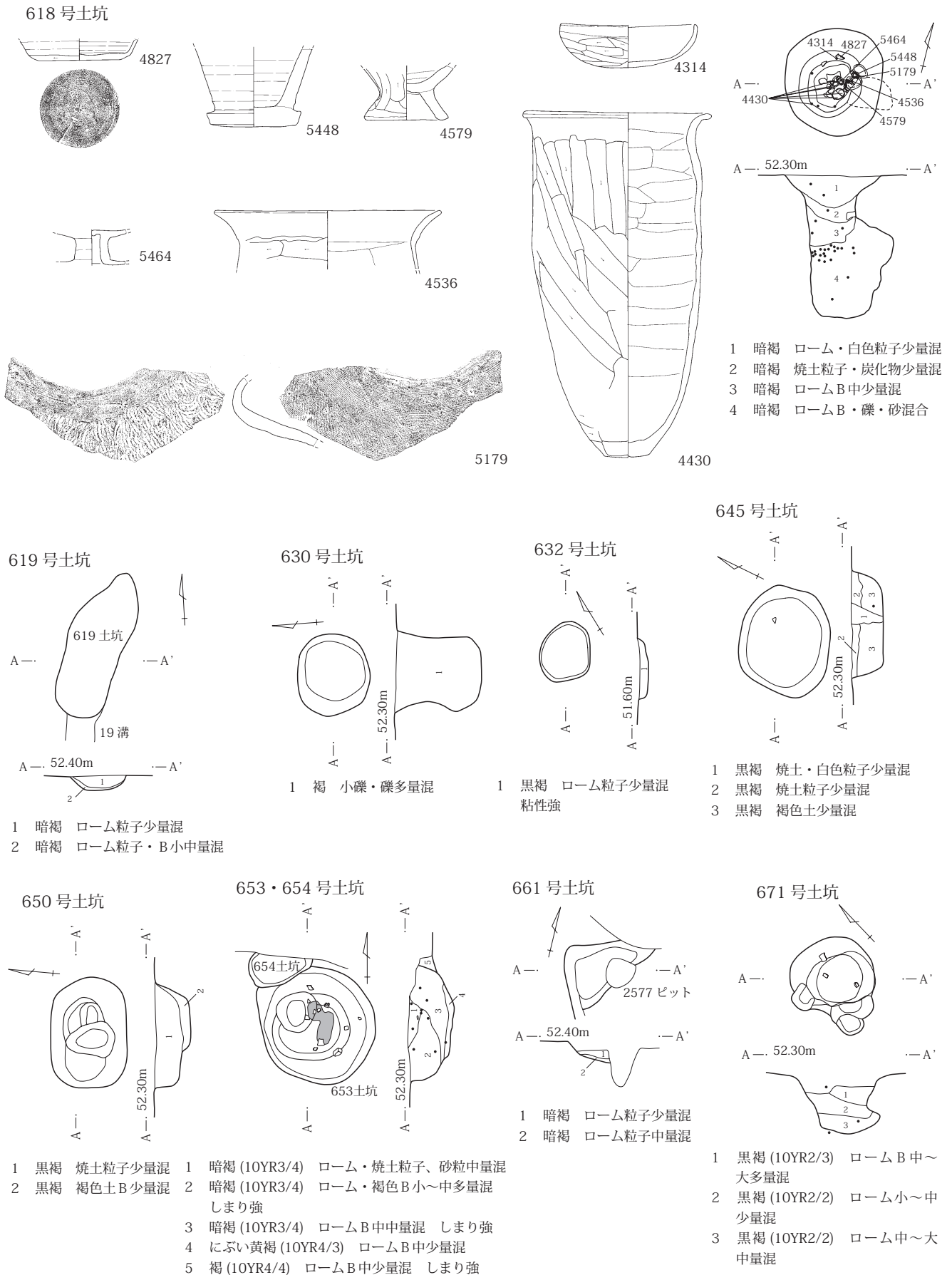


- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混

- 1 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子微量混 粘性弱
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子微量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小～中少量混
- 4 黒褐 (10YR2/3) ロームB中量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ロームB小多量混



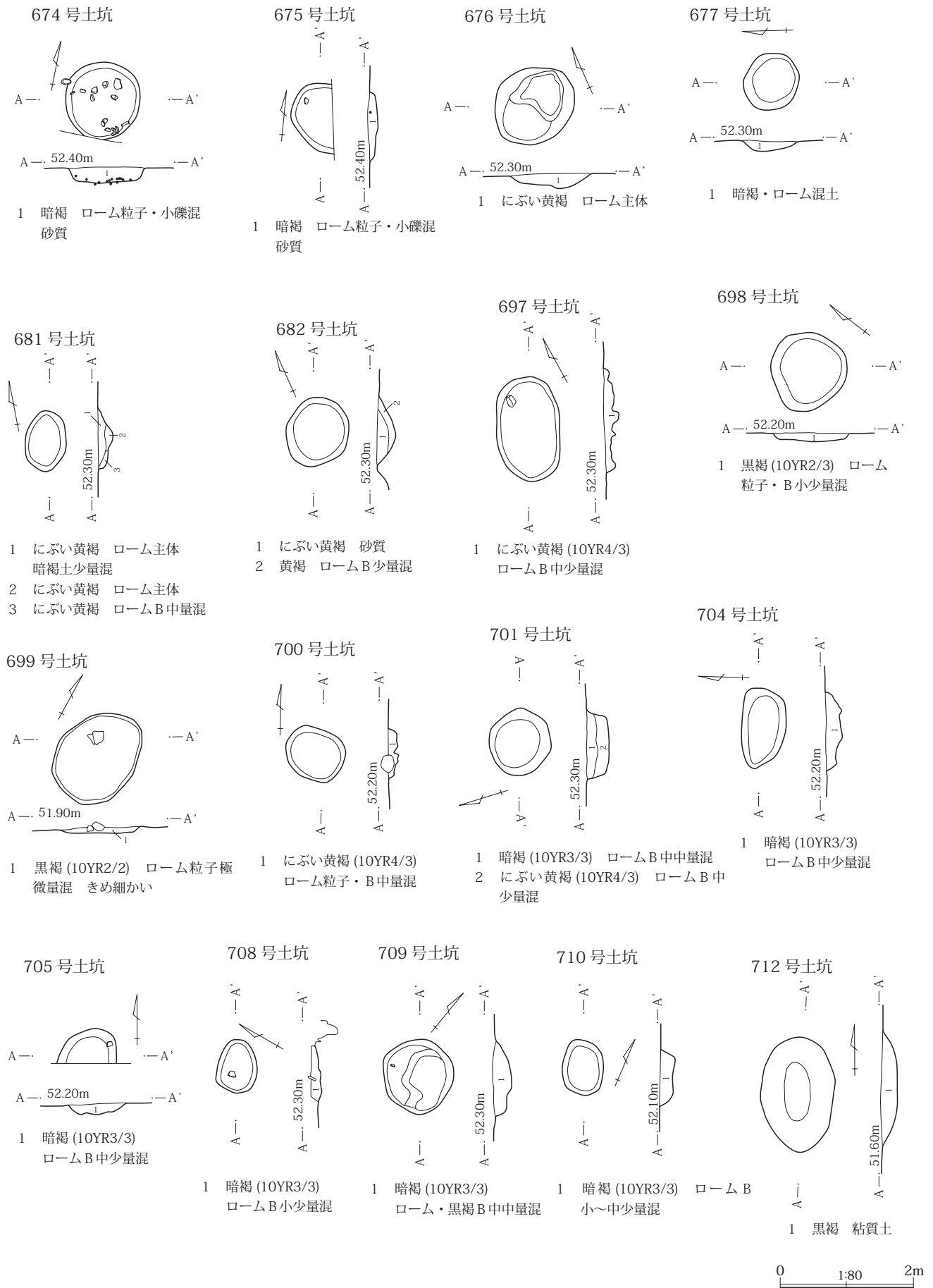
第 292 図 590～592・594・596・599・603・604・616・617 号土坑 599 号土坑出土遺物



第293図 618・630・632・645・650・661・671号土坑 618号土坑出土遺物

0 1:80 2m

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 294 図 674～677・681・682・697～701・704・705・708～710・712 号土坑

ピット (第 295・296 図、PL89～92)

ピットは 712 基検出されている。

- ①分布 調査区全面から検出されているが、特に東端部には集中している箇所がある。
- ②規模 長径 128～20cm 平均 46cm、短径 102～14cm 平均 38cm、深さ 196～8cm 平均 35cm である。
- ④機能・時期 ほとんどが性格不明のものである。柱痕あるいは抜き取り痕が見られるものは 2 基で、柱穴と断定できるものは少ない。断面を見ると、土坑同様井戸状に深いものがあるが、平面規模が小さいため、井

戸とすることはできない。2389・2390 ピットは土坑の D-3 群と同様の形態をしており、機能も同様であったと推定される。時期のわかるものも少ないが、出土遺物から時期を推定できるものは、2111・2302 ピット等で、いずれも 8 世紀と考えられる。

なお、3・4 区同様、ピットは、残存状況のよいもの、遺物の出土しているもの深さがあってしっかりしているものを中心に代表的なものを 1/40 で掲載しているが、すべて掲載できなかったため、他は全体図を参照されたい。

第 14 表 ピット一覧表

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
374B	355・356-957		67	65	30	
581	356-915・916		38	33	21	
582	351-913・914		42	30	66	
583	351-913		60	50	54	
584	355・356-955		91	72	85	
585	358・359-955・956	598 ピット	109	83	84	
586	356-907・908		32	27	34	
587	354-907		30	27	39	
588	360-940・941		44	37	50	
589	360-937・938		36	28	32	
590	360-937		39	36	51	
591	360・361-908・909	331 土坑	54	47	34	
595	357・358-957・958		85	82	52	
596	359-956・957		53	50	50	
597	359-956		43	38	35	
598	358・359-955・956	585 ピット	48	44	39	
599	357-956		34	31	34	
600	357-955		44	35	37	
601	357-955・956		46	36	42	
602	357-954		37	36	46	
603	357-954		35	32	45	
605	357・358-955		39	28	38	
606	358-954・955		68	[27]	46	
607	358-955	155 住	61	36	40	
608	353-928・929	184 住	60	50	53	
609	356-935・936		60	54	56	
610	358-936・937	424 土坑	47	45	62	
622	358・359-985・986		105	76	36	
623	356-985		48	37	45	
624	354・355-984		38	37	32	
631	351-986		43	35	46	
632	355-999		40	28	14	
634	352・353-999・000		39	33	25	
636	355・356-999・000		66	54	30	
637	354-999		38	31	25	
639	350・351-002		35	28	22	
640	349・350-984		50	46	24	
641	351・352-985		52	46	32	
642	352-984		22	17	26	
643	357・358-987		62	57	43	
644	356・357-958・986		76	64	17	
645	357-984・985	646 ピット	41	38	18	
646	357-984	645 ピット	37	30	17	
647	357-985・986		52	44	22	
648	355-983		26	22	16	
649	355-982		41	34	56	
650	351-980・981		44	38	53	

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
751	349・350-998・999	185 住	76	[50]	25	
752	355-942		40	34	85	
755	358・359-963・964		68	53	38	
756	359-962・963		49	43	19	
757	359-962		90	63	43	
758	358-965		60	58	30	
759	359-964		60	54	26	
760	353・354-969		33	28	29	
765	350-981・982		65	53	24	
766	350・351-982		61	46	34	
767	349-982・983		39	39	20	
769	351・352-987・988		60	39	45	
770	348-983・984		53	47	20	
771	347-005		33	31	16	
774	348・349-007		35	28	15	
775	347・348-006・007		24	17	27	
776	348-006・007		40	39	35	
777	349・350-005		64	58	44	
778	350-005		50	47	46	
779	345・346-001		51	47	31	
782	347・348-978・979		74	66	39	
784	352-929・930		51	47	39	
785	351・352-931		48	45	24	
786	355-926		39	38	22	
787	353・354-946・947		45	41	32	
788	359・360-931・932		64	62	28	
789	360・361-930・931		56	53	26	
790	360-930		48	46	53	
791	359・360-932・933		35	29	45	
792	359・360-934・935		56	48	31	
793	342・343-995		62	59	37	
794	344-995・996		50	38	39	
795	340・341-996・997		55	51	29	
796	343-992		50	43	31	
797	341・342-996	798 ピット	56	43	31	
798	341・342-996	797 ピット	60	46	15	
831	342-018		48	39	44	
832	342-017・018		46	38	58	
833	343-019・020	854・855 ピット	66	(48)	40	
834	344-019・020	381 土坑	58	52	37	
835	351-018・019		30	25	29	
836	355-018・019		32	27	43	
837	321・322-018		42	[26]	33	
838	321・322-016・017		53	52	50	
839	320・321-017・018		58	48	41	
840	320-017		40	37	32	
841	315-017		50	49	62	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
842	315-016		31	[18]	21	
843	310・311-017		35	31	22	
844	317-016		38	32	39	
845	314-018		40	28	89	
846	313-016・017	847ピット 385土坑	45	[30]	43	
847	313-016	846ピット 385土坑	[43]	[41]	48	
848	322・323-018		67	44	73	
849	325・326-018		46	[19]	30	
850	349・350-019	851ピット	51	35	48	
851	349-019	850ピット	23	18	53	
852	349-019		42	34	53	
853	344-019		43	31	55	
854	342・343-019・020	833ピット	64	44	44	
855	343-020	833ピット	51	41	31	
856	352・353-019		54	40	44	
857	353-018・019		58	44	49	
858	346-018・019		54	39	43	
859	350-018		(46)	(41)	9	
860	310-017	386土坑	34	26	66	
902	340・341-997・998	903ピット	76	54	23	
903	339・340-997・998	902ピット	65	59	30	
904	351・352-979		56	[31]	41	
907	355-017	908ピット	39	35	41	
908	355・356-017	907ピット	38	33	17	
909	348-975	403土坑	48	[24]	35	
911	342-999		43	37	28	
912	339・340-996	426土坑	30	28	44	
913	341・342-990	138住	(34)	(29)	23	
914	339・340-990・991	138住	(40)	(38)	21	
915	310-010		37	36	36	
916	310・311-010・011		45	37	45	
917	311-010・011		48	42	28	
918	352-921		50	34	29	
919	311・312-008・009		67	57	72	
920	348-019・020		46	32	33	
921	347・348-019		47	43	20	
922	346-020		37	29	20	
923	344・345-019		40	38	52	
924	344-018		35	29	37	
925	345-017		31	26	17	
926	342・343-018・019		46	30	37	
927	342・343-018		37	35	37	
928	342-019		26	23	17	
929	341-019・020		36	32	21	
930	341-019		37	31	46	
931	341-019		42	34	52	
932	340-018		34	27	38	
933	341-018		33	28	19	
934	317-017・018		52	40	32	
935	351-019		49	42	38	
936	340・341-988		35	32	23	
937	338-995・996		51	40	44	
939	337・338-995		59	52	43	
940	351-917・918		64	34	41	
941	312-009		34	31	11	
942	312-010		31	26	24	
943	314-007・008		35	32	30	
944	315-009		31	25	40	
945	314・315-009		27	26	22	
946	316-006		34	28	21	
947	316-011		41	35	28	
948	318・319-008		49	40	33	
949	316・317-008		45	45	61	
950	317-007		29	28	19	
951	317-010・011		35	33	49	

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
952	318-009		33	30	30	
953	313-007		40	34	49	
954	319-006		32	26	16	
955	324-997		54	39	32	
956	342-988・989		44	38	40	
957	346・347-972	405土坑	65	41	56	
961	353-973		21	18	25	
963	355-953		32	23	26	
965	324-997		56	44	29	
966	326・327-997		30	30	17	
967	327-995		34	33	29	
968	324・325-994		57	56	28	
969	323・324-993		71	56	39	
970	325-991・992		38	32	25	
971	342・325-991		41	31	36	
972	319・320-991・992		53	47	33	
973	317・318-991		47	43	49	
974	318・319-989・990		44	40	52	
975	317・318-002		67	58	137	
976	318-000		34	22	26	
977	318-999・000		39	37	40	
978	315・316-000		42	37	19	
979	316-998・999		27	20	28	
980	315-997・998		36	30	21	
981	318-998・999		48	40	31	
982	318・319-998		94	79	39	
983	319・320-997・998		52	38	25	
984	320-997		35	32	33	
985	317-999		31	29	29	
986	352・353-916		34	28	16	
987	318・319-991		90	46	45	
988	317・318-990・991		37	36	22	
992	320-990・991		41	34	47	
993	319・320-993		42	34	27	
994	309・310-996・997		45	41	18	
995	310-996・997		37	33	22	
996	309-002		47	[36]	19	
997	309-000・001		67	64	24	
998	311-000		41	30	22	
999	308・309-988		40	35	34	
2001	309-990・991		29	23	45	
2002	309・310-994・995		72	58	8	
2003	314・315-977・978		62	49	29	
2004	310-978・979	2018ピット	60	54	29	
2005	311-978		34	33	17	
2006	312-978		71	68	21	
2007	312・313-977・978		48	41	22	
2008	313・314-977		64	63	31	
2009	314-977		33	24	20	
2010	310-977・978		40	35	26	
2011	311-978		44	40	22	
2012	312-977		37	27	25	
2013	312-978・979		56	51	41	
2014	311・312-978・979		55	52	31	
2015	351-980		47	[37]	17	
2016	351-977		45	44	30	
2017	351-977		53	46	33	
2018	311-978・979	2004ピット	29	20	22	
2019	313・314-970・971		72	69	25	
2020	311-977・978		32	23	30	
2021	311-977		24	22	24	
2022	315-976・977	2023ピット	34	(30)	50	
2023	315-977	2022ピット	35	32	42	
2024	314-974		39	35	40	
2025	335・336-990		74	60	44	
2026	336-992・993		57	49	35	
2027	336・337-992		57	48	47	

2 古墳時代後期～平安時代

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2028	337-991・992		60	53	39	
2030	337-988・989		42	36	36	
2031	328・329-989・990		56	53	60	
2032	329-986		50	42	50	
2033	329-985		44	43	46	
2034	327-983		49	42	33	
2035	327-987・988	19 掘立	51	[30]	35	
2036	331~333-987・988	19 掘立 P9	128	102	34	
2038	326-011		44	34	50	
2041	335-997		47	38	62	
2042	330-997		51	43	42	
2043	333・334-995		43	42	32	
2044	331-993・994		43	32	29	
2045	332-991・992		53	48	73	
2046	329-992		47	26	37	
2047	336-996・997		50	48	72	
2048	325-983・984		62	45	50	
2049	326-016		46	38	32	
2050	325-016		38	25	32	
2051	335-992		66	58	63	
2052	340・341-975		32	30	39	
2053	339-974・975		33	24	18	
2054	340-963		30	26	14	
2058	322-982		62	57	82	
2059	334-967・968		53	47	38	
2060	334・335-966		48	40	41	
2061	334-965		34	28	38	
2062	333・334-964		43	35	40	
2063	334・335-965・966		56	50	57	
2064	337-965		27	21	39	
2065	337・338-965		26	25	33	
2066	338・339-965・966		30	25	31	
2067	337・338-963		24	22	40	
2068	336-968		37	31	22	
2069	336・337-967・968		36	33	23	
2070	335-964・965		43	41	34	
2071	338-967		37	31	40	
2072	328-018		53	44	51	
2073	338-967		36	30	28	
2074	320-970・971		46	43	33	
2075	319・320-971		42	39	23	
2076	319・320-971・972		55	51	36	
2077	320-972		41	39	29	
2078	319・320-972・973		48	40	31	
2079	319-972		44	40	36	
2080	319-972・973		38	28	30	
2081	319-973・974		38	32	41	
2082	317-972		40	35	28	
2083	317-971		68	51	22	
2084	318・319-971		46	45	106	
2085	342・343-958		32	29	27	
2087	332・333-967・968		64	56	57	
2088	346-950		64	50	52	
2089	343・344-950		46	40	66	
2090	333・334-978・979		64	57	16	
2091	345-947		57	[43]	43	
2092	347-949		42	40	33	
2093	322・323-971		47	45	32	
2094	323-970・971	2107 ピット	(58)	47	29	
2095	323・324-969・970		42	38	21	
2096	324-969		39	35	30	
2097	324・325-968・969		57	44	33	
2098	324-968		58	48	46	
2099	323-968		47	42	24	
2100	323・324-969		37	29	39	
2101	323・324-968・969		44	42	35	
2102	324・325-971		33	29	43	

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2103	325-969・970		46	40	41	
2104	323-971		27	24	43	
2106	332-965		61	52	39	
2107	323-970	2094 ピット	42	37	26	
2108	338-968		44	36	27	
2109	338・339-968		38	32	26	
2110	338-967・968		28	22	18	
2111	342-963		(65)	(60)	101	8世紀代
2119	334-956・957		47	37	34	
2120	338-956	20 掘立	55	48	46	
2121	322・323-967・968		60	55	52	
2122	326-977・978		60	52	29	
2124	327・328-986・987		51	43	65	
2125	308・309-978・979		43	33	42	
2126	335-951・952		47	41	41	
2127	327-978		42	37	43	
2128	330-977	469 土坑	68	58	43	
2129	329-976		39	37	36	
2130	327-977・978		51	33	29	
2131	326-974・975		59	36	40	
2132	326-975	2168 ピット	88	53	26	
2133	329・330-975・976		56	51	38	
2134	328・329-976		58	53	38	
2135	328-979・980		45	43	35	
2136	320・321-986		39	32	38	
2137	314・315-954		45	31	31	
2138	334-991		50	43	31	
2139	330・331-977・978		60	43	26	
2140	326・327-978・979		53	45	38	
2141	322-011		63	(53)	48	
2143	327・328-968		57	56	39	
2144	329-970		54	48	44	
2145	329-969・970		58	58	39	
2146	326-973	2147 ピット	42	(27)	44	
2147	326-972・973	2146 ピット	47	35	57	
2148	326-971・972		39	33	41	
2149	326-971		37	28	36	
2150	328-970		59	50	40	
2151	328-976		41	—	29	
2152	329-977・978		42	39	26	
2153	325-972		44	39	34	
2154	328-969・970		45	35	37	
2155	325-970・971		28	26	44	
2156	325-970		30	29	28	
2158	325-968		69	53	42	
2159	325・326-969		31	31	43	
2160	325-970・971		27	24	35	
2161	327-971		53	52	37	
2162	321・322-007・008		59	51	39	
2163	321・322-007		46	40	28	
2165	327・328-971・972	2166 ピット	60	44	28	
2166	327-971・972	2165 ピット	53	40	26	
2167	325・326-973		48	35	40	
2168	326・327-975	2132 ピット	42	30	37	
2169	325-968		36	31	39	
2170	333-975・976	2171 ピット	38	30	36	
2171	333-976	2170 ピット	34	31	22	
2172	327-970		31	25	30	
2173	329・330-976・977		38	34	34	
2174	335-981		35	27	36	
2175	326・327-970		35	34	31	
2176	334・335-995		47	46	50	
2178	336-997		30	25	28	
2179	336・337-998		39	39	45	
2180	336-999		32	28	36	
2182	326-987	19 掘立	62	28	35	
2183	327-987	19 掘立	50	45	44	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2237	316・317-936		29	21	32	
2238	317-937		32	25	34	
2248	326-910		43	41	20	
2254	310・311-932・933		43	32	37	
2255	313-934・935		49	47	27	
2256	314-935・936		52	46	48	
2257	316・317-938・939		63	43	39	
2259	318-935・936		59	47	55	
2261	311・312-950		46	40	38	
2262	312-949		45	43	11	
2263	312・313-948・949		64	55	11	
2264	316-944・945		60	51	40	
2265	314・315-932・933		45	33	57	
2271	328-910・911		44	41	13	
2272	328・329-910・911		101	61	28	
2274	313・314-963・964		40	33	38	
2275	313・314-964		34	28	17	
2276	313-964・965		30	30	24	
2278	308-939		36	32	19	
2279	309・310-971		35	30	42	
2280	311-971		49	33	38	
2281	310-968		26	25	26	
2282	310-968		26	23	23	
2283	311-968		53	44	45	
2284	311-968		41	32	27	
2285	311・312-969		40	31	24	
2286	312・313-969		33	27	19	
2287	313-968		31	26	18	
2288	313-967		33	23	15	
2289	313・314-966・967		31	28	18	
2290	312-967		20	14	27	
2291	313・314-965・966		46	40	48	
2292	312・313-965・966		29	21	25	
2293	313-965		26	25	16	
2294	312-964・965		35	29	18	
2295	314・315-964		34	30	21	
2296	313-971		32	24	23	
2297	318・319-960		45	36	30	
2298	318-961・962		40	35	26	
2299	319・320-960・961		42	38	36	
2300	318-963		61	60	35	
2301	319・320-964		37	28	31	
2302	322-962		43	38	108	8世紀代
2303	323-962		40	39	34	
2304	321-969		42	36	42	
2305	321-969		38	32	26	
2306	320・321-970		61	54	26	
2307	321・322-970		56	49	19	
2308	321-963		39	30	8	
2309	324-963		50	39	43	
2310	324-966		[45]	40	23	
2311	315-938		33	33	21	
2312	316-938・939		40	32	35	
2313	316-937		32	29	47	
2314	316・317-938		75	37	59	
2315	317・318-937		64	40	48	
2316	308・309-941		55	43	36	
2317	309-944・945		39	28	33	
2318	311-934		80	60	22	
2319	310-934・935		62	51	33	
2321	334-928・929		62	62	15	
2322	311・312-977		37	32	13	
2323	311・312-977		31	30	19	
2324	312-978		23	23	33	
2325	312-977		29	24	36	
2326	313-975・976		31	29	26	
2327	314-975		36	33	19	

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2328	313-965・966		32	30	45	
2329	324-957		59	36	27	
2330	323・324-955・956	2331・2339 ピット	85	[73]	47	
2331	323・324-955	2330・2339 ピット	105	[58]	60	
2332	323-954・955		49	40	66	
2333	319-934		64	44	29	
2334	324-966		35	34	46	
2339	323~324-955・956	2330・2331 ピット	54	46	76	
2341	320-913・914		50	49	31	
2348	325-913・914		37	36	48	
2351	326・327-915		40	30	23	
2364	325-911		44	36	32	
2366	312-935		26	23	39	
2367	312-935		26	26	29	
2368	312-935・936		33	21	25	
2369	312-936		29	23	33	
2370	312-936・937		35	32	21	
2371	311・312-938		44	34	54	
2373	335・336-948		68	61	93	
2382	323・324-910・911		50	39	28	
2389	332・333-949・950		102	81	112	
2390	331-948・949		63	58	109	
2393	327-933・934	2395・2396 ピット	42	[20]	38	
2395	327-933	2393・2396 ピット	68	41	61	
2396	327-933・934	2393・2395 ピット	35	[24]	28	
2397	326-933・934	2395・2398 ピット	42	[35]	31	
2398	327-933・934	2395・2396 2397ピット	38	[25]	26	
2399	334-947		32	21	23	
2400	334・335-947		75	62	196	
2401	336-946・947		57	54	34	
2402	326-934・935		40	32	30	
2403	326-934		27	21	25	
2404	326・327-934		31	30	24	
2405	326-933・934	2411ピット	48	38	33	
2407	326-932		[45]	38	21	
2408	326・327-932・933		47	41	44	
2409	327・328-932		47	39	37	
2410	326・327-935		29	25	22	
2411	326-933・934	2405ピット	44	35	30	
2441	310-946・947		39	37	30	
2442	310-946		29	26	21	
2443	310-944		31	27	24	
2444	310・311-941		34	32	32	
2445	319-948		25	23	9	
2446	322-946		47	40	34	
2447	323-944・945		44	41	21	
2448	323-944		32	28	26	
2449	324-943		31	30	28	
2450	323-942		39	36	30	
2451	324-940		38	38	37	
2452	324-939・940		53	47	18	
2453	324-936		68	57	28	
2454	326-944・945		37	34	24	
2455	321・322-941		70	58	51	
2456	320-938		34	30	48	
2457	320・321-935・936	2458ピット	46	[37]	55	
2458	320-935・936	2457ピット	54	52	139	
2459	319・320-935・936	2848ピット	72	49	22	
2460	320-932		27	27	24	
2463	322-949		33	32	14	
2464	320-949		40	38	28	

2 古墳時代後期～平安時代

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2466	320-934		43	35	32	
2467	320-931・932		40	28	45	
2468	316-938		72	44	39	
2469	318・319-950		29	27	24	
2470	313-941・942		36	28	11	
2471	312・313-941・942		47	45	84	
2472	320-931		32	22	24	
2473	319-934・935		42	38	16	
2495	326・327-965	2505ピット	(48)	43	64	
2496	327・328-964		55	48	43	
2497	327・328-963		51	43	42	
2498	327-963・964		38	35	40	
2499	324・325-962		52	34	26	
2500	324-961・962		69	52	42	
2501	327・328-952		45	44	38	
2502	325・326-951・952		50	32	47	
2505	327-965	2495ピット	45	43	33	
2509	315-981・982		62	58	28	
2510	321・322-928		63	54	62	
2513	330・331-955		42	42	34	
2514	330-955・956		29	26	25	
2515	332・333-956		59	51	39	
2516	332-956		30	25	26	
2518	334・335-957		43	40	35	
2519	334-957・958		70	60	46	
2520	332・333-958		51	46	36	
2521	332-960		73	51	25	
2522	332・333-961		56	41	23	
2524	331・332-961・962		53	46	41	
2525	327・328-965・966		56	43	37	
2530	335-946		28	25	19	
2531	336・337-946		39	35	32	
2532	339-947		40	40	42	
2533	336・337-945・946		40	35	54	
2534	326-937・938		51	37	42	
2535	323-940		37	35	26	
2537	336-964・965		36	32	26	
2538	335・336-947・948		40	39	37	
2539	326-936		39	33	43	
2540	339-955		55	48	41	
2541	339・340-954		61	51	44	
2544	327・328-966		54	47	32	
2547	324・325-962・963		36	33	37	
2549	336-956		49	[38]	44	
2550	337-955		50	45	22	
2551	338-955		33	[16]	29	
2552	338-957・958		56	[28]	18	
2553	337-957		48	41	27	
2554	338-959		35	[13]	28	
2555	337-958・959		40	35	29	
2557	326-939	536土坑	40	39	43	
2572	339-945・946		60	54	39	
2573	342・343-947・948		85	(77)	33	
2576	338-945・946		40	33	39	
2577	342-949	661土坑	44	41	54	
2578	339-947		32	28	43	
2579	340-945		34	29	50	
2597	340・341-947		26	21	21	
2598	340-947		23	19	31	
2608	339・340-952		60	51	34	
2609	339-952・953	2722ピット	39	32	26	
2610	328・329-978		40	39	20	
2611	328-978		34	31	29	
2612	330-978		27	23	33	
2613	329・330-977		28	26	16	
2615	325・326-975・976		63	57	20	
2616	324・325-974・975		48	39	22	

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2617	329-977		36	24	13	
2619	336-969・970		43	35	32	
2620	333-969		26	20	27	
2621	332・333-968		47	42	30	
2622	335・336-963		22	22	12	
2623	332-966・967		41	34	31	
2624	332-967		29	24	19	
2625	334-917		50	44	36	
2626	333-916・917	2895ピット	38	36	25	
2628	336-9237	2761ピット	44	38	65	
2629	337・338-924		44	40	26	
2630	340-921		56	42	63	
2631	336・337-925	679土坑	[56]	55	[23]	
2632	337-974		45	36	35	
2633	337-975		47	46	27	
2634	339・340-922・923		67	40	32	
2635	339-922		36	36	37	
2636	337・338-922・923		48	44	40	
2637	337・338-923		46	40	22	
2638	337-923		36	25	41	
2639	341-924		45	36	32	
2652	327-966		31	23	33	
2653	327-970・971		34	30	24	
2654	330-970		36	26	34	
2655	345-915		51	47	61	
2656	333・334-924		60	53	28	
2657	334・335-924		55	47	32	
2658	335-923		26	25	35	
2710	334-974		24	21	26	
2711	333・334-976		30	30	22	
2712	335-976		27	22	23	
2716	335-954・955		45	38	42	
2717	336-954		51	[32]	26	
2718	337・338-953		42	38	29	
2719	338-954		29	27	17	
2720	338-953・954		34	(30)	35	
2721	339・340-953		44	41	45	
2722	339-953	2609ピット	30	27	27	
2724	342-952		42	[35]	31	
2725	342-951		47	45	34	
2726	343-951		47	34	30	
2727	340-957・958	470土坑	42	(38)	24	
2728	340-957・958		49	47	46	
2729	337・338-949		41	40	27	
2730	337-948・949		45	44	31	
2731	337・338-948		55	44	46	
2732	346・347-943		78	[62]	51	
2733	345・346-944		[40]	38	24	
2741	338・339-971・972		50	44	21	
2742	339-971・972		56	41	32	
2743	334・335-973	2744ピット	44	35	24	
2744	335-973	2743ピット	29	24	24	
2745	336-974		41	31	24	
2746	335-975・976		33	27	25	
2747	336-968		38	33	16	
2748	331-944		35	30	30	
2749	347-951・952		67	56	47	
2750	348-953		69	[61]	27	
2756	317・318-977		52	41	20	
2757	317-975・976		39	33	23	
2758	319-975・976		32	30	25	
2759	319・320-978		54	50	35	
2760	330-973・974		55	47	44	
2761	339-923	2628ピット	40	33	48	
2762	335・336-923		51	41	35	
2763	340-917・918		44	33	35	
2764	328-970		45	40	36	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2765	325-970		31	27	30	
2771	323・324-969		35	32	20	
2772	323・324-968・969		36	31	18	
2775	330-970		36	26	13	
2776	331-963		34	25	23	
2777	336-930		61	40	35	
2778	335・336-928・929		62	54	45	柱痕 or 抜き取り 痕あり
2779	335-924	2850 ピット	36	27	46	
2780	342・343-916・917		40	33	34	
2781	343・344-916・917		55	44	63	
2782	345-916	2840 ピット	52	42	40	
2783	345-927・928		36	31	22	
2786	326-954		56	55	33	
2787	315-907		33	25	21	
2788	314-908・909		44	26	24	
2789	317-910		25	18	27	
2790	316-912		34	24	27	
2791	315-913		35	28	33	
2792	315・316-914		45	32	21	
2793	318-908・909		28	26	19	
2794	317-912		25	23	15	
2795	332-931		43	33	29	
2796	332-930・931		47	39	27	
2797	330・331-927		50	43	57	
2798	329・330-927・928		38	35	62	
2799	329-928		48	38	49	
2800	328-928・929		43	32	47	
2801	331・332-929		35	31	24	
2802	343-930・931		54	38	23	
2806	317-970		35	34	28	
2807	318-971		32	26	31	
2808	318-970		23	20	39	
2809	318・319-971・972		49	37	38	
2810	315・316-971		40	27	29	
2811	316-967		28	23	21	
2812	327・328-905・906		48	46	17	
2813	325-909		59	48	36	
2814	321・322-908		27	19	23	
2815	325-909		34	30	29	
2816	316・317-969・970		49	40	26	
2826	348-918・919		40	35	36	
2827	321-939		40	35	29	
2830	342・343-919		62	55	33	
2831	342・343-918・919		83	57	34	
2833	345・346-913		44	32	39	
2834	346・347-914・915		50	42	32	
2835	346・347-915		30	25	29	
2836	347・348-915	2837・2838 ピット	55	46	50	
2837	348-915	2836 ピット	60	36	19	
2838	347-915	2836 ピット	39	37	50	
2839	347-915・916		49	37	43	
2840	345・346-916	2782 ピット	45	35	39	
2841	344・345-916		41	31	46	
2842	344-916		30	28	24	
2843	326・327-918		45	42	52	
2844	329-922		63	57	30	
2845	318-909・910		39	35	26	
2848	320-935	2459 ピット	31	26	32	
2849	321・322-935		37	28	32	
2850	335-924・925	708 土坑・ 2779 ピット	56	43	46	
2851	337-922		44	38	43	

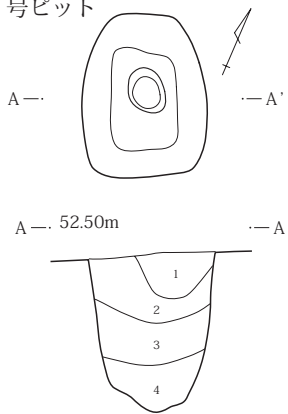
No.	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
2852	348・349-915・916		82	54	25	
2853	348・349-914・915		94	69	71	
2854	343-916		30	27	32	
2855	341・342-915		31	31	22	
2858	320-901		66	38	21	
2867	347-913		47	31	16	
2869	345-915		21	21	30	
2871	345-915・916		39	35	14	
2872	344-918		57	47	20	
2873	342-917・918		60	56	34	
2874	339・340-918		45	44	23	
2875	343・344-915		51	45	34	
2893	344-912・913		31	30	24	
2894	340-921		31	28	18	
2895 B	333-916	2626 ピット	(40)	32	20	
2896	334-915・916		42	36	25	
2897	333・334-915		63	36	16	
2898	332・333-918		40	36	22	
2899	331・332-918		38	37	14	
2900	330-924		65	54	22	
2901	330-926		47	45	44	
2902	328・329-932・933		65	54	33	
2903	329-932		(66)	51	22	
2904	346-916		56	50	14	
2906	323・324-927		36	30	24	
2907	325・326-934・935		25	29	20	
2908	319-928・929		39	30	18	
2909	313-923		51	32	21	
2910	314-931		50	50	38	
2911	314-924		30	27	43	
2912	313-923		53	35	37	
2913	313-923		29	20	43	
2914	317・318-924・925		80	57	38	
2915	317・318-924・925		80	58	25	
2916	322・323-927	2917 ピット	76	66	33	
2917	323-926・927	2916 ピット	47	[40]	26	
2918	324-926・927		45	44	16	
2919	339-921・922		37	26	17	
2920	337-921・922		42	37	20	
2921	328・329-927		44	[35]	[17]	
2922	329-927	2923 ピット	(55)	40	26	
2923	329・330-927・928	2922 ピット	52	42	62	
2924	330-930・931	2925 ピット	56	[38]	25	
2925	329・330-930	2924 ピット	86	60	33	
2927	342-913・914		37	31	21	
2928	342-913・914		52	44	74	
2929	343-925・926		70	70	15	
2930	336・337-924・925		69	43	16	
2931	319-938・939		40	36	13	
2932	321・322-938・939	594 土坑	45	37	28	
2933	322・323-938		45	42	22	
2935	333・334-910		83	64	23	
2936	335-912		51	40	20	
2937	335-911		56	45	16	
2938	339-911		33	33	12	
2939	338・339-910・911		40	33	11	
2940	351-930		59	38	31	
2942	331-911		33	28	19	
2943	341-922		25	25	17	

第 15 表 ピット出土遺物数量表

種別 器 種	土師器					須恵器							鉄製品					
	杯	高杯	甕	鉢	計	杯 または 蓋	蓋	高杯	高盤	甕 壺・瓶	鉢	他	計	窯 体	角 釘	計	総計	
584	2				2					1		1	2		0	4		
585	3		1		4					2			2		0	6		
588			2		2								0		0	2		
590	1		4		5								0		0	5		
595					0						1		1		0	1		
649		1	3		4								0		0	4		
650					0					1			1		0	1		
797			1		1								0		0	1		
907					0					1			1		0	1		
916					0					1			1		0	1		
923			2		2								0		0	2		
940				1	1								0		0	1		
953	3				3	1							1		0	4		
961					0					3			3		0	3		
977	17	1	32	1	51	2				15			17		0	68		
989	4				4								0		0	4		
2019			1		1					1			1		0	2		
2026			2		2	1							1		0	3		
2027			1		1					1			1		0	2		
2032					0					1			1		0	1		
2033					0					1			1		0	1		
2048					0					1			1		0	1		
2058					0					2	1		3		0	3		
2084			1	1	2					1			1		0	3		
2087			2		2								0		0	2		
2088	1				1								0		0	1		
2090	3		5		8	1				2			3		0	11		
2111	1		1		2					1	6		9		0	11		
2113	1		1		2								0		0	2		
2126	4		1		5	1							1		0	6		
2162	2				2								0		0	2		
2176					0	1				4			5		0	5		
2254	1		6		7	4				5			9		0	16		
2255			1		1								0		0	1		
2256	1				1								0		0	1		
2257			2		2								0		0	2		
2258			2		2								0		0	2		
2259			1		1					1			1		0	2		
2273	1				1								0		0	1		
2300			2		2								0		0	2		
2302					0	1				1			2		0	2		
2310			2		2	1							1		0	3		
2313			1		1								0		0	1		
2314	1				1								0		0	1		
2315			3		3								0		0	3		
2318			2		2					1			1		0	3		
2328			1		1					1			1		0	2		
2332					0					1			1		0	1		
2340			1		1								0		0	1		
2347					0	1							1		0	1		
2351	2				2								0		0	2		
2364	3				3								0		0	3		
2389	1		2		3	1				1			2		0	5		
2390			2		2	1							1		0	3		
2400			1		1					1			1		0	2		
2402			1		1								0		0	1		
2403	1				1								0		0	1		
2405			1		1								0		0	1		
2409	1				1					1			1		0	2		
2441			2		2								0		0	2		
2451	3		2		5	3				1			4		0	9		
2455													1		0	1		
2460													3		0	3		
2463													2		0	2		
2464													2		0	2		
2465													1		0	1		
2468													1		2	3		
2496													2		0	2		
2499													1		0	1		
2500	2												1		2	5		
2502													1		0	1		
2506													2		0	2		
2507													0	1	1	1		
2513	2												2		2	6		
2515													1		1	2		
2524													0		1	1		
2527													2		0	2		
2533													0		15	15		
2534													3		0	3		
2535	1												1		0	2		
2536	3												13	2	18	18		
2539													0		3	3		
2541													2		0	2		
2547													0		1	1		
2557													1		0	1		
2606													1		1	2		
2607													0		1	1		
2625													1		0	1		
2626													0		0	1		
2630													0	1	1	1		
2634													3		0	3		
2636													0	1	2	2		
2655	2												4	2	7	15		
2728	1												1		0	1		
2732	1												1		0	1		
2749	1												1		1	2		
2762													0	1	1	1		
2781													8	1	2	10		
2798													2	2	1	3		
2799	1												1		0	1		
2800	1												1	1	2	3		
2802													0		1	1		
2812													0		2	2		
2830	2												2		0	2		
2832													1	1	0	1		
2835	1												1		0	1		
2838													1		0	1		
2842													2		0	2		
2843													1		1	2		
2852													0		1	1		
2853	1												1		1	3		
2854													1		0	1		
2869													0		0	1		
2875													1		0	1		
2894													1		0	1		
2912	1												1		0	2		
2921													0	1	1	1		
2927	1												1		2	5		
2928													0		2	1		
2927													1		0	1		
2928	2												1		0	3		
計	80	2	164	10	256	31	1	8	1	1	91	6	1	1	141	1	1	399

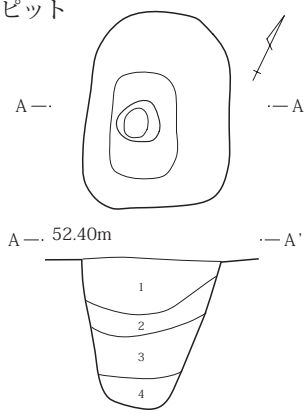
III 検出された遺構と出土遺物

584号ピット



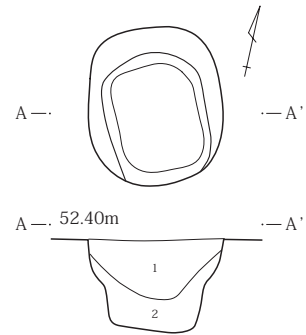
- 1 にぶい黄褐 ロームB中多量混
- 2 暗褐 ローム粒子・B中少量混
- 3 暗褐 ローム粒子・B中多量混
- 4 暗褐 ロームB中多量混 粘性・しまり強

585号ピット



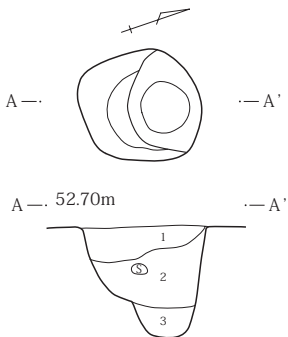
- 1 暗褐 ロームB中多量混
- 2 暗褐 ロームB中多量混 しまり強
- 3 黒褐 ローム粒子少量混 粘性強
- 4 黒褐 ロームB中多量混 しまり強

595号ピット



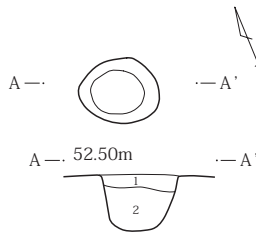
- 1 暗褐 ローム・白色粒子多量混 しまり強
- 2 暗褐 ロームB中少量混 しまり強

2051号ピット



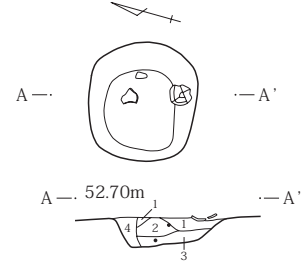
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B小、焼土粒子少量混 粘性強
- 3 暗褐 (10YR3/3) ロームB中少量混

2062号ピット



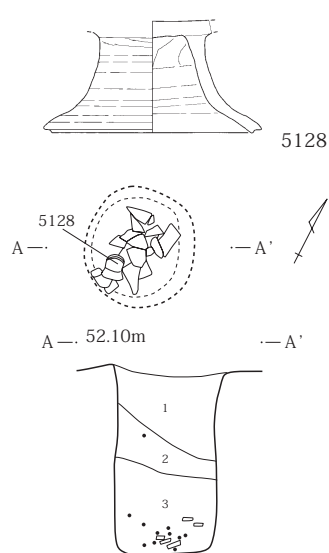
- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子・B中少量混 粘性強
- 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・B中、焼土粒子少量混

2090号ピット



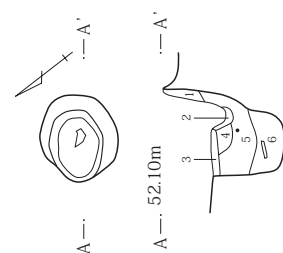
- 1 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子極微量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) 焼土粒子・B多量混 しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/2) 焼土・炭化粒子少量混
- 4 黒褐 (10YR2/2) 焼土粒子極微量混 粘性・しまり弱

2111号ピット



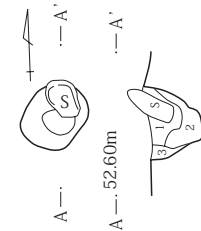
- 1 黒褐 ロームB小少量混 しまり弱
- 2 暗褐 ロームB中少量混
- 3 黒褐 ロームB少量混 しまり弱

2126号ピット

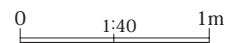


- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム・焼土粒子少量混
- 2 黒褐 (10YR2/3) 441号住居埋土
- 3 褐 (10YR4/4) 441号住居埋土
- 4 褐 (10YR4/4) ロームB中少量、暗褐土多量混
- 5 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子・褐色土多量混
- 6 褐 (10YR4/6) ロームB少量、暗褐土多量混

2173号ピット

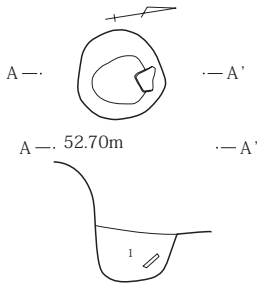


- 1 黒褐 (10YR2/3) ローム粒子少量、焼土粒子微量混
- 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒子多量、ロームB中少量混
- 3 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子微量混 粘性・しまり弱



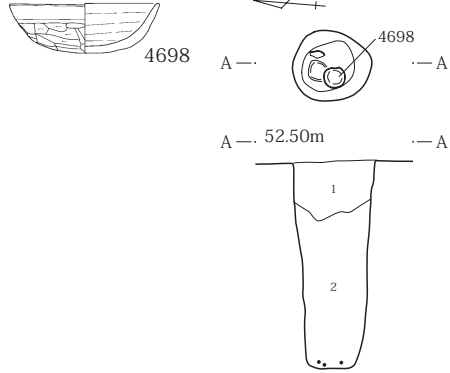
第295図 584・585・595・2051・2062・2090・2111・2126・2173号ピット

2176 号ピット



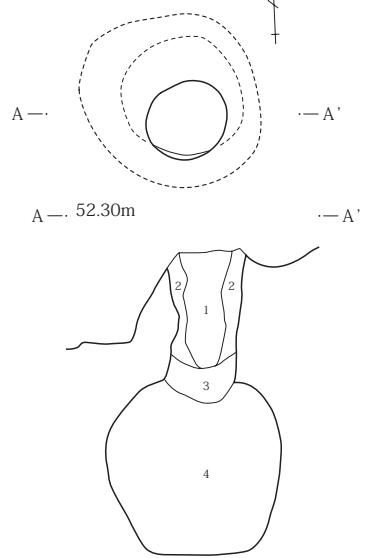
- 1 黒褐 ローム粒子少量混 しまり弱

2302 号ピット



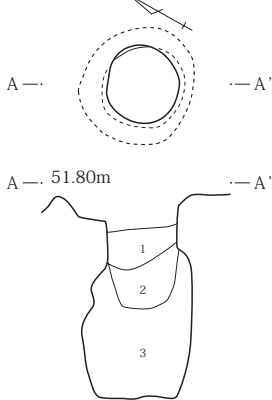
- 1 黒褐 (10YR2/3) ロームB多量混 粘性弱
2 黒褐 (10YR2/2) しまり弱

2389 号ピット



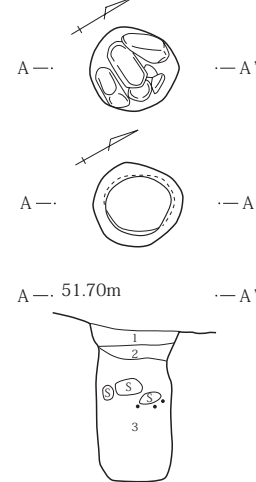
- 1 暗褐 ローム・焼土粒子少量混 しまり強
2 暗褐 ローム多量混 しまり強
3 暗褐 ローム・焼土粒子少量混
4 暗褐 ローム・焼土粒子・小礫少量混

2390 号ピット



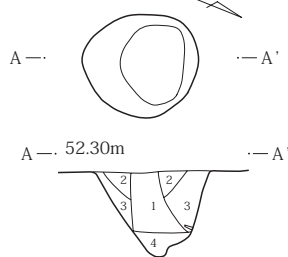
- 1 暗褐 ロームB少量混
2 暗褐 ローム粒子少量混
3 暗褐 ローム粒子・B、砂少量混 しまり弱

2471 号ピット



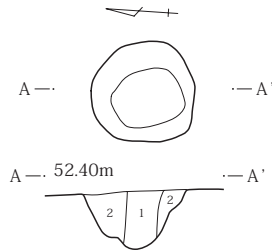
- 1 黒褐 粘性強
2 黒褐 ローム中量混 粘性強
3 黒褐 ローム粒子混 しまり弱

2778 号ピット



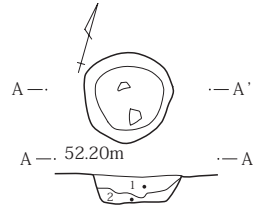
- 1 暗褐 ローム粒子・B混
2 にぶい黄褐 ローム粒子
3 にぶい黄褐 ローム主体
4 暗褐 ローム・小礫混

2786 号ピット



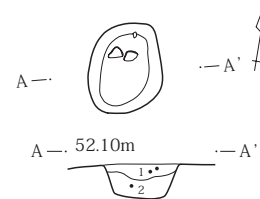
- 1 暗褐 ローム粒子・B混
2 にぶい黄褐 ローム主体

2812 号ピット



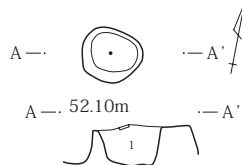
- 1 黒褐 (10YR2/3) ロームB小少量混
2 暗褐 (10YR3/3) ロームB中多量混

2836 号ピット

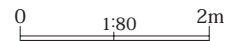


- 1 にぶい黄褐 砂質
2 黄褐 ローム主体

2942 号ピット



- 1 にぶい黄褐 (10YR4/3)
ロームB小少量混 しまり強



第 296 図 2176・2302・2389・2390・2471・2778・2786・2812・2836・2942 号ピット

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

道路遺構 (第 297 ~ 331 図、PL92 ~ 101)

道路遺構が1条検出されている。形態・規模等から、東山道駅路と推定される。削平により道路面は残存せず、硬化面等は検出されていない。両側の側溝 (14・15 溝) のみ残存する。

①位置 303 ~ 336 - 811 ~ 018Gr

調査区西壁中央から南壁東部まで調査区南部を横断

②重複 79・80・82・100・430・434・451・453・455・491・498・505・516・520・525・530・533・536・538 住より新、101・102・116・412・418・420・449・454・457・513・515・528 住より旧、72・77・81・91・92・93・98・99・107・113A・113B・114・115・419・431・450・460・461・462・463・464・468・470・473・474・476・484・488・495・496・514・518・529・531・532・534・545・549 住と重複 (新旧不明)

土坑・ピットは多数重複しているが、新旧はほとんど不明である。全体図参照

③規模 道路幅は、側溝の中心と中心の間の距離で最大 14.5 m 最少 13.0 m、20m 間隔の測定値の平均 13.9 m で、調査区内の現存長は 203.5 m である。

側溝は、北側溝 (14 溝) が、幅最大 2.9 m 最少 0.6 m、20m 間隔の測定値の平均 1.5 m、深さ最大 70cm、20m 間隔の測定値の平均 29cm であり、南側溝 (15 溝) が、幅最大 2.7 m 最少 0.6 m、20m 間隔の測定値の平均 1.7 m、深さ最大 60cm、20m 間隔の測定値の平均 32cm である。

④形態 全体的にはほぼ直線で走っている。側溝は、整然と掘られているわけではなく、北側溝・南側溝それぞれに、幅で 2.3 m・2.1 m、深さで 60cm・40cm の差があり、深い部分と浅い部分が交互に続く状況で、

途切れているところもある。詳細に観察すると、長さ 8 ~ 36 m 程度の細長い土坑状の掘り込みが連続している掘り方となっている。掘り込みは、南北の側溝でほぼ同位置になっており、長さは東から、16 m 以上・32 m・18 m・29 m・28 m・36 m・23 m・19 m 以上となる。

⑤走向 N - 82° - W (N - 188° - E) 東西方向から 8° 南に触れている。

⑥遺物出土状況 道路面は削平により消失しているため、側溝出土遺物が道路の遺物となる。いずれも、土師器・須恵器が多量に出土しており、破片だけでなく、完形・半完形の遺物も相当数含まれている。

いずれの側溝もほぼ全面から出土しているが、北側溝は、特に、915 ライン ~ 945 ライン、955 ライン ~ 962 ライン、991 ~ 998 ラインに集中し、南側溝は、885 ライン ~ 897 ライン、927 ライン ~ 951 ライン、994 ~ 003 ラインに集中している。

出土量は、北側溝で約 4,000 点、南側溝で約 3,000 点で、北側溝は須恵器甕が 1,360 点で最も多く、南側溝は土師器甕が 1,502 点で最も多くなっている。完形・半完形のものも多く、図示した遺物は、北側溝で 60 点、南側溝で 88 点に上る。

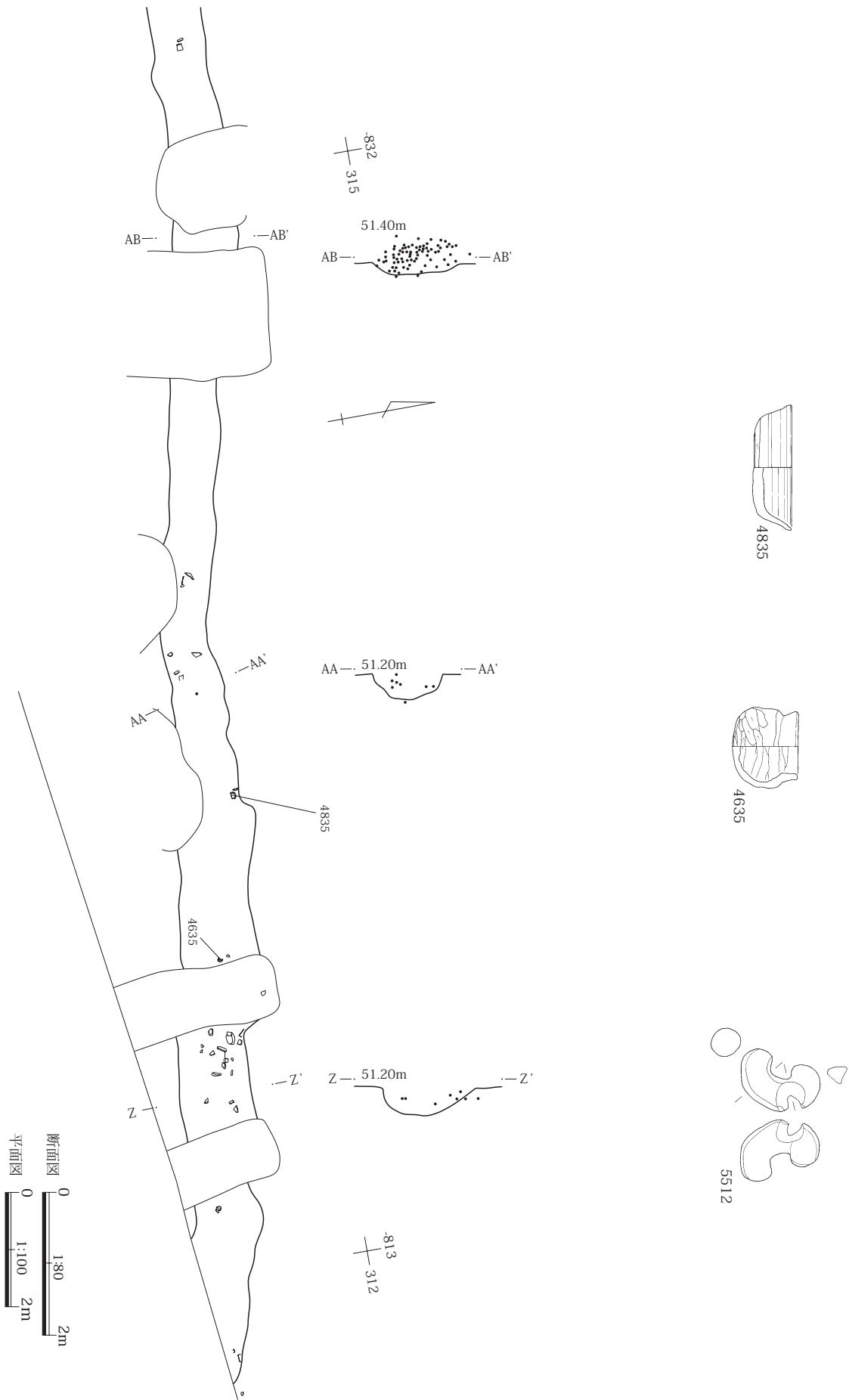
遺物の時期は長期にわたっており、6 世紀後半 ~ 8 世紀前半のものが出土している。特殊な遺物として、北側溝から須恵器の脚付円面硯 (5460) が、南側溝から竈形土製品 (5498) が出土している。

また、313 - 946Gr の埋土下層から、馬歯が出土している。(IV - 2 参照)

⑦時期 竪穴住居との重複関係から、7 世紀前半以降に建設され、8 世紀第 2 四半期までに廃絶されたと考えられる。

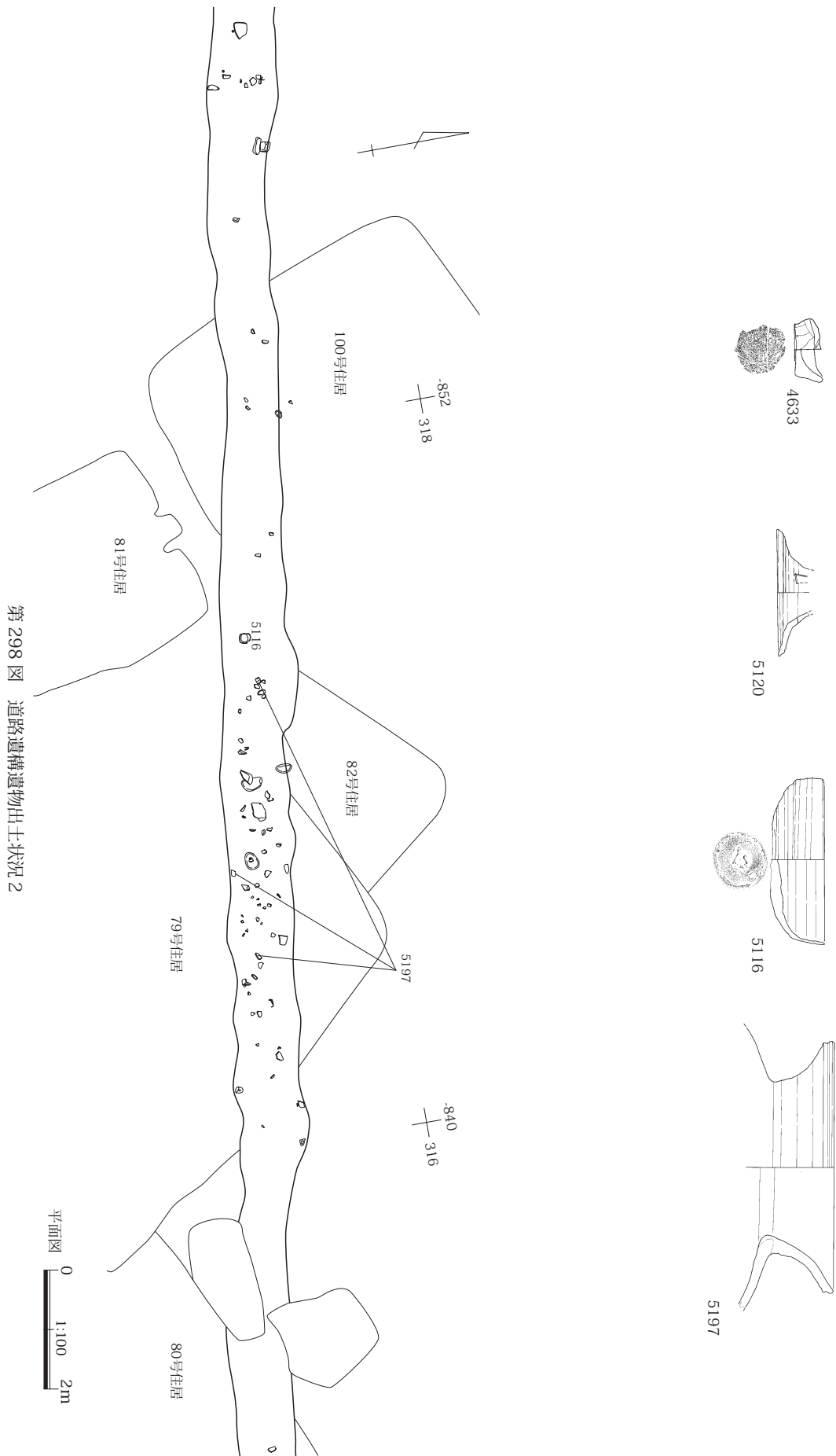
第 16 表 道路遺構出土遺物数量表

種別	土師器										須恵器										他計					総計			
	杯	高杯	甕	台付甕	甗	壺	鉢	小型土器	他	計	杯	盤	杯または蓋	蓋	高杯	高盤	甕	壺・瓶	ハソウ	甗	鉢	他	計	土錘	他計		他計	他計	
北側溝 (14 号溝)	803	20	1234		9	2	22	1	3	2094	278		15	14	15	1	1360	162		2	9	2	1858	1	1	1	1	3954	
南側溝 (15 号溝)	394	17	1502		1	6	1		6	1927	185	1		8	7		761	87	1		8	2	1060		2	2	0	2989	
計	1197	37	2736		1	15	3	22	7	3	4021	463	1	15	22	22	1	2121	249	1	2	17	4	2918	1	2	3	1	6943

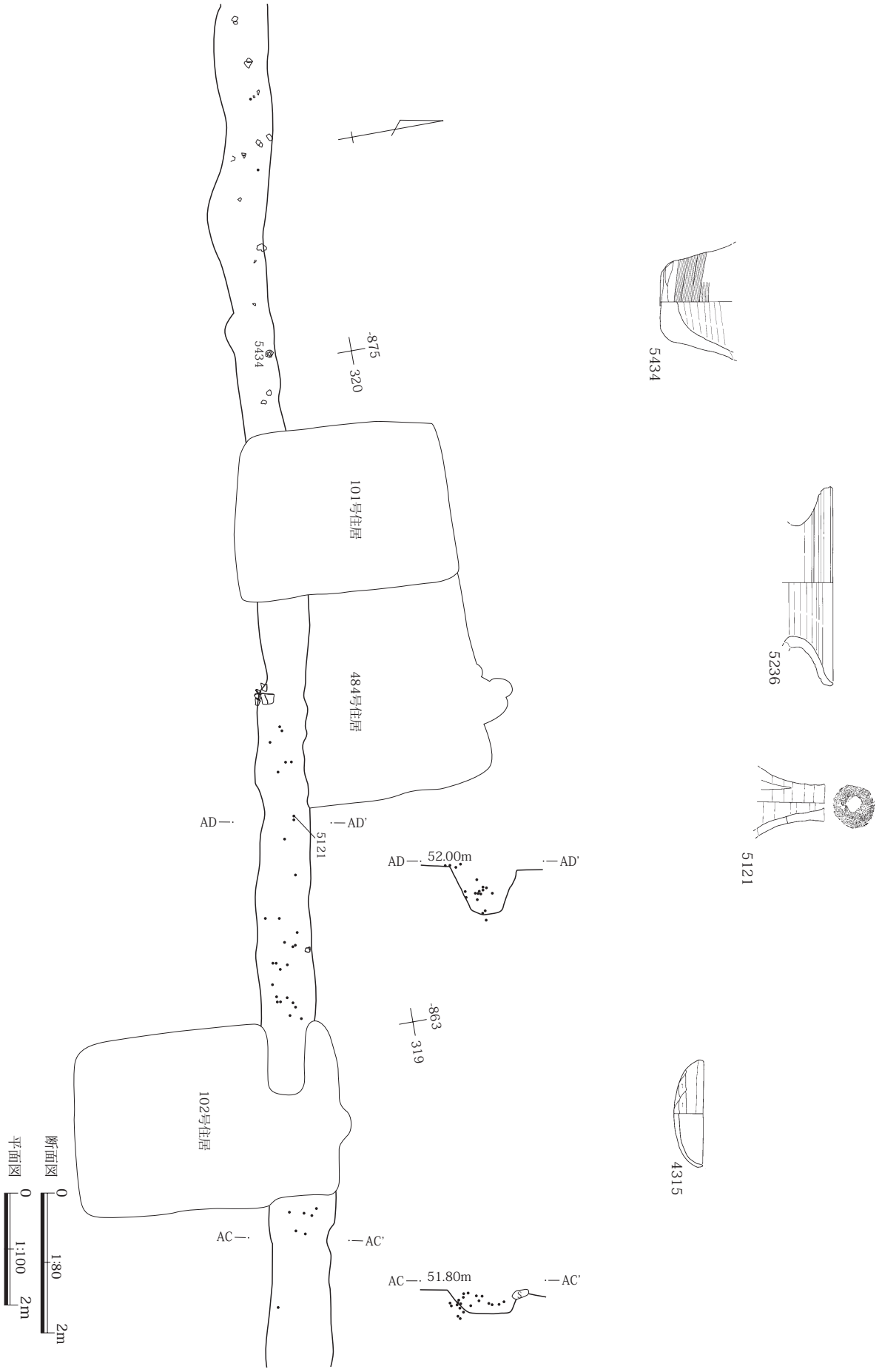


第 297 図 道路遺構遺物出土状況 1

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

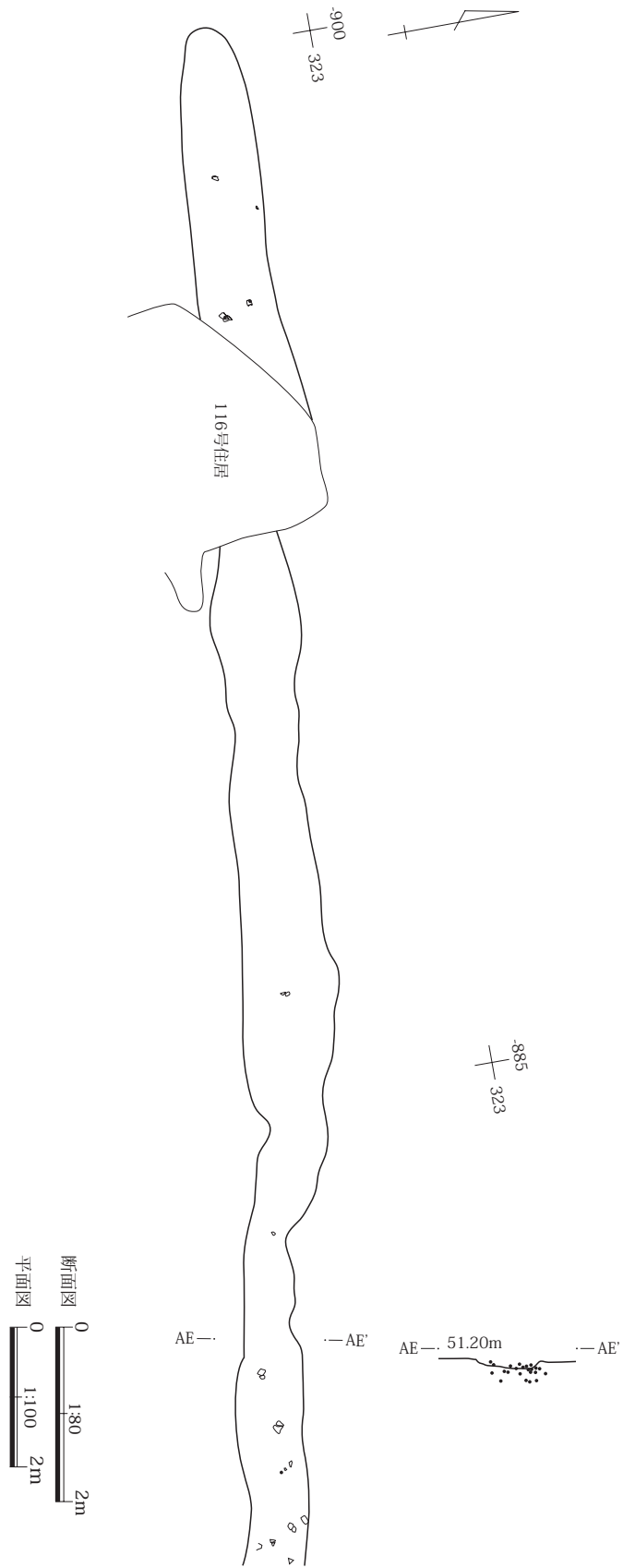


第 298 図 道路遺構遺物出土状況 2



第 299 図 道路遺構遺物出土状況 3

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

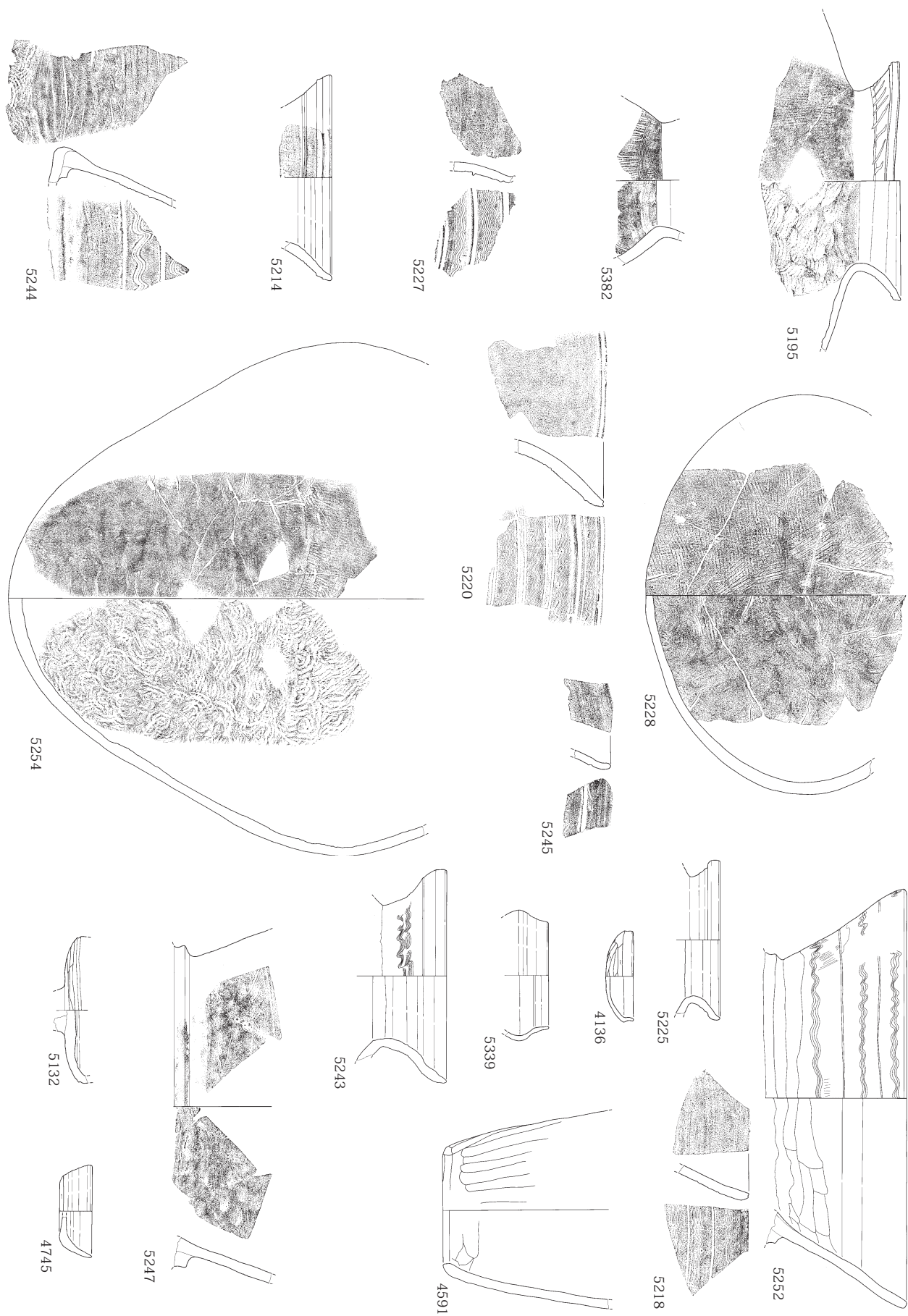


第 300 図 道路遺構遺物出土状況 4

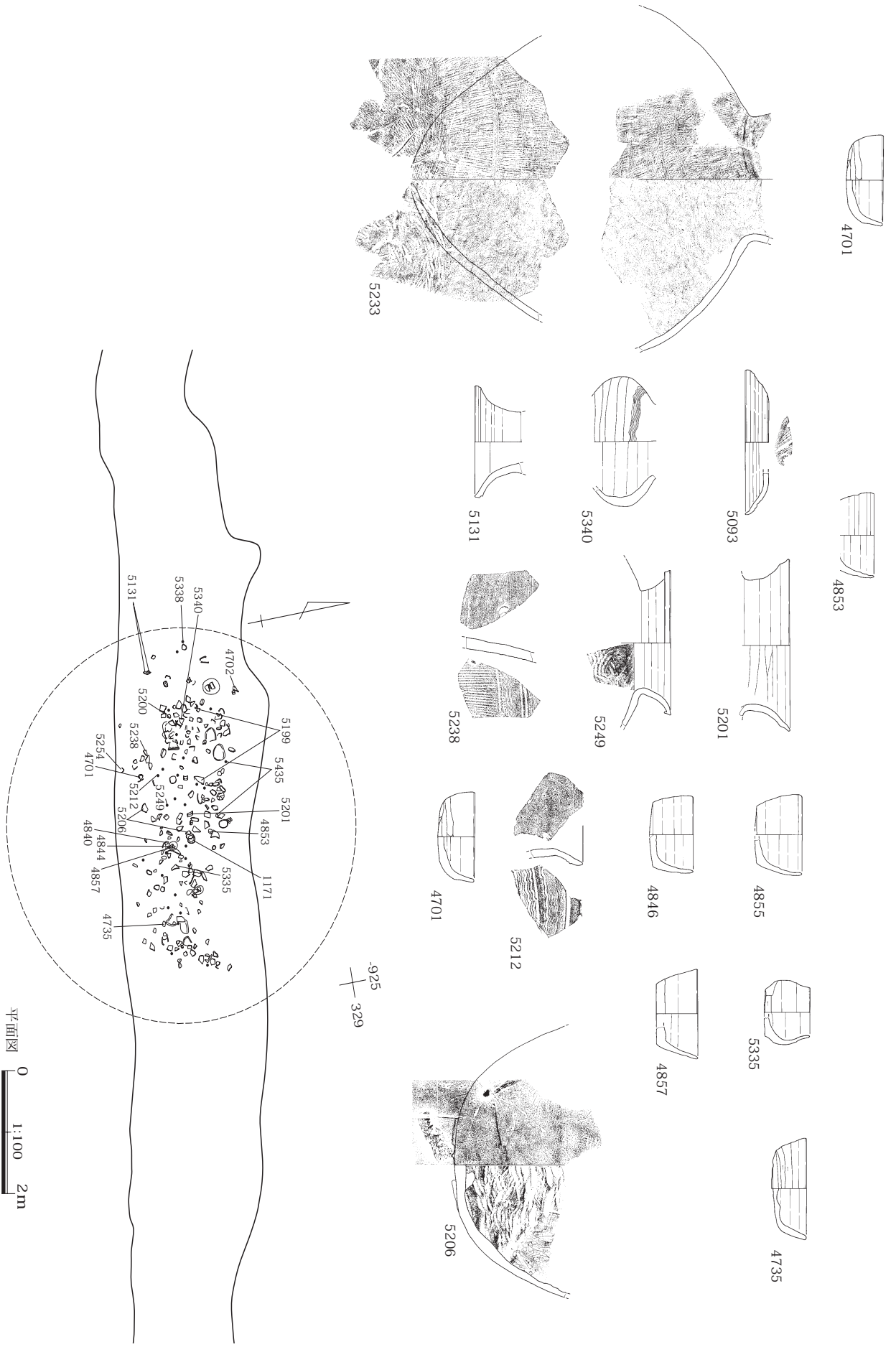


第 301 図 道路遺構遺物出土状況 5

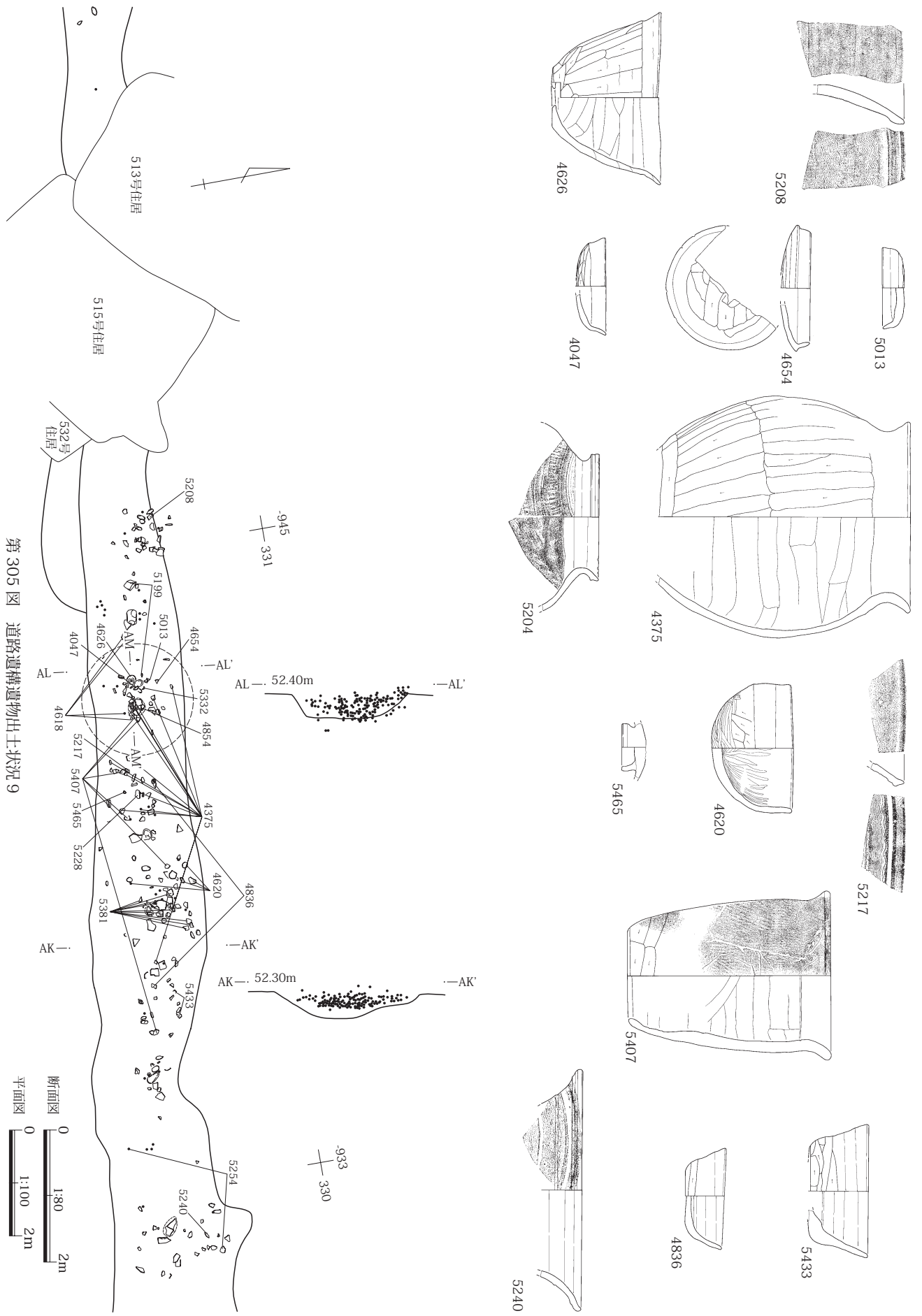
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 302 図 道路遺構遺物出土状況 6

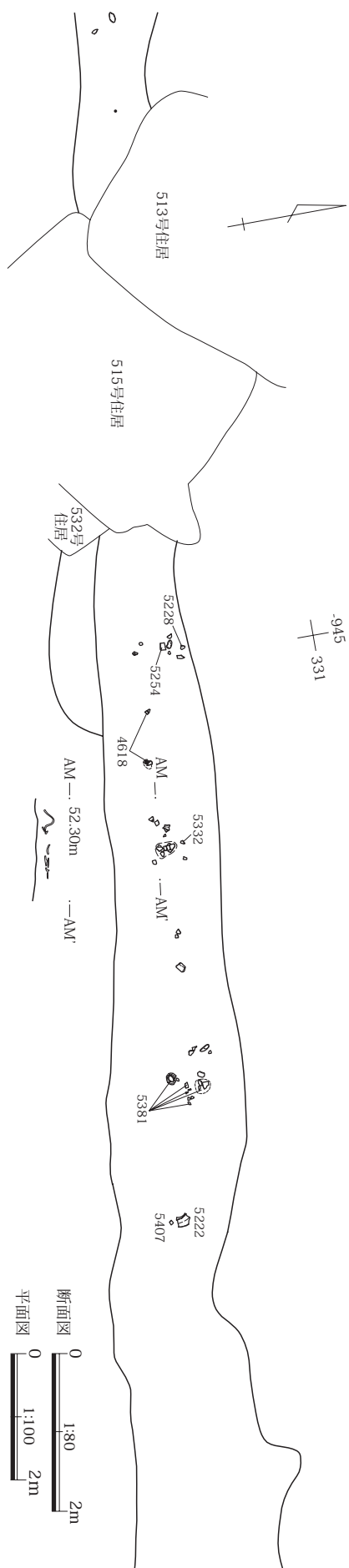


第 303 図 道路遺構遺物出土状況 7

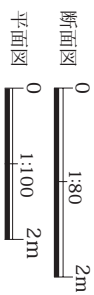
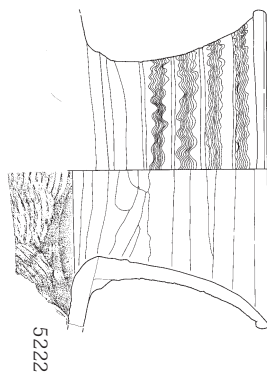
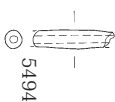
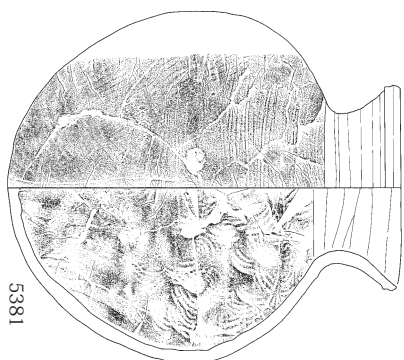
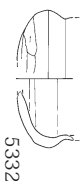
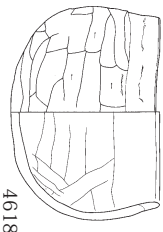
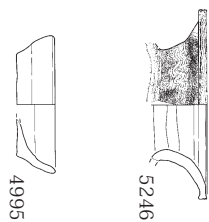
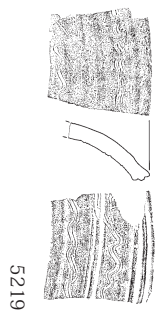


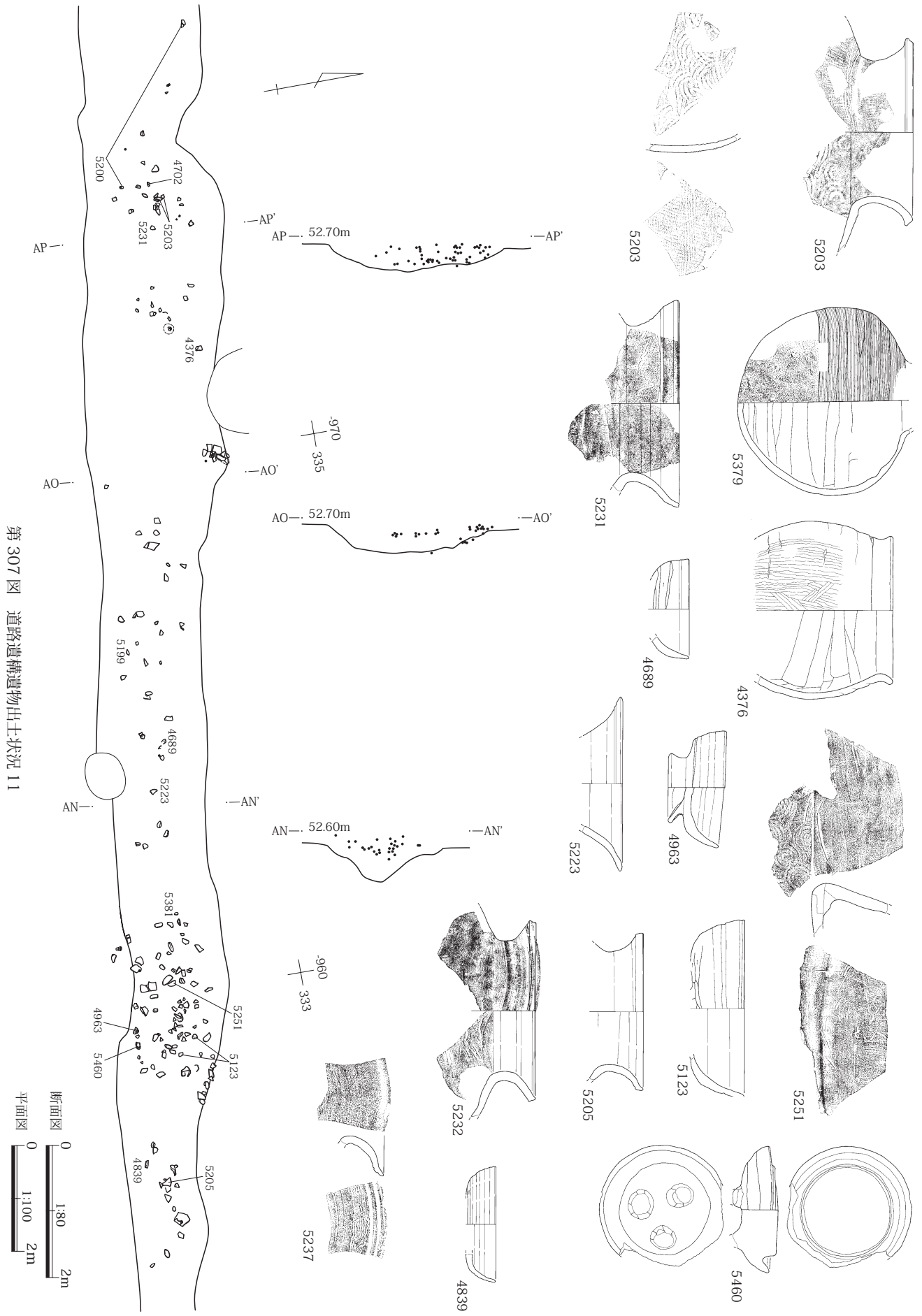
第 305 図 道路遺構遺物出土状況 9

III 検出された遺構と出土遺物



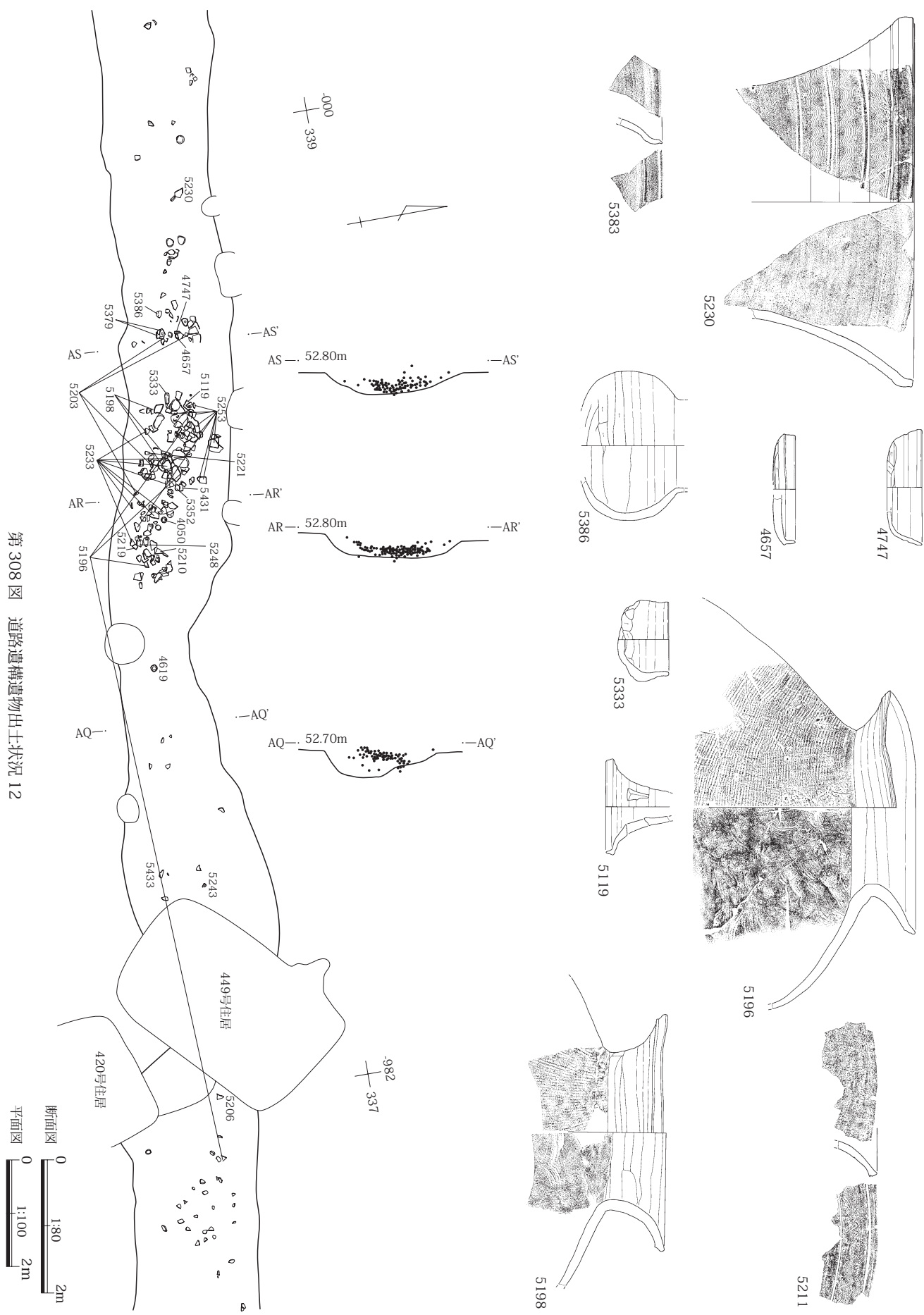
第 306 図 道路遺構遺物出土状況 10



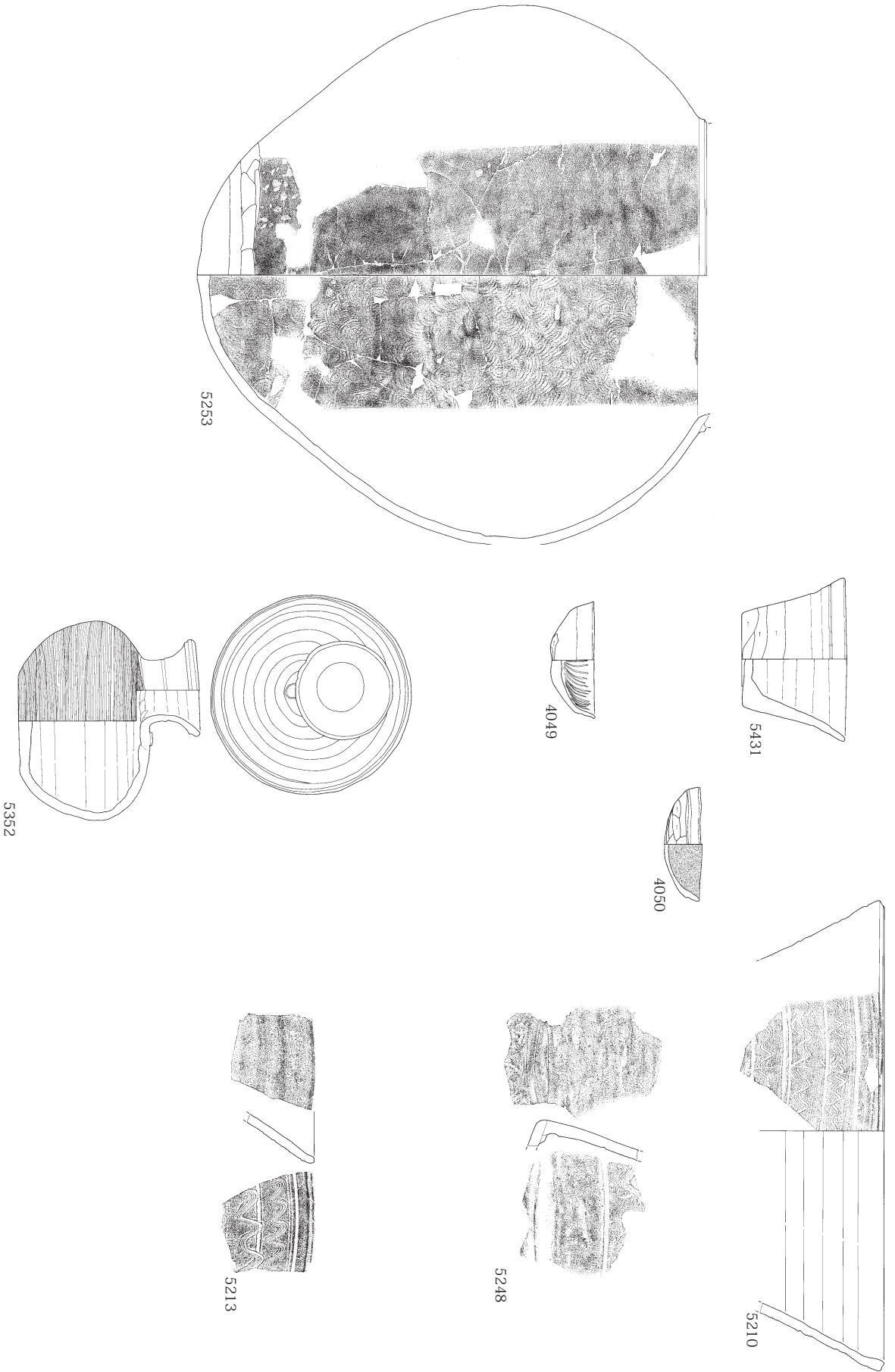


第 307 図 道路遺構遺物出土状況 11

III 検出された遺構と出土遺物

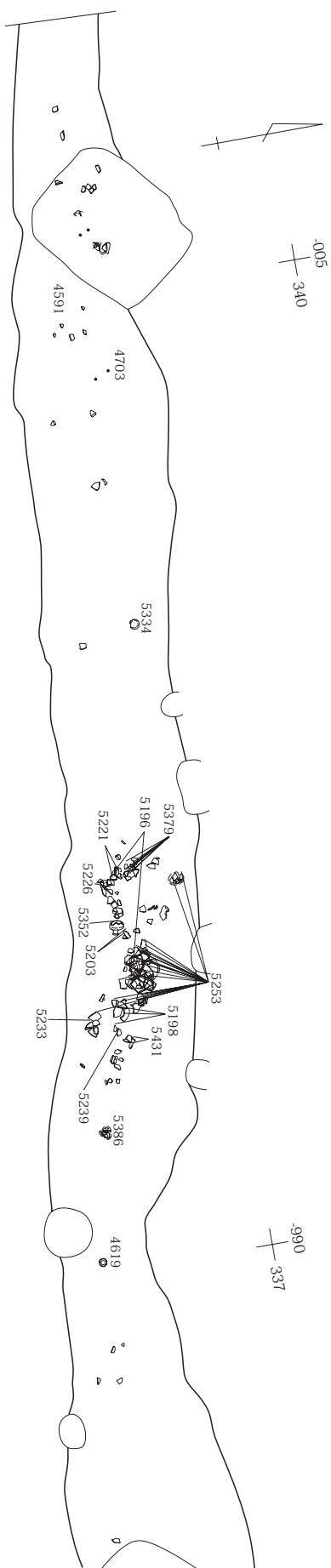


第 308 図 道路遺構遺物出土状況 12

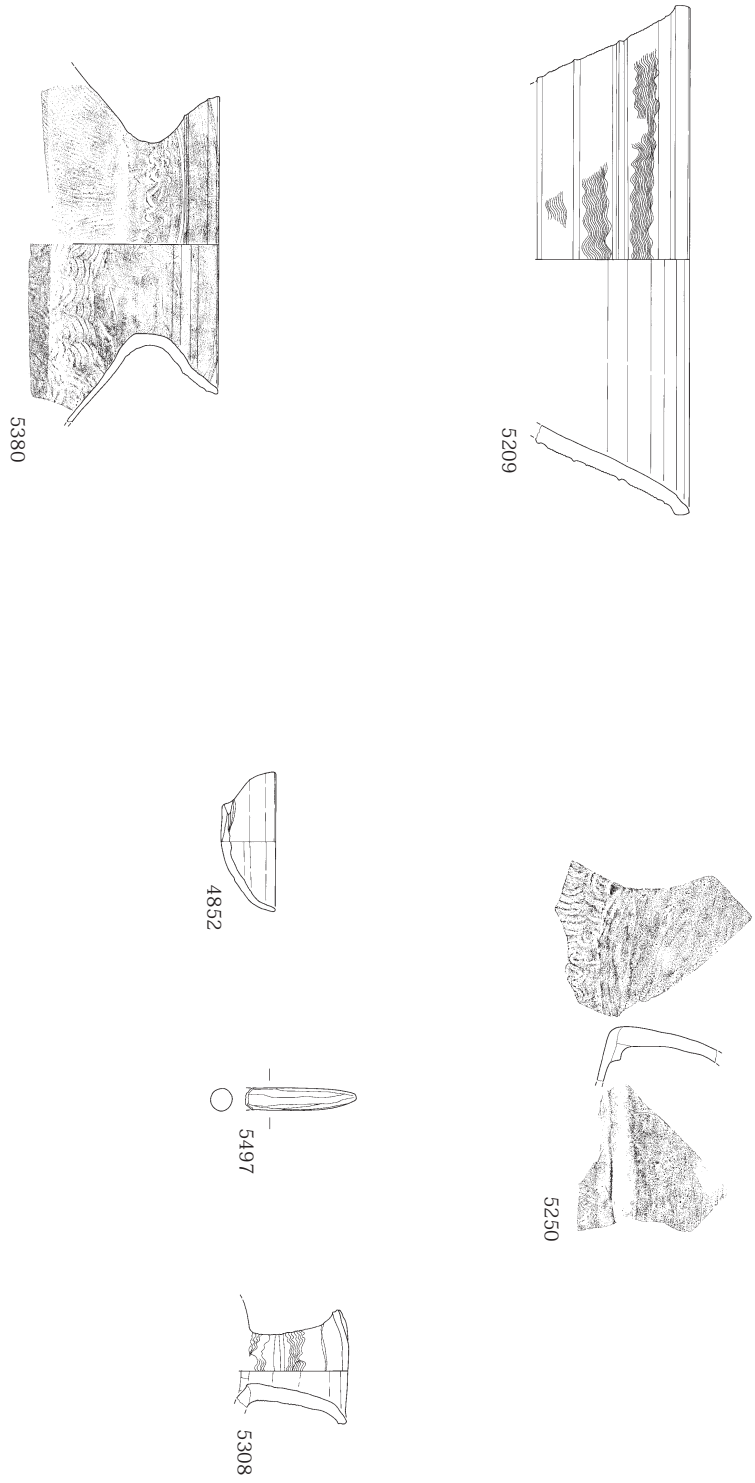


第 309 図 道路遺構遺物出土状況 13

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

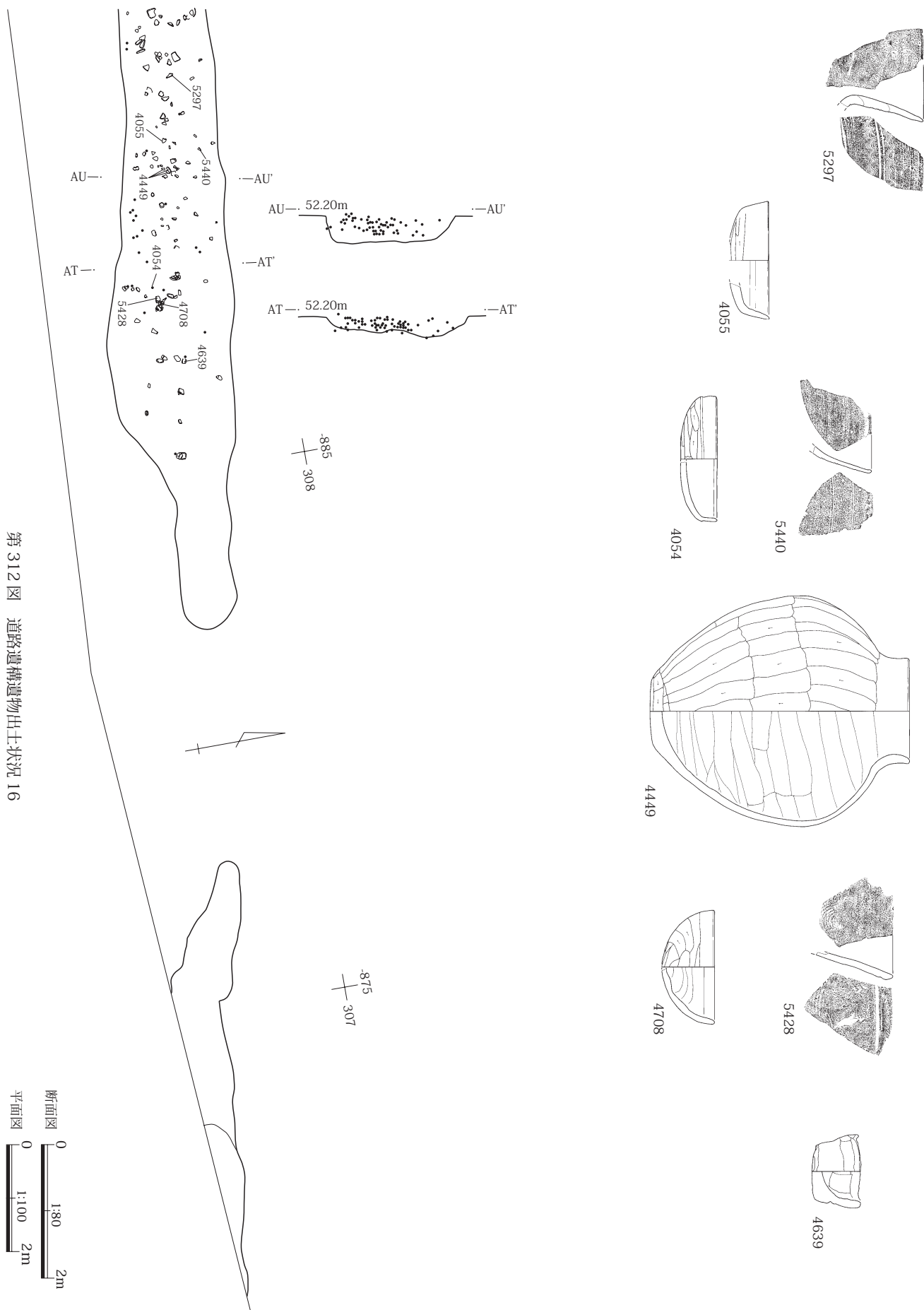


第 310 図 道路遺構遺物出土状況 14

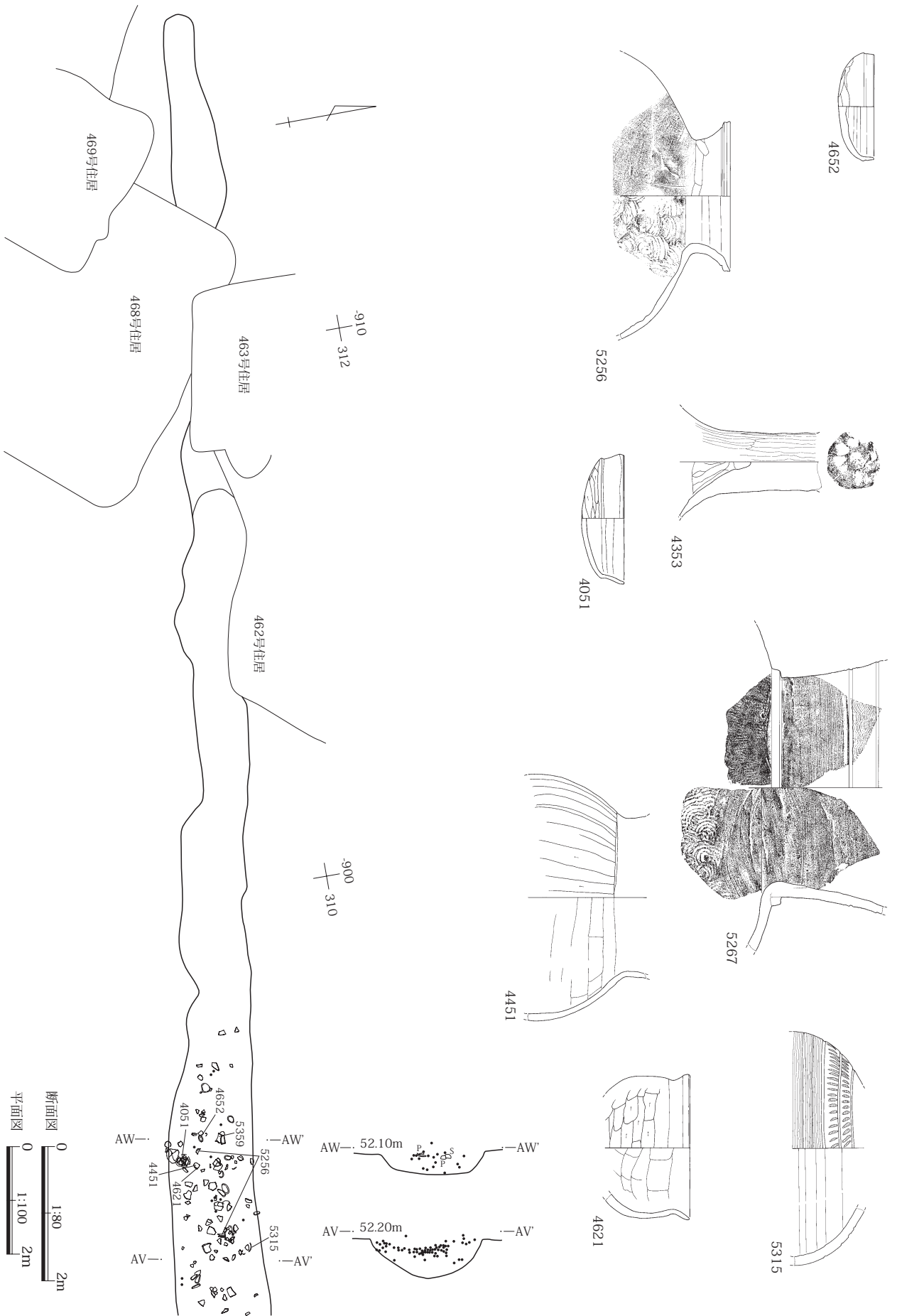


第311 図 道路遺構遺物出土状況 15

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

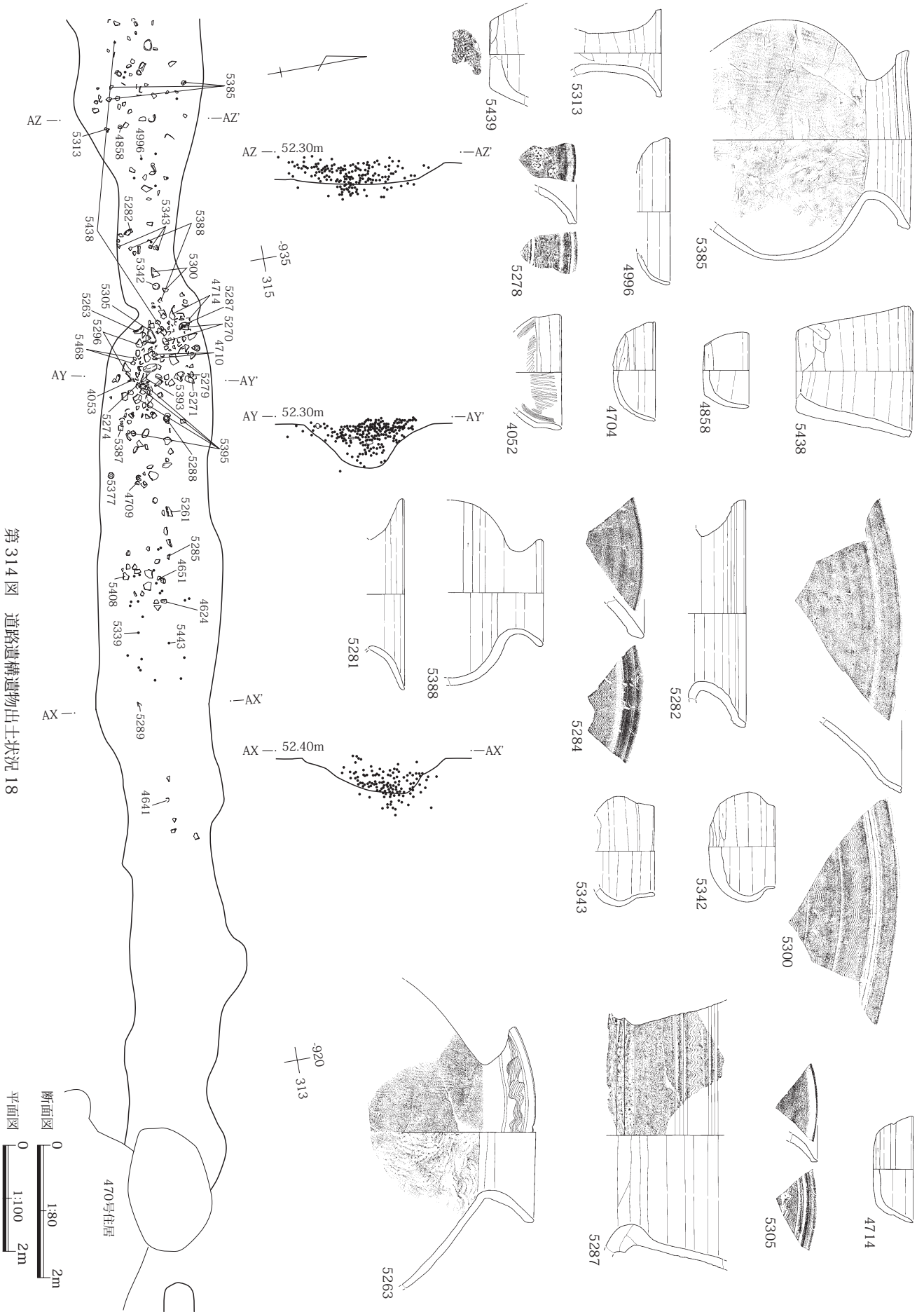


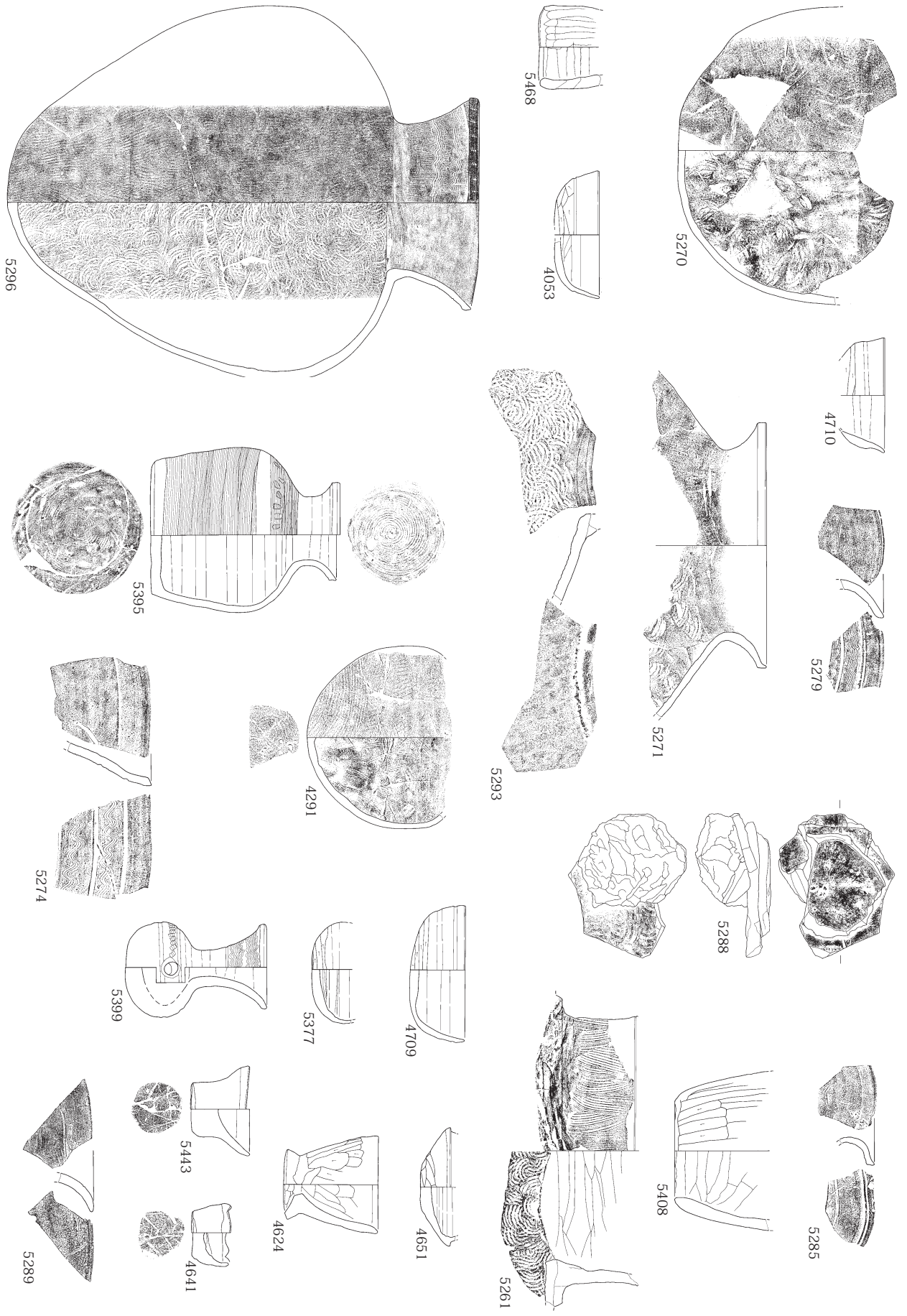
第 312 図 道路遺構遺物出土状況 16



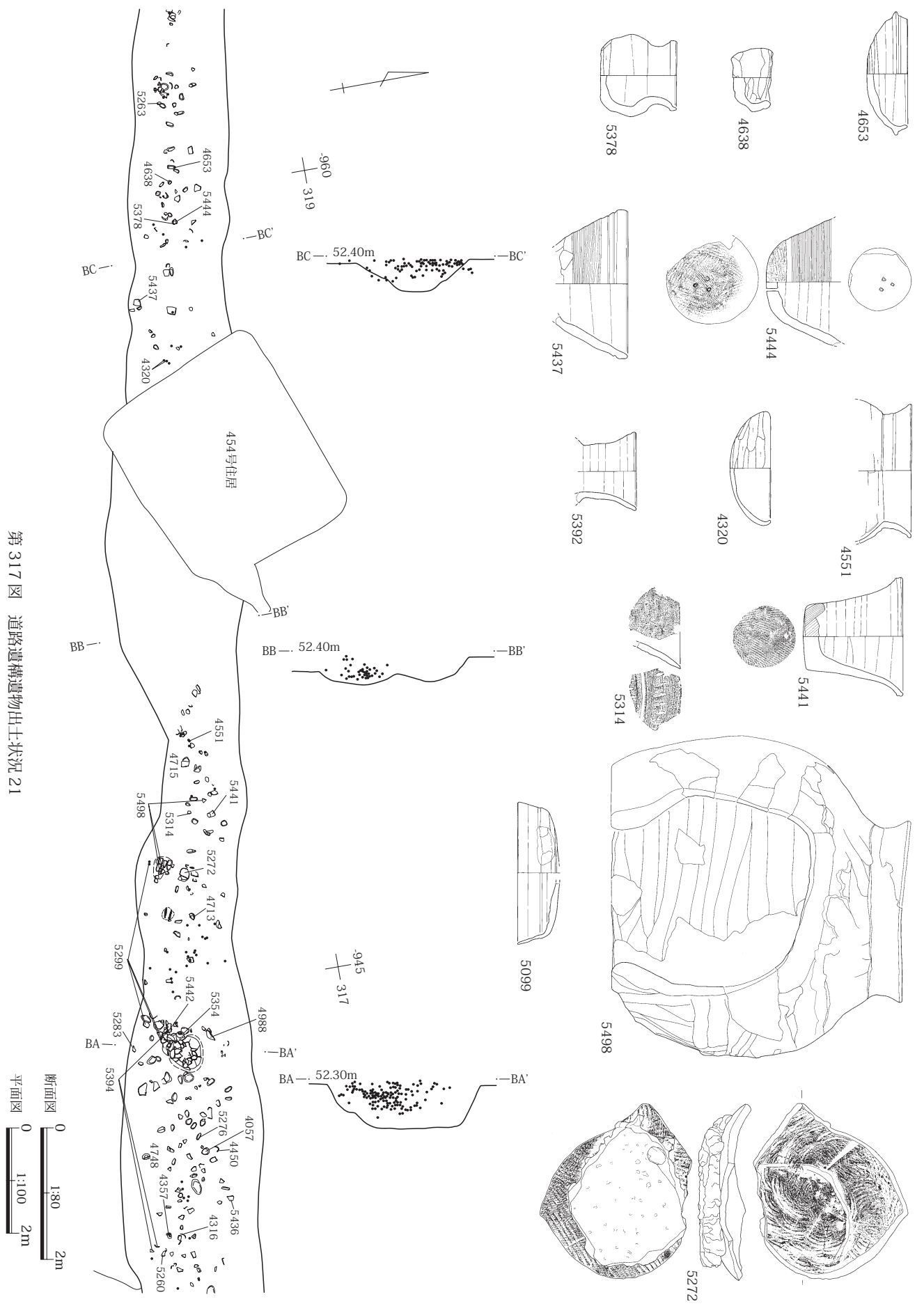
第313図 道路遺構遺物出土状況 17

III 検出された遺構と出土遺物

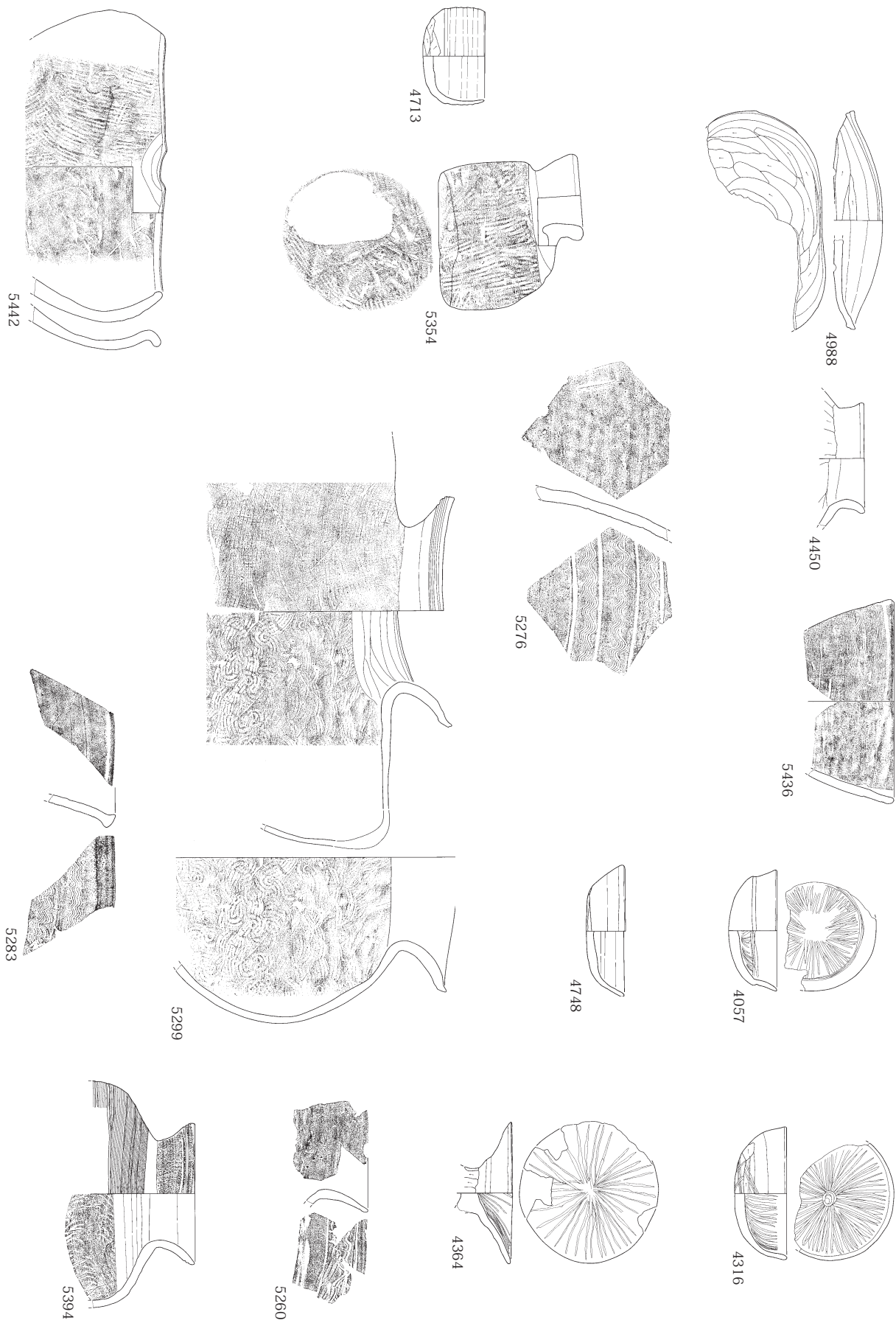




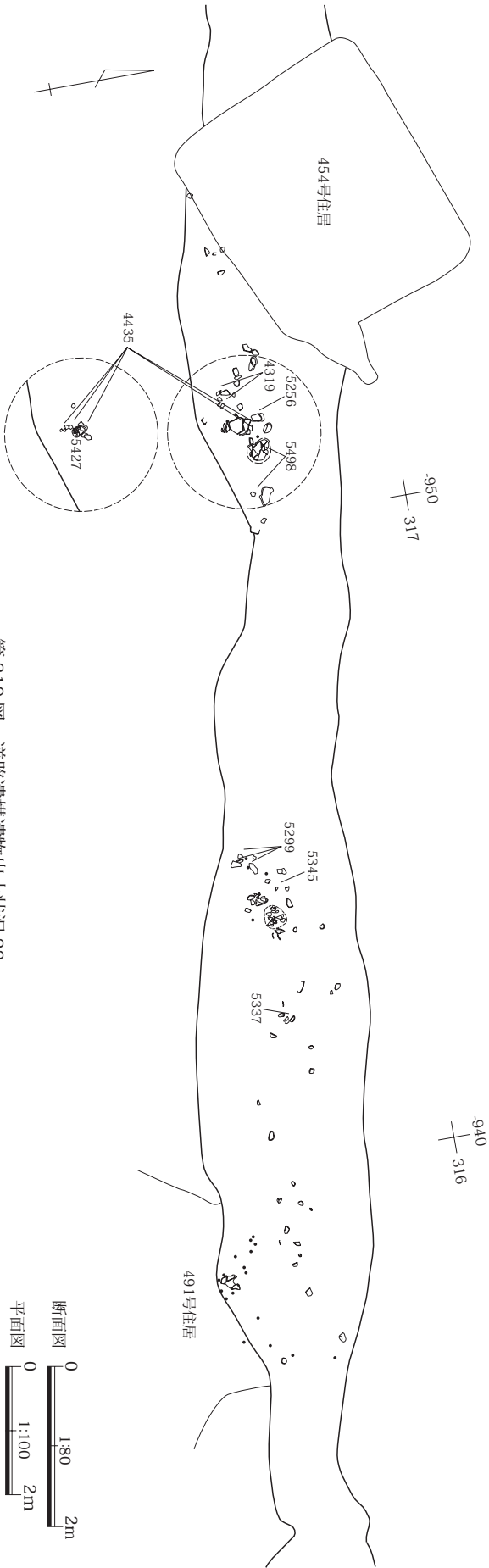
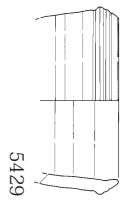
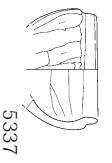
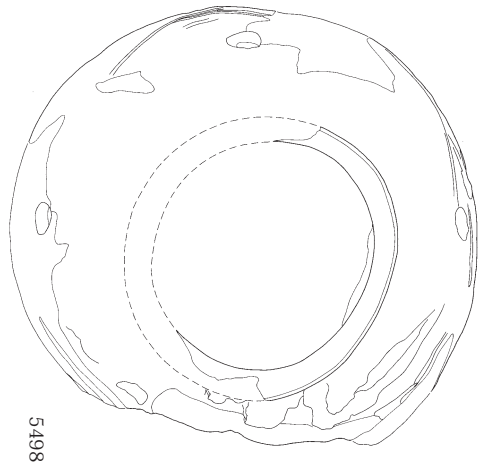
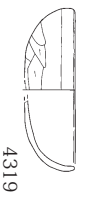
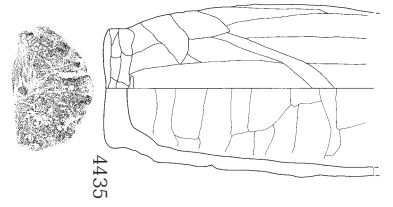
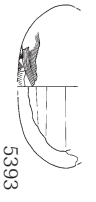
第 315 図 道路遺構遺物出土状況 19



第 317 図 道路遺構遺物出土状況 21

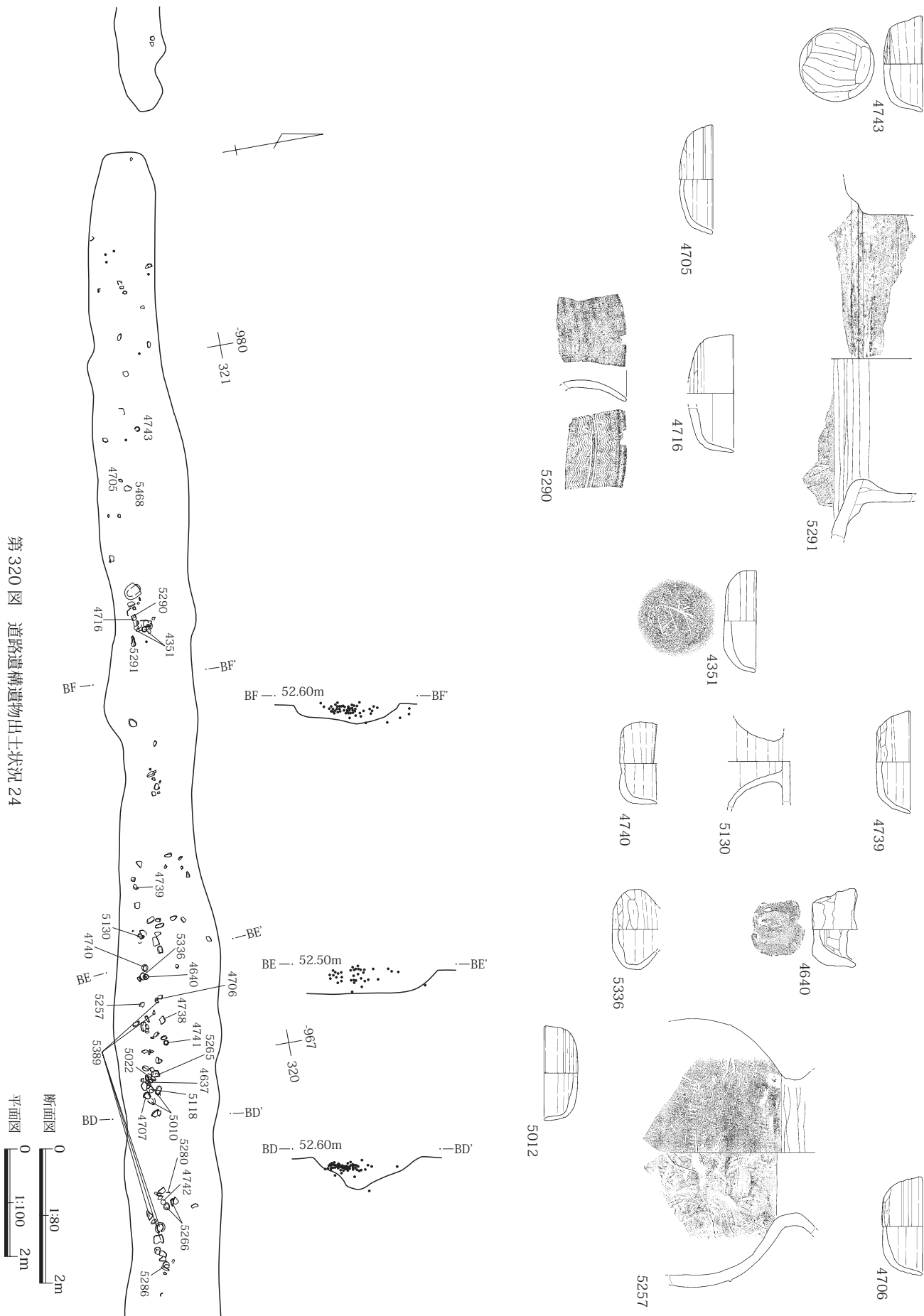


第 318 図 道路遺構遺物出土状況 22

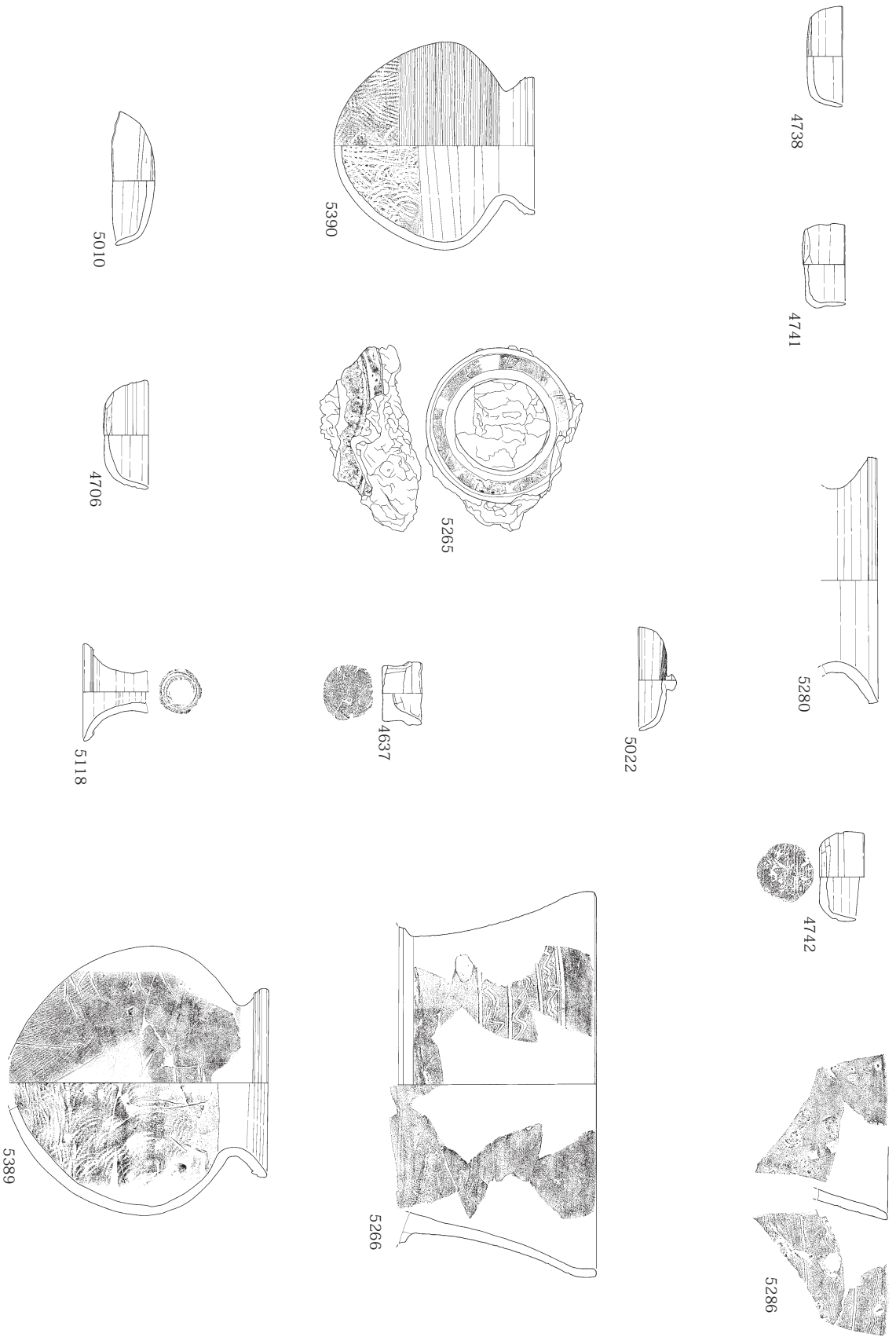


第 319 図 道路遺構遺物出土状況 23

III 検出された遺構と出土遺物

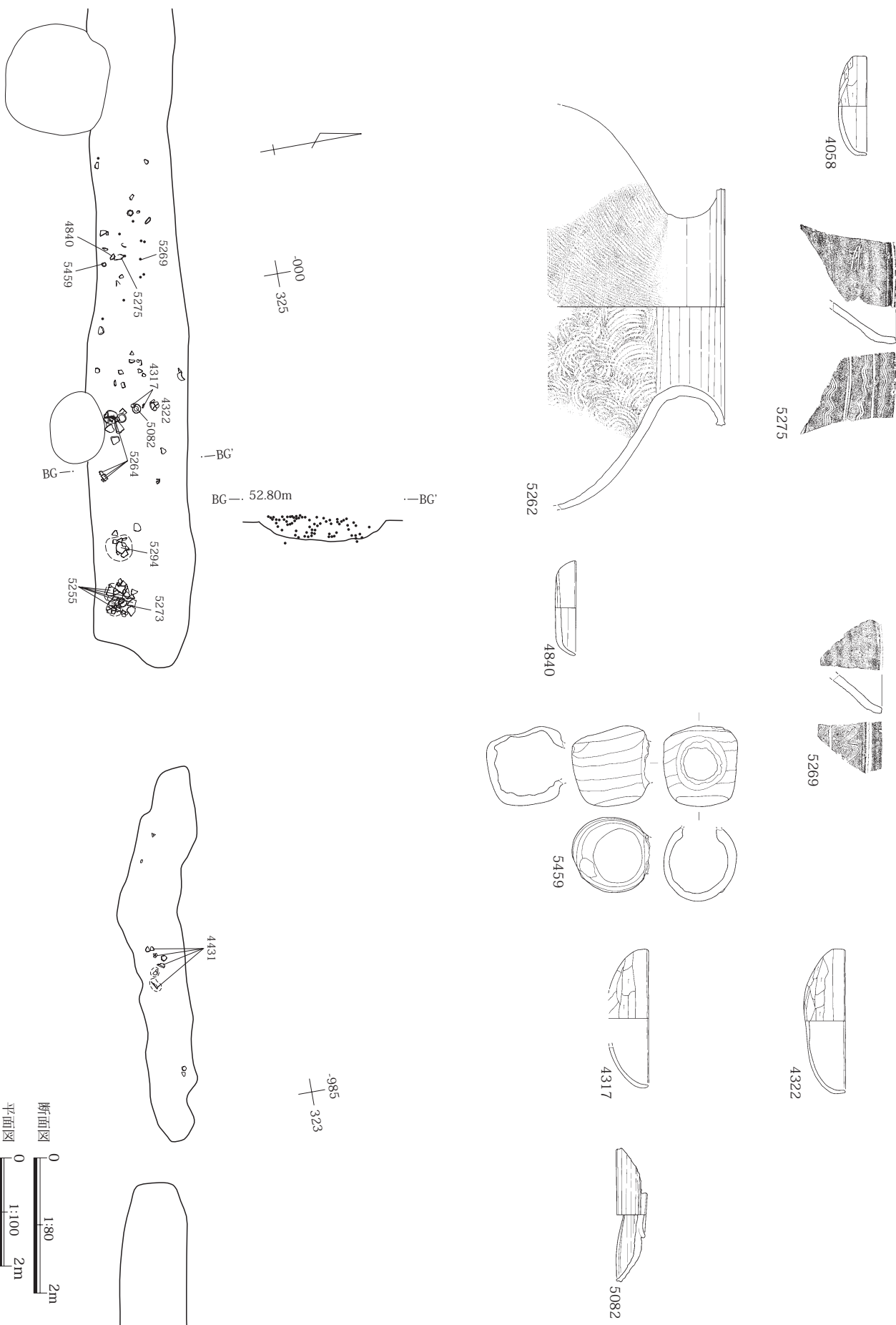


第320図 道路遺構遺物出土状況24

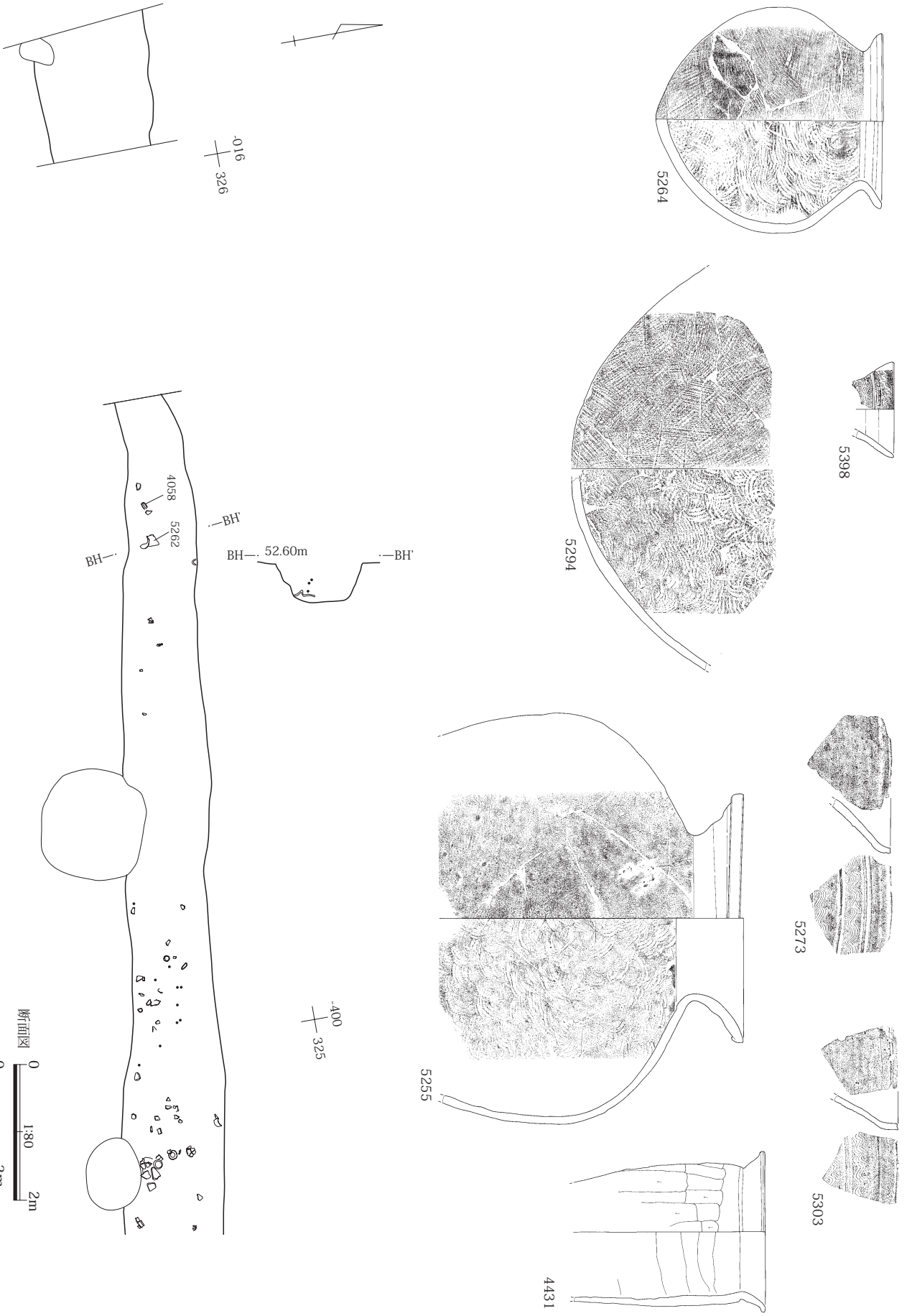


第 321 図 道路遺構遺物出土状況 25

III 検出された遺構と出土遺物

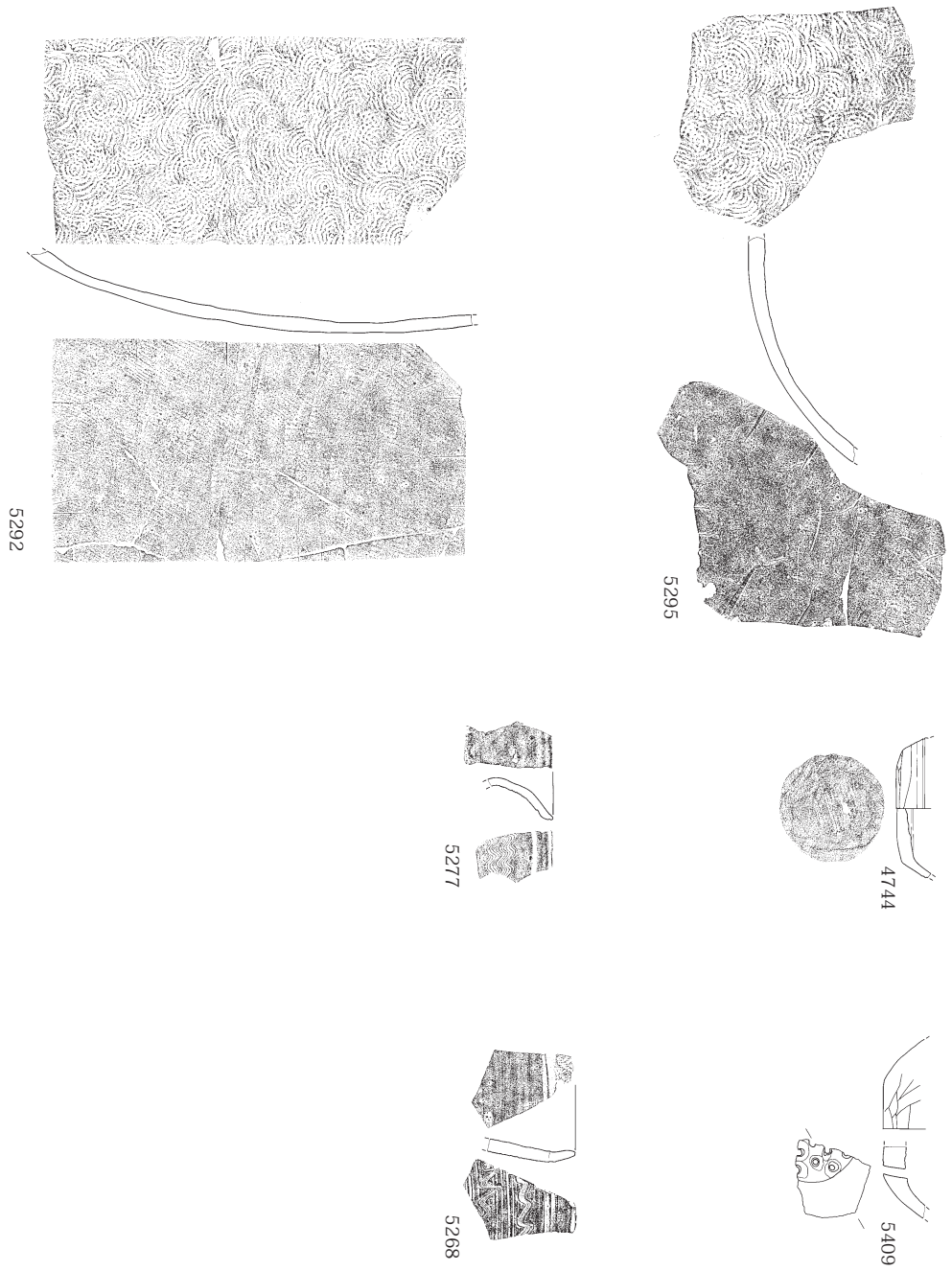


第 322 図 道路遺構遺物出土状況 26

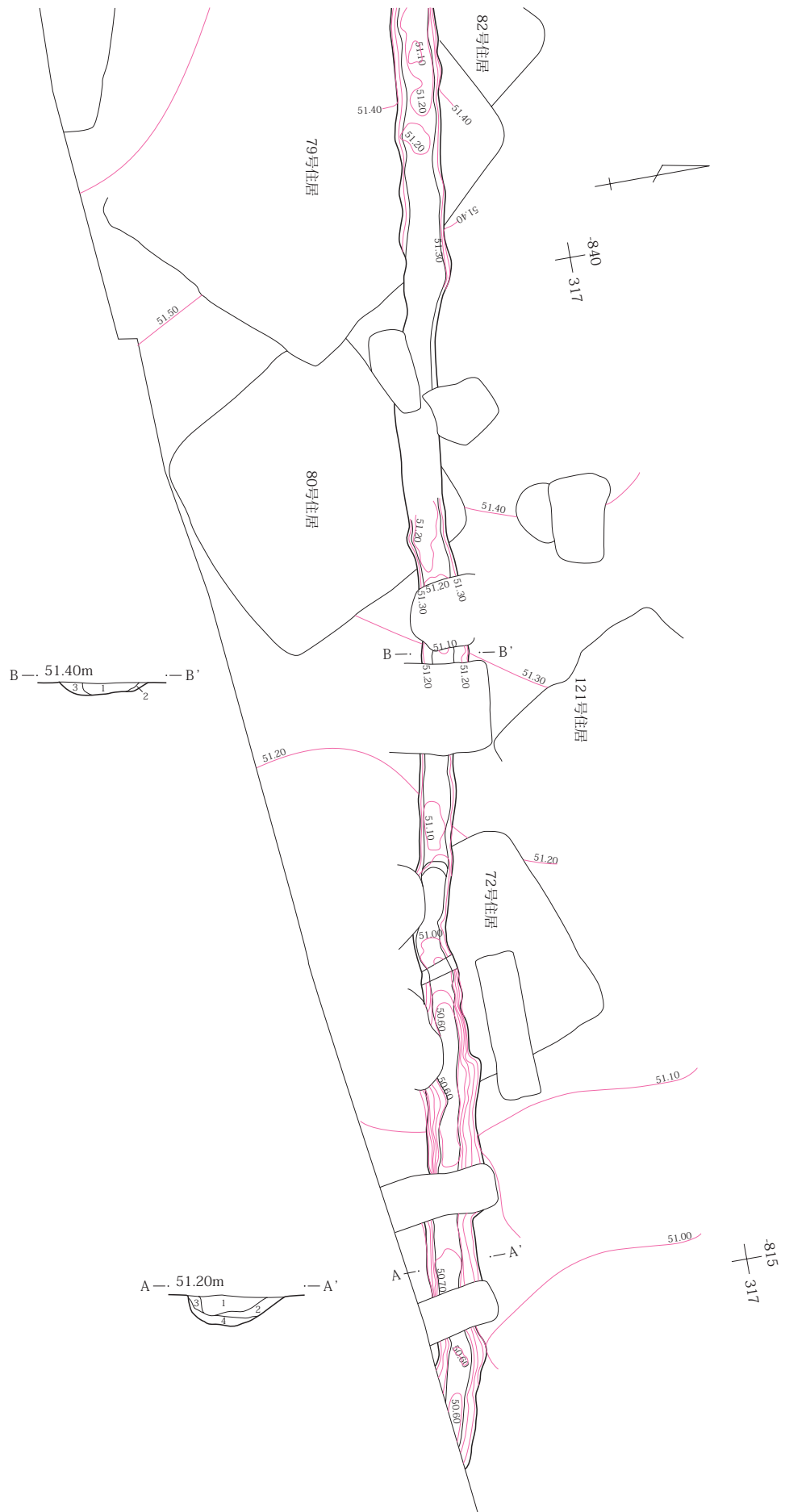


第 323 図 道路遺構遺物出土状況 27

断面図 0 1:80 2m
 平面図 0 1:100 2m

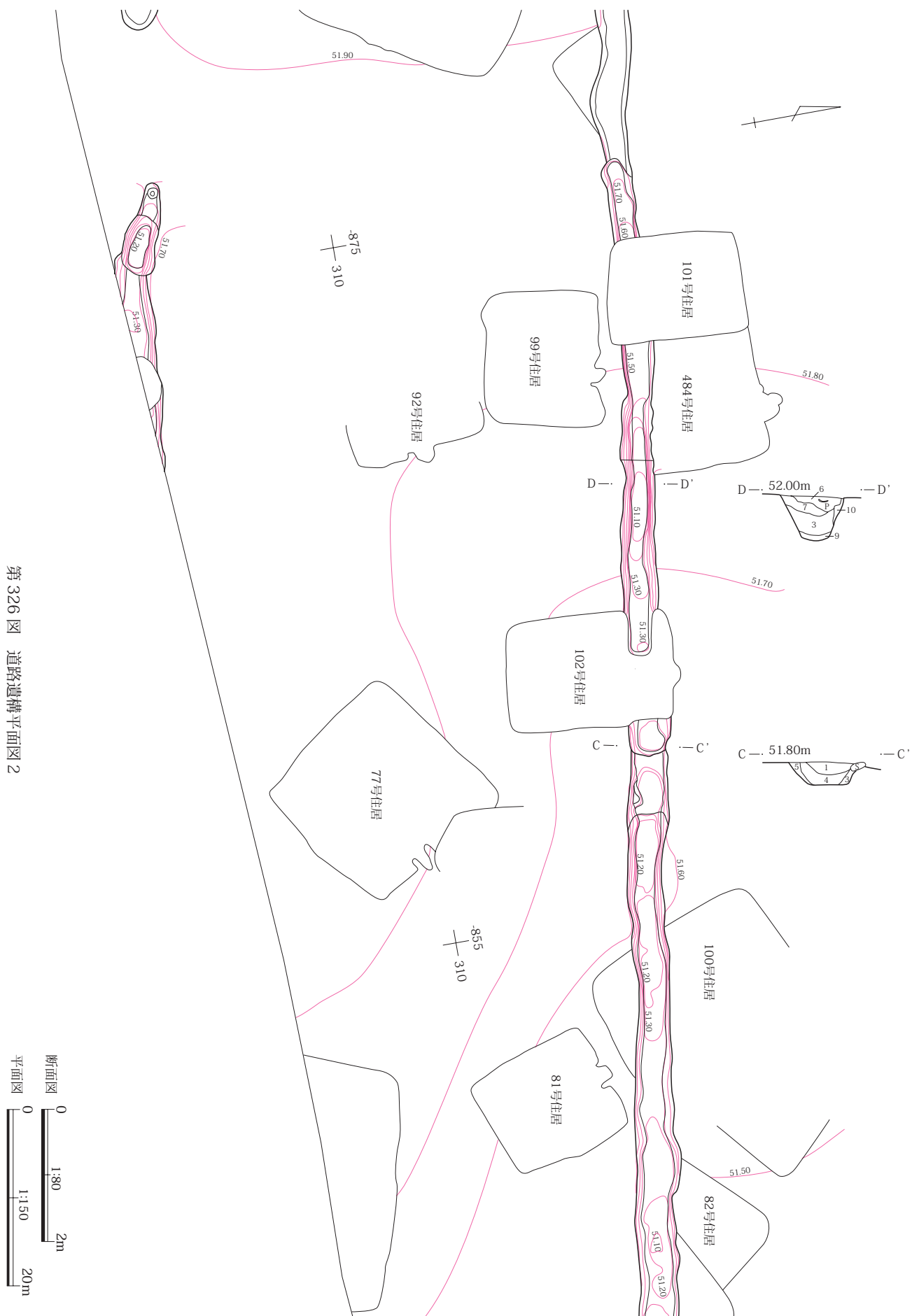


第 324 図 道路遺構、遺物出土状況 28

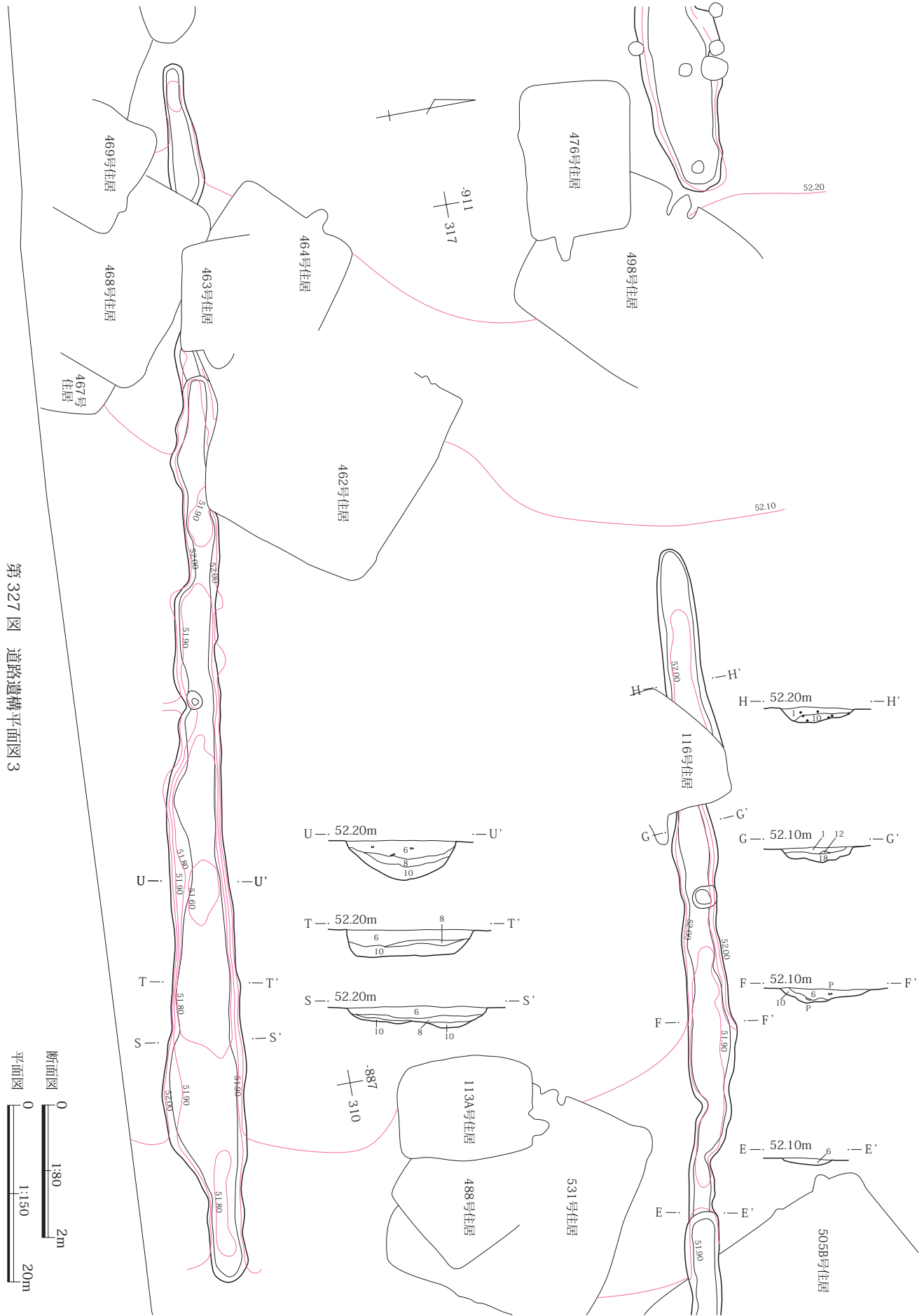


第 325 図 道路遺構平面図 1

III 検出された遺構と出土遺物

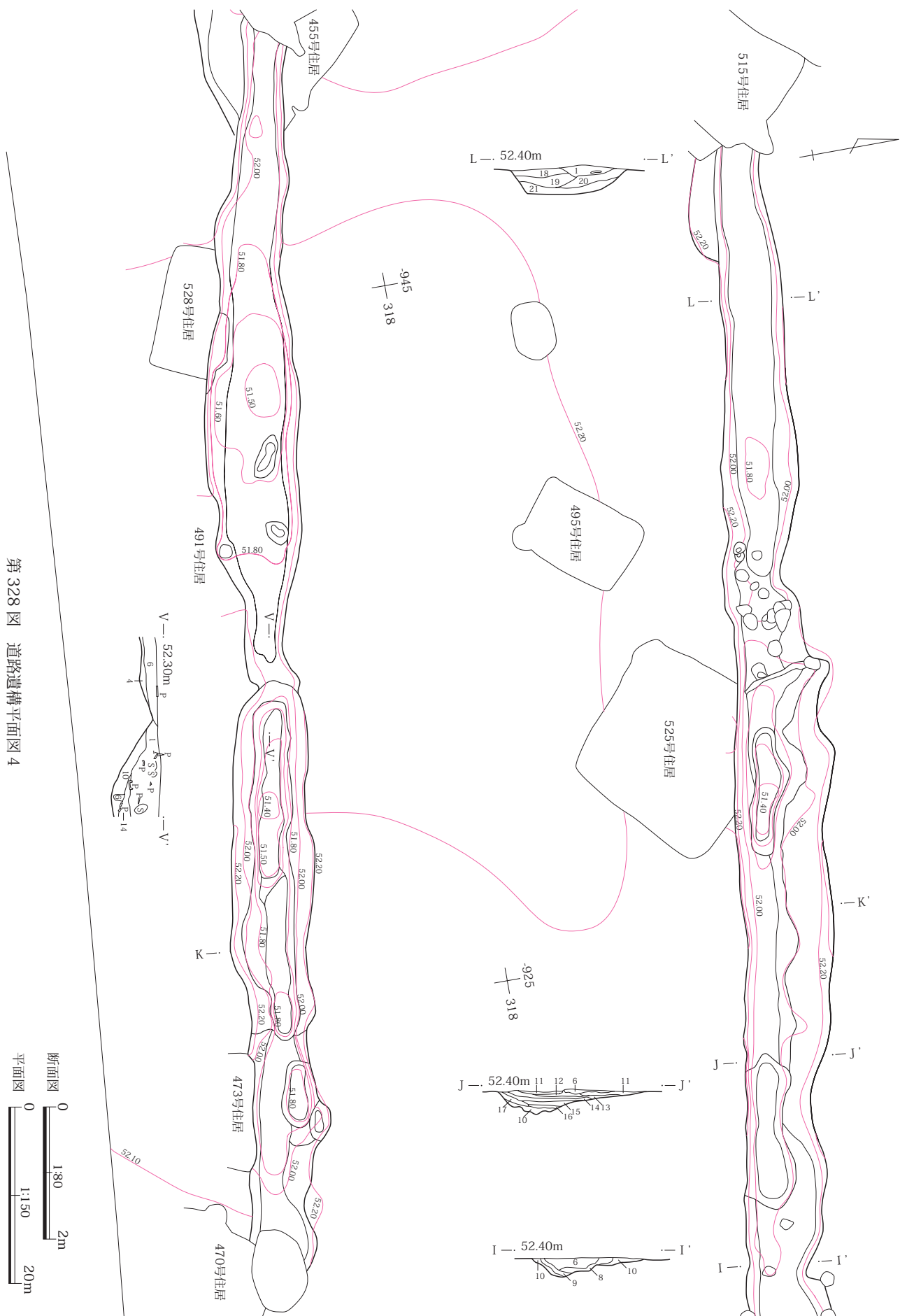


第 326 図 道路遺構平面図 2

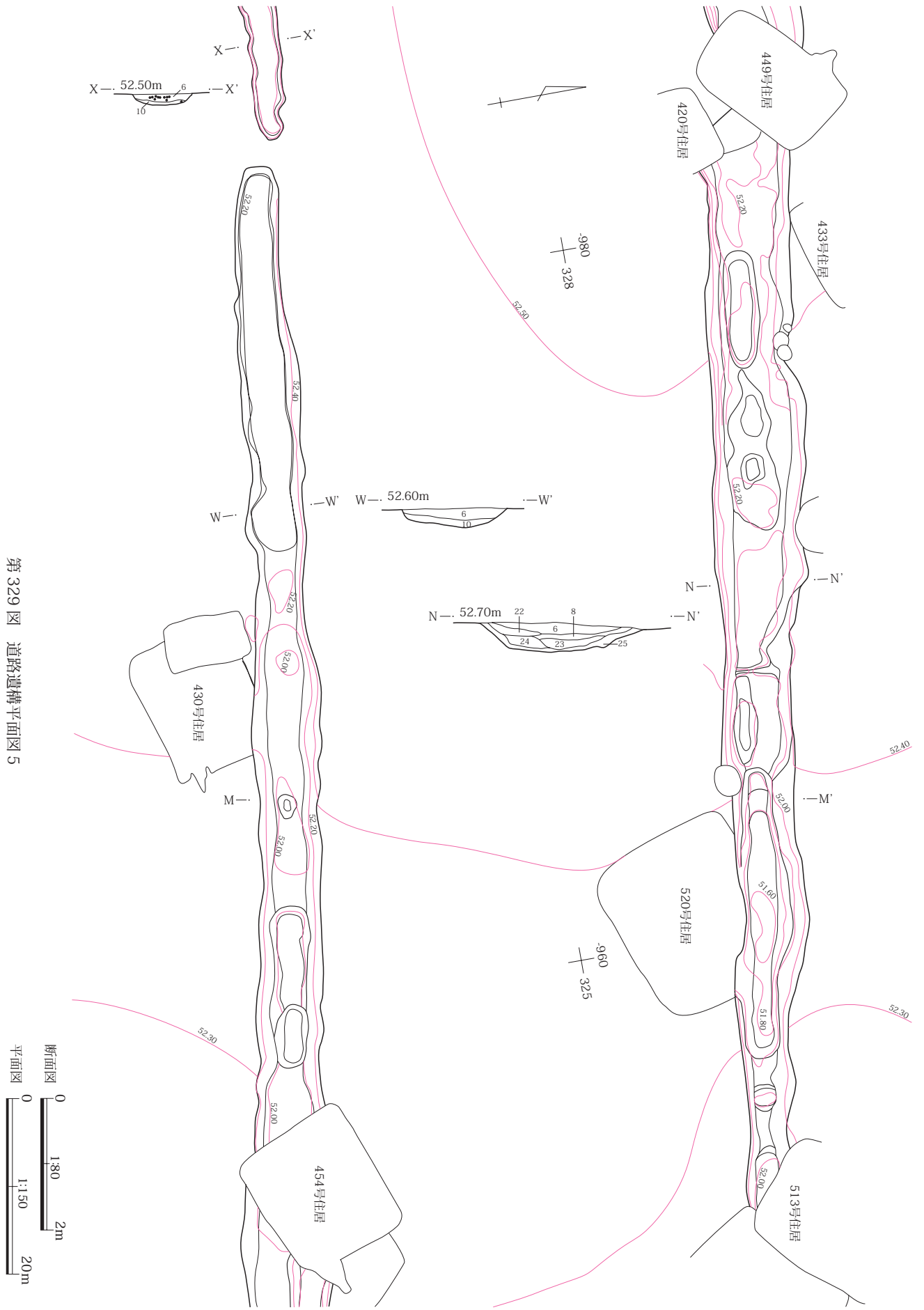


第 327 図 道路遺構平面図 3

III 検出された遺構と出土遺物

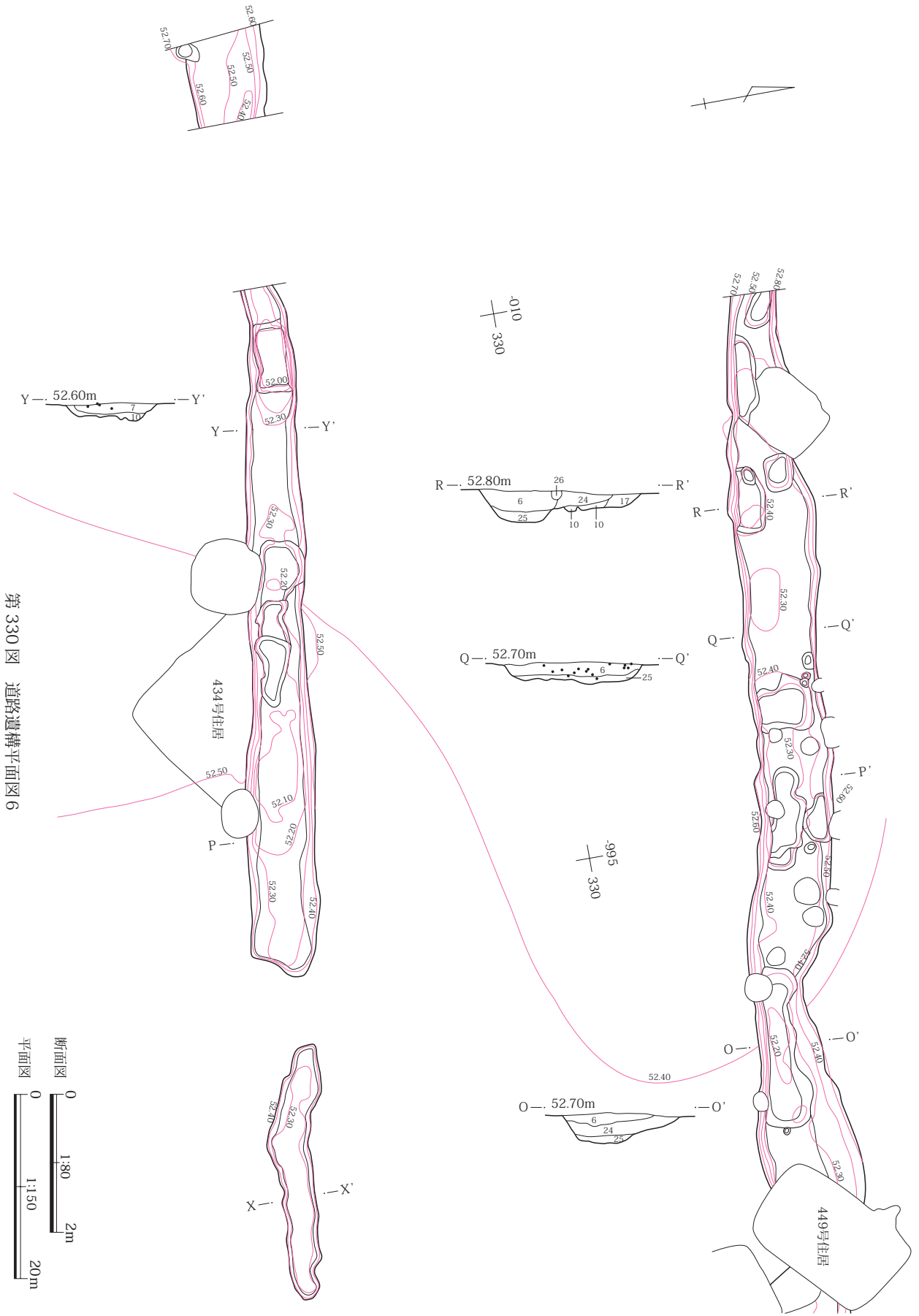


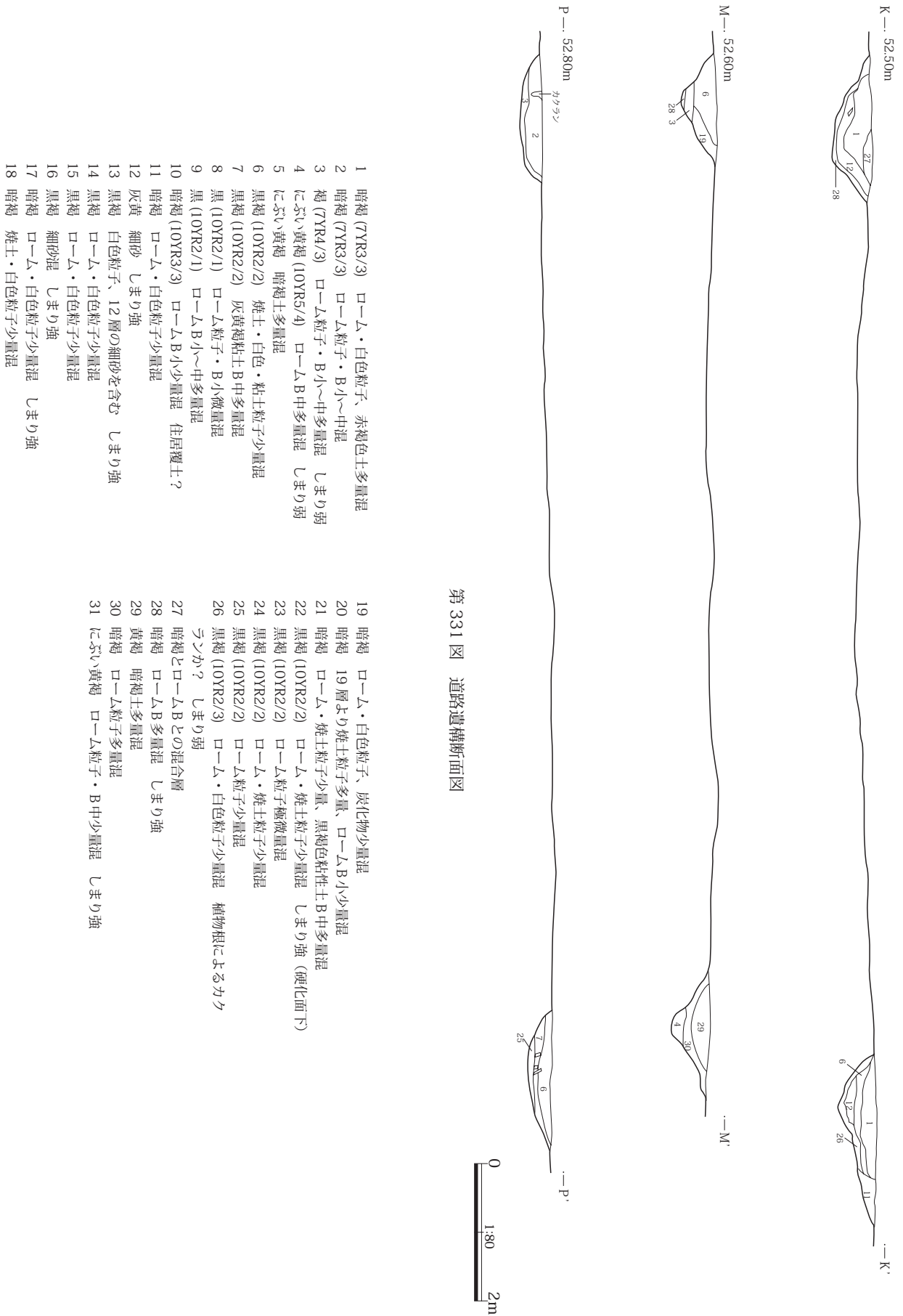
第 328 図 道路遺構平面図 4



第 329 図 道路遺構平面図 5

III 検出された遺構と出土遺物





Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

(3) 遺構外出土遺物

遺構外からも多くの遺物が出土している。分布を見ると、調査区全面から出土しているが、中央東寄りの330-940Gr 付近に分布の中心があり、東部から中央西寄り

の部分まで比較的多く出土しているが、西端部はかなり少なくなっている。土器の器種別の分布を示したが、基本的にはどの器種も同様の分布を示している。

第 17 表 遺構外出土遺物数量表

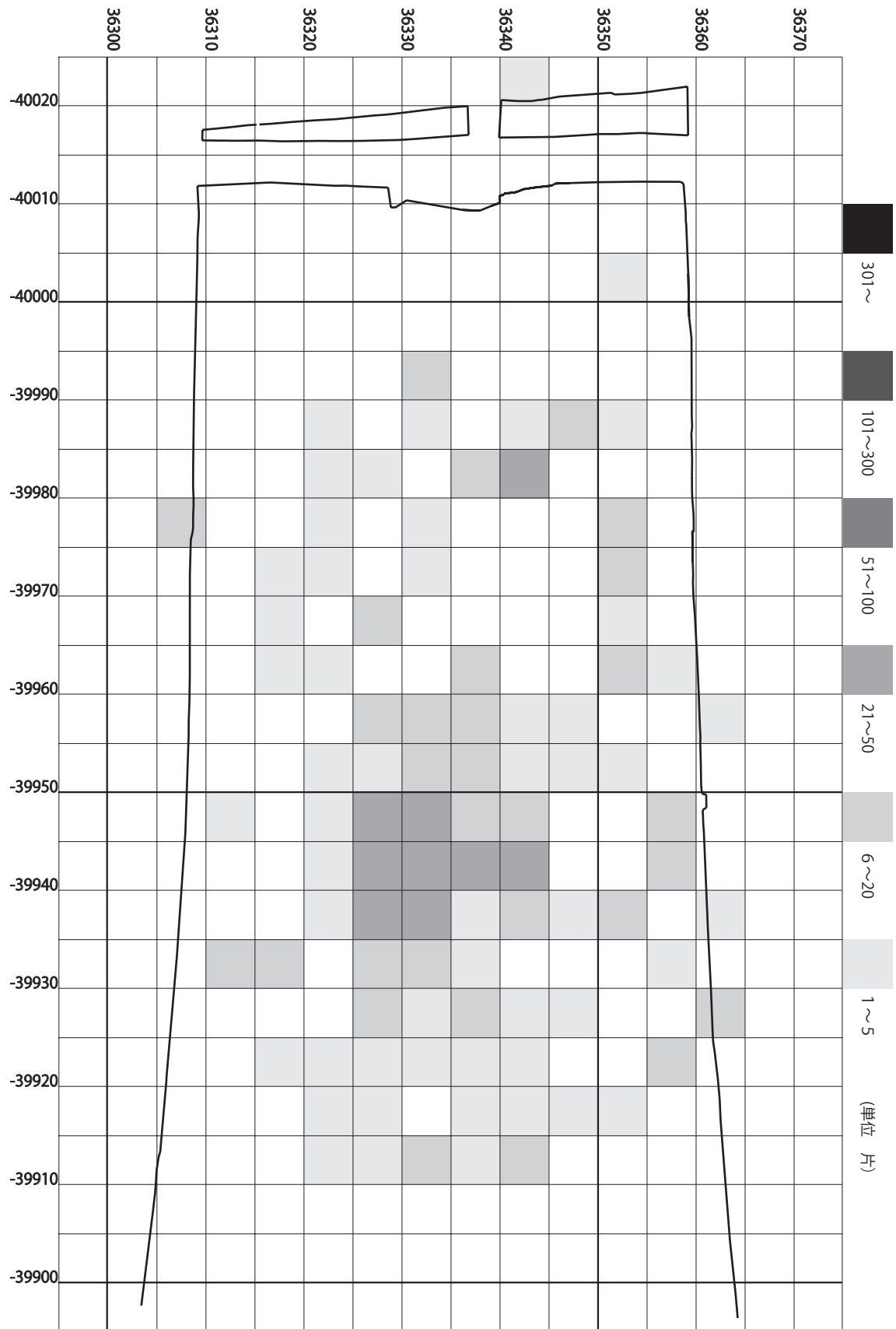
種別 器種	土師器							須恵器							灰釉陶器		土製品		鉄製品		銅製品		総計					
	杯	高杯	甕	台付甕	甌	鉢	他	計	杯	碗	杯または蓋	蓋	高杯	甕	壺・瓶	甌	他	計	土師須恵全	碗計	土錘	土計		窯体	鎌	鉄鏃	計	耳環
300-930			3				3										0	3	0	0						0	0	3
305-920			1				1						2				2	3	0	0						0	0	3
305-930							0				1						1	1	0	0						0	0	1
305-975	11		18				29	1					2				3	32	0	0						0	0	32
310-860	1						1										0	1	0	0						0	0	1
310-915							0										0	0	0	0	1					0	0	1
310-920			2				2	1					1				2	4	0	0						0	0	4
310-930	12		35				47	11			3	1	41				56	103	0	0						0	0	103
310-935			4				4						1				1	5	0	0						0	0	5
310-940			8				8				1		2				3	11	0	0						0	0	11
310-945	1		2				3						3				3	6	0	0						0	0	6
310-950		1	36				37	2					4	1			7	44	0	0						0	0	44
310-955							0	1					2				3	3	0	0						0	0	3
310-975			1				1										0	1	0	0						0	0	1
315-860	1						1										0	1	0	0						0	0	1
315-865	11		9				20	4					6				10	30	0	0						0	0	30
315-910							0						1				1	1	0	0						0	0	1
315-920	2						2	3					1				4	6	0	0						0	0	6
315-925							0						1				1	1	0	0						0	0	1
315-930	6		29				35						21	1			22	57	0	0						0	0	57
315-940							0						2				2	2	0	0						0	0	2
315-945			2				2										0	2	0	0						0	0	2
315-950			17				17				2		1				3	20	0	0						0	0	20
315-960	1				1		2	1									1	3	0	0						0	0	3
315-965	1		2				3	1			1		3	1			6	9	0	0						0	0	9
315-970	1		2				3						8				8	11	0	0						0	0	11
315-975			2				2						2				2	4	0	0						0	0	4
315-985			1				1										0	1	0	0						0	0	1
315-005							0						1				1	1	0	0						0	0	1
320-860	1		9				10										0	10	0	0						0	0	10
320-910	3		20				23	6					10	2			18	41	0	0						0	0	41
320-915	4		15				19	3					5				9	28	0	0						0	0	28
320-920	3		4				7						7				7	14	0	0						0	0	14
320-925			1				1						2				2	3	0	0						0	1	4
320-930							0				1		1				2	2	0	0						0	0	2
320-935	5		19				24	4					7	1			12	36	0	0						0	0	36
320-940	4		19				23	3					10	1			14	37	0	0						0	0	37
320-945	3		32		1	1	37	6					6				12	49	0	0						0	0	49
320-950	5		31				36	1					4				5	41	0	0						0	0	41
320-955							0	1									1	1	0	0						0	0	1
320-960	1						1	2					4				6	7	0	0						0	0	7
320-965			2				2										0	2	0	0						0	0	2
320-970	2		1				3	2									2	5	0	0						0	0	5
320-975	2						2						1				1	3	0	0						0	0	3
320-980	5						5	2					3				5	10	0	0						0	0	10
320-985	5		3				8	2					3				5	13	0	0						0	0	13

2 古墳時代後期～平安時代

種別	土師器							須恵器							土師須恵全	灰釉陶器		土製品		鉄製品			銅製品		総計			
	杯	高杯	甕	台付甕	甑	鉢	他	計	杯	椀	杯または蓋	蓋	高杯	甕		壺・瓶	甑	他	計	碗	計	土錘	計	窯体		鎌	鉄鍬	計
325-910	2		6				8	1					1				2	10	0	0						0	0	10
325-915	2		10				12	1					11				12	24	0	0						0	0	24
325-920	4	1	9				14						19				19	33	0	0						0	0	33
325-925	13		42				55	12			1	1	60	4			78	133	0	0	1					0	0	134
325-930	14	1	44				59	17					34	3			54	113	0	0						0	0	113
325-935	32	1	47				80	20			1		61	2			84	164	0	0						0	0	164
325・330-935							0	1									1	1	0	0						0	0	1
325-940	31	4	108				143	24			1		41	3			69	212	0	0						0	0	212
325-945	31	1	33	1		3	1	70	14		2	5	38	5			64	134	0	0						0	0	134
325-950	1		13				14	3					18				21	35	0	0						0	0	35
325-955	7		18				25	1					12	2			15	40	0	0						0	0	40
325-965	6		12				18	6					6				12	30	0	0						0	0	30
325-970			6				6	2					2				4	10	0	0						0	0	10
325-980	1						1	1									1	2	0	0						0	0	2
325-985			2			1	3	1					2				3	6	0	0						0	0	6
330-910	8	1	35				45	6					47				53	98	0	0						0	0	98
330-915			1				1	1					1				2	3	0	0						0	0	3
330-920	1		2				3	3					8				11	14	0	0						0	0	14
330-925	2		10				12	3					9				12	24	0	0						0	0	24
330-930	17		55				72	16			1	1	36	2			56	128	0	0						0	0	128
330-935	45		85				130	43			4	1	72	3			123	253	0	0						0	0	253
330-940	38	2	180				220	37			2		58	1			98	318	0	0						0	0	318
330-945	29		92			2	123	11		4	1		24	6			46	169	0	0						0	0	169
330-950	6		10			5	21	2					7	2			11	32	0	0						0	0	32
330-955	9		19				28	6			1		10				17	45	0	0						0	0	45
330-960			5				5										0	5	0	0			1		1	0	0	6
330-965		1	7				8	2					5	5			12	20	0	0						0	0	20
330-970	4		23				27	3					3				6	33	0	0						0	0	33
330-975	1		1				2						1				1	3	0	0						0	0	3
330-980			1				1	1					1				2	3	0	0						0	0	3
330-985	4		11				15		1		1		11				13	28	0	0						0	0	28
330-990	10		20				30	5		1			34	2			42	72	1	1	0					0	0	73
335-860	9		21				30						1				1	31	0	0						0	0	31
335-910	3						3	4					6				10	13	0	0						0	0	13
335-915	2		4				6	3					1				4	10	0	0						0	0	10
335-920	4		10				14						12				12	26	0	0						0	0	26
335-925	21		100			1	122	4					12	1			17	139	0	0						0	0	139
335-930	2		8				10	1					4				5	15	0	0						0	0	15
335-935	4		3				7	1					13	2			16	23	0	0						0	0	23
335-940	27		51				78	10				1	37				48	126	0	0						0	0	126
335-945	12		20				32	3					5				8	40	0	0						0	0	40
335-950	6		10				16	3					7	1			11	27	0	0						0	0	27
335-955	6		14				20	3					7				10	30	0	0						0	0	30
335-960	8		16				24	9					12				21	45	0	0						0	0	45
335-970							0						3				3	3	0	0						0	0	3
335-980	20		45				65	6			1	1	17				25	90	0	0						0	0	90
335-000			1				1						3				3	4	0	0						0	0	4
340-910	10		34				44	6			1		10				17	61	0	0						0	0	61
340-915	1		10				11	1					10				11	22	0	0						0	0	22
340-920	2		5				7						3				3	10	0	0						0	0	10
340-925	1		3				4										0	4	0	0						0	0	4
340-930			3				3	1									1	4	0	0						0	0	4
340-935	7		16				23						12	1			13	36	0	0						0	0	36
340-940	32		83				115	27			1	1	48	4			81	196	0	0						0	0	196

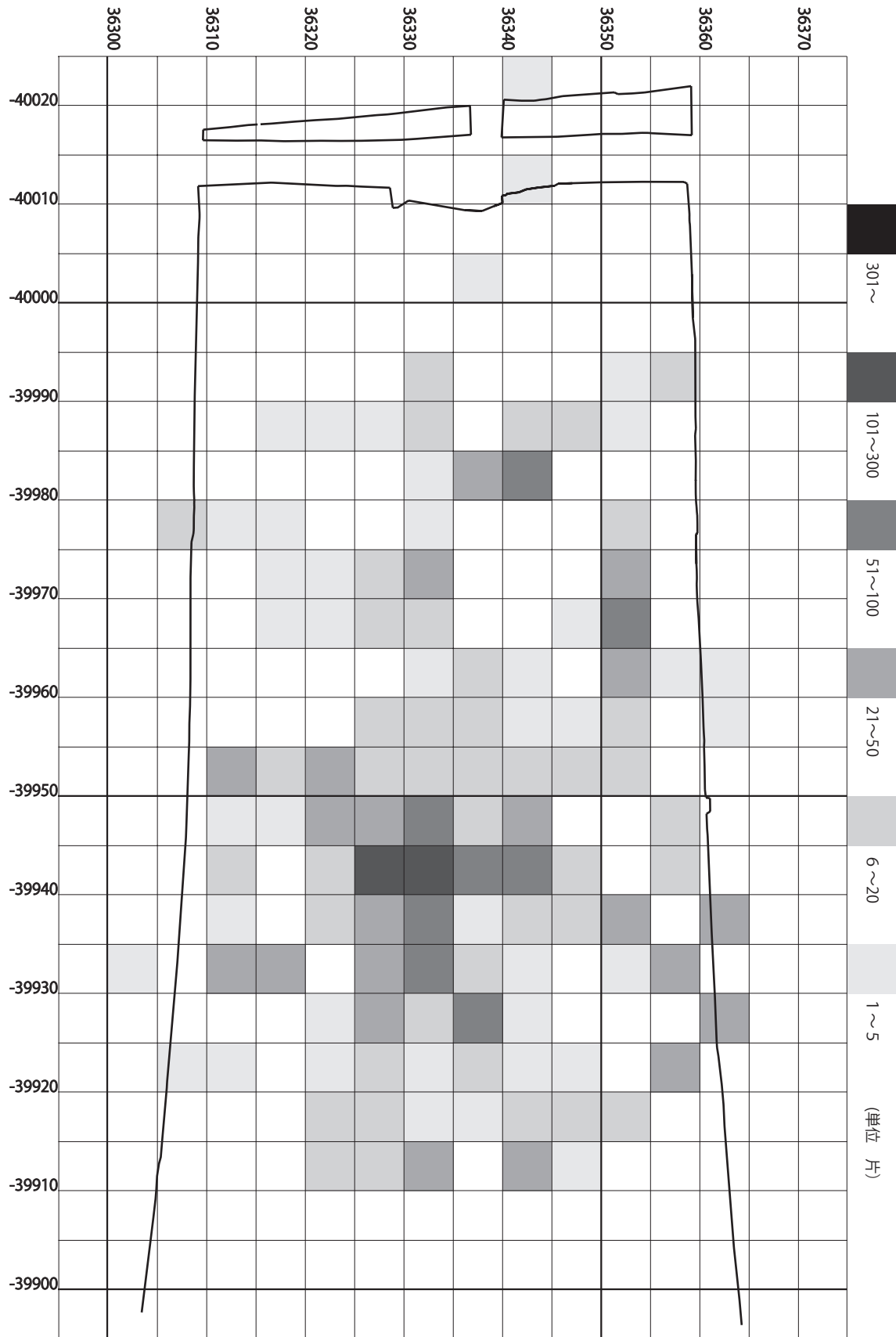
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

種別	土師器							須恵器							土師須恵全	灰釉陶器		土製品		窯体	鉄製品		銅製品		総計				
	杯	高杯	甕	台付甕	甑	鉢	他	計	杯	椀	杯または蓋	蓋	高杯	甕		壺・瓶	甑	他	計		碗	計	土錘	計		鎌	鉄鍬	計	耳環
340-945	6		32			7	45	5			1		6				12	57	0	0					0	0	57		
340-950	4		9			1	14	1						2			3	17	0	0					0	0	17		
340-955	1		3				4	1					4				5	9	0	0					0	0	9		
340-960			3				3						6				6	9	0	0					0	0	9		
340-970							0						2				2	2	0	0					0	0	2		
340-980	49		53				102	12			7		11	1			31	133	0	0					0	0	133		
340-985	3		6				9				1		1				2	11	0	0					0	0	11		
340-010			1				1										0	1	0	0					0	0	1		
340-020	1		2				3	3									3	6	0	0					0	0	6		
345-910			1				1					1	2				3	4	0	0					0	0	4		
345-915	1		7				8	1					3				4	12	0	0					0	0	12		
345-920			3				3	1				1					2	5	0	0					0	0	5		
345-925	1						1										0	1	0	0					0	0	1		
345-930							0						4				4	4	0	0					0	0	4		
345-935	2		11				13						3				3	16	0	0					0	0	16		
345-940			7				7										0	7	0	0					0	0	7		
345-945						1	1										0	1	0	0					0	0	1		
345-950	2		8			1	11	1					1				2	13	0	0					0	0	13		
345-955	1		3				4	1					1				2	6	0	0					0	0	6		
345-960							0						2				2	2	0	0					0	0	2		
345-965			2				2	1					1				2	4	0	0					0	0	4		
345-985	10		13				23	2					4				6	29	0	0					0	0	29		
350-910							0						5				5	5	0	0					0	0	5		
350-915	2		9				11	2			1		8				11	22	0	0					0	0	22		
350-930			2				2						2				2	4	0	0					0	0	4		
350-935	15		43				58	7			1		6	1			15	73	0	0					0	0	73		
350-950	3		12				15	3					3				6	21	0	0					0	0	21		
350-955			8				8	2					7				9	17	0	0					0	0	17		
350-960	9		45				54	3					10				13	67	0	0					0	0	67		
350-965	5		51				56	15					6				21	77	0	1	1			1	1	0	79		
350-970	13		42				55	10			1		10				21	76	0	0					0	0	76		
350-975	8	1	17				26	12					9				21	47	0	0					0	0	47		
350-985	2		2			1	5						1				1	6	0	0					0	0	6		
350-990			3				3	2			1						3	6	0	0					0	0	6		
350-000	1						1						1				1	2	0	0					0	0	2		
350-020							0							2			2	2	0	0					0	0	2		
355-920	16	1	44				61				1		6				7	68	0	0					0	0	68		
355-930	5		26				31	4					4				8	39	0	0					0	0	39		
355-940	12		14				26	11				2	2	2			17	43	0	0					0	0	43		
355-945	17		9				26					2	7	2			11	37	0	0					0	0	37		
355-950							0	1									1	1	0	0					0	0	1		
355-960	1		2				3						1				1	4	0	0					0	0	4		
355-975							0						2				2	2	0	0					0	0	2		
355-990			9			1	10	1						1			2	12	0	0					0	0	12		
360-925	9		34				43	4				1	7	1			13	56	0	0					0	0	56		
360-935	5		28				33	5					2	1			8	41	0	0					0	0	41		
360-955	2		3				5						2				2	7	0	0					0	0	7		
260-960			1				1										0	1	0	0					0	0	1		
表探	114		301				416	57				7	2	145	7		1	219	635	0	1	1			0	0	636		
計	906	15	2563	1	2	24	43515	550	1	7	55	12	1320	75	1	2	2023	5538	1	1	2	2	2	1	1	2	1	1	5546

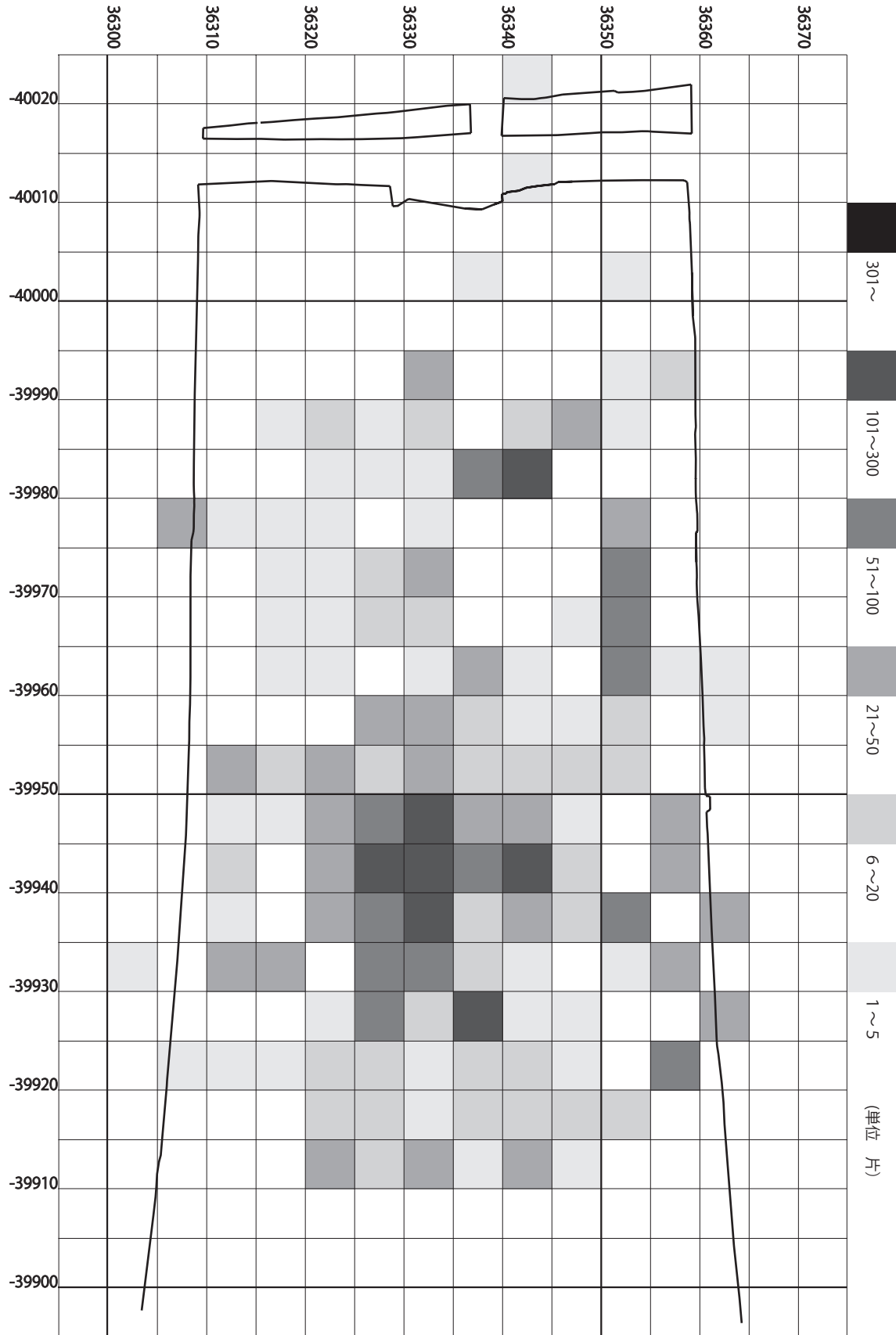


第 332 図 遺構外出土遺物分布図 土師器 杯

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

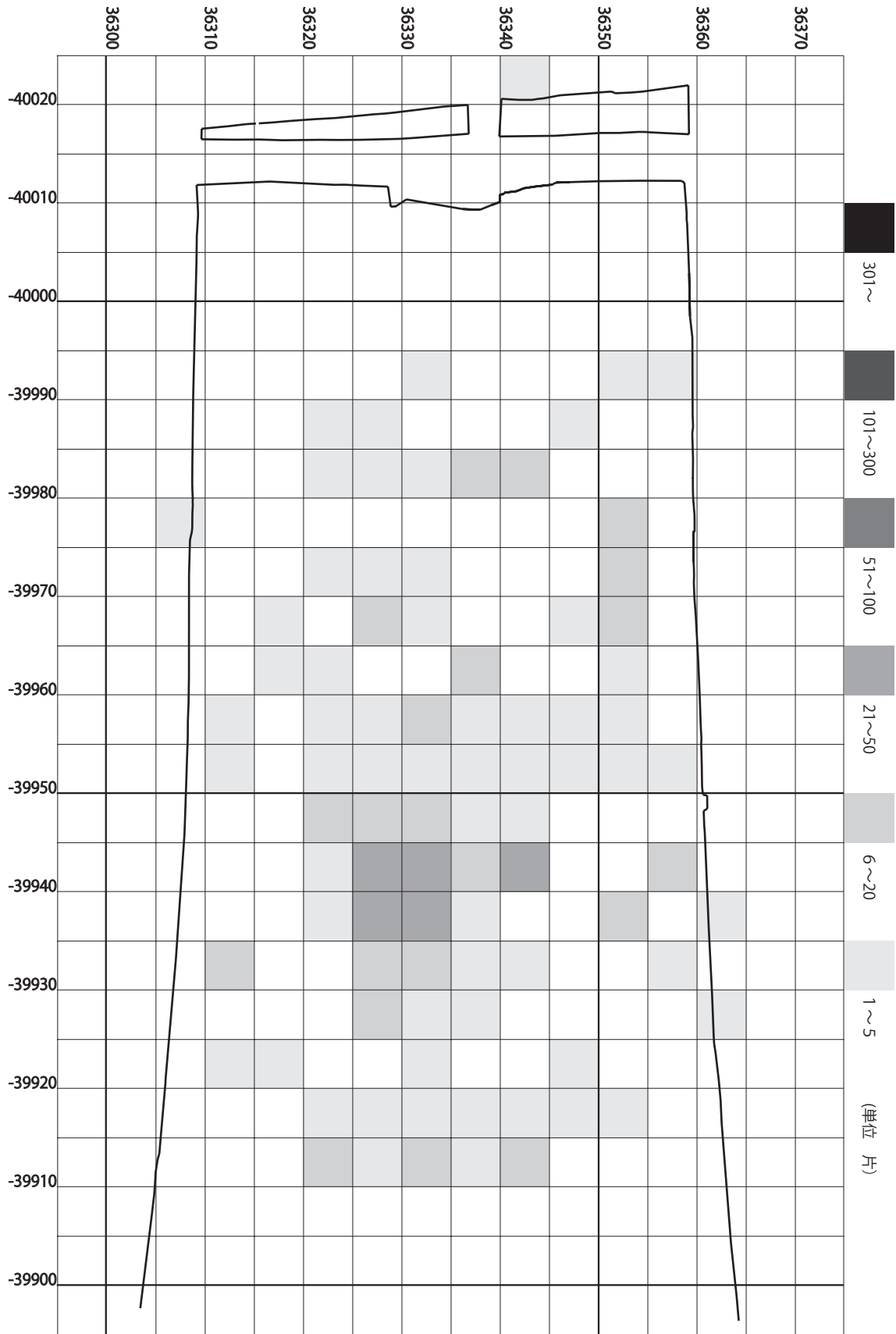


第 333 図 遺構外出土遺物分布図 土師器 甕

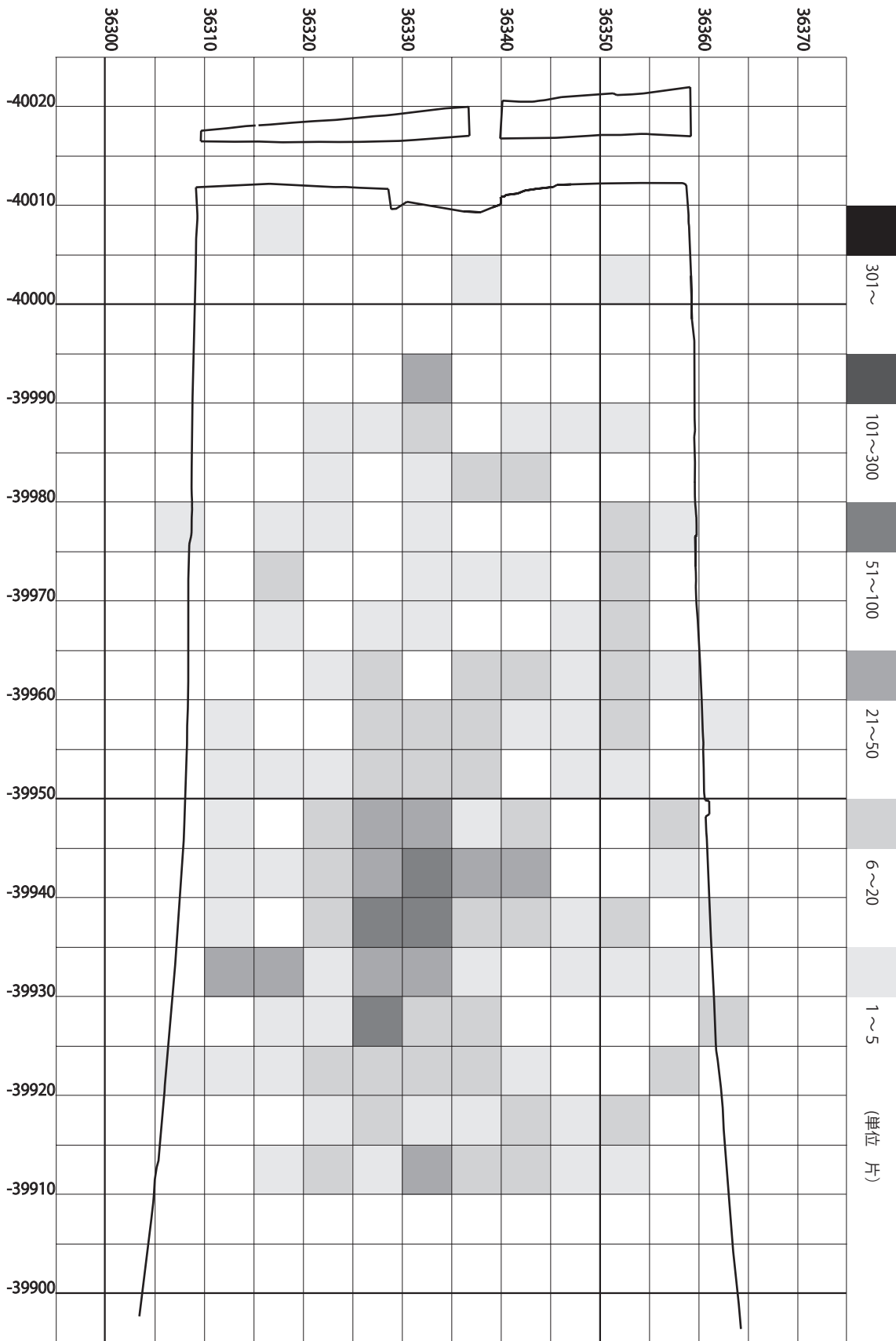


第 334 図 遺構外出土遺物分布図 土師器 計

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

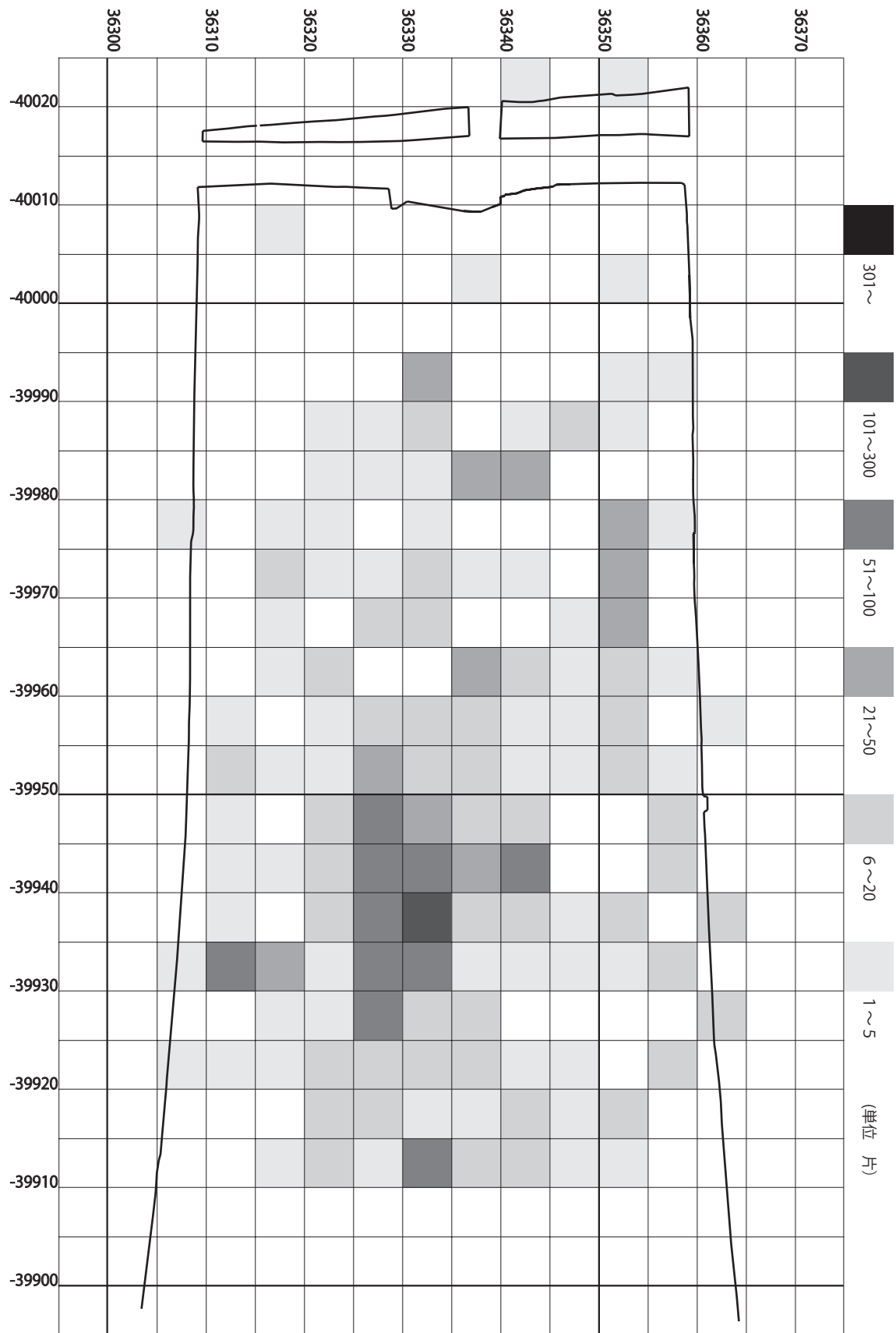


第 335 図 遺構外出土遺物分布図 須恵器 杯

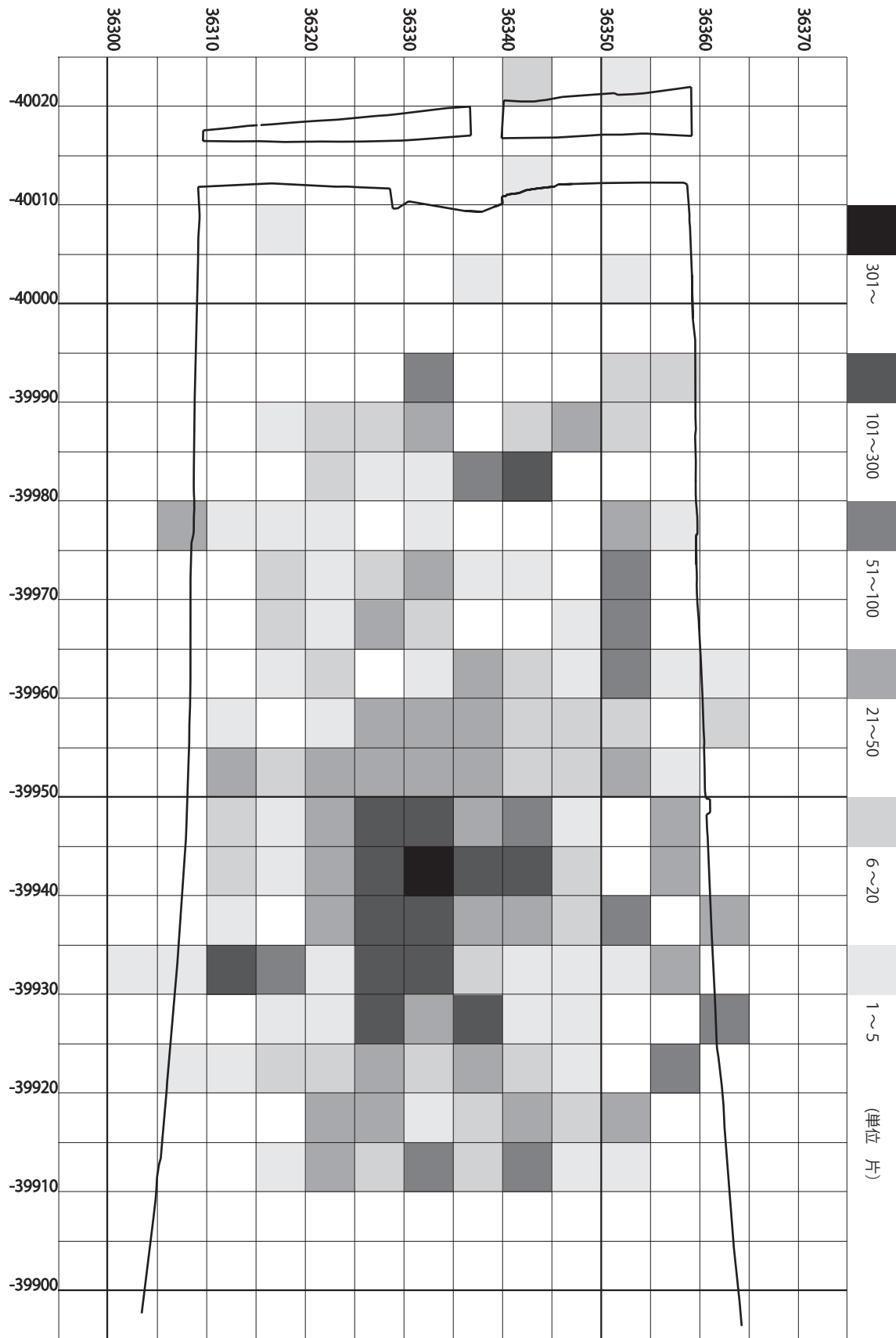


第 336 図 遺構外出土遺物分布図 須恵器 甕

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 337 図 遺構外出土遺物分布図 須恵器 計



第 338 図 遺構外出土遺物分布図 土師器・須恵器 計

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

(4) 遺物

遺物は、土師器、須恵器、灰釉陶器、土製品、石製品、鉄製品、銅製品等が出土している。

土師器 器種は、杯、蓋、高杯、甕、台付甕、壺、鉢、甌等が出土しており、総数 44,644 点出土している。甕が 32,848 点で杯が 11,174 点と、甕の出土量が杯の 3 倍近くとなっている。

I 杯 A～H の 7 類に分けられる。

A 口縁部は内傾、直立、外傾する。須恵器杯あるいは蓋の模倣杯。

- 1 丸底で、口縁部との間に稜を持ち、口縁部は外傾する。須恵器蓋の模倣
- 2 平底に近い丸底の底部と口縁部の間に稜をもち、口縁部は外反する。器高低く皿状を呈する。(第 2 分冊では時期を考慮して B 類に分類していたが、系統としては A 類になるため変更した)
- 3 丸底で、口縁部との間に稜を持ち、口縁部は内傾、直立する。須恵器杯身の模倣
- 4 丸底で、口縁部との間に稜を持ち、口縁部に段を持つ有段口縁

B 丸底で、体部は丸みを帯びて立ち上がり、口縁部は内傾または外反する。

- 1 口縁部が内傾または外反し、器高やや高く椀状を呈する
- 2 B 1 に比べ大型で深い器形を呈する
- 3 内面を篋で研磨するもの

C ロク調整で平底、底径が大きいもの。いわゆる盤状杯。

D 平底で口縁部と体部の稜がはっきりするもの

E 口縁部やや外反し、平底で薄く硬質のもの

F その他・不明

II 高杯 A～C の 3 類に分けられる。

A 短脚 B 長脚 C その他・不明

III 甕 A・B の 2 類に大別できる。

A 褐色・橙色で器壁厚く、口縁部は「く」の字状を呈する

- 1 最大径を胴部中位に持つ長胴甕
- 2 胴部にあまりふくらみを持たない長胴甕

3 胴部が丸みを帯びる胴張甕

4 小型甕

5 その他・不明

B 赤褐色・暗赤褐色で器壁薄く、口縁部は「く」の字状・「コ」の字状を呈する

- 1 口縁部が「く」の字状を呈する
- 2 口縁部が「コ」の字状を呈する
- 3 小型甕
- 4 その他・不明

IV 台付甕

A 赤褐色・暗赤褐色で器壁薄く、口縁部は「く」の字状・「コ」の字状を呈する

- 1 口縁部が「く」の字状を呈する
- 2 口縁部が「コ」の字状を呈する
- 3 不明

V 甌 A～D の 4 類に分けられる。

A 底部がなく直線的に立ち上がるもの

B 底部が丸く 1 個の孔があくもの

C 底部に複数の孔があくもの

D その他・不明

VI 壺

VII 鉢

A 底部に孔のないもの

B 底部に孔のあくもの

VIII 小型土器

IX その他・不明

須恵器 器種は、杯、蓋、高杯、甕、壺・瓶、甌、鉢、すり鉢、小型土器等で、総計 19,332 点出土している。杯・蓋類が 5,978 点、甕類が 11,777 点、壺・瓶類 1,289 点で、甕類が非常に多くなっている。

I 杯・椀・皿・盤は破片では区別がつかないため一括して分類した。器形のわかるものは、口径 / 高さが 3 / 1 以上のものを杯、以下のものを椀とした。皿は口径 / 高さが 4 / 1 以上のものを目安とした。

A 丸底で口縁部との境に稜を持ち、口縁部は内傾する。蓋杯。

B 丸底で体部は直線的に立ち上がる。

C 平底で底部高台の無いもの

- 1 底部回転篋切りのもの

- 2 底部手持ち篋削りのもの
- 3 底部切離し後全面篋削りのもの
- 4 底部回転糸切り後外周篋削りのもの
- 5 底部回転糸切り無調整で底部大
(口径 / 底径 < 1.75)
- 6 底部回転糸切り無調整で底部小
(口径 / 底径 ≥ 1.75)
- 7 不明
- D 平底で底部高台の有るもの
 - 1 底部大 (口径 / 底径 < 1.75)
 - 2 底部小 (口径 / 底径 ≥ 1.75)
- E 黒色土器
- F 盤
- G その他・不明
- II 蓋 A～Cの3類に分けられる。
 - A 天井部が丸くつまみを持たないもの
 - B 体部が直線的でつまみを持つもの
 - 1 杯蓋
 - a かえりを持つもの
 - b かえりを持たず擬宝珠状の摘みを持つもの
 - c かえりを持たず小規模な円形摘みを持つもの
 - d かえりを持たず高台状の円形摘みを持つもの
 - e かえりを持たず摘みが不明なもの
 - 2 高杯蓋
 - 3 壺類蓋
 - C その他・不明
- III 高杯 A・Bの2類に分けられる。
 - A 杯部が小さく一般的な高杯
 - B 杯部が盤状を呈する 高盤
- IV 甕
- V 壺・瓶類
 - A 長頸壺
 - B 短頸壺
 - C 提瓶
 - D 横瓶
 - E 平瓶
 - F その他・不明
- VI ハソウ
- VII 甌
- VIII 鉢

- A 一般的な鉢
- B 底部が厚く、外側に突出するすり鉢
- IX 小型土器 杯、蓋、壺、矩形横瓶のミニチュアが出土している。杯が6点、壺が2点、他は1点ずつの出土である。
- X その他・不明 他に、円面碗2点(脚付1点、圈足碗1点)、不明把手1点、器種不明品3点が出土。

灰釉陶器 碗、壺・瓶類等が出土している。碗2点、壺・瓶類1点と少なく、いずれも小破片である。

- I 碗
- II 皿
- III 壺・瓶類
- IV その他

土製品 円筒状土製品、土製支脚、土錘、土製円盤状品、竈形土製品、玉、不明土製品が出土している。円筒状土製品は6点出土しているが、径11～12cmで内外面に輪積み痕を残すもので、用途は不明である。土製支脚は3点出土しているが、粘土塊を棒状に成形し、外面を篋ナデしている。土錘は23点出土している。竈形土製品は1点出土している。他に、須恵器甕胴部を円盤状に打ち欠いた、土製円盤状品が1点、土製の玉が1点、不明土製品が1点出土している。

- I 円筒状土製品
- II 支脚
- III 土錘
- IV 竈形土製品
- V その他・不明

石製品 紡錘車、砥石、白玉、勾玉、石製模造品、こも編石が出土している。紡錘車は6点出土しており、外面を丁寧に研磨しているものが多い。砥石は6点出土している。白玉・勾玉各1点、石製模造品は1点の出土であるが、未成品である。こも編石は竪穴住居18軒から95点出土している。なお、こも編石は、写真のみ掲載し、実測図は掲載していない。

- I 紡錘車
- II 砥石
- III 玉・模造品類

III 検出された遺構と出土遺物

IV こも編石

鉄製品 鎌、刀子、鉄鍬、釘、その他が出土している。鎌は6点出土しており、使用による磨滅が著しいものがある。刀子は10点出土し、使用による磨滅が著しいもの、木質部が残るもの等がある。鉄鍬は7点出土し、有頸腸挟三角形鍬、有頸腸挟柳葉鍬、長頸三角形鍬等が出土している。釘は5点出土し、断面多角形のものもある。他に、鉈? 1点、くさび2点、不明9点が出土している。

I 鎌

II 刀子

III 鉄鍬

IV 釘

V その他

VI 不明

銅製品 金環1点、引き手金具1点が出土している。

製鉄関連品 羽口1点、鉄滓4点が出土している。

第18表 古墳時代後期～平安時代出土遺物数量表

種別	古式土師器	土師器										須恵器										
		甗	杯・椀	高杯	甗	台付甗	甗	壺	鉢	小型土器	他	計	杯	盤	椀	杯または蓋	蓋	高杯	高盤	甗	壺・瓶	台付壺
点数	3	11174	120	32848	53	39	5	374	10	21	44644	5037	21	45	139	736	123	5	11777	1283	1	5

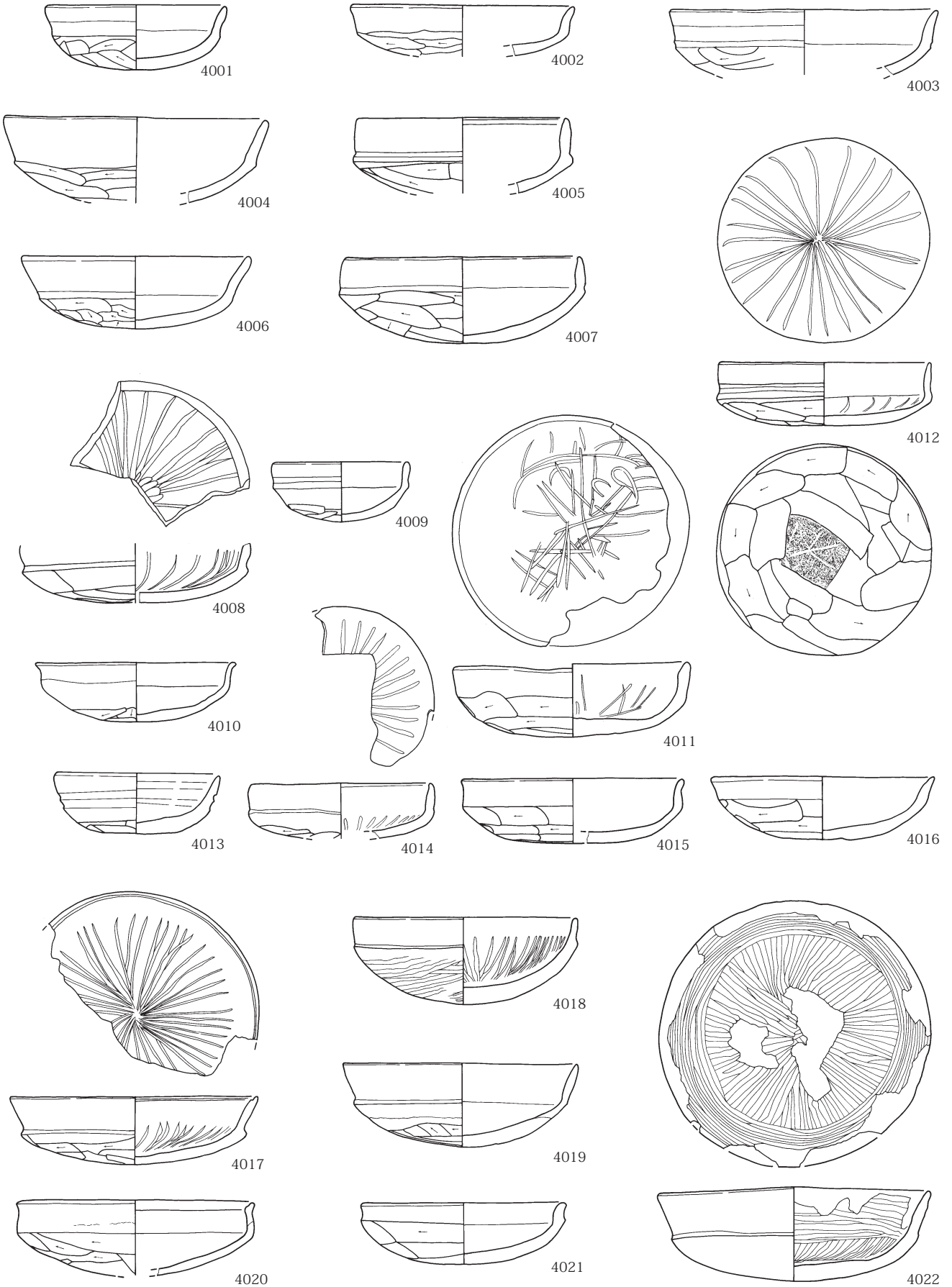
種別	須恵器						灰釉陶器			土製品				石製品					窯体	鉄製品						銅製品			総計			
	甗	鉢	すり鉢	小型土器	他	計	碗	壺・瓶	計	羽口	土錘	他	計	白玉	こも編石	砥石	紡錘車	他		計	鍬	鉄斧	鎌	刀子	鉄鍬	角釘	他	計		耳環	他	計
点数	16	107	1	9	27	19332	2	1	3	1	23	10	33	1	95	7	4	2	109	29	0	0	7	12	6	5	14	44	1	1	2	64199

第19表 古墳時代後期～平安時代出土土器破片重量表

種別	古式土師器	土師器										須恵器			
		甗	杯	高杯	甗	台付甗	甗	壺	鉢	他	計	杯	杯または蓋	蓋	高杯
重量(g)	50	92497	4985	366559	2290	1000	30	5278	673	473257	73674	3040	11997	3185	

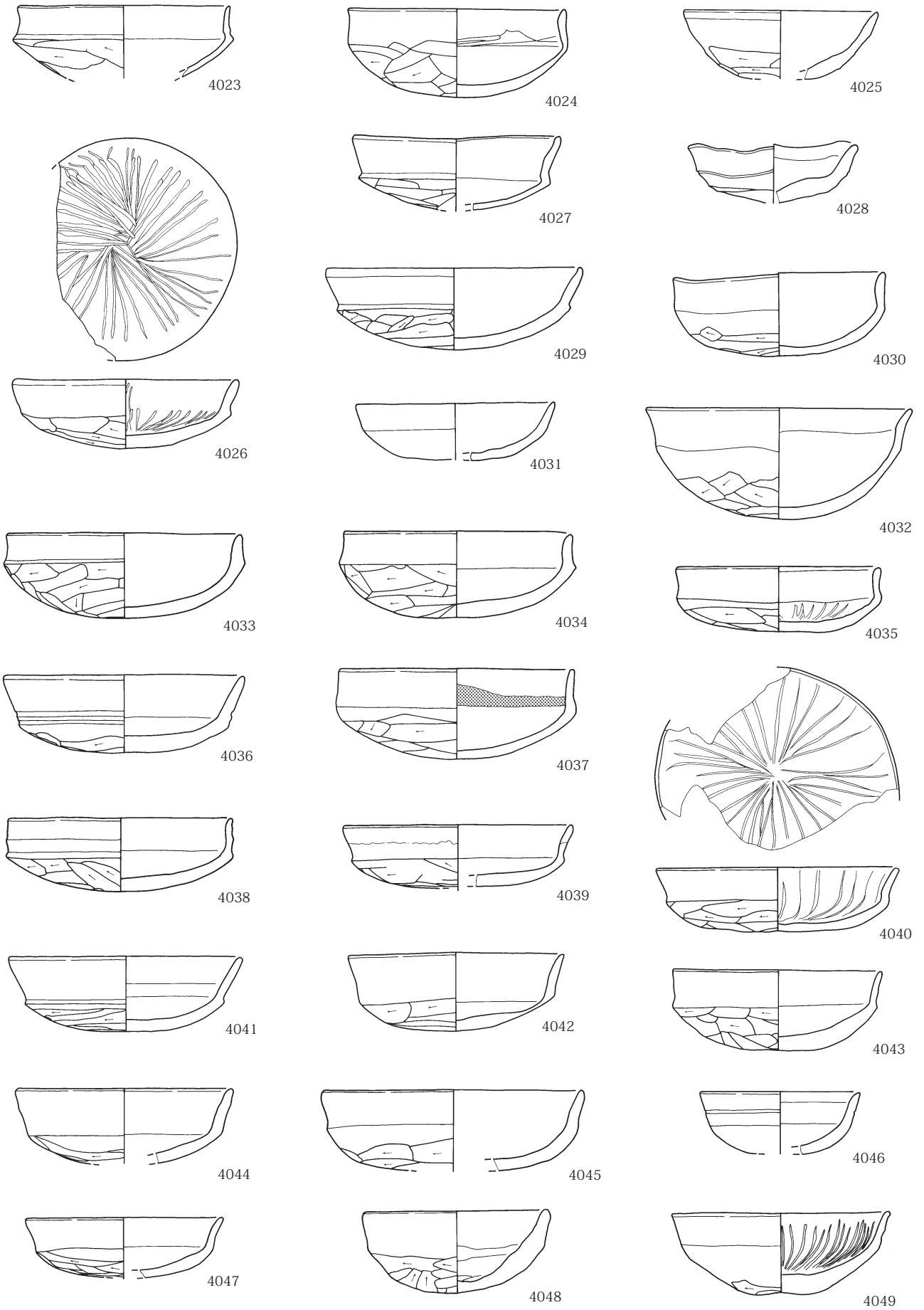
種別	須恵器										灰釉陶器			総計
	甗	壺・瓶	台付壺	ハソウ	甗	鉢	小型土器	他	計	碗	壺・瓶	計		
重量(g)	515686	55444	50	35	310	4020	8	695	668144	15	60	2170	1143621	

土師器 I A 1

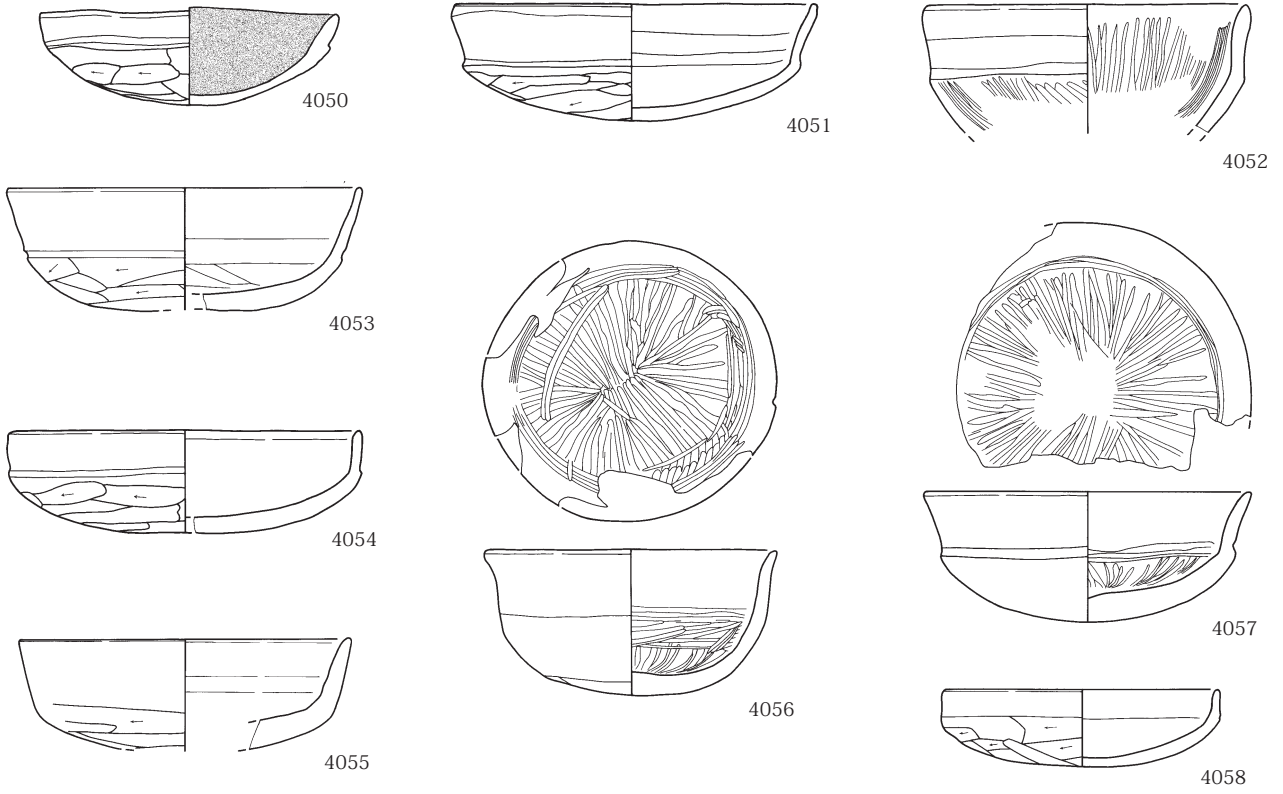


第 339 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 1

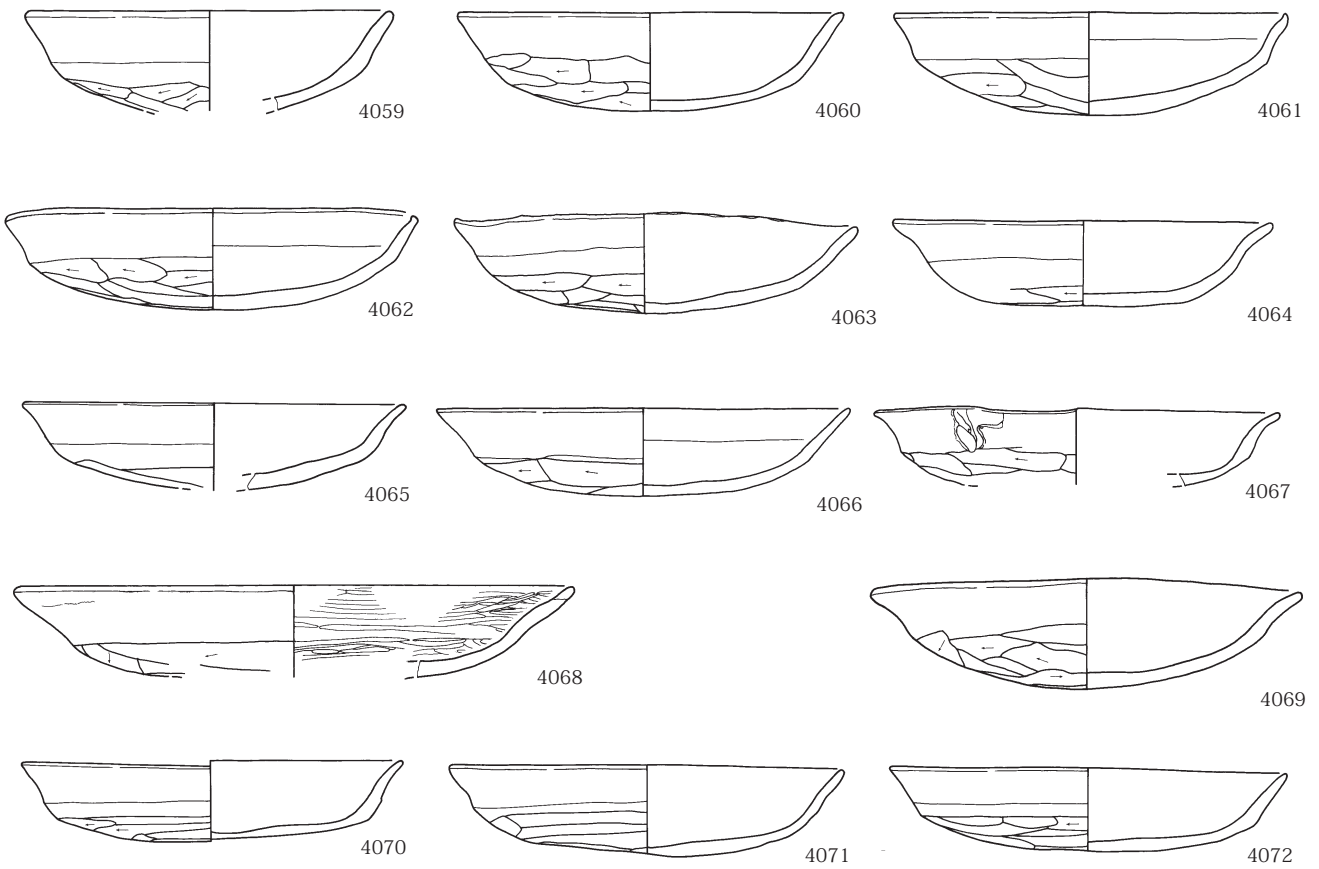
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 340 図古墳時代後期～平安時代出土遺物 2

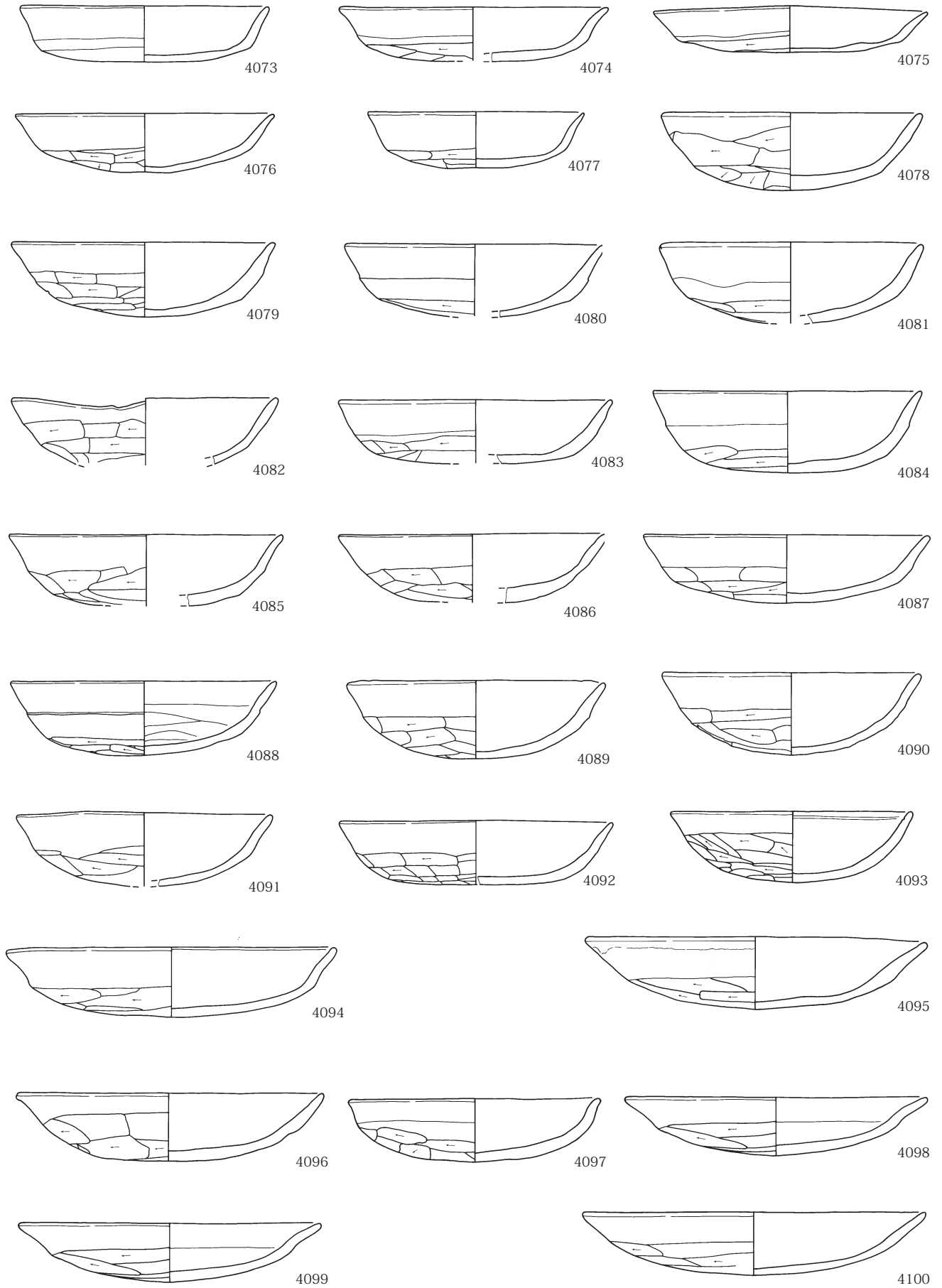


土師器 I A 2



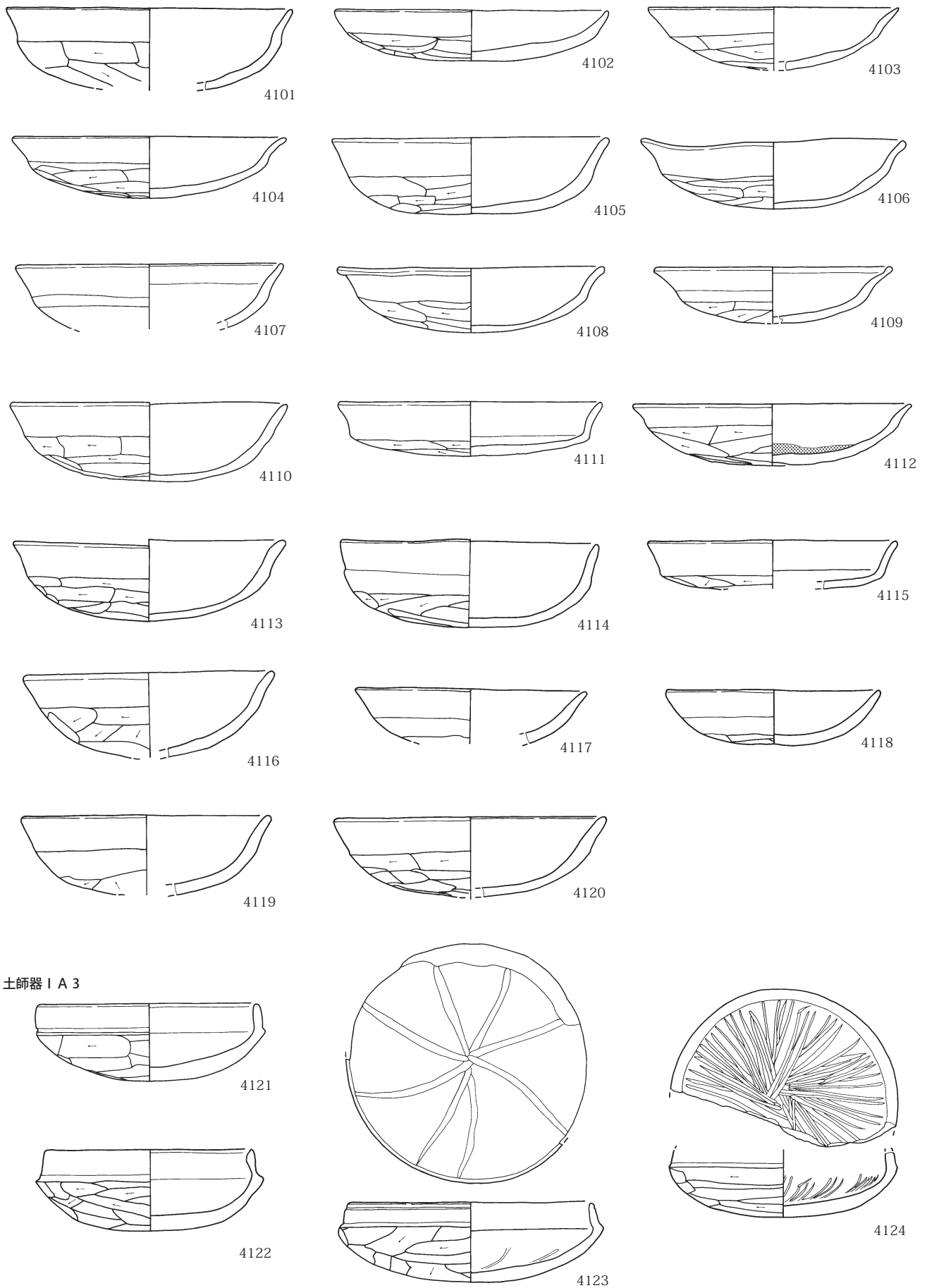
第 341 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 3

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



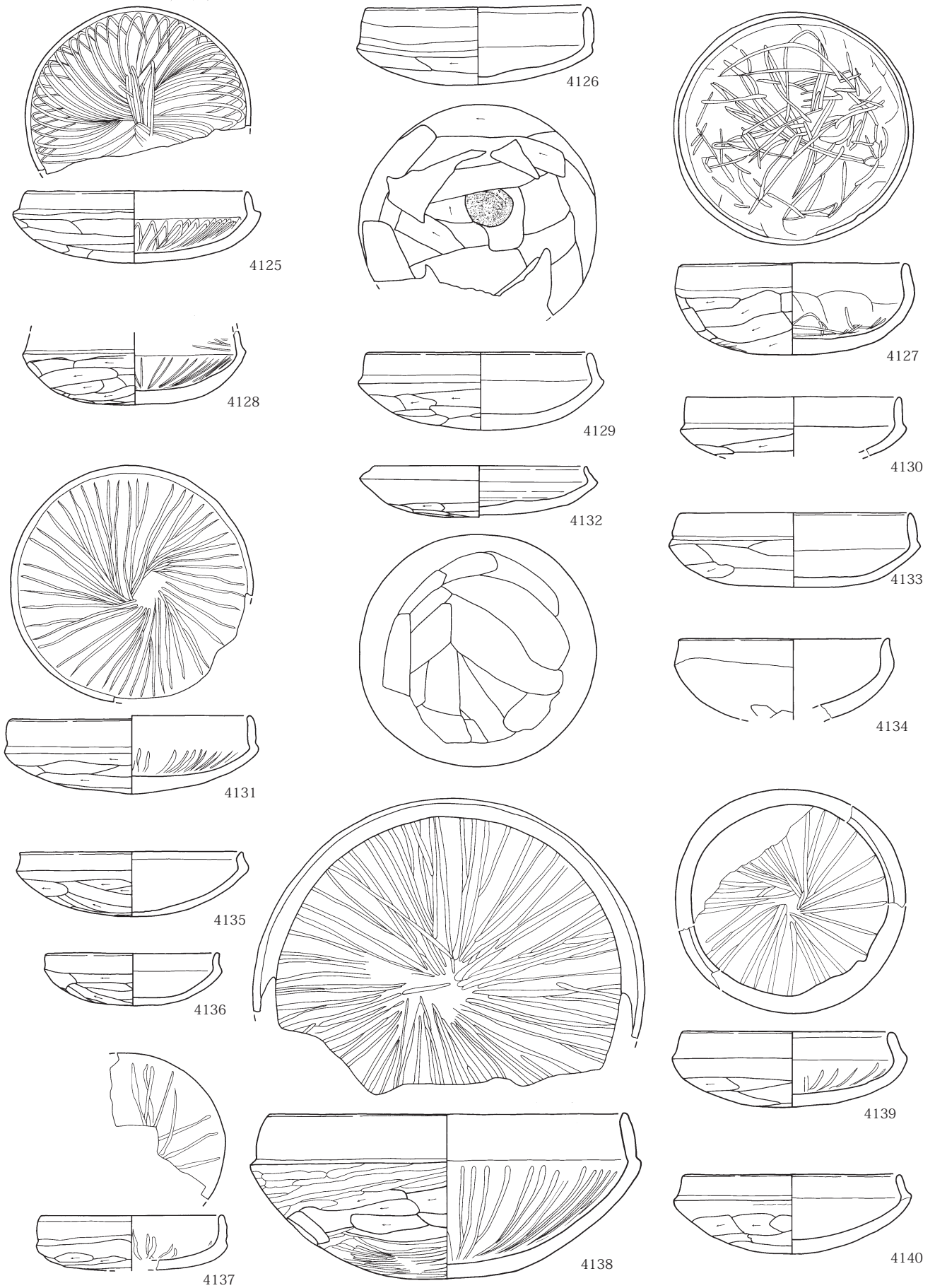
第 342 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 4

2 古墳時代後期～平安時代

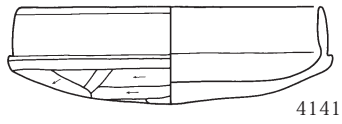


第 343 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 5

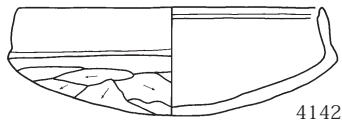
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



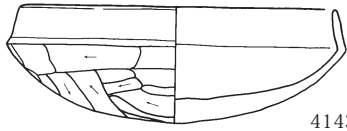
第 344 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 6



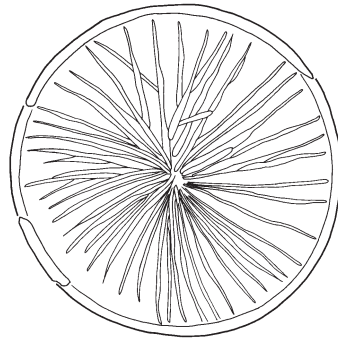
4141



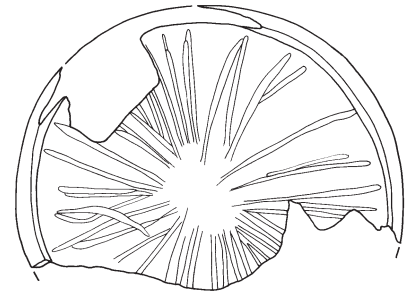
4142



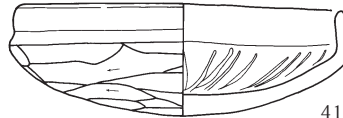
4143



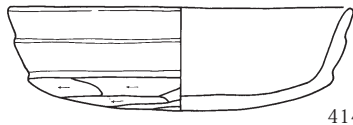
4144



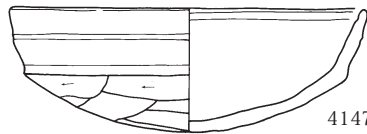
4145



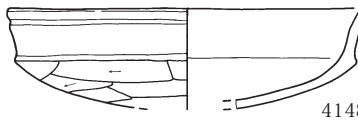
土師器 I A 4



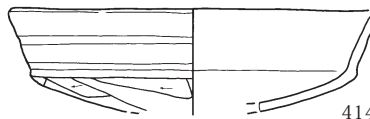
4146



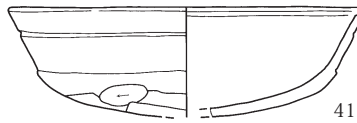
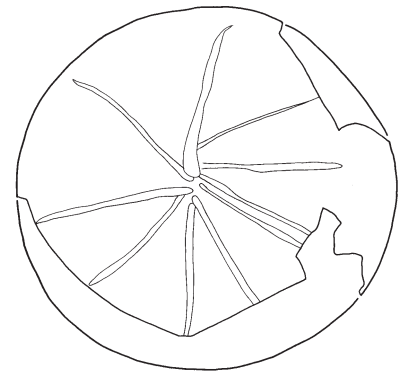
4147



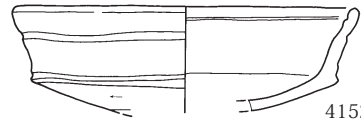
4148



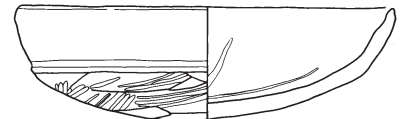
4149



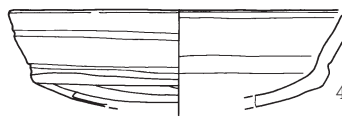
4150



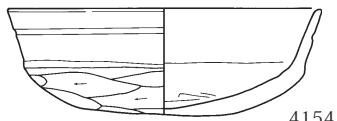
4152



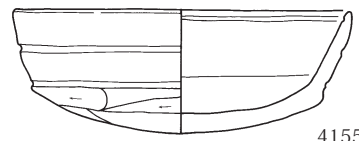
4153



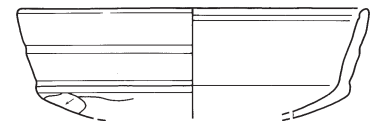
4151



4154

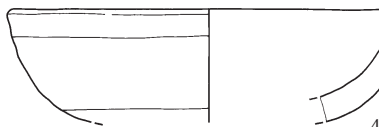


4155



4156

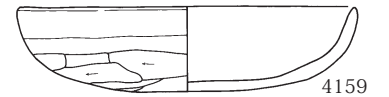
土師器 I B 1



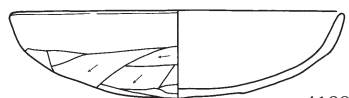
4157



4158



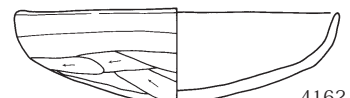
4159



4160



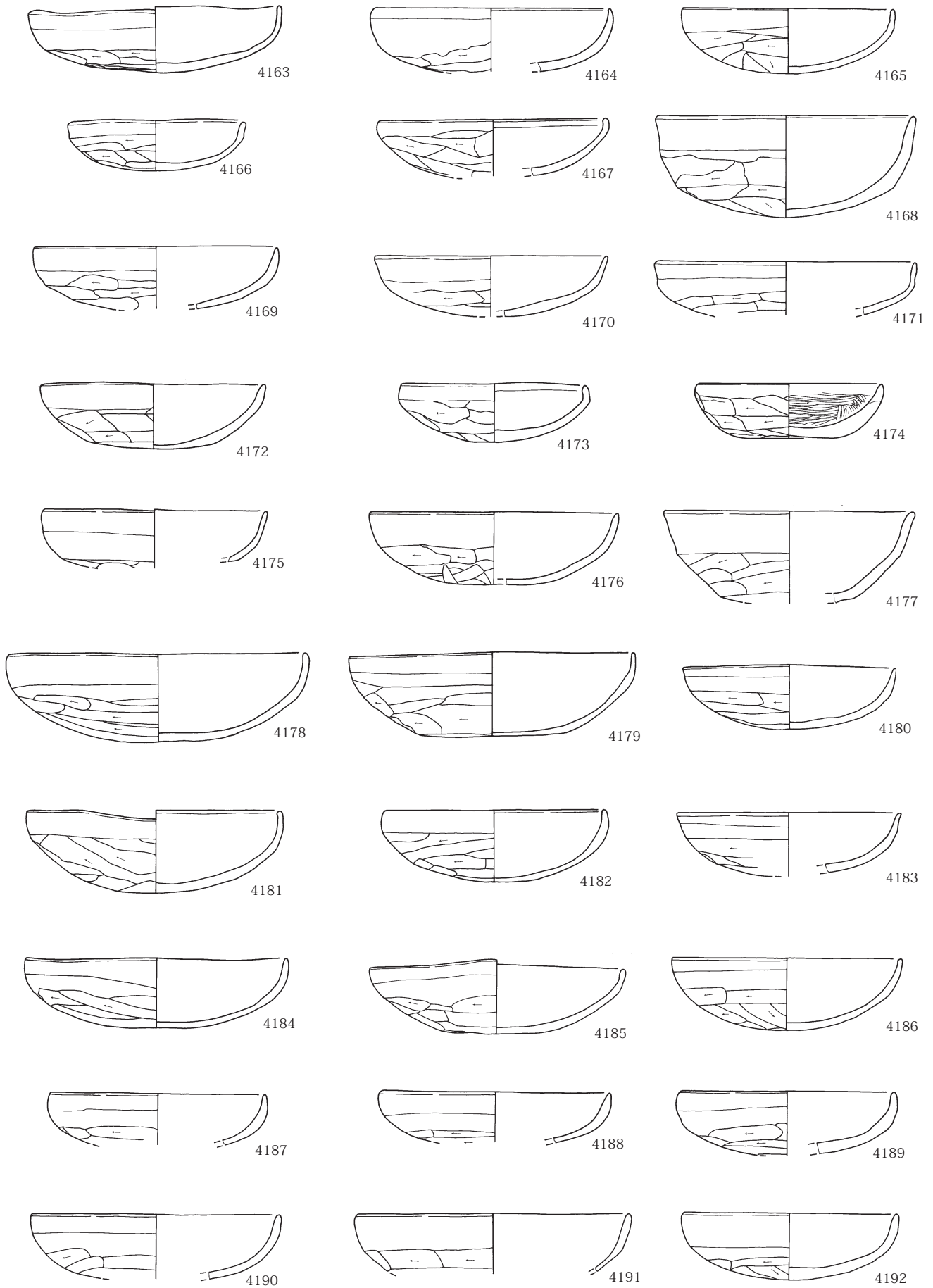
4161



4162

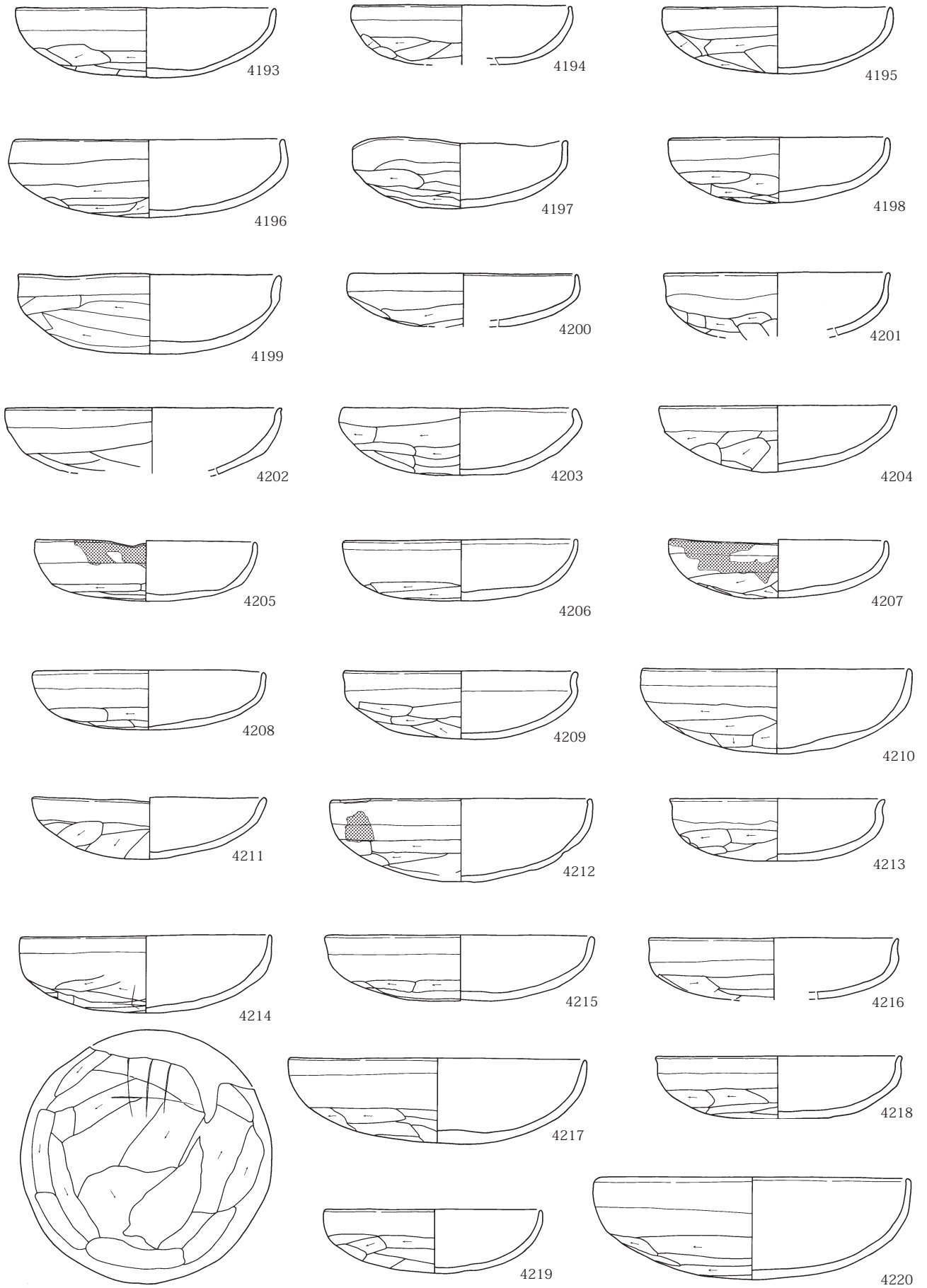
第 345 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 7

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



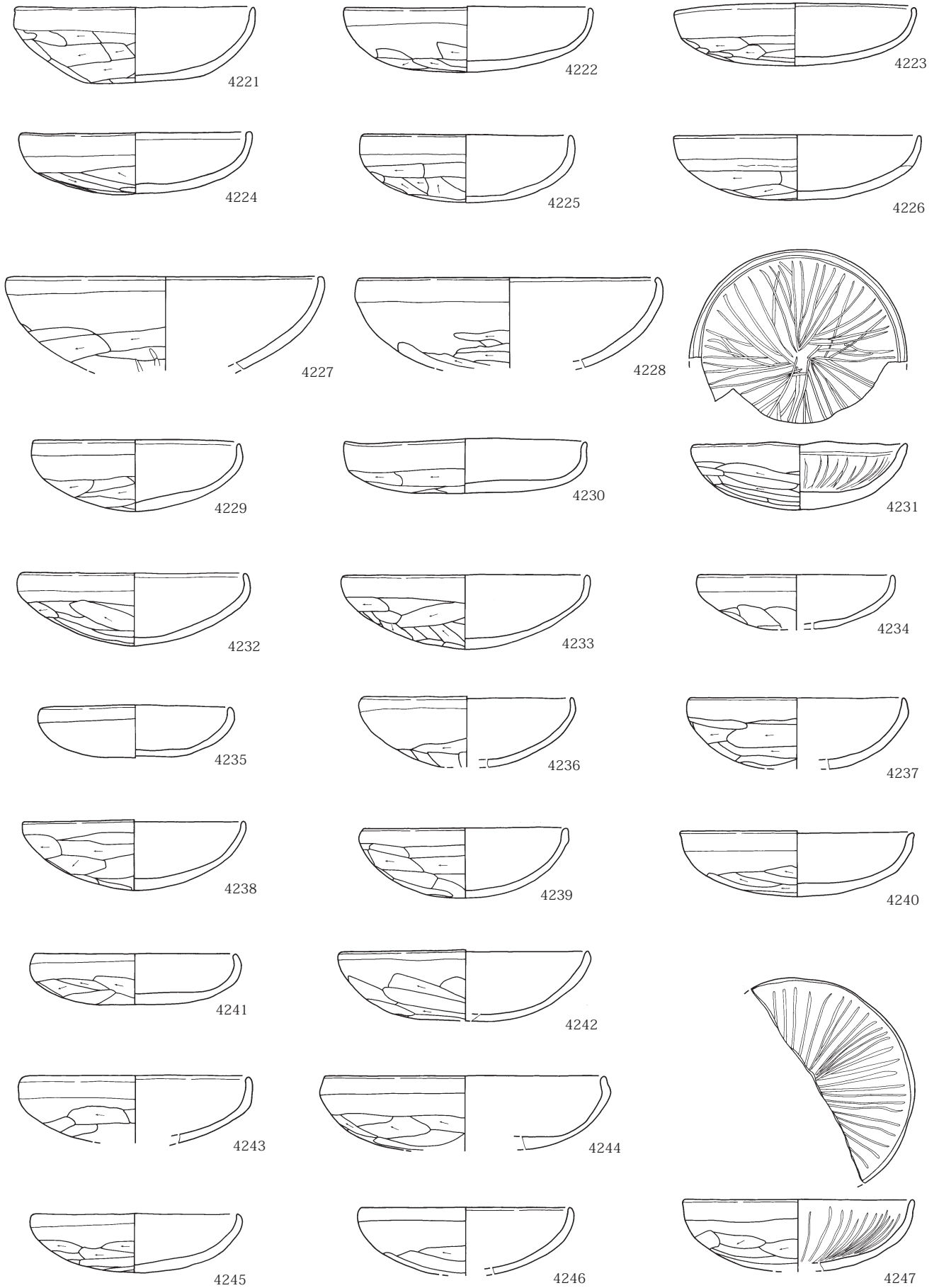
第 346 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 8

2 古墳時代後期～平安時代



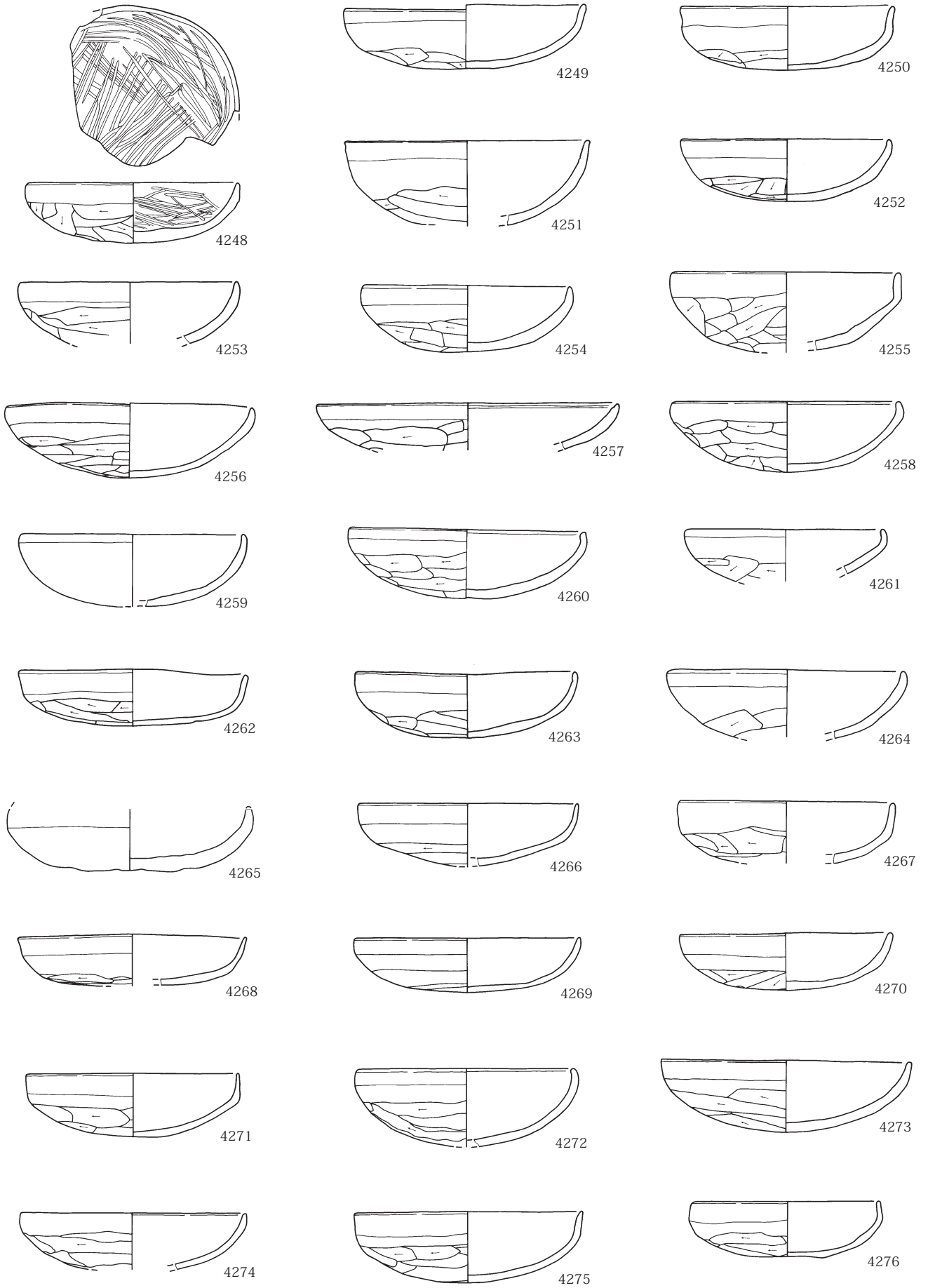
第 347 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 9

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



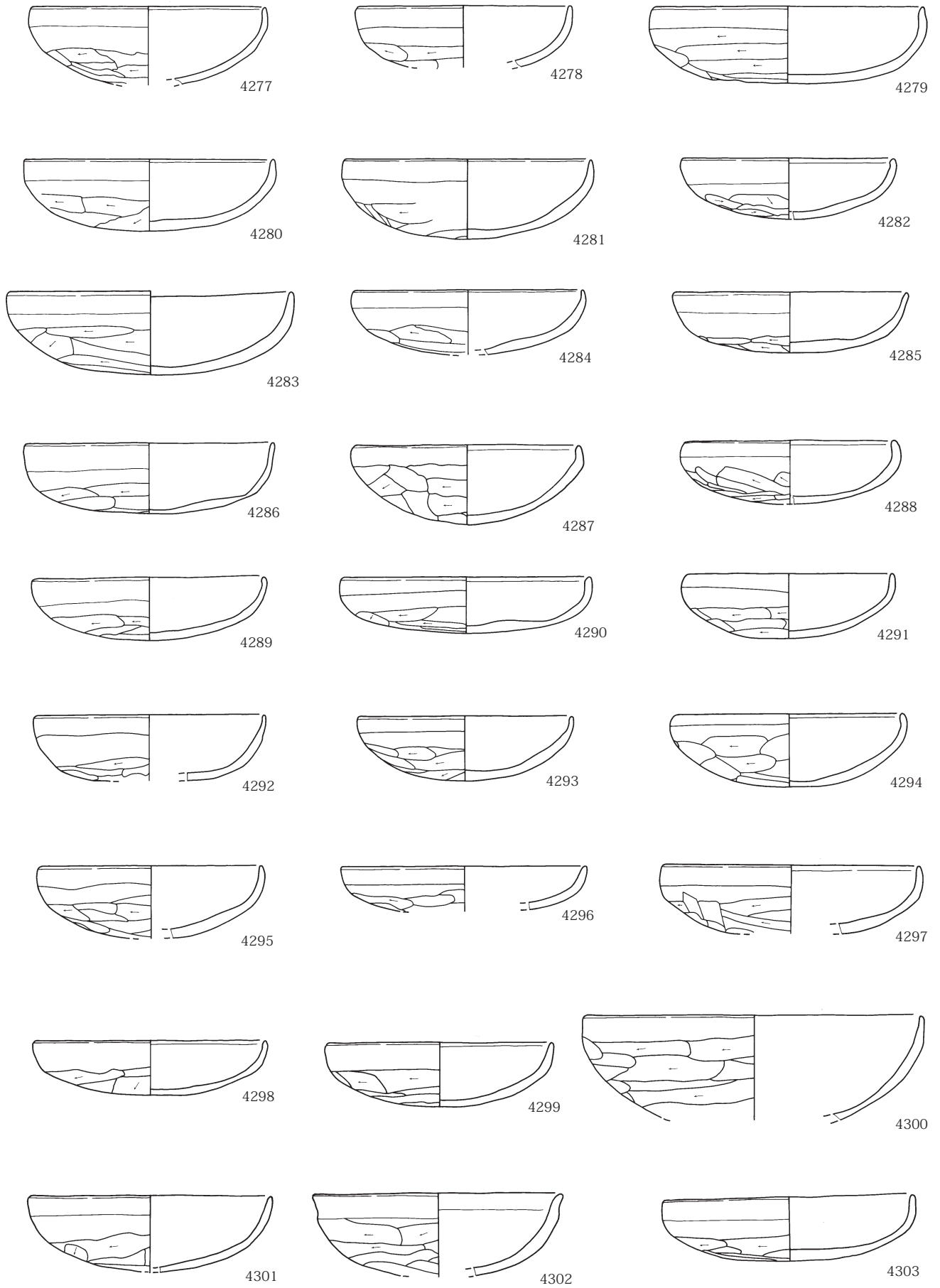
第 348 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 10

2 古墳時代後期～平安時代

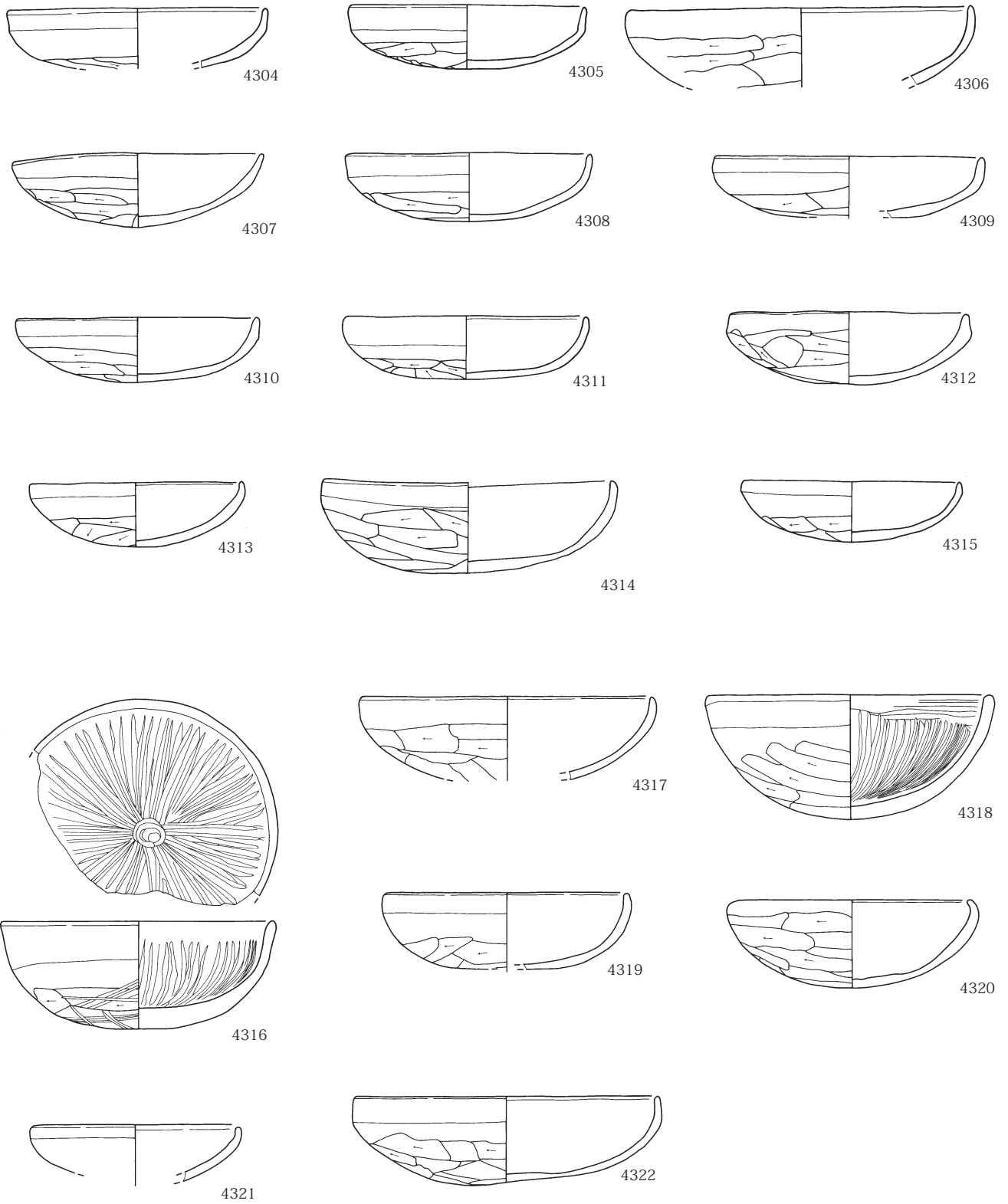


第 349 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 11

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

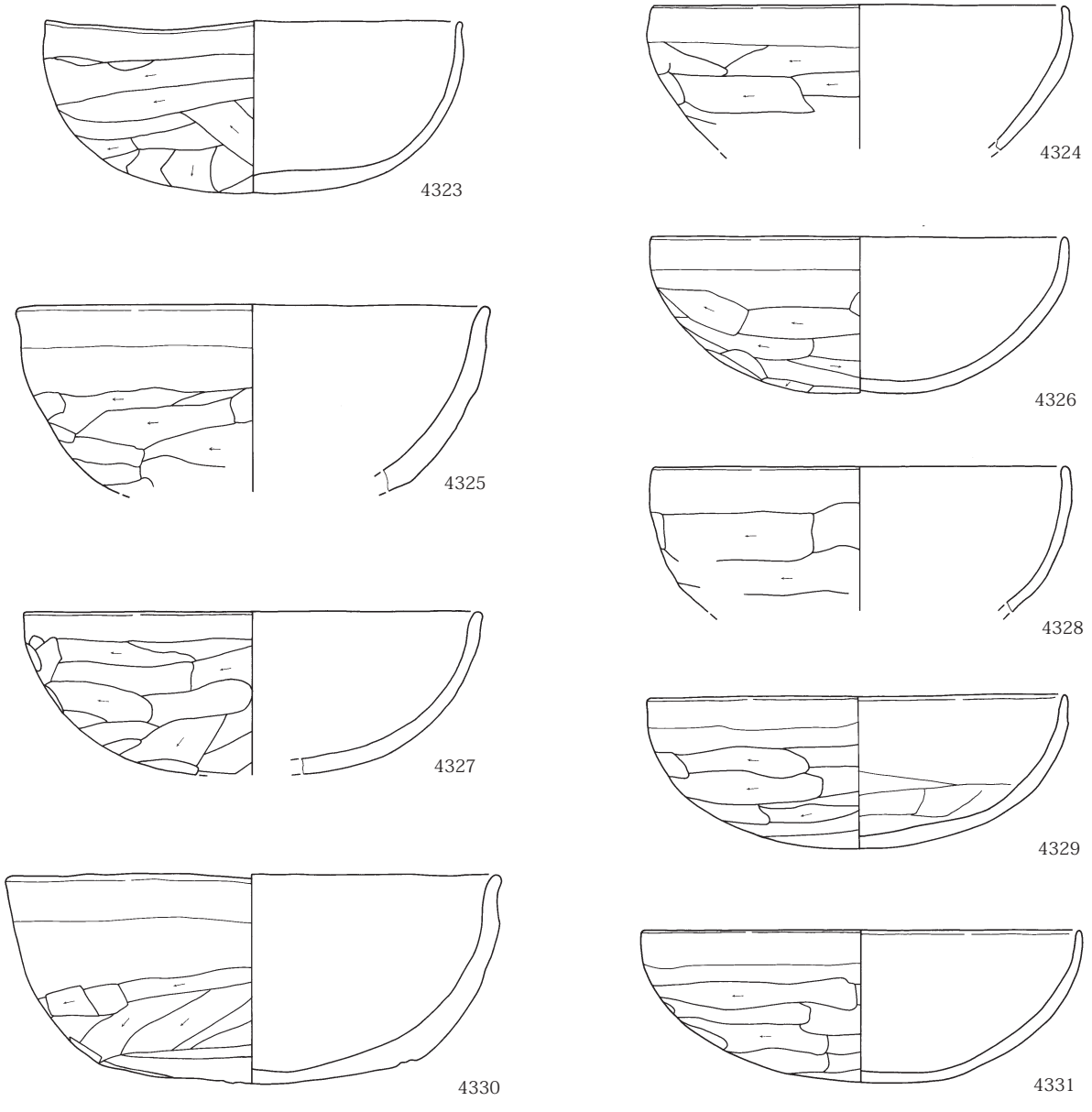


第 350 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 12

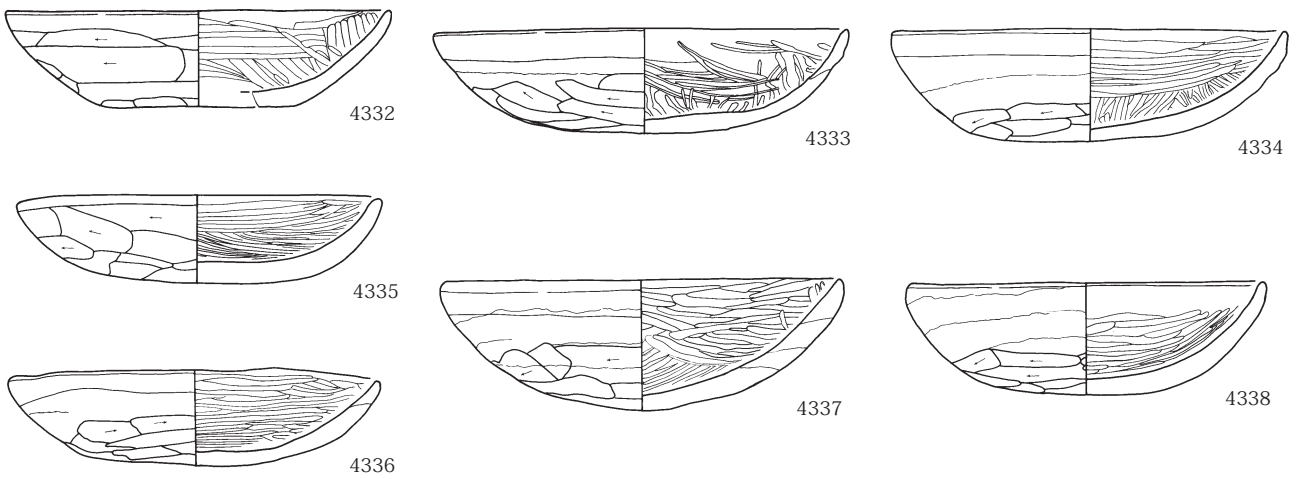


Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

土師器 I B 2

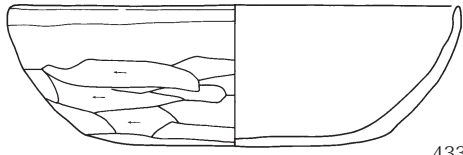


土師器 I B 3

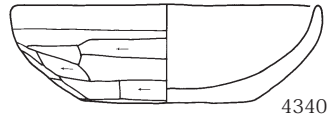


第 352 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 14

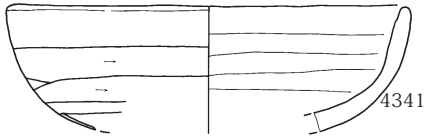
土師器 I D



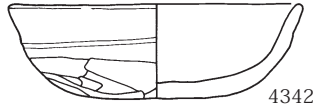
4339



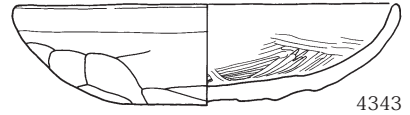
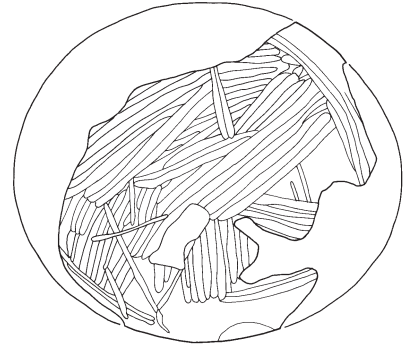
4340



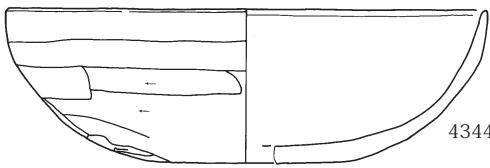
4341



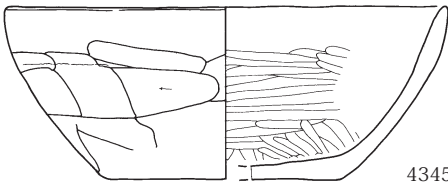
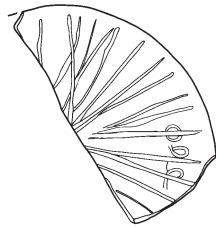
4342



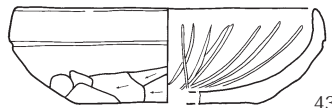
4343



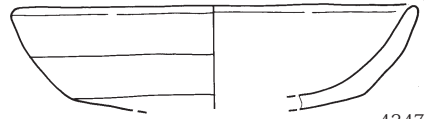
4344



4345

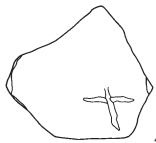
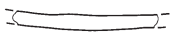


4346

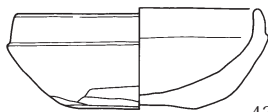


4347

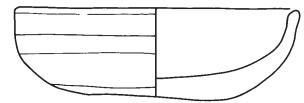
土師器 I F



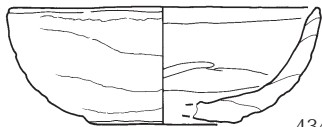
4348



4350



4351



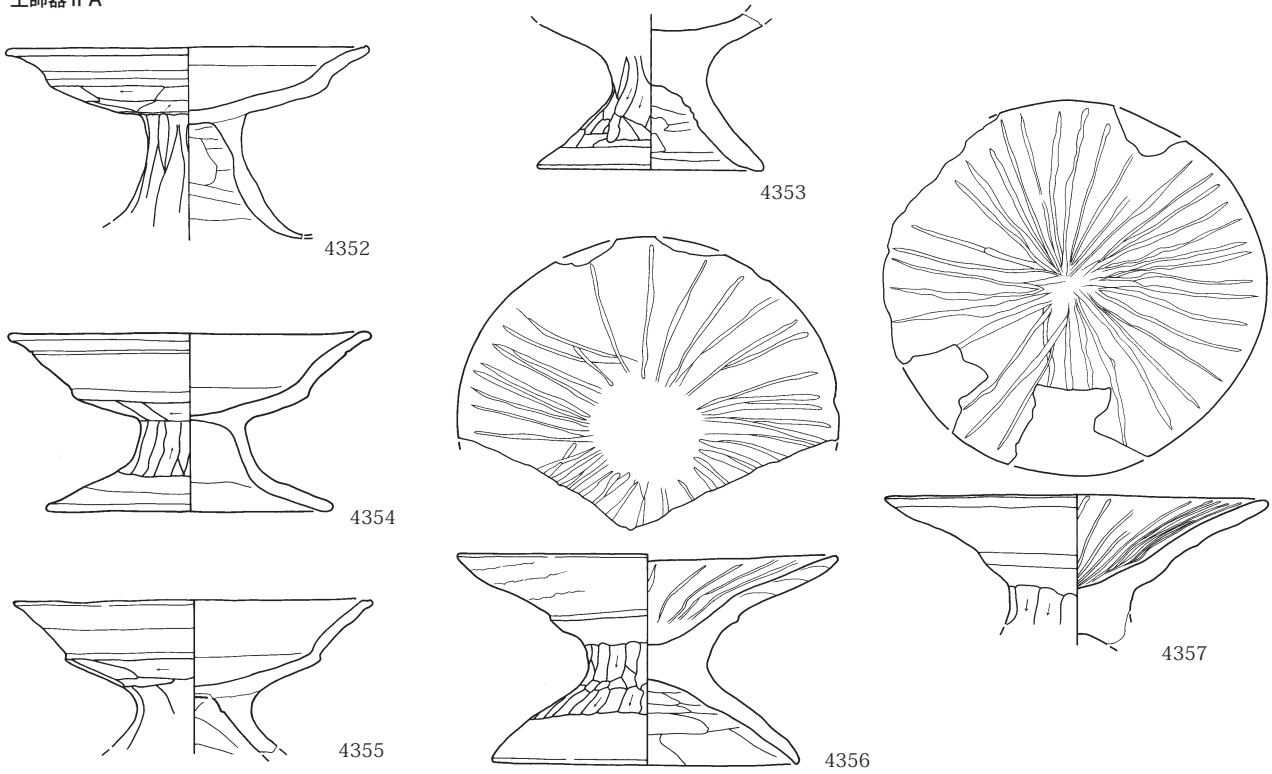
4349



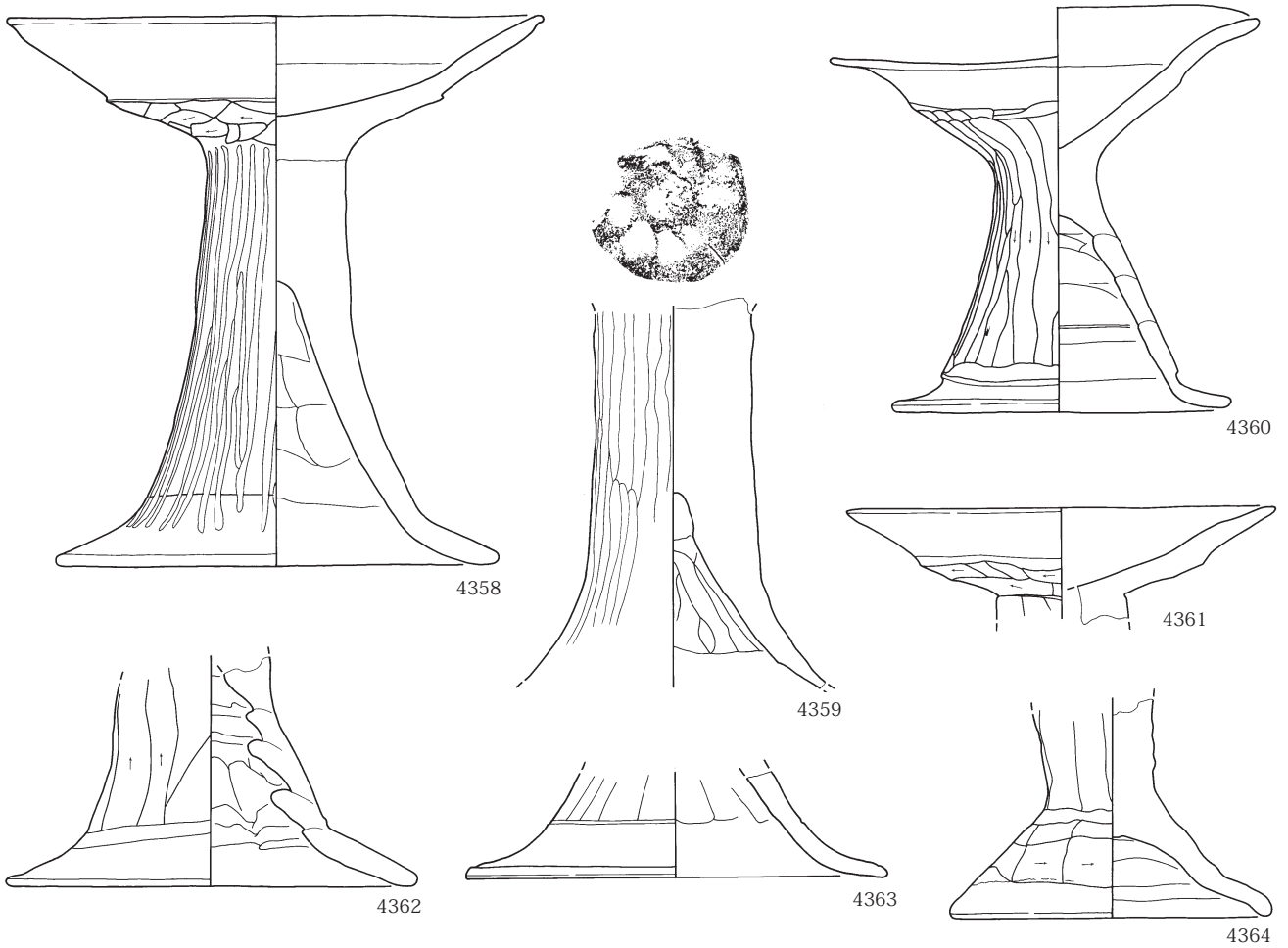
第 353 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 15

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

土師器ⅡA

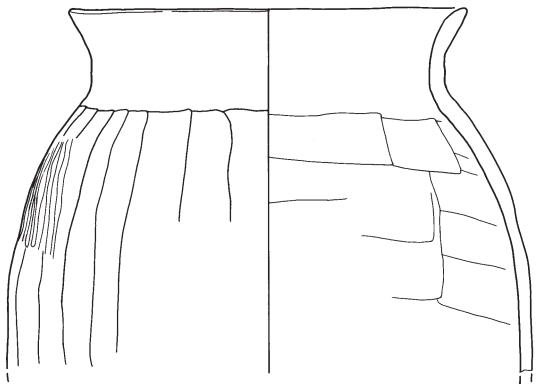


土師器ⅡB

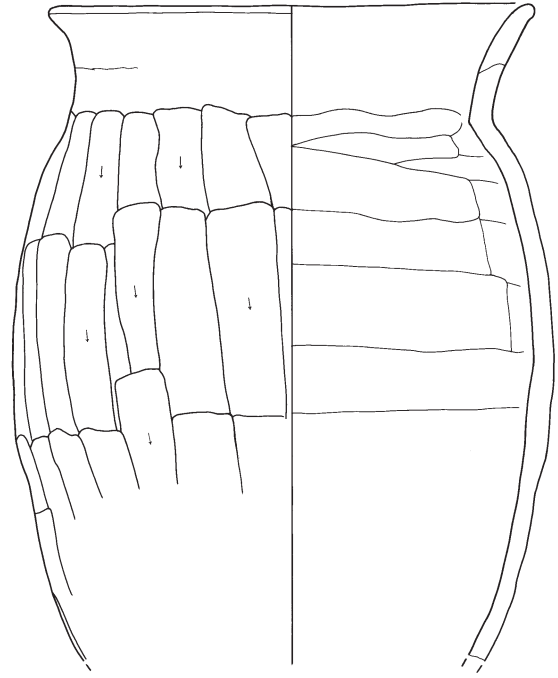


第 354 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 16

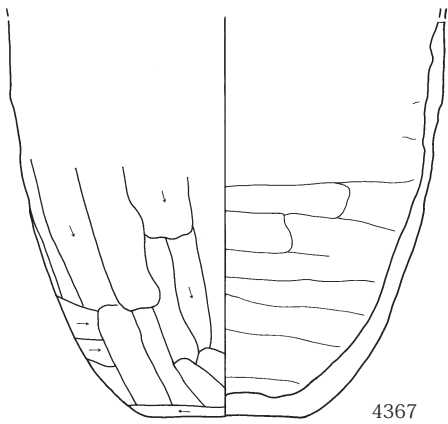
土師器ⅢA 1



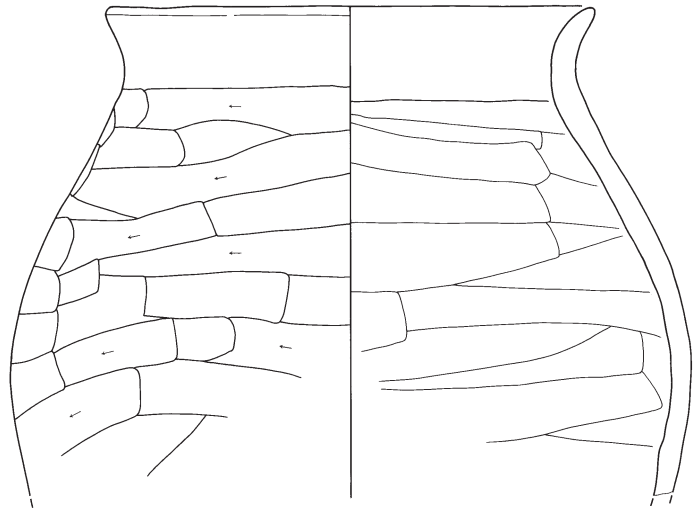
4365



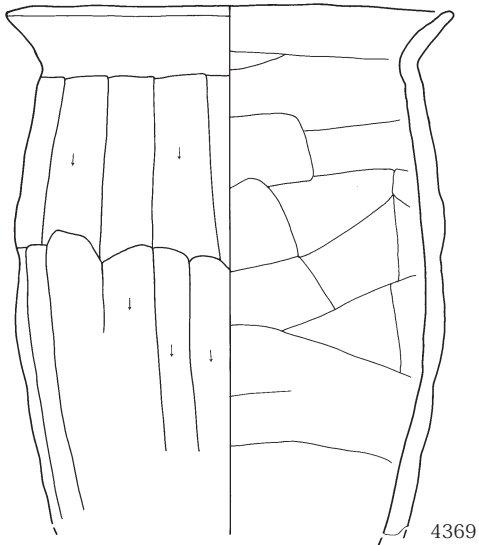
4366



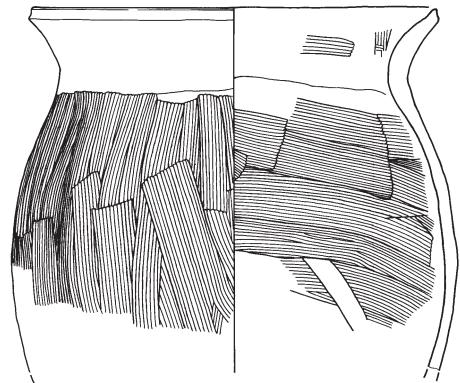
4367



4368

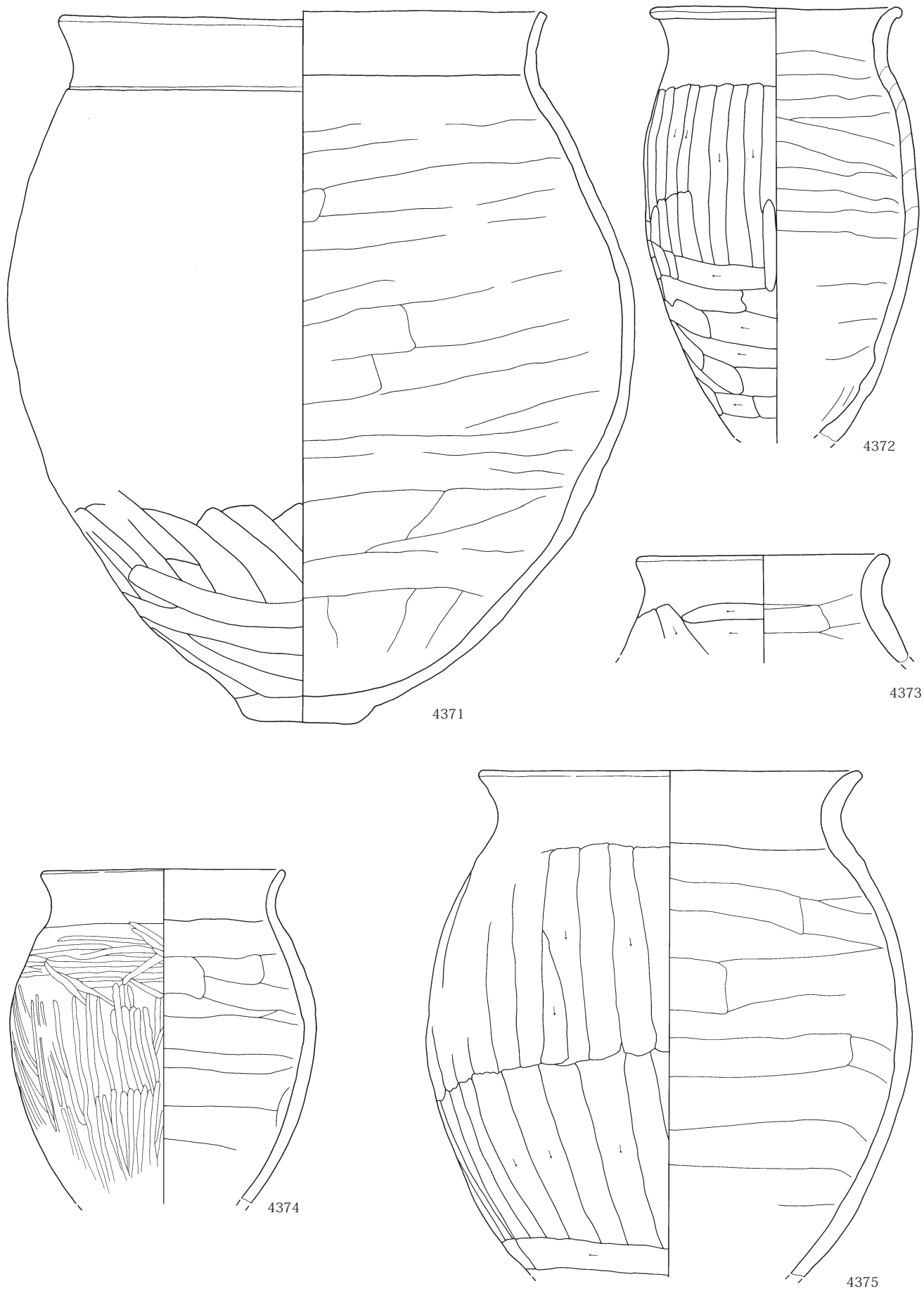


4369



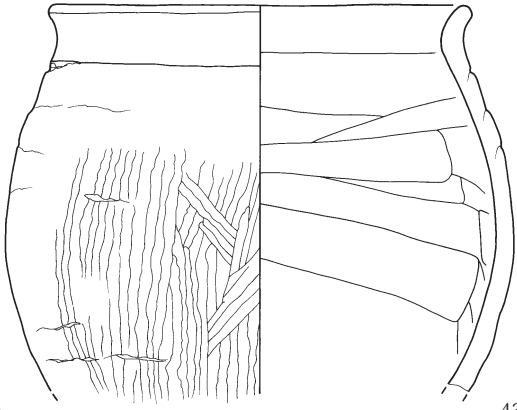
4370

第 355 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 17

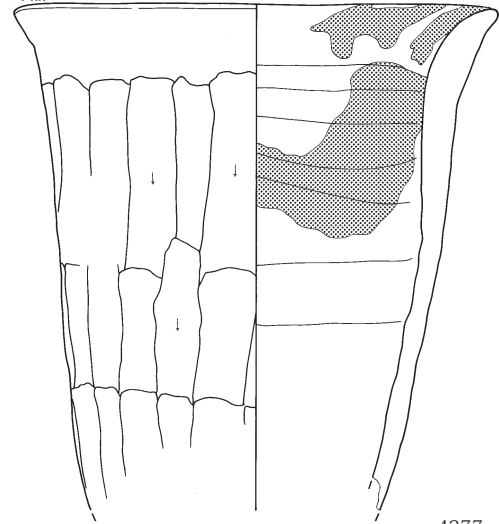


第 356 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 18

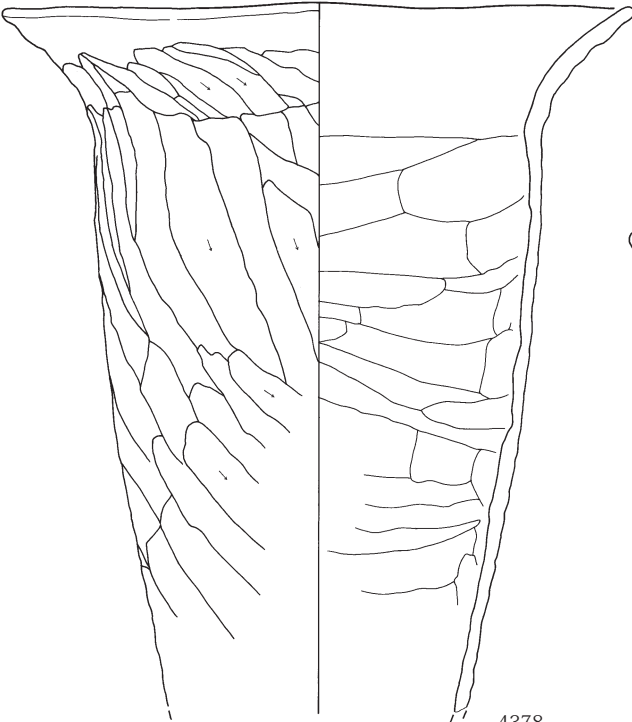
土師器ⅢA 2



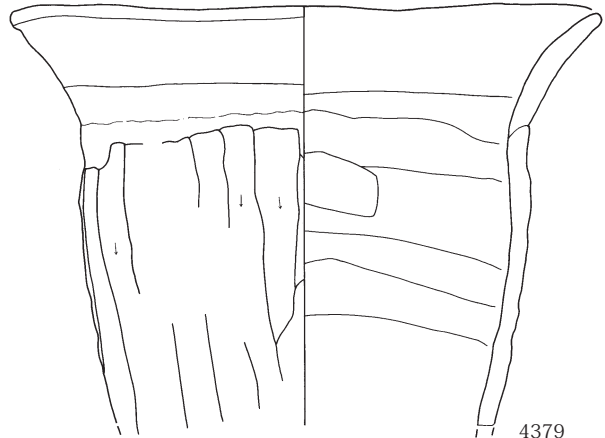
4376



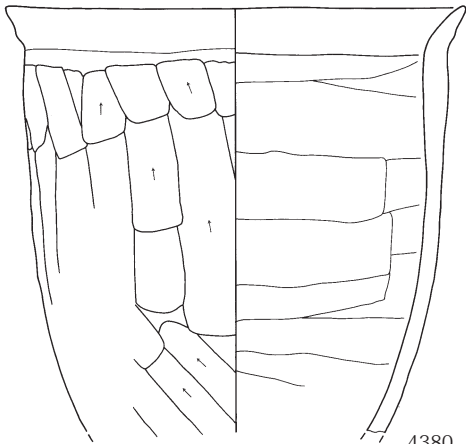
4377



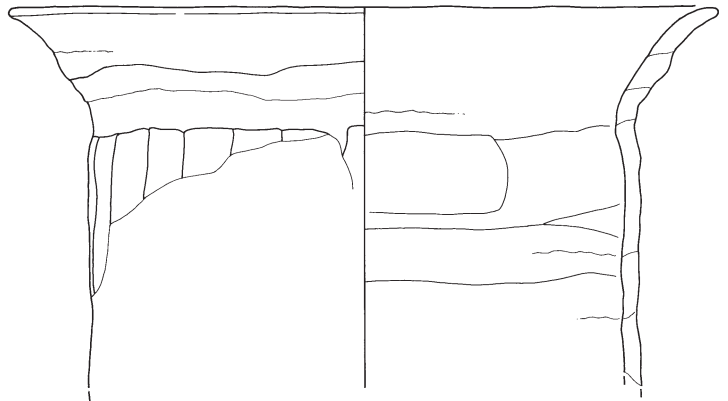
4378



4379

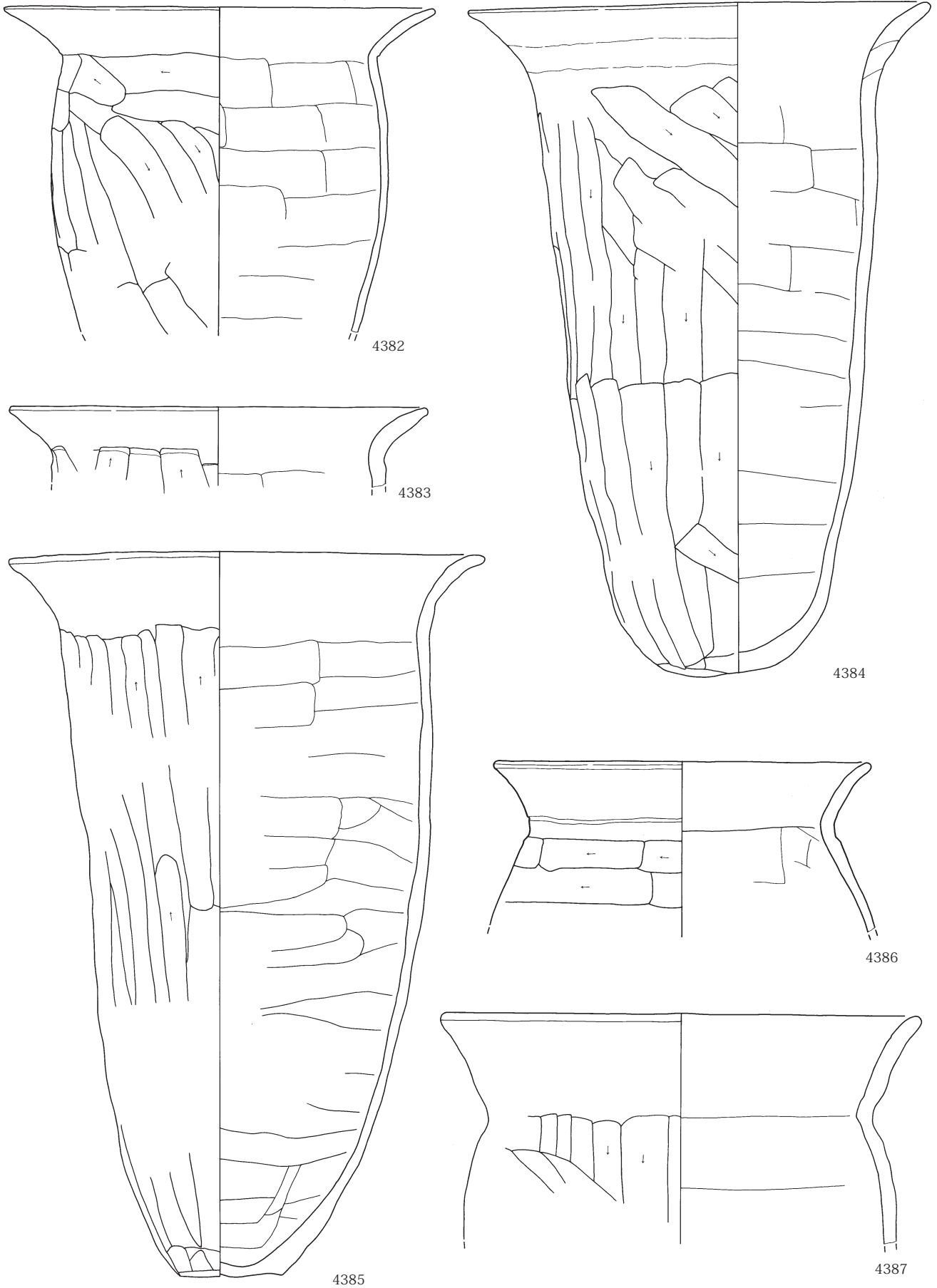


4380

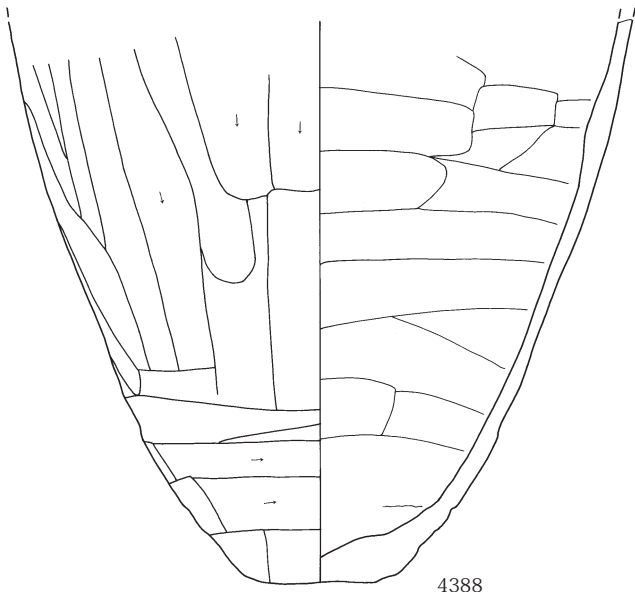


4381

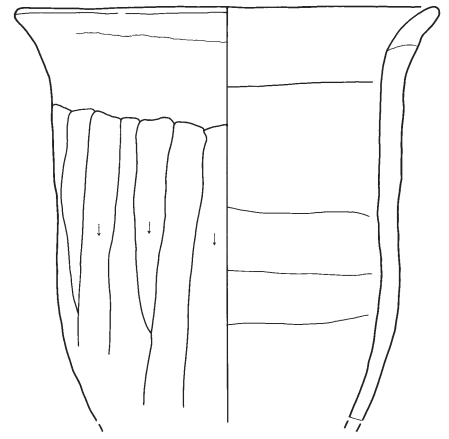
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



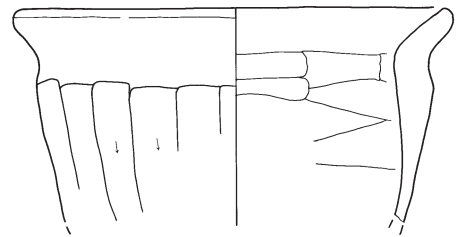
第 358 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 20



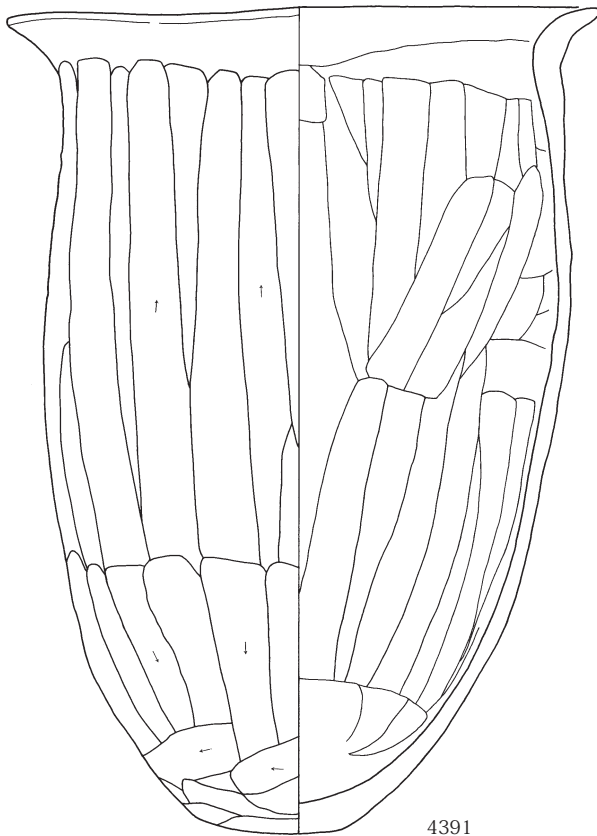
4388



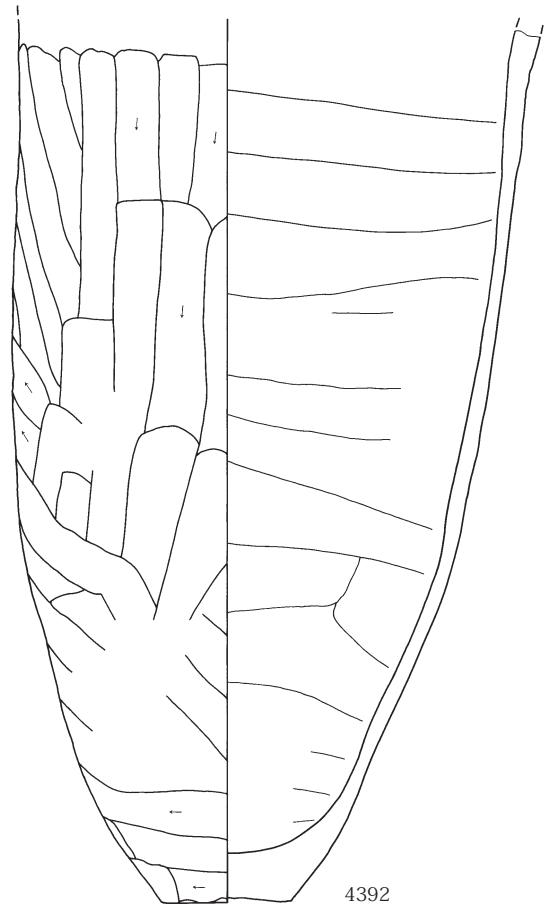
4389



4390

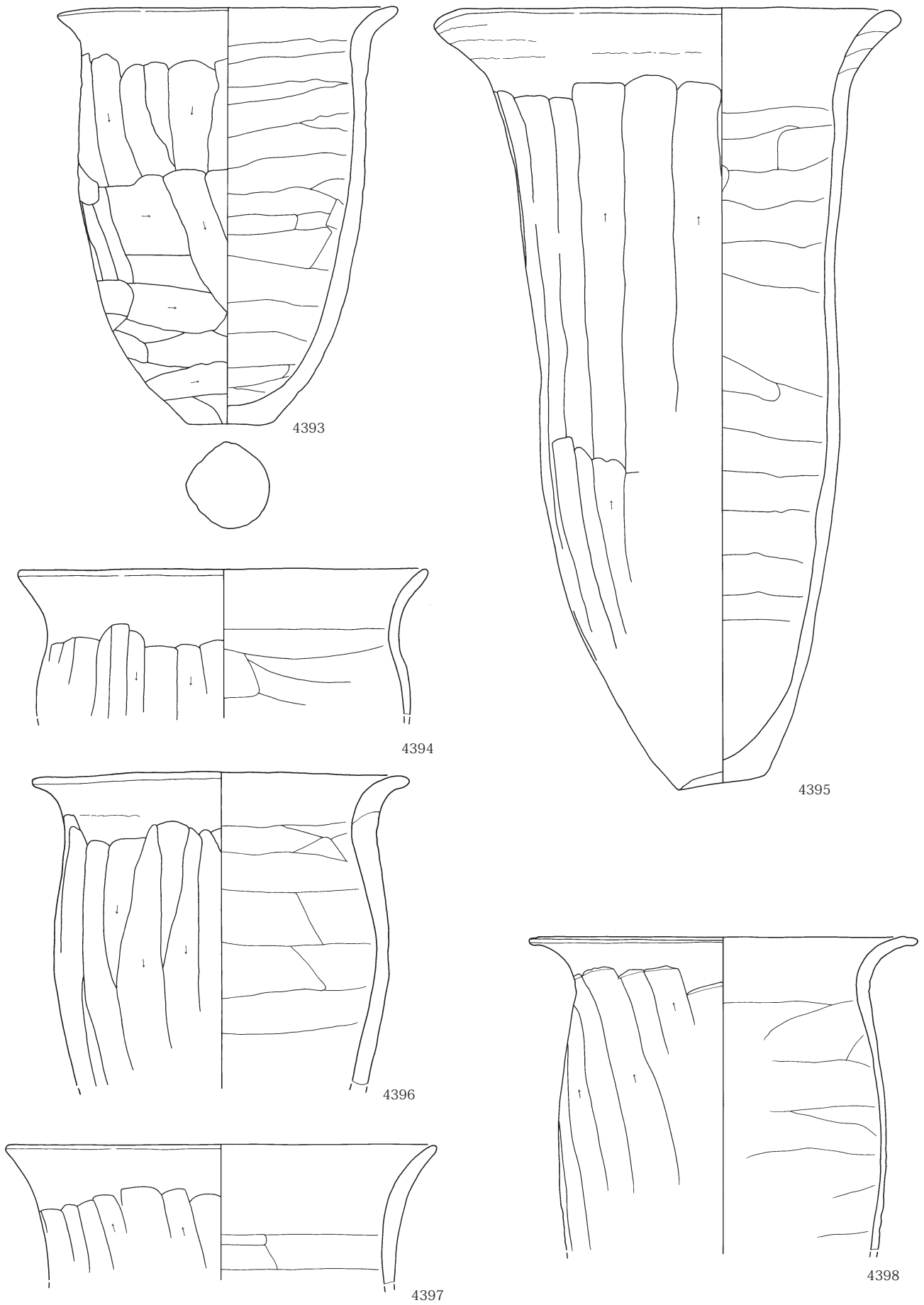


4391

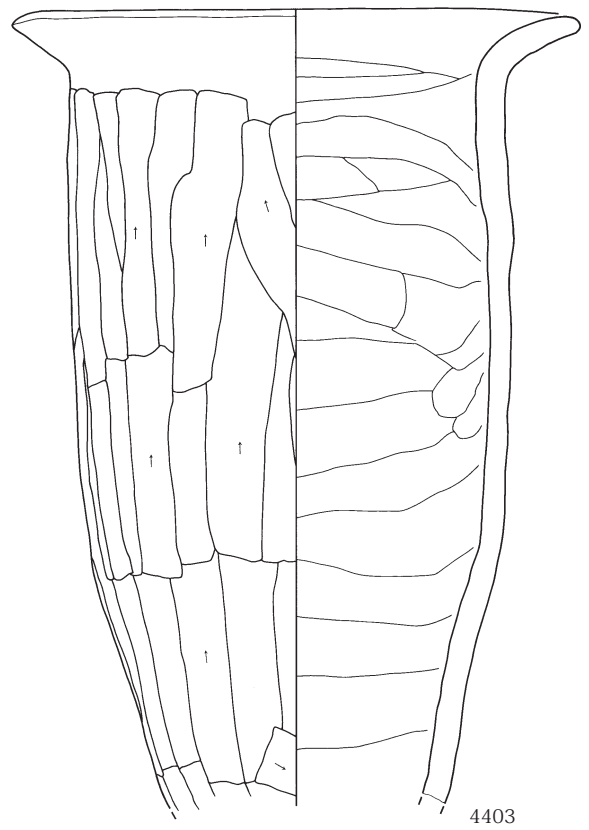
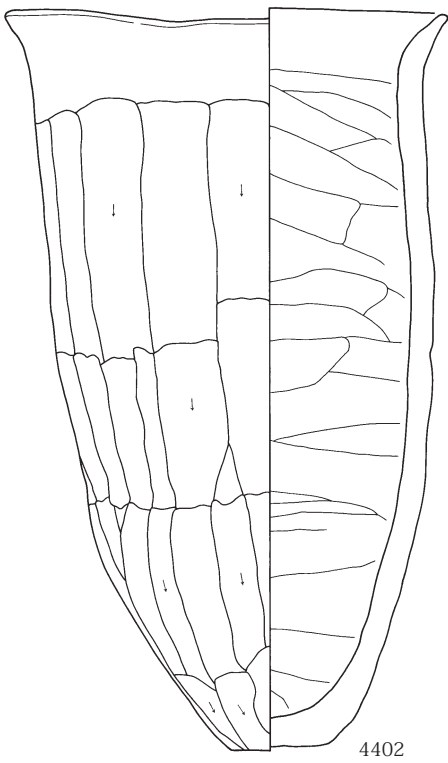
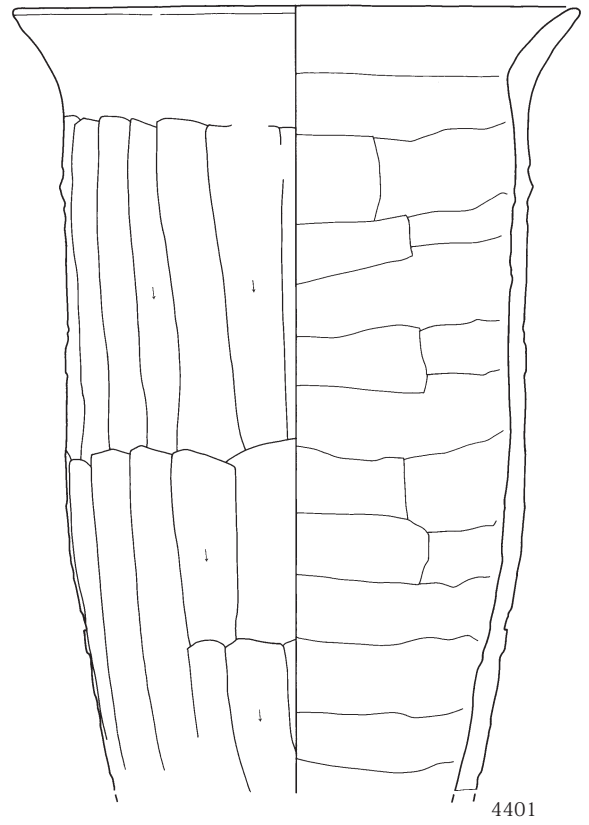
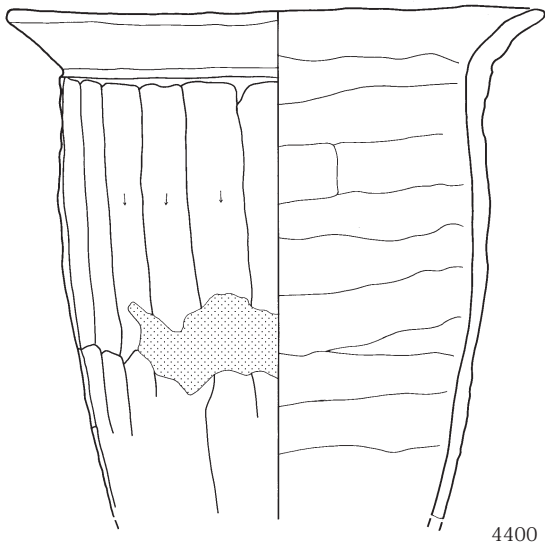
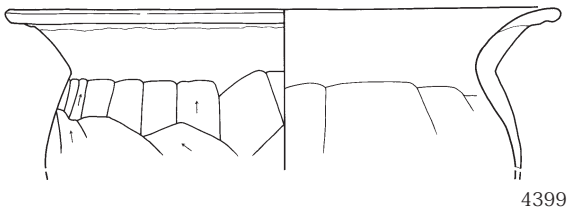


4392

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

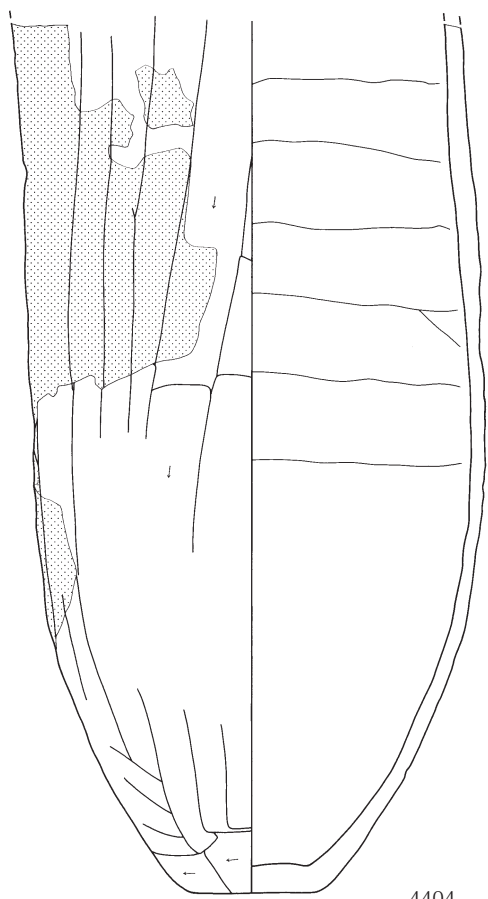


第 360 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 22

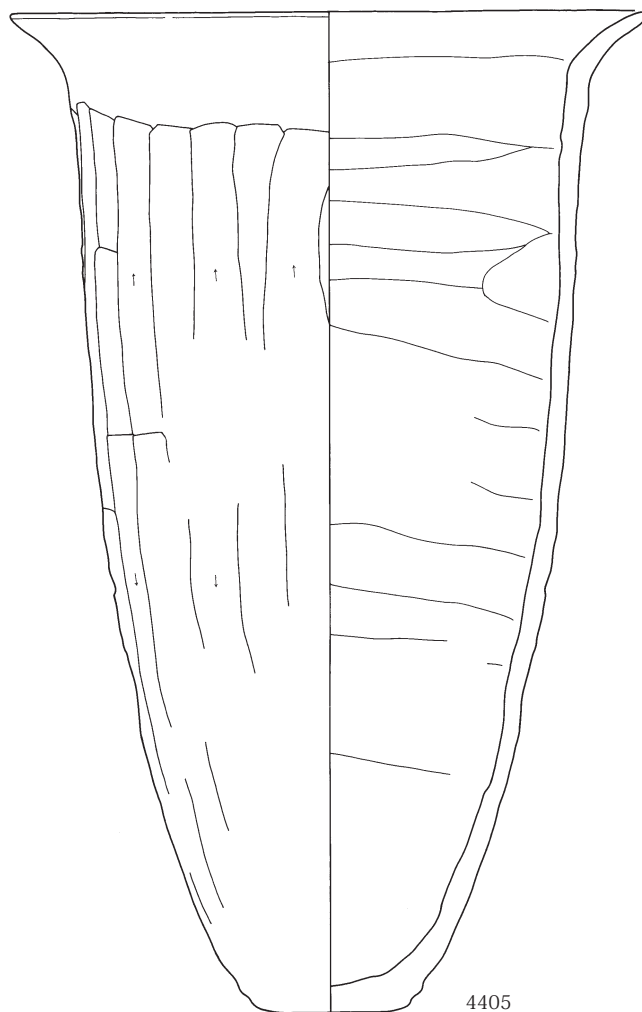


第 361 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 23

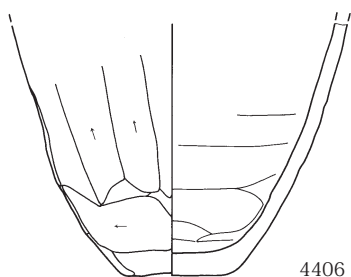
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



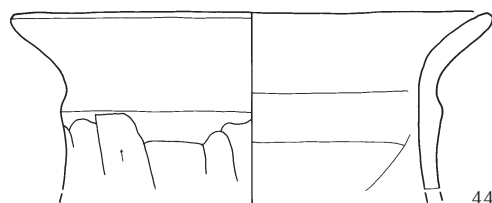
4404



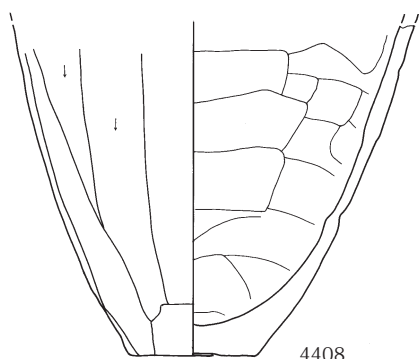
4405



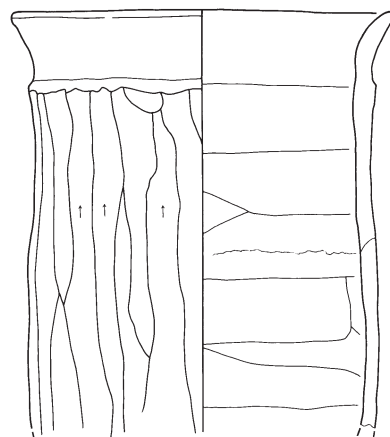
4406



4407

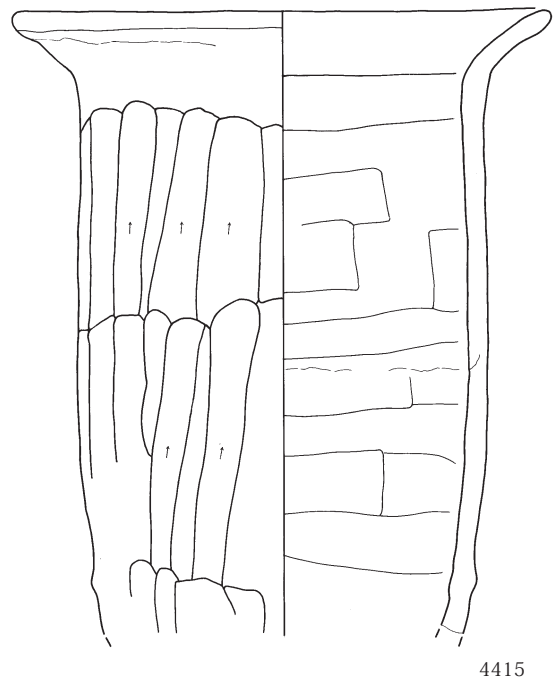
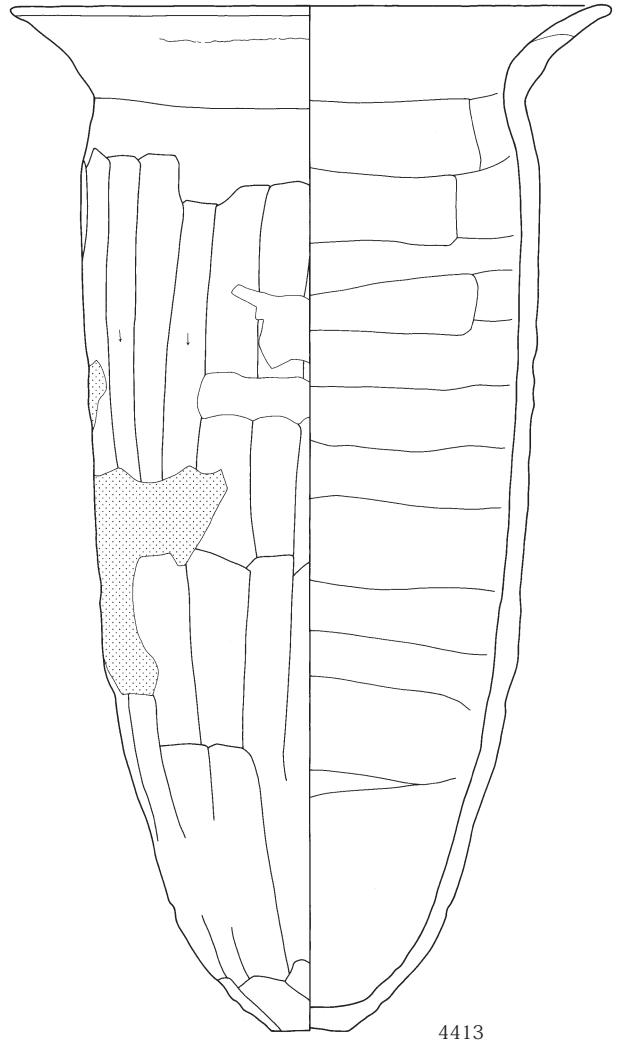
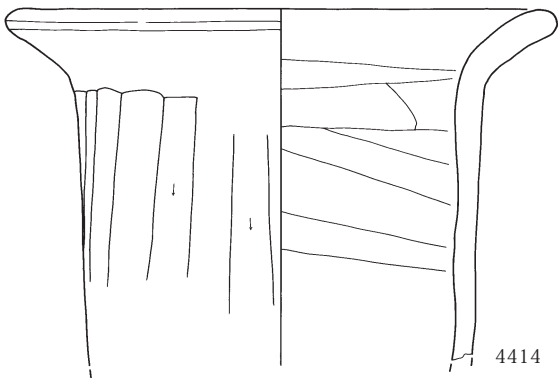
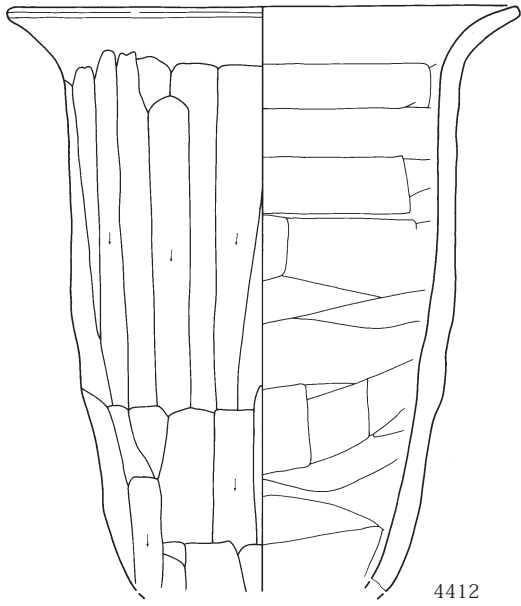
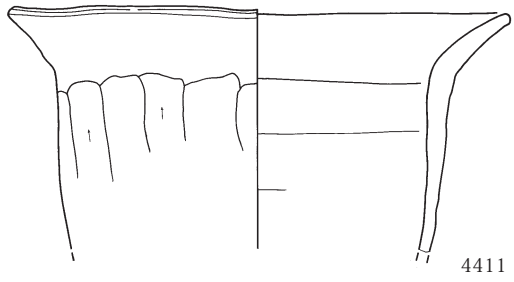
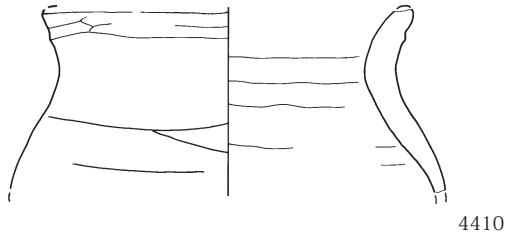


4408



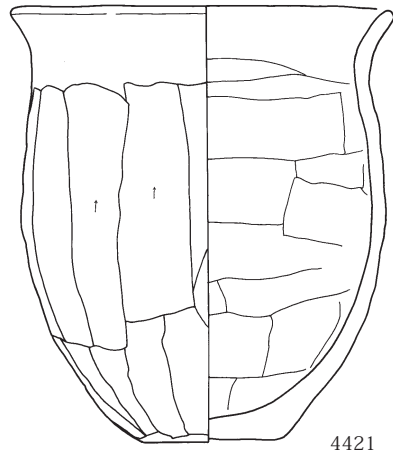
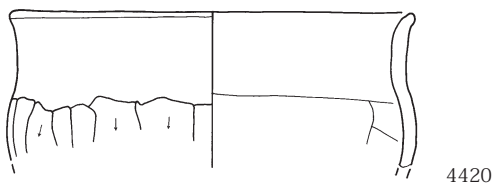
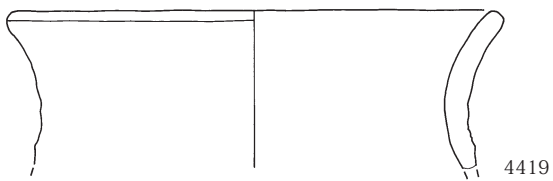
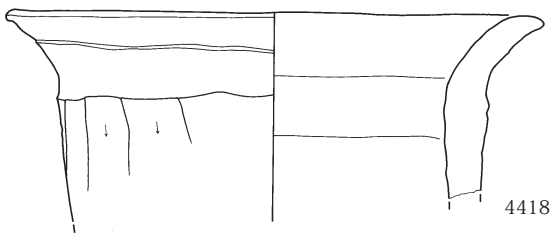
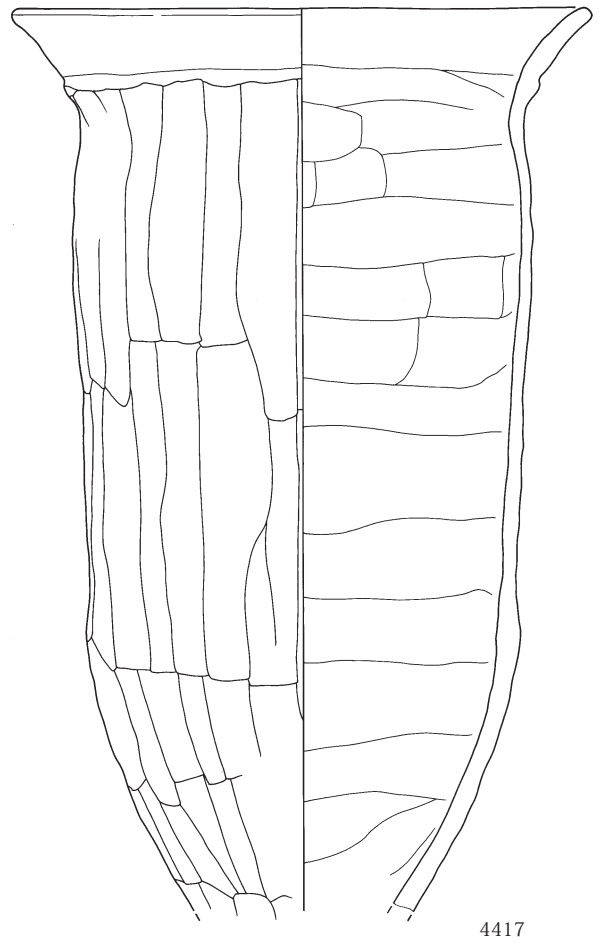
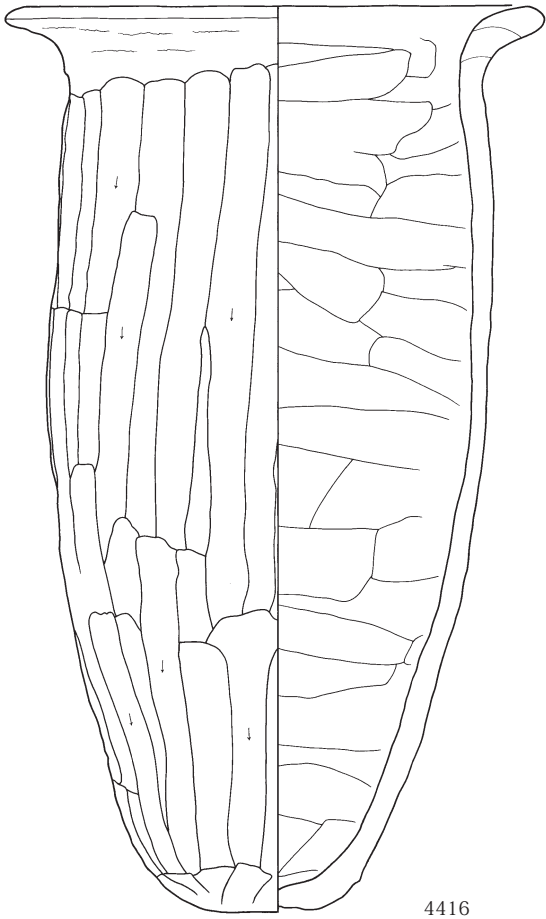
4409

第 362 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 24

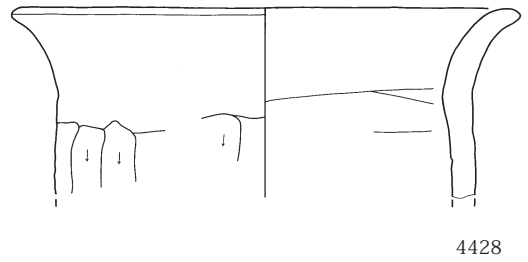
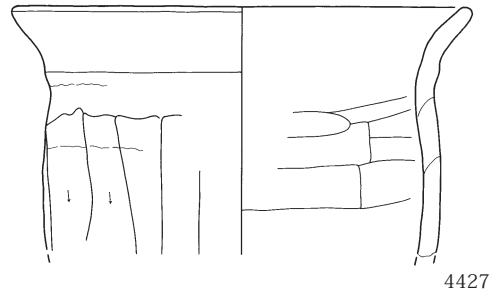
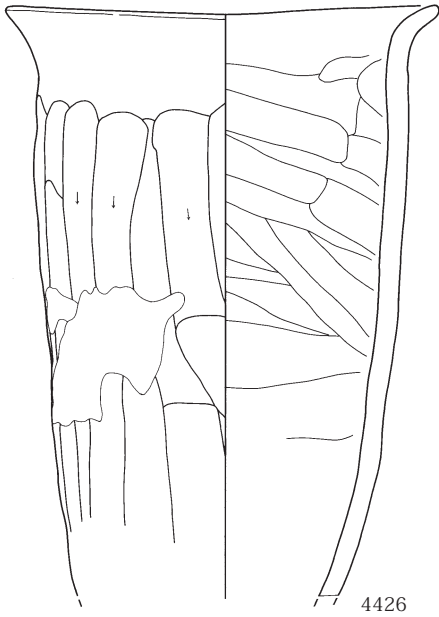
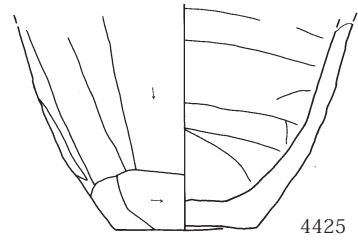
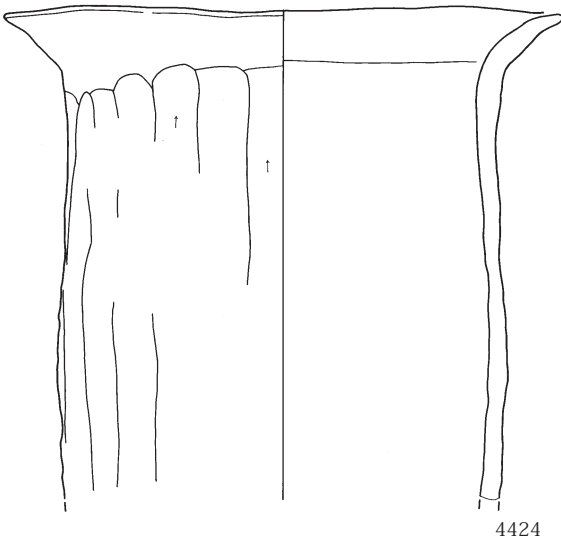
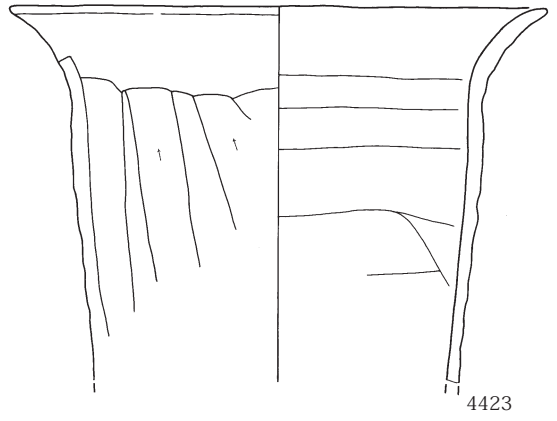
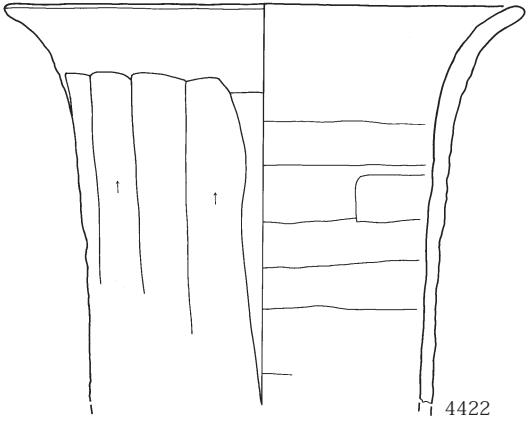


第 363 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 25

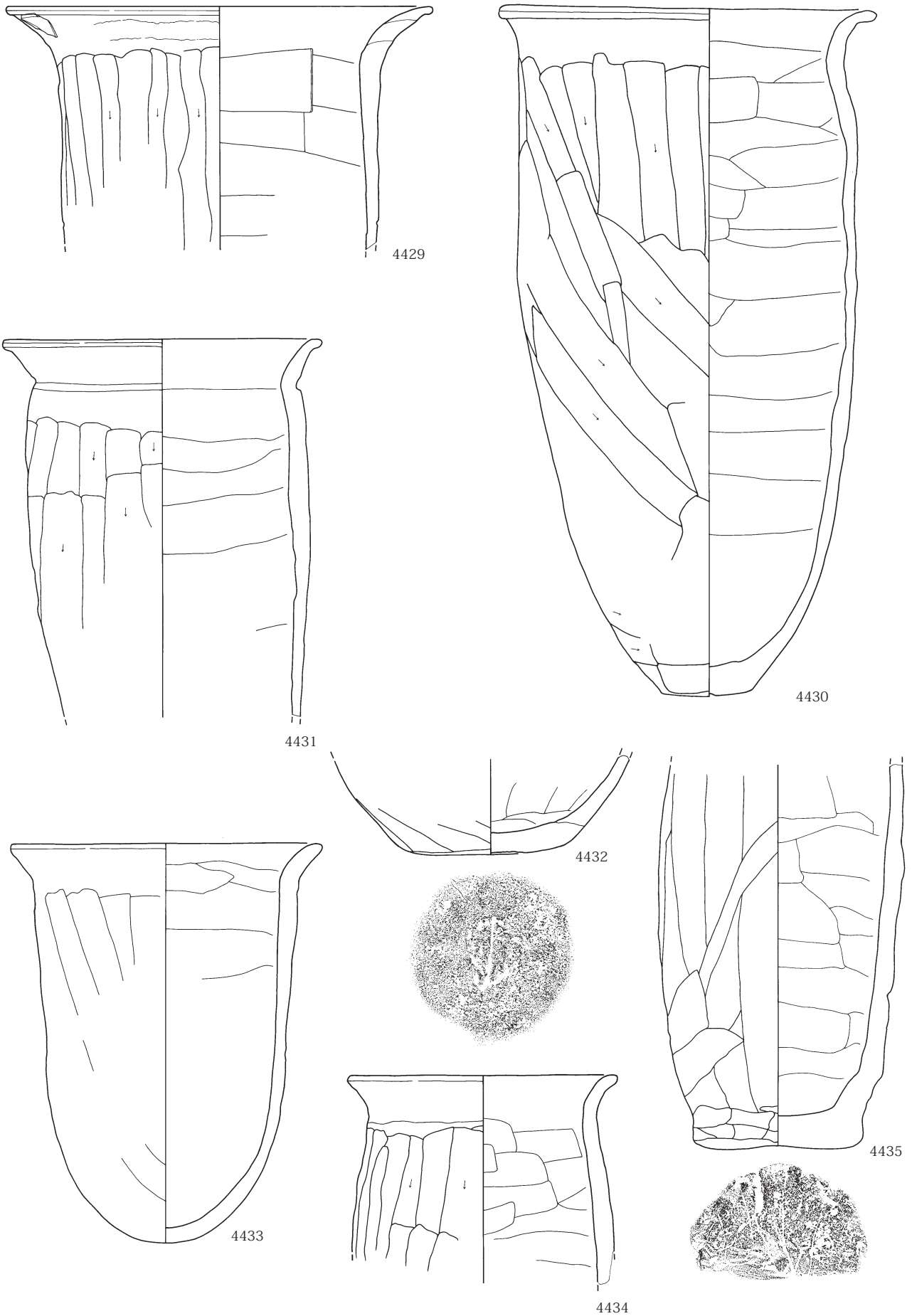
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 364 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 26

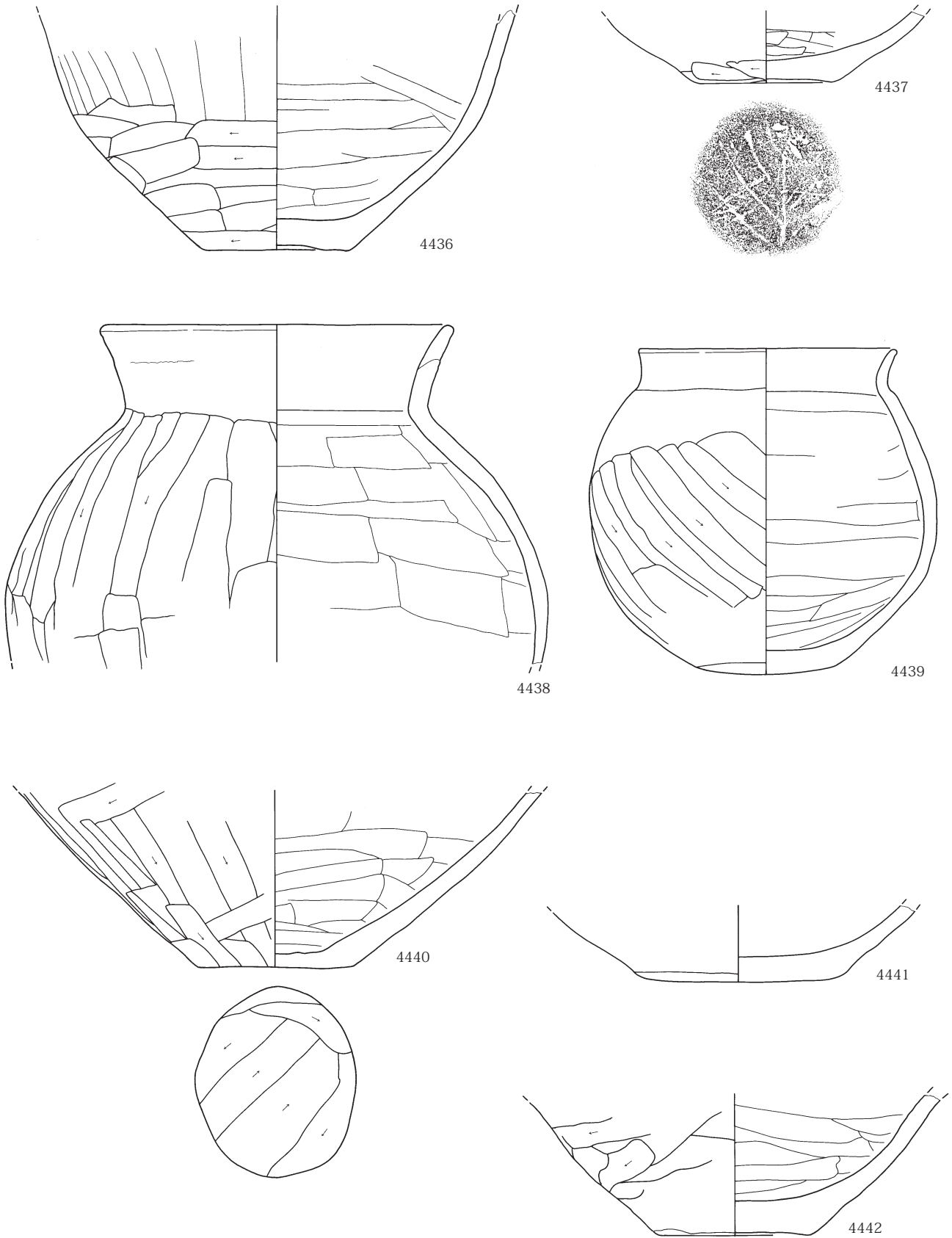


Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

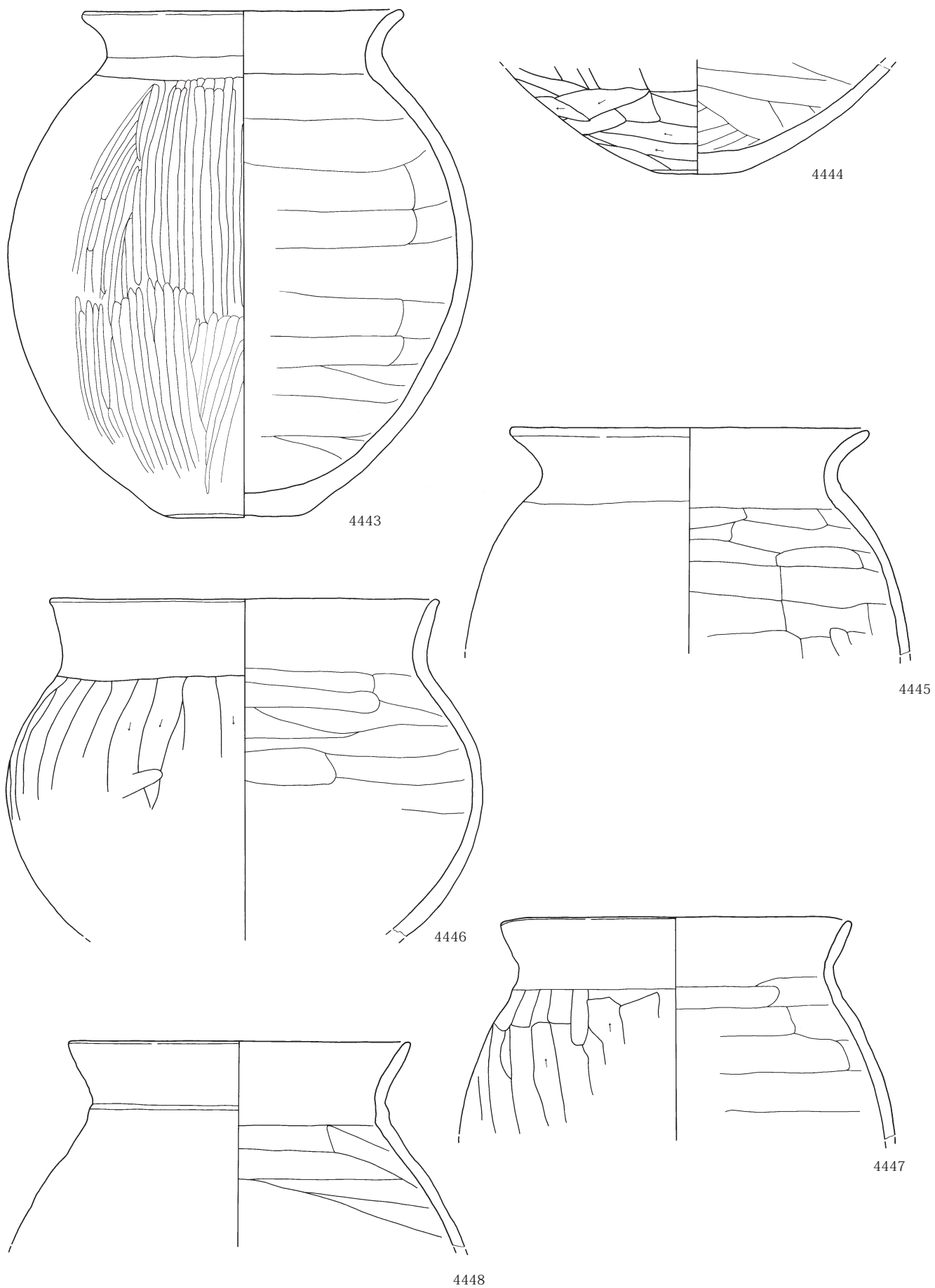


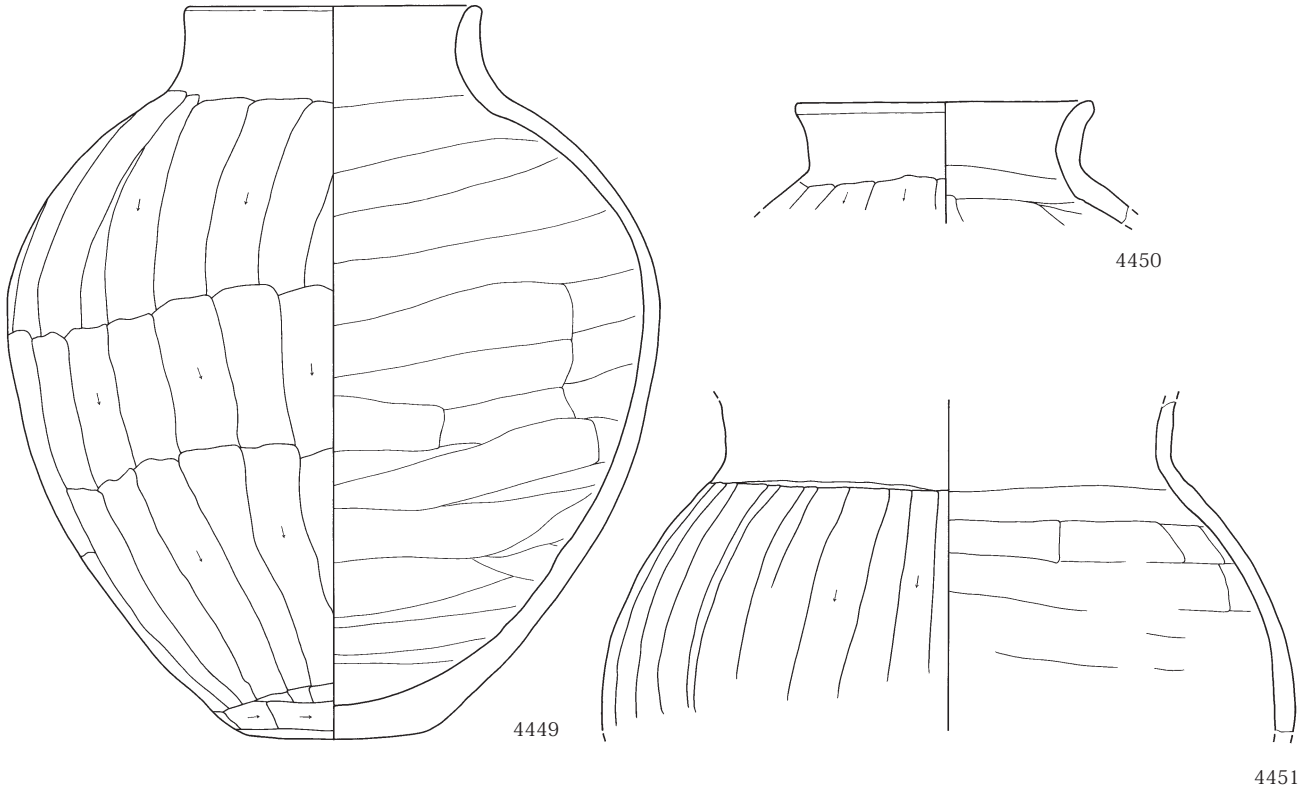
第 366 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 28

土師器ⅢA 3

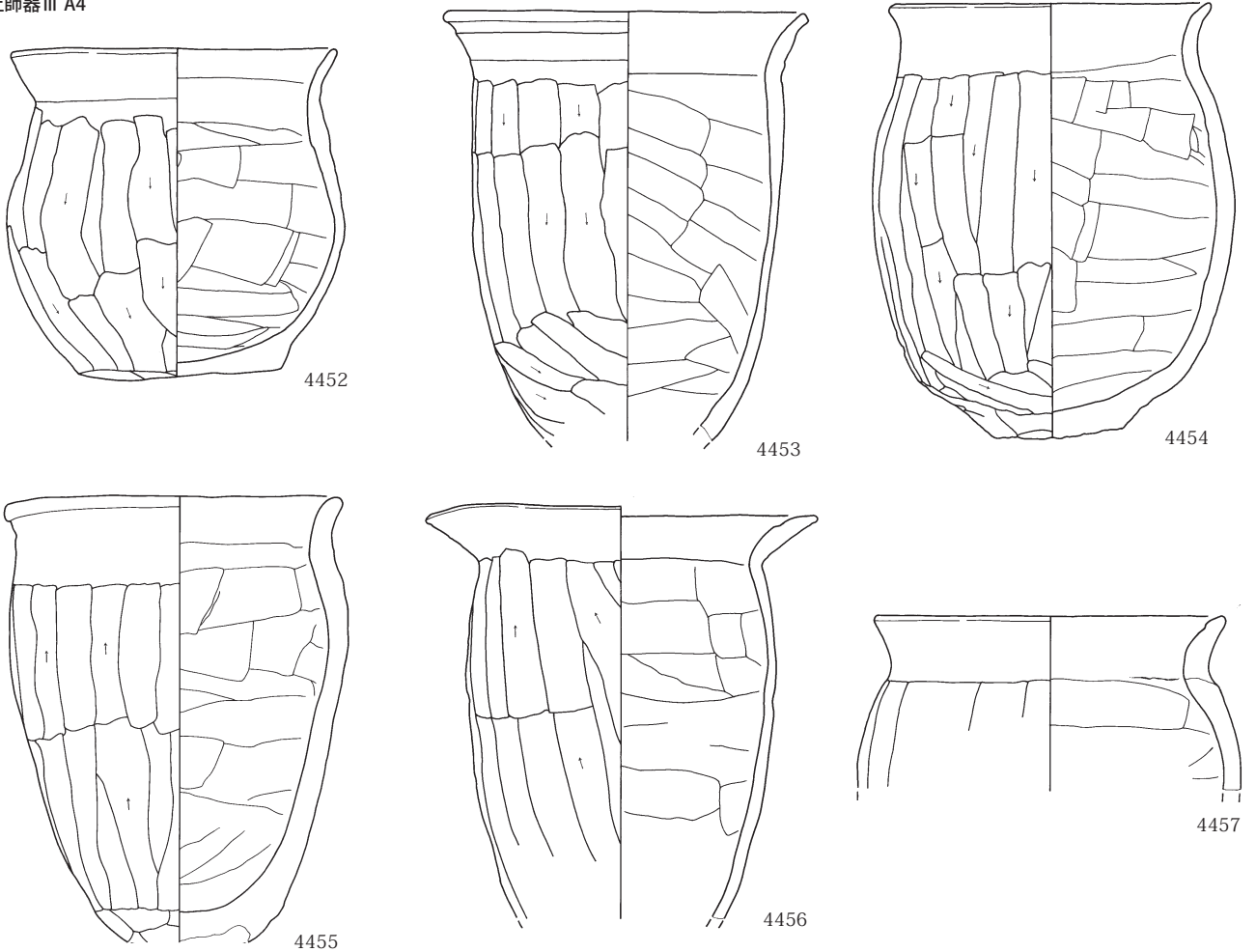


第 367 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 29





土師器Ⅲ A4



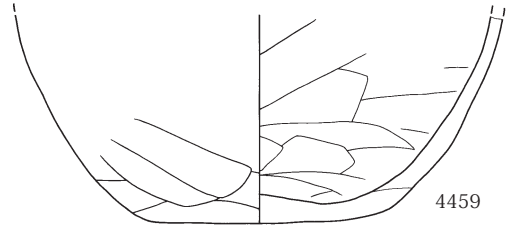
第 369 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 31

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

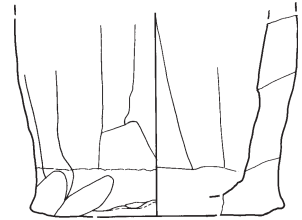
土師器Ⅲ A5



4458



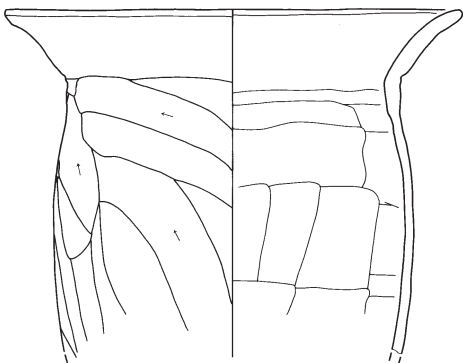
4459



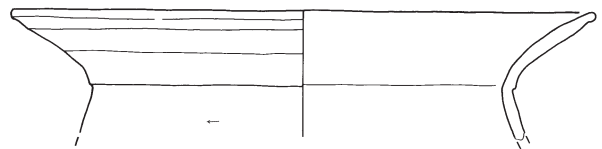
4460



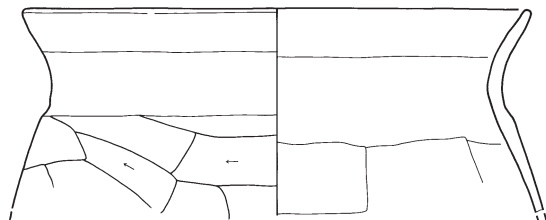
土師器Ⅲ B 1



4461

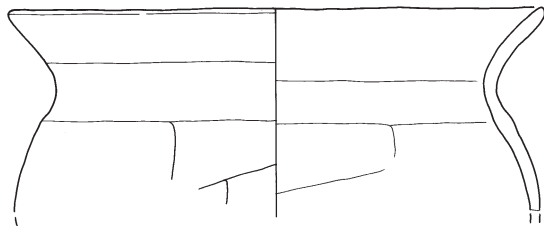


4462

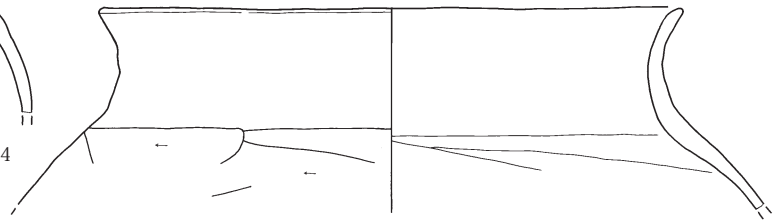


4463

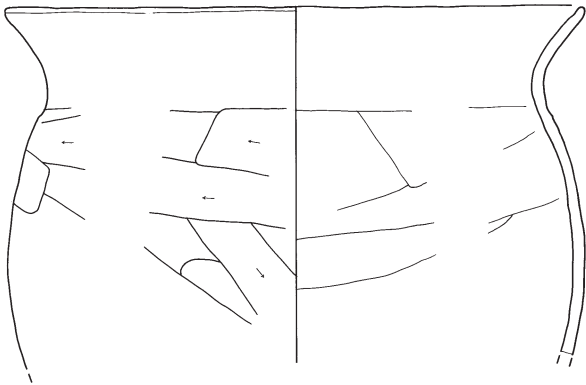
第 370 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 32



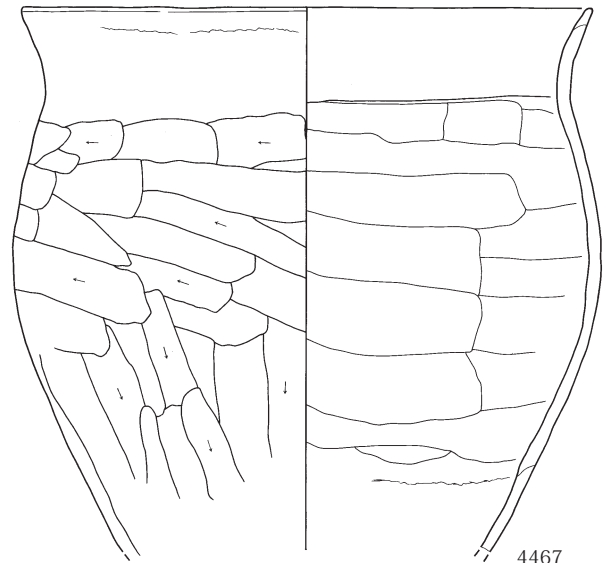
4464



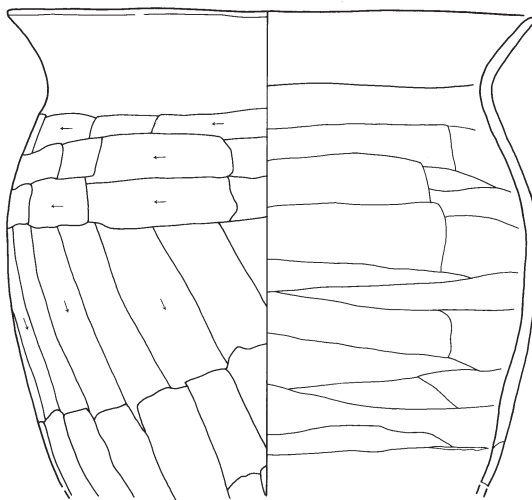
4465



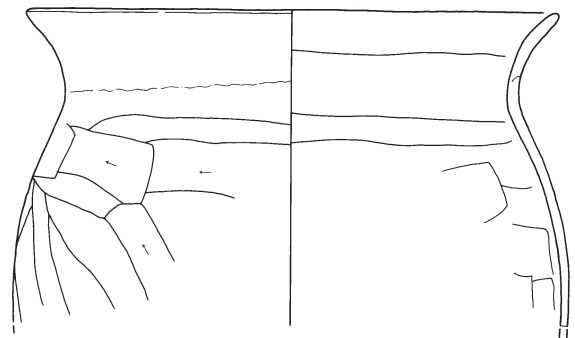
4466



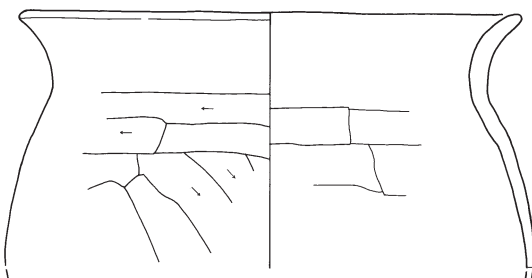
4467



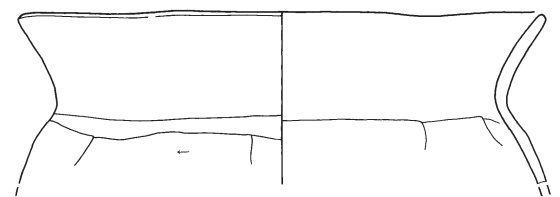
4468



4469

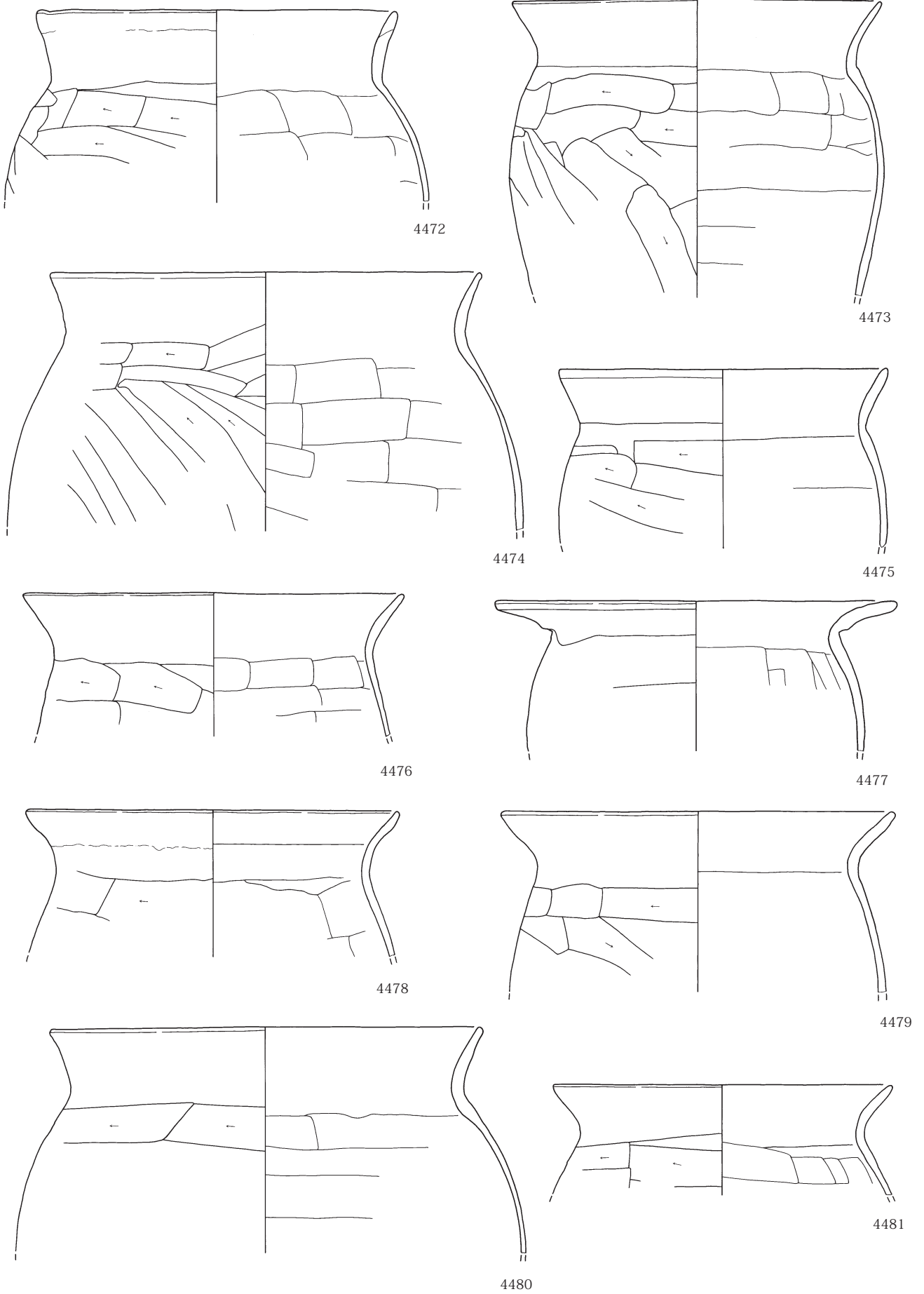


4470

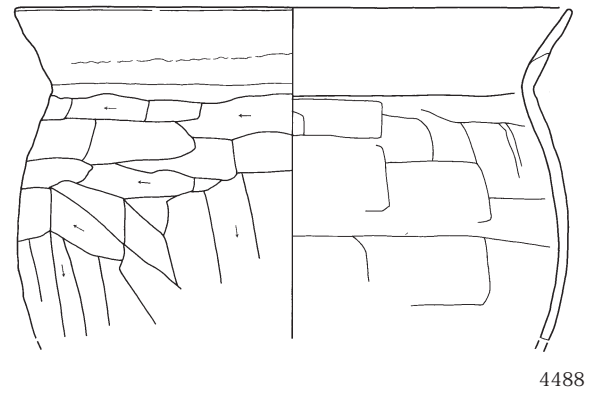
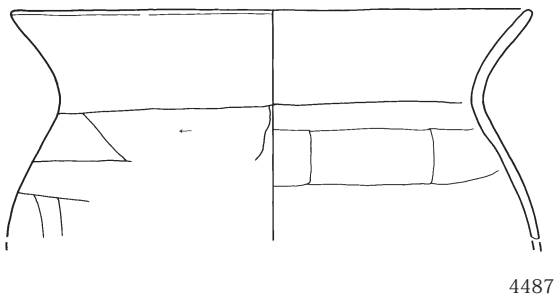
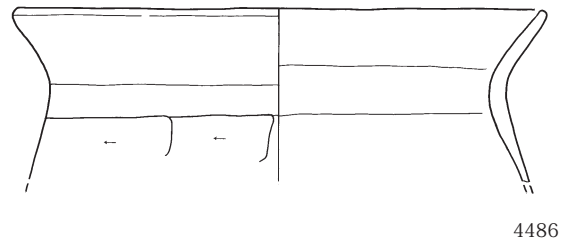
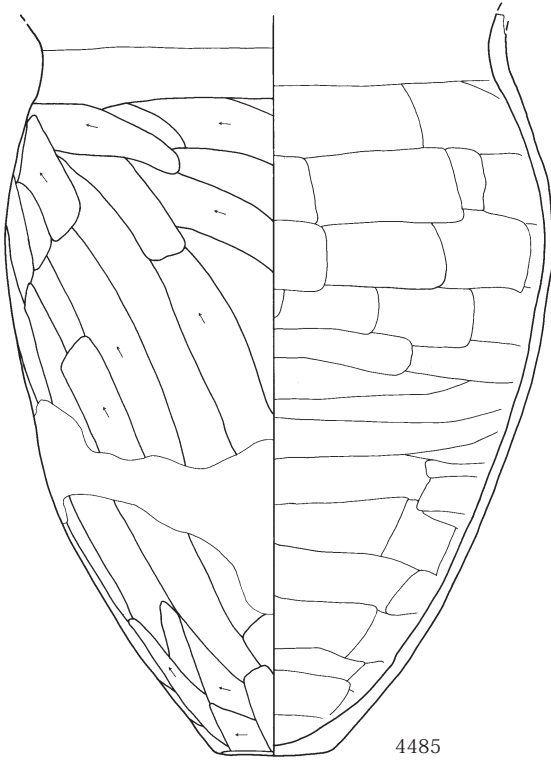
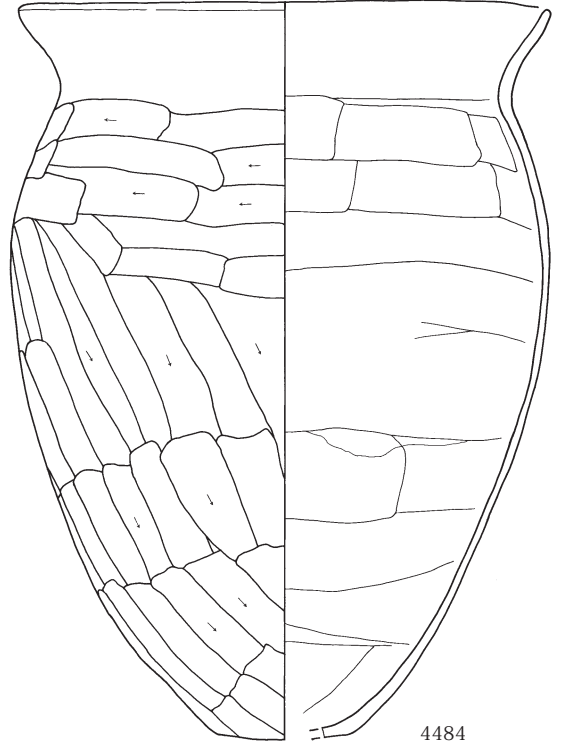
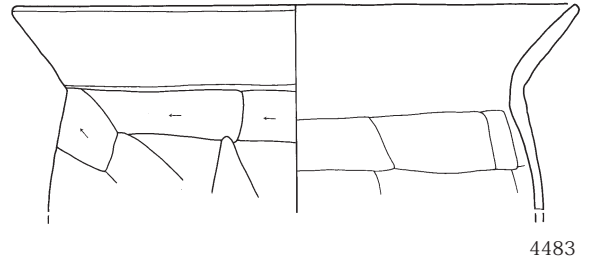
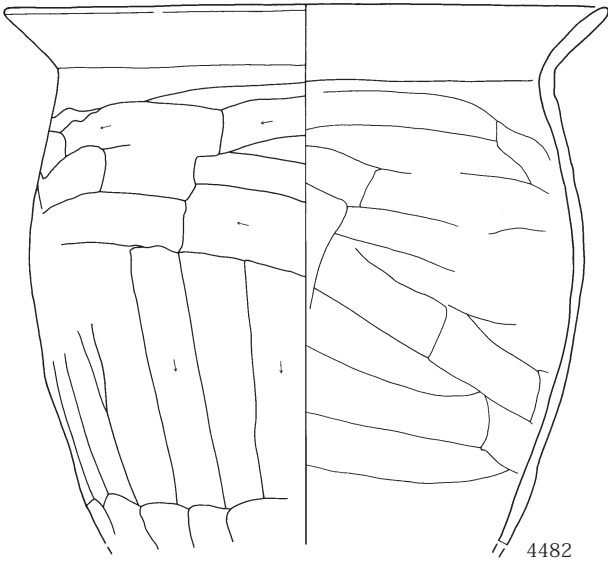


4471

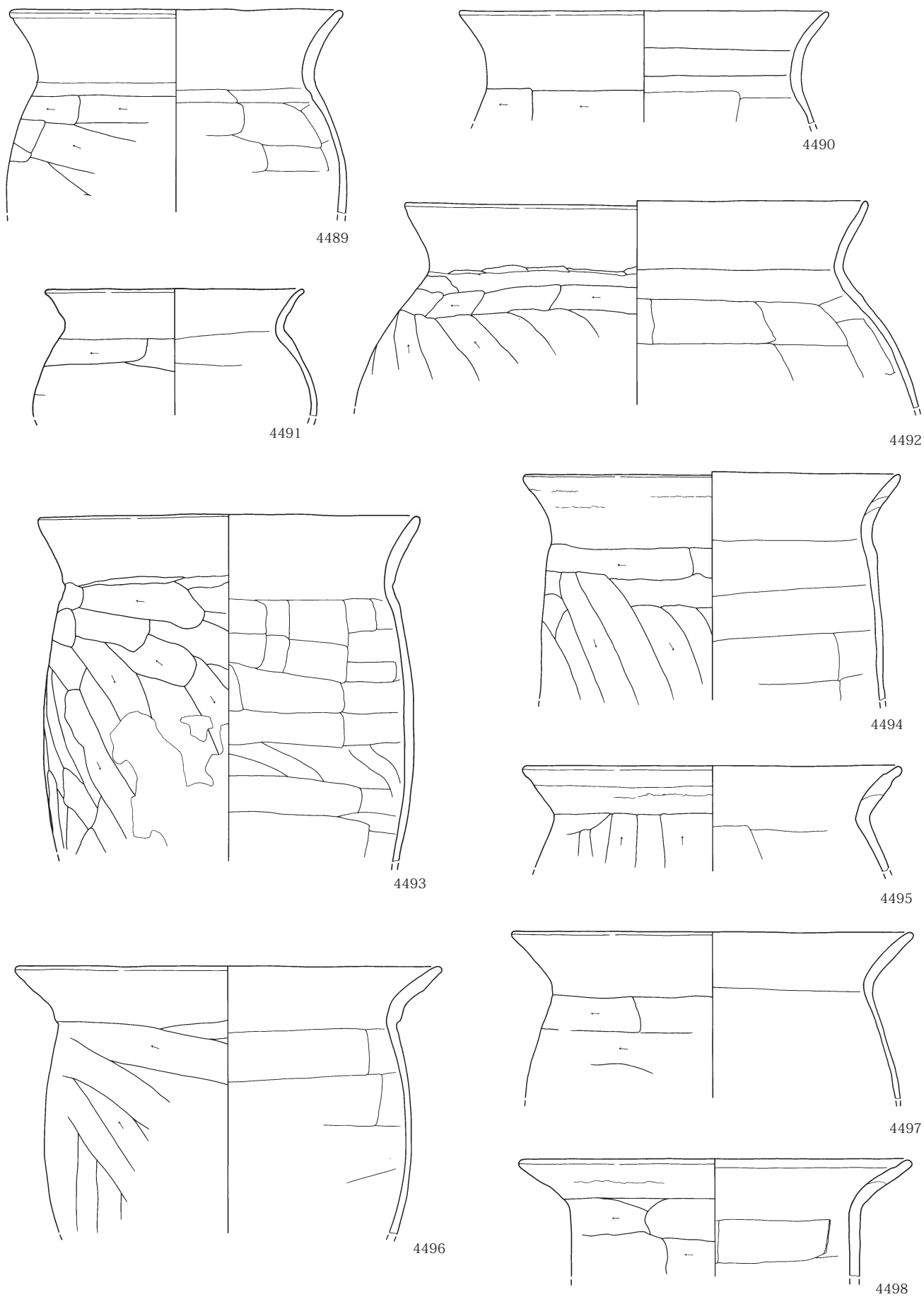
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



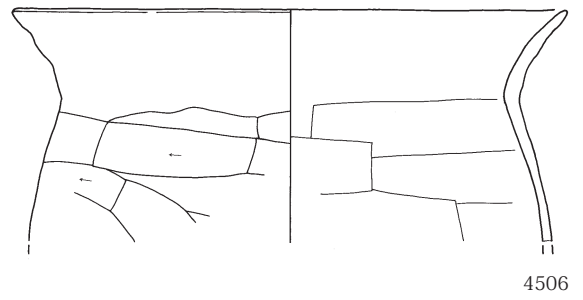
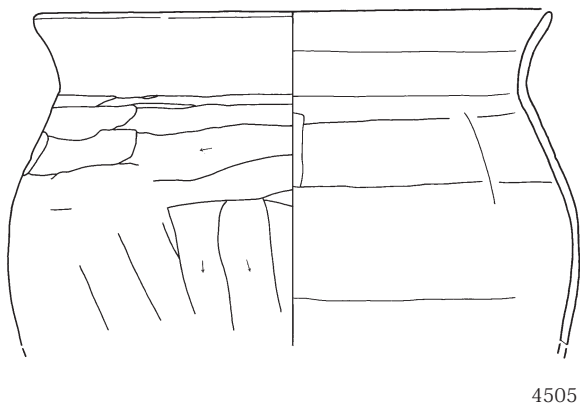
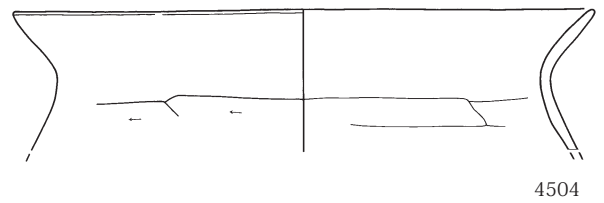
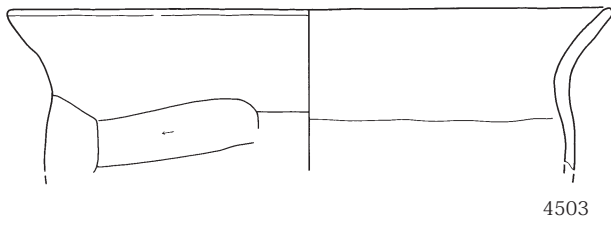
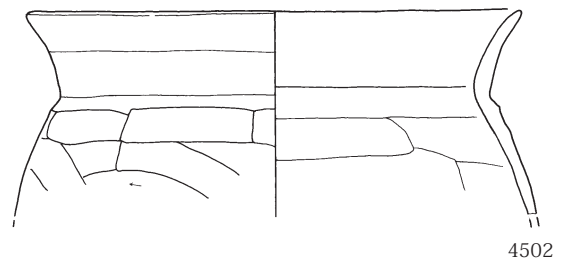
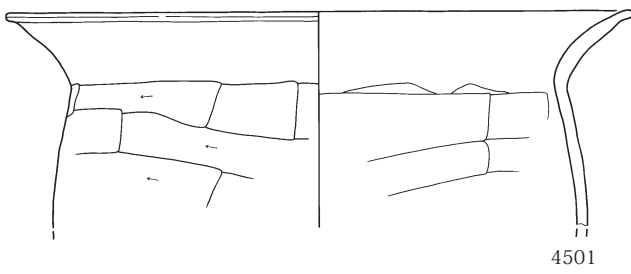
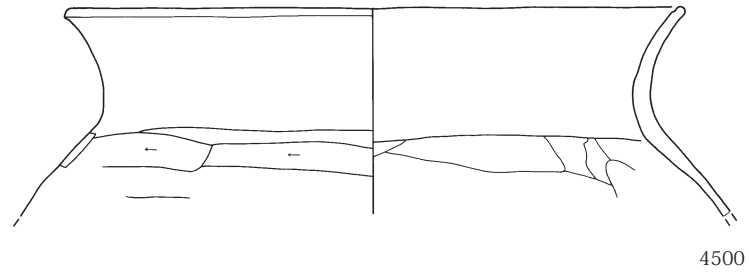
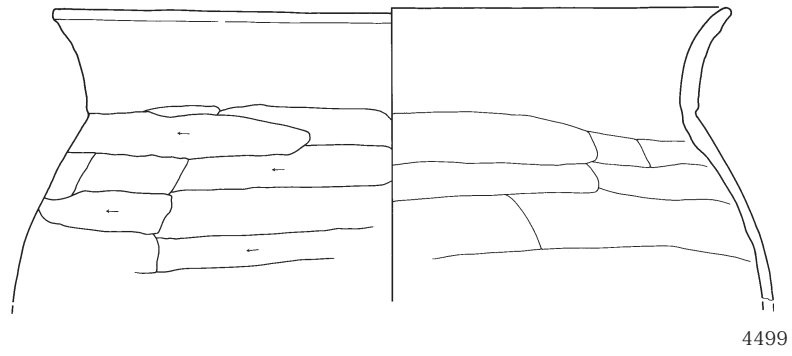
第 372 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 34



Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

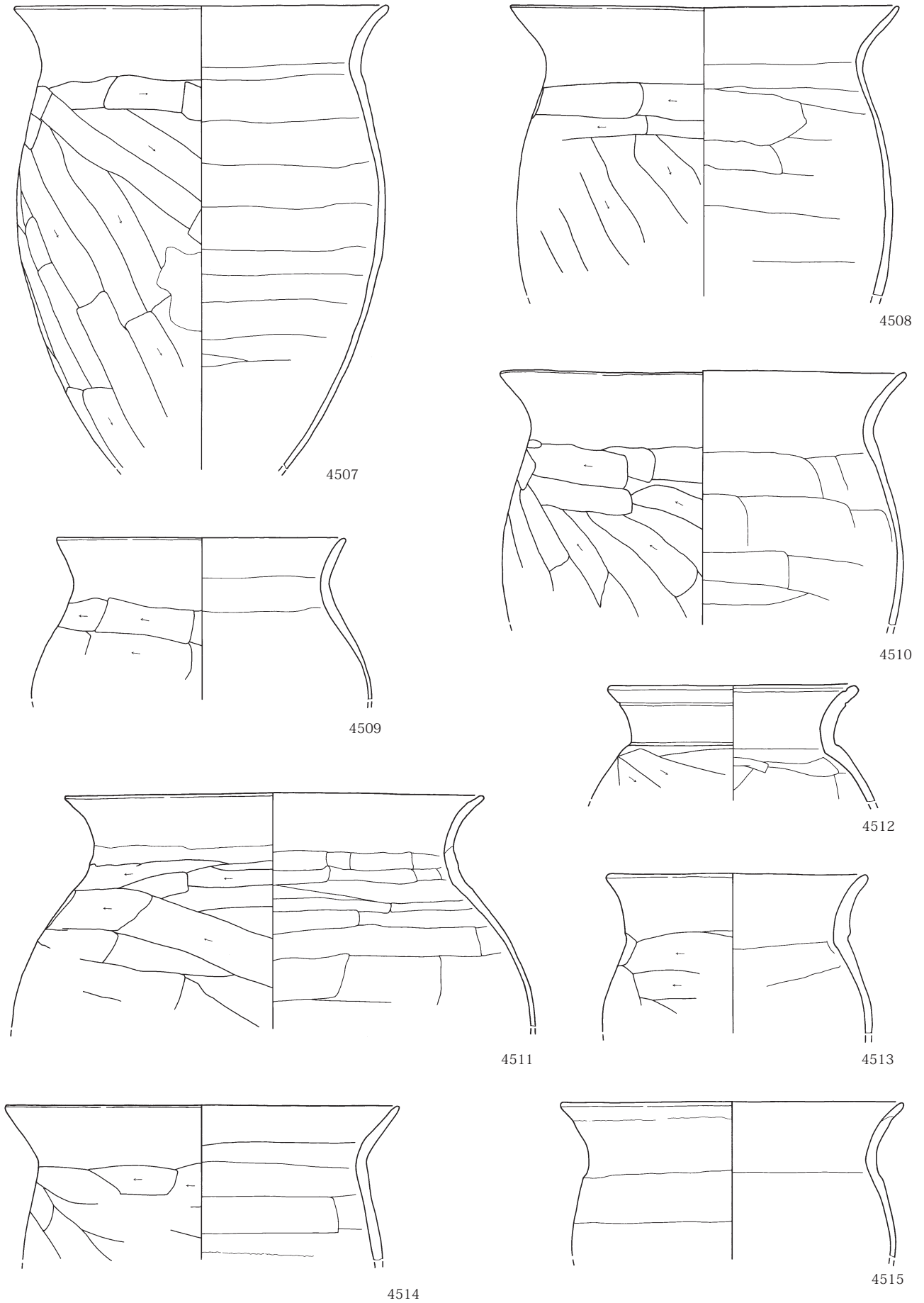


第 374 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 36

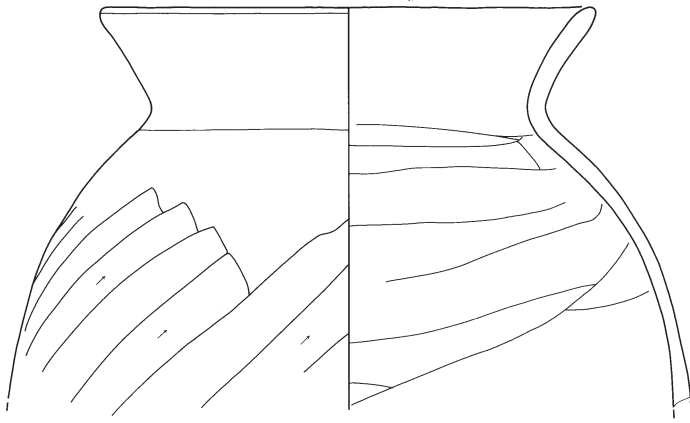


第 375 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 37

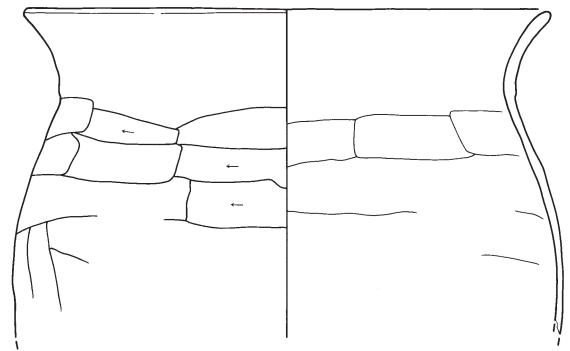
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



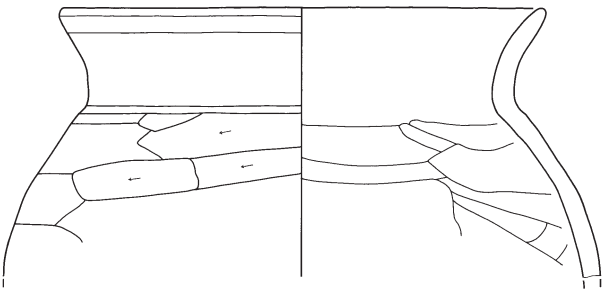
第 376 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 38



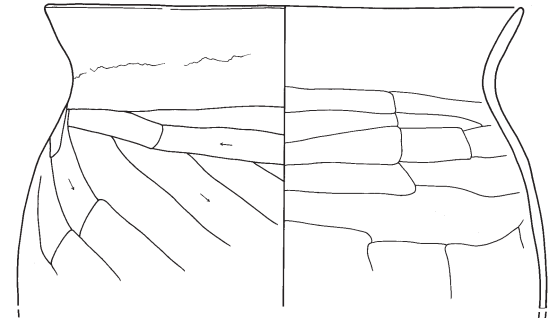
4516



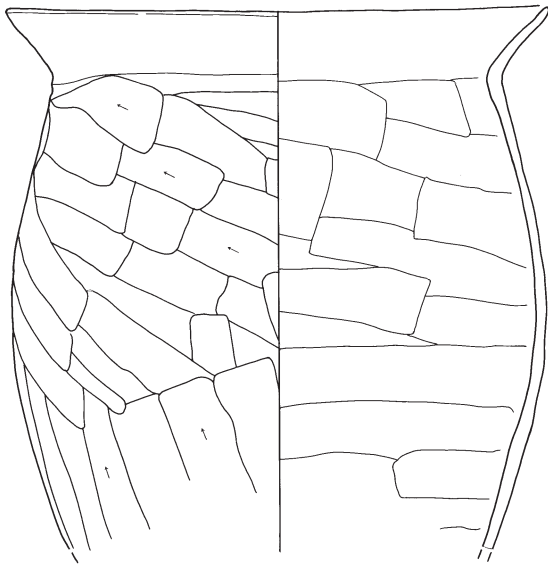
4517



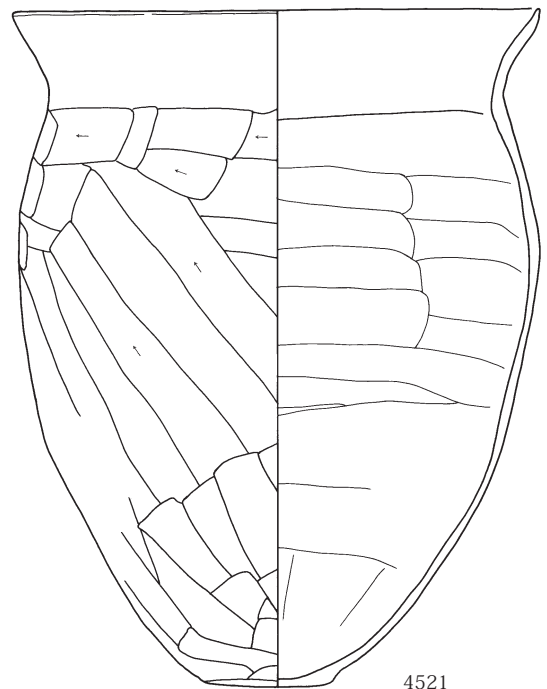
4518



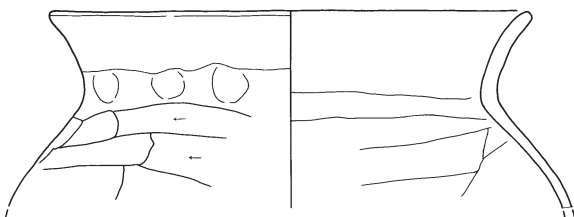
4519



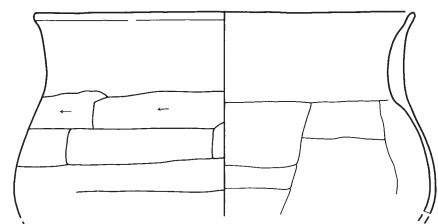
4520



4521

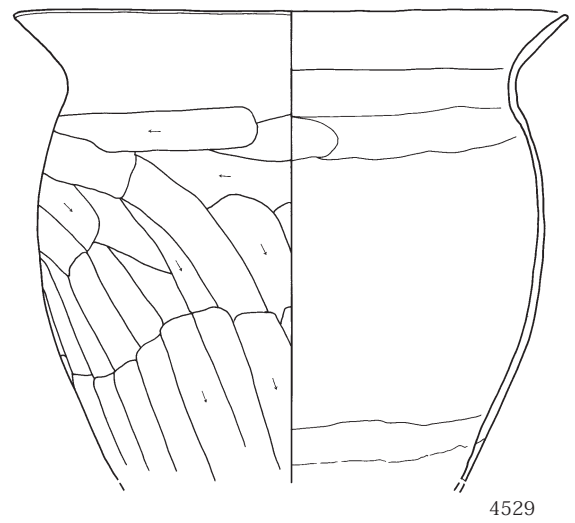
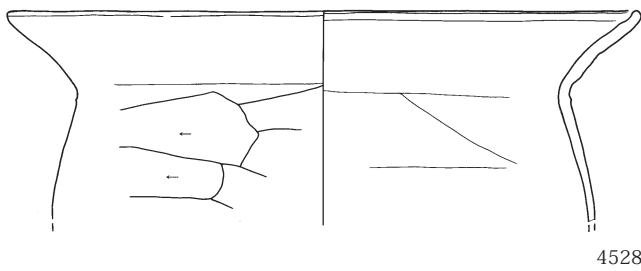
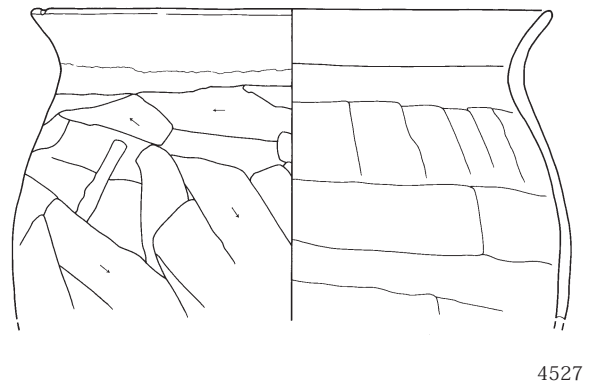
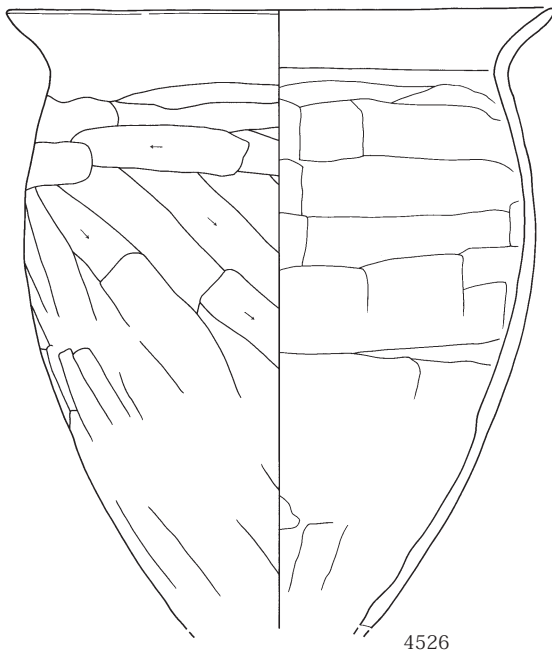
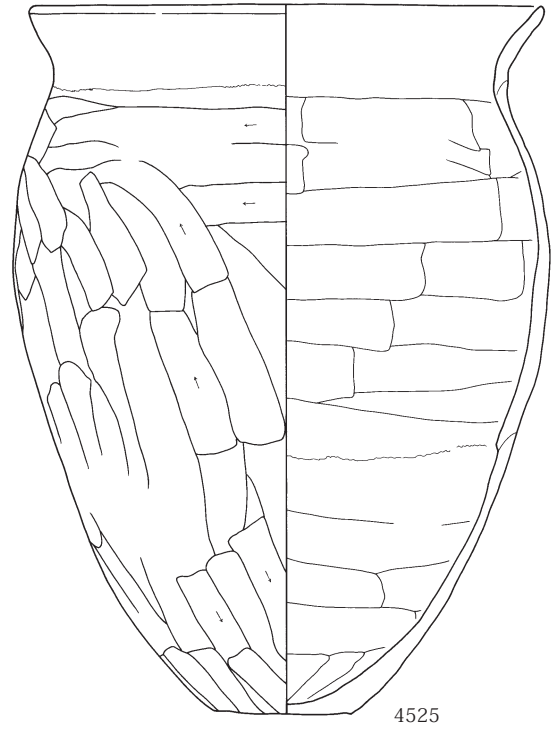
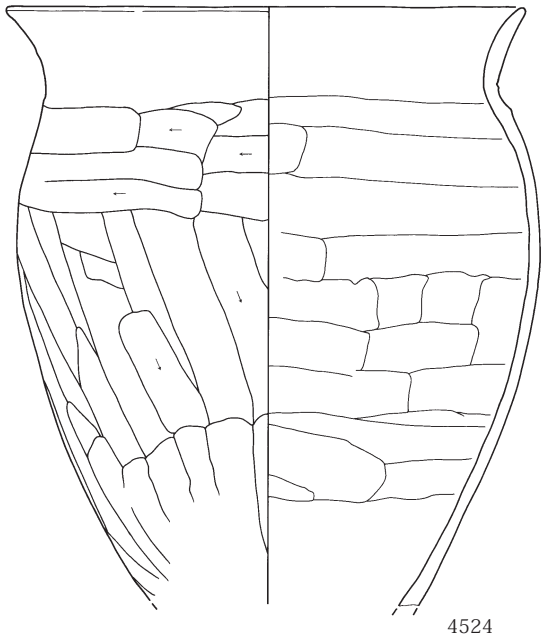


4522

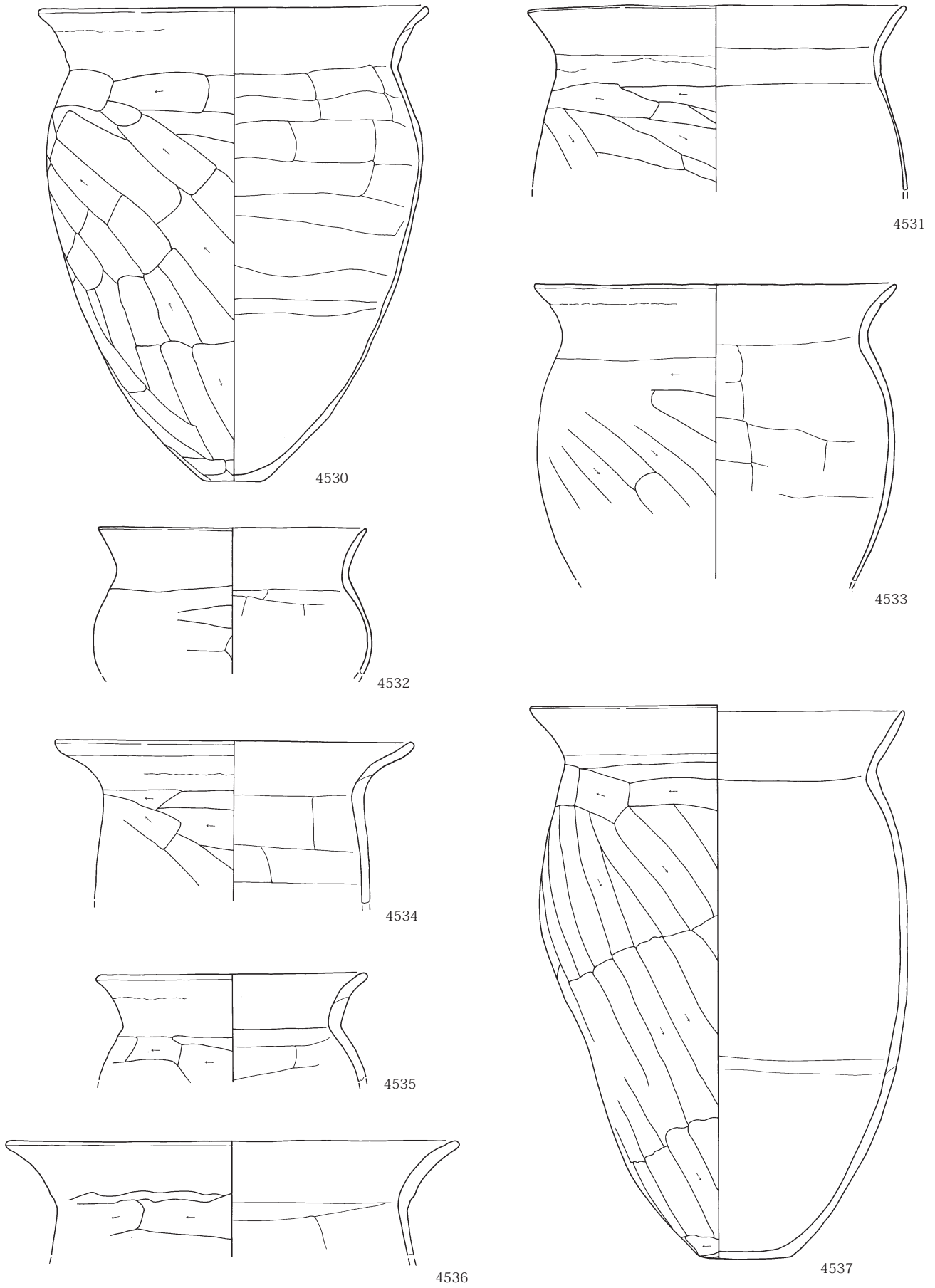


4523

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

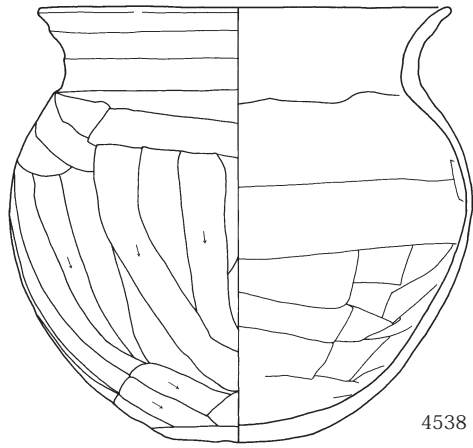


第 378 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 40

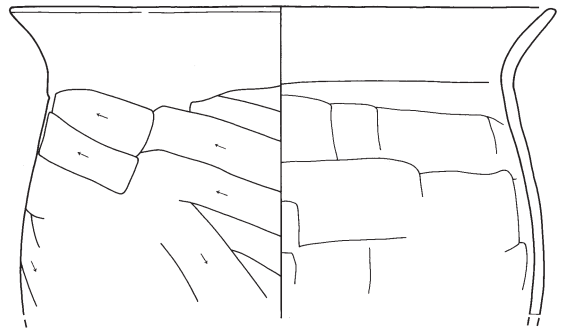


第 379 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 41

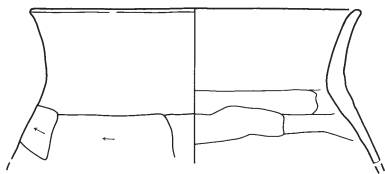
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



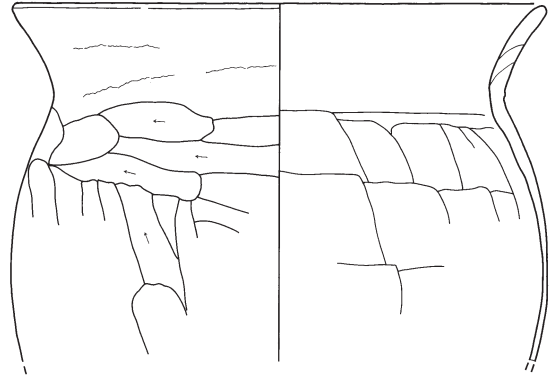
4538



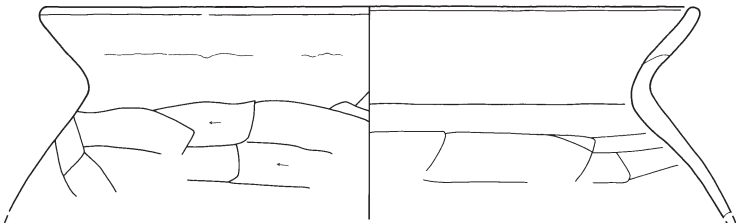
4539



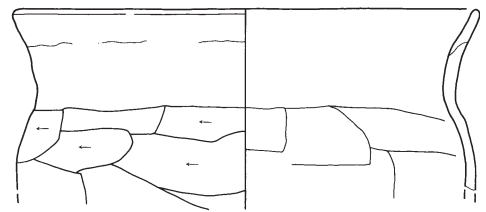
4540



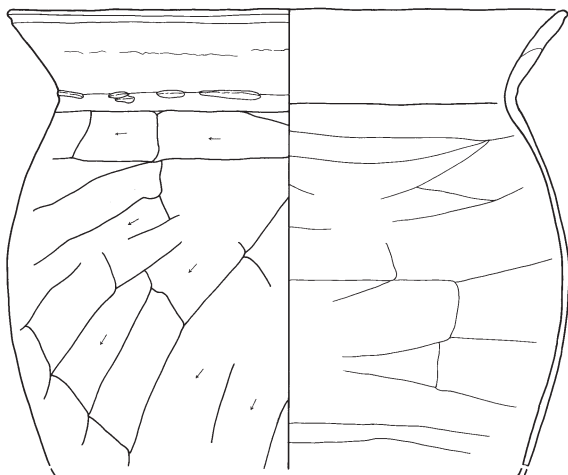
4541



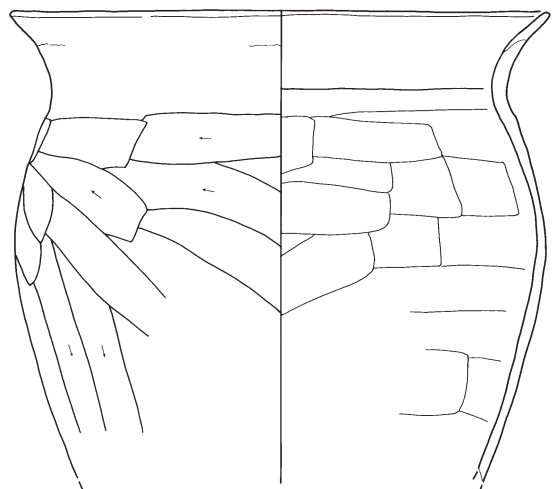
4542



4543

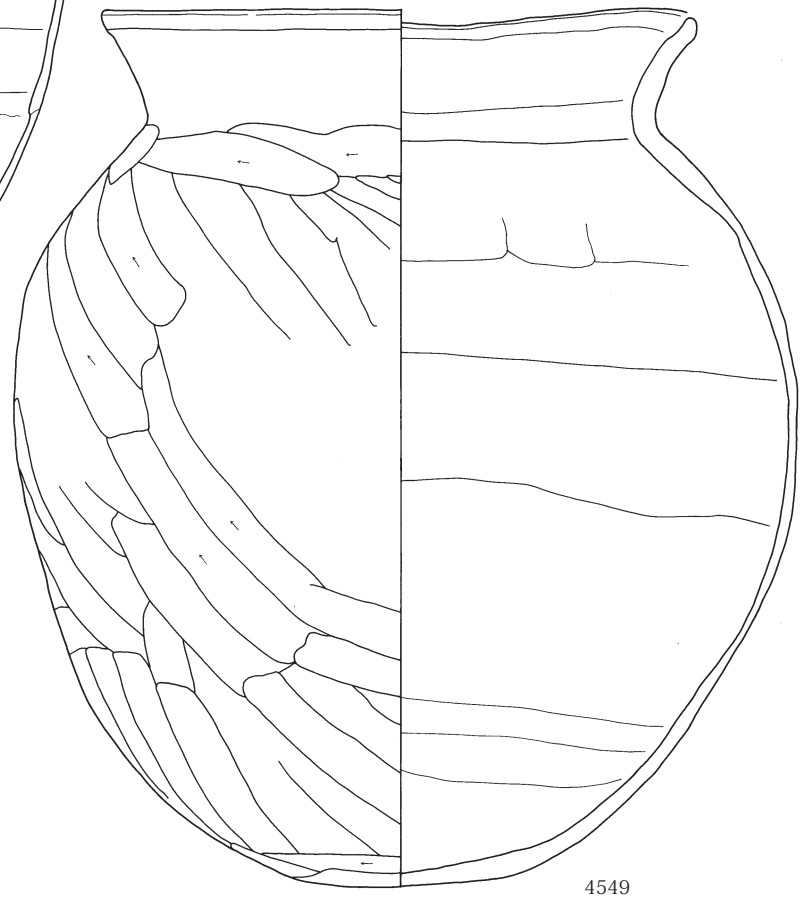
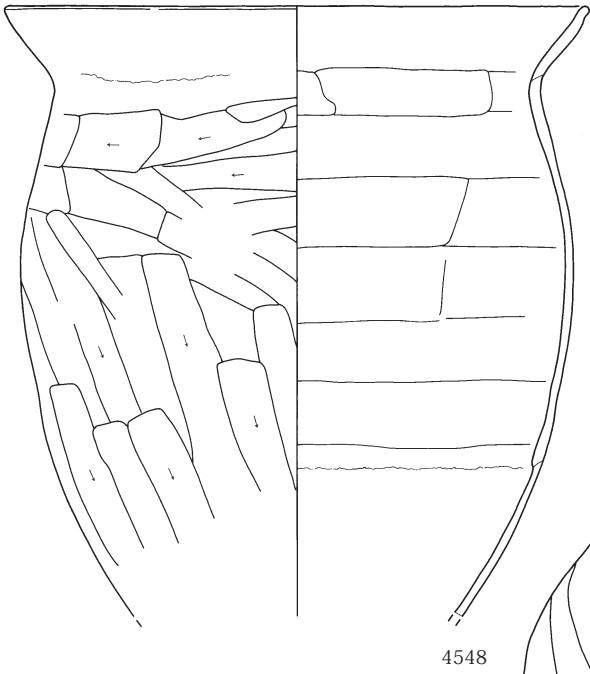
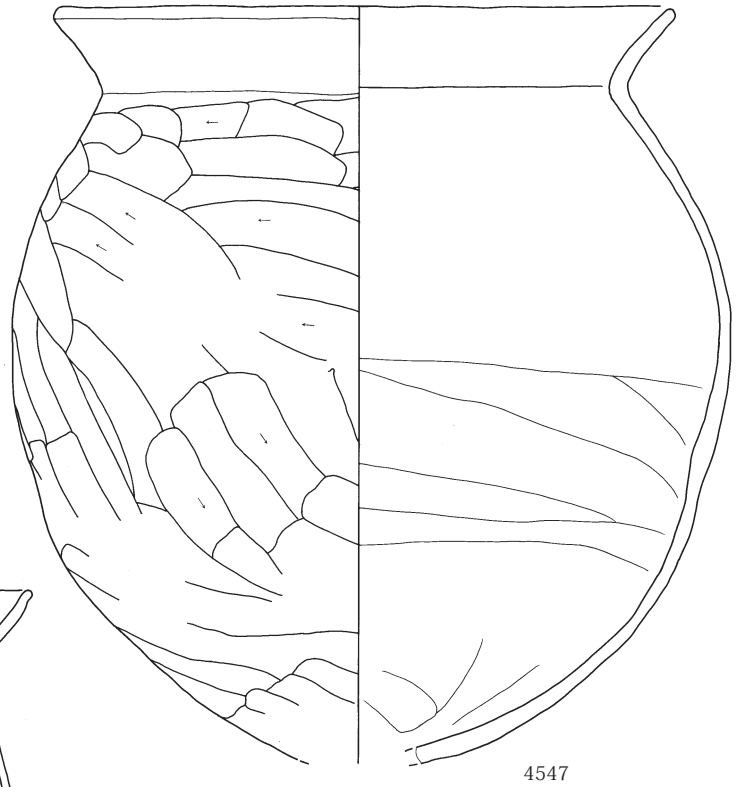
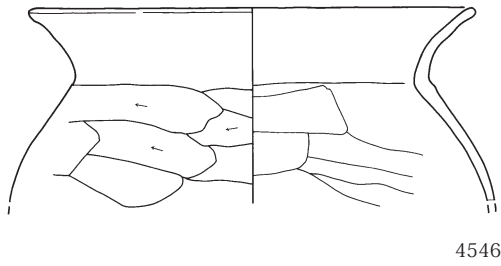


4544

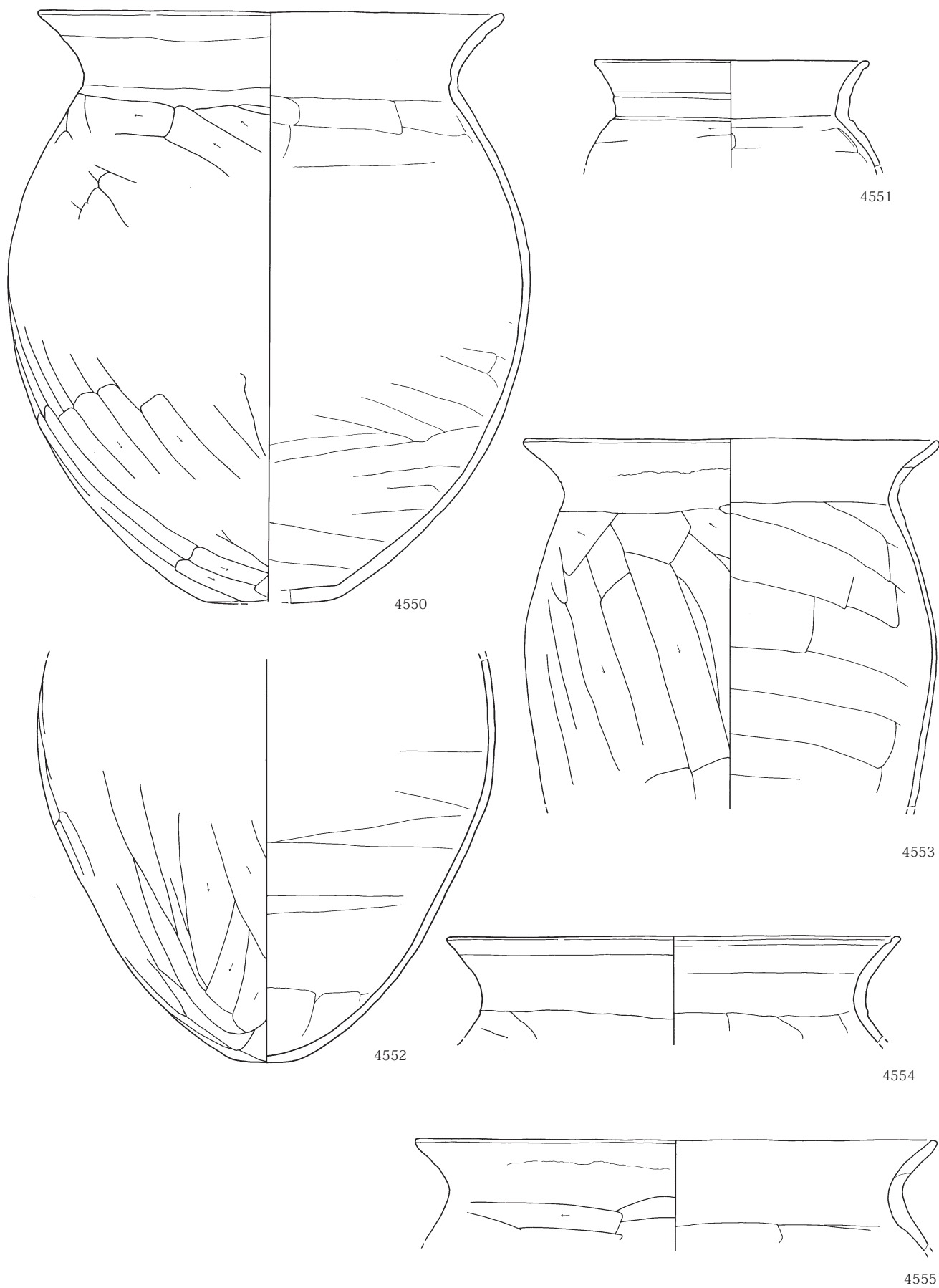


4545

第 380 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 42

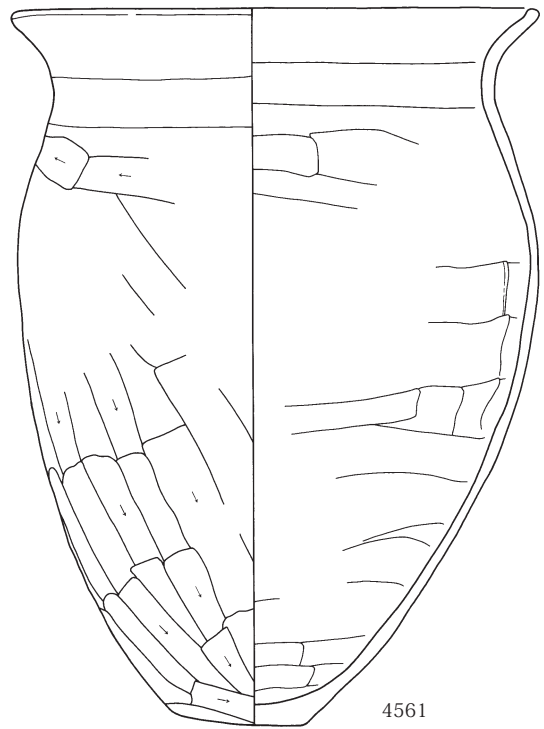
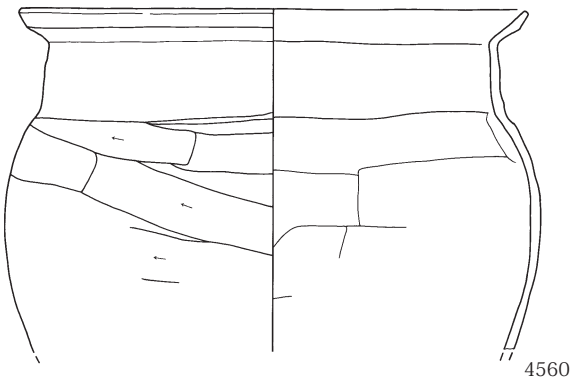
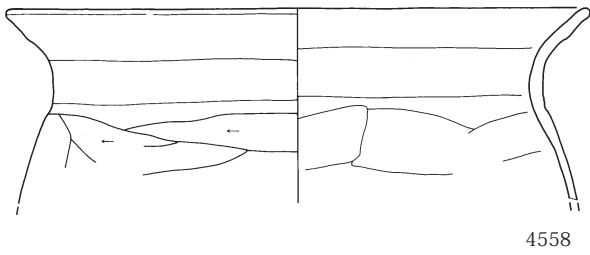
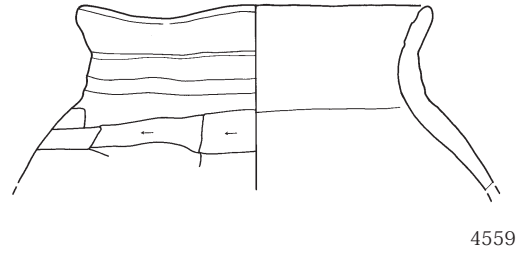
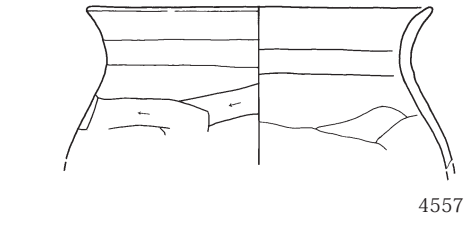
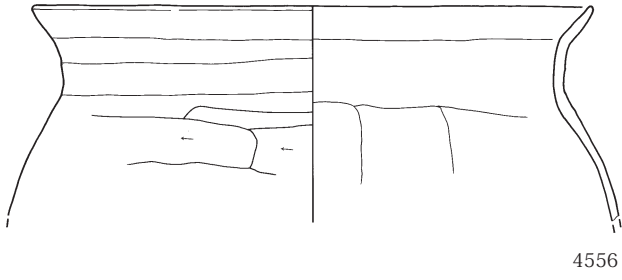


第 381 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 43

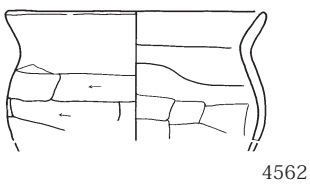


第 382 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 44

土師器Ⅲ B 2

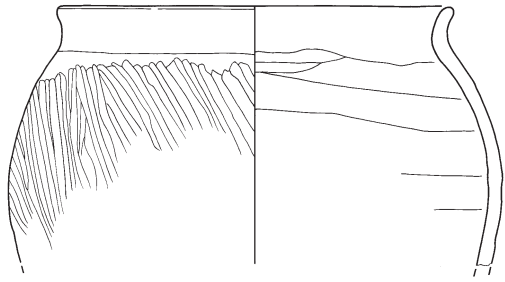


土師器Ⅲ B 3

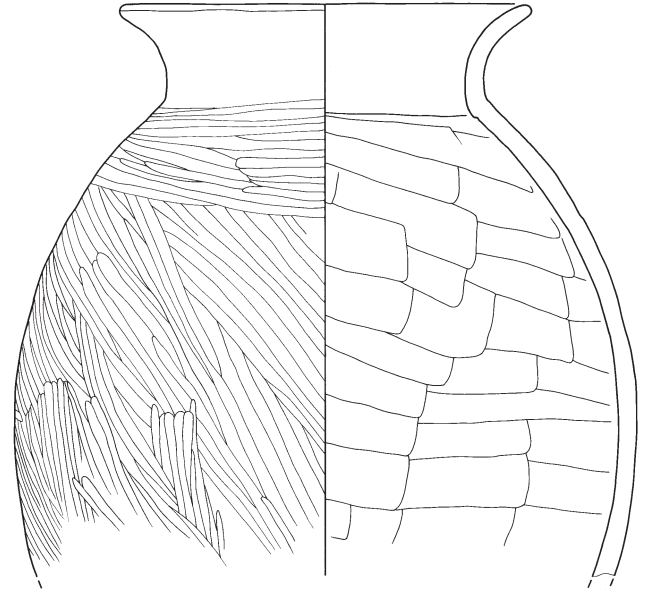


Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

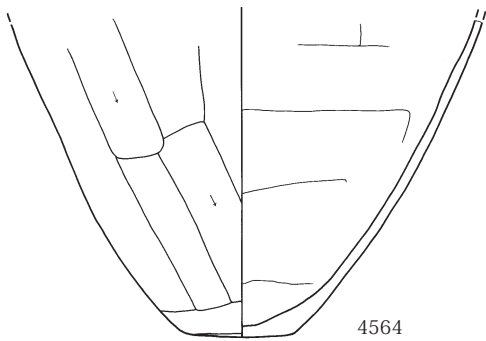
土師器ⅢB4



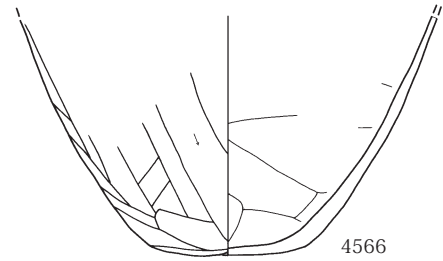
4563



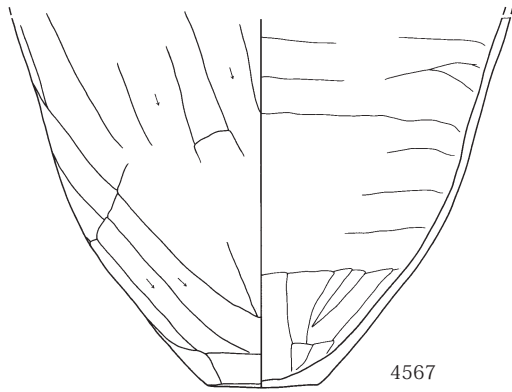
4565



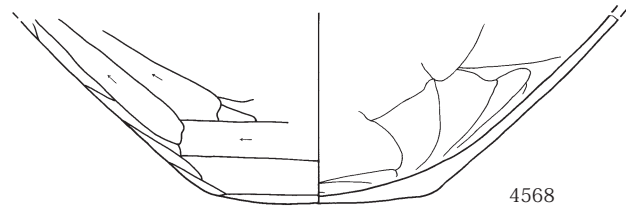
4564



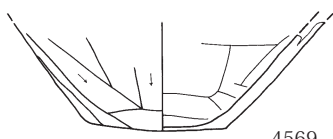
4566



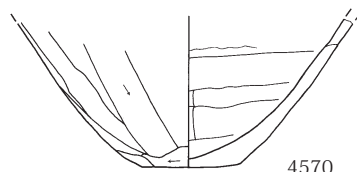
4567



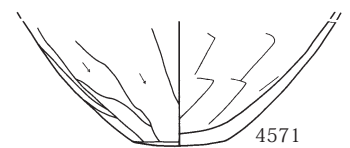
4568



4569



4570

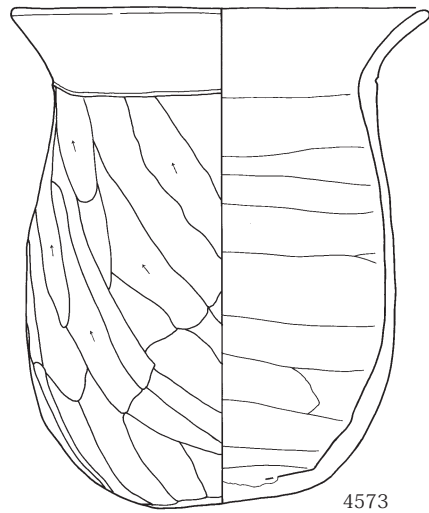


4571

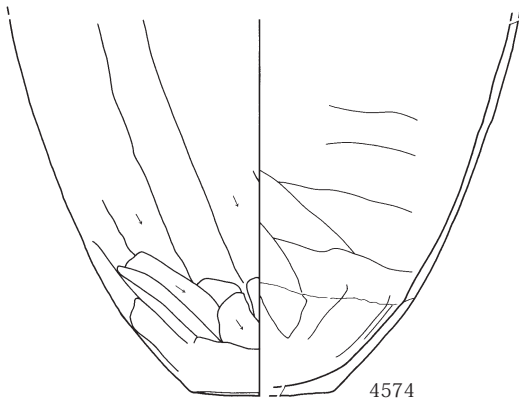
第 384 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 46



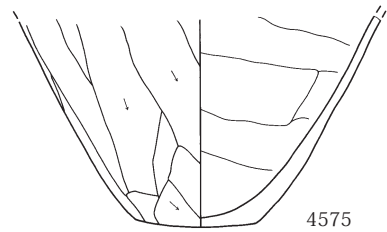
4572



4573

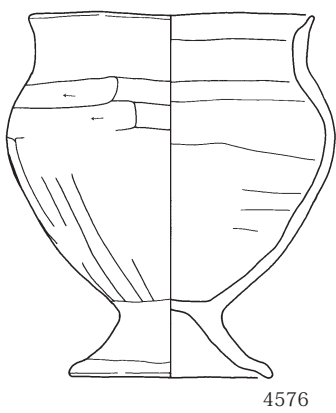


4574

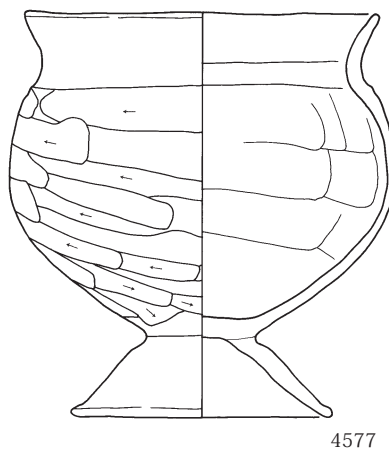


4575

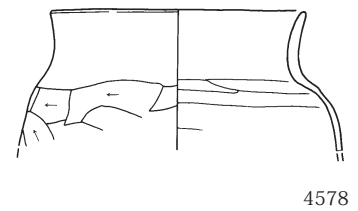
土師器ⅣA



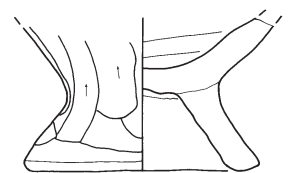
4576



4577



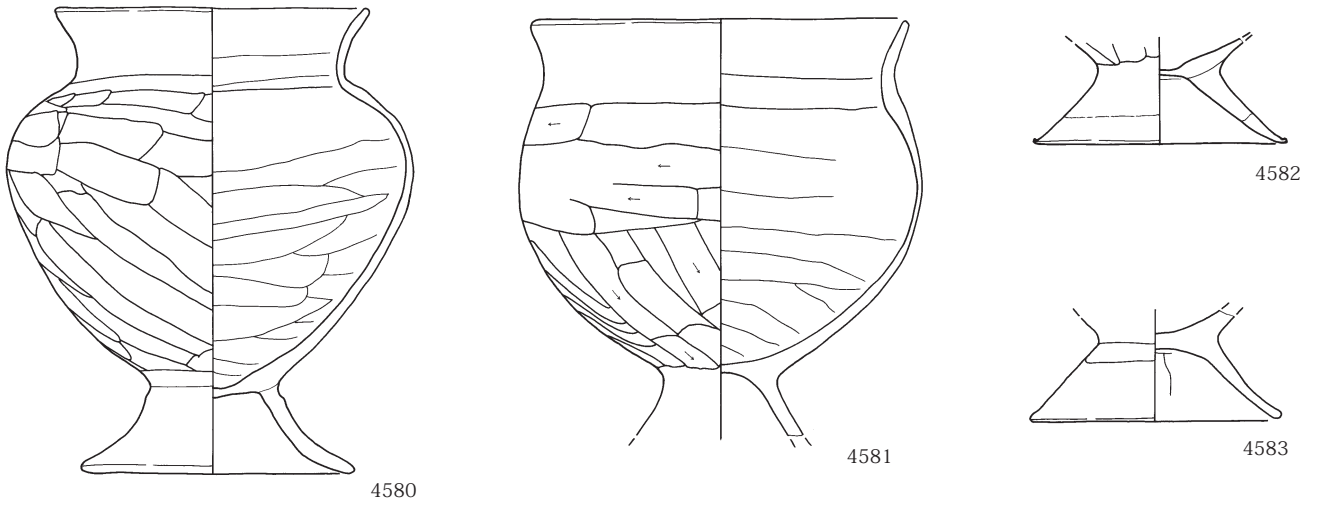
4578



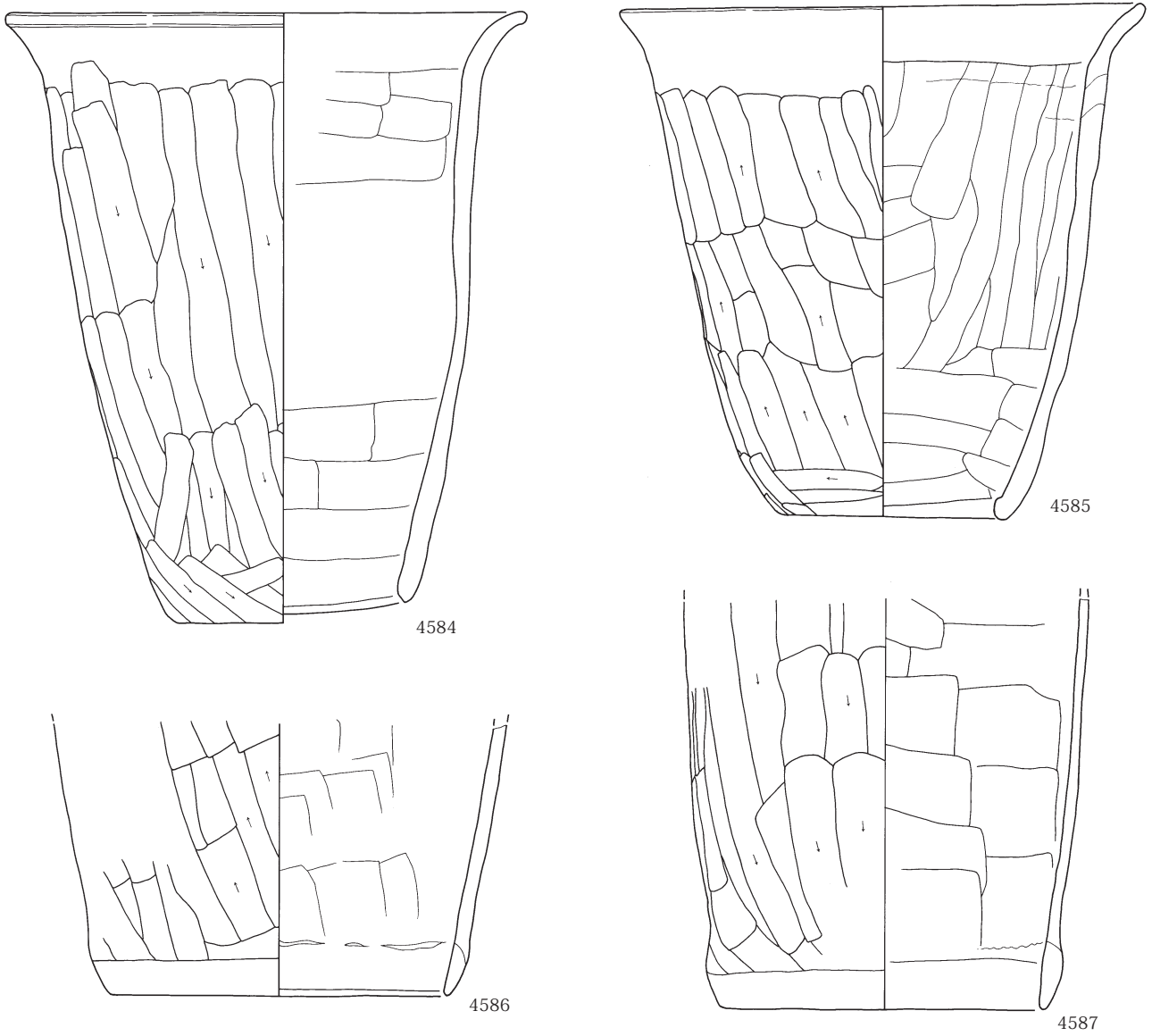
4579

第 385 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 47

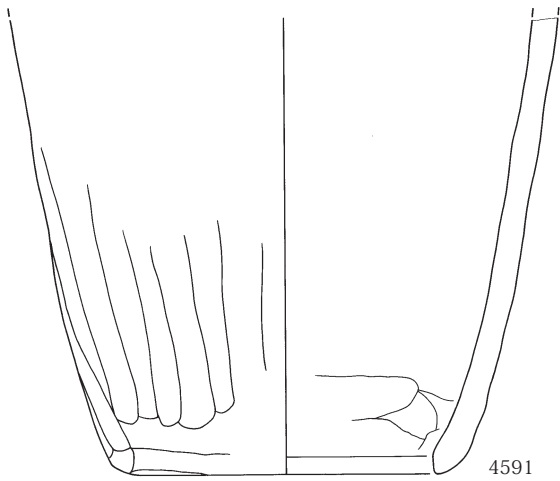
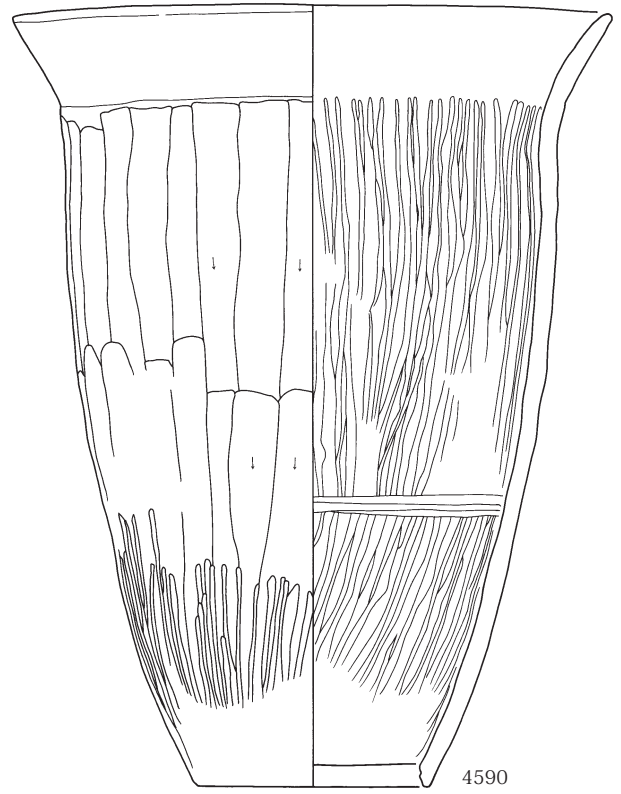
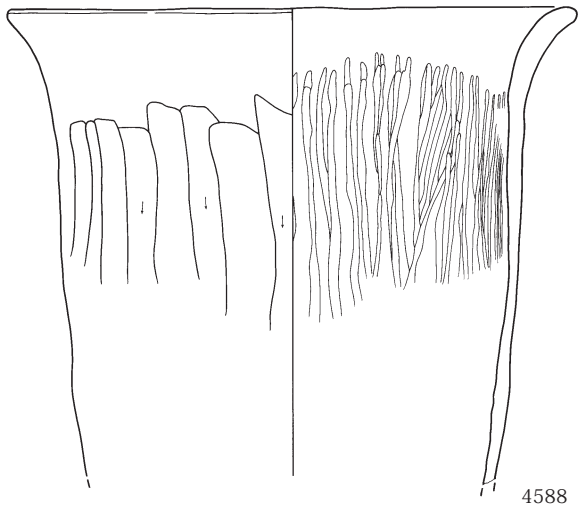
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



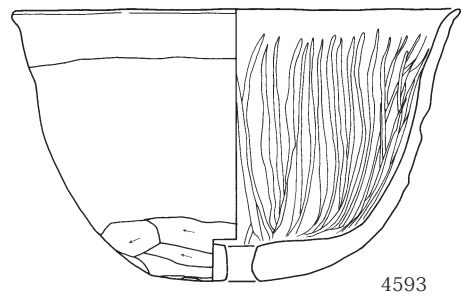
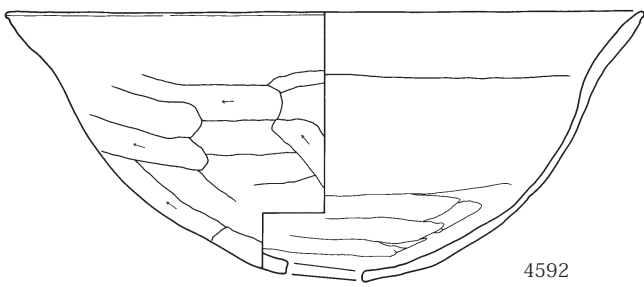
土師器VA



第 386 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 48

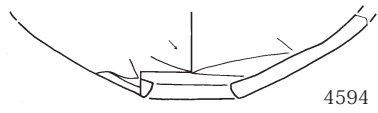


土師器VB

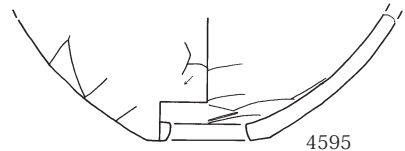


第 387 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 49

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

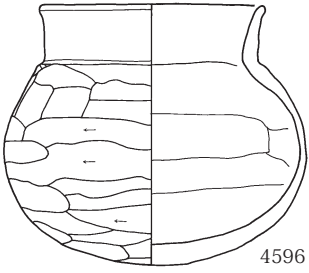


4594

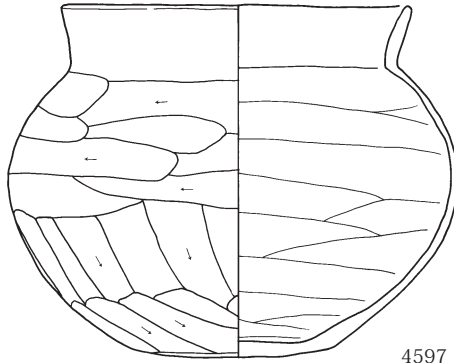


4595

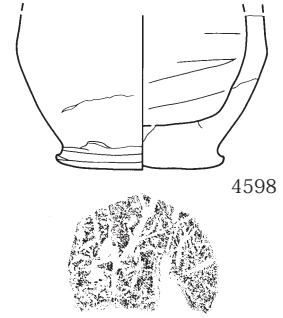
土師器Ⅵ



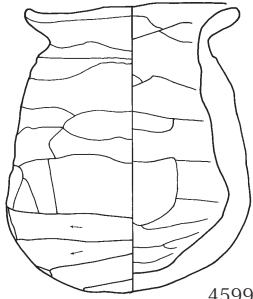
4596



4597

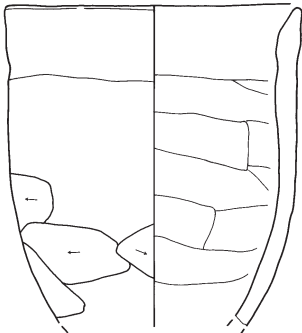


4598

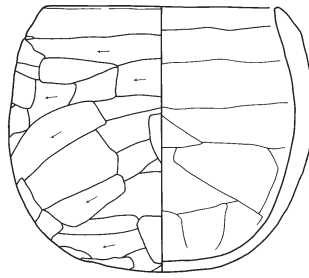


4599

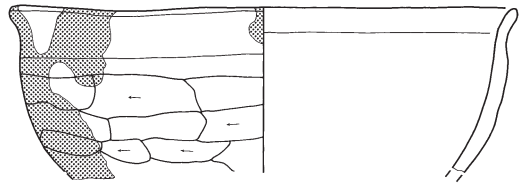
土師器ⅦA



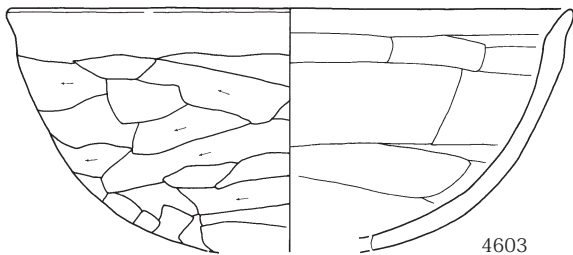
4600



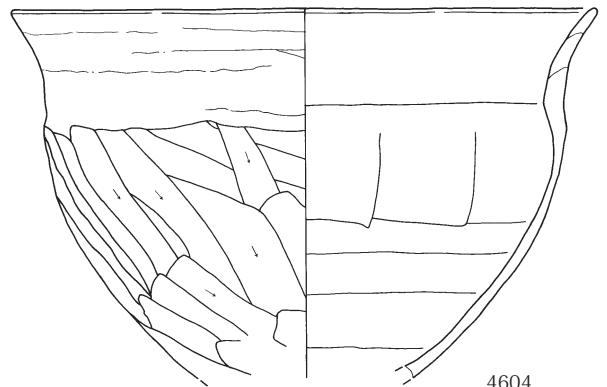
4601



4602

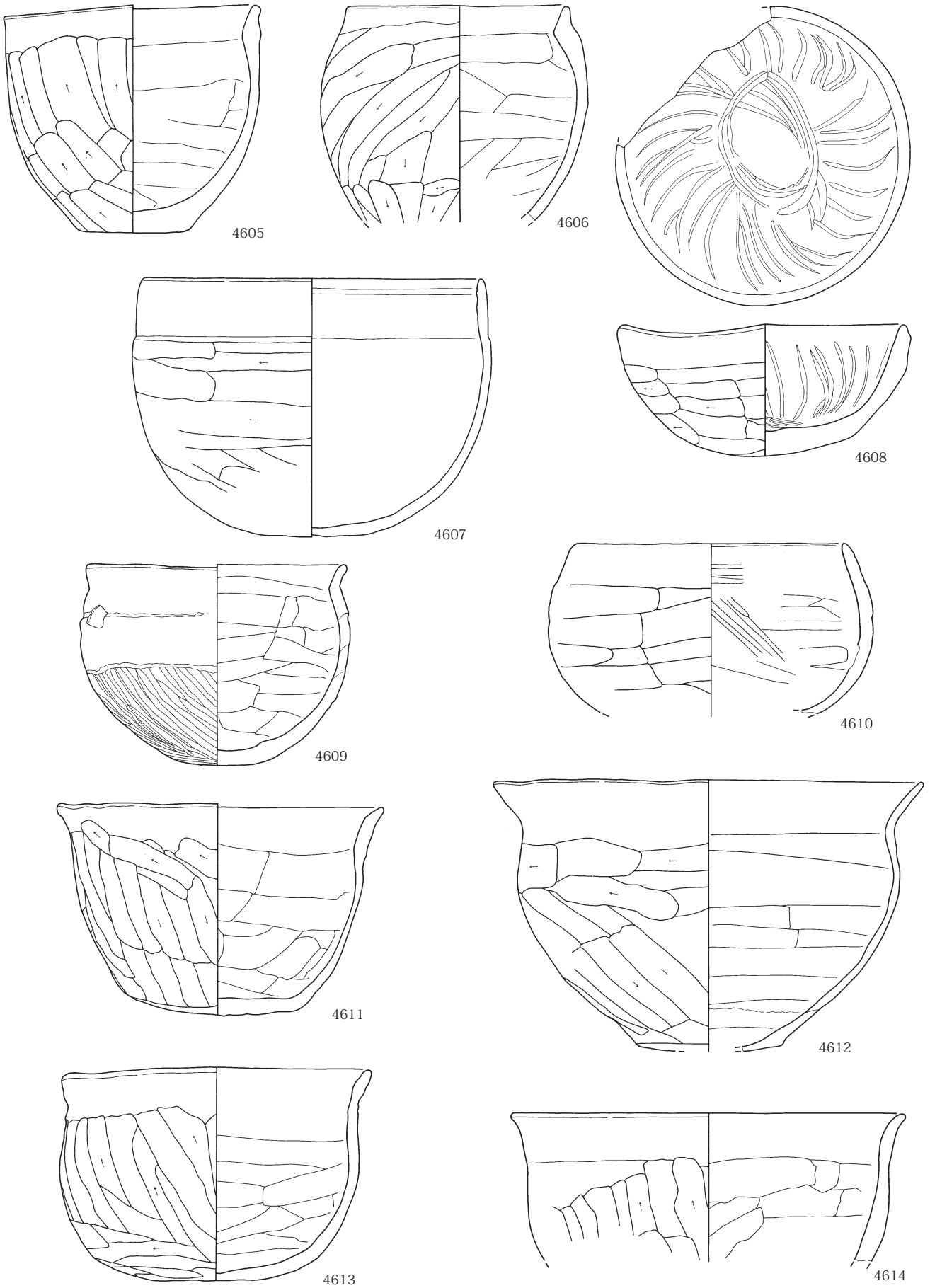


4603



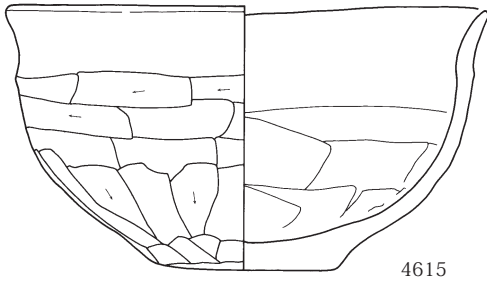
4604

第 388 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 50

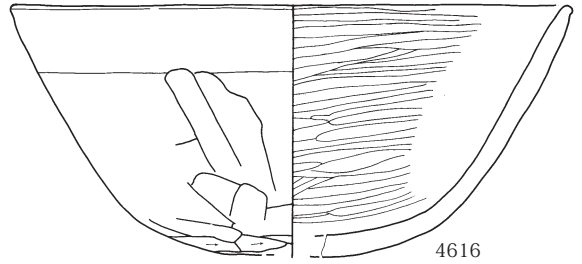


第 389 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 51

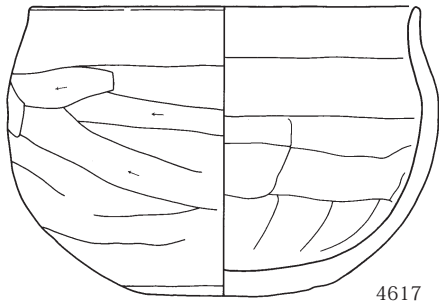
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



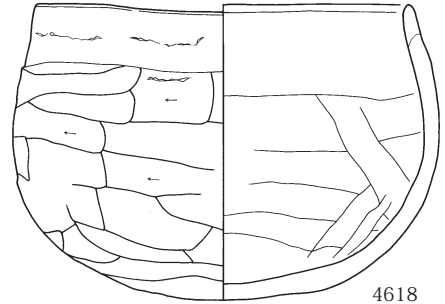
4615



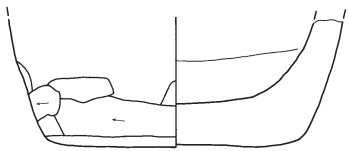
4616



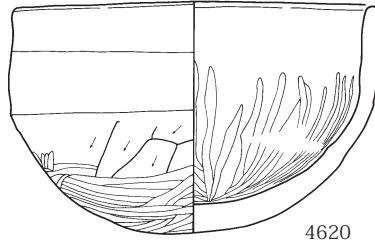
4617



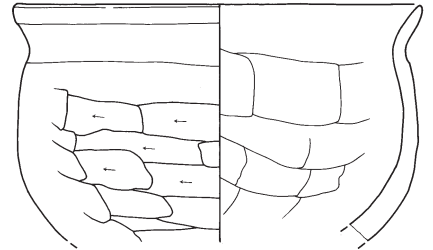
4618



4619

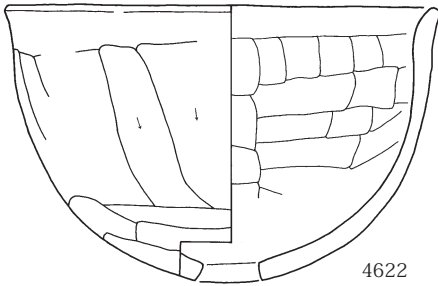


4620

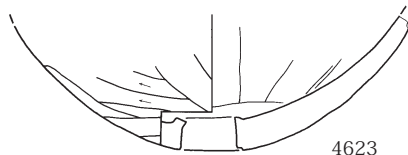


4621

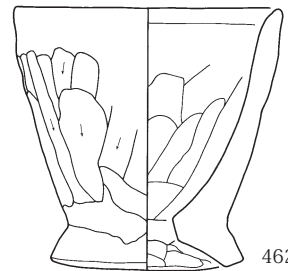
土師器 VII B



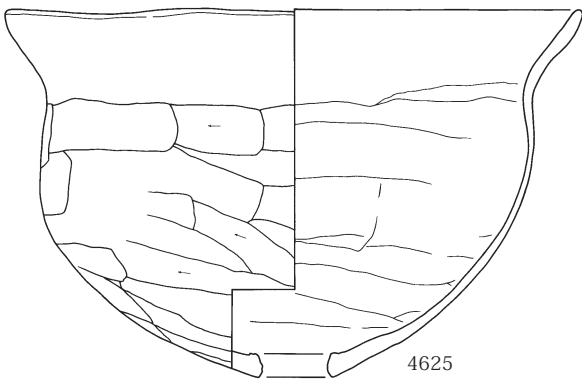
4622



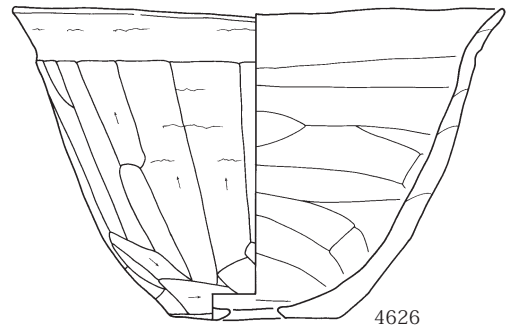
4623



4624



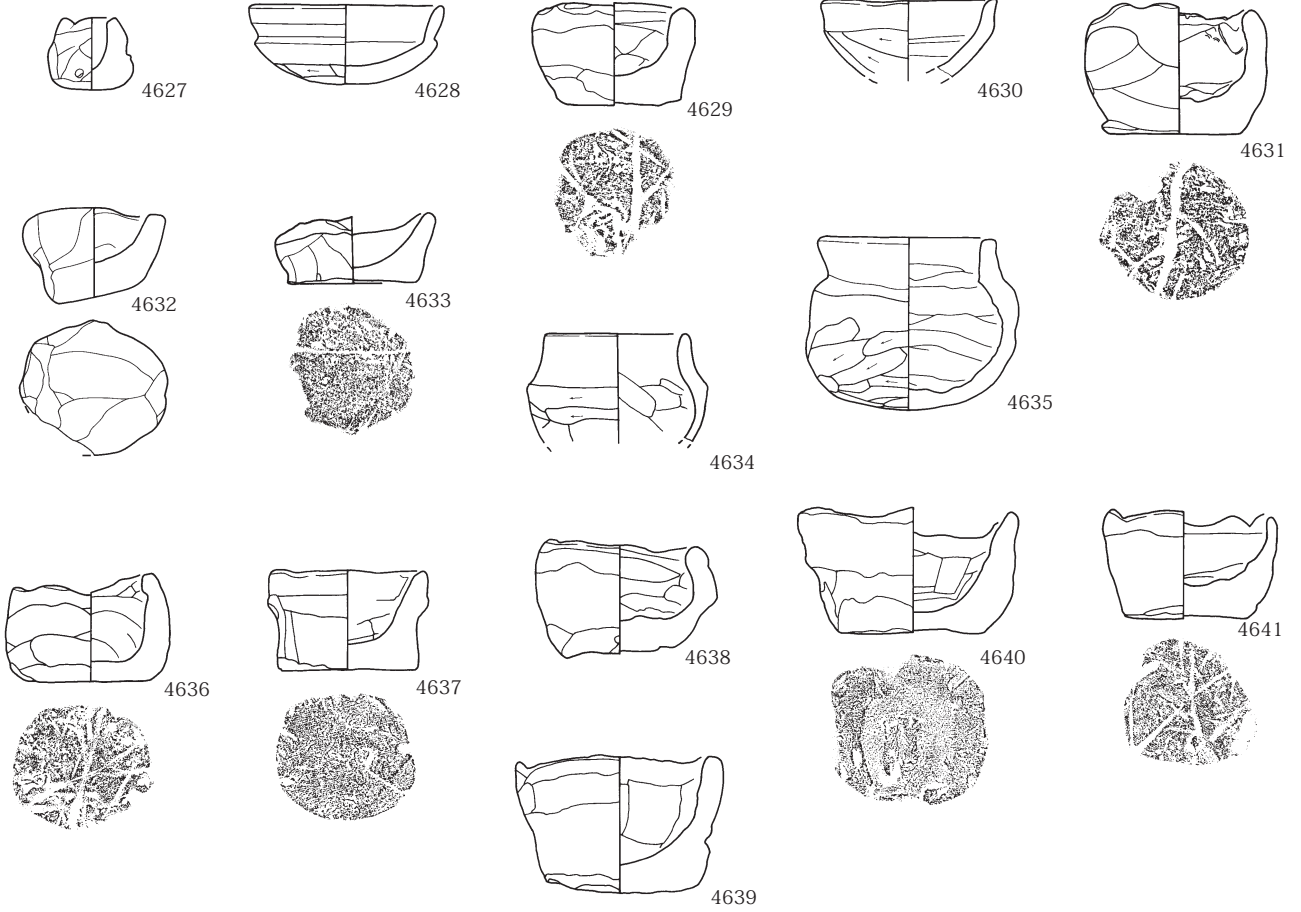
4625



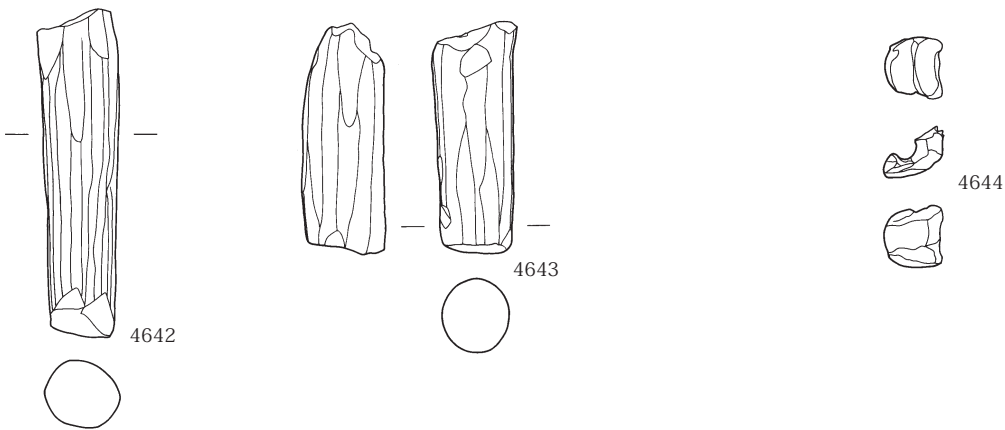
4626

第 390 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 52

土師器 VIII



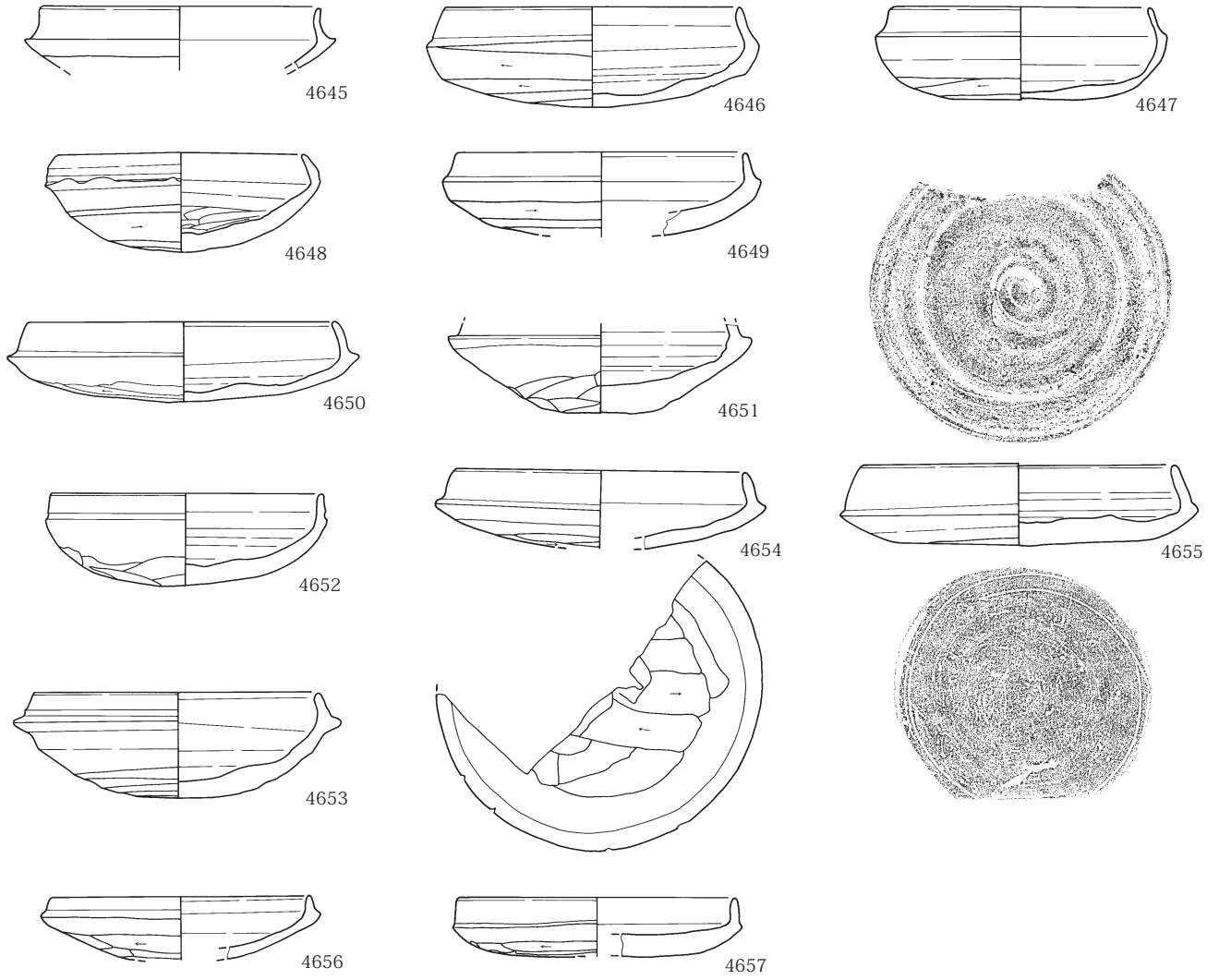
土師器 IX



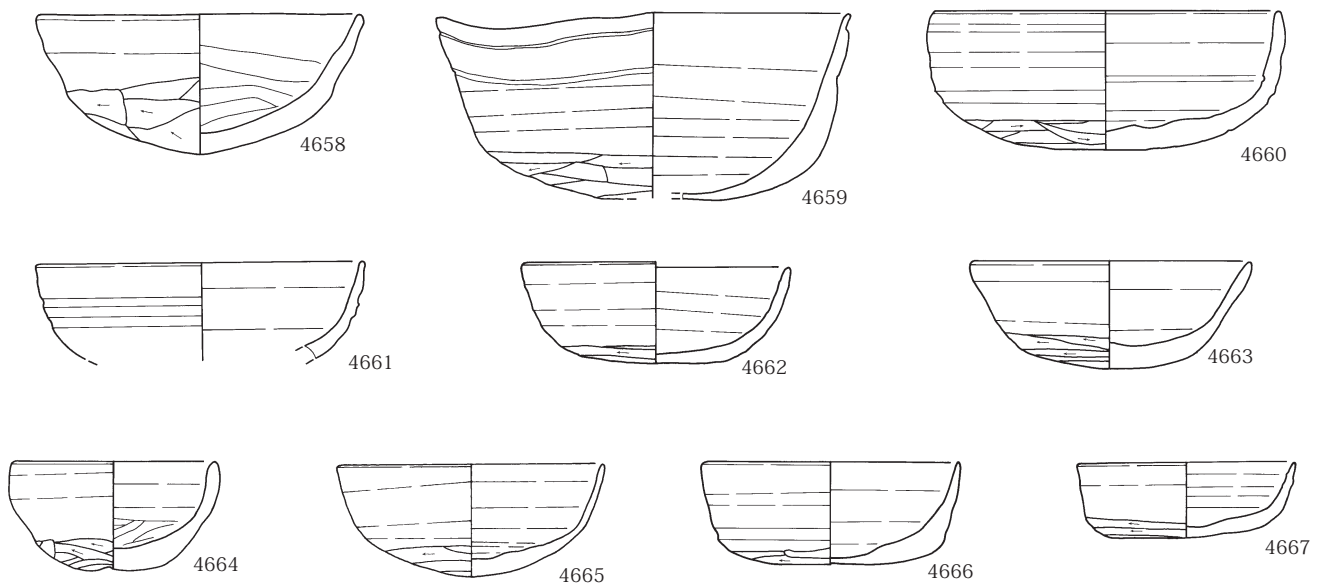
第 391 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 53

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

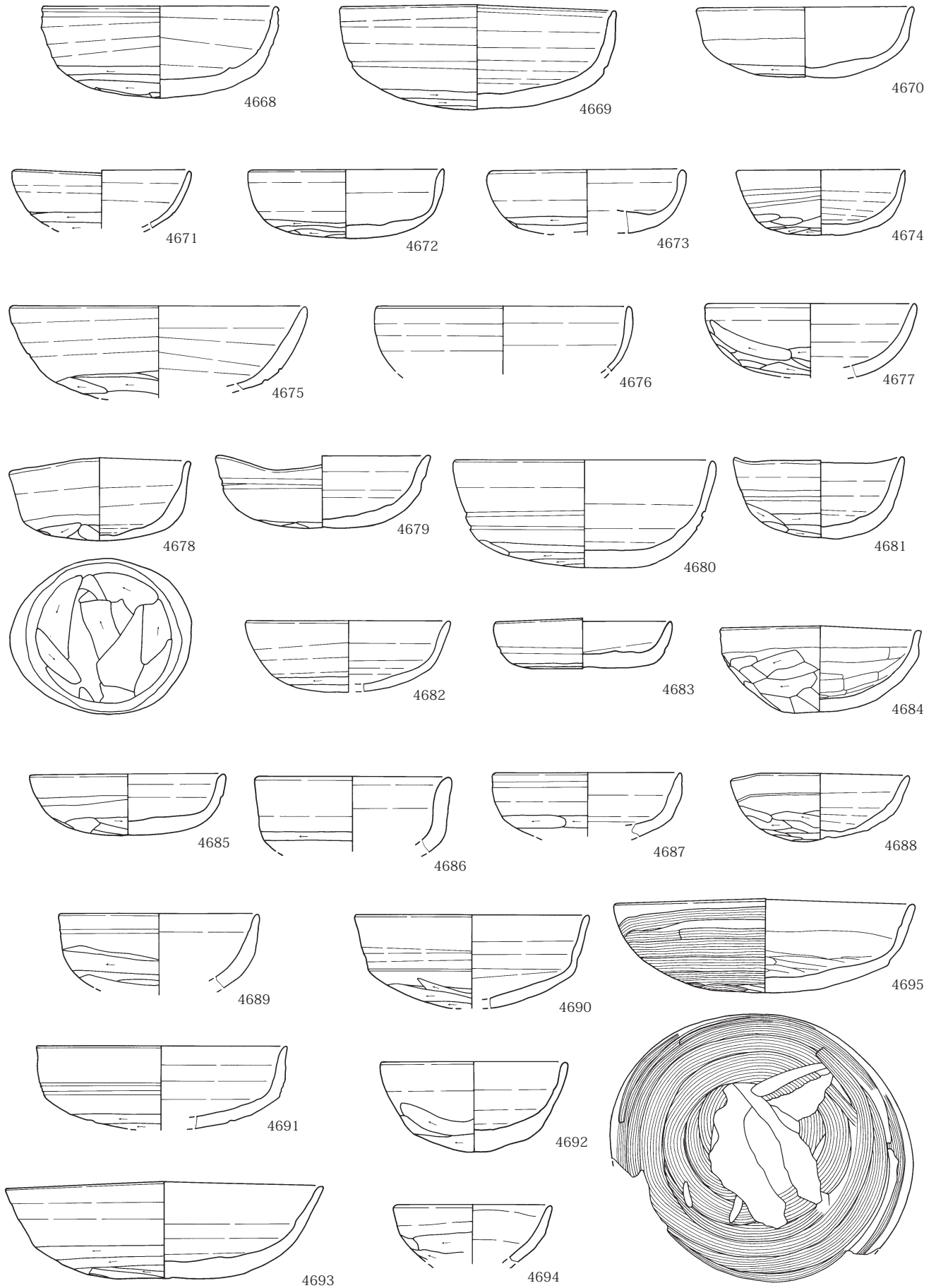
須恵器ⅠA



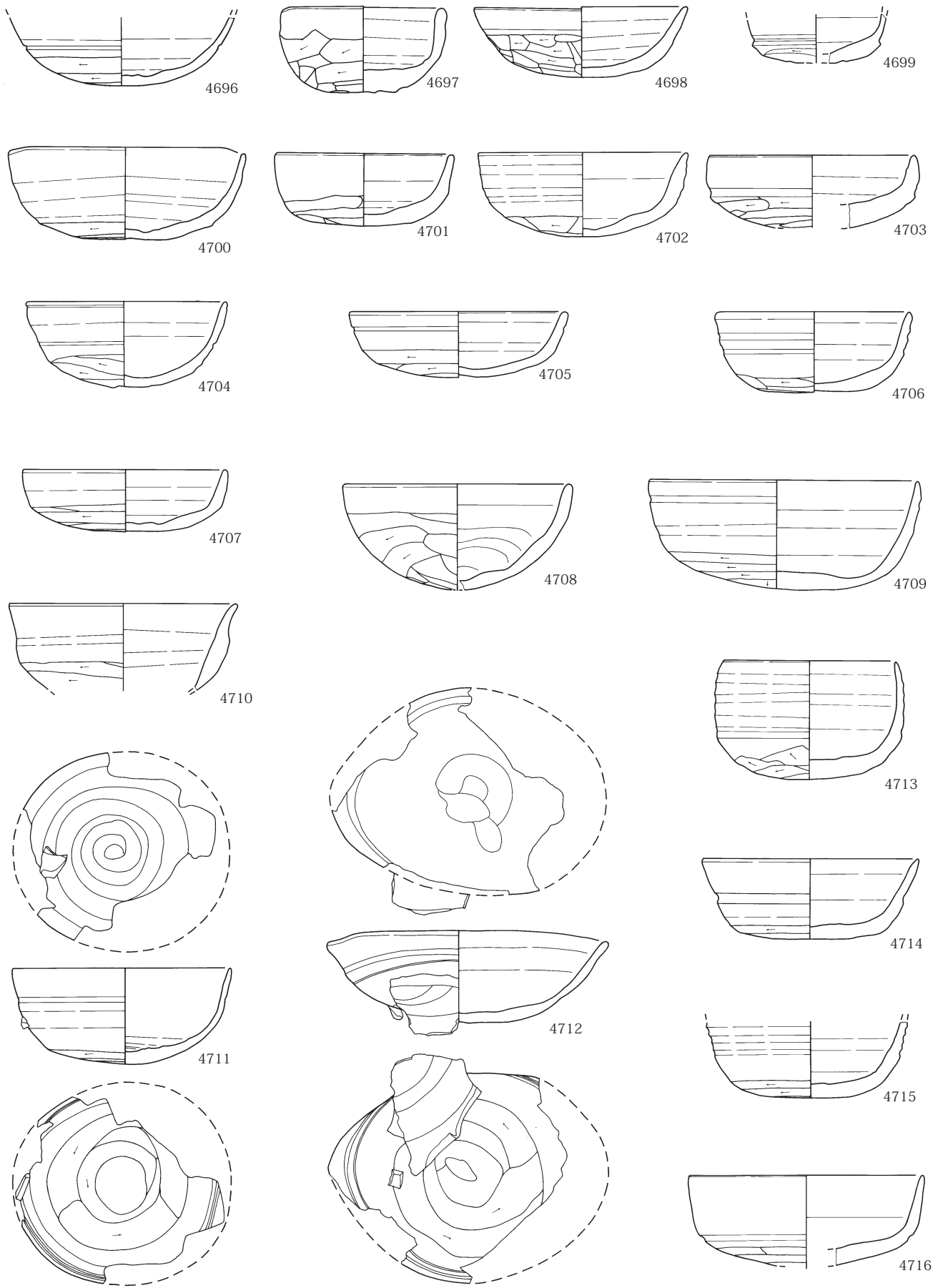
須恵器ⅠB



第 392 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 54

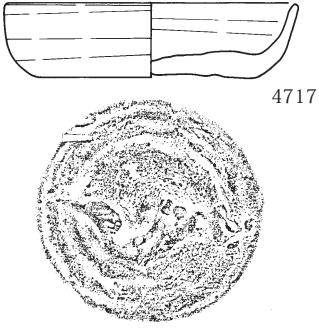


Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

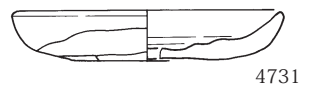
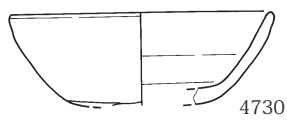
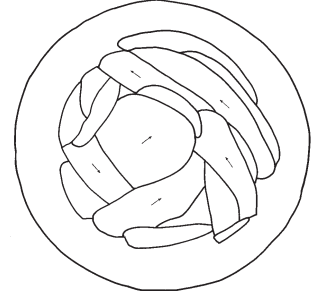
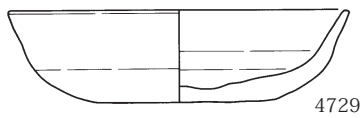
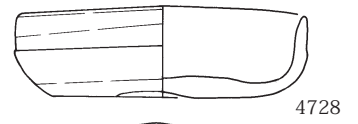
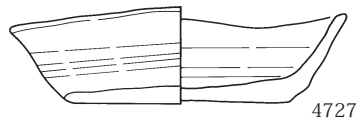
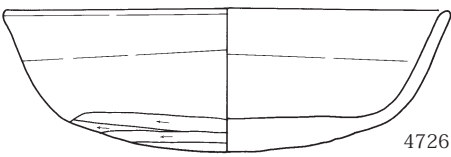
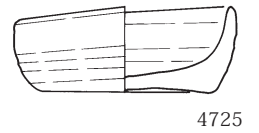
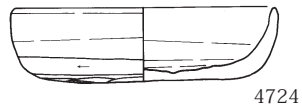
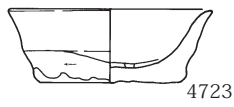
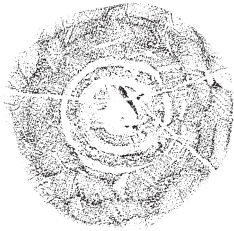
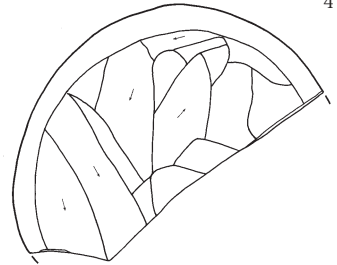
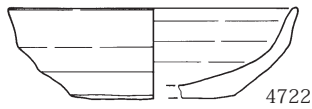
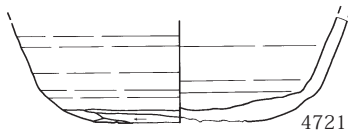
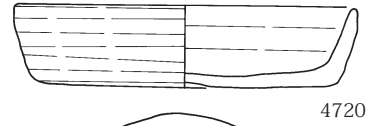
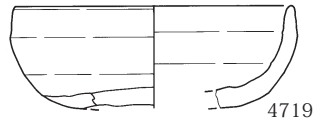
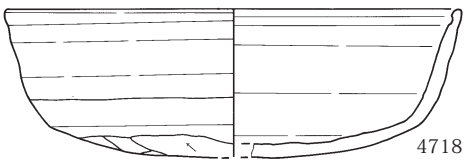


第 394 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 56

須恵器 I C 1

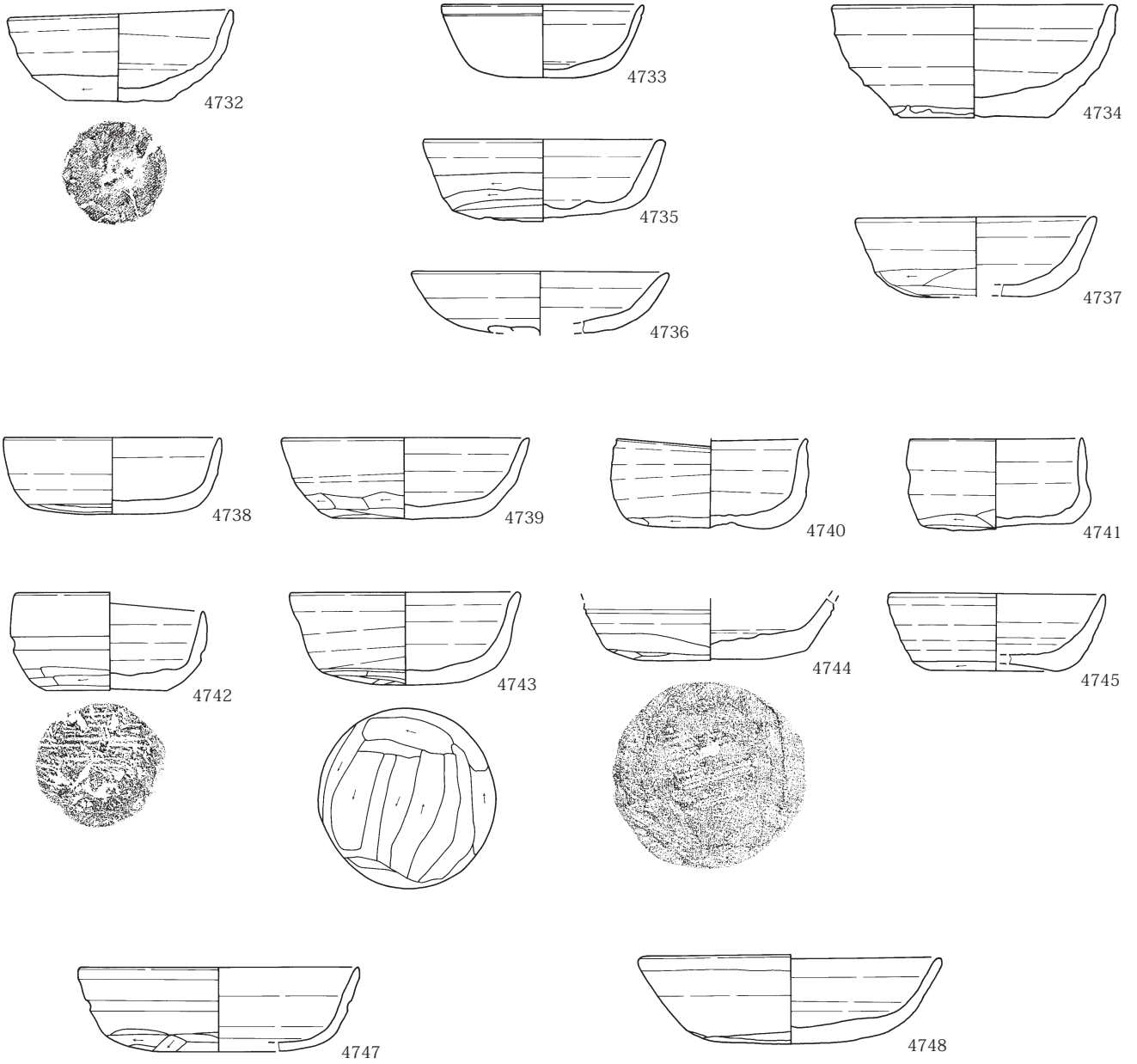


須恵器 I C 2

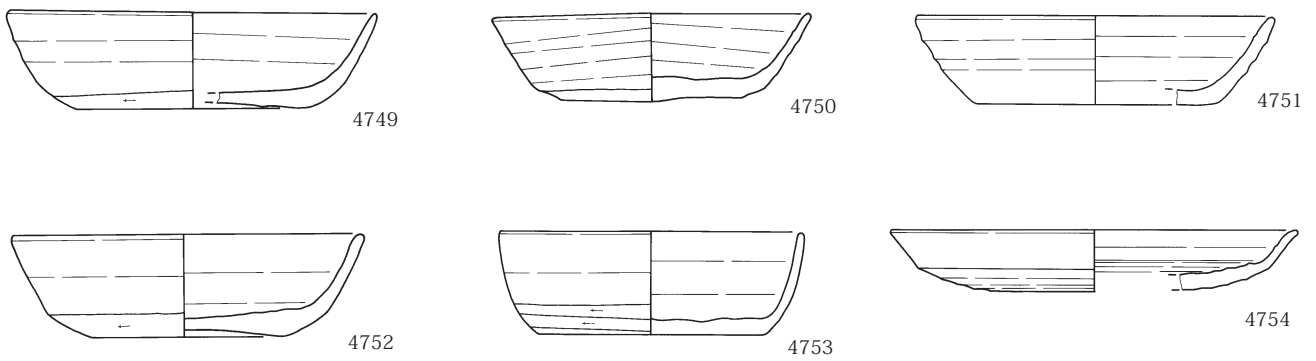


第 395 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 57

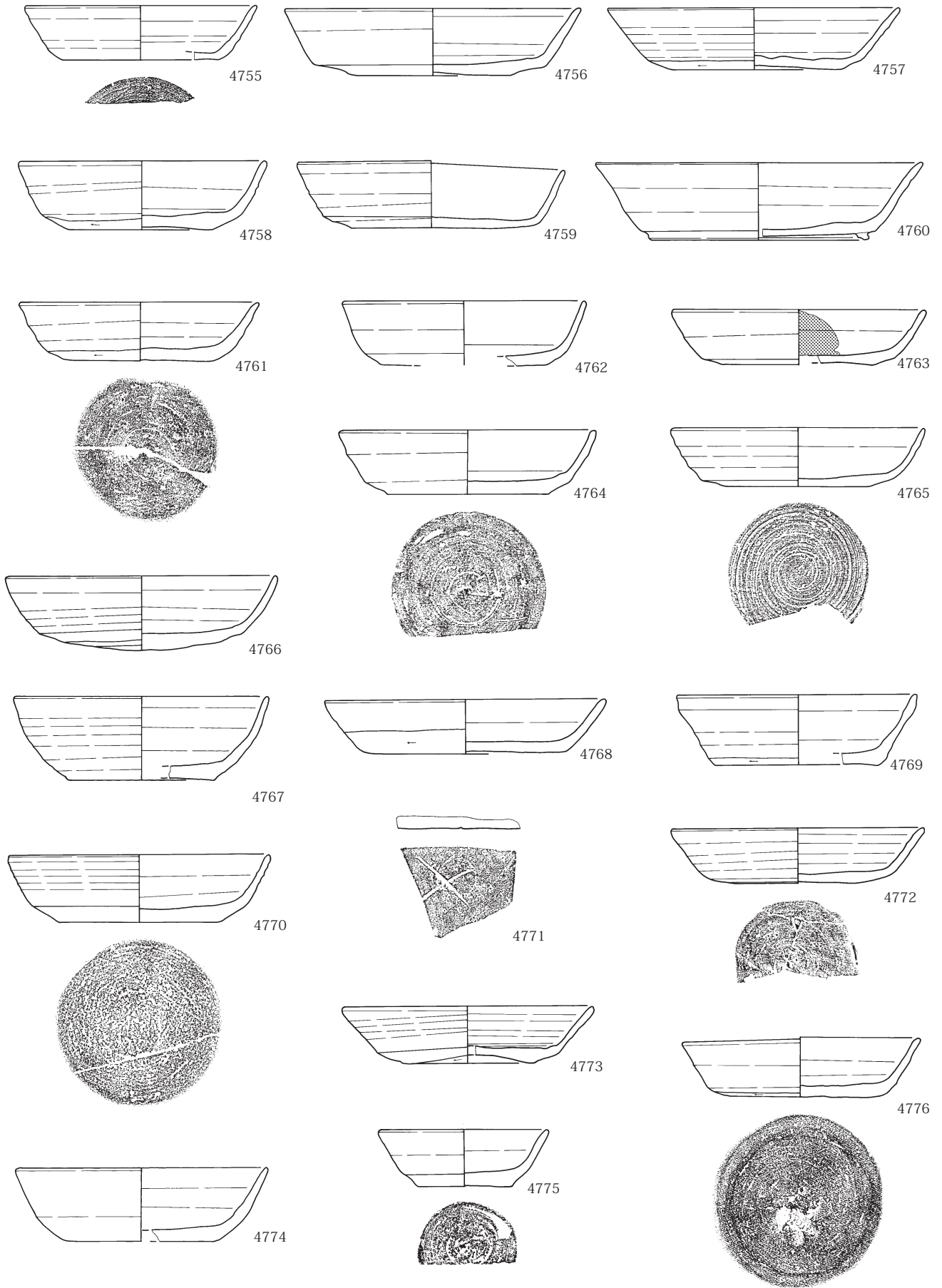
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



須恵器 I C 3

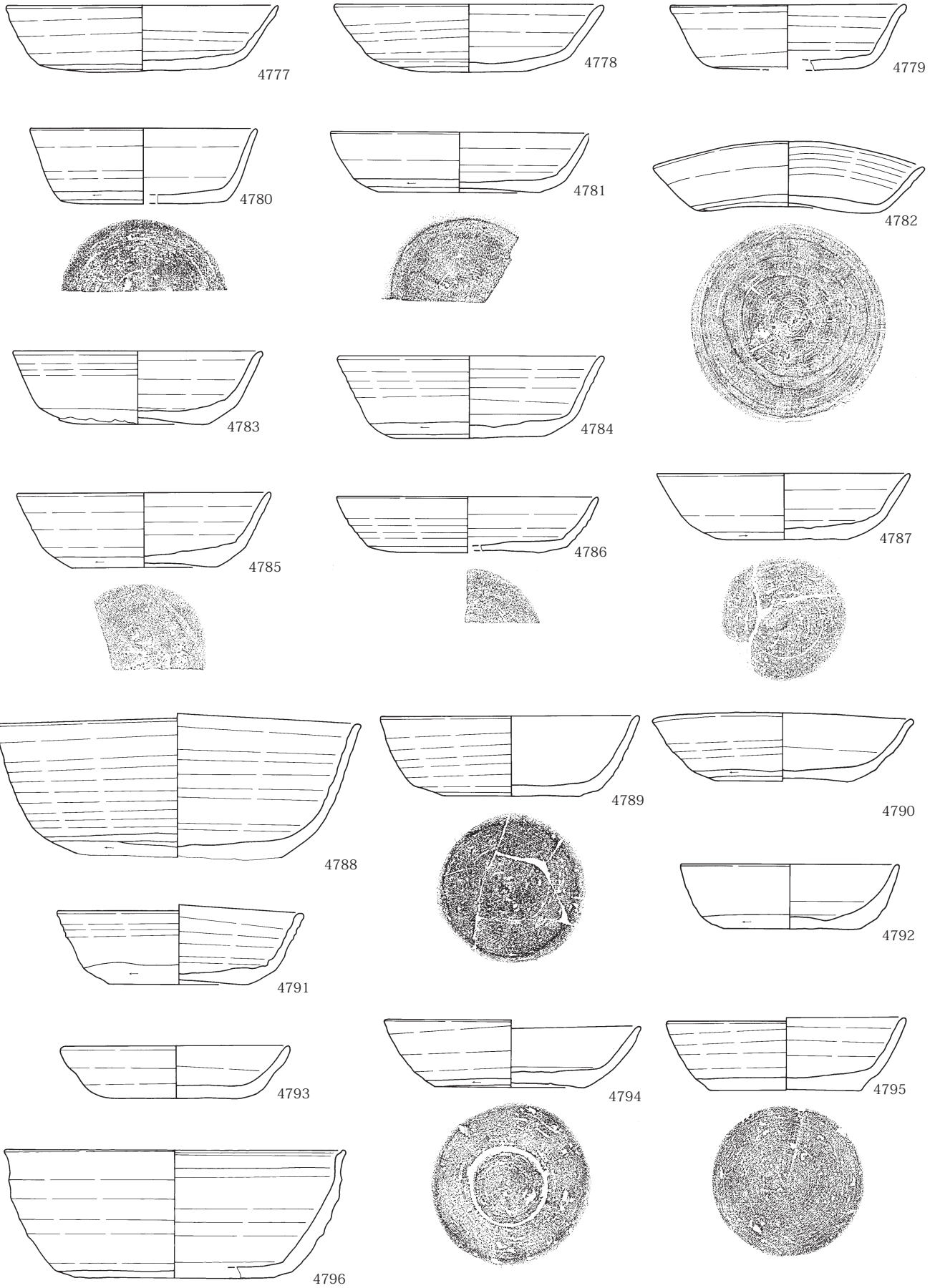


第 396 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 58



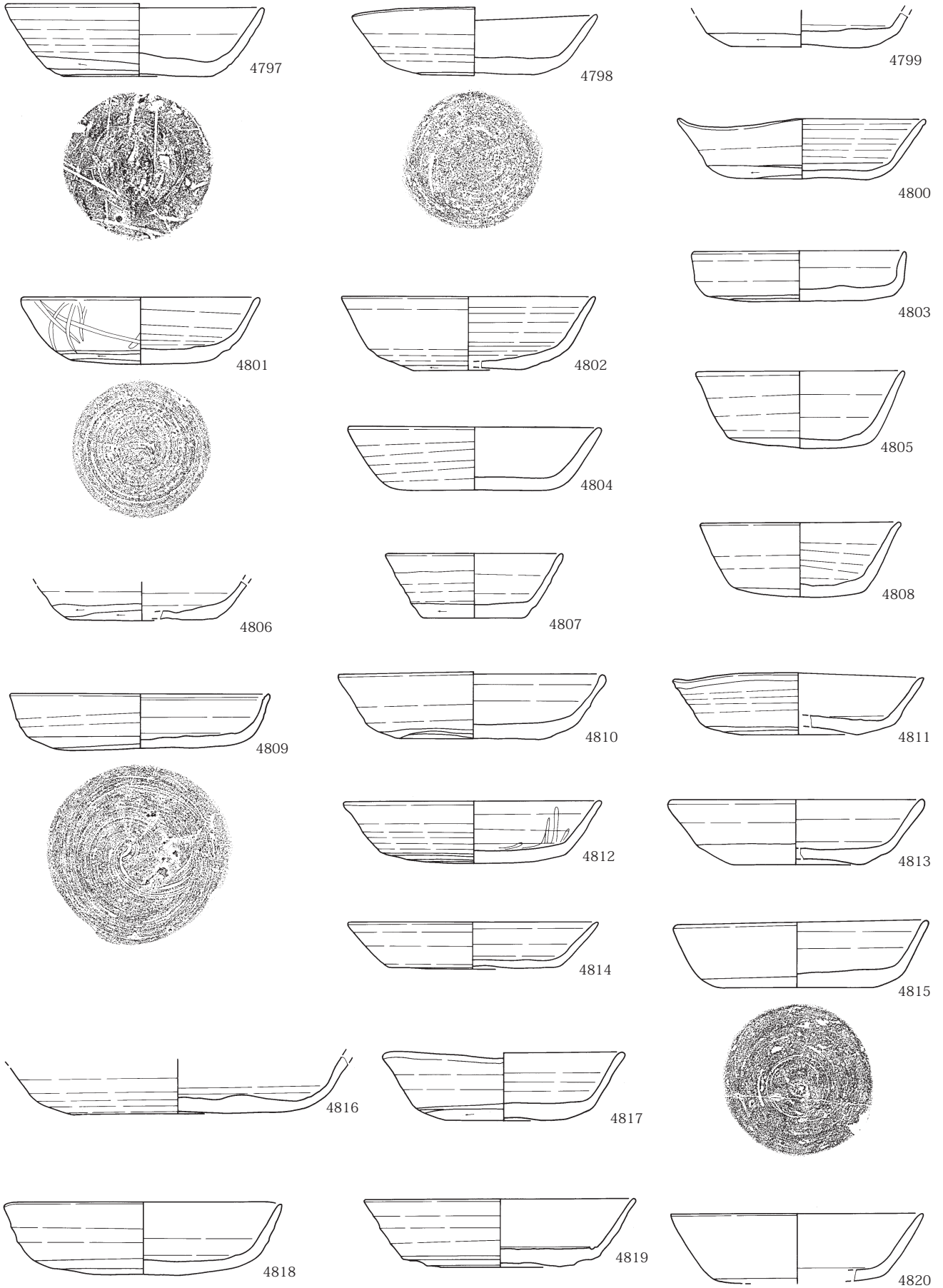
第 397 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 59

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



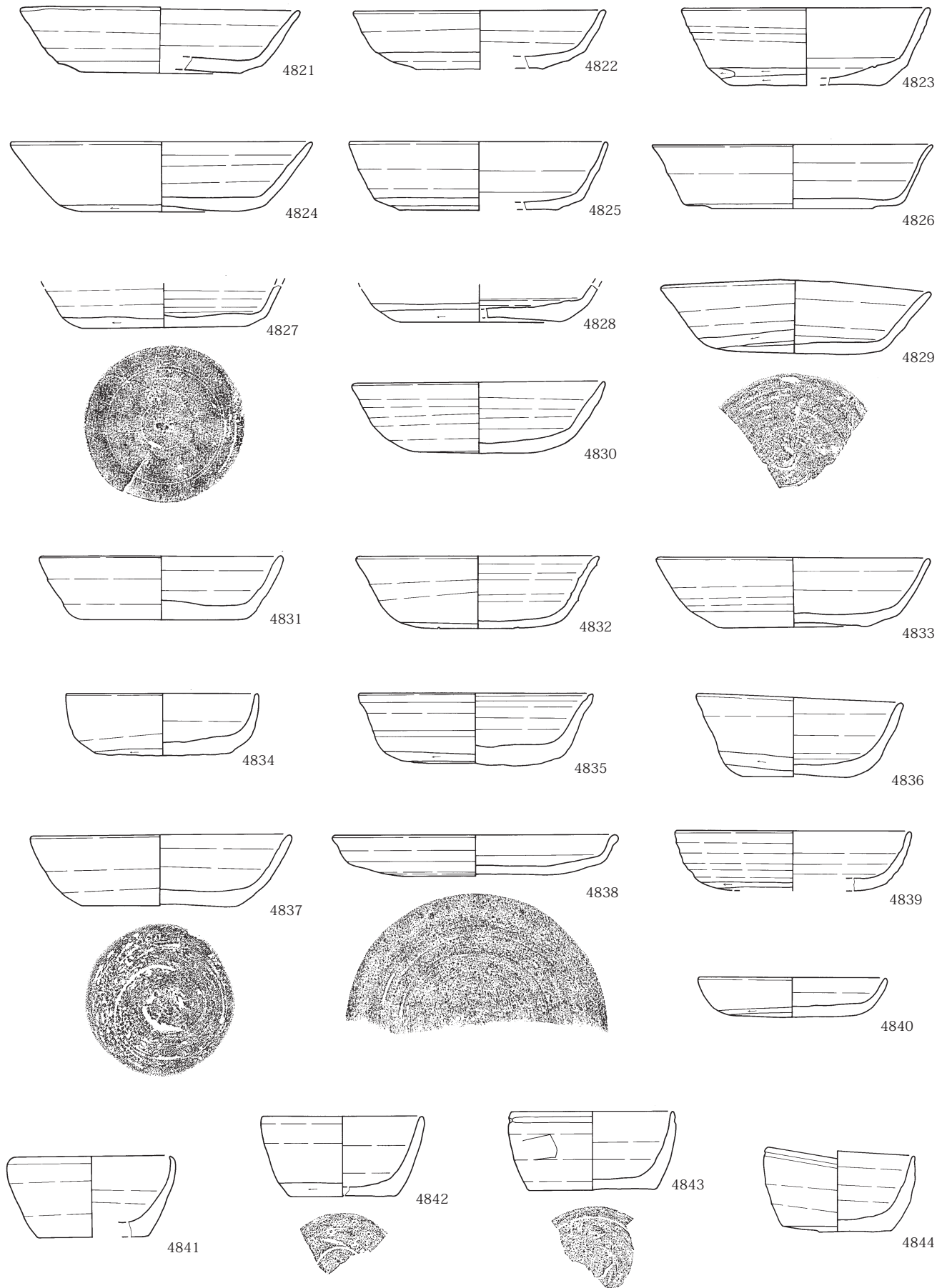
第 398 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 60

2 古墳時代後期～平安時代

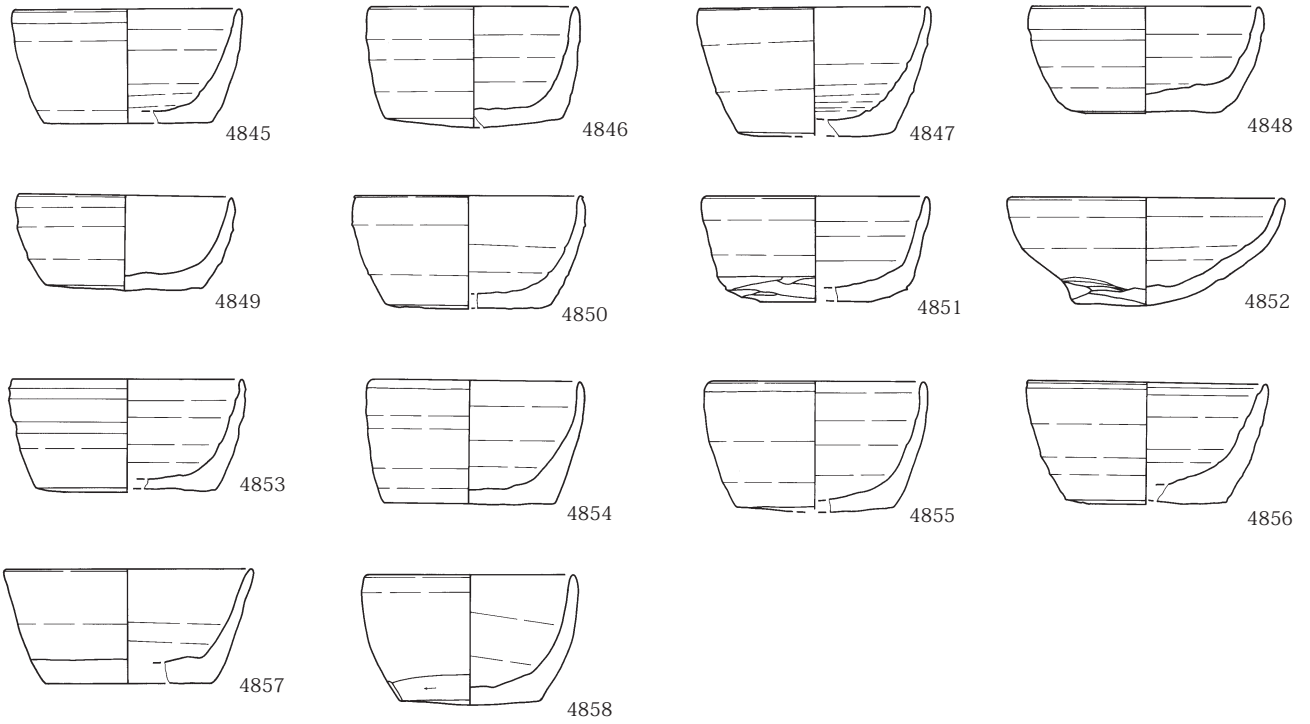


第 399 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 61

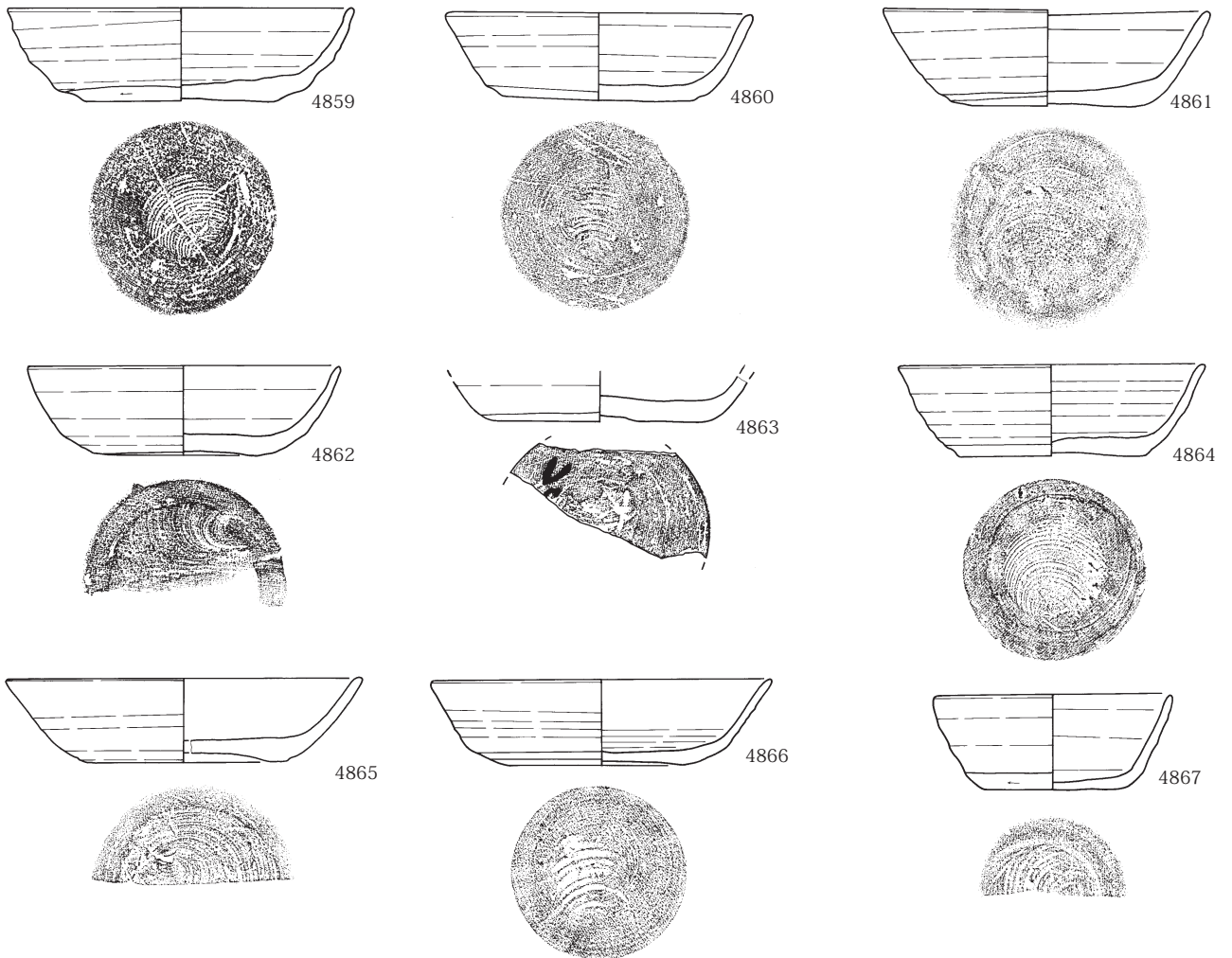
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 400 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 62

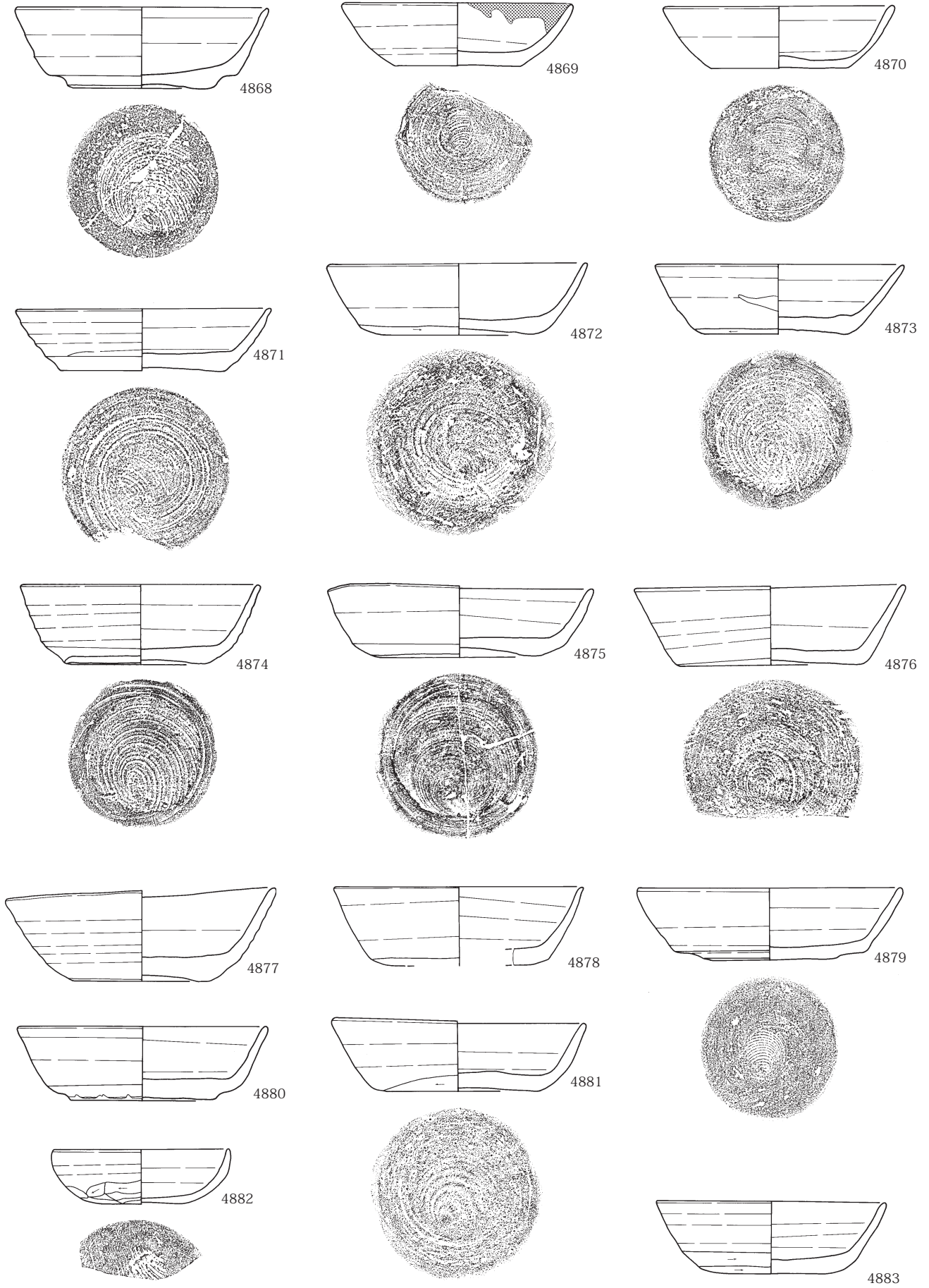


須恵器 I C 4

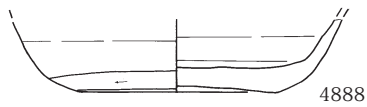
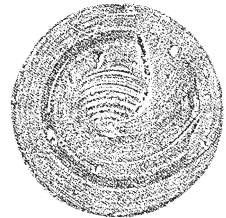
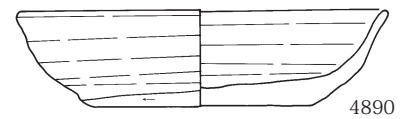
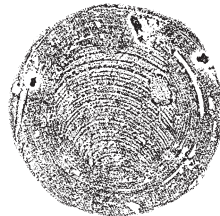
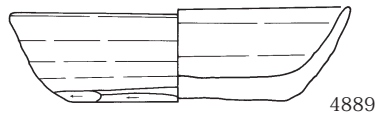
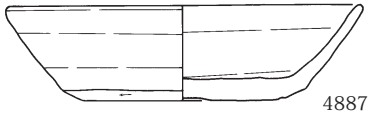
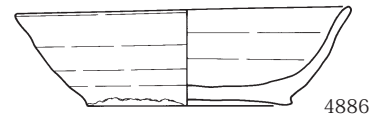
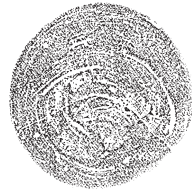
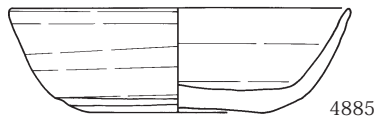
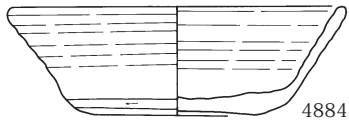


第 401 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 63

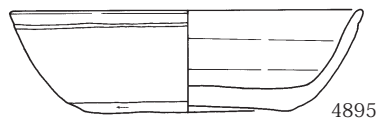
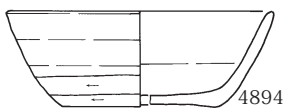
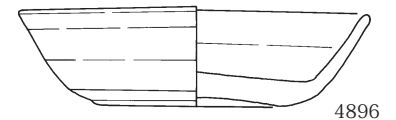
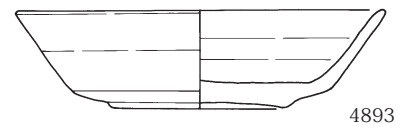
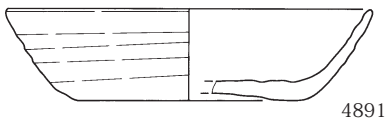
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 402 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 64

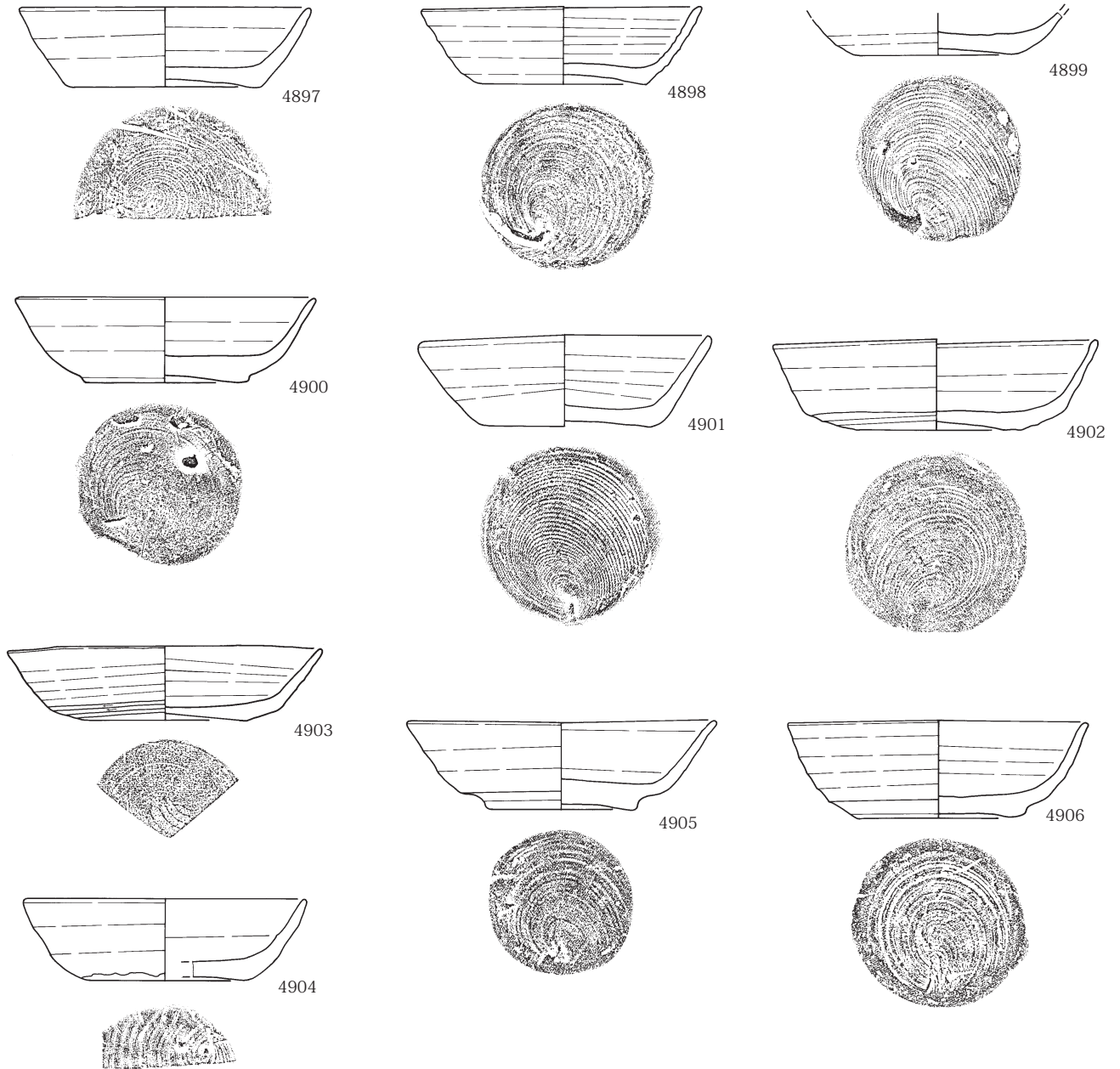


須恵器 I C 5

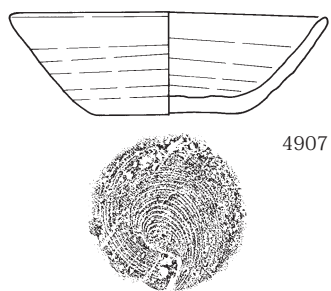


第 403 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 65

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

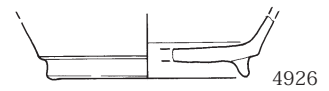
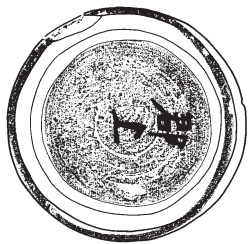
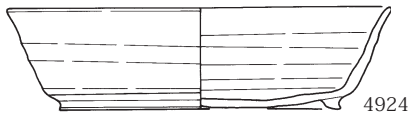
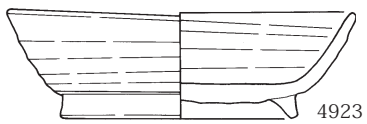
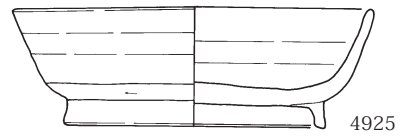
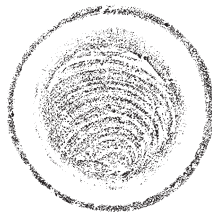
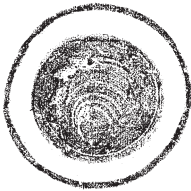
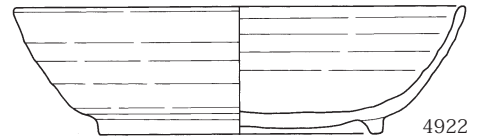
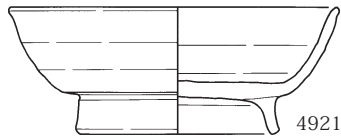
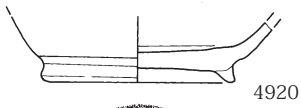
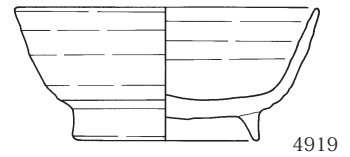
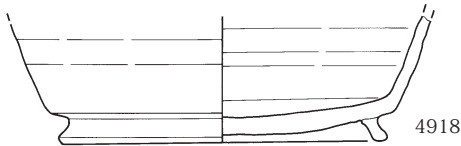
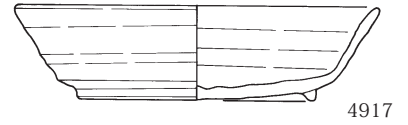
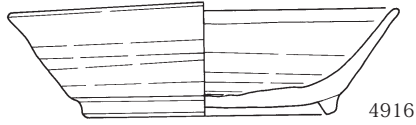
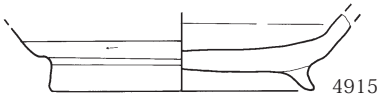
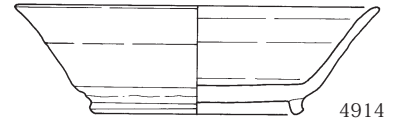
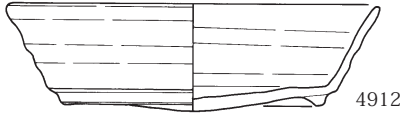
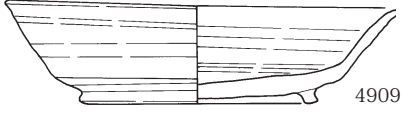
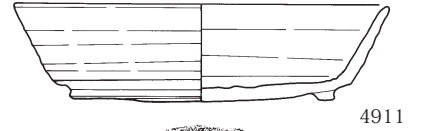
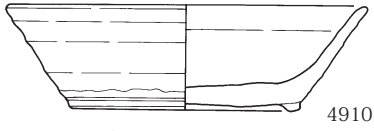
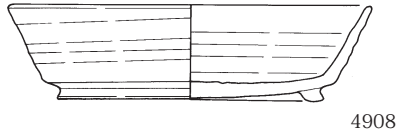


須恵器 I C 6



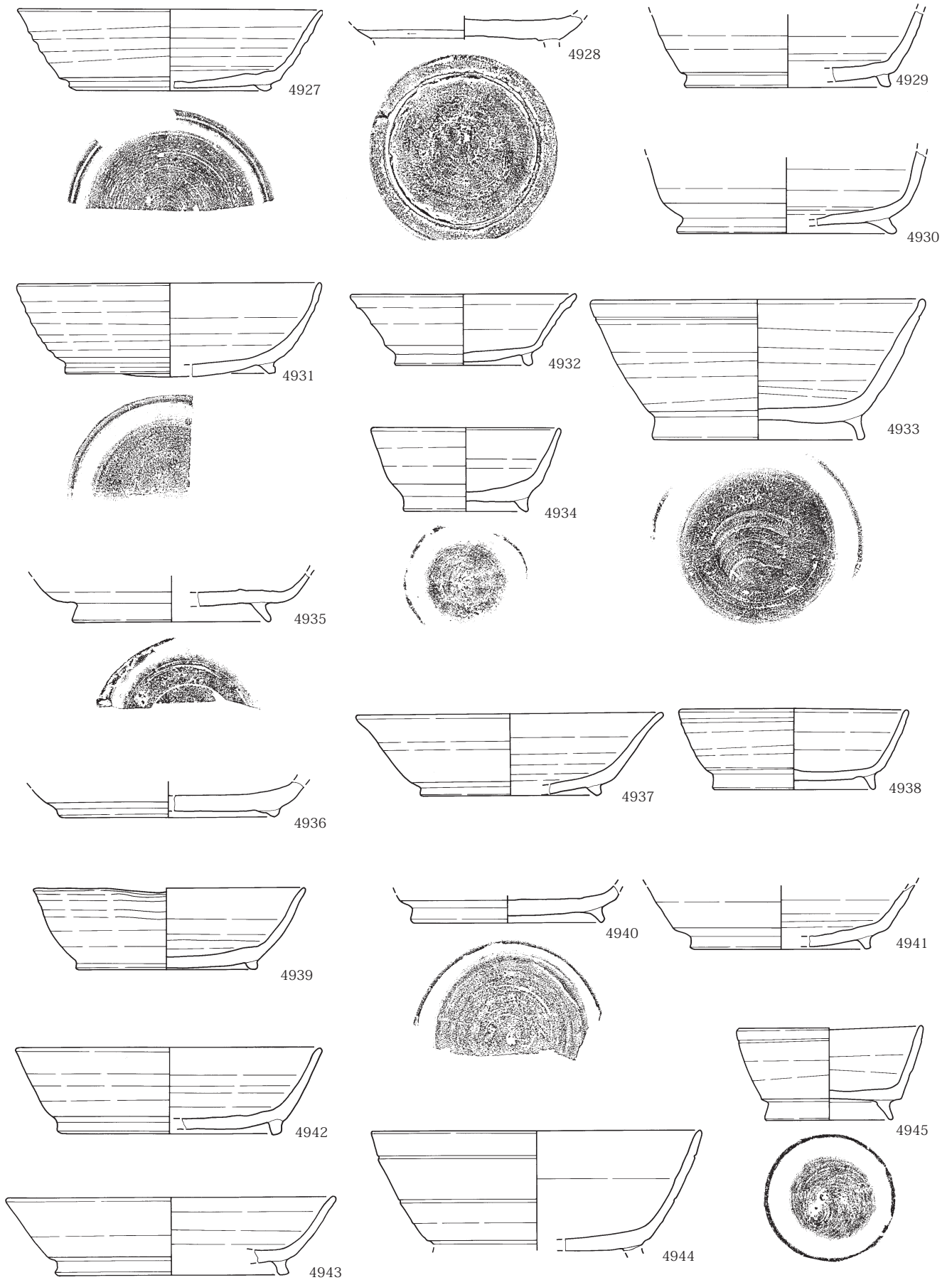
第 404 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 66

須恵器 I D 1

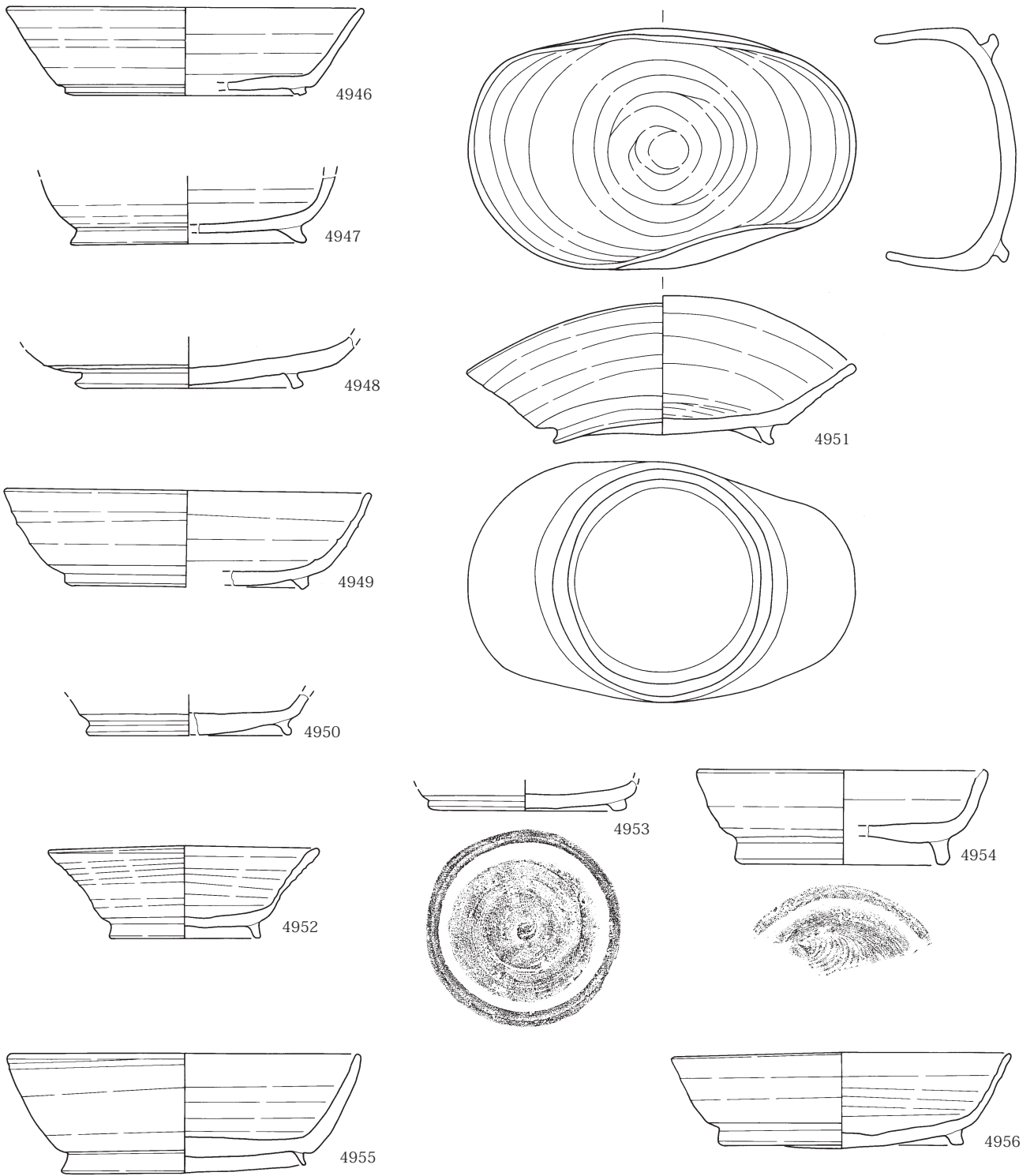


第 405 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 67

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



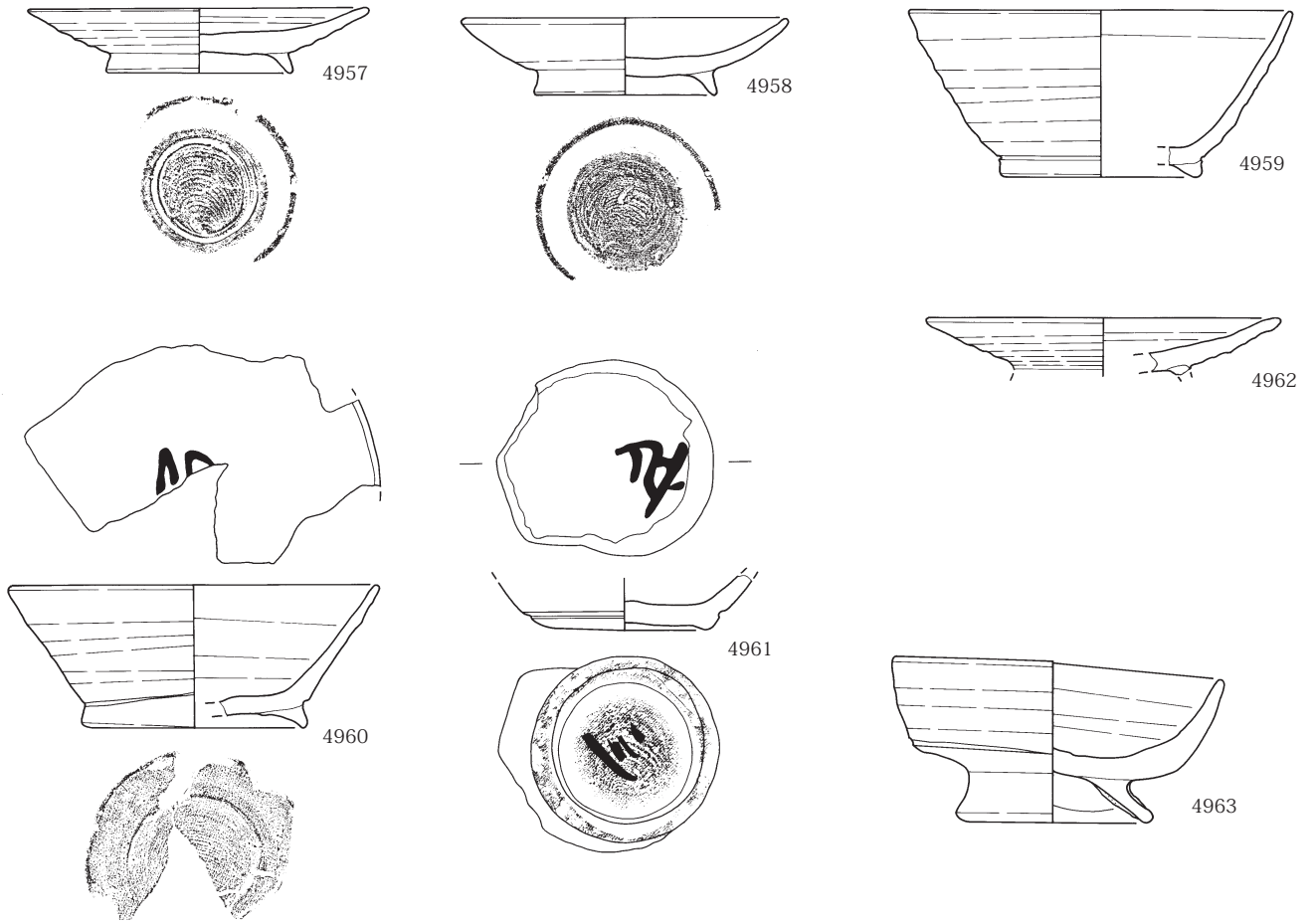
第 406 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 68



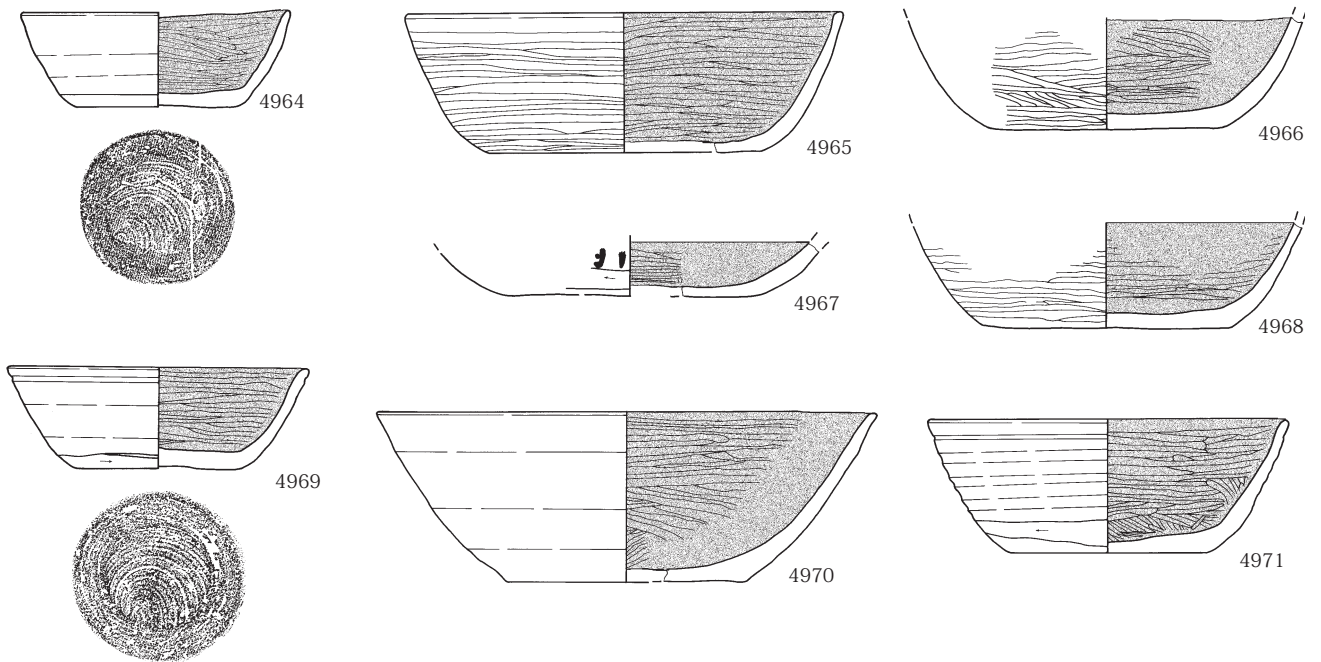
第 407 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 69

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

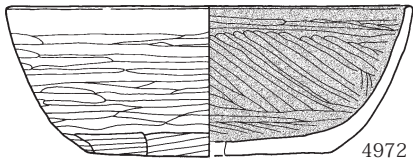
須恵器 I D 2



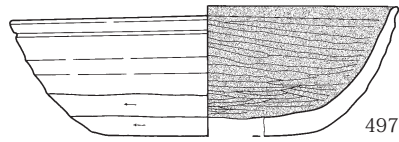
須恵器 I E



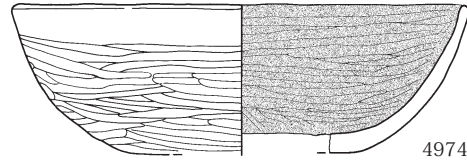
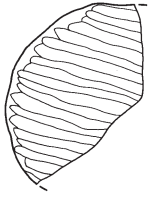
第 408 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 70



4972

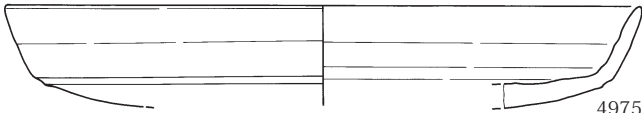


4973

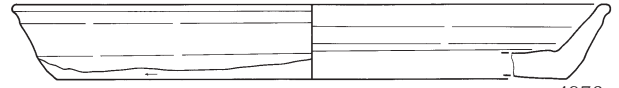


4974

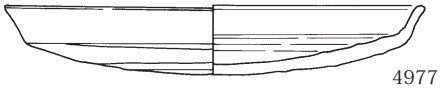
須恵器 I F



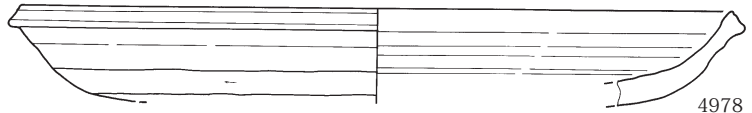
4975



4976



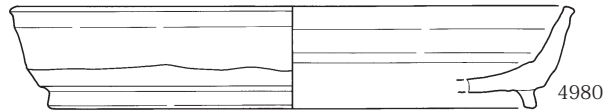
4977



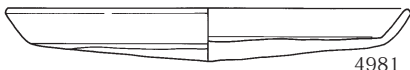
4978



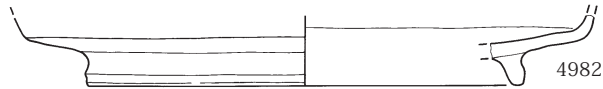
4979



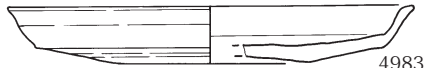
4980



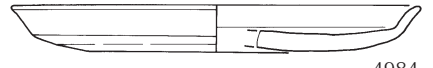
4981



4982



4983



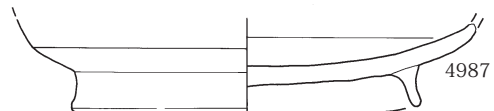
4984



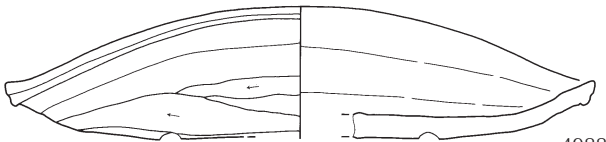
4985



4986



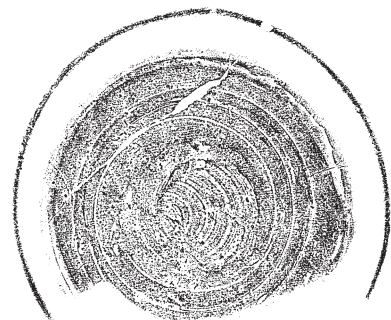
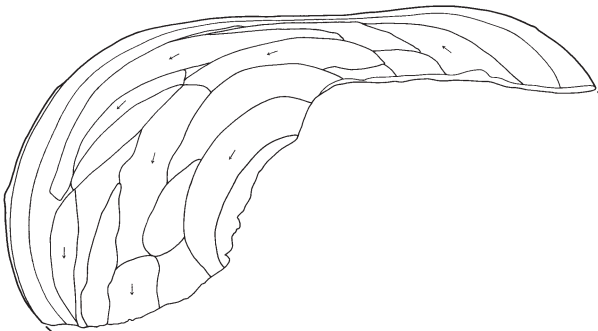
4987



4988



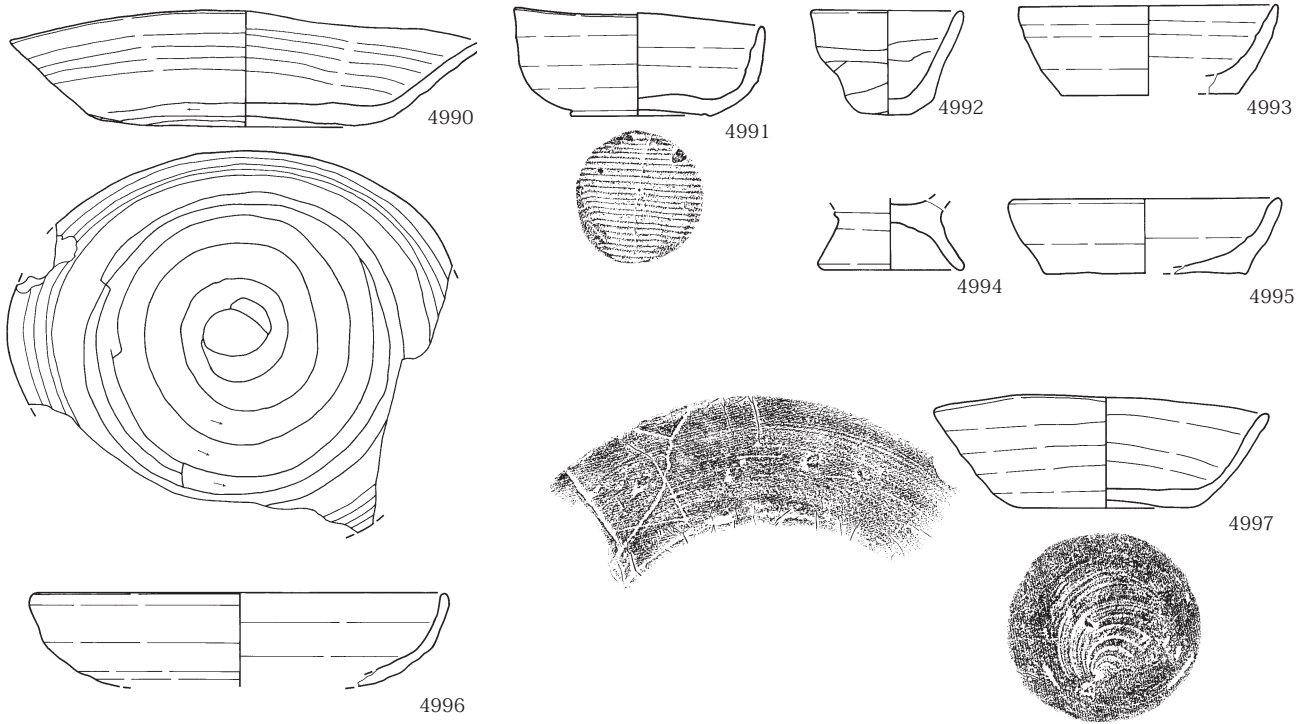
4989



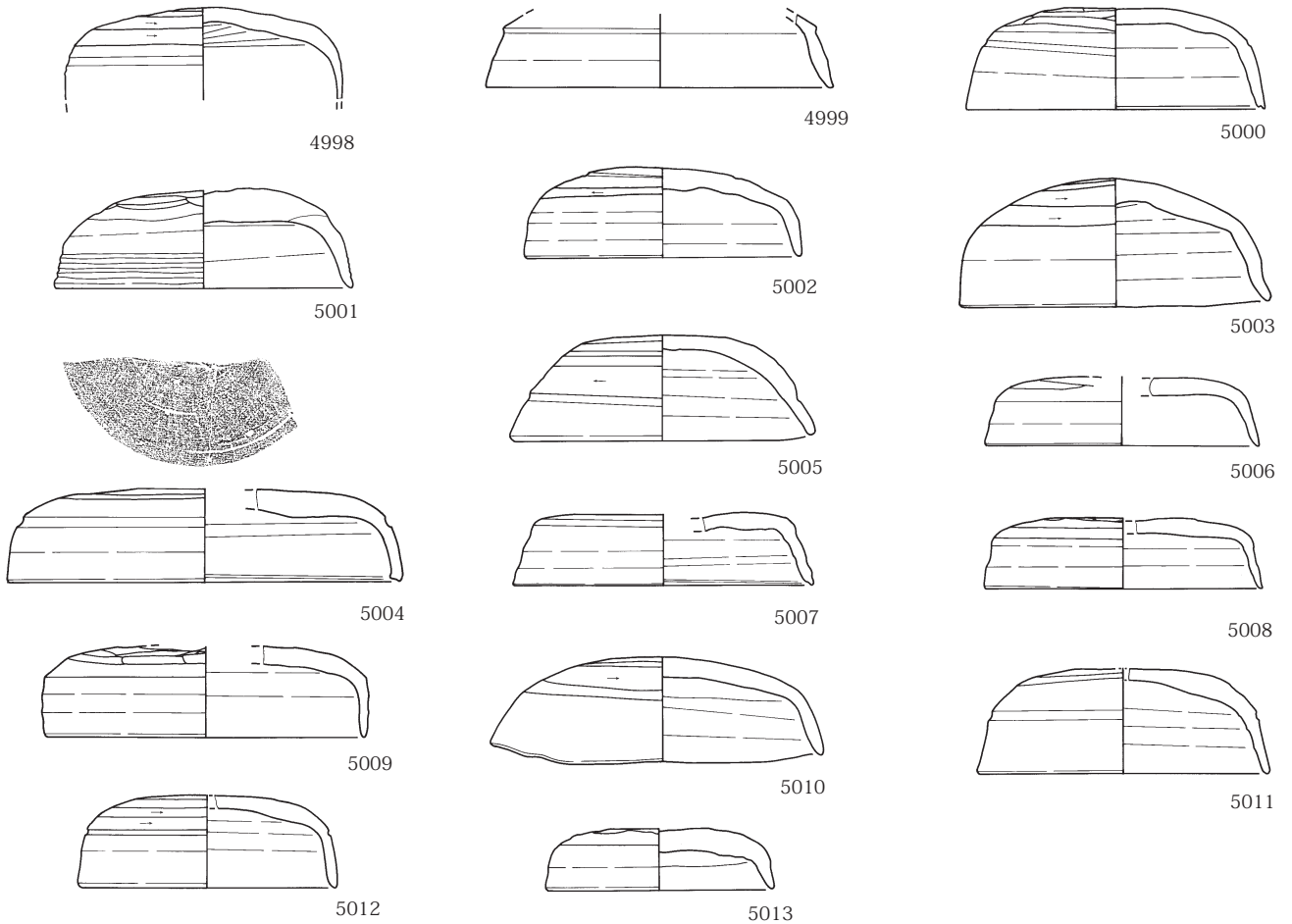
第 409 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 71

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

須恵器 I G

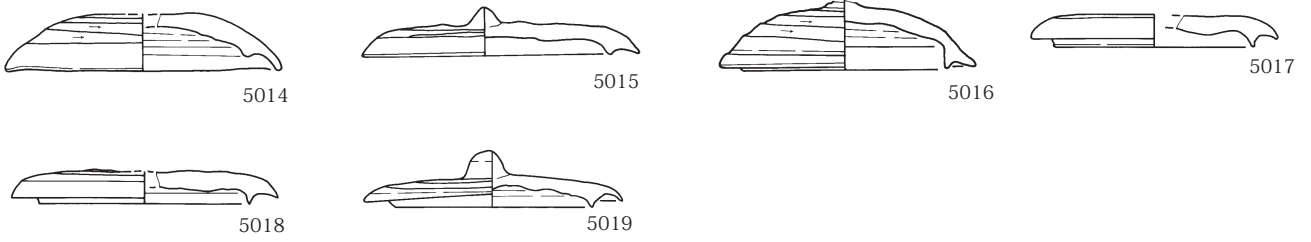


須恵器 II A

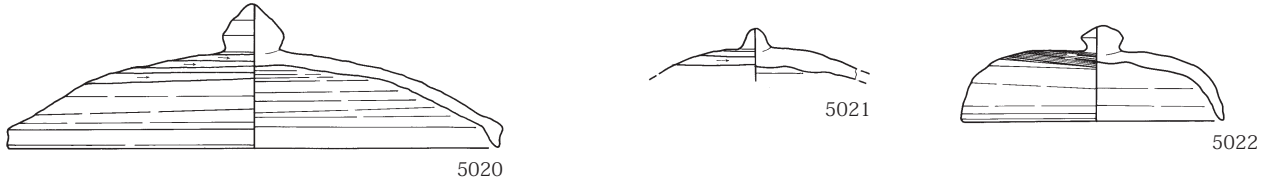


第 410 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 72

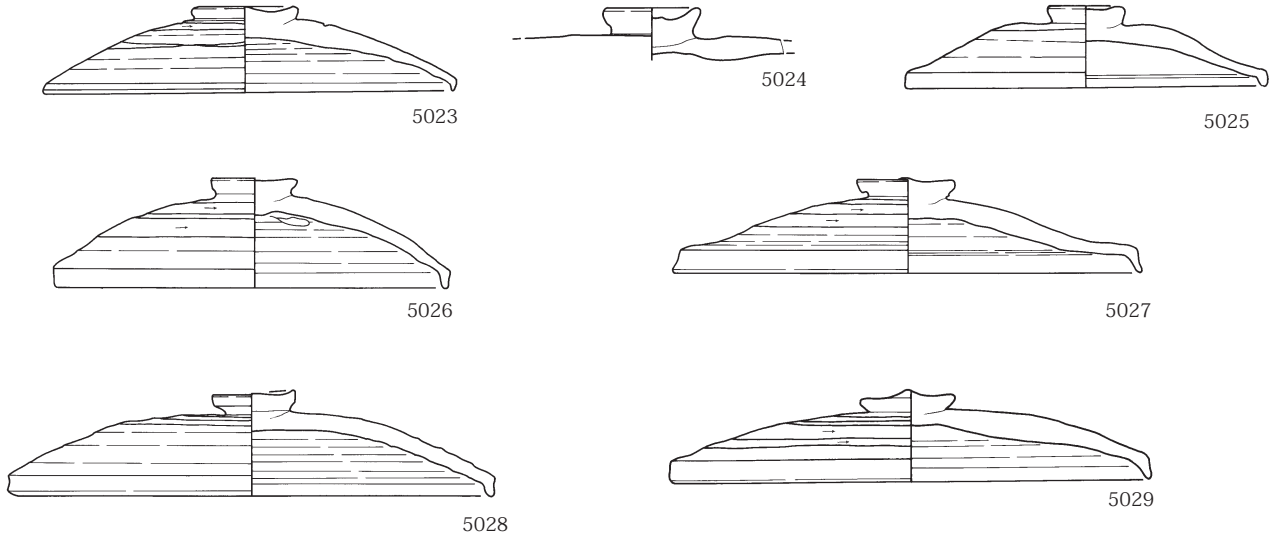
須惠器 II B 1a



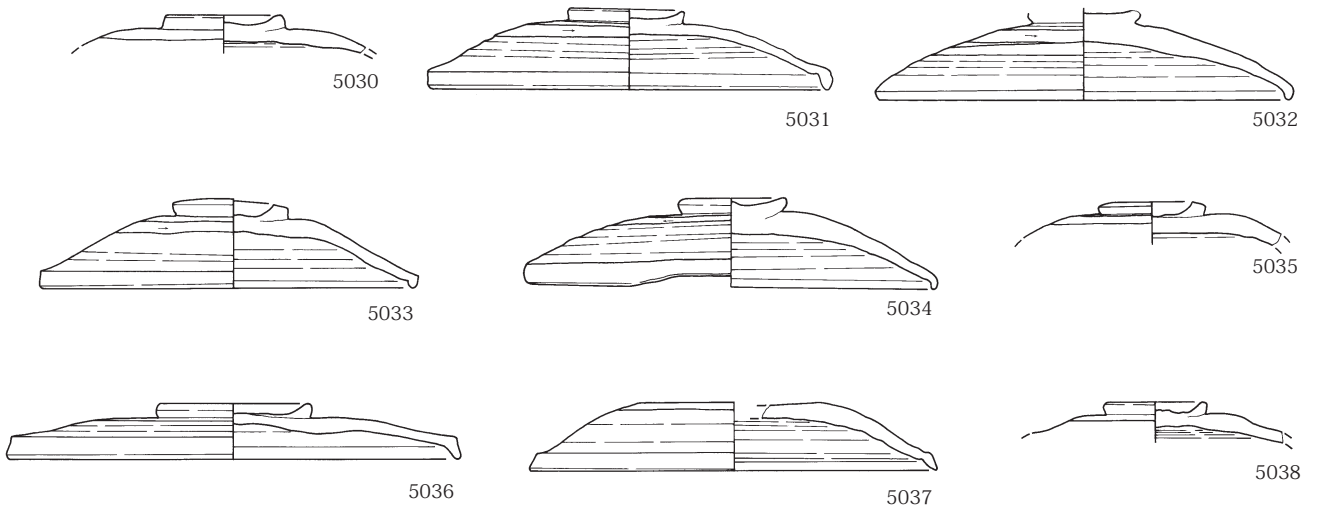
須惠器 II B 1 b



須惠器 II B 1 c

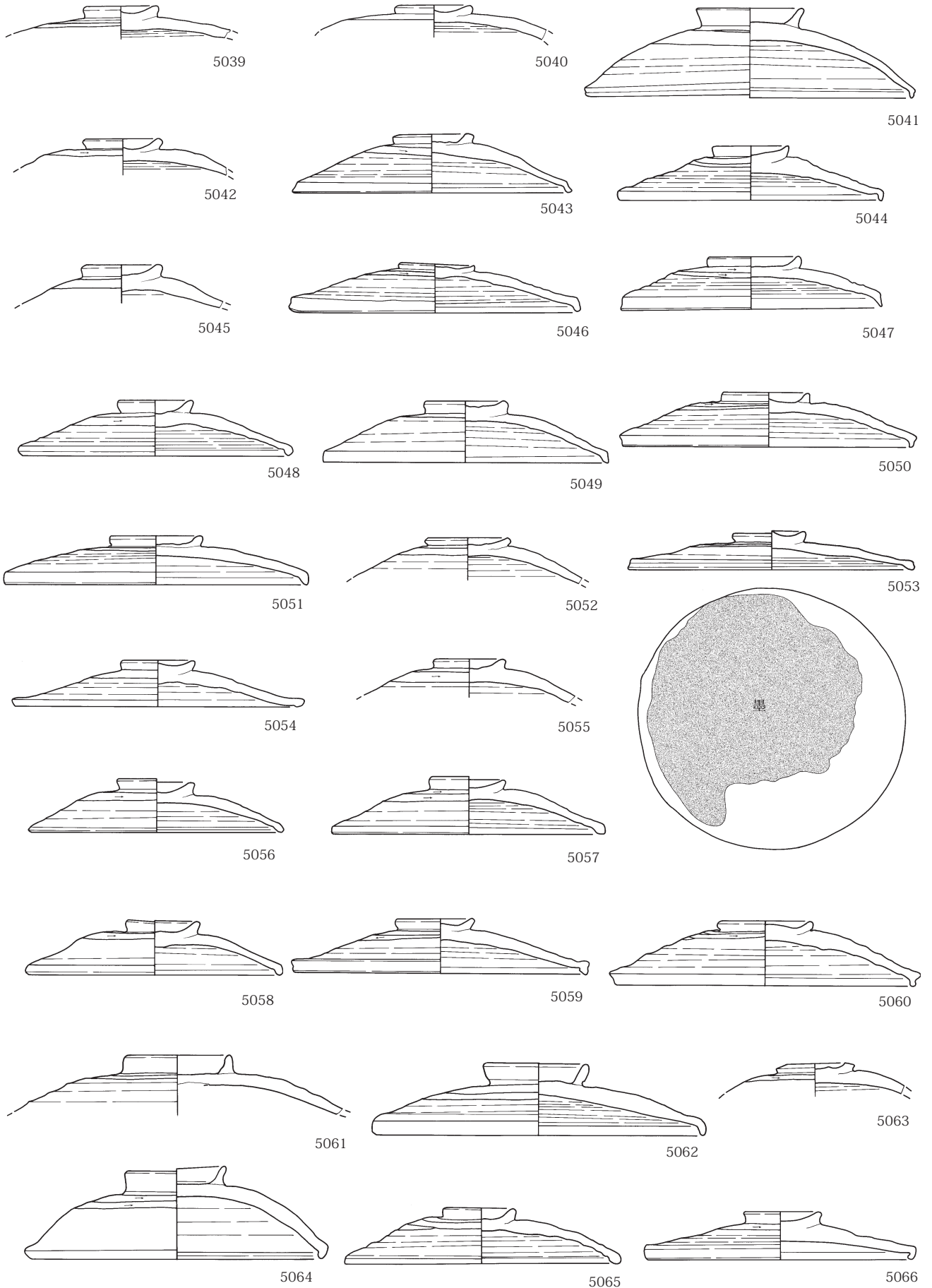


須惠器 II B 1 d

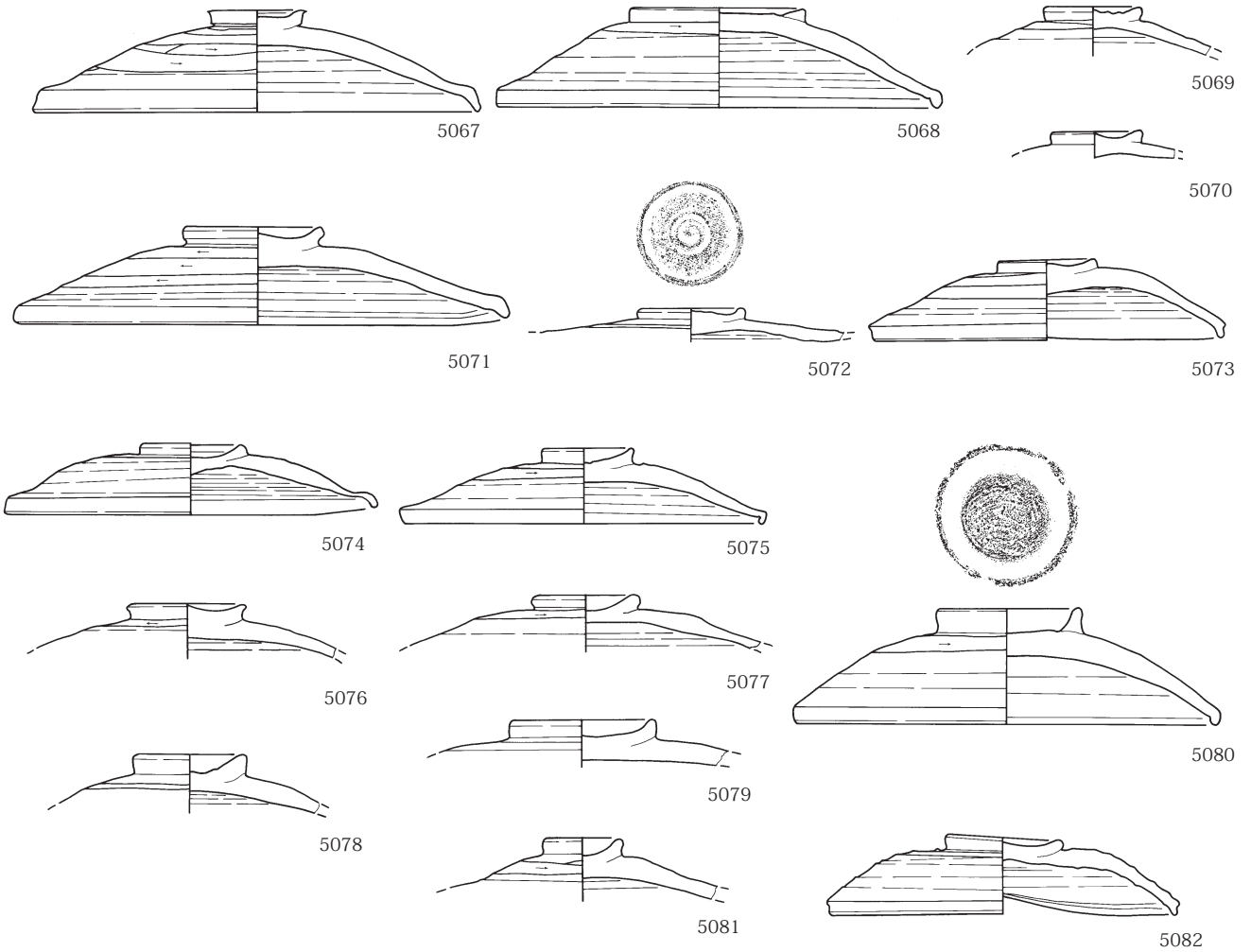


第 411 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 73

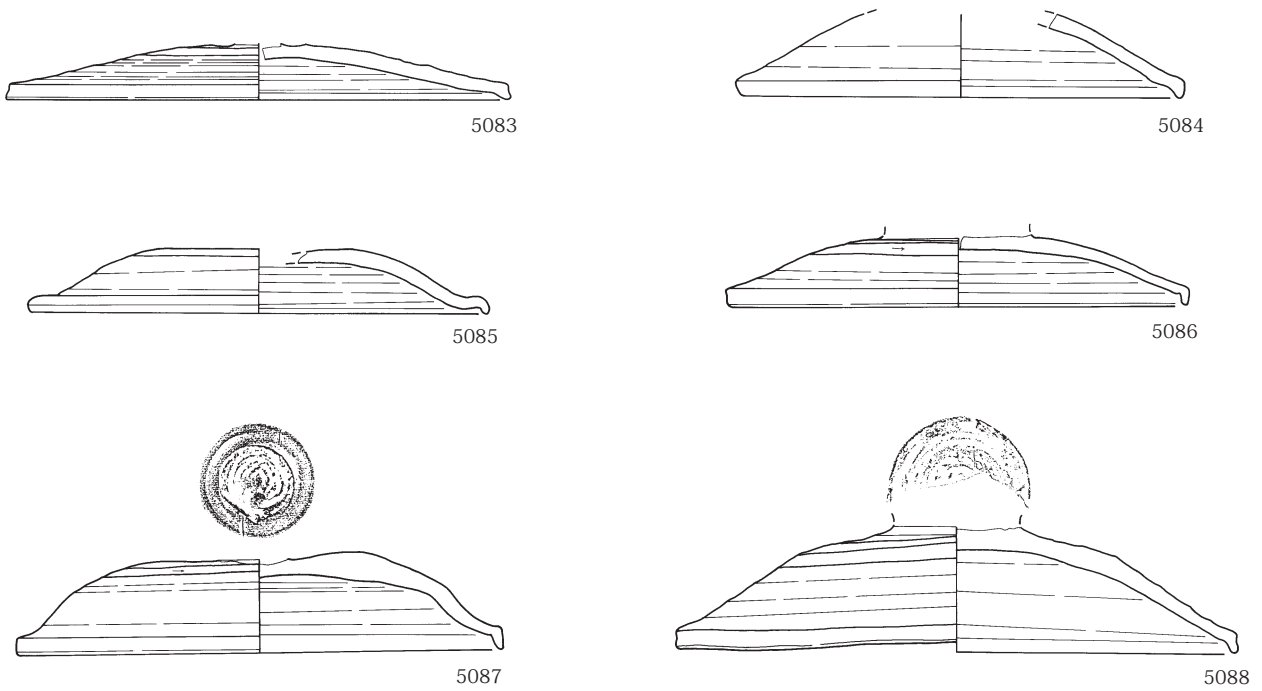
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



第 412 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 74



須恵器 II B 1e



第 413 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 75

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



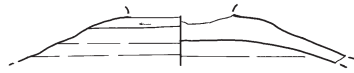
5089



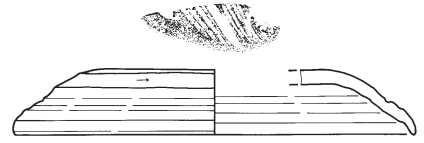
5090



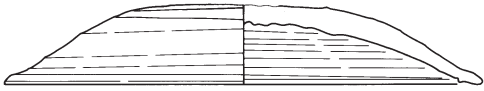
5091



5092



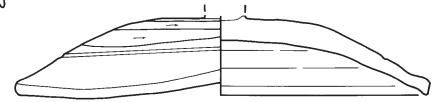
5093



5094

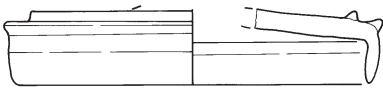


5095

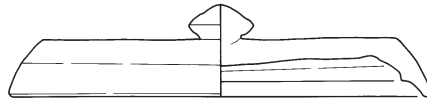


5096

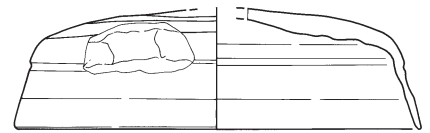
須恵器Ⅱ B 3



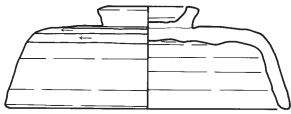
5097



5098

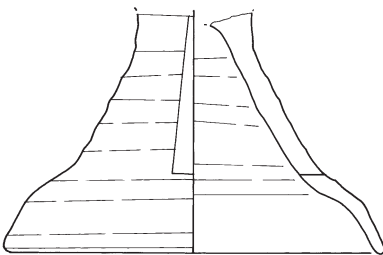


5099

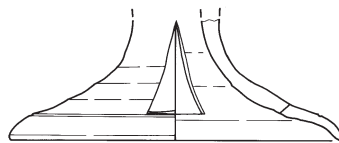


5100

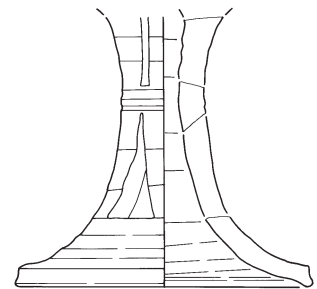
須恵器Ⅲ A



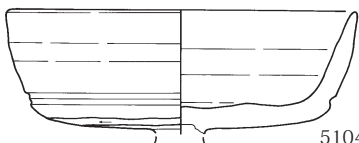
5101



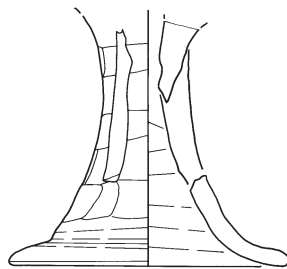
5102



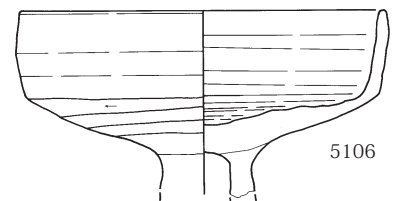
5103



5104

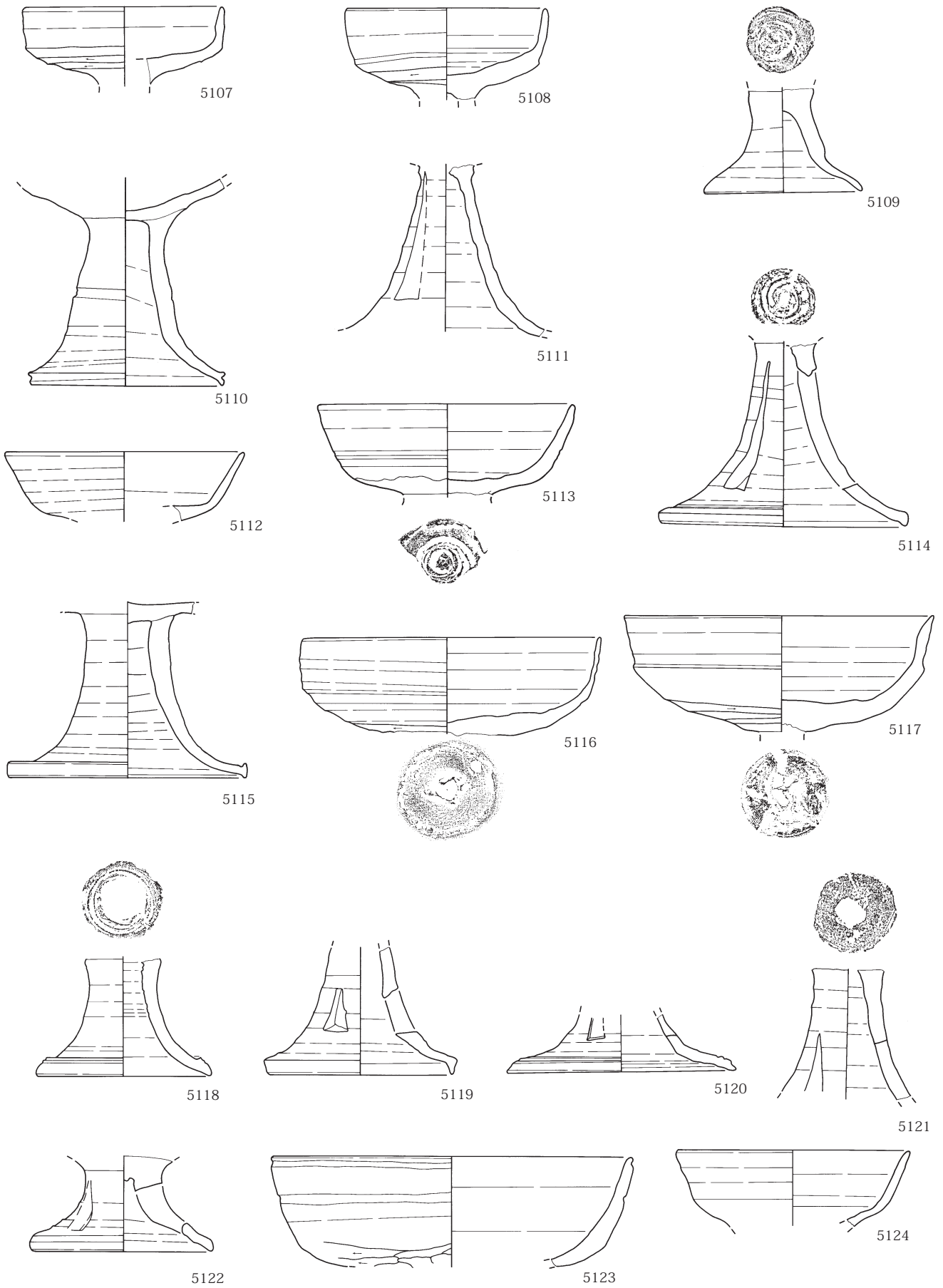


5105



5106

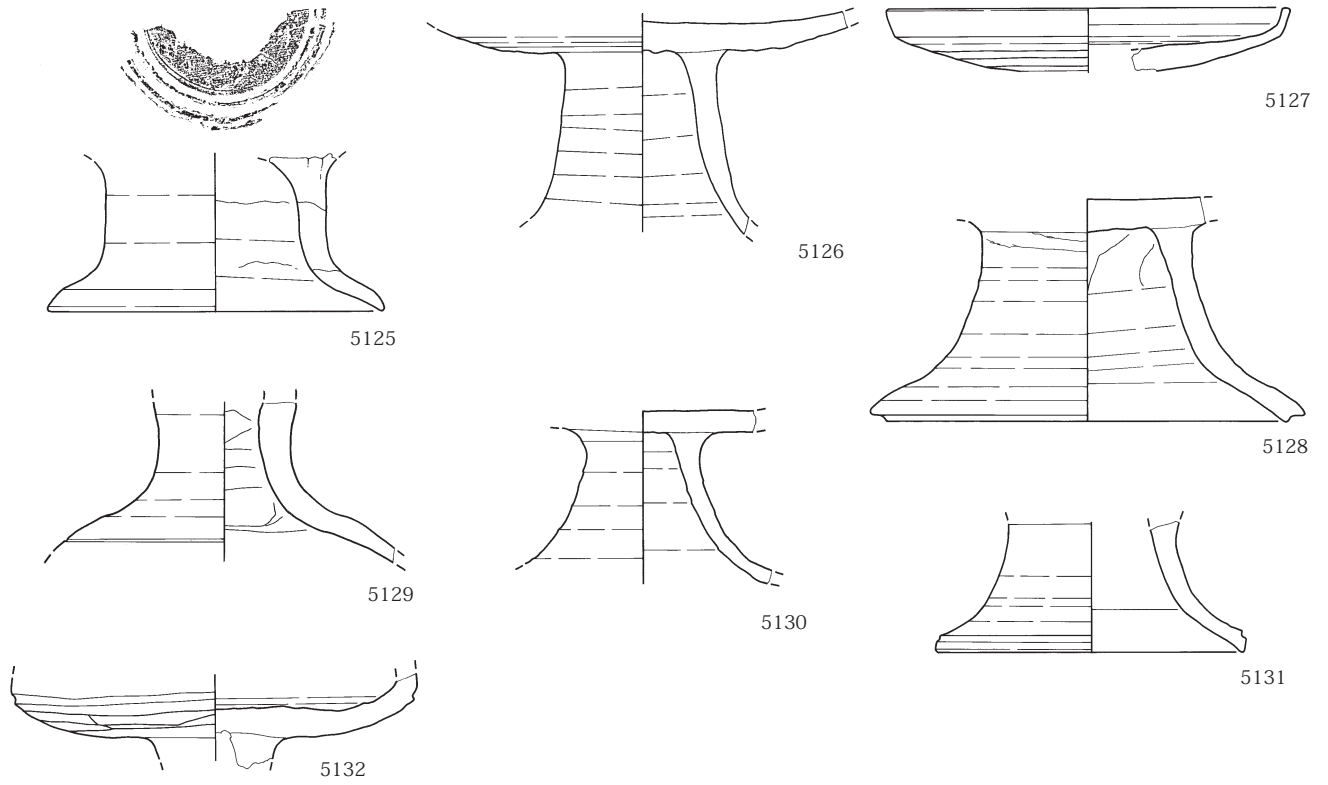
第 414 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 76



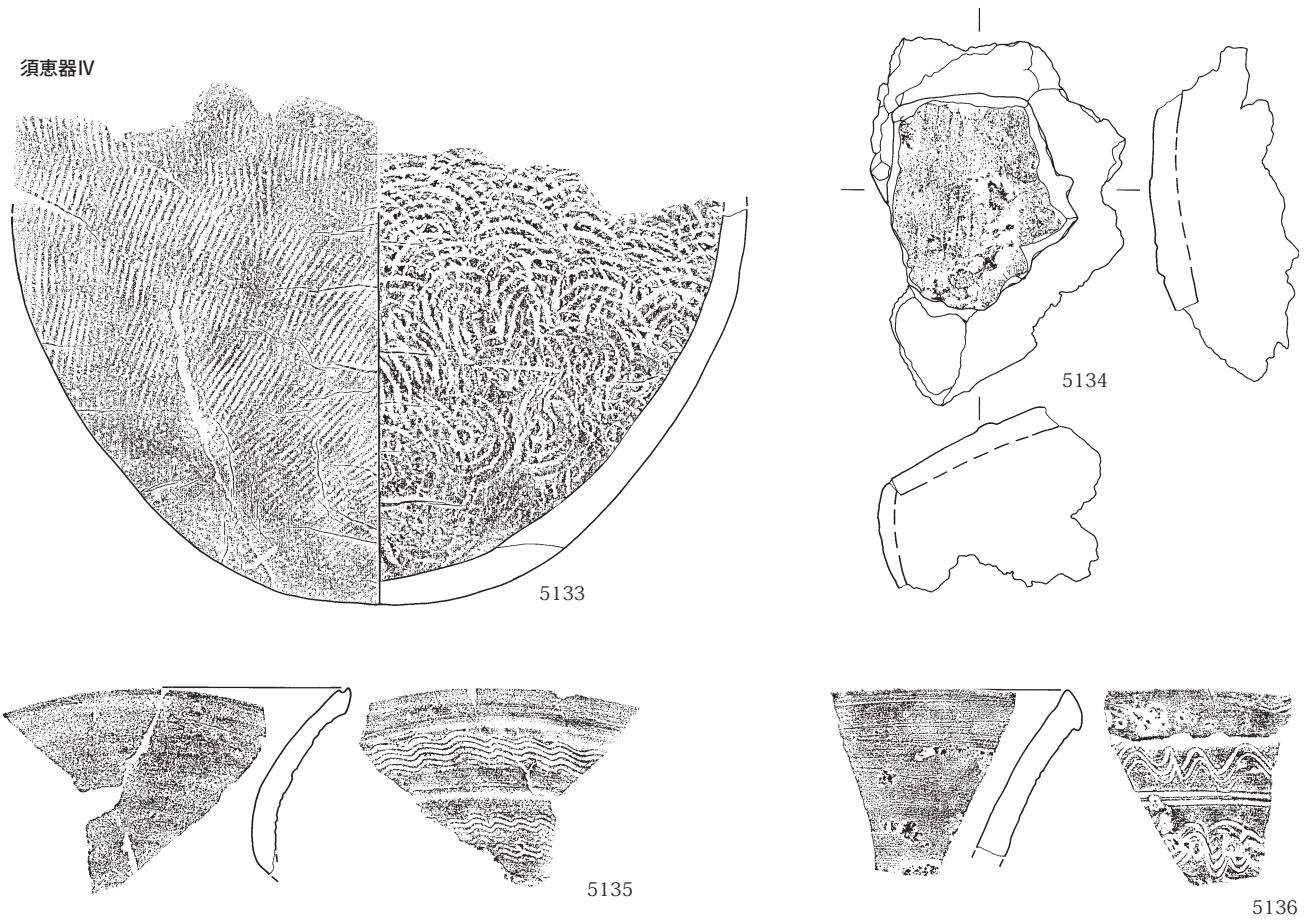
第 415 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 77

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

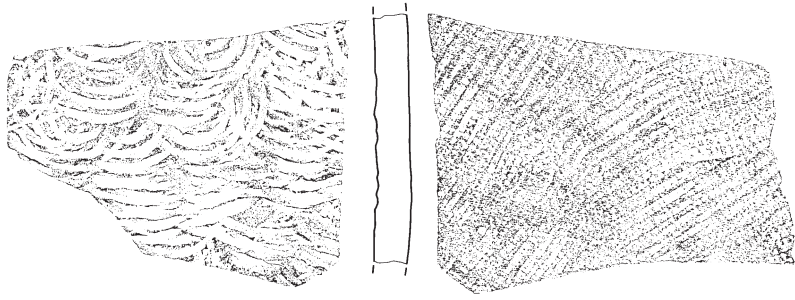
須恵器Ⅲ B



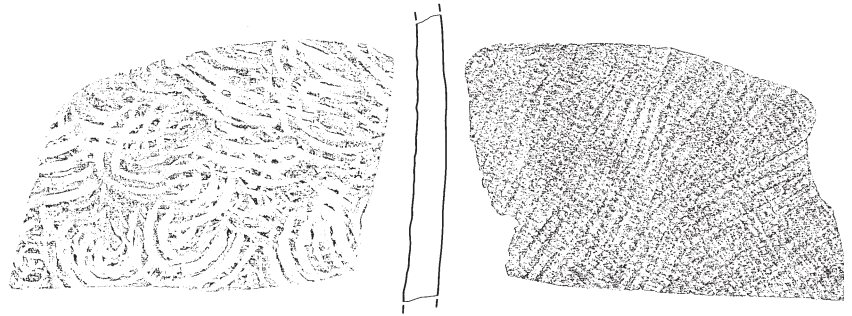
須恵器Ⅳ



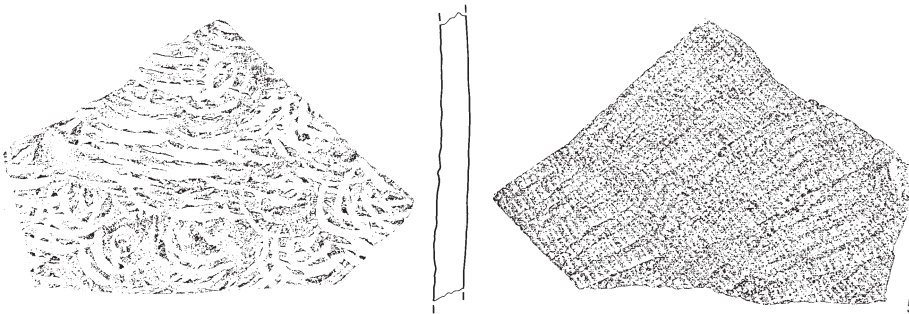
第 416 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 78



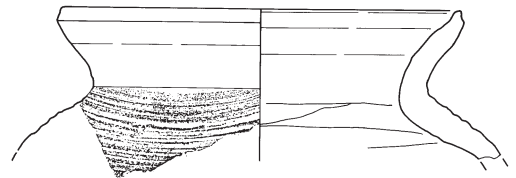
5137



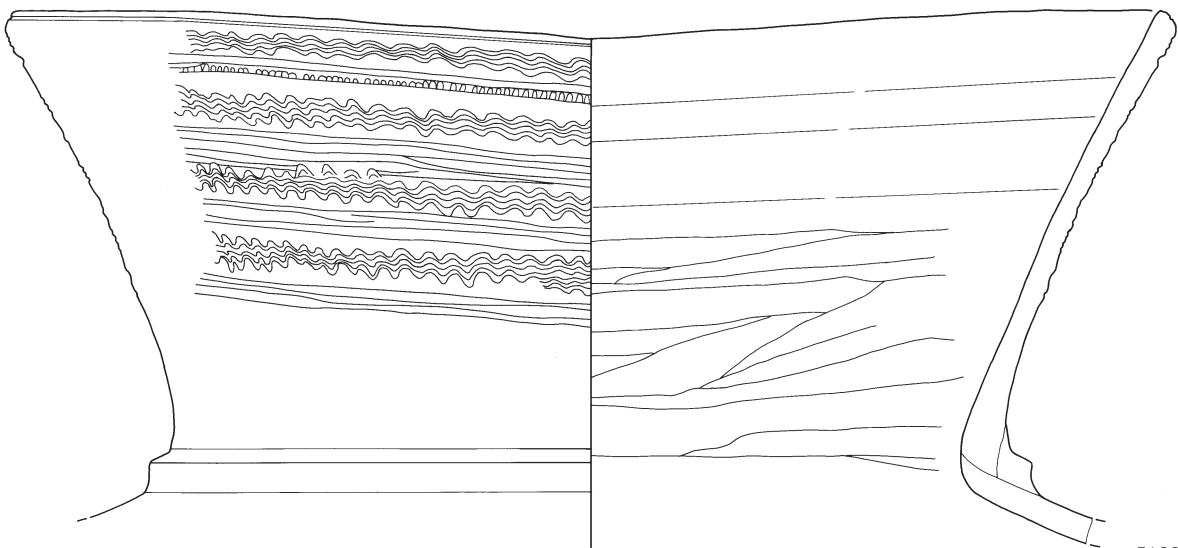
5137



5137

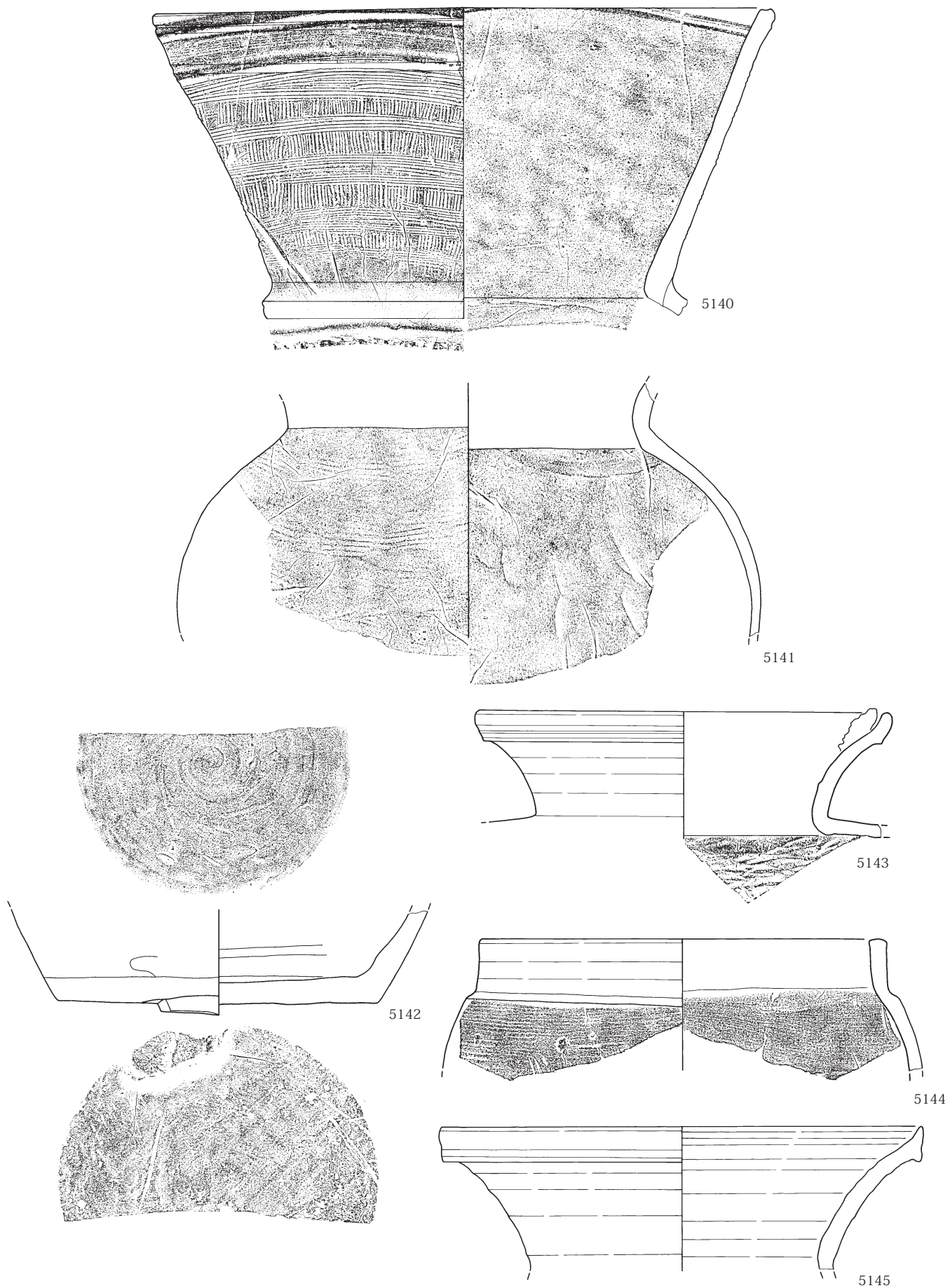


5138

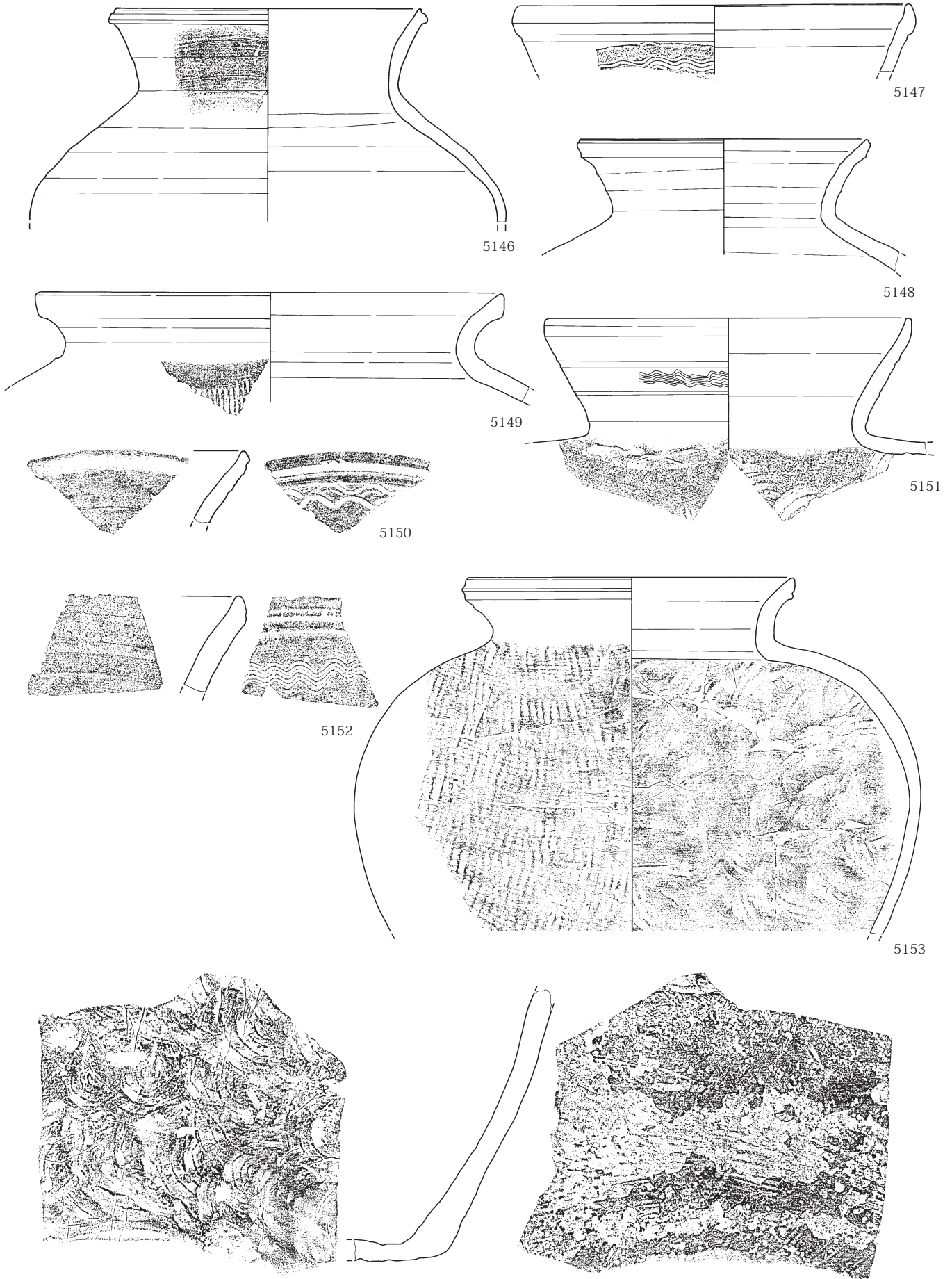


5139

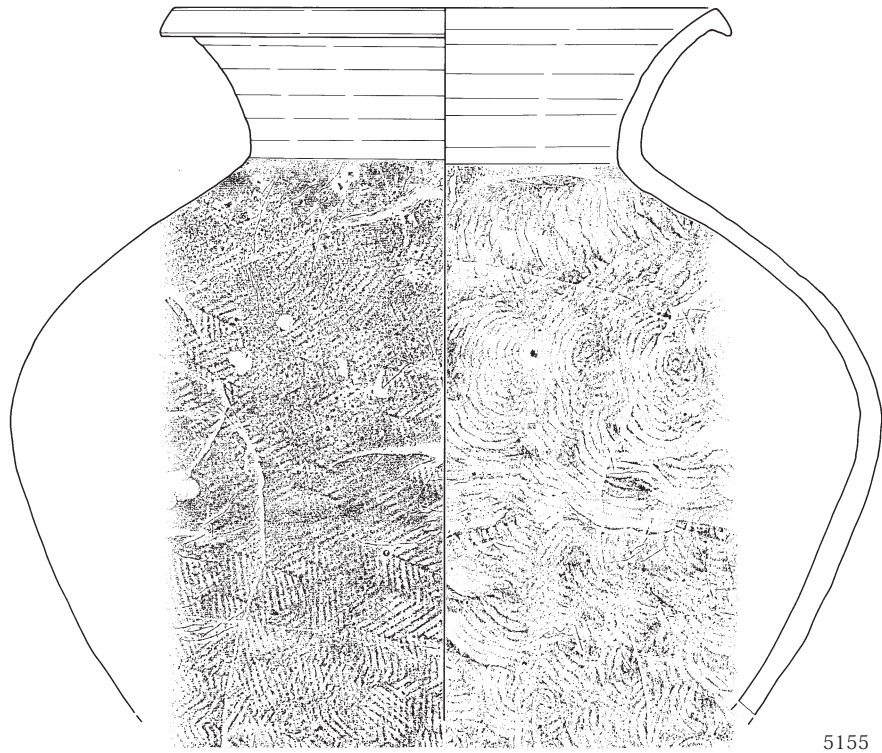
第 417 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 79



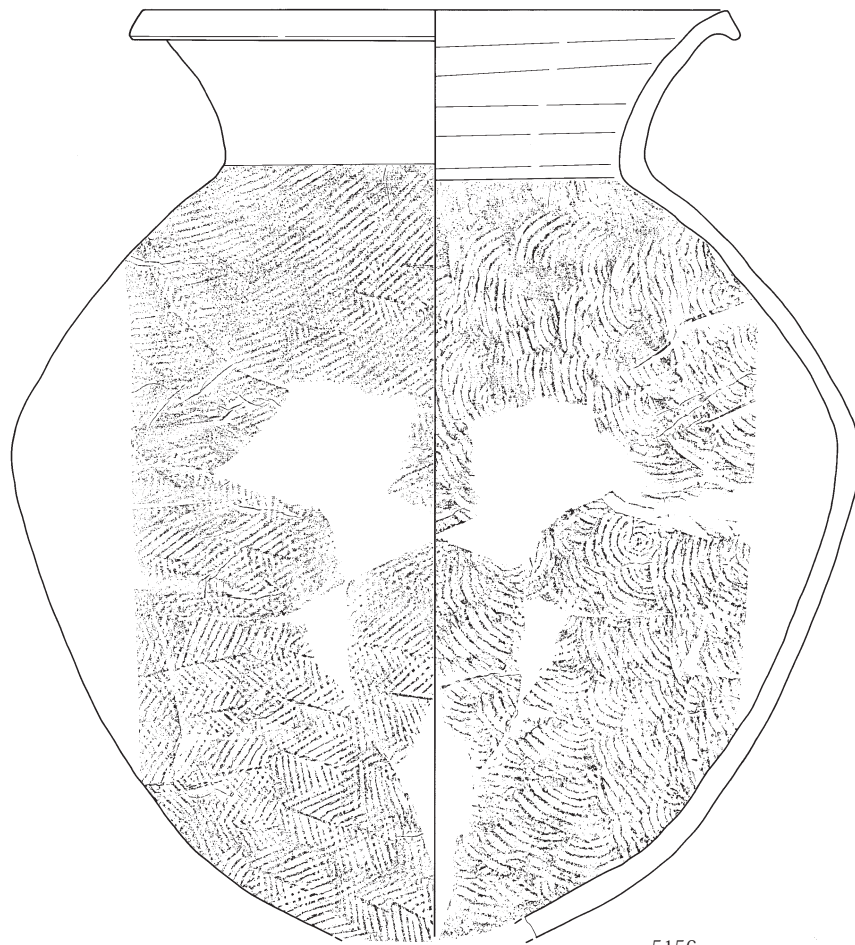
第 418 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 80



第 419 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 81

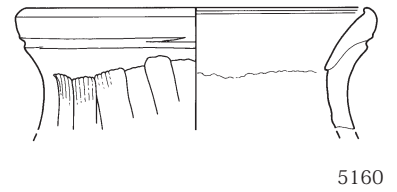
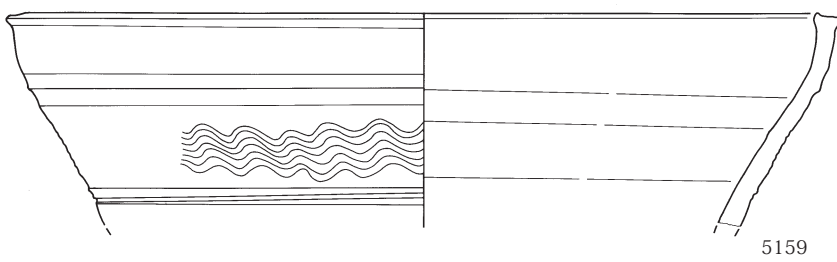
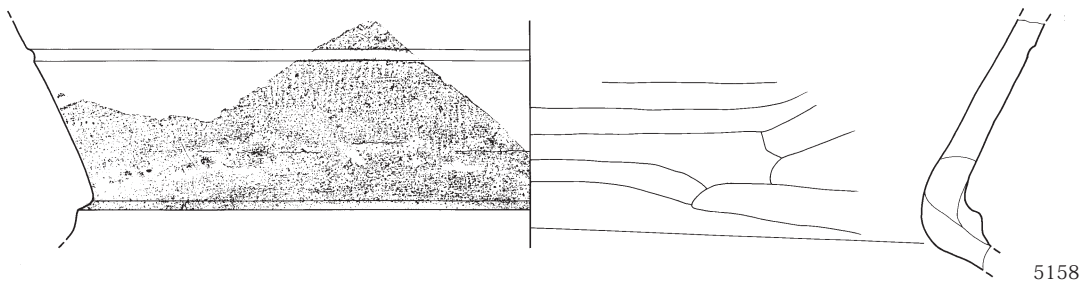


5155

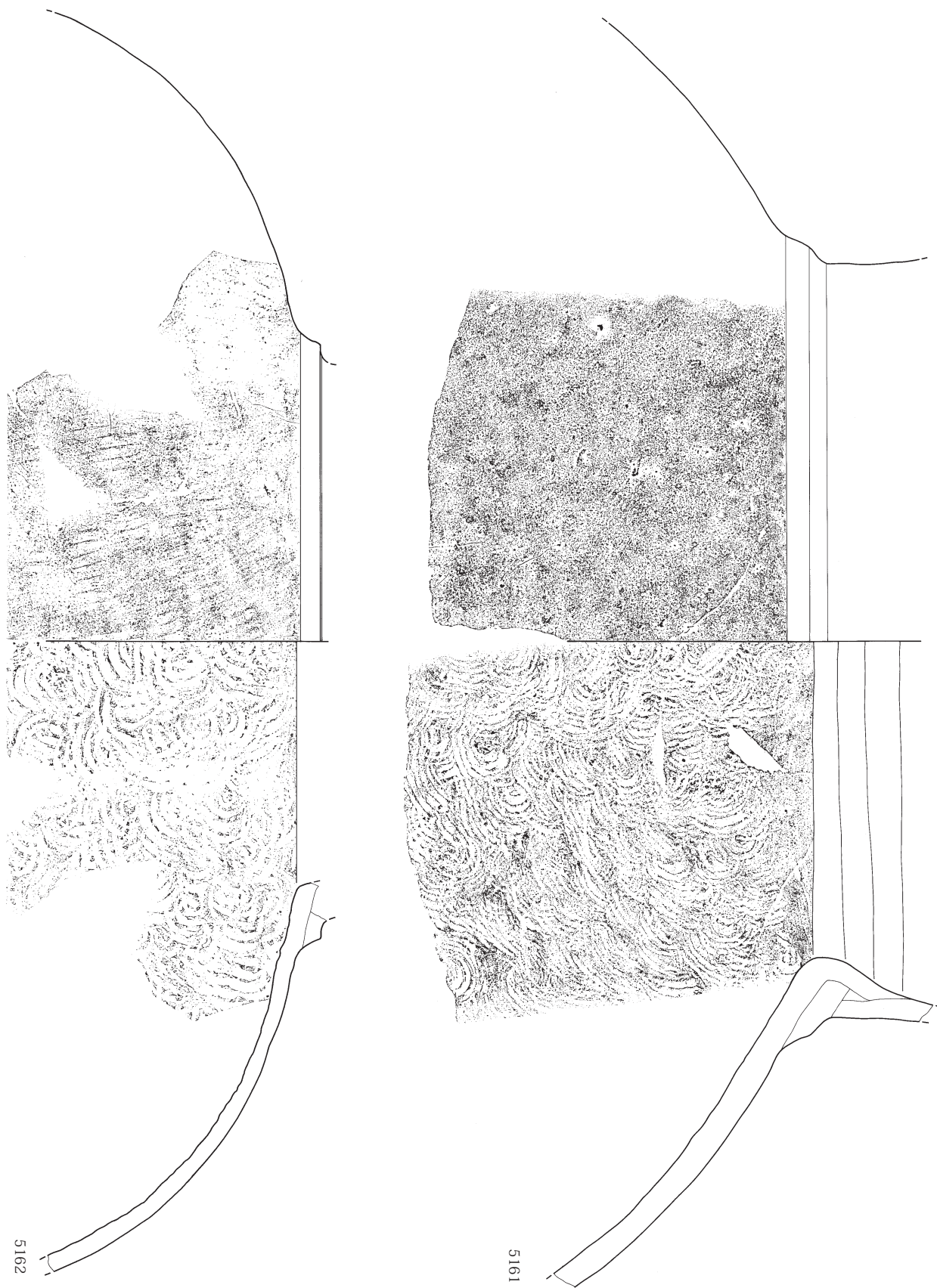


5156

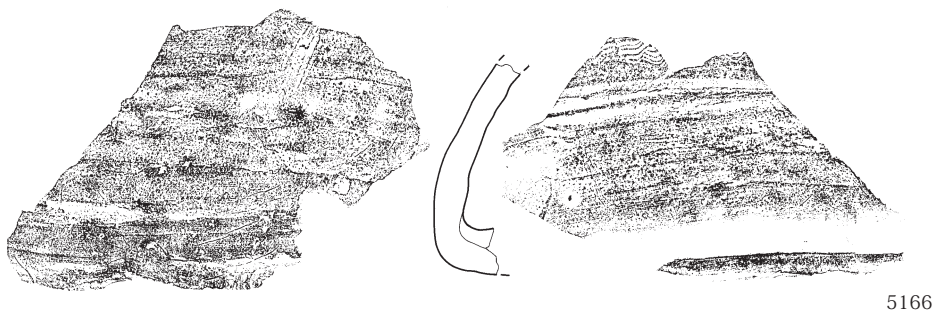
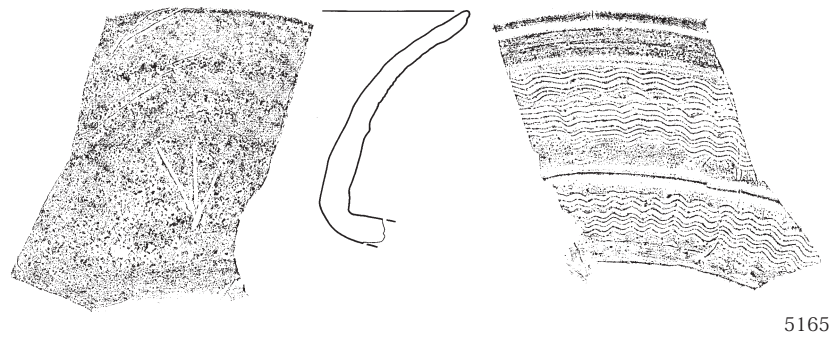
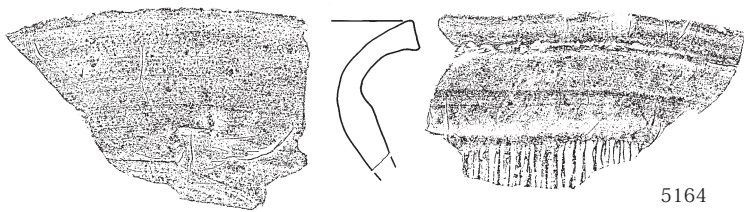
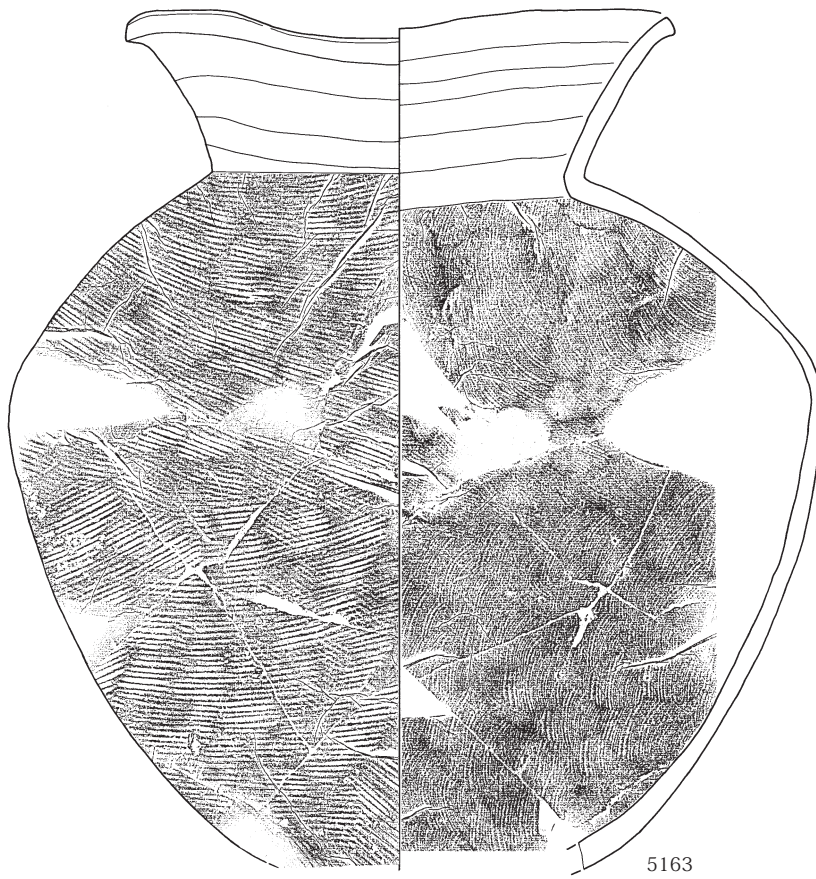
第 420 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 82



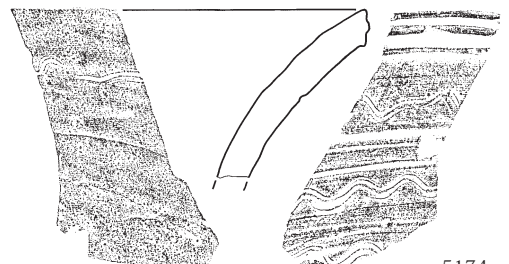
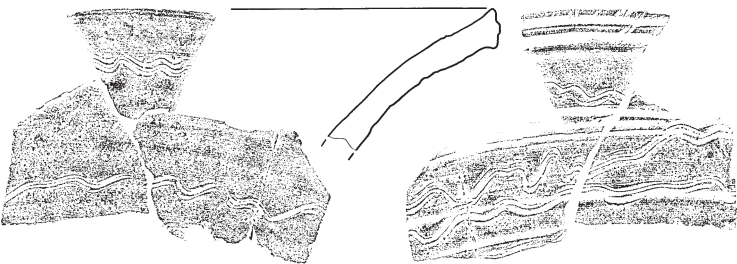
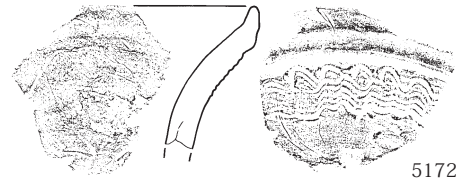
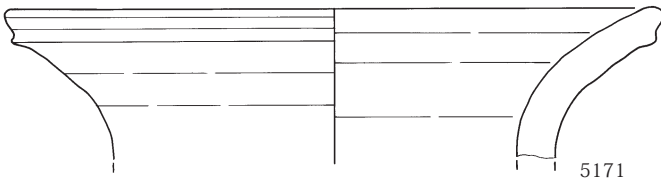
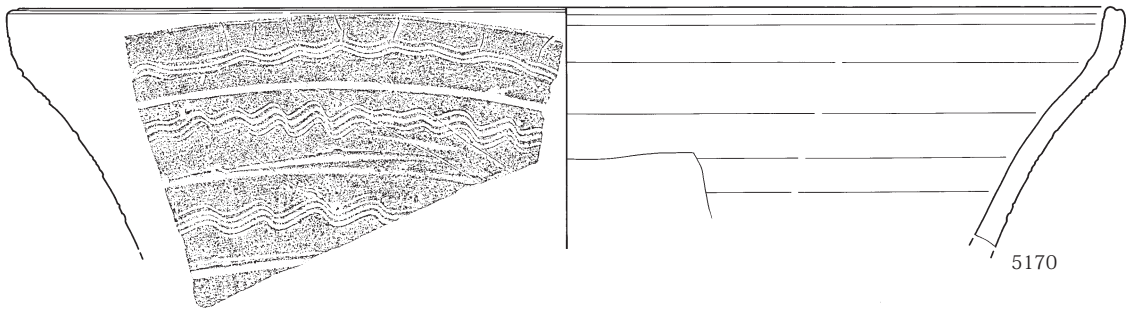
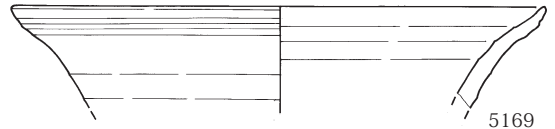
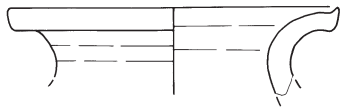
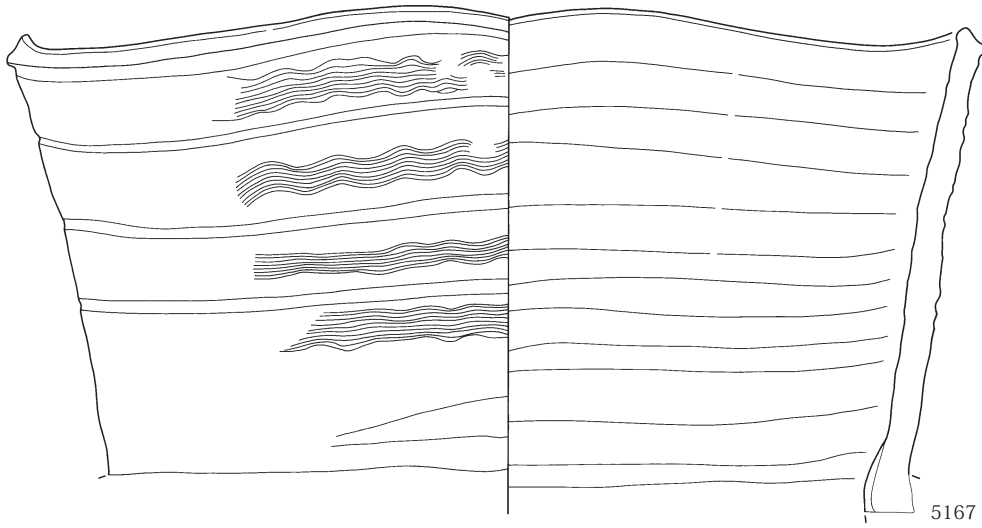
第 421 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 83



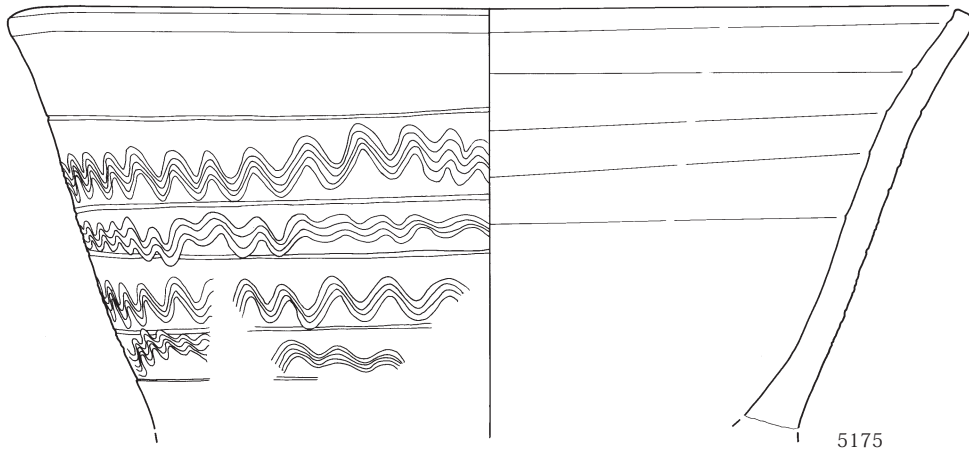
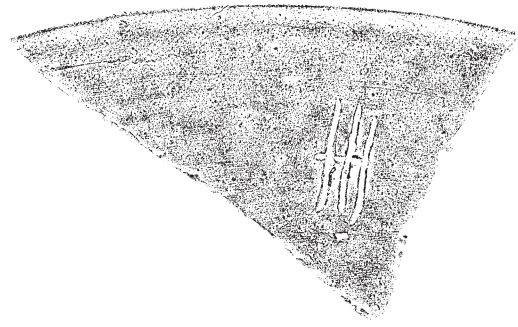
第 422 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 84



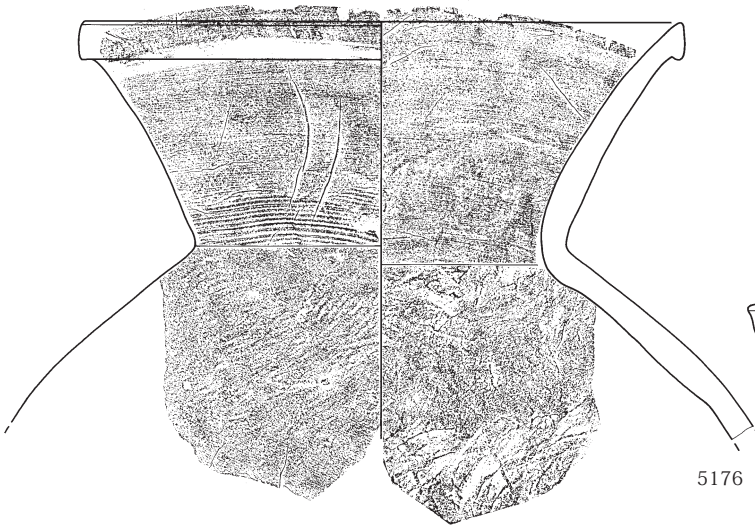
第 423 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 85



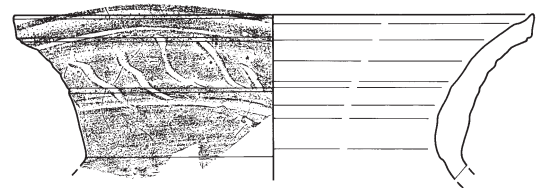
第 424 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 86



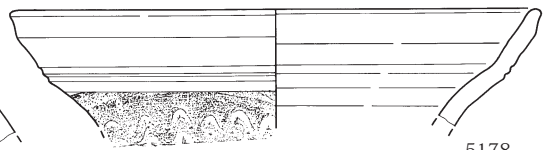
5175



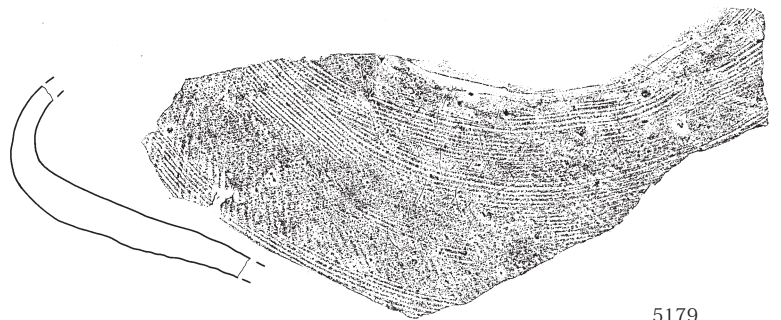
5176



5177



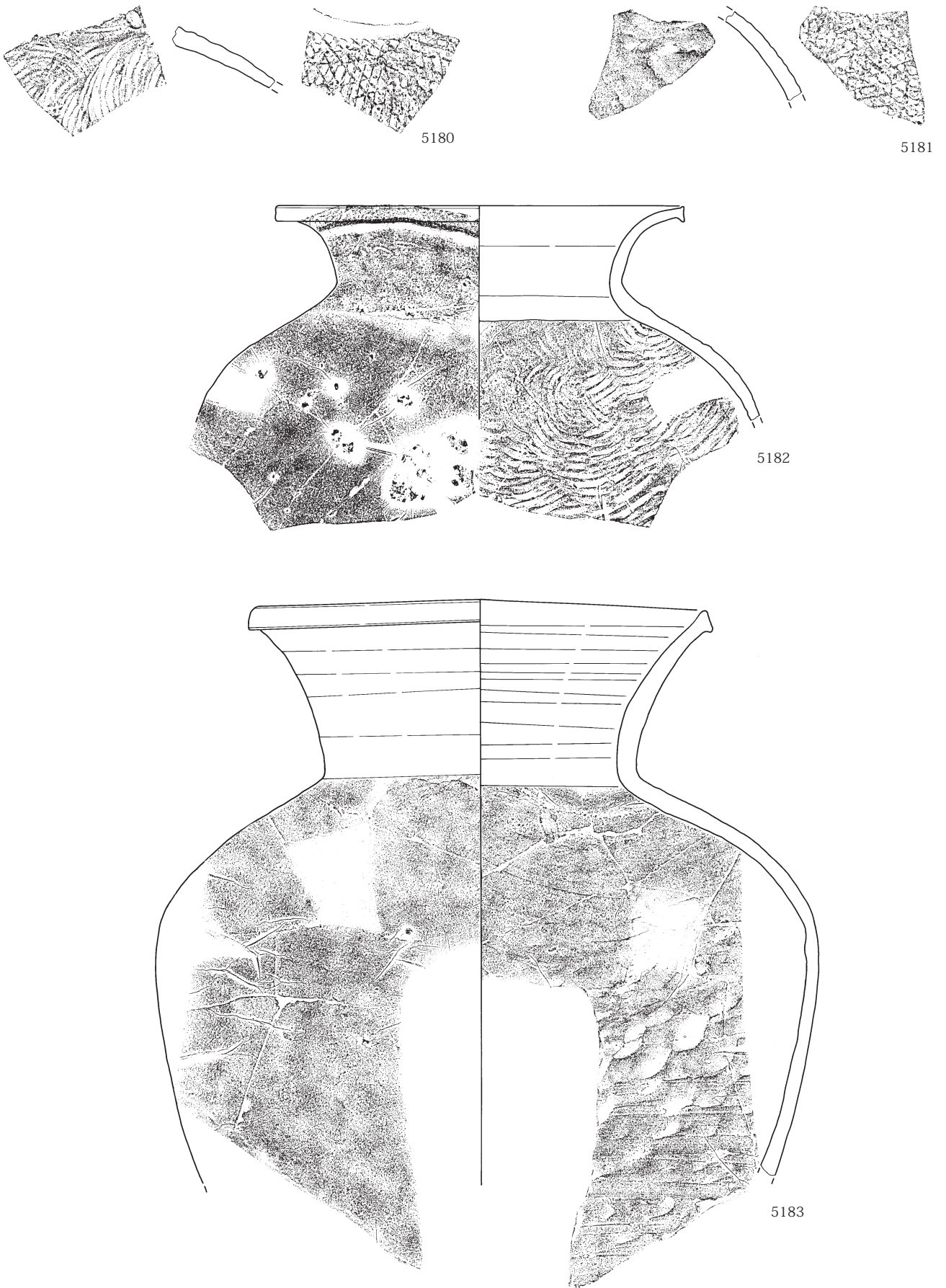
5178



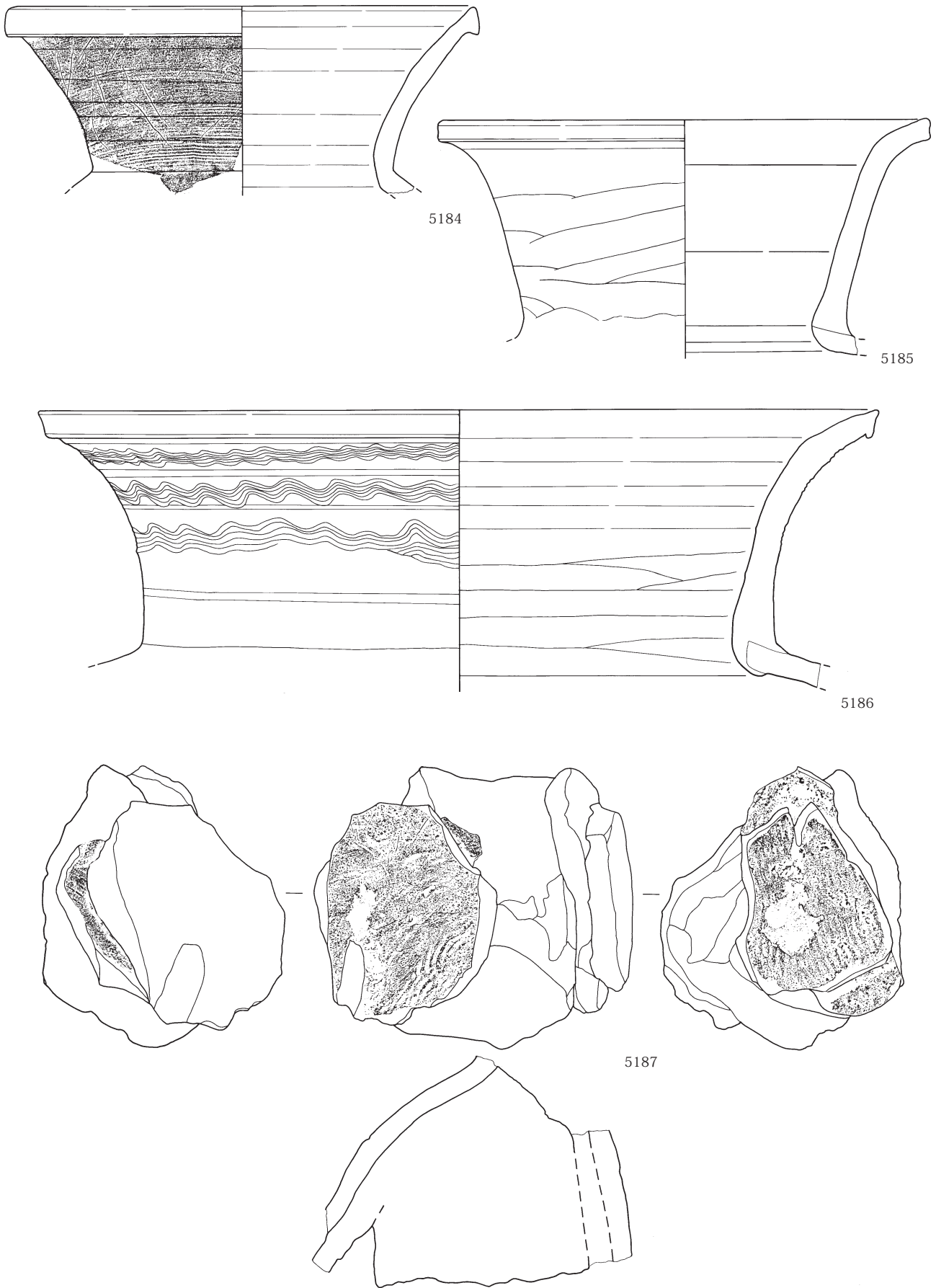
5179

第 425 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 87

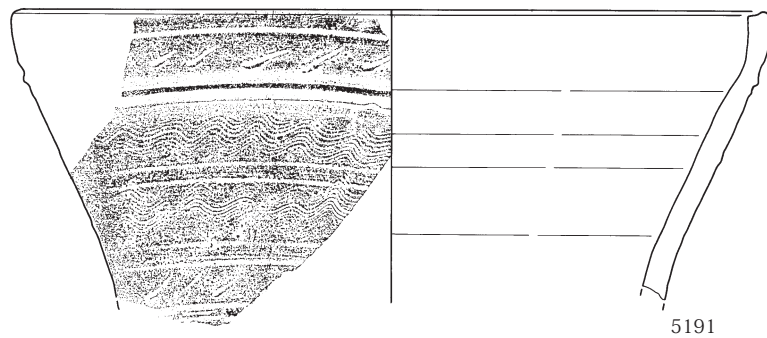
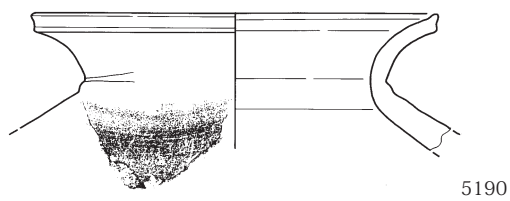
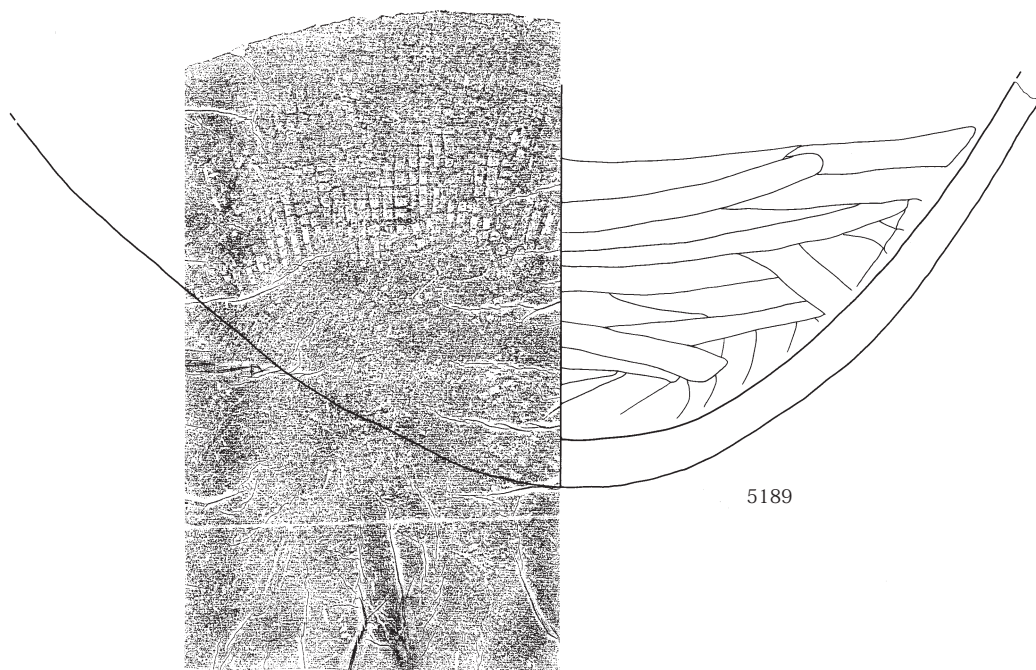
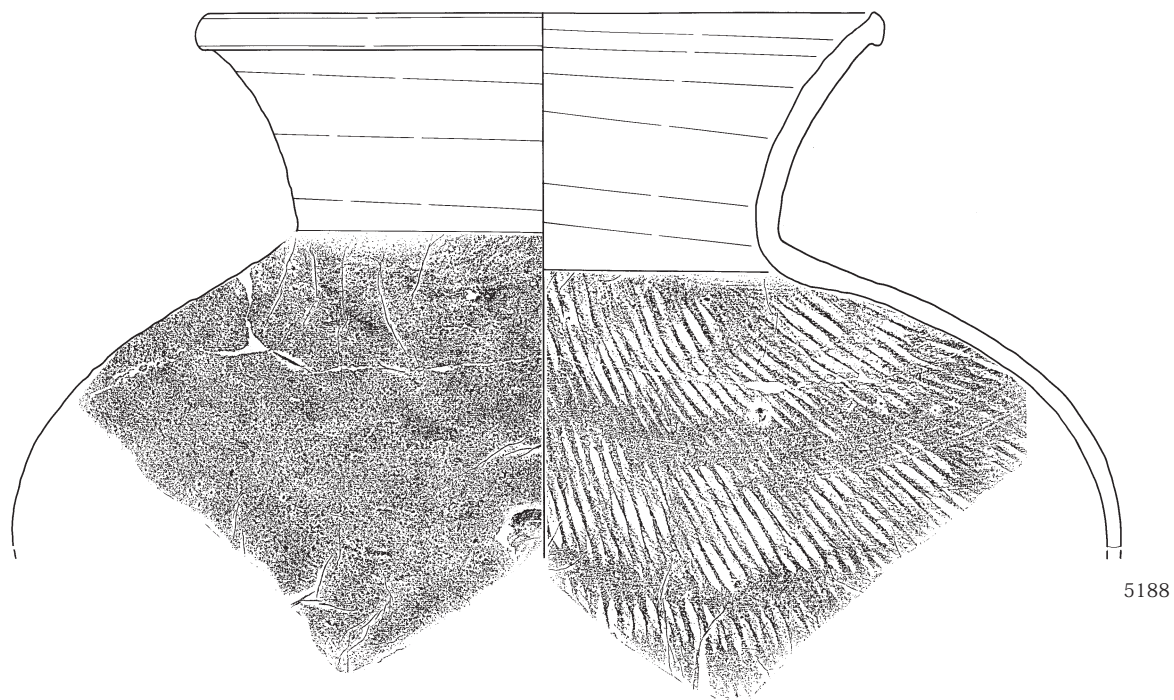
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



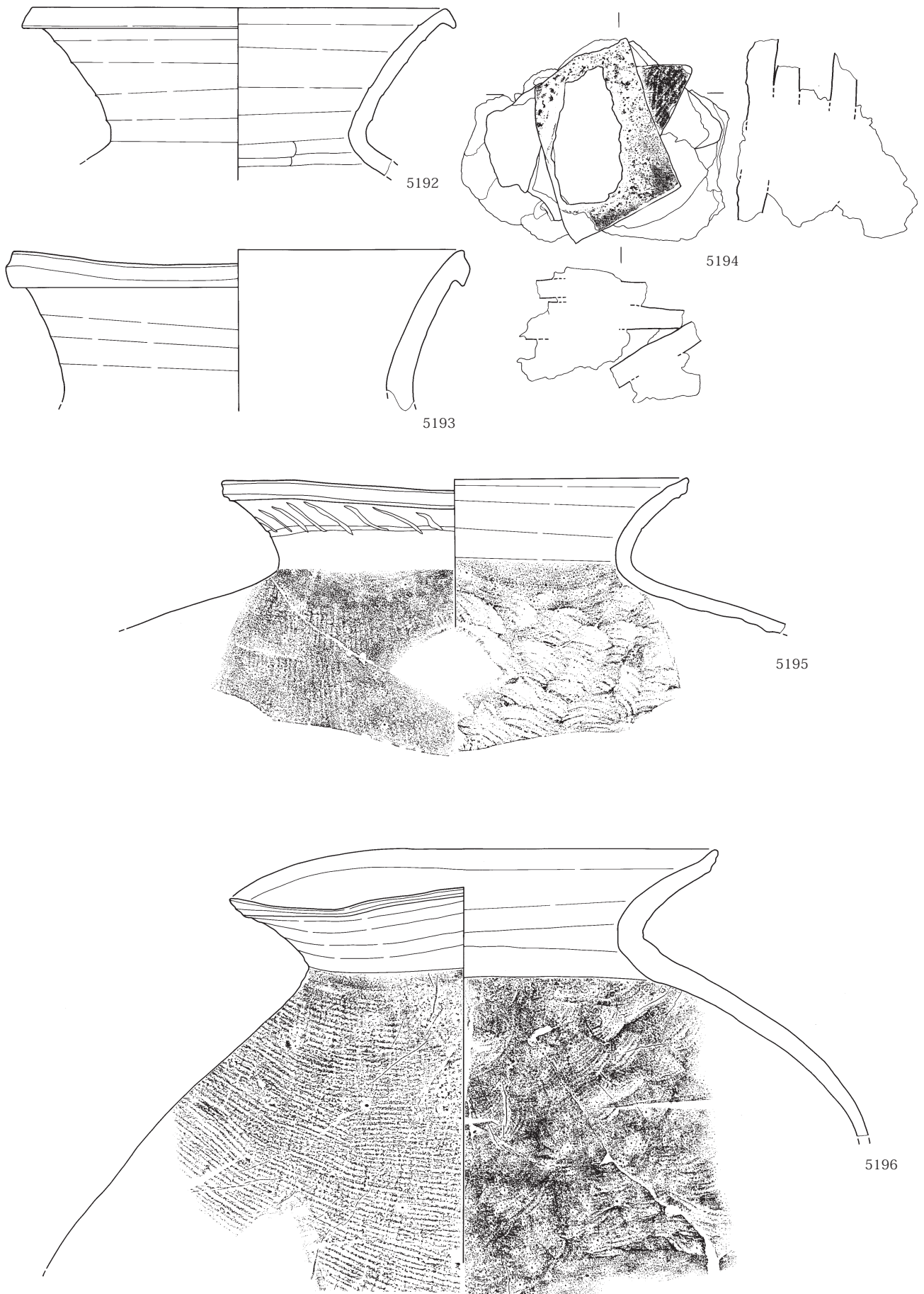
第 426 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 88



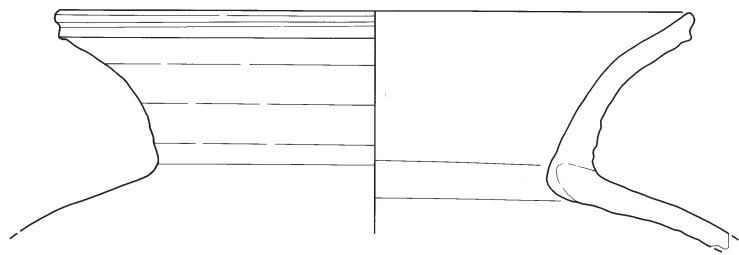
第 427 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 89



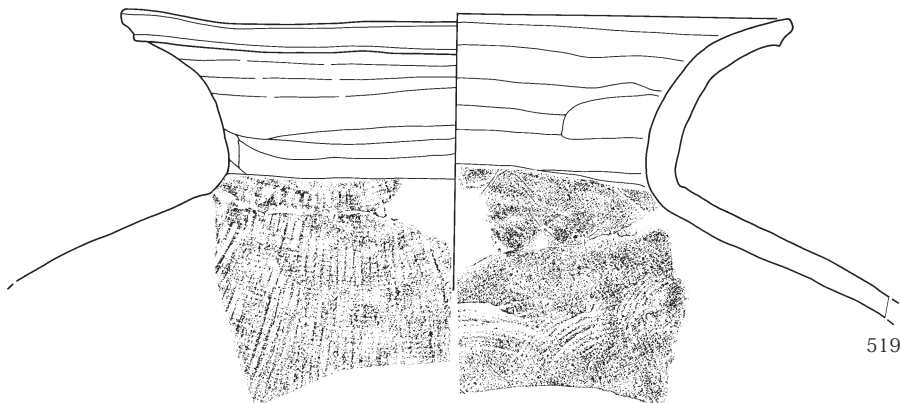
第 428 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 90



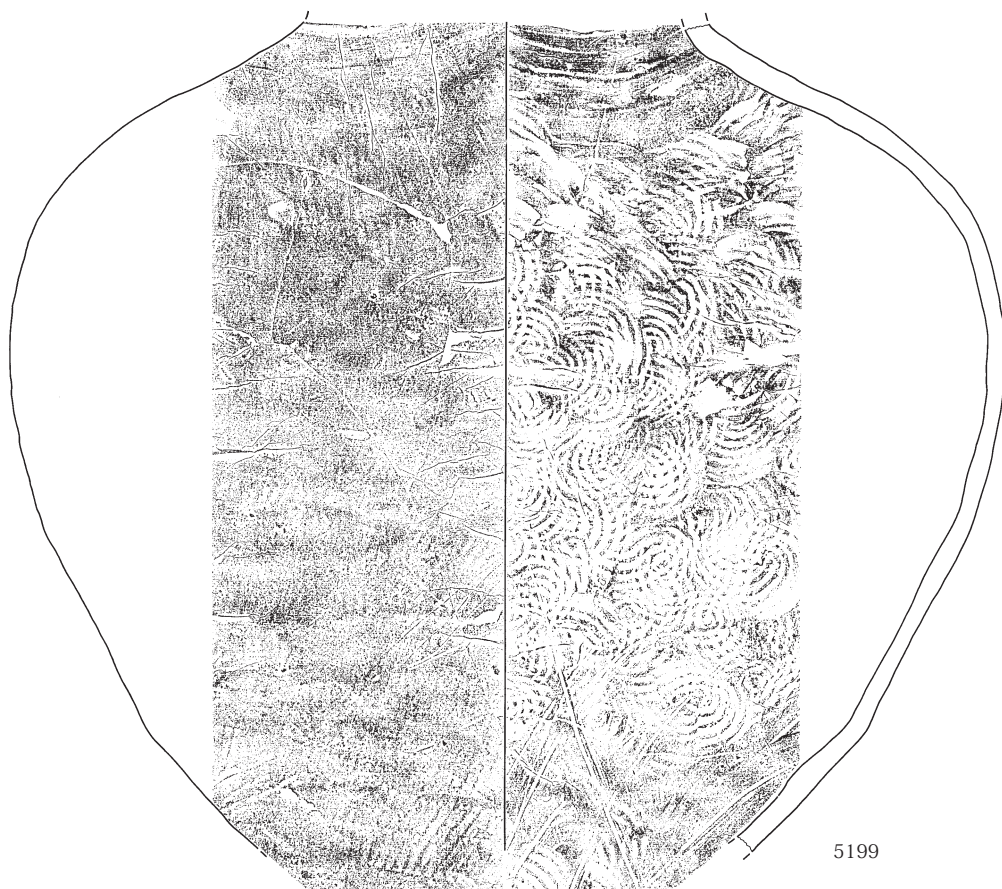
第 429 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 91



5197

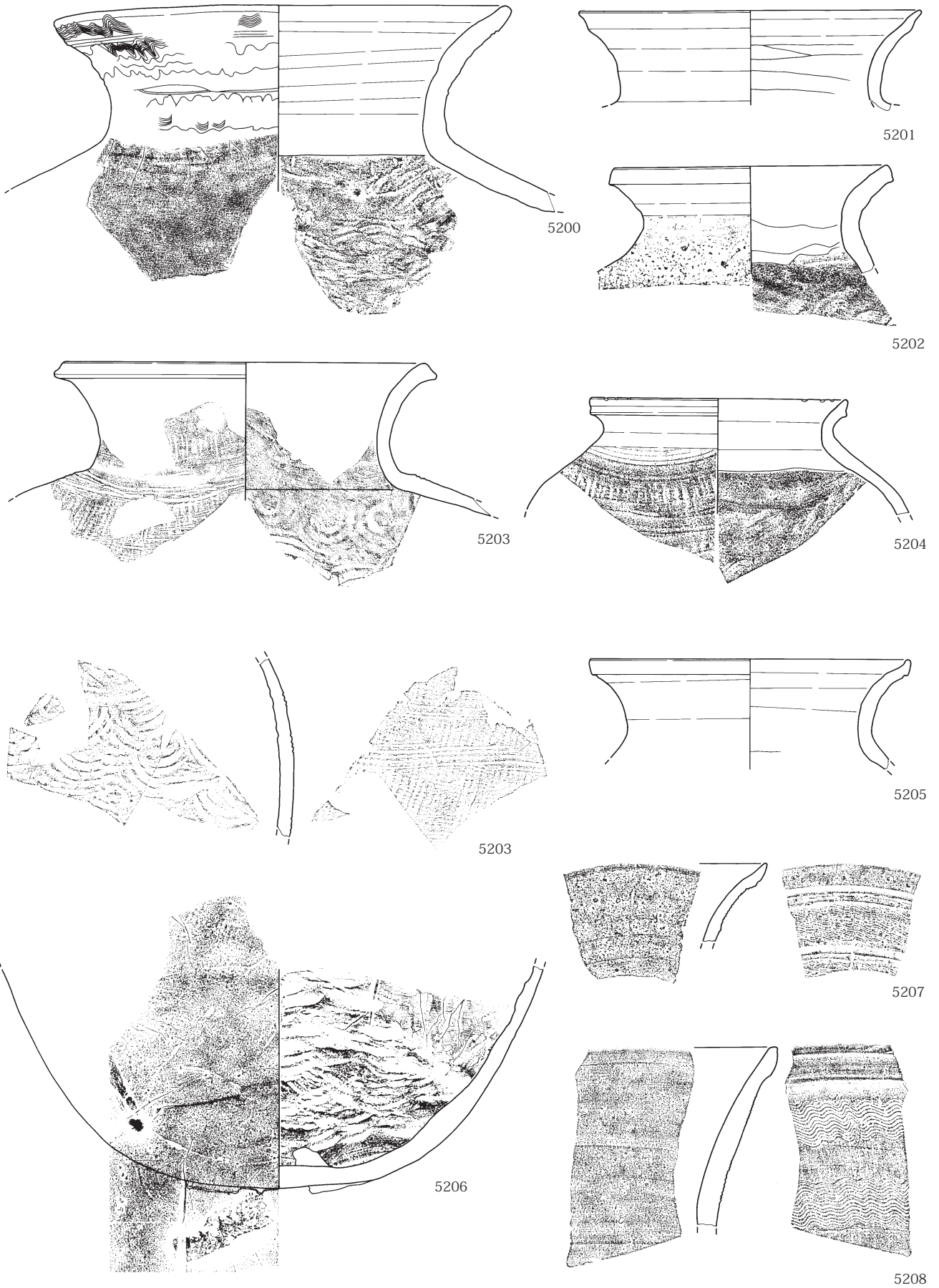


5198



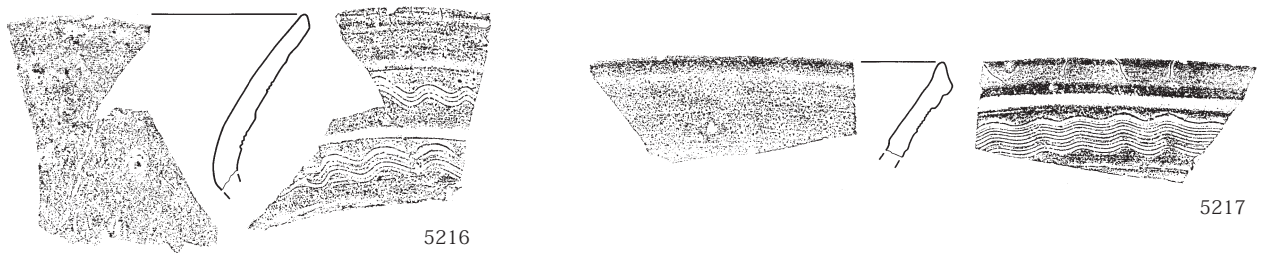
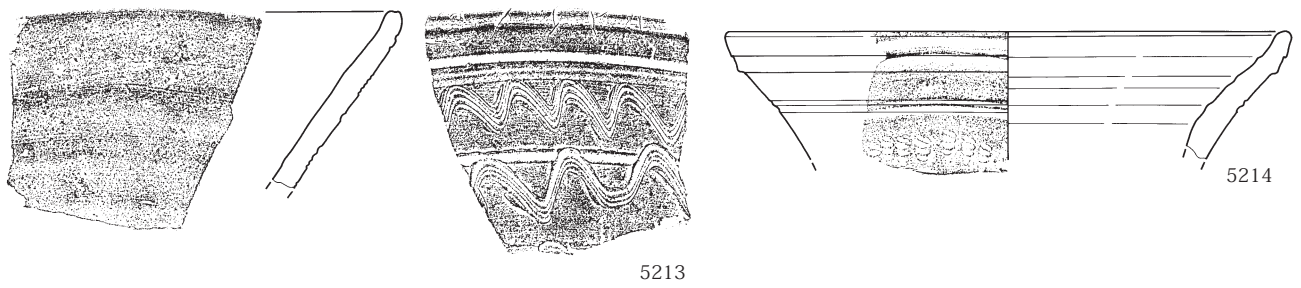
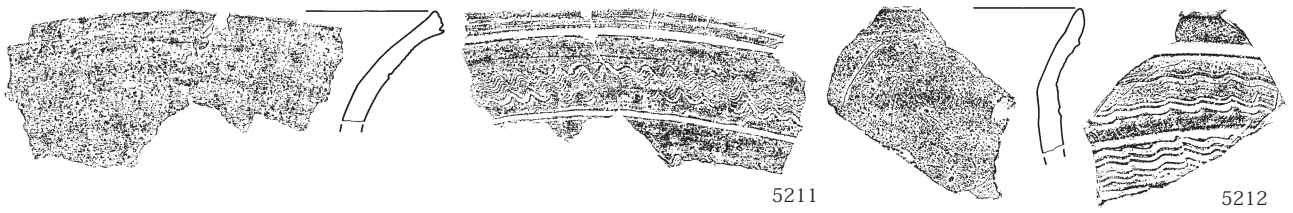
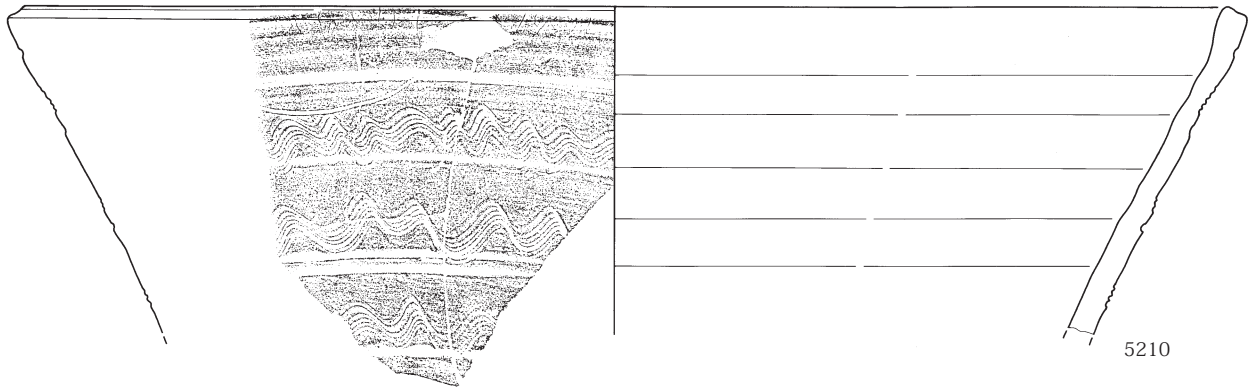
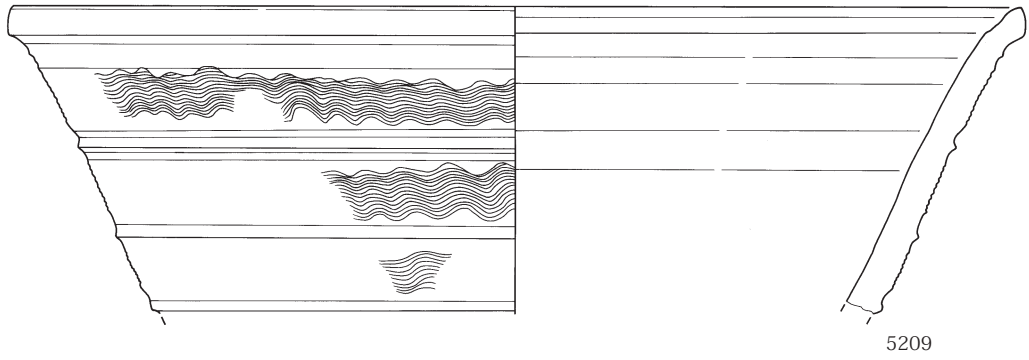
5199

第 430 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 92

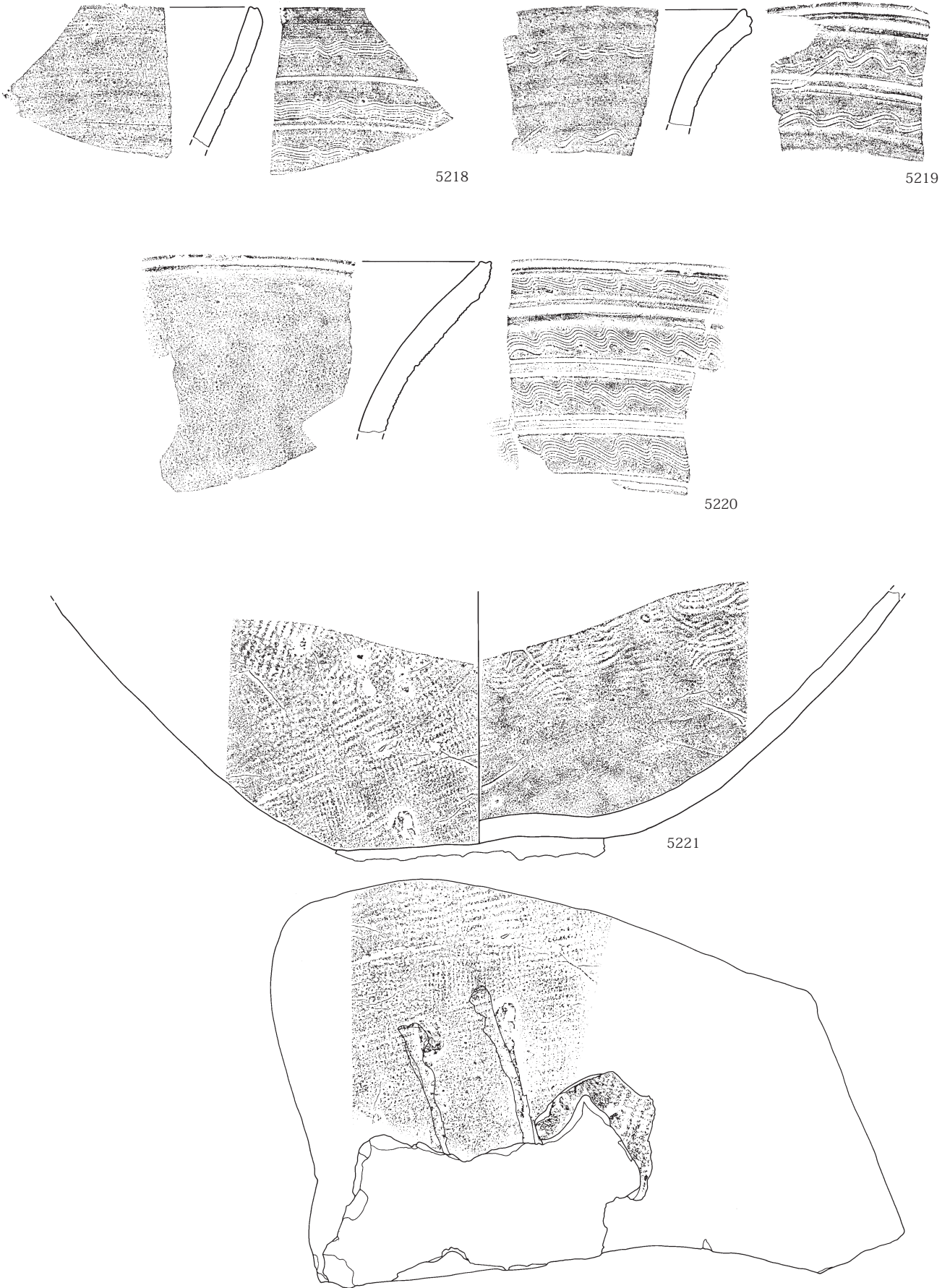


第 431 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 93

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

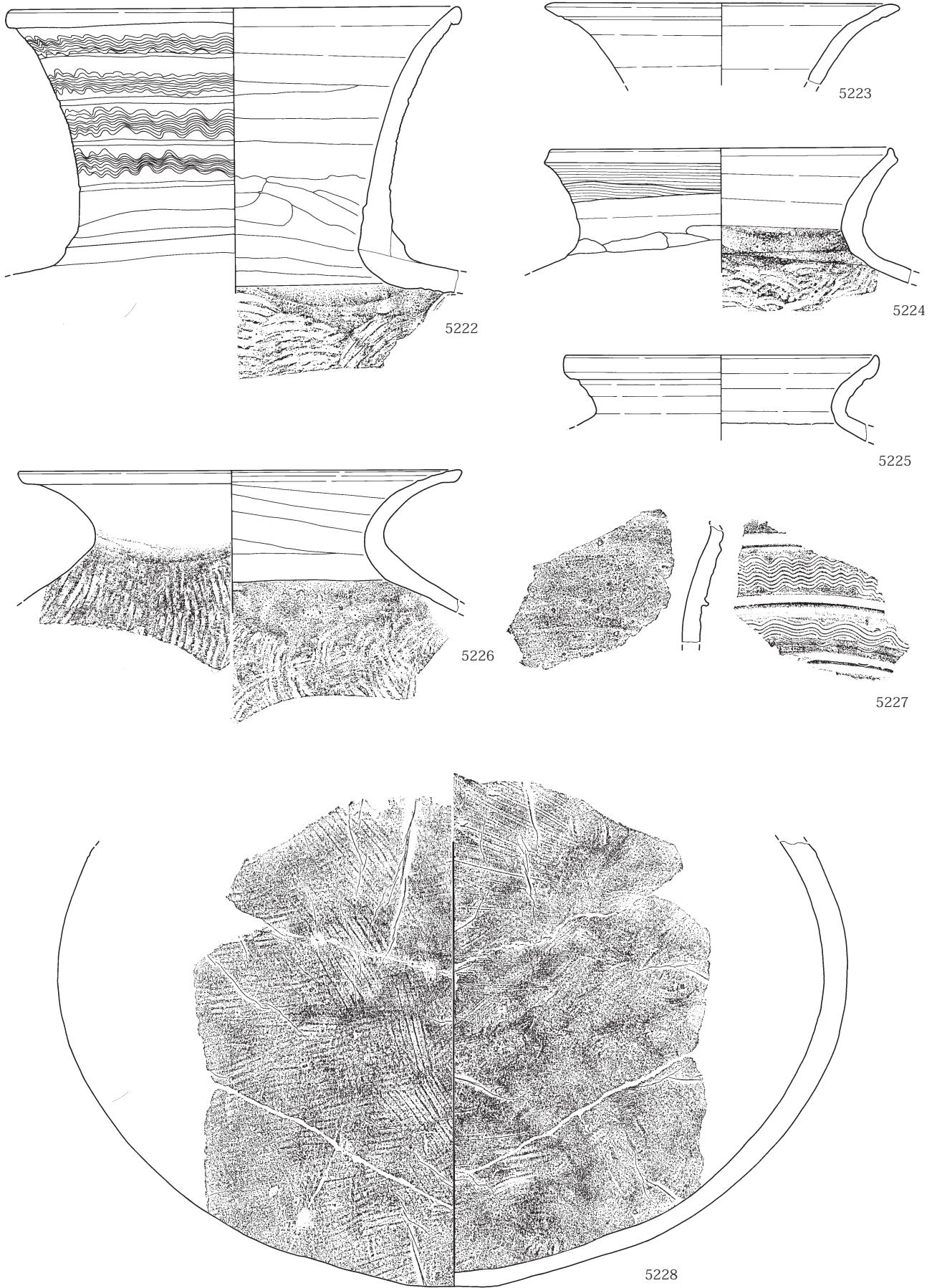


第 432 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 94

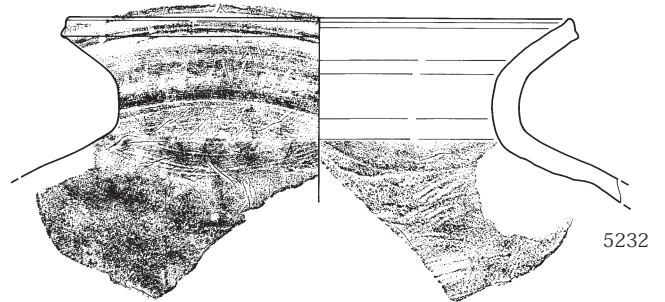
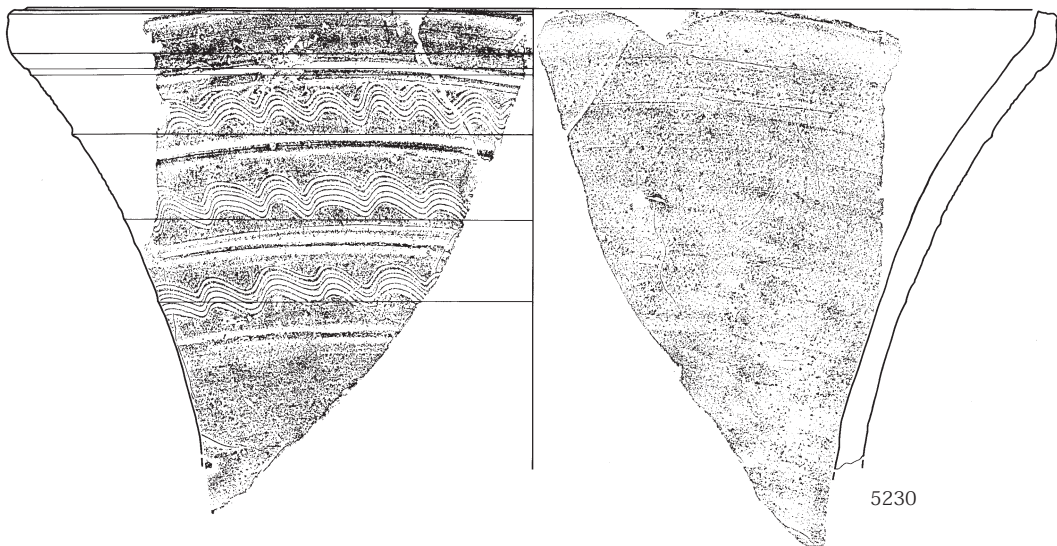
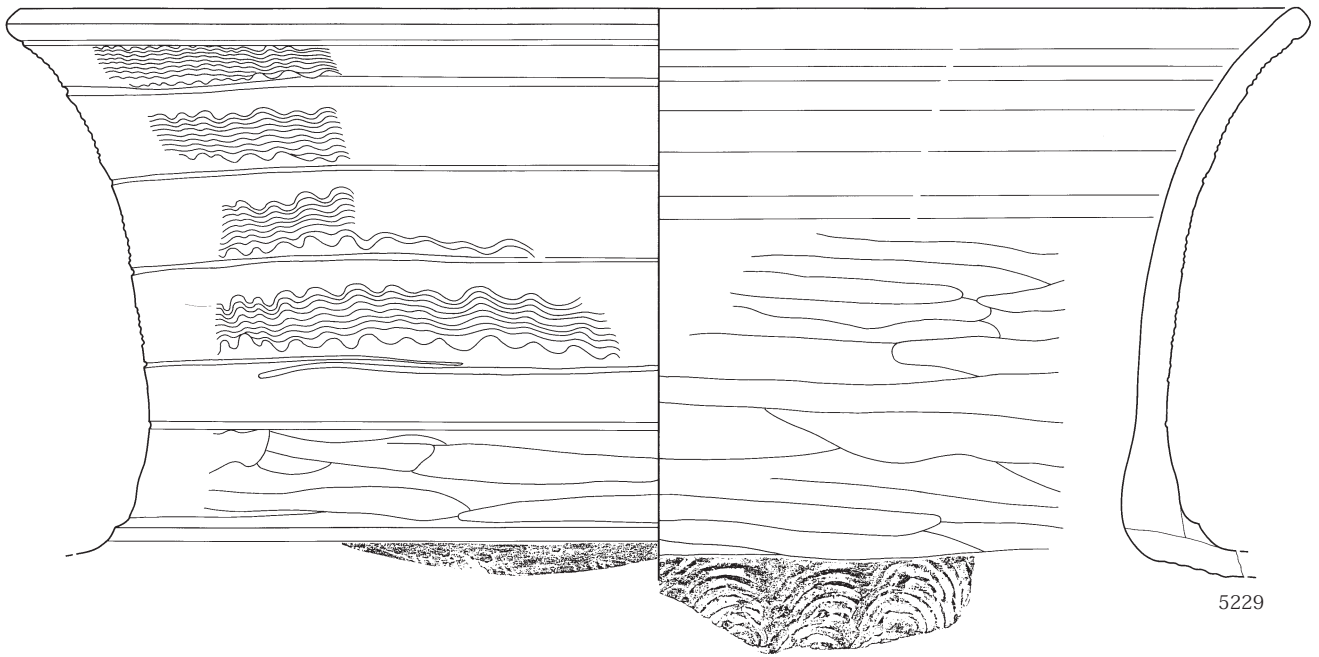


第 433 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 95

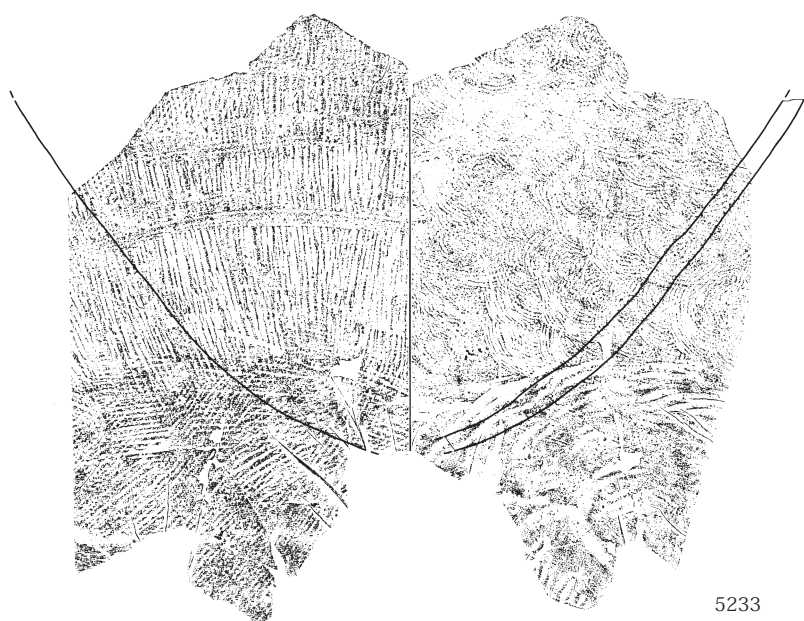
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



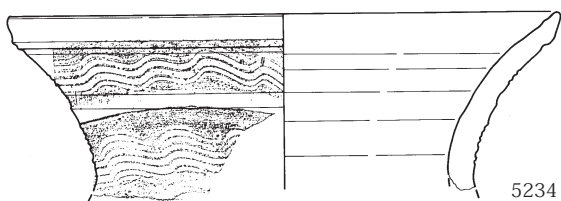
第 434 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 96



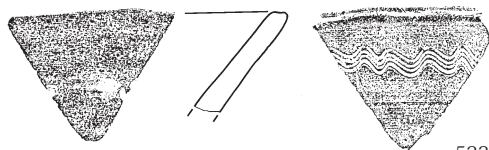
第 435 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 97



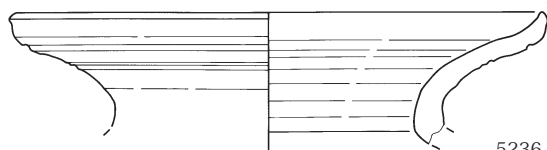
5233



5234



5235

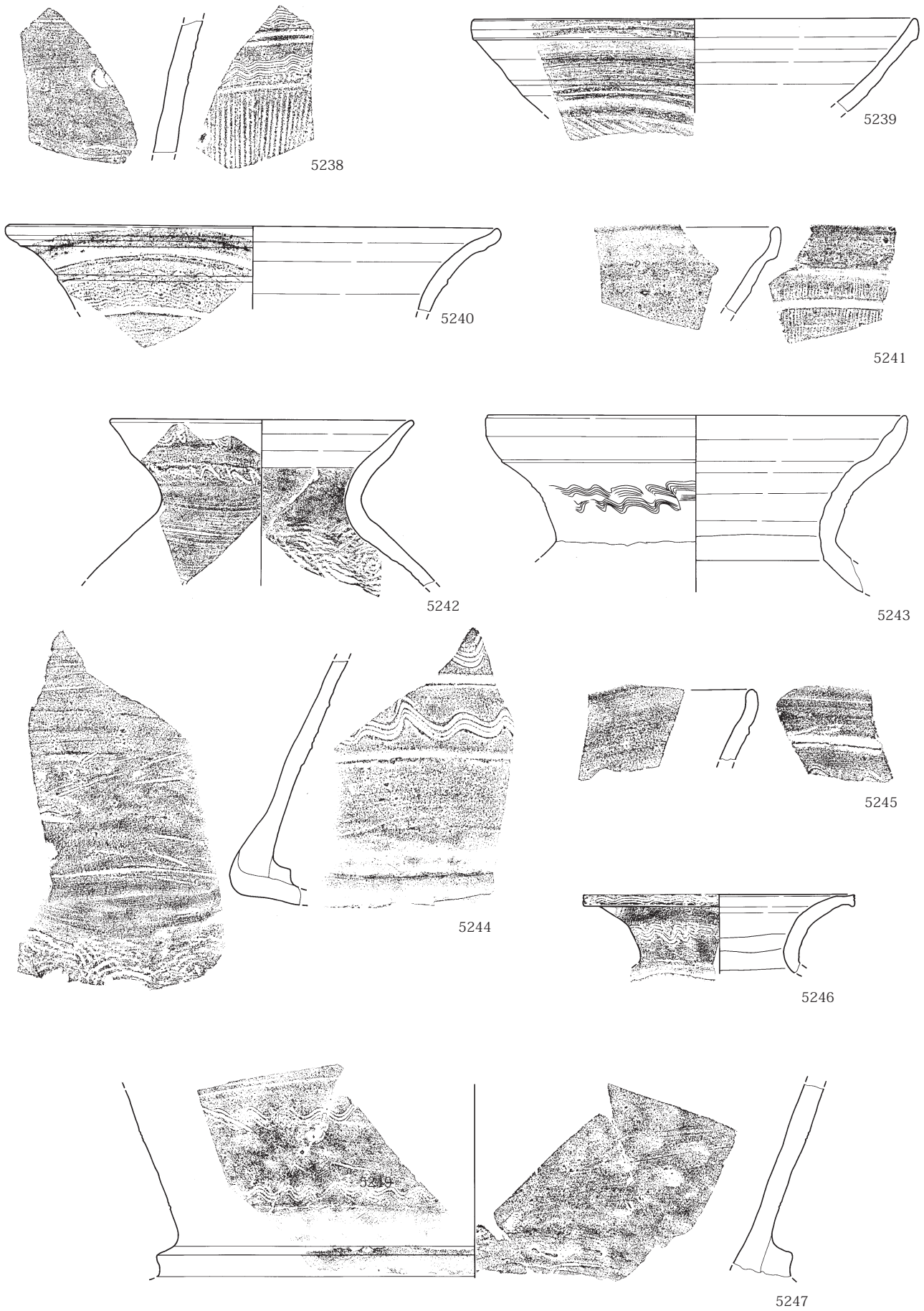


5236



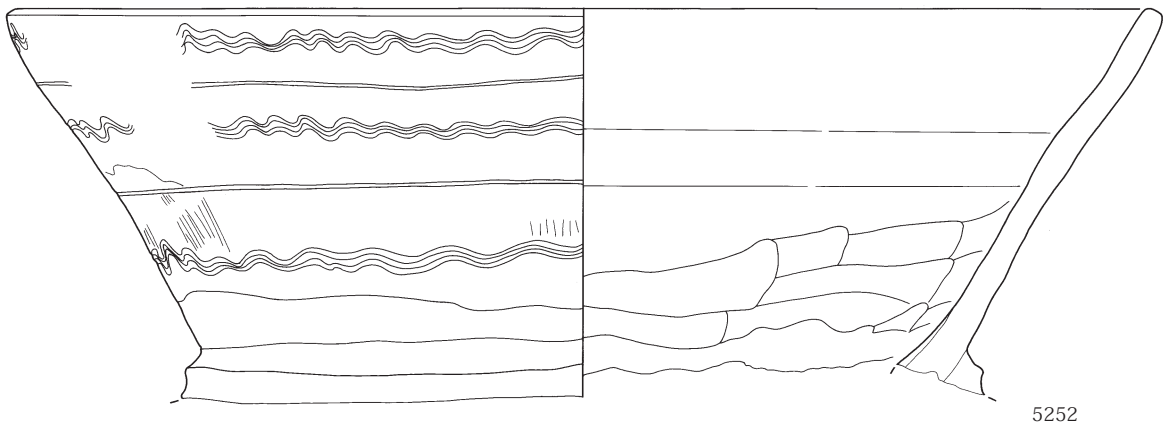
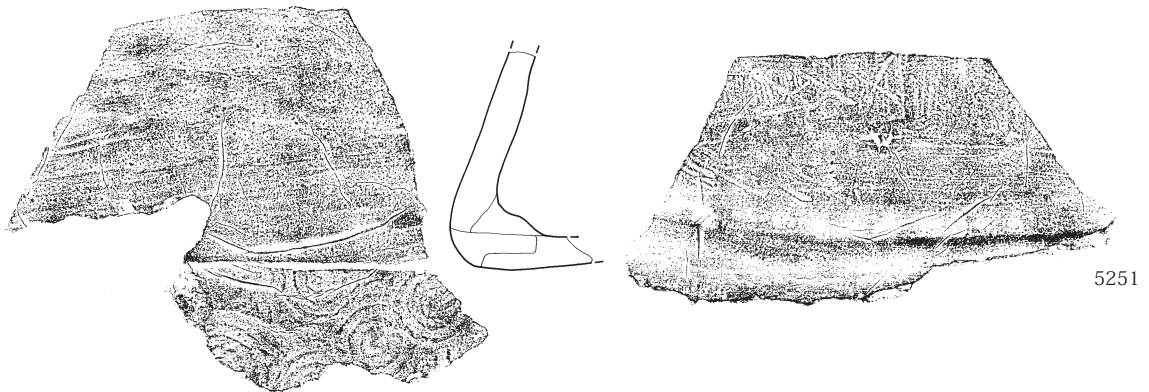
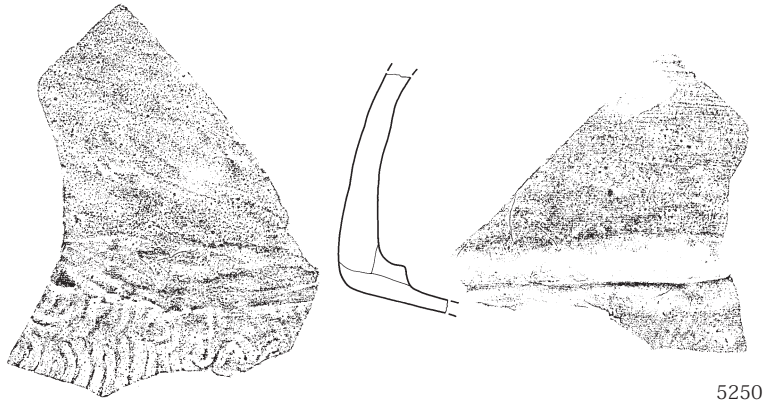
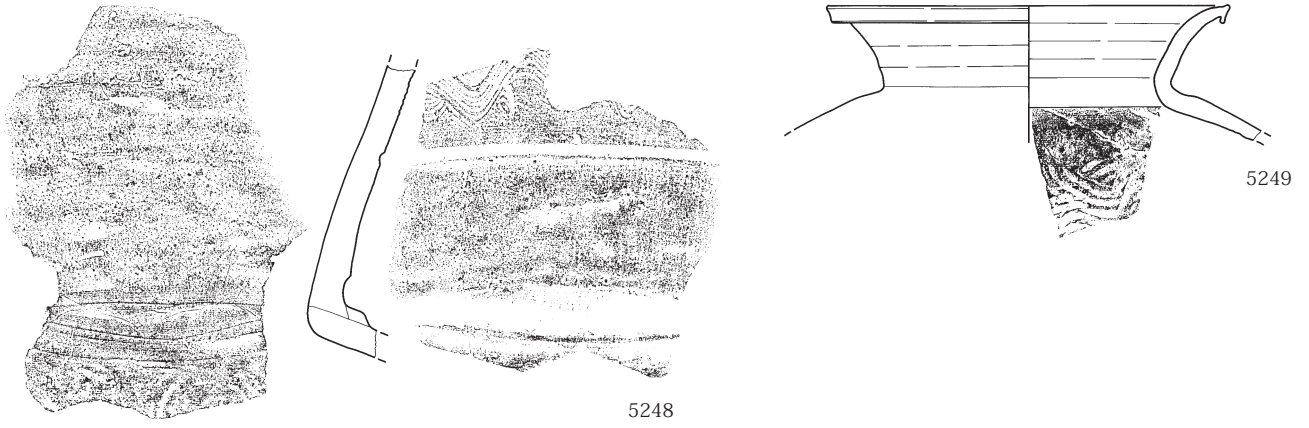
5237

第 436 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 98

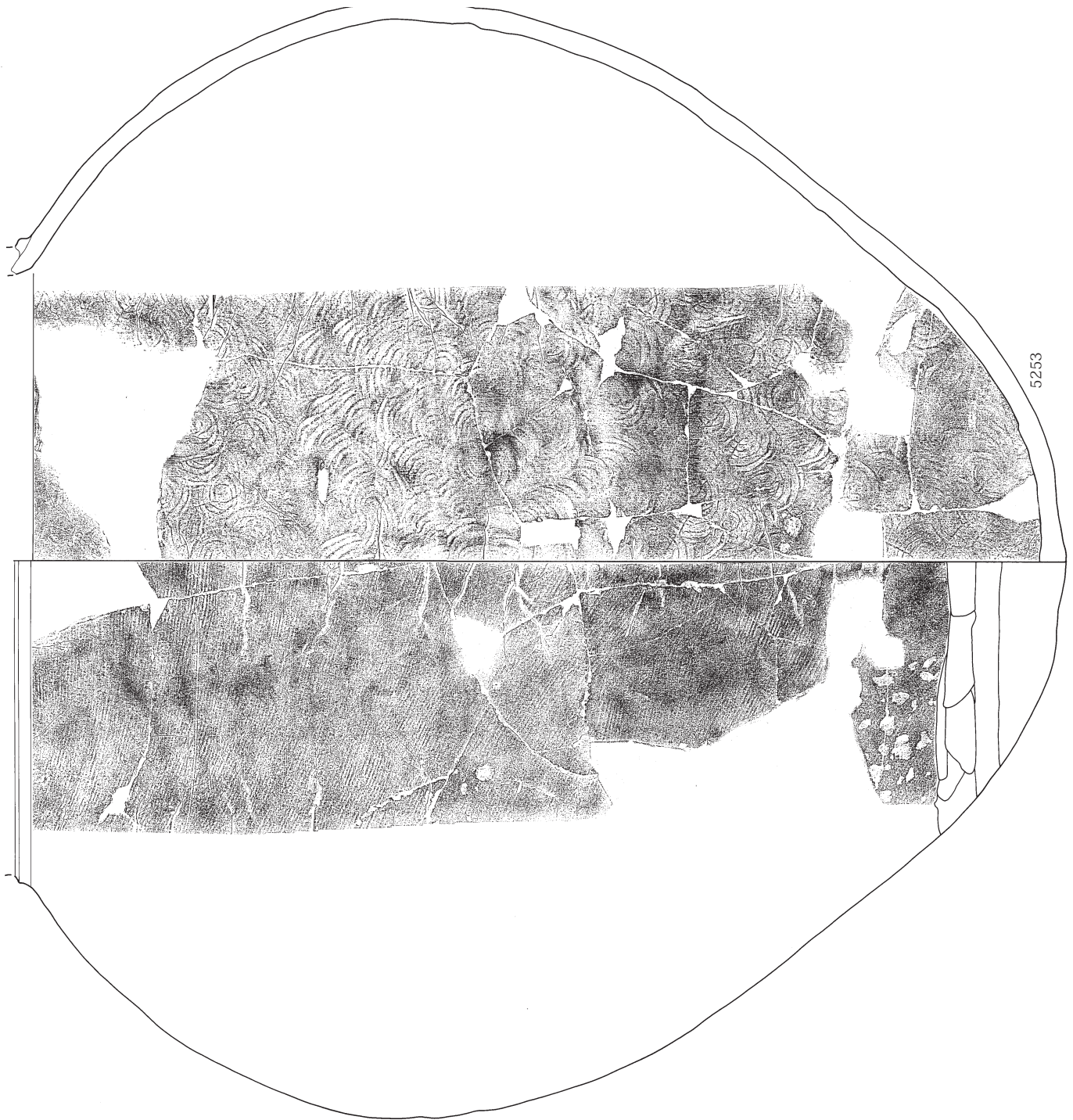


第 437 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 99

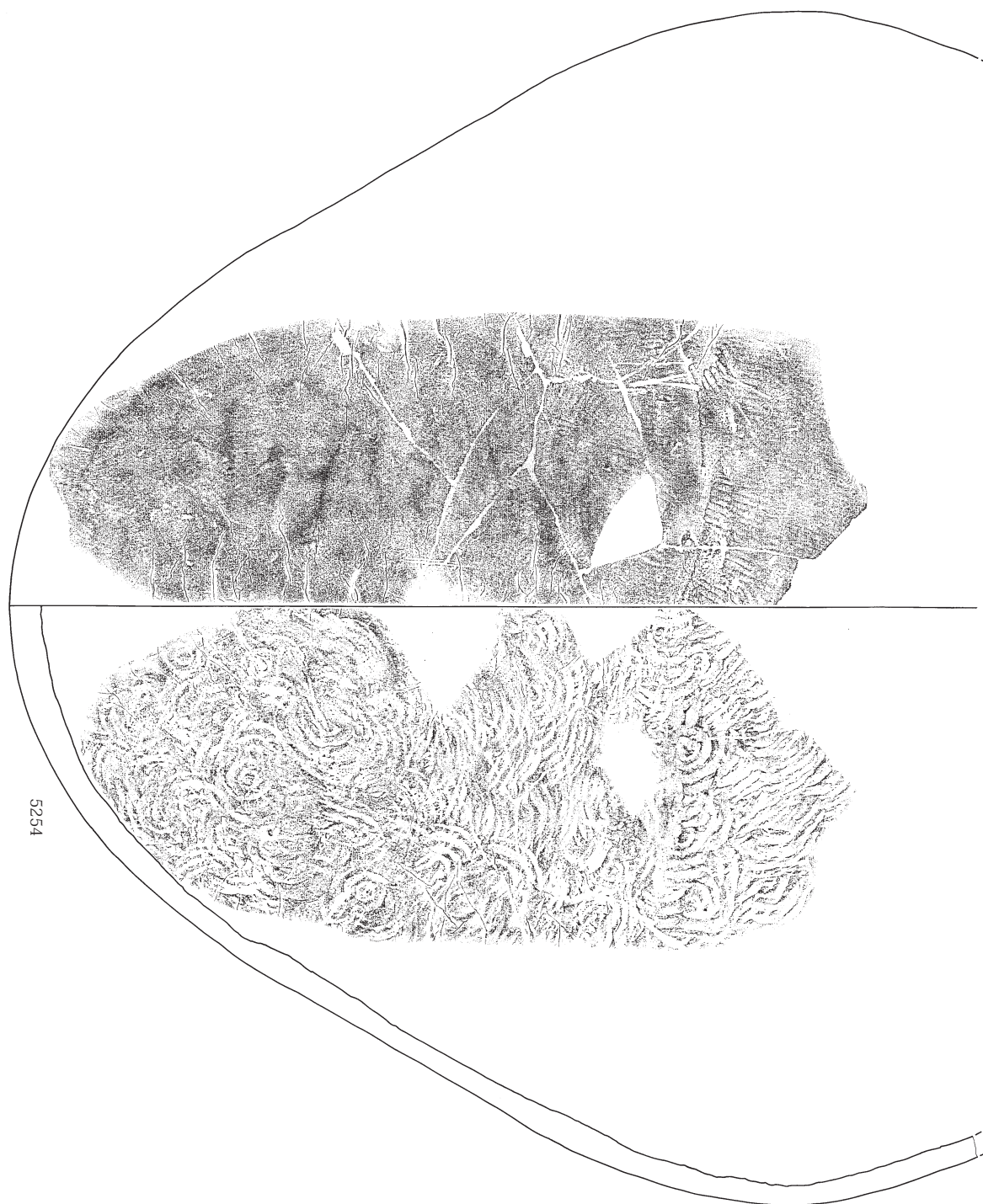
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



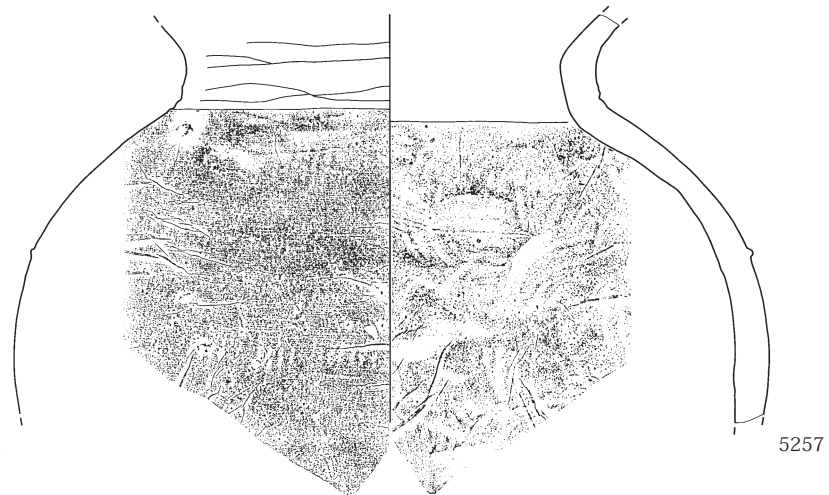
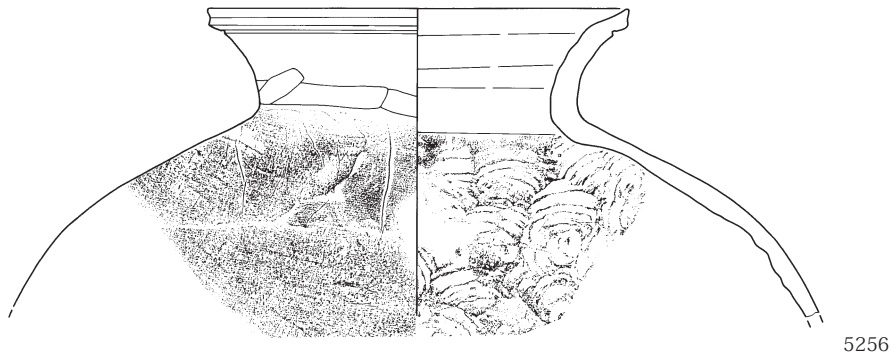
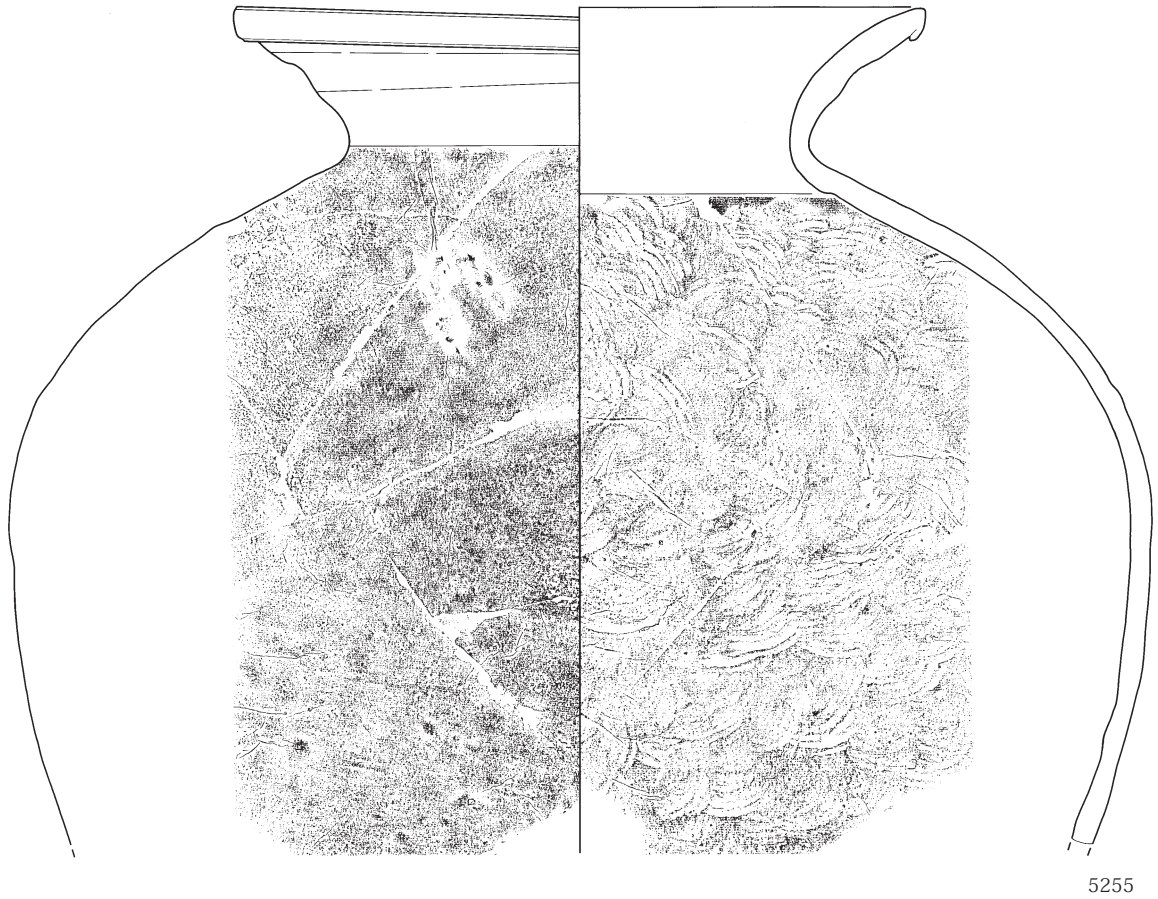
第 438 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 100



第 439 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 101

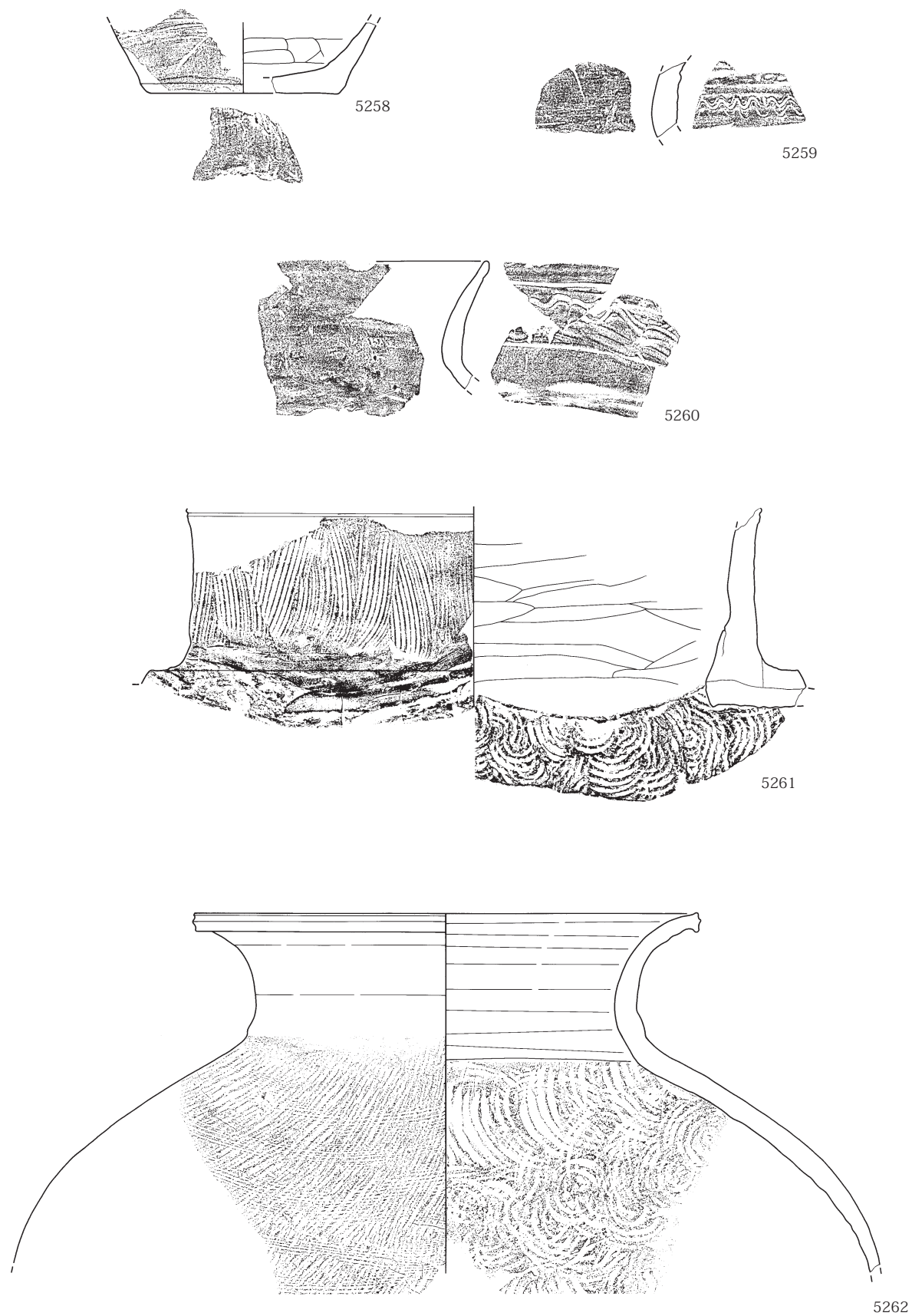


第 440 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 102

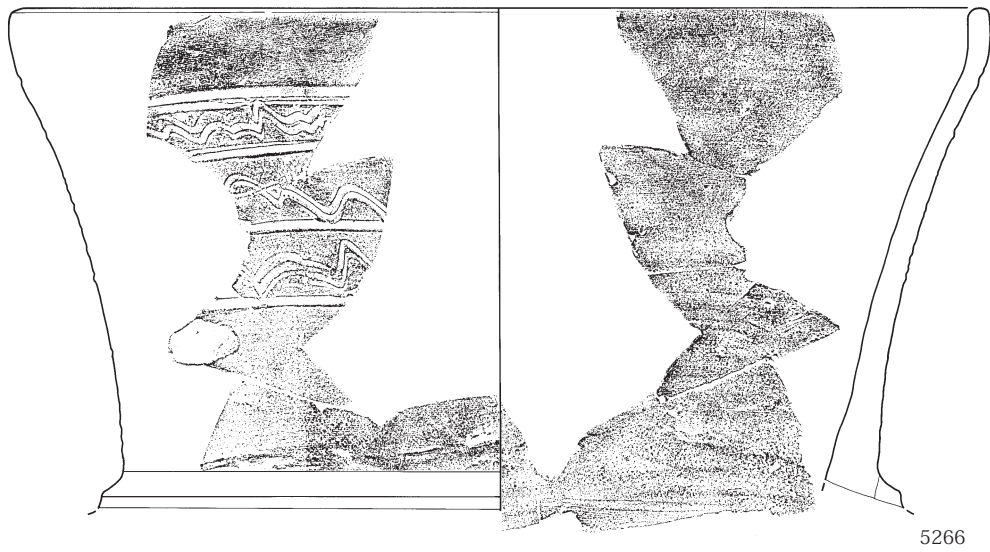
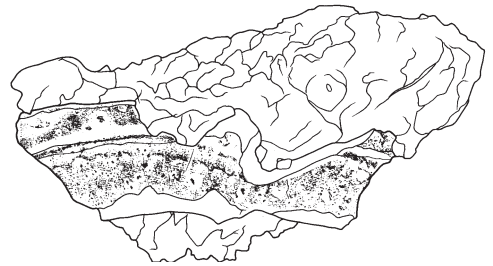
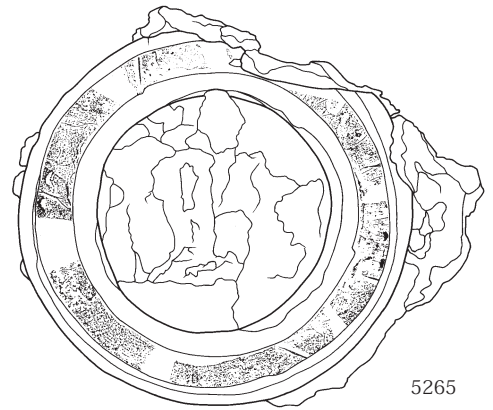
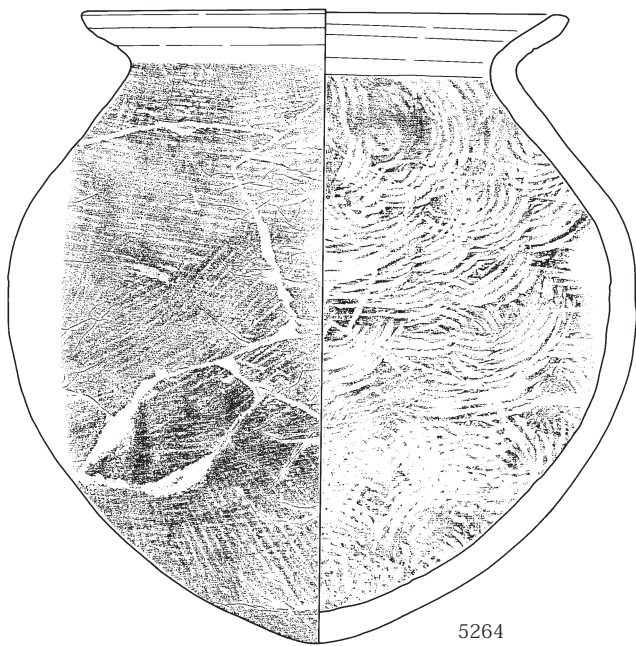
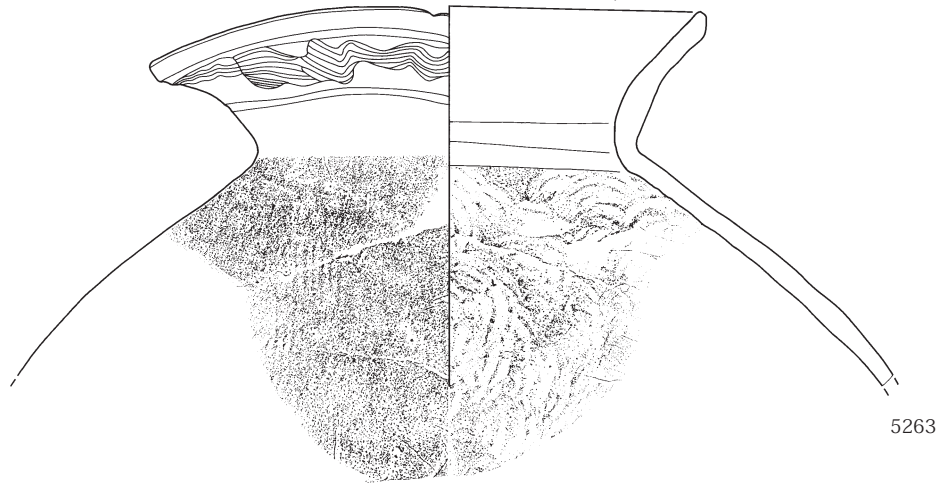


第 441 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 103

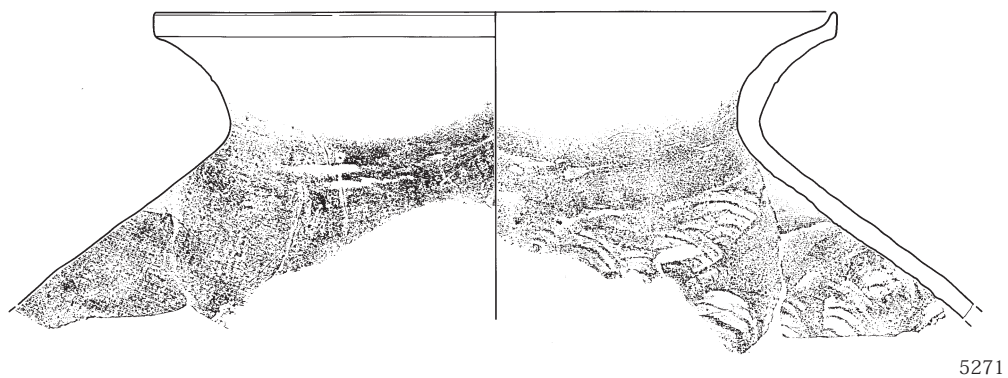
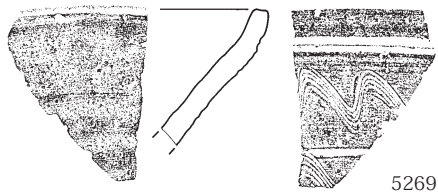
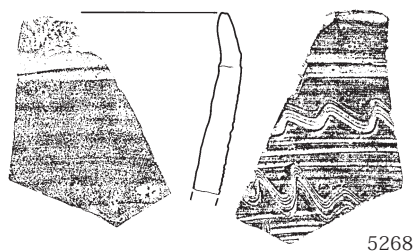
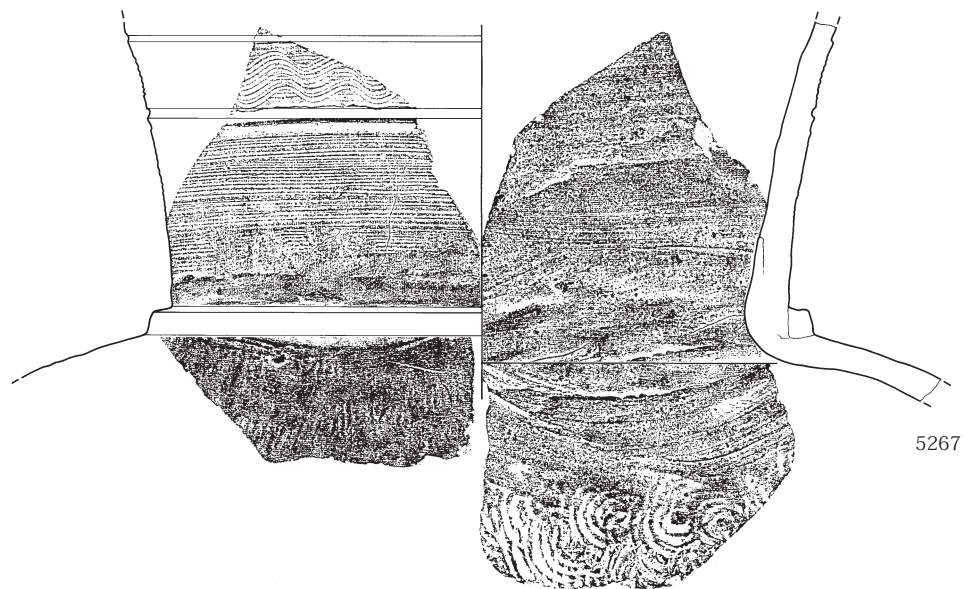
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



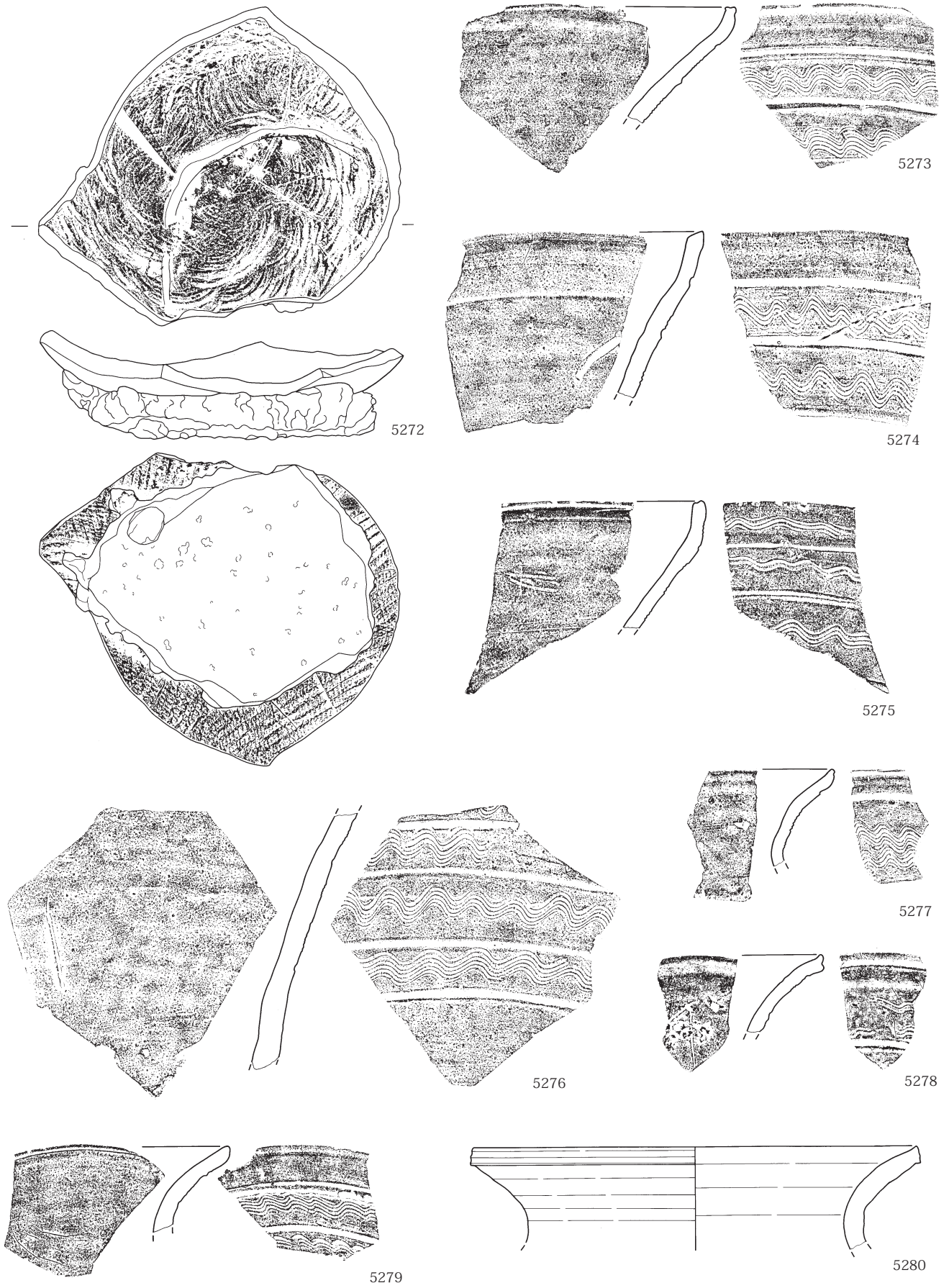
第 442 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 104



第 443 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 105

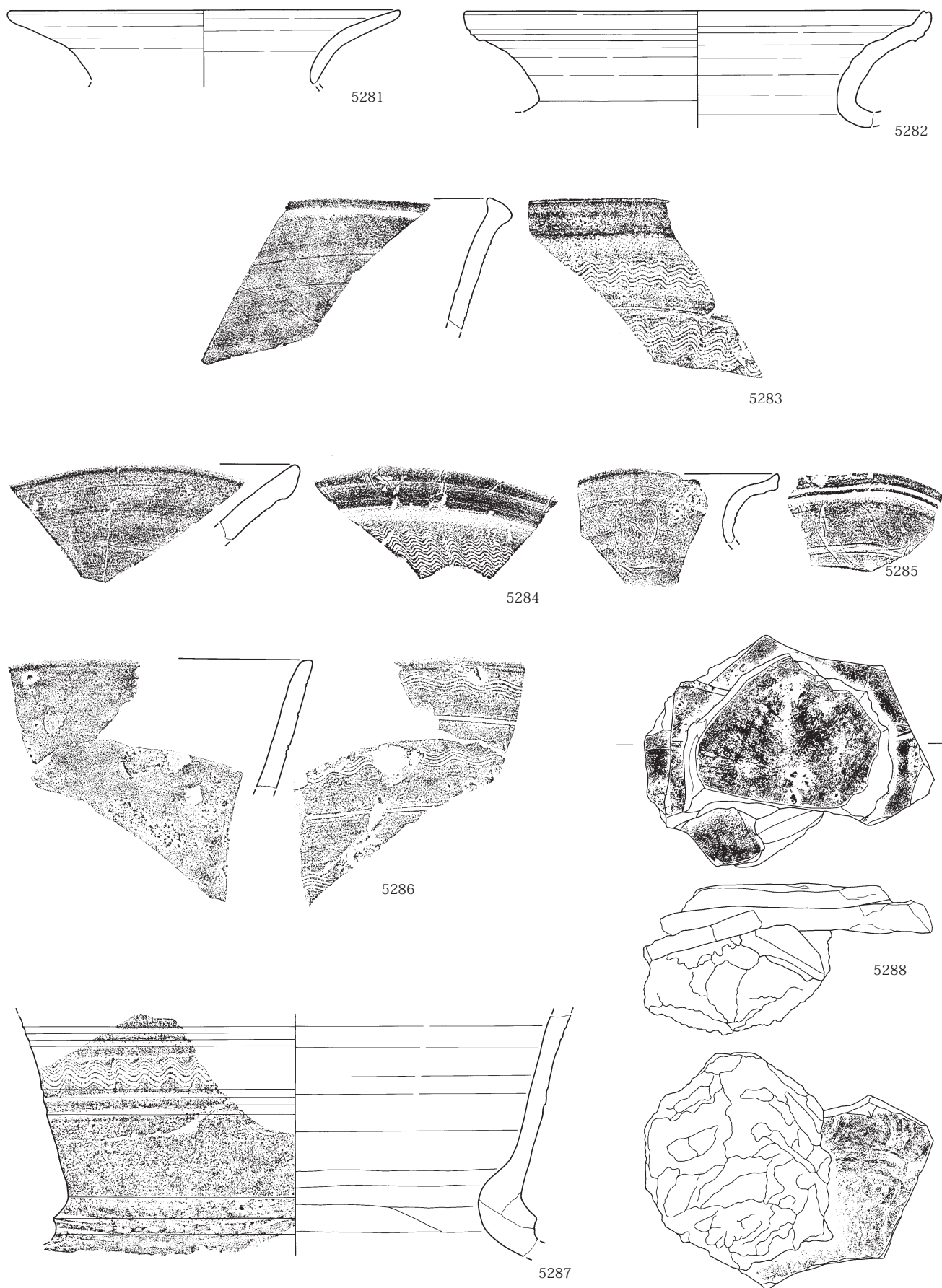


第 444 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 106

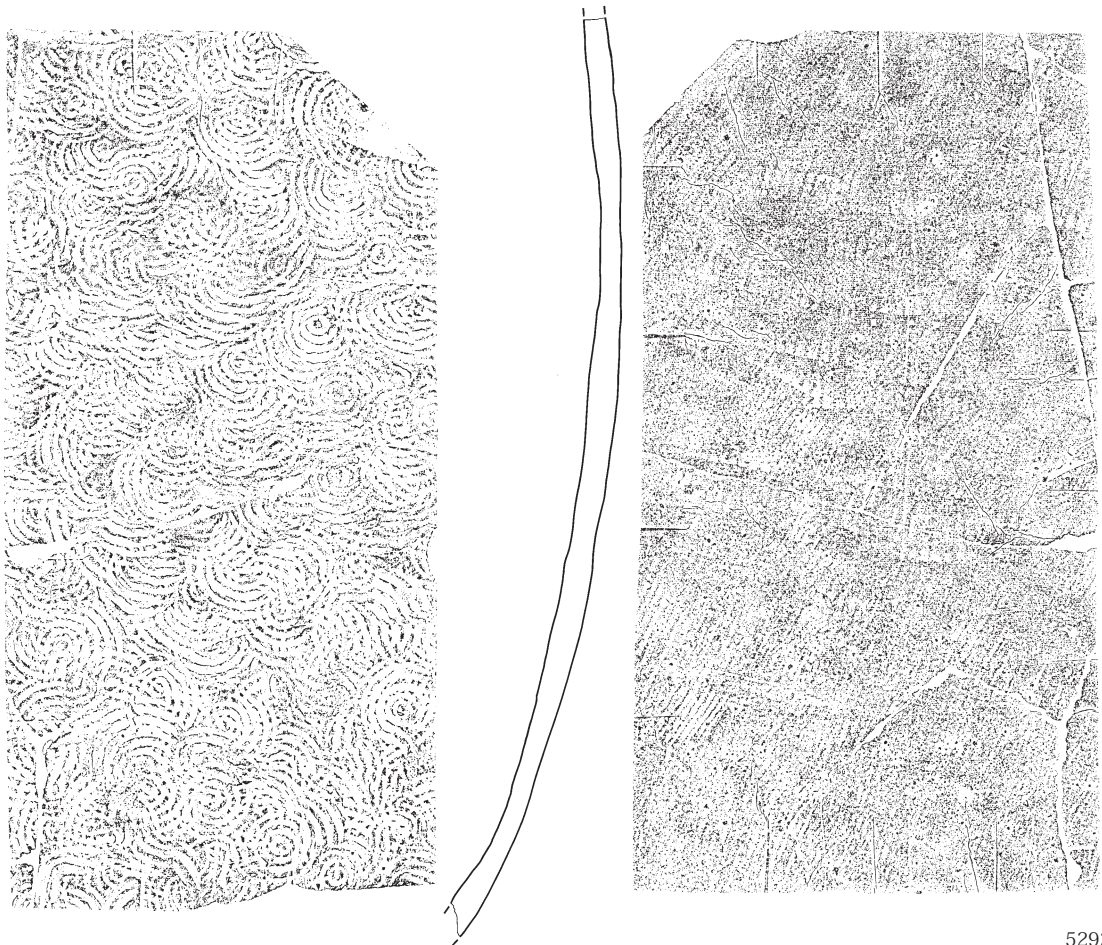
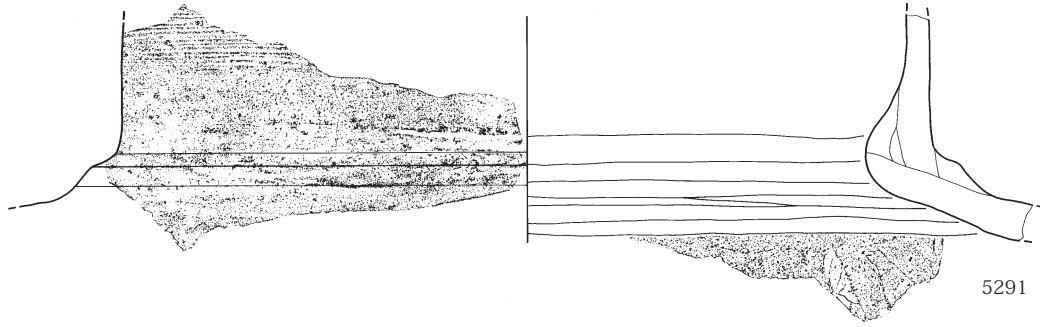
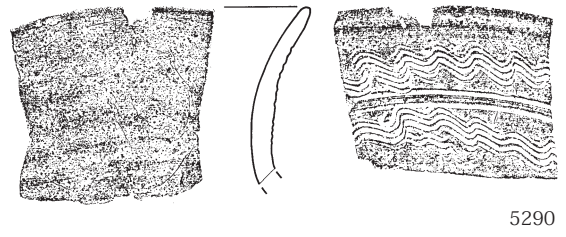
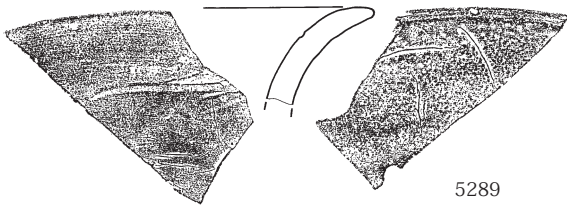


第 445 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 107

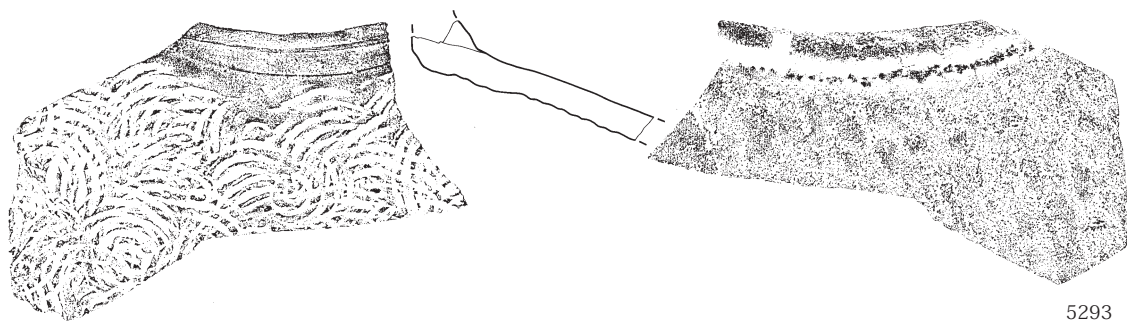
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



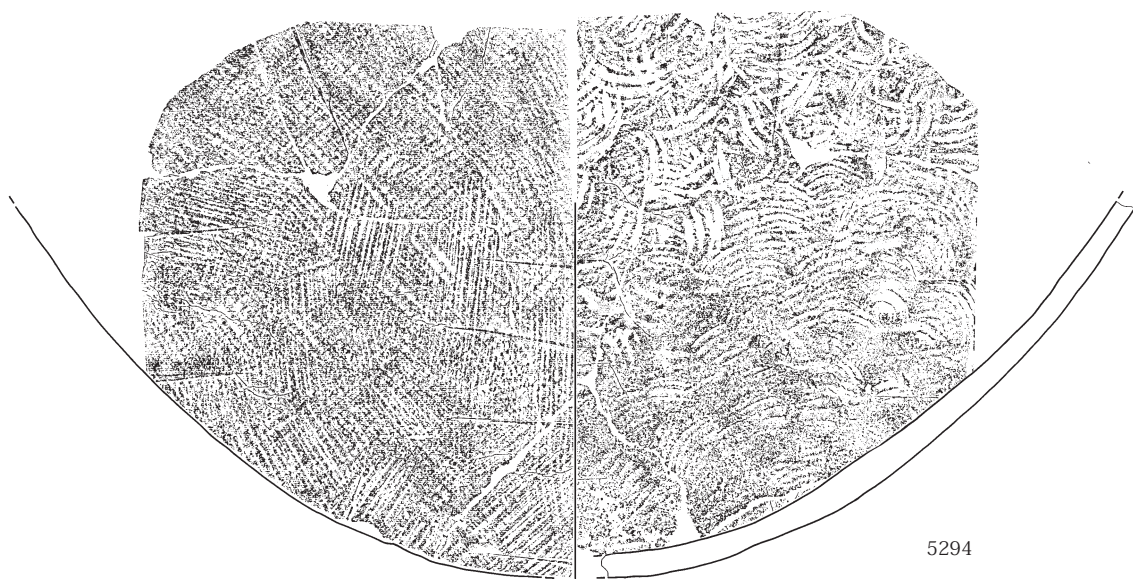
第 446 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 108



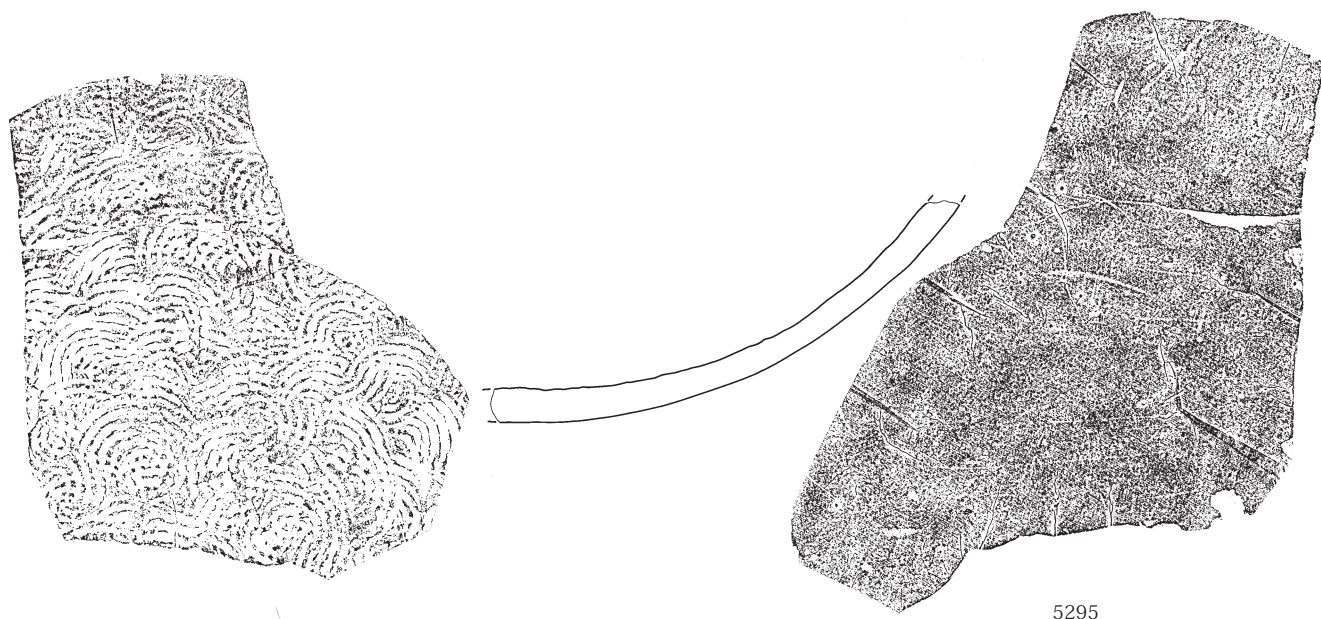
第 447 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 109



5293

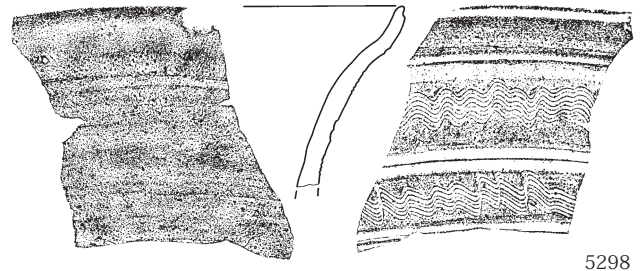
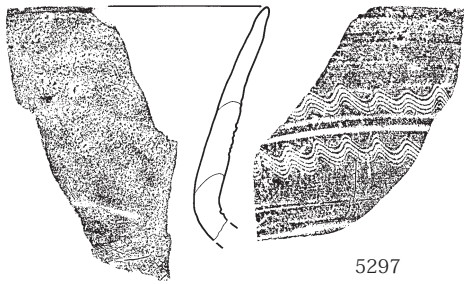
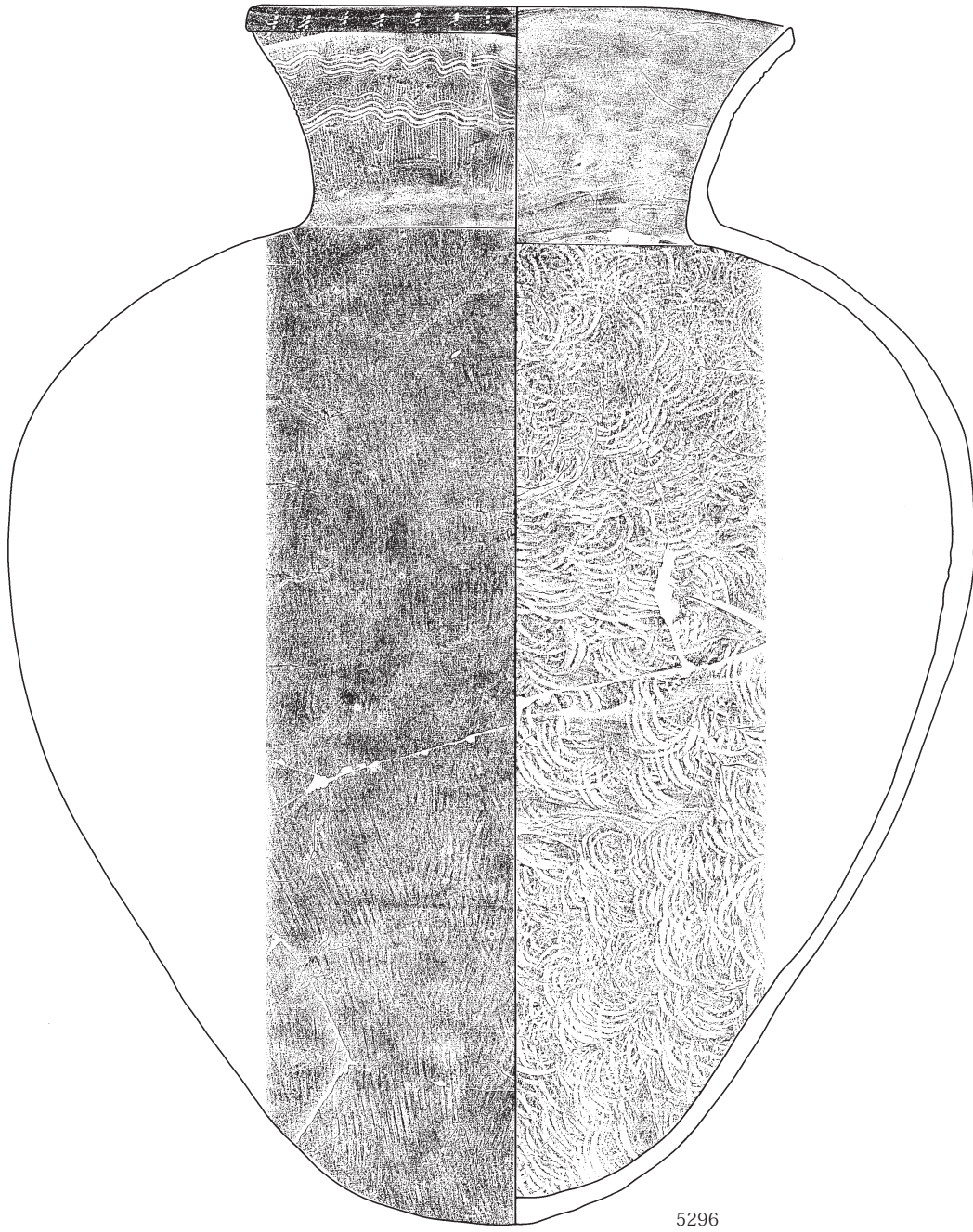


5294

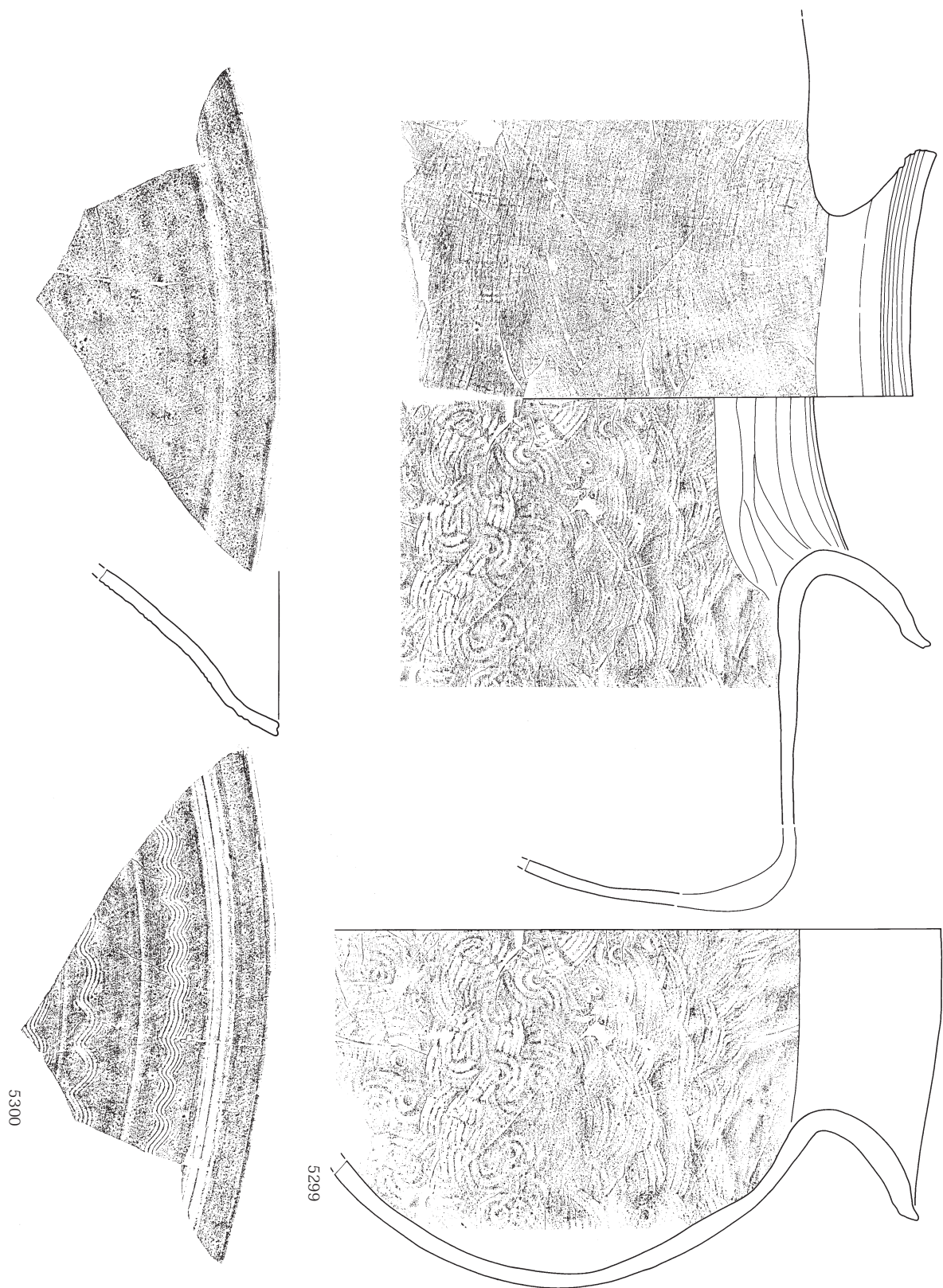


5295

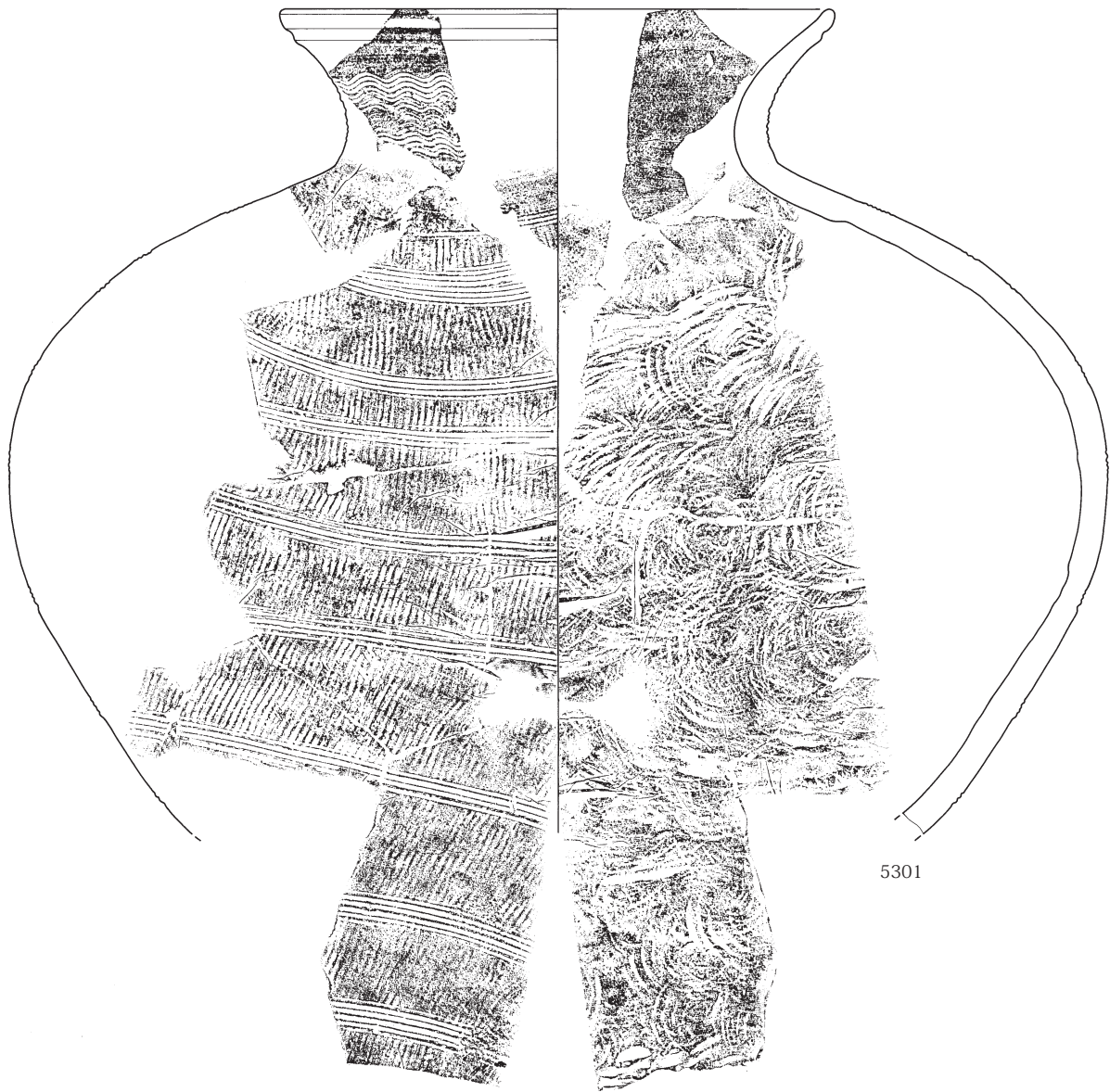
第 448 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 110



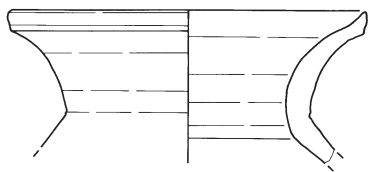
第 449 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 111



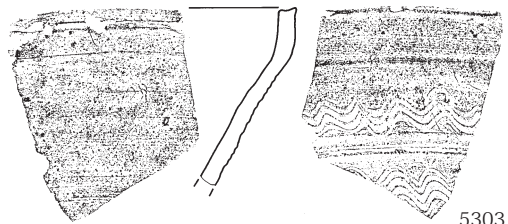
第 450 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 112



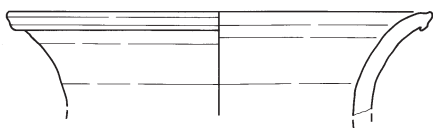
5301



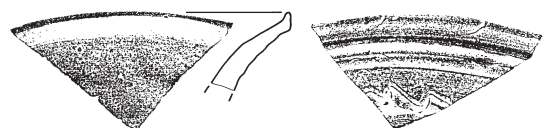
5302



5303



5304

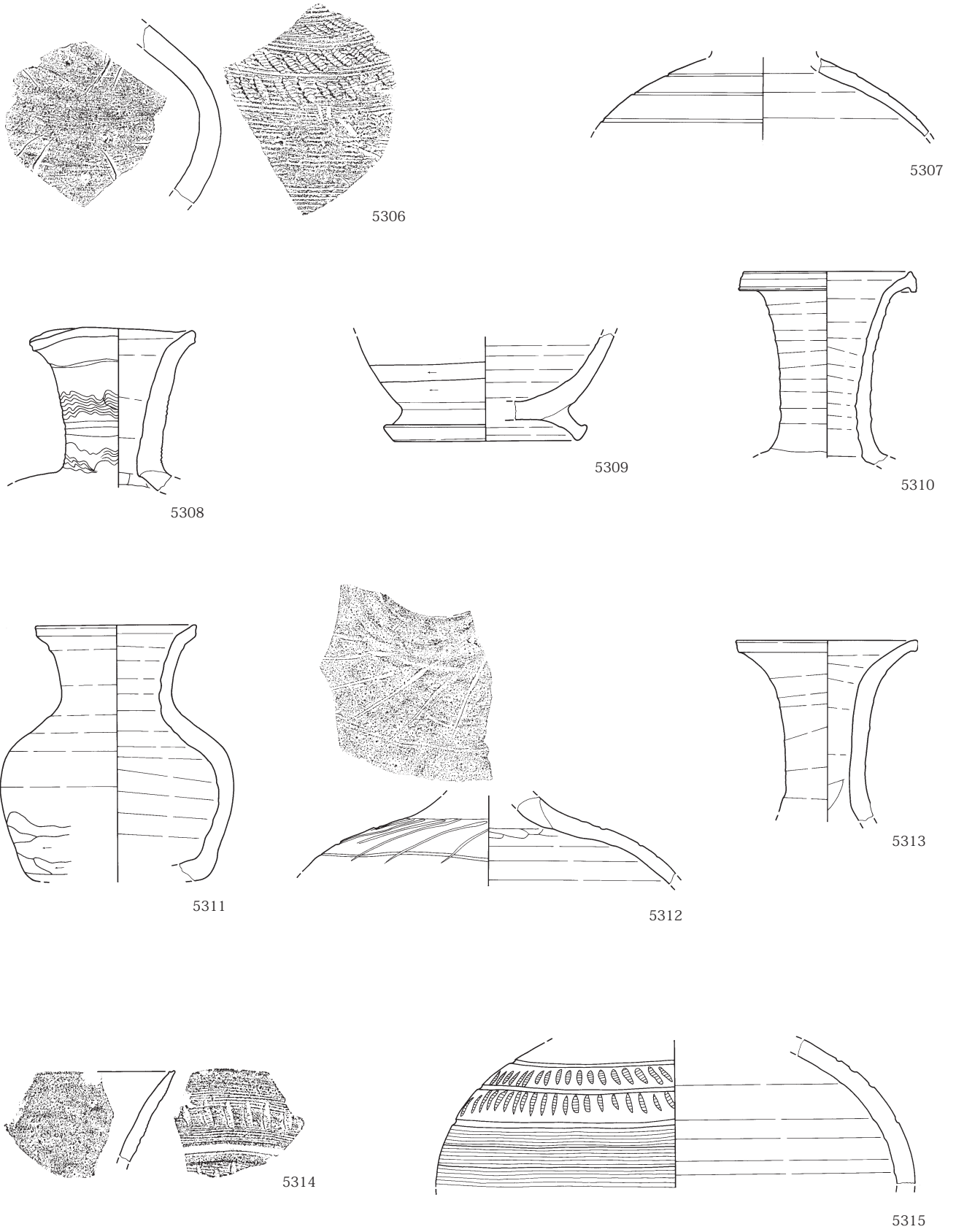


5305

第 451 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 113

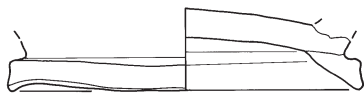
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

須恵器 V A

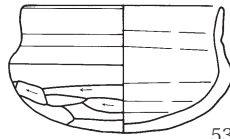


第 452 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 114

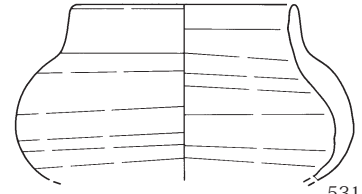
須恵器V B



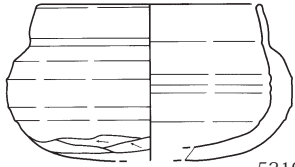
5316



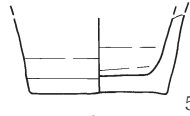
5317



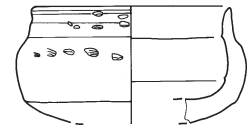
5318



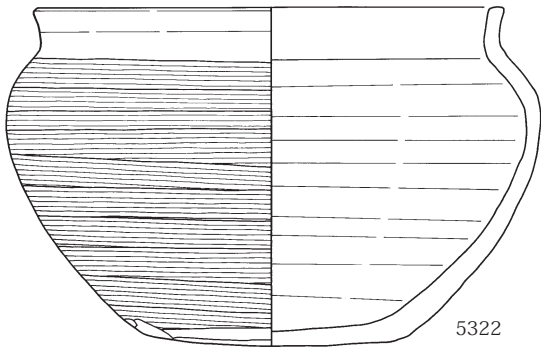
5319



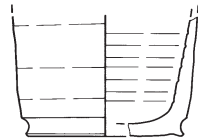
5320



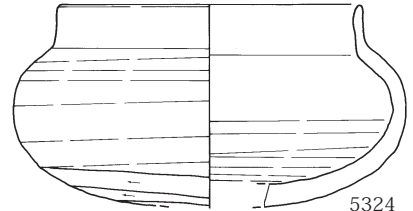
5321



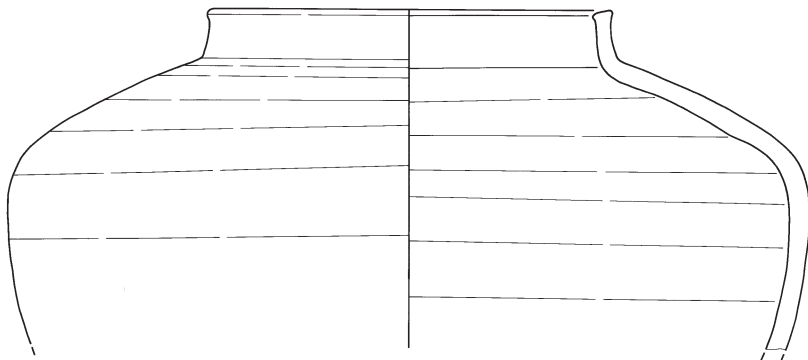
5322



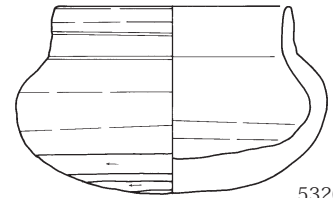
5323



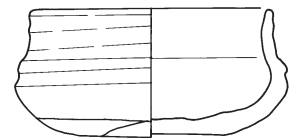
5324



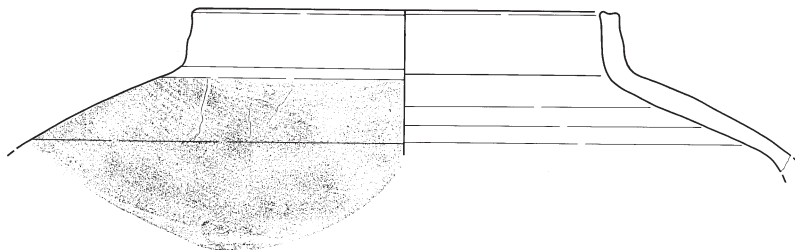
5325



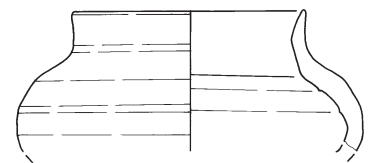
5326



5327



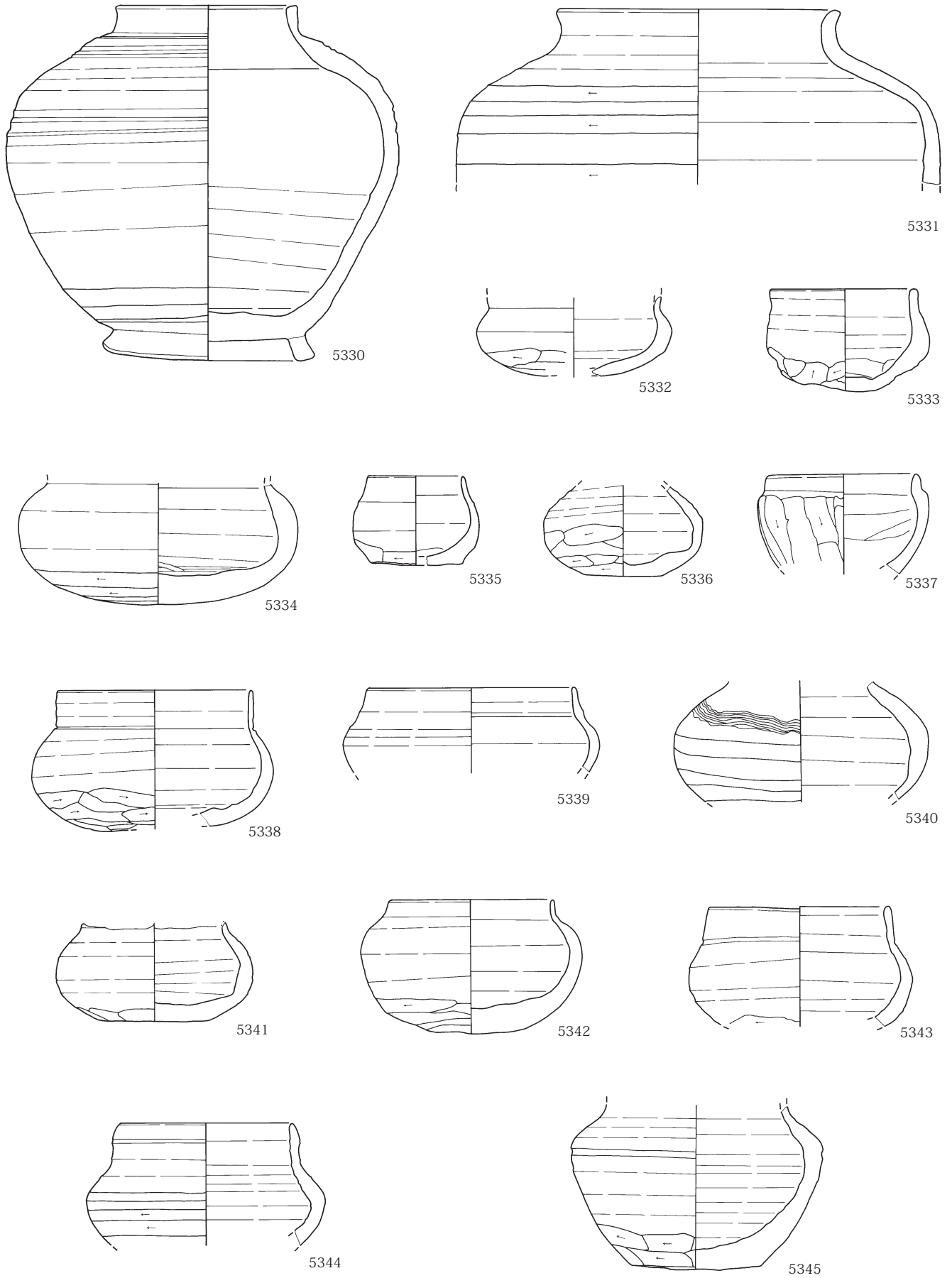
5328



5329

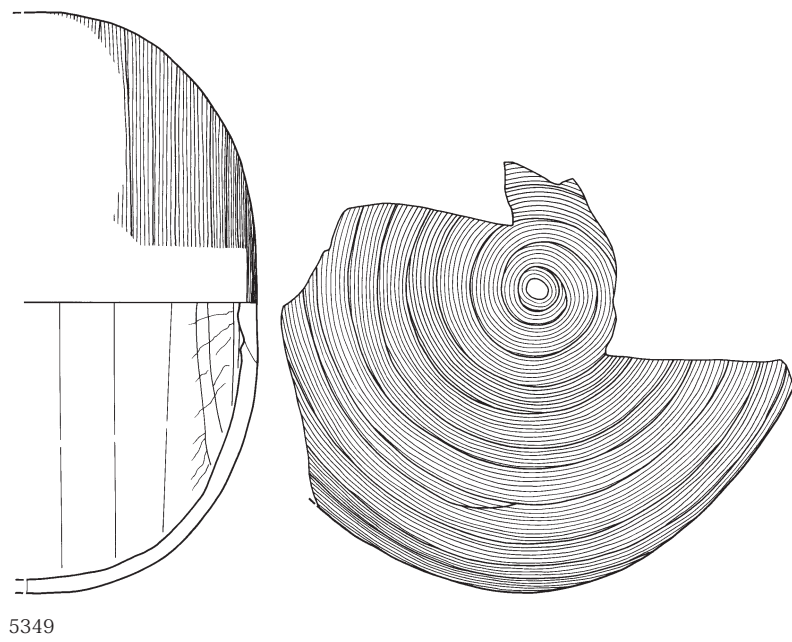
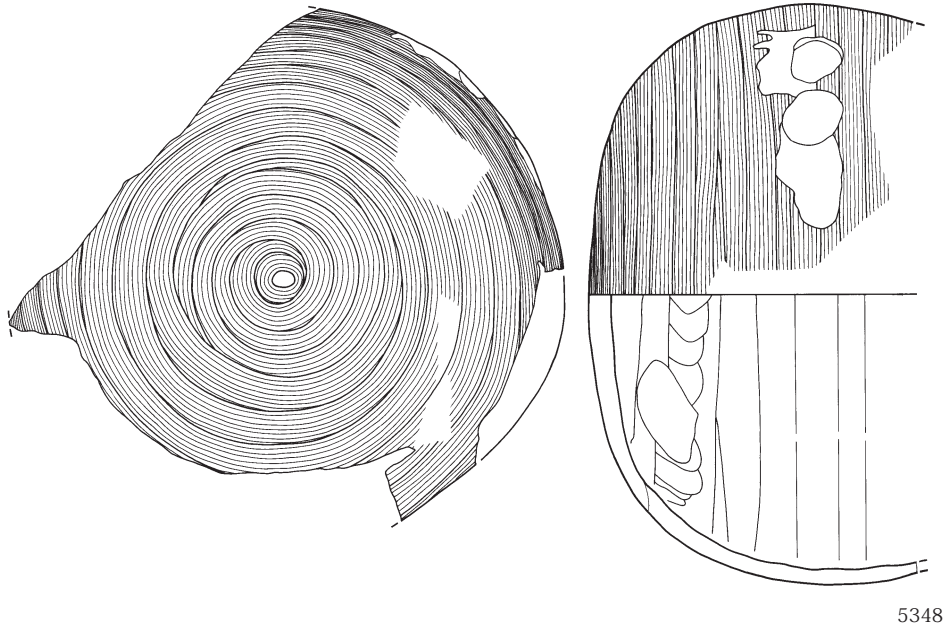
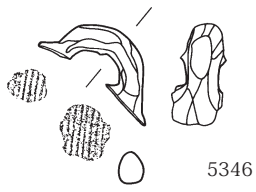
第 453 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 115

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



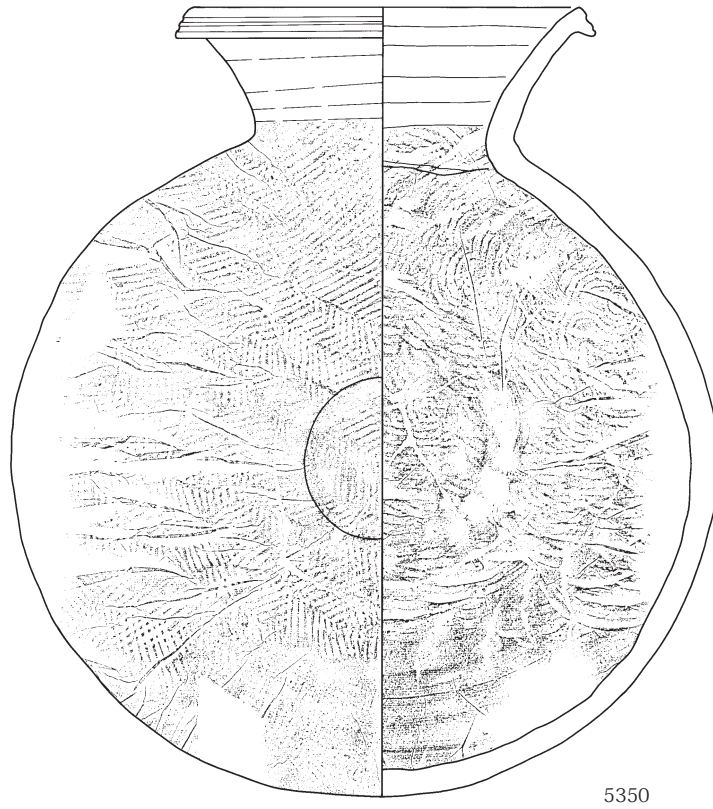
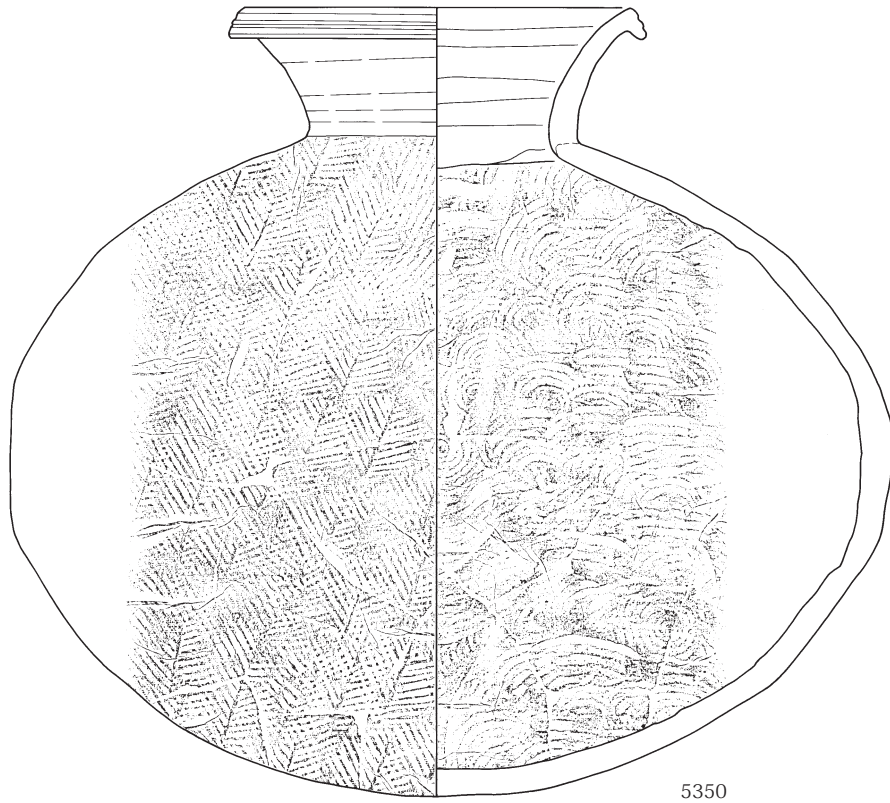
第 454 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 116

須恵器V C



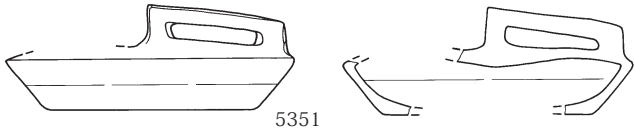
第 455 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 117

須恵器V D

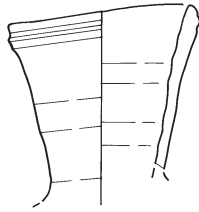
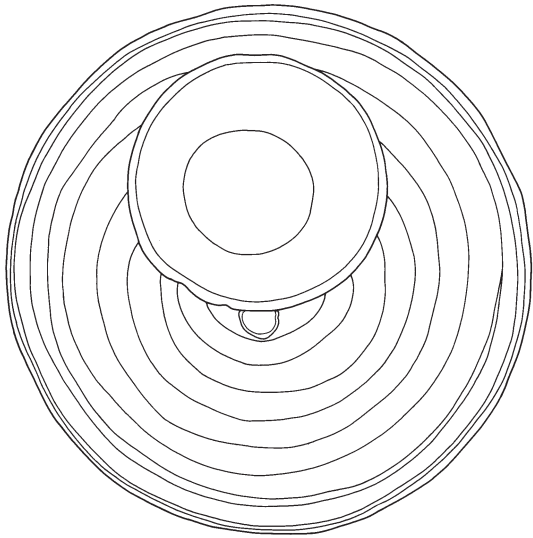


第 456 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 118

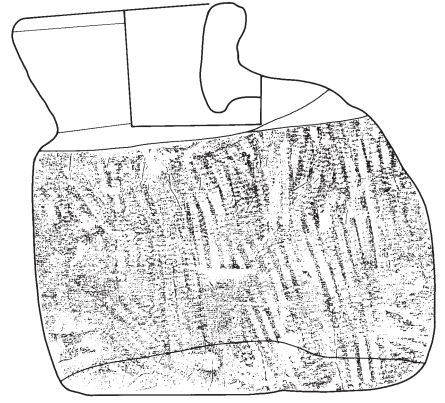
須恵器 V E



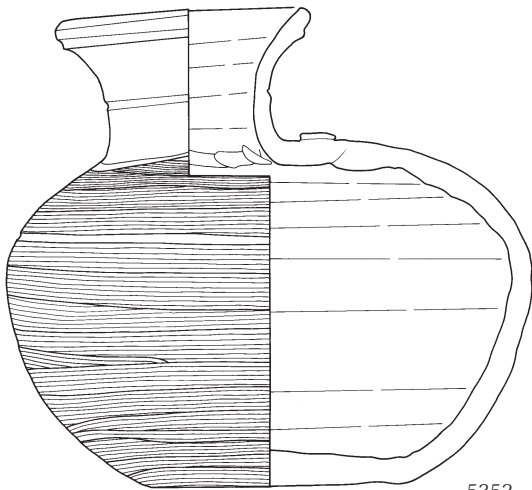
5351



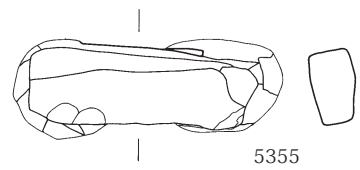
5353



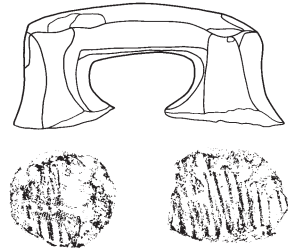
5354



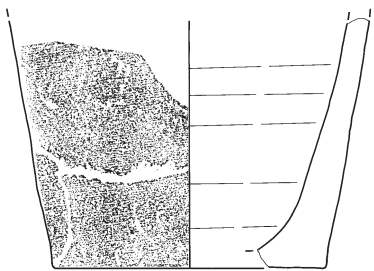
5352



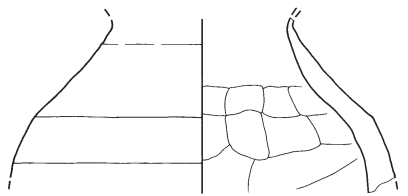
5355



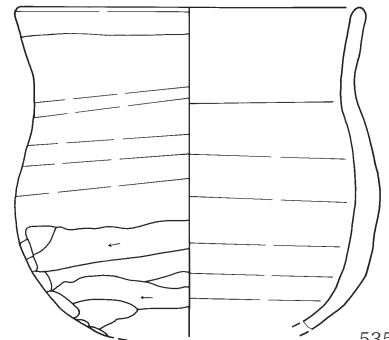
須恵器 V F



5356



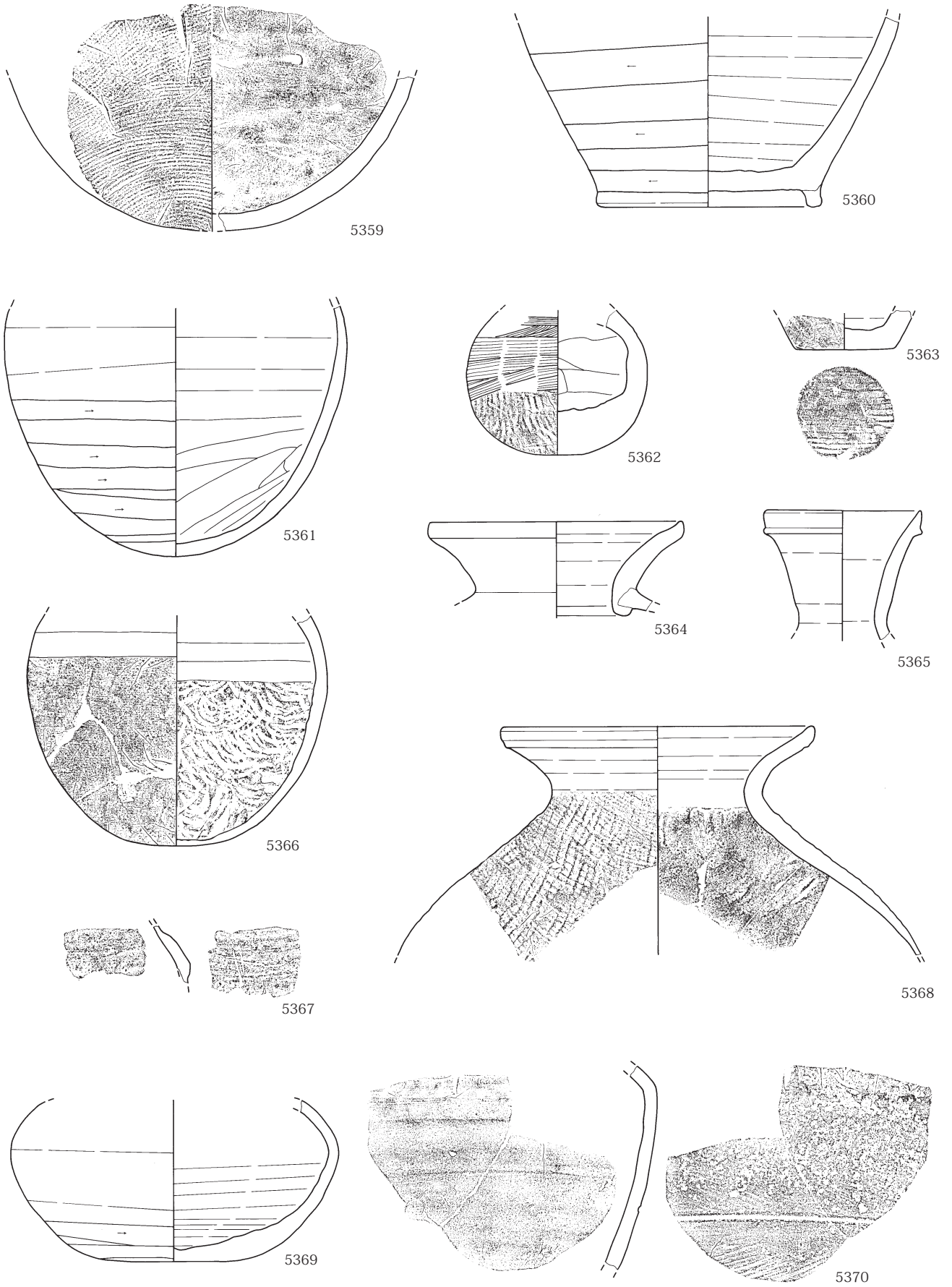
5357



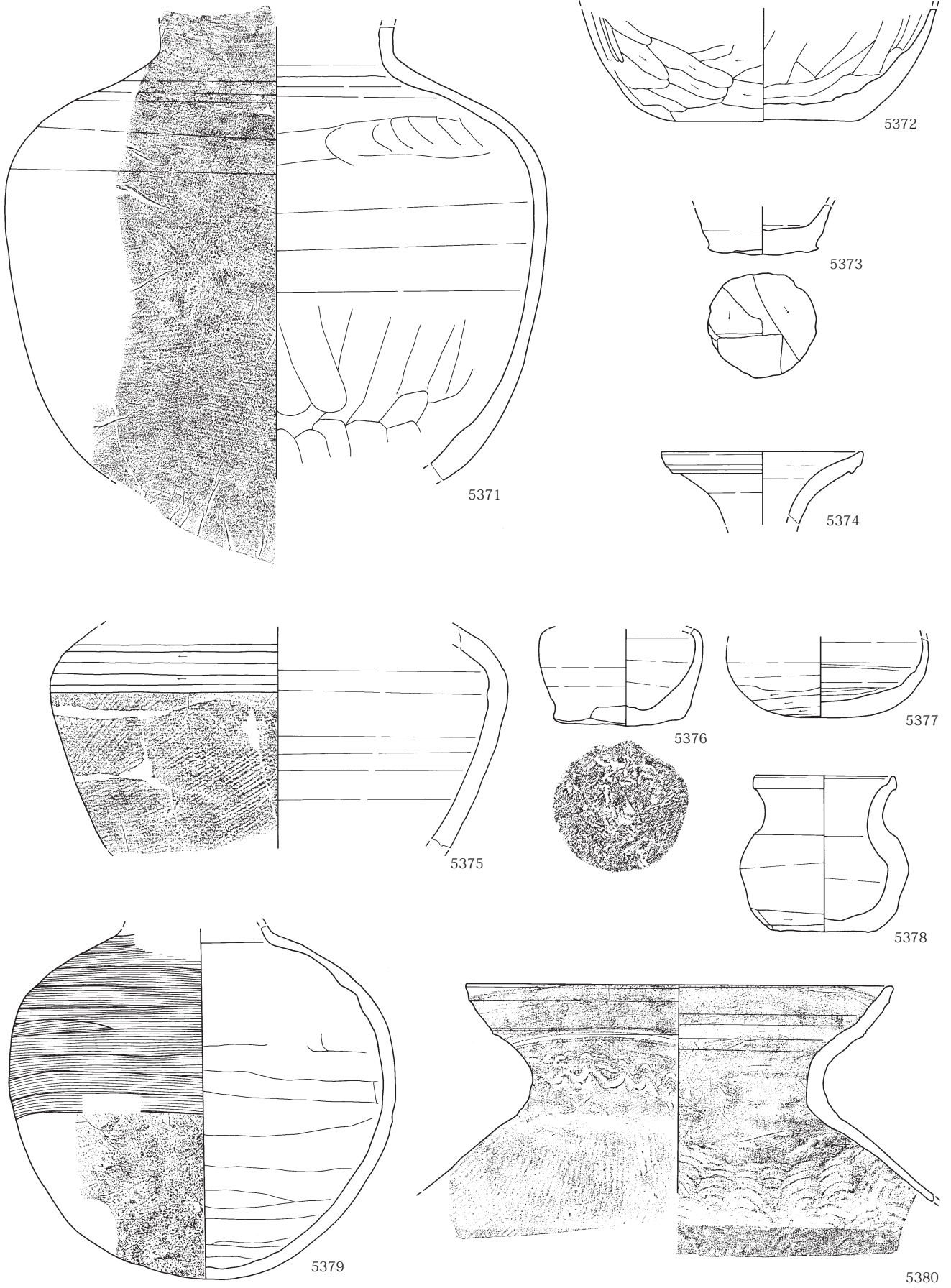
5358

第 457 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 119

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

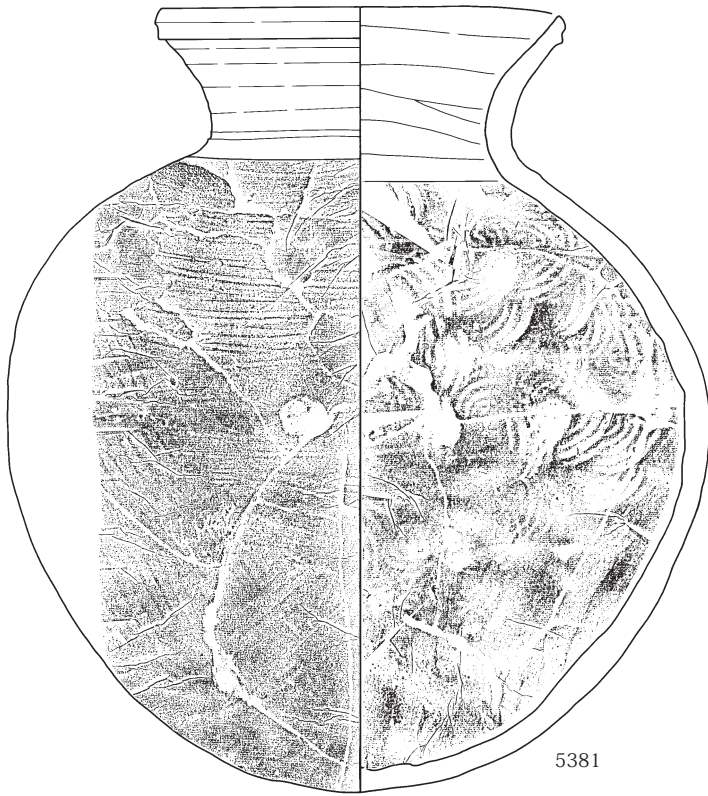


第 458 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 120

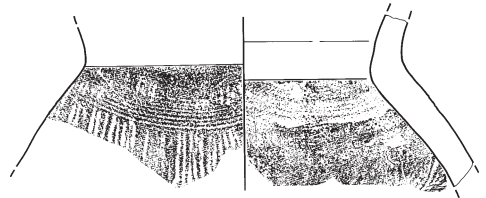


第 459 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 121

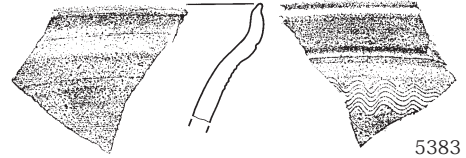
Ⅲ 検出された遺構と出土遺物



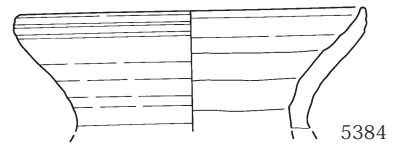
5381



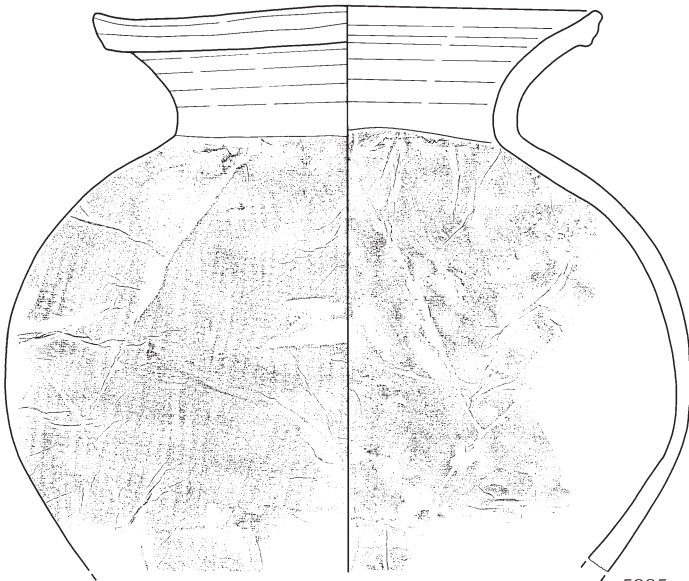
5382



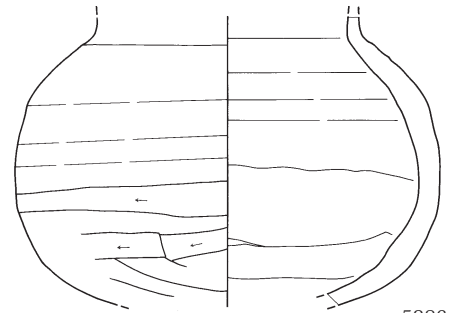
5383



5384



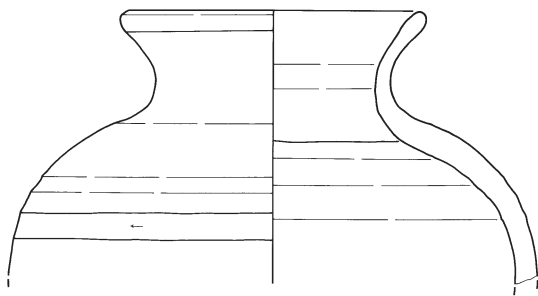
5385



5386



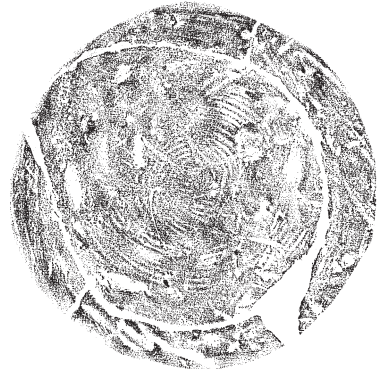
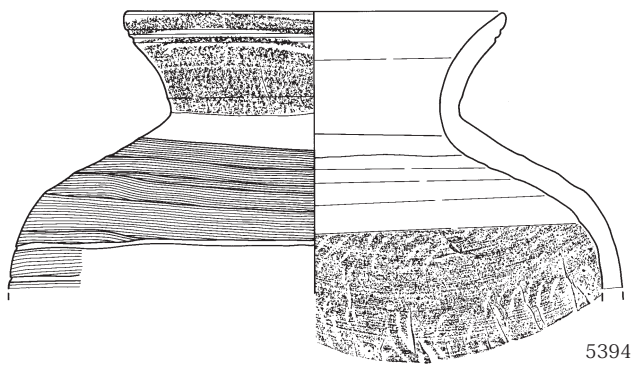
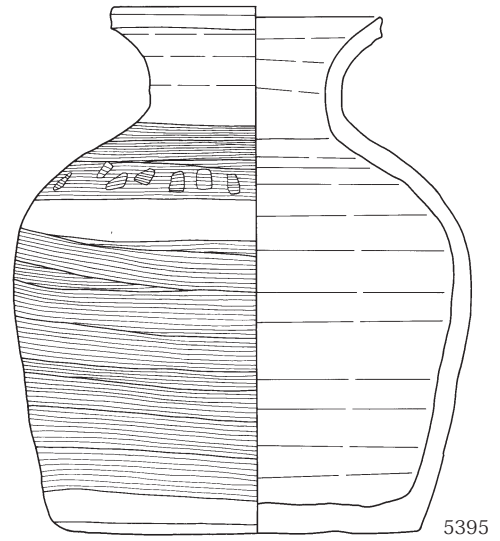
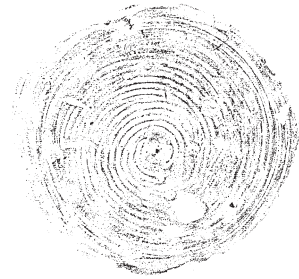
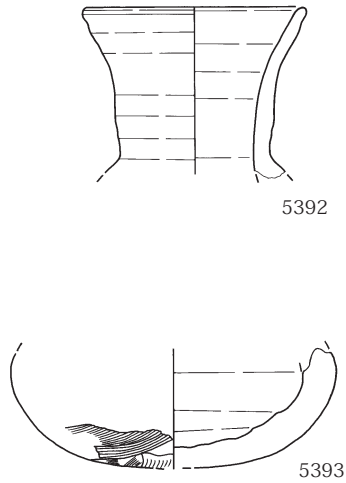
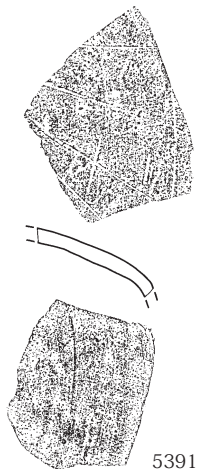
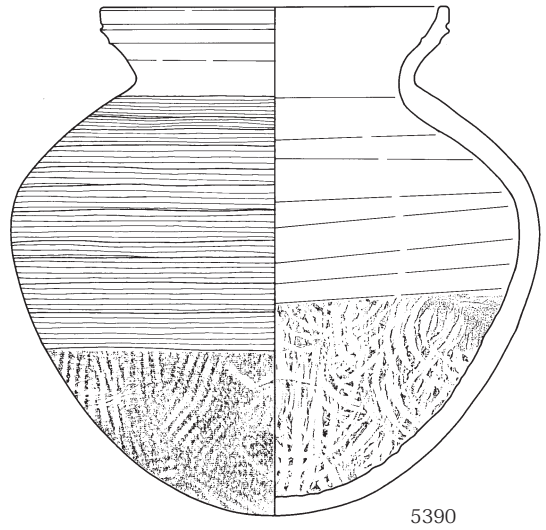
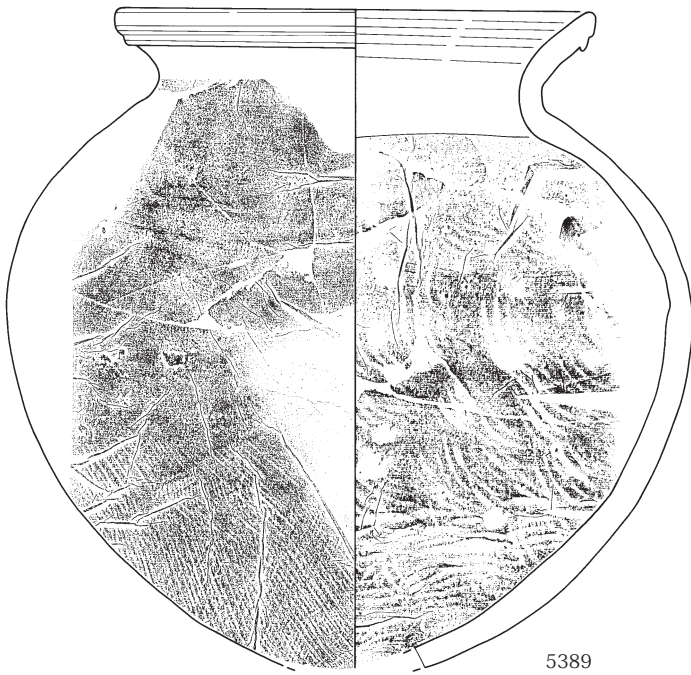
5387



5388



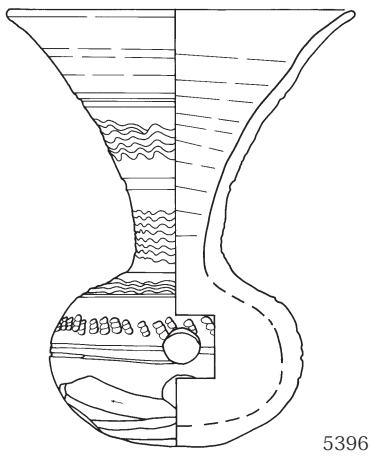
第 460 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 122



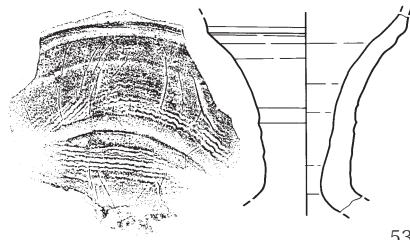
第 461 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 123

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

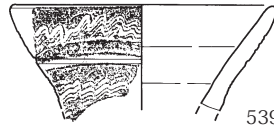
須恵器Ⅵ



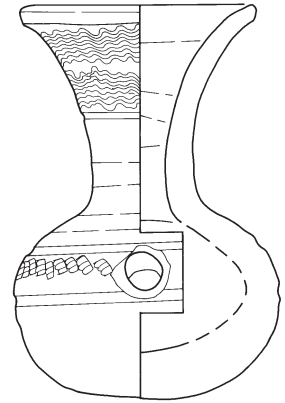
5396



5397

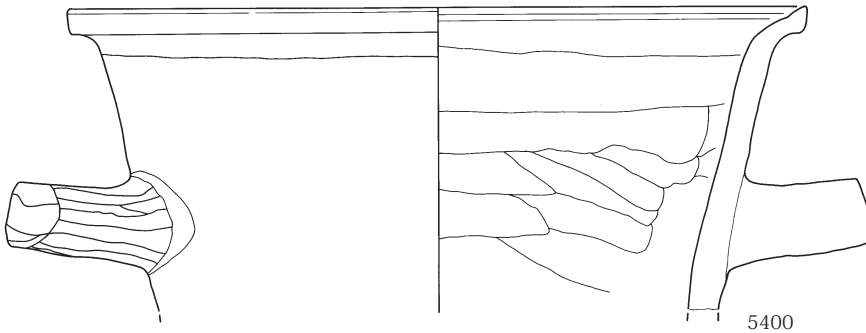


5398

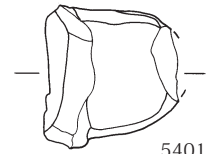


5399

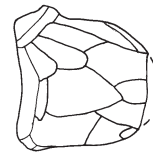
須恵器Ⅶ



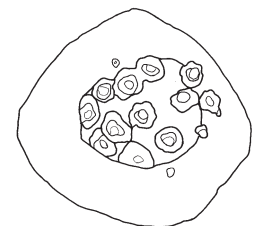
5400



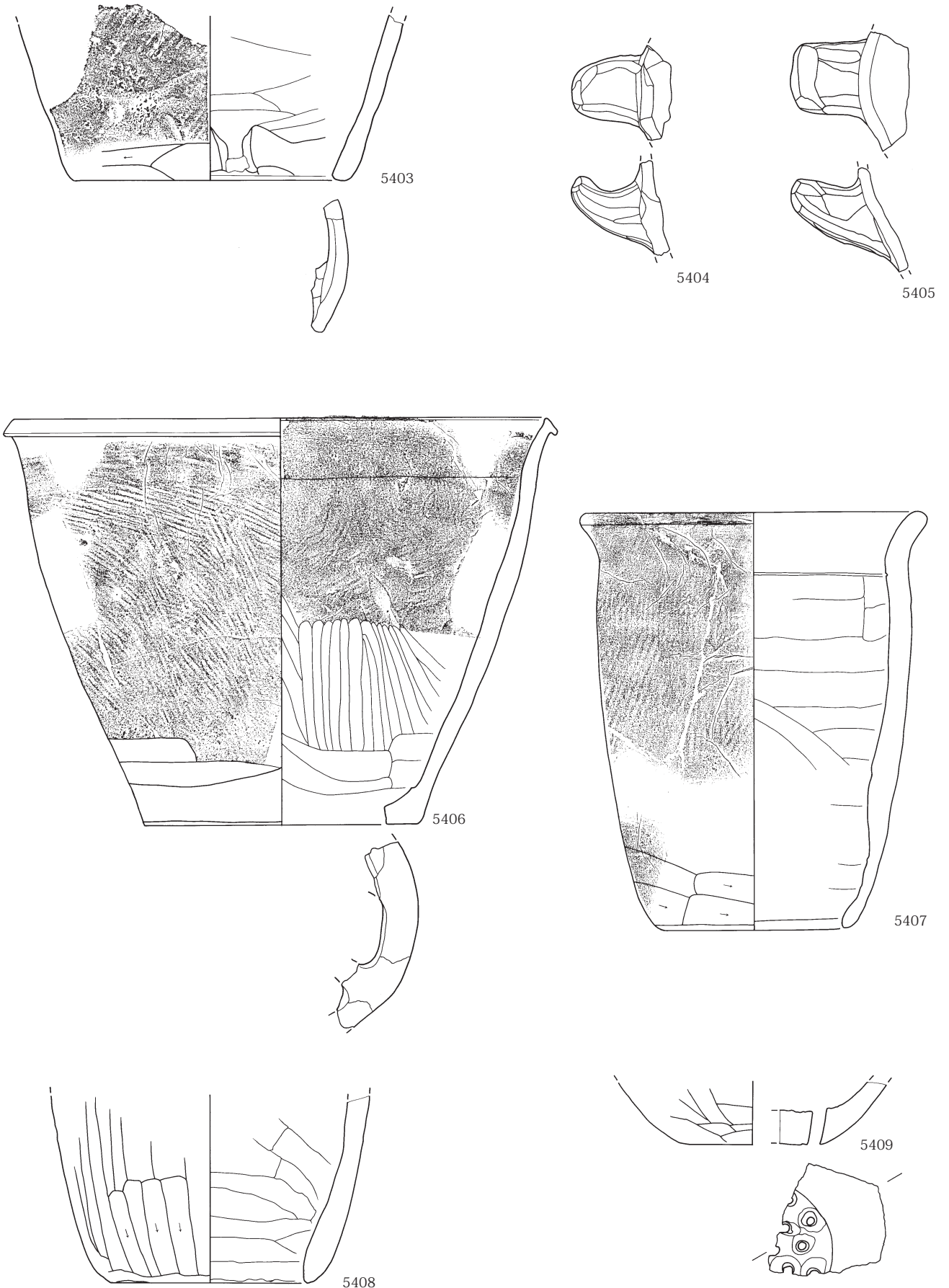
5401



5402



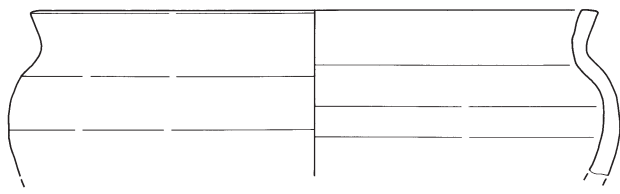
第 462 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 124



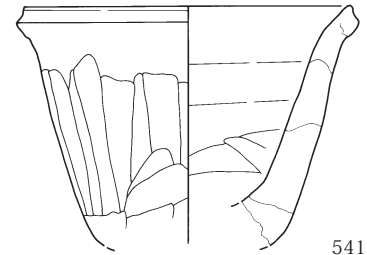
第 463 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 125

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

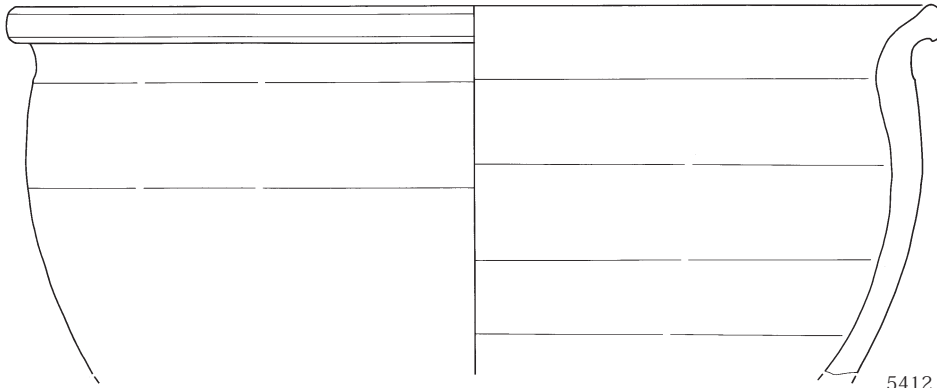
須恵器Ⅷ A



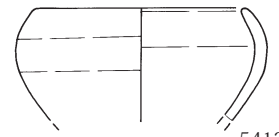
5410



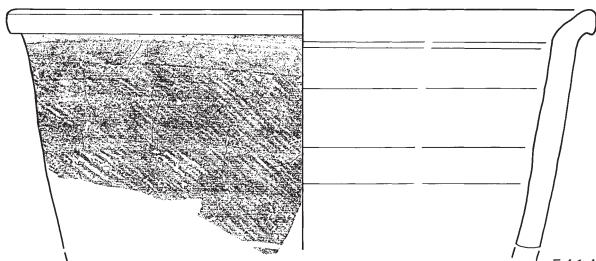
5411



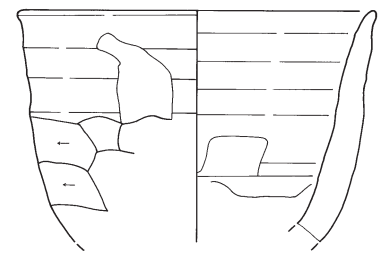
5412



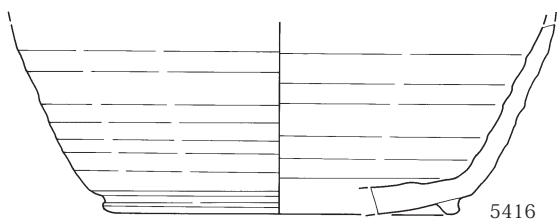
5413



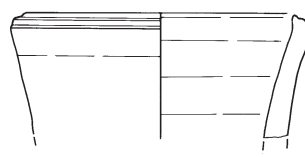
5414



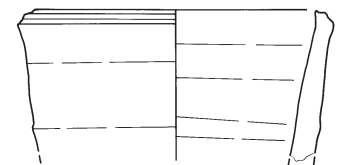
5415



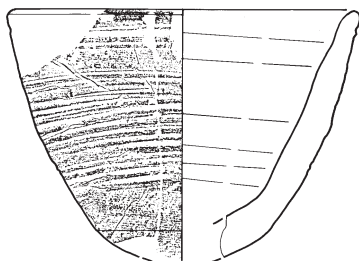
5416



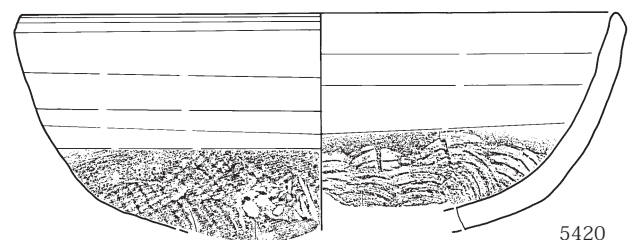
5417



5418

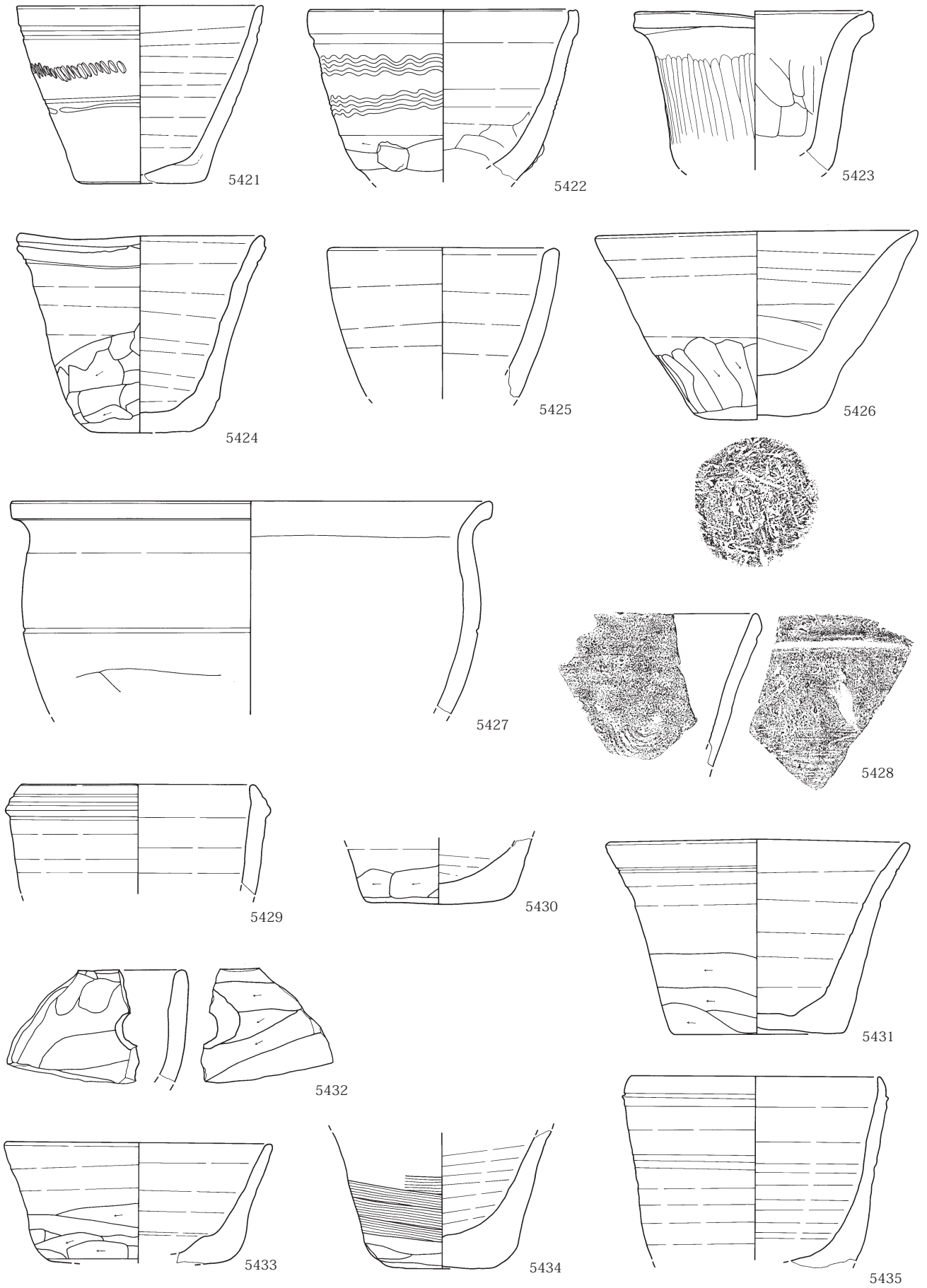


5419



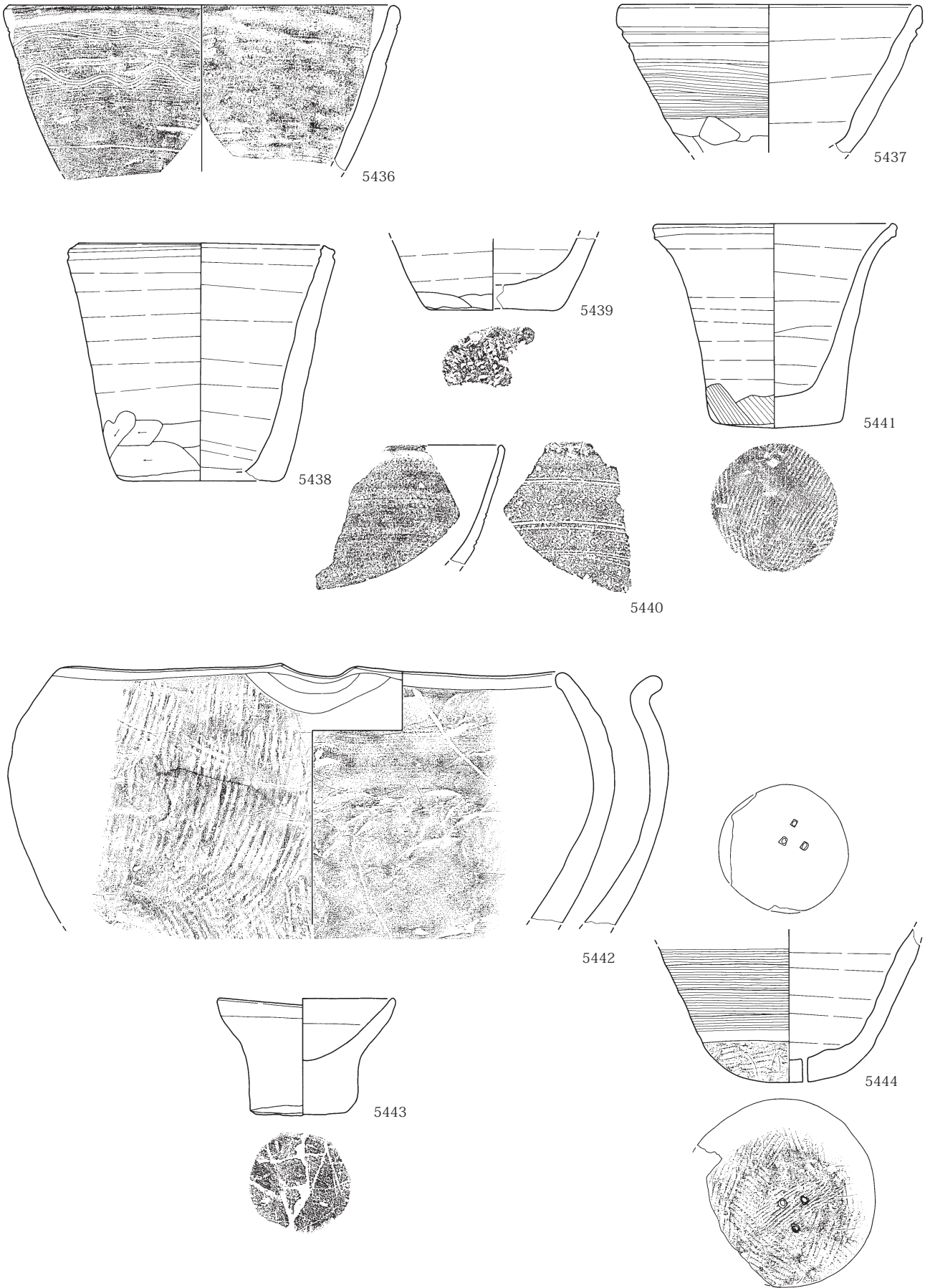
5420

第 464 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 126



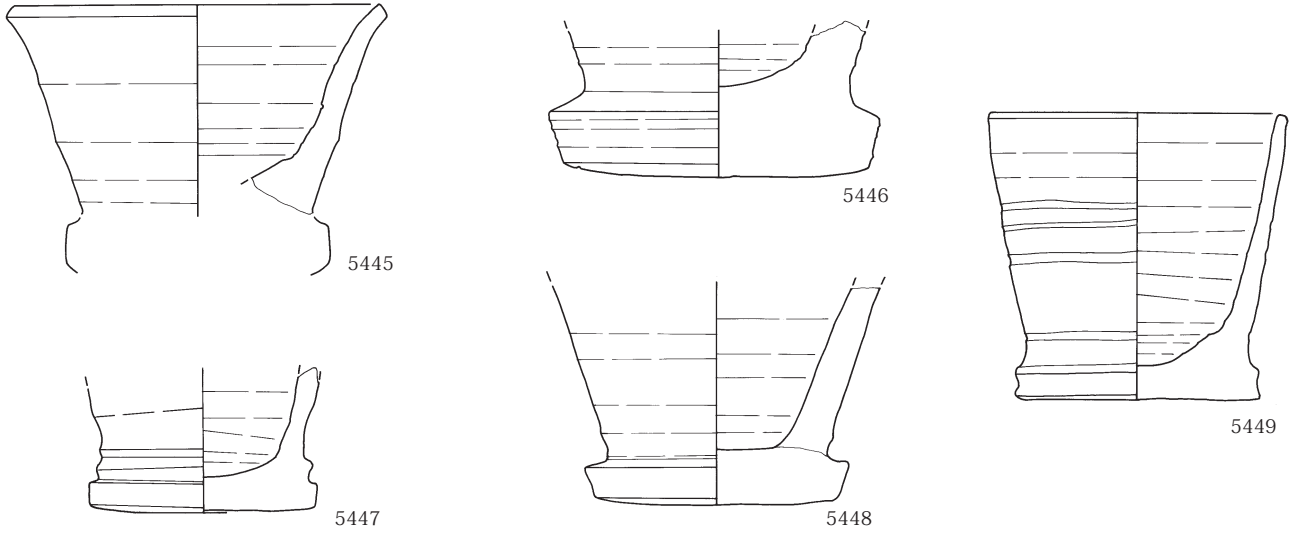
第 465 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 127

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

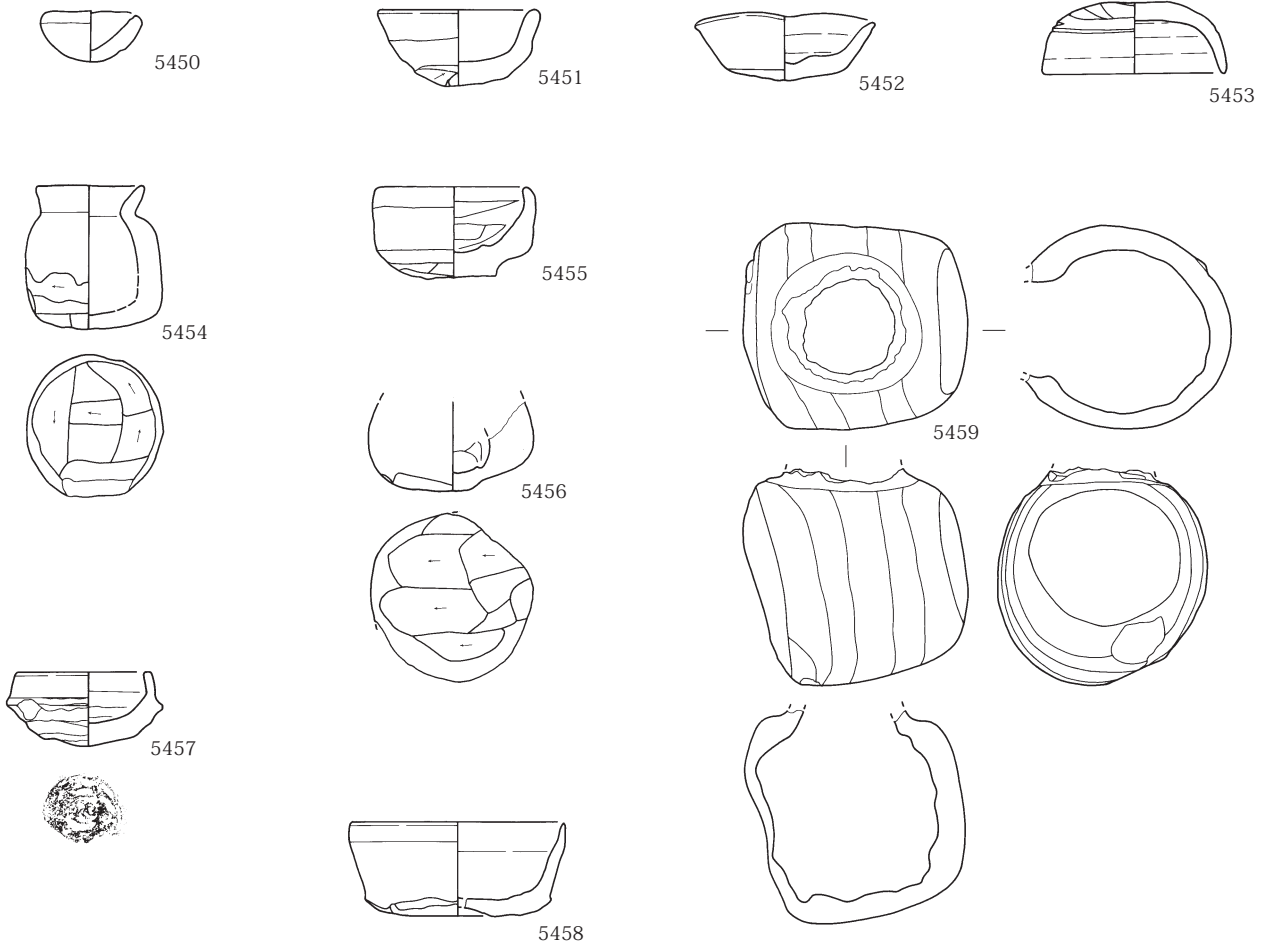


第 466 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 128

須恵器ⅧB



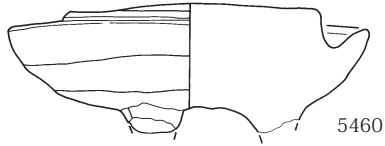
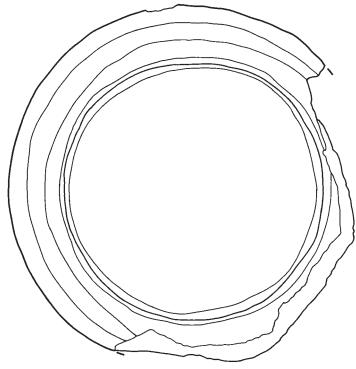
須恵器Ⅸ



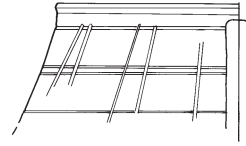
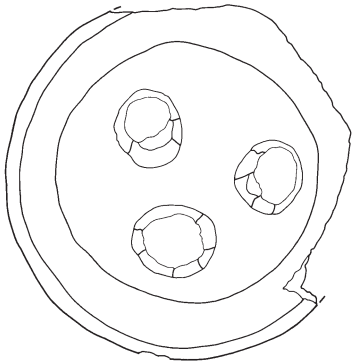
第 467 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 129

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

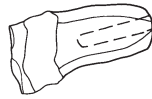
須恵器 X



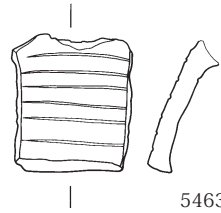
5460



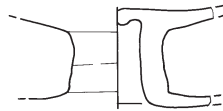
5461



5462



5463

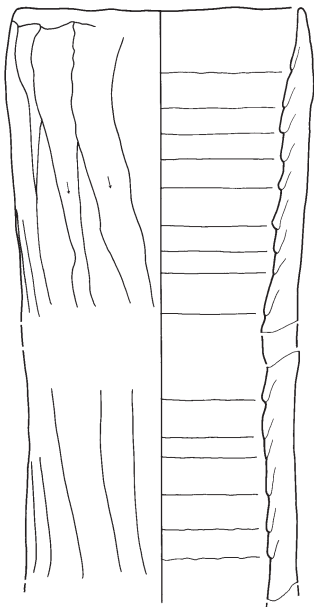


5464

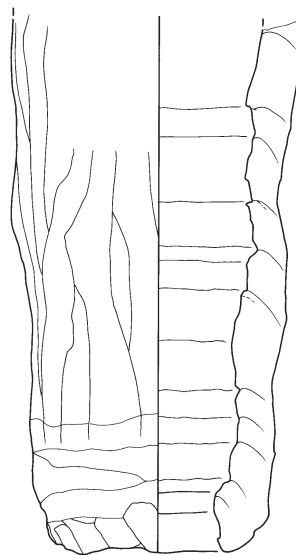


5465

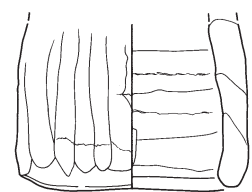
土製品 I



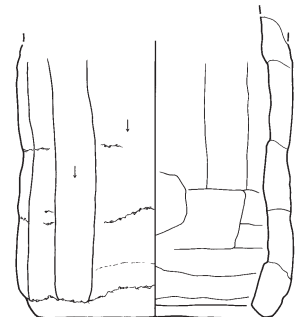
5466



5467

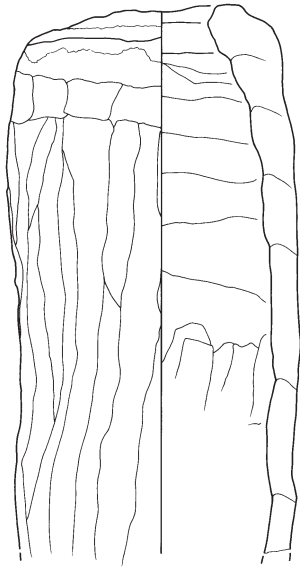
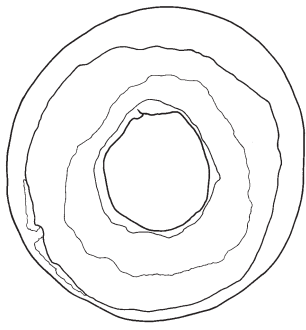


5468

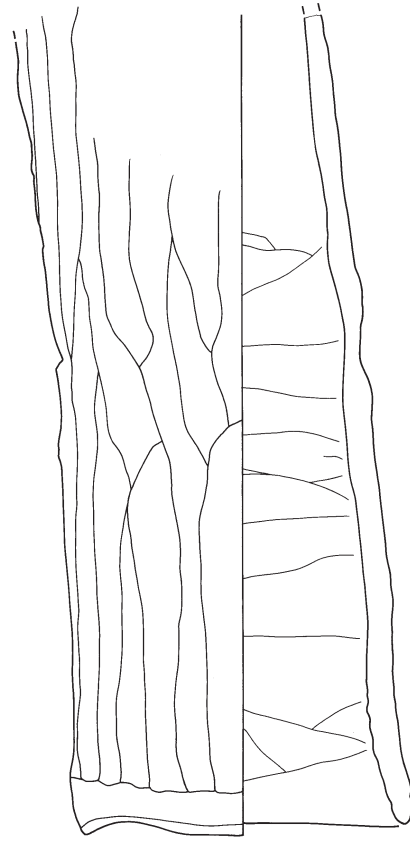


5469

第 468 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 130

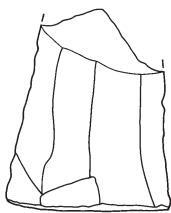


5470

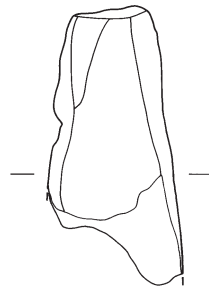
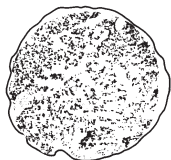


5471

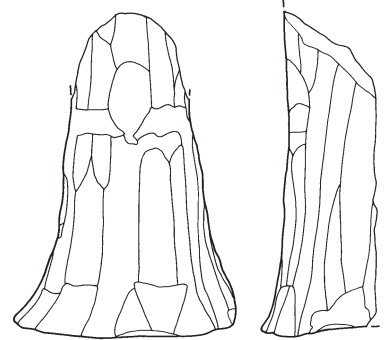
土製品 II



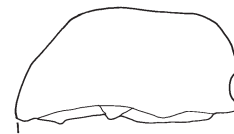
5472



5473



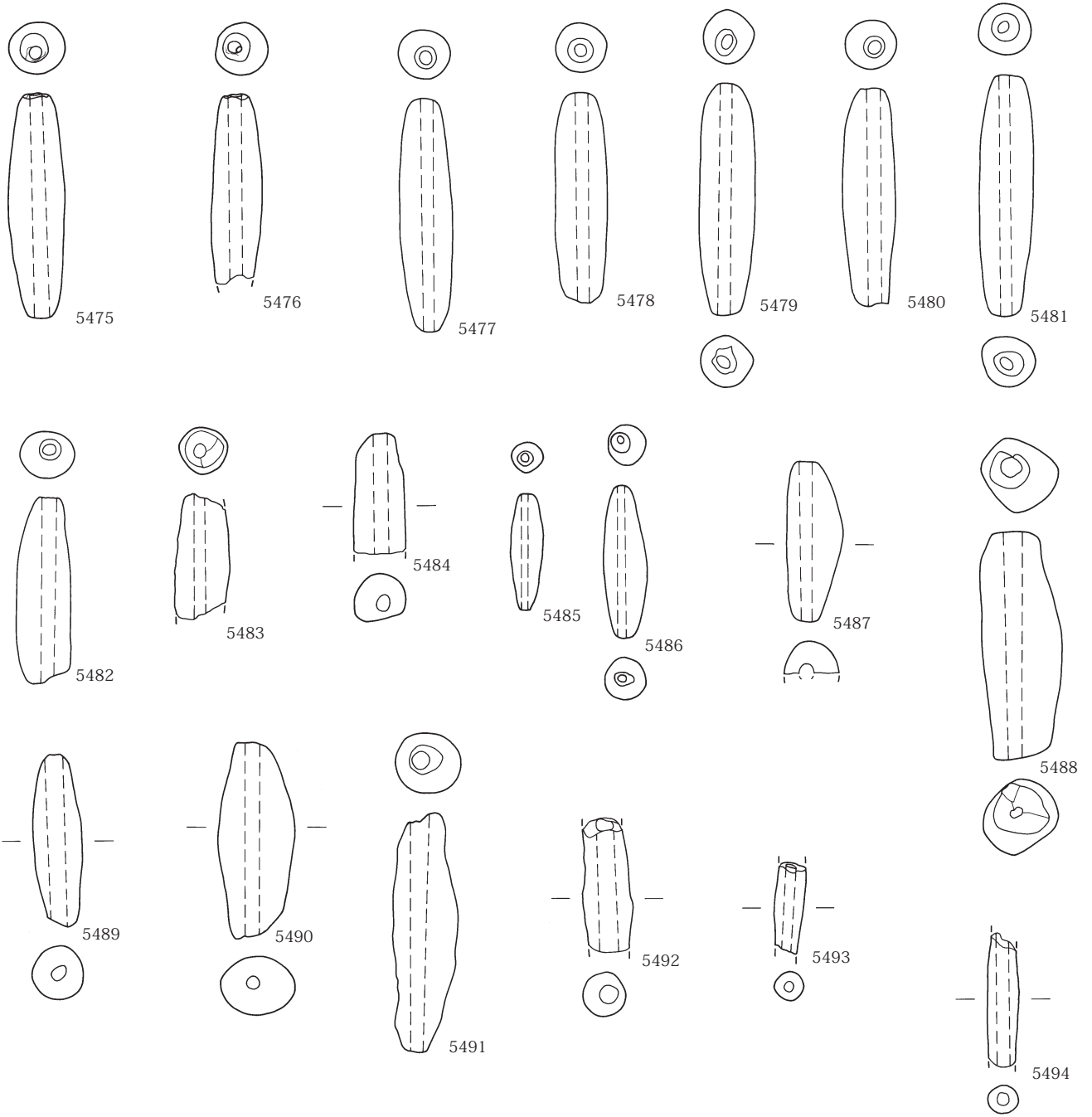
5474



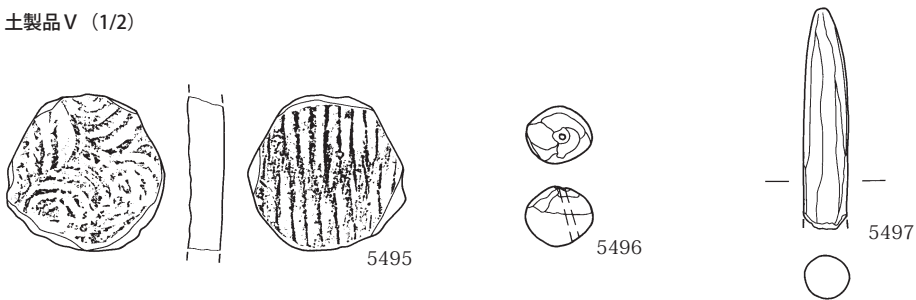
第 469 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 131

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

土製品Ⅲ (1/2)



土製品Ⅴ (1/2)



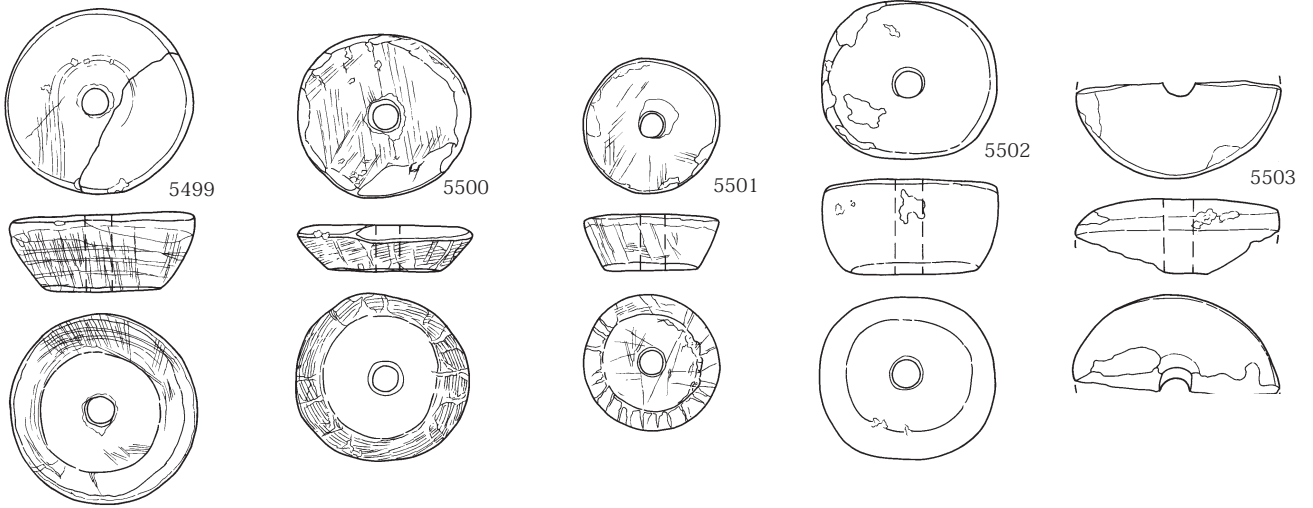
第 470 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 132



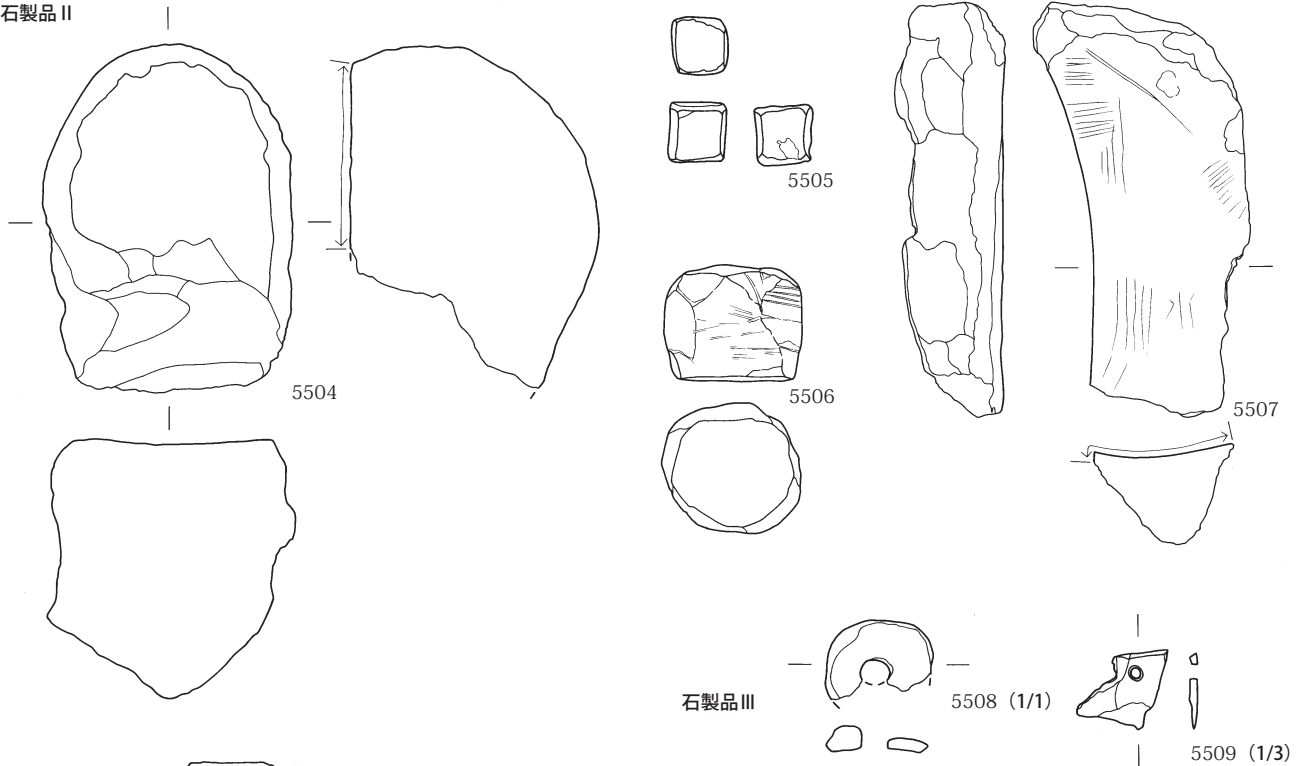
5498

第 471 図 古墳時代後期～平安出土遺物時代 133

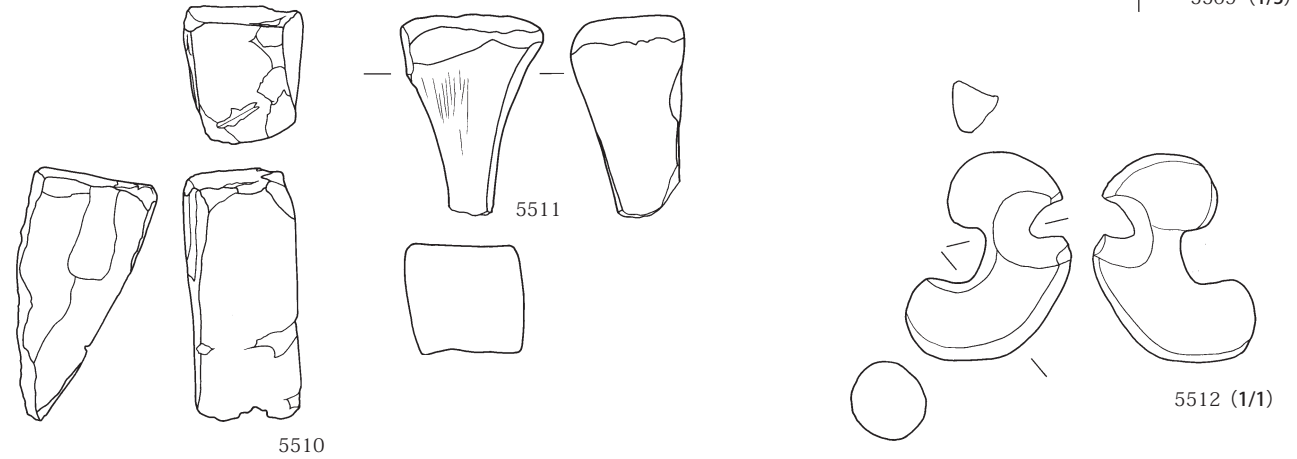
石製品 I (1/2)



石製品 II



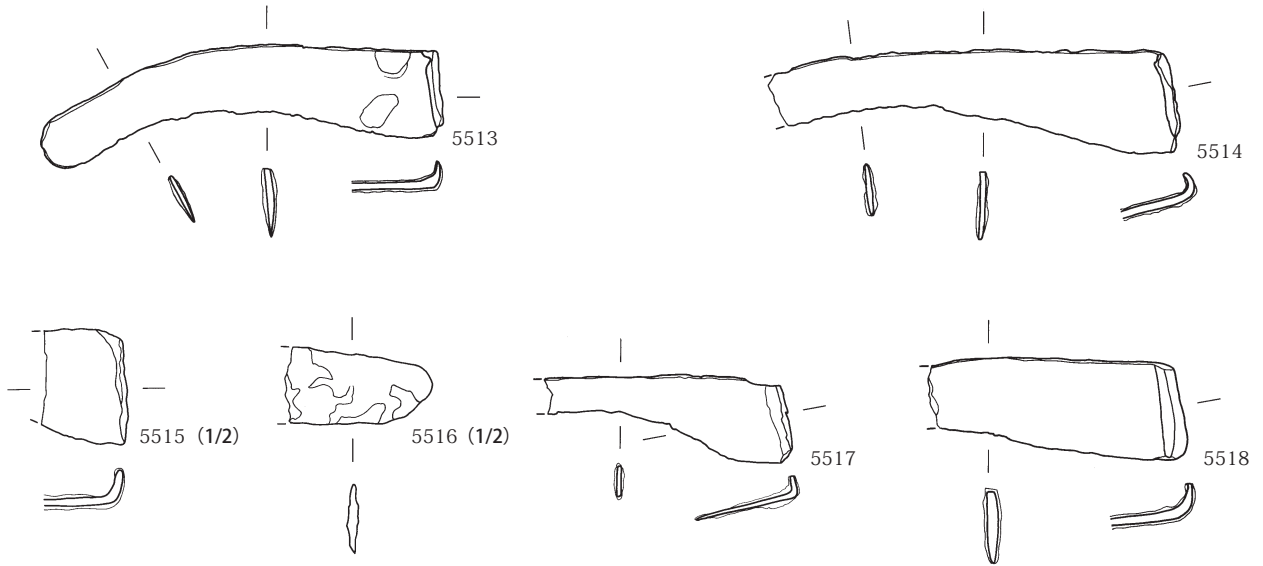
石製品 III



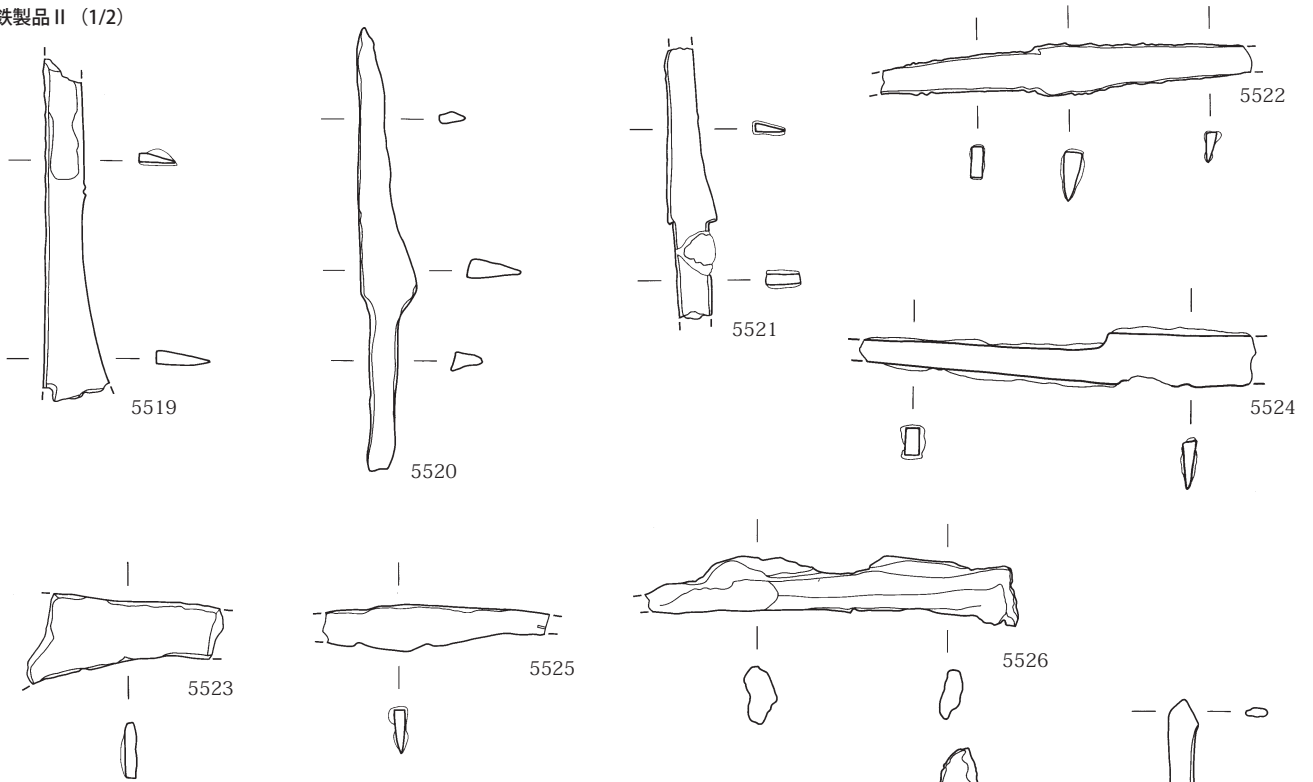
第 472 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 134

III 検出された遺構と出土遺物

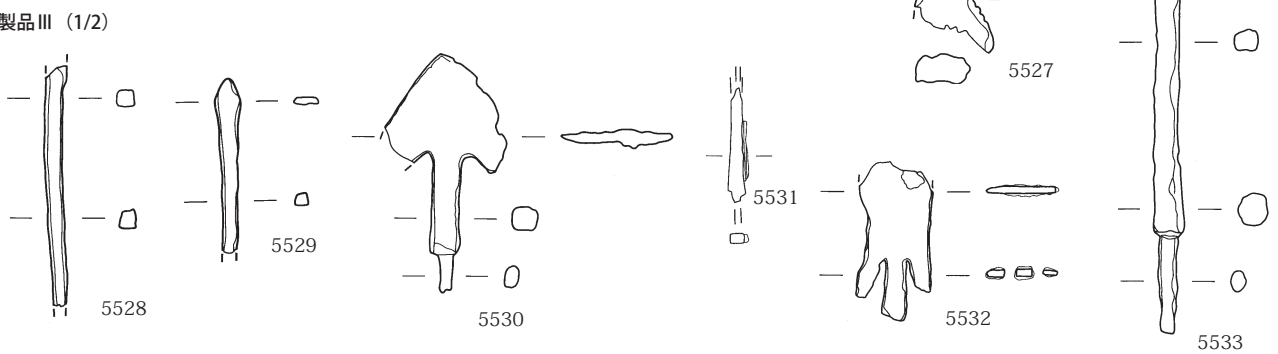
鉄製品 I



鉄製品 II (1/2)

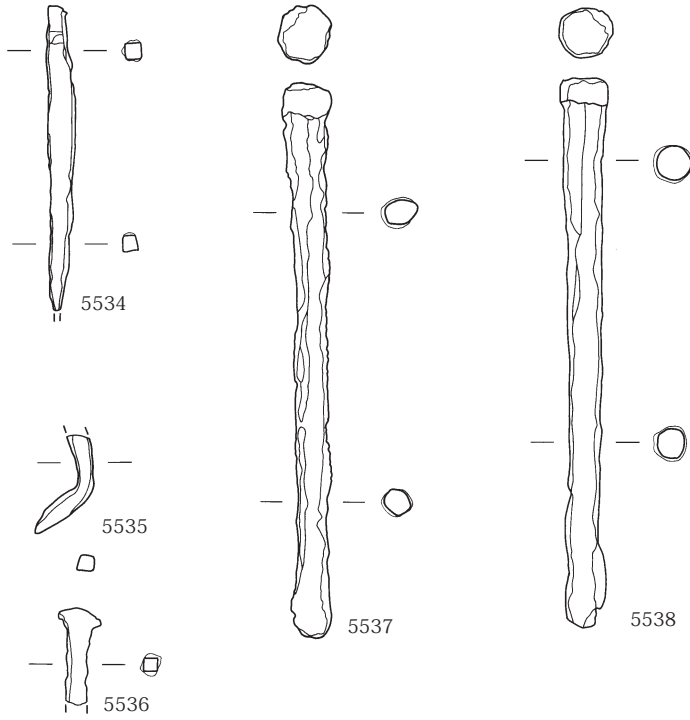


鉄製品 III (1/2)

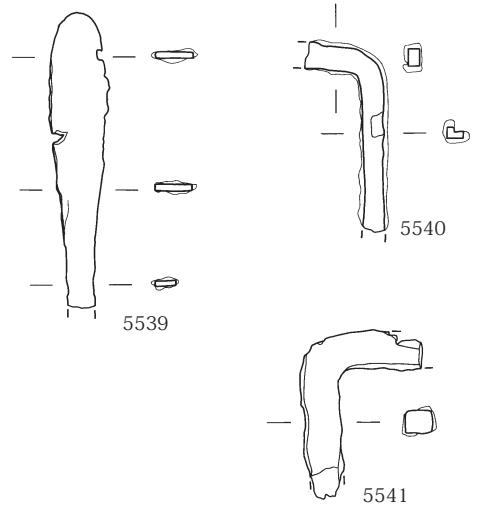


第 473 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 135

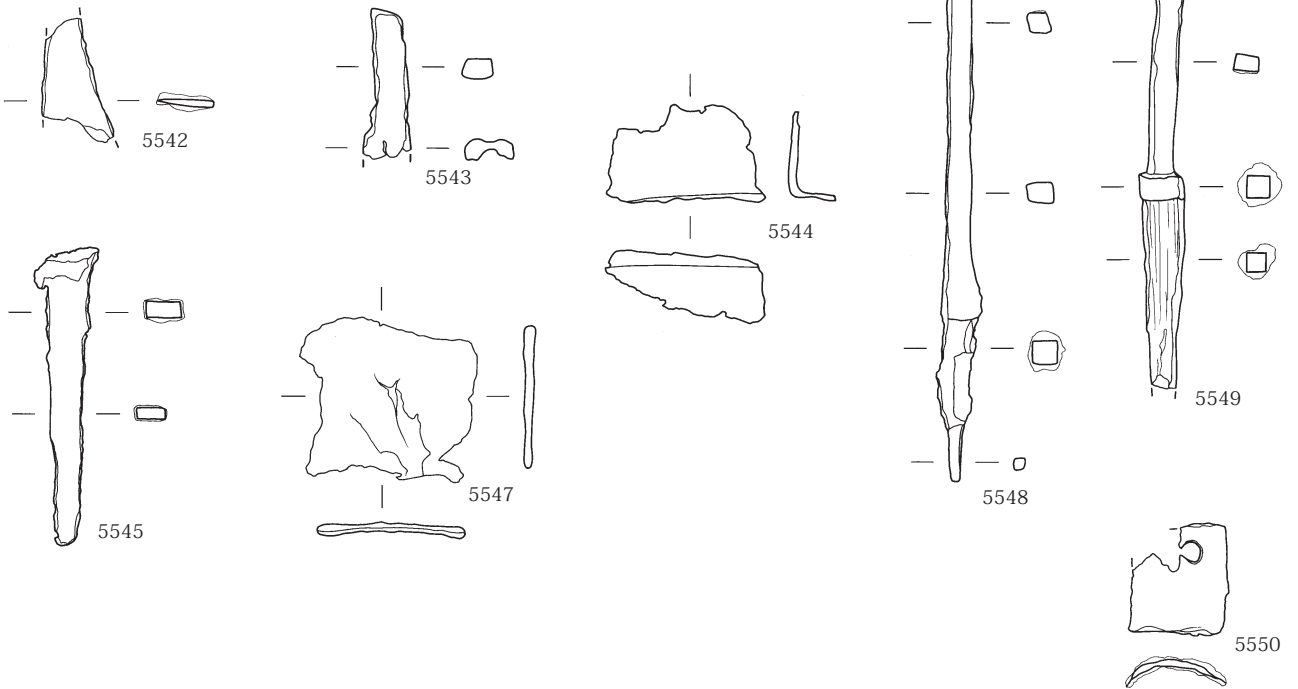
鉄製品IV (1/2)



鉄製品V (1/2)



鉄製品VI (1/2)



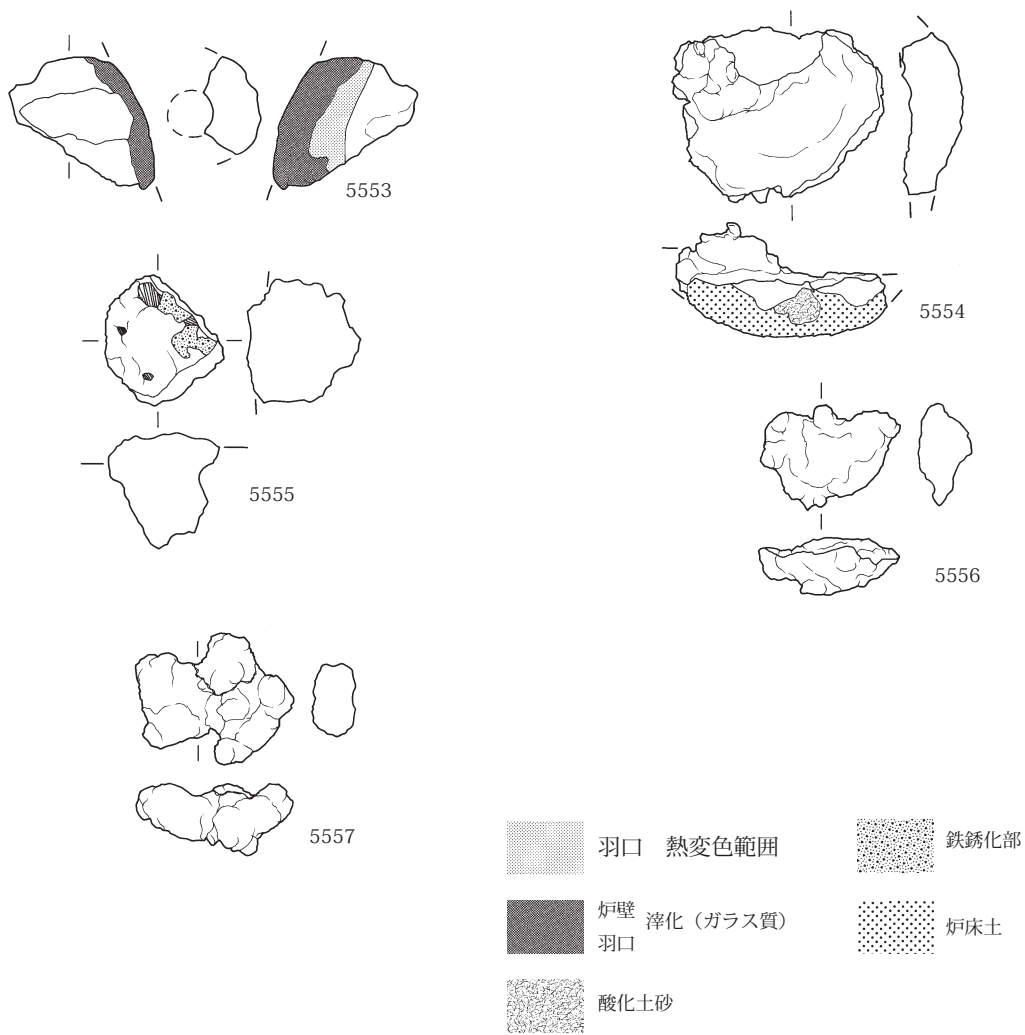
銅製品 (1/2)



第 474 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 136

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

鉄滓



第 475 図 古墳時代後期～平安時代出土遺物 137

第20表 古墳時代～平安時代出土土器観察表

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4001	土師器 杯	193住 埋土 1/5	9.7	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4002	土師器 杯	180住 埋土 口縁部～底部片	12.2		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4003	土師器 杯	162住 埋土 口縁部～体部片	14.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4004	土師器 杯	164住 6 口縁部～底部片	14.2		細砂粒/良好/にぶい黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4005	土師器 杯	187住 埋土 口縁部～底部片	11.3		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面口唇部に凹線が1条巡る。	I A 1	
4006	土師器 杯	408住 6 口縁部1/4欠損	12.3	3.9	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4007	土師器 杯	422住 12 ほぼ完形	12.8	4.7	細砂粒多/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4008	土師器 杯	189住 6 1/4			細砂粒/良好/黒褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部放射状ヘラ磨き。	I A 1	
4009	土師器 杯	176住 16 1/3	7.2	3.3	細砂粒/良好/明赤褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4010	土師器 杯	411住 -4 完形	10.8	3.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4011	土師器 杯	422住 竈8 3/4	12.7	4.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面は雑で不規則なヘラ磨き。	I A 1	
4012	土師器 杯	429住 P9- 2完形	11.4	3.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り、底部中央に木葉痕が残る。内面底部放射状ヘラ磨き。	I A 1	
4013	土師器 杯	423住 7 4/5	11.2	2.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口唇部横ナデ、口縁部から体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4014	土師器 杯	416住 埋土 1/4	9.8		細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。内面底部放射状ヘラ磨き。	I A 1	
4015	土師器 杯	450住 竈1 1/4	12.0	3.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4016	土師器 杯	450住 埋土 1/4	12.0	3.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4017	土師器 杯	443住 6 1/2	13.4	3.7	細砂粒・褐色粒/良好/ にぶい赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面底部放射状ヘラ磨き。	I A 1	
4018	土師器 杯	455住 23 3/4	12.0	4.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り後ヘラ磨き。内面放射状ヘラ磨き。	I A 1	
4019	土師器 杯	494住 8 ほぼ完形	12.8	4.6	細砂粒・粗砂粒微/良好/ /橙	体部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4020	土師器 杯	453住 19 2/5	12.8		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい黄橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4021	土師器 杯	453住 18 1/3	11.0	3.3	細砂粒多/良好/赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4022	土師器 杯	455住 22 ほぼ完形	14.8	5.1	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。内面底部から体部放射状、口縁部横方向ヘラ磨き。	I A 1	
4023	土師器 杯	491住 1 口縁部～体部	11.6		細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。体部の一部はヘラ磨き。	I A 1	
4024	土師器 杯	491住 1 4/5	11.8	4.8	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面口縁部下位にヘラ跡痕が残る。	I A 1	
4025	土師器 杯	498住 竈1 1/3	10.6	3.8	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4026	土師器 杯	457住 竈1 3/4	12.4	3.8	細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	I A 1	
4027	土師器 杯	495住 4 底部1/2欠損	10.4	4.2	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4028	須恵器 杯	498住 直上 1/3	9.1	3.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部は回転ヘラ削りか。歪み大きく詳細不明。	I A 1	
4029	土師器 杯	519住 10 1/2	13.9	5.1	細砂粒・粗砂粒少/良好/ にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4030	土師器 杯	489住 -3 口縁部1/4欠損	11.5	4.6	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4031	土師器 杯	519住 1 口縁部～底部片	10.8	3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部ヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。	I A 1	
4032	土師器 碗	489住 竈8 完形	14.6	6.1	細砂粒/良好/暗赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 1	
4033	土師器 杯	532住 -3 1/2	12.8	4.7	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4034	土師器 杯	532住 ー 3 完形	12.4	4.7	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面 底部ヘラナデ。	IA 1	
4035	土師器 杯	535住 21 3/4	11.0	3.6	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面 底部放射状ヘラ磨き。	IA 1	
4036	土師器 杯	544住 15 1/2	13.0	4.3	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。口 縁部下に2条の凹線が巡る。	IA 1	
4037	土師器 杯	127住 8 ほぼ完形	12.9	5.0	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り、稜下 にナデ部分が僅かに残る。	IA 1	内面底部か ら体部にス ス付着。
4038	土師器 杯	522住 4 1/3	12.2	4.0	細砂粒/良好/にぶい黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	
4039	土師器 杯	535住 埋土 1/4	12.6	3.3	細砂粒/良好/褐灰	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部(稜下) から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	内外面漆塗 り。
4040	土師器 杯	535住 P3 17 1/2	13.2	3.5	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面 放射状ヘラ磨き。	IA 1	
4041	土師器 杯	408住 3 3/4	12.8	4.1	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	
4042	土師器 杯	408住 15 3/5	11.8	4.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	IA 1	
4043	土師器 杯	129住 21 口縁部1/2欠損	11.4	4.5	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	
4044	土師器 杯	408住 埋土 1/4	11.8		細砂粒/軟質/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	
4045	土師器 杯	405土坑 52 1/3	14.2		細砂粒・粗砂粒少/良好 /橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ 削り。	IA 1	
4046	土師器 杯	14溝 埋土 1/2	9.4		細砂粒/良好/黒褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り、器面 摩滅のため単位不鮮明。	IA 1	
4047	土師器 杯	14溝 25 2/5	10.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り、稜下 に無調整部分が残る。	IA 1	
4048	土師器 杯	14溝 11 2/3	10.0	4.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面底部 ヘラナデ。	IA 1	
4049	土師器 杯	14溝 11 3/5	11.8	4.6	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。内面放 射状ヘラ磨き。	IA 1	
4050	土師器 杯	14溝 11 完形	11.6	3.8	細砂粒/良好/にぶい赤 褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ち ヘラ削り。	IA 1	
4051	土師器 杯	15溝 20 4/5	14.1	4.7	細砂粒/良好/暗赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	内外面漆塗 りか。
4052	土師器 杯	15溝 埋土 口縁部片	12.4		細砂粒/良好/暗灰黄	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り後放射 状ヘラ磨き。内面放射状ヘラ磨き。	IA 1	
4053	土師器 杯	15溝 40 1/4	13.7	4.8	細砂粒/良好/灰白	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	焼成は色調 が示すよう に還元焰ぎ み。
4054	土師器 杯	15溝 13 1/3	13.8	4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	内外面漆塗 りか。
4055	須恵器 杯	15溝 9 1/5	12.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。	IA 1	
4056	土師器 椀	15溝 9 口縁部1/4欠損	11.2	5.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。内面は 底部から体部にかけてヘラ磨き。	IA 1	
4057	土師器 杯	15溝 49 1/2	12.6	5.1	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り、器面 摩滅のため単位不鮮明。内面底部から体部放射状ヘラ磨 き、口縁部下位横方向ヘラ磨き。	IA 1	
4058	土師器 杯	15溝 23 完形	10.8	3.0	細砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 1	
4059	土師器 杯	132住 埋土 口縁部~体部片	14.2		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ 削り。	IA 2	
4060	土師器 杯	143住 直上 1/3	15.0	3.8	細砂粒・粗砂粒少/良好 /にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4061	土師器 杯	158住 16 4/5	15.4	4.0	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4062	土師器 杯	158住 4 ほぼ完形	16.0	4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4063	土師器 杯	124住 1 完形	15.7	3.9	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ 削り。	IA 2	
4064	土師器 杯	124住 埋土 1/3	14.9	3.3	細砂粒/良好/にぶい黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4065	土師器 杯	163住 埋土 1/3	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4066	土師器 杯	124住 30 1/2	16.2	3.4	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4067	土師器 杯	124住 埋土 口縁部～底部片	15.8		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	I A 2	口縁部に粘 土塊付着。
4068	土師器 杯	163住 - 1 口縁部～底部片	22.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部(稜下) 手持ちヘラ削り。内面ヘラ磨き。	I A 2	
4069	土師器 杯	173住 竈16 ほぼ完形	16.7	4.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。口縁部歪み大 きい。	I A 2	
4070	土師器 杯	149住 - 4 完形	14.9 13.2	3.1	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4071	土師器 杯	149住 - 9 完形	15.3 稜径13.4	3.4	細砂粒/やや軟質/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ部分が残る。底部手持ちヘ ラ削り。器面摩滅のため単位不鮮明。	I A 2	
4072	土師器 杯	149住 - 6 完形	15.5 稜径13.2	3.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ部分が残る。底部手持ちヘ ラ削り。	I A 2	
4073	土師器 杯	149住 埋土 1/3	13.6 11.5	3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り、器面摩 滅のため単位不鮮明。	I A 2	
4074	土師器 杯	149住 埋土 1/4	11.4 12.0	3.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4075	土師器 杯	149住 埋土 1/4	15.0 12.2	2.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4076	土師器 杯	149住 埋土 2/5	14.2 11.6	3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部から体部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4077	土師器 杯	149住 埋土 1/3	11.8 10.0	3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部から体部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4078	土師器 杯	149住 48 口縁部1/4欠損	14.2	4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4079	土師器 杯	149住 21 1/2	14.5	4.1	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4080	土師器 杯	149住 埋土 2/5	14.2 10.6	4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4081	土師器 杯	149住 埋土 2/5	14.3		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ 削り。	I A 2	
4082	土師器 杯	149住 38 1/3	14.6		細砂粒/良好/浅黄	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。口縁部に 歪み。	I A 2	
4083	土師器 杯	149住 竈埋土 1/4	15.0 11.2		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上位に僅かにナデ部分が残る。体部 中位から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4084	土師器 杯	149住 埋土 1/2	14.8 稜径13.6	4.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4085	土師器 杯	149住 - 7 1/4	15.0		細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4086	土師器 杯	149住 埋土 1/4	14.8		細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4087	土師器 杯	149住 埋土 1/5	15.8	3.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4088	土師器 杯	149住 29 1/2	14.6 10.5	4.1	細砂粒・褐色粒/良好/ にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4089	土師器 杯	149住 埋土 2/5	14.2	4.3	細砂粒・粗砂粒少/良好/ 黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4090	土師器 杯	149住 埋土 1/4	14.2	4.5	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4091	土師器 杯	149住 埋土 1/3	14.0		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4092	土師器 杯	149住 竈埋土 1/4	15.0 9.8	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部ヘラ削り。	I A 2	
4093	土師器 杯	445住 9 3/4	13.2	3.8	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4094	土師器 杯	191住 4 完形	18.1 15.8	3.9	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	I A 2	
4095	土師器 杯	428住 9 ほぼ完形	19.8	4.0	細砂粒・粗砂粒少/良好/ 明赤褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	I A 2	
4096	土師器 杯	449住 42 1/2	16.8	3.7	細砂粒・粗砂粒少/良好/ 明褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	
4097	土師器 杯	449住 34 1/4	13.8	3.5	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上位ナデ、中位から底部手持ちヘラ 削り。	I A 2	
4098	土師器 杯	449住 24 1/2	16.5	3.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 2	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			口径 底径	高さ (cm)				
4099	土師器 杯	449住 34 1/2	19.8	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4100	土師器 杯	439住 14 1/3	18.8	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	IA 2	
4101	土師器 杯	539住 埋土 口縁部～底部片	15.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4102	土師器 皿	427土坑 3 1/2	15.3	2.9	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4103	土師器 杯	125住 埋土 1/4	13.9	3.5	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4104	土師器 杯	437住 埋土 2/3	15.2	3.4	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	IA 2	
4105	土師器 杯	427土坑 36 1/2	15.2	4.3	細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4106	土師器 杯	403住 14 3/5	14.5	3.9	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。口縁部に歪みあり。	IA 2	
4107	土師器 杯	404住 埋土 口縁部～体部片	14.6		細砂粒/良好/にぶい黄褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半手持ちヘラ削り。	IA 2	
4108	土師器 杯	404住 1 1/2	14.7	3.6	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。口縁部に歪みあり。	IA 2	
4109	土師器 杯	404住 2 1/4	12.9	3.2	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	IA 2	
4110	土師器 杯	193住 埋土 ほぼ完形	15.3	4.4	細砂粒・褐色粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4111	土師器 杯	193住 埋土 3/5	14.6	3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	IA 2	
4112	土師器 杯	437住 埋土 1/3	15.4	3.4	細砂粒・粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。	IA 2	内面底部に スス付着。
4113	土師器 杯	405土坑 60 3/4	14.9	4.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4114	土師器 杯	405土坑 53 2/3	14.3	4.8	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4115	土師器 杯	405土坑 80 口縁部～底部片	13.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4116	土師器 杯	405土坑 埋土 1/4	13.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4117	土師器 杯	405土坑 埋土 口縁部～体部片	12.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4118	土師器 杯	405土坑 埋土 1/5	11.8	3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4119	土師器 杯	405土坑 埋土 口縁部～底部片	13.8		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	IA 2	
4120	土師器 杯	405土坑 40 1/3	15.0	3.4	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面底部ヘラナデ。	IA 2	
4121	土師器 杯	142住 11 ほぼ完形	12.2	4.4	細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 3	
4122	土師器 杯	160住 3 完形	11.5	4.5	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 3	内面は漆塗 りか。
4123	土師器 杯	160住 9 口縁部2/3欠損	13.4	4.5	細砂粒・粗砂粒微/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面底部に8条の放射状ヘラ磨き。	IA 3	
4124	土師器 杯	160住 9 1/2、口唇部欠損	12.8		細砂粒/良好/赤	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部放射状ヘラ磨き。	IA 3	内外面漆塗 り。
4125	土師器 杯	460住 3/5	12.3	4.0	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は連弁状ヘラ磨き。	IA 3	
4126	土師器 杯	169住 埋土 3/4	12.2	4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。底部中央部に回転糸切り痕?	IA 3	
4127	土師器 杯	165住 2 完形	12.4	5.1	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り後部分的にヘラ磨き。内面体部から底部ヘラナデ後雑なヘラ磨き。	IA 3	
4128	土師器 杯	494住 9 口縁部大部分欠損			細砂粒/良好/にぶい赤褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面底部放射状ヘラ磨き。	IA 3	
4129	土師器 杯	408住 5 ほぼ完形	12.4	4.3	細砂粒・褐色粒/やや良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 3	
4130	土師器 杯	421住 埋土 口縁部～体部片	11.9		微砂粒/良好/灰白	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	IA 3	内外面漆塗 りか。
4131	土師器 杯	489住 2 口縁部1/5欠損	13.3	4.3	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	IA 3	
4132	須恵器 杯身	489住 竈17 完形	11.8	2.9	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	IA	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			口径 底径	高さ (cm)				
4133	土師器 杯	489住 12 完形	12.8	4.2	細砂粒/良好/灰白	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	内面と外面 口縁部漆塗 り。
4134	土師器 杯	188住 埋土 口縁部～底部片	11.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I A 3	
4135	土師器 杯	434住 直上 完形	12.3	3.6	粗砂粒/良好/赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	
4136	土師器 杯	14溝 21 完形	9.5	3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	
4137	土師器 杯	15溝 8 1/3	10.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。内面は雑な放射状ヘラ磨き。	I A 3	
4138	土師器 大型杯	522住 直上 3/5	19.7	9.2	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り後ヘラ磨き。内面底部から体部放射状ヘラ磨き。	I A 3	
4139	土師器 杯	524住 22 2/3	11.4	4.2	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面底部放射状ヘラ磨き。	I A 3	内外面漆塗 りか。
4140	土師器 杯	519住 6 ほぼ完形	12.0	4.4	細砂粒/良好/にぶい赤褐	稜部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部(稜下)上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	内面は漆塗 り。
4141	土師器 杯	536住 15 1/4	12.0	3.8	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	
4142	土師器 杯	544住 14 3/4	12.0	4.2	細砂粒・粗砂粒抄/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	
4143	土師器 杯	544住 3 口縁部1/3欠損	12.3	4.6	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 3	内外面漆塗 りか。
4144	土師器 杯	544住 貯穴3 口縁部1/3欠損	12.6	4.2	細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	I A 3	
4145	土師器 杯	519住 3 3/5	14.0	3.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り。内面底部放射状ヘラ磨き。	I A 3	
4146	土師器 杯	160住 18 1/2	13.4	4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 4	
4147	土師器 杯	160住 竈10 ほぼ完形	13.9	4.9	細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 4	
4148	土師器 杯	160住 8 1/2	13.9		細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。口縁部に凹線が巡る。	I A 4	内外面漆塗 りか。
4149	土師器 杯	160住 埋土 1/2	14.4		細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。口縁部に凹線が巡る。	I A 4	内外面漆塗 りか。
4150	土師器 杯	142住 10 1/4	14.0	4.2	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I A 4	
4151	土師器 杯	186住 竈埋土 口縁部～体部片	13.2		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 4	
4152	土師器 杯	180住 埋土 口縁部～底部片	13.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。	I A 4	
4153	土師器 杯	160住 直上 口縁部1/4欠損	14.6	4.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面花弁状ヘラ磨き。	I A 4	
4154	土師器 杯	15溝 24 完形	12.2	4.1	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面底部ヘラナデ。	I A 4	
4155	土師器 杯	491住 1 ほぼ完形	13.2	4.8	細砂粒/良好/暗赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。体部の一部はヘラ磨き。	I A 4	内外面漆塗 りか。
4156	土師器 杯	536住 埋土 口縁部～体部片	13.6		細砂粒/良好/褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)手持ちヘラ削り。	I A 4	
4157	土師器 碗	144住 2 口縁部～底部片	15.6		細砂粒・粗砂粒少/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部・底部はヘラ削りか、器面摩擦のため単位不鮮明。	I B 1	
4158	土師器 杯	138住 竈2 一部器面を欠く	11.8	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4159	土師器 杯	193住 埋土 1/4	13.3	3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4160	土師器 杯	193住 埋土 1/2	13.0	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4161	土師器 杯	193住 埋土 口縁部～底部	17.1		細砂粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4162	土師器 杯	193住 埋土 3/4	12.6	3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4163	土師器 杯	130住 8 ほぼ完形	14.0	3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4164	土師器 杯	130住 埋土 1/3	13.0		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4165	土師器 杯	125住 埋土 3/4	11.8	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4166	土師器 杯	129住 埋土 1/2	9.8	2.9	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4167	土師器 杯	129住 -6 口縁部～体部片	12.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4168	土師器 杯	143住 竈埋土 1/2	14.2	5.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4169	土師器 杯	143住 7 1/4	13.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4170	土師器 杯	143住 竈埋土 口縁部～底部片	12.9		細砂粒/良好/赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4171	土師器 杯	143住 竈埋土 口縁部～底部片	14.4		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4172	土師器 杯	166住 -1 1/2	12.3	3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4173	土師器 杯	134住 -1 完形	10.2	3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4174	土師器 杯	134住 19 1/3	10.2	3.0	細砂粒/良好/赤褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	I B 1	
4175	土師器 杯	178住 -2 2/3	12.3		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4176	土師器 杯	178住 埋土 1/4	13.8	4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4177	土師器 杯	152住 埋土 口縁部～底部片	13.8		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4178	土師器 杯	159住 -10 ほぼ完形	16.7	4.9	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4179	土師器 杯	159住 13 1/2	15.9	4.7	細砂粒・褐色粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4180	土師器 杯	158住 10 完形	11.8	3.6	細砂粒・粗砂粒少/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4181	土師器 杯	158住 6 4/5	14.1	4.6	細砂粒/良好/明褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4182	土師器 杯	158住 埋土 4/5	12.2	4.0	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4183	土師器 杯	158住 3 1/4	12.4		細砂粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4184	土師器 椀	124住 埋土 口縁部～体部片	17.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部横方向ヘラ削り。	I B 1	
4185	土師器 杯	124住 埋土 2/5	14.2	4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4186	土師器 杯	124住 14 1/4	12.7	4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4187	土師器 杯	124住 埋土 口縁部～底部片	12.0		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4188	土師器 杯	124住 埋土 口縁部～底部片	12.8		細砂粒/良好/にぶい黄褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4189	土師器 杯	124住 埋土 口縁部～底部片	12.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4190	土師器 杯	124住 埋土 口縁部～底部片	13.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4191	土師器 杯	124住 埋土 口縁部～体部片	15.2		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4192	土師器 杯	124住 埋土 1/3	11.9	3.7	細砂粒/良好/明黄褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4193	土師器 杯	163住 1 5/6	14.3	3.8	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4194	土師器 杯	163住 埋土 口縁部～底部片	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4195	土師器 杯	163住 -3 完形	12.7	3.3	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り、体部上位にナデ部分がわずかに残る。	I B 1	
4196	土師器 杯	124住 7 1/3	15.3	4.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4197	土師器 杯	173住 3 2/3	11.8	4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上位にナデ部分が残る。体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4198	土師器 杯	173住 17 2/3	12.1	3.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4199	土師器 杯	156住 4 4/5	14.4	4.4	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	I B 1	
4200	土師器 杯	173住 竈 8 1/3	12.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
4201	土師器 杯	173住 埋土 1/4	12.4		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4202	土師器 杯	156住 竈-1 口縁部～体部片	15.2		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4203	土師器 杯	162住 9 1/4	13.2	3.7	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4204	土師器 杯	149住 埋土 1/2	13.0	3.7	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4205	土師器 杯	149住 14 ほぼ完形	12.1	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	口縁部欠損箇所にもスス附着。
4206	土師器 杯	149住 -8 完形	12.9	3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4207	土師器 杯	149住 -3 ほぼ完形	12.0	3.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	外面口縁部と内面底部にスス附着。
4208	土師器 杯	149住 -2 完形	12.8	3.3	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4209	土師器 杯	149住 31 2/3	12.8	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4210	土師器 杯	149住 -5 完形	14.8	4.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4211	土師器 杯	149住 22 4/5	12.8	3.4	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	内面全体に黒班状にススが附着。
4212	土師器 杯	149住 7 ほぼ完形	14.4	4.6	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	外面口縁部と内面底部にスス附着。
4213	土師器 杯	149住 埋土 1/2	11.8	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4214	土師器 杯	149住 2 3/4	13.8	4.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	底部にヘラ描き。
4215	土師器 杯	149住 43 4/5	14.8	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4216	土師器 杯	149住 埋土 1/4	13.8	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半にわずかにナデ部分が残る。下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4217	土師器 杯	149住 埋土 2/3	16.3	4.6	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。内面底部ヘラナデ。	I B 1	
4218	土師器 杯	149住 埋土 1/2	13.5	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4219	土師器 杯	149住 -10 1/3	11.9	3.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4220	土師器 杯	149住 -4 完形	17.2	5.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4221	土師器 杯	169住 埋土 1/2	13.2	4.2	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4222	土師器 杯	186住 埋土 4/5	13.6	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4223	土師器 杯	187住 直上 4/5	13.4	3.4	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4224	土師器 杯	187住 -3 2/3	12.6	3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4225	土師器 杯	187住 埋土 1/2	11.5	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4226	土師器 杯	187住 埋土 1/5	13.6	3.6	細砂粒/良好/明赤褐	体部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4227	土師器 杯	187住 12 口縁部～体部片	17.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4228	土師器 杯	187住 埋土 口縁部～底部片	16.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4229	土師器 杯	409住 埋土 ほぼ完形	11.4	3.9	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4230	土師器 杯	409住 41 完形	13.4	3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4231	土師器 杯	410住 6 2/3	11.8	3.7	細砂粒/良好/黒褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	I B 1	
4232	土師器 杯	415住 14 口唇部1/4欠損	12.5	4.0	細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4233	土師器 杯	415住 4 口唇部1/4欠損	13.6	4.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4234	土師器 杯	415住 埋土 1/3	10.8	3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4235	土師器 杯	416住 23 1/4	10.4	2.9	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4236	土師器 杯	416住 埋土 口縁部～底部周 辺部片	11.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4237	土師器 杯	416住 埋土 口縁部～底部片	11.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4238	土師器 杯	439住 21 1/2	12.2	3.8	細砂粒・粗砂粒/良好/ 橙	口縁部上半横ナデ、下半から体部・底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4239	土師器 杯	439住 5 完形	11.2	3.8	細砂粒・粗砂粒/良好/ 橙	口縁部上半横ナデ、下半から体部・底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4240	土師器 杯	438住 -2 口縁部1/4欠損	12.8	3.6	細砂粒/良好//にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4241	須恵器	439住 31 4/5	8.8	3.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4242	土師器 杯	439住 38 3/4	13.4	3.9	細砂粒/良好/明赤褐	口唇部横ナデ、口縁部から体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4243	土師器 杯	429住 埋土 口縁部～底部片	12.6		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4244	土師器 杯	437住 埋土 1/4	15.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4245	土師器 杯	428住 竈13 完形	11.5	3.2	細砂粒・粗砂粒少/良好/ 橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4246	土師器 杯	437住 10 1/3	11.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4247	土師器 杯	437住 埋土 1/3	12.7		細砂粒・粗砂粒/良好/ 明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	I B 1	
4248	土師器 杯	445住 4 1/2	11.7	3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	I B 1	
4249	土師器 杯	442住 埋土 3/4	13.3	3.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4250	土師器 杯	442住 埋土 1/3	11.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4251	土師器 杯	449住 48 口縁部～体部片	13.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4252	土師器 杯	449住 39 3/4	11.6	3.5	細砂粒・褐色粒/良好/ 橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4253	土師器 杯	451住 埋土 口縁部～体部片	12.1		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上位ナデ、中位から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4254	土師器 杯	496住 竈直上 完形	13.6	3.8	細砂粒/良好/明褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4255	土師器 杯	496住 1 1/4	12.8		細砂粒/良好/暗赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4256	土師器 杯	539住 直上 完形	13.6	4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4257	土師器 杯	539住 埋土 口縁部～体部片	17.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、上位にナデ部分が残る。内面口唇部に凹線が1条巡る。	I B 1	
4258	土師器 杯	539住 2 1/2	12.7	4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4259	土師器 杯	539住 17 1/3	12.4	4.1	細砂粒/良好/橙	口唇部横ナデ、口縁部から底部ヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。	I B 1	
4260	土師器 杯	539住 4 1/2	13.0	3.9	細砂粒・粗砂粒/良好/ 明赤褐	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4261	土師器 杯	539住 埋土 口縁部～体部片	11.0		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4262	土師器 杯	513住 1 完形	12.7	3.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4263	土師器 杯	513住 直上 ほぼ完形	12.2	3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4264	土師器 杯	539住 埋土 口縁部～体部片	13.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半手持ちヘラ削り。	I B 1	
4265	土師器 杯	517住 6 1/3			細砂粒/軟質/赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部器面摩滅のため整形不明。	I B 1	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4266	土師器 杯	524住 埋土 1/4	12.2 10.4	3.5	細砂粒/良好/褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4267	土師器 杯	123住 埋土 口縁部～底部片	12.0		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4268	土師器 杯	524住 北竈3 1/3	12.6	2.9	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4269	土師器 杯	524住 12 1/3	12.6	3.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4270	土師器 杯	125住 埋土 1/3	11.8	3.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4271	土師器 杯	404住 7 ほぼ完形	11.8	3.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4272	土師器 杯	404住 6 1/4	12.1	4.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4273	土師器 杯	125住 埋土 1/4	13.8	4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4274	土師器 杯	404住 7 口縁部～底部片	12.5		細砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4275	土師器 杯	404住 7 口縁部1/4欠損	12.8	4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4276	土師器 杯	404住 4 3/5	10.4	3.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4277	土師器 杯	403住 26 1/5	12.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4278	土師器 杯	403住 3 1/2	11.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4279	土師器 杯	403住 2 3/4	14.8	4.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	内面は漆塗り。
4280	土師器 杯	403住 埋土 1/5	13.8	3.9	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4281	土師器 杯	403住 埋土 1/2	13.7	4.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4282	土師器 杯	403住 4 2/5	11.6	3.3	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4283	土師器 杯	515住 10 3/4	15.5	4.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4284	土師器 杯	406住 埋土 1/3	12.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4285	土師器 杯	410住 43 2/5	12.8	3.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4286	土師器 杯	411住 埋土 5/6	13.6	3.9	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4287	土師器 杯	410住 4 2/5	12.4	4.4	細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4288	土師器 杯	410住 1 1/4	11.7	3.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4289	土師器 杯	411住 埋土 2/3	12.8	3.4	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4290	土師器 杯	409住 埋土 2/3	13.6	3.1	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4291	土師器 杯	409住 ー 3 完形	11.5	3.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4292	土師器 杯	409住 埋土 1/3	12.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4293	土師器 杯	409住 埋土 1/3	11.8	3.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4294	土師器 杯	409住 埋土 2/3	12.6	4.0	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4295	土師器 杯	409住 36 1/3	12.3		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4296	土師器 杯	409住 埋土 口縁部～底部片	13.4		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4297	土師器 杯	409住 埋土 口縁部～底部片	14.2		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4298	土師器 杯	405土坑 82 1/4	12.8	3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4299	土師器 杯	405土坑 76 1/4	12.4	3.5	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4300	土師器 杯	405土坑 47 口縁部～体部片	18.7		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4301	土師器 杯	405土坑 42 1/4	13.4	3.2	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4302	土師器 杯	405土坑 埋土 1/5	13.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4303	土師器 杯	405土坑 67 1/2	13.8	3.5	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4304	土師器 杯	405土坑 埋土 口縁部～底部片	13.2		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4305	土師器 杯	405土坑 埋土 1/4	12.0	3.2	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4306	土師器 杯	405土坑 埋土 口縁部～体部片	17.5		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4307	土師器 杯	434土坑 4 完形	12.7	3.8	細砂粒・粗砂粒/良好/ 橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4308	土師器 杯	425土坑 12 1/2	12.4	3.5	細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4309	土師器 杯	427土坑 8 1/5	13.7		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4310	土師器 杯	452土坑 5 口縁部1/5欠損	12.3	3.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4311	土師器 杯	453土坑 埋土 1/2	12.2	3.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4312	土師器 杯	453土坑 埋土 1/4	12.2	3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4313	土師器 杯	599土坑 36 1/2	10.8	3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4314	土師器 杯	618土坑 81 完形	14.8	4.8	細砂粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4315	土師器 杯	14溝 埋土 1/2	11.0	3.1	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4316	土師器 杯	15溝 36 2/3	13.7	5.5	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持ちヘラ削り後部分的にヘラ磨き。内面放射状ヘラ磨き。	I B 1	
4317	土師器 杯	15溝 40 口縁部～底部片	14.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4318	土師器 杯	15溝 53 2/5	14.3	6.4	細砂粒/良好/褐灰	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面底部から体部放射状、口縁部横方向ヘラ磨き。	I B 1	
4319	土師器 杯	15溝 31 2/5	12.3	3.9	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4320	土師器 杯	15溝 21 ほぼ完形	12.0	4.6	細砂粒/良好/にぶい橙	口唇部横ナデ、口縁部、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4321	土師器 杯	15溝 38 口縁部～底部片	10.5		細砂粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半から底部は器面摩滅のため整形不明。	I B 1	
4322	土師器 杯	15溝 41 1/2	15.5	4.6	細砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 1	
4323	土師器 椀	124住 31 2/5	17.8	7.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4324	土師器 杯	124住 埋土 1/3	14.6	3.9	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4325	土師器 椀	134住 18 口縁部～体部片	20.0		細砂粒/良好/橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4326	土師器 椀	124住 23 1/3	17.7	6.6	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4327	土師器 杯	158住 3 2/5	19.2		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は上半横ナデ、下半から体部・底部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4328	土師器 椀	156住 7 口縁部～体部片	17.8		細砂粒多/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4329	土師器 杯	425土坑 5 2/3	17.8	6.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面底部から体部下半ヘラナデ。	I B 2	
4330	土師器 大型杯	149住 埋土 3/4	21.0	9.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4331	土師器 杯	404住 5 2/3	18.7	6.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部上半は横ナデ、下半はナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I B 2	
4332	土師器 杯	158住 3 1/3	15.0	3.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面ヘラ磨き。	I B 3	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4333	土師器 杯	185住 14 4/5	16.2	4.1	細砂粒/良好/暗灰黄	体部外面に輪積み痕。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面ヘラ磨き。	I B 3	内面漆塗りか。
4334	土師器 杯(杓状)	433土坑 10 4/5	15.4×14.5	器高4.4	細砂粒/良好/暗灰黄	体部外面に輪積み痕。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面ヘラ磨き。	I B 3	
4335	土師器 杯	403住 15 口縁部1/4欠損	14.1	3.4	細砂粒/良好/灰黄	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	I B 3	
4336	土師器 杯	433土坑 埋土 口縁部1/4欠損	14.3	3.7	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	I B 3	
4337	土師器 杯	433土坑 119 2/5	15.5	5.2	細砂粒/良好/灰黄	外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	I B 3	
4338	土師器 杯	433土坑 埋土 3/5	13.8	4.4	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラ磨き。	I B 3	
4339	土師器 杯	149住 埋土 1/2	17.7	5.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半横ナデ、下半ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	I D	
4340	土師器 杯	184住 埋土 1/4	12.0	3.8	細砂粒・褐色粒/良好/ 灰褐	口縁部横ナデ、口縁部下にナデ部分が残る。体部から底部手持ちヘラ削り。	I D	
4341	土師器 杯	415住 埋土 口縁部～体部片	15.6		細砂粒/良好/灰	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。	I D	
4342	土師器 杯	416住 埋土 1/5	11.4	3.7	細砂粒/良好/黄橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I D	
4343	土師器 杯(杓状)	416住 埋土 2/3	14.9×13.6	器高4.0	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り、底部中央部木葉痕。内面ヘラ磨き。	I D	
4344	土師器 杯	125住 埋土 2/5	18.8	6.0	細砂粒/良好/暗赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部手持ちヘラ削り。	I D	
4345	土師器 碗	442住 19 1/3	17.3	6.8	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部にかけてヘラ磨き。	I D	
4346	土師器 杯	162住 埋土 1/3	11.8	3.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半・底部ヘラ削り。内面体部に放射状ヘラ磨き。	I D	
4347	土師器 杯	405土坑 40 口縁部～底部片	15.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不鮮明。	I D	
4348	土師器 杯	143住 埋土 底部片			細砂粒/良好/にぶい橙	底部ヘラ削り。	I F	外面底部に「十」のヘラ描き。
4349	土師器 碗	525住 埋土 1/6	12.0	4.6	細砂粒・粗砂粒少/良好/ 橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部から体部ナデ、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	I F	
4350	土師器 杯	517住 9 口縁部1/4欠損	9.4	4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)は大部分ナデ、最下部から底部手持ちヘラ削り、底部に木葉痕が残る。	I F	稜径 10.3cm
4351	土師器 杯	15溝 24 口縁部1/3欠損	11.0	3.7	細砂粒・粗砂粒少/良好/ にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	I F	
4352	土師器 高杯	544住 貯穴2 口縁部一部、 脚部裾部欠損	14.1		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部から脚部ヘラ削り。内面脚部ヘラナデ。	II A	
4353	土師器 高杯	129住 15 脚部片	脚径9.0		細砂粒/良好/明赤褐	杯身から脚部ヘラ削り、裾部横ナデ。内面脚部ヘラナデ。	II A	
4354	土師器 高杯	522住 11 杯身2/3欠損	13.9	6.9	細砂粒/良好/黒褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)から脚部底部手持ちヘラ削り、裾部横ナデ。内面脚部ヘラナデ。	II A	
4355	土師器 高杯	522住 11 杯身口縁部～ 脚部上半片	14.0		細砂粒/良好/にぶい褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部手持ちヘラ削り。内面脚部ヘラナデ。	II A	
4356	土師器 高杯	455住 19 3/4	15.0	8.4	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部ナデ、脚部ヘラ削り、裾部横ナデ。内面杯身に放射状ヘラ磨き、脚部ヘラナデ。	II A	
4357	土師器 高杯	15溝 47 杯部～脚部上位	15.0		細砂粒/良好/にぶい褐	杯身口縁部横ナデ、底部(稜下)ナデ、脚部ヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	II A	
4358	土師器 高杯	160住 1 杯身部1/2欠損	21.3	21.2	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り。脚部ヘラ削り後ヘラ磨き、裾部横ナデ。内面脚部ヘラナデ。	II B	
4359	土師器 高杯	15溝 19 脚部			細砂粒/良好/橙	脚部は縦方向のヘラ磨き、裾部横ナデ。内面脚部ヘラナデ、裾部横ナデ。杯身との接合面に指頭痕が残る。	II B	
4360	土師器 高杯	443住 13 ほぼ完形	17.2	16.2	細砂粒/良好/にぶい橙	杯身口縁部横ナデ、体部から脚部ヘラ削り、裾部横ナデ。内面脚部ヘラナデ。	II B	
4361	土師器 高杯	143住 埋土 杯身部片	17.2		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、底部(稜下)手持ちヘラ削り、脚部ヘラ削り。	II B	
4362	土師器 高杯	516住 竈1 脚部	脚径15.8		細砂粒/良好/明赤褐	脚部内面に輪積み痕が残る。脚部ヘラ削り、裾部横ナデ。内面脚部ナデ。	II B	
4363	土師器 高杯	160住 7 脚部下半片	脚径16.9		細砂粒/良好/明赤褐	内外面脚部上半ヘラナデ、裾部横ナデ。外面のヘラナデと横ナデの間に凹線が巡る。	II B	
4364	土師器 高杯	516住 竈-2 脚部	脚径12.5		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	脚部から裾部上半ヘラ削り、裾部下半横ナデ。内面裾部ヘラナデ。	II B	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4365	土師器 甕	160住 7 口縁部～胴部中 位片	15.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、部分的にヘラ磨 きが残る。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4366	土師器 甕	160住 ー7 口縁部～胴部下 位片	18.8		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4367	土師器 甕	165住 6 胴部下位～底部	6.0		粗砂粒/良好/にぶい橙	胴部ヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4368	土師器 甕	192住 6 口縁部～胴部下 位片	19.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4369	土師器 甕	426住 竈 2 口縁部～胴部中位	17.6		細砂粒・粗砂粒/良好/ 明黄褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4370	土師器 甕	127住 8 口縁部～胴部中 位片	15.8		細砂粒/良好/浅黄	口縁部横ナデ、胴部ハケ目。内面は口縁部に部分的なハ ケ目、胴部ハケ目、下半は擦れで単位不鮮明。	Ⅲ A 1	
4371	土師器 甕	422住 11 部分的に欠損	27.0	39.8	細砂粒・粗砂粒/にぶい 黄橙	口縁部横ナデ、胴部は上位から中位ヘラナデ、下位・底 部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	口径27.0× 23.8と歪み が激しい。
4372	土師器 甕	422住 ー2 口縁部～胴部下 位片	13.6		細砂粒/良好/にぶい橙	内面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘ ラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4373	土師器 甕	422住 17 口縁部～胴部上 位片	13.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	外面と内面 口縁部にス ス付着。
4374	土師器 甕	422住 3 口縁部～胴部下 位片	13.2		細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り後ヘラ磨き。内面 胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4375	土師器 甕	14溝 37 口縁部～胴部下 位片	21.0		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4376	土師器 甕	14溝 22 口縁部～胴部下 位片	16.0		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい赤褐	胴部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ磨き。 内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 1	
4377	土師器 甕	192住 20 口縁部～胴部下 位片	18.7		粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	内面口縁部 から胴部上 位にスス付 着。
4378	土師器 甕	124住 16 口縁部～胴部下 位片	24.6		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい黄橙	口縁部上半横ナデ、下半から胴部ヘラ削り。内面胴部ヘ ラナデ。	Ⅲ A 2	
4379	土師器 甕	124住 竈 15 口縁部～胴部中 位片	12.0		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	頸部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴 部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4380	土師器 甕	192住 23 口縁部～胴部下 位片	18.0		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4381	土師器 甕	124住 埋土 口縁部～胴部上 位片	27.7		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	外面胴部に 粘土付着。
4382	土師器 甕	124住 9 口縁部～胴部中 位片	23.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4383	土師器 甕	140住 4 口縁部片	22.9		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4384	土師器 甕	124住 竈 3 2/3	25.4	36.7	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4385	土師器 甕	124住 16 3/4	26.0	40.1	細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい黄橙	口縁部横ナデ、胴部は縦方向ヘラ削りであるが下位に一 部横方向がみられる。底部に木葉痕が残る。内面胴部ヘ ラナデ。	Ⅲ A 2	
4386	土師器 甕	416住 20 口縁部～胴部上 位片	20.2		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4387	土師器 甕	124住 23 口縁部～胴部上 位片	26.4		細砂粒・粗砂粒/良好/ 橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4388	土師器 甕	124住 10 胴部下半～底部	6.0		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	胴部ヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4389	土師器 甕	162住 ー8 口縁部～胴部下 位片	16.4		粗砂粒・礫/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4390	土師器 甕	164住 16 口縁部～胴部上 位片	17.0		細砂粒多/良好/にぶい 黄橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4391	土師器 甕	158住 -1 完形	22.7	32.6	細砂粒・褐色粒/良好/ 橙	口縁部横ナデ、胴部から底部ヘラ削り。内面胴部縦方向 と横方向ヘラナデが混在。	Ⅲ A 2	
4392	土師器 甕	158住 1 胴部上位～底部	5.2		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい赤褐	胴部ヘラ削り、底部は摩滅のため不明。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4393	土師器 甕	129住 8 ほぼ完形	18.5	23.2	粗砂粒多/良好/にぶい 橙	口縁部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4394	土師器 甕	158住 3 口縁部～胴部上 位片	22.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4395	土師器 甕	129住 9 3/4	23.7	43.0	粗砂粒多/良好/黄橙	口縁部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4396	土師器 甕	163住 埋土 口縁部～胴部中 位片	20.7		細砂粒・粗砂粒少/良好/ 橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4397	土師器 甕	191住 埋土 口縁部～胴部上位	23.6		粗砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4398	土師器 甕	199住 -2 口縁部～胴部上 半片	21.2		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4399	土師器 甕	198住 -2 口縁部～胴部上位	21.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4400	土師器 甕	416住 2 口縁部～胴部中位	20.9		粗砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。胴部 中位帯状に粘土付着。	Ⅲ A 2	
4401	土師器 甕	434住 竈-1 口縁部～胴部下位	22.0		粗砂粒・礫/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4402	土師器 甕	489住 竈6 完形	17.2	29.3	粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4403	土師器 甕	498住 竈2 口縁部～胴部下位	3.9					
4403	土師器 甕	498住 竈2 口縁部～胴部下位	21.0		粗砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	器高31.5cm 以上
4404	土師器 甕	434住 竈-12 胴部中位～底部	4.7		粗砂粒/良好/にぶい黄橙	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	胴部中程にカ マド装着時の 粘土付着。
4405	土師器 甕	434住 竈直上 3/5	24.8	39.4	粗砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部から底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4406	土師器 甕	434住 竈2 胴部下位～底部	5.8					
4406	土師器 甕	434住 竈2 胴部下位～底部	4.0		粗砂粒/良好/にぶい黄褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4407	土師器 甕	445住 22 口縁部～胴部上 位片	18.6		細砂粒・粗砂粒少/良好/ 明黄褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4408	土師器 甕	428住 竈-2 胴部下位～底部	5.0		細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい黄橙	胴部ヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4409	土師器 甕	489住 竈-1 口縁部～胴部上 半片	14.8		細砂粒/良好/にぶい褐	胴部内面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4410	土師器 甕	421住 埋土 口縁部～胴部上位片			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り。内面頸部から胴部 ヘラナデ。	Ⅲ A 2	口唇部は欠 損。
4411	土師器 甕	455住 16 口縁部～胴部上 位片	19.3		細砂粒・褐色粒/良好/ 橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4412	土師器 甕	455住 26 口縁部～胴部下 位片	20.0		粗砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4413	土師器 甕	437住 埋土 3/4	23.4	40.3	細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が付着。口縁部から頸部横ナデ、 胴から底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4414	土師器 甕	455住 25 口縁部～胴部上 半片	3.0					
4414	土師器 甕	455住 25 口縁部～胴部上 半片	20.4		粗砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4415	土師器 甕	522住 竈直上 口縁部～胴部中 位片	20.9		細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4416	土師器 甕	498住 竈-1 4/5	20.2	35.2	細砂粒・粗砂粒少/良好/ 橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部 ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4417	土師器 甕	522住 竈1 口縁部～胴部下位	4.8					
4417	土師器 甕	522住 竈1 口縁部～胴部下位	22.4		粗砂粒多/良好/にぶい 黄橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4418	土師器 甕	498住 竈埋土 口縁部～胴部上 半片	20.8		粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		高さ (cm)	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径						
4419	土師器 甕	497住 34 口縁部片	19.0			細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ。	Ⅲ A 2	
4420	土師器 甕	520住 2 口縁部～胴部上 位片	15.6			細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4421	土師器 甕	544住 ー1 2/3	14.6	17.2		粗砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内 面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4422	土師器 甕	544住 ー1 口縁部～胴部上 半片	20.2			粗砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4423	土師器 甕	544住 竈7 口縁部～胴部上 半片	21.2			粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4424	土師器 甕	544住 9 口縁部～胴部上 半片	21.6			粗砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4425	土師器 甕	544住 9 胴部下位～底部片	7.4			粗砂粒/良好/にぶい黄橙	胴部はヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4426	土師器 甕	516住 竈1 口縁部～胴部下位	16.9			粗砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。 胴部中に粘土付着。	Ⅲ A 2	
4427	土師器 甕	516住 埋土 口縁部～胴部上 位片	17.4			細砂粒/良好/にぶい橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ナデ。内面 胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4428	土師器 甕	516住 竈12 口縁部～胴部上 位片	19.0			細砂粒・粗砂粒/良好/ 褐灰	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4429	土師器 甕	409住 ー1 口縁部～胴部中 位片	23.3			細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	口唇部に粘 土塊付着。
4430	土師器 甕	618土坑 89 3/5	20.0	38.5		細砂粒・粗砂粒少/良好/ 黒褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、底部のヘラ削りは擦れて 不鮮明。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4431	土師器 甕	15溝 9 口縁部～胴部上半	17.3			粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、頸部下にナデ部分が残る。胴部ヘラ削り。 内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4432	土師器 甕	456土坑 7 胴部下位～底部	8.9			細砂粒・粗砂粒/良好/橙	内面黒色処理。胴部・底部ヘラ削り、底部中央部に木葉 痕が僅かに残る。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4433	土師器 甕	401住 8 1/2	16.8	22.1		細砂粒・粗砂粒/良好/ 明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。内外 面とも器面剥離のため整形不鮮明。	Ⅲ A 2	
4434	土師器 甕	15溝 21 口縁部～胴部上 半片	14.7			細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4435	土師器 甕	15溝 1 胴部下半～底部	9.3			粗砂粒/良好/にぶい橙	胴部ヘラナデ、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 2	
4436	土師器 甕	165住 1 胴部下半～底部	7.8			細砂粒/良好/明黄褐	胴部中位ヘラナデ、下位から底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4437	土師器 甕	174住 16 胴部下位～底部	7.2			細砂粒・褐色粒/良好/ にぶい橙	胴部最下部ヘラ削り、下位ナデ。底部に木葉痕が残る。 内面ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4438	土師器 甕	134住 ー3 口縁部～胴部中 位片	18.4			細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4439	土師器 甕	434住 3 ほぼ完形	13.5	17.5		細砂粒/良好/浅黄	口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ、中位から底部ヘラ削り、 一部単位不鮮明。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4440	土師器 甕	450住 竈11 胴部下位～底部	10.3×8.6			細砂粒・粗砂粒少/良好/ にぶい赤褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4441	土師器 甕	437住 埋土 底部	11.4			細砂粒/良好/浅黄橙	胴部・底部ともヘラ削りであるが、器面摩滅のため単位 不鮮明。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4442	土師器 甕	519住 直上 胴部下位～底部	8.3			細砂粒/良好/明赤褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4443	土師器 甕	426住 竈13 4/5	17.7	28.5		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り後ヘラ磨き、底部 ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4444	土師器 甕	522住 17 胴部下位片～底部	6.1			細砂粒/良好/明赤褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4445	土師器 甕	544住 12 口縁部～胴部上 位片	20.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。 内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4446	土師器 甕	519住 1 口縁部～胴部下 位片	21.4			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4447	土師器 甕	544住 11 口縁部～胴部上 半片	19.6			細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4448	土師器 甕	544住 貯穴4 口縁部～胴部上 位片	19.0			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ナデ。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4449	土師器 甕	15溝 23 2/3	11.4	28.9		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	胴部最大径 25.6cm

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4450	土師器 甕	15溝 59 口縁部～胴部上 位片	11.6		細砂粒・粗砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4451	土師器 甕	15溝 19 口縁部～胴部上 半片			細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 3	
4452	土師器 小型甕	129住 5	13.1	13.6	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、底部手持ちヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 4	
4453	土師器 小型甕	129住 10 底部欠損	14.4		粗砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 4	
4454	土師器 小型甕	128住 埋土 完形	12.8	17.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 4	
4455	土師器 小型甕	199住 -3 底部器面欠損	13.4	18.2	細砂粒・粗砂粒/良好/ にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 4	
4456	土師器 小型甕	156住 竈-4 口縁部～胴部中 位片	15.6		粗砂粒・礫/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ A 4	
4457	土師器 小型甕	124住 竈埋土 口縁部～胴部上 位片	14.2		細砂粒/良好/明赤褐	頸部内面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面胴部ヘラナデ。胴部外面器面剥離。	Ⅲ A 4	
4458	土師器 甕	162住 竈-6 完形	13.1	38.1	粗砂粒・礫/良好/橙	甕未製品の転用?内面に輪積み痕が残る。口唇部に相当 する箇所が横ナデ、胴部は縦方向ヘラ削り。実測図の裏 面になる胴部下半では横方向ヘラ削りがみられる。底部 に木葉痕が残る。内面口唇部下縦方向ヘラナデ。	Ⅲ A 5	
4459	土師器 甕	198住 20 胴部下半～底部	9.2		細砂粒・粗砂粒少/良好/ 橙	胴部・底部ヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。内面 ヘラナデ。	Ⅲ A 5	
4460	土師器 甕	480土坑 1 胴部下位～底部			細砂粒/やや軟質/にぶ い橙	胴部に輪積み痕が残る。胴部内外面ヘラナデ、底部に木 葉痕が残る。	Ⅲ A 5	
4461	土師器 甕	138住 竈1 口縁部～胴部上 半片	17.8		細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4462	土師器 甕	123住 埋土 口縁部片	22.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4463	土師器 甕	135住 竈16 口縁部～胴部上 位片	19.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4464	土師器 甕	166住 11 口縁部～胴部上 位片	20.9		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4465	土師器 甕	166住 14 口縁部～胴部上 位片	22.8		細砂粒・褐色粒/良好/ 明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4466	土師器 甕	166住 7 口縁部～胴部中 位片	22.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4467	土師器 甕	143住 -2 口縁部～胴部下 位片	22.4		細砂粒/良好/赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4468	土師器 甕	178住 1 口縁部～胴部中 位	20.4		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4469	土師器 甕	178住 直上 口縁部～胴部上 半	20.8		細砂粒・粗砂粒微/良好/ にぶい赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4470	土師器 甕	178住 埋土 口縁部～胴部上 位片	19.3		細砂粒・褐色粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4471	土師器 甕	178住 15 口縁部～胴部上 位片	20.4		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4472	土師器 甕	178住 22 口縁部～胴部上 位片	20.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4473	土師器 甕	180住 1 口縁部～胴部上 半片	20.5		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4474	土師器 甕	150住 竈埋土 口縁部～胴部上 半片	24.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4475	土師器 甕	183住 3 口縁部～胴部上位	18.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4476	土師器 甕	159住 1 口縁部～胴部上 位片	21.4		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4477	土師器 甕	183住 5 口縁部～胴部上位	23.0×22.0		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、器面摩滅のため単 位不鮮明。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	口縁部成形 時の歪みか。
4478	土師器 甕	159住 - 6 口縁部～胴部上 位片	20.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4479	土師器 甕	185住 埋土 口縁部～胴部上 位片	22.0		細砂粒/良好/明褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4480	土師器 甕	185住 竈6 口縁部～胴部上 位片	24.0		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4481	土師器 甕	185住 埋土 口縁部～胴部上 位片	19.0		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4482	土師器 甕	185住 竈9 口縁部～胴部上 位片	23.6		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4483	土師器 甕	185住 竈-1 口縁部～胴部上 位片	22.0		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4484	土師器 甕	161住 竈2 5/6	20.6	29.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部 ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4485	土師器 甕	161住 住居内 土坑2 口縁部欠損		4.6	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部から底部ヘラ削り。内面胴 部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4486	土師器 甕	161住 -10 口縁部～胴部上 位片	20.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4487	土師器 甕	161住 竈8 口縁部～胴部上 位片	20.2		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4488	土師器 甕	184住 竈2 口縁部～胴部上 半片	21.8		細砂粒/良好/橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4489	土師器 甕	195住 埋土 口縁部～胴部上 位片	18.4		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4490	土師器 甕	195住 11 口縁部～胴部上 位片	20.4		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4491	土師器 甕	163住 -6 口縁部～胴部中 位片	14.1	最大径15.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4492	土師器 甕	149住 埋土 口縁部～胴部上 位片	25.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4493	土師器 甕	156住 竈-3 口縁部～胴部中 位片	21.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4494	土師器 甕	149住 埋土 口縁部～胴部上 半片	20.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4495	土師器 甕	149住 直上 口縁部～胴部上 位片	20.8		細砂粒・粗砂粒/良好/ 明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4496	土師器 甕	149住 竈1 口縁部～胴部中 位片	23.5		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4497	土師器 甕	149住 竈埋土 口縁部～胴部上 半片	22.0		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4498	土師器 甕	403住 竈15 口縁部～胴部上 位片	21.5		細砂粒/良好/橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4499	土師器 甕	149住 埋土 口縁部～胴部上 位片	26.5		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4500	土師器 甕	149住 41 口縁部～胴部上 位片	24.1		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4501	土師器 甕	149住 48 口縁部～胴部上 位片	24.6		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4502	土師器 甕	169住 竈20 口縁部～胴部上 位片	19.4		細砂粒/良好/橙	脚部は貼付。口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、脚部横ナデ。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4503	土師器 甕	438住 埋土 口縁部～胴部上 位片	23.7		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4504	土師器 甕	438住 竈6 口縁部～胴部上 位片	22.8		細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4505	土師器 甕	188住 埋土 口縁部～胴部上 半片	20.2		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4506	土師器 甕	187住 竈-3 口縁部～胴部上 位片	21.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4507	土師器 甕	184住 竈22 口縁部～胴部下 位片	20.4		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	胴部中位に 粘土付着。
4508	土師器 甕	184住 4 口縁部～胴部上 半片	21.5		細砂粒・褐色粒/良好/ にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4509	土師器 甕	438住 -3 口縁部～胴部上 位片	15.9		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4510	土師器 甕	184住 埋土 口縁部～胴部上 半片	22.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4511	土師器 甕	186住 21 口縁部～胴部上 位片	23.0		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4512	土師器 甕	494住 -11 胴部上位～底部 片	13.6		細砂粒・粗砂粒少/良好/ にぶい赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4513	土師器 甕	428住 -2 口縁部～胴部上 位片	14.6		細砂粒・砂粒少/良好/ にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4514	土師器 甕	437住 埋土 口縁部～胴部上 位片	21.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4515	土師器 甕	515住 竈1 口縁部～胴部上 位片	18.8		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4516	土師器 甕	430住 1 口縁部～胴部上 位片	19.0		細砂粒・粗砂粒/良好/ 橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、上位にナデ部分 が残る。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4517	土師器 甕	454住 竈7 口縁部～胴部上 半片	20.5		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4518	土師器 甕	430住 5 口縁部～胴部上 位片	19.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4519	土師器 甕	492住 12 口縁部～胴部中 位片	18.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4520	土師器 甕	442住 竈-4 口縁部～胴部下 位片	21.2		細砂粒/良好/明赤	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4521	土師器 甕	514住 竈7 3/5	20.5	26.5	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部 ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4522	土師器 甕	442住 竈-5 口縁部～胴部上 位片	18.6		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、頸部に指頭痕が残る。胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4523	土師器 甕	515住 竈8 口縁部～胴部中 位片	14.8		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4524	土師器 甕	496住 竈直上 口縁部～胴部下 位片	20.2		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部ヘラ ナデ。	Ⅲ B 1	
4525	土師器 甕	496住 竈8 3/4	20.1	28.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4526	土師器 甕	496住 竈8 口縁部～胴部下 位片	21.4		細砂粒・褐色粒/良好/ 橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	B 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4527	土師器 甕	496住 竈3 口縁部～胴部上 半片	20.3		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴部へ ラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4528	土師器 甕	425土坑 2 口縁部～胴部上 位片	25.0		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4529	土師器 甕	514住 竈14 口縁部～胴部中位	21.6		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4530	土師器 甕	514住 竈20 1/2	21.2	26.1	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部 ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			3.4					
4531	土師器 甕	514住 竈6 口縁部～胴部上 位片	20.8		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4532	土師器 甕	514住 11 口縁部～胴部上 半片	14.7		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4533	土師器 甕	514住 竈17 口縁部～胴部中位	20.0		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4534	土師器 甕	125住 埋土 口縁部～胴部上位 片	19.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4535	土師器 甕	125住 埋土 口縁部～胴部上 位片	14.6		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4536	土師器 甕	618土坑 98 口縁部～胴部上 位片	24.7		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	外面にスス 附着。
4537	土師器 甕	513住 竈-1 3/5	20.7	30.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			5.1×4.5					
4538	土師器 甕	183住 -1 ほぼ完形	16.0	17.2	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部から底部ヘラ削り。内面胴 部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			6.0					
4539	土師器 甕	524住 北竈4 口縁部～胴部上半 片	21.3		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4540	土師器 甕	524住 北竈27 口縁部～胴部上 位片	12.8		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4541	土師器 甕	524住 北竈11 口縁部～胴部上 半片	20.4		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			最大径21.0					
4542	土師器 甕	406住 2 口縁部～胴部上 位片	25.6		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4543	土師器 甕	178住 口縁部～胴部上 位片	18.0		細砂粒/良好/褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4544	土師器 甕	412住 竈-5 口縁部～胴部中 位片	21.6		細砂粒/良好/赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4545	土師器 甕	412住 -1 口縁部～胴部中 位片	21.0		細砂粒/良好/にぶいか 褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、 胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			最大径23.0					
4546	土師器 甕	409住 4 口縁部～胴部上 位片	17.4		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4547	土師器 甕	331土坑 埋土 2/3	24.0		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4548	土師器 甕	524住 7 口縁部～胴部下 位片	22.8		細砂粒・粗砂粒少/良好 /橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴部 ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4549	土師器 甕	331土坑 25 3/4	22.9	34.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			8.4					
4550	土師器 甕	331土坑 21 1/2	25.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、胴部から底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			7.6					
4551	土師器 甕	15溝 15 口縁部～胴部上 位片	14.7		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4552	土師器 甕	161住 胴部～底部片			細砂粒/良好/赤褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
			3.0					
4553	土師器 甕	124住 16 口縁部～胴部中 位片	22.8		細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		高さ (cm)	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径						
4554	土師器 甕	405土坑 36 口縁部～頸部片	24.8			細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4555	土師器 甕	427土坑 3 口縁部～胴部上 位片	28.5			細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ 削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 1	
4556	土師器 甕	135住 竈16 口縁部～胴部上 位片	21.8			細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 2	
4557	土師器 甕	159住 埋土 口縁部～胴部上 位片	13.5			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 2	
4558	土師器 甕	200住 埋土 口縁部～胴部上 位片	22.7			細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 2	
4559	土師器 甕	162住 - 6 口縁部～胴部上 位	13.8			細砂粒多/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 2	
4560	土師器 甕	149住 埋土 口縁部～胴部上 半片	19.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 2	
4561	土師器 甕	524住 北竈 5 3/5	20.4 5.1	28.3		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部・底部ヘラ削り。内面胴部 ヘラナデ。	Ⅲ B 2	
4562	土師器 小型甕	166住 - 3 口縁部～胴部上 半片	10.0			細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 3	
4563	土師器 甕	145住 埋土 口縁部～胴部上 半片	15.2			細砂粒少/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ磨き。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4564	土師器 甕	135住 竈-10 胴部下位～底部片	4.2			細砂粒/良好/明赤褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4565	土師器 甕	193住 2 口縁部～胴部下 位片	16.0			細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ磨き。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4566	土師器 甕	156住 13 胴部下位～底部片	6.2			細砂粒/良好/にぶい褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4567	土師器 甕	149住 埋土 胴部下半～底部片	4.4			細砂粒/良好/橙	胴部から底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4568	土師器 甕	163住 - 5 胴部下位～底部	8.6			細砂粒・粗砂粒少/良好/ にぶい赤褐	胴部・底部手持ちヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4569	土師器 甕	184住 12 胴部下位～底部	6.5			細砂粒/良好/明赤褐	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4570	土師器 甕	178住 埋土 胴部下位～底部	3.9			細砂粒/良好/にぶい橙	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4571	土師器 甕	438住 埋土 胴部下位～底部	3.7			細砂粒/良好/灰黄褐	胴部・底部ヘラ削り。内面底部ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4572	土師器 甕	185住 竈 1 胴部下半～底部片	5.3			細砂粒/良好/にぶい橙	胴部から底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4573	土師器 甕	449住 竈 7 一部欠損	16.2 6.5	19.7		細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4574	土師器 甕	437住 埋土 胴部下位～底部	5.6			細砂粒/良好/褐	胴部内面に輪積み痕が残る。胴部・底部ヘラ削り。内面 ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4575	土師器 甕	496住 竈-6 胴部下位～底部	4.6			細砂粒/良好/にぶい橙	胴部・底部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	Ⅲ B 4	
4576	土師器 台付甕	183住 4 1/2	11.2 脚径7.8	14.2		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、脚部横ナデ。内 面胴部ヘラナデ。	Ⅳ A 2	
4577	土師器 台付甕	169住 - 8 3/4	13.8 脚径10.0	15.9		細砂粒/還元焰/にぶい 褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅳ A 1	
4578	土師器 甕	184住 埋土 口縁部～胴部上 半片	9.9			細砂粒/良好/黒褐	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	Ⅳ A 1	台付甕か。
4579	土師器 台付甕	618土坑 98 底部～脚部	脚径8.2cm 6.0			粗砂粒多/良好/にぶい 橙	脚部上半から胴部ヘラ削り、脚部下半横ナデ。内面胴部・ 脚部ヘラナデ。	Ⅳ A 3	
4580	土師器 台付甕	420住 3 口縁部1/2欠損	12.1 5.0	18.3		細砂粒/良好/赤褐	脚部は貼付。口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、脚 部横ナデ。内面胴部ヘラナデ。	Ⅳ A 1	
4581	土師器 台付甕	514住 直上 1/3、裾部欠損	14.5			細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り、脚部横ナデ。内 面胴部ヘラナデ。	Ⅳ A 2	
4582	土師器 台付甕	514住 14 胴部下位～脚部	脚径9.9			細砂粒/良好/にぶい黄 褐	脚部外面に輪積み痕が残る。胴部ヘラ削り、脚部横ナデ。 内面胴部ヘラナデ。	Ⅳ A 3	
4583	土師器 台付甕	178住 10 脚部	脚径9.6 4.4			細砂粒/良好/にぶい褐	脚部上半ヘラナデ、下半横ナデ。内面ヘラナデ。	Ⅳ A 3	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4584	土師器 甗	192住 25 4/5	22.6 10.1	27.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	VA	
4585	土師器 甗	422住 8 ほぼ完形	22.8 9.7	22.6	細砂粒・礫/良好/にぶい赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	VA	
4586	土師器 甗	178住 17 胴部下位片			細砂粒/良好/明褐	内面胴部に輪積み痕が残る。底部端部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	VA	
4587	土師器 甗	178住 埋土 胴部下位～底部片	14.0		細砂粒/良好/にぶい橙	内面に輪積み痕が残る。胴部ヘラ削り、端部横ナデ。内面ヘラナデ。	VA	
4588	土師器 甗	455住 28 口縁部～底部片	21.7		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラ磨き。	VA	
4589	土師器 甗	455住 28 胴部～底部片	10.4		細砂粒/良好/にぶい黄橙	胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラ磨き。	VA	
4590	土師器 甗	491住 1 1/2	23.5 9.0	30.9	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、下位ヘラ磨き。内面胴部ヘラ磨き。	VA	
4591	土師器 甗	14溝 31 胴部下位～底部片	11.6		細砂粒/良好/灰褐	胴部ヘラナデ。内面はヘラナデであるが使用時の擦れで単位不鮮明。	VA	
4592	土師器 甗	130住 5 1/3	25.0 孔径3.1	10.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部下半から底部ヘラナデ。	VB	
4593	土師器 甗	129住 3 ほぼ完形	17.4 6.2	10.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部は上・中位が器面剥離のため不明、下位から底部ヘラ削り。内面放射状ヘラ磨き。	VB	
4594	土師器 甗	124住 29 底部	孔径3.4		細砂粒/良好/にぶい橙	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	VB	
4595	土師器 甗	124住 埋土 胴部下位～底部片	孔径3.2		細砂粒/良好/橙	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	VB	
4596	土師器 小型壺	185住 11 完形	8.8 最大径11.8	10.2	細砂粒・褐色粒/やや軟質/橙	口縁部横ナデ、胴部から底部手持ちヘラ削り。内面胴部から底部ヘラナデ。	VI	
4597	土師器 壺	163住 -6	13.6 8.2	13.4	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部横ナデ、胴部から底部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	VI	
4598	土師器 壺	494住 6 胴部中位～底部	5.5		細砂粒/良好/灰褐	胴部外面に輪積み痕が残る。胴部ヘラナデ、単位不鮮明、底部に木葉痕が残る。内面ヘラナデ。	VI	
4599	土師器 壺	187住 2 完形	8.2	11.1	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、胴部上位から中位ヘラナデ、下位から底部手持ちヘラ削り。内面ヘラナデ。	VI	
4600	土師器 鉢	160住 埋土 口縁部～体部	11.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半ヘラ削り。	VIIA	
4601	土師器 鉢	144住 -1 完形	9.1	10.4	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	VIIA	
4602	土師器 鉢	193住 埋土 口縁部～体部片	19.8		細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部ヘラ削り。	VIIA	
4603	土師器 鉢	173住 甗16 1/3	22.2		細砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	VIIA	
4604	土師器 鉢	176住 -2 口縁部～体部片	22.8		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	VIIA	
4605	土師器 鉢	422住 3 5/6	13.7 6.0	12.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	VIIA	
4606	土師器 鉢	449住 甗9 口縁部～体部片	12.1		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	VIIA	
4607	土師器 鉢	142住 5 1/3	18.6 6.3	14.5	細砂粒/良好/黒褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。	VIIA	内外面漆塗り。
4608	土師器 鉢	438住 6 4/5	15.7 8.8	7.3	細砂粒・粗砂粒・礫/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面底部に重弧状、体部に放射状ヘラ磨き。	VIIA	
4609	土師器 鉢	443住 15 4/5	14.2	11.2	細砂粒・粗砂粒/良好/明褐	外面に輪積み痕が明瞭に残り、一部に粘土塊貼付による補修がみられる。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部ヘラ磨き。	VIIA	
4610	土師器 鉢	416住 埋土 口縁部～体部片	15.0		細砂粒/良好/橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面ヘラナデ後部分的にヘラ磨き。	VIIA	
4611	土師器 鉢	489住 甗9 3/5	18.0 10.5	11.8	細砂粒/良好/にぶい褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	VIIA	
4612	土師器 鉢	438住 直上 3/5	23.6 8.0	15.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部から底部ヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	VIIA	
4613	土師器 鉢	489住 1 3/5	17.0	11.8	細砂粒/良好/黒褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	VIIA	
4614	土師器 鉢	453住 4 口縁部～体部上位片	21.6		細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	VIIA	外面の一部にスス付着。
4615	土師器 鉢	489住 直上 完形	18.8 7.0	10.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	VIIA	
4616	土師器 鉢	433王坑 112 口縁部～底部片	21.9		細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、底部手持ちヘラ削り。内面口縁部から体部にかけて横方向ヘラ磨き。	VIIA	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			口径 底径	高さ (cm)				
4617	土師器 鉢	532住 直上 ほぼ完形	15.0 8.1	11.4	細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部 下半から底部ヘラナデ。	ⅦA	
4618	土師器 鉢	14溝 11 ほぼ完形	14.8	11.7	細砂粒/良好/橙	口縁部外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部から 底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	ⅦA	
4619	土師器 鉢	14溝 40 体部下位～底部	9.9		細砂粒/良好/橙	体部下位から底部手持ちヘラ削り。内面ヘラナデ。	ⅦA	底部の器壁は 非常に厚い。
4620	土師器 鉢	14溝 21 口縁部1/2欠損	14.1	9.2	細砂粒/良好/橙	口縁部から体部上半横ナデ、下半ヘラ削り、底部ヘラ磨き。 内面底部から体部放射状ヘラ磨き。	ⅦA	
4621	土師器 鉢	15溝 24 口縁部～体部片	15.8		細砂粒・褐色粒/良好/ 明黄褐	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部ヘラナデ。	ⅦA	
4622	土師器 有孔鉢	158住 3 1/2	16.8 孔径2.6	10.9	細砂粒/良好/にぶい橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ 削り。内面体部から底部ヘラナデ。	ⅦB	
4623	土師器 有孔鉢	158住 3 胴部下位～底部片	孔径2.2		細砂粒/良好/にぶい褐	胴部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	ⅦB	
4624	土師器 有孔鉢	15溝 39 1/3	10.4 7.6	10.3	細砂粒/良好/橙	口縁部・底部横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部・底部ヘ ラナデ。	ⅦB	ミニチュア 孔径2.0cm
4625	土師器 有孔鉢	149住 -9 3/5	22.3 孔径3.0	14.4	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部 から底部ヘラナデ。	ⅦB	
4626	土師器 有孔鉢	14溝 10 完形	19.2 5.6×6.6	12.2	細砂粒・粗砂粒/良好/ 橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部から底部ヘ ラ削り。内面胴部ヘラナデ。	ⅦB	底部孔径 1.8cm、口縁 平面楕円形。
4627	手捏ね 土器 壺形	149住 直上 完形	2.0	2.8	細砂粒/軟質/黒褐	内外面ナデ。	Ⅶ	
4628	土師器 杯形	186住 38 1/3	7.5 稜径7.2	3.1	細砂粒/良好/にぶい褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)ナデ、底部手持 ちヘラ削り。	Ⅶ	ミニチュア
4629	土師器 碗形	454住 13 3/4	5.5 4.6	4.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部に木葉痕が残る。内面体部・ 底部ナデ。	Ⅶ	ミニチュア
4630	土師器 杯形	426住 3 口縁部～体部片	6.6		細砂粒/良好/にぶい赤 褐	口縁部横ナデ、体部手持ちヘラ削り。	Ⅶ	ミニチュア 杯型
4631	土師器 碗形	516住 18 完形	6.2 5.2	4.9	細砂粒/良好/橙	手捏ね成形。口縁部横ナデ、体部ナデ、底部に木葉痕が 残る。内面口唇部横ナデ、体部・底部ナデ。	Ⅶ	ミニチュア
4632	手捏ね 土器 碗形	315-965G 口縁部1/4欠損	5.0	3.8	細砂粒/良好/橙	内外面ナデ。	Ⅶ	
4633	手捏ね 土器 碗形	14溝 埋土 口縁部一部欠損	5.8 5.0	2.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部に木葉痕が残る。内面ナデ。	Ⅶ	
4634	土師器 小型短頸壺	433土坑 埋土 口縁部～胴部片	5.4 最大径7.0		細砂粒/やや軟質/明赤 褐	口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ナデ。	Ⅶ	ミニチュア
4635	土師器 小型壺	14溝 40 完形	6.4 最大径8.2	6.8	細砂粒/良好/にぶい赤 褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、胴部上位ナデ、中位から 底部ヘラ削り。内面胴部・底部ヘラナデ。	Ⅶ	ミニチュア
4636	手捏ね 土器 碗形	15溝 14 ほぼ完形	5.5 5.0	4.3	細砂粒/良好/橙	口唇部横ナデ、口縁部から体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面ナデ。	Ⅶ	
4637	手捏ね 土器 碗形	15溝 30 3/4	5.8 5.2×5.4	4.0	細砂粒/良好/赤褐	口唇部横ナデ、口縁部から体部ナデ、底部ヘラナデ。内 面ナデ。	Ⅶ	底部は隅丸 方形を呈す。
4638	手捏ね 土器 碗形	15溝 17 完形	5.8 6.8	4.7	細砂粒/良好/赤褐	口唇部横ナデ、口縁部から体部ナデ、底部強いナデ。内 面ナデ。	Ⅶ	
4639	手捏ね 土器 碗形	15溝 15 ほぼ完形	7.3 6.1	4.1	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口唇部横ナデ、口縁部から体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面ナデ。	Ⅶ	
4640	手捏ね 土器 碗形	15溝 27 完形	8.0 5.8	5.0	細砂粒/良好/赤褐	口唇部横ナデ、口縁部から体部ナデ、底部ヘラナデ。内 面ナデ。	Ⅶ	底部は隅丸 方形を呈す。
4641	手捏ね 土器 碗形	15溝 13 完形	6.3 4.8	4.3	細砂粒/良好/にぶい黄 橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。	Ⅶ	
4642	土師器 三足鍋	149住 埋土 脚部			細砂粒/良好/橙	外面ヘラナデ。	Ⅸ	
4643	土師器 脚付鍋	表採 脚部片	長9.0 径3.4×3.2		細砂粒/良好/橙	上部に貼付痕が残る。表面ヘラナデ。	Ⅸ	
4644	土師器 皿	14溝 埋土 脚部			細砂粒/良好/暗褐	脚部は貼付。表面ナデ。獣脚の模倣か。	Ⅸ	
4645	須恵器 杯身	166住 埋土 口縁部～体部片	11.8 稜径13.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。内面底 部に自然釉付着。	I A	
4646	須恵器 杯身	193住 -2 ほぼ完形	12.4 稜径14.2	4.2	細砂粒・粗砂粒/酸化焰 ぎみにぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。体部(稜下)から底部回転ヘラ削 り。	I A	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4647	須恵器 杯身	422住 25 1/4	11.0	3.9	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	I A	
4648	須恵器 杯身	430住 17 完形	10.4 稜径11.8	4.2	細砂粒/還元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転左回り。底部回転ヘラ削り。内面底部ナデ。外面底部は酸化焰焼成。	I A	
4649	須恵器 杯身	427住 埋土 口縁部～底部片	12.2 稜径13.6		細・粗砂粒少/酸化焰 ぎみにぶい黄橙	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。	I A	
4650	須恵器 杯身	330-930G 1/4	12.8 稜径15.0	3.4	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I A	
4651	須恵器 杯身	15溝 4 1/5	稜径13.0		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位手持ちヘラ削り。	I A	
4652	須恵器 杯身	15溝 26 口縁部一部欠損	11.5	3.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I A	
4653	須恵器 杯身	15溝 21 ほぼ完形	12.1 稜径14.0	4.5	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。内面酸化焰焼成。	I A	
4654	須恵器 杯身	14溝 24 1/2	12.4 稜径14.2		細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I A	
4655	須恵器 杯身	443住 5 5/6	13.2 10.7	3.5	細砂粒/還元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I A	
4656	須恵器 杯身	14溝 25 1/2	11.0 12.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I A	
4657	須恵器 杯身	14溝 15 1/4	11.8 稜径12.3	2.5	細砂粒/酸化焰 ぎみにぶい褐	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I A	
4658	須恵器 杯	130住 埋土 1/3	12.6	5.5	細砂粒/還元焰/灰	口縁部横ナデ、体部から底部手持ちヘラ削り。内面体部から底部ヘラナデ。	I B	
4659	須恵器 碗	129住 -1 1/3	16.2	7.3	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。口縁部の歪み激しい。	I B	
4660	須恵器 碗	199住 -4 1/6	13.6	5.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4661	須恵器 杯	181住 埋土 口縁部片	12.8		細砂粒/還元焰/にぶい黄褐	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部下位に2条の凹線が巡る。	I B	
4662	須恵器 杯	171住 25 完形	10.4	4.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4663	須恵器 杯	171住 16 4/5	10.9	4.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4664	須恵器 杯	174住 5 口唇部1/3欠損	7.8	4.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。内面底部ヘラナデ。	I B	
4665	須恵器 杯	183住 18 2/5	10.4	4.4	細砂粒/酸化焰 ぎみにぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4666	須恵器 杯	450住 埋土 1/4	10.0	4.0	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4667	須恵器 杯	171住 13 3/5	8.4 6.2	3.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	I B	
4668	須恵器 碗	162住 竈-7 1/2	12.9	3.1	細砂粒/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部中央部手持ちヘラ削り、周辺部回転ヘラ削り。	I B	
4669	須恵器 杯	422住 3 ほぼ完形	15.7	5.9	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4670	土師器 杯	424住 埋土 1/4	11.6	3.9	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部横ナデ、底部回転ヘラ削り。	I B	形状は土師器、成・整形は須恵器
4671	須恵器 杯	416住 8 口縁部～体部片	9.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部下半回転ヘラ削り。	I B	
4672	須恵器 杯	416住 埋土 2/5	10.6	3.8	細砂粒/還元焰/黒褐	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り	I B	
4673	須恵器 杯	416住 1 1/3	10.7		細砂粒/酸化焰 ぎみにぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り	I B	
4674	須恵器 杯	411住 -5 ほぼ完形	9.3	3.6	細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4675	須恵器 杯	416住 -2 底部欠損	16.4		細砂粒・粗砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4676	須恵器 杯	416住 直上 口縁部片	14.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。外面に自然釉付着。	I B	
4677	須恵器 杯	425住 直上 1/2	11.6		細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。底部から体部の一部にかけて手持ちヘラ削り。	I B	
4678	須恵器 杯	427住 9 完形	10.0 7.6×7.2	4.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	口縁部の歪み激しく、平面楕円形。

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			口径 底径	高さ (cm)				
4679	須恵器 杯	427住 6 1/2	11.9	4.0	細砂粒/還元焰/暗黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4680	須恵器 碗	443住 4 ほぼ完形	14.4	6.0	細砂粒/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。体部に2 条の凹線が巡る。	I B	口縁部に粘 土小塊付着。
4681	須恵器 杯	449住 5 完形	9.4	4.4	細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4682	須恵器 杯	429住 24 3/5	11.2	3.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4683	須恵器 杯	450住 埋土 1/3	9.8 7.0	2.8	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /暗灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4684	須恵器 杯	498住 6 完形	11.2	4.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部から底部手持ちヘラ削り。 内面体部から底部ヘラナデ。	I B	
4685	須恵器 杯	520住 1 3/4	10.7	3.4	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4686	須恵器 碗	525住 埋土 口縁部～体部片	10.6		細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部下位回転ヘラ削り。	I B	
4687	須恵器 杯	410住 37 口縁部～底部片	10.4 9.4		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /褐灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	I B	
4688	須恵器 杯	498住 1 3/4	9.8	3.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部下半から底部手持ちヘラ 削り。	I B	
4689	須恵器 杯	14溝 25 1/5	8.8 7.2	3.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4690	須恵器 杯	516住 9 1/4	13.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回りか。底部回転ヘラ削り、部分的 に手持ちヘラ削りが施されている。	I B	
4691	須恵器 杯	516住 16 1/3	14.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4692	須恵器 杯	520住 21 3/5	10.2	5.1	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4693	須恵器 杯	515住 竈36 2/3	17.7	5.3	細砂粒・白色粒/酸化焰 /橙	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	I B	
4694	須恵器 杯	520住 1 口縁部～体部片	8.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部手持ちヘラ削り。	I B	
4695	須恵器 杯	493住 2 口縁部1/3欠損	16.8×16.0 器高5.1		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。外面カキ目後底部の一部にヘ ラ削り。内面底部ヘラナデ。	I B	
4696	須恵器 杯	524住 埋土 体部～底部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。	I B	
4697	須恵器 杯	421土坑 1 2/3	12.7 4.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。体部から底部手持ちヘラ削り。	I B	
4698	須恵器 杯	2302ピット 2 ほぼ完形	11.6	3.8	細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。体部から底部手持ちヘラ削り。	I B	
4699	須恵器 小型杯	325・330-935G 口縁部下半～底部	稜径7.1		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	I B	
4700	須恵器 碗	14溝 36 口縁部3/4欠損	13.0	5.1	細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	本品は口縁 部形状から 片口か。
4701	須恵器 杯	14溝 34 口唇部3/4欠損	9.6 7.4	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4702	須恵器 杯	14溝 59 1/2	11.4	4.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I B	
4703	須恵器 杯	14溝 14 1/3	11.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部(凹線)下から底部回転ヘラ 削り。	I B	
4704	須恵器 杯	15溝 埋土 口縁部3/4欠損	10.8	4.7	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4705	須恵器 杯	15溝 26 1/4	11.8 9.0	3.6	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	I B	
4706	須恵器 杯	15溝 28 2/5	10.6 6.0	4.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り後手持ち ヘラ削りか。体部下位ヘラ削り。	I B	
4707	須恵器 杯	15溝 36 3/5	11.0 8.2	3.4	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部回転ヘラ削り。	I B	
4708	須恵器 杯	15溝 31 1/4	12.4	5.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部から底部手持ちヘラ削り。 内面体部から底部ナデ。	I B	
4709	須恵器 碗	15溝 59 1/2	14.6	5.9	細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り後周辺 部から体部下位回転ヘラ削り。	I B	
4710	須恵器 碗	15溝 46 口縁部～体部	12.4		細砂粒/酸化焰/にぶい 赤褐	ロクロ整形、回転右回りか。体部下半は回転ヘラ削り。	I B	
4711	須恵器 杯	15溝 埋土 3/5	11.8×11.0 器高5.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り、内外面に 別個体破片付着。口縁部は歪みで楕円形を呈す。	I B	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
4712	須恵器 杯(杓状)	15溝 11 2/3	15.5	11.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。内面底部ナデ。外面に別個体破片付着。	I B	
4713	須恵器 碗	15溝 5 4/5	9.6	6.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り削り。	I B	
4714	須恵器 杯	15溝 19 1/3	11.8	4.4	細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部最下部回転ヘラ削り。	I B	
4715	須恵器 杯	15溝 47 体部～底部片			細砂粒/酸化焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I B	
4716	須恵器 杯	15溝 25 1/5	12.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。	I B	
4717	須恵器 杯	416住 4 ほぼ完形	11.4	2.9	細砂粒/酸化焰/にぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。底部ヘラ起こし無調整。	I C 1	
4718	須恵器 杯	134住 埋土 1/4	17.8	5.8	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。内面口唇部に1条の凹線が巡る。	I C 2	
4719	須恵器 杯	140住 7 口縁部～体部片	10.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4720	須恵器 杯	174住 13 1/2	13.6	3.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4721	須恵器 高杯	149住 埋土 杯身片			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付。底部手持ちヘラ削りか。	ⅢA	
4722	須恵器 杯	152住 埋土 1/4	11.3	4.0	細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り、体部ヘラナデ。	I C 2	
4723	須恵器 杯	151住 埋土 1/4	8.0	2.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちヘラ削り、体部ヘラ削り。内面底部ナデ。	I C 2	
4724	須恵器 杯	416住 23 1/5	10.2	2.3	細砂粒/酸化焰/にぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り、体部回転ヘラ削り。	I C 2	
4725	須恵器 杯	416住 19 1/2	8.5	3.5	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4726	須恵器 杯	428住 7 1/2	17.4	5.6	細砂粒・粗砂粒少/良好/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	I C 2	
4727	須恵器 杯	438住 ー2 口縁部1/4欠損	13.1	3.8	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4728	須恵器 杯	426住 7 完形	11.2	3.6	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。内面に降灰が付着。	I C 2	
4729	須恵器 杯	515住 埋土 1/3	13.0	3.6	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4730	須恵器 杯	492住 3 口縁部～底部周縁片	10.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部は手持ちヘラ削りか。	I C 2	
4731	須恵器 皿	520住 1 1/4	10.5	1.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちヘラ削り、内面底部ヘラナデ。	I C 2	
4732	須恵器 杯	519住 28 完形	10.2	5.2	細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り、体部下半回転ヘラ削り。	I C 2	
4733	須恵器 杯	524住 3 1/3	9.2	3.3	細砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちヘラ削りか。器面摩擦のため整形不鮮明。	I C 2	
4734	須恵器 碗	535住 ー2 2/3	12.8	5.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り、使用時の擦れで単位不鮮明。	I C 2	
4735	須恵器 杯	14溝 26 1/2	10.8	3.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部中心部手持ちヘラ削り、周辺部から体部下半回転ヘラ削り。	I C 2	
4736	須恵器 杯	540住 埋土 口縁部～底部片	11.8		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4737	須恵器 杯	315-865 口縁部～底部片	10.8	3.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4738	須恵器 杯	15溝 35 1/3	9.8	3.4	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	
4739	須恵器 杯	15溝 20 1/2	11.1	3.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部下半手持ちヘラ削り。	I C 2	
4740	須恵器 杯	15溝 24 ほぼ完形	8.6	4.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部下位手持ちヘラ削り。	I C 2	
4741	須恵器 杯	15溝 40 口縁部1/2欠損	7.8	4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部下位手持ちヘラ削り。	I C 2	
4742	須恵器 杯	15溝 36 口縁部1/3欠損	8.5	4.5	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部・体部下位手持ちヘラ削り。	I C 2	
4743	須恵器 杯	15溝 18 ほぼ完形	10.4	4.3	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	I C 2	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
4744	須恵器 杯	15溝 埋土 底部	9.2		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	IC 2	
4745	須恵器 杯	14溝 17 1/3	9.8 6.0	3.5	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り、体部最下部回転ヘラ削り。	IC 2	
4747	須恵器 杯	14溝 14 口縁部～底部片	13.8 11.0	4.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	IC 2	
4748	須恵器 杯	15溝 47 ほぼ完形	13.6 7.6	4.1	細砂粒/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	IC 2	
4749	須恵器 杯	130住 11 4/5	14.4 9.2	3.9	細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4750	須恵器 杯	135住 -12 完形	12.4 7.0	3.7	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4751	須恵器 杯	145住 埋土 1/4	14.0 9.6	3.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4752	須恵器 杯	134住 17 5/6	13.5 7.6	4.0	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4753	須恵器 杯	193住 埋土 3/5	11.8 9.0	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り	IC 3	
4754	須恵器 皿	143住 埋土 口縁部～底部片	15.8 8.0	2.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4755	須恵器 杯	194住 埋土 口縁部～底部片	12.7 8.6	3.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4756	須恵器 杯	193住 埋土 4/5	16.2 9.0	3.7	細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4757	須恵器 杯	193住 埋土 3/5	16.0 9.4	3.4	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4758	須恵器 杯	193住 埋土 3/4	13.5 7.9	3.7	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り	IC 3	
4759	須恵器 杯	193住 埋土 3/4	14.6 8.8	3.6	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4760	須恵器 杯	193住 埋土 1/6	17.8 12.8	4.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4761	須恵器 杯	178住 9 口縁部1/3欠損	13.1 7.6	3.2	細砂粒/還元焰/灰オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。体部下半・底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4762	須恵器 杯	159住 埋土 1/4	13.2 3.6	9.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4763	須恵器 杯	161住 10 3/4	14.0 8.4	3.0	細砂粒・礫/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	内面の一部に スス附着。
4764	須恵器 杯	180住 埋土 1/2	14.0 9.0	3.5	細砂粒/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4765	須恵器 杯	180住 埋土 1/2	13.8 8.0	3.2	細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4766	須恵器 杯	180住 -4 3/5	15.0 8.6	4.1	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4767	須恵器 椀	183住 直上 1/4	14.0 8.2	4.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4768	須恵器 杯	185住 埋土 1/4	15.4 11.2	2.9	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。体部・底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4769	須恵器 杯	200住 埋土 口縁部～底部片	13.0 9.1	3.8	細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。体部最下部に1段の回転ヘラ削り、底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4770	須恵器 杯	161住 18 1/2	14.3 8.9	3.7	細砂粒/還元焰/暗灰黄	ロクロ整形、回転左回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	外面底部に ヘラ描き。
4771	須恵器 杯	161住 埋土 底部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削り。	IC 3	底部に「×」 のヘラ描き。
4772	須恵器 杯	163住 埋土 1/3	13.8 7.2	3.0	細砂粒/還元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4773	須恵器 杯	163住 -1 1/3	13.8 7.0	3.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4774	須恵器 杯	166住 8 1/4	13.8 8.0	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4775	須恵器 杯	166住 埋土 1/3	9.2 5.1	3.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4776	須恵器 杯	166住 21 ほぼ完形	12.9 9.0	3.3	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4777	須恵器 杯	156住 11 口縁部一部欠損	14.8 10.8	3.6	細砂粒・礫/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		高さ (cm)	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径						
4778	須恵器 杯	156住 13 1/2	14.6	3.7		細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部と底部周辺部に1段の回転ヘラ削り。	IC 3	
4779	須恵器 杯	156住 埋土 2/5	12.8	3.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4780	須恵器 杯	149住 埋土 1/4	12.2	4.1		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4781	須恵器 杯	149住 埋土 1/5	14.2	3.3		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4782	須恵器 杯	149住 3 3/4	14.9×10.6	12.3 3.8		細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	杓状か、底面も歪みあり。
4783	須恵器 杯	149住 9 ほぼ完形	13.6	4.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4784	須恵器 杯	149住 -1 ほぼ完形	14.4	4.5		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4785	須恵器 杯	149住 13 1/4	13.8	4.1		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4786	須恵器 杯	149住 埋土 1/4	14.2	3.1		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4787	須恵器 杯	149住 埋土 1/3	13.8	3.7		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4788	須恵器 椀	149住 9 ほぼ完形	19.7	7.9		細砂粒・礫/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部最下部回転ヘラ削り。	IC 3	
4789	須恵器 杯	169住 18 3/4	14.0	4.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4790	須恵器 杯	169住 埋土 1/3	14.0	3.7		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4791	須恵器 杯	149住 3 完形	13.4	4.3		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4792	須恵器 杯	535住 25 1/4	11.8	3.5		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4793	須恵器 杯	169住 埋土 1/2	12.6	2.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4794	須恵器 杯	184住 31 ほぼ完形	14.0	3.7		細砂粒・礫/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部最下部回転ヘラ削り。	IC 3	
4795	須恵器 杯	184住 埋土 3/4	13.0	4.0		細砂粒・褐色粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。内面酸化焰。	IC 3	
4796	須恵器 椀	184住 19 口縁部～底部片	18.6	7.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部・体部最下部回転ヘラ削り。	IC 3	
4797	須恵器 杯	186住 埋土 4/5	14.1	4.0		細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4798	須恵器 杯	420住 20 ほぼ完形	13.4	3.7		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4799	須恵器 杯	418住 19 体部～底部				細砂粒/還元焰/淡黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4800	須恵器 杯	416住 埋土 口縁部3/4欠損	13.6	3.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4801	須恵器 杯	437住 21 ほぼ完形	12.9	3.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部最下部回転ヘラ削り。	IC 3	
4802	須恵器 杯	437住 27 1/3	13.8	4.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。体部最下部に1段の回転ヘラ削り、底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4803	須恵器 杯	428住 埋土 2/5	11.5	2.7		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4804	須恵器 杯	437住 埋土 1/3	13.8	3.5		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4805	須恵器 杯	427住 3 3/4	11.3	4.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4806	須恵器 杯	413住 埋土 体部～底部片				細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は回転ヘラ削り。	IC 3	
4807	須恵器 杯	454住 2 完形	9.6	3.5		細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り	IC 3	
4808	須恵器 杯	439住 29 口縁部2/3欠損	10.8	4.0		細砂粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4809	須恵器 杯	455住 4 4/5	14.2	3.1		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。内面酸化焰焼成。	IC 3	杯蓋か。

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		高さ (cm)	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径						
4810	須恵器 杯	442住 直上 3/4	14.4	3.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4811	須恵器 杯	497住 竈10 1/3	13.6	3.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。全体的に歪み大。	IC 3	
4812	須恵器 杯	403住 竈埋土 3/4	14.0	3.4		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4813	須恵器 杯	513住 34 1/3	13.9	4.5		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部回転ヘラ削り。	IC 3	
4814	須恵器 杯	404住 埋土 口縁部～底部片	13.6	2.5		細砂粒・粗砂粒/酸化焰/にぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4815	須恵器 杯	514住 竈22 ほぼ完形	13.7	3.7		細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4816	須恵器 杯	405土坑 39 体部下位～底部				細砂粒/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4817	須恵器 杯	405土坑 7 1/3	13.2	3.7		細砂粒/・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4818	須恵器 杯	524住 西竈8 1/3	15.2	4.0		細砂粒・粗砂粒/酸化焰 ぎみ/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4819	須恵器 杯	524住 25 1/3	14.8	3.7		細砂粒・粗砂粒/酸化焰 ぎみ/黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4820	須恵器 杯	524住 6 1/5	13.8	9.4		細砂粒/還元焰軟質/灰 白	ロクロ整形、回転方向不明。底部回転ヘラ削りか。器面 摩滅のため整形不鮮明。	IC 3	
4821	須恵器 杯	539住 埋土 1/5	15.4	3.4		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4822	須恵器 杯	409住 埋土 口縁部～底部片	13.7	3.2		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4823	須恵器 杯	409住 埋土 口縁部～底部片	13.6	4.3		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転左回りか。底部から体部下位回転ヘラ 削り。	IC 3	
4824	須恵器 杯	409住 埋土 1/3	16.4	3.9		細砂粒/還元焰/灰オリ ーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部最下部回転ヘラ 削り。	IC 3	
4825	須恵器 杯	409住 埋土 口縁部～底部片	14.0	3.7		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4826	須恵器 杯	409住 埋土 1/2	15.1	3.5		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4827	須恵器 杯	618土坑 153 底部				細砂粒/酸化焰/明赤褐	ロクロ整形、回転右回り。体部最下部・底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4828	須恵器 杯	433土坑 埋土 体部下位～底部片	9.0			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4829	須恵器 杯	433土坑 埋土 1/4	14.8	4.0		細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4830	須恵器 杯	518住 竈11 ほぼ完形	13.8	3.9		細砂粒/酸化焰ぎみ/黄 灰褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4831	須恵器 杯	435土坑 埋土 1/4	13.2	4.5		細砂粒/還元焰やや軟質 /灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り、器面摩 滅のため整形不鮮明。	IC 3	
4832	須恵器 杯	453土坑 埋土 1/6	13.2	3.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4833	須恵器 杯	460土坑 18 3/4	14.9	4.0		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後周辺部から 体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4834	須恵器 杯	325-935C 1/3	10.4	3.4		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4835	須恵器 杯	14溝 53 2/5	12.8	8.0		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4836	須恵器 杯	14溝 39 3/5	11.2	4.5		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位回転ヘラ削り。 内面酸化焰焼成。	IC 3	
4837	須恵器 杯	514住 竈25 3/4	14.3	3.9		細砂粒/酸化焰ぎみ/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4838	須恵器 皿	404住 17 2/5	15.4	2.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4839	須恵器 杯	14溝 34 口縁部～底部片	13.8			細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4840	須恵器 杯	15溝 26 1/2	10.3	2.1		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り。	IC 3	
4841	須恵器 杯	416住 19 口縁部～底部片	8.7	4.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4842	須恵器 杯	437住 埋土 1/4	8.8	4.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部最下部に1段の回転ヘラ 削り、底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4843	須恵器 杯	437住 埋土 1/3	8.9	4.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
4844	須恵器 杯	14溝 27 2/3	8.1 6.0	4.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。口縁部の歪みが激しい。	IC 3	
4845	須恵器 杯	14溝 43 2/5	8.8 6.6	4.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4846	須恵器 杯	14溝 38 2/5	8.0 7.0	4.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4847	須恵器 杯	14溝 埋土 2/5	9.0 6.2	5.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4848	須恵器 杯	14溝 28 1/3	8.8 6.0	4.2	細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4849	須恵器 杯	14溝 27 1/3	8.3 6.2	3.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4850	須恵器 杯	14溝 26 1/4	8.9 6.5	4.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4851	須恵器 杯	14溝 埋土 1/4	8.8 7.7	4.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り。	IC 3	
4852	須恵器 杯	14溝 埋土 1/3	10.8 5.5	4.3	細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部手持ちヘラ削り、雑な削りか整形途中か。	IC 3	
4853	須恵器 杯	14溝 51 1/4	9.0 7.0	4.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り	IC 3	
4854	須恵器 杯	14溝 27 ほぼ完形	8.2 6.8	4.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4855	須恵器 杯	14溝 32 3/4	8.4 6.2	5.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4856	須恵器 杯	14溝 40 1/2	9.3 6.3	4.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	IC 3	
4857	須恵器 杯	14溝 40 1/6	10.3 7.0	4.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部最下部回転ヘラ削り。	IC 3	
4858	須恵器 杯	15溝 36 1/3	8.2 5.5	5.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部下位回転ヘラ削り。	IC 3	
4859	須恵器 杯	130住 4 1/2	14.1 8.0	3.9	細砂粒・粗砂粒少/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り、体部下位回転ヘラ削り。	IC 4	外面底部に「X」のヘラ描き。
4860	須恵器 杯	177住 10 完形	12.6 8.0	3.7	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後中央部を僅かに残して回転ヘラ削り。	IC 4	
4861	須恵器 杯	176住 -1 ほぼ完形	13.5 8.5	4.0	細砂粒・礫/還元焰やや 軟質/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4862	須恵器 杯	166住 12 2/5	12.8 6.0	3.7	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4863	須恵器 杯	166住 埋土 体部下位～底部片	9.0		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転系切り後中央部をわずかに残し回転ヘラ削り。	IC 4	外面底部に墨書、判読不能。
4864	須恵器 杯	180住 埋土 1/2	12.6 7.8	3.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後回転ヘラ削り、体部最下部回転ヘラ削り。	IC 4	
4865	須恵器 杯	159住 -2 2/5	14.8 3.5	8.8	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4866	須恵器 杯	163住 -7 完形	14.0 7.2	3.5	細砂粒/還元焰/オリブ 黒	ロクロ整形、回転左回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り、体部下半回転ヘラ削り。	IC 4	
4867	須恵器 杯	160住 11 1/3	9.7 5.8	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り、体部下半回転ヘラ削り。	IC 4	
4868	須恵器 杯	161住 埋土 口縁部大部分欠損	14.0 8.4	4.5	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4869	須恵器 杯	169住 埋土 1/2	12.7 7.0	3.4	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後中心部をわずかに残し回転ヘラ削り。	IC 4	内面口縁部にスス付着。
4870	須恵器 杯	183住 8 2/3	12.7 7.7	3.5	細砂粒/還元焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4871	須恵器 杯	184住 20 ほぼ完形	14.1 8.2	3.5	細砂粒・礫/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後中央部をわずかに残して回転ヘラ削り。	IC 4	
4872	須恵器 杯	184住 9 完形	14.3 10.0	3.9	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4873	須恵器 杯	184住 5 口縁部1/4欠損	13.7 8.1	3.9	細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転系切り後周辺部と体部最下部回転ヘラ削り。	IC 4	
4874	須恵器 杯	184住 埋土 3/5	13.1 8.3	4.5	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4875	須恵器 杯	186住 21 ほぼ完形	14.7 9.0	4.1	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4876	須恵器 杯	186住 埋土 1/2	14.8 10.4	4.4	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
4877	須恵器 杯(杓状)形	195住 直上 ほぼ完形	14.9 7.8	5.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4878	須恵器 杯	186住 埋土 口縁部～底部片	13.8 8.0	4.4	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部・体部最下部回転ヘラ削り。	IC 4	
4879	須恵器 杯	424住 直上 1/2	14.6 7.5	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後中央部をわずかに残し回転ヘラ削り。	IC 4	
4880	須恵器 杯	420住 3 ほぼ完形	13.9 8.0	4.1	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4881	須恵器 杯	420住 竈5 ほぼ完形	14.0 9.0	4.2	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	
4882	須恵器 杯	200住 埋土 1/4	9.7	3.0	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は静止系切りか、底部周辺部と体部手持ちヘラ削り。	IC 4	
4883	須恵器 杯	496住 -1 3/5	12.7 8.0	4.0	細砂粒・粗砂粒/還元焰/明黄褐	ロクロ整形、回転左回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り、体部下半回転ヘラ削り。	IC 4	
4884	須恵器 椀	403住 3 口縁部1/4欠損	13.0 6.1	4.3	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部周辺部と体部下位回転ヘラ削り、底部中央部ヘラナデ。	IC 4	
4885	須恵器 杯	454住 竈24 1/2	13.3 7.0	4.1	細砂粒/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後大部分を回転ヘラ削り。	IC 4	
4886	須恵器 杯	454住 18 2/3	13.0 8.0	3.9	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	IC 4	高台は通称 ベタ高台
4887	須恵器 杯	514住 竈31 1/3	13.8 8.0	3.7	細砂粒/還元焰/にぶい黄褐	ロクロ整形、回転左回りか。底部回転系切り後中央部を除き回転ヘラ削り。	IC 4	
4888	須恵器 杯	434土坑 埋土 体部～底部	8.2		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り、体部下半回転ヘラ削り。	IC 4	
4889	須恵器 杯	514住 8 4/5	13.4 8.4	3.7	細砂粒・礫/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部と体部最下部回転ヘラ削り。	IC 4	
4890	須恵器 杯	442住 46 口縁部1/4欠損	14.4 8.6	3.8	細砂粒/還元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後中央部をわずかに残し、回転ヘラ削り。	IC 4	
4891	須恵器 杯	145住 埋土 1/3	14.2 8.6	3.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4892	須恵器 杯	146住 埋土 1/4	9.8 5.8	3.8	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り、体部下位回転ヘラ削り。	IC 5	
4893	須恵器 杯	176住 7 2/5	14.4 7.0	3.8	細砂粒/還元焰やや軟質/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り。	IC 5	
4894	須恵器 杯	159住 2 1/2	10.3 6.2	3.8	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4895	須恵器 杯	159住 9 1/2	13.8 8.0	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り、体部最下部回転ヘラ削り、口縁部から体部ナデ。	IC 5	
4896	須恵器 杯	159住 10 口縁部1/4欠損	13.7 7.5	3.9	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4897	須恵器 杯	159住 -1 1/2	13.4 9.0	3.7	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4898	須恵器 杯	183住 6 4/5	12.7 7.7	3.6	細砂粒・礫/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4899	須恵器 椀	183住 底部	7.6		細砂粒/還元焰/にぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4900	須恵器 杯	161住 3 3/5	13.8 7.4	3.9	細砂粒/酸化焰、軟質/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	C 5	
4901	須恵器 杯	169住 3 3/4	13.4 8.0	4.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4902	須恵器 杯	442住 24 ほぼ完形	14.8 8.2	4.2	細砂粒・粗砂粒/還元焰/にぶい黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4903	須恵器 杯	405土坑 69 1/4	14.4 7.2	3.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後中央部を残し回転ヘラ削り、体部下位回転ヘラ削り。	IC 5	
4904	須恵器 杯	434土坑 埋土 口縁部～底部片	13.0 7.6	3.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 5	
4905	須恵器 杯	514住 竈26 3/4	14.2 7.0	4.1	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り。	IC 5	
4906	須恵器 杯	514住 竈24 3/4	13.7 7.9	4.5	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り、周辺部には使用時の擦れがみられる。	IC 5	
4907	須恵器	414住 7 完形	13.4 6.0	4.0	細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り無調整。	IC 6	
4908	須恵器 杯	124住 14 2/3	14.2 3.8	11.4	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	ID 1	
4909	須恵器 杯	124住 1 5/6	15.2 10.8	4.2	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	ID 1	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		高さ (cm)	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径						
4910	須恵器 杯	124住 埋土 1/3	14.0	4.1		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4911	須恵器 杯	124住 14 1/3				細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4912	須恵器 杯	124住 2 1/3	14.6	4.2		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4913	須恵器	124住 14 3/4	13.5	3.7		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4914	須恵器 杯	124住 32 4/5	14.2	4.2		細砂粒/酸化焰/にぶい 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4915	須恵器 椀	166住 5 底部片				細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部下位回転ヘラ削り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4916	須恵器 杯	124住 3 口唇部3/5欠	15.2	4.5		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /にぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4917	須恵器 杯	124住 竈19 1/2	14.2	3.7		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4918	須恵器 杯	130住 22 体部中位～底部				細砂粒/酸化焰/にぶい 赤褐	ロクロ整形、回転左回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4919	須恵器 椀	177住 10 3/4	11.8	5.2		細砂粒/酸化焰/にぶい 赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4920	須恵器 杯	180住 埋土 底部				細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4921	須恵器 杯	143住 竈-3 口縁部1/4欠損	12.9	5.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り。	1 D 1	
4922	須恵器 杯	143住 竈埋土 1/4	17.6	5.0		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4923	須恵器 杯	159住 -3 口縁部1/4欠損	13.5	4.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り後中央部をわずかに残し回転ヘラ削り。	1 D 1	外面底部に「郡上」墨書。
4924	須恵器 杯	158住 10 3/4	15.0	4.0		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転左回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4925	須恵器 杯	180住 埋土 口縁部1/4欠損	14.1	4.7		細砂粒/還元焰/褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り後中央部をわずかに残し回転ヘラ削り。	1 D 1	
4926	須恵器 杯	434土坑 埋土 底部片				細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。高台は貼付、底部はヘラナデか。	1 D 1	
4927	須恵器 杯	149住 埋土 1/3	16.7	4.5		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4928	須恵器 椀	149住 9 底部片、高台剥離	10.5			細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、体部下位、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4929	須恵器 杯	149住 15 体部～底部片				細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	内外面に黒斑がみられる。
4930	須恵器 杯	149住 15 体部～底部片				細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4931	須恵器 杯	149住 埋土 1/4	16.6	5.2		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4932	須恵器 椀	149住 16 1/3	12.4	3.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4933	須恵器 椀	195住 15 2/3	18.1	7.7		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り後周辺部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4934	須恵器 杯	169住 6 2/3	10.4	4.6		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り後回転ヘラ削り。	1 D 1	
4935	須恵器 杯	418住 5 体部～底部片				細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4936	須恵器 杯	445住 3 底部片				細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部回転ヘラナデ。	1 D 1	
4937	須恵器 杯	420住 20 1/5	16.8	4.3		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部ヘラナデ。	1 D 1	
4938	須恵器 杯	438住 7 3/4	12.5	4.5		細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4939	須恵器 杯	446住 42 口縁部1/2欠損	14.8	4.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4940	須恵器 杯	454住 2 底部片				細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	
4941	須恵器 杯	454住 28 体部～底部片				細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部回転ヘラナデ。	1 D 1	底部が高台より突出形態。
4942	須恵器 杯	449住 5 1/2	16.8	4.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	1 D 1	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
4943	須恵器 杯	539住 26 口縁部～底部片	18.1 13.6	4.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、体部回転ヘラナデ。	I D 1	
4944	須恵器 椀	524住 29 1/3	18.2 12.2		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	D	高台は欠損 後擦り磨か れている。
4945	須恵器 杯	492住 29 ほぼ完形	10.2 7.7	5.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り。	I D 1	
4946	須恵器 杯	405土坑 41 1/5	17.6 15.0	4.3	細砂粒・礫/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4947	須恵器 杯	405土坑 埋土 体部～底部片	11.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部回転ヘラ 削り。	I D 1	
4948	須恵器 杯	425土坑 埋土 底部片	14.5		粗砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4949	須恵器 杯	425土坑 埋土 口縁部～底部片	18.3 12.2	4.8	細砂粒/還元焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラナデ。	I D 1	
4950	須恵器 杯	403住 埋土 底部片	11.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4951	須恵器 杯	409住 直上 ほぼ完形	19.4×11.0 器高7.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、成形時に変形さ せている。底部回転ヘラ削り。	I D 1	底径11.3× 10.9cm
4952	須恵器 椀	403住 25 1/2	13.5 7.6	4.6	細砂粒・粗砂粒・礫/還 元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4953	須恵器 杯	404住 5 底部	10.2		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4954	須恵器 杯	435土坑 埋土 1/4	14.2 10.7	4.7	細砂粒・礫/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り。	I D 1	
4955	須恵器 椀	460土坑 156 3/4	17.4 12.5	5.9	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4956	須恵器 杯	511住 18 口縁部1/4欠損	16.8 13.2	4.8	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	I D 1	
4957	須恵器 皿	414住 19 完形	13.3 7.0	2.5	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り 無調整。	I D 2	
4958	須恵器 皿	414住 竈14 1/3	12.8 7.0	3.0	細砂粒/酸化焰/明赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り。	I D 2	
4959	須恵器 椀	17溝 埋土 1/6	15.0 8.2	6.6	細砂粒/還元焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付。	I D 2	
4960	須恵器 椀	455土坑 埋土 1/3	14.5 8.9	5.7	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り 後周辺部ナデ。	I D 2	内面に墨書、 欠損部のた め判読不能。
4961	須恵器G 椀	330—985G 底部	8.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り。	I D 2	底部内外面 に墨書
4962	須恵器 皿	455土坑 埋土 口縁部～底部片	13.8		細砂粒/酸化焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部調整技法 不明。	I D 2	
4963	須恵器 杯	14溝 50 完形	12.9 10.5	6.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部切り離し技 法は高台貼付時のナデで不明。	I D 2	高台に粘土 塊を貼付。
4964	黒色土器 杯	134住 16 ほぼ完形	10.4 6.2	3.8	細砂粒・褐色粒/酸化焰 /浅黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切 り後周辺部回転ヘラ削り、体部最下部回転ヘラ削り。内 面ヘラ磨き。	I E	
4965	黒色土器 椀	145住 埋土 口縁部～底部片	17.1 10.8	5.5	微砂粒/酸化焰/にぶい 橙	内面黒色処理。ロクロ整形。内外面ヘラ磨き。	I E	
4966	黒色土器 椀	159住 竈7 体部～底部片	9.0		微砂粒/酸化焰/にぶい 橙	内外面黒色処理か。ロクロ整形、回転方向不明。内面底 部を除きヘラ磨き。	I E	二次焼成を 受けている。
4967	黒色土器 椀	166住 —4 体部下位～底部片	9.4		細砂粒/酸化焰/橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転方向不明。底部と体部 下位回転ヘラ削り。内面ヘラ磨き。	I E	外面体部に 墨書、判読 不能。
4968	黒色土器 椀	159住 —6 体部～底部片	9.8		微砂粒/酸化焰/にぶい 橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ 削り。その他はヘラ磨き。	I E	
4969	黒色土器 椀	186住 埋土 2/3	11.7 6.6	4.0	細砂粒/酸化焰/黒褐	内外面黒色処理。ロクロ整形、回転左回り。底部回転系 切り後周辺部と体部下位回転ヘラ削り。内面は全面ヘラ 磨き。	I E	
4970	黒色土器 椀	175住 直上 1/6	19.4 9.2	6.6	細砂粒・石英/酸化焰/ にぶい橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転方向不明。底部ヘラナデ。 内面は全面ヘラ磨き。	I E	
4971	黒色土器 椀	178住 2 口縁部1/3欠損	14.0 7.9	5.2	細砂粒・粗砂粒/酸化焰 /にぶい橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部から体部 回転ヘラ削り。内面ヘラ磨き。	I E	
4972	黒色土器 椀	185住 埋土 1/4	15.8 9.6	5.9	細砂粒/酸化焰/明赤褐	内面黒色処理。口唇部横ナデ、内外面口縁部、体部・底 部ヘラ磨き。外面体部下位にヘラ削り痕が残る。	I E	
4973	黒色土器 椀	200住 埋土 3/5	15.0 9.0	5.1	細砂粒・粗砂粒微/酸化 焰/にぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部回転ヘラ削り。 内面ヘラ磨き。	I E	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
4974	黒色土器 椀	442住 3 口縁部～底部片	17.8 9.0	5.8	細砂粒/酸化焰/明黄褐	内面黒色処理。ロクロ整形。内外面へラ磨き。	I E	
4975	須恵器 盤	131住 埋土 口縁部～底部片	25.0 22.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部へラナデ。	I F	
4976	須恵器 盤	149住 4 口縁部～底部周 縁片	23.0 20.0	2.9	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。体部下位、底部回転へラ削り。	I F	
4977	須恵器 盤	156住 4 3/4	16.3	2.7	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部(稜下)回転へラ削り。	I F	
4978	須恵器 盤	413住 埋土 口縁部～底部片	28.0		細砂粒・白色粒/還元焰 /暗褐	ロクロ整形、回転方向不明。体部から底部回転へラ削り。	I F	
4979	須恵器 盤	163住 埋土 1/2	15.9 8.0	2.4	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転へラ削り。	I F	
4980	須恵器 盤	149住 埋土 口縁部～底部片	21.5 20.0	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、体部下位、底 部回転へラ削り。	I F	
4981	須恵器 盤	149住 埋土 1/2	15.8 14.0	2.0	細砂粒/還元焰/明オリ ープ灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は周辺部を除き回転へラ 削り。	I F	
4982	須恵器 盤	17掘立 埋土 底部片	22.2		細砂粒/還元焰/淡黄	ロクロ整形、回転方向不明。高台は貼付、内面底部へラ ナデか。	I F	
4983	須恵器 盤	163住 5 2/5	15.8 7.8	2.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転へラ削り。	I F	
4984	須恵器 盤	539住 埋土 1/5	16.0 9.8	1.8	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転へラ削り。	I F	
4985	須恵器 盤	405土坑 埋土 2/5	16.0 5.8	2.2	細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転へラ削り。	I F	
4986	須恵器 盤	187住 3 3/5	16.3 6.0	2.6	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転左回り。底部から体部下半回転へラ削り。	I F	
4987	須恵器 盤	186住 埋土 体部下位～底部	13.4		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転へラ削り。	I F	
4988	須恵器 盤	15溝 47 1/3	23.2×15.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちへラ削り。形状 は歪みではなく、整形後楕円形状に成形か。	I F	
4989	須恵器 盤	514住 17 1/3	19.0 17.5	4.3	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転系切り 後中央部をわずかに残して回転へラ削り。	I F	
4990	須恵器 杯(杓状)	124住 8 口縁部1/2欠損	18.7 11.5	4.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部最下位回転へラ 削り。成整形後口縁部を楕円形に成形。	I G	口径18.4cm × 15.0cm 器高4.5～3.4 cm
4991	須恵器 椀	134住 32 ほぼ完形	9.7 5.2	4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部静止系切り無調整。	I G	
4992	須恵器 小型椀	174住 埋土 1/3			細砂粒/還元焰/灰	口縁部横ナデ、体部・底部ナデ。内面体部から底部ナデ。	I G	
4993	須恵器 杯	439住 埋土 口縁部～底部片	10.0 6.9	3.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部へラナデか。	I G	
4994	須恵器 小型椀?	437住 埋土 高台部	2.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。身部は台部に体部から貼付か。	I G	
4995	須恵器 杯蓋	14溝 埋土 1/6	11.1 8.5	3.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部へラナデ。	I G	
4996	須恵器 杯	15溝 27 口縁部～体部片	17.2		細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	I G	
4997	須恵器 杯(杓状)形	195住 15 口縁部一部欠損	13.0 7.5	4.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転系切り後周辺部回転 へラ削り。	I G	外面体部に へラ描き。
4998	須恵器 杯蓋	129住 5 天井部～口縁部 上半片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部回転へラ削り。内面 へラナデ。全体的に歪みあり。	II A	
4999	須恵器 蓋	131住 埋土 口縁部片	13.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。	II A	
5000	須恵器 杯蓋	192住 埋土 1/3	12.0	4.0	細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部手持ちへラ削り。口唇 部に僅かな凹線が巡る。	II A	
5001	須恵器 杯蓋	198住 竈-2 3/4	11.8	4.0	細砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。天井部手持ちへラ削り。	II A	杯身か。
5002	須恵器 杯蓋	416住 4 3/4	11.0	3.6	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /青灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部回転へラ削り後中央部 手持ちへラ削り。	II A	
5003	須恵器 杯蓋	427住 6 ほぼ完形	12.3	5.1	細砂粒多/酸化焰/灰 褐	ロクロ整形、回転右回り。天井部回転へラ削り。	II A	杯身か。
5004	須恵器 杯蓋	443住 5 1/4	15.8	3.8	細砂粒/還元焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形、回転右回りか。天井部回転へラ削り。	II A	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5005	須恵器 杯蓋	430住 4 完形	12.0	4.2	細砂粒/還元焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形、回転左回り。天井部回転ヘラ削り。	II A	
5006	須恵器 杯蓋	540住 埋土 口縁部～天井部 部片	11.0	3.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。天井部手持ちヘラ削り。	II A	
5007	須恵器 蓋	2347ビット埋土 口縁部～天井部片	12.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部ヘラ削り、天井部に 自然釉が厚く付着。	II A	
5008	須恵器 杯蓋	14溝 10 1/4	6.0	3.0	細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部手持ちヘラ削り。	II A	
5009	須恵器 杯蓋	14溝 18 1/5	6.8	4.9	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。天井部手持ちヘラ削り。	II A	
5010	須恵器 杯蓋	15溝 27 完形	13.2	4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回り。天井部回転ヘラ削り。全体的 に歪み大。	II A	
5011	須恵器 杯蓋	15溝 59 1/2	11.6	4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部回転ヘラ削り。	II A	
5012	須恵器 杯蓋	15溝 埋土 1/3	10.2	3.6	細砂粒/還元焰/暗灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。天井部回転ヘラ削り。	II A	
5013	須恵器 杯蓋	14溝 21 2/5	9.0	2.4	細砂粒/酸化焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形、回転左回りか。天井部手持ちヘラ削り。	II A	
5014	須恵器 杯蓋	171住 12 2/5	10.6		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは中心よりややずれて 貼付、天井部中程まで回転ヘラ削り。	II B 1a	
5015	須恵器 杯蓋	184住 埋土 1/4	11.0	1.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部大部分 が回転ヘラ削り。	II B 1a	
5016	須恵器 杯蓋	416住 33 摘み欠損	10.0		細砂粒・褐色粒/酸化焰 /橙	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中程ま で回転ヘラ削り。	II B 1a	
5017	須恵器 杯蓋	439住 埋土 口縁部片	9.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1a	
5018	須恵器 杯蓋	14溝 35 1/2	10.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部中程まで回転ヘラ削り。	II B 1a	
5019	須恵器 杯蓋	14溝 31 1/2	10.1	2.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中程まで 回転ヘラ削り。	II B 1a	
5020	須恵器 杯蓋	158住 17 完形	19.2	5.7	細砂粒・粗砂粒/酸化焰 /にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1b	
5021	須恵器 杯蓋	415住 30 天井部片	摘み径3.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中程まで 回転ヘラ削り。	II B 1b	
5022	須恵器 高杯蓋	15溝 31 3/4	10.3	3.7	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央はカ キ目。	II 1b	
5023	須恵器 杯蓋	124住 32 4/5	16.0	3.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1c	
5024	須恵器 杯蓋	437住 埋土 摘み～天井部中 央片	摘み径3.6cm		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転左回りか。摘みは貼付、天井部摘み周 辺ナデ、その周辺部回転ヘラ削り。	II B 1c	
5025	須恵器 杯蓋	441住 埋土 1/3	14.0	3.2	細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1c	
5026	須恵器 杯蓋	191住 2 完形	15.2	4.3	細砂粒・白色粒/還元焰 /黄灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中程まで 回転ヘラ削り。	II B 1c	
5027	須恵器 杯蓋	191住 5 完形	18.3	3.8	細砂粒・白色粒/還元焰 /黄灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中程まで 回転ヘラ削り。	II B 1c	
5028	須恵器 杯蓋	195住 11 3/4	18.8	4.1	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1c	
5029	須恵器 杯蓋	539住 32 口縁部4/5欠損	18.8	3.6	細砂粒・粗砂粒/酸化焰 /にぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は大部分 回転ヘラ削り。	II B 1c	
5030	須恵器 杯蓋	123住 埋土 天井部片	摘み径4.8		細砂粒/酸化焰/暗 褐灰	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は 回転ヘラ削り。	II B 1d	
5031	須恵器 杯蓋	124住 20 口縁部1/4欠損	15.6	3.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1d	
5032	須恵器 杯蓋	124住 3 2/5	16.2		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部の中ほど まで回転ヘラ削り。	II B 1d	摘みは周囲 を擦られている。
5033	須恵器 杯蓋	124住 竈17 3/4	14.7	3.5	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1d	
5034	須恵器 杯蓋	124住 31 ほぼ完形	16.0	3.5	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。口縁部に歪み有り。	II B 1d	
5035	須恵器 杯蓋	125住 埋土 天井部片	摘み径4.3		細砂粒/酸化焰/明赤褐	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1d	
5036	須恵器 杯蓋	125住 埋土 1/4	17.8	2.3	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回 転ヘラ削り。	II B 1d	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5037	須恵器 杯蓋	125住 埋土 天井部片	16.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5038	須恵器 杯蓋	125住 埋土 天井部片	摘み径4.0		細砂粒多/還元焰/にぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5039	須恵器 杯蓋	125住 埋土 天井部片	摘み径4.4		細砂粒多/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5040	須恵器 杯蓋	125住 埋土 天井部片	摘み径4.2		細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5041	須恵器 杯蓋	180住 埋土 1/3	18.0	5.2	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5042	須恵器 杯蓋	144住 埋土 天井部片	摘み径6.0		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5043	須恵器 杯蓋	158住 -1 ほぼ完形	15.4	3.2	細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5044	須恵器 杯蓋	180住 埋土 1/4	14.8	3.0	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5045	須恵器 杯蓋	149住 15 天井部中央片	摘み径4.4		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5046	須恵器 杯蓋	158住 8 完形	16.1	2.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5047	須恵器 杯蓋	156住 30 ほぼ完形	14.4	2.8	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5048	須恵器 杯蓋	149住 10 1/2	14.8	3.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5049	須恵器 杯蓋	149住 埋土 2/5	16.0	3.4	細砂粒/還元焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5050	須恵器 杯蓋	149住 47 3/4	16.2	3.0	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5051	須恵器 杯蓋	149住 埋土 2/5	16.8	2.7	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5052	須恵器 杯蓋	149住 埋土 天井部中央片	摘み径4.4		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5053	須恵器 杯蓋	163住 -8 完形	15.1	2.1	細砂粒・礫/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	内面転用硯として二次利用。
5054	須恵器 杯蓋	149住 10 1/5	16.0	2.6	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5055	須恵器 杯蓋	149住 18 天井部中央片	摘み径4.0		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5056	須恵器 杯蓋	149住 直上 完形	14.0	2.9	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5057	須恵器 杯蓋	149住 直上 ほぼ完形、口唇部1/5欠損	15.3	3.2	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5058	須恵器 杯蓋	149住 直上 ほぼ完形	14.0	3.0	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5059	須恵器 杯蓋	149住 -6 2/3	16.2	3.0	細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5060	須恵器 杯蓋	403住 10 2/3	16.6	3.5	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5061	須恵器 杯蓋	161住 -5 天井部	摘み径6.0		細砂粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5062	須恵器 杯蓋	166住 14 完形	18.4	3.0	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5063	須恵器 杯蓋	186住 33 天井部片	摘み径4.3		細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5064	須恵器 杯蓋	169住 11 口縁部1/2欠損	16.4	5.2	細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5065	須恵器 杯蓋	187住 -1 2/3	15.2	3.2	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5066	須恵器 杯蓋	200住 埋土 ほぼ完形	14.8	2.6	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5067	須恵器 杯蓋	409住 8 2/3	18.3	4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中程まで回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	
5068	須恵器 杯蓋	429住 46 2/3	18.5	4.2	細砂粒/酸化焰/にぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	Ⅱ B 1d	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5069	須恵器 杯蓋	441住 埋土 天井部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5070	須恵器 杯蓋	441住 埋土 天井部片	摘み径3.7		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5071	須恵器 杯蓋	409住 51 2/3	20.4	4.0	細砂粒/酸化焰/明褐灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中程まで回転ヘラ削り。	II B 1d	
5072	須恵器 杯蓋	404住 埋土 天井部片	摘み径4.5		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5073	須恵器 杯蓋	437住 16 完形	14.4	3.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。口縁部の一部歪み大。	II B 1d	
5074	須恵器 杯蓋	416住 19 完形	15.5	3.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5075	須恵器 杯蓋	454住 9 完形	14.9	3.1	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5076	須恵器 杯蓋	433土坑 埋土 天井部片	摘み径5.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5077	須恵器 杯蓋	433土坑 埋土 天井部片	摘み径4.3		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5078	須恵器 杯蓋	405土坑 36 天井部片	摘み径4.8		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5079	須恵器 杯蓋	454土坑 埋土 摘み～天井部片	摘み径5.8cm		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5080	須恵器 杯蓋	454住 4 4/5	17.6	4.8	細・粗砂粒/酸化焰/ぎみ /にぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、摘み内側に回転糸切り痕が残る。天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5081	須恵器 杯蓋	454土坑 埋土 摘み～天井部片	摘み径3.1cm		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5082	須恵器 杯蓋	15溝 16 ほぼ完形	14.3	3.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1d	
5083	須恵器 杯蓋	149住 埋土 口縁部～天井部片	19.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5084	須恵器 杯蓋	180住 埋土 天井部片	17.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	II B 1e	
5085	須恵器 杯蓋	194住 30 1/4	18.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5086	須恵器 杯蓋	185住 埋土 1/4	18.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	摘みは環状 (リング状)。
5087	須恵器 杯蓋	184住 4 摘み、口唇部一 部欠損	19.1		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付(剥落)、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5088	須恵器 杯蓋	184住 埋土 1/2、摘み欠損	21.9		細砂粒・礫/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5089	須恵器 杯蓋	187住 直上 天井部片	16.8		細砂粒・粗砂粒少/酸化 焰/黄橙	ロクロ整形、回転右回りか。天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5090	須恵器 杯蓋	405土坑 3 天井部片	19.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5091	須恵器 杯蓋	433土坑 埋土 天井部片	15.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	II B 1e	
5092	須恵器 杯蓋	433土坑 10 天井部片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5093	須恵器 杯蓋	14溝 59 天井部～口縁部片	16.8		粗砂粒・礫/酸化焰/明 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。天井部中央は静止糸切り無調整、その周辺部回転ヘラ削り。	II B 1e	
5094	須恵器 杯蓋	432住 17 摘み、口縁部1/4 欠損	18.8		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	II B 1e	
5095	須恵器 杯蓋	403住 埋土 天井部片	14.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は中央より2/3に回転ヘラ削り。	II B 1e	
5096	須恵器 杯蓋	515住 竈-1 摘み、口縁部一 部欠損	16.2		粗砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部の中ほどまで回転ヘラ削り。	II B 1e	
5097	須恵器 短頸壺蓋	169住 埋土 1/4	14.0		細砂粒・白色粒/還元焰 /褐灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部回転ヘラ削りナデ。凸帯と鐙は貼付。	II B 3	
5098	須恵器 短頸壺蓋	140住 直上 ほぼ完形	16.4	3.6	細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部回転ヘラ削り。内面ナデ。	II B 3	
5099	須恵器 短頸壺蓋	15溝 埋土 2/5	15.9	4.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部回転ヘラ削り。天井部に降灰と窯態が付着。	II B 3	
5100	須恵器 短頸壺蓋	グリップ 埋土 1/4	11.2	4.0	細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部回転ヘラ削り。	II B 3	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5101	須恵器 高杯	160住 埋土 脚部片	脚径14.7		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部上半に透孔が4カ所。	Ⅲ A	
5102	須恵器 高杯	144住 埋土 脚部片	脚径13.0		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。脚部に三角形透孔が4カ所。	Ⅲ A	
5103	須恵器 高杯	174住 9 脚部片	脚径11.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部中に2条の凹線、凹線 の上下に各3カ所の透孔。	Ⅲ A	
5104	須恵器 高杯	187住 埋土 杯身1/3片	13.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部は貼付、杯身底部回転 ヘラ削り。口縁部の歪みが激しい。	Ⅲ A	
5105	須恵器 高杯	422住 5 脚部	脚径10.7		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部ヘラナデ。脚部に縦長 三角形の透孔が3カ所。	Ⅲ A	
5106	須恵器 高杯	422住 竈1 杯身2/3	14.4 13.8		細砂・白色粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付、底部回転ヘラ削り。	Ⅲ A	
5107	須恵器 高杯	422住 3 杯身部1/3	10.8 10.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /明褐	ロクロ整形、回転右回りか。脚部は貼付、杯身底部回転 ヘラ削り。	Ⅲ A	
5108	須恵器 高杯	191住 埋土 杯身部片	10.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。脚部は欠 損部を擦って平坦面を作っている。	Ⅲ A	
5109	須恵器 高杯	427住 埋土 脚部	脚径8.6		細砂粒/還元焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。杯身は貼付。	Ⅲ A	
5110	須恵器 高杯	498住 1 脚部	脚径10.6		細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身は貼付、脚部中程に凹線 が1条巡る。	Ⅲ A	
5111	須恵器 高杯	495住 11 脚部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部に透孔が3カ所。	Ⅲ A	
5112	須恵器 高杯か	441住 埋土 杯身片	13.0		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。	Ⅲ A	
5113	須恵器 高杯	520住 19 杯身部片	14.0		細砂粒多・粗砂粒/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。脚部は貼付、底部ヘラナデ、 体部上位に凹線が2条巡る。	Ⅲ A	
5114	須恵器 高杯	519住 3 脚部片	脚径13.4		細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転左回りか。脚部に三角形の透孔が3カ所。	Ⅲ A	
5115	須恵器 高杯	433土坑 埋土 脚部片	脚径13.0		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。杯身は貼付。内面脚部上半 ヘラナデ。	Ⅲ A	
5116	須恵器 高杯	14溝 25 杯身部2/3	14.3		細砂粒/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転左回り。杯身底部回転ヘラ削り、脚部 は貼付。	Ⅲ A	
5117	須恵器 高杯	14溝 8 杯身部3/4	16.9		細砂粒多/還元焰/青灰	ロクロ整形、回転右回りか。杯身底部回転ヘラ削り、脚 部は貼付、脚部に透孔が三カ所。	Ⅲ A	
5118	須恵器 高杯	15溝 35 脚部	脚径9.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。杯身部分は貼付。	Ⅲ A	
5119	須恵器 高杯	14溝 16 脚部片	脚径10.2		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部に三角形の透孔が三カ所。	Ⅲ A	
5120	須恵器 高杯	14溝 埋土 脚部片	脚径13.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身との接合面は平滑。脚部 に3カ所の透孔。	Ⅲ A	
5121	須恵器 高杯	14溝 43 脚部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身との接合面は平滑。脚部 に3カ所の透孔。	Ⅲ A	
5122	須恵器 高杯	15溝 35 脚部片	脚径9.9		微砂粒/還元焰軟質/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。脚部に三角形の透孔が三カ所。	Ⅲ A	
5123	須恵器 高杯	14溝 29 杯身1/5	19.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。口唇部・口縁部下位に各1条 の凹線が巡る。底部手持ちヘラ削り。	Ⅲ A	
5124	須恵器 高杯	17溝 埋土 杯身部片	12.7 10.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部に脚部貼付時のナデが見 られる。	Ⅲ A	
5125	須恵器 高盤	171住 5 脚部片	脚径13.1		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。内面に輪積み痕が残る。盤 身とは貼付。	Ⅲ B	
5126	須恵器 高盤	178住 2 杯身底部～脚部 下位			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身と脚部は貼付、杯身底部 中央部は回転ヘラ削り。	Ⅲ B	
5127	須恵器 高盤	149住 埋土 盤部口縁部～底 部片	15.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付。底部中央回転ヘ ラ削り。	Ⅲ B	
5128	須恵器 高盤	2111ピット 61 脚部	脚径15.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。杯身は貼付。内面脚部上位 ナデ。	Ⅲ B	
5129	須恵器 高盤	405土坑 1 脚部			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。内面ヘラナデ。	Ⅲ B	
5130	須恵器 高盤	15溝 27 杯身底部～脚部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。杯身と脚部は貼付。	Ⅲ B	
5131	須恵器 高盤	14溝 25 脚部	脚径13.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。脚端部に1条の凹線が巡る。	Ⅲ B	
5132	須恵器 高盤	14溝 17 杯身底部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転方向不明。脚部は貼付、底部回転ヘラ 削り。	Ⅲ B	
5133	須恵器 甕	124住 3 胴部下半～底部片			細砂粒/還元焰/暗灰褐	底部内面に輪積み痕が残る。胴部外面平行叩き、内面に 同心円状アテ具痕が残る。内面底部ナデ。	Ⅳ	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5134	須恵器と窯 体	192住 - 4 襖胴部・杯口縁 部小片			細砂粒/還元焰/灰	襖胴部小片と杯口縁部小片、窯体が融着。	IV	
5135	須恵器 襖	192住 埋土 口縁部小片			細砂粒/還元焰/褐灰	口縁部は凹線による区画、区画内に波状面が巡る。	IV	
5136	須恵器 襖	192住 5 口縁部小片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部に2条1単位の凹線区画、その上下に雑な波状文。	IV	外面自然釉 付着。
5137	須恵器 襖	134住 3 胴部片			細砂粒・白色粒/還元焰 /灰褐	外面格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5138	須恵器 襖	181住 2 口縁部～胴部上 位片	15.6		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形。胴部カキ目。内面ヘラナデ。	IV	
5139	須恵器 襖	181住 - 1 口縁部～頸部	45.0		細砂粒/還元焰/灰	補強帯を貼付。口縁部は上～中位に2～3条の凹線で4 段に区画、その間に波状文。内面下半ヘラナデ。	IV	
5140	須恵器 襖	174住 6 口縁部～頸部	34.8		細砂粒/還元焰/灰	補強帯を貼付。口縁部は縦方向カキ目後間隔をあけて横 方向カキ目を6段巡らす。内面ヘラナデ。	IV	
5141	須恵器 襖	159住 - 5 胴部上半片			細砂粒/還元焰/灰	胴部外面に平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕がかすか に残る程度にナデ消している。	IV	
5142	須恵器 襖	159住 10 胴部下位～底部 片	18.0		粗砂粒/還元焰/灰	胴部下位上半ヘラナデ、下半ヘラ削り、底部ヘラ削りか。 内面胴部ヘラナデ。	IV	底部に焼台 とみられる 土器片付着。
5143	須恵器 襖	161住 2 口縁部～胴部上 位片	22.8		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。内面胴部にアテ具痕が残る。外面胴部、 内面口縁部自然釉付着。	IV	内面口縁部 に窯態付着。
5144	須恵器 襖	161住 埋土 口縁部～胴部上 位片	22.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部カキ目? 内面胴部ヘラ ナデ。	IV	
5145	須恵器 襖	180住 埋土 口縁部片	17.0		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。	IV	
5146	須恵器 襖	163住 7 口縁部～胴部中 位片	17.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。内面頸部ヘラナデ。	IV	口縁部にヘ ラ描き。
5147	須恵器 襖	180住 埋土 口縁部片	22.0		細砂粒/還元焰/灰	口唇部に1条の凹線が巡る。口縁部には波状文が巡る。	IV	
5148	須恵器 襖	149住 3 口縁部～胴部上 位片	16.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	IV	
5149	須恵器 襖	156住 19 口縁部片	26.2		細砂粒/酸化焰/にぶい 赤褐	口縁部はロクロ整形、回転右回りか。胴部外面に平行叩 き痕が残る。	IV	
5150	須恵器 襖	163住 D4埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部に刻線1条による波状文を2段巡らしている。	IV	
5151	須恵器 襖	199住 18 口縁部～胴部上 位片	20.2		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、凹線区画内に波状文が巡る。内面胴 部はアテ具痕が残る。	IV	
5152	須恵器 襖	180住 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口唇部に2条の凹線が巡る。口縁部には波状文が巡る。	IV	
5153	須恵器 襖	140住 - 1 口縁部～胴部	18.3 最大径31.4		細砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ整形。胴部外面に格子目状叩き痕、内面に アテ具痕が残る。	IV	
5154	須恵器 襖	149住 埋土 胴部下位～底部片	20.0		細砂粒・円礫微/酸化焰 /浅黄橙	胴部平行叩き後ヘラナデ。内面に同心円状アテ具痕が残 る。	IV	
5155	須恵器 襖	149住 - 12 口縁部～胴部下位	21.3 最大径34.4		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。胴部外面に綾杉状叩き痕、内面に同 心円状アテ具痕が残る。	IV	
5156	須恵器 襖	149住 14 口縁部～胴部下位	23.0 最大径33.4		細砂粒/還元焰/褐灰	口縁部ロクロ整形。胴部外面に綾杉状叩き痕、内面に同 心円状アテ具痕が残る。	IV	
5157	須恵器 襖	149住 - 4 3/5	25.0 最大径40.6	43.0	細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。胴部外面に平行叩き痕 が残る。内面はアテ具痕をナデ消している。	IV	底部に焼台 付着。
5158	須恵器 襖	450住 14 口縁部下半～頸 部片			細砂粒/還元焰/暗灰	口縁部外面に輪積み痕が残る。補強帯を貼付。内面口縁 部ヘラナデ、胴部にアテ具痕が残る。	IV	
5159	須恵器 襖	434住 7 口縁部上半片	21.2		細砂粒/還元焰/灰	口縁部は凹線による区画、その間に波状文を巡らす。	IV	
5160	須恵器 襖	434住 10 口縁部～胴部上 位片	17.6		細砂粒/還元焰/灰	頸部内面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。	IV	
5161	須恵器 襖	192住 14 頸部～胴部上位 片	頸部39.4		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	頸部で胴部と口縁部を貼付し、補強帯を貼付。胴部外面 は降灰で不鮮明。内面にアテ具痕が残る。	IV	胴部焼成時 の歪みが激 しい。
5162	須恵器 襖	439住 8 頸部～胴部上位 片			細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	頸部で口縁部を貼付後、補強帯を貼付。胴部外面に平行 叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5163	須恵器 襖	184住 - 19 1/2	21.2		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	口縁部ロクロ整形、ヘラナデ。胴部に平行叩き痕が残る。 内面胴部はアテ具痕をほとんどナデ消している。	IV	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5164	須恵器 甕	429住 43 口縁部～胴部上 位片			細砂粒/酸化焰/橙	口縁部横ナデ、胴部は平行叩き痕が残る。内面胴部ヘラ ナデ。	IV	
5165	須恵器 甕	429住 18 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部は凹線と小凸帯によって2段に区画、上段には2 段の波状文、下段には1段の波状文が巡る。	IV	内面にヘラ 描き。
5166	須恵器 甕	434住 11 口縁部下半片			細砂粒・粗砂粒・礫/還 元焰/灰	補強帯を貼付、口縁部内外面ヘラナデ、外面の残存部上 位に波状文。	IV	
5167	須恵器 甕	439住 住居内 4土坑 2 口縁部片	35.8		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。外面は凹線区画に4段の波状文、頸 部付近はヘラナデ。頸部に補強帯を貼付。	IV	焼成時の歪 み大。降灰 厚く付着。
5168	須恵器 甕	442住 埋土 口縁部～頸部片	13.0		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。	IV	
5169	須恵器 甕	445住 15 口縁部片	20.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口唇部に凹線が2条巡る。	IV	
5170	須恵器 甕	455住 5 口縁部上半片	42.8		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面は凹線区画に波状文。 内面の一部にヘラナデ。	IV	
5171	須恵器 甕	449住 6 口縁部小片	25.0		細砂粒・礫/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転方向不明。	IV	
5172	須恵器 甕	514住 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部上半に1段の波状文 が巡る。	IV	
5173	須恵器 甕	513住 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、凹線による区画、区画内に雑な波状文が3 段巡る。内面にも雑な波状文が2段巡る。	IV	
5174	須恵器 甕	513住 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、凹線による区画、区画内に雑な波状文が3 段巡る。内面にも上位に雑な波状文が1段巡る。	IV	
5175	須恵器 甕	426住 3 口縁部～頸部片	36.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /暗灰	ロクロ整形。口縁部は凹線で6段に区画、中程4段に波 状文。内面下半はヘラナデか、降灰付着で不鮮明。	IV	内面にヘラ 記号
5176	須恵器 甕	524住 西竈直 上口縁部～胴部 上位片	23.6		細砂粒/還元焰/にぶい 黄褐	口縁部下位カキ目、胴部にはかすかに叩き痕が残る。内 面胴部はアテ具痕をナデ消している。	IV	
5177	須恵器 甕	524住 埋土 口縁部片	20.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部は凹線による区画、上半にヘラ描き 文が巡る。	IV	
5178	須恵器 甕	18掘立 10 口縁部片	20.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。口縁部上位に2条の凹線とそ の下に波状文が巡る。	IV	
5179	須恵器 甕	618土坑 130 頸部～胴部上位片			細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	口縁部は波状文が巡る、胴部カキ目。内面頸部ヘラナデ、 胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5180	須恵器 甕	183住 胴部上位小片			細砂粒/還元焰/黄灰	外面格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5181	須恵器 甕	183住 胴部小片			細砂粒/還元焰/黄灰	外面に格子目状叩き痕が残る。内面のアテ具痕はナデ消 されている。	IV	
5182	須恵器 甕	516住 10 口縁部～胴部上位	23.8		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。外面は降灰付着で不鮮明、 口縁部には波状文が巡る。内面胴部に同心円状アテ具痕 が残る。	IV	
5183	須恵器 甕	434土坑 79 口縁部～胴部上半	24.4	最大径36.3	細砂粒・粗砂粒・礫/還 元焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。胴部内外面の叩き痕、 アテ具痕をナデ消している。	IV	
5184	須恵器 甕	460土坑 18 口縁部片	25.4		細砂粒多/酸化焰ざみ/ にぶい赤褐	ロクロ整形。口縁部下半カキ目。	IV	
5185	須恵器 甕	461土坑 69 口縁部片	26.6		細砂粒多/還元焰/灰	頸部に胴部との接合痕が見られる。口縁部ロクロ整形、 下半ヘラナデ。	IV	
5186	須恵器 甕	466土坑 直上 口縁部片	45.6		細砂粒多/還元焰/灰	頸部で胴部と貼付。口縁部は凹線で3段に区画、その間 に波状文が巡る。内面胴部下半ヘラナデ。	IV	
5187	須恵器甕片 と窯体	331土坑 32			細砂粒/還元焰/灰	須恵器甕片4点が融着、外側の破片は外面に叩き痕が残 る。	IV	
5188	須恵器 甕	331土坑 53 口縁部～胴部上 半片	26.2		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	口縁部ロクロ整形、回転方向不明。胴部外面に平行叩き 痕が残る。内面のアテ具痕はナデ消されている。	IV	
5189	須恵器 甕	331土坑 18 胴部下位～底部			細砂粒・粗砂粒/還元焰 /褐灰	外面は格子目状叩き痕が残る。底部は擦れで不鮮明。内 面ヘラナデ、部分的にアテ具痕が残る。	IV	
5190	須恵器 甕	331土坑 埋土 口縁部～胴部上位 片	15.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。内面胴部ヘラナデ。	IV	
5191	須恵器 甕	331土坑 24 口縁部片	29.4		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形。口縁部は凹線と凸帯によって5段以上に区 画、区画内にヘラ描き、波状文が巡る。	IV	
5192	須恵器 甕	425土坑 57 口縁部～頸部片	23.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。内面頸部ヘラナデ。	IV	
5193	須恵器 甕	325-935 G 口縁部片	25.0		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。口縁に歪みあり。	IV	
5194	須恵器甕片 と窯体	480土坑 18	長14.5 高10.0 幅11.2		須恵器細砂粒/還元焰/ 灰	須恵器甕の胴部破片と窯体が融着したもの。	IV	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5195	須恵器 甕	14溝 17 口縁部～胴部上位	25.6		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰	口縁部ロクロ整形、上半に凹線による区画、その間にヘラ描き文。胴部外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5196	須恵器 甕	14溝 26 口縁部～胴部上位	26.9		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5197	須恵器 甕	14溝 16 口縁部～胴部上位	24.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部と胴部は頸部で貼付。内面胴部ヘラナデ。	IV	
5198	須恵器 甕	14溝 1 口縁部～胴部上位	26.1		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、外面下半と内面はヘラナデ。胴部外面平行叩き、内面にアテ具痕が残る。	IV	
5199	須恵器 甕	14溝 32 胴部	最大径39.0		細砂粒/還元焰/灰	胴部外面平行叩き後ヘラナデ、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5200	須恵器 甕	14溝 22 口縁部～胴部上位	24.8		細砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ整形、外面口唇部から口縁部下位に3～4段の波状文。内面胴部にアテ具痕が残る。	IV	
5201	須恵器 甕	14溝 54 口縁部片	20.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。内面口縁部下半ヘラナデ。	IV	
5202	須恵器 甕	14溝 16 口縁部～胴部片	16.0		細砂粒/還元焰/暗青灰	口縁部ロクロ整形。胴部外面に平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕をナデ消している。	IV	焼成時の歪み大、降灰厚く付着。
5203	須恵器 甕	14溝 16 口縁部～胴部片	19.7		細砂粒/還元焰/灰白	口縁部に縦方向のカキ目、胴部格子目状叩き痕、部分的にカキ目。内面胴部にアテ具痕が残る。	IV	
5204	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部～胴部片	15.0		細砂粒/還元焰/暗灰	口縁部ロクロ整形。胴部外面に平行叩き痕がかすかに残る。内面はアテ具痕をナデ消している。	IV	
5205	須恵器 甕	14溝 33 口縁部～胴部片	18.8		細砂粒/還元焰/暗灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。胴部内面にアテ具痕が残る。	IV	
5206	須恵器 甕	14溝 25 胴部下位～底部			細砂粒/還元焰/暗灰	胴部に平行叩き痕がかすかに残る。底部ヘラナデ。内面に同心円状アテ具痕が残るが、底部ヘラナデ。	IV	
5207	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片			細砂粒多/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線と凸帯による区画、区画内に2段の波状文が巡る。	IV	
5208	須恵器 甕	14溝 35 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部が肥厚し2段の凹線、口縁部は2段の波状文が巡る。	IV	
5209	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片	39.6		細砂粒/還元焰/灰	口縁部は小凸帯と凹線による区画、その間に波状文が巡る。	IV	
5210	須恵器 甕	14溝 13 口縁部片	47.5		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は1条か2条の凹線によって3から4段に区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5211	須恵器 甕	14溝 13 口縁部片			細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5212	須恵器 甕	14溝 46 口縁部片			細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線によって2段に区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5213	須恵器 甕	14溝 26 口縁部片			細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線によって3段に区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5214	須恵器 甕	14溝 17 口縁部片	23.6		細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は凹線によって区画、下位の区画は刺突文が巡る。	IV	
5216	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は2条の凹線、凹線下に波状文が巡る。	IV	
5217	須恵器 甕	14溝 15 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5218	須恵器 甕	14溝 10 口縁部片			細砂粒多/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線によって3段以上に区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5219	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰赤	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に2条の凹線、口縁部は1条か2条の凹線によって2段に区画、区画内に波状文が巡る。内面に2段の波状文が巡る。	IV	
5220	須恵器 甕	14溝 19 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に凹線と波状文が巡る。口縁部は2条の凹線によって3段以上に区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5221	須恵器 甕	14溝 17 胴部下半～底部			細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/青黒	外面格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。底部に焼台の別個体甕胴部片が付着。	IV	底部に窯底面土砂が融着。歪み大。
5222	須恵器 甕	14溝 14 口縁部～胴部上位	24.4		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	口縁部ロクロ整形、頸部で胴部と貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部は凹線によって5段に区画、上位4区画に波状文が巡る。内面口縁部下半ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5223	須恵器 甕	14溝 54 口縁部片	20.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口唇部下に凹線巡る。	IV	内外面とも降灰が付着。
5224	須恵器 甕	14溝 36 口縁部片	18.7		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。口縁部上半横方向カキ目。内面口縁部下半ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5225	須恵器 甕	14溝 31 口縁部片	18.2		細砂粒/還元焰/暗青灰	ロクロ整形、回転右回りか。内面胴部ナデ。	IV	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5226	須恵器 甕	14溝 12 口縁部～胴部上 位片	27.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。口縁部縦方向カキ目、胴部に平行叩き痕が残る。内面口縁部ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5227	須恵器 甕	14溝 21 口縁部片			細砂粒/還元焰/暗青灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線と小凸帯によって2段以上2区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5228	須恵器 甕	14溝 25 胴部～底部片			細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残るが、内面のアテ具痕はヘラナデ、ナデで消されている。	IV	
5229	須恵器 甕	14溝 42 口縁部～胴部上 位片	50.2		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰赤	口縁部ロクロ整形、頸部で胴部と貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部は凹線によって6段に区画、上位4区画に波状文が巡る。内面口縁部下半ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5230	須恵器 甕	14溝 6 口縁部片	41.0		細砂粒・粗砂粒・礫/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線・小凸帯で4段に区画、上位3段には波状文が巡る。内面下半ヘラナデ。	IV	
5231	須恵器 甕	14溝 35 口縁部～胴部片	24.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部に1段の波状文が巡る。内面胴部にアテ具痕がかすかに残る。	IV	
5232	須恵器 甕	14溝 25 口縁部～胴部片	21.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。口縁部は縦方向のカキ目、胴部外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5233	須恵器 甕	14溝 53 口縁部下位～胴 上半・胴部下位 ～底部片			細砂粒/還元焰/暗赤灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は波状文が巡る、胴部に平行叩き痕が残る、間隔をあけてカキ目が施されている。内面は同心円状アテ具痕が残るが、底部と胴部ではアテ具が異なる。	IV	
5234	須恵器 甕	14溝 47 口縁部片	23.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は凹線で2段に区画、区画内に各1段ずつの波状文が巡る。	IV	
5235	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部上位に1段の波状文が巡る。	IV	
5236	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片	21.4		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部上位と中位に凹線が巡る。	IV	
5237	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/暗青灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に2条の凹線が巡る。口縁部上位に1段の波状文が巡る。	IV	
5238	須恵器 甕	14溝 42 口縁部小片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線によって区画、上位の区画は波状文、下位は縦方向カキ目。内面下半ヘラナデ。	IV	
5239	須恵器 鉢	14溝 8 口縁部～体部片	26.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部に平行叩き痕が残る。	IV	
5240	須恵器 甕	14溝 48 口縁部片	28.6		細砂粒/還元焰/暗褐	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は凹線によって区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5241	須恵器 甕	14溝 49 口縁部片			細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部肥厚、口縁部に1条の凹線が巡る、凹線の上下に縦方向カキ目。	IV	
5242	須恵器 甕	14溝 21 口縁部～胴部片	17.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は2段の波状文が巡る、胴部カキ目。内面胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5243	須恵器 甕	14溝 37 口縁部片	23.0		細砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ整形、回転右回り。中位に1段の波状文が巡る。内面頸部ヘラナデ。	IV	
5244	須恵器 甕	14溝 13 口縁部下半片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。頸部で胴部と貼付。頸部に補強帯を貼付。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。内面口縁部ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5245	須恵器 甕	14溝 19 口縁部片			細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部に1条の凹線と波状文が巡る。	IV	
5246	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部片	16.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口唇部と口縁部に各1段の波状文が巡る。内面口縁部下半ヘラナデ。	IV	
5247	須恵器 甕	14溝 9 口縁部下半片			細砂粒/還元焰/灰	頸部で口縁部と胴部を貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部下位は凹線下に2段の波状文が巡る。内面ヘラナデ。	IV	
5248	須恵器 甕	14溝 22 口縁部下半片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。頸部で胴部と貼付。頸部に補強帯を貼付。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。内面口縁部ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5249	須恵器 甕	14溝 26 口縁部～胴部片	16.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。内面胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5250	須恵器 甕	14溝 埋土 口縁部下半片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。頸部で胴部と貼付。頸部に補強帯を貼付。口縁部は凹線が巡る。内面口縁部ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5251	須恵器 甕	14溝 30 口縁部下半片			細砂粒・粗砂粒・礫/還 元焰/灰	口縁部と胴部は頸部で貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部は縦方向カキ目。内面胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5252	須恵器 甕	14溝 23 口縁部1/4	44.2		細砂粒・粗砂粒微/還元 焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。口縁部と胴部は頸部で貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部は縦方向カキ目後凹線で3段に区画、各区画に波状文が巡る。内面口縁部下半ヘラナデ。	IV	
5253	須恵器 甕	14溝 3 胴部～底部片	頸部42.4 最大径75.2		細砂粒・粗砂粒/還元焰 /褐灰	頸部に補強帯が巡る。外面胴部に平行叩き痕が残る。底部ヘラ削り。内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	底部～頸部 高71.0cm

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5254	須恵器 甕	14溝 31 胴部上位～底部	最大径27.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	胴部は平行叩き痕が残る、底部は擦れで不鮮明であるが、ヘラナデか。内面にアテ具痕が残る。	IV	
5255	須恵器 甕	15溝 19 口縁部～胴部中位片	26.9		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。胴部外面に平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。内外面に降灰が付着。	IV	
5256	須恵器 甕	15溝 38 口縁部～胴部上位片	16.3		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。頸部ヘラナデ、胴部外面に叩き痕が僅かに、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5257	須恵器 甕	15溝 19 頸部～胴部片			細砂粒/還元焰/灰	頸部ヘラナデ、胴部は叩き痕をナデ消している。内面にアテ具痕が残る。	IV	
5258	須恵器 甕	15溝 1 底部片	10.4		細砂粒/酸化焰/浅黄	ロクロ整形、回転方向不明。底部静止糸切り? 胴部最下部回転ヘラ削り。内面ヘラナデ。	IV	
5259	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部小片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5260	須恵器 甕	15溝 40 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5261	須恵器 甕	15溝 52 口縁部～頸部片			細砂粒/酸化焰/にぶい 橙	頸部で口縁部と胴部を貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部下半縦方向カキ目。内面口縁ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5262	須恵器 甕	15溝 5 口縁部～胴部中位片	25.6		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、内面下半ヘラナデ。胴部外面平行叩き後間隔をあけたカキ目、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5263	須恵器 甕	15溝 34 口縁部～胴部中位片	21.6		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部は凹線による区画、その間に1段の波状文、胴部叩き痕、内面胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	全体的に歪み大きい。
5264	須恵器 甕	15溝 22 1/5	18.9 最大径24.8	24.9	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ整形、胴部上半カキ目、下半は叩き痕が残る。内面胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5265	須恵器 甕	15溝 33 口縁部			細砂粒/還元焰/灰	口縁部に窯天井部壁が崩落して融着。	IV	
5266	須恵器 甕	15溝 36 口縁部～頸部片	38.0		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、頸部で胴部と貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部上半を凹線で区画、区画内に波状文が巡る。内面胴部下半ヘラナデ。	IV	
5267	須恵器 甕	15溝 21 口縁部～頸部片			細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、頸部で胴部と貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部上半を凹線で区画、区画内に波状文が巡る。胴部下位横方向カキ目。内面口縁部下半ヘラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5268	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/青黒	口縁部ロクロ整形。口縁部は2条・3条の凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5269	須恵器 甕	15溝 26 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は1条・2条の凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5270	須恵器 甕	15溝 40 胴部下半～底部			細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	外面胴部平行叩き痕、底部ナデ。内面底部から胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5271	須恵器 甕	15溝 63 口縁部～胴部上位片	26.6		細砂粒/還元焰/灰	口縁部は凹線による区画、区画内に雑な波状文が巡る。胴部外面のアテ具痕はナデ消されているが、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	焼成時の歪み大。
5272	須恵器 甕	15溝 11 底部			細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	外面斜格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	底部に窯底面の砂が付着。
5273	須恵器 甕	15溝 24 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は凹線と小凸帯による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5274	須恵器 甕	15溝 33 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5275	須恵器 甕	15溝 19 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口唇部から口縁部に凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5276	須恵器 甕	15溝 61 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は凹線によって5段以上に区画、最下部の区画以外は波状文が巡る。	IV	内面に「1」のヘラ描き。
5277	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口唇部下に凹線、口縁部1段の波状文が巡る。	IV	
5278	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	内面にヘラ描き。
5279	須恵器 甕	15溝 67 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5280	須恵器 甕	15溝 35 口縁部片	26.0		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。内外面に厚く降灰が付着。	IV	
5281	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片	22.8		細砂粒・粗砂粒/還元焰/褐灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。	IV	
5282	須恵器 甕	15溝 16 口縁部～頸部片	25.2		細砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ整形、回転右回り。口唇部は端部と中位に凹線が巡る。	IV	
5283	須恵器 甕	15溝 60 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口縁部に凹線、凹線の下上に波状文が巡る。	IV	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5284	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口唇部下に凹線が巡る。口縁部は波状文が巡る。	IV	
5285	須恵器 甕	15溝 48 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口唇部と頸部に1条の凹線、口縁部上半に波状文が巡る。	IV	
5286	須恵器 甕	15溝 39 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は凹線によって3段に区画、各区画に波状文が巡る。	IV	
5287	須恵器 甕	15溝 72 口縁部下半～頸部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	頸部で口縁部と胴部を貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部は2条の凹線で区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5288	須恵器 甕	15溝 65 甕胴部、口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	甕胴部片3点、口縁部片1点と窯壁の融着。	IV	
5289	須恵器 甕	15溝 28 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。内面口縁部下半へラナデ。	IV	
5290	須恵器 甕	15溝 33 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部中位に2条の凹線、凹線の下に波状文が巡る。	IV	
5291	須恵器 甕	15溝 22 口縁部下半～頸部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	頸部で口縁部と胴部を貼付、頸部に補強帯を貼付。口縁部下位横方向カキ目。内面へラナデ。	IV	
5292	須恵器 甕	15溝 埋土 胴部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩きであるが大分ナデ消されている。内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5293	須恵器 甕	15溝 38 胴部片			細砂粒/還元焰/灰白	頸部で口縁部と貼付、頸部に補強帯を貼付。胴部外面平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5294	須恵器 甕	15溝 18 胴部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残るが、底部付近は大分擦れている。	IV	
5295	須恵器 甕	15溝 埋土 胴部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	外面は平行叩きであるがナデ消されている。内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5296	須恵器 甕	15溝 38 一部欠損	30.6 最大径55.0	69.0	細砂粒/還元焰/灰	口唇部に刺突文、口縁部は縦方向カキ目後半に2段の波状文、胴部は平行叩き痕が残る。内面口縁部へラナデ、降灰付着で単位不鮮明。胴部に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5297	須恵器 甕	15溝 35 口縁部～頸部片			細砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ整形。口縁部中位に2条の凹線、凹線の下に波状文が巡る。内面に輪積み痕が残る。	IV	
5298	須恵器 甕	15溝 55 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は1条・2条の凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5299	土師器 甕	15溝 42 口縁部～胴部上半片	24.0		細砂粒・粗砂粒少/還元焰/暗灰	口縁部ロクロ整形、内面へラナデ。胴部外面に格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	焼成時の歪み激しい。
5300	須恵器 甕	15溝 22 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/褐灰	口縁部ロクロ整形。口唇端部に凹線、口唇部下に2条の凹線と小凸帯、口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5301	須恵器 甕	14溝他 埋土 口縁部～胴部下位	23.2		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰白	口縁部は2段の波状文が巡る。胴部は平行叩き痕が残り、間隔をあけたカキ目が施されている。内面に同心円状アテ具痕が残る。	IV	
5302	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部～頸部片	13.8		細砂粒/還元焰/暗灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り。内面頸部へラナデ。	IV	
5303	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5304	須恵器 甕	15溝 埋土 口縁部片	16.7		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回りか。	IV	
5305	須恵器 甕	15溝 64 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、口縁部は凹線による区画、区画内に波状文が巡る。	IV	
5306	須恵器 長頸壺か	442住 埋土 胴部片			細砂粒・礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部はカキ目後肩部に2段の刺突文を巡らす。	V A	
5307	須恵器 長頸壺	445住 ー9 胴部上位(肩部)片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。頸部で口縁部を貼付。	V A	
5308	須恵器 長頸壺	14溝 埋土 口縁部～頸部	8.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。頸部で胴部と貼付、頸部中位に2条の凹線、その上下に波状文が巡る。	V A	口縁部歪み大
5309	須恵器 長頸壺	17溝 埋土 胴部下位～底部片	9.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、胴部下位回転へラ削り。	V A	
5310	須恵器 長頸壺	492住 2 口縁部～頸部	8.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。内面と胴部に自然釉付着。	V A	
5311	須恵器 長頸壺	15溝 ー3 口縁部～胴部下位	8.5 最大径12.6		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。胴部下半へラ削り。	V A	
5312	須恵器 長頸壺	15溝 54 胴部上位片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。頸部で胴部と口縁部を貼付、胴部に斜放射状へラ描き文。	V A	
5313	須恵器 長頸壺	15溝 34 口縁部～頸部	9.7		細砂粒/還元焰/淡黄	ロクロ整形、回転右回り。	V A	
5314	須恵器 長頸壺	15溝 27 口縁部片			細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は2条の凹線、凹線の下にカキ目と刺突文が巡る。	V A	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5315	須恵器 長頸壺	15溝 50 胴部上半片			細砂粒・粗砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。胴部上位は凹線による区画、区画内に刺突文が巡る。中位はカキ目。	V A	
5316	須恵器 短頸壺	185住 埋土 底部片	12.6		細砂粒・粗砂粒微/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部ヘラナデ。	V B	
5317	須恵器 小型短頸壺	416住 2 完形	7.8	4.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下手持ちヘラ削り。	V B	
5318	須恵器 短頸壺	434住 13 口縁部～胴部片	8.6		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。	V B	
5319	須恵器 短頸壺	431住 17 1/3	8.6	6.2	細砂粒/還元焰/にぶい 橙	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちヘラ削り。	V B	
5320	須恵器 短頸壺	161住 埋土 底部	5.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回りか。底部ヘラナデ。	V B	
5321	須恵器 短頸壺	425土坑 埋土 口縁部～胴部片	7.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部ヘラ削り。口縁部、胴部上位に刺突文。	V B	
5322	須恵器 短頸壺	149住 - 5 3/5	18.0	13.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部カキ目、底部回転ヘラ削り。	V B	
5323	須恵器 短頸壺	149住 埋土 胴部～底部片	6.1		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラナデ。高台は引き出されている。	V B	
5324	須恵器 短頸壺	544住 8 1/2	11.7	9.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	V B	
5325	須恵器 短頸壺	149住 - 11 口縁部～胴部中位	15.6		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部中位ヘラ削り。	V B	
5326	須恵器 短頸壺	544住 13 完形	9.0	7.0	細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。	V B	
5327	須恵器 短頸壺	522住 直上 2/5	9.3	5.0	細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	V B	
5328	須恵器 短頸壺	149住 13 口縁部～胴部片	16.4		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部の肩部に斜め方向のカキ目。	V B	
5329	須恵器 短頸壺	453土坑 埋土 口縁部～胴部中位片	9.0		細砂粒・粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	V B	
5330	須恵器 短頸壺	331土坑 11 2/3	9.9	19.7	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部ヘラナデ、胴部最下位回転ヘラ削り。	V B	
5331	須恵器 短頸壺	331土坑 49 口縁部～胴部上半片	15.4		細砂粒・粗砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。胴部は肩部から下位に回転ヘラ削り。	V B	
5332	須恵器 短頸壺	14溝 12 口縁部～底部片	胴径10.8		細砂粒/酸化焰/にぶい 橙	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削り。	V B	
5333	須恵器 小型壺	14溝 10 口縁部1/2欠損	8.1	5.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回りか。底部手持ちヘラ削り。内面底部ナデ。	V B	ミニチュア
5334	須恵器 短頸壺	14溝 3 口縁部、胴部1/4欠損	最大径15.5		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部下位から底部回転ヘラ削り。内面底部の一部ナデ。	V B	
5335	須恵器 小型短頸壺	14溝 62 2/5	5.2	4.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部・胴部下位手持ちヘラ削り。内面底部ナデ。	V B	
5336	須恵器 小型短頸壺	15溝 31 胴部～底部	最大径8.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部下半から底部手持ちヘラ削り。	V B	
5337	黒色土器 短頸壺	15溝 27 口縁部～胴部下位	8.2		細砂粒/酸化焰/黒	内外面黒色処理。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	V B	ミニチュア
5338	須恵器 短頸壺	14溝 27 2/5	10.7	7.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部下位から底部手持ちヘラ削り。	V B	
5339	須恵器 短頸壺	14溝 19 口縁部～胴部上位片	12.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	V B	
5340	須恵器 短頸壺	14溝 28 胴部片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部上位に1段の波状文、中位から下位回転ヘラ削り。	V B	
5341	須恵器 小型短頸壺	15溝 27 口縁部、胴部1/4欠損	6.2		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部・胴部最下位手持ちヘラ削り。	V B	口縁部欠損後再調整して使用か。
5342	須恵器 短頸壺	15溝 18 口縁部大半欠損	9.0	7.4	細砂粒/酸化焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部から胴部下位手持ちヘラ削り。	V B	
5343	須恵器 小型短頸壺	15溝 49 口縁部1/4、底部欠損	9.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部ヘラ削り。	V B	
5344	須恵器 短頸壺	15溝 66 口縁部～胴部片	10.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。胴部下半回転ヘラ削り。	V B	
5345	須恵器 短頸壺	15溝 30 頸部～底部片	7.2		細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から胴部下位手持ちヘラ削り。	V B	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5346	須恵器 瓶	450住 埋土 把手			細砂粒/還元焰/褐灰	胴部は貼付、表面へら削り。	V C	
5347	須恵器 瓶	450住 埋土 把手			細砂粒/酸化焰/にぶい 黄橙	胴部は貼付、表面へら削り。	V C	
5348	須恵器 埴瓶	525住 4 胴部片	胴部径22.7		細砂粒・粗砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転右回りか。胴部カキ目、把手は貼付。 内面両側面ナデ。	V C	
5349	須恵器 埴瓶	525住 4 胴部片	胴部径		細砂粒・粗砂粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転左回りか。内面に閉塞痕がみられる。 胴部カキ目、内面閉塞痕の周辺部ナデ。	V C	
5350	須恵器 横瓶	149住 3 完形	15.2	21.2	細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形、回転右回り、内面へらナデ。胴部外 面に綾杉状叩き痕が残る。胴部は一部にロクロ整形痕が みられるがほぼ全面的に同心円状アテ具痕が残る。	V D	胴部閉塞状 態不鮮明。 胴部全長 34.5cm、幅 27.8cm
5351	須恵器 平瓶	149住 埋土 天井部～胴部片	最大径11.4		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。把手は貼付、胴部は天井部 中央で閉塞。	V E	
5352	須恵器 平瓶	15溝 7 完形	9.4	18.9	細砂粒/酸化焰/ぎみ/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。口縁部は胴部に貼付。胴部カ キ目、底部へら削り。	V E	
5353	須恵器 平瓶	162住 - 7 口縁部	7.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	V E	
5354	須恵器 平瓶	15溝 40 口縁部1/2欠損	8.0	15.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。口縁部は胴部に貼付、胴部・底部周辺部格 子目状叩き、底部中央部手持ちへら削り。	V E	
5355	須恵器 平瓶	325-945G 把手	長(10.6) 高(4.9)		細砂粒・褐色粒/酸化焰/ 橙	各面ともへら削り、胴部接地面に叩き痕か。	V E	
5356	須恵器 瓶	131住 竈埋土 胴部下位片	10.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部に叩き痕がかすかに残る。	V F	
5357	須恵器 瓶	131住 埋土 頸部～胴部上位 片			細砂粒・白色粒/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部へらナデ。内面ナデ。	V F	
5358	須恵器 小型広口壺	174住 直上 口縁部一部と底 部欠損	13.1		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部下半から底部へら削り。	V F	
5359	須恵器 壺	134住 26 胴部下位～底部片			細砂粒/還元焰/灰	底部カキ目、胴部は平行叩き痕が残る。内面胴部へらナデ、 かすかにアテ具痕が残る。	V F	
5360	須恵器 瓶	159住 11 胴部下位～底部	12.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部から胴部回 転へら削り。	V F	
5361	須恵器 壺	429住 - 5 胴部下半片	最大径18.5		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部下半から底部回転へら削り。 内面胴部下位から底部へらナデ。	V F	
5362	須恵器 壺	429住 - 6 胴部～底部片	最大径9.6		細砂粒/酸化焰軟質/に ぶい黄橙	胴部上半方カキ目、下半から底部は平行叩き痕が残る。内 面胴部へらナデ、底部は無調整か。	V F	底部器壁2.5 cmと非常に 厚い。
5363	須恵器 瓶	434住 埋土 胴部下位～底部	5.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部・胴部に平行叩き痕が残る。	V F	
5364	須恵器 瓶	453住 4 口縁部片	13.7		細砂粒少/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は頸部で胴部と貼付。	V F	横瓶など瓶 類などの口 縁部か。
5365	須恵器 瓶	421住 1 口縁部～頸部片	8.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に小凸帯が巡る。	V F	平瓶または 埴瓶、横瓶 か。
5366	須恵器 壺	498住 直上 胴部上位～底部片	最大径16.2		細砂粒・白色粒/還元焰/ 灰黄	胴部上位内外面へらナデ、中位から底部外面叩き痕、内 面アテ具痕が残る。	V F	
5367	須恵器 瓶	492住 埋土 胴部片			細砂粒/還元焰/黒灰	ロクロ整形。外面に自然釉付着。	V F	外面にへら 描き。
5368	須恵器 壺	149住 埋土 口縁部～胴部上 半片	16.8		細砂粒/還元焰/灰白	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に格子目状叩き痕が残 る。内面のアテ具痕は大部分ナデ消されている。	V F	
5369	須恵器 瓶	18掘立 39 胴部下位～底部片	8.0		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/灰黄	ロクロ整形、回転左回りか。底部から胴部下位回転へら 削り。	V F	
5370	須恵器 瓶	149住 13 胴部片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。胴部中位に凹線が巡り、凹 線の上に斜め方向のカキ目。	V F	
5371	須恵器 壺	524住 西竈17 頸部～胴部下位片	最大径29.6		細砂粒多/還元焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形、回転左回りか。胴部カキ目。内面胴部下半 へらナデ、上位にアテ具痕がかすかに残る。	V F	
5372	須恵器 壺	524住 北竈9 胴部下位～底部 片	10.6		細砂粒・礫/還元焰/黄 灰	胴部・底部へら削り、単位不鮮明。内面へらナデ。	V F	
5373	須恵器 瓶?	17溝 埋土 底部片	5.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちへら削り。	V F	内面に自然 釉が厚く付 着。
5374	須恵器 瓶	315-965 G 口縁部片	10.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	V F	
5375	須恵器 壺	539住 埋土 胴部中位片			細砂粒/還元焰/灰	胴部は叩き痕が残るが、肩部回転へら削り。内面はロク ロ整形でアテ具痕を消している。	V F	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土/焼成/色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
5376	須恵器 壺	539住 40 胴部上位～底部片	7.3		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちヘラ削りか。	V F	
5377	須恵器 壺か	15溝 67 胴部下半～底部			細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転ヘラ削り。内面底 部ナデ。	V F	
5378	須恵器 小型広口壺	15溝 38 2/3	2.6	8.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部から体部下位ヘラ削り。	V F	
5379	須恵器 壺	14溝 7 頸部～底部	最大径21.0		細砂粒・粗砂粒/酸化焰 /にぶい橙	胴部上半カキ目、下半から底部に叩き痕が残る。内面ヘ ラナデ。	V F	
5380	須恵器 壺	14溝 埋土 口縁部～胴部上 位片	23.2		細砂粒・白色粒/還元焰 /灰	口縁部ロクロ整形。頸部に波状文が1段巡る。胴部外面 平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。	V F	
5381	須恵器 壺	14溝 14 1/2	15.8	29.9	細砂粒/還元焰/灰白	口縁部ロクロ成形。胴部外面上半にカキ目、下半は平行 叩き痕が残る。内面はアテ具痕を部分的にナデ消してい る。	V F	
5382	須恵器 壺	14溝 56 口縁部～胴部片	頸径13.2		細砂粒/酸化焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。胴部上位に横方向、その下 位に縦方向カキ目。内面胴部ヘラナデか。	V F	
5383	須恵器 壺	14溝 埋土 口縁部片			細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に凹線、口縁部上位 に凹線と波状文が巡る。	V F	
5384	須恵器 壺	14溝 埋土 口縁部片	14.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。内面口縁部下半ヘラナデ。	V F	
5385	須恵器 壺	15溝 27 口縁部～胴部下位	19.4		細砂粒・褐色粒/酸化焰 /にぶい黄	口縁部ロクロ整形。胴部外面に平行叩き痕、内面にアテ 具痕が残る。	V F	
5386	須恵器 壺	14溝 10 胴部片	最大径16.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。胴部下半回転ヘラ削り、底 部手持ちヘラ削り。内面胴部下半ヘラナデ。	V F	
5387	須恵器 壺	15溝 56 胴部～底部片	最大径20.0		細砂粒/還元焰/灰	体部から胴部外面に平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕 をほとんどナデ消している。	V F	
5388	須恵器 壺	15溝 25 口縁部～胴部上 半片	12.2		細砂粒/酸化焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。胴部中位回転ヘラ削り。	V F	
5389	須恵器 壺	15溝 29 3/5	18.7		細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。胴部外面下半に平行叩き痕が残る。 上半ヘラナデ、単位不鮮明。内面は同心円状アテ具痕が 残る。	V F	
5390	須恵器 壺	15溝 埋土 1/2	13.5	19.9	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転左回りか。胴部上半カキ目、下半に格 子目状叩き痕が残る。内面胴部下半に同心円状アテ具痕 が残る。	V F	
5391	須恵器 瓶	15溝 20 胴部肩片			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。胴部肩に極細の凹線を巡らし、 放射状のヘラ描き。	V F	
5392	須恵器 瓶	15溝 埋土 口縁部片	9.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	V F	平瓶か。
5393	須恵器 壺	15溝 埋土 胴部～底部片			細砂粒/還元焰/オリ ーブ灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から胴部下位手持ちヘラ 削り。	V F	
5394	須恵器 壺	15溝 11 口縁部～胴部上 半片	14.8		細砂粒・粗砂粒少/還元 焰/青灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部カキ目。内面胴部にアテ 具痕が残るが上位はロクロでナデ消されている。	V F	
5395	須恵器 平底瓶	15溝 47 一部欠損	10.5	20.9	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部カキ目、肩部に刺突文が 巡る。底部中心部カキ目、周囲ヘラ削り。内面底部カキ目。	V F	
5396	須恵器 ハソウ	522住 8 口縁部3/4欠損	13.4	17.2	細砂粒・粗砂粒/還元焰 /灰	ロクロ整形、回転右回りか。頸部に2段、胴部上位に1 段の波状文、中位に刺突文、底部手持ちヘラ削り。	VI	
5397	須恵器 ハソウ	331土坑 59 口縁部～頸部			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。頸部は凹線の下上に波状文 が巡る。	VI	
5398	須恵器 ハソウ	15溝 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/黒褐	ロクロ整形、回転右回り。口縁部上位は1条の凹線が巡り、 凹線の下上に波状文が巡る。	VI	
5399	須恵器 ハソウ	15溝 2 口縁部大半欠損	8.7	15.4	細砂粒/還元焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形。口縁部中位に凹線、その上位に2段の波状文、 胴部中位に刺突文、下半から底部ナデ。	VI	
5400	須恵器 甗	143住 1 口縁部～胴部上 位片	28.9		細砂粒/酸化焰/にぶい 橙	ロクロ整形、口縁部横ナデ、把手は貼付でヘラ削り。内 面胴部ヘラナデ。	VII	
5401	須恵器 甗	163住 埋土 把手片			細砂粒/還元焰/灰	胴部は貼付。上面ナデ、側面・下面ヘラ削り。	VII	
5402	須恵器 甗	445住 17 胴部下位～底部	4.9		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部ヘラ削り、底部に径0.5 cmほどの小孔が13カ所あけられている。	VII	
5403	須恵器 甗	161住 埋土 胴部下位～底部片	15.0		細砂粒/還元焰/灰	胴部に叩き痕が残る、下位ヘラ削り。内面ヘラナデ。	VII	
5404	須恵器 甗	149住 46 把手			細砂粒/還元焰/灰白	把手は貼付、上面・側面ヘラナデ、下面ナデ。	VII	
5405	須恵器 甗	149住 -3 把手			細砂粒/還元焰/灰	把手は貼付、上下・側面ヘラ削り。	VII	
5406	須恵器 甗	416住 71 1/5	29.0	22.3	細砂粒/還元焰/灰	口縁部横ナデ、胴部に叩き痕が残る。胴部下位と底部ヘ ラ削り。内面胴部上半にアテ具痕が残る。下半ヘラナデ。	VII	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
5407	須恵器 甌	14溝 17 1/3	18.1	22.8	細砂粒/還元焰/灰白	口縁部から胴部下位まで平行叩き痕が僅かに残る。胴部最下位ヘラ削り。内面胴部ヘラナデ。	VII	
5408	須恵器 甌	15溝 50 胴部下位～底部片	11.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	VII	
5409	須恵器 甌	15溝 埋土 胴部下位～底部片	8.0		細砂粒/還元焰/灰	底部に径5mm前後の小孔が多く穿孔されている。底部から胴部ヘラ削り。内面ヘラナデ。	VII	
5410	須恵器 鉢	146住 埋土 口縁部～体部上位片	21.0		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。	VIII A	
5411	須恵器 鉢	146住 17 口縁部～体部下位片	12.8		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部ヘラナデ。内面体部下半ヘラナデ。	VIII A	
5412	須恵器 鉢	130住 2 口縁部～体部片	36.0		細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。一部器面剥落のため詳細不明。	VIII A	
5413	須恵器 小型鉢	174住 埋土 口縁部～体部片	9.4		細砂粒/還元焰/灰オリ ープ	ロクロ整形、回転方向不明。。	VIII A	ミニチュア
5414	須恵器 鉢	180住 埋土 口縁部～体部片	22.6		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形。外面に平行叩き痕が残るが、ほとんどナデ消されている。	VIII A	
5415	須恵器 鉢	174住 埋土 口縁部～体部片	14.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部下半ヘラ削り。内面体部下半ナデ。	VIII A	
5416	須恵器 鉢	186住 埋土 口縁部下半～底部片	15.2		細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ削り。	VIII A	
5417	須恵器 鉢	416住 埋土 口縁部片	10.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口唇部に2条の凹線が巡る。	VIII A	
5418	須恵器 鉢	425住 埋土 口縁部片	11.0		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に凹線が2条巡る。	VIII A	
5419	須恵器 鉢	416住 埋土 1/4	13.6		細砂粒・粗砂粒微/酸化焰/黄橙	ロクロ整形、回転右回り。口縁部から体部は雑なカキ目、底部ヘラナデ。	VIII A	
5420	須恵器 鉢	416住 埋土 口縁部～底部片	23.6		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転左回りか。外面底部格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	VIII A	
5421	須恵器 鉢	434住 12 1/4	13.6	7.2	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転左回り。口縁部と体部に各2条の凹線、その間に刺突文が巡る。底部手持ちヘラ削り。	VIII A	
5422	須恵器 鉢	439住 31 口縁部～体部片	14.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部上半に2段の波状文、下位回転ヘラ削り。内面下位ヘラナデ。	VIII A	
5423	須恵器 鉢	449住 貯穴34 口縁部～体部片	13.0		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。体部ヘラ磨き、内面体部ヘラナデ。	VIII A	
5424	須恵器 鉢	498住 1 底部一部欠損	13.5	10.9	細砂粒/酸化焰/にぶい 橙	ロクロ整形、回転右回りか。体部下半から底部ヘラ削り。	VIII A	
5425	須恵器 鉢	513住 埋土 口縁部～体部片	12.6		細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部回転ヘラ削り。	VIII A	
5426	須恵器 鉢	516住 3 完形	17.7	10.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部下半ヘラ削り、底部ヘラ削り後ヘラ先による刺突。内面体部下半から底部ヘラナデ。	VIII A	
5427	須恵器 鉢	524住 西竈12 口縁部～体部片	26.8		細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転方向不明。体部下半ヘラナデ。	VIII A	
5428	須恵器 鉢	15溝 34 口縁部～体部片			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。口唇部に1条の凹線が巡る。体部は平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。	VIII A	
5429	須恵器 鉢	15溝 ー2 口縁部～体部片	13.8		細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回りか。口唇部は肥厚し、凹線が2条巡る。	VIII A	
5430	須恵器 鉢	454土坑 埋土 体部下位～底部	8.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部最下部・底部手持ちヘラ削り。	VIII A	
5431	須恵器 鉢	14溝 3 1/2	16.6	10.7	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部下半回転ヘラ削り、底部手持ちヘラ削り。	VIII A	
5432	須恵器 鉢	536住 埋土 口縁部片			細砂粒/還元焰/灰黄	口唇端部横ナデ、口縁部から体部ヘラ削り。内面ヘラナデ。口縁部下に径2.0cmの円形孔あり。	VIII A	
5433	須恵器 鉢	14溝 12 1/3	14.8	6.8	細砂粒・粗砂粒少/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半回転ヘラ削り、体部の一部手持ちヘラ削り。	VIII A	
5434	須恵器 鉢	14溝 1 体部下位～底部	7.2		細砂粒/酸化焰/にぶい 橙	ロクロ整形、回転左回りか。底部手持ちヘラ削り、体部カキ目。	VIII A	
5435	須恵器 鉢	14溝 45 口縁部～体部片	13.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部に1条の凸帯、体部に2条の凹線が巡る。	VIII A	
5436	須恵器 鉢	15溝 57 口縁部～体部片	21.2		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形。口縁部カキ目後2段の波状文。内面ヘラナデ。	VIII A	
5437	須恵器 鉢	15溝 35 口縁部～体部片	16.2		細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転左回りか。体部上半カキ目、下半ヘラ削り。	VIII A	
5438	須恵器 鉢	15溝 2 口縁部～胴部下位	13.5	13.1	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。体部下位ヘラ削り。	VIII A	

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 高さ		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5439	須恵器 鉢	15溝 埋土 底部片			細砂粒/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部最下部へラ削り。底部はへラ削り、多くの刺突痕。	VIII A	
5440	須恵器 鉢	15溝 34 口縁部片			細砂粒/還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は2条1単位の凹線によって2段の区画、区画内に刺突文が巡る。	VIII A	
5441	須恵器 鉢	15溝 12 完形	13.0	11.3	細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転右回りか。底部・胴部下位カキ目状工具による手持ちへラ削り。内面体部下半へラナデ。	VIII A	
5442	須恵器 片口鉢	15溝 46 口縁部～体部片	27.5		細砂粒/酸化焰、軟質/ 灰白	口唇部横ナデ、体部外面に平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕をナデ消している。	VIII A	
5443	土師器 台付杯	15溝 49 口縁部1/2欠損	9.6	6.4	細砂粒/良好/橙	口唇部横ナデ、口縁部から台部側面ナデ、底部に木葉痕残る。	VIII A	ミニチュア
5444	須恵器 有孔鉢	15溝 32 体部下～底部			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部は平行叩き痕が残る。体部カキ目。内面底部へラナデ。底部に径3mmの穿孔3カ所。	VIII A	
5445	須恵器 播り鉢	143住 埋土 口縁部～体部片	14.4		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。内外面に自然釉付着。	VIII B	
5446	須恵器 播り鉢	149住 8 底部		12.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちへラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。	VIII B	
5447	須恵器 播り鉢	185住 竈8 底部		8.8	細砂粒多/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちへラ削り、体部最下部回転へラ削り。	VIII B	内面底部は使用による擦れが顕著。
5448	須恵器 播り鉢	618土坑 199 体部下位～底部		9.4	粗砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転へラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。	VIII B	
5449	須恵器 播り鉢	434土坑 一1 口縁部3/4欠損	11.3	11.3	細砂粒・粗砂粒・礫/ 還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転へラ削り。内面底部は使用による擦れがみられる。	VIII B	
5450	須恵器 杯	135住 埋土 完形	3.6	1.9	微砂粒/還元焰/灰	口唇部横ナデ、口縁部から底部へナデ。	IX	ミニチュア
5451	須恵器 杯形	159住 埋土 2/3	6.2	2.9	細砂粒/還元焰/褐灰	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへラ削り。成整形は土師器か。	IX	ミニチュア
5452	須恵器 杯(杓状)形	164住 2 1/2	4.8	2.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部手持ちへラ削り。	IX	ミニチュア
5453	須恵器 杯蓋形	185住 1 口縁部1/4欠損	7.1	2.8	細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転右回り。底部手持ちへラ削り。	IX	ミニチュア
5454	須恵器 壺形	180住 埋土 胴部器面一部欠	4.1	5.6	細砂粒/還元焰/灰	胴部下位・底部へラ削り。	IX	ミニチュア
5455	須恵器 碗形	186住 埋土 1/2	5.8	3.7	細砂粒/還元焰/灰	手捏ね成形。口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへラ削り。内面体部・底部ナデ。	IX	ミニチュア
5456	須恵器 壺形	424住 埋土 底部			細砂粒/還元焰/灰	手捏ね成形。底部手持ちへラ削り。内面ナデ。	IX	ミニチュア
5457	須恵器 杯形	330-935 G 口縁部大半欠	5.1	2.9	細砂粒/還元焰/灰	ナデ整形。底部に貼付痕が残る。	IX	ミニチュア
5458	須恵器 杯	14溝 埋土 1/4	11.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部手持ちへラ削り。	IX	ミニチュア
5459	須恵器 矩形横瓶	15溝 12 胴部			細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面へラナデ、頸部横ナデ。内面ナデ。	IX	ミニチュア、 胴部全長8.7cm、 幅8.1cm
5460	須恵器 脚付円面硯	14溝 56 海口縁部1/3・ 脚欠損	14.0		細砂粒/還元焰/灰	脚部は貼付、海部上半横ナデ、下半から底部ナデ。陸部へラナデ。	X	使用痕跡は みられない。
5461	須恵器 円面硯	166住 埋土 底部片			細砂粒/還元焰/黄灰	圈足硯。脚部に縦長矩形透孔が4カ所。横方向刻線を巡らした後縦方向刻線による施文。硯面、堤は不明。	X	
5462	須恵器 器種不明	184住 埋土 把手			細砂粒/還元焰/灰	把手は貼付。表面ナデ。把手先端に径4.8cm、長さ4.0cmの孔あり。	X	
5463	須恵器 器種不明	191住 埋土 脚部			細砂粒/還元焰/灰	鉢などの脚部か。胴部は貼付、表面に6条の刻線、表面に降灰が薄く付着。	X	
5464	須恵器 器種不明	618土坑 179 脚部片			細砂粒/還元焰/灰	口縁部に波状文、胴部カキ目。内面口縁部から頸部へラナデ、胴部に同心円状アテ具痕が残る。	X	
5465	須恵器 不明	14溝 14 底部			細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転方向不明。高台は貼付。底部上部に剥離痕。	X	
5466	土製品 円筒状	443住 2 上半	11.1		細砂粒/良好/明赤褐	内面に幅1～1.5cmの粘土紐巻き上げによる輪積み痕が残る。口唇部横ナデ、胴部へラ削り。内面へラナデ。	I	
5467	土製品 円筒状	145住 1 胴部下～底部		7.5	細砂粒/良好/明赤褐	内外面に輪積み痕が残る。外面へラナデ、内面ナデ。	I	
5468	土製品 円筒状	15溝 53 胴部～底部片		9.7	細砂粒/良好/赤褐	内外面に輪積み痕が残る。胴部縦方向ナデ、内面横方向ナデ。	I	
5469	土製品 円筒状	145住 1 胴部下位～底部片		9.0	細砂粒/良好/橙	外面に輪積み痕が残る。胴部へラ削り、端部横ナデ。内面へラナデ。	I	
5470	土製品 円筒状	145住 1 口縁部～胴部上半		4.8	細砂粒/良好/にぶい赤褐	内外面に輪積み痕が残る。外面へラナデ、内面ナデ。	I	

Ⅲ 検出された遺構と出土遺物

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	高さ (cm)				
5471	土製品 円筒状	455住 22 下半部	12.6		細砂粒/良好/橙	端部横ナデ、胴部縦方向ヘラナデ。内面胴部横方向ヘラナデ。	I	
5472	土製品 支脚	145住 直上 下半部	6.5		細砂粒少/良好/にぶい 赤褐	粘土塊を棒状に成形し、周辺部ヘラナデ、底面は無調整か。	II	
5473	土製品 カマド支脚	496住 11 上半片	残存長11.0 残存幅5.2		細砂粒・褐色粒/良好/ にぶい褐	各面ともヘラナデ。	II	
5474	土製品 支脚	426住 4 下半部片			細砂粒少・粗砂粒少/良 好/橙	表裏・側面ヘラナデ。	II	
5475	土製品 錘	161住 3 完形	長2.15 孔径0.45 幅1.85 重20.2		細砂粒・粗砂粒少/良好/ 黄褐	外面ナデ。	III	
5476	土製品 錘	161住 埋土 片側端部欠損	幅1.65 孔径0.45		細砂粒・粗砂粒少/良好/ 黄褐	外面ナデ。	III	
5477	土製品 錘	161住 埋土 完形	7.4 1.6 0.4 17.0		細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5478	土製品 錘	161住 埋土 端部欠損	6.6 1.6 0.4		細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5479	土製品 錘	161住 竈埋土 完形	7.4 1.7 0.4 20.0		細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5480	土製品 錘	161住 埋土 端部欠損	6.9 1.7 0.4		細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5481	土製品 錘	161住 埋土 完形	7.6 1.7 0.4 20.0		細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5482	土製品 錘	161住 埋土 3/4		1.7 0.4	細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5483	土製品 錘	178住 埋土 1/2			細砂粒/良好/橙	外面ナデ。	III	
5484	土製品 錘	161住 埋土 一部片	幅1.60 孔径0.45		細砂粒/良好/暗褐	外面ナデ。	III	
5485	土製品 錘	178住 埋土 ほぼ完形	3.7 1.0 0.2 3.29		細砂粒/良好/にぶい橙	外面ナデ。	III	
5486	土製品 錘	178住 埋土 完形	4.8 1.3 0.3 7.41		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	外面ナデ。	III	
5487	土製品 錘	169住 竈埋土 1/2	長5.1 径1.8 孔径0.5		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	表面ナデ。	III	
5488	土製品 錘	439住 埋土 完形	7.2 2.5 0.5 39.0		細砂粒/良好/にぶい褐	外面ナデ。	III	
5489	土製品 錘	166住 3 両側端部欠損	幅1.55 孔径0.55		細砂粒/良好/黄褐	外面ナデ。	III	
5490	土製品 錘	表採 両側端部欠損	幅2.00 孔径0.45		細砂粒/良好/黄褐	外面ナデ。	III	
5491	土製品 錘	350-965G ほぼ完形	7.6 2.1 1.9		細砂粒/良好/にぶい橙	表面ナデ。	III	孔径0.6cm、 重量24g
5492	土製品 錘	17溝 埋土 両端部を欠損	孔径0.6		細砂粒/良好/にぶい黄 橙	外面ナデ。	III	
5493	土製品 錘	496住 1 一部片	幅1.00 孔径0.25		細砂粒/良好/橙	外面ナデ。	III	
5494	土製品 錘	14溝 埋土 両端部欠損	長4.2 径0.9		細砂粒/良好/明黄褐	外面ナデ。	III	
5495	須恵器 円板状品	17溝 埋土 2次加工品、 完形	径4.1 厚0.9		細砂粒/還元焰/暗灰	外面平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。	V	胴部を円盤 状に打ち欠 いている。
5496	土製品 玉	532住 4 完形	長1.55 幅1.80 孔径0.15 重3.35		微砂粒/良好/にぶい橙	外面ナデ	V	
5497	土製品不明	14溝 埋土 一部片	残存長8.7 最大幅1.8		微砂粒/良好/暗褐	外面ナデ。先端部は擦れている。	V	窯道具か。

第 21 表 古墳時代～平安時代出土石製品観察表

番号	種別 器種	出土位置	全長 (cm)	幅 (cm)	残存率	石材	特 徴	分類	備 考
			厚さ (cm)	重量 (g)					
5499	石製品 紡錘車	163 住 -1	4.8	4.8	完形	蛇紋岩	丁寧な研磨により光沢を持つ、側面に縦方向の線状痕。	I	
			2.1	77.4					
5500	石製品 紡錘車	178 住 直上	4.5	4.5	完形	蛇紋岩	丁寧な研磨により光沢を持つ、整形に伴う剥離痕。剥離痕は研磨痕より古い。	I	
			1.2	37.8					
5501	石製品 紡錘車	180 住 埋土	3.6	3.5	ほぼ完形	蛇紋岩	光沢を持った研磨痕、側面に縦方向の線状痕。	I	
			1.5	30.5					
5502	石製品 紡錘車	420 住 3	4.2	4.7	完形	砥沢石	上下両端やや扁平な楕円形、全面に研磨痕。	I	
			2.5	69.1					
5503	石製品 紡錘車	516 住 13	5.3		2/5	滑石	表裏、側面とも研磨。	I	
			2.0	31.9					
5504	石製品 砥石	149 住 埋土	13.7	9.9	1/2		使用されている面は使い込まれ、窪み状を呈する。	II	
			10.2	967.0					
5505	石製品 砥石	445 住 埋土	2.4	2.2	完形か		6面とも使い込まれている。	II	
			2.2	18.0					
5506	石製品 砥石	911 ビット 埋土	4.5	5.5	完形	砥沢石	下面を使用か。他の面は整形による研磨か。側面に整形時の擦痕が残る。	II	
			5.2	187.0					
5507	石製品 砥石	149 住 2	16.3	8.6	下位欠損		擦り面は非常によく使用されている。	II	
			4.3	485.0					
5508	石製模造品 白玉	539 住 埋土	2.35	2.15	1/2		平面形は隅丸方形を呈する。	III	
			0.35	0.47					
5509	石製模造品 未製品	476 住 埋土	3.2	3.5	破片		打ち欠いて穿孔しただけで終わっている。	III	
			0.4	3.4					
5510	石製品 砥石	169 住 埋土	10.0	4.2	ほぼ完形		下面を除き 4面使用されている。	II	
			5.5	264.0					
5511	石製品 砥石	169 住 -7	7.9	5.6	下位を欠損		上面を除き 4面使用されている。	II	
			4.5	189.0					
5512	石製品 勾玉	14 溝 310-805G	2.7	1.4	穿孔部分 一部欠損		裏面上部剥離	III	
			0.9	5.7					

第 22 表 古墳時代～平安時代出土こも編石観察表

番号	出土位置	取上番号	床高	全長 cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	残存率	石材
7001	129 住	31	8	11.1	7.2	3.0	401	完形	溶結凝灰岩
7002	129 住	32	直上	13.3	6.8	3.7	499	完形	砂岩
7003	129 住	33	2	13.9	6.2	3.4	437	完形	砂質頁岩?
7004	129 住	36	16	13.7	5.7	5.1	614	完形	ひん岩?
7005	129 住	41	25	13.6	7.2	4.2	656	ほぼ完形	溶結凝灰岩
7006	130 住	15	7	14.1	6.3	2.3	342	ほぼ完形	チャート
7007	140 住	14	7	12.1	4.4	3.1	322	完形	チャート
7008	140 住	15	6	12.8	5.5	2.3	328	完形	チャート
7009	140 住	19	直上	12.4	5.8	3.7	427	完形	チャート
7010	140 住	20	直上	14.7	6.9	4.5	700	端部欠損	チャート
7023	149 住	B-14	12	11.0	4.0	3.0	210	ほぼ完形	ホルンフェルス
7024	149 住	埋土	埋土	10.2	4.7	1.9	132	完形	チャート
7025	149 住	埋土	埋土	14.9	5.7	4.4	585	完形	ホルンフェルス
7026	149 住	埋土	埋土	11.7	3.8	3.6	209	完形	チャート
7012	151 住	11	3	12.9	4.5	4.1	443	完形	チャート
7013	151 住	13	5	12.2	5.2	5.0	536	完形	溶結凝灰岩
7014	151 住	16	4	14.1	5.3	4.2	443	完形	溶結凝灰岩
7015	151 住	20	6	12.2	5.5	5.0	482	完形	チャート
7016	151 住	23	直上	11.7	6.8	4.2	481	完形	ホルンフェルス
7017	160 住	22	4	11.8	5.5	4.1	418	完形	ホルンフェルス
7018	163 住	2	9	15.3	6.6	4.2	767	完形	?
7019	163 住	27	3	12.7	6.0	3.6	482	ほぼ完形	チャート
7030	429 住	91	貯穴 28	12.8	7.0	4.8	524	完形	溶結凝灰岩
7031	429 住	94	10	12.8	5.5	3.1	391	完形	チャート
7032	429 住	95	4	13.4	5.5	4.1	417	完形	溶結凝灰岩
7033	429 住	96	2	14.6	6.9	6.1	966	完形	石英頁岩
7034	429 住	47	-1	15.9	7.2	4.0	587	ほぼ完形	砂質頁岩
7035	429 住	43	18	13.8	7.2	3.8	532	完形	溶結凝灰岩
7036	429 住	52	10	15.2	6.0	4.7	609	完形	ホルンフェルス
7037	429 住	66	6	11.6	7.1	3.1	448	完形	チャート
7038	429 住	71	-1	15.8	7.5	4.2	759	一部欠損	ホルンフェルス
7039	429 住	73	7	13.3	6.5	4.6	643	ほぼ完形	チャート
7040	429 住	93	5	14.4	6.3	5.3	780	完形	溶結凝灰岩
7041	429 住	99	-20	13.5	6.5	3.9	486	ほぼ完形	チャート

番号	出土位置	取上番号	床高	全長 cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	残存率	石材
7042	434 住	1	9	12.1	5.4	3.5	354	完形	溶結凝灰岩
7043	434 住	2	6	12.0	5.7	4.3	475	完形	ホルンフェルス
7044	434 住	3	12	12.6	6.3	4.3	493	完形	溶結凝灰岩
7045	434 住	5	5	13.1	7.0	5.3	623	完形	溶結凝灰岩
7046	434 住	6・7	4	15.6	5.4	5.6	776	一部欠損	ホルンフェルス
7047	434 住	19	埋土	14.4	7.5	2.6	433	ほぼ完形	頁岩
7048	439 住	23	35	11.7	4.4	4.3	312	完形	チャート
7049	439 住	39	直上	13.5	5.7	3.4	450	完形	チャート
7050	439 住	41	-2	13.1	6.4	4.5	721	完形	チャート
7051	439 住	47	7	13.3	3.9	3.4	330	完形	ホルンフェルス
7052	439 住	48	5	13.6	5.3	3.6	484	完形	チャート
7053	443 住	3	3	13.7	6.8	4.6	671	完形	溶結凝灰岩
7054	443 住	10	4	16.6	7.6	3.8	659	ほぼ完形	溶結凝灰岩
7055	443 住	11	2	15.4	7.0	5.0	887	完形	粗粒輝石安山岩
7056	443 住	15	直上	14.3	6.6	4.0	542	完形	溶結凝灰岩
7057	443 住	12	1	14.8	6.5	4.4	705	完形	溶結凝灰岩
7058	443 住	13	1	15.5	7.1	4.7	773	ほぼ完形	変玄武岩
7059	443 住	14	-1	15.8	6.8	5.0	774	完形	ホルンフェルス
7060	443 住	17	2	13.9	6.4	4.7	601	端部欠損	ホルンフェルス
7062	450 住	7	8	15.1	6.4	4.7	540	端部欠損	チャート
7063	450 住	9	9	14.4	5.8	2.8	330	完形	変玄武岩
7064	450 住	11	9	13.1	6.0	5.1	564	完形	粗粒輝石安山岩
7065	450 住	カマド 18	カマド -1	15.8	6.2	5.3	733	完形	ホルンフェルス
7067	498 住	64	直上	14.7	6.1	4.8	872	完形	チャート
7068	498 住	77	4	12.7	6.3	4.8	555	完形	チャート
7069	498 住	80	4	12.7	4.5	2.3	209	完形	チャート
7070	498 住	82	7	13.3	7.2	3.6	578	完形	粗粒輝石安山岩
7071	498 住	83	1	17.2	6.3	5.7	788	完形	チャート
7072	498 住	86	4	16.0	6.2	5.1	648	完形	溶結凝灰岩
7073	498 住	110	-2	14.4	5.7	4.1	606	完形	チャート
7074	498 住	111	直上	14.5	7.0	3.9	618	完形	?
7075	498 住	112	9	15.9	6.5	4.8	645	端部欠損	チャート
7076	498 住	113	13	14.2	8.4	4.5	717	ほぼ完形	チャート
7077	498 住	117	6	17.9	6.7	5.0	988	ほぼ完形	粗粒輝石安山岩
7078	498 住	119	8	13.9	4.5	3.8	362	完形	砂岩
7079	498 住	172	8	13.7	7.6	4.0	644	完形	チャート
7080	498 住	174	4	14.0	4.1	3.3	377	完形	珪質頁岩
7083	520 住	30	直上	15.4	8.6	4.5	787	完形	チャート
7084	520 住	31	-4	13.4	6.8	5.2	733	完形	?
7085	520 住	32	-4	16.1	6.8	6.0	991	完形	チャート
7086	520 住	33	-4	13.9	7.8	4.1	692	完形	チャート
7087	522 住	9	17	12.1	7.7	3.6	471	完形	溶結凝灰岩
7088	522 住	10	14	14.7	5.2	3.9	574	完形	チャート
7089	522 住	15	6	10.7	5.4	3.5	276	一部欠損	溶結凝灰岩
7090	522 住	36	9	12.0	7.3	2.2	279	完形	チャート
7091	522 住	39	8	13.3	4.8	3.5	360	完形	溶結凝灰岩
7092	522 住	40	6	12.1	4.8	4.0	338	両端部欠損	砂質頁岩
7093	522 住	41	5	11.8	5.7	3.0	350	ほぼ完形	チャート
7094	522 住	42	8	14.0	7.4	5.0	708	完形	ホルンフェルス
7095	522 住	43	8	12.3	6.4	3.3	402	完形	チャート
7096	535 住	3	3	12.8	5.4	3.3	333	ほぼ完形	砂岩
7097	535 住	5	直上	16.8	5.7	3.4	463	ほぼ完形	珪質頁岩
7098	535 住	8	10	13.9	7.2	4.6	634	ほぼ完形	砂岩
7099	535 住	9	7	14.4	4.7	4.3	429	ほぼ完形	ホルンフェルス
7100	535 住	15	4	12.6	6.2	4.4	693	完形	チャート
7101	539 住	9	8	12.1	5.4	3.0	326	ほぼ完形	チャート
7102	539 住	37	10	10.6	5.3	3.6	364	完形	チャート
7103	539 住	39	11	13.6	6.8	4.8	667	完形	溶結凝灰岩
7104	539 住	40	10	13.2	6.2	4.1	553	完形	砂岩
7105	539 住	89	8	13.2	6.6	3.5	453	完形	砂岩
7106	544 住	33	19	12.3	6.6	4.9	592	完形	溶結凝灰岩

第23表 古墳時代～平安時代出土鉄製品観察表

番号	種別	器種	出土位置	残存率	全長	最大幅	厚さ	重量	特 徴	分類	備 考
5513	鉄器	鎌	184 住 14	完形	15.9	3.4	0.3	56.8		I	
5514	鉄器	鎌	200 住 埋土	刃部先端を欠損	16.2	4.0	0.3	50.5	非常に良く使い込まれている。	I	
5515	鉄器	鎌	330 - 960 G	基部片	2.3	3.1	0.2	7.4		I	
5516	鉄器	鎌	183 住 埋土	刃部先端部	3.8	2.0	0.3	3.7		I	
5517	鉄器	鎌	449 住 10	先端部欠損	9.8	3.6	0.2	26.7	非常に良く使い込まれている。	I	
5518	鉄器	鎌	454 住 埋土	刃部先端側 1/2 を欠損	10.2	3.7	0.4	41.8		I	
5519	鉄器	刀子	163 住 4	刃部片	9.0	1.8	0.3	7.4	非常に良く使い込まれている。	II	
5520	鉄器	刀子	416 住 65	完形	11.6	1.5	0.5	9.2	非常に良く使い込まれている。	II	
5521	鉄器	刀子	449 住 27	刃部、柄部とも先端を欠	7.0	0.8	0.2	6.7	非常に良く使い込まれている。	II	
5522	鉄器	刀子	161 住 10	刃部、柄部の先端を欠損	9.7	1.3	0.5	12.3		II	
5523	鉄製品	刀子か	124 住 埋土	刃部片	5.0	2.4	0.3	9.0		II	
5524	鉄器	刀子か	130 住 - 3	刃部の一部片	3.8	1.5	0.3	6.0		II	
5525	鉄製品	刀子	124 住 埋土	柄～刃部一部	6.0	1.2	0.3	4.7		II	
5526	鉄器	刀子	185 住 埋土	柄	9.7	1.5	0.5	16.5	木質部が残る。	II	
5527	鉄器	鎌?	350 - 965 G	刃部	3.5	2.5	0.7	3.9	錆が激しく詳細不明。	III	
5528	鉄器	鎌	132 住 埋土	頸部	6.4	0.4	0.5	3.9		III	
5529	鉄器	鎌	141 住埋土	刃部～頸部	4.6	0.7	0.4	2.2	長頸三角形鎌	III	
5530	鉄器	鎌	149 住 4	刃部～頸部、茎部の一部	6.2	3.2	0.6	9.7	有頸腸扶三角形鎌	III	
5531	鉄器	鎌	124 住 埋土	頸部～茎部。関部残存。	4.5	0.8	0.5	1.7	断面方形	III	
5532	鉄器	鎌	186 住 埋土	刃部片	4.7	2.0	0.2	4.8	有頸腸扶柳葉鎌	III	
5533	鉄器	鎌	161 住 埋土	完形	12.0	0.8	0.8	9.5	長頸三角形鎌	III	
5534	鉄器	釘か	149 住 埋土	頭部欠損	8.0	0.5	0.4	6.6		IV	
5535	鉄器	釘	14 掘立 埋土	先端部	21.0	0.5	0.4	1.6		IV	
5536	鉄器	釘	P 2927・2928 埋土	頭部	2.6	1.2	0.4	2.5		IV	
5537	鉄器	釘	166 住 18	完形	14.6	1.3	0.9	37.2	錆化が激しい。断面多角形か。	IV	
5538	鉄器	釘	166 住 7	完形	14.5	1.3	0.9	40.7	錆化が激しい。断面多角形か。	IV	
5539	鉄器	錘?	178 住 埋土	刃部	7.8	1.6	0.2	5.6		V	
5540	鉄器	くさび	125 住 埋土	一部片	5.0	0.8	0.3	6.6		V	
5541	鉄製品	くさび	124 住 埋土	一部片			1.6	(9.0)	錆化が激しい。	V	
5542	金属器	不明	173 住 埋土	一部片	3.2	1.9	0.2	4.6	鍛造品か	VI	
5543	金属器	不明	173 住 埋土	一部片	4.0	1.2	0.5	4.5	断面四角形。	VI	
5544	鉄製品	不明	138 住 埋土	一部片	4.1	2.3	0.2	4.0	鉄板をL字状に加工している。	VI	
5545	鉄製品	不明	134 住 23	ほぼ完形か	7.8	1.7	0.4	9.7	断面四角形	VI	
5547	鉄製品	不明	17 溝 埋土	周囲を欠損か	3.8	4.5	0.3	15.4		VI	
5548	鉄製品	不明	166 住 17	柄の一部	14.9	1.1	0.6	22.9	柄に木質部が残る。鍵、焼き印か。	VI	
5549	鉄製品	不明	166 住 23	柄の一部	11.3	1.2	0.6	15.2	柄に木質部が残る。鍵、焼き印か。	VI	
5550	鉄製品	不明	524 住 14	3/4	2.9	2.6	0.1	2.8	上部右寄りに径0.7mmの円形の孔	VI	
5551	金属製品	耳環	320 - 925 G	完形	2.8	3.0	0.7	23.5	表面は錆ているが、内部は良好。		
5552	金属器	引き手金具	166 住 6	片側取り付け部欠損	5.0	0.7	0.3	4.5	銅製品、箆箭などの引き手金具		

No.	遺物名	出土位置	計測値 (cm)			重量 (g)	磁着度	メタル度	特 徴
			長	幅	厚さ				
5553	羽口	15 溝 310-930G	5.8	5.2	2.0	50.1	1	なし	羽口先端部片。水平より約20°の角度で鍛冶炉の底部に向けて送風していたものと推測される。残存する厚さは約2cmとやや厚手である。羽口の胎土は粒子がやや荒い。通風孔部内径は1.8cmとやや小さい。
5554	腕形鍛冶滓 (小)	406 住 埋土	8.3	6.9	3.2	194.9	1	なし	ほぼ完形の腕形鍛冶滓。厚さ約2.5cmとやや薄手。色調は黒褐色。滓質は密。下面全面に炉床土が付着している。上面左手の付着物は羽口の頸部の溶損か。
5555	炉内滓 (含鉄)	17 溝 埋土	4.7	4.1	4.3	129.4	3	錆化 (△)	暗灰色。シャープな破面。滓質は密であるが気泡が多く内在している。
5556	腕形鍛冶滓 (極小、含鉄)	513 住 埋土	5.5	4.1	2.1	46.5	5	H (○)	ほぼ完形の小形の腕形鍛冶滓。色調は黒褐色。滓質は密。上面は木炭痕が散在し下面は全面に細かい木炭痕が観察できる。
5557	鉄塊系遺物	195 住 埋土	6.2	5.1	2.3	68.4	5	H (○)	黒褐色。放射割れが激しく錆化が進んでいる。メタル度H (○)と低く金属鉄はほとんど残存していない。

3 中世以降

(1) 概要

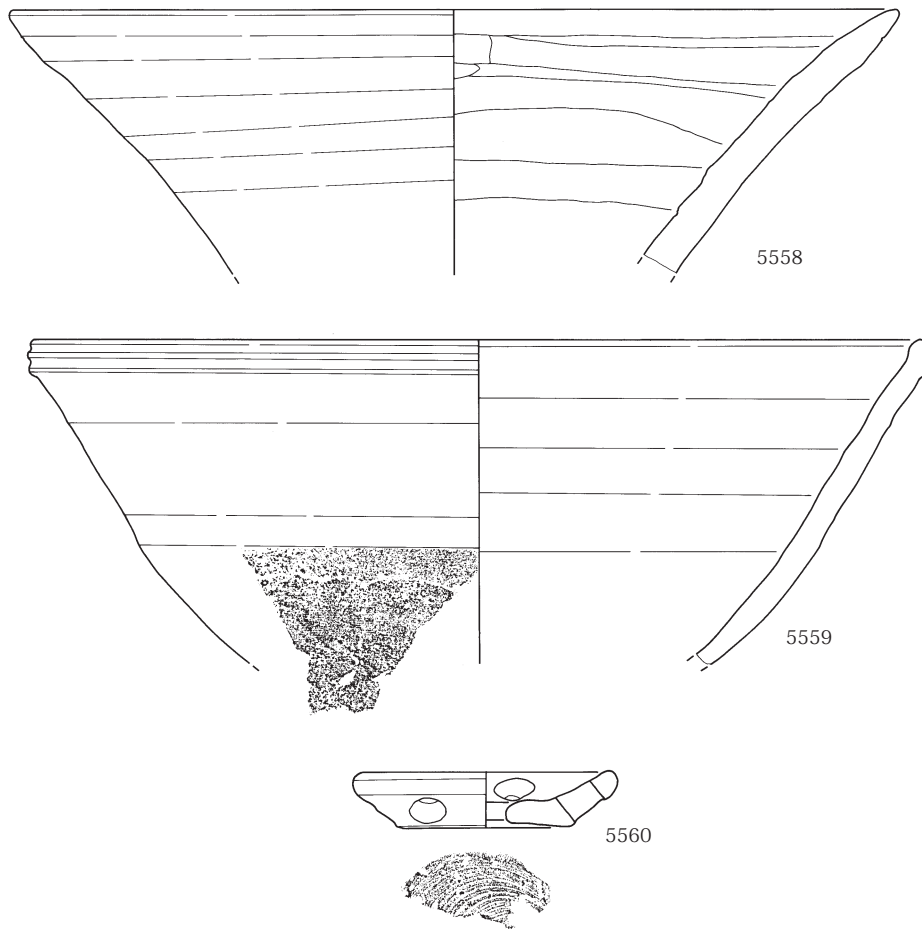
中世以降では遺構はなく、遺物も前代に比べ極端に少なく、総計で 136 点と非常に少なくなっている。

(2) 遺物

遺物量は非常に少なく、土師質土器 1 点、軟質陶器 46 点、陶磁器が 89 点、計 136 点の出土である。

第 24 表 中世以降出土遺物一覧表

種別	土師質土器						軟質陶器					陶磁器					総計
	皿	鉢	鍋	碗	不明	計	碗	皿	鉢	不明	計	碗	皿	鉢	不明	計	
点数	1	3	2	0	41	46	14	1	2	72	89	136					
破片重量		25	0	30	1438	1493	90	15	40	1142	1287	2780					



第 476 図 中世以降出土遺物

第 25 表 中世以降遺物観察表

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	高さ	胎土 / 焼成 / 色調	成・整形の特徴 他	分類	備考
			底径	(cm)				
5558	軟質陶器 鉢	149住 埋土 口縁部～体部片	24.7		細砂粒/還元焰/にぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。内面ヘラナデ。		
5559	軟質陶器 鉢	430住 直上 口縁部～体部片	34.8		粗砂粒/酸化焰軟質/にぶい橙	ロクロ整形、回転方向不明。		
5560	かわらけ 皿?	149住 埋土 1/3	9.6 7.0	2.2	細砂粒・粗砂粒/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転糸切り無調整。体部5カ所と底部中央に径1.5cmの円形孔。		

IV 自然科学分析

1 大道東遺跡における土器胎土分析

上記分析は、株式会社第四紀地質研究所に委託した。分析結果は以下のとおりである。

X線回折試験及び化学分析試験

1 実験条件

1-1 試料

分析に供した試料は第1表胎土性状表に示す通りである。

X線回折試験に供する遺物試料は洗浄し、乾燥したのちに、メノウ乳鉢にて粉碎し、粉末試料として実験に供した。

化学分析は土器をダイヤモンドカッターで小片に切断し、表面を洗浄し、乾燥後、試料表面をコーティングしないで、直接電子顕微鏡の鏡筒内に挿入し、分析した。

1-2 X線回折試験

土器胎土に含まれる粘土鉱物及び造岩鉱物の同定はX線回折試験によった。測定には日本電子製 J D X-8020 X線回折装置を用い、次の実験条件で実験した。

Target: Cu, Filter: Ni, Voltage: 40kV, Current: 30mA, ステップ角度：0.02° 計数時間：0.5 秒。

1-3 化学分析

元素分析は日本電子製 5300 L V型電子顕微鏡に 2001 型エネルギー分散型蛍光X線分析装置をセットし、実験条件は加速電圧：15 k V、分析法：スプリント法、分析倍率：200 倍、分析有効時間：100 秒、分析指定元素 10 元素で行った。

2 X線回折試験結果の取扱い

実験結果は第1表胎土性状表に示す通りである。

第1表右側にはX線回折試験に基づく粘土鉱物及び造岩鉱物の組織が示してあり、左側には、各胎土に対する分類を行った結果を示している。

X線回折試験結果に基づく粘土鉱物及び造岩鉱物の各々に記載される数字はチャートの中に現われる各鉱物に特有のピークの強度を記載したものである。

2-1 組成分類

1) Mont-Mica-Hb 三角ダイアグラム

第1図に示すように三角ダイアグラムを1～13に分割し、位置分類を各胎土について行い、各胎土の位置を数字で表した。

Mont、Mica、Hbの三成分の含まれない胎土は記載不能として14にいれ、別に検討した。三角ダイアグラムはモンモリロナイト (Mont)、雲母類 (Mica)、角閃石 (Hb) のX線回折試験におけるチャートのピーク強度をパーセント (%) で表示する。

モンモリロナイトは $\text{Mont}/(\text{Mont}+\text{Mica}+\text{Hb})\times 100$ でパーセントとして求め、同様に Mica、Hb も計算し、三角ダイアグラムに記載する。

三角ダイアグラム内の1～4は Mont、Mica、Hb の3成分を含み、各辺は2成分、各頂点は1成分よりなっていること

IV 自然科学分析

を表している。

位置分類についての基本原則は第1図に示す通りである。

2) Mont-Ch, Mica-Hb 菱形ダイヤグラム

第2図に示すように菱形ダイヤグラムを1～19に区分し、位置分類を数字で記載した。記載不能は20として別に検討した。

モンモリロナイト (Mont)、雲母類 (Mica)、角閃石 (Hb)、緑泥石 (Ch) の内、

- a) 3成分以上含まれない、
- b) Mont,Ch の2成分が含まれない、
- c) Mica,Hb の2成分が含まれない、の3例がある。

菱形ダイヤグラムは Mont-Ch, Mica-Hb の組合せを表示するものである。Mont-Ch, Mica-Hb のそれぞれのX線回折試験のチャートの強度を各々の組合せ毎にパーセントで表すもので、例えば、 $\text{Mont}/\text{Mont}+\text{Ch} \times 100$ と計算し、Mica,Hb,Ch も各々同様に計算し、記載する。

菱形ダイヤグラム内にある1～7は Mont,Mica,Hb,Ch の4成分を含み、各辺は Mont,Mica,Hb,Ch のうち3成分、各頂点は2成分を含んでいることを示す。

位置分類についての基本原則は第2図に示すとおりである。

3) 化学分析結果の取り扱い

化学分析結果は酸化物として、ノーマル法(10元素全体で100%になる)で計算し、化学分析表を作成した。化学分析表に基づいて $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ 図、 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{TiO}_2$ 図、 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ 図の各図を作成した。これらの図をもとに、土器類を元素の面から分類した。

3 X線回折試験結果

3-1 タイプ分類

第1表胎土性状表には大道東遺跡出土土器とともに対比試料の土器が記載してある。

第3表タイプ分類表に示すように土器はAとBの2タイプが検出された。

Aタイプ：Hb 1成分を含み、Mont,Mica,Ch の3成分に欠ける。

Bタイプ：Mont,Mica,Hb,Ch の4成分にかける。

大道東遺跡出土土器はAタイプが2個とBタイプが23個の2タイプが検出された。大道東遺跡の土器の多くは高温で焼成されているために鉱物は分解してガラスに変質しており、そのため4成分が検出されないものである。大道東-25は同じBタイプであるが本来の組成として4成分が検出されないタイプである。第5図Qt-Pl図に示す焼成環境においても焼成ランカー高の領域に大道東遺跡の土器が集中し、タイプ分類との整合性があることが分かる。

3-2 石英 (Qt) - 斜長石 (Pl) の相関について

土器胎土中に含まれる砂の粘土に対する混合比は粘土の材質、土器の焼成温度と大きな関わりがある。土器を製作する過程で、ある粘土にある量の砂を混合して素地土を作るといったことは個々の集団が持つ土器製作上の固有の技術であると考えられる。

自然の状態における各地の砂は固有の石英と斜長石比を有している。この比は後背地の地質条件によって各々異なってくるものであり、言い換えれば、各地の砂はおおの固有の石英と斜長石比を有していると言える。

第5図Qt-Pl図に示すように群馬県内の古窯跡の土器はQtの強度が小の領域から大の領域にかけて4グループに分類されており、大道東遺跡の土器はQt-1の太田市の菅ノ沢窯跡群の領域に集中し、一部がQt-2の領域と重複する。

Qt: 1 - Qtが600～2800、Plが50～220の領域は菅ノ沢窯跡群の領域で、大道東遺跡の土器はこの領域の中にあって分布する。Qt1.1とQt1.2に細分される。Qt1.1には大道東-1, 2, 5, 8, 16, 19, 20, 21の8個、Qt1.2には大道東-3, 4, 6, 7, 9, 10, 12, 13, 14, 15, 17, 18, 22の13個の2タイプに細分される。

Qt : II - Qt が 1100 ~ 3100、P 1 が 50 ~ 450 の領域は藤岡市の切通窯跡、金井窯跡と舞台窯跡の土器の領域で、大道東 - 11, 23, 24 の 3 個はこの領域に入る。
 その他 - 大道東 - 25 の土師器は P 1 の値が 1222 と高く異質である。

4 化学分析結果

第 2 表化学分析表には大道東遺跡出土土器とともに対比試料の土器が記載してある。

分析結果に基づいて第 6 図 $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ 図、第 7 図 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{MgO}$ 図、第 8 図 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ 図を作成した。

4-1 $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ の相関について

第 6 図 $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ 図は群馬県内の古窯跡を基準としており、大道東遺跡の土器と対比試料を各窯跡領域で分類した。

Qt - Pr での分類で大道東遺跡の土器は Qt-1.1 と Qt-1.2 に分類したが $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ の相関でも同様に 2 タイプに分類される。

タイプ I : SiO_2 が 53 ~ 63%、 Al_2O_3 が 19 ~ 28% の領域は藤岡市の切通窯跡、金井窯跡の土器の領域で大道東遺跡の土器のうち Qt-1.1 に対比されるものは SiO_2 が 55 ~ 63%、 Al_2O_3 が 22 ~ 27% の領域に分布する。
 Qt-1.1 の領域は藤岡市の切通窯跡、金井窯跡の土器の領域と菅ノ沢窯跡群の土器の領域と重複する部分で、菅ノ沢窯跡の別種の土器と領域が重なるようである。

タイプ II : SiO_2 が 60 ~ 67%、 Al_2O_3 が 18 ~ 24% の領域に分布する。

菅ノ沢窯跡群の本体部分の土器が集中する領域で、Qt-1.2 の土器はこの領域に集中する。

タイプ IV : SiO_2 が 62 ~ 70%、 Al_2O_3 が 19 ~ 28% の領域に分布する。

この領域は金井窯跡と舞台窯跡の土器が集中する領域で、大道東 - 11, 23, 24 の 3 個はこの領域にある。
 その他 - 大道東 - 15 は Qt-1.2 の土器であるが領域から大きく逸脱し、異質である。大道東 - 25 の須恵器はどの領域にも属さず、異質である。

4-2 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{MgO}$ の相関について

第 7 図 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{MgO}$ 図に示すように、群馬県内の古窯跡は Fe_2O_3 の領域によって 5 グループに分類される。大道東遺跡の土器と対比試料は $\text{Fe}_2\text{O}_3 - 1, 4, 5$ の領域に分布する。

$\text{Fe}_2\text{O}_3 : 1 - \text{Fe}_2\text{O}_3$ が 3 ~ 10%、 MgO が 0 ~ 1.4% の領域に分布する。

金井窯跡群、舞台窯跡の土器の領域で、大道東 - 11 が属し、大道東 - 23, 24 は幾分領域を外れるがこの領域に近い。

$\text{Fe}_2\text{O}_3 : 4 - \text{Fe}_2\text{O}_3$ が 6.3 ~ 12.5%、 MgO が 0 ~ 0.25% の領域に分布する。

大道東遺跡の土器が集中する。 Fe_2O_3 の含有量で 3 タイプに細分されるように見受けられる。小さいほうの領域から大道東 - 4, 10, 16, 22、大道東 - 3, 5, 8, 13, 14, 17, 19, 20、大道東 - 1, 2, 6, 7, 9, 12, 18, 21 である。

$\text{Fe}_2\text{O}_3 : 5 - \text{Fe}_2\text{O}_3$ が 12.5 ~ 16%、 MgO が 0 ~ 0.4% の領域に分布する。

大道東 - 15 がこの領域にある。

その他 - 大道東 - 25 は Fe_2O_3 が 23.45% と値が高く、異質である。

4-3 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ の相関について

第 8 図 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ 図に示すように群馬県内の古窯跡は K_2O の領域によって 3 グループに分類される。大道東遺跡の土器は $\text{K}_2\text{O} - 1$ の領域に集中する。

$\text{K}_2\text{O} : 1 - \text{K}_2\text{O}$ が 1 ~ 3%、 CaO が 0 ~ 1.2% の領域に分布する。

金井窯跡群、菅ノ沢窯跡群、舞台窯跡の土器で構成される領域で、大道東遺跡の土器はこの領域に集中する。

その他 - 大道東 - 25 の土師器は $\text{K}_2\text{O} - 2$ の領域にあるが異質である。

IV 自然科学分析

5 まとめ

X線回折試験と蛍光X線分析結果に基づいて、大道東遺跡の土器を分類した。分類の基礎となるものは群馬県内の古窯跡のデータでありこれらと対比した。大道東遺跡の土器は第3表タイプ分類表と第4表組成分類表に示すように分類した。

- 1) 第3表タイプ分類表に示すように、大道東遺跡の土器は25個の分析でAタイプが2個、Bタイプが23個の2タイプに分類された。Bタイプは高温で焼成されているために鉱物が熱で分解しガラスに変質しているものと大道東-25のように本来の組成としてのものがある。
- 2) 第5図Qt-PI図に示すように、群馬県内の古窯跡はQt-1~4の4タイプに分類されているが大道東遺跡の土器のうち21個は菅ノ沢窯跡群の領域であるQt-1の領域にあり、大道東遺跡の土器のうち3個は舞台窯跡の領域であるQt-2の領域にある。大道東-25は土師器でどのタイプにも属さず、異質である。Qt-1の領域にあるものはQt-1.1とQt-1.2の2タイプに分かれ、化学組成による分類とも調和的である。
- 3) 第4表組成分類表に示すように、大道東遺跡の土器と対比試料は5タイプに分類された。菅ノ沢窯跡群に該当する土器群はQt-1.1とQt-1.2に細分された。
「タイプI:Qt-1 (Qt-1.1) - Fe₂O₃-4」大道東-1, 2, 5, 8, 16, 19, 20, 21の8個で、器種は甕、瓶類、杯が混在する。
「タイプI:Qt-1 (Qt-1.2) - Fe₂O₃-4」大道東-3, 4, 6, 7, 9, 10, 12, 13, 14, 17, 18, 22の12個で、器種は甕、瓶類、杯が混在する。
「タイプIV:Qt-2 - Fe₂O₃-1」大道東-11, 23, 24の3個は舞台窯跡の土器の組成と類似しているが幾分分散傾向にあり、舞台窯跡?とした。器種は甕と杯が混在する。
「タイプI:Qt-1 - Fe₂O₃-5」大道東-15は組成的に菅ノ沢窯跡群の土器のうち亜流の領域に近い、1個しかなく異質である。そのため菅ノ沢窯跡群?とした。
「タイプIII:Qt-3 - Fe₂O₃-6」大道東-25は土師器でP1(斜長石)の強度が最大で異質。

以上の結果から明らかなように、大道東遺跡の土器はその大半が菅ノ沢窯跡群の土器に対比され、一部が舞台窯跡の土器に対比される。

引用文献

井上巖(2009)関東地方の古窯跡データ集

井上巖(1997)胎土分析法と分析例-大阪府下の埴輪窯跡出土埴輪の産地同定-「日本考古学 第4号」

第1表 胎土性状表

試料No	タイプ分類	組成分類		粘土鉱物および造岩鉱物														備考						
		Mo-Mi-Hb	Mo-Ch-Mi-Hb	Mont	Mica	Hb	Ch(Fe)	Ch(Mg)	Qt	Pl	Crist	Mullite	K-fels	Halloy	Kaol	Pyrite	Au	ガラス	種別	器種	時期	出土遺構	取上番号	備考
S-1	B	14	20						935	70	581	132							須恵器	甕	6~7世紀	65住	50	
S-2	B	14	20						945	66	612	109							須恵器	甕	6~7世紀	67住	53	3点癒着 窯体付着
S-3	B	14	20						1547	98	337	78							須恵器	甕	6~7世紀	72住	43	
S-4	B	14	20						1299	75	135	90							須恵器	甕	6~7世紀	75住	90	窯体付着
S-5	B	5	20			46			816	60	569	113							須恵器	甕	6~7世紀	75住	200	
S-6	A	14	20						1348	90	248								須恵器	甕	6~7世紀	90住	27	
S-7	B	14	20						1498	76	368								須恵器	甕	6~7世紀	90住	38	
S-8	B	14	20						930	86	525	79							須恵器	甕	6~7世紀	522住	29	
S-9	B	14	20						1445	54	280	78							須恵器	甕	6~7世紀	538住	59	
S-10	B	14	20						1613	145	224								須恵器	甕	6~7世紀	538住		南拡張部 下層
S-11	B	14	20						1320	253	154	56							須恵器	甕	?	14溝	1033	
S-12	B	14	20						1518	88	416	102							須恵器	甕	?	15溝	584	
S-13	B	14	20						1245	93	723	147							須恵器	甕	?	15溝	1004	
S-14	B	14	20						1438	94	373	57							須恵器	杯	6世紀	65住		埋土
S-15	B	14	20						1251	111	539	51							須恵器	杯	6世紀	79住		カマド埋土
S-16	B	14	20						801	71	351	109							須恵器	杯	6世紀	522住	50	
S-17	B	14	20						1624	96	219	57							須恵器	杯	6世紀	14溝	63	
S-18	B	14	20						1425	126	535	57							須恵器	高杯	6~7世紀	65住	87	
S-19	B	14	20						1021	60	641	65							須恵器	瓶類	6~7世紀	65住	214	
S-20	B	14	20						724	83	185	116							須恵器	瓶類	6~7世紀	75住	167	窯体付着
S-21	B	14	20						865	57	525	140							須恵器	甕	8世紀?	21住	154	
S-22	B	14	20						1260	74	148	116							須恵器	甕	8世紀?	149住	B-109	
S-23	B	14	20						2158	133	175	68							須恵器	杯	8世紀	21住	255	
S-24	A	5	20			55			1521	188	198								須恵器	杯	8世紀	149住	B-11	
S-25	B	14	20						1494	1222	231								土師器	杯	6世紀	538住	67	

Mont: モンモロロナイト Mica: 雲母類 Hb: 角閃石 Ch: 緑泥石 (Ch:Fe 一次反射, Ch:Mg 二次反射) Qt: 石英 Pl: 斜長石 Crist: クリスタバライト
Mullite: ムライト K-fels: カリ長石 Halloy: ハロイサイト Kaol: カオリナイト Pyrite: 黄鉄鉱 Au: 普通輝石 Py: 紫蘇輝石

第2表 化学分析表

試料No	Na ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	NiO	Total	種別	器種	時期	出土遺構	取上番号	備考
S-1	1.10	0.00	24.79	56.89	1.62	0.85	1.89	1.00	11.87	0.00	100.01	須恵器	甕	6~7世紀	65号住	50	
S-2	1.02	0.00	22.64	60.66	1.50	0.60	1.29	1.23	10.83	0.23	100.00	須恵器	甕	6~7世紀	67号住	53	3点癒着 窯体付着
S-3	0.95	0.00	21.36	63.23	1.83	0.69	1.37	0.97	9.29	0.31	100.00	須恵器	甕	6~7世紀	72号住	43	
S-4	1.37	0.00	20.50	65.24	2.79	0.57	1.04	0.86	7.62	0.01	100.00	須恵器	甕	6~7世紀	75号住	90	窯体付着
S-5	0.96	0.00	25.26	60.14	1.49	0.70	1.36	0.53	9.57	0.00	100.01	須恵器	甕	6~7世紀	75号住	200	
S-6	0.77	0.39	19.08	64.97	1.53	0.68	1.13	1.20	10.05	0.21	100.01	須恵器	甕	6~7世紀	90号住	27	
S-7	1.26	0.23	19.74	63.57	1.93	0.64	1.45	0.01	10.36	0.81	100.00	須恵器	甕	6~7世紀	90号住	38	
S-8	1.08	0.00	24.54	60.70	1.81	0.66	1.19	0.00	9.58	0.45	100.01	須恵器	甕	6~7世紀	522号住	29	
S-9	1.55	0.11	19.45	63.13	2.30	0.46	1.18	0.71	11.12	0.00	100.01	須恵器	甕	6~7世紀	538号住	59	
S-10	0.98	0.00	24.27	64.41	2.28	0.50	0.86	0.22	6.47	0.00	99.99	須恵器	甕	6~7世紀	538号住		南拡張部 下層
S-11	1.67	0.00	23.64	65.92	2.00	0.91	1.16	0.04	4.65	0.00	99.99	須恵器	甕	?	14号溝	1033	
S-12	1.06	0.00	22.38	60.38	1.71	0.96	0.82	0.04	12.63	0.00	99.98	須恵器	甕	?	15号溝	584	
S-13	0.85	0.00	23.10	61.92	1.17	0.33	1.40	0.95	9.93	0.35	100.00	須恵器	甕	?	15号溝	1004	
S-14	1.02	0.00	22.56	63.44	1.41	0.41	1.12	0.32	9.33	0.39	100.00	須恵器	杯	6世紀	65号住		埋土
S-15	1.11	0.00	22.39	55.81	1.76	0.80	1.45	1.02	15.31	0.34	99.99	須恵器	杯	6世紀	79号住		カマド埋土
S-16	1.38	0.00	25.30	62.31	2.32	0.39	1.07	0.49	6.74	0.00	100.00	須恵器	杯	6世紀	522号住	50	
S-17	1.15	0.00	18.28	66.50	2.42	0.54	0.85	0.42	9.83	0.00	99.99	須恵器	杯	6世紀	14号溝	63	
S-18	0.88	0.00	20.75	60.27	2.28	0.55	1.31	1.12	12.54	0.30	100.00	須恵器	高杯	6~7世紀	65号住	87	
S-19	0.88	0.00	23.95	61.49	1.68	0.28	0.82	1.27	9.57	0.07	100.01	須恵器	瓶類	6~7世紀	65号住	214	
S-20	1.26	0.00	23.81	60.25	2.23	1.02	1.42	0.67	9.34	0.00	100.00	須恵器	瓶類	6~7世紀	75号住	167	窯体付着
S-21	0.78	0.00	24.62	58.05	1.30	0.64	1.46	1.04	12.09	0.00	99.98	須恵器	甕	8世紀?	21号住	154	
S-22	1.65	0.00	21.28	64.62	3.05	0.55	1.12	0.58	6.91	0.24	100.00	須恵器	甕	8世紀?	149号住	B-109	
S-23	1.96	0.00	19.73	66.84	2.42	0.65	0.92	0.33	7.16	0.00	100.01	須恵器	杯	8世紀	21号住	255	
S-24	0.94	0.00	26.04	61.47	1.41	0.75	1.36	0.25	7.78	0.00	100.00	須恵器	杯	8世紀	149号住	B-11	
S-25	1.07	0.00	14.66	54.38	1.56	1.62	2.00	1.09	23.45	0.17	100.00	土師器	杯	6世紀	538号住	67	

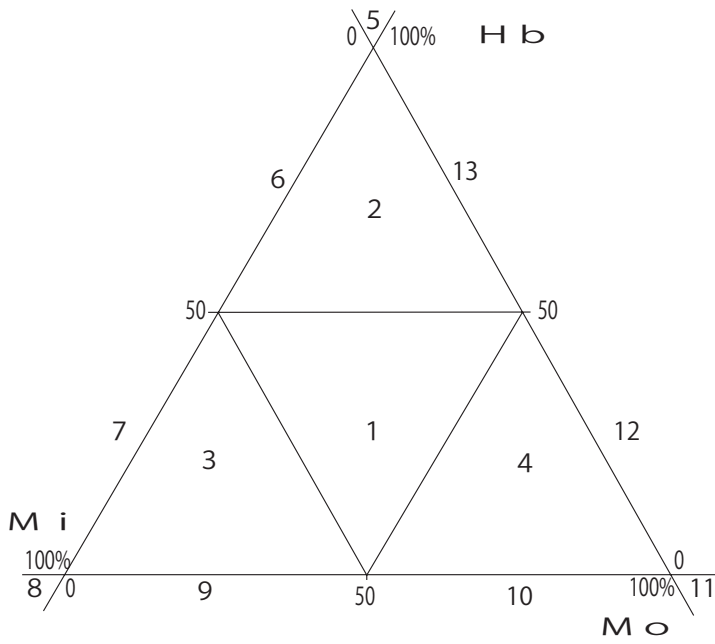
IV 自然科学分析

第3表 タイプ分類表

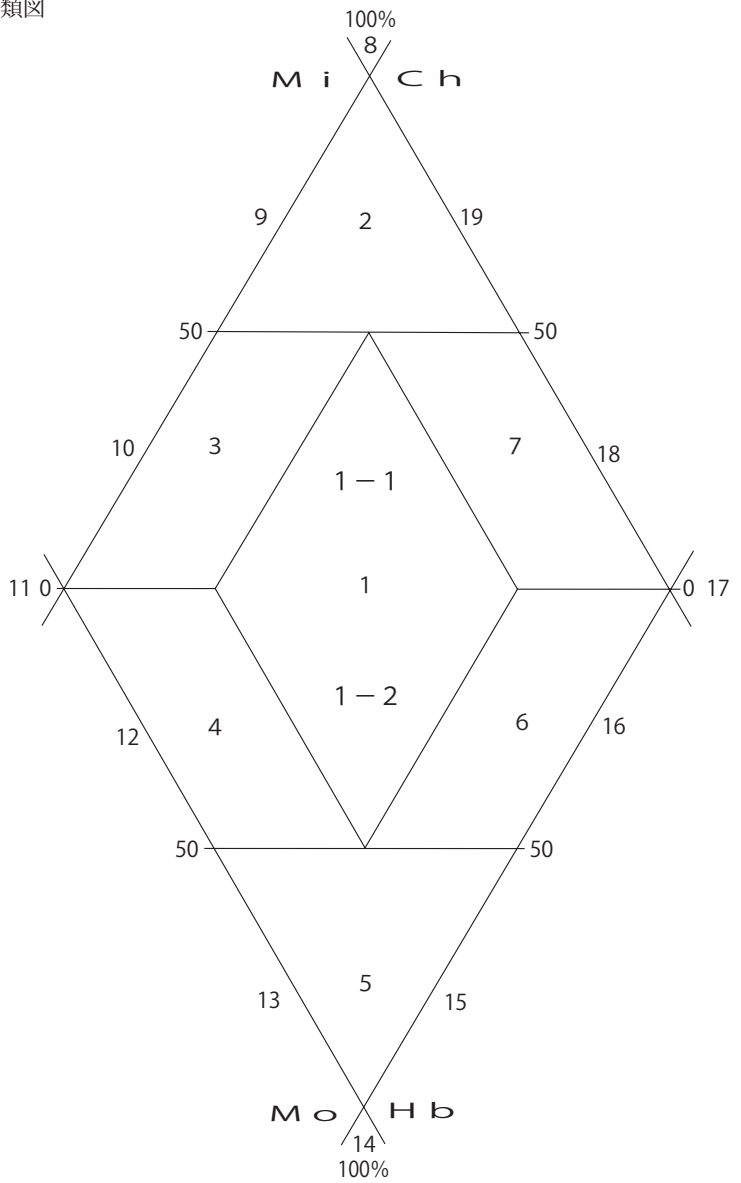
試料 No	タイプ		備 考				
	分類	種別	器種	時期	出土遺構	取上番号	備考
S-6	A	須恵器	甗	6～7世紀	90号住	27	
S-24	A	須恵器	杯	8世紀	149号住	B-11	
S-1	B	須恵器	甗	6～7世紀	65号住	50	
S-2	B	須恵器	甗	6～7世紀	67号住	53	3点癒着 窯体付着
S-3	B	須恵器	甗	6～7世紀	72号住	43	
S-4	B	須恵器	甗	6～7世紀	75号住	90	窯体付着
S-5	B	須恵器	甗	6～7世紀	75号住	200	
S-7	B	須恵器	甗	6～7世紀	90号住	38	
S-8	B	須恵器	甗	6～7世紀	522号住	29	
S-9	B	須恵器	甗	6～7世紀	538号住	59	
S-10	B	須恵器	甗	6～7世紀	538号住	南拡張部下層	
S-11	B	須恵器	甗	?	14号溝	1033	
S-12	B	須恵器	甗	?	15号溝	584	
S-13	B	須恵器	甗	?	15号溝	1004	
S-14	B	須恵器	杯	6世紀	65号住	埋土	
S-15	B	須恵器	杯	6世紀	79号住	カマド埋土	
S-16	B	須恵器	杯	6世紀	522号住	50	
S-17	B	須恵器	杯	6世紀	14号溝	63	
S-18	B	須恵器	高杯	6～7世紀	65号住	87	
S-19	B	須恵器	瓶類	6～7世紀	65号住	214	
S-20	B	須恵器	瓶類	6～7世紀	75号住	167	窯体付着
S-21	B	須恵器	甗	8世紀?	21号住	154	
S-22	B	須恵器	甗	8世紀?	149号住	B-109	
S-23	B	須恵器	杯	8世紀	21号住	255	
S-25	B	土師器	杯	6世紀	538号住	67	

第4表 組成分類表

試料No	種別	器種	時期	出土遺構	取上番号	備考
Iタイプ・Qt-1・Fe ₂ O ₃ -4						
S-1	須恵器	甗	6～7世紀	65号住	50	
S-2	須恵器	甗	6～7世紀	67号住	53	3点癒着 窯体付着
S-5	須恵器	甗	6～7世紀	75号住	200	
S-8	須恵器	甗	6～7世紀	522号住	29	
S-16	須恵器	杯	6世紀	522号住	50	
S-19	須恵器	瓶類	6～7世紀	65号住	214	
S-20	須恵器	瓶類	6～7世紀	75号住	167	窯体付着
S-21	須恵器	甗	8世紀?	21号住	154	
IIタイプ・Qt-1・Fe ₂ O ₃ -4						
S-3	須恵器	甗	6～7世紀	72号住	43	
S-4	須恵器	甗	6～7世紀	75号住	90	窯体付着
S-6	須恵器	甗	6～7世紀	90号住	27	
S-7	須恵器	甗	6～7世紀	90号住	38	
S-9	須恵器	甗	6～7世紀	538号住	59	
S-10	須恵器	甗	6～7世紀	538号住	南拡張部下層	
S-12	須恵器	甗	?	15号溝	584	
S-13	須恵器	甗	?	15号溝	1004	
S-14	須恵器	杯	6世紀	65号住	埋土	
S-17	須恵器	杯	6世紀	14号溝	63	
S-18	須恵器	高杯	6～7世紀	65号住	87	
S-22	須恵器	甗	8世紀?	149号住	B-109	
IVタイプ・Qt-2・Fe ₂ O ₃ -1						
S-11	須恵器	甗	?	14号溝	1033	
S-23	須恵器	杯	8世紀	21号住	255	
S-24	須恵器	杯	8世紀	149号住	B-11	
Iタイプ・Qt-1・Fe ₂ O ₃ -5						
S-15	須恵器	杯	6世紀	79号住	カマド埋土	
IIIタイプ・Qt-3・Fe ₂ O ₃ -6						
S-25	土師器	杯	6世紀	538号住	67	
Qt-dはQt-1を細分した時の分類						

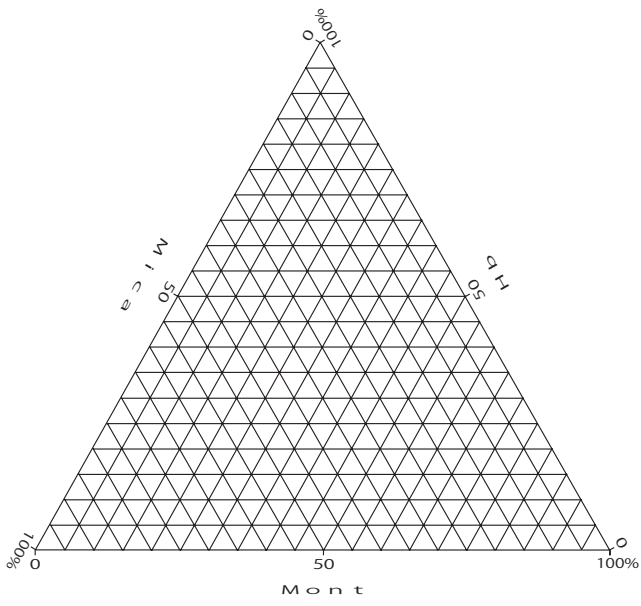


第1図 三角ダイヤグラム 位置分類図

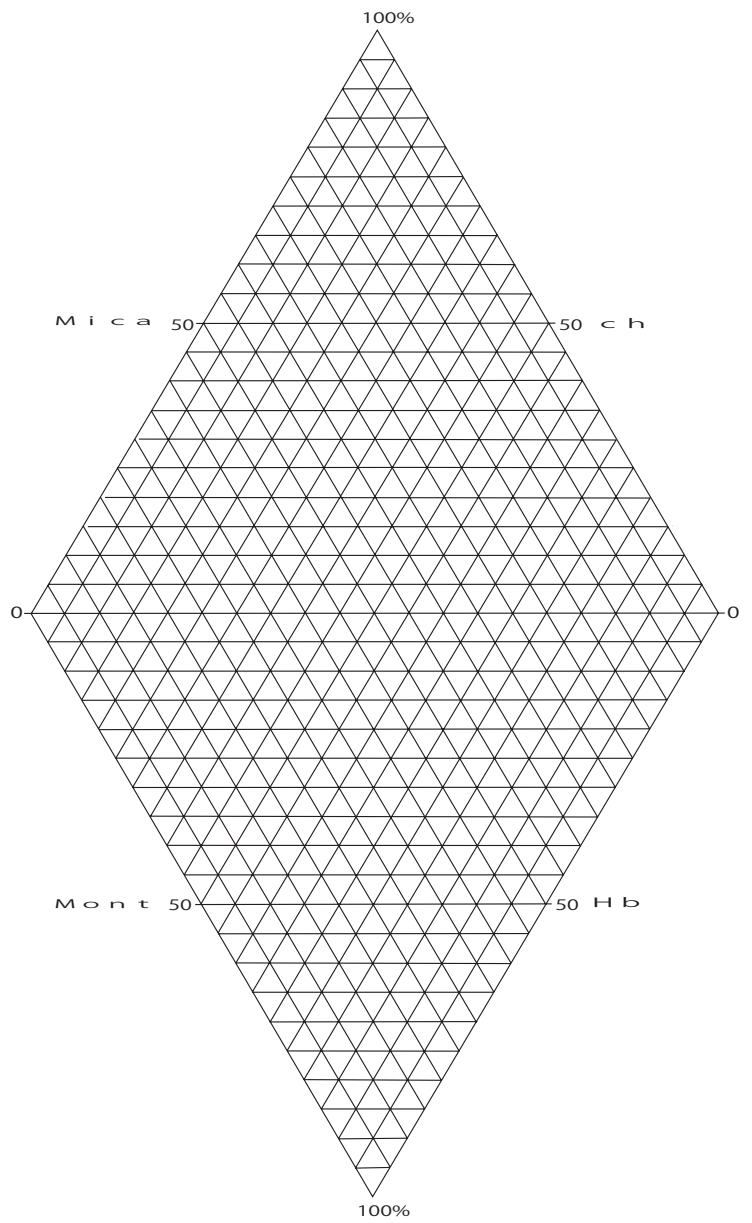


第2図 菱形ダイヤグラム 位置分類図

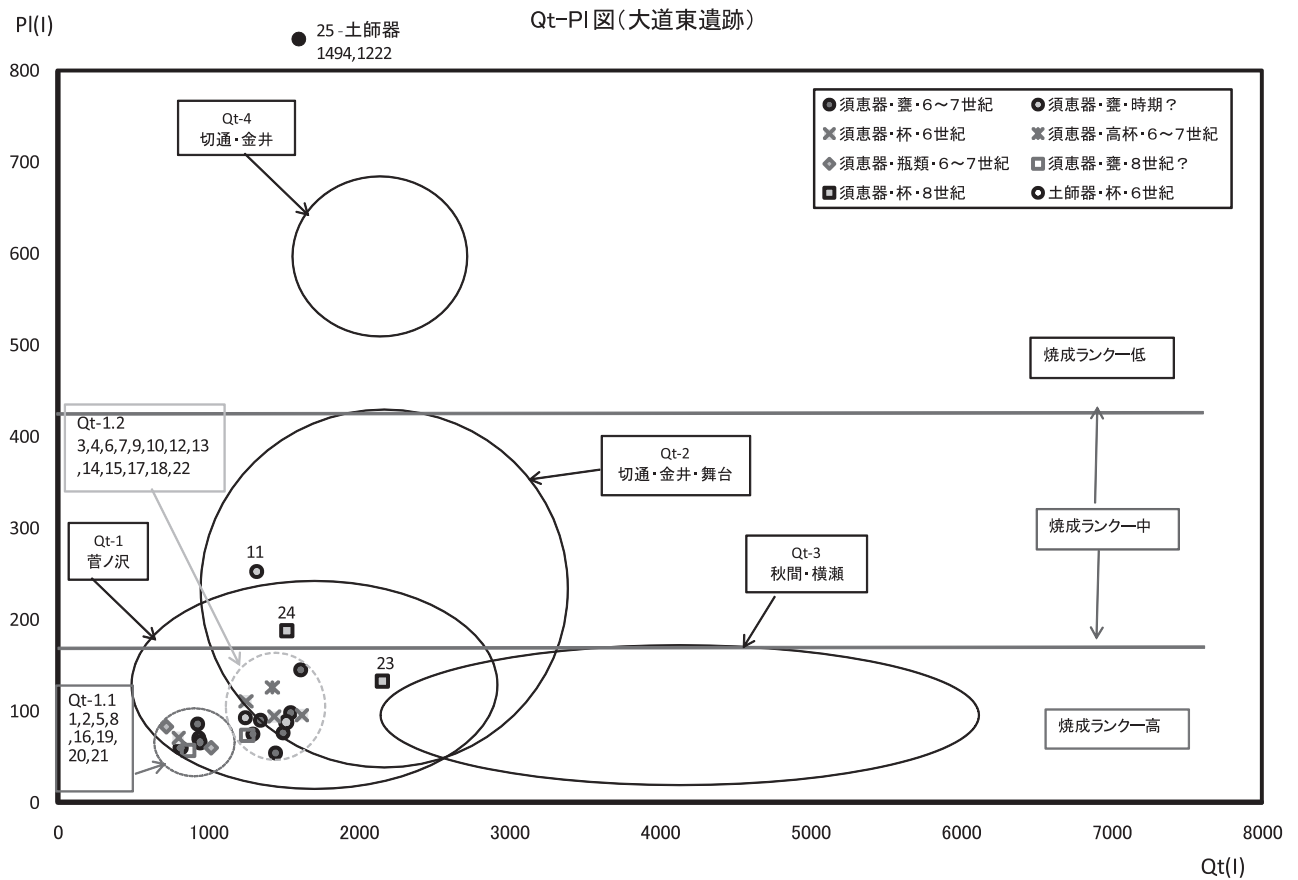
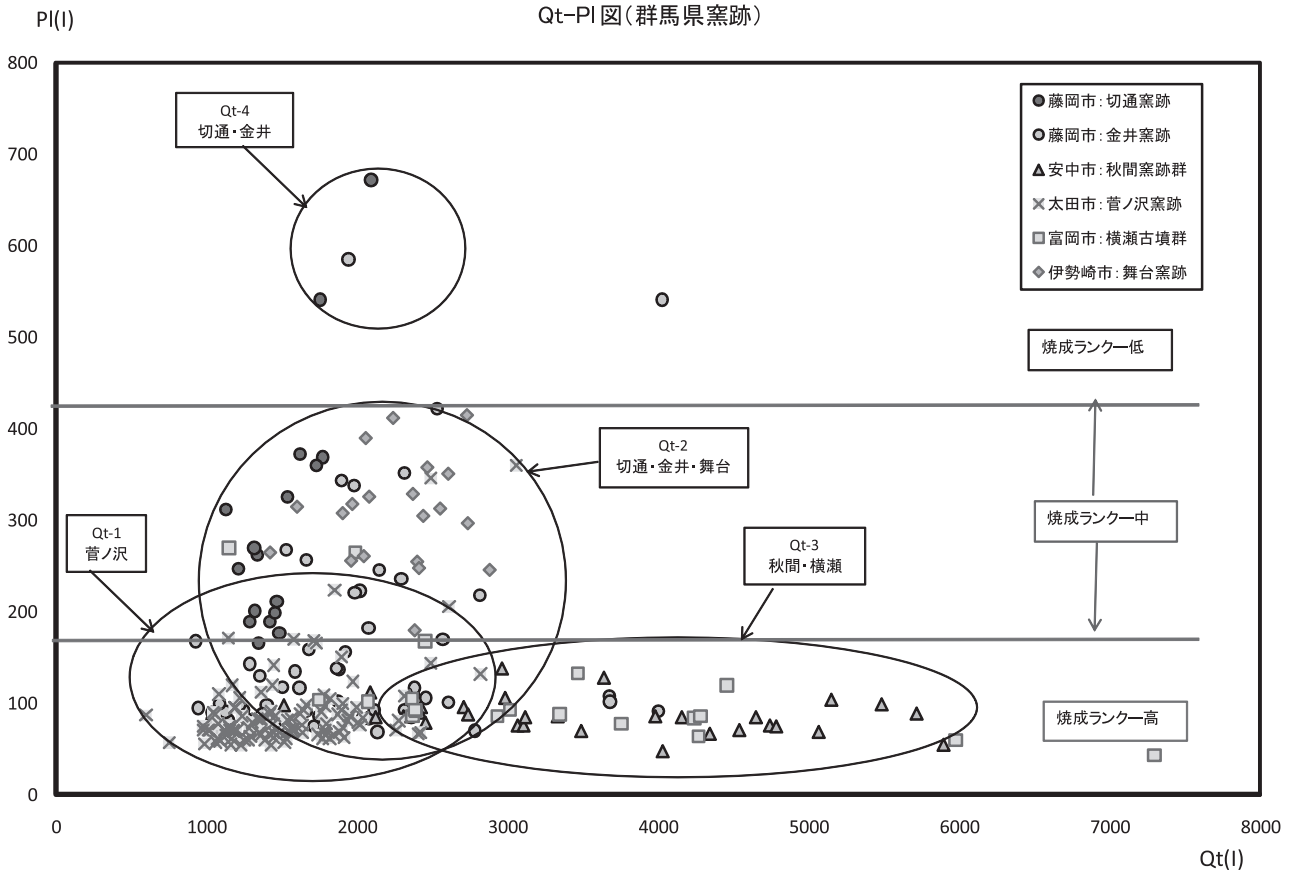
IV 自然科学分析



第3図 Mo - Mi - Hb 三角ダイヤグラム

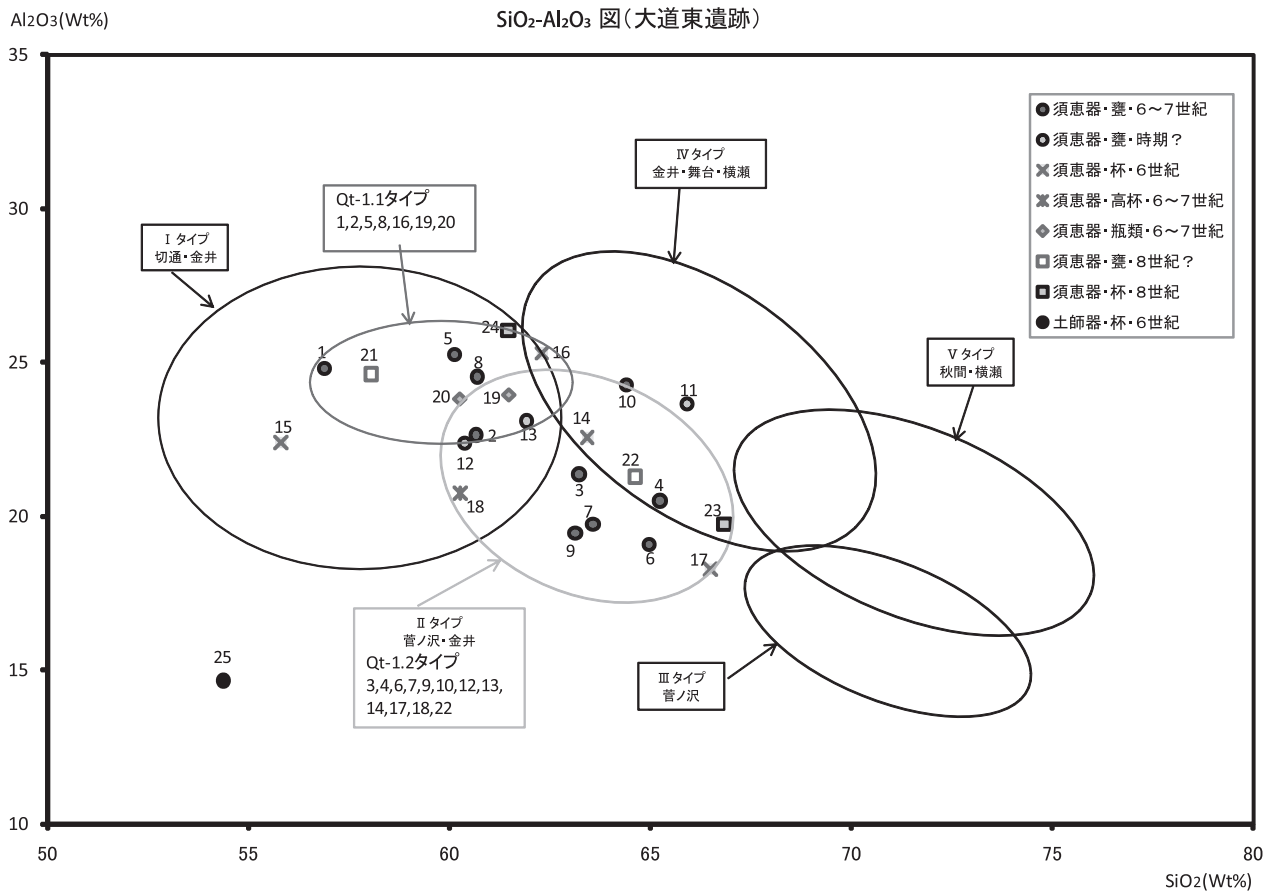
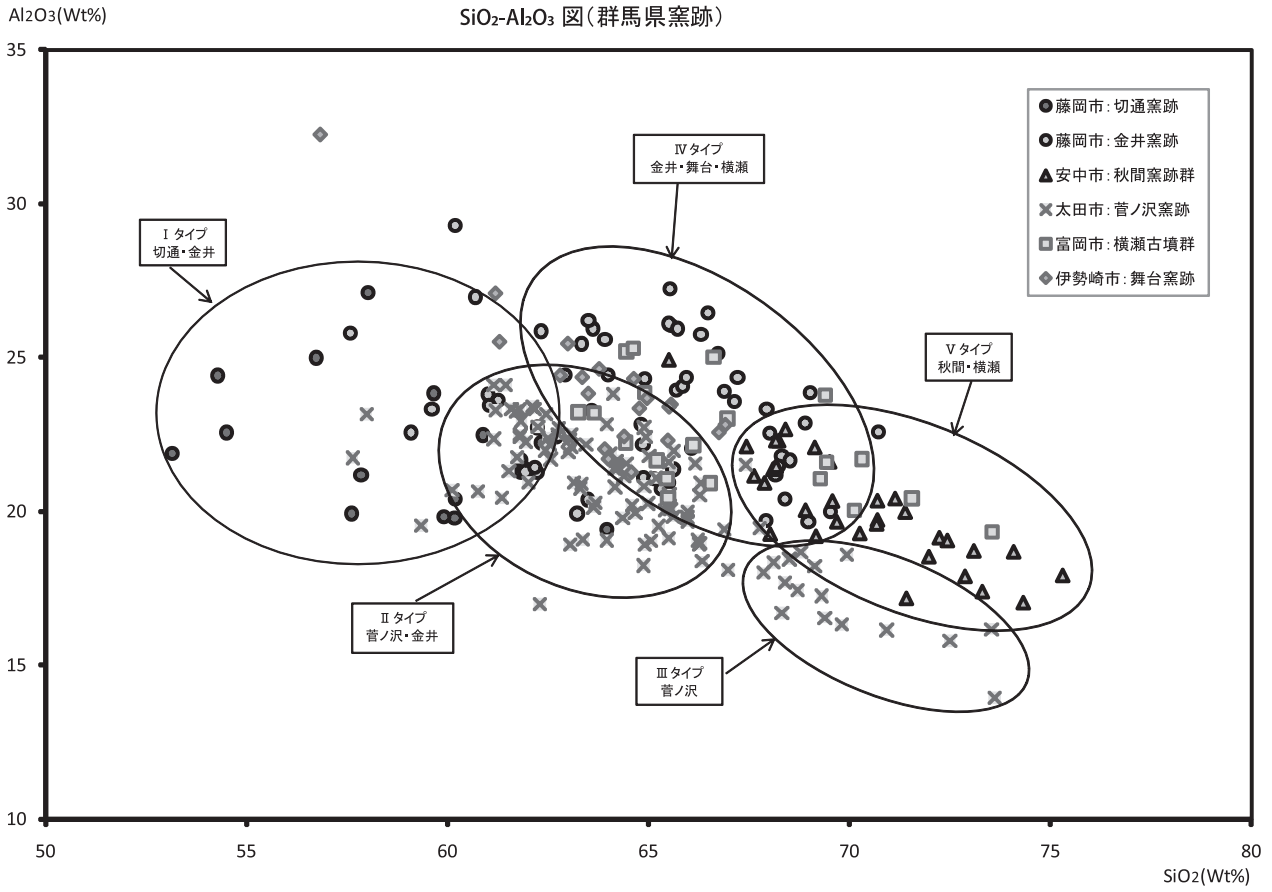


第4図 Mo - Mi - Hb - CH 菱角ダイヤグラム

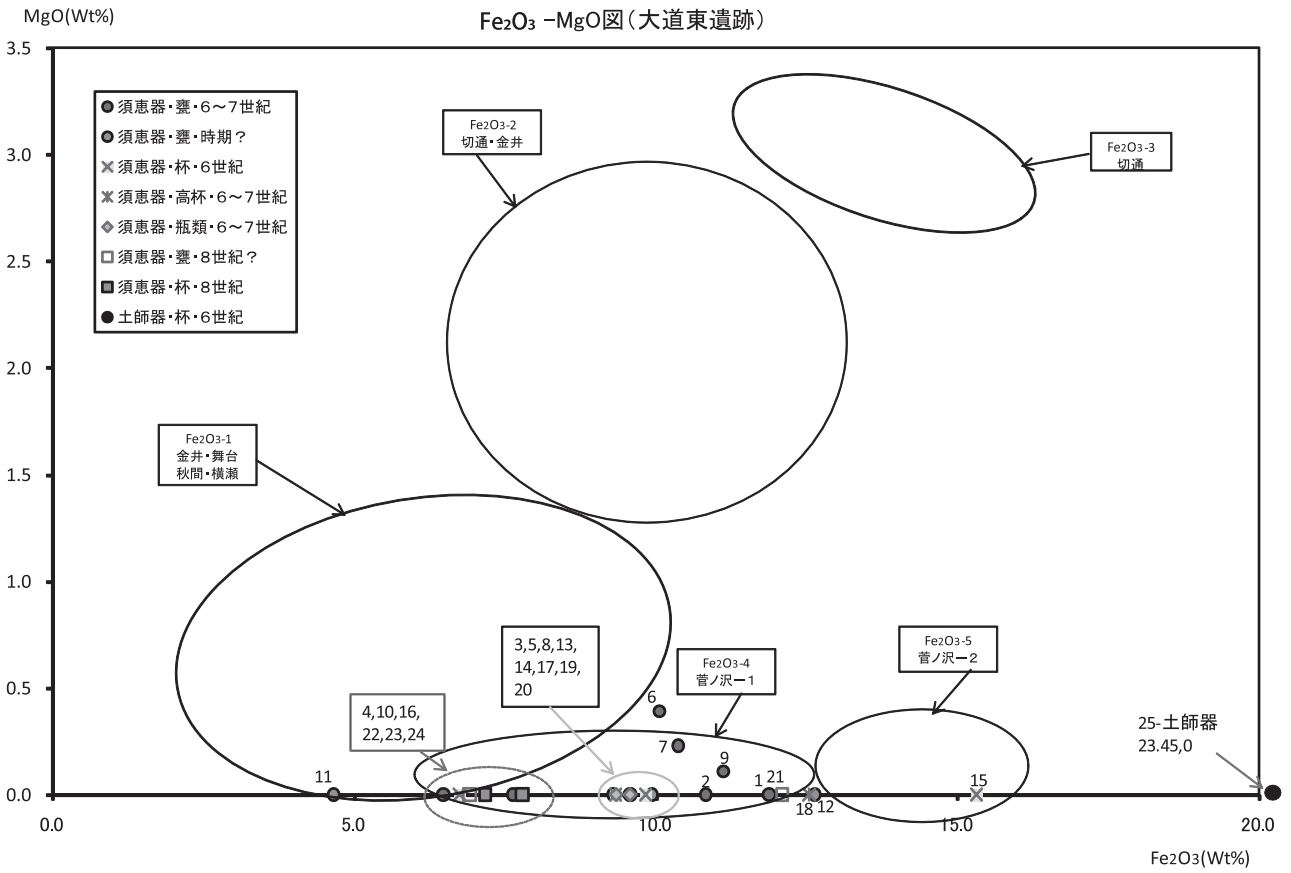
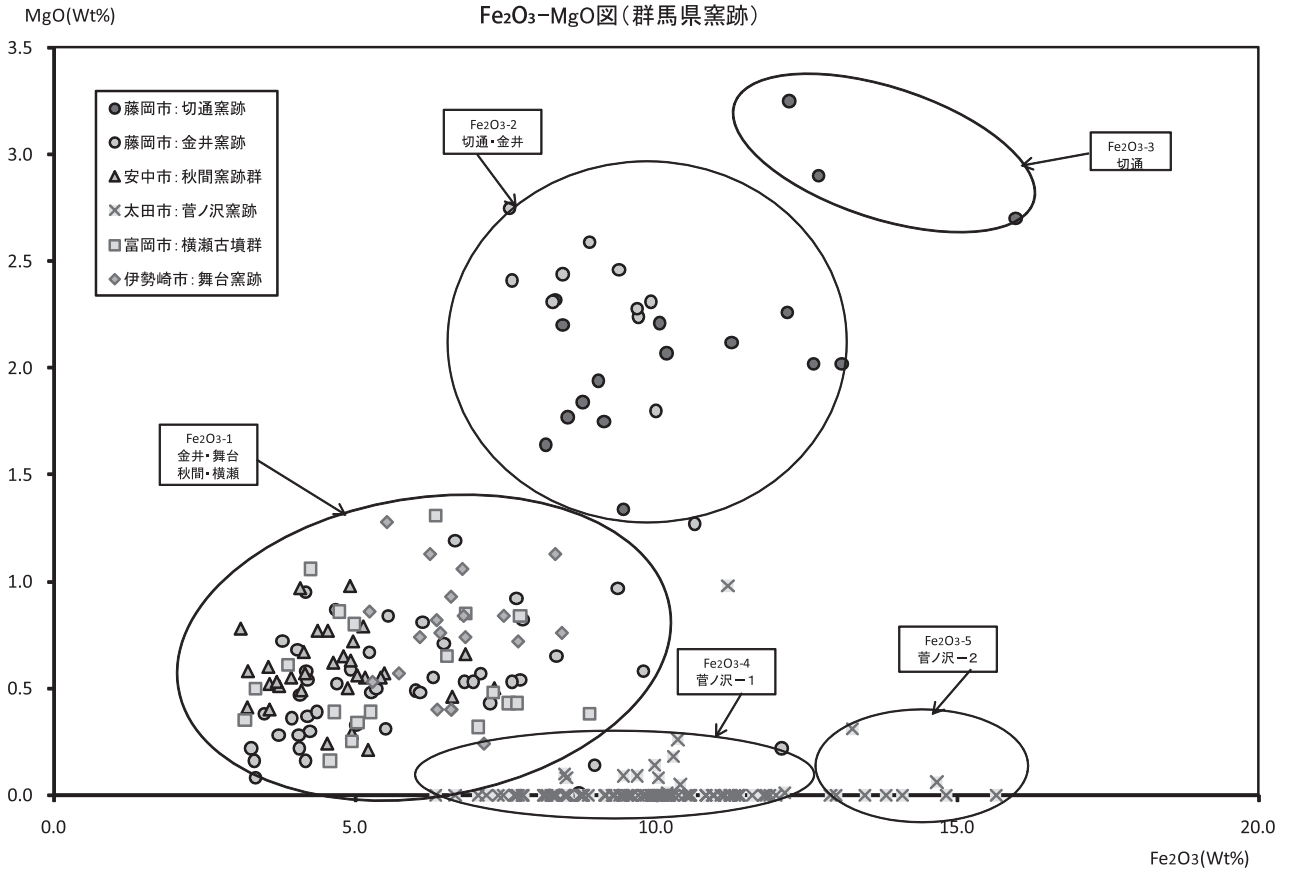


第5図

IV 自然科学分析

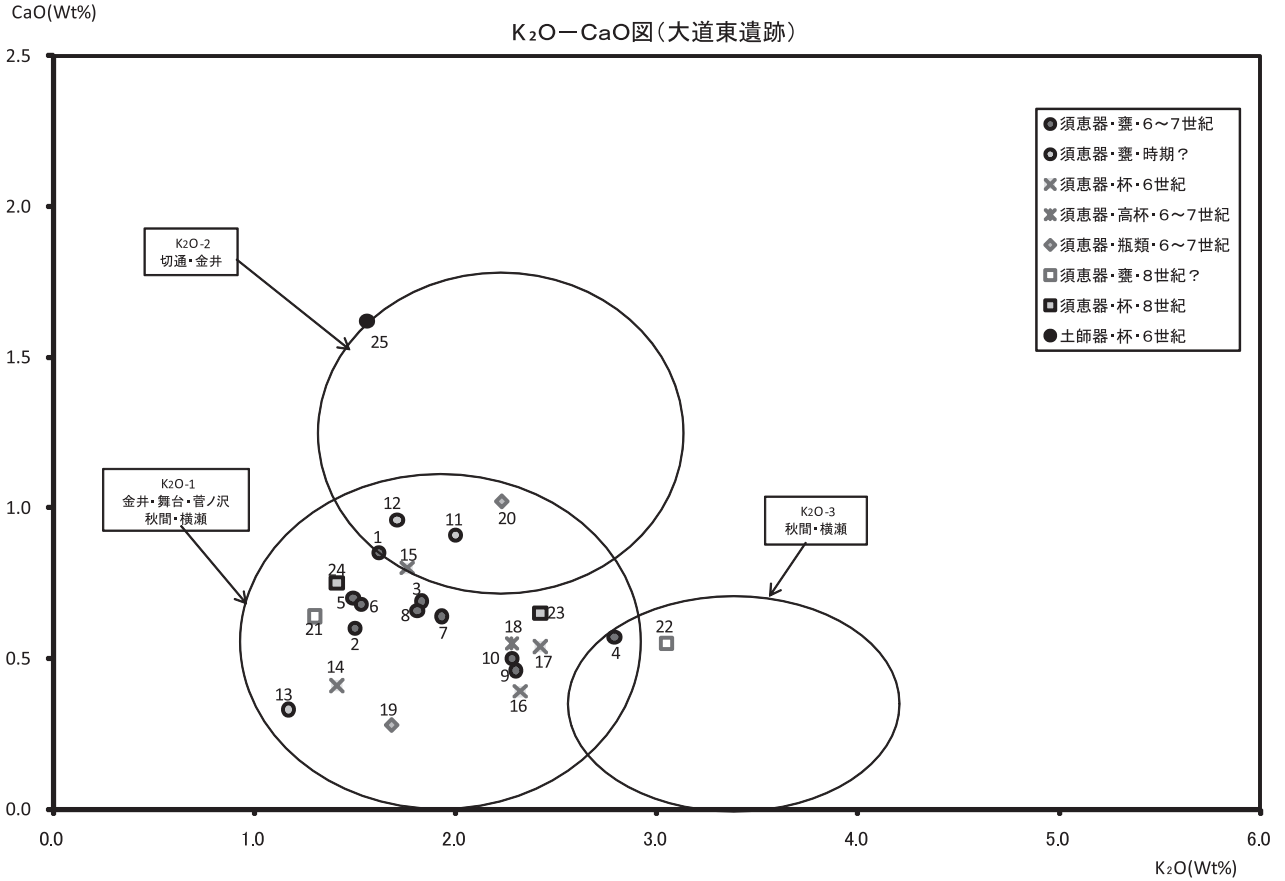
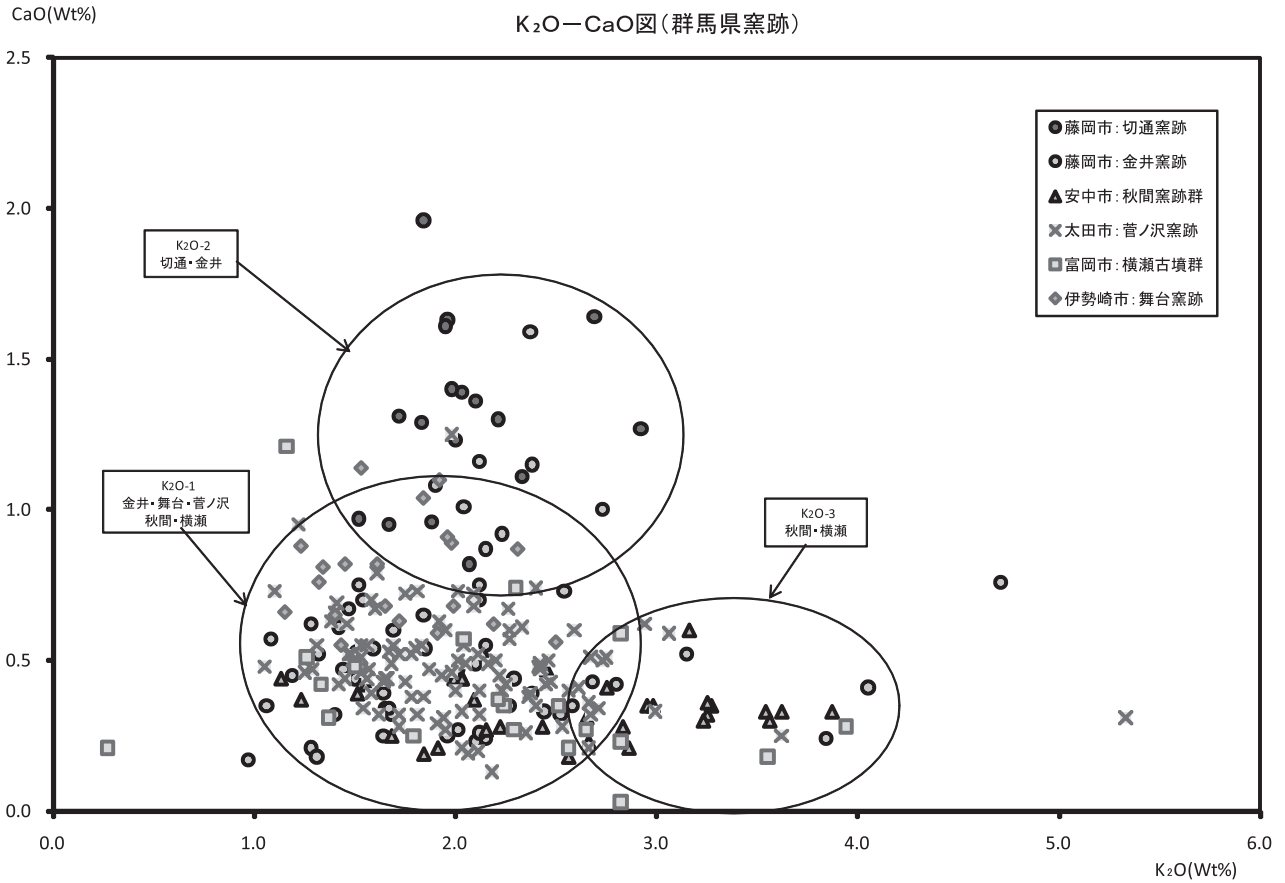


第6図

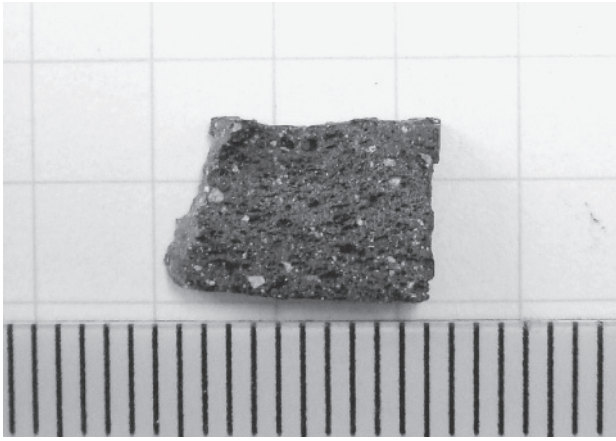


第7図

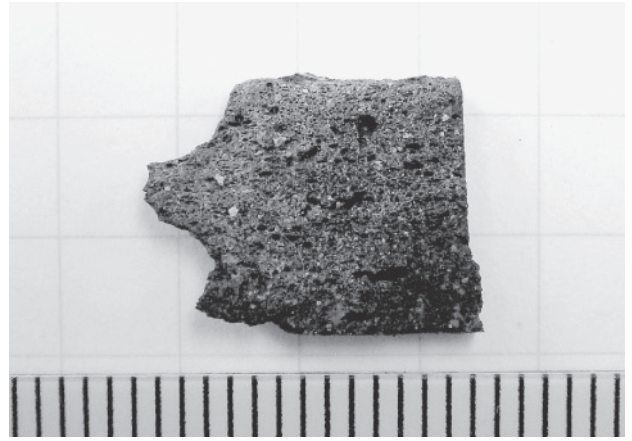
IV 自然科学分析



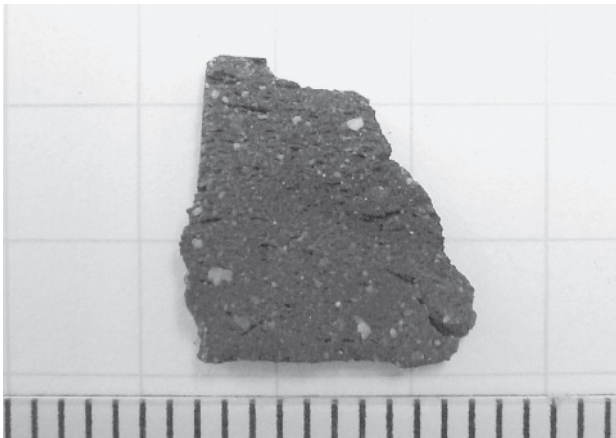
第8図



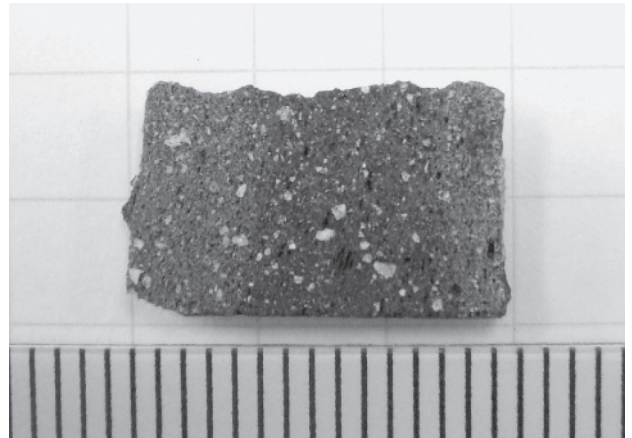
S-1



S-2



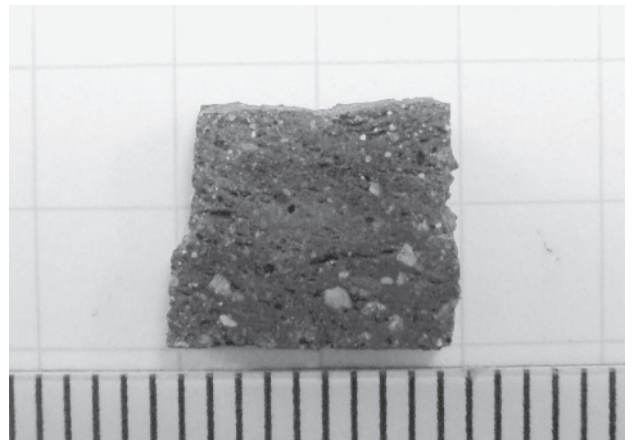
S-3



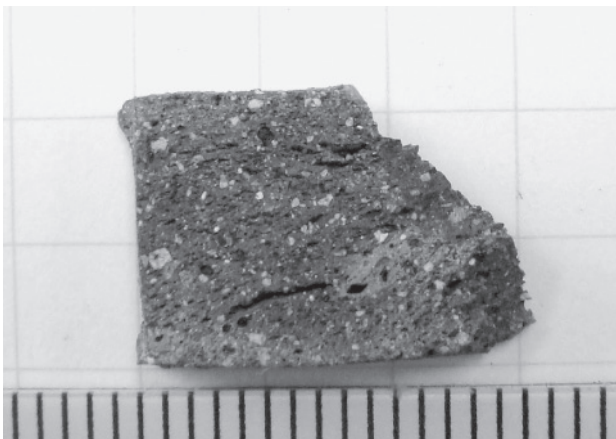
S-4



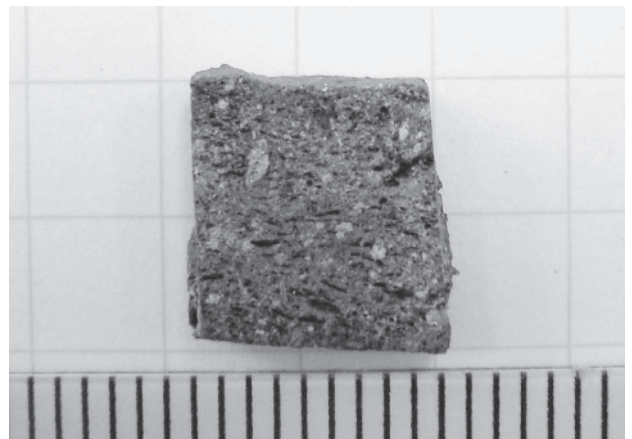
S-5



S-6



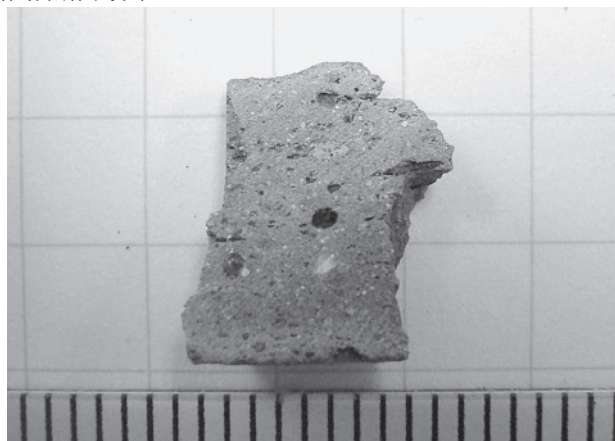
S-7



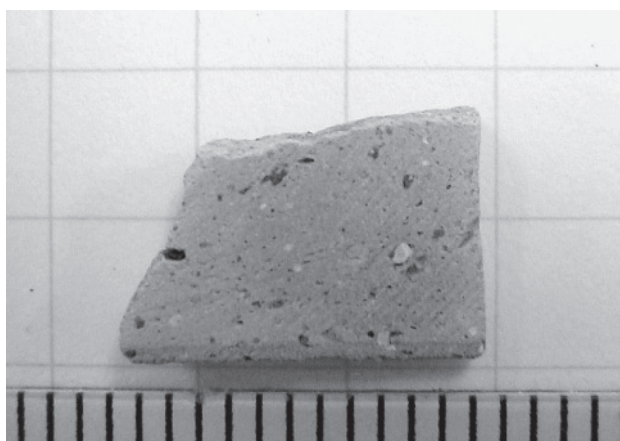
S-8



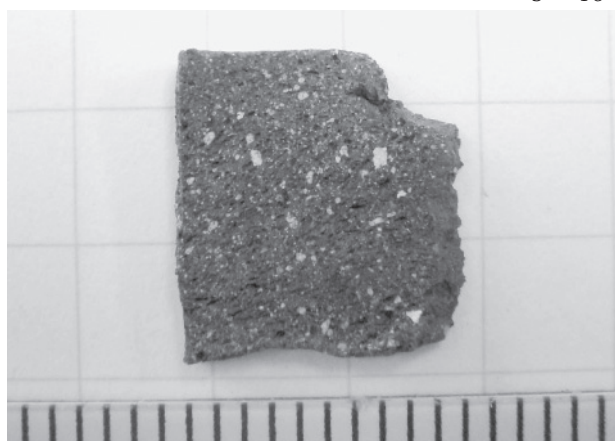
S-9



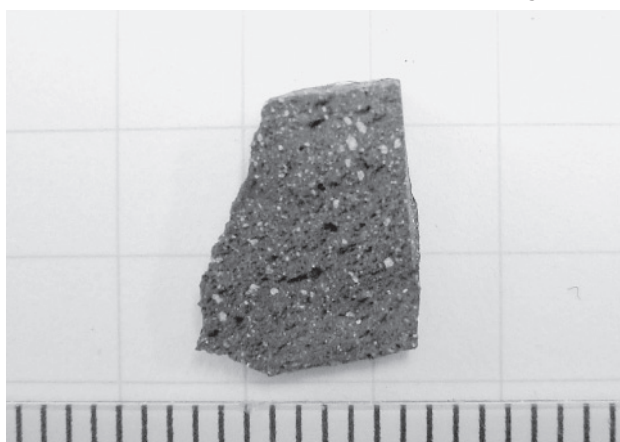
S-10



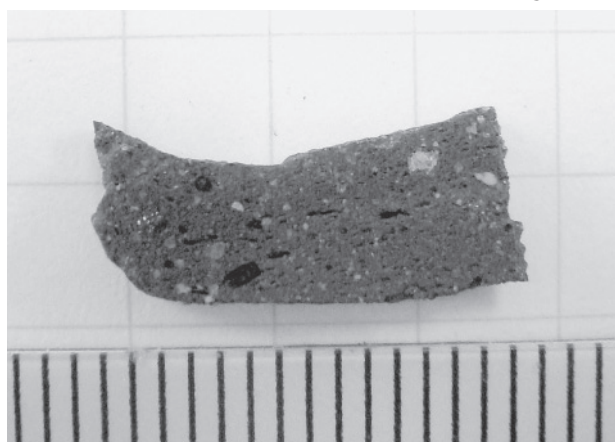
S-11



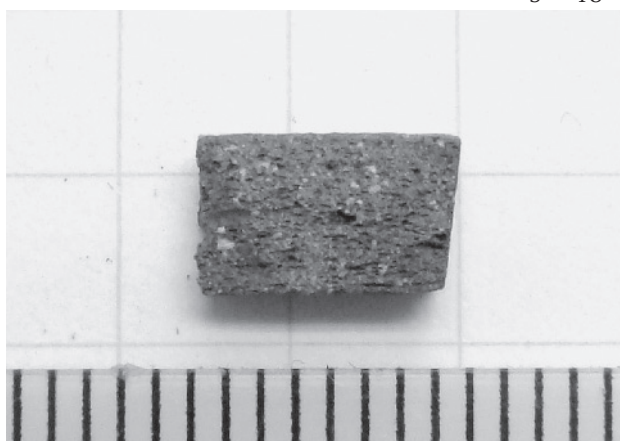
S-12



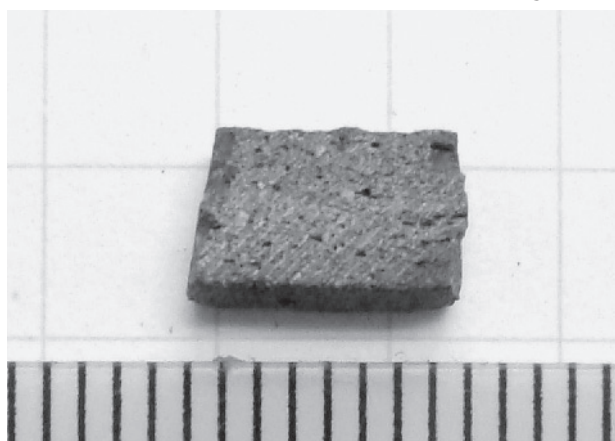
S-13



S-14

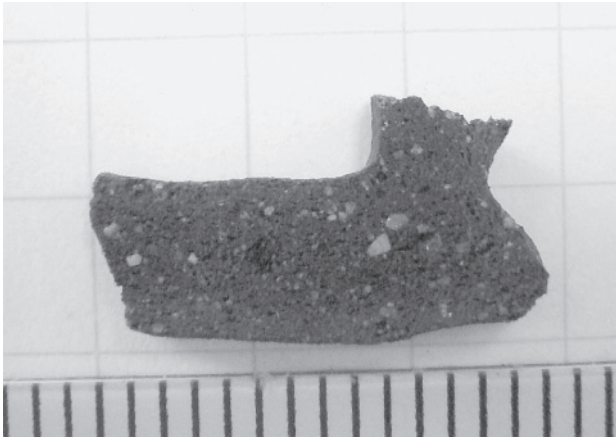


S-15

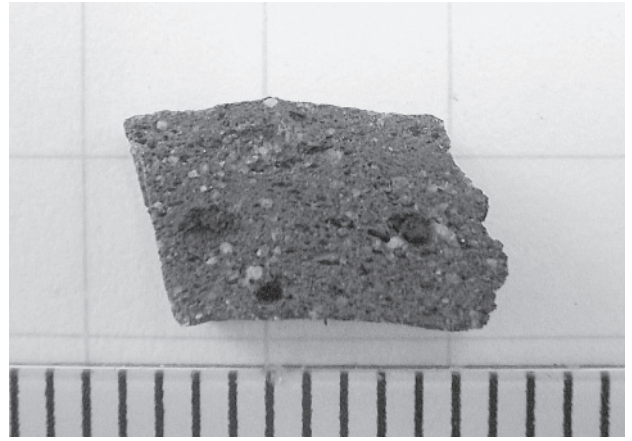


S-16

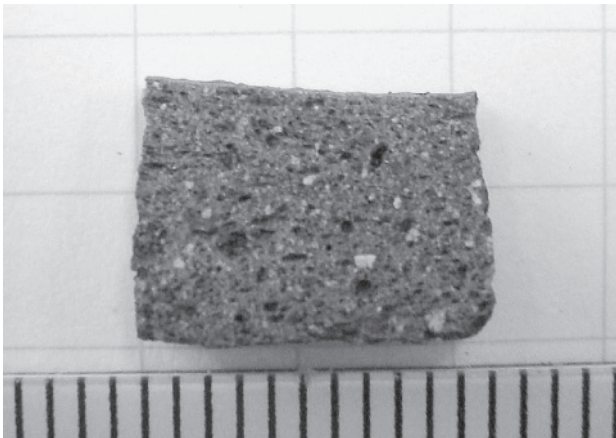
大道東遺跡胎土分析試料断面写真 3



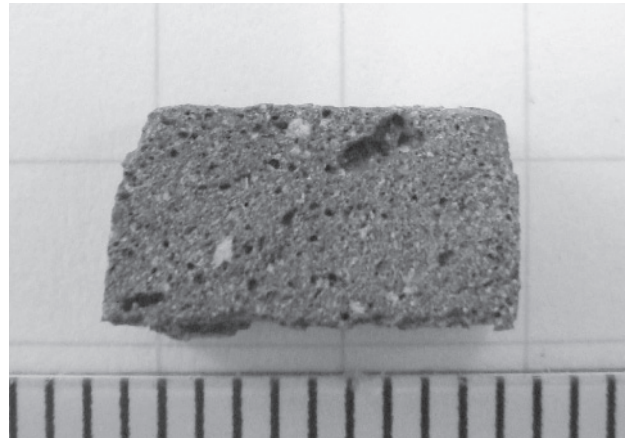
S-17



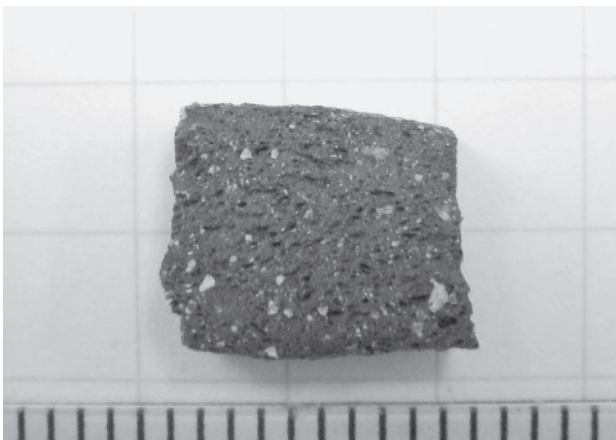
S-18



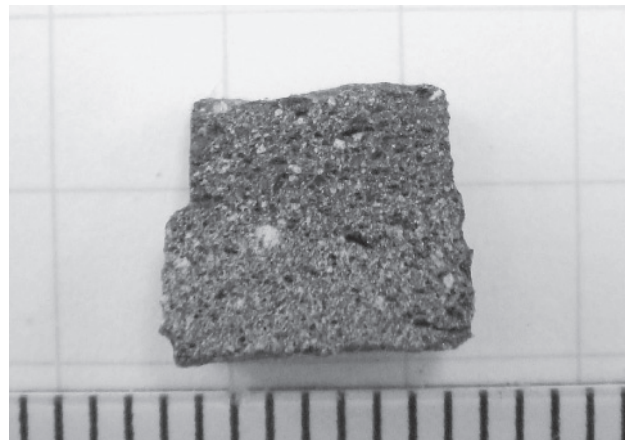
S-19



S-20



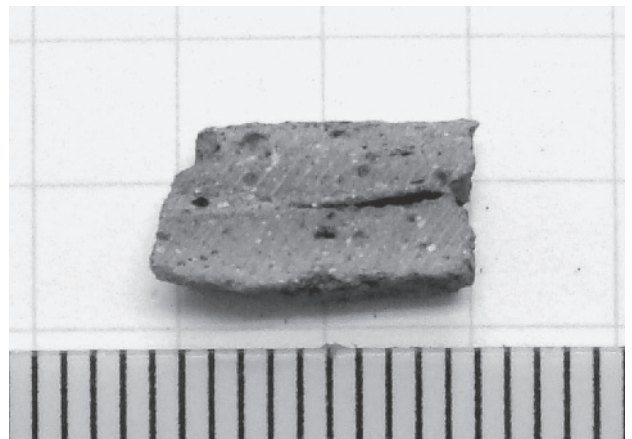
S-21



S-22



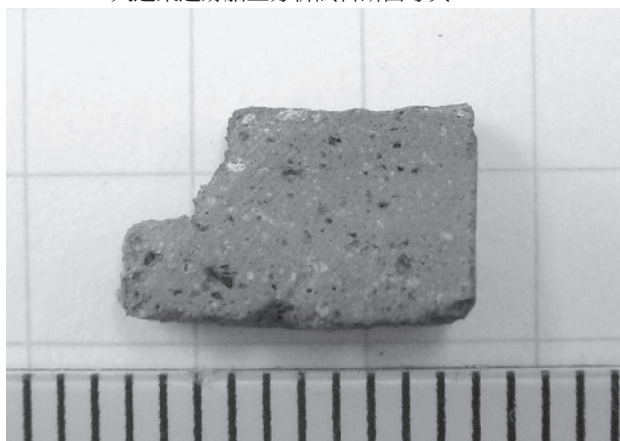
S-23



S-24

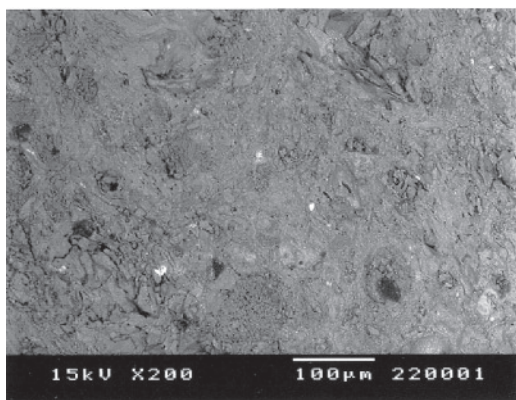
IV 自然科学分析

大道東遺跡胎土分析試料断面写真4

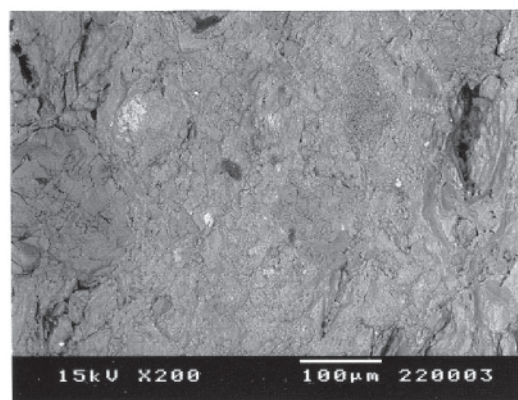


S-25

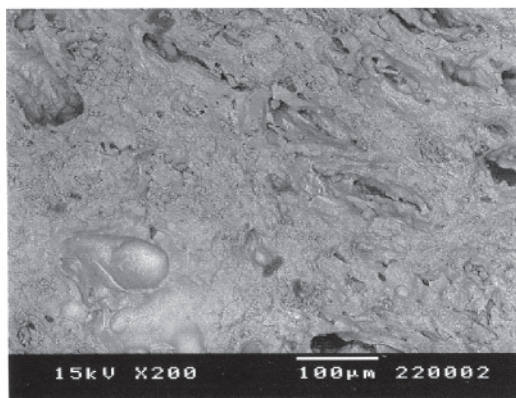
大道東遺跡胎土分析試料電顕写真1



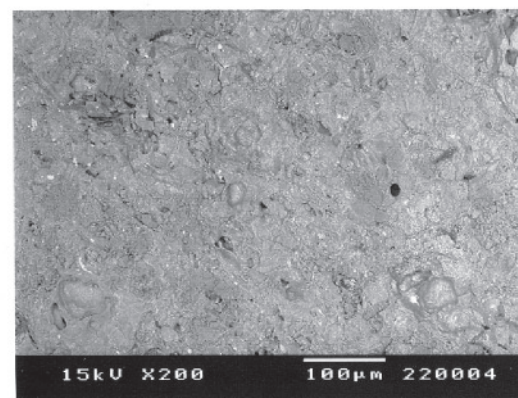
S-1



S-2

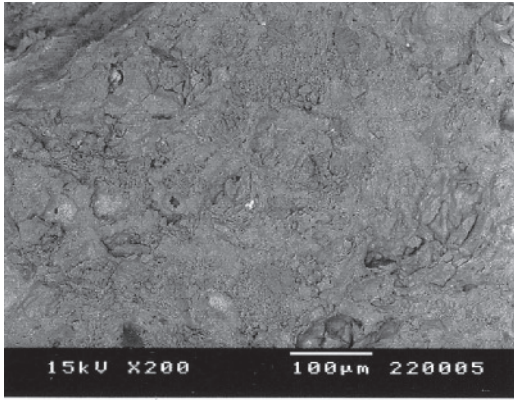


S-3

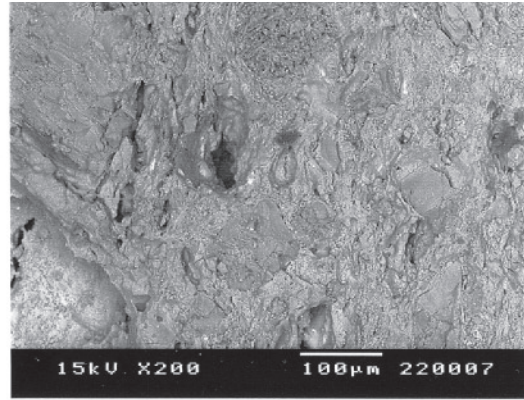


S-4

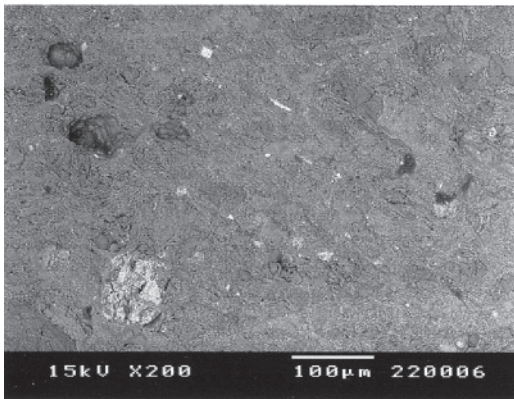
大道東遺跡胎土分析試料電顕写真2



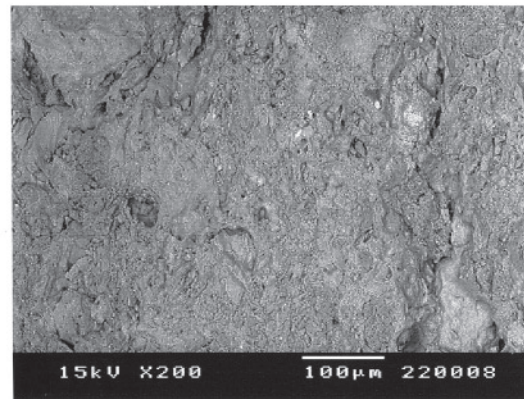
S-5



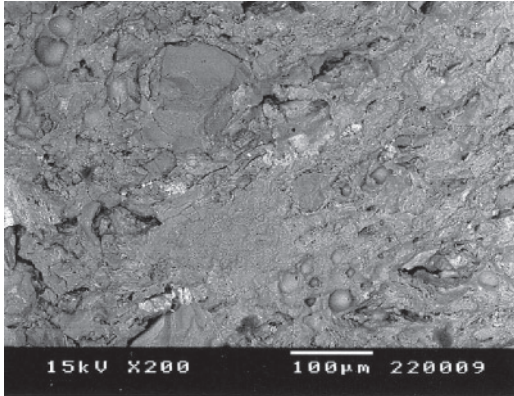
S-6



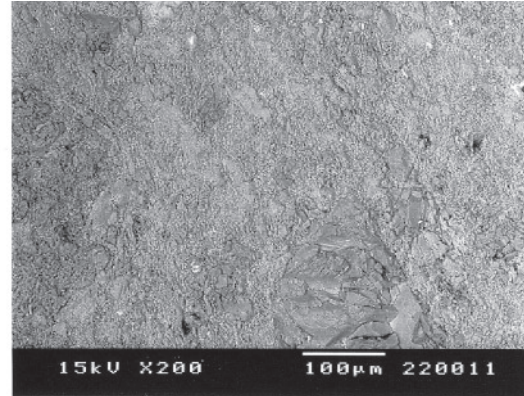
S-7



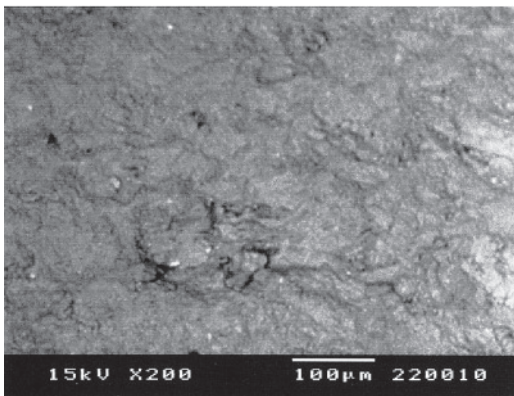
S-8



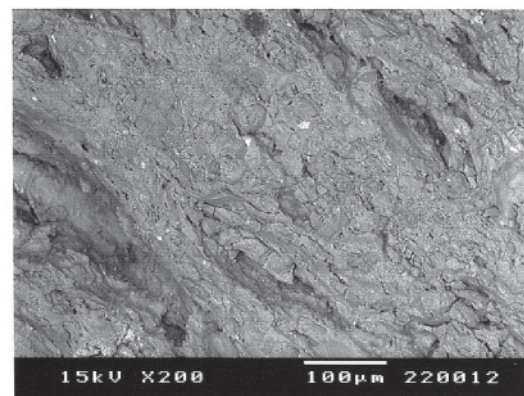
S-9



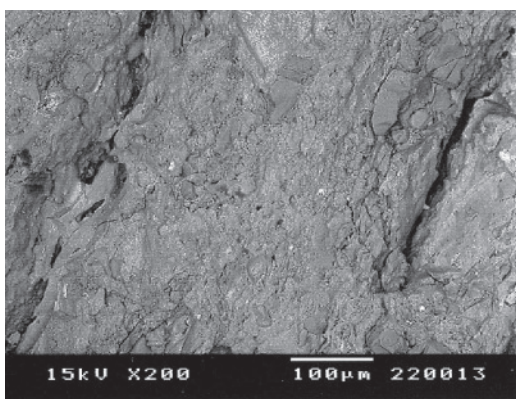
S-10



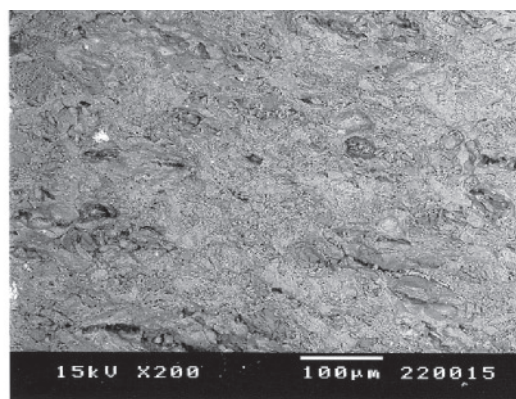
S-11



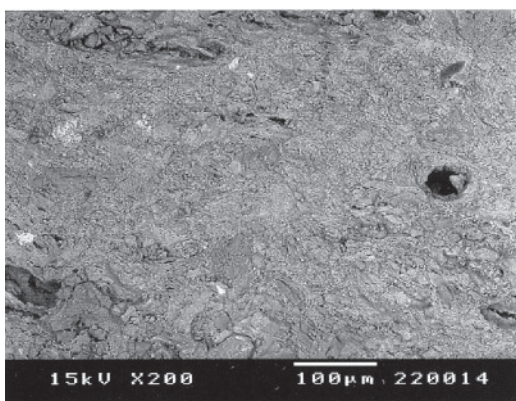
S-12



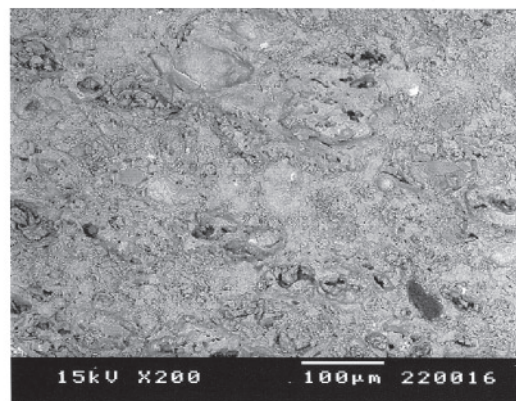
S - 13



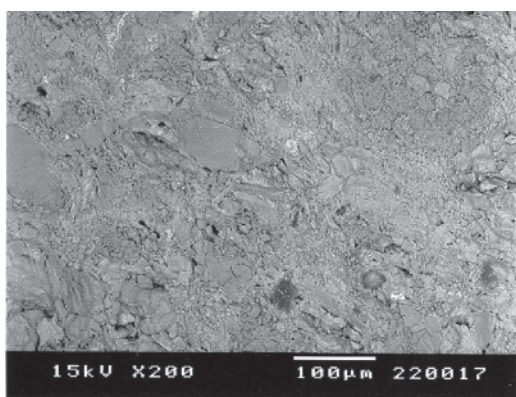
S - 14



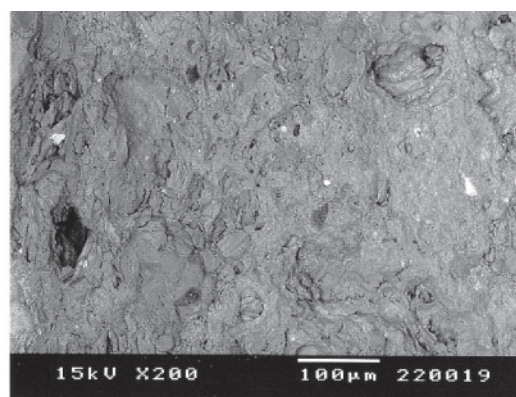
S - 15



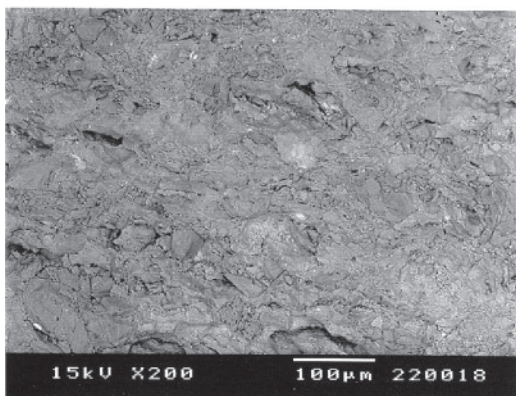
S - 16



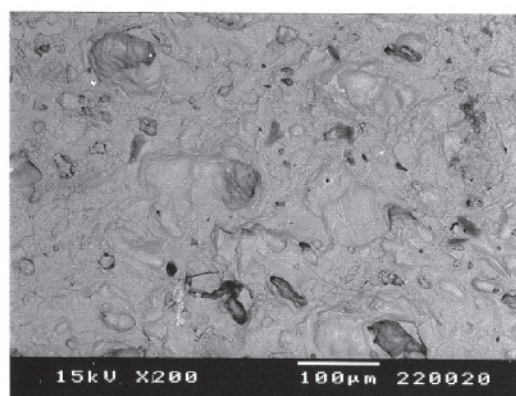
S - 17



S - 18

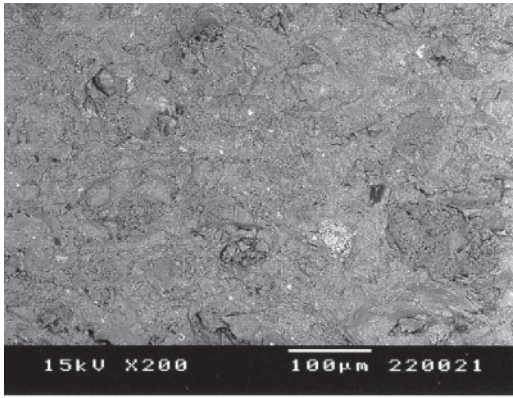


S - 19

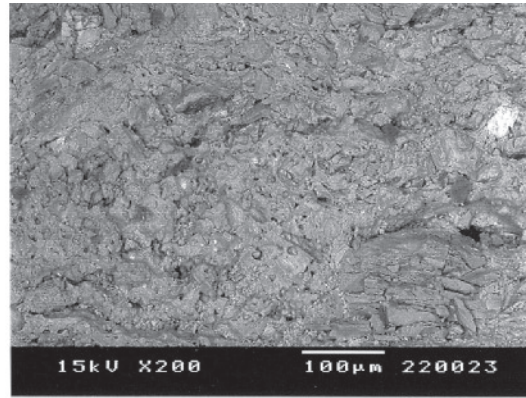


S - 20

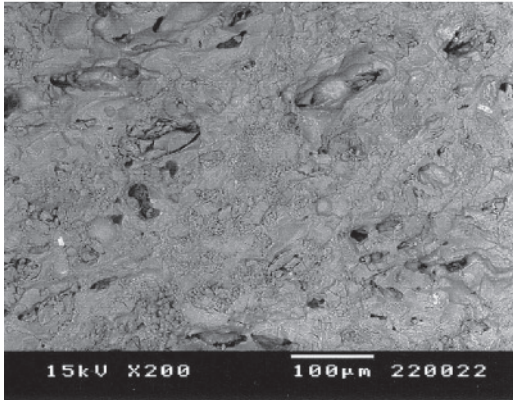
大道東遺跡胎土分析試料電顕写真4



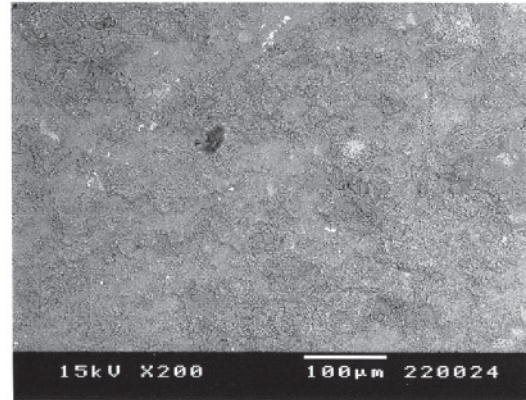
S-21



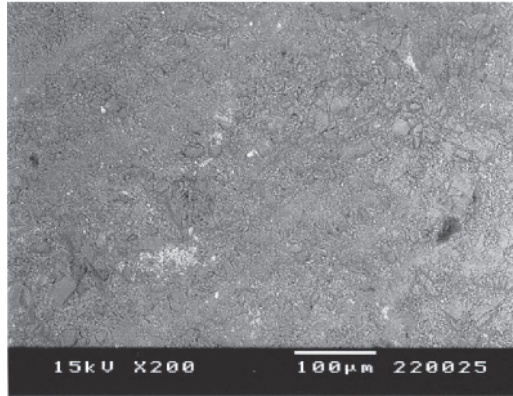
S-22



S-23



S-24



S-25

2 推定東山道駅路南側溝出土馬歯

上記鑑定は、足利工業大学講師：宮崎重雄氏に依頼した。鑑定結果は以下のとおりである。

ウマの上顎臼歯で、歯根側を上にし、咬合面側を下にして、左右とも原初の歯列を保ったまま埋存していた。その下部に下顎臼歯の埋存も期待されたため、発掘現場で下側の土塊も一緒に取り上げられた。室内で下顎骨相当部の土を取り除く作業をていねいにおこなってみたが、結局下顎臼歯は存在していなかった。下顎骨が取り除かれ、頭骨だけが持ち込まれ埋められたということになる。下顎骨を欠く理由については不明である。

出土は左右とも全上顎臼歯が揃っていたと思われるが、現状では左第1前臼歯、左第2前臼歯を欠損している。残存する歯から判断して、日本在来馬相当の馬格の壮令馬と思われる。

計測値

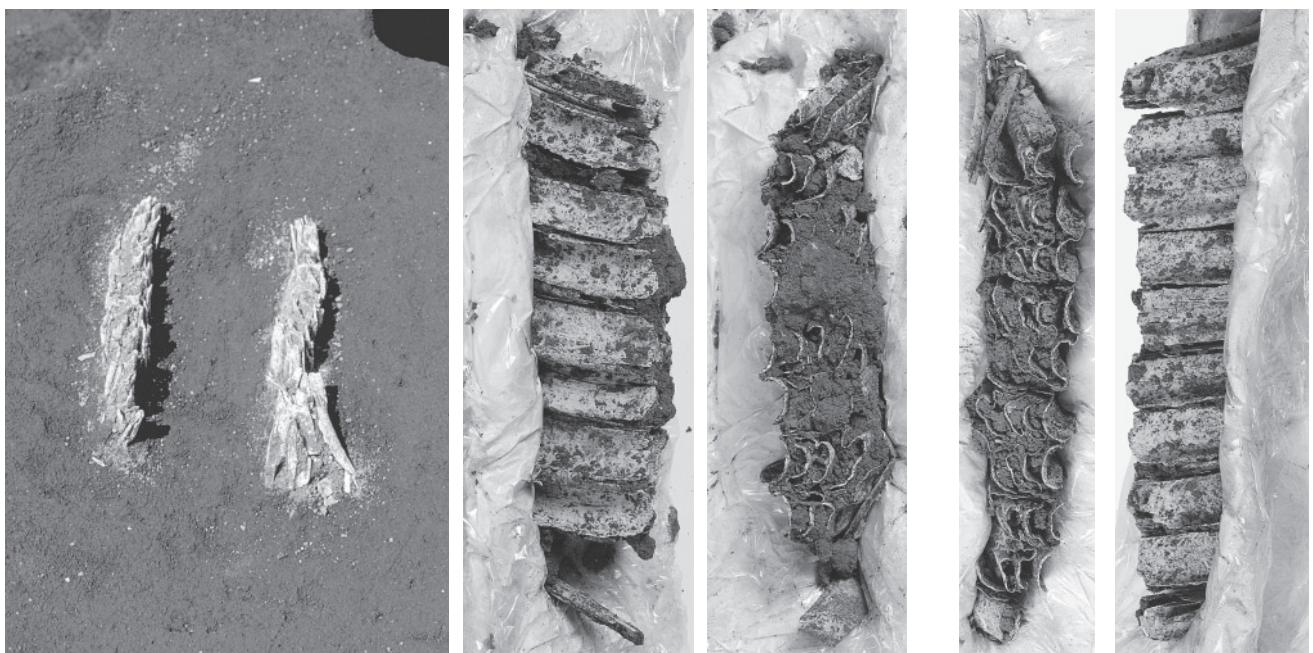
	第2前臼歯	第3前臼歯	第4前臼歯	第1後臼歯	第2後臼歯	第3後臼歯
歯冠長	13.0+	27.3	25.0	24.1	26.4	29.0+
歯冠頰側間距離	—	—	11.2	11.5	11.5	10.5
歯冠舌側間距離	—	—	5.2	—	7.5	7.6
左右頰側面歯間距離			11.2	11.5	11.5	10.5

単位：mm

参考文献

西中川駿編「古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究」平成2年度文部省科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書,1991年

林田重幸「日本在来馬の源流」『日本古代文化の探求・馬』社会思想社,215-26



馬歯出土状況

左側面

左咬合面

右咬合面

右側面

V 総括

1 古墳時代後期～平安時代の出土土器の変遷について

はじめに

大道東遺跡の発掘調査では竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑、道路遺構など多くの遺構を検出した。特に、竪穴住居は300軒を検出し、そこからの出土遺物も93,000点に及ぶ。そこでここでは、竪穴住居の新旧関係、住居内の遺物の共伴関係、遺物の形態から、当遺跡の古墳時代後期～平安時代の土器の変遷について考察したいと思う。

(1) 出土土器の共伴関係

出土土器の分類は、Ⅲ-2-(3)でおこなっているため、その分類に従って住居内の土器の共伴関係を確認することにする。器種は、普遍的に出土し出土量も多い、土師器杯・高杯・甕、須恵器杯・蓋・高杯を使用し、『大道東遺跡(2)』に掲載された、3・4区の竪穴住居も対象とする。

各住居における、分類別の遺物の出土状況と各分類別の共伴軒数を表に示した(竪穴住居出土遺物分類別出土状況表・竪穴住居共伴頻度表 分類別出土状況表中の数字は図示した遺物数を表し、共伴頻度表中の数字は縦軸と横軸の遺物が共伴した住居の軒数を表している)。まず、共伴が多い器種をあげることにする(カッコ内は共伴軒数を示す)。土師器杯A-1と土師器杯A-3(14)・土師器甕A-2(18)・須恵器杯B(14)・須恵器高杯A(15)。土師器杯A-2と土師器杯B-1(26)・土師器甕A-2(12)・須恵器杯C-3(15)・D-1(14)・須恵器蓋B-1d(14)。土師器杯B-1と土師器甕A-2(22)・B-1(34)・須恵器杯B・須恵器杯C2・3・4(14・40・16)・須恵器杯D-1(27)・須恵器蓋B-1d(27)。土師器甕A-2と土師器甕A-3(21)・須恵器杯B(28)・C-3(28)・D-1(15)・須恵器蓋B-1d(17)。土師器甕B-1と須恵器杯C-3(30)・D-1(17)・須恵器蓋B-1d(21)。須恵器杯C-3と須恵器杯C-4(25)・D-1(28)・須恵

器蓋B-1d(25)。須恵器杯C-4と須恵器杯D-1(14)・須恵器蓋B-1d(15)、須恵器杯D-1と須恵器蓋B-1d(19)等が多くなっている。

過去の研究等から土師器杯はA(A-2は除く)→B→D→Eの、土師器甕はA→B1→B2の、須恵器杯はA→B→C1~5・D1→C6・D2の、須恵器蓋は、A→B1a→B1b→B1c・B1dの順に変遷することが判明している。

これに従って共伴関係を見ると、各器種の古い段階は、土師器杯A1は、土師器甕A2・須恵器杯B・須恵器高杯Aが多いが、土師器甕A1、須恵器杯Aとも共伴している。土師器杯A3も、土師器杯A1・土師器甕A2・須恵器高杯A等が多い。土師器杯A1・A3はいずれも須恵器杯・蓋の模倣であり、共伴する住居も多いが、A1が須恵器杯Bや土師器杯B1とも多く共伴しているのに対し、A3はそれらと共伴が少ないため、A1の方が新しい段階まで残ると考えられる。土師器杯A3は、須恵器杯Aの模倣であるが、これらの共伴は4軒と少なく、また土師器杯A1と須恵器杯Aの共伴も少ない。すなわち、土師器杯A1・A3を伴う住居で、須恵器杯を伴わない住居もかなりあるということになる。また、須恵器杯Bは、土師器杯A1と共伴するものが多いが、A3とは少ない。

土師器甕A1は、土師器杯A1・A3、B1、須恵器杯A1、高杯A等が多く、土師器甕A2は、土師器杯A1・B1、須恵器杯B等が多い。須恵器高杯Aは、土師器杯A1、土師器甕A1・A2、須恵器杯B・C3、須恵器蓋B等が多い。土師器甕A1とA2は、A2が土師器杯B1と多く共伴し、須恵器杯Bとも多く共伴しているため、A2の方が新しい時期まで残っている。

次に各器種の新しい段階の共伴関係を見ることにする。最も多くの住居から出土している土師器杯B1は、土師器杯A2、土師器甕A2、土師器甕B1、須恵器杯B・C3・D1、須恵器蓋B1dとの共伴が多くなっている。土師器甕A2と土師器甕B1の共伴は10軒と少ないため、土師器杯B1が、土師器甕A2と土師器甕B1のそれぞれと共伴する段階があると考えられる。須恵器杯との共伴は、C3が40軒と最も多いが、Bも18軒とか

V 総括

なりある。須恵器杯BとC3の共伴が、11軒とそれほど多くないため、土師器杯B1が、須恵器杯BとC3のそれぞれと共伴する段階もあるといえよう。

須恵器杯Cは、大量生産により調整技法が簡略化していると考えられるため、C1からC6に向かって新しくなるとすることができる。しかしながら、互いに共伴しているものが多く、単純に直線的に変遷しているとはできない。最も多いC3は、土師器杯B1と共伴する例が多いが、共伴しないものもあるため、共伴する段階としない段階があるといえる。須恵器杯C4・C5はさらにその傾向が強くなり、共伴しない割合がC3より高くなっている。また、須恵器杯C1は、出土量は少ないが、土師器甕A2との共伴が多く、土師器甕B1とは少ない。須恵器杯C3は土師器甕A2と共伴が少ないため、C1はC3～C5より古い段階に入ると考えられる。須恵器杯C2も同様の傾向を示すが、C2はC3～C5との共伴も多いため、2段階にわたる可能性が高い。須恵器杯C6は、出土量はあまり多くないが、土師器杯B1や須恵器杯C3～C5との共伴が比較的に少ないため、さらに新しい段階に入る可能性が高い。また、須恵器杯D1は須恵器杯C3～C5と、須恵器杯D2は須恵器杯C6と同様の傾向が認められる。須恵器杯C6とD2との共伴が多いのは、土師器甕B2であり、それぞれ12・11軒と共伴している。

(2) 段階設定

以上の共伴関係の検討から、大道東遺跡の古墳時代後期から平安時代の竪穴住居出土土器の変遷を以下の8段階に設定したい。(カッコ付の分類記号は、存在はするが主体的ではなく出土量も少ないものであり、住居番号の後の?は不確実なものを表す)

第1段階

土師器杯A1・A3、土師器甕A1・A2・A3、須恵器杯A、須恵器蓋A、須恵器高杯Aが共伴する段階。須恵器杯・蓋の共伴しない住居もあり、2段階に分かれる可能性もあるが、土師器杯等の形態は変わらないため、ここでは1段階とした。

この段階の住居は、8・30・42?・55?・59?・65・67・72・78?・79・82?・64・84・97?・103・104・142・160・165・198?・408・422・430・434・

443・489・494・506・510・519・522・530?・538・544住である。

第2段階

土師器杯A1、土師器甕(A1)・A2・A3、須恵器杯Bが共伴する段階。土師器杯A3、須恵器杯Aが見られなくなり、須恵器杯Bが出現する。土師器甕A1の共伴する住居もあるが、数量は少なく、確実にこの段階に共伴するとは言えない。

この段階の住居は、9・13・26・31・34・45・56・76?・77・81・100・107・114・115?・127・162・199・421・429・453・455・457?・491・493・501?・502?・504・505?・517?・529?・531?・532・533・534・549?住である。

第3段階

土師器杯A1・A2・B1・土師器甕A2・A3、須恵器杯B、須恵器蓋B1a・(B1b・B1c)が共伴する段階。土師器杯A2・B1が出現し、少量ながら須恵器蓋もみられるようになる。しかしながら、須恵器蓋B1b・B1cは、須恵器杯Cとセットになる形態であるため、確実にこの時期に共伴するとは言えない。あるいは、須恵器杯Cが出現している可能性も考えられる。この段階の住居は、3?・10?・19・46?・71?・74?・75・80?・90・121?・129・164?・171・411・423?・425?・427・450・488?・498?・516・520・525住である。

第4段階

土師器杯A2・B1、土師器甕A2・A3、須恵器杯(B)・C1・C2、須恵器蓋(B1b・B1c)・B1dが共伴する段階。土師器杯A1がみられなくなり、須恵器杯Bも少なくなる。須恵器杯C1・C2が出現するが、いずれも数量は少なく、須恵器杯が共伴しない住居もあり、前後の段階と比べ、須恵器杯が少なくなっている。この段階の住居は、14・23・48・49?・53・69?・88・95・134・140?・174?・410・415・416・426?・432?・439・441?住であり、住居数も他の段階と比べ少なくなっている。後述するが、推定東山道駅路が、この段階で使用されたと考えられる。

第5段階

土師器杯A2・B1、土師器甕A2・A3、(土師器甕B1)、須恵器杯C2・C3・C4・C5・D1、須恵器蓋B1dが共伴する段階。須恵器杯C3・C4・C

第 27 表 大道東遺跡竪穴住居共伴頻度表

		土師器															須恵器																																			
		I					II					III					I							II																												
		A			B		C	D	E	F	A	B	C	A			B		A	B	C					D	E	F	G	A	B					C	A	B														
		1	2	3	4	5	1	2	3						1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	1	2					1a	1b	1c	1d	1e	2	3									
土師器	I	A	1	62	216	4	213	0	1	0	3	0	4	8	3	0	418	11	3	2	7	3	2	3	5	15	3	4	9	5	2	2	5	5	0	0	1	1	10	2	0	2	5	4	2	1	0	16	0			
		2	230	0	0	0	27	3	3	1	2	0	2	3	1	0	111	2	1	0	11	2	1	7	1	2	0	3	16	4	1	1	14	0	0	3	3	0	2	1	7	14	4	0	1	0	2	1				
		3	14	0	25	3	0	3	0	0	0	0	0	1	3	2	0	5	10	5	2	0	3	2	0	1	4	3	0	2	2	2	2	0	1	3	0	0	0	1	2	0	0	1	1	1	1	1	0	7	0	
		4	4	0	3	13	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	0	0	2	1	0	1	2	2	0	0	3	3	0	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4	0	
		5	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	B	1	1327	4	3	0	93	5	6	1	7	0	7	6	4	0	522	10	5	234	13	213	618	414	40	16	7	6	11	26	0	8	9	5	9	4	3	7	27	8	0	3	0	8	4							
	2	0	3	0	0	0	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	2	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	3	0	1	1	2	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0			
	3	1	3	0	0	0	6	1	8	0	1	0	0	1	0	0	0	4	1	1	0	3	2	0	2	0	1	2	1	3	2	0	0	1	2	1	2	0	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0		
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	D	3	2	0	0	0	7	0	1	0	10	0	0	1	0	0	0	2	2	1	1	3	3	0	2	0	3	2	2	7	3	2	0	0	4	0	1	1	0	2	2	1	0	3	2	0	0	0	0	0		
	E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F	4	2	1	0	0	7	0	0	0	0	0	10	1	1	0	1	0	3	1	0	3	1	0	0	1	2	0	1	4	1	0	2	1	3	0	0	0	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	2	1		
	II	A	8	2	3	0	1	5	0	1	0	1	0	0	14	0	0	1	9	6	3	0	1	1	0	1	0	5	2	2	4	2	3	1	0	0	1	1	3	1	0	0	2	0	0	1	0	5	1			
	B	1	2	1	1	0	5	0	0	0	0	2	0	10	0	1	1	0	0	3	1	0	1	2	2	0	1	4	1	0	0	1	3	0	0	0	0	4	0	0	0	2	1	0	0	0	3	1				
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
III	A	1	4	1	5	1	0	5	0	0	0	0	1	2	0	0	14	6	5	2	0	1	0	0	1	4	3	0	2	2	1	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1			
		2	18	11	11	2	1	22	2	4	0	2	0	9	3	0	65	110	6	110	0	1	3	2	15	3	7	12	3	2	2	5	6	0	0	2	2	9	2	1	5	9	0	0	1	0	9	1				
		3	11	2	6	2	1	10	1	1	0	2	0	3	6	0	0	5	10	31	3	1	1	0	0	3	12	2	7	9	1	1	3	3	1	0	1	1	3	8	1	0	0	1	0	1	2	0	9	1		
		4	3	1	2	0	0	5	2	1	0	1	0	1	3	0	0	2	6	3	9	0	2	0	0	1	1	5	1	1	3	1	1	0	1	1	0	0	2	2	3	0	0	1	2	0	0	0	2	1		
		5	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
	B	1	7	11	4	2	0	34	2	3	0	3	0	3	2	2	0	110	1	2	0	51	7	2	13	2	5	1	8	30	18	6	2	4	18	0	6	6	3	4	2	0	4	21	13	0	1	0	2	2		
	2	3	2	2	1	0	13	0	2	0	3	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	7	26	0	7	1	4	1	2	12	7	5	8	6	11	5	5	2	2	1	0	0	1	8	2	0	1	0	4	1		
	3	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	2	1	0	0	0	3	2	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0				
	4	3	7	3	1	0	13	1	2	0	2	1	0	2	0	0	1	3	0	1	0	13	7	2	24	1	1	0	3	16	8	4	2	3	6	2	3	3	2	1	1	0	2	8	4	0	1	0	3	1		
	須恵器	I	A	5	1	4	2	0	6	0	0	0	0	1	1	1	0	4	2	3	1	0	2	1	1	1	15	6	0	0	4	1	0	1	1	2	0	1	1	1	6	0	0	1	1	0	0	0	5	0		
B			15	2	4	2	0	18	0	1	0	3	0	2	7	0	0	3	15	12	5	1	5	4	0	1	6	46	3	8	11	5	2	2	4	3	0	1	2	2	10	3	0	0	4	3	0	2	0	10	2	
C		1	3	0	0	0	0	4	0	2	0	2	0	0	2	0	0	3	2	1	0	1	1	0	0	0	3	4	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
		2	4	3	2	0	0	14	1	1	0	2	0	1	2	1	0	2	7	7	1	0	8	2	0	3	0	8	225	10	0	0	1	2	4	0	1	2	2	5	1	0	0	2	3	0	0	0	6	1		
		3	9	16	2	3	0	41	3	3	1	7	1	4	5	4	0	2	12	9	3	0	30	12	3	16	4	11	2	10	7	4	25	12	4	10	28	0	9	9	4	7	4	0	3	25	12	0	2	0	11	4
		4	5	4	2	3	0	16	0	2	1	3	1	1	3	0	0	1	3	1	1	0	18	7	2	8	1	5	1	0	25	34	9	3	4	14	0	5	3	2	1	2	0	2	15	8	0	2	0	1	0	
		5	2	1	2	0	0	8	0	0	0	2	1	0	6	5	0	4	0	2	0	0	12	9	18	2	2	6	0	3	1	1	0	1	0	0	6	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0			
		6	2	1	0	0	0	6	0	0	0	0	2	2	0	0	1	2	3	0	0	2	8	0	2	1	2	0	1	4	3	2	17	3	5	6	1	0	2	3	1	0	0	5	1	0	1	0	4	0		
		7	5	1	3	1	0	11	0	1	0	0	0	1	3	1	0	1	5	3	1	0	4	6	0	3	1	4	1	2	10	4	2	3	18	4	1	1	1	1	2	1	0	1	5	1	0	2	0	5	1	
D		1	5	14	3	2	0	26	3	2	1	4	1	3	2	2	0	6	1	1	0	18	11	2	6	2	3	0	4	28	14	6	5	4	43	2	2	2	2	4	2	1	4	19	6	0	3	0	5	2		
2		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
E		0	0	0	1	0	8	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	5	1	3	1	1	1	1	9	5	3	1	1	2	1	13	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1			
F		1	3	0	2	0	9	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	2	1	2	0	6	2	0	3	1	2	0	2	9	3	1	0	1	2	0	1	12	0	1	0	0	1	5	2	0	0	0	3	1		
G		1	3	1	0	0	5	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	3	2	0	3	2	0	2	1	2	0	2	4	2	1	2	1	2	1	1	0	9													

V 総括

5が出現し、須恵器杯の出土量が再び増加している。この段階の住居は、6・25・35・36・37・44・62?・63?・85?・117・102・124・130・158・163・173・187・191・403・404・409・428・437・445・449・496・497?・511?・515・518?・535・539 住である。

第6段階

土師器杯A 2・B 1、土師器甕B 1、須恵器杯C 3・C 4・C 5・D 1、須恵器蓋B 1dが共伴する段階。土師器甕A 2・A 3が見られなくなり、土師器甕B 1が主体となる。この段階の住居は、7・15・21・24・29・33・83・105・138・143・149・156・159・166・178・185・186・193・406?・412?・424?・438・442・484・513・524 住である。

第7段階

(土師器杯D)、土師器甕B 1・B 2、須恵器杯C 3・C 4・C 5・C 6・D 1・D 2が共伴する段階。土師器杯A 2・B 1が見られなくなり、土師器杯Dが出現するが、出土量は非常に少なく、土師器杯が共伴しない住居が多くなる。この段階の住居は、4・11・12・16・18・22・54・57・70・101?・116?・135・145・161・169・176・177?・180・183・184・195・200・418?・420・446?・454・492?・514 住である。

第8段階

(土師器杯E)、土師器甕B 2、須恵器杯C 6・D 2が共伴する段階。土師器杯はEが出現するが、出土量はきわめて少なく、土師器杯が共伴しない住居がほとんどである。土師器甕はB 2だけになり、須恵器杯もC 3・C 4・C 5・D 1が見られなくなり、C 6・D 2だけになる。この段階の住居は、17・20・39・51・89・112・113・118・175?・414・486・507・508? 住であり、最も住居数が少なくなっている。これ以降は、大道東遺跡からは竪穴住居は検出されず、他の場所に移動したと考えられる。

(3) 年代の比定

大道東遺跡からは直接実年代を比定できる資料は出土していないが、古墳時代の須恵器については、ゆがんだものや窯体の付着したものがあること、胎土分析の結果、

大道東遺跡の古墳時代の須恵器が、金山丘陵菅ノ沢窯跡群のものと組成が同じであることなどから、金山丘陵窯跡群の製品である可能性が高い。金山丘陵窯跡群については、駒澤大学により調査報告書が刊行されており⁽¹⁾、その中で菅ノ沢窯跡群の須恵器の年代は、陶邑TK43形式の570年以前から580年代まで続き、さらにのちまで継続した可能性があると考えられている。大道東遺跡の須恵器が、金山丘陵窯跡群の製品とするならば、菅ノ沢窯跡群の須恵器と同形態のものは第1段階で出土しているため、この年代を援用すると、第1段階の年代は6世紀後半代となる。この年代や、過去の土器編年の研究成果などから、各段階の年代は次のようになると考えられる。

第1段階 6世紀後半

第2段階 7世紀第1～第2四半期

第3段階 7世紀第2～第3四半期

第4段階 7世紀第4～8世紀第1四半期

第5段階 8世紀第2四半期

第6段階 8世紀第3四半期

第7段階 8世紀第4四半期

第8段階 9世紀前半

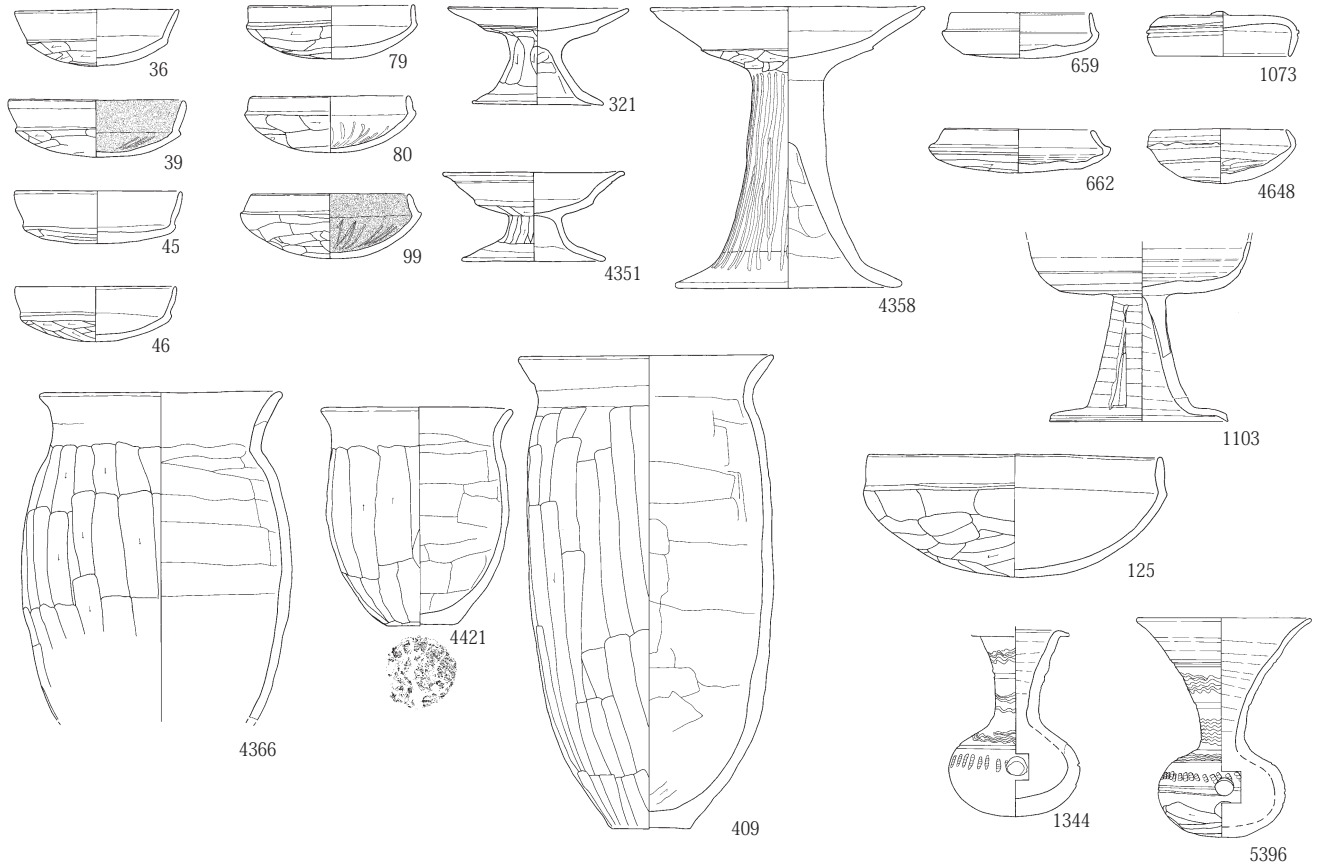
実年代を比定できる資料がないためあくまでも推定の域を出ないが、長期にわたる過去の研究成果により、大きくずれることはないと考えられる。

注

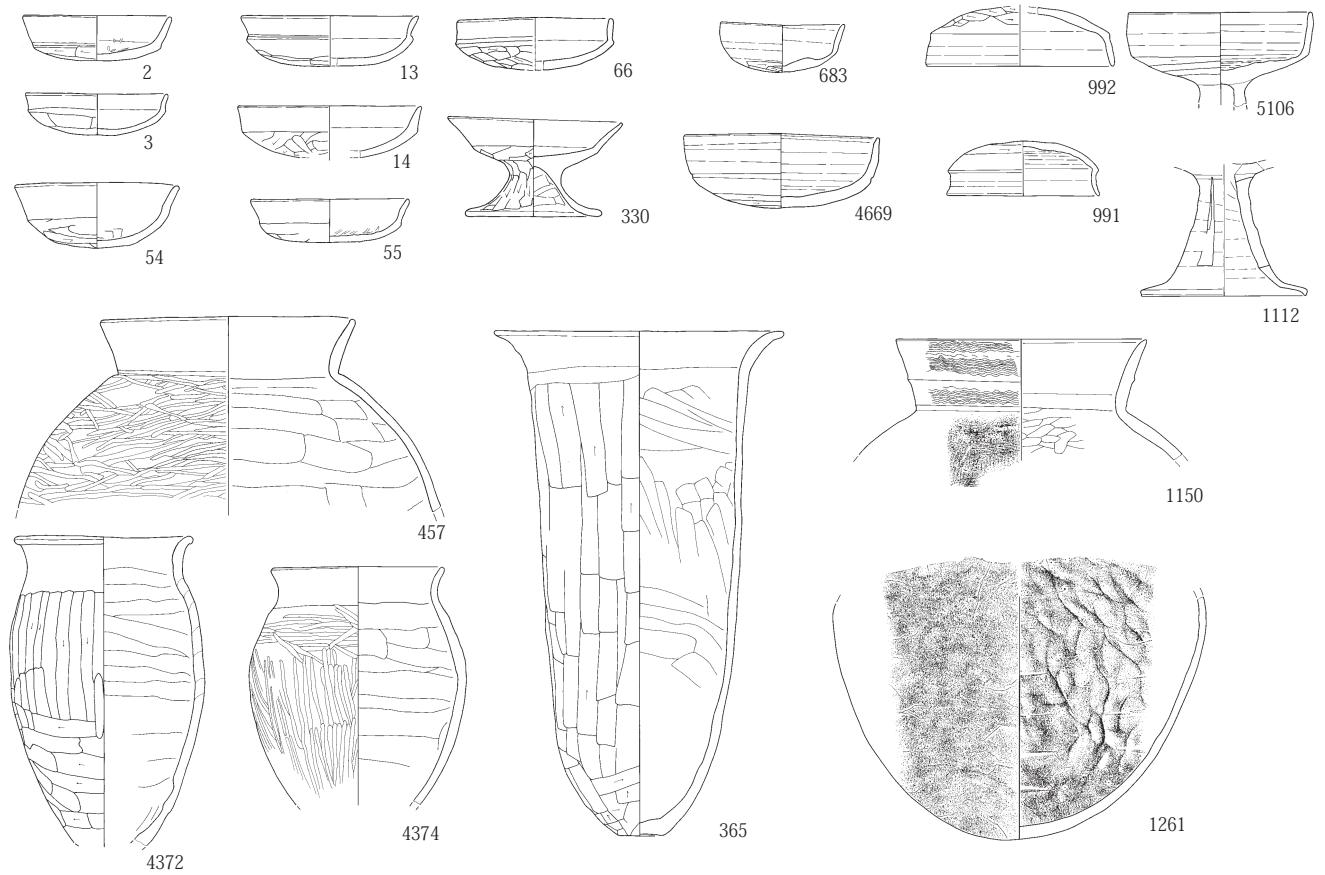
(1) 駒澤大学考古学研究室 2007 『群馬・金山丘陵遺跡群Ⅰ』

2009 『群馬・金山丘陵遺跡群Ⅱ』

第1段階



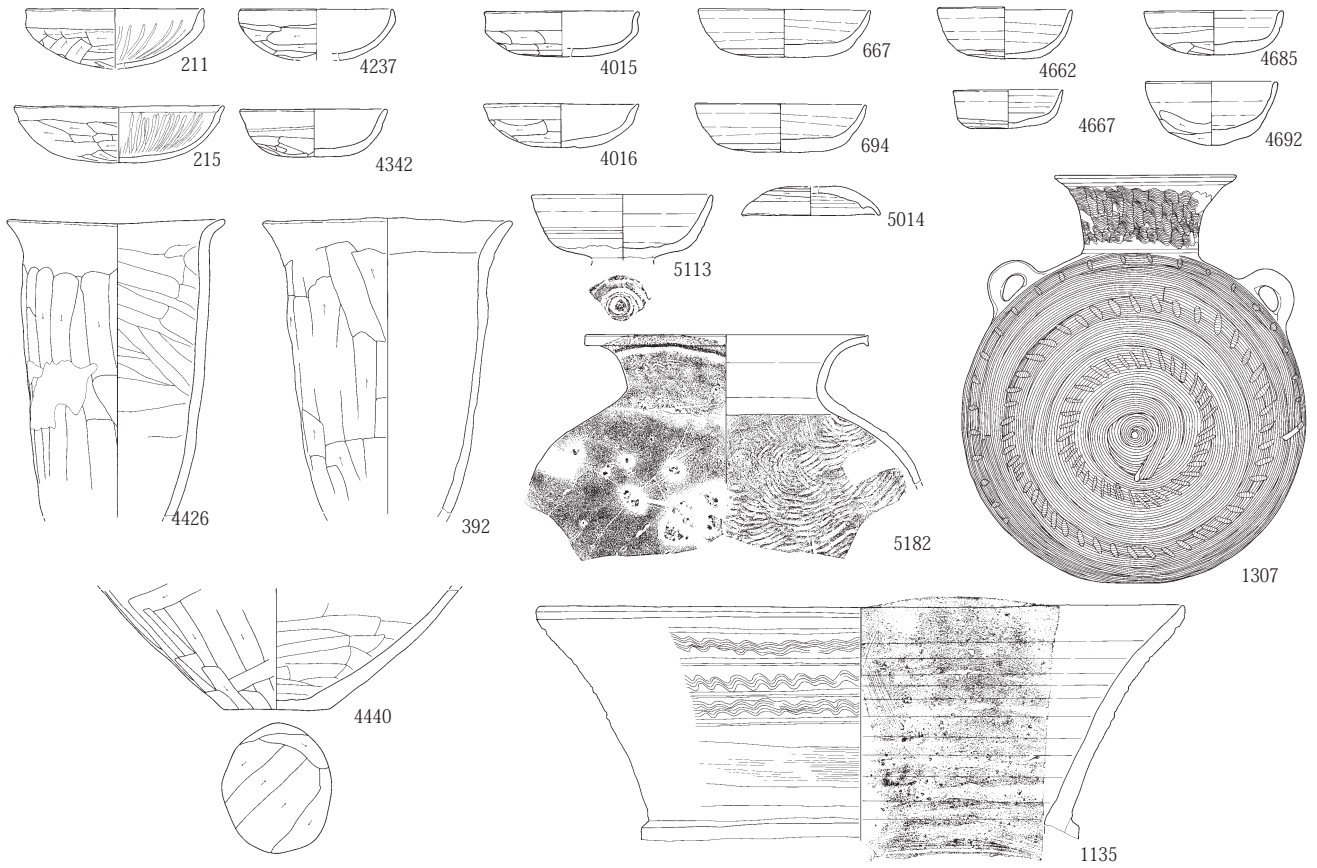
第2段階



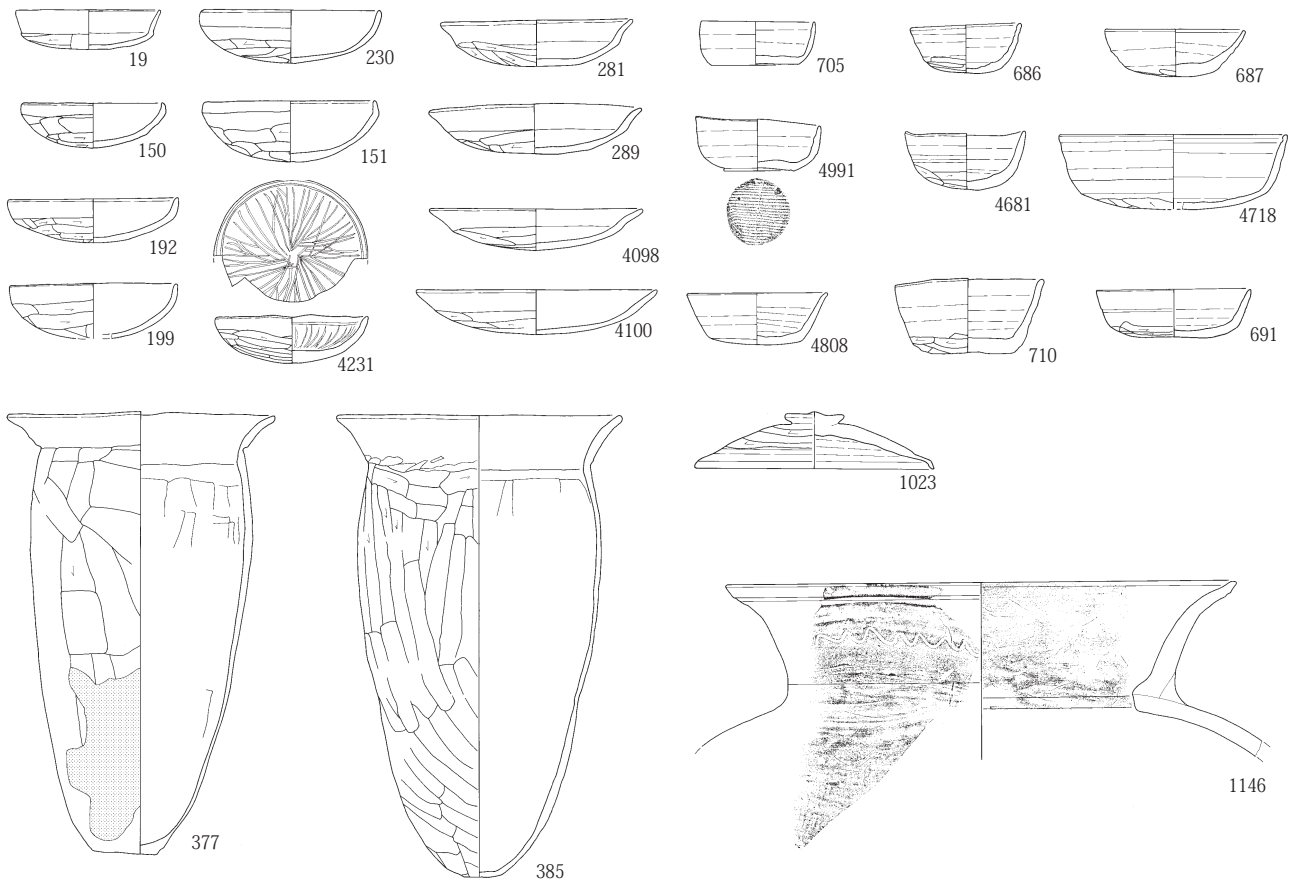
第477図 竪穴住居出土土器変遷図1

V 総括

第3段階

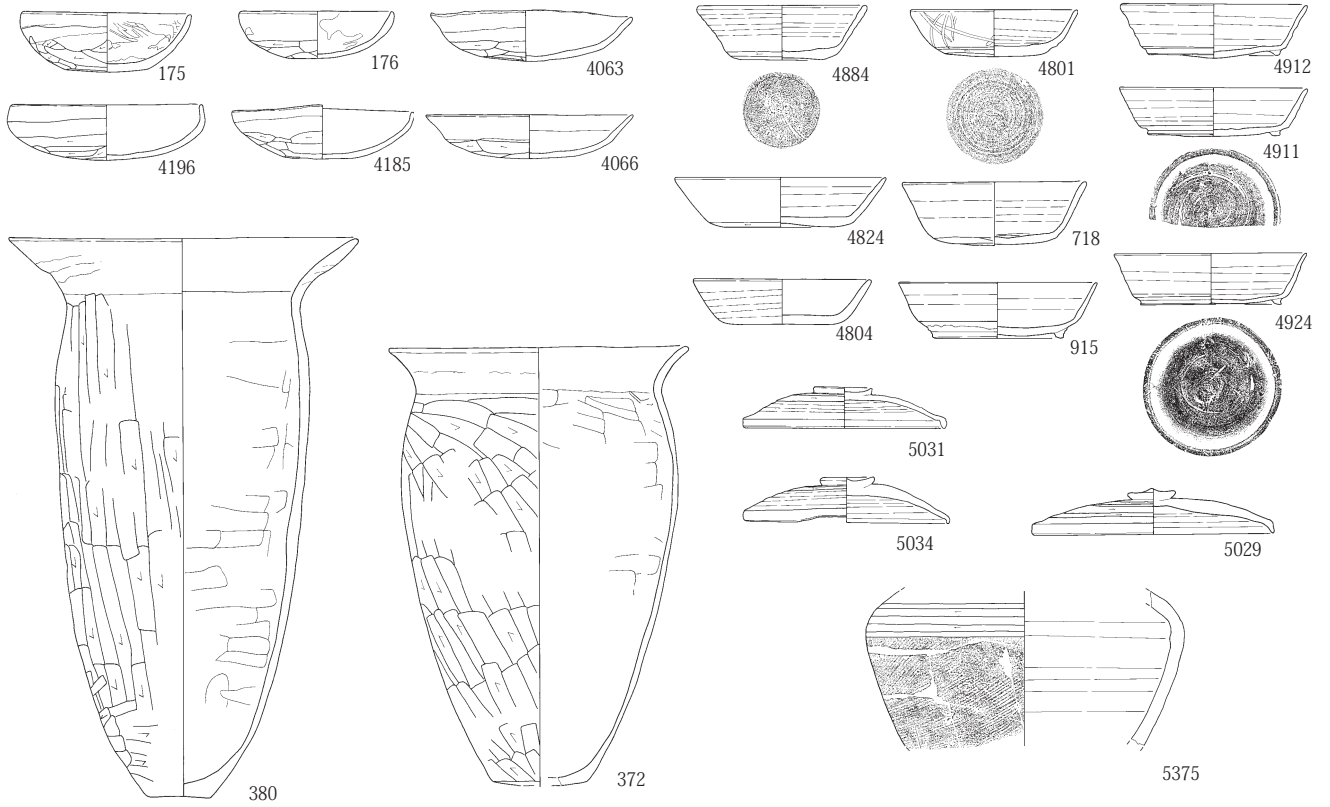


第4段階

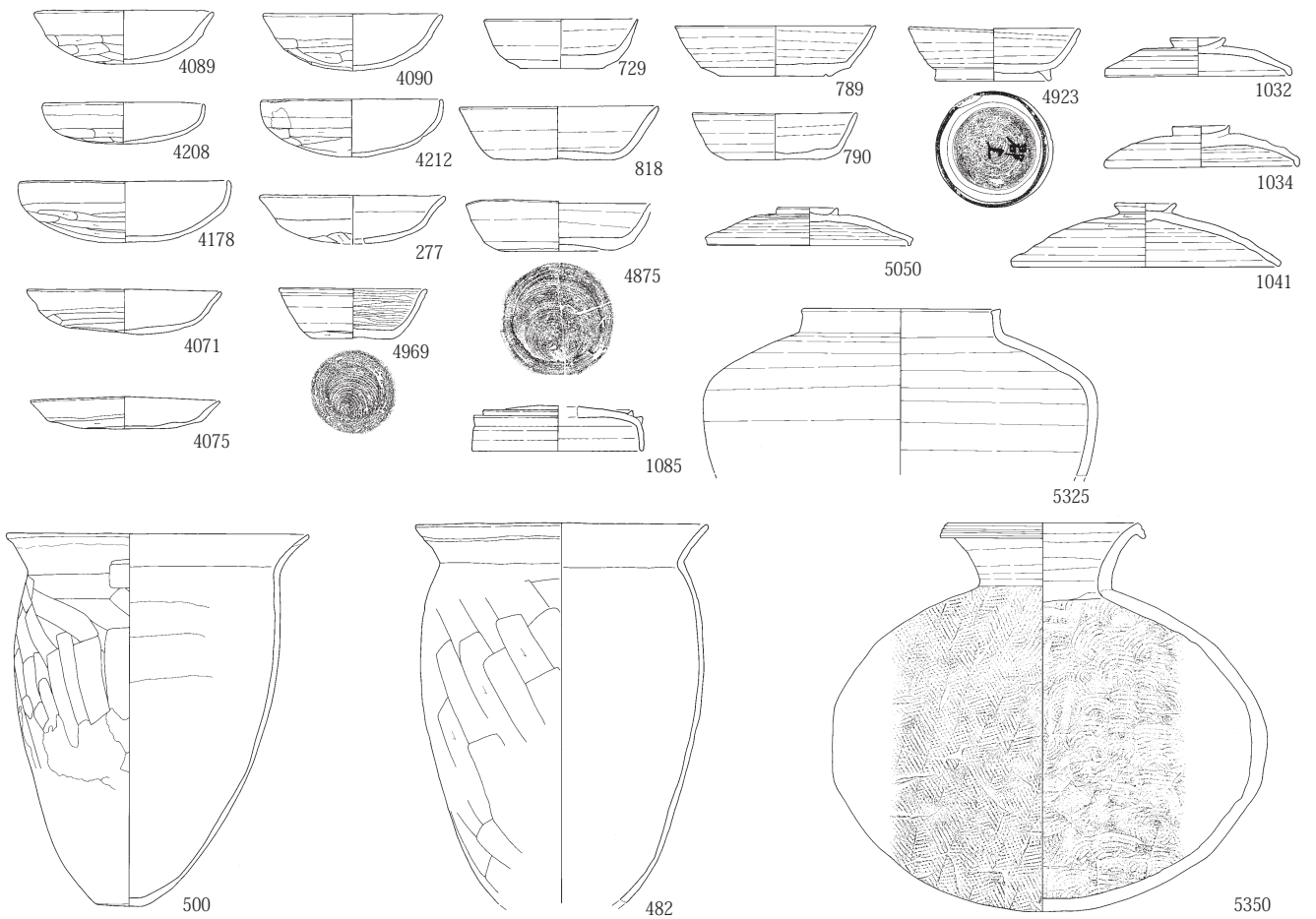


第 478 図 竪穴住居出土土器変遷図 2

第5段階



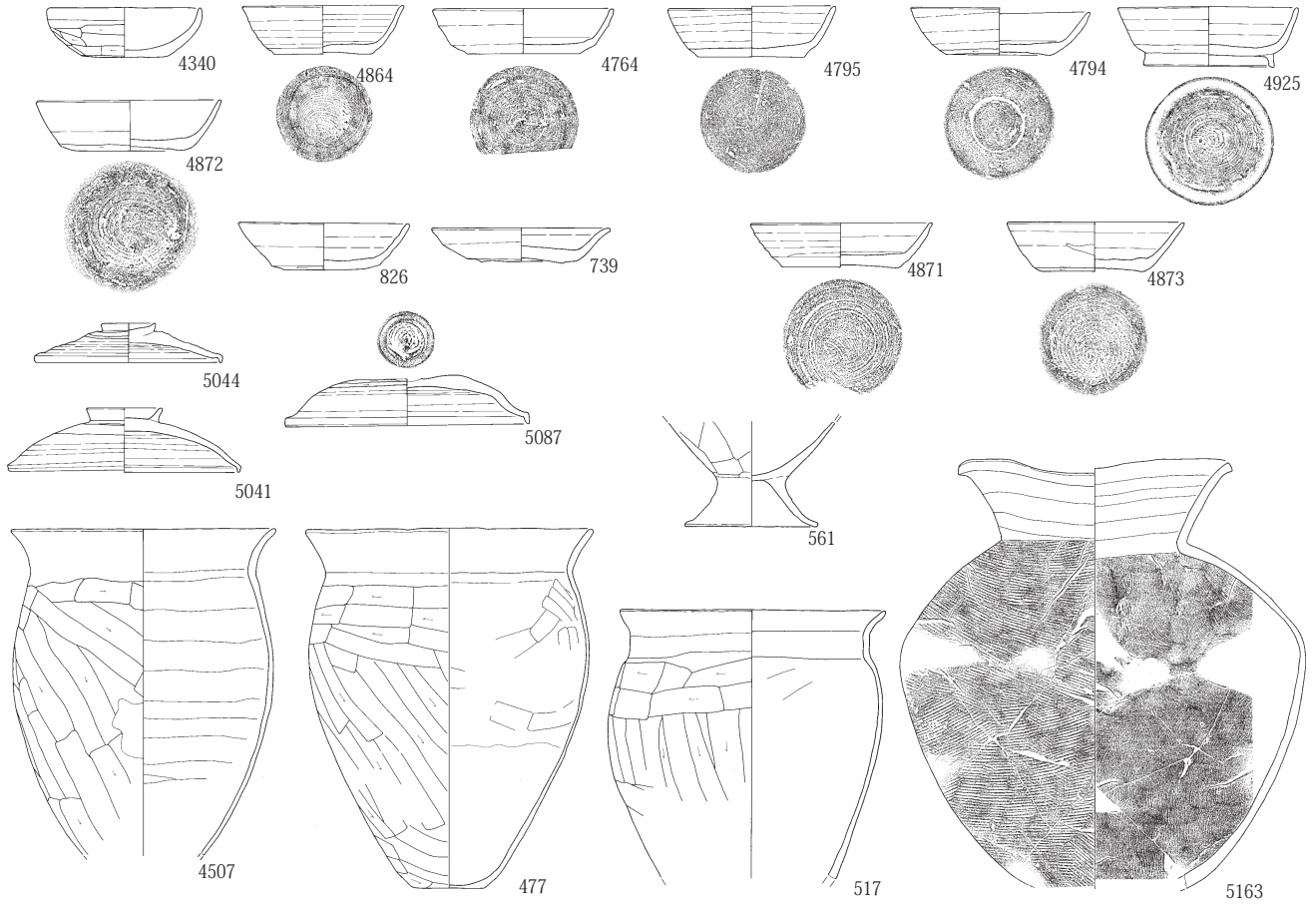
第6段階



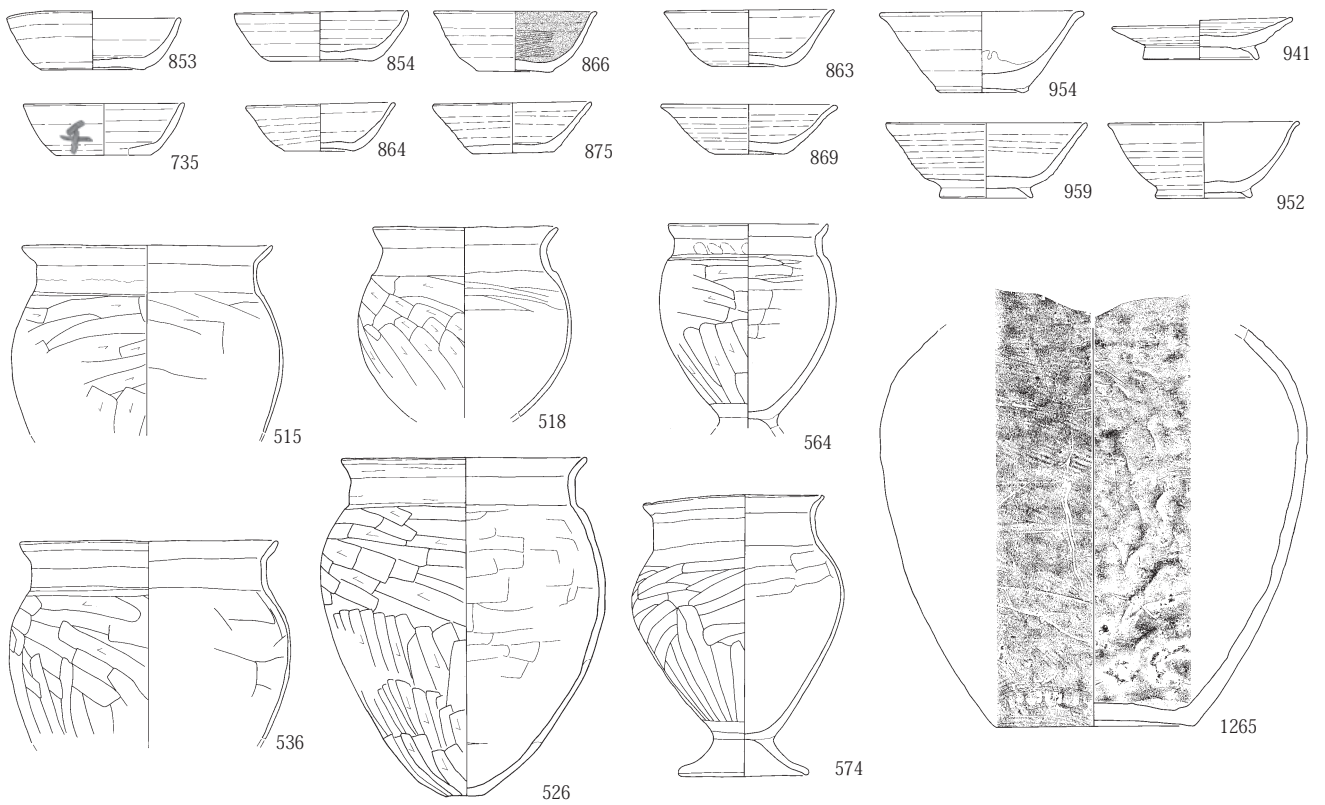
第479図 竪穴住居出土土器変遷図3

V 総括

第7段階



第8段階



第 480 図 竪穴住居出土土器変遷図 4

2 集落おとび道路遺構の変遷

はじめに

前節で大道東遺跡古墳時代後期～平安時代の土器および竪穴住居の段階設定を行ったが、ここではそれに従って各段階の集落の様相をみることにする。図では各段階の住居は、黒の塗りつぶしで示したが、不確実なものはグレーの塗りつぶしとした。

第1段階

調査区南東部から中央部にかけて、やや距離を置きながら12軒、(不確実なものを含めると18軒)存在している。中央やや西よりに6軒、西部に2軒(不確実なものを含めると3軒)集中している。他の住居はやや離れて散在している。

第2段階

東部から中央やや東寄りにかけて確実なもので16軒、(不確実なものも含めると25軒)の住居が存在する。特に中央やや東寄りの部分は、南北に連なるように15軒の住居が集中している。中央西側は、南部に5軒、北部に不確実なものも含めて4軒が、東西に連なるように存在している。

第3段階

東部に2軒(不確実なものを含めると5軒)、中央やや東寄りに1軒(不確実なものを含めると6軒)存在し、西部は8軒(不確実なものを含めると11軒)が、やや広範囲ではあるが、集中して存在する。

第4段階

東部に4軒(不確実なものを含めると5軒)、中央やや東寄りの北部に2軒、西部に5軒(不確実なものを含めると10軒)存在している。また、住居との新旧関係から判断して、この段階で推定東山道駅路が存在していたと考えられ、駅路と重複する住居は確認されておらず、竪穴住居数も他の段階に比べ少ない。

第5段階

東部に7軒(2軒は重複、不確実なものを含めると9軒)が広範囲に散在する。西部は、中央西寄りに9軒、西にやや離れて5軒が集中している。

第6段階

東部は、中央やや東寄りに9軒が南北に並んだ状態で

存在している、西部は14軒(不確実なものを含めると15軒)が、東西に広がった状態で存在する。

第7段階

東部は9軒(不確実なものを含めると11軒)存在し、中央に3軒集中しているが、他の8軒はやや距離を置いて散在している状態である。西部は、北端部に東西に長く9軒が存在し、やや南寄りに3軒(不確実なものを含めると5軒)が、やや距離を置いて存在している。

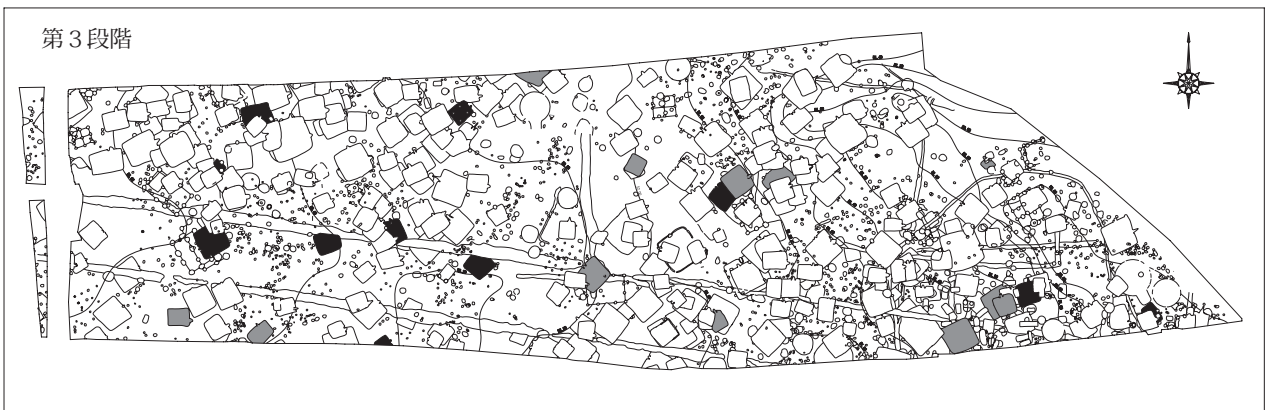
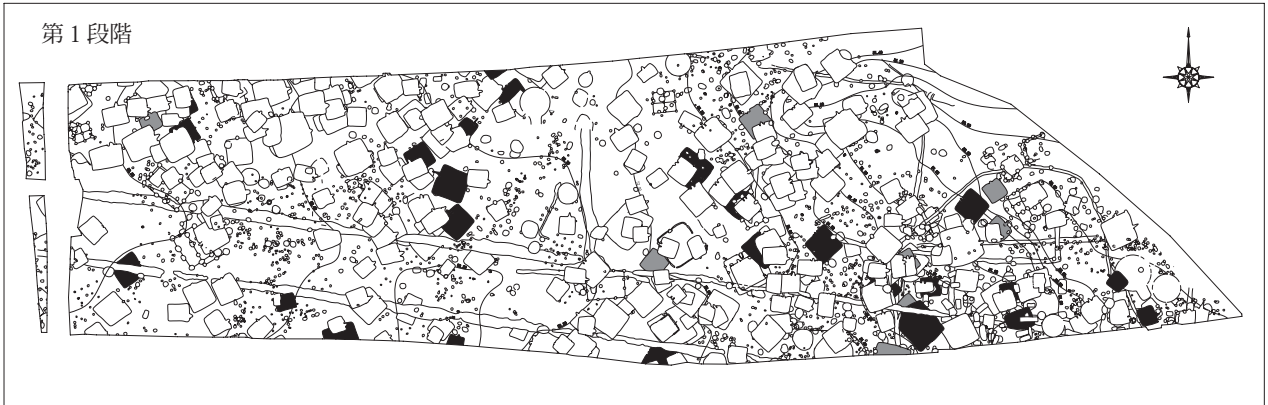
第8段階

東部は、北寄りに3軒、南西部に3軒、南東部に3軒(不確実なものを含めると4軒)集中しており、全体では10軒がやや広範囲にまとまっている。西部は中央やや北寄りに1軒(不確実なものを含めると北西部にもう1軒)存在しているのみである。

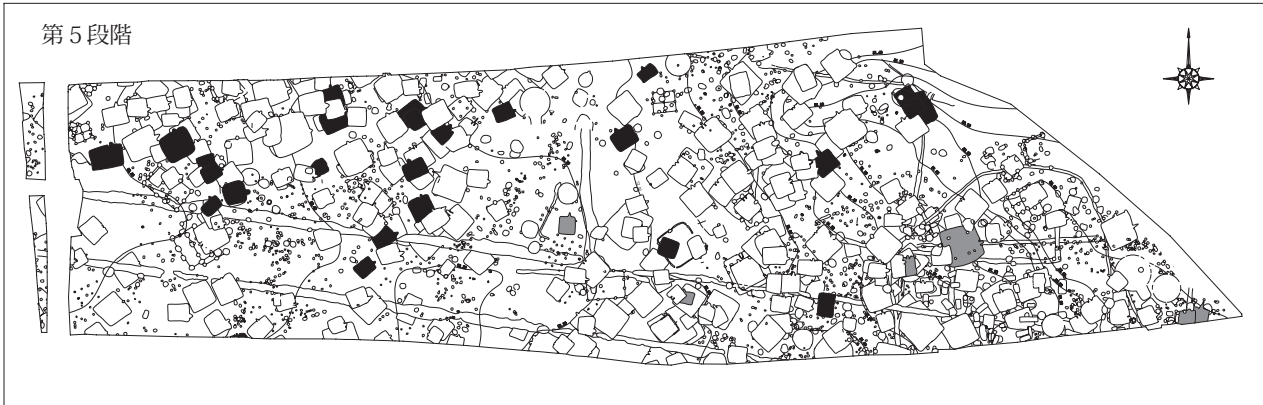
全体的にみると、地形的に若干高くなっている、調査区の中央部の住居がやや少なくなっており、それを挟んで大きく東部と西部に分かれている。第1・第2段階は、東部の住居が多くなっているが、第3・第4段階は、全体的に少なくなっている。特に第4段階は、東山道駅路の影響のため、道路周辺の住居が少なくなっていると考えられる。第5段階になると西部の住居が多くなり、第6段階は東部と西部ではっきりと2つの群をなしている。第7段階では西部の住居がやや少なくなり、第8段階では、西部の住居が極端に少なくなって、東部が分布の中心となっている。

以上のように竪穴住居の変遷をみたが、不確実なものも多く、さらに出土遺物が少なく、時期不明で各段階に分類されていない住居もかなりあるため、それにより様相が若干変わる可能性も考えられる。

推定東山道駅路は、第4段階以外のすべての段階で竪穴住居と重複しているため、第4段階において道路として使用されたと考えられる。最大で、第3段階の途中に建設され、第5段階の途中まで存続した可能性も考えられるが、第4段階において駅路に近接した住居も存在し、同時に存在したと考えにくいものもあるため、第4段階の中で建設、あるいは廃絶された可能性が高いといえよう。



第481図 古墳～平安時代集落変遷図1



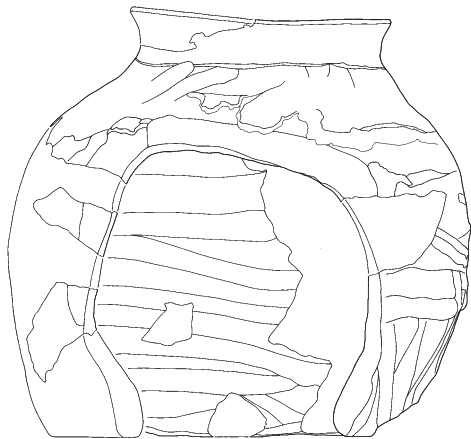
第482図 古墳～平安時代集落変遷図2

3 大道東遺跡出土の甕形土製品

太田市東今泉町大道東遺跡で検出された東山道駅路南側側溝である15号溝からは第475図5498の甕形土製品⁽¹⁾が出土している。

この甕形土製品は今まで群馬県内や関東周辺地域から出土している裁頭円錐形状とは異なり底部から胴部下位のない球胴形甕に近い形状で、前面に逆U字状の焼き口を設けたものである。

遺物掲載の項では簡単な観察しか記載できないためここでもう少し詳細な観察とこの甕形土製品について考察を行うこととした。



大道東遺跡出土の甕形土製品 (1/6)

1. 出土甕形土製品について

甕形土製品は3×6cmから20×30cmほどの破片で30片ほどが出土した。接合の結果、掛け口部から頸部にかけてが約1/2、正面右側の焼き口中位の一部、前面左側の焼き口から側面にかけての大部分、背面煙出し孔の右側(正面側から)の幅5～10cm、基部から25cmほどの範囲が欠損しているが、全貌がわかる個体であった。

形状は前述のように古墳時代から飛鳥時代にみられる球胴状で短い口縁部をもつ甕の底部から胴部下位まで成形され、前面に逆U字状の焼き口を開け、焼き口の上には底(底は痕跡だけで剥落、破片の出土も確認できないため廃棄前にはすでに欠損していた可能性がみられる)を貼付したもので、側面に一對の把持孔、背面中央に煙

出孔を1箇所穿っている。なお、掛け口部は底面を水平にすると正面右側が低く傾いた状態である。

規模は器高が残存箇所で33.0cm、掛け口部の傾きを考慮すると推定33.7cmである。掛け口部口径21.0cm、頸部径19.7cm、胴部僅かであるが横幅のほうが奥行きより広く把持孔間36.5cm、焼き口から背面間34.5cm、基部径25.5cm、焼き口は高さ22.5cm、基部での幅は推定18.0cm、最大幅23.0cmを測る。

断面は1.0cmから1.3cmの厚さでほぼ均一であるが、焼き口底面付近は補強のためか2.5cmから3.0cmと厚みを持たせている。

成整形は胴部に1.5cmから2.0cmの輪積み痕が確認されることから基部より粘土紐輪積みによって成形し、表面の焼き口部分を切り取り、焼き口上部に底を貼付している。なお、底は上部だけで側面側には取り付けられていない。整形は外面が口縁部を横ナデ、胴部をヘラ削りしているが、底の上部は底貼付を補強するためか粘土をナデつけている。また、胴部下半は把持孔下にも粘土をナデ付けた痕跡がみられ、基部付近はナデがみられる。基部底面はヘラ削りによって面取りが施されている。内面は口縁部上半までが横ナデ、下半から頸部、胴部はヘラナデが施されているが、胴部下半は上半に比べやや雑な仕上がりである。

出土した遺構は東山道駅路の側溝であることから甕形土製品の年代も駅路の開削前後から廃絶までの間に比定されると考える。発掘調査では東山道駅路と重複する竪穴住居は多く存在する。その重複関係からは概ね7世紀前半代の竪穴住居より新しく、8世紀前半代の竪穴住居より古いことがわかっている。こうした重複関係から甕形土製品の年代もこの間あるいは東山道駅路側溝開削前でもそれほど離れていない時期が想定される。

2. 関東地方、群馬県下出土の甕形土製品

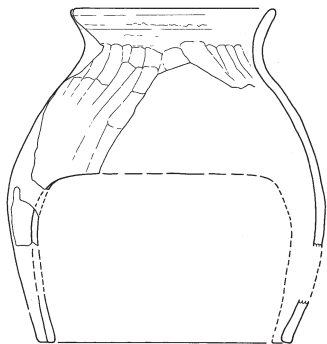
今回、出土した甕形土製品は特異な形状をしており群馬県内や関東地方では類例をみることができない。

群馬県や関東地方での甕形土製品は一般的には裁頭円錐形状の形態に焼き口を設け、焼き口の周囲に底を貼付する付け底形態が主である。

関東地方では神奈川県平塚市相模国府域で多くの甕形土製品が出土している。以前筆者が集成した時点⁽²⁾

でも8遺跡24点以上の出土量が確認できた。その後さらに増加し、近年発掘調査が行われた相模国庁周辺では169点に及ぶ量が報告⁽³⁾されている。これらの竈形土製品は破片での出土が多いため不明な点もあるが、平塚市六之域遺跡からは底をもたない形態やまげ底の形態のものも出土している。しかし、大部分は裁頭円錐形状で底の付けられた形態である。なお、六之域遺跡の底をもたない形態やまげ底の形態の竈形土製品も基本的な形態は裁頭円錐形状である。

群馬県内でも前橋市荒砥北原遺跡⁽⁴⁾からは掛け口部を2口有するものや甘楽町善慶寺早道場遺跡⁽⁵⁾では底をもたないとみられる形態、伊勢崎市十三宝塚遺跡⁽⁶⁾からは基部の形態が正面から見ると横方向に長い矩形を呈している形態などや類例をみない形態のものが出土している。これらも基本的には裁頭円錐形状の形態である。こうしたなかで前橋市東前沖遺跡⁽⁷⁾からは頸部をもつ形状の竈形土製品が23号住居跡から出土している。これは大道東遺跡から出土したものに比べると胴部がやや細長い形態である。出土した破片は全体の3分の1程度で掛け口部から基部まで継続して残存しないため推測する部分が多い。大きさは器高が推定35.2cm、掛け口部口径21.4cm、頸部径18.8cm、胴部径43.2cm、基部径35.2cm、焚き口高さ推定27cm、幅18cmである。なお、遺物観察表では背面に径8.5cmと他の竈形土製品に比べてやや大きめの煙出し孔があるとされている。成形は口縁部に残る輪積み痕から幅1cm程度の粘土紐の輪積み後焚き口部を切り取ったとみられる。整形は掛け口部から頸部にかけては横ナデで胴部は縦方向のヘラ削りが施されている。底は焚き口部周辺の観察でも貼付されてい



東前沖遺跡出土の竈形土製品 (1/8)

いようである。なお、出土した竪穴住居の年代は共伴する土師器杯、甕などから7世紀第4四半期に比定され、竈形土製品も同様な年代が与えられる。

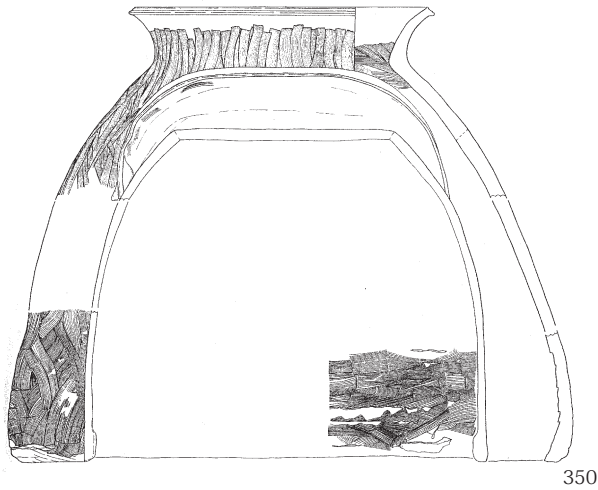
この竈形土製品の形態は大道東遺跡や他の全貌がわかる竈形土製品に比べて焚き口の大きさが小規模である。特に高さでは大道東遺跡出土のものが焚き口高/器高が0.66、十三宝塚遺跡出土のものが0.64に対して東前沖遺跡出土のものは0.51とやや小規模である。

3. 頸部を有する竈形土製品

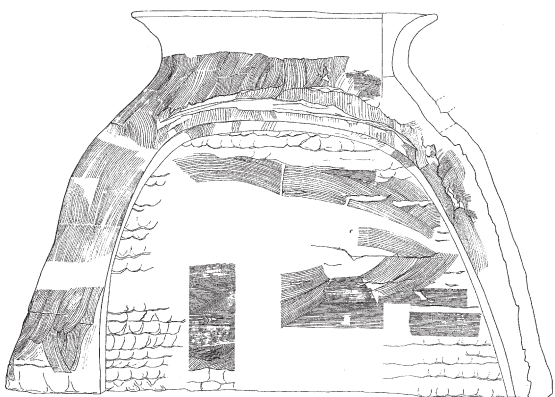
今まで関東地方から出土した竈形土製品には掛け口部分が僅かに外反するか肥厚して僅かに頸部をかたどる形態が平塚市四之宮下郷遺跡、六ノ域遺跡、高林寺遺跡などから出土したものにみることができるが明確な頸部ではなく、これらも基本的には裁頭円錐形状の形態をなすものである。関東地方のなかでは大道東遺跡(A形態と分類する)や東前沖遺跡(B形態と分類する)から出土した明瞭な頸部を有する竈形土製品はまったく異質な存在とすることができる。

頸部を有する竈形土製品の類例をみると北陸地方を中心に日本海側にみることができる。北陸地方では1988年に筆者が集成した当時では図示されているのは新潟県佐渡郡金井町(現佐渡市)旗射崎遺跡⁽⁸⁾から東前沖遺跡から出土している形態に近いB形態が出土しているだけであった。その後、石川県富来町高田遺跡⁽⁹⁾で全体の形状のわからないものを含めて7個体が出土している。そのうち、4個体は全体の形状がわかるか推察できるものである。なお、報告ではこの4個体には350～353のNO.が付与されているのでそれを使用する。

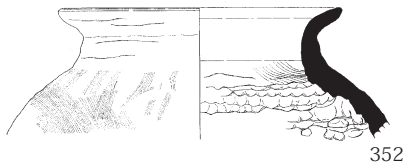
350は大きく膨らんだ胴部からくの字状の頸部を有し外反する掛け口部をもち、端部は面取りされ、焚き口上位に底が貼付された形態。大きさは器高が推定47.2cm、掛け口部口径31.2cm、基部径57.2cmと大型である。成整形は粘土紐輪積みで掛け口部は横ナデ、頸部から胴部は刷毛目、内面はヘラ削りであるが、部分的に刷毛目が施されている。351は350と同様であるが基部付近は内湾せず、掛け口端部も面取りがなされず丸みをもっている。焚き口上位には底が貼付されている。大きさは器高41.0cm、掛け口部口径32.0cm、基部径59.3cmと350より一回り小型である。成整形は350と同様である



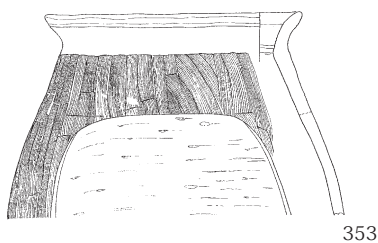
350



351



352



353

高田遺跡出土の竈形土製品 (1/8)

が、口縁部の横ナデが頸部まで達しており、内面は部分的に刷毛目が施されているが、輪積み痕が明瞭に残る。

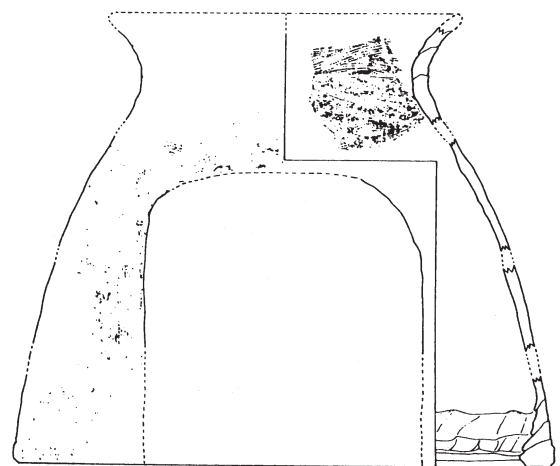
352 は掛け口部から胴部上位まで残存のため全貌は不明であるが、350・351 に近い形態である。口縁部から頸部はコの字状を呈し、胴部上位は球状に膨らむ様相をみせている。大きさは掛け口部口径 33.0cm である。

成整形は掛け口部から頸部は横ナデ、胴部は刷毛目、内面は輪積み痕が残るが部分的に刷毛目が施されている。353 も掛け口部から胴部中位までの残存のため全貌は不明確である。形態は 350～352 とは異なり胴部の膨らみがありなく、頸部の屈曲もやや弱く、底は貼付されていない。大きさは掛け口部口径 29.8cm である。成整形は口縁部から頸部が横ナデ、胴部は刷毛目。内面は輪積み痕をへら削りで消しているが、痕跡が残る。

これらの竈形土製品は古墳時代の祭祀遺構から出土しており、相伴する土器群には土師器杯、高杯、甕、須恵器杯蓋、杯身、高杯、ハソウ、甕などがある。これらの年代は概ね 5 世紀後半から 6 世紀前半に比定できることから竈形土製品もこの年代に比定されている。

高田遺跡の報告書では四柳嘉章氏によって竈形土製品の考察が行われ、その中で頸部を有する竈形土製品の集成が行われている。これによると頸部を有する竈形土製品は島根県、石川県、新潟県から出土⁽¹⁰⁾している。

このうち、石川県志賀町中村畑遺跡⁽¹¹⁾から出土した竈形土製品は口縁部から頸部までの破片であるが、胴部が球胴形をする A 形態である。この他、新潟県新潟市の場遺跡⁽¹²⁾からは B 形態に近いものが出土している。的場遺跡から出土したものは頸部から底部までの破片で掛け口部の状態は不明確であるが、胴部や頸部の状態から佐渡市若宮遺跡から出土したものに近い形状であると推定できる。佐渡市(旧真野町)若宮遺跡⁽¹²⁾からは新潟市の場遺跡と同様に B 形態に近いものが出土しているが、写真では焼き口の背面も焼き口状に大きく切り取られている。的場遺跡と若宮遺跡から出土したものは頸部



旗射崎遺跡出土の竈形土製品 (1/6)

までは裁頭円錐形状で頸部から掛け口部は直線的に大きく開く形状である。

以上のような分布から頸部を有する形態の竈形土製品の主な生産、使用は北陸地方が中心であったとみられる。

4. 出土の背景

竈形土製品の使用用途は稲田孝司氏⁽¹³⁾や水野正好氏⁽¹⁴⁾の論考⁽¹⁵⁾で祭祀での供物を調理するためのものであることが明らかである。また、破片での出土は筆者らの検討からも祭祀の様相がみられることが明らかである。

出土地周辺は古代山田郡家の比定地であり、周囲からは「山田」、「入田」など郡名に関連する墨書土器やクルル鍵、獣脚付円面硯をはじめ多くの円面硯などが出土しており郡家の存在を肯定する資料⁽¹⁵⁾が多く出土している。こうした状況から見れば郡家での祭祀行為に伴う供物調理に使用されたとみられるが、問題点はなぜ関東地方で一般的に出土する裁頭円錐形状の形態ではなく北陸地方にみられる頸部を有し胴部が球胴状を呈する形態のものであるかという点である。そして大道東遺跡から出土した竈形土製品は胎土をはじめ、整形の点からみればヘラ削り、ヘラナデが主体であることから刷毛目整形による北陸地方の竈形土製品が直接持ち込まれたものではなく在地で生産された可能性が高い。

大道東遺跡出土の竈形土製品の年代は7世紀代に相当する。7世紀代には北陸道から東北への交通路は、出羽へはすでに陸路・海路が確保されていたとみられる。しかし、出羽自体の制定した範囲が淳足柵や磐船柵設置、阿倍比羅夫による出羽遠征、ましてや出羽郡の設置などの文献を考慮するとそれほど広範囲ではなかったとみられる。そうしたなかで出羽から陸奥への奥羽山脈を越えるしっかりとした陸路は開削されていない状態であったとみられる。こうしたことから北陸道から陸奥へは東山道経路によって往来した可能性がみられる。

そして出土遺構が東山道駅路側溝であること、山田評家⁽¹⁶⁾が上毛野国⁽¹⁷⁾での東端に位置していることから、この地でさらなる旅の往来の祭祀や儀式に関する目的で使用されたと考えられる。

以上のような点を考慮すると北陸地方の人が東北、特に陸奥との往来にあたり、旅の安全を祈願するにあたり

供物の調理を行うさいに自分達の祭祀具の使用にこだわったことから球胴状の竈形土製品を求め、使用後に廃棄した結果によると想定される。

大道東遺跡から出土した竈形土製品はその特異な形態から北陸地方との関連が強いと想定されるが、出土例が少なく、北陸地方以外では東前沖遺跡の例を併せても2例しかない。東前沖遺跡では竪穴住居からの出土で性格付けが困難であるため大道東遺跡からの出土例も想定領域をでない点がある。今後、竈形土製品のさらなる出土例の増加とともに検証を実施していきたい。

注

- (1) 竈形土製品は考古学的用語として竈形土器、置きカマド、移動式竈、文献では韓竈などの名称が使用されているが。形態的には器としての用途はみられないことから土器ではなく土製品のほうがより適正とみられるのでこの用語を使用した。
- (2) 神谷佳明 1988年「東国出土の竈形土器についての検討」『群馬の考古学』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- (3)(財)かながわ考古学財団 2007年「湘南新道関連遺跡Ⅰ」、「湘南新道関連遺跡Ⅱ」、2009年「湘南新道関連遺跡Ⅲ」、「湘南新道関連遺跡Ⅳ」
- (4)(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1986年「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」
- (5)(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994年「善慶寺早道場遺跡」
- (6)(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992「史跡 十三宝塚遺跡」
- (7) 前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2006年「東前沖・西前沖・西久保遺跡」
- (8) 新潟県金井町教育委員会 1979年「旗射崎遺跡」
- (9) 石川県富来町教育委員会 1999年「高田遺跡」
- (10) 四柳嘉章氏によると島根県薦沢A遺跡、石川県高田遺跡、中村畑遺跡、細口源田山遺跡、曾福遺跡、新潟県若宮遺跡からの出土例があるとしている。
- (11) 石川県埋蔵文化財センター 1982年「能登海浜道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰ(志賀町中村畑遺跡・志賀町女郎塚遺跡)」
- (12)(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団山本肇氏より資料の提供を受けた。
- (13) 稲田孝司 1987年「忌の竈と王権」『考古学研究』97 考古学研究会
- (14) 水野正好 1982年「竈形—日本古代竈神の周辺」『古代研究』24 元興寺文化財研究所
- (15) 大道東遺跡に隣接する楽前遺跡からは「山田」、「入田」の墨書土器とクルル鍵が出土しているのが遺跡発表会で紹介されている(2010年9月刊行予定)。獣脚付円面硯は鹿島浦遺跡((財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010年「鹿島浦遺跡」)から出土している。
- (16) 竈形土製品が7世紀代のものであることから郡の前身である評による表現にした。
- (17) 16と同様に7世紀代の呼称による。

4 大道東遺跡の石製模造品

1 はじめに

工房は、121号住居跡、526号住居跡の2軒に可能性がある。2軒以外からも石核をはじめ、素材となる剥片、さらに白玉の形割、穿孔、研磨の各工程品が出土している。コンテナ・箱の中から103点を掲載した。白玉のほかには紡錘車が作られている。工房は、隣接する楽前遺跡にもある。作業は、原石の搬入から完成までが一貫して行われている。

2 出土遺物の分類

(遺物図のトーンは節理・風化面を表す)

A類

不定形な剥片に石核を含めた。A①が分割される前の素材となる大型の剥片、A②が分割された中型の剥片、A③が分割後に残った端部の小型剥片である。A'は分割される前の長方形をした剥片である。

6044・6075・6094・6098が石核である。6094は4点の剥片が接合。敲打らしい痕はみられず、軽い衝撃でも剥がれたことが推定出来る。偶然の結果かもしれないが厚さはほぼ一定で、剥離しやすい石の性質が活かされている。素材の中には、このように自然に剥離したものを利用したこともあったのであろう。

6098は、搬入時の様子がわかる資料である。上下の2辺には節理面をあて、残りは敲打して角礫状に仕上げられている。打面は、上下の節理面ではなく表裏の平坦面を使い短冊状に分割、さらに打面を90°転移して側面から分割している。幅のある剥片を取ろうとする工夫で、節理面は長さを一定にするために利用されている。このようにして剥ぎ取られたのが接合した6099である。6075は、岩脈から直接採取したのではなく、崩落したものを利用したのか。角が擦れて裏面の磨耗した角礫である。6044は上下2方向からの剥離が進み、6102はさらに剥離されて残核のような状態である。

紡錘車の未成品は、8の字状に削り込まれたものが6006、側面を調整したものが6095・6100である。このほか、幅と厚みの点で6045・6077などにも可能性がある。

B類

有孔不定形剥片である。孔は截断を容易にするために開けられたもので、6047が截断前の状態、6067が截断された後の状態である。剥片の大小は、截断されたかどうかである。ただし、6001や6047のように大型のものは、厚みもあることから紡錘車の未成品ともみることが出来る。

C類

C②が多角無孔、1.0～1.5cm前後の長さには統一感がある。厚さは3つに分類できる。①5mm～1cm前後のもの、②それ以下の数mm程度と薄いもの、そして③断面が三角形のものである。最も多いのが①、入念に側面調整されたものが多い。②はそれが剥離した可能性があり、三角形は截断された端部である。C①の方形無孔は、数が少なく図示していない。C②へと工程が連続していたためにほとんど残されていないのではないだろうか。また、この段階で穿孔のために、目安として表面の中央に筋状の傷を付けたものがある。

D類

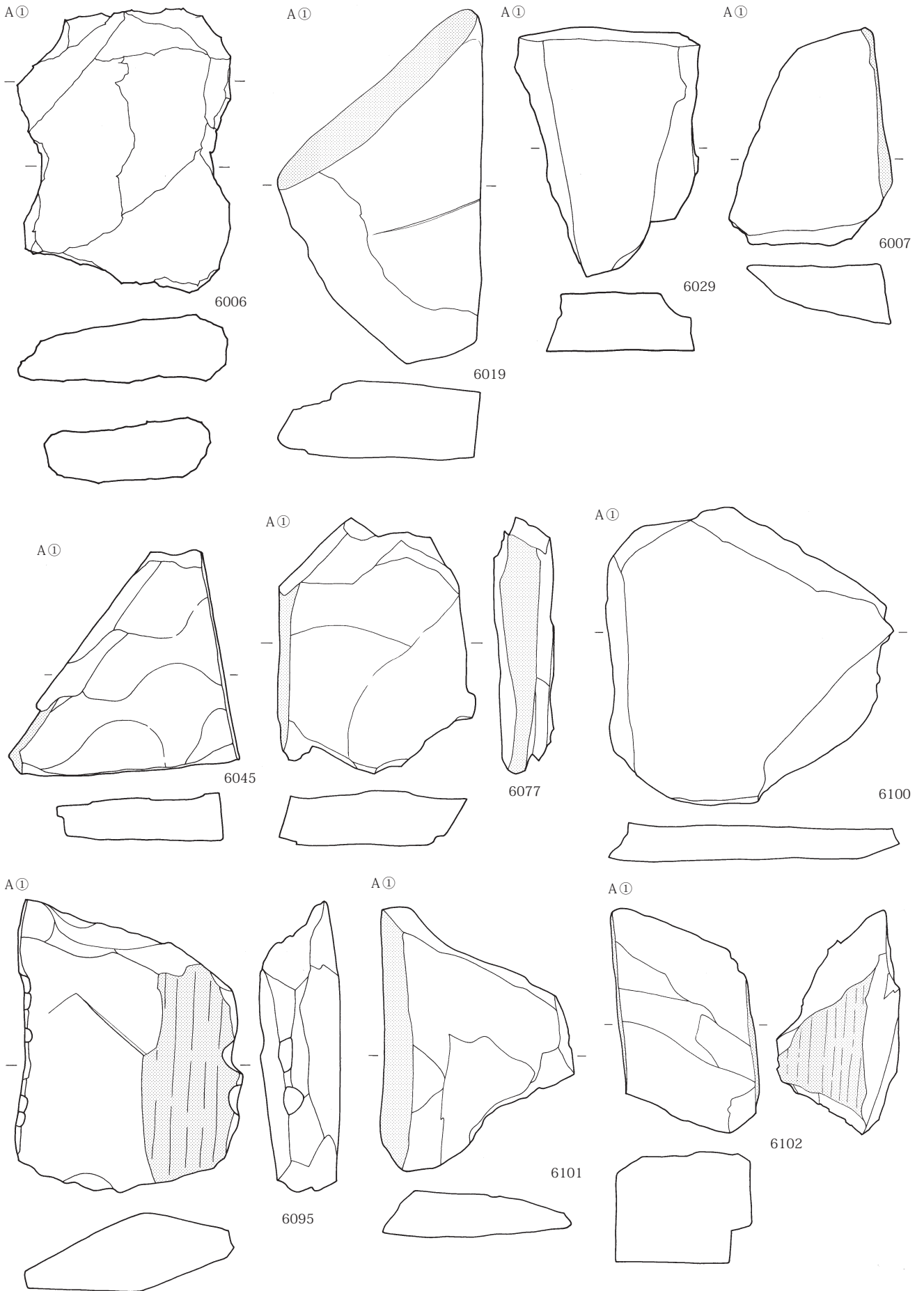
D①が多角有孔、D②が多角有孔破損品で、D②aが側面調整のない破損品、D②bが側面調整のある破損品である。D②bは大きさの点で大小が見受けられるが、タイプの違いなのかは不明である。D③が多角未通孔破損品、D④が方形有孔破損品である。

E類

方形有孔、次工程ではD①類になるために類例は少数である。大きさはC類とかわらず、違うのは工程だけで白玉としては同じものである。

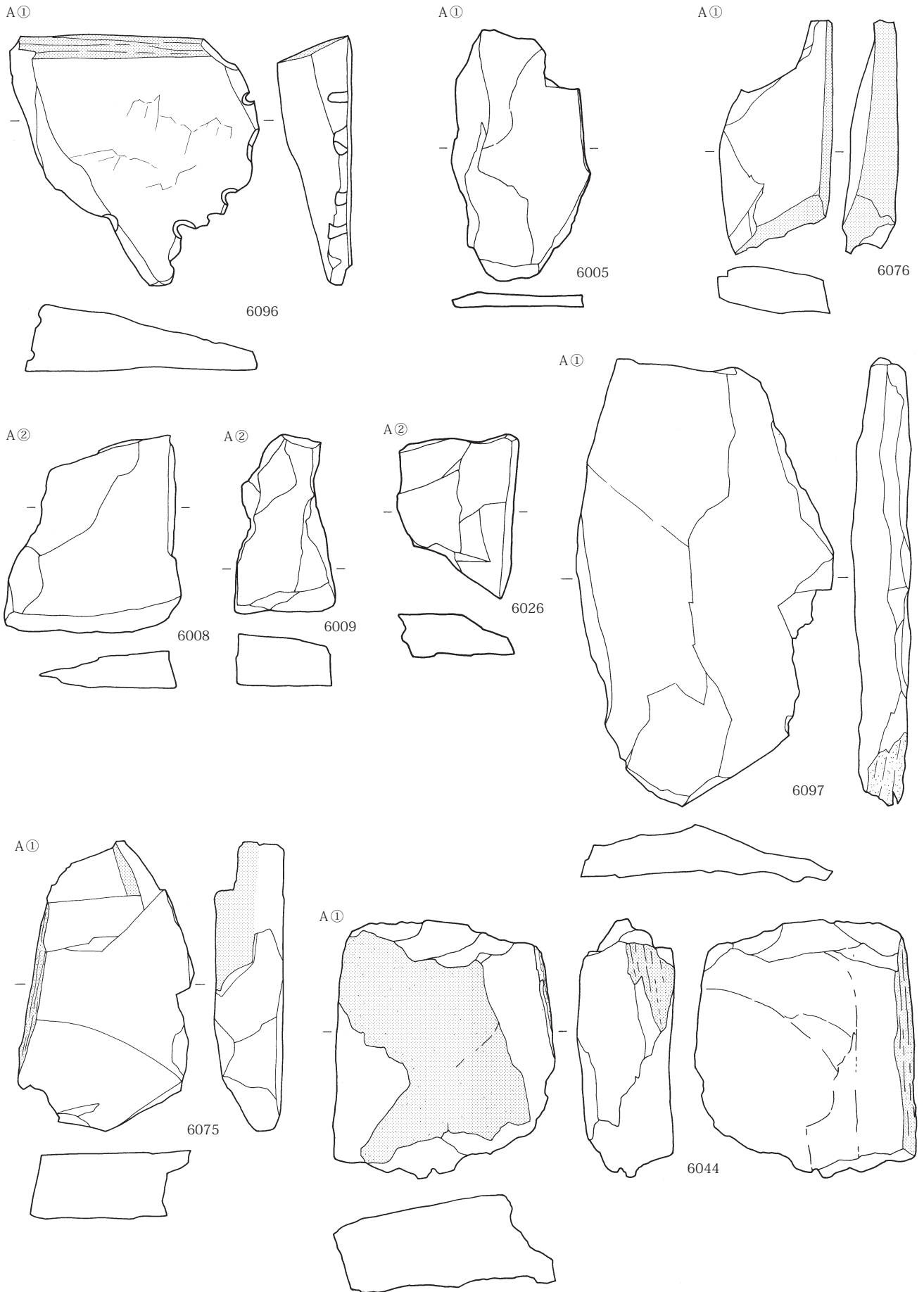
F類

完成品である。側面に研磨を施し、丸みをつけて完成させたものである。6069は直径8mmの大きさで、例外的な存在か。D類の大きさからすると半分以下、孔径も小さくて、この特徴を見た限りではタイプは大と小の2つがあるのだろうか。厚みがある丸玉のタイプである。このほかに、図示していないが主に分割・形割工程での削片がある。米粒大から2cm近いものまで、大きさはま

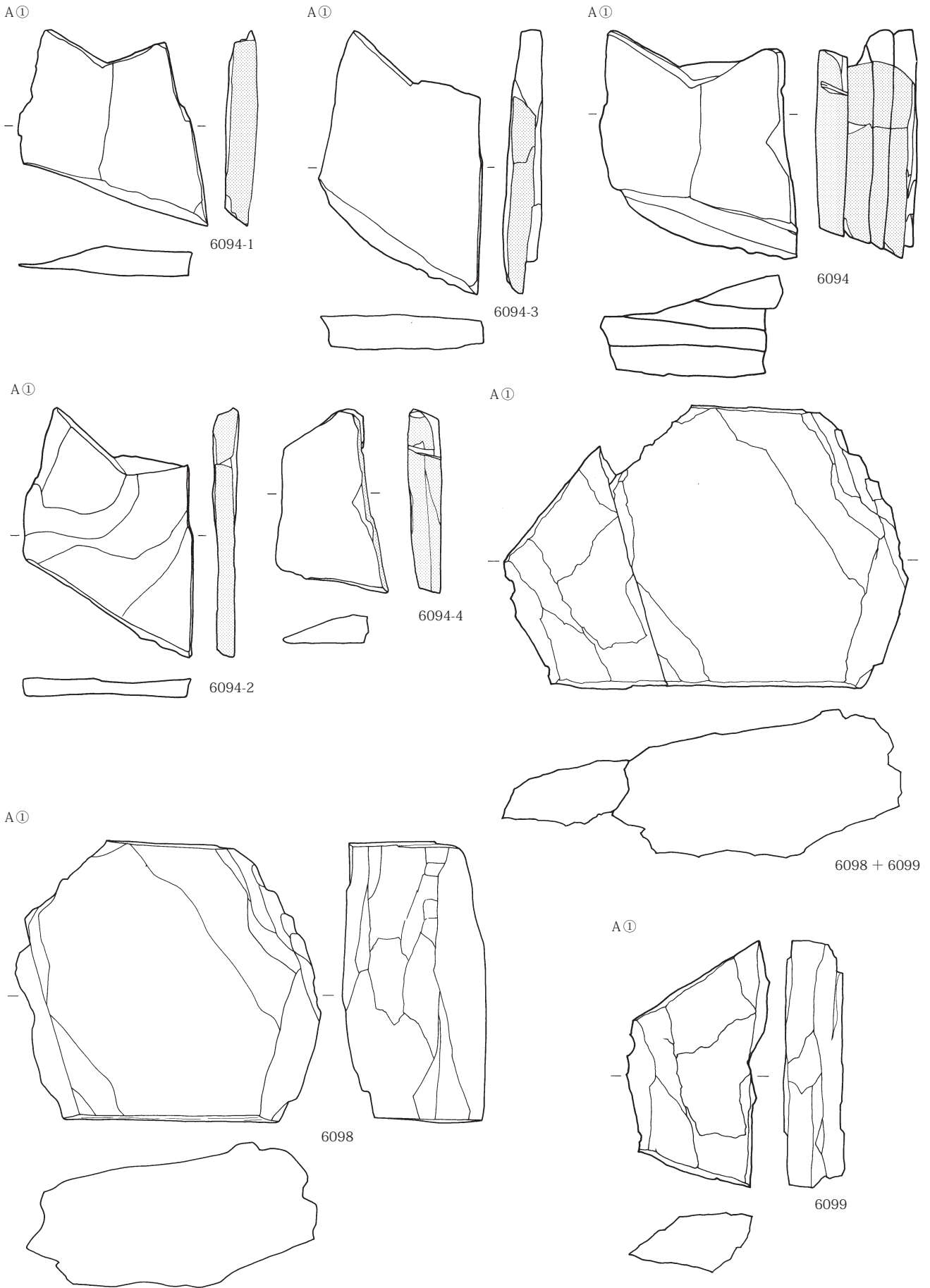


第 483 図 住居跡ほか石製模造品遺物図 1 A 類

V 総括



第 484 図 住居跡ほか石製模造品遺物図 2 A類

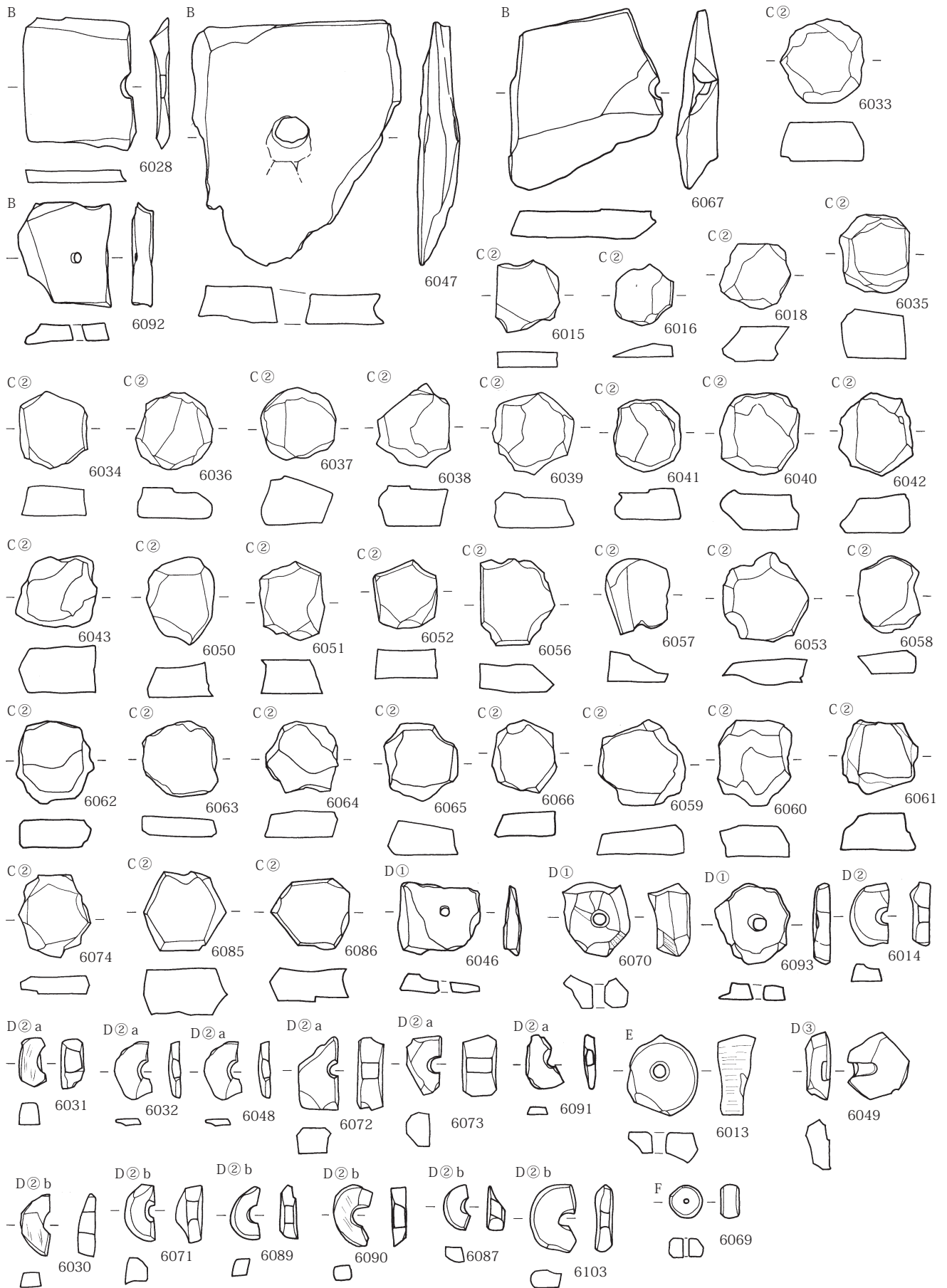


第 485 図 住居跡ほか石製模造品遺物図 3 A類

V 総括

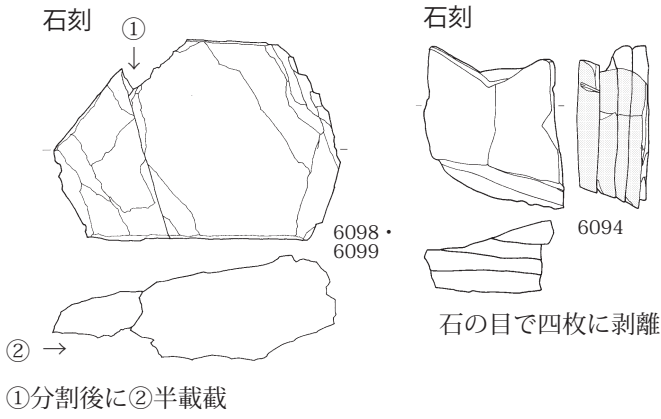


第 486 図 住居跡ほか石製模造品遺物図 4 A・B類

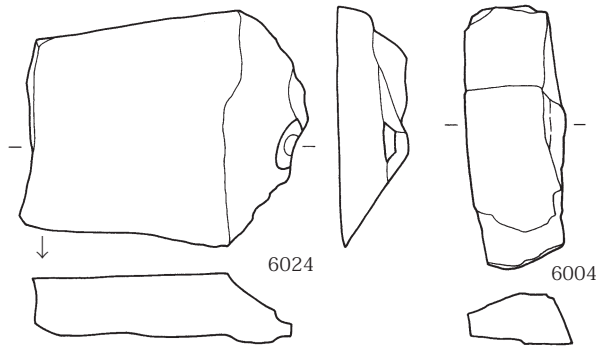


第 487 図 住居跡ほか石製模造品遺物図 5 B～F 類

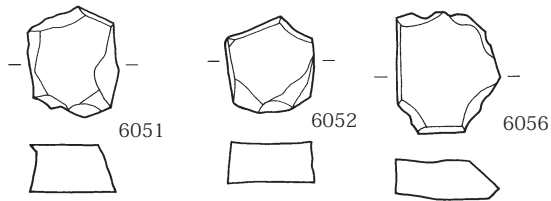
V 総括



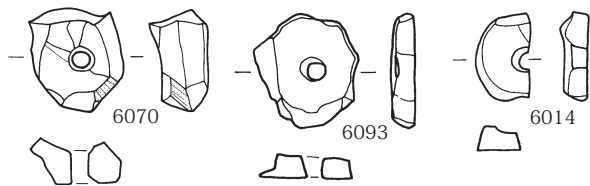
③分割工程 板状の剥片から短冊状に分割



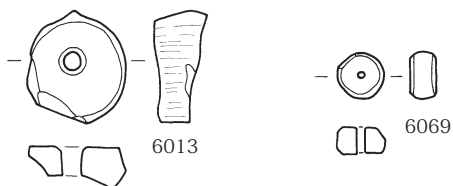
④形割工程 四角形から多角形にする



⑤穿孔工程 両面から穿孔



研磨工程・完成 側面だけ研磨する



ちまちで長方形や断面が三角形をしていて、剥片の端部や側面を截断した破片とみられる。

3 製作工程

白玉は、①石核→②素材剥片の剥離→③分割→④形割→⑤穿孔→⑥研磨の順序をたどり完成する。これは杉山林継氏が4つに分類したひとつで、B類「偏平長方形の細長い板材を次々と切断し正方形の材を作り、整形、穿孔するもの」に相当する⁽¹⁾。

原石の珪質粘板岩は、軟らかい上に、板状に剥離する性質がある。足尾山地の古生代・中生代の地層に含まれていて、採取地には渡良瀬川支流の桐生川流域や松田川流域などが推定される。遺跡からは直線距離にして10～15km余りで、採取地は風化の状態などからみて露頭で直接か、そこに近い沢でとみられる⁽²⁾。現地では、手の平大程度の大きさに加工されている。軽く剥離して品質を確かめた上で、運びやすくするため角礫状にしたのではないだろうか。

欠点は節理面の多さで、ここでは節理面を上下にして横方向から剥離することで、長さや幅を一定にしようという工夫の跡が読み取れる。素材剥片はA①類が相当する。これを分割したのが、それ以外のA'類である。形割はC①、C②類が相当する。穿孔はD類の①、③、④、E類が相当する。研磨はD②類の一部、F類である。

4 道具組成

敲打具には石器が多用されたであろうが、資料として特定できたものはない。金属器には削り痕から刀子か、鑿のようなものが使われていたとみてよい。また、穿孔は棒状の錐が使われている。

注

- (1) 杉山林継 1971「白玉の未成品とその製作工程について」『御坂峠』阿智村教育委員会
- (2) 松田川ダム湖畔では珪質粘板岩の岩脈とその崩落した状態が観察できる。石材は、色調、硬さで3種類がある。いずれも出土品と似ていて、水なしでもコンクリートで簡単に磨ることができた。また、江戸時代、桐生梅田村では良質な合砥として採掘されていた(山田郡誌 1939)。

※ ここで掲載した石製模造品類は、ほとんどが3・4区出土のものであるため、本来は『大道東(2)』に掲載すべきものであるが、整理作業の都合上本報告書に掲載した。

第488図 石製模造品製作工程図

第28表 住居跡ほか石製模造品一覧表

No	工程 器種	石材	遺構名	出土 位置	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g
6001	B	珪粘	46住	29	37	45	11	18.37
6002	A③	珪粘	64住	埋土	33	18	5	2.48
6003	A③	珪粘	64住	埋土	25	13	4	1.11
6004	A③	珪粘	64住	埋土	43	17	8	5.31
6005	A①	珪粘	65住	226	94	52	7	33.10
6006	紡	珪粘	65住	埋土	67	56	16	69.43
6007	A①	珪粘	65住	埋土	46	39	14	24.94
6008	A②	珪粘	65住	埋土	45	42	11	20.34
6009	A②	珪粘	65住	埋土	43	24	12	14.80
6010	A③	珪粘	65住	埋土	38	28	3	4.08
6011	A③	珪粘	65住	埋土	42	26	4	5.22
6012	A③	珪粘	65住	埋土	32	28	3	3.97
6013	D①	珪粘	72住	8	18	16	9	2.60
6014	D②	珪粘	72住	8	15	9	5	0.78
6015	C②	珪粘	72住		17	15	3	1.44
6016	C②	珪粘	72住		14	14	3	0.80
6017	B	珪粘	74住		21	21	5	2.97
6018	C②	珪粘	74住		15	16	8	2.72
6019	A①	珪粘	74住	埋土	83	48	19	80.63
6020	A'	珪粘	74住	32	88	26	12	38.00
6021	A②	珪粘	74住	埋土	64	33	9	18.26
6022	A②	珪粘	74住	埋土	54	34	17	31.60
6023	A②	珪粘	74住	埋土	61	33	12	26.18
6024	B	珪粘	74住	埋土	39	48	12	22.17
6025	A②	珪粘	74住	埋土	40	26	9	13.78
6026	A②	珪粘	74住	埋土	38	27	10	11.31
6027	B	珪粘	74住	埋土	23	20	12	6.83
6028	B	珪粘	88住	埋土	31	26	4	4.45
6029	A①	珪粘	96住	埋土	59	43	14	49.69
6030	D②b	珪粘	97住	貯穴 175	14	7	4	0.40
6031	D②a	珪粘	97住		12	6	5	0.38
6032	D②a	珪粘	97住		13	9	2	0.34
6033	C②	珪粘	97住	貯穴 142	20	19	9	4.92
6034	C②	珪粘	97住	貯穴 142	18	16	7	2.72
6035	C②	珪粘	97住	貯穴 142	18	17	11	4.56
6036	C②	珪粘	97住	貯穴 142	18	18	7	2.97
6037	C②	珪粘	97住	貯穴 142	16	17	11	3.77
6038	C②	珪粘	97住	貯穴 142	19	17	9	3.74
6039	C②	珪粘	97住	貯穴 142	19	18	8	3.54
6040	C②	珪粘	97住	貯穴 142	19	18	9	4.61
6041	C②	珪粘	97住	貯穴 142	17	15	7	2.68
6042	C②	珪粘	97住	貯穴 142	19	18	10	3.48
6043	C②	泥岩	97住	貯穴 151	17	19	11	4.19
6044	石核	珪粘	97住		97	84	36	314.75
6045	A①	珪粘	97住		54	54	13	38.33
6046	E	珪粘	100住	埋土	17	20	4	1.55
6047	紡	珪粘	104住	14	57	49	10	23.66
6048	D②a	珪粘	107住	埋土	17	10	4	0.81
6049	D③	珪粘	107住	70	16	6	14	1.36
6050	C②	珪粘	107住	70	20	16	8	3.59
6051	C②	珪粘	107住	70	19	15	8	3.19
6052	C②	珪粘	107住	70	16	15	7	2.46
6053	C②	珪粘	107住	埋土	21	20	6	2.92
6054	A'	珪粘	107住	埋土	47	21	8	11.64

No	工程 器種	石材	遺構名	出土 位置	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g
6055	B	珪粘	107住	カマド	33	22	5	3.23
6056	C②	珪粘	107住	1坑99	20	17	6	2.76
6057	C②	珪粘	107住	1坑99	18	15	7	1.98
6058	C②	珪粘	107住	1坑99	18	19	5	1.74
6059	C②	珪粘	107住	1坑124	20	20	7	3.31
6060	C②	珪粘	107住	1坑124	20	18	8	3.38
6061	C②	珪粘	107住	1坑124	17	17	9	3.48
6062	C②	珪粘	107住	1坑124	19	18	6	2.96
6063	C②	珪粘	107住	1坑124	18	18	5	2.14
6064	C②	珪粘	107住	1坑124	17	17	6	2.28
6065	C②	珪粘	107住	1坑124	18	17	8	3.19
6066	C②	珪粘	107住	1坑124	17	20	6	1.95
6067	B	珪粘	107住	1坑99	42	36	9	13.58
6068	A②	珪粘	116住	53	38	29	4	5.57
6069	F	珪粘	121住	71	8	8	5	0.30
6070	D①	珪粘	121住	71	17	15	10	2.41
6071	D②b	珪粘	121住	71	12	7	6	0.68
6072	D②a	珪粘	121住	71	17	10	6	1.49
6073	D②a	珪粘	121住	71	14	8	8	1.06
6074	C②	珪粘	121住		19	16	4	1.79
6075	石核	珪粘	121住		109	63	26	206.75
6076	A①	珪粘	121住		88	42	17	73.44
6077	紡	珪粘	121住		61	47	14	46.28
6078	A②	珪粘	38住	埋土	41	31	13	11.24
6079	A②	珪粘	38住	埋土	45	28	12	13.98
6080	A②	珪粘	38住	埋土	35	22	4	3.41
6081	A③	珪粘	38住	埋土	23	20	5	2.26
6082	A③	珪粘	38住	埋土	19	17	6	2.71
6083	A③	珪粘	38住	埋土	21	15	3	1.13
6084	A③	珪粘	38住	埋土	19	10	5	0.65
6085	C②	珪粘	511住	埋土	18	19	11	5.42
6086	C②	珪粘	511住	埋土	16	18	8	3.31
6087	D②b	珪粘	523住		10	6	4	0.27
6088	A③	珪粘	523住		22	22	4	3.36
6089	D②b	珪粘	526住	9	12	7	4	0.36
6090	D②b	珪粘	526住	9	14	9	4	0.56
6091	D②a	珪粘	526住	9	12	9	3	0.32
6092	B	珪粘	526住	9	24	12	5	3.90
6093	D①	珪粘	533住	2	19	17	4	1.37
6094	石核	珪粘	176坑	埋土	86	74	37	227.30
6095	紡	珪粘	176坑	埋土	69	53	19	70.72
6096	A①	珪粘	176坑	埋土	59	54	17	45.72
6097	A①	珪粘	200坑	19	168	95	22	313.55
6098	石核	珪粘	205坑	埋土	106	110	54	805.63
6099	紡	珪粘	205坑	埋土	93	50	22	114.80
6100	A①	珪粘	1集石	639	71	68	10	63.12
6101	A①	珪粘	1集石	埋土	63	47	11	30.94
6102	A①	珪粘	1集石	埋土	45	30	28	45.72
6103	D②b	珪粘	ケラット	320-790	15	10	4	0.84
6104	A②	泥岩	ケラット	320-815	27	27	8	7.15

5 まとめ

大道東遺跡で特徴的なものとして、古墳時代後期の須恵器と東山道駅路があげられる。この2点について若干の考察を加えてまとめとしたい。

(1) 古墳時代後期の須恵器について

大道東遺跡出土須恵器の特徴としては以下の2点があげられる。

- 1 出土土器全体量に対する須恵器の割合が高い
- 2 ゆがみや、破片・窯体の癒着により、製品として流通したとは考えられないものが多い

古墳時代後期の須恵器を考えるために、図1で述べた出土土器全体量に対する須恵器の割合を確認すると、

第1段階 19%	第2段階 20%	第3段階 29%
第4段階 30%	第5段階 24%	第6段階 21%
第7段階 23%	第8段階 21%	

となる。第3・第4段階がやや高いが、他は19～24%であり変わらないといえる。第3・第4段階も割合は高いが、出土絶対量は少ないため、須恵器の出土量としてはあまり変わらないといえる。すなわち、大道東遺跡においては、古墳時代後期でも奈良平安時代でも須恵器は同様に出土していることができる。また、遺跡全体の出土土器全体量に対する須恵器の割合は30%で、竪穴住居出土土器の須恵器の割合より高くなっている。これは、推定東山道駅路側溝出土土器の須恵器の割合が高いため、42%となっている。ここからは、古墳時代後期の須恵器も多量に出土しており、この時期の須恵器の出土量の多さを裏付けている。

2については、図示した遺物では19号住1268、75号住1104・1177、192号住5134、331号土坑5187、480号土坑5194、推定東山道駅路北側溝5221、南側溝5265・5272・5288等があり、図示できなかったものも多量にある。いずれも、本来の用途として使用できるものではなく、製品として持ち込まれたとは考えられない。須恵器は生産地で集中して生産され、出来上がった製品が消費地に供給されていると考えられるため、集落において、一般的な流通ルートで搬入される須恵器にこうした失敗品が入っている可能性は、ほとんどないと

いえよう。

さて、遺跡の南西約1kmの金山丘陵に、菅ノ沢遺跡をはじめとする金山丘陵遺跡群が存在している。ここでは古墳時代後期6世紀後半代の須恵器窯が検出されている⁽¹⁾。そして、図1で述べられているように、胎土分析の結果、大道東遺跡出土の古墳時代後期の須恵器が菅ノ沢窯跡の須恵器と同様の組成であることが判明しており、この中には、破片ではあるが、2片が癒着および窯体付着のものもある。

以上のことから、大道東遺跡の古墳時代後期の須恵器は、金山丘陵窯跡群で生産されたものであり、製品だけでなく焼成時の失敗品と考えられる癒着・窯体付着破片等もそこから持ち込まれていた可能性が高いといえる。そして生産地に近接した集落で、生産地から直接持ち込まれた須恵器が多量にあるということは、須恵器生産に関わった工人が居住していたことに他ならない。すなわち大道東遺跡の古墳時代後期集落は、須恵器工人集落であると想定できよう。

前述のように菅ノ沢窯跡の年代は6世紀後半と考えられているが、その後、7世紀前半までの間に金山丘陵東裾から北裾にかけて須恵器窯が営まれている。7世紀末から8世紀初頭になると、高太郎遺跡や山去窯跡群等のある丘陵西側に移動して操業しており、この時期に大きく窯場が移動している。大道東遺跡においては、第3段階、7世紀第2～第3四半期の住居からも癒着・窯体付着破片が出土しており、金山丘陵東裾から北裾にかけて須恵器窯があった時期までは、工人集落であったことが窺える。しかしながら、胎土分析の結果から、8世紀代の須恵器は金山丘陵窯跡群の製品ではなくなっているため、窯場が丘陵西側に移動した時点、あるいは丘陵上から須恵器窯がなくなった時点で、工人もいなくなったと考えられる。

大道東遺跡の西約400mに巖穴山古墳が存在する。この古墳は東毛地域唯一の終末期方墳で、一辺約30mの墳丘や、全長約12mで、玄室の手前に前室を持つ複室構造の横穴式石室を有している⁽²⁾。巖穴山古墳は、前方後円墳の消滅後各地の勢力を統合する形で成立し、その埋葬施設は、前代の各首長墓における横穴式石室の諸要素を結集させた構造になっており、東毛地域の頂点となる方墳である、という評価もある⁽³⁾。このように、

東毛地域の中心的な人物が被葬者である可能性が高いといえる。そして、この古墳が、須恵器生産地である金山丘陵窯跡群、須恵器工人集落の可能性のある大道東遺跡と近接した位置にあることは、被葬者は、この地域の須恵器生産の中心人物でもあったという推定ができると思われる。

古墳の築造時期は、7世紀前半あるいは7世紀中葉と考えられている⁽⁴⁾。前述したように、この地域に東山道駅路が通るのは早ければ7世紀第2～第3四半期であるため、古墳築造時期と道路建設時期が、非常に近接していることになる。古墳は駅路の北65mの位置にあり、駅路を建設した国家と古墳の被葬者の密接な関係が窺われる。

(2) 東山道駅路について

掘削単位

Ⅲ-2-(2)で述べたように、推定東山道駅路の側溝は、直線的ではあるが、整然と掘られてはおらず、幅が狭く浅い部分があり、溝が切れている部分もあって、細長い土坑状の掘り込みが連続している掘り方となっている。この掘り方は、北側溝と南側溝で同位置となっている場合が多く、このことは南北同時に掘削された可能性が高いことを示している。長さは東から、16m以上・34m・17m・32m・29m・36m・25m・19m以上となっている。南北でずれる場所や、細かく途切れている部分もあり、さらにその間が分かれる可能性もある(図中の点線の位置)。耕作等、道路廃絶後の掘削により、路面を含め上部がかなり削平されていると考えられるため、側溝の深さはかなりあり、途切れている部分も本来は溝が存在していたと考えられる。この掘削方法になった原因は不明であるが、同時並行で数か所掘削できるため、掘削時間を短縮することができ、緊急な工事であったという想定もできるか。

出土遺物等

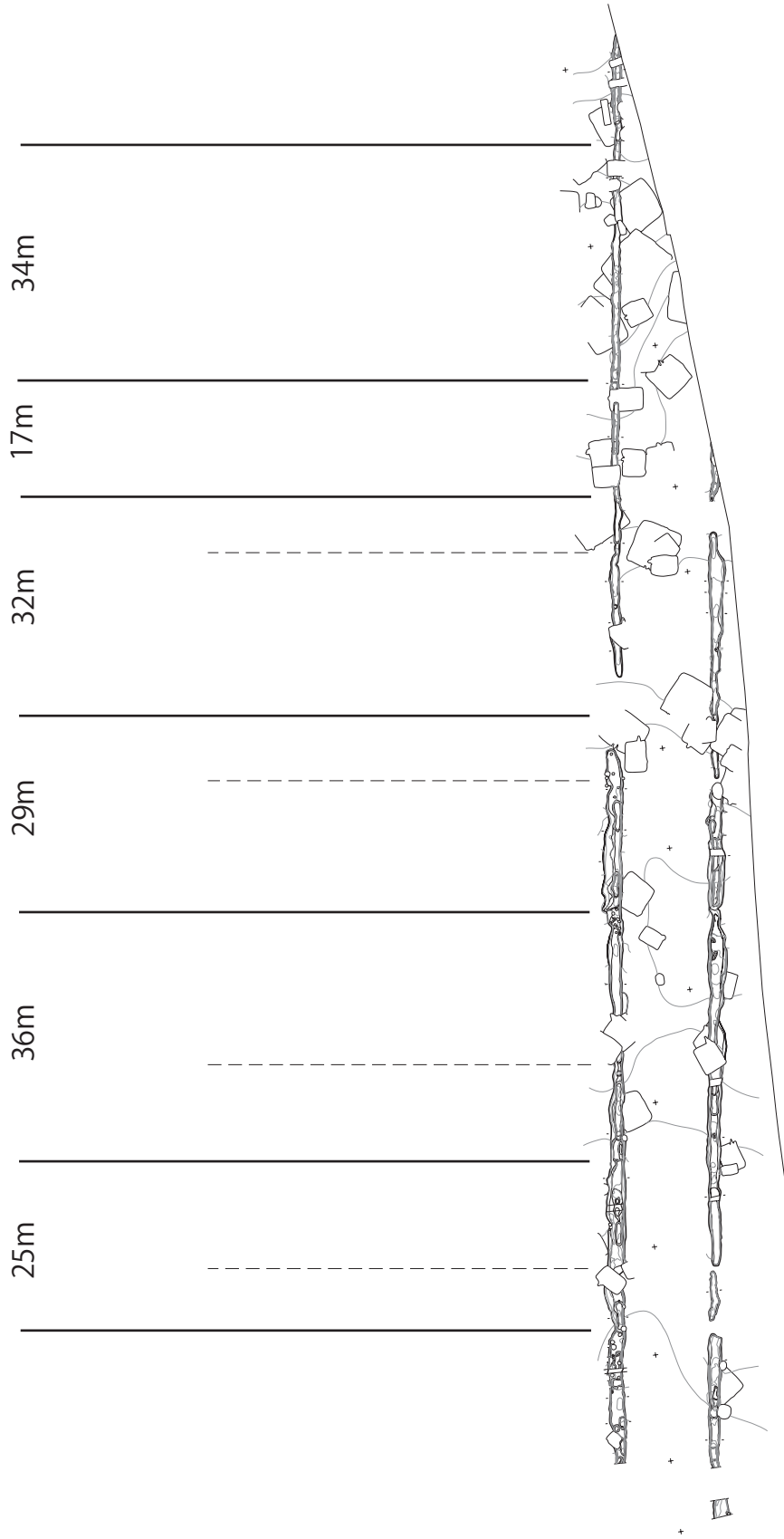
推定東山道駅路の側溝からは、6900点に及ぶ遺物が出土している。しかも、V-5-(1)で述べたように、出土土器全体量に対する須恵器の割合が42%と、遺跡全体(30%)や竪穴住居(19～30%)の割合よりも高くなっている。さらに重量でみると、土師器の合計が

54,960g、須恵器の合計が190,800gで須恵器の割合が78%と高くなっている。これは、土師器に比べ須恵器は甕の大破片が非常に多いためであるが、実質的な量は須恵器の方が圧倒的に多くなっている。また、遺物の時期は、6世紀後半代～8世紀前半代まで長期にわたっている。完形に近い遺物もかなりあるため、周囲に住居が多く存在し、住居外に多くの遺物が廃棄されていたとしても、これらの遺物がすべて、自然営力により流入したとは考えられない。また、道路使用中に側溝に廃棄遺物が堆積している状況も考えにくいいため、道路廃絶後に人為的に廃棄された可能性が最も高いといえよう。すなわち、理由は不明であるが、6世紀後半以降、集落内に保存あるいは一括して廃棄してあった須恵器を中心とする土器が、道路廃絶後にその側溝に廃棄されたということになる。

また、南側溝(15号溝)から馬歯が出土している。IV-2で述べられているように、上顎臼歯のみ出土して、下顎臼歯は出土しなかったため、馬の下顎骨が取り除かれていることになる。よって、自然営力で埋没したのではなく、人為的に加工されて側溝に入れられた可能性が高いといえる。下顎骨を欠く理由については不明であるが、当然のことながら、駅路と馬は密接な関係があるため、この馬歯が馬に対する何らかの行為の痕跡である可能性も考えられる。

時期

道路の時期は、V-5-(2)で述べたように、第4段階、最大第3段階の途中から第5段階の途中までになると考えられる。しかしながら、第3段階、第5段階ともに竪穴住居と側溝が重複しており、第3段階の竪穴住居が埋没してから道路が建設され、道路が廃絶され側溝が埋没した後第5段階の住居が建てられる、という経過をたどるため、道路としての使用期間はさらに短くなるであろう。人為的に住居や側溝を埋めた可能性もあるが、側溝と重複する住居で、埋没土の状況が他の住居と特に異なっているものもなく、人為堆積の痕跡は確認されていない。側溝の埋没土も、自然堆積の可能性が高いと考えられる。ただし、道路建設時点で路線上に住居が全くなかったとは考えにくいいため、退去させられ埋められた住居もあったと思われるが、確認はされなかった。また、



第 489 図 推定東山道駅路掘削単位想定図 (点線は不確定なもの)

竪穴住居の埋没に要する時間であるが、周囲から土砂が流入する環境にある場合（低地や谷地など）は比較的短期間であった可能性もあり、人為堆積とあまり変わらなかったとも考えられる。側溝自体からの出土遺物を見ると、須恵杯C2が出土しているが、C4・C5・C6はほとんど出土していないため、第5段階以降の遺跡は存在していなかったとすることができ、この点からも第4段階で廃絶されたことが裏付けられる。よって、実年代としては、7世紀第3四半期から8世紀第1四半期の間になる可能性が高いといえよう。

上野国の東山道駅路

上野国の東山道駅路には、「国府ルート」「牛堀・矢ノ原ルート」「下新田ルート」の3ルートが推定されている。

「国府ルート」は、高崎市浜川町から前橋市鳥羽町までの数地点で硬化面や側溝が検出されており、走向はN-64°-Eである。発掘調査により確認されている遺構は、幅4.5～7mで、側溝の状態は必ずしも一定ではなく、側溝が9世紀後半の竪穴住居を壊して作られていることにより、9世紀後半以降の遺構とされている。しかしながら、直線性や一定の幅員、両側側溝などの駅路の属性を備えていないため、駅路として疑問視する意見もある⁽⁵⁾。

「牛堀・矢ノ原ルート」は、発掘調査により発見されたルートで、高崎市宿大類町から、太田市新田町まで約30kmにわたって確認されている。溝心々幅約13mで、太田市・伊勢崎市付近の走向はN-83°-Eである。このルートは、「国府ルート」から南へ約5kmと離れており、時期は、道路遺構と重複する遺構との関係や、上限を示すと考えられる出土遺物から、7世紀後半代には建設されており、8世紀後半ですでに廃絶されているとされている。

「下新田ルート」は太田市旧新田町下新田遺跡で検出されたルートで、「牛堀・矢ノ原ルート」の北500mの場所に位置している。溝心々幅約12mで走向はN-80°-Eである。1108年降下の浅間B軽石より下層で確認され、8世紀から9世紀にかけての遺物が出土しているため、「牛堀・矢ノ原ルート」よりも新しくなると考えられている。

大道東遺跡の道路は、溝心々幅13～14.5mで、走

向はN-98°-Eである。時期は7世紀第3四半期～8世紀第1四半期と推定されるため、規模や時期は「牛堀・矢ノ原ルート」に近いといえる。走向はいずれのルートとも一致しないが、間に金山丘陵が存在するため、ここで走向が変わったと考えることはできる。よって大道東遺跡および周辺の遺跡検出の道路は東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」の可能性が最も高いといえよう。

8世紀前半で廃絶した東山道駅路はその後どうなったであろうか。『延喜式』にみられるように、その後も東山道駅路が存在したことは間違いのないであろう。大道東遺跡および周辺の遺跡検出の道路を「牛堀・矢ノ原ルート」とするならば、その廃絶後、別の場所に建設されたはずである。最も単純な考え方としては、「牛堀・矢ノ原ルート」の北約500mにあり、「牛堀・矢ノ原ルート」よりも新しくなると考えられている「下新田ルート」に移ったとすることであろう。しかし、「下新田ルート」は、郡家を結ぶ伝路である可能性も考えられているため、一概には言えない。ただ、両側に側溝をもつ幅12mの直線道路は、形態だけ見ると駅路の可能性が高いと考えられる。ただし、ほぼ同規模の道路を500mという至近距離にわざわざ移動する必要性があったかは疑問である。この点も含めて今後の調査が待たれるところである。
注

(1) 駒澤大学考古学研究室 2007 『群馬・金山丘陵窯跡群Ⅰ』

駒澤大学考古学研究室 2009 『群馬・金山丘陵窯跡群Ⅱ』

(2) 駒澤大学考古学研究室 2009 『群馬・金山丘陵窯跡群Ⅱ』

(3) 小林孝秀 2009 「東毛地域における古墳終末への一様相」前掲(2)所収

(4) 島田孝雄 2001 「旧新田・山田群」『群馬県内の横穴式石室Ⅱ(補遺編)』群馬県古墳時代研究会資料集第4集 群馬県古墳時代研究会
島田孝雄 2001 「複室構造の石室について」『群馬県内の横穴式石室Ⅱ(補遺編)』群馬県古墳時代研究会資料集第4集 群馬県古墳時代研究会

山賀和也 2008 「成塚向山2号墳・横穴式石室の検討」『成塚向山古墳群』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

以上では巖穴山古墳の年代を7世紀中葉としており、前掲(3)では7世紀前半としている。

(5) 70回企画展『古代のみち ーたんけん! 東山道駅路ー』群馬県立博物館